



Xanadu リリースノート

最終更新日: **2025年12月17日**

自動翻訳

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

目次

Xanadu リリースノート.....	4
リリースノートの使用.....	6
独自のリリースノートの作成.....	8
Xanadu リリースの詳細.....	10
Washington DC からのアップグレードのリリースノート.....	11
Vancouver からのアップグレードのリリースノート.....	606
Utah からのアップグレードのリリースノート.....	647
Xanadu へのアップグレードのカスタマイズされた PRB リリースノート.....	690
利用可能なパッチとホットフィックス.....	803
ブラウザサポート.....	1049
アクセシビリティと適合性.....	1050
アップグレードの準備.....	1051
ServiceNow アップグレード.....	1052
様々な製品に関するアップグレード前後のタスク.....	1056
計画立案チェックリストのアップグレード.....	1111
アップグレードツールとリソース.....	1117
アップグレードと ServiceNow Store.....	1119
Xanadu リリースへのアップグレード.....	1120
フェーズ 1 - リリースノートを読みアップグレードを計画する.....	1122
フェーズ 2 - 開発インスタンスのアップグレードの準備をする.....	1124
フェーズ 3 - アップグレード構成を確認し、開発インスタンスのアップグレードをスケ ジュールする - Now Support	1125
フェーズ 4 - 開発インスタンスのアップグレードを実行し検証を行う.....	1129
フェーズ 5 - 該当する場合、テストインスタンスなど他の非本番インスタンスをアップグ レードして検証する.....	1131
フェーズ 6 - 本番インスタンスのアップグレードを準備する.....	1132
フェーズ 7 - 本番環境をアップグレードする.....	1134

Xanadu リリースノート

ServiceNow Xanadu リリースには、新しい製品とアプリケーション、および既存の製品の追加機能と修正が含まれています。リリースノートを読んで、リリースについて確認し、アップグレードの準備を行い、インスタンスをアップグレードします。

Xanadu のハイライト

AI purpose-built for every industry

Leverage Now Assist automation that is purpose-built for the unique needs of Retail Operations, Telecommunications, Technology, Public Sector, and Banking.

Service and operational resiliency

Improve responsiveness with dynamic alert tagging. Deliver operational insights to service delivery teams so they can better manage their work with Event Management and Service Reliability Management.

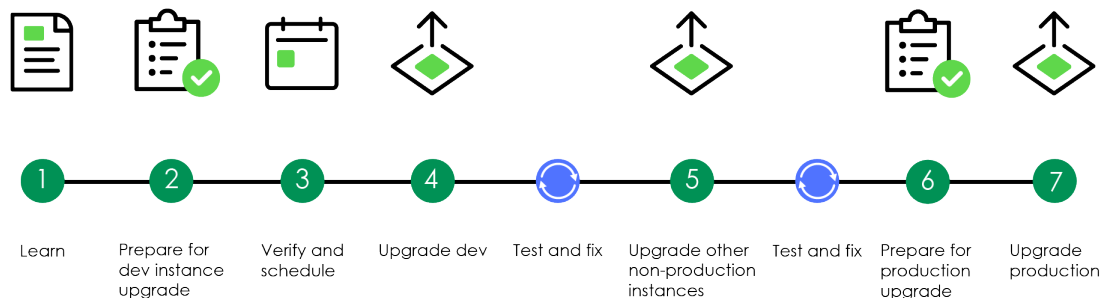


Making AI actionable

Now Assist makes it simple to take action with new analytics generation, custom AI skills development, reply recommendations, and native integration with MS 365 and Slack, all built on a single platform.

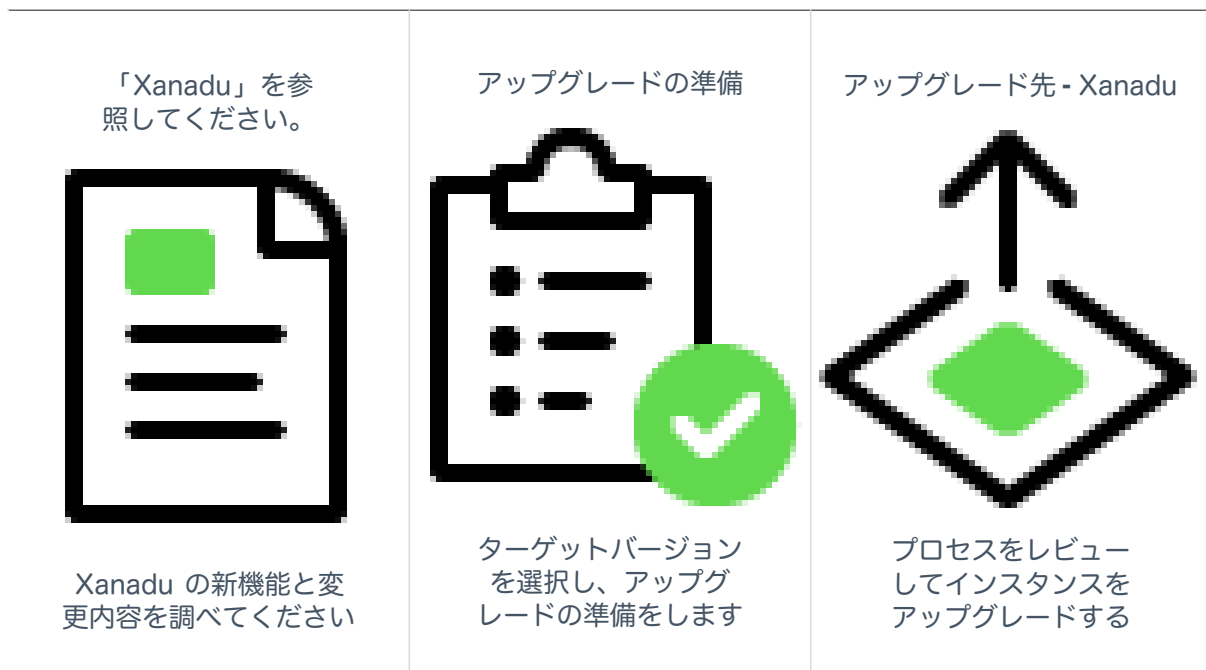
アップグレードを成功させるためのパス

インスタンスのアップグレードには、計画、テスト、および検証が必要です。リリースノートには、アップグレードを成功させるためのすべてのフェーズとタスクが記載されています。



アップグレードジャーニーの開始

アップグレードプロセスでリリースノートを使用するには、開始の準備ができていないアップグレードフェーズを選択してください。リストされている順序でフェーズを完了することをお勧めします。再設計されたリリースノートエクスペリエンスのガイドについては、「[リリースノートの使用](#)」を参照してください。



リリースタイムライン

新しい Xanadu リリースバージョンは 1 年を通してリリースされます。Xanadu のパッチおよびセキュリティパッチリリースの現在の日付は次のとおりです。Xanadu リリースバージョンの完全なリストを表示するには、「[利用可能なパッチとホットフィックス](#)」を参照してください。今後のリリース日は変更される可能性があります。



リリースノートの価値を最大化

再設計されたリリースノート进行操作して探している情報を見つける方法を学びます。新しいリリースノートツールを使用して、アップグレードエクスペリエンスを向上させてください。

リリースノートの使用方法

リリースノートのツール

リリースノートレビューし、より迅速かつ効率的にアップグレードするために役立つツールをいくつか作成しています。詳細については、「[独自のリリースノートの作成](#)」を参照してください。

リリースノートの概要

特定のリリースノート情報に関心をお持ちの方向けに、すべての製品のリリースノートのカテゴリ別に表示します。たとえば、すべての Xanadu 製品のブラウザー要件について 1 ページで読むことができます。

カスタマイズされた PRB リリースノート

現在のリリースバージョンから任意の利用可能なターゲットバージョンへのアップグレードで修正されたすべての問題の累積リストを生成します。

ファミリー共通アップグレード向けの統合製品リリースノート

任意の製品のファミリーリリースバージョン間ですべてのリリースノート情報を 1 つのページに表示します。

アップグレードシナリオで利用可能なリリースノートツールを確認するには、Xanadu へのアップグレードパスを選択してください。

- [からのアップグレードのリリースノート Washington DC](#)
- [からのアップグレードのリリースノート Vancouver](#)
- [からのアップグレードのリリースノート Utah](#)
- [Xanadu パッチおよびホットフィックスのリリースノート](#)

Xanadu へのアップグレードパスの選択

- [からのアップグレードのリリースノート Washington DC](#)
- [からのアップグレードのリリースノート Vancouver](#)
- [からのアップグレードのリリースノート Utah](#)
- [Xanadu パッチおよびホットフィックスのリリースノート](#)

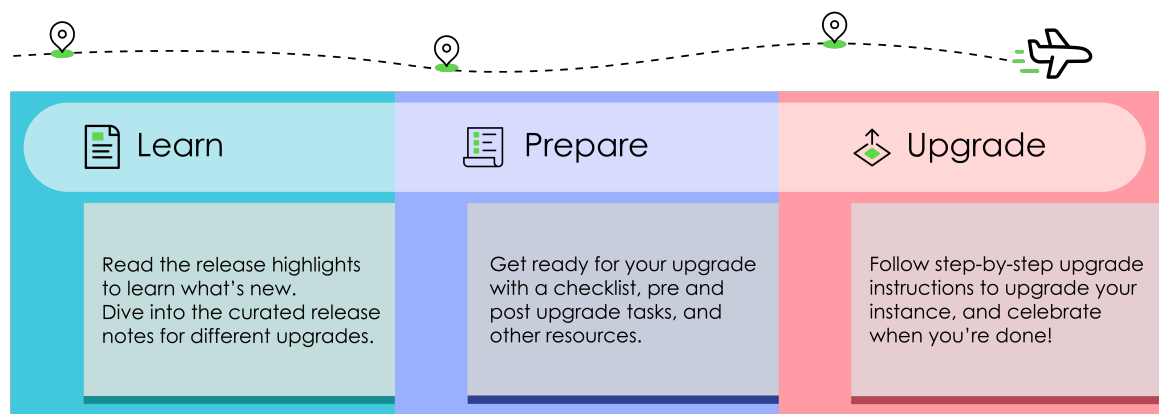
リリースノートの使用

再設計されたリリースノート进行操作して探している情報を見つける方法を学びます。

リリースノートの操作

アップグレードプロセスにより近い段階的なコンテンツを提供するように ServiceNow リリースノートエクスペリエンスを再設計しました。

リリースノートの使用



リリースノートディレクトリ

アップグレードジャーニーのさまざまなリリースノートの内容を確認してください。

セクション	コンテンツ
Xanadu リリースの詳細	リリースのハイライトを確認して新機能や機能拡張について学び、アップグレードパスに対応するキューレーションされたリリースノートを使用してください。 • Washington DC からのアップグレードのリリースノート • Vancouver からのアップグレードのリリースノート • Utah からのアップグレードのリリースノート キューレーションされた各リリースノートパッケージには、アップグレードの次のステップを把握するのに役立つ次のようなツールが含まれています。 • Xanadu のハイライト • 製品別の機能と変更 (ファミリー共通アップグレード用に統合済み) • プラグインの変更 • カスタマイズされた PRB リリースノート • 利用可能なパッチとホットフィックス • ブラウザーサポート • アクセシビリティとコンプライアンス
アップグレードの準備	アップグレード計画立案チェックリストと、アップグレードの前後に完了する一連のタスクを使用して、アップグレードの準備を開始します。ServiceNow アップグレード製品、ツール、およびベストプラクティスにより、アップグレードエクスペリエンスを向上させます。 • ServiceNow アップグレード • 様々な製品に関するアップグレード前後のタスク • 計画立案チェックリストのアップグレード • アップグレードツールとリソース • アップグレードと ServiceNow Store
ServiceNow アップグレード	アップグレードガイドには、テストガイダンス、アップグレードのスケジュール方法に関する情報などが含まれています。 • フェーズ 1 - リリースノートを読み、アップグレードを計画します。 • フェーズ 2 - 開発インスタンスのアップグレードの準備をします。 • フェーズ 3 - アップグレード構成を確認し、Now Support で開発インスタンスのアップグレードをスケジュールします。 • フェーズ 4 - 開発インスタンスのアップグレードを実行し検証を行いません。

セクション	コンテンツ
	- フェーズ 5 - 該当する場合、テストインスタンスなど他の非本番インスタンスをアップグレードして検証します。 - フェーズ 6 - 本番インスタンスのアップグレードの準備をします。 - フェーズ 7 - 本番環境をアップグレードします。

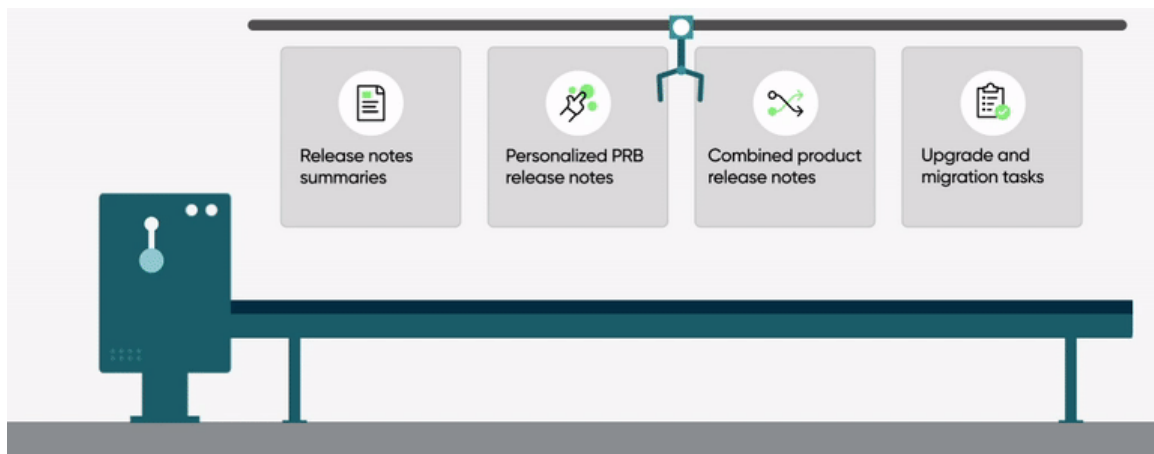
リリースノートツアー

再設計されたリリースノート进行操作して探している情報を見つける方法を学びます。新しいリリースノートツールを使用して、アップグレードエクスペリエンスを向上させてください。

リリースノートビデオの使用

独自のリリースノートの作成

独自のアップグレードシナリオに適した構成可能リリースノートを使用して、アップグレードエクスペリエンスを向上させます。ファミリーリリースをスキップする場合でも、製品情報、ターゲットリリースバージョンに含まれる修正、およびアップグレードタスクを収集して、アップグレードの準備を簡素化します。



自動翻訳



リリースノートの概要

所有している製品と必要な情報に基づいて、リリースノートを把握します。リリースノートの概要を使用すると、探している情報カテゴリを選択し、所有している製品を指定できます。その後、リリースノートは、読みやすい 1 つの概要にまとめられます。N-1 から N へのアップグレードに関する製品のハイライト、新機能や変更された機能、重要なアップグレード情報などを参照できます。

Browser requirements for all Vancouver features and products

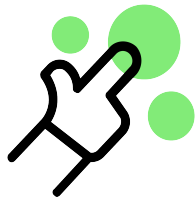
Release version: Vancouver | Updated: Apr 9, 2018 | 3 minutes to read | Vancouver Release Notes and Upgrades

Cumulative release notes summary on browser requirements for Vancouver features and products.

Several products have specific browser requirements. Review this information to ensure you are using the correct browsers and browser versions.

Filter by: Application or feature

Application or feature	Details
AI Search	AI Search does not support Internet Explorer.
Advanced Work Assignment	AWA doesn't support mobile devices, Internet Explorer, or Microsoft Edge. Instead, use Microsoft Edge-Chromium or one of the other supported browsers that are listed in Browser support .



カスタマイズされた PRB リリースノート

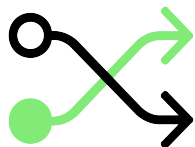
カスタマイズされた PRB リリースノートでは、特定のアップグレードシナリオに合わせて修正のリストを収集します。現在のリリースバージョンとターゲットリリースバージョンを選択すると、アップグレードに含まれるすべての修正のリストが生成されます。このリストをテーブルで表示するか、スプレッドシートをダウンロードして、必要に応じて PRB をソートおよびレビューします。

Personalized PRB release notes for upgrades to Vancouver

Updated: Nov 26, 2023 | 35 minutes to read | Vancouver Release Notes and Upgrades

Filter by: Current version Target version

Current version	Target version	View	Download
Vancouver Patch 2	Vancouver Patch 2 Hot Fix 2	html	csv
Vancouver Patch 2	Vancouver Patch 3	html	csv
Vancouver Patch 2	Vancouver Patch 3 Hot Fix 1	html	csv



統合製品リリースノート

アップグレードで 1 つ以上のファミリーリリースをスキップする場合は、統合製品リリースノートでアップグレードの準備に必要なすべての情報を確実に入手できます。利用可能な製品のリストから、関連するリリース全体を対象として特定のアプリケーションの変更や機能をフィルタリングし、すべての情報を 1 つのページに表示できます。

- [Washington DC から Xanadu へのアップグレードの統合製品リリースノート](#)
- [Vancouver から Xanadu へのアップグレードの統合製品リリースノート](#)
- [Utah から Xanadu へのアップグレードの統合製品リリースノート](#)

New features

Between your current release family and Vancouver, new features were introduced for Goal Framework.

Release	Release notes
Tokyo	Import goals and targets data from a spreadsheet Import your existing goals and targets data (that are defined outside Goal Framework) from a spreadsheet to the Goal Framework tables. When you import data from a spreadsheet, the goals and targets data is imported to the Goal [sn_gf_goal] and Target [sn_gf_goal_target] tables, respectively.
Utah	Goal Relationship with SAFe Feature Create a goal relationship with a SAFe feature to identify and associate current or future work through the work item type SAFe Feature.
Vancouver	Qualitative targets Set qualitative targets for your goals by defining a unit of measure. Qualitative targets are interpretation-based, descriptive, and typically of a Yes or No type. The available unit of measure for qualitative targets is Yes/No. You can also define a custom unit of measure for qualitative targets according to your need and set qualitative targets for your goals. Add remarks for a target actual update Add a remark in the Remark field to capture the highlights for business justification when updating the actual value of a target or target breakdown. Set status for a goal



アップグレードおよび移行のタスク

必要な製品と PRB の情報を準備したら、ジャーニーを完了するために必要なアップグレードと移行のタスクのリストを作成します。製品のアップグレード前後や移行に必要なタスクを表示し、アップグレードプロセスのガイドとなる To Do リストを作成します。

Upgrade and migration tasks

Important: For any changes in the upgrade procedure for self-hosted customers, see KB0563844 for details.

Product	Release notes	Family
AI Search	When you upgrade to San Diego from Quebec or Rome, AI Search automatically reindexes all your indexed Japanese content. This one-time reindexing process is required to enable the Japanese search experience improvements in this release. If you enabled Q&A Genius Results in Quebec or Rome, you must reindex your Knowledge content after upgrading to San Diego. This one-time reindexing process is necessary to enable the Q&A improvements in this release.	San Diego
Application Usage Overview dashboard	After upgrading to the San Diego release, you cannot edit the Application Usage Overview homepage.	San Diego

開始するには

リリースノートの作成を開始するには、上記のオプションを選択するか、アップグレード元のファミリーを選択してください。

- [Washington DC からのアップグレードのリリースノート](#)
- [Vancouver からのアップグレードのリリースノート](#)
- [Utah からのアップグレードのリリースノート](#)

Xanadu リリースの詳細

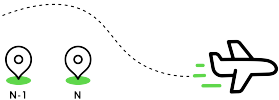
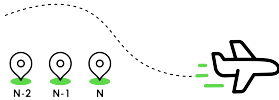
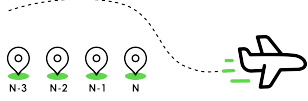
Xanadu リリースには、Now Platform[®] に基づく新しい機能と改善が含まれています。

リリース日

- 早期提供 (Early Availability) : 2024 年 8 月 1 日
- 一般提供 (General Availability) : 2024 年第 3 四半期後半を予定

アップグレード用リリースノート

アップグレードする前に、現在のバージョンから Xanadu リリースまでのリリースノートを確認してください。これらのリリースノートには、新しい機能、注目すべき変更、利用可能な修正に関する役立つ情報が記載されています。リリースノートを確認することで、アップグレードに必要な機能が含まれているか、インスタンスに影響を与える問題を解決する修正が含まれているかを判断できます。また、リリースノートから、以前カスタマイズしたアイテムがアップグレードされているかどうかを確認できます。

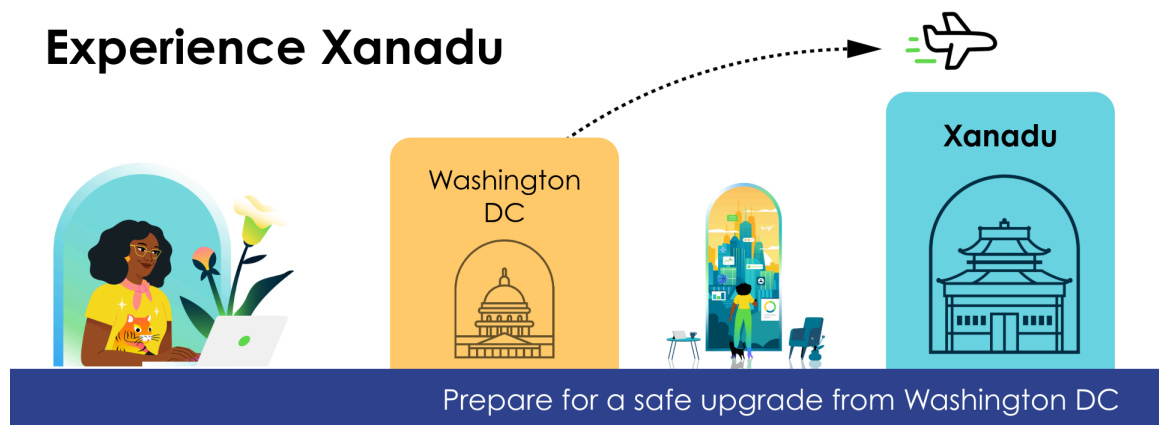
Washington DC からのアップグレード  Washington DC から Xanadu リリースへのアップグレードのリリースノート	Vancouver からのアップグレード  Vancouver から Xanadu リリースへのアップグレードのリリースノート	Utah からのアップグレード  Utah から Xanadu リリースへのアップグレードのリリースノート

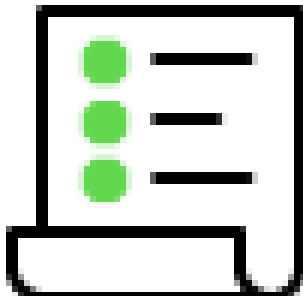
Washington DC からのアップグレードのリリースノート

Washington DC リリースからアップグレードする場合は、各リリースバージョンの修正、ユーザーインターフェースの重要な変更、ブラウザーのサポート、プラグインの更新、および各機能のアップグレードと移行のタスク (該当する場合) を把握しておきましょう。

Washington DC から Xanadu へのアップグレード

Experience Xanadu



製品別の機能と変更  Washington DCから新機能の詳細情報Xanadu	リリースノートの概要  Washington DC からすべての製品の統合されたリリースノート情報Xanadu	統合製品リリースノート  Washington DCから新しい製品と機能に関する統合情報Xanadu
カスタマイズされたPRB リリースノート  現在のバージョンと利用可能なターゲットバージョンの間で修正された問題のリストを生成	Xanadu リリースにおけるプラグインの変更  新規、変更、名前変更、廃止されたプラグインのリスト	利用可能なパッチとホットフィックス  修正された問題のリリースノート

自動翻訳

ブラウザサポート  サポートされているブラウザのバージョンと特定の製品の追加要件	アクセシビリティと適合性  VPAT に基づくアクセシビリティのハイライトとアクセシビリティ適合性レポート	

Washington DC から Xanadu へのアップグレードの統合製品リリースノート

Washington DC から Xanadu へのアップグレードに役立つ情報として、各製品のファミリー共通リリースノートを 1 ページにまとめました。ご使用の製品を選択して、リリースノートの結果をカスタマイズしてください。

製品を選択して **Washington DC** から **Xanadu** のリリースノートを表示

以下の表には、Washington DC と Xanadu で使用可能な全製品が一覧表示されています。目的の製品を選択するには、[フィルター基準] 機能を使用します。テーブルがフィルタリングされ、選択した製品の統合リリースノートが表示されます。リンクをクリックすると、各製品の統合リリースノートが表示されます。

製品	統合リリースノート
アクセス管理	リンク
アカウントライフサイクルイベント	リンク
買掛金オペレーション	リンク
アドミンセンター	リンク
アダプションサービス	リンク
高度なゴールフレームワーク	リンク
高度なリスク	リンク

製品	統合リリースノート
高度なワークアサインメント	リンク
エージェントチャット	リンク
エージェントチャットおよびサイドバー	リンク
エージェントクライアントコレクター	リンク
CSM のエージェントエクスペリエンス	リンク
HR ケース管理のエージェントワークスペース	リンク
Agile Development 2.0	リンク
AI 検索	リンク
アラインメントプランナーワークスペース	リンク
アナリティクス、インテリジェンス、レポート	リンク
API	リンク
App Engine Studio	リンク
アプリケーション管理	リンク
アプリケーションマネージャー	リンク
アプリケーションポートフォリオ管理	リンク
アプリケーション脆弱性対応	リンク
アセスメントとサーベイ	リンク
Audit Management	リンク
認証	リンク
自動テストフレームワーク (ATF)	リンク

製品	統合リリースノート
ベンチマーク	リンク
事業継続性管理	リンク
キャリアアセスメント	リンク
Career conversations (キャリア対話)	リンク
ケースとナレッジ管理	リンク
CSM のケース管理	リンク
変更管理	リンク
臨床機器管理	リンク
クローンアドミンコンソール	リンク
クラウドコスト管理	リンク
クラウドコスト管理 8.0.0	リンク
Cloud Provisioning and Governance	リンク
コーチング	リンク
コラボレーションワーク管理	リンク
企業保険請求	リンク
共通ガバナンス、リスク、コンプライアンス機能	リンク
共通の GRC 機能	リンク
コンプライアンスケース管理	リンク
コンフィギュレーションコンプライアンス	リンク
構成管理データベース (CMDB)	リンク

製品	統合リリースノート
コンテナ脆弱性対応	リンク
Continuous Authorization and Monitoring	リンク
Continuous Authorization and Monitoring (CAM)	リンク
対話型インターフェース	リンク
対話型インターフェースのホーム	リンク
Core Now Platform	リンク
クリエイタースタジオ	リンク
カスタマー契約とエンタイトルメント	リンク
カスタマーサービス管理 (CSM)	リンク
ダッシュボード	リンク
データディスカバリー	リンク
データ管理	リンク
CSM のデータ管理	リンク
データプライバシー	リンク
データ分離	リンク
ディジションビルダー	リンク
ワークフロースタジオの意思決定テーブル	リンク
委託開発	リンク
DevOps チェンジベロシティ	リンク
DevOps コンフィグ	リンク

製品	統合リリースノート
デジタルエンドユーザーエクスペリエンス	リンク
デジタルポートフォリオ管理	リンク
米国の規制の異議申し立てコンテンツパック	リンク
Mastercard の異議申し立てルールコンテンツパック	リンク
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	リンク
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	リンク
ドキュメントサービス	リンク
ドキュメントテンプレート	リンク
動的翻訳	リンク
従業員センター	リンク
従業員ドキュメント管理	リンク
従業員ジャーニー管理	リンク
労務 (ER)	リンク
EMR Help	リンク
暗号化キー管理	リンク
エンタープライズアーキテクチャ (旧称アプリケーションポートフォリオ管理)	リンク
エンタープライズ資産管理	リンク
環境、社会、ガバナンス管理	リンク
Equifax スポーク	リンク

製品	統合リリースノート
ERP キャンバス	リンク
ERP Customization Mining	リンク
ERP データハブ	リンク
ESG Management	リンク
イベント管理	リンク
戦略的ポートフォリオ管理向けパワーポイントへのエクスポート	リンク
フィールドサービス管理 (FSM)	リンク
Financial Services Business Deposit Operations	リンク
Financial Services Business Lifecycle	リンク
Financial Services Business Loan Operations	リンク
ファイナンシャルサービスカードオペレーション	リンク
Financial Services Client Lifecycle	リンク
Financial Services Complaint Management	リンク
Financial Services Credit Operations	リンク
Jack Henry Associates jXchange のファイナンシャルサービス統合	リンク
Socure のファイナンシャルサービス統合	リンク
ファイナンシャルサービスオペレーションコア	リンク
FRISS のファイナンシャルサービスオペレーション統合	リンク
Guidewire のファイナンシャルサービスオペレーション統合	リンク
Jack Henry jXchange のファイナンシャルサービスオペレーション統合	リンク

製品	統合リリースノート
Visa とのファイナンシャルサービスオペレーション	リンク
ファイナンシャルサービスオペレーションプラットフォームアナリティクスソリューション	リンク
Financial Services Payment Operations	リンク
Financial Services Personal Deposit Operations	リンク
Financial Services Personal Loan Operations	リンク
Financial Services Treasury Operations	リンク
フローデザイナー	リンク
ワークフロースタジオでのフロー、サブフロー、およびアクション	リンク
生成 AI コントローラー	リンク
ゴールフレームワーク	リンク
SPM のゴールフレームワーク	リンク
ガバナンス、リスク、コンプライアンス	リンク
Granular Delegation	リンク
Group Life Servicing	リンク
ハードウェア資産管理 10.0.0	リンク
ハードウェア資産管理 11.0.0	リンク
ハードウェア資産管理 5.0	リンク
ハードウェア資産管理 7.0.0	リンク
ハードウェア資産管理 8.0.0	リンク

製品	統合リリースノート
ヘルスケアおよびライフサイエンスサービス管理コア	リンク
Healthcare Computerized Maintenance Management システム	リンク
ヘルスログアナリティクス	リンク
Hermes Messaging Service	リンク
HR サービスデリバリー (HRSD)	リンク
HR サービスデリバリー用ケースとナレッジ管理	リンク
医療向け HR サービスデリバリー	リンク
Magnit の HR サービスデリバリー統合	リンク
HR Service Delivery Integration with Workday Learning	リンク
ID	リンク
ID と認証	リンク
インポートとエクスポート	リンク
インシデント管理	リンク
個人向け生命保険請求	リンク
Individual Life Servicing	リンク
産業用プロセスマネージャー	リンク
Industry 製品	リンク
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	リンク
Instance Scan	リンク
統合ハブ	リンク

製品	統合リリースノート
CSM のインテリジェンス	リンク
Intelligent Service Delivery	リンク
Intelligent Servicing for Fraud	リンク
投資枠管理	リンク
ITOM クラウドアクセラレート	リンク
ITOM ヘルス	リンク
ITOM 最適化	リンク
ITOM 最適化 ITOM 最適化	リンク
ITOM ヴィジビリティ	リンク
ITSM エージェントワークスペース	リンク
ITSM モバイルエージェント	リンク
ITSM 予測インテリジェンスワークベンチ	リンク
ITSM サクセスダッシュボード	リンク
ITSM 仮想エージェント	リンク
ジャーニーデザイナー	リンク
ジャーニーデザイナー 2.0	リンク
ナレッジ管理	リンク
リーダーハブ	リンク
リード管理	リンク
ラーニング	リンク

製品	統合リリースノート
法務サービスデリバリ	リンク
ローカリゼーションフレームワーク	リンク
Manager Hub	リンク
製造業営業オペレーション	リンク
Manufacturing Process Manager	リンク
メンタリング	リンク
メトリックベース	リンク
MID サーバー	リンク
Mobile	リンク
モバイルプラットフォーム	リンク
Natural Language Query	リンク
自然言語理解 (NLU)	リンク
Next Experience	リンク
Next Experience コンポーネント	リンク
ネクストエクスペリエンス開発者 (NED) ツール	リンク
Next Experience 開発者ツール	リンク
Next Experience ユーザーインターフェイス	リンク
Notifications	リンク
通知	リンク
Now Assist	リンク

製品	統合リリースノート
クリエイターの Now Assist	リンク
CSM の Now Assist	リンク
CSM の Now Assist	リンク
FSM の Now Assist	リンク
FSO の Now Assist	リンク
HR サービスデリバリー (HRSD) 向け Now Assist	リンク
IT Operations Management (ITOM) の Now Assist	リンク
IT Service Management (ITSM) の Now Assist	リンク
Security Operations の Now Assist	リンク
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist	リンク
電気通信、メディア、および技術 (TMT) の Now Assist	リンク
仮想エージェントの Now Assist	リンク
Now Mobile アプリ	リンク
Omnichannel Callback	リンク
オンコールスケジューリング	リンク
オペレーショナルレジリエンス	リンク
オペレーショナルテクノロジー変更管理	リンク
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理	リンク
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 v2	リンク
オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理	リンク

製品	統合リリースノート
オペレーショナルテクノロジーマネージャー	リンク
オペレーショナルテクノロジー要求管理	リンク
オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応	リンク
オポチュニティ管理	リンク
Opportunity Marketplace (オポチュニティマーケットプレイス)	リンク
注文管理	リンク
カスタマーサービス管理 (CSM) 向け注文管理	リンク
電気通信、メディア、テクノロジー向け注文管理	リンク
パスワードリセット	リンク
Patient Support Services	リンク
パフォーマンスアナリティクス	リンク
パフォーマンスアナリティクス ITSM ダッシュボード	リンク
個人向け保険請求	リンク
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	リンク
プラットフォームアナリティクスワークスペース	リンク
プラットフォームセキュリティ	リンク
ワークフロースタジオのプレイブック	リンク
ポリシーとコンプライアンス管理	リンク
ポートフォリオ計画	リンク
予測インテリジェンス	リンク

製品	統合リリースノート
Pre-Visit Management	リンク
プライバシー管理	リンク
プロアクティブエンゲージメント	リンク
プロアクティブプロンプト	リンク
Proactive Service Experience Workflows	リンク
Proactive Service Experience Workflows (テクノロジー)	リンク
Proactive Service Experience Workflows (電気通信)	リンク
プロアクティブトリガー	リンク
問題管理	リンク
プロセスオートメーションデザイナー	リンク
プロセスマイニング	リンク
プロセス最適化	リンク
調達サービス管理	リンク
製品カタログ管理および Pricing Management	リンク
プロジェクトポートフォリオ管理	リンク
プロジェクトワークスペース	リンク
公共機関デジタルサービス	リンク
見積管理	リンク
Redox Inbound Integration	リンク
規制変更管理	リンク

製品	統合リリースノート
リリース管理	リンク
レポート	リンク
リソース管理ワークスペース	リンク
レスポンスダッシュボード	リンク
Retail Operations (リテールオペレーション)	リンク
ロボティックプロセスオートメーション (RPA) ハブ	リンク
RPA Hub	リンク
販売契約管理	リンク
Scaled Agile Framework (SAFe)	リンク
スクリプティング	リンク
セキュリティセンター	リンク
セキュリティインシデントレスポンス	リンク
セキュリティポスチャコントロール	リンク
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	リンク
サービスブリッジ	リンク
サービスブリッジ (テクノロジー)	リンク
サービスブリッジ (電気通信)	リンク
サービスビルダー	リンク
サービスカタログ	リンク
Microsoft Defender for IoT のサービスグラフコネクタ (Azure)	リンク

製品	統合リリースノート
Microsoft Defender for IoT のサービスグラフコネクタ (オンプレミス管理コンソール)	リンク
Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合	リンク
ServiceNow IDE	リンク
ServiceNow SDK	リンク
IT Service Management のサービスオペレーションワークスペース	リンク
Service Operations Workspace for ITSM	リンク
サービスポータル	リンク
サービスポートフォリオ管理	リンク
サービスリライアビリティ管理	リンク
サイドバー	リンク
サイトマップジェネレーター	リンク
スキルインテリジェンス	リンク
スキル管理	リンク
スマートアセスメントエンジン	リンク
ソフトウェア資産管理	リンク
ソーシングと調達オペレーション	リンク
SPM ベンチマーク	リンク
Strategic Planning	リンク
スタジオ	リンク

製品	統合リリースノート
サブスクリプション管理	リンク
サプライヤーライフサイクル管理	リンク
サプライヤーライフサイクルオペレーション	リンク
システムクローン	リンク
システムアップデートセット	リンク
テーブルビルダー	リンク
App Engine のテーブルビルダー	リンク
人材開発	リンク
人材開発 Core	リンク
ITSM のタスクインテリジェンス	リンク
テクノロジープロバイダーサービス管理	リンク
通信ネットワークインベントリ	リンク
通信事業サービス管理	リンク
通信事業サービスオペレーション管理	リンク
テーマビルダー	リンク
サードパーティリスク管理	リンク
脅威インテリジェンスセキュリティセンター	リンク
UI ビルダー	リンク
UI コンポーネント CLI 拡張機能	リンク
ユニバーサル要求	リンク

製品	統合リリースノート
アップグレードセンター	リンク
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス	リンク
ワクチン接種アドミニストレーション管理	リンク
ベンダー管理ワークスペース	リンク
Verifi スポーク	リンク
仮想エージェント	リンク
Visa スポーク	リンク
ビジュアルタスクボード	リンク
脆弱性対応	リンク
Microsoft Defender for IoT の脆弱性対応 (オンプレミス管理コンソール)	リンク
脆弱性対応統合	リンク
脆弱性対応と Claroty CTD の統合	リンク
Microsoft Defender for IoT との脆弱性対応の統合	リンク
Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (Azure)	リンク
ウォークアップエクスペリエンス	リンク
ワークフロースタジオ	リンク
カスタマーサービスのワークフォース最適化	リンク
HR のワークフォース最適化	リンク
ITSM のワークフォース最適化	リンク

製品	統合リリースノート
ワークスペース	リンク
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	リンク

製品別の機能と変更

このリリースの新機能と変更について製品別に紹介します。

Xanadu の新製品

Xanadu リリースには、新しい製品が含まれています。

従業員サービス管理 (ESM)

- [医療向け HR サービスデリバリー リリースノート](#)
- [ジャーニーデザイナー リリースノート](#)
- [Leader Hub リリースノート](#)
- [スキルインテリジェンスリリースノート](#)

フィールドサービス管理 (FSM)

[フィールドサービス管理 \(FSM\) の Now Assist リリースノート](#)

ファイナンシャルサービスオペレーション

- [Dispute Content Pack for US Regulations \(米国の規制に関する異議申し立てコンテンツパック\) リリースノート](#)
- [Mastercard の紛争ルールコンテンツパック リリースノート](#)
- [個人向け生命保険請求 リリースノート](#)
- [FSO の Now Assist リリースノート](#)
- [Verifi スポーク リリースノート](#)

ガバナンス、リスク、コンプライアンス

[スマートアセスメントエンジン リリースノート](#)

IT Operations Management (ITOM)

[サービスリライアビリティ管理 リリースノート](#)

IT Service Management

[プロアクティブエンゲージメント リリースノート](#)

ハイパーオートメーションとローコード

[ServiceNow IDE リリースノート](#)

オペレーショナルテクノロジー

- [オペレーショナルテクノロジー要求管理 リリースノート](#)
- [脆弱性対応 と Microsoft Defender for IoT \(Azure\) の統合リリースノート](#)

リテールオペレーション

[リテールオペレーション リリースノート](#)

セールスと注文管理

- [リード管理 リリースノート](#)
- [販売契約管理 リリースノート](#)

Security Operations

[脅威インテリジェンスセキュリティセンター リリースノート](#)

電気通信、メディア、およびテクノロジー

- [Field Service Management for Telecommunication リリースノート](#)
- [通信事業、メディア、テクノロジー \(TMT\) の Now Assist リリースノート](#)

更新された機能と製品

他にも Xanadu リリースで変更および更新された製品があります。詳細については、製品領域別にまとめられたリリースノートのトピックを参照してください。

API リリースノート

ServiceNow API を使用すると、カスタムアプリケーションとエクスペリエンスをビルドできます。Xanadu リリースでは API の拡張と更新が行われています。

Xanadu リリースでの API の特長

- スクリプトでサーバー側の JavaScript API を使用して、アプリケーションの機能を変更します。
- フォームのロード時、フォームの送信時、フィールド値の変更時など、クライアントベースのイベントが発生するたびにクライアント API を実行します。
- インバウンド REST API を使用して、アプリケーション内のさまざまな ServiceNow 機能とやり取りします。

詳細については、「[API implementation and reference](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Xanadu での新しいスコープ対象クラスと既存のスコープ対象クラスへの追加メソッド

クラス	メソッド
CMDBQBScopedScriptableAPI - Scoped	• <code>createReport()</code> • <code>deleteQuery()</code> • <code>getSavedQueryExecutionDetails()</code> • <code>saveQuery()</code> • <code>updateQuery()</code>
HistoryWalker - Scoped, Global	<code>walkTo(チェックポイント)</code>
NumberFormatter - Scoped, Global	• <code>parseWithLocale()</code> • <code>parseWithSeparators()</code>

Xanadu での新しいスコープ対象クラスと既存のスコープ対象クラスへの追加メソッド (続く)

クラス	メソッド
PDAutomationProvider - Scoped, Global	• activateProcess() • deactivateProcess() • duplicateProcess()
PDFGenerationAPI - Scoped, Global	redact()
PersonalAuthAPI - Scoped	• PersonalAuthAPI() • getInitiatorURL() • isTokenValid() • revokeToken()
PlaybookExperience - Scoped	restartPlaybook()

Xanadu での新しいグローバルクラスと既存のグローバルクラスへの追加メソッド

クラス	メソッド
CMDBQueryBuilderAPI - Global	• createReport() • deleteQuery() • saveQuery() • updateQuery()
DynamicSchemaAPI - Global	• clearDynamicCategoryCache() • clearDynamicChoiceSetCache() • clearDynamicAttributeGroupCache() • clearDynamicAttributeGroupCacheItem() • clearDynamicCategoryCacheItem() • clearDynamicChoiceSetItem() • get()
GlideAggregate - Global	• getDynamicAttributeValue() - 2 つの署名 • getDynamicAttributeDisplayValue() - 2 つの署名
GlideDate - Global	parseDate()
GlideDynamicAttributeStore - Global	• clear() • getDisplayValue()

Xanadu での新しいグローバルクラスと既存のグローバルクラスへの追加メソッド (続く)

クラス	メソッド
	• getValue() • setDisplayValue() • setDynamicAttributeDisplayValue() • setDynamicAttributeValue() • setDynamicAttributeValues() • setValue() • toString()
GlideElementDynamicAttributeStore - Global	• getDynamicAttribute() • getDynamicAttributeDisplayValue() • getDynamicAttributeValue() • setDynamicAttributeValue() • setDynamicAttributeValues() • setDynamicAttributeDisplayValue() • setDynamicAttributeDisplayValues()
GlideRecord - Global	• getDynamicAttribute() - 2 つの署名 • getDynamicAttributeValue() - 2 つの署名 • getDynamicAttributeDisplayValue() - 2 つの署名 • setDynamicAttributeValue() - 2 つの署名 • setDynamicAttributeDisplayValue() - 2 つの署名 • setDynamicAttributeValues()
HistoryWalker - Scoped, Global	walkTo(チェックポイント)
NumberFormatter - Scoped, Global	• parseWithLocale() • parseWithSeparators()
PDFGenerationAPI - Scoped, Global	redact()

Xanadu での新しいクライアントモバイル **API** と既存のクライアントモバイル **API** への追加メソッド

クラス	メソッド
m_form - Client	• addErrorMessage() • addInfoMessage() • getValue() • setAffectedInputs() • setValue()
MobileScriptIncludeCaller - Client	• MobileScriptIncludeCaller() • addParam() • call()

Xanadu の新しい **REST API**

クラス	メソッド
Cloud Services Catalog API	• GET /now/cmp_catalog_api/itemsbyclass • GET /now/cmp_catalog_api/itemsbyrb • GET /now/cmp_catalog_api/services • GET /now/cmp_catalog_api/stacks • GET /now/cmp_catalog_api/status • POST /now/cmp_catalog_api/submitoprequest • POST /now/cmp_catalog_api/submitrequest
Proactive Engagement API	CREATE /api/sn_pren/self_remediation/experience_issue/create

ServiceNow ストアでの新しいクライアントクラスと、既存のクライアントクラスへの追加メソッド

クラス	メソッド
openFrameAPI - Client	getAWAAgentPresence()

ServiceNow ストアでの新しいスコープ対象クラスと既存のスコープ対象クラスへの追加メソッド

クラス	メソッド
sb - Scoped, Global	• archive() • checkout()

ServiceNow ストアでの新しいスコープ対象クラスと既存のスコープ対象クラスへの追加メソッド (続く)

クラス	メソッド
	• publish() • retire()

ServiceNow ストアでの新しいグローバルクラスと既存のグローバルクラスへの追加メソッド

クラス	メソッド
sb - Scoped, Global 🔗	• archive() • checkout() • publish() • retire()

ServiceNow ストアの新しい **REST API**

クラス	メソッド
Proactive Engagement API 🔗	CREATE /sn_pren/self_remediation/experience_issue/create
Product Catalog Open API 🔗	• DELETE /sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id} • DELETE /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id} • PATCH /sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id} • PATCH /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id}
Resource Inventory Open API 🔗	ケーブル、ストランド、トポロジの各テーブルのサポートが追加されました。この変更は、@type、id、および resourceRelationship.resource プロパティの説明に反映されます。 • DELETE /sn_ni_core/resource/{id} • GET /sn_ni_core/resource • GET /sn_ni_core/resource/{id} • PATCH /sn_ni_core/resource/{id} • POST /sn_ni_core/resource • POST /sn_ni_core/resourceinventoryviatemplate
Service Test Management Open API 🔗	• GET /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest • GET /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest/{id}

ServiceNow ストアの新しい REST API (続く)

クラス	メソッド
	• GET /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification • GET /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/{id} • PATCH /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest/{id} • PATCH /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/{id} • POST /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest • POST /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification
TISC API 	POST /sn_sec_tisc/threat_intel_data/add_observables

このリリースでの変更

Xanadu で変更されたスコープ対象クラス

クラス	メソッド
HistoryWalker - Scoped, Global 	使用する History Walker 実装のタイプを指定するためのパラメーターが追加されました。 HistoryWalker()

Xanadu で変更されたグローバルクラス

クラス	メソッド
GlideAggregate - Global 	動的スキーマのサポートが追加されました。 • addAggregate() • addHaving() • getValue() • groupBy() • orderBy() • orderByAggregate()
GlideRecord - Global 	動的スキーマのサポートが追加されました。 • addQuery() • getDisplayValue() • getValue() • orderBy() • orderByDesc()

Xanadu で変更されたグローバルクラス (続く)

クラス	メソッド
	• <code>setDisplayValue()</code> • <code>setValue()</code>
HistoryWalker - Scoped, Global	使用する History Walker 実装のタイプを指定するためのパラメーターが追加されました。 <code>HistoryWalker()</code>

Xanadu で変更された **REST API**

クラス	メソッド
AWA Manual Assignment API	新しい要求本文パラメーターが追加されました。 POST <code>/awa/workitems/{work_item_sys_id}/assignments</code>
Continuous Integration/Continuous Delivery (CICD) API	テストスイートをパフォーマンステストとして実行するか、クラウドランナーで実行するかを指定するための新しいオプションのクエリパラメーターが追加されました。 POST <code>/sn_cicd/testsuite/run</code>

ServiceNow ストアの変更されたスコープ対象クラス

クラス	メソッド
LeadtoCashCore - Scoped	LeadtoCashCore スクリプトインクルードは、再構成のユースケースをサポートするように拡張されています。 • <code>createInstance()</code> - エンティティレコードがアクティブか非アクティブかを識別する <code>_state</code> を返します。 • <code>delta()</code> - <code>additionalParams</code> では、ソースと <code>dirtyJSON</code> で比較する属性を無視する機能がサポートされるようになりました。 • <code>effect()</code> - <code>additionalParams</code> では、辞書フィールド名の代わりにコンテキスト変数キーを提供する機能がサポートされるようになりました。さらに、<code>effect()</code> は、エンティティレコードがアクティブまたは非アクティブな状態のどちらであるかを識別する <code>_state</code> パラメーターを返します。

ServiceNow ストアの変更されたクライアント **API**

クラス	メソッド
openFrameAPI - Client	<code>workitem_rejected</code> および <code>workitem_accepted</code> 応答ペイロードが追加されました。 <code>subscribe()</code>

ServiceNow ストアの変更された REST API

クラス	メソッド
Service Order Open API 	- すべてのエンドポイントで、名前空間とエンドポイントのパスが <code>sn_ind_tmt_ord</code> から <code>sn_tmf_api</code> に変更されました。 - 次のメソッドは、<code>href</code> と <code>orderDate</code> の 2 つの新しいパラメーターを返します。 - GET <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder</code> - POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder/cancelServiceOrder</code> - サービスオーダーオープン API – POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder</code> - POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder/outboundResponse</code>
Product Catalog Open API 	- すべてのエンドポイントで、名前空間とエンドポイントのパスが <code>sn_ind_tmt_ord</code> から <code>sn_tmf_api</code> に変更されました。 <code>productOffering</code> メソッドは、2 つの新しいオプションパラメーター <code>href</code> と <code>lifecycleStatus</code> を返します。 - GET <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering</code> - GET <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}</code> - PATCH <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}</code> - POST <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering</code> <code>productSpecification</code> メソッドは、3 つの新しいオプションパラメーター、<code>isBundle</code>、<code>href</code>、<code>lifecycleStatus</code> を返します。 - GET <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification</code> - GET <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id}</code> - PATCH <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id}</code> - POST <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification</code>
WSD Extra Service Request API 	新しい要求本文パラメーター <code>reservationDateTimeChanged</code> が追加されました。 GET <code>/sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/{sys_ids}</code>
WSD Reservable API 	新しいクエリパラメーター <code>reservation_start_time</code> が追加されました。 GET <code>/sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/{sys_ids}</code>
WSD Reservable V2 API 	新しいクエリパラメーター <code>reservation_start_time</code> が追加されました。 POST <code>/sn_wsd_rsv/v2/reservable/list_reservables</code>

アクティベーション情報

デフォルトでは、次の API が利用可能です。

- クラウドサービスカタログ API
- *DynamicSchemaAPI*
- *GlideAggregate*
- *GlideDate*
- *GlideDynamicAttributeStore*
- *GlideElementAttributeStore*
- *GlideRecord*
- *HistoryWalker*
- *NumberFormatter*
- *openFrameAPI*
- *PDAutomationProvider*
- *PDFGenerationAPI*
- *PlaybookExperience*
- 製品カタログオープン API
- サービス注文オープン API

次の API はプラグインのアクティブ化が必要です。

- *AWA Manual Assignment API* を使用するには、高度な作業アサイン (com.glide.awa) プラグインをアクティブ化する必要があります。
- *PersonalAuthAPI* を使用するには、個人認証 (com.snc.sn_ihub_personal_auth) プラグインをアクティブ化する必要があります。
- プロアクティブエンゲージメント API を使用するには、プロアクティブエンゲージメント (proactive-engagement) プラグインをアクティブ化する必要があります。
- *PSBPublicAPIUtil* を使用するには、サービスブリッジ for Providers アプリケーション (sn_sb_pro) と サービスブリッジ Base (sn_sb) プラグインをアクティブ化する必要があります。
- *Resource Inventory Open API* を使用するには、Customer Network Inventory Core アプリケーション (com.app-ni-core) プラグインをアクティブ化する必要があります。
- *Service Test Management Open API* を使用するには、Customer Service Problem Management (com.sn_sprb_mgmt) プラグインをアクティブ化する必要があります。
- *WSD Extra Service Request API* を使用するには、ワークプレイス予約管理 (com.sn_wsd_rsv) プラグインをアクティブ化する必要があります。
- *WSD 予約可能 API* を使用するには、ワークプレイス予約管理 (com.sn_wsd_rsv) プラグインをアクティブ化する必要があります。
- *WSD 予約可能 V2 API* を使用するには、ワークプレイス予約管理 (com.sn_wsd_rsv) プラグインをアクティブ化する必要があります。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) リリースノート

ServiceNow エンタープライズアーキテクチャ は、戦略チームと運用チームを統合し、組織がビジネス目標を達成できるようにします。エンタープライズアーキテクチャ は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) の特長

- ServiceNow[®] アプリケーションポートフォリオ管理 製品は ServiceNow[®] エンタープライズアーキテクチャ[®] へと拡張されています。
- 一部の アプリケーションポートフォリオ管理 モジュールは廃止され、[すべて] メニューからナビゲーションが削除されました。ただし、廃止されたすべてのモジュールは エンタープライズアーキテクチャワークスペース 内で使用できます。これらの機能を活用するには、エンタープライズアーキテクチャワークスペース を使用する必要があります。

注:

既存のお客様は、これらのナビゲーションリンクを引き続き使用できます。ただし、新規アクティベーションのお客様は、[すべて] メニューからナビゲーションを使用することはできません。

- アプリケーション階層の図を作成してアーキテクチャアーティファクトに関連付け、エンタープライズアーキテクチャワークスペース の エンタープライズモデリングと可視化 機能を使用して、ビジネスとの整合性を備えた IT の将来の状態モデリングを計画します。
- デジタルインターフェイスと CMDB API の間に 1 対多の関係を作成します。どのデジタル統合とインターフェイスがどの API を使用しているかを確認します。展開先の環境を特定します。展開された API をグループ化し、関連する API の設計面を記述するデジタルインターフェイスに関連付けます。
- エンタープライズアーキテクチャワークスペースから テクノロジー参照モデル (TRM) 製品と TRM 製品ライフサイクルを追加または要求します。

「」を参照してください。 [エンタープライズアーキテクチャ](#) 詳細を参照します。

Xanadu リリースの新機能

Exploring Enterprise Modeling and Visualization in the EA Workspace

エンタープライズアーキテクチャワークスペース の エンタープライズモデリングと可視化 機能を使用して、アプリケーション階層の図を作成します。図をアーキテクチャアーティファクトに関連付け、ビジネスに合わせて IT の将来の状態モデリングを計画できます。モデリング図を作成すると、ステークホルダーが組織の複雑さを理解するのに役立ちます。Enterprise Modeling and Visualization を使用して、次のタスクを実行します。

- 使用可能な形状を使用してモデリング図を作成および更新します。
- [図を作成] メニューオプションを使用して、[ビジネスアプリケーション] ビューからダイアグラムを作成します。
- 図形を追加し、図形間の関係を作成します。
- 図形に関連レコードを追加します。
- 図形、リレーションシップ、および図全体をリポジトリに同期します。
- キャンバスから図形を削除します。
- 図の作成時にアーキテクチャカテゴリを選択します。
- 図を他のユーザーまたはグループと共有し、図のアクセスレベルを定義します。
- 既存の図を複製するか、新しいバージョンを作成します。
- 新しい一般的な図形が追加されます。

- ドラフト図を保存し、承認のために送信します。
- ロール、ユーザー、およびグループの エンタープライズモデリングと可視化 メニューアイテムのアクセス権を設定します。

技術ポートフォリオ

TRM カタログページを使用して、TRM 製品または TRM 製品ライフサイクルを要求または追加します。カテゴリと製品名でグループ化された TRM 製品を表示します。

デジタル統合とインターフェイスの機能強化

- デジタル統合またはデジタルインターフェイスに関連付けられた情報オブジェクトと SDLC コンポーネントを表示します。
- デジタルインターフェイス、デジタル統合、およびビジネスアプリケーションにアサインされた認証情報を表示します。
- デジタル統合のプロバイダーデジタルインターフェイスに対して、プロバイダービジネスアプリケーションの代わりにプロバイダー会社を設定します。

ポートフォリオセクションの機能拡張

ポートフォリオセクションが再構築され、新しいモジュールと機能が追加されました。新しい構造は次のとおりです。

- ビジネスアーキテクチャ
 - 事業部門
 - 部門
 - ゴール
 - ビジネスケイパビリティ
 - ビジネスプロセス
 - デマンド
- アプリケーションポートフォリオ
 - ビジネスアプリケーション
 - アプリケーションサービス
 - デジタル統合
 - デジタルインターフェイス
- 技術ポートフォリオ
 - 検出済みテクノロジー
 - 技術リスク
 - TPM ログ
 - テクノロジー参照モデル製品
 - 技術的負債
- 情報ポートフォリオ
 - データドメイン
 - 情報オブジェクト
 - アーキテクチャアーティファクト

- Architectural Artifact Versions (アーキテクチャアーティファクトのバージョン)
- 図
- 自分のエンティティ
 - 自分のビジネスレイバビリティ
 - 自分のビジネスプロセス
 - 自分のビジネスアプリケーション
 - 自分のアプリケーションサービス
 - 自分の情報オブジェクト
 - 自分のアーキテクチャアーティファクト
 - 自分のテクノロジー参照モデル製品
 - 自分のデジタル統合
 - 自分のデジタルインターフェイス

セットアップセクションの機能拡張

Enterprise Modeling and Visualization の構成は次のとおりです。

- 形状ライブラリ
- モデリングメニューオプション
- エンティティ
- 関係性

Connect a digital interface with the CMDB API in the EA Workspace

デジタルインターフェイス関連リストから、デジタルインターフェイスと CMDB API の間の関係を作成します。どのデジタル統合がどの API を使用しているかを確認します。展開されている環境を検索し、展開された API をグループ化します。

Working with the Enterprise Architecture Workspace dashboard

次のウィジェットは、エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードの [TCO] タブで利用できます。

- **TCO** スコア別のビジネスアプリケーション
- **FY:Q** (現在の四半期) の原価費目で予定されている処分別のビジネスアプリケーションの総所有コスト (**TCO**)
- **FY:Q** (現在の四半期) のコストが最も高い上位 **10** 件のビジネスアプリケーション

UI の変更

エンタープライズアーキテクチャワークスペース の左側ナビゲーションの [技術ポートフォリオ] にアイコンが追加されます。

デジタル統合とインターフェイス

デジタル統合レコードとデジタルインターフェイスレコードの [情報オブジェクト] と [SDLC コンポーネント] に新しいタブが追加されました。

[ポートフォリオ] セクション

[ポートフォリオ] セクションに新しいモジュールと機能が追加されました。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードページ

[エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボード] ページに、[ビジネスポートフォリオ] タブが追加されました。詳細については、「[Working with the Enterprise Architecture Workspace dashboard](#)」を参照してください。

廃止

Xanadu リリース以降、一部のモジュールが エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。廃止されたモジュールへのナビゲーションリンクは、[すべて] メニューから削除されています。既存のお客様の場合は、これらのナビゲーションリンクを引き続きご利用いただけます。しかし、アクティベーションを初めてご利用の場合、[すべて] メニューのナビゲーションリンクを使用してこれらのモジュールに移動することはできません。廃止されたすべてのモジュールは、エンタープライズアーキテクチャワークスペース 内で利用できます。エンタープライズアーキテクチャワークスペース を使用してこれらの機能を活用することをお勧めします。廃止されたモジュールは次のとおりです。

- アプリケーションポートフォリオ管理ホーム
- アプリケーションポートフォリオ
- アプリケーションポートフォリオ分析
- アーキテクチャアーティファクト
- ビジネスアプリケーションライフサイクル - サービス要求
- アプリケーション評価
- ケイパビリティの評価
- 情報ポートフォリオ
- テクノロジーポートフォリオ管理
- テクノロジー参照モデル
- 管理
 - ビジネスプロセス
 - ビジネスケイパビリティ
 - アプリケーションファミリー
 - アプリケーションカテゴリグループ
 - アプリケーションカテゴリ
 - アプリケーションインジケータ
 - 採点プロファイル
 - バブルチャート
 - デマンドアクション
 - ポートフォリオ

アクティベーション情報

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) は、エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できます。これには個別のサブスクリプションが必要です。詳細については、次を参照してください。 [エンタープライズアーキテクチャ](#)

対話型インターフェース リリースノート

対話型インターフェース には、Xanadu リリースの機能拡張と変更が含まれています。

更新プログラムは、Now Platform上の次の 対話型インターフェース アプリケーションで利用できます。

エージェントチャット リリースノート

ServiceNow エージェントチャット アプリケーションを使用すると、エージェントはチャットを通じてエンドユーザーと直接やり取りできます。エージェントチャット は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの エージェントチャット の特長

エージェントチャット でユーザーとやり取りしながら、Now Assist をトリガーして推奨応答を生成します。

詳細については、「[Agent Chat](#)」を参照してください。



重要:

エージェントチャット は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Using Agent Chat

エージェントチャット でユーザーとやり取りしているときに Now Assist をトリガーして、推奨される応答を生成します。推奨される応答を編集したり、Now Assist を短くしたり長くしたりすることができます。

アクティベーション情報

エージェントチャット は、エージェントチャット プラグイン (com.glide.interaction.awa) をアクティブ化すると利用できる Now Platform 機能です。詳細については、「[Configuring Agent Chat](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Virtual Agent

人工知能を利用したビルド済みの会話機能を備えた、使いやすいメッセージングインターフェイスを従業員と顧客に提供します。

仮想エージェントの Now Assist リリースノート

仮想エージェント アプリケーションの ServiceNow Now Assist では、会話のエクスペリエンスに生成 AI のスキルを使用します。仮想エージェント の Now Assist では、大規模言語モデル (LLM) を使用して、セルフサービスワークフローの成功を促す自然言語の会話エクスペリエンスを作成することができます。仮想エージェント の Now Assist は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 仮想エージェント の Now Assist の特長

仮想エージェント アドミンのガイド付きセットアップの Now Assist の機能拡張。

詳細については、「[Now Assist in Virtual Agent](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

アドミンガイド付きセットアップ: [Configuring Now Assist in Virtual Agent](#)

アシスタントリストから 仮想エージェント を削除します。

ポータルでの LLM ベースの 仮想エージェント の公開を許可します。

優先メッセージングチャネルと統合して 仮想エージェント を表示します。

[レビュー] ページ内から プロアクティブトリガー をインストールします。

仮想エージェント での LLM 会話のアクション可能な通知とアクション不可能な通知をサポートします。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Now Assist を 仮想エージェント にインストールします。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

[Now Assist in Virtual Agent](#) では、次の Now Assist 製品の少なくとも 1 つのライセンスが必要です。

- ServiceNow[®] CSM の Now Assist
- ServiceNow[®] HR サービスデリバリー (HRSD) 向け Now Assist
- ServiceNow[®] IT Service Management (ITSM) の Now Assist

ブラウザー要件

仮想エージェント の Now Assist は、Google Chrome や Microsoft Edge などのさまざまなブラウザをサポートしています。詳細については、「[ブラウザサポート](#)」を参照してください。

ローカリゼーション情報

[Dynamic Translation](#) は Now Assist 仮想エージェント の会話でサポートされています。詳細については、「[Enable translation for Now Assist applications](#)」および「」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Now Assist[®]

ServiceNow Now Assist は、会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率性を向上させるために設計された生成 AI を使用します。

Now Assist in AI Search[®]

AI 検索 ServiceNow Store アプリケーションでの Now Assist は、検索機能を Now LLM サービス 生成 AI モデルと組み合わせることで、ユーザー検索の質問に対し、関連するナレッジ記事の AI によって生成されたアクション可能なサマリーを提示します。

Virtual Agent[®]

ServiceNow 仮想エージェント は、企業の生産性を向上させます。人工知能を利用したビルド済みの会話機能を備えた、使いやすいメッセージングインターフェイスを使用して従業員と顧客がセルフサービスできるようにすることで転送を増加します。

サイドバー リリースノート

ServiceNow サイドバー アプリケーションを使用すると、エージェントと該当分野のエキスパートが協力してユーザーの問題に対処できます。サイドバー は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの サイドバー の特長

- 個々のユーザーに加えて、ユーザーグループを サイドバー ディスカッションに追加できるようになりました。
- エージェントの場合は、モバイルプラットフォーム で サイドバー を使用します。
- インタラクションやタスクベースのレコードだけでなく、すべてのレコードタイプで サイドバー ディスカッションを作成します。
- サイドバー にアクセスする場所に応じて、異なるエキスパートファインダーサービスを使用します。
- クイックアクションを使用してチャットの要約を生成します。

詳細については、「[Sidebar](#)」を参照してください。

重要:

サイドバー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

サイドバーディスカッションへのユーザーグループの追加

個々のユーザーに加えて、ユーザーグループを サイドバー ディスカッションに追加できるようになりました。

サイドバーの使用日時 モバイルプラットフォーム エージェント向け

エージェントの場合は、モバイルプラットフォームで利用できるようになった サイドバー を使用します。

すべてのレコードタイプでサイドバーディスカッションを作成

インタラクションやタスクベースのレコードだけでなく、すべてのレコードタイプで サイドバー ディスカッションを作成します。

でのさまざまなエキスパートファインダーサービスの使用 サイドバー

サイドバー にアクセスする場所に応じて、異なるエキスパートファインダーサービスを使用します。

チャットの要約のクイックアクションを使用

クイックアクションを使用してチャットの要約を生成します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、サイドバー をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

仮想エージェント リリースノート

ServiceNow 仮想エージェント アプリケーションは、会話型メッセージングインターフェイスを介してユーザーを支援するため、ユーザーが情報を迅速に取得して一般的な作業を実行するのに役立つ

自動化された会話を設計してビルドできます。仮想エージェント は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 仮想エージェント の特長

- ServiceNow Now Assist for 仮想エージェント を Microsoft Copilot と統合して、Microsoft Teams テナントを離れることなく IT 関連の電話をかけ、タスクを解決できるようにします。
- Microsoft Teams との対話型統合 および Conversational Integration with Slack で 仮想エージェント 会話の Now LLM サービス サポートを有効にします。
- 大規模言語モデル (LLM) トピックの説明を既存の 自然言語理解 (NLU) (NLU) 発言と比較してレビューおよびテストし、仮想エージェント 通知と プロアクティブトリガー を移行し、NLU の NLU 語彙ソースを LLM トピック移行ワークフローに移行します。
- プロバイダーの受信要求の One Extend レート制限を構成します。

詳細については、「[Virtual Agent](#)」を参照してください。

注:

アプリとのインタラクションを含むアプリ内アクティビティの集計を追跡することで、パフォーマンスとユーザーエクスペリエンスが向上します。この追跡は、個人情報ではなく、集計された技術情報に焦点を当てています。

Xanadu リリースの新機能

Virtual Agent のクイックスタートテスト

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、仮想エージェント が想定どおりに機能していることを確認します。仮想エージェント をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

静的および動的選択肢コントロールのリッチテキスト: [Static Choice user input control](#) および [Dynamic Choice user input control](#)

ServiceNow 仮想エージェントデザイナー で静的および動的選択肢ノードを作成する場合は、リッチテキストオプションを使用します。

仮想エージェント Web クライアントブランディング: [Set up your Virtual Agent bot's branding](#)

チャットウィンドウの [上に新規メッセージ (New Messages Above)] バナーと [下に新規メッセージ (New Messages Below)] バナーの色をカスタマイズします。

LLM トピックタイプの関連付け: [Create a Virtual Agent topic](#)

LLM アシスタントをセットアップトピック、トピックブロック、およびカスタムコントロールに関連付けます。

LLM トピックのテスト

アシスタントを選択して [すべてのアクティブなトピックをテスト (Test All Active Topics)] を選択するときに、仮想エージェント (VA) テストパネルでアシスタントを定義します。

LLM Text bot response control

LLM テキストボット応答コントロールを使用して、LLM トピックディスカバリーを使用した会話でメッセージを生成します。

Conversational Analytics dashboard in Platform Analytics experience

ServiceNow プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスの対話型アナリティクスダッシュボードは、Government Community Cloud (GCC) などのデータ規制市

場環境のコンプライアンス要件を満たしています。このダッシュボードには、豊富な可視化と詳細な分析のためのインジケータとブレイクダウンが含まれています。ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。すべて > 対話型インターフェース > 分析。

新しいシステムプロパティ

`com.glide.cs.notification.create_llm_actions_after_topic_migration`
および

`com.glide.cs.proactive_trigger.create_llm_actions_after_topic_migration`
システムプロパティを使用して、完全なトピック移行ワークフローを完了した後に仮想エージェント通知とプロアクティブトリガーのアクションを作成するかどうかを決定します。

NLU から LLM トピックへの移行の機能拡張

- NLU で LLM トピック移行ワークフローに新しく移行された LLM トピックを公開した後で、[接続の確認 (Review connections)] ステップで仮想エージェント通知とプロアクティブトリガーのアクションを移行します。
- [説明をレビュー (Review descriptions)] ステップで、既存の NLU 発言に対して LLM トピックの説明をレビュー、編集、およびテストします (利用可能な場合)。[説明をレビュー (Review descriptions)] ステップは、移行の後に、NLU から LLM へのトピック移行ワークフローでの公開の前に発生します。
- NLU で設定された語彙ソースに応じて、NLU 語彙ソースを動的選択肢ノードまたは静的選択肢ノードのいずれかに自動的に移行します。

最大待機時間キューにより LLM トピックの選択が可能

仮想エージェント会話の Now Assist 中に最大待機時間に達した後に選択される LLM 対応トピックを選択します。ServiceNow 高度な作業アサイン キュートリガーは、[トリガータ입] フィールドの値が [最大待機 (**Max Wait**)] で、仮想エージェントトピックを選択するように求められた場合は常に、LLM 対応トピックをサポートします。

Catalogs for Virtual Agent

わかりやすい言葉を使用して、仮想エージェントチャットでカタログ macroponent からサービスまたは製品を検索して注文します。ビジネスのブランディングに合わせて、カタログの外観をカスタマイズします。

Integrating Now Assist in Virtual Agent with Microsoft Copilot

自己構成ボットを使用して Microsoft Copilot に接続します。自己構成ボットを Microsoft Copilot と統合するプロセスは、自己構成ボットを Microsoft Teams と統合するプロセスと同様です。

仮想エージェントの Now Assist と統合されたときの Microsoft Copilot は、ServiceNow コンテキストを理解し、ユーザーを Now Assist にルーティングして、Microsoft Teams 内で ServiceNow 関連の質問やタスクを実行できます。

Integrating Virtual Agent with enterprise messaging apps

Now LLM サービスのチャネルのサポートにより、Microsoft Teams との対話型統合および Conversational Integration with Slack の Now Assist との LLM ベースの会話が可能になります。

Now LLM サービス サポートは、次の機能を備えた新しい ServiceNow AI 検索エクスペリエンスをチャネルで提供します。

- 法的免責事項
- ページネーション

- 検索
- 生成 AI Q&A カード

Configure rate limiting for providers

プロバイダーレベルでレート制限を構成して、規定の時間内に行われた要求の要求フローを制御します。

Xanadu パッチ 3

Xanadu パッチ 3 以降では、次の機能を使用できます。

- コンテンツを更新します。
- コンテンツを更新します。

UI の変更

仮想エージェントデザイナーのトピックテストウィンドウ：[Testing LLM topics !\[\]\(0b5e7e25e8775f7e7e80906ada4f0021_img.jpg\)](#)

コントロールのフィールドの説明のさまざまな UI の更新。

- LLM トピックをテストするときに、追加の手順の条件とスクリプトを変更します。
- LLM 仮想エージェントトピックをテストするときに、[指示を変更 (**Modify Instructions**)] (以前の [プロンプト検出 (**Prompt Discovery**))] タブで、不適切なコンテンツを含む可能性があるメッセージにフラグが付けられるようになりました。

NLU から LLM トピックへの移行ワークフロー

[トピックブロックのレビュー (Review topic blocks)] ステップラベルを [接続のレビュー (Review connections)] に変更し、NLU の LLM ワークフローへの公開ステップの前に、新しい [説明をレビュー (Review descriptions)] ステップを追加しました。

廃止

- Xanadu リリース以降、対話型アナリティクスダッシュボードは、将来の廃止に向けて準備中です。これは非表示になり、インストールできなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\] !\[\]\(3d0946c14414af438def0008e8322b30_img.jpg\)](#)」の記事を参照してください。

アクティベーション情報

仮想エージェント は Now Platform の機能で、Glide 仮想エージェント プラグイン (com.glide.cs.chatbot) をアクティブ化すると利用できます。これには別途サブスクリプションが必要です。詳細については、「[Activate Virtual Agent !\[\]\(7bc43b319a082987e20f7bf78f4bab80_img.jpg\)](#)」を参照してください。

注:

Glide 仮想エージェント プラグインでは、トピックの推奨事項 および対話型アナリティクスアプリが最初にインストールされます。それ以降のこれらのアプリの更新は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

ServiceNow 仮想エージェント Lite は、ServiceNow IT Service Management (ITSM) のお客様が利用できる 仮想エージェント プラットフォームのサブセットです。アクティベーションは不要で、ITSM のお客様も利用できる ITSM 仮想エージェント Lite の会話で動作します。

ブラウザ要件

仮想エージェント は、Google Chrome や Microsoft Edgeなどのさまざまなブラウザをサポートしています。詳細については、「[ブラウザサポート](#)」を参照してください。

ローカリゼーション情報

ServiceNow[®] ローカリゼーションフレームワーク は 仮想エージェント に統合されています。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Now Assist

Now Assist は、会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率性を向上させるために設計された生成 AI を使用します。

Conversational Interfaces Console

ServiceNow 対話型インターフェースコンソールは、仮想エージェントとライブエージェントをインストール、管理、監視して、チャットを通じてユーザーをサポートできます。

Prebuilt Virtual Agent topics, topic blocks, and ServiceNow NLU models

次の ServiceNow ビジネスアプリケーションは、ビルド済み仮想エージェント会話トピック、NLU モデル、および場合によってはトピックブロックを再利用可能なコンポーネントとして提供します。

- ServiceNow[®] カスタマーサービス管理 (CSM)
- ServiceNow[®] フィールドサービス管理 (FSM)
- ServiceNow[®] HR サービスデリバリー (HRSD)
- ServiceNow[®] インスタンスセキュリティセンター
- ServiceNow[®] IT Service Management
- ServiceNow[®] プロジェクトポートフォリオ管理
- ServiceNow[®] ユニバーサル要求

Natural Language Understanding

仮想エージェントは、NLU モデルを作成するための NLU ワークベンチ を提供する 自然言語理解 (NLU) (NLU) アプリケーションと統合します。仮想エージェントはこれらのモデルを使用して、ボット会話でのユーザーの発言、インテント、およびエンティティを認識して処理します。

カスタマーサービス管理 (CSM)[®] リリースノート

ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションの Xanadu リリースには、新規および更新されたアプリケーションと機能が含まれます。

Agent experience for CSM[®] リリースノート

ServiceNow の Agent Experience for CSM は、カスタマーサービスエージェントが顧客の問題や質問を検索、調査、解決するために必要なツールです。Agent Experience for CSM は Xanadu リリースで拡張及び更新されました。

Xanadu リリースでの Agent experience for CSM の特徴

- [メールの作成] モードレスダイアログでヘッダーを展開したり折りたたんだりして、アドレスフィールドを編集したり、メール本文の作業スペースを増やしたりします。
- アイコンを使用すると、テンプレートの適用や添付ファイルの追加などのメールツールにすばやくアクセスできます。
- 最後に保存したメールの下書きがある [メールの作成] モードレスダイアログを開きます。

詳細については、「[CSM 構成可能ワークスペース](#)」を参照してください。

重要:

CSM 構成可能ワークスペース は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Quick start tests for Customer Service Management

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、カスタマーサービス管理 (CSM) が想定どおりに機能していることを確認します。カスタマーサービス管理 (CSM) をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

このリリースでの変更

メール機能強化

[メールの作成] モードレスダイアログでは、次の機能が強化されています。

- [宛先]、[CC]、[BCC]、および [件名] フィールドを含む折りたたみ可能なヘッダー。
- フッターのアイコンを使用すると、現在のメールドラフトの破棄、テンプレートの適用、最近のメールドラフトのリストの表示、添付ファイルの追加を行うことができます。
- 最後に保存されたメールドラフトを表示するために開くことができる [メールの作成] モードレスダイアログ。

廃止

Xanadu リリース以降、CSM エージェントワークスペース は展開、拡張、またはサポートされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。CSM 構成可能ワークスペース  は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、CSM 構成可能ワークスペース をインストールします。[ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ブラウザ要件

ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「[ブラウザサポート](#)」に記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。

アクセシビリティ情報

以下のテンプレートが更新され、リフローに対応できるようになりました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。

- [ケースプレイブック：水平ステージページテンプレート](#)
- [ケースプレイブック：垂直ステージページテンプレート](#)

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見つからないユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細については、「[構成可能ワークスペースのリフロー](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

カスタマーサービス管理 (CSM)

カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションを使用して、外部顧客が必要とするサービスとサポートを提供します。

CSM の Now Assist

ServiceNow CSM の Now Assist アプリケーションを使用して、インタラクションでの顧客とのチャット会話を要約し、ケースの詳細を要約して、ケース解決メモを生成します。

Next Experience UI ビルダー

ネクストエクスペリエンス UI ビルダー は、ローコードの Web ユーザーインターフェイスビルダーです。開発者はこのツールを使用してページをビルドし、ワークスペースとポータル Web ベースのエクスペリエンスを実現できます。ベースシステムとカスタム Web コンポーネントを使用してページをビルドします。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペースは、エージェントが問題を検索、調査、解決する必要があるツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。CSM 構成可能ワークスペースは、顧客に対応してケースを解決するために必要なツールを階層 1 エージェントに提供する、カスタマーサービス固有の実装です。

カスタマー契約とエンタイトルメント リリースノート

ServiceNow カスタマー契約とエンタイトルメント アプリケーションは、カスタマーサービス契約とエンタイトルメントを保存および管理するための基盤となります。カスタマー契約とエンタイトルメントは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの カスタマー契約とエンタイトルメント の特長

契約レコードを通じて対象製品を追跡することで、変更が容易になり、補償の詳細をより明確に把握できるようになります。

詳細については、「[Customer Contracts and Entitlements](#)」を参照してください。

i 重要:

カスタマー契約とエンタイトルメント は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能**サービス契約とエンタイトルメントのワークフローの拡張**

契約レコードを通じて対象製品を直接追跡し、対象の変更と可視化を容易にします。対象製品とは、サービス契約に含まれる特定の製品または注文品目を指します。これらの品目は契約にリンクされ、サービスまたはメンテナンスの対象を定義します。注文管理のエージェントは、契約オフリングの注文がキャプチャされたときに、契約の対象となる製品を選択できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、カスタマー契約とエンタイトルメント をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

カスタマー契約とエンタイトルメントは、カスタマー契約とエンタイトルメント (com.sn_pss_core) プラグインをアクティブ化すると利用できます。そのためには別個のサブスクリプションが必要です。詳細については、「[Configure Customer Contracts and Entitlements](#)」を参照してください。

i 注:

カスタマー契約とエンタイトルメントを有効にすると、新しい契約とエンタイトルメントは新しいデータモデルのみを使用して作成されます。新しいエンタイトルメント検証 API と変更ワークフローは、新しいデータモデルに基づいています。古い契約とエンタイトルメントは引き続き表示できます。

関連する ServiceNow のアプリケーションと機能**フローデザイナー**

ServiceNow ワークフロースタジオ コンポーネントを使用すると、ワークフローの一部として設計され、フローやサブフローの出力または実行状況を確認するために使用されるフローやサブフローを呼び出すことができます。

注文管理

注文エージェントと履行エージェントは、販売契約管理アプリケーションから作成された顧客の注文を履行するためにServiceNow 注文管理を使用できます。

インストールベース管理

ServiceNow インストールベース管理 を使用して、あらゆる業種の顧客による製品の使用または購入を カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションで把握することができます。

Next Experience UI ビルダー

ServiceNow ネクストエクスペリエンス UI ビルダー は、ローコードの Web ユーザーインターフェイスビルダーです。開発者はこのツールを使用してページをビルドし、ワークスペースとポータル Web ベースのエクスペリエンスを実現できます。ベールシステムとカスタム Web コンポーネントを使用してページをビルドします。

Product Catalog Management

ServiceNow 製品カタログ管理 によって製品がカタログとカテゴリに整理されるため、エージェントは製品やサービスを簡単に見つけて見積りに追加できます。

Pricing Management

ServiceNow Pricing Management は見積もりに追加できる製品やサービスの価格を設定する際に便利です。また Pricing Management によって、エージェントが見積もりに含まれる製品の価格調整を行うこともできます。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペースは、エージェントが問題を検索、調査、解決する際に使用するツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。CSM 構成可能ワークスペース および CSM エージェントワークスペース は、顧客に対応してケースを解決するために必要なツールを階層 1 エージェントに提供する、カスタマーサービス固有の実装です。

Case management for CSM リリースノート

ServiceNow Case management for CSM アプリケーションを使用すると、カスタマーサービス組織とサポートチームが問題を解決するために積極的に協力できます。Case management for CSM は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Case management for CSM の特長

- プレイブックテンプレートを使用して、水平または垂直のプレイブックを含むページとページのバリエーションを作成します。
- CSM 構成可能ワークスペースの プレイブックレコードページを使用して、プレイブックのステージとアクティビティを通じてユーザーをガイドし、ケースを解決します。
- プロセスマイニング定義を使用して、顧客運用の一般的な非効率性を特定します。

詳細については、「[Case management for Customer Service Management !\[\]\(6059a5aa8b4ca7bb793408023d6c6e42_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Case management for CSM を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

カスタマーサービスマネージャーロール [sn_customerservice_manager] には、承認者ユーザーロール [approver_user] が含まれています。承認者ユーザーロールは、承認アドミンロール [approval_admin] に置き換わります。カスタマーサービスマネージャーロールを持つユーザーは、自分にアサインされた承認要求を承認できます。

Xanadu リリースの新機能

Playbook (プレイブック)

モードレスダイアログ、アクティビティストリーム、ルックアップカード、関連アイテムなど、生成 AI 機能パリティとエージェントエクスペリエンスの最新化機能を組み込んだ UI ビルダーで、更新されたプレイブックテンプレートを使用します。

Quick start tests for Customer Service Management

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、カスタマーサービス管理 (CSM) が想定どおりに機能していることを確認します。カスタマーサービス管理 (CSM) をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

このリリースでの変更

ケースタイプセクターの構成

ケースタイプセクターの製品サービス選択バージョンを設定して、製品フィルターを非表示にします。

カスタマーサービスマネージャーに含まれているロール

カスタマーサービスマネージャーロール [sn_customerservice_manager] には、承認者ユーザーロール [approver_user] が含まれています。アップグレードのお客様の場合、承認アドミンロール [approval_admin] が承認者ユーザーロールに置き換わりまします。カスタマーサービスマネージャーロールを持つユーザーは、自分にアサインされた承認要求を承認できます。

プロセスマイニング

顧客運用の一般的な非効率性を特定して対処するためにプロジェクトで利用できる、2つの拡張タイプのベースシステム機会のさまざまなバリエーションが追加されました。

- ルールベースの検索定義：定義に従って 1 つ以上の検索ルールチェーンを順番に実行します。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会の一致として分類されます。
- 自動検索定義：既に選択可能なデフォルトのパターンを使用して、改善の機会を表示します。

廃止

Xanadu リリース以降、CSM エージェントワークスペース は展開、拡張、またはサポートされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\] !\[\]\(cbe2492b119e39e02a1dab2af4a4b296_img.jpg\)](#)」の記事を参照してください。CSM 構成可能ワークスペース  は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。

アクティベーション情報

カスタマーサービス管理 (CSM) は、カスタマーサービス管理 (CSM) プラグイン (com.sn_customerservice) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Activate Customer Service Management !\[\]\(3e2231b1ad3ca8da8658228c00dd08e0_img.jpg\)](#)」を参照してください。

追加の カスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Additional plugins for Customer Service Management !\[\]\(5361750c22c4e047a52f4eac1ec2d4cc_img.jpg\)](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「[ブラウザーサポート !\[\]\(4fe57c3593bf1b21d272ae7ac8dfaf77_img.jpg\)](#)」に記載されている他のいずれかのブラウザーを使用してください。

アクセシビリティ情報

以下のテンプレートが更新され、リフローに対応できるようになりました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。

- ケースプレイブック：水平ステージページテンプレート 
- ケースプレイブック：垂直ステージページテンプレート 

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

CSM の Now Assist

ServiceNow CSM の Now Assist アプリケーションを使用して、インタラクションでの顧客とのチャット会話を要約し、ケースの詳細を要約して、ケース解決メモを生成します。

Communities

顧客はカスタマーサービスポータルおよび消費者サービスポータルから ServiceNow Communities アプリケーションを使用して接続、エンゲージメント、およびコラボレーションを行うことができます。カスタマーサービスエージェントは、コミュニティコンテンツを使用して、コミュニティのディスカッションスレッドからケースを作成してケースを解決できます。

継続的改善管理 [®]

ServiceNow 継続的改善管理 を使用して、改善の機会を要求します。パフォーマンス目標を達成し、進捗状況を追跡し、成功を測定するためのフェーズとタスクを実装できます。プロセスマイニング アプリケーション内から改善イニシアチブを表示、作成、および関連付けることもできます。

Integrating with Customer Project Management [®]

顧客プロジェクト管理プラグイン (com.snc.csm_ppm) を使用すると、ServiceNow ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート アプリケーションを使用して、顧客アカウントのプロジェクトを作成できます。また、エンドユーザーはカスタマーサービスポータルからプロジェクトを表示できます。このプラグインには ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が必要です。

イベント管理 [®]

カスタマーサービス管理 (CSM) は ServiceNow IT Operations Management (ITOM) イベント管理 との統合を実現します。この統合によって、手動または自動で、事前対応的にアラートからケースを作成できます。カスタマーサービスエージェントは、アラートの影響を受けるアカウントと対応するインストールベースアイテムを追跡できます。エージェントは、顧客の問題をより適切に関連付けして迅速な回答を提供するために、アカウントのインストールベースの運用ステータスも追跡できます。

フィールドサービス管理 (FSM) [®]

カスタマーサービス管理 (CSM) には、ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションとの統合が含まれています。この統合により、ユーザーと顧客は次のタスクを実行できます。

- フィールドサービス技術者は、フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションで、作業指示および作業指示タスクに関する顧客アカウントおよび連絡先情報を確認できます。
- カスタマーサービスエージェントは、カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションのケースから作業指示書を作成できます。
- 顧客と消費者は、カスタマーサービスポータルと消費者サービスポータルからケースに関連する作業指示を表示できます。

フローデザイナー [®]

ワークフロースタジオ コンポーネントを使用すると、設計されたフローやサブフローをワークフローの一部として呼び出したり、フローやサブフローの出力または実行状況を確認することもできます。

Knowledge Management [®]

顧客は、カスタマーサービスポータルおよび消費者サービスポータルから ServiceNow ナレッジ管理 アプリケーションを使用して共有情報を検索できます。カスタマーサービスエージェントは、ナレッジコンテンツを使用してケースを解決できます。

プロセスオートメーションデザイナー [®]

カスタマーサービス管理 (CSM) は ServiceNow プレイブック アプリケーションとの統合を実現します。この統合により、Playbook などのプロセスを構成できます。

Process Mining [®]

ServiceNow[®] プロセスマイニング は、アナリストとプロセスオーナーがビジネスプロセスの有効性を分析するのに役立ちます。データから自動化されたビジネスプロセスフローを作成し、プロセスの非効率性を監視し、より迅速に検出できるようにします。

IT Service Management アプリケーション

カスタマーサービス管理 (CSM) には、[インシデント管理](#)、[問題管理](#)、[変更管理](#)、および [要求管理](#)の ServiceNow サービス管理 アプリケーションとの統合が含まれています。この統合を使用すると、カスタマーサービスケースからインシデント、問題、変更、および要求のレコードを作成できます。また顧客は、カスタマーサービス Portal から要求の送信もできます。

Next Experience UI ビルダー

ネクストエクスペリエンス UI ビルダー は、ローコードの Web ユーザーインターフェイスビルダーです。開発者はこのツールを使用してページをビルドし、ワークスペースとポータル Web ベースのエクスペリエンスを実現できます。ベースシステムとカスタム Web コンポーネントを使用してページをビルドします。

カスタマーサービスのワークフォース最適化

ServiceNow カスタマーサービスのワークフォース最適化 を使用すると、1 つのアプリケーションから人員の生産性を管理および維持できます。このアプリケーションでは、作業をチームのメンバーに効率的にルーティングし、チームのスキルとスケジュールを管理し、パフォーマンスを監視できます。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペースは、エージェントが問題を検索、調査、解決する際に使用するツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。CSM 構成可能ワークスペースは、顧客に対応してケースを解決するために必要なツールをエージェントに提供する、カスタマーサービス固有の実装です。

Data management for CSM リリースノート

ServiceNow Data management for カスタマーサービス管理 (CSM)アプリケーションによって、ユーザーが内部ユーザーと外部顧客の両方のデータを整理および管理することが可能になります。Data management for カスタマーサービス管理 (CSM) は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでのデータ管理の特長

- エージェントが組織間サポート機能を使用して、サポートする事業所を可視化できるようにします。
- 会社テーブルからサービス組織のペアレント化を解除することで、サービス組織データモデルの採用を強化します。
- エージェントがケースを作成できるようにするには、販売済み製品のプロバイダーサービス組織情報を使用します。

詳細については、「[Data management for Customer Service Management](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

コンシューマーとしてのユーザーと従業員の統一

統一されたコンシューマー (sn_customerservice.unified_consumer) ロールをサポートするために、ケースタイプ 注文管理や フィールドサービス管理 (FSM) 統合などの追加機能とワークフローを更新します。

組織間サポート

エージェントがサポートする事業所を可視化して、問題を効率的に解決できるようにします。履行サービス組織にアサインされたエージェントに、サポートしているすべての要求サービス組織のケース、インストールベースアイテム、販売済み製品、およびメンバーの詳細へのアクセス権を提供できます。

履行者としての外部事業所

パートナー、外部代理店、フランチャイズなどの外部事業所が、店舗関連の問題に関する顧客ケースを履行できるようにします。

アサイン先グループと事業所の関連付け

グループを内部または外部の事業所に関連付けます。これは一対多 (1:M) の関係であり、1 つ以上のアサイン先グループを 1 つの事業所に関連付けることができます。

インストールベース階層の可視化

CSM 構成可能ワークスペースの [インストールベース階層] タブを使用して、インストールベースアイテムの階層全体を表示します。階層の複数のノードを展開して、インストールベースアイテムのケースを作成できます。

UI の変更

Outsourced Service Provider dashboard および Proactive Customer Service - Advanced dashboard ダッシュボードの新しいルックアンドフィール

Xanadu リリース以降、次のダッシュボードのルックアンドフィールは新しく、最新化されています。

- [Outsourced Service Provider dashboard](#)
- [Proactive Customer Service - Advanced dashboard](#)

詳細については、「[Next Experience UI](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

会社からサービス組織のペアレント化を解除する

会社テーブルからサービス組織のペアレント化を解除することで、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理、公共機関デジタルサービス、ファイナンシャルサービスオペレーションなどのさまざまな業界に対応するために、サービス組織モデルの採用を強化しました。

フィールドサービス管理 (FSM) とサービスモデル基盤の統合

事業所スタッフが事業所サービスポータル (BLSP) を使用して事業所の作業指示を追跡できるようにしました。

販売済み製品のデータモデル

- [販売済み製品] フォームで、顧客に製品またはサービスを販売したプロバイダーサービス組織情報を表示できるようになりました。
- [販売済み製品] テーブル (sn_install_base_sold_product) の [製品の場所] フィールドと [製品仕様] フィールドを使用して、販売済み製品の場所とオファーに関連付けられている販売済み製品に関する情報をキャプチャできるようになりました。

インストールベース管理の製品インスタンスディレクティブ

資産と対応するインストールベース階層間の変更を、拡張された製品インスタンス階層と同期しました。

Customer Life Cycle Management Workflows

複数の販売済み製品を同時に選択して、一時停止、再開、切断のフローをトリガーし、既存のルート販売済み製品とそのサービスを更新できるようになりました。

アクティベーション情報

カスタマーサービス管理 (CSM) は、カスタマーサービス管理 (CSM) プラグイン (com.sn_customerservice) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Activate Customer Service Management](#)」を参照してください。

追加の カスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できません。詳細については、「[Additional plugins for Customer Service Management](#)」を参照してください。

セールスと注文管理は、Lead to Cash Core プラグイン (com.snd.l2c.core) を有効にすると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Exploring Sales and Order Management](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

Xanadu リリース以降、ServiceNow データ管理はモバイルデバイスと Internet Explorer をサポートしません。詳細については、「[ブラウザサポート](#)」を参照してください。

関連する ServiceNow のアプリケーションと機能

Communities

顧客はカスタマーサービスポータルおよび消費者サービスポータルから ServiceNow Communities アプリケーションを使用して接続、エンゲージメント、およびコラボレーションを行うことができます。カスタマーサービスエージェントは、コミュニティのディスカッションスレッドからケースを作成し、コミュニティのコンテンツを使用してケースを解決できます。

Field Service Management

カスタマーサービス管理 (CSM) には、ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションとの統合が含まれています。この統合により、技術者、エージェント、コンシューマー、顧客は次のタスクを実行できます。

- フィールドサービス技術者は、フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションで、作業指示および作業指示タスクに関する顧客アカウントおよび連絡先情報を確認できます。
- カスタマーサービスエージェントは、カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションのケースから作業指示書を作成できます。
- 顧客と消費者は、カスタマーサービスポータルと消費者サービスポータルからケースに関連する作業指示を表示できます。

カスタマーサービスのワークフォース最適化

ServiceNow カスタマーサービスのワークフォース最適化を使用すると、1 つのアプリケーションから人員の生産性を管理および維持できます。このアプリケーションでは、作業をチームに効率的にルーティングし、チームのスキルとスケジュールを管理し、パフォーマンスを監視します。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペースは、エージェントが問題を識別、調査、解決する際に使用するツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。CSM 構成可能ワークスペースおよびCSM エージェントワークスペースは、顧客に対応してケースを解決するために必要なツールを階層 1 エージェントに提供する、カスタマーサービスの実装です。

Sales and Order Management

セールスと注文管理アプリケーションを使用すると、組織内の製品販売と受注処理のライフサイクルを管理できます。これには、プリセールス機会、セールス見積り、生成、注文のキャプチャ、受注処理、およびポストセールスエンゲージメントが含まれます。

Intelligence for CSM リリースノート

ServiceNow Intelligence for CSM アプリケーションでは、カスタマーサービス組織およびサービスオペレーションが ガイド付きディシジョン、推奨アクション、タスクインテリジェンス 機能を構成および実装できます。Intelligence for CSM アプリケーションは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Intelligence for CSM の特長

- 同じテーブルに対して複数の推奨アクションコンテキストレコードを作成し、ユーザー属性やドメインなどの基準に基づいてさまざまなエクスペリエンスを作成します。
- プレイブックで意思決定ツリーを再開し、以前の意思決定ツリーの実行履歴を保持します。
- 顧客が意思決定ツリーをカタログアイテムとしてサービスカタログに追加できるようにします。
- ユーザーがキーワードを使用して意思決定ツリーを検索し、検索結果から意思決定ツリーを開くことができるようにします。

詳細については、「[Intelligence for CSM !\[\]\(ec9132f1d27c8919987d92907322654d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

ServiceNow Store では、次のアプリケーションを利用できます。

- ガイド付きディシジョン Experience (sn_ga_exp)
- 推奨アクション (sn_cs_nb_action)
- タスクインテリジェンス for カスタマーサービス (com.snc.csm_ml_task)

詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

推奨アクション - タスクインテリジェンス類似性モデルの統合

タスクインテリジェンス (TI) アドミンコンソールと統合された類似モデルを使用して、機械学習モデルを構成、トレーニング、および展開します。

- リソースジェネレーター：推奨アクションフレームワークは、TI 類似性モデルを活用して推奨事項を構成する新しいリソースジェネレーターをサポートします。
- アドミン構成：アドミニストレーターは、予測のために TI ソリューションを指すようにリソースジェネレーターを構成し、topN オプションパラメーターを使用して上位の推奨事項をフェッチできます。

[store-future: BEGIN review]カスタマーサービスのタスクインテリジェンス - 依存フィールド予測[End]

[store-future: BEGIN review]予測値を表示する前にモデル内の依存フィールドを特定することで、モデルのパフォーマンスを向上させます。[End]

カスタマーサービスのタスクインテリジェンス - レコード予測

簡単な説明または説明を入力した後にケースレコードの構成済みフィールドを予測し、ケースフォームを保存せずに予測値を確認します。

推奨アクション - 1 つのレコードエンティティに対して複数のコンテキストを作成する

UI ビルダー入力プロパティを使用して推奨アクションコンポーネントに対して構成できる 1 つのアクティブなコンテキストレコードを使用して、ケーステーブルなどの同じテーブルの複数のコンテキストをサポートします。複数のコンテキストを作成することで、ユーザー属性やドメインなどの基準によって決定されるさまざまなエクスペリエンスを作成できます。推奨事項と AI 検索結果は、設定されたアクティブなコンテキストに従って動的に調整されます。

ガイド付きディシジョン - システムユーザーとしてガイダンスを実行する

`guidance_honor_subflow` システムプロパティを有効にして、ガイダンスアクションサブフロープロパティで指定されたユーザーとして意思決定ツリーでガイダンスを実行します。このプロパティが `false` に設定されている場合、ガイダンスは現在のユーザーとして実行されます。

ガイド付きディシジョン - カatalogアイテムコンテンツタイプとしての意思決定ツリー

顧客が意思決定ツリーをカatalogアイテムとしてサービスカatalogに追加できるようにします。顧客は、カスタマーサービスポータルから意思決定ツリーを選択して新しいタブで開くことができます。

ガイド付きディシジョン - ポータルで意思決定ツリーを検索する

ポータルユーザーがキーワードを含む意思決定ツリーを検索できるようにします。検索結果で意思決定ツリーを選択すると、意思決定ツリーウィジェットを含むページが開きます。

ガイド付きディシジョン - 開始ノードにタスク入力のみを含めることができるようにする

タスク入力から直接開始する意思決定ツリーの開始ノードを作成し、タスク参照のデータから派生したパスを作成します。質問またはタスク入力から開始ノードを作成するオプションがあります。

ガイド付きディシジョン - プレイブックでの意思決定ツリーの再開

意思決定ツリーの実行を再開します。ユーザーがプレイブックで意思決定ツリーの実行を完了すると、必要に応じて意思決定ツリーを最初からやり直して完了できます。プレイブックを再開すると、以前の意思決定ツリー実行の履歴が保持されます。

このリリースでの変更

ガイド付きディシジョン - 質問フィールドが HTML タイプに更新されました

[質問] フィールドが `type=string` から `type=HTML` に更新されました。意思決定ノードに質問を追加するときに、意思決定ツリーの作成者は、テキスト、書式設定されたテキスト、および画像を [質問] フィールドに含めることができます。

アクティベーション情報

ガイド付きディシジョン、推奨アクション、およびタスクインテリジェンスアプリケーションを ServiceNow Store から要求してインストールします。 [ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

カスタマーサービス管理 (CSM)

カスタマーサービス管理 (CSM) により、外部顧客が必要とするサービスとサポートを提供できます。

CSM の Now Assist

ServiceNow® CSM の Now Assist アプリケーションを使用して、インタラクションでの顧客とのチャット会話を要約し、ケースの詳細を要約して、ケース解決メモを生成します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の人工知能 (AI) ソリューションを使用して、ドキュメントからデータを抽出し、そのデータを自動化ワークフローに統合して、時間とリソースを節約します。

予測インテリジェンス

ケース作成時のフィールドの自動入力、作業の分類とルーティング、予測インテリジェンスの人工知能によるケースの解決策の推奨など、プラットフォーム全体のプロセスを改善します。

CSM の Now Assist リリースノート

ServiceNow CSM の Now Assist アプリケーションでは生成 AI を カスタマーサービス管理 (CSM) で利用します。セルフサービス、推奨アクション、回答提供の機能が向上することで、生産性と効率が向上します。CSM の Now Assist は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの CSM の Now Assist の特長

- 関連するコンテキスト推奨事項をリアルタイムで受け取ることで、顧客との会話を拡張します。
- エージェントが検証して送信できるメールを自動生成することで、生産性を向上させ、エラーを減らすのに役立ちます。
- 複数の類似ケースの情報を統合し、ナレッジベース記事にまとめます。
- レコードを要約して、エージェント間でのコールの引き継ぎを容易にし、顧客満足度の向上に役立てます。

「」を参照してください。 [CSM の Now Assist !\[\]\(c50c8b7b2cc2cf9ff925edec0ee94c0d_img.jpg\)](#) 詳細を参照します。

重要:

CSM の Now Assist は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

サイドバーの会話の要約

CSM の Now Assist を使用して、エージェント、要求者、および該当分野のエキスパート間のサイドバーディスカッションを要約します。

リアルタイムのチャット返信の推奨事項

生成 AI を使用して、エージェントが顧客に回答する前に、ナレッジベース、FAQ、類似ケース、チャット、通話などのソースから、関連するコンテキスト推奨事項をエージェントに提供します。エージェントは、生成 AI を使用してチャット応答を作成することもできます。この機能により、エージェントは手動のタスクを実行せずに顧客との会話に集中できます。

生成 AI を活用したメール返信の推奨事項

エージェントが確認および送信できるメール応答の推奨事項を取得します。エージェントは、生成 AI を使用してメール返信の推奨事項を編集することもできます。

[store-future: BEGIN review]アクティビティストリームで生成 AI タイプのログを表示する
[End]

[store-future: BEGIN review]フィルターオプションを使用して、アクティビティストリームに生成 AI 関連のログを表示します。[End]

[store-future: BEGIN review]大規模な入力を行うための再帰的な要約を有効にする[End]

[store-future: BEGIN review]再帰要約を使用して、大規模な言語モデル (LLM) の大きなレコードを小さな断片に分割し、生成 AI 機能のコンテキストを維持できるようにします。[End]

このリリースでの変更

コール後の要約の機能強化

あるライブエージェントから別のエージェントに引き継がれたコールをレビューし、会話中にカバーされる重要なトピックの要約を提供できるようになりました。

複数のケースからのナレッジ生成

複数の類似ケースからインサイトとデータを選択して収集し、CSM の Now Assist を使用して記事のドラフトを作成できるようになりました。

アクティベーション情報

Now Assist 機能は CSM の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Install Now Assist plugins !\[\]\(5361750c22c4e047a52f4eac1ec2d4cc_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Vancouver パッチ 4 以降では、CSM の Now Assist がサポートされています。

その他の要件

CSM の Now Assist アプリケーションには、カスタマーサービス管理 (CSM) Pro Plus または Enterprise Plus のライセンスが必要です。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Now Assist

組織の生産性と効率を向上させ、より優れたセルフサービスを提供し、アクションを推奨し、回答を提供し、ユーザーがより効果的に検索できるようにします。

Now Assist アドミン 慰める

Now Assist アドミンコンソールを使用すると、Now Assist アプリケーションと機能の設定、構成、および監視に必要な重要情報にすばやく簡単にアクセスできます。

Now Assist パネル

で CSM 構成可能ワークスペース この会話型インターフェイスを使用してチャット、ケース、または解決メモを要約すると、この情報のコンテキストをより迅速に取得できます。

Now Assist skills

Now Assist製品を使用して、ケースまたはインシデントの要約、チャットの要約、解決メモの生成、コード生成など、さまざまなワークフローでユーザーのニーズを満たす生成 AI スキルを提供します。

カスタマーサービスのワークフォース最適化 リリースノート

ServiceNow カスタマーサービスのワークフォース最適化 アプリケーションは、作業をチームに効率的にルーティングし、チームのスキルとスケジュールを管理し、パフォーマンスを監視します。カスタマーサービスのワークフォース最適化 は、Xanadu リリースで拡張および更新されています。

Xanadu リリースでの カスタマーサービスのワークフォース最適化 の特長

- チームカレンダーでマネージャーとそのチームメンバーとの定期的な会議を作成して追跡します。
- アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。

詳細については、「[Exploring Workforce Optimization for Customer Service](#)」を参照してください。

重要:

カスタマーサービスのワークフォース最適化 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

音声チャネルのパフォーマンスメトリクス

Amazon Connect からより多くの測定基準とレポートを表示して、チャンネル管理で音声キューの健全性を監視および管理します。

スケジュールの定期的な会議

トレーニングセッションやチームメイトとの 1 対 1 のセッションなど、定期的な会議をスケジュールして追跡します。

スケジューリングの機能強化

休暇とシフト交替の要求を効率的に管理および監視します。

このリリースでの変更

Reflow for Configurable Workspace

ディスパッチワークスペース および フィールドサービスのワークフォース最適化 がリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。詳細については、以下の「[アクセシビリティ情報](#)」セクションを参照してください。

アクセシビリティ情報

アクセシビリティの改善

アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。

リフロー

構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見づらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、カスタマーサービスのワークフォース最適化 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

高度なワークアサインメント

ServiceNow 高度な作業アサイン を使用して、対応可否、キャパシティ、スキルに基づいて作業アイテムを自動的にエージェントにアサインします。

スキル管理

ServiceNow スキル管理 を使用して、組織が必要とするスキルを評価し、ギャップを特定し、チームの雇用とトレーニングを計画します。

CSM ワークスペース

エージェントは、ServiceNow CSM エージェントワークスペース を使用してシフトを入れ替え、休暇申請と承認を管理し、アサインされたトレーニングを完了することができます。

従業員サービス管理 (ESM) リリースノート

Xanadu リリースには、従業員サービス管理 (ESM) の新機能と更新された機能が含まれます。

従業員センター リリースノート

ServiceNow 従業員センターアプリケーションは、サービスデリバリーと従業員のエンゲージメントのための複数部門の動的ポータルです。従業員センターは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

[store-future: BEGIN review]

Xanadu リリースでの 従業員センター の特長

- 従業員センタープロキオスクでコンテキスト内の情報を提供することで、フィールドワーカーと交代要員の運用効率を向上させます。
- Experience and Service Feedback を使用して、ユーザーエクスペリエンスとサービスエクスペリエンスに関するフィードバックをユーザーからすばやく収集できます。
- SharePoint Online 検索コネクタサイトの権限とその他のきめ細かなアクセス制御を簡素化します。
- 従業員がリアクション、コメント、または記事の共有を通じてニュース記事に対応できるようにします。
- コンテンツ運用ダッシュボードのコンテンツ公開、コンテンツアナリティクス、コンテンツガバナンスプラグインからコンテンツ管理ツールにアクセスします。

詳細については、「[Employee Center](#)」を参照してください。

[End]

[store-future: BEGIN review]

重要:

従業員センター は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

[End]

[store-future: BEGIN review]

Xanadu リリースの新機能

再利用可能な記事を使用してニュース記事作成を迅速化

コンテンツテンプレート内の構築済み再利用可能な記事を活用して、ニュース記事をより迅速かつ効率的に作成します。再利用可能な記事には、コンテンツ作成者がテキストや画像を入力できる事前定義されたコンテンツレイアウトが用意されています。

Content engagement

コンテンツに関するフィードバックの収集：

- 従業員は、反応アイコンを選択したり、コメントを残したり、記事を共有したりして、ニュース記事に対応できます。
- マネージャーは、閲覧数、共有数、反応数など、記事に対する従業員のエンゲージメントの測定基準を表示できます。

従業員センタープロキオスク

次のようなセルフサービスの機会を提供するキオスクを通じて、デスクを持たない従業員が自分の仕事に関連する重要な情報に簡単にアクセスできるようにします。

- シフトと休暇の詳細にアクセスします。
- AI 検索の支援によりクエリへの回答を得ます。
- 要求のステータスを追跡します。
- ターゲットコミュニケーションとセルフサービスコンテンツを強調できる拡張従業員センタープロキオスクを提供します。
- ガイド付きヘルプリンクを活用して、キオスク環境を適応させ、ナビゲートしやすくします。

Guided Self-Service in Employee Center

GSS を通じて、休暇残日数など、頻繁に使用される複雑なトピックについて、セルフサービスの直感的で視覚的な Q&A ベースのエクスペリエンスを従業員に提供します。

コンテンツ操作ダッシュボード

コンテンツ操作ダッシュボードを使用して、公開済みコンテンツのエンゲージメント測定基準の表示、コンテンツ公開カレンダーの管理、受信コンテンツ要求の処理、ページとウィジェットの所有権の確認を行います。

コンテンツ公開のコンテンツアナリティクスサポート

公開計画またはコンテンツスケジュールを使用して、ポータルまたは Now Mobile アプリに公開されたコンテンツのパフォーマンス測定基準のデータを可視化して表示します。最もクリックされたコンテンツ、最もクリックされた通知、コンテンツ別のユーザーインタラクションの数、タスクステータスなどの測定基準にアクセスします。

リッチコンテンツエディターのコピー & ペーストオプションの強化

元のソースの書式設定を保持したまま、書式設定されたコンテンツをリッチコンテンツエディターにコピーして貼り付けるか、宛先テキストボックスの書式設定に一致するブレンドテキストとしてコンテンツを貼り付けます。

Integrated service and experience feedback in Now Mobile

Now Mobile のエクスペリエンスとサービスのフィードバック機能を通じて、フィードバック機能に簡単にアクセスできます。

Create rich content from portal widgets

従業員センターポータルページから直接コンテンツを作成または編集します。

リッチコンテンツエディターでパラメーターを非表示

コンテンツアドミニストレーターは、ホストされたビデオのコンテンツレンダリングパラメーターをリッチコンテンツエディターで非表示にして、ユーザーがこれらのパラメーターを変更できないように構成できます。

コンテンツエクスペリエンスの新しいキャンペーンデモデータ

サンプルキャンペーンにアクセスして、キャンペーン構成の理解を深め、サンプルバンドルトリガー設定を確認し、考えられるユースケースを見つけます。

のクイックスタートテスト 従業員センター

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、従業員センター が想定どおりに機能していることを確認します。従業員センター をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

[End]

[store-future: BEGIN review]

このリリースでの変更

Content Analytics

コンテンツアナリティクス がプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの一部になりました。に移動すると **すべて > コンテンツアナリティクス > Dashboards** (ダッシュボード)の場合、コンテンツアナリティクスダッシュボードがプラットフォームアナリティクスダッシュボードの横に表示されます。

エクスペリエンス & サービスフィードバック

フィードバック機能内の次の拡張機能にアクセスします。

- エクスペリエンス、サービス、サーベイの 3 種類のフィードバックを活用して、ユーザーからより多くのインサイトを得ることができます。
- エクスペリエンスフィードバック応答をサクセスダッシュボードインジケーターと統合します。
- フィードバックが送信された後も匿名化を維持するようにサービスフィードバックを設定します。
- 仮想エージェント支援でエクスペリエンスとサービスフィードバックにアクセスします。

SharePoint Online 検索コネクタ

次のアップグレードにより、Microsoft SharePoint エクスペリエンスが向上します。

- サイト権限とその他のきめ細かなアクセス制御を合理化します。
- 特定のペルソナに権限を付与し、アクセス権を付与します。

[End]

[store-future: BEGIN review]

このリリースでの削除

コンテンツ公開およびコンテンツエクスペリエンスデモポータルは削除されました。

[End]

[store-future: BEGIN review]

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して従業員センタープラグインをインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

[End]

HR サービスデリバリ (HRSD) リリースノート

ServiceNow HR サービスデリバリ (HRSD)アプリケーションは、HR とのやり取りを自動化し、すべての HR サービスに単一のプラットフォームを提供することで、従業員のサービスエクスペリエンスを向上します。HR サービスデリバリ (HRSD) は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

HR ケース管理のエージェントワークスペース リリースノート

ServiceNow HR ケース管理のエージェントワークスペース アプリケーションを使用して、従業員とやり取りし、問い合わせに対応し、問題を迅速に解決できます。HR ケース管理のエージェントワークスペース は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの HR ケース管理のエージェントワークスペース の特長

- ケースの作成時に HR サービスの説明を表示することで、ケースの転送を最小限に抑え、エージェントの効率を向上させます。
- 最近更新されたケースをリストビューで表示します。
- エージェントが応答テンプレートを使用して HR タスクに迅速に応答できるようにします。
- HR エージェントが意思決定ツリーを作成することでサービスを迅速化できるようにします。
- 個人メモの添付ファイルをアップロードすることで、労務 (ER) ケースの請求をサポートします。
- アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。

詳細については、「[Agent Workspace for HR Case Management \(Configurable\)](#)」を参照してください。

i 重要:

HR ケース管理のエージェントワークスペース は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Create a case in Agent Workspace for HR Case Management

HR エージェントは、ケースの作成時に HR アドミンが HR サービス構成に入力した HR サービスの説明を表示することで、ケースの転送を最小限に抑えて効率を向上させることができます。

Lists in Agent Workspace for HR Case Management

HR ケース管理のエージェントワークスペース のリストビューにある [最近更新された] タブを使用して、最近更新されたケースを表示します。

Using a Response template in an HR case or HR task record

コピーして HR タスクのコメントまたは作業メモに貼り付けることができるように、再利用可能なメッセージとして応答テンプレートを使用し、エージェントが HR タスクに迅速に対応できるようにします。

Resolve HR cases using guided decision trees in Agent Workspace for HR Case Management

エージェントが従業員のケースをトリアージするために使用できる意思決定ツリーを作成することで、HR サービスを迅速化します。

Add personal notes

アサインされたエージェントの 労務 (ER) ケースの請求を裏付ける個人メモの添付ファイルをアップロードします。

このリリースでの変更

のリフロー 構成可能ワークスペース

HR ケース管理のエージェントワークスペース 構成可能ワークスペースがリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。アップグレード方法の詳細については、次の「[アクセシビリティ情報](#)」を参照してください。

UI の変更

Use Guided Tours in Agent Workspace for HR Case Management

メインサイドバーからヘルプアイコンを選択すると、HR ケース管理のエージェントワークスペース のガイド付きツアーが開始されます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、HR ケース管理のエージェントワークスペース をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

アクセシビリティの改善

アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。

リフロー

構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザーのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザー上の Web コンテンツが見つらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

HR Service Delivery

HR とのやり取りを自動化し、すべての HR サービスに単一のプラットフォームを提供することで、従業員のサービスエクスペリエンスを向上します。手動のサイロ化したプロセスを、部門横断型のデジタルワークフローで置き換えることで、効率を高めることができます。オンボーディング、キャリアの成長、その他の移行など、ビジネスゴールを従業員のニーズに合わせて調整します。

Now Assist for HR Service Delivery (HRSD)

生成 AI 機能を使用して、ケース情報を要約し、解決メモを生成し、チャット情報を要約します。エージェントがチャットとケースのコンテキストを理解し、より迅速な解決策を要求者に提案できるようにします。

ケースとナレッジ管理 リリースノート

ServiceNow ケースとナレッジ管理アプリケーションを使用することで、ドキュメント作成、インタラクション、および従業員の問い合わせと要求への対応を標準化できます。これにより、HR の効率とサービスを経時的に向上させることができます。ケースとナレッジ管理は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ケースとナレッジ管理 の特長

- グローバルレベルと親または子レベルでのドメインセパレーションをサポートする、新しい HR ガイド付きセットアップを使用します。
- HR ドキュメントテンプレートは廃止され、使用できなくなりました。HR ドキュメントテンプレートの代わりに ServiceNow ドキュメントテンプレート アプリケーションを使用できます。

詳細については、「[Case and Knowledge Management !\[\]\(870f5d5e9c0d57485634be3ecf52f3ca_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Guided setup for HR Service Delivery

HR サービスデリバリー (HRSD) 内の各ドメインのガイド付きセットアップを実行します。Xanadu リリースより前は、ガイド付きセットアップはグローバルドメインでのみ実行できました。

ワークフローから ワークフロースタジオ への移行

ワークフロースタジオ の拡張機能により、HR サービスアクティビティ、HR ケースのユーザー受け入れ、HR ケース承認のサブフローがワークフローから ワークフロースタジオ に移行されました。HR アドミニストレーターは、**sn_hr_core.deprecated_workflows** システムプロパティを構成して、従来のワークフローを実行するか、対応するフローを ワークフロースタジオ で実行するかを決定できます。

HR サービスデリバリー (HRSD)のゼロトラストアクセス (ZTA)

アドミニストレーターが動的なロール降格機能を使用して時間内アクセスを設定できるようにします。アドミニストレーターは、IP アドレス、場所、デバイス、時間などのさまざまな基準に基づいて、セッションでのユーザーの元のロールの特定のサブセットのみを許可するポリシーを作成できます。

廃止

Xanadu リリース以降、HR ドキュメントテンプレートは廃止に備えて準備されています。HR ドキュメントテンプレートは非表示になり、新しいインスタンスにはインストールされなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation](#)

[Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#) の記事を参照してください。HR ドキュメントテンプレートの代わりに ServiceNow ドキュメントテンプレート アプリケーションを使用できます。

アクティベーション情報

ケースとナレッジ管理 は、 ヒューマンリソース (HR) スコープ対象アプリ：Core [com.sn_hr_core] をアクティブにすると利用できる Now Platform 機能です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Agent Workspace for HR Case Management (Configurable)

ServiceNow HR ケース管理のエージェントワークスペース アプリケーションを使用して、従業員とやり取りし、問い合わせに対応し、問題を迅速に解決できます。

ドキュメントテンプレート リリースノート

ServiceNow ドキュメントテンプレート アプリケーションを使用すると、標準のレターやドキュメントを生成するために HTML および PDF ドキュメントテンプレートを作成できます。ドキュメントをオンラインで入力、署名、およびレビューするプロセスを自動化および簡素化できます。ドキュメントテンプレート は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ドキュメントテンプレート の特長

PDF ドキュメントテンプレートの署名日機能を使用して、参加者が PDF ドキュメントに署名する日付を記録します。

詳細については、「[Document Templates](#)」を参照してください。

重要:

ドキュメントテンプレート は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

PDF での署名日

参加者がドキュメントに署名すると、日付が自動的に記録されます。[署名日の使用] オプションを選択すると、日付は PDF ドキュメントの PDF テンプレートマッピングレコードの [フィールド名] フィールドで指定したフィールド内に表示されます。この機能は、ServiceNow 署名タイプでのみ使用できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Document Templates をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

HR Service Delivery

ServiceNow HR サービスデリバリー (HRSD)アプリケーションは、HR とのやり取りを自動化し、すべての HR サービスに単一のプラットフォームを提供することで、従業員のサービスエクスペリエンスの向上を支援します。手動のサイロ化したプロセスを、部門横断型のデジタルワークフローで置き換えることで、効率を高めるのに役立ちます。オンボーディング、キャリアの成長、その他の移行など、ビジネスゴールを従業員のニーズに合わせて調整します。

労務 (ER) リリースノート

ServiceNow 労務 (ER)アプリケーションは、労務 (ER) ケースを介して共有されるプライバシーと機密情報を保護するためのセキュリティを強化します。労務 (ER) は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 労務 (ER) の特長

- 対象者が単一の 労務 (ER) ケースの場合、【申し立ての対象】フィールドには対象者の名前が自動的に入力されます。
- コア UI ケースの作成、HR サービスデリバリー (HRSD) HR ケース管理のエージェントワークスペース、または匿名レポートセンター (ARC) ポータルを使用して、差別に直接関連するケースを報告します。

詳細については、「[Employee Relations cases](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

[Create an allegation record for HR Service Delivery Employee Relations in the legacy UI or Agent Workspace](#)

対象者が 1 人の 労務 (ER) ケースの場合、関連するケースタブの【申し立ての対象】フィールドには、対象者の名前が自動的に入力されます。

[Create an HR Service Delivery Employee Relations case using the legacy UI](#)

、[Create an HR Service Delivery Employee Relations case using Agent Workspace](#)

、[Anonymously report discrimination](#)

コア UI のケース作成 HR サービスデリバリー (HRSD) HR ケース管理のエージェントワークスペース、または匿名レポートセンター (ARC) ポータルを使用して、特に差別に関連するケースを作成します。

UI の変更

メインサイドバーからヘルプアイコンを選択すると、労務 (ER) ケースのガイド付きツアーが開始されます。

アクティベーション情報

労務 (ER) は、労務 (ER) プラグイン (com.sn_hr_employee_relations) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Activate Employee Relations](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

HR Service Delivery

HR とのやり取りを自動化し、すべての HR サービスに単一のプラットフォームを提供することで、従業員のサービスエクスペリエンスを向上します。手動のサイロ化したプロセスを、部門横断型のデジタルワークフローで置き換えることで、効率を高めることができます。オンボーディング、キャリアの成長、その他の移行など、ビジネスゴールを従業員のニーズに合わせて調整します。

Legal Investigations

法務サービスデリバリー Legal Investigations と HR サービスデリバリー (HRSD) 労務 (ER) の間で機密性の高いケース詳細の部門間の転送をサポートします。

Anonymous Report Center (ARC)

従業員は、匿名レポートセンター (ARC) ポータルを使用して機密性の高い苦情、不適切な行為、または差別のケースを匿名で労務 (ER) ケースに対応するエージェントに送信できます。

Employee Center

従業員は、誰またはどの部門が調査するかを知る必要なく、従業員センター ポータルに苦情を申し立てることができます。トリアージと調査のプロセスの間、これらの問題を扱う履行者は、解決のため必要に応じて、法務および HR 部門との間で問題についてのやりとりを行う場合があります。

医療向け **HR** サービスデリバリ リリースノート

ServiceNow 医療向け HR サービスデリバリ アプリケーションは、医療従事者データモデルを使用して、標準化、デジタル化、自動化された医師のオンボーディングワークフローを作成します。このアプリケーションを使用すると、医師のオンボーディング中およびオンボーディング後に必要なすべてのオンボーディング情報の全体像を把握できます。医療向け HR サービスデリバリ は Xanadu でリリースされた新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの 医療向け **HR** サービスデリバリ の特長

- 医療従事者データモデルを使用して、医療従事者のデータを安全に管理します。
- デフォルトの医療従事者オンボーディングワークフローを使用して、医療従事者を組織にスムーズにオンボーディングするために必要なタスクを自動的に設定して自動作成します。

詳細については、「[HR Service Delivery for Healthcare !\[\]\(17413706fd4997a1a4bdf85c6864eee1_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

医療向け HR サービスデリバリ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

医療向け **HR** サービスデリバリ 機能

Healthcare Professional data model

医療従事者データモデルを使用して、診療所名、学位、診療場所など、医療従事者に関する機密データを保存します。医療従事者データモデルを使用すると、組織は医療従事者の雇用期間を通じて医療プロファイル情報にアクセスし、追跡し、更新することができます。プロファイルレコードは機密情報として保存され、公開されることはありません。

Customize Healthcare Employee Onboarding workflow

ジャーニーデザイナー のデフォルトの医療従事者オンボーディングワークフローを使用して、医療機関で新規雇用された医療従事者の次のタスクを設定して自動化します。

- 医療従事者のプロファイルとメールアカウントを自動作成します。
- 医療従事者に必要なフォーム入力タスクを自動的に開始します。
- HR エージェントの認証情報と検証タスクを自動作成して、エージェントが医療専門家から送信された情報をレビューおよび検証できるようにします。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、医療向け HR サービスデリバリ をインストールします。[ServiceNow Store !\[\]\(1f56542a42e2413e44a2b2023033aa2e_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(f68284289fe27ddc7c7b21cde471c330_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

HR Service Delivery

ServiceNow HR サービスデリバリー (HRSD) アプリケーションは、HR とのやり取りを自動化し、すべての HR サービスに単一のプラットフォームを提供することで、従業員のサービスエクスペリエンスの向上を支援します。手動のサイロ化されたプロセスを部門横断型のデジタルワークフローに置き換えることで、効率を高め、オンボーディング、キャリアアップ、その他の移行などのビジネスゴールに従業員のニーズに合わせることができます。

Journey designer

ServiceNow ジャーニーデザイナー アプリケーションを使用すると、マネージャーと従業員がジャーニーを作成および追跡できます。ジャーニーには、従業員の昇格、退職、オンボーディング、ロール変更などの異動計画が含まれます。

Agent Workspace for HR Case Management (Configurable)

ServiceNow HR ケース管理のエージェントワークスペース アプリケーションを使用して、従業員とやり取りし、問い合わせに対応し、問題を迅速に解決できます。

ジャーニーデザイナー リリースノート

ServiceNow ジャーニーデザイナー アプリケーションを使用すると、マネージャーと従業員がジャーニーを作成および追跡できます。ジャーニーには、従業員の昇格、退職、オンボーディング、ロール変更などの異動計画が含まれます。ジャーニーデザイナー は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ジャーニーデザイナー の特長

- 組織内で進行中のタスクとジャーニーを効率的に追跡および管理できる包括的なダッシュボードである [ジャーニーの概要] ダッシュボードを使用します。
- ジャーニーを完了した従業員数、SLA 違反、ジャーニーを完了するまでの平均日数、その他の測定基準などの情報を含むレポートを備えた [エグゼクティブビュー] ダッシュボードを使用します。
- ジャーニーの構成中にマネージャーを変更します。
- 育児休暇のデモデータの一部として提供される育児休暇ガイドによる従業員エクスペリエンスの向上。

詳細については、「[Journey designer !\[\]\(9c2e8d1b5bd77cb5c9f83b7a9cff79fd_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

ジャーニーデザイナー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ジャーニーデザイナー 機能

マネージャーの交代をサポート

マネージャーの変更をサポートするジャーニーを有効にします。

のベースインスタンスデモデータ ジャーニーデザイナー 複数のジャーニーをサポートする

育児休暇のデモデータに含まれている育児休暇ガイドを活用して、従業員エクスペリエンスを向上させます。

タスク完了後はジャーニーの詳細ページに戻る

タスクの完了後にジャーニーの詳細ページに戻ると、ブレッドクラムに移動する必要がなくなります。

ジャーニーが削除されたときに後続のタスクを削除する

ジャーニーと後続のすべてのタスクを同時に削除します。

UI の変更

ジャーニーダッシュボードフィルター

ジャーニーの概要ダッシュボードとエグゼクティブジャーニービューダッシュボードに新しいフィルターが追加されています。

タスクテンプレートの新しいフィールド

新しい [共有先] フィールドがタスクテンプレートフォームに追加されています。

ジャーニーデザイナーのガイド付きツアー

メインサイドバーからヘルプアイコンを選択すると、ジャーニーデザイナー ケースのガイド付きツアーが開始されます。

タスク完了後はジャーニーの詳細ページに戻る

タスクの完了後にジャーニーの詳細に戻ると、ブレッドクラムでジャーニーの詳細ページに戻る必要がなくなります。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ジャーニーデザイナー をインストールします。 [ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store/バージョン履歴のリリースノート](#) 」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Learning Posts

ServiceNow Learning Posts アプリケーションを使用すると、従業員が必要なときに適切な学習を行えるように、オムニチャネル学習エクスペリエンスを作成できます。

リスニングポスト

ServiceNow リスニングポストアプリケーションを使用すると、簡単なパルスサーベイを作成して従業員のタッチポイントを取得し、従業員のフィードバックからインサイトを得て、全体的な従業員エクスペリエンスを向上させることができます。

Manager Hub

ServiceNow マネージャーハブ は、チームの成功を促進するための最も緊急かつ重要な事項に関するインサイトと実行可能なアクションを提供して、マネージャーのセルフサービスやチームのプロアクティブなエンゲージメントを向上させます。それにより、マネージャーは、キュレーションされパーソナライズされたリソースを通じて、リーダーとして成長できるようになります。

Microsoft Exchange Online スポーク

Microsoft Exchange Online スポークは、Microsoft Exchange Online でカレンダーとメールを作成および管理します。ユーザーとグループを作成、管理、または削除するには、Microsoft Azure AD スポークを使用します。

人材開発リリースノート

ServiceNow 人材開発 アプリケーションを使用すると、マネージャーと従業員が、キャリアの成長と開発の機会を特定して追跡できます。このアプリケーションは、会話、論点、および継続的な成長の追跡を通じてキャリアの成長をサポートします。人材開発は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

人材開発コア リリースノート

ServiceNow 人材開発コア アプリケーションは、従業員とマネージャーがキャリアの成長と開発のジャーニーを識別、追跡、コントロールするためのエンドツーエンドのプロセスをサポートします。人材開発コア は Xanadu リリースで機能拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 人材開発コア の特長

従業員の成長と能力開発コアアプリケーションの名前が 人材開発コア に変更されました。

詳細については、「[Talent Development Core](#)」を参照してください。

i 重要:

人材開発コア は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

[store-future: BEGIN review]

Xanadu リリースの新機能

[Employee Growth and Development Core](#) から [Employee Growth and Development Core](#) への名前の更新 人材開発コア.

組織の人材、成長、および能力開発イニシアチブとの整合性を高めるために、名前が変更されました。

[End]

このリリースでの変更

New (新規) 人材開発コア name

人材開発コア の名前の変更により、企業全体での成長と能力開発の目標の調整が容易になります。名前の変更の詳細については、「[Talent Development Core](#)」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、人材開発コア をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

[End]

その他の要件

人材開発 には、より良いユーザーエクスペリエンスを作成するための一連の製品、作業、および相互作用が含まれています。

- [人材開発 SKU](#)
- [Manager Hub](#)
- [プロアクティブプロンプト](#)
- [スキルインテリジェンス](#)
- [従業員プロフィール](#)
- [人材開発 Core](#)

オポチュニティマーケットプレイス リリースノート

ServiceNow オポチュニティマーケットプレイスアプリケーションは社内のモビリティを変革し、従業員にキャリア機会を探索するための統合ハブを提供します。オポチュニティマーケットプレイスは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

[store-future: BEGIN review]

Xanadu リリースでの オポチュニティマーケットプレイス の特長

- 機会オーナーのペルソナを導入して、機会の作成と管理を容易にします。
- オポチュニティマーケットプレイス ユーザーの閲覧エクスペリエンスが向上したことで、従業員は自分の好みやスキルに合った機会を検索できるようになりました。
- 追加の機会タイプの導入。これらの機会タイプには、固定のスコープと期間があります。それらは永続的な機会ではありません。
 - ギグは、1 つのロールで複数の人が利用できる機会です。
 - プロジェクトは、複数の従業員と複数のロールを対象とした機会です。
 - ボランティアの機会は複数の人を対象としており、複数のロールが含まれる場合があります。

詳細については、「[Opportunity Marketplace](#)」を参照してください。

[End]



重要:

オポチュニティマーケットプレイスは、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Explore Opportunity Marketplace (OPM)

当初、オポチュニティマーケットプレイスには単一の機会タイプ、内部ジョブがありました。Xanaduリリースでは、プロジェクト、ギグ、ボランティアの3つの機会タイプが追加されています。これらの機会タイプは、固定期間の一時的なものであるという点で従来の機会とは異なります。期間は短期または長期にすることができますが、永続的ではありません。

機会オーナーペルソナの概要

機会オーナーは、機会のリーダーまたはホストです。オーナーは、従業員が表示して適用するための機会を作成してマーケットプレイスに公開できます。さらに、機会オーナーは、[自分が所有する機会 (**Opportunities you own**)] ダッシュボードから機会のステータスの更新を管理および表示できます。

オーナーは詳細ページを使用して応募者をレビューし、選択します。応募者は、機会に応募した従業員です。応募者レビューエクスペリエンスには、従業員がロールに指定されたスキルと基準をどの程度満たしているかに基づく一致スコアが含まれます。

機会の閲覧の強化

従業員は、[その他の機会] (**Other opportunities**) ページから自分の好みやスキルに一致する機会を検索して参照できます。

機会とロールの拡張された詳細ビュー

従業員は、機会の詳細ページから機会とロールの詳細を表示できます。従業員は、必要なスキルと優先スキルを確認し、1 つ以上のロールの一致スコアを理解します。機会の詳細は、従業員が応募するロールと比較して、自分の長所と短所を理解するのに役立ちます。

[store-future: BEGIN review]

このリリースでの変更

New (新規) オポチュニティマーケットプレイス アドミンエクスペリエンス

新しいアドミンモジュールは、より効率的な簡素化された操作エクスペリエンスをアドミンに提供します。アップグレード方法の詳細については、「[Install and configure Opportunity Marketplace](#) 

- オポチュニティタイプの構成
- 案件
- ロールへの応募

[End]

[store-future: BEGIN review]

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、オポチュニティマーケットプレイスをインストールします。[ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 

[End]

その他の要件

必要なプラグインと製品

- [人材開発 SKU](#) 
- [Manager Hub](#) 
- [プロアクティブプロンプト](#) 
- [スキルインテリジェンス](#) 
- [従業員プロフィール](#) 
- [人材開発 Core](#) 

Leader Hub [®] リリースノート

ServiceNow Leader Hub アプリケーションは、組織のリーダーがチームの強みを理解し、スキルのギャップを特定して、従業員の成功に資する変更を促進することを可能にします。Leader Hub は、Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの Leader Hub の特長

- さまざまなチーム間のスキルコンピテンシーの測定基準、重大なスキルギャップの特定、人材開発アプリケーションスイートで提供される成長ツールを使用した従業員のエンゲージメントなど、組織の人材の包括的な概要にすばやくアクセスできます。
- 組織内に存在する各チームのスキルと人材構成を、組織内のさまざまなチーム間の報告関係を示す組織図を通じて、あらゆるレベルの粒度で可視化します。
- リーダーが責任を委任した組織のサポーターは、指定されたリーダーの組織を確認し、それに応じてサポートを提供できるビューから Leader Hub にアクセスできるようにします。

詳細については、「[Leader Hub](#)」を参照してください。

重要:

Leader Hub は ServiceNow Store で利用できます。詳細については、これらのリリースノート「[アクティブ化情報](#)」セクションを参照してください。

Leader Hub の機能

概要

組織と人事のリーダーが、[概要] ページから組織の人材の包括的な概要にすぐにアクセスできるようにします。このページは Leader Hub のホームページであり、従業員のエンゲージメントとスキル習熟度を測定するデータを一目で確認し、組織を構成するチームをざっと見ることができます。[概要] ページでは、リーダーは組織内のチームに関する次の情報にすばやく簡単にアクセスできます。

- スキルスコア
- 重大なスキルギャップ
- 人材開発 アプリケーションスイートで利用可能な成長ツールを使用した従業員のエンゲージメント。

リーダーは、[Leader Hub] ドロップダウンリストから [概要] を選択して [概要] ページにアクセスできます。

組織の才能

[組織の人材 (Org talent)] ページを通じて、組織内に存在する各チームの人材を一元的に表示できる場所をリーダーに提供します。リーダーは、組織の構造と、組織内の各チームのマネージャーと従業員間の報告関係を示すインタラクティブな組織図を通じて、人材データを任意のレベルの詳細度で表示できます。

リーダーは、[Leader Hub] ドロップダウンリストから [組織の人材 (**Org talent**)] を選択することで、[組織の人材 (Org talent)] ページにアクセスできます。

組織スキル

組織のスキル構成を理解するためのツールを [組織スキル (Org skills)] ページからリーダーに提供します。[組織スキル (Org skills)] ページには、リーダーの組織に関連するスキルが表示され、リーダーが重大なスキルギャップを特定し、マネージャーにチーム内の人材育成の責任を負わせるために使用できる測定基準を提供します。リーダーは、表示するスキルの名前を選択して [スキルの詳細] ページにアクセスすることで、各スキルに関連付けられた詳細をさらに詳しく調べることができます。

リーダーは、[Leader Hub] ドロップダウンリストから [組織スキル (**Org skills**)] を選択することで、[組織スキル (Org skills)] ページにアクセスできます。

サポートする組織

組織のサポーターに、[サポートする組織 (Orgs you support)] ページを通じて、リーダーの人員に関するインサイトを提供します。責任を委任されたサポーターには、リーダーが Leader Hub にアクセスするように指定できるため、組織の成功に必要な能力でサポートを提供できます。

サポーターは、従業員センターポータルメガメニューで **[Orgs you support (サポートする組織)]** を選択することで、[サポートする組織 (Orgs you support)] ページにアクセスできます。

UI の変更

[Leader Hub] ドロップダウンリスト

[Leader Hub] ドロップダウンリストは、従業員センターポータルメガメニューに表示される新しいメニュー項目です。[Leader Hub] ドロップダウンリストには、リーダー (sn_egd_lh.leader) ロールがユーザーレコードにアサインされている従業員のみがアクセスできます。このドロップダウンリストには、選択できる次のオプションが含まれています。

- 概要
- 組織の才能
- 組織スキル

[サポートする組織 (Orgs you support)] メニュー項目

[サポートする組織 (Orgs you support)] は、従業員センターポータルメガメニューに表示される新しいメニュー項目です。[サポートする組織 (Orgs you support)] メニューアイテムにアクセスできるのは、ユーザーレコードにサポーター (sn_egd_lh.supporter) ロールがアサインされている従業員のみです。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Leader Hub をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

Leader Hub を使用するには、人材開発コア が必要です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

人材開発 Core

人材開発コア (sn_egd_core) には、Leader Hub を使用するために有効にする必要があるスキルインテリジェンスプラグイン (sn_skills_int) が含まれています。人材開発コアは、従業員のエンゲージメントを測定するために Leader Hub が生成する測定基準で使用される成長ツールである次のモジュールも提供します。

- 展望
- 成長計画

スキルインテリジェンス

Leader Hub は、スキルコンピテンシスコアと重大なスキルギャップのために生成する測定基準でスキルインテリジェンスのスキルデータを使用します。

Career conversations (キャリア対話)

オプションで キャリア対話 プラグイン (sn_egd_act) をインストールすると、Leader Hub は、過去 30 日間に従業員と会話した組織内のマネージャーの割合など、キャリア対話 アプリに対する従業員エンゲージメントの測定基準を生成します。

メンタリング

必要に応じて Employee Connections プラグイン (sn_ecn) をインストールすると、Leader Hub は、現在メンターシップに従事している組織内の従業員の割合など、メンタリング アプリに対する従業員のエンゲージメントの測定基準を生成します。

ラーニング

オプションで ラーニング プラグイン (sn_lep) をインストールすると、Leader Hub は、過去 30 日間にコースを完了した組織内の従業員の割合など、ラーニング アプリに対する従業員のエンゲージメントの測定基準を生成します。

スキルインテリジェンスリリースノート

ServiceNow スキルインテリジェンス アプリケーションは、スキル関連データの概要を提供し、アドミンが単一の場所からジョブアーキテクチャデータを操作できるようにします。スキルインテリジェンス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの スキルインテリジェンス の特長

- 会社のジョブアーキテクチャをノードマップとして表示および編集して、ジョブファミリーとロールグループ、およびスキルインテリジェンスワークスペース内の相互に関連するスキルをよりよく理解できるようにします。
- スキルインテリジェンスワークスペースでロールグループとスキルの推奨事項を表示します。
- 従業員ポータルのカリヤハブのカリヤプロフィールから直接ロールレベルを選択し、プロフィールにスキルを追加します。
- スキルインテリジェンスワークスペース内でより動的でインタラクティブなプレイブックエクスペリエンスに移行します。

詳細については、「[Skills Foundation !\[\]\(c50c8b7b2cc2cf9ff925edec0ee94c0d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

スキルインテリジェンス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

スキルインテリジェンス 機能

Skills Workspace

スキルインテリジェンスワークスペースのジョブアーキテクチャビューを使用して、ジョブアーキテクチャが現在どのように構成されているか、およびジョブファミリーとロールグループ、およびそれらに関連するスキルを確認します。ノードマップを見ることで、修正が必要な問題を把握します。

スキルインテリジェンスワークスペースに表示される推奨事項からロールグループとスキルを選択します。

従業員ポータルの従業員向けのインターフェイスを使用してロールレベルとスキルを選択および更新します。

スキルのインポートと呼ばれる動的でインタラクティブなプレイブックエクスペリエンスを使用して、スキルをインポートおよびレビューします。

UI の変更

Skills Workspace

簡単にアクセスできるジョブアーキテクチャアイコンがスキルインテリジェンスワークスペースメインパネルに追加されました。

[リスト] メニューの [インポート履歴 (Import history)] の下の [スキルオンボーディング (Skills onboarding)] の名前が [スキルインポート (Skill imports)] に変更されました。

このリリースでの削除

スキルオンボーディング機能は削除され、スキルインポートプレイブックエクスペリエンスに置き換えられました。スキルオンボーディングにすでにデータがある顧客の場合は、[レビュー準備完了 (Ready for review)] ステータスのすべてのスキルをダウンロードし、新しいインポートプロセスを使用して再アップロードします。詳細については、「」を参照してください。

アクティブ化情報

ServiceNow Store から要求して、スキルインテリジェンス をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(17413706fd4997a1a4bdf85c6864eee1_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(f419710cbe076aa30a9c6c031b5cbe84_img.jpg\)](#)」を参照してください。

その他の要件

ワークスペースエクスペリエンスにアクセスするには、スキルインテリジェンスワークスペース プラグイン (sn_skills_int_ws) をインストールする必要があります。

ESG Management リリースノート

ServiceNow ESG Management アプリケーションは、環境、社会、ガバナンス (ESG) のすべてのコミットメントの管理に役立ちます。ESG Management は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ESG Management の特長

- バリューチェーンからのスコープ 3 排出量を追跡して、環境への影響に関する知識を得て、進化する規制へのコンプライアンスを促進します。
- 組織独自の会計カレンダーに合わせて会計カレンダーを作成し、定義された会計カレンダーに従ってデータを柔軟に収集およびレポートできるようにします。
- ESG Content Accelerator の排出係数コンテンツを使用します。
- ESG アドミニストレーターが、すべての測定基準および測定基準の定義に対して、簡単な承認フローまたは高度な承認フローのいずれかを定義できるようにします。
- 手動測定基準でアドホック測定基準データタスクを作成することで、既存の測定基準の定義と測定基準のデータを収集するオフサイクル要求に対処します。

詳細については、「[Environmental, Social, and Governance Management !\[\]\(4f6bf54ae7e4144a72d78316053e412d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

ESG Management は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

スコープ 3 排出量を追跡する

スコープ 3 ダッシュボードを使用してスコープ 3 排出量を追跡し、組織の環境への影響を完全に把握して管理します。これらの排出量は、間接的な発生源に由来する温室効果ガス排出量の大部分を占めています。この包括的な理解は、規制コンプライアンスと、カーボンフットプリントの完全な開示の取得に役立ちます。スコープ 3 の排出源を特定したら、間接的な排出の最大の排出源を軽減するための措置を講じることができます。

ESG Content Accelerator で排出係数を表示

ESG Content Accelerator を使用して、標準ソースによって公開されている排出係数を自動的に取得します。排出係数は、活動、材料、またはエネルギー消費の単位あたりに生成される排出量を定量化する係数です。これらは、さまざまな活動に基づいて大気中に排出される温室効果ガス (GHG) または汚染物質の量を計算するために重要です。

会計カレンダーを作成して、地理的なさまざまな場所から測定基準を収集する

標準のグレゴリオ暦とは異なる可能性がある会計カレンダーに従って、データを収集、アグリゲート、およびレポートします。多くのグローバル組織は、独自の会計カレンダーに従ってさまざまな国で事業を展開している可能性があります。この機能により、他の場所のエンティティは、独自の会計カレンダーに従ってデータを収集できます。

測定基準の承認フローの選択

測定基準と測定基準定義に簡単な承認フローを使用するか、GRC：承認コンフィギュレーター を使用してビジネスルール定義に基づいて複数レベルの承認を定義するように、sn_esg.metric_approval プロパティを設定します。このプロパティには 2 つの選択肢があります。

[シンプル] オプションを選択すると、手動測定基準の定義フォームと測定基準の両方で [承認] セクションが有効になります。このセクションを使用して、測定基準の定義フォームで承認者を直接指定することができます。このオプションの承認レベルは 1 つです。

[詳細] オプションを選択すると、手動測定基準の定義フォームおよび測定基準内で [承認] セクションが使用できなくなり、そこに承認者をアサインできなくなります。代わりに、GRC：承認コンフィギュレーター アプリケーションで承認条件、テーブル、および承認者を設定することで承認を取得できます。このアプリケーションでは、複数レベルの承認を定義することもできます。

Create ad hoc metric data tasks

アドホック測定基準データタスクを作成して、既存の測定基準の定義と測定基準に関する最新情報のオフサイクル要求を処理します。これらのタスクは、オフサイクルの要求に対応し、最新情報を提供します。

Metric data table

測定基準データテーブルの拡張フィルターを使用して、タスクをフィルタリングします。フィルターは、データ所有者と承認者に関連するオープンタスクのみを表示するのに役立ちます。

すべての資産のエネルギー使用量と排出量を特定

持続可能な IT ダッシュボードを使用して、特定のカテゴリ内のモデルを探索し、各資産モデルとそのすべての資産のエネルギー消費量を降順で表示します。この機能により、エネルギー使用量に関するより深いインサイトが得られ、使用中のモデルや最もエネルギーを消費しているモデルを特定するのに役立ちます。

UI の変更

排出係数ライブラリ

排出係数が ESG ワークスペースで利用できるようになりました。

このリリースでの変更

ESG プログラムマネージャーロールの強化

ESG プログラムマネージャー (sn_esg.program_manager) が、排出係数を作成、読み取り、更新、および削除できるようになりました。

測定基準テーブルの変更

次の測定基準関連テーブルが読み取りアクセス制御リスト (ACL) で拡張されました。

- メトリクスの定義
- メトリクス
- メトリクスデータ
- メトリクスデータタスク
- メトリクスデータタスク URL

この変更により、次の変更が有効になります。

- 測定基準レベルの承認者ユーザーまたは承認者グループ：これは、承認者として指定されたユーザーまたはグループが、承認者として指定された特定の測定基準とテーブルにのみアクセスできることを意味します。
- マルチレベル承認：これは、承認者として指定されたユーザーまたはグループが、自身が承認者である測定基準関連テーブル内のレコードにのみアクセスできることを意味します。
- 企業オーナーが測定基準レコードにアクセスできるようにする：これは、企業オーナーがすべての測定基準関連レコードにアクセスできることを意味します。

廃止

- Xanadu リリース以降、Global Reporting Initiative (GRI) コンテンツアクセラレータは廃止されました。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。この機能の最新のエクスペリエンスは ESG Content Accelerator アプリケーションで提供されます。
- Xanadu リリース以降、Sustainability Accounting Standards Board (SASB) コンテンツアクセラレータは廃止されました。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。この機能の最新のエクスペリエンスは ESG Content Accelerator アプリケーションで提供されます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ESG Management をインストールします。 [ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store/バージョン履歴のリリースノート](#) 

フィールドサービス管理 (FSM) [®] リリースノート

ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションを使用すると、場所に基づく作業をより効率的かつ安全に管理できます。フィールドサービス管理 (FSM) は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの フィールドサービス管理 (FSM) の特長

- テリトリー間でエージェントを移動し、スケジューリングを最適化して、エージェントがタスクを実行する間の手動追跡を最小限に抑えます。
- Now Mobile エージェントアプリケーションを使用して、フィールドサービス訪問中に営業機会を作成および表示します。
- アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。

詳細については、「[Field Service Management](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

スケジュール最適化機能

スケジュール最適化 を使用して次のタスクを行います。

- ポリシーを作成するときは、**SLA** コンプライアンスバッファの最大化、タスク時間のペナルティの最小化、優先エージェントのアサインの最大化 などの新しい目標を使用します。
- テリトリーユーザーの 1 日の開始時刻と終了時刻を定義し、実際のエージェントの場所に基いて移動時間を計算することでスケジュールの精度を向上させます。
- 既成のバンドルをスケジュールして、類似のタスクをまとめます。
- 非同期処理により、beans.ai 移動見積もり処理時間を短縮します。
- フィールドサービス管理 (FSM) スケジュールのヘルスダッシュボードにアクセスして、タスク測定基準、技術者測定基準、および最適化構成の詳細を表示します。
- 作業指示タスクの選択したフィールドをディスパッチャーが編集できるようにすることで、ディスパッチャーがスケジュール最適化の動作に影響を与えることができるようにします。ディスパッチャーは、作業指示タスクパラメーターを上書きし、技術者設定を追加して、残業を許可することができます。

フィールドサービステリトリーキャパシティアナリティクスダッシュボード

フィールドサービステリトリーキャパシティアナリティクスダッシュボードは、次のタスクに使用します。

- インタラクティブなチャートとグラフを使用して、全体的なデマンドと割り当て済みキャパシティ、および時間の経過に伴うキャパシティの使用状況など、キャパシティの傾向を追跡します。
- カスタマイズ可能なピボットテーブルビューを使用してキャパシティギャップ分析を実行します。これにより、テリトリー別およびデマンドチャンネル別にデータを探索できます。
- フィルターを適用してセットアップに基づいて特定のデータを表示すると、ターゲットを絞った分析と情報に基づいた意思決定が可能になります。

エージェントの再配置

次のタスクを実行して、エージェントを管理します。

- 特定の期間、エージェントをあるテリトリーから別のテリトリーに再配置します。
- 宛先テリトリーの正確な選択を容易にし、各エージェントが最適な場所に配置されるようにします。

- 改善されたスケジュール計画により、リソースの可用性とタスク要件を一致させます。これにより、タスクの実行が最適化され、スケジュールされていない作業に効率的に対処します。
- 一時的なリソース再配置の処理を簡素化することで、手動によるオーバーヘッドを最小限に抑え、手動による追跡プロセスを回避します。

柔軟な作業場所でエージェントの運用を最適化

次のタスクを実行して、エージェントの柔軟な作業場所を追加します。

- エージェントが 1 つの場所で 1 日を開始し、別の場所で終了するように、異なる 1 日の始業時刻と終業時刻の場所を定義して、運用に柔軟性を持たせます。
- 特定の期間中のデフォルトの動作を上書きする例外を実装することで、柔軟性を高めます。
- エージェントの開始場所と終了場所に基づいて移動時間を計算することで、スケジュールリングの精度を向上させます。

の営業機会 Now Mobile エージェントアプリ

フィールドサービス技術者が Now Mobile エージェントアプリケーションで次の操作を実行できるようにします。

- フィールドサービス訪問中に顧客の場所から直接販売機会を作成します。
- データにアクセスして、営業案件を表示、検索、フィルタリングします。

ディスパッチワークスペース

ディスパッチワークスペースを使用して、次のタスクを実行します。

- 複数のタイムゾーンを表示して、複数の場所で作業指示タスクに対応可能なエージェントを表示します。
- スケジュールされていないタスクに対して考えられるすべてのスケジュールオプションについてインテリジェントなガイダンスを受け取ります。エージェントとタスクの一致率、距離などに基づいて、スケジュールリングオプションをランク付けします。
- シフト外のエージェントを非表示にして、ディスパッチャーがその時点でタスクに対する準備ができていないエージェントに集中できるようにします。

バンドルされたタスクの Beans.ai マップ統合

Beans.ai を使用してバンドルされたタスクのルートを最適化します。

予約の機能強化

予約の拡張構成を使用して、次のタスクを実行します。

- 作業指示タスクを予約します。
- 選択した構成に応じて、予約を再スケジュールするときにリードタイムを計算またはスキップできるようにします。
- 予約のリードタイム計算時に休日を考慮します。

フィールドサービスマーケットプレイスの機能強化

- タスクをマーケットプレイスにプッシュし、マーケットプレイス要求を自動的に作成し、指定した基準に従って適格な請負業者をリスト化するプロセスを自動化します。
- タスクフィルターを設定して、マーケットプレイスの対象となる作業指示タスクを特定します。

- [プログレッシブプッシュ] チェックボックスを使用して、ランク付けに基づいて適切な請負業者にマーケットプレイス要求を増分プッシュします。
- [応答評価フロー] フィールドを使用して、契約社員の応答を評価し、最低コストの請負業者にタスクを自動的に割り当てます。

Field Service Quality Management

フィールドサービス品質管理 を使用して次のタスクを行います。

- 完了前に作業指示タスクの品質とデータをレビューします。
- レビューされ、詳細を求めて返送された作業指示に対処します。
- 技術者にフィードバックを提供し、レビュープロセス中に必要に応じて連絡します。

人員の拡張

人員の拡張構成を使用して、次のタスクを実行します。

- すべてのペルソナにアクセス権を拡張し、ロールに関係なくすべてのユーザーが自分のカレンダーを表示できるようにします。
- グループとテリトリーのカレンダーの可視性を有効にする設定を構成し、作成エージェントは、フィールドサービスのワークフォース最適化 が有効になっていない場合に、グループ内またはテリトリー内のメンバーのリストとカレンダーを表示できます。
- エージェントが自分自身のパーソナルイベントを作成できるようにします。

複数の作業構成

インストール、修理、障害修理、メンテナンスなど、複数の作業タイプの構成を作成します。

- さまざまな作業タイプの作業構成を設定し、指定された事業部門または部門に関連する作業タイプとフローが表示されるようにします。
- 複数のワークフローをサポートする サービス管理 構成 (SM 構成) を作成します。
- 作業指示タスクテーブルを拡張して、さまざまな作業タイプに対応します。

UI の変更

キャパシティ管理ダッシュボード

日付範囲とテリトリーを選択して、キャパシティ測定基準とともに実際の作業デマンドを表示し、フィルターを使用して選択した期間の合計作業量に対して計画キャパシティをプロットします。

スケジュール最適化

- [タスクフィルター] タブの名前が「最適化ターゲット」に変更されました。
- 制限付きタスクに新しいタブが追加されます。

予約

フィールドサービス 構成の名前が「フィールドサービス 注文構成」に変更されました。

このリリースでの変更

キャパシティと予約の管理

キャパシティと予約の管理データモデルは、エージェントの開始場所と終了場所に対応するように変更されました。

Reflow for Configurable Workspace

ディスパッチワークスペース と フィールドサービスのワークフォース最適化 がリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。詳細については、次の [アクセシビリティ情報](#) セクションを参照してください。

このリリースでの削除

フィールドサービス ダッシュボードが エマージェンシーエクスポージャー管理 アプリケーションから削除されています。

廃止

Xanadu リリース以降、FSM Agent Classic Workspace プラグイン (com.snc.agent_workspace.fsm) は展開、拡張、またはサポートされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#) 

アクティベーション情報

フィールドサービス管理 (FSM) は、フィールドサービス管理 (FSM) プラグイン (field_service_management) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Activate Field Service Management](#) 

追加の フィールドサービス管理 (FSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Additional plugins for Field Service Management](#) 

フィールドサービス (com.snc.fsm_technician_sales) プラグインを使用して技術者主導の営業を有効にすることで、フィールドサービス技術者が Now Mobile エージェントアプリケーションから直接販売機会を開始および監視できるようにします。

アクセシビリティ情報

アクセシビリティの改善

アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。

リフロー

ディスパッチワークスペース と フィールドサービスのワークフォース最適化 ワークスペースがリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザーのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。

さらに、リフローをサポートするように次のページが更新されました。

- テリトリー計画
- サービスの場所
- 地域
- エージェントの推奨事項

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見づらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細については、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

ファイナンシャルマネジメント

フィールドサービス管理 (FSM) を ServiceNow ファイナンシャルマネジメント アプリケーションに統合することで、組織内で経費を割り当て、追跡、およびレポートします。

i 注:

Financial Management For CSM プラグイン (com.snc.financial_management_for_csm) は、直接アクティベーションができなくなりました。このプラグインは、Now Support カスタマーサービスから要求できます。

カスタマーサービス管理 (CSM)

フィールドサービス管理を使用したカスタマーサービスプラグイン (com.snc.csm_fsm_integration) を使用すると、フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションと ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションが統合され、フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションで作業指示書および作業指示タスクのアカウントと連絡先情報を表示できます。

サービスポートフォリオ管理

フィールドサービス管理 (FSM) と ServiceNow サービスポートフォリオ管理 アプリケーションとの統合により、プロジェクトタスクから直接作業指示を作成できます。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペース は、エージェントが問題を検索、調査、解決するために使用するツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。CSM 構成可能ワークスペース および CSM エージェントワークスペース は、顧客に対応してケースを解決するために必要なツールを階層 1 エージェントに提供する、カスタマーサービス固有の実装です。

フィールドサービス管理 (FSM) の Now Assist リリースノート

ServiceNow FSM の Now Assist アプリケーションでは生成 AI を フィールドサービス管理 (FSM) で利用します。FSM の Now Assist は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの FSM の Now Assist の特長

- 生成 AI を使用して、作業指示タスク情報からナレッジ記事を作成します。
- 生成 AI を使用して サイドバー ディスカッションを要約します。

詳細については、「フィールドサービス管理 (FSM) の Now Assist」を参照してください。

i 重要:

フィールドサービス管理 (FSM) の Now Assist は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

KB の生成

エージェントが既知の問題をより迅速に解決できるように、作業指示タスクからナレッジ記事を生成します。

サイドバーの要約

プラットフォームと モバイルエージェント アプリケーションからの サイドバー ディスカッションを要約します。

アクティベーション情報

Now Assist 機能は FSM の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Install Now Assist plugins](#)」を参照してください。

その他の要件

FSM の Now Assist アプリケーションには フィールドサービス管理 (FSM) が必要です。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Now Assist

組織の生産性と効率を上げ、より優れたセルフサービスを提供し、アクションを推奨し、回答を提供し、ユーザーによるより効果的な検索を実現します。

Now Assist アドミン 慰める

Now Assist アドミンコンソールを使用すると、Now Assist アプリケーションと機能の設定、構成、および監視に必要な重要情報にすばやく簡単にアクセスできます。

Now Assist skills

Now Assist 製品を使用して、作業指示タスクの要約やナレッジベース記事の生成など、さまざまなワークフローでユーザーのニーズを満たす生成 AI スキルを提供します。

ファイナンシャルサービスオペレーション リリースノート

Xanadu リリースには、ファイナンシャルサービスオペレーション の新機能と更新された機能が含まれます。

Mastercard の紛争ルールコンテンツパック リリースノート

ServiceNow Mastercard の紛争ルールコンテンツパック アプリケーションは、顧客が異議申し立て関連情報を取り込み、異議申し立て理由コードを決定するときに顧客に尋ねることができる質問をエージェントに提供します。Mastercard の紛争ルールコンテンツパック は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの **Mastercard** の紛争ルールコンテンツパック の特長

- Mastercardチャージバックガイドに基づく一連の異議申し立ての質問を使用して、エージェントが Mastercard のトランザクションの異議申し立てを処理できるようにします。
- 指定されたディシジョンテーブルを使用して、Mastercard トランザクションのチャージバック適格性を判断します。適格性は、異議申し立ての理由コード、質問の回答、およびトランザクションデータに基づいて決まります。

詳細については、「[Dispute Rules Content Pack for Mastercard](#)」を参照してください。

i 重要:

Mastercard の紛争ルールコンテンツパック は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Mastercard の紛争ルールコンテンツパック 機能**異議申し立てアンケートテーブル**

カード名義人が Mastercard 固有の異議申し立ての異議申し立てプロセスの早い段階で関連データを収集できるように、堅牢な一連の質問を使用することで、データ品質を向上させます。

ディシジョンテーブル

このアプリケーションに含まれているディシジョンテーブルの適格性ルールに照らして Mastercard トランザクションの詳細とアンケートの回答を検証することで、異議申し立て処理を簡素化します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Mastercard の紛争ルールコンテンツパック をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

その他の要件

このアプリケーションを使用するには、Financial Services Card Operations (sn_bom_credit_card) と Visa の紛争ルールコンテンツパック (sn_bom_visa_cp) が必要です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能**Financial Services Card Operations**

ServiceNow Financial Services Card Operations アプリケーションでは、金融機関のカードオペレーションをデジタル化および自動化することで、クレジットカード申請やカード取引に関する異議申し立ての迅速な処理が可能になります。

Financial Services Credit Operations

ServiceNow Financial Services Credit Operations アプリケーションにより、ServiceNow ファイナンシャルサービスオペレーション ワークフローで使用されるクレジットのケースおよびタスクの管理が可能になります。

Customer Service Management

カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションから Financial Services Card Operations アプリケーションへのテーブルの拡張を有効にします。

Playbook capabilities

カスタマーサービス管理 (CSM) 用のプレイブックにより、シンプルなタスク指向のビューでビジネスプロセスワークフローが可視化され、よく発生する状況に対する一貫した対応が保証されます。

Visa の紛争ルールコンテンツパック リリースノート

ServiceNow Visa の紛争ルールコンテンツパック アプリケーションを使用すると、カード発行者は Visa カードネットワークルールにアクセスして、カード異議申し立てケースを開始および調査できます。Visa の紛争ルールコンテンツパック は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Visa の紛争ルールコンテンツパック の特長

- カード決済ネットワークに異議申し立てを送信する前に、適格性をすぐに特定することで、チャージバックプロセスを最適化します。
- 理由コードとトランザクションデータに基づいて不適格なトランザクションを識別することにより、ペナルティを回避します。

詳細については、「[Dispute Rules Content Pack for Visa](#)」を参照してください。

重要:

Visa の紛争ルールコンテンツパック は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

このリリースでの変更

アンケートとチャージバックの適格性ルール

Visa からの最新の異議申し立て条件を反映するために、新しいチャージバック適格性ルールが追加されました。

異議申し立てアンケートを更新して、次の理由コードをサポートしました。

- 10.3 (その他の詐欺 - カード提示環境)
- 13.1 (受領されていない商品/サービス)
- 13.5 (虚偽表示)

更新されたデータモデル

更新されたチャージバック適格性条件と、異議申し立て中のトランザクションの検証に使用されるフィールドをサポートするように Visa の紛争ルールコンテンツパック を拡張しました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Visa の紛争ルールコンテンツパック をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Financial Services Card Operations

ServiceNow Financial Services Card Operations アプリケーションでは、金融機関のカードオペレーションをデジタル化および自動化することで、クレジットカード申請やカード取引に関する異議申し立ての迅速な処理が可能になります。

Financial Services Credit Operations

ServiceNow Financial Services Credit Operations アプリケーションにより、ServiceNow ファイナンシャルサービスオペレーション ワークフローで使用されるクレジットのケースおよびタスクの管理が可能になります。

Customer Service Management

カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションから Financial Services Card Operations アプリケーションへのテーブルの拡張を有効にします。

Playbook capabilities

カスタマーサービス管理 (CSM) 用のプレイブックにより、シンプルなタスク指向のビューでビジネスプロセスワークフローが可視化され、よく発生する状況に対する一貫した対応が保証されます。

Dispute Content Pack for US Regulations (米国の規制に関する異議申し立てコンテンツパック) リリースノート

ServiceNow Dispute Content Pack for US Regulations (米国の規制に関する異議申し立てコンテンツパック) アプリケーションを使用すると、米国 (US) の発行者は異議申し立てケースを追跡し、規制ガイドラインに準拠できます。Dispute Content Pack for US Regulations (米国の規制に関する異議申し立てコンテンツパック) は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの Dispute Content Pack for US Regulations (米国の規制に関する異議申し立てコンテンツパック) の特長

- 異議申し立てケースの追跡と管理を簡素化します。
- 規制 E (Reg E) や規制 Z (Reg Z) などの米国の規制に準拠しています。
- サービスレベルアグリーメント (SLA) の定義を組み込んで、発行者が期限を監視し、アクションを実行できるようにします。

詳細については、「[Dispute Content Pack for US Regulations !\[\]\(830769b31eeeaca920791081939ff8ba_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

[Dispute Content Pack for US Regulations !\[\]\(8bba887393ca45b761e5cb49e755e762_img.jpg\)](#) は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Dispute Content Pack for US Regulations (米国の規制に関する異議申し立てコンテンツパック) 機能

Reg E および Reg Z の設定可能な SLA 定義

Reg E および Reg Z の SLA 定義を構成して、異議申し立てエージェントがケースを効率的に管理し、マネージャーが進捗状況を監視してタイムリーなアクションを実行できるようにします。

異議申し立てマネージャーと異議申し立てエージェントのランディングページの機能強化

異議申し立てマネージャーと異議申し立てエージェントの両方のランディングページで、既存のタブ [デビットカード異議申し立てケース (**Debit card disputes cases**)] および [誤った請求によるクレジットカードケース (**Credit card cases under incorrect billing**)] の [SLA 違反] と [リスクのある SLA] を変更しました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Dispute Content Pack for US Regulations (米国の規制に関する異議申し立てコンテンツパック) をインストールします。[ServiceNow Store !\[\]\(7bc43b319a082987e20f7bf78f4bab80_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(8126e67a625876df61ad4c4b63fecbc2_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Dispute Rules Content Pack for Visa

ServiceNow[®] Visa の紛争ルールコンテンツパック アプリケーションと統合することで、規制基準に準拠しながらカードの異議申し立てを効率的に管理できるようになります。

Financial Services Card Operations[®]

ServiceNow Financial Services Card Operationsアプリケーションと統合して、金融機関のカードオペレーションの効率とコンプライアンスを向上させます。

Financial Services Card Operations[®] リリースノート

ServiceNow Financial Services Card Operationsアプリケーションは、ポータルに異議申し立てプレイブックを導入し、カード所有者が異議申し立てを開始して、拡張されたトランザクションの詳細を取得し、異議申し立てトラッカーを通じてリアルタイムのケース更新を受信できるようにします。Financial Services Card Operations は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Financial Services Card Operations の特長

- カード所有者が、ポータル上の異議申し立てプレイブックエクスペリエンスを使用して異議申し立てを作成および追跡できるようにします。
- 異なるロールベースのランディングページ間の直感的な移行により、ナビゲーションを強化します。
- スコープ指定されたアドミンが広範な機能を持つランディングページを変更できるようにして、コンテンツをユーザーベースの特定のニーズや好みに確実に合わせます。

詳細については、「[Financial Services Card Operations[®]](#)」を参照してください。

i 重要:

[Financial Services Card Operations[®]](#) は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

異議申し立て用プレイブックの機能拡張[®]

これらの機能拡張により、カード所有者は次のことが可能になります。

- 異議申し立てを行う金融口座とトランザクションを選択して、ポータルから直接異議申し立てを開始します。
- 分かりやすい異議申し立てポータルインターフェイスにより、異議申し立ての開始と追跡のプロセスを簡素化します。
- ポータルのアンケートを通じて異議申し立てに関する詳細情報を収集します。
- カード名義人が関連ドキュメントを異議申し立てケースに添付できるようにします。
- ポータルの異議申し立てトラッカーを通じて、ケースに関する最新情報をリアルタイムで受け取ります。
- ポータルから異議申し立てを送信してレビューページを表示します。エージェントはレビューページで、調査のために送信する前に、必要に応じてケースの詳細を確認および変更できます。

UI の変更

異議申し立てペルソナの更新されたランディングページは、新しいビジュアルデザインと改善されたナビゲーションを特徴としています。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Financial Services Card Operations をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノートについては、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

ファイナンシャルサービスオペレーションコア

ファイナンシャルサービスオペレーションコア は、カード要求の処理に必要な顧客データを保存します。

Financial Services Credit Operations

ServiceNow Financial Services Credit Operations アプリケーションにより、ServiceNow ファイナンシャルサービスオペレーション ワークフローで使用されるクレジットのケースおよびタスクの管理が可能になります。

Customer Service Management

ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションから Financial Services Card Operations アプリケーションへのテーブルの拡張を有効にします。

Playbook capabilities

カスタマーサービス管理 (CSM) 用のプレイブックにより、シンプルなタスク指向のビューでビジネスプロセスワークフローが可視化され、よく発生する状況に対する一貫した対応が保証されます。

個人向け生命保険請求 リリースノート

ServiceNow 個人向け生命保険請求 アプリケーションを使用すると、組織は個々の生命保険契約のエンドツーエンドの請求処理を実行できます。個人向け生命保険請求 は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの 個人向け生命保険請求 の特長

- 問診票スペシャリスト、請求スペシャリスト、およびマネージャー向けの明確で直感的なシステムを使用して、請求プロセスを簡素化します。
- 請求スペシャリストが請求ケース内の複数の保険契約を処理できるようにします。
- さまざまな請求関連ロール用にカスタマイズされたプレイブックとワークスペースを使用します。
- 損失の初回通知 (FNOL) からケースのクローズまで、請求ライフサイクル全体を管理します。

詳細については、「[Individual Life Claims](#)」を参照してください。

i 重要:

個人向け生命保険請求 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

個人向け生命保険請求 機能

個人向け生命保険請求 application

FNOL で重要な詳細を記録し、ドキュメントを検証し、プライマリ請求と関連する請求のタスクを管理します。

請求データモデル

介護、障がい、重篤な病気などの個々の福利厚生請求フローを構築します。

FNOL のカスタマイズされたプレイブックエクスペリエンス

カスタマイズされたプレイブックを使用して、ステップバイステップのガイダンスに従って FNOL プロセスを完了し、すべてのタスクがプロセスの正しいステージで完了することを検証します。

新しいアジャスターワークスペース

新しいワークスペースで、個人向け生命保険請求に関する複数の保険契約にわたって問題を解決し、タスクを完了し、準備金と支払いを管理します。

死亡保険金ワークフロー

含まれている死亡保険金請求ワークフローを例として使用し、独自のワークフローの構築を開始します。

引当金と支払の承認エンジン

査定人の認可された限度を超える引当金または支払を承認する要求をマネージャーにルーティングします。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、個人向け生命保険請求 をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(6a9b39b98eb945faa14c645ec99e4eaa_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(182077db5bac9ff62bf376fe37ffa951_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

 ServiceNow ファイナンシャルサービスオペレーションコア は、請求要求の処理に必要な顧客データを保存します。

Customer Service Management

ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) は、ServiceNow アプリケーションから 個人向け生命保険請求 アプリケーションへのテーブルの拡張を有効にします。

Playbook capabilities

 Playbooks for ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) は、シンプルなタスク指向のビューでビジネスプロセスワークフローを可視化する方法を提供し、よく発生する状況に対する一貫した対応を保証します。

FSO の **Now Assist** リリースノート

ServiceNow FSO の Now Assist アプリケーションでは生成 AI を ファイナンシャルサービスオペレーション で利用します。ケースレコードからカード異議申し立てと保険金請求のサマリーを作成することで、エージェントは重要な詳細をすばやく表示できます。FSO の Now Assist は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの **FSO** の **Now Assist** の特長

- カード異議申し立てケースと保険金請求にケース要約スキルを使用します。
- 複雑な情報を解析し、重要な詳細を強調することで、エージェントが、取引レコード、異議申し立てに関するマーチャントとのやり取り、および保険金請求に関するインシデントの詳細について、情報に基づいた意思決定を行えるようにします。

- 異議申し立ておよび請求管理における複数の引き継ぎの必要性を減らし、一貫性と迅速な解決を実現します。
- ケースの要約を自動化し、手動タスクを実行していたリソースを複雑なケース分析などの重要な領域に再割り当てします。

詳細については、「[Now Assist for Financial Services Operations \(FSO\)](#)」を参照してください。

i 重要:

FSO の Now Assist は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

FSO の Now Assist 機能

ケースの要約スキル

レコードを短いサマリーに凝縮することで、エージェントの時間を節約できるように設計されています。FSO の Now Assist には、カード異議申し立てと保険金請求のユーザースペースに固有のカスタマイズされたスキルが含まれています。

Now Assist パネル

エージェントは、Financial Servicesで使用可能なパネルで Now Assist スキルにアクセスできます。Now Assist はコンテキストを認識するため、現在表示されているレコードや会話を要約でき、また、エージェントはケース番号を指定することができます。

Now Assist アドミン 慰める

Now Assist アドミン コンソールを使用して、機能と個々のスキルをアクティブ化および構成します。たとえば、スキルにアクセスできるロールや、スキルをFinancial Servicesワークスペース、Now Assist パネル、またはその両方で使用できるかどうかを指定できます。

ユーザーロールによるスキルの可用性の制限

ケースの要約スキルにアクセスできるロールを指定します。

UI の変更

Now Assist のアイコン ネクストエクスペリエンス 統一ナビゲーション

ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク で Now Assist アイコンを使用して Now Assist パネルを開けるようになりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、FSO の Now Assist をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

FSO の Now Assist アプリケーションには、ファイナンシャルサービスオペレーション Professional Plus または Enterprise Plus のライセンスが必要です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Now Assist

ServiceNow[®] Now Assist は、会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率性を向上させるために設計された生成 AI を使用します。

Now Assist skills

Now Assist 生成 AI スキルを使用して、ケースの要約などのさまざまなワークフローでユーザーのニーズを満たします。

Now Assist ケースまたはインシデントの要約

Now Assist によって生成されたケースまたはインシデントの要約から、ケースまたはインシデントの詳細をすばやく学習します。

Verifi[®] スポーク リリースノート

ServiceNow Verifi スポーク アプリケーションは、Verifi スポーク アクションを使用して Verifi API に接続し、カード異議申し立て解決プロセスを簡素化します。Verifi スポーク は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの Verifi スポーク の特長

- ケースの作成を開始する。
- 単一および複数のケースを取得する。
- マーチャントの適格性について問い合わせる。
- ケースを取り消すかクローズする。

詳細については、「[Verifi Spoke !\[\]\(dd161862f9164df98f62b726e9846241_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

Verifi スポーク は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Verifi スポーク 機能

Verifi スポークのアクション

Verifi スポーク アクションを使用して、ケースの作成、ケースの取り消しまたはクローズ、ケース詳細の取得、マーチャントの問い合わせの取得などの、さまざまな API 機能にアクセスします。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Verifi スポーク をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(c1168d6a8b365d11e842ece304635fa7_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート !\[\]\(821e2adbc4e694c5a65f45cf90787bff_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Integration Hub

ServiceNow ワークフロースタジオ用に ServiceNow のコンポーネントを使用して統合タスクを自動化するか、カスタム統合を開発します。別途サブスクリプションが必要です。

Integration Hub available spokes

スポークをアクティブ化して、統合専用のコンテンツでワークフロースタジオエクスペリエンスを向上させます。事前にビルドされたフローとアクションを使用して、統合を自動化するか、または独自に統合の自動化を作成します。

Integration with spokes [®]

スポークを ServiceNow ファイナンシャルサービスオペレーション (FSO) アプリケーションと統合して、フローデザイナーがそれらのアプリケーションの ワークフロースタジオ 内で特定のアクションを提供できるようにします。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス リリースノート

Xanadu リリースに含まれる、ガバナンス、リスク、コンプライアンス の新機能と更新された機能

高度なリスク [®] リリースノート

ServiceNow 高度なリスク アプリケーションを使用すると、組織のビジネスゴールの達成に影響を与える可能性のあるリスクを特定、分析、評価、処理、および監視できます。高度なリスク は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 高度なリスク の特長

- すべてのタイプのリスク対応戦略に対して統一されたワークフローを使用し、GRC：承認コンフィギュレーター を使用して動的承認を有効にして、各リスク対応計画のさまざまなアクション アイテムを含む複数の戦略を作成します。
- リスクを再評価するときは、オープンリスク対応タスクをリンクするか、以前のアセスメントからリスク対応戦略とともにタスクをコピーします。
- リスクアセスメントの結果として、問題を作成するか、既存の未解決の問題をリンクします。
- スマートアセスメントエンジン を使用して改善されたユーザーエクスペリエンスでリスク識別アンケートに回答します。
- クローズ済みリスクイベントを再オープンして、見落とされている、または過小評価されているリスクを特定して対処し、新しいリスクイベントを作成する代わりに既存のリスクイベントを更新します。

詳細については、「[高度なリスクアセスメント !\[\]\(8bba887393ca45b761e5cb49e755e762_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

高度なリスク は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリース ノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

強化されたリスク対応ワークフロー

次の機能拡張により、リスク対応ワークフローを簡素化します。

- すべてのタイプのリスク対応タスクに統一されたワークフローを使用します。リスク対応タスクの標準化されたワークフローにより、すべてのタイプのリスク対応タスクの管理が強化され、一貫性が促進されて、カスタマイズの必要性が軽減されます。
- 承認コンフィギュレーターを使用して、リスク対応タスクの複数レベルの承認を構成します。デフォルトでは、すべてのタイプのリスク対応タスクに対して単一レベルの承認が有効になっており、リスクオーナーがタスクを承認できます。これらの承認は、要件に基づいて構成できます。
- リスク対応タスクを却下し、クローズせずに対応中ステータスに移行します。この機能は、承認者が応答に満足できない場合に、リスク対応タスクオーナーが応答戦略を変更するのに役立ちます。
- 独立したワークフローでアクションアイテムを作成し、[ドラフト] または [対応中] ステータスのときにリスク対応タスクにリンクします。

i 注:

リスク受容タスクを除くすべてのタイプのリスク対応に対して、リスク対応アクションアイテムを作成できます。

- 再アセスメント中に、以前のリスクアセスメントから現在のリスクアセスメントにリスク対応計画をコピーします。
- 再アセスメント中に、以前のアセスメントから現在のリスクアセスメントにオープンリスク対応タスクをリンクします。既存のリスク対応タスクを編集または削除することもできます。

リスクアセスメントとの問題のリンク

次の機能拡張により、リスクアセスメントを簡素化します。

- リスクアセスメント方法論 (RAM) フォームで問題のリンクオプションを有効にして、問題を作成するか、既存のオープンな問題をリスクアセスメントにリンクします。
- リスクアセスメントで利用できる構成可能な問題カードから問題の詳細を表示します。
- 問題カードの視覚的な差別化要素を使用して、既存のリンクされた問題から新しく作成された問題を特定します。
- 問題を編集または削除します。

拡張リスクイベントタスクワークフロー

次の機能拡張により、リスクイベントワークフローを簡素化します。

- リスクイベントタスクに対し、統一された拡張ワークフローを使用します。標準化されたワークフローにより、リスクイベントタスクの管理が強化されます。
- 承認コンフィギュレーターを使用して、リスクイベントタスクの複数レベルの承認を構成します。
- リスクイベントタスクを却下し、クローズせずに対応中ステータスに移行します。この機能は、承認者が満足できない場合にリスクイベントタスクオーナーがリスクイベントを変更するのに役立ちます。

を使用したリスク識別アンケートのユーザーエクスペリエンスの改善 スマートアセスメントエンジン

インタラクティブで直感的なユーザーエクスペリエンスを使用して、**アセスメントワークスペース** からリスク識別アンケートに回答します。リスクアドミンは、リスク識別構成でクラシックアセスメントアンケートとスマートアセスメントアンケートのいずれかを、強制動作にすることなく選択できます。既存のリスク識別テンプレートをスマートアセスメントエンジン アプリケーションに移行できます。**アセスメントワークスペース** でリスク識別テンプレートを作成することもできます。

i 注:

リスク識別構成フォームでは、リスク識別カテゴリを持つ公開済みアセスメントテンプレートのみを選択できます。

通貨換算日の構成

システムプロパティでリスクイベントエントリの通貨換算日を定義します。この機能により、影響日のみに依存するのではなく、通貨換算の特定の日付を選択できるようになり、純損失計算の精度が向上します。通貨換算日は、システムプロパティレベルで次のオプションから選択できます。

- リスクイベントエントリ日 (Risk event entry date)
- 最初の損失エントリ日 (First loss entry date)
- 前回の損失エントリ日 (Last loss entry date)
- 最初の復旧エントリ日 (First recovery entry date)
- 前回の復旧エントリ日 (Last recovery entry date)
- カスタム日付 (Custom date)

i 注:

リスク応答テンプレート構成で、定義された通貨換算日上書きすることもできます。これらの変更は、新規および進行中のリスクイベントワークフローの両方に適用されます。

クローズ済みリスクイベントを再オープン

クローズ済みリスクイベントを再オープンして、新しいリスクイベントを作成せずに、既存のリスクイベントを新しい検出、損失、または関連情報で更新します。この機能により、時間と労力が節約され、リスクイベント管理の柔軟性と効率が向上します。リスクイベントは個別にまたは一括で再オープンできます。

その他の機能強化と改善

次の機能拡張により、プロセスを簡素化します。

- リスクアセスメントが承認または却下されたときにメール通知でリスク査定人に通知します。
- ターゲットレコードにユーザーまたはグループがない場合は、フィードバック統合構成フォームで特定のグループを回答者タイプとして定義します。詳細については、「[Configure a feedback integration](#)」を参照してください。
- 高度なリスクアセスメントの単一通貨モードを構成します。この機能は、選択した単一通貨ですべての財務値を表示し、すべてのフィールドの一貫性と明確性を確認します。詳細については、「[Single-currency mode](#)」を参照してください。
- リスク識別フォームに追加された新しいフィールド [最終完了日 (**Last completed date**)] に、最新のリスク識別の完了日を表示します。詳細については、「[Set up risk identification integration](#)」を参照してください。

UI の変更

リスクアセスメント列ラベル

名前の重複による混乱を避けるために、次のリスクアセスメント列ラベルの名前が変更されました。

- [計算済みのコントロール有効性 (control_computed_effectiveness)] の名前は、[計算済みのコントロール有効性評価 (Computed control effectiveness rating)] に変更されました。
- [計算済み固有リスク (inherent_computed_risk)] の名前は [計算済み固有評価 (Computed inherent rating)] に変更されました。
- [計算済み残存リスク (residual_computed_risk)] の名前は [計算済み残存評価 (Computed residual rating)] に変更されました。
- [計算済みターゲットリスク (target_computed_risk)] の名前は、[計算済みターゲット評価 (Computed target rating)] に変更されました。
- [コントロール有効性 (summary_control_effectiveness)] の名前は、[コントロール有効性評価 (Control effectiveness rating)] に変更されました。

- [上書き時のコントロール有効性 (control_effectiveness_when_overridden)] の名前は、[上書き時のコントロール有効性評価 (Control effectiveness rating when overridden)] に変更されました。
- [固有リスク (summary_inherent_risk)] の名前は、[固有の評価 (Inherent rating)] に変更されました。
- [計算済みスコアを上書き (override_calculated_inherent_score)] の名前は、[計算済み固有スコアを上書き (Override computed inherent score)] に変更されました。
- [計算済み残存スコアを上書き (override_calculated_residual_score)] の名前は、[計算済み残存スコアを上書き (Override computed residual score)] に変更されました。
- [計算済みスコアを上書き (override_calculated_target_score)] の名前は、[計算済みターゲットスコアを上書き (Override computed target score)] に変更されました。
- [残存リスク (summary_residual_risk)] の名前は、[残存評価 (Residual rating)] に変更されました。
- [上書き時の残存リスク (residual_risk_when_overridden)] の名前は、[上書き時の残存評価 (Residual rating when overridden)] に変更されました。
- [ターゲットリスク (summary_target_risk)] の名前は、[ターゲット評価 (Target rating)] に変更されました。
- [上書き時のターゲットリスク (target_risk_when_overridden)] の名前は、[上書き時のターゲット評価 (Target rating when overridden)] に変更されました。
- [コメント (target_justification)] の名前は、[ターゲットリスクのコメント (Comments for target risk)] に変更されました。
- [コメント (inherent_justification)] の名前は、[固有リスクのコメント (Comments for inherent risk)] に変更されました。
- [コメント (control_justification)] の名前は、[コントロール有効性のためのコメント (Comments for control effectiveness)] に変更されました。
- [コメント (residual_justification)] の名前は、[残存リスクのコメント (Comments for residual risk)] に変更されました。
- [コメント (approver_comments)] の名前は、[承認者コメント (Approver comments)] に変更されました。
- [コメント (risk_response_justification)] の名前は、[リスク応答のコメント (Comments for risk response)] に変更されました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、高度なリスク をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

GRC リスク管理

リスク管理 を ServiceNow 高度なリスク アプリケーションで使用すると、影響度の高いリスクを特定して監視し、リスクベースの意思決定を改善し、応答時間を数日から数分に短縮できます。

GRC Risk ワークスペース

リスクワークスペースを ServiceNow[®] 高度なリスク アプリケーションで使用する
と、すべてのリスク関連アクティビティを単一ペインで表示して、シンプルなユーザー
エクスペリエンスを提供します。

監査管理 リリースノート

ServiceNow 監査管理アプリケーションは、監査エンゲージメントの計画、エンゲージメントの
実行、監査委員会への結果のレポートに関連するアクティビティをサポートします。監査管理 は
Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 監査管理 の特長

- ドキュメントとワークシートを 監査管理 でクラウドファイルとして管理します。
- クラウドファイルを任意の GRC レコードにリンクし、単一のクラウドファイルを複数のレコード
と共有します。
- ローカルコンピューターからドキュメントをクラウドファイルとしてアップロードし、それら
をServiceNowの任意のレコードにリンクします。
- 監査管理 で導入された Lite ロールを使用して、より簡単なビジネスオペレーションを実現しま
す。

詳細については、「[Audit Management](#)」を参照してください。

重要:

監査管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの
「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

クラウドドキュメント管理

ローカルコンピューターからドキュメントをクラウドファイルとしてアップロードし、
それらをServiceNowの任意のレコードにリンクします。事前定義されたフォルダーの
パスと場所にファイルをアップロードできます。

Audit Management のユーザーロールの機能拡張

次のロールが追加されました。

- 監査承認者 (sn_audit.approver) ロールを使用して、エンゲージメントおよび監査計
画を承認します。このロールを持つユーザーは誰でも承認者リストに含めることがで
きます。このロールは、Lite オペレーターロールとしても分類されます。
- 監査リーダー (sn_audit.reader) ロールを使用して、エンゲージメント、計画、観
察、監査タスクなどの監査関連エンティティを表示します。このロールを持つユー
ザーは、監査管理 アプリケーション内のすべてのエンティティに対する排他的な読
み取りアクセス権を持ちます。このロールは、Lite オペレーターロールとしても分類
されます。

このリリースでの変更

ワークフローを承認するユーザーのロール変更

エンゲージメントおよび監査計画の承認者は、監査承認者 (sn_audit.approver) ロール
を Lite オペレーターロールとして使用して、監査ワークフローを承認することもでき
ます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ポリシーとコンプライアンス管理 をインストールします。
[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

事業継続性管理 リリースノート

ServiceNow 事業継続性管理 アプリケーションを使用すると、停電、異常気象、機器の損傷などの中断が発生した場合でも、組織は許容可能なレベルで製品とサービスを提供し続けることができます。事業継続性管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 事業継続性管理 の特長

- 更新された計画レコードを使用して、資産のタイプ、関係、および関係のソースを確認します。
- ビジネスインパクトアナリシス (BIA)、計画、およびイベントに関連する依存関係に関する最新情報にアクセスします。
- 依存関係に基づいて編成された、計画内にリストされている復旧タスクを管理および評価します。

詳細については、「[Business Continuity Management](#)」を参照してください。

i 重要:

事業継続性管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースにアップグレードする際の重要な情報

計画レコードに導入された関係テーブルは、*Update BCP dependencies snapshot* スケジュール済みジョブによって生成されます。Xanadu リリースにアップグレードした後は、ジョブスケジュールが実行された後、または [依存関係を更新 (**Update dependencies**)] ボタンを手動で選択した後にのみ、これらのテーブルを表示できます。

Xanadu リリースの新機能

Create a business impact analysis

最新のビジネスインパクトアナリシス (BIA) レコードの最新の更新を使用して、資産の依存関係がビジネスに与える影響を分析します。また、資産の復旧期間とデータバックアップのニーズを決定することもできます。

Create a business continuity plan

ドキュメント ID タイプから参照タイプに更新された資産計画フォームの [BIA] 列から、ビジネスインパクトアナリシス (BIA) レコードに直接アクセスします。これにより、BIA 情報を更新し、計画レコードに移動できます。

資産をプライマリスコープとしてマークし、その関連資産を識別することで、プライマリスコープが運用上ダウンしたときに影響を受ける資産を特定します。これにより、資産間の関係を明確に把握することも容易になります。

Add asset and scope to the BCP

計画レコードの階層ビューを使用してプライマリ資産と関連資産の不一致を特定し、目標復旧時間 (RTO)、目標復旧時点 (RPO)、および復旧階層 (RT) の値のギャップに対処します。

Dependency Configuration records

ビジネスインパクトアナリシス、計画、およびイベントに関連する依存関係に関する最新情報にアクセスします。依存関係アセスメントを使用すると、これらの依存関係がビジネスにどのように影響するかを分析できます。

Add recovery tasks

資産を復旧タスクにタグ付けすることで、各イベント資産の復旧にかかる時間を正確に計算します。

Create New Recovery task form

演習中または実際のイベント中に、依存関係別に整理された復旧タスクの実行順序をレビューします。エラー通知をトリガーし、その復旧タスクに対する以降のアクションを停止する可能性がある、計画内の復旧タスクの循環依存関係を特定します。復旧タスクに必要な推定時間を復旧タスクフォームに直接記録することもできます。

Create an exercise

アクティブ化された計画と影響を受ける資産の復旧に必要な時間と労力を評価します。オープン中のアクティブ化された計画のステータスを追跡し、実際のイベント中に進捗状況を監視できます。

Format PDF templates for BIAs, BCPs, and Events

新しいレイアウトを実装することで、ビジネスインパクトアナリシス、計画、およびイベントの PDF のコンテンツを改善します。

- 各種イベントタスクを表形式で記載します。
- 資産所有者の詳細とビジネスインパクトアナリシスの説明を含めます。
- 計画資産の依存関係の概要を示すテーブルを表示します。
- 最初のページに PDF の作成日を記載します。

UI の変更

Set up Impact analysis dependency update configuration

[考慮するソースレコード (**Source records to consider**)] オプションは、依存関係構成モジュール内の [ソース] タブに組み込まれています。

Add asset and scope to the BCP

[関係性ソース] 列が [資産の依存関係] に追加されました。

[スコープ] タブの [BIA] 列が、以前のドキュメント ID タイプから参照タイプに更新されました。

Create a business continuity plan

計画レコードに次の UI の変更が追加されました。

- [プライマリ資産を追加 (**Add primary asset**)] および [関連資産を追加 (**Add related asset**)] アクションが計画レコードに導入されました。
- 計画レコードに [親計画] タブが追加されました。
- [復旧タスク] タブの [計画オーダー] 列には、依存関係に基づくタスクの順序が表示されます。
- アクティブ化された計画に [オープン] ステータスが追加されました。
- [資産の依存関係] タブに資産に関する詳細情報が表示されるようになり、以前は計画レコードの [スコープ] タブに表示されていた [プライマリスコープ] と [関連資産] のトグルが置き換えられました。

- 復旧タスクの [計画された期間] フィールドには、復旧タスクの予定期間が表示されます。
- [資産にタグを付ける (**Tag assets**)] フィールドが計画に追加されました。
- 計画レコードの [タイプ] 列が [タイプ] 列に移行されました。
- [完了期限] フィールドが [計画期間] フィールドに移行されました。
- 計画レコードの [関連計画] タブの [ソース] 列で以前に自動入力された BIA 値は廃止されました。代わりに、[ソース] 列の [計画資産から (**From plan asset**)] 値が使用されます。
- [プライマリソース] 列は、計画資産レコードから廃止されました。[資産の依存関係] タブに移動されました。

このリリースでの変更

Element definitions and variables

Windows Server 要素定義に Windows Server 資産を追加したり、Linux サーバー要素定義に Linux サーバー資産を追加したりできるようになりました。ただし、ハードウェア要素定義のフィルターに Windows Server 資産または Linux サーバー資産を追加することはできません。

廃止

- BCM クラシックワークスペースは、Xanadu リリースで導入された新機能および拡張機能と互換性がありません。継続的な使用で発生した問題やエラーはサポートされません。中断を避けるため、BCM 構成可能ワークスペースに移行してください。



注:

BCM クラシックワークスペースは廃止後も引き続き URL から利用できますが、ナビゲーションメニューには表示されません。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、事業継続性管理 をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(d3102649f02e825ddb76dc3de0190154_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(55ca3a38dbb940110628e54e3ea7505d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

事業継続性管理 には次のブラウザーが必要です。

- Google Chrome
- Firefox および Firefox 延長サポートリリース (ESR)
- Microsoft Edge Chromium
- Safari 12.0 以降のバージョン

共通 ガバナンス、リスク、コンプライアンス 機能リリースノート

ServiceNow ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) アプリケーションを使用すると、パンデミック、異常気象、ハッキングなどのビジネスオペレーションに悪影響を及ぼす事象の発生中でも、組織はビジネスサービスを提供し続けることができます。ガバナンス、リスク、コンプライアンス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの GRC の特長

- ワークスペース内の問題をグループ化して関連する問題を整理および管理し、機密性と継承の機能強化によって問題のグループ化プロセスを簡素化します。
- 問題のグループ化中に他の関連する問題の親として機能する既存のスタンドアロン問題を選択します。
- GRC ライセンスの概要ダッシュボードを使用して、さまざまな製品ファミリーのライセンス使用量を追跡します。
- 新しい GRC 従業員ロールを使用して、GRC ワークフローをレポートまたは要求し、従業員センター (GRC 従業員ユーザー アプリケーションを使用する資格があり、インストールした顧客のみに適用) からポリシーを読んで確認します。
- 監査を読み取り、承認し、拡張された Lite オペレーターの変更を使用して監査関連テーブルを読み取ります。

詳細については、「[Governance, Risk, and Compliance](#)」を参照してください。

重要:

GRC は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

問題グループ化の管理方法

親問題から問題をグループ化して管理するか、グループ問題管理方法を使用して子問題を個別に管理します。管理方法として [親の管理 (**Manage parent**)] を選択すると、子問題は親問題の [ステータス (**State**)]、[応答]、および [説明] フィールドの値を継承します。[子の管理 (**Manage child**)] を選択すると、子問題は独自の [ステータス (**State**)]、[応答]、および [説明] フィールドを個別に保持します。

この機能の一環として、[問題のグループ化] セクションの問題レコードに次の 2 つの新しいフィールドが追加されました。

- グループレベル：問題が子、親、またはスタンドアロンの問題であるかどうかを識別します。
- 管理方法：問題が親問題から管理されているか、個々の子問題として管理されているかを示します。

問題グループ化の機密性と継承の強化

次の機能強化により、問題のグループ化プロセスを簡素化します。

- 機密親問題の下にのみ機密子問題を追加します。
- 機密または機密でない親問題の下に機密でない子問題を追加します。
- 機密親問題を機密でない問題に変更します。このアクションにより、親問題の下にあるすべての機密子問題が削除され、レコードを保存した後にスタンドアロンの問題になります。

注:

機密でない子問題を、機密でない親問題の下にある機密に変更すると、このアクションにより、機密でない親問題から子問題が削除されます。子問題はスタンドアロン問題になり、親問題にリンクされなくなります。

[GRC licensing summary dashboard](#)

セルフサービスの GRC ライセンスの概要ダッシュボードを使用して、ロールの割り当てに基づいて、ライセンス使用傾向と翌月の予測使用状況を追跡します。Integrated Risk Management、事業継続性管理、プライバシー管理など、さまざまな製品ファミリーのライセンス消費の月次集計数を確認できます。次のインフラストラクチャの強化が行われました。

- 一意のユーザー使用量テーブルのキャパシティを 9 か月から 12 か月に拡張しました。
- ライセンス消費の詳細は 5 年間アーカイブされます。
- ライセンス使用状況の集計された月次カウントが保存されます。

紹介 GRC 従業員ロール

新しい GRC 従業員ユーザー アプリケーションをインストールし、従業員に GRC 従業員ロールをアサインします。GRC 従業員ロールを持つユーザーは、従業員センターから次のアクティビティを実行できます。

- 組織のポリシーを読んで確認する。
- リスクイベントと問題を報告する。
- ポリシー例外を要求する。
- コンプライアンスケースをコンプライアンスチームに報告する。
- コンプライアンスチームに問い合わせや要求を行う。

注:

この更新プログラムは、GRC 従業員ユーザーアプリケーションを使用する資格があり、インストール済みのお客様にのみ適用されます。詳細については、サブスクリプションダッシュボードでエンタイトルメントを確認するか、ServiceNow にお問い合わせください。

Lite オペレーターロールの機能拡張

sn_audit.reader ロールと sn_audit.approver ロールが Lite オペレーターロールとして追加されました。これらの新しいロールは、すべてのお客様が利用できます。

GRC 従業員ユーザーアプリケーションと GRC ビジネスユーザー Lite アプリケーションがインストールされている場合、次のオペレーターロールは Lite オペレーターロールとして再分類されます。

- sn_grc.business_user
- sn_risk_advanced.ara_assessor
- sn_irm_cont_auth.authorization_official
- sn_irm_cont_auth.reader
- sn_irm_cont_auth.executive_read

注:

この再分類は、GRC 従業員ユーザーアプリケーションを使用する資格があり、すでにインストールされている顧客にのみ適用されます。詳細については、サブスクリプションダッシュボードでエンタイトルメントを確認するか、ServiceNow にお問い合わせください。

エンティティフィルターの削除または変更警告

警告メッセージが表示されたエンティティフィルターを削除または変更することによる意図しない結果を回避します。このメッセージには、影響を受けるエンティティ、リスク、およびコントロールレコードの影響分析が含まれています。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、GRC をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

コンプライアンスケース管理 リリースノート

ServiceNow コンプライアンスケース管理アプリケーションは、コンプライアンスケースを報告、調査、分析、解決したり、一元的な場所でコンプライアンス要求を作成したりするのに役立ちます。コンプライアンスケース管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの コンプライアンスケース管理 の特長

- 各管轄区域内の特定の業界またはセクターの監督を担当する関連規制当局を特定するための機関の一元化されたライブラリを確立します。一元化されたライブラリは、メールを介したすべての規制コミュニケーションを統合し、報告されたコンプライアンスケースのデータプライバシーまたはセキュリティ違反の通知ルールを実装します。
- レポートされたコンプライアンスケースの通知日を自動計算します。
- 新しいグラフィカルなグラフにより、サブタイプ分類別にコンプライアンスケースを監視してアクセスします。
- コンプライアンスアナリストがホームページにアクセスして、レポートされたコンプライアンスケースまたは要求を管理できるようにします。

詳細については、「[Compliance Case Management](#)」を参照してください。

i 重要:

コンプライアンスケース管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

[Regulatory Agency Library](#)

各管轄区域内の特定の業界またはセクターの監督を担当する関連規制当局を特定するための機関の一元化されたライブラリを確立します。一元化されたライブラリは、メールを介したすべての規制コミュニケーションを統合し、報告されたコンプライアンスケースのデータプライバシーまたはセキュリティ違反の通知ルールを実装します。

[将来の日付を自動計算](#)

今後の自動計算を設定して、コンプライアンスケースまたは要求を追跡します。

このリリースでの変更

新しいグラフィカルなグラフにより、コンプライアンスケースマネージャーは、サブタイプ分類別にコンプライアンスケースを監視してアクセスします。

アクティベーション情報

ServiceNow Storeから要求して規制機関ライブラリをインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

継続的な承認とモニタリング リリースノート

ServiceNow 継続的な承認とモニタリング (CAM) アプリケーションは、認証パッケージを定義し、NIST Risk Management Framework (NIST RMF) の 7 つのステージを実行するための標準化されたアプローチを提供します。継続的な承認とモニタリング (CAM) は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 継続的な承認とモニタリング の特長

- CAM ワークスペース に追加された機能を使用すると、作業を簡素化し、効率的なエンドツーエンドのユーザーエクスペリエンスを実現できます。
- システムセキュリティ計画 (SSP) ファイルを、カタログ、プロファイル、SSP などのモデルを含む OSCAL 形式でエクスポートします。
- CAM で導入された Lite ロールを使用して、より簡単なビジネスオペレーションを実現します。
- 類似したコントロールをファミリー関連とクラブ関連にグループ化して、コントロールを特定して理解できるようにします。

詳細については、「[Continuous Authorization and Monitoring](#)」を参照してください。

重要:

継続的な承認とモニタリング は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

CAM ワークスペース

エンドツーエンドのユーザーエクスペリエンスのために CAM ワークスペース を使用します。ホームページ、認証境界と認証パッケージの概要ページ、統合タスクページ、およびダッシュボードは、情報をキャプチャし、意思決定に役立つデータに関するより適切なインサイトを提供するのに役立ちます。

CAM ワークスペース には、次のことができる独自の機能が含まれています。

- 関連コントロール目標を追加します。
- NIST 800-53 のコントロール目標のファミリー別にコントロールを表示し、ファミリーに基づいてレポートします。
- アセスメント手順とドキュメントのメモに添付ファイルを追加します。
- すべてのアクション計画とマイルストーン (POA&M) を 1 つのペインに表示します。

CAM は、制御関連情報をエクスポートするための OSCAL 形式をサポートしています

SSP ファイルを、SSP、プロファイル、カタログ、カタログオーバーレイなどのさまざまなモデルに基づいて OSCAL 形式でエクスポートします。生成されたレポートは、他のシステムと情報を共有するための互換性があります。CAM は、米国国立標準技術研究所 (NIST) が推奨する OSCAL 形式をサポートしており、制御ベースの情報を機械可読形式で提供します。

CAM ATO アーティファクト

次のレポート用に、認証パッケージから Microsoft Word 形式で ATO アーティファクトを生成します。

- SSP
- セキュリティアセスメントレポート (SAR)
- POA&M

の機能拡張 CAM ユーザーロール

CAM アプリケーションの既存のユーザーロールは、次の権限で拡張されています。

- 情報所有者 (sn_irm_cont_auth.information_owner) ロールを使用して、認証パッケージの情報タイプを表示および更新します。
- 監査リーダー (sn_audit.reader) Lite ロールを使用して、エンゲージメントなどの監査関連エンティティを表示します。
- システムユーザーとして問題を作成および管理します。

このリリースでの変更

の機能拡張 CAM ワークスペース

CAM ワークスペース で次の機能拡張が行われました。

- ハイブリッドコントロールの作成に、追加機能を含む新しいポップアップが追加されます。
- POA&M には、すべての認証パッケージの問題が含まれます。
- [ファミリー] フィールドと [ファミリー ID] フィールドが [コントロール目標] ページに追加されます。
- [メモ] フィールドと [添付ファイル] フィールドが [アセスメント手順] ページに追加されます。
- **[360 度ビュー]** ボタンは、CAM ワークスペース のすべてのページで構成されています。

CAM ユーザーロールの変更

承認のロールを定義し、権限と権限を割り当てることは、CAM アプリケーションのセキュリティを確保するために重要です。ユーザーロールの変更は次のとおりです。

- 情報所有者 (sn_irm_cont_auth.information_owner) ロールは、認証パッケージの情報タイプも更新できます。このロールには、リーダー (sn_irm_cont_auth.reader) ロールに加えて、監査ユーザー (sn_audit.user) ロールも含まれています。
- 情報システムセキュリティマネージャー (sn_irm_cont_auth.info_system_sec_manager) ロールは認証パッケージを更新でき、このロールにはコンプライアンスユーザー (sn_compliance.user) ロールとリーダー (sn_irm_cont_auth.reader) ロールが含まれています。
- 情報システムセキュリティ責任者 (sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer) ロールは、認証パッケージを更新できます。
- リーダー (sn_irm_cont_auth.reader) ロールには、監査リーダー (sn_audit.reader) ロールが含まれています。
- システムユーザー (sn_irm_cont_auth.system_user) ロールには、監査ユーザー (sn_audit.user) ロールが含まれています。
- システムオーナー (sn_irm_cont_auth.system_owner) ロールには、監査ユーザー (sn_audit.user) ロールとコンプライアンスユーザー (sn_compliance.user) ロールも含まれています。

このリリースでの削除

- 承認担当者 (AO) (sn_irm_cont_auth.authorization_official) ロールに sn_audit.user ロールと sn_compliance.user ロールは含まれなくなりました。AO ロールは、認証パッケージの読み取りと承認のみを行うことができます。
- 情報システムセキュリティ責任者 (sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer) ロールに sn_audit.user ロールは含まれなくなりました。
- リーダー (sn_irm_cont_auth.reader) ロールに sn_audit.user ロールは含まれなくなりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、継続的な承認とモニタリング をインストールします。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ポリシーとコンプライアンス管理 リリースノート

ServiceNow ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションは、外部規制やベンチマークにクロスマッピングされたポリシー、標準、および内部制御手順を作成および管理するための一元化されたプロセスを提供します。ポリシーとコンプライアンス管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの GRC：ポリシーとコンプライアンス管理 の特長

- Microsoft SharePoint と統合することで、ポリシーを改訂し、ポリシーテキストを定期的に更新します。
- ポリシー作成とレッドライン機能を使用して、ポリシーオーナーとレビュー担当者がポリシーを共同作業、レビュー、およびレッドラインの作業を行えるようにします。
- エンティティとしての会社に対して Cyber Risk Institute (CRI) アセスメントを実行して、そのコントロールステータスを判断し、アセスメントスコアを計算します。
- 従業員センターの操作には、ポリシーとコンプライアンス管理 で導入された従業員オペレーターロールを使用します。

詳細については、「[Policy and Compliance Management](#)」を参照してください。

i 重要:

ポリシーとコンプライアンス管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

を使用したポリシー作成 [Microsoft SharePoint](#)

組織のポリシーを定期的に監視して修正し、その関連性とコンプライアンスを維持します。Microsoft Word ドキュメントファイルを複数の Microsoft SharePoint と統合すると、ポリシー所有者、レビュー担当者、および承認者が、ポリシーテキストのさまざまなバージョンを作成、変更、および管理して、その履歴を保持できます。ポリシーの下書きやレビューのプロセスでコラボレーションすることもできます。ポリシーテキストは自動的に更新されます。テキストをドキュメントから HTML の [ポリシーテキスト] フィールドにコピーしてから PDF 形式に変換できます。

CRI アセスメント質問の使用によるエンティティのプロファイル

エンティティの CRI 階層アセスメントを実行してその階層を決定してから、そのエンティティの CRI アセスメントを実行します。査定人からの CRI アンケートへの回答に基づいて、質問にマップされた各コントロールのコンプライアンスステータスが決定されます。エンティティの全体的なコンプライアンススコアも計算されます。

のユーザーロールの機能拡張 ポリシーとコンプライアンス管理

従業員オペレーターロールを使用して、ポリシーの確認応答に回答し、従業員センターポータルからポリシー例外を要求します。

このリリースでの変更

Domain separation in GRC: Policy and Compliance Management

これで、手動で作成されたレコードと、ジョブスケジュールまたはスクリプトを介して作成された自動生成レコードの両方が、すべての ポリシーとコンプライアンス管理 オブジェクトの親オブジェクトまたはユーザードメインに基づいてドメインセパレーションされるようになりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ポリシーとコンプライアンス管理 をインストールします。[ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 」を参照してください。

ブラウザー要件

GRC：ポリシーとコンプライアンス管理 には、次のブラウザーの最新の公開リリースと、2 つの旧リリースバージョンが必要です。

- Google Chrome
- Firefox および Firefox 延長サポートリリース (ESR)
- Microsoft Edge Chromium
- Safari 12.0 以降のバージョン

プライバシー管理 リリースノート

ServiceNow プライバシー管理 アプリケーションを使用すると、組織のプライバシーリスクとコンプライアンスを管理して、顧客、従業員、およびサプライヤーを保護できます。プライバシー管理は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの プライバシー管理 の特長

- Personal Data Rights アプリケーションを使用して、グローバルなプライバシー規制に準拠して、顧客、コンシューマー、および従業員からの個人データに関する権利要求を管理します。
- データリネージを構築して、処理アクティビティのデータ消費、共有、および関連するリスクを可視化します。
- スマートアセスメントエンジン を使用して、処理アクティビティに関連する新しいコントロール証明書に回答し、表示します。
- 規制機関ライブラリを作成し、規制機関との通信など、規制の詳細を保存してアクセスします。
- プライバシーアセスメント、処理アクティビティ、プライバシーケース、および個人データ権限要求からチャットを開始し、さまざまなチームとコラボレーションして迅速な応答を保証します。

詳細については、「[Exploring Privacy Management](#) 」を参照してください。

i 重要:

プライバシー管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能**Personal Data Rights**

構成可能なワークフローを提供する Personal Data Rights アプリケーションを使用して、Personal Data Rights 要求を効率的に管理および自動化し、非準拠のリスクを軽減します。Personal Data Rights アプリケーションを使用すると、顧客はデータ主体のアクセス要求 (DSAR)、コンシューマー権利要求などを効率的に管理および履行し、プライバシー規制へのコンプライアンスを確保できます。このアプリケーションは、従業員がデータ保護標準をグローバルに維持できるようにしながら、組織がコンシューマーの個人データの権利に関連する要求を処理するのに役立ちます。

データリネージを作成する

データリネージを確立して、特定の処理アクティビティでデータがどのように消費および共有されているかを理解します。データリネージを作成すると、共有されるデータに関連するリスクを理解して管理するのに役立ちます。この機能は、データリネージまたは階層を視覚的に表現します。

規制機関の作成

プライバシーワークスペース内に規制機関を作成して、公共の利益のために事業の監督を担当する関連する規制当局を特定します。一元化されたライブラリは、メールを介してすべての規制コミュニケーションを統合します。

アクティビティ、プライバシーケース、プライバシーアセスメント、および個人データ権限要求を処理するために、部門横断型チームとコラボレーションおよびチャットを行う

処理アクティビティ、プライバシーケース、または Personal Data Rights 要求の処理中に、主要なステークホルダーとのディスカッションを迅速に開始します。チャット機能は Microsoft Teams と統合されており、ディスカッションが開始されると Microsoft Teams にグループが自動的に作成されます。[ディスカッション] ボタンを使用して行われるチャット会話はそれぞれのレコードに保存されるため、プライバシーチームはタスクを処理するときに簡単に参照できます。

処理アクティビティに関するスマート証明書の表示

スマートアセスメントエンジン 機能を使用して証明書に応答します。プライバシーアナリストとプライバシーマネージャーのランディングページで、新しいコントロール証明書のレポートを表示します。証明書レポートのフィルターを使用して、従来の証明書を表示するか、新しい証明書を表示するかを選択します。

Privacy Employee ユーザーアプリケーションでのロールの変更**i 注:**

GRC プライバシー従業員ユーザー アプリケーション (sn_privacy_emp) がインストールされている顧客にのみ適用されます。

新しい GRC プライバシー従業員ユーザー アプリケーションをインストールし、sn_privacy_emp.privacy_employee ロールを従業員に割り当てると、このロールにより、従業員は従業員センターから次の操作を実行できます。

- 新しい実装、アプリケーション、およびプロセスのプライバシー影響度評価 (PIA) を従業員センターに積極的に要求します。
- データプライバシーポリシーおよび規制違反に関連するプライバシーケースを報告します。
- 組織のプライバシーポリシーを読んで確認します。

- ポリシーの例外を作成します。
- プライバシーの問題を作成します。

GRC: Privacy Lite User アプリケーションでのロールの変更

GRC: Privacy Lite User アプリケーション (sn_privacy_lite) がインストールされている場合、次のロールは Lite オペレーターと見なされます。

- sn_privacy.business_user
- sn_privacy.assessment_responder
- sn_privacy_case.privacy_case_business_user
- sn_grc_pdr.data_owner_admin

Lite オペレーターロールを持つユーザーは、次の操作を実行できます。

- ビジネスユーザーとしてプライバシーアセスメントタスクに回答します。
- 処理アクティビティの重要度リスクアセスメントとオブジェクトベースのアセスメントに回答します。
- アサインされた問題を確認、更新、およびクローズします。
- アサインされたコントロール証明書に回答します。
- 手動インジケータータスクに対応します。
- アサインされた修復タスクを作成、更新、およびクローズします。
- 処理アクティビティがアサインされたら、その処理アクティビティをビジネスユーザーとして処理し、必要な詳細を収集します。
- 侵害アセスメントおよびその他のプライバシーケースタスクを処理します。
- 処理アクティビティで特定された各リスクの詳細なプライバシーリスクアセスメントに回答します。
- プライバシーチームによってアサインされたアセスメントおよび調査タスクに対応します。
- 要求者の要求に従ってデータを処理するための Personal Data Rights アクションタスクを処理します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、プライバシー管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 」を参照してください。

規制変更管理 リリースノート

ServiceNow 規制変更管理 アプリケーションを使用することで、今後の規制変更を確認し、その影響を評価し、リスクおよびコンプライアンス関連の変更を実装することができます。このアプリケーションは、全体的な規制のコンプライアンスを検証します。 規制変更管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 規制変更管理 の特長

- 規制当局の文書に AI を活用した引用を追加します。
- 更新された ネクストエクスペリエンス Chat Collaboration and Discuss 機能を使用して、仮想エージェントと対話します。
- 拡張されたタスク管理機能を使用して、変更タスクとアクションタスクの所有権を簡単に変更できます。
- 構成されたルールに基づくレビューのために、規制アラートをドメインエキスパートにアサインします。
- ネクストエクスペリエンス Chat Collaboration and Discuss を使用して、仮想エージェントとコラボレーションします。

詳細については、「[Regulatory Change Management](#)」を参照してください。

i 重要:

規制変更管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

ルールベースの規制アラートのアサイン

規制アラートを内部のステークホルダーに自動的に配信するためのルーティングルールを定義します。条件を適用して、受信した規制フィードを [タイトル]、[説明]、[キーマス]、その他多くのフィールドでフィルタリングできます。さらにレビューするために、フィルタリングされた規制アラートをドメインエキスパートに自動アサインすることもできます。

Add an AI-recommended citation to a regulatory alert

受信した規制変更、各種法令・基準等、子引用、および関連するコントロールオブジェクトを通じて、最も関連性の高い引用から AI を利用した推奨事項を追加します。推奨事項にドリルダウンして、アラートのコンテキスト内の詳細を調べることができます。

Xanadu リリースで変更された機能

強化されたタスク管理

タスク管理機能が拡張され、コーディネーターが変更タスクとアクションタスクの所有権を変更できるようになりました。

Regulatory Change Management ネクストエクスペリエンス Chat Collaboration and Discuss

ネクストエクスペリエンス Chat and Collaboration and Discuss 機能が強化されました。

Regulatory Change Management

[自分のタスク] ポータルでの差別化とレポート作成のために、規制変更管理 または コンプライアンスケース管理 アプリケーションから分離されたアクションタスクを追加しました。

Xanadu リリースで廃止された機能

- アプリケーションに同梱されているクラシック UI のカレンダーレポートビューを拡張する予定はありません。
- アプリケーションに同梱されているクラシック UI の概要ダッシュボードを拡張する予定はありません。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、規制変更管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

スマートアセスメントエンジン リリースノート

ServiceNow スマートアセスメントエンジン (SAE) アプリケーションは、自動化によってアセスメントプロセスの手作業による負担とコストを削減するのに役立ちます。スマートアセスメントは、さまざまな状況、側面、またはレコードを評価するのに役立ちます。SAE は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの スマートアセスメントエンジンの特長

- 新しいテンプレートデザイナーを使用してアセスメントを作成します。
- 新しい SAE アセスメントエクスペリエンスでアセスメントプロセスを改善します。
- 複数のアセスメントを 1 つの統一された送信にまとめます。
- 従来のアセスメント測定基準タイプをSAEテンプレートへ移行します。

詳細については、「[Smart Assessment Engine](#)」を参照してください。

i 重要:

SAE は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

スマートアセスメントエンジン 機能

Using the template designer

スマートアセスメントエンジンでテンプレートデザイナーを使用すると、アセスメントテンプレートを簡単に作成し、指示、質問、および参照情報をアセスメントテンプレートに追加できます。

- **アセスメントテンプレートに指示と質問を追加する** : SAE ラジオボタン、チェックボックス、ドロップダウンリストなど、最も一般的に使用される質問タイプをサポートしています。スマートアセスメントは高度にカスタマイズ可能であるため、次のタスクを実行できます。
 - 質問を明確にするために、セクションとサブセクションに整理します。
 - 査定人が各質問のコンテキストと要件を理解するのに役立つ指示を追加して、応答の精度と関連性を向上させます。
 - 査定人が質問に答えやすいように、質問のガイダンステキストを構成します。
 - 査定人の以前の回答に応じて質問を表示または非表示にするように設定します。

- 選択した応答に基づく説明を査定人に提供する、応答の正当性プロンプトを統合します。
- 査定人に、応答に基づく契約、許可、請求書などの補足ドキュメントを添付するように要求します。
- **アセスメントテンプレートに参照情報を追加する**  : アセスメントスコープのライブデータを参照情報として組み込んで、査定人がアセスメントに回答している間に必要な情報にすぐにアクセスできるようにします。このライブデータにより、外部参照の必要性が最小限に抑えられます。
- **アセスメントテンプレートカテゴリの作成**  : 関連するアセスメントテンプレートのコンテナとしてテンプレートカテゴリを作成します。アセスメントテンプレートカテゴリを作成することで、許可された担当者のみがテンプレートにアクセスして変更できるようにすることができます。

アセスメントに対応する

アセスメントがどの程度完了したかを示す進行状況インジケータを使用すると、アセスメントをより効率的にナビゲートできます。アセスメントをより簡単にナビゲートできるように、質問はページネーションされています。作業は自動的に保存されるため、手動で保存する必要がなくなり、データの損失を防ぐことができます。進行中のアセスメントを別のユーザーに再アサインしたり、不要になったアセスメントをキャンセルしたりすることもできます。

アセスメントをトリガー

公開されたアセスメントテンプレートに基づく [スマートアセスメントのトリガー (Trigger Smart Assessment)] フローアクションを使用して、アセスメントを開始します。定義されたスコープと期限を使用して、指定された査定人にアセスメントを割り当てることができます。

複数のアセスメントを 1 つの統一された送信にまとめる

アサインされた複数のアセスメントを 1 つの簡素化されたビューにまとめます。これらの結合されたアセスメントを一度に効率的に管理、送信、または再アサインすることができます。一括送信や一括再割り当てなどの機能を使用して、すべてのアセスメントを 1 回のアクションで処理できます。

ドメインで区切られた展開

スマートアセスメントエンジンでのドメインセパレーションは Xanadu リリース以降サポートされており、データ、プロセス、および管理タスクを個別のドメインに整理できます。このフレームワーク内では、テンプレートはプロセスごとに分離され、アセスメントはデータごとに分離されるため、ドメインに従って制御されたアクセスと可視化を確保できます。

従来のアセスメント測定基準タイプをスマートアセスメントテンプレートに移行する

ServiceNow アセスメントとサーベイ アプリケーションから既存のアセスメントデザインを移行します。テンプレートは、ワンクリックで自動的に下書きとして転送されます。デザインを移行した後、これらのドラフトをレビューして公開し、結果を確認する必要があります。アセスメントとサーベイ アプリケーションの質問のセットは、測定基準タイプとして保存されます。移行時に、これらの測定基準タイプは質問タイプとして保存されます。カスタム、期間、画像スケール、パーセンテージ、ランキング、および評価の質問タイプは、移行ではサポートされていません。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、SAE をインストールします。 [ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート](#) 

サードパーティリスク管理 リリースノート

ServiceNow TPRM アプリケーションでは、サードパーティのポートフォリオの管理、リスクの評価と採点、および修復の実行のプロセスを一元的に実行できます。TPRM は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの サードパーティリスク管理 の特長

- エンゲージメントのサードパーティ要素を収集、監視、および評価します。
- リスクインテリジェンスレポート (RIR) とスコアを要求して、RIR 要求をすべて TPRM 内で管理および監視できるようにします。
- サードパーティリスク管理 データモデルを表示します。

詳細については、「[Third-party Risk Management](#)」を参照してください。

i 重要:

サードパーティリスク管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

サードパーティ要素収集

サードパーティ要素に依存するエンゲージメントに関連するリスクの特定、評価、および管理を支援します。これらのサードパーティ要素を監視することで、エンゲージメントと同じセキュリティおよびコンプライアンス標準に準拠していることを確認できます。

リスクインテリジェンスレポート要求

外部のリスクインテリジェンスコンテンツプロバイダーからリスクインテリジェンスレポートまたはスコアを管理および要求します。この情報は、その重要性またはリスクレベルによって要求および管理することができます。この情報は、エンゲージメントまたはサードパーティとの連携について意思決定を行うときに役立ちます。

Third-party risk management data model

サードパーティリスク管理 データモデルを表示して、TPRM を使用してリスク管理プログラムに必要なリスクを評価、監視、および軽減する方法を学習します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、TPRM をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

のクイックスタートテスト TPRM. 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了した後、クイックスタートテストを実行して、TPRM が想定どおりに機能していることを検証します。TPRM をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

GRC リスク管理

リスク管理 を ServiceNow 高度なリスク アプリケーションで使用すると、影響度の高いリスクを特定して監視し、リスクベースの意思決定を改善し、応答時間を数日から数分に短縮できます。

GRC Risk ワークスペース

リスクワークスペース を ServiceNow 高度なリスク アプリケーションで使用する
と、すべてのリスク関連アクティビティを単一ペインで表示して、シンプルなユーザー
エクスペリエンスを提供します。

ヘルスケアとライフサイエンス リリースノート

Xanadu リリースには、ヘルスケアとライフサイエンス の新機能と更新された機能が含まれます。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア リリースノート

ServiceNow ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 アプリケーションは、自動化されたプ
ロセスにより医療業務を簡素化します。ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 は Xanadu リ
リースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでのヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 の特長

- 拡張された ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 データモデル内の複数の患者識別子を活用することで、正確で包括的な患者データ管理を促進します。
- ヘルスケアワークスペース内のパフォーマンスの更新を利用して、ロード時間を最適化します。

詳細については、「[Exploring Healthcare and Life Sciences Service Management Core](#)」を参照してください。

重要:

Healthcare and Life Sciences Service Management Core は、ServiceNow Store で利用
できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参
照してください。

Xanadu リリースの新機能

Patient identifier table

新しい患者識別子テーブルを使用して、患者の MRN、社会保障番号などの複数の識別
子を維持および管理します。

患者テーブルから患者識別子テーブルにデータを移行する手順については、[Now Support](#) に連絡して修正スクリプトを入手してください。

このリリースでの変更

ワークスペースパフォーマンスの拡張

ヘルスケアワークスペースのパフォーマンスが強化され、ロード時間が最適化されまし
た。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して Healthcare and Life Sciences Service Management Core を
インストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプ
リを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべ
てのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

カスタマーサービス管理

ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションは、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 アプリケーションの基盤となります。ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 内で、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションのすべての機能を利用できます。

Healthcare Computerized Maintenance Management システム リリースノート

ServiceNow Healthcare Computerized Maintenance Management システム アプリケーションは、医療デバイス関連の稼働中プロセス、代替機器メンテナンス (AEM) レビュープロセス、医療デバイスの問題、およびサービス停止プロセスを管理します。このアプリケーションは現在 Xanadu リリースでサポートされていますが、今後のリリースで廃止される予定です。

廃止

Xanadu リリース以降、Healthcare Computerized Maintenance Management システム は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスにはインストールされなくなりますが、引き続きサポートされます。このプロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。メンテナンスとサービスの詳細については、「[フィールドサービス管理 \(FSM\)](#)」を参照してください。インベントリと管理については、「[Enterprise Asset Management for Healthcare](#)」をご覧ください。

ケアチーム運用リリースノート

アプリケーションは <製品の主な利点を説明>。 は リリースの新しいアプリケーションです。ServiceNow Xanadu

Xanadu リリースでのケアチーム運用の特長

- TBD
- TBD
- TBD
- TBD

詳細については、を参照してください。

i 重要:

ケアチームオペレーション は ServiceNow Storeで利用できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ケアチーム運用 機能

TBD

TBD.

UI の変更

TB

の重要なアップグレード情報

アクティブ化情報

ServiceNow Store から要求して、をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

ブラウザー要件

アクセシビリティ情報

ローカリゼーション情報

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

HCLS SM コア

TBD

ハイパーオートメーションとローコード[®]リリースノート

Xanadu リリースには、Now Platform の新規および更新されたハイパーオートメーションとローコード機能が含まれます。

App Engine Studio リリースノート

ServiceNow App Engine Studio (AES) アプリケーションでは、さまざまなスキルレベルの作成者が組織の当面のニーズを満たすアプリケーションを構築できます。App Engine Studio は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの **App Engine Studio** の特長

- AEMC の取り込み要求レビュープロセス中にロールをアサインすることで、AESまたはクリエイタースタジオで作業する権限をユーザーに付与します。
- ユーザーグループ権限タイプ [sn_app_intake_permission_type] テーブルのレコードを管理して、どのAESおよびクリエイタースタジオグループがアクティブとして表示されるかを管理します。
- 本番に移行する前に、非本番インスタンスでAEMCをテストして、すべてが期待どおりに機能することを確認します。

詳細については、「[Build apps using App Engine Studio](#)」を参照してください。

i 重要:

App Engine Studio は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

App Engine Studio を **Xanadu** にアップグレードする際の重要な情報

App Engine 管理センター (AEMC) でグループをアサインする新しいプロセスにより、各インスタンスに同じバージョンのApplication Intakeプラグインがインストールされていることを確認してください。

Xanadu リリースの新機能

1 つまたは複数のユーザーグループにユーザーを追加

AEMC で取り込み要求を表示するときに、ユーザーを 1 つ以上の AES およびクリエイタースタジオユーザーグループに追加します。

アプリケーション取り込みのユーザーグループを管理

ユーザーグループ権限タイプ [sn_app_intake_permission_type] テーブルのレコードを更新して、インスタンス内でアクティブな AES ユーザーグループとクリエイタースタジオを管理します。

Test (テスト) AEMC 非本番インスタンスで

本番インスタンスに移行する前に、非本番インスタンスで AEMC をテストして、すべてが期待どおりに機能することを確認します。

UI の変更

によって作成されたアプリの可視性の向上 Now Assist

App Engine Studio アプリの [インベントリ] ページでは、Now Assist で作成されたアプリを次の方法で明確に区別できるようになりました。

- Now Assist パネルから AES への移行アニメーションにより、アプリケーション生成後のナビゲーションが容易になります。
- バナーでは、AES のランディング時に生成されたアイテムを確認するようにユーザーに求めます。
- メタデータレコードには、AI によって生成されたことを示すラベルやその他の UI ハイライトがタグ付けされます。
- メタデータレコードには、レビューが必要なレコードを識別するための [レビュー] ボタンがあります。
- アプリの送信の変更は、展開前に確認する必要があることをユーザーに通知するのに役立ちます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、App Engine Studio をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

アクセス制御

AES のアプリケーションのアクセス制御とロールを操作します。

カタログビルダー

AES で作成したカタログアイテムを編集します。

変更管理

すべての変更のライフサイクルを体系的に制御し、IT サービスの中断を最小限に抑えて変更を容易にします。

構成管理データベース (CMDB)

組織のインフラストラクチャを構成している資産、サービス、および資産とサービス間の関係の論理的な表現をビルドします。

を使用してコードを記述せずにアプリケーションを作成する クリエータースタジオ

クリエイタースタジオに組み込まれたアプリを編集し、機能を追加して機能をカスタマイズします。

のディシジョンテーブル ワークフロースタジオ

意思決定ルールを追加して意思決定テーブルを使用して、意思決定ロジックをコードから切り離します。

メール通知

レコードが作成または更新されたときに自動的に送信されるメール通知を作成および編集します。メール通知は、フローで参照として使用されるか、またはイベントによってトリガーすることもできます。

ERP Data Hub

SAP など、SoR のエンタープライズリソースプランニング (ERP) データの使用方法を簡素化します。

ERP Customization Mining (ERP-CM)

Now Platform に再プラットフォーム化できるカスタム ERP データを使用して、従来のアプリケーションの候補を見つけます。

のフロー ワークフロースタジオ

AES で作成したフローを編集します。

統合ハブ - 輸入

データを AES の既存のテーブルにインポートします。

モバイルアプリビルダー

AES でモバイルエクスペリエンスを追加します。

Now Assist for app generation in AES

生成 AI との会話を通じてアプリケーションを作成します。

プレイブック

部門横断型プロセスを編集し、自動化されたタスク指向のビューに統合します。

テーブルビルダー

表形式のデータモデルを操作します。テーブルビルダー は AES 専用です。

UI ビルダー

AES で作成したエクスペリエンスを編集します。

Workflow Studio

ワークフローの作成、構成、および監視を単一のページエクスペリエンスに統合します。

ワークスペースビルダー

AES でビルドされたワークスペースを編集およびカスタマイズします。

クリエイタースタジオ リリースノート

ServiceNow クリエータースタジオ製品は、ビジネスプロセスのエキスパートが従来のローコード開発の障壁なしに要求ベースのアプリケーションを作成できるようにする、ガイド付きのアプリケーション開発エクスペリエンスです。クリエイタースタジオ は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの クリエータースタジオ の特長

- 従業員センターに表示するフォームにトピックを関連付ける
- 質問を自動化トリガーとして使用する

- プロセスでのメール送信の自動化
- アドミンがキュレーションした質問セットのフォームへの追加

詳細については、「[Creator Studio](#)」を参照してください。

i 重要:

クリエイタースタジオ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

トピックとフォームの関連付け

フォームの設定にトピックを追加して、ユーザーが関連するトピック別にフォームを参照できるようになりました。

質問をプロセストリガーとして使用する

アプリのフォームから公開された質問の 1 つをプロセスのトリガーとして選択できるようになりました。たとえば、ユーザーがアプリのフォームで好きな色に関する返信として「青」を選択した場合、自動プロセスのトリガーとして「青」を指定できます。

自動化の新しいメール送信アクティビティ

プロセスを作成するときに、指定した条件が満たされた場合にアプリの自動化で自動的にメールを送信できるようになりました。

質問セットを使用したキュレーションされた質問のフォームへの追加

フォームを作成するときに、開発者は事前設定された質問セットから選択できるようになり、詳細を気にせずにキュレーションされた質問を選択できるようになりました。アドミンは Now Platform で質問セットを作成し、質問セットをクリエイタースタジオで編集することはできません。

UI の変更

ホームページでフィルタリングされたアプリ数を表示

新しいカウンターには、クリエイタースタジオホームページの [すべてのアプリ]、[自分のアプリ]、および [あなたと共有しました] フィルターに存在するアプリの数がすばやく表示されます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、クリエイタースタジオ をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

クリエイタースタジオを使用するには、App Engine Enterprise ライセンスが必要です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

App Engine 管理センター

App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、クリエイタースタジオ の要求、展開、アプリケーション、共同開発者を追跡および管理します。

App Engine Studio

AES で クリエータースタジオ アプリを開いて、メール通知や追加のセキュリティなど、さらに多くのカスタムエクスペリエンスをビルドします。

Catalog Builder

視覚的なガイド付きエクスペリエンスを使用して、カタログアイテムを作成または編集します。

フォームビルダー

フォームビルダー のフォームエディターを使用して、ユーザー向けのさまざまなフォームビューを視覚的に作成、構成、カスタマイズします。

Workflow Studio

ワークフローの作成、構成、および監視を単一のページエクスペリエンスに統合します。

ワークスペース

ワークスペースで顧客の要求や問題に対処します。ワークスペースには、エージェント、ケースマネージャー、ヘルプデスク担当者、マネージャーがツールを使用して顧客のニーズを解決するためのツール群が用意されています。

ワークフロースタジオリリースノートのディシジョンテーブル

ServiceNow ワークフロースタジオアプリケーションは、ディシジョンテーブルを作成および管理するために使用できる直感的なインターフェイスを提供します。ディシジョンテーブルのルールと条件を変更することで、変化するビジネス要件により効率的に対応できます。ワークフロースタジオは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ワークフロースタジオ の特長

- ワークフロースタジオでフローまたはサブフローを作成するときに、ディシジョンテーブルをインラインで作成します。
- ワークフロースタジオ のプレイブックでディシジョンテーブルを直接使用します。複雑な意思決定を管理するには、プレイブックからの入力を使用して [意志決定] - [最初の一致] アクティビティを追加します。
- 大きなディシジョンテーブルでは、テーブル内をスクロールしてさらに行を表示します。
- テーブルで意思決定行が読み取られる順序をランク付けし、必要に応じて行を並べ替えます。

詳細については、「[Exploring decision tables](#)」を参照してください。

重要:

ワークフロースタジオ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ワークフロースタジオ を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

ワークフロースタジオ はインスタンスに自動でインストールされます。ただし、ワークフロースタジオ は ServiceNow Store アプリケーションであるため、最新の機能を取得するには、バージョンを最新バージョンに更新する必要があります。Washington DC バッチ 3 では、ワークフロースタジオを更新すると、ワークフロースタジオ、プレイブック、ディシジョンビルダー などのすべてのアプリケーション依存関係が自動的に更新されます。ServiceNow Store またはプラグインのリストから、ワークフロースタジオ の個々のアプリケーション依存関係を表示または更新することはできなくなりました。

Xanadu リリースの新機能

フローでのディシジョンテーブルの作成

フローでディシジョンテーブルを直接作成し、フローの入力を使用して意思決定をすばやく追加します。

サブフローでのディシジョンテーブルの作成

サブフローでディシジョンテーブルを直接作成し、フローまたはサブフローの入力を使用して意思決定をすばやく追加します。

プレイブックでのディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルをプレイブックに直接追加し、[意志決定] - [最初の一致] アクティビティを使用して複雑なビジネスロジックを管理します。プレイブックからの入力を追加し、ディシジョンテーブルの結果に基づいて他のアクションを管理します。

ディシジョンテーブルの行のランク付けおよび並べ替え

ディシジョンテーブルで行を並べ替えて、意思決定ルールが評価される順序を決定または変更します。[ランク] 列に新しい値を入力すると、意思決定行の順序を簡単に変更できます。

このリリースでの変更

テーマの更新

ディシジョンテーブル UI の一部の詳細が、標準の Now Platform テーマに従うように更新されました。

ディシジョンテーブル内でのスクロールの使いやすさの向上

大きなディシジョンテーブルでは、テーブル内をスクロールしてさらに行を表示します。ヘッダーはテーブルの上部に留まることに注意してください。

ローカリゼーション情報

ローカリゼーションフレームワークはディシジョンテーブルに統合されています。ただし、Excel での編集はローカリゼーションをサポートしていないため、英語を使用しないインスタンスではこの機能を使用できません。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Workflow Studio

ワークフローの作成、構成、および監視を単一のページエクスペリエンスに統合します。

Exploring flows

フローは、繰り返し可能な複数ステップのプロセスを自動化します。フローのトリガー条件が満たされると、フローは一連の再利用可能なアクションとフローロジックを実行してプロセスを完了します。

Exploring playbooks

ワークフロースタジオ プレイブックは、プロセスオーナーが、企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成できるようにします。プレイブックエクスペリエンスのエージェントと履行者が使用するプレイブックの基礎となるプロセスをビルドします。

ERP データハブ リリースノート

ServiceNow ERP データハブアプリケーション (旧称 ERP キャンバス) を使用すると、ERP (エンタープライズリソースプランニング) の SoR に接続し、リモートテーブルをクエリして、データモデルをビルドすることで、Now Platform で ERP データを使用することができます。ERP データハブは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ERP データハブ の特長

- アプリケーションの名前を ERP キャンバスから ERP データハブに変更しました。
- UI を更新し、手順とラベルを明確にしました。

詳細については、「[ERP Data Hub](#)」を参照してください。



重要:

ERP データハブ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

UI の変更

エンティティのロード中に通知を受け取る

ERP システムからデータを取得するときにページが応答していないと誤解しないように、新しいバナーアラートでは、**【エンティティの管理 (Manage entities)】** タブがデータをロードしていることを示します。

ネストされた出力パラメーターを構成するための改善されたアイコン

ネストされた出力パラメーターを設定するためのアイコンが、より正確なインテントアイコン () に変更されました。

モデルマネージャーページのアプリ内テキストと名前を明確化

ERP モデルの操作方法をよりよく理解できるように、画面上のいくつかの指示が更新されました。また、モデルを管理するページの名前が ERP モデル管理から ERP モデルマネージャーに変更されました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ERP データハブ をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store/バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

SAP ECC と S/4 HANA は、現在、ERP データハブ と統合できる唯一のシステムです。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Build apps using App Engine Studio

AES は リモートテーブル を ERP データピルとして消費し、移行候補に基づいてカスタムローコードアプリとフローを作成するのに役立ちます。

ERP Customization Mining (ERP-CM)

Now Platform ローコードアプリを使用して、カスタムデータを使用して再プラットフォーム化する ERP アプリケーション候補を SoR から特定します。

Remote tables

リモートテーブルは Now Platform をサードパーティソースまたは別のインスタンスに接続して、外部データを取得して必要に応じてメモリにキャッシュできるようにします。

Workflow Studio

ワークフローの作成、構成、および監視を単一のページエクスペリエンスに統合します。プレイブック、ワークフロースタジオ、ワークフロースタジオ、統合ハブ統合、ディシジョンビルダーを 1 つの設計環境に統合します。

ワークフロースタジオのフロー、サブフロー、およびアクションリリースノート

ServiceNow ワークフロースタジオアプリケーションを使用すると、プロセスアナリストはコーディング不要で作業を自動化し、再利用可能なコンポーネントから複数ステップのフローをビルドできます。ワークフロースタジオは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ワークフロースタジオ の特長

- 操作読み取りロールを使用して、実行の詳細の機密データを保護します。
- サブフローおよびアクション入力の変数データタイプのサポートが改善されました。
- フロー生成時にアクション、フローロジック、およびサブフローの生成に使用されたテキストの方向に関する注釈を表示します。
- 任意のフロー、サブフロー、またはアクションに署名して検証します。

詳細については、「[Workflow Studio](#)」を参照してください。

重要:

ワークフロースタジオ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ワークフロースタジオ を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

アップグレード後、以前に `fd_read_operations` ロールを持っていたユーザーには、実行ステータスや期間などの基本的な実行の詳細のみが表示されるようになりました。この制限により、このロールを持つユーザーは実行の詳細で機密情報を表示できなくなります。入力構成やランタイム値などのすべての実行の詳細への読み取りアクセス権を付与するには、ユーザーに新しいロール `fd_read_operations_all` を付与します。

Xanadu リリースの新機能

読み取りアクセス権を持つユーザーが実行の詳細で表示できる内容を制御する

読み取りアクセス権を持つユーザーが実行の詳細で表示できる内容を制御するユーザーロールを付与します。読み取りアクセスを基本的な実行の詳細のみに制限するには、ユーザーに既存の `fd_read_operations` ロールを付与します。すべての実行の詳細への読み取りアクセスを許可するには、ユーザーに新しい `fd_read_operations_all` ロールを付与します。

フロー生成で使用するテキストの向きの注釈を表示

フロー生成によって追加された各アイテムに使用されるテキストの向きの注釈を表示します。向きが特定のアクション、フローロジック、およびサブフローにどのようにマッピングされているかについてフィードバックを受け取ります。

フロー、サブフロー、およびアクションに署名する

任意のフロー、サブフロー、またはアクションに署名して検証します。

UI の変更

User preferences for flows

「フロー設定」の名前が「ユーザー設定」に変更されました。

このリリースでの変更

フロー生成により、アクションとフローロジックの入力が構成されます

クリエーターの Now Assist フロー生成スキルを使用して、テキストの向きからフローを作成および構成します。フロー生成では、データビルを使用してアクションとフローロジックの入力値を設定します。

このリリースでの削除

- フローが実行の詳細を生成するループの反復回数を指定するために使用されていたシステムプロパティ `com.snc.process_flow.reporting.iteration.lastn` を削除しました。ループのすべての反復についてレポートするには、代わりにフローのフロー実行設定レコードを作成します。フロー実行設定の詳細については、「[Flow execution settings](#) 」を参照してください。
- 使用可能なアクションのリストにドラフトアクションを含めるよう、フロー作成者のユーザー設定が削除されました。フロー設計時にカスタムアクションを表示するには、アクションを公開します。詳細については、「[Create an action in Workflow Studio](#) 」を参照してください。

アクティブ化情報

ワークフロースタジオ はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

App Engine Studio

ServiceNow App Engine Studio (AES) は、さまざまなスキルレベルの作成者が組織の当面のニーズを満たすアプリケーションをビルドするための開発ツールです。

統合ハブ

ServiceNow ワークフロースタジオ用に ServiceNow のコンポーネントを使用して統合タスクを自動化するか、カスタム統合を開発します。別のサブスクリプションが必要です。

統合ハブの利用できるスポーク

スポークをアクティブ化して、統合専用のコンテンツで ワークフロースタジオ エクスペリエンスを向上させます。事前にビルドされたフローとアクションを使用して、統合を自動化するか、または独自に統合の自動化を作成します。

MID サーバー

管理、計測、ディスカバリー (MID) サーバーは、ローカルネットワーク内のサーバーで Windows のサービスまたは UNIX のデーモンとして動作する Java アプリケーションです。ServiceNow MID サーバーは、ServiceNow インスタンスと外部のアプリケーション、データソース、サービスの間のデータの通信や移動を支援します。

生成 AI スキルを使用して Now Platform での開発をより効率化します。

プロセスオートメーションデザイナー

ServiceNow プレイブック を使用して、プロセスオーナーは、企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成できます。プレイブック を使用して、簡素化されたタスク指向のプロセスのビューをエンドユーザーに提供することもできます。

ロボティックプロセスオートメーション (RPA) ハブ

ServiceNow ロボティックプロセスオートメーション (RPA) Hub を使用して、組織のエンドツーエンドの自動化を有効にします。UI インタラクション、要素ベースの自動化、およびさまざまなビジネスアプリケーション間でやり取りする API を組み合わせて使用することで、ユーザーアクションをエミュレートし、日常の反復的な人的アクティビティをなくすことができます。

統合ハブ リリースノート

ServiceNow 統合ハブアプリケーションは、インスタンスデータを外部システムのデータと統合できるようにすることで、ServiceNow ワークフロースタジオ自動化機能を拡張します。統合ハブは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 統合ハブ の特長

- ServiceNow ストリームコネクトを使用して、Apache Avro 形式でメッセージを送受信します。
- CyberArk Digital Vault を使用して、OAuth 2.0 認証情報を保存してアクセスします。
- 個人の認証情報を使用して、サードパーティ統合に接続します。

詳細については、「[Integration Hub](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

ストリームコネクトを使用して Avro 形式でメッセージを送受信する

Avro スキーマをインポートして作成し、ストリームコネクトスキーマ [stream_connect_schema] テーブルに保存します。ストリームコネクトのプロデューサーとコンシューマーは、スキーマを使用してプレーンテキストの JSON メッセージを Avro バイナリ形式に変換したり、その逆を行ったりします。Avro 形式を使用すると、ペイロードのサイズを小さくし、ローカルの Apache Kafka インスタンスへの統合を簡素化できます。

SOAP API と REST API、および URL エクスポートの受信要求を追跡

拡張された使用状況ダッシュボードでデータエグレスの詳細を表示します。ダッシュボードを使用して、ソースごとのデータエグレスの使用状況を経時的に追跡できます。この情報は折れ線グラフで表示され、必要に応じて、指定した日付範囲内の任意の日付のソース別のデータ転送量を表示できます。ダッシュボードは、データエグレス数テーブル [data_egress_count] からデータを取得します。

カスタム (スクリプトによるロード) タイプのデータソースで並列ロードを有効化

スクリプトを使用してデータを小さなセクションに分割し、それらのセクションを並列でロードします。並列ロードにより、統合をより迅速に完了し、他のタスクへの影響を軽減できます。

CyberArk credential storage integration CyberArk のデジタルボールドを使用して OAuth 2.0 認証情報を保存し、アクセスする

ServiceNow MID サーバーを使用して、CyberArk Digital Vault に保存されている OAuth 2.0 認証情報にアクセスします。MID サーバーはこの情報を使用して、クライアント認証情報権限許可タイプの OAuth 2.0 トークンを生成し、サードパーティサーバーへの REST API 呼び出しを行うために使用されます。

mTLS を使用して MID サーバー経由で送信 REST および SOAP 呼び出しを行う

mTLS パスワードと証明書情報をインスタンス、ボールド、または構成ファイルに保存します。MID サーバーはこの情報を使用して、mTLS プロトコルで送信 REST および SOAP 呼び出しを行います。

個人認証ダッシュボードを使用する

個人の認証情報を使用して、サードパーティ統合に接続します。簡素化された統合インターフェイスを介して、個人認証を表示、認証、取り消し、および更新します。

外部トリガーエンドポイントの機能拡張

OAuth 2.0 認証をサポートするサードパーティアプリケーションで Webhook のエンドポイントを生成します。エンドポイントにより、Webhook が ServiceNow インスタンスに接続できるようになります。

ServiceNow インスタンスでベースシステムの外部イベントソースを更新して、エンドポイントを生成します。その後、サードパーティアプリケーションでエンドポイントを構成し、ServiceNow インスタンスに Webhook を送信してフローを実行できるようにします。サードパーティシステムがサポートする認証タイプに基づいて、ハッシュ、シークレット、またはトークンを生成したり、外部イベントソースにロールまたはユーザーを追加したりできます。最後に、サードパーティシステムの Webhook で使用できるエンドポイントを生成します。

JSON ビルダーステップ用の JSON ペイロードの自動生成

ステップのスクリプトエディターに JSON ペイロードを入力すると、ペイロードが自動的に構造化入力に逆シリアル化されます。

拡張 OpenAPI ステップ

統合を構築するために、OpenAPI 仕様をインポートするか、サードパーティの送信 REST Web サービスの Postman コレクションをインポートするかを選択します。OpenAPI ステップは、Postman API コレクションをサポートするように拡張され、**OpenAPI/Postman** ステップに名前が変更されました。

UI の変更

移行された従来のダッシュボード

従来の使用状況の概要ダッシュボード、オーケストレーション使用状況ダッシュボード、ROI ダッシュボード、ROI ダッシュボード、ROI プレミアムダッシュボードは、プラットフォームアナリティクスワークスペースに移行されています。

このリリースでの変更

プラットフォームセキュリティが提供する新機能を使用するための外部トリガーフレームワーク

既存の外部トリガーフレームワークをアップグレードして、アクセスポリシーでハッシュベースおよびトークンベースの認証プロファイルなどの新機能を使用します。

このリリースでの削除

- 従来の使用状況の概要ダッシュボードは廃止されました。この機能は、展開、拡張、またはサポートされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#) 

アクティブ化情報

統合ハブ はオートメーションエンジンに含まれており、オートメーションエンジン サブスクリプションパッケージをアクティブ化すると利用できます。詳細については、<https://www.servicenow.com/jp/products/automation-engine.html> 

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Workflow Studio

ServiceNow ワークフロースタジオでは、プロセスオーナーが、承認、タスク、通知、およびレコード操作を、コード化することなく自動化できるようになります。ワークフロースタジオの設計環境を使用してフローとアクションを作成し、作成した結果を表示できます。

App Engine Studio

ServiceNow App Engine Studio (AES) は、さまざまなスキルレベルの作成者が組織の当面のニーズを満たすアプリケーションを構築するための開発ツールです。

MID サーバー

管理、計測、ディスカバリー (MID) サーバーは、ローカルネットワーク内のサーバーで Windows のサービスまたは UNIX のデーモンとして動作する Java アプリケーションです。ServiceNow MID サーバーは、ServiceNow インスタンスと外部のアプリケーション、データソース、サービスの間のデータの通信や移動を支援します。

ロボティックプロセスオートメーション (RPA) ハブ

ServiceNow ロボティックプロセスオートメーション (RPA) Hub を使用して、組織のエンドツーエンドの自動化を有効にします。UI インタラクション、要素ベースの自動化、およびさまざまなビジネスアプリケーション間でやり取りする API を組み合わせて使用することで、ユーザーアクションをエミュレートし、日常の反復的な人的アクティビティをなくすことができます。

Connections and Credentials

ServiceNow[®] ディスカバリー、ServiceNow サービスマッピング、および ServiceNow クラウド管理用にコンピューターまたはネットワークデバイスへのアクセス権を得る、または ServiceNow オークストレーション[®] を使用して作業を実行するには、認証情報と接続情報が必要です。ServiceNow 開発者サイト または ServiceNow Store で共有するコンテンツを追加すると、作成されたコンテンツを変更することなく、環境に関連する接続と資格情報を設定することができます。

ネクストエクスペリエンス リリースノート

ServiceNow ネクストエクスペリエンス アプリケーションは、Now Platform[®] を使用して会社の生産性の向上、エンゲージメントの改善、学習意欲の促進を可能にする、直感的なパーソナライズされたエクスペリエンスを提供します。ネクストエクスペリエンス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Next Experience の特長

- テーマビルダーで作成された複数のテーマから選択し、インスタンスに適用します。
- 新しいキーボードショートカットを使用すると、OpenFrame UI にアクセスできます。
- [ネクストエクスペリエンスをオフにする]、[アナリティクスを有効にする]、および [現在のスタートページ] の設定に、新しい [ユーザーエクスペリエンス] ユーザー初期設定グループが追加されました。
- 新しいクライアントインタラクションテーブルには、パフォーマンス異常を特定して調査するための UI ロード時間が表示されます。

詳細については、「[Next Experience UI !\[\]\(4fe57c3593bf1b21d272ae7ac8dfaf77_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

テーマビルダー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Next Experience keyboard shortcuts

新しいキーボードショートカットを使用して、OpenFrame ウィンドウを開くのに必要な時間を短縮します。

ユーザーエクスペリエンスユーザー設定グループが追加されました

[ネクストエクスペリエンスをオフにする]、[アナリティクスを有効にする]、および [現在のスタートページ] の設定に、新しい [ユーザーエクスペリエンス] ユーザー初期設定グループが追加されました。

通知メニューを固定する

重要な更新にすばやくアクセスできるように、通知メニューを固定します。

ネクストエクスペリエンスパフォーマンス測定基準を表示する

任意の ネクストエクスペリエンス ページのパフォーマンス測定基準を表示します。

Preserve your custom Next Experience theme during a clone

クローン作成は、ネクストエクスペリエンス とテーマビルダーテーマを保持するように最適化されています。これにより、クローン作成プロセス中にテーマが上書きされないようにすることができます。

このリリースでの変更

Select a theme in Next Experience

テーマビルダーを使用して複数のコアテーマが作成されている場合、それらのテーマとその代替カラーパレットが [テーマ] ユーザー設定グループに表示されます。

アクティベーション情報

ネクストエクスペリエンス は、ユーザーが Xanadu リリースをロードまたはアップグレードしたときにデフォルトでアクティブになる Now Platform 機能です。インスタンスで ネクストエクスペリエンス をオンにする際に既知の問題がある場合は、アップグレード前にオプトアウトシステムプロパティを作成できます。

ServiceNow Store から要求することで、テーマビルダー をインストールします。

ブラウザー要件

Xanadu では Internet Explorer 11 がサポートされなくなりました。そのブラウザーからログインすることはできません。Firefox の iOS バージョンもサポートされていません。

アクセシビリティ情報

Next Experience keyboard shortcuts

使用可能な 40 個のキーボードショートカットに加えて、OpenFrame ウィンドウを開くのに必要な時間を短縮する新しいキーボードショートカットがあります。このショートカットを使用すると、エージェントはプラットフォームからダイヤルして電話に応答できます。

ネクストエクスペリエンス開発者 (NED) ツールリリースノート

ServiceNow ネクストエクスペリエンス開発者 (NED) ツールアプリケーションは、パフォーマンスを追跡して強化し、全体的な生産性を向上させるためのコンポーネントの作成をサポートします。NED ツールは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでのネクストエクスペリエンス開発者 (NED) ツールの特徴

- サーバーログにページのバックエンドデータを記録します。
- 健全性インジケータのダッシュボードを使用して、コンポーネントとアクションの潜在的な問題の概要を取得します。
- ページに対して行われたコールのウォーターフォールと、各コールにかかった時間に関する情報を表示します。
- 呼び出しの種類、タイミング、頻度、ネットワーク URL など、ページに対して行われたネットワーク呼び出しに関する情報を取得します。

詳細については、「[Next Experience 開発者ツール !\[\]\(ccd39a0dc6d5afcc151e1371f9462f58_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

ネクストエクスペリエンスインスペクターの健全性インジケータ

ホームビューは、コンポーネントおよびアクションの健全性インジケータのダッシュボードを介して、情報を提供し、ページ上の潜在的な問題を伝達します。

ネクストエクスペリエンスインスペクターでトレースを表示する

トレースビューには、ページに対して行われた呼び出しのウォーターフォールと、各呼び出しの期間に関する情報が表示されます。

ネクストエクスペリエンスインスペクターの [ログ] タブのサーバー側ログ

アドミンとしてログインしているときに、ユーザー設定をクライアントログからサーバーログに変更して、バックエンドデータを記録および表示します。

ネクストエクスペリエンスインスペクターでイベントを管理する

[イベント] ビューには、イベントを管理するためのコンテキスト情報とアクションが表示されます。

ネクストエクスペリエンスインスペクターの [サービスワーカー] タブ

[サービスワーカー] タブでは、サービスワーカーの動作を可視化できます。

各ページのタブ固有のフィルター

ネクストエクスペリエンスインスペクターの各タブ内にある要素をフィルタリングします。

このリリースでの削除

- [アクション] タブがネクストエクスペリエンスインスペクターから削除されました。

アクティベーション情報

Google Chrome ウェブストアから Next Experience 開発者ツールをダウンロードします。

ブラウザー要件

Google Chrome ウェブストアから Next Experience 開発者ツールをダウンロードします。

クリエイターの **Now Assist** リリースノート

ServiceNow クリエーターの Now Assist アプリケーションには、Now Platform での開発をより効率的にできる生成 AI スキルが入っています。クリエイターの Now Assist は、Xanadu リリースで強化および更新されました。

Xanadu リリースでの クリエーターの **Now Assist** の特長

- プレースホルダーアクティビティを置き換えるアクティビティに関する推奨事項を取得します。
- Now Assist でプレイブックのアウトラインを生成する前に、テキストの向きをプレビューして変更します。
- フロー生成時にアクション、フローロジック、およびサブフローの生成に使用されたテキストの方向に関する注釈を表示します。

詳細については、「[Now Assist for Creator !\[\]\(fa03f7688acce2280e23104ced18e610_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

クリエイターの Now Assist は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

プレイブックの推奨事項を取得

プレイスホルダーアクティビティをどのアクティビティに置き換えるかの提案を取得します。

プレイブックの生成中に再プロンプトおよびプレビューする

プレイブックアウトラインを生成する前に、プロンプトをプレビューして変更します。

フロー生成で使用するテキストの向きの注釈を表示

フロー生成によって追加された各アイテムに使用されるテキストの向きの注釈を表示します。向きが特定のアクション、フローロジック、およびサブフローにどのようにマッピングされているかについてフィードバックを受け取ります。

Data visualization generation

会話を通じて プラットフォームアナリティクス グラフを生成します。

UI の変更

によって作成されたアプリの可視性の向上 Now Assist

App Engine Studio アプリの [インベントリ] ページでは、Now Assist で作成されたアプリを次の方法で明確に区別するようになりました。

- Now Assist パネルから AES への移行アニメーションにより、アプリケーション生成後のナビゲーションが容易になります。
- バナーでは、AES のランディング時に生成されたアイテムを確認するようにユーザーに求めます。
- メタデータレコードは、AI によって生成されたことを示すために、ラベルやその他の UI ハイライトでタグ付けされます。
- メタデータレコードには、レビューが必要なレコードを識別するための [レビュー] ボタンがあります。
- アプリの送信の変更は、展開前に確認する必要があることをユーザーに通知するのに役立ちます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、クリエイターの Now Assist をインストールします。
[ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

App Engine Studio

ServiceNow App Engine Studio (AES) は、さまざまなスキルレベルの作成者が組織の当面のニーズを満たすアプリケーションをビルドするための開発ツールです。

統合ハブ

ServiceNow ワークフロースタジオ用に ServiceNow のコンポーネントを使用して統合タスクを自動化するか、カスタム統合を開発します。別のサブスクリプションが必要です。

統合ハブの利用できるスポーク

スポークをアクティブ化して、統合専用のコンテンツで ワークフロースタジオ エクスペリエンスを向上させます。事前にビルドされたフローとアクションを使用して、統合を自動化するか、または独自に統合の自動化を作成します。

MID サーバー

管理、計測、ディスクバリー (MID) サーバーは、ローカルネットワーク内のサーバーで Windows のサービスまたは UNIX のデーモンとして動作する Java アプリケーションです。ServiceNow MID サーバーは、ServiceNow インスタンスと外部のアプリケーション、データソース、サービスの間のデータの通信や移動を支援します。

Now Assist

AI 推奨事項を使用してフロー内の次のコンポーネントを選択します。フロー内の現在の位置と、前にリストされたフローコンポーネント名に基づいて、推奨事項が生成されます。

プロセスオートメーションデザイナー

ServiceNow プレイブックを使用して、プロセスオーナーは、企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成できます。プレイブックを使用して、簡素化されたタスク指向のプロセスのビューをエンドユーザーに提供することもできます。

ロボティックプロセスオートメーション (RPA) ハブ

ServiceNow ロボティックプロセスオートメーション (RPA) Hub を使用して、組織のエンドツーエンドの自動化を有効にします。UI インタラクション、要素ベースの自動化、およびさまざまなビジネスアプリケーション間でやり取りする API を組み合わせて使用することで、ユーザーアクションをエミュレートし、日常の反復的な人的アクティビティをなくすことができます。

ワークフロースタジオのプレイブックリリースノート

ServiceNow ワークフロースタジオアプリケーション内のServiceNow プレイブックビルダーを使用すると、プレイブックオーナーがダイアグラムまたはタスクボードインターフェイスから複数フローのプロセスを作成できます。プレイブックビルダーは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでのプレイブックの特長

- プレースホルダーアクティビティを置き換えるアクティビティに関する推奨事項を取得します。
- Now Assist でプレイブックのアウトラインを生成する前に、テキストの向きをプレビューして変更します。
- 既存のテーブルやフィールドを必要とせずに、エンドユーザーからカスタム応答を収集します。
- プレイブックとプレイブックコンポーネントへのアクセスをより適切に管理します。

詳細については、「[Exploring playbooks](#) 

重要:

プレイブックは、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

プレイブックを Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

Xanadu にアップグレードした後、ServiceNow Store でプレイブックとワークフロースタジオアプリケーションを更新します。

Xanadu リリースの新機能

[store-future: BEGIN review]バリエーション[End]

[store-future: BEGIN review]バリエーションを含む複数のシナリオで 1 つのプレイブックを使用します。[End]

プレイブックの推奨事項

プレイホルダーアクティビティをどのアクティビティに置き換えるかの提案を取得します。

再プロンプトとプレビュー

プレイブックを構築する前に、プロンプトをプレビューして変更します。

アンケートアクティビティ

アクティビティの条件ビルダーでフローの Glide 変数の入力値と出力値を参照し、エージェントまたは履行者から最大 10 個の情報を収集して、既存のテーブルやフィールドを必要とせずに後でプレイブックの実行中に使用できるようにします。

アクセス制御の向上

プレイブックとプレイブックコンポーネントへのアクセスをより適切に管理します。

アーカイブデータの機能拡張

プロセス実行データをアーカイブするようにスケジュールし、アーカイブされたデータの JSON ファイルを表示します。

アクティブ化、再起動、非アクティブ化、および複製のスクリプトサポート

プレイブックのアクティブ化、非アクティブ化、再起動、または複製 API を呼び出すスクリプトインクルードまたはビジネスルールを使用します。

Washington 25.2 リリース

25.2の機能については、[Washington DC プレイブック リリースノート](#)：

- プレイブックアシスト

このリリースでの変更

更新されたロール

pd_admin ロールは playbook.admin になりました。

アクティビティは非同期的にトリガーされます

プレイブックの実行速度が低下するのを避けるために、最初のアクティビティは非同期的にトリガーされます。

このリリースでの削除

[ユーザーデータの収集] アクティビティの代わりに [アンケート] アクティビティを使用します。

アクティベーション情報

アプリケーションに ワークフロースタジオ ServiceNow Store アプリが付属するようになりました。ワークフロースタジオは Now Platform の一部であり、デフォルトで利用可能です。ServiceNow Storeでアプリや、プロセス自動化エクスペリエンスのデモアプリケーションなどの関連アプリケーションをダウンロードして、最新のプレイブック機能を入手してください。

ワークフロースタジオ でプレイブック生成機能を使用するには、[クリエーターの Now Assist](#) 利用できません

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

次の機能は Now Platform[®] の一部であり、デフォルトで有効になっています。

- アーカイブデータの機能拡張
- アクティブ化、再起動、非アクティブ化のスクリプトサポート
- 更新されたロール
- アクセス制御の向上

次の機能にアクセスするには、ServiceNow Storeでアプリをダウンロードします。

- [store-future: BEGIN review]/バリエーション[End]
- アンケートアクティビティ
- プレイブックの推奨事項
- 再プロンプトとプレビュー

Xanadu のすべての機能にアクセスするには、ストアで最新のアプリをダウンロードしてください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

ワークフロースタジオ[®]

ServiceNow ワークフロースタジオは、ワークフロースタジオ、アクションデザイナー、統合ハブ統合、ServiceNow ディシジョンビルダーを 1 つの設計環境に統合します。簡素化されたエクスペリエンスで、すべてのワークフローを作成、構成、および監視します。

フローデザイナー[®]

ServiceNow ワークフロースタジオ では、プロセスオーナーが、承認、タスク、通知、およびレコード操作を、コード化することなく自動化できるようになります。ワークフロースタジオ 設計環境を使用して、フローとアクションを作成し、作成した結果を表示できます。

プレイブックエクスペリエンス[®]

ServiceNow プレイブックエクスペリエンスを使用すると、エージェント向けのデフォルトのプレイブックユーザーエクスペリエンスをカスタマイズできます。

RPA Hub リリースノート[®]

ServiceNow RPA Hub アプリケーションは、組織のエンドツーエンドの自動化を実現します。RPA Hub は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの **RPA Hub** の特長

- 複数のボットプロセスで再利用できる一元化された認証情報を作成します。
- ボタンをクリックするだけで、ボットプロセス構成と関連資産を 1 つの環境から別の環境に移行します。
- 設定に応じて記録されたアクションと画面を再配置し、自動化フローを生成します。
- RPA デスクトップデザインスタジオ で追加された、さまざまなユースケースに対応する 15 個の新しいサンプル自動化を使用します。
- パッケージで使用されているスキルバージョンを RPA Hub の一元的な場所から表示および管理します。各ボットプロセスに使用された既存のスキルバージョンを上書きできます。

- 作業項目の 2 つの別々のフィールドで機密データと非機密データを管理します。
- ガイド付きツアーを使用すると、キューの作成方法とボットプロセスの構成方法の簡単な手順が示されます。

詳細については、「[Robotic Process Automation \(RPA\) Hub](#)」を参照してください。

i 重要:

RPA Hub は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノート「[アクティブ化情報](#)」セクションを参照してください。

RPA Hub を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

RPA アプリケーションをダウンロードして、現在インストールされている Microsoft ソフトウェア インストーラー (MSI) をアップグレードしてください。

- RPA デスクトップデザインスタジオ
- アテンド型ロボット
- 無人ロボット
- 無人ロボット ログインエージェント

詳細については、「[Download the RPA applications from RPA Hub \(RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード\)](#)」を参照してください。

次のアップグレード情報は、San Diego または Tokyo から Xanadu にアップグレードする場合にのみ適用されます。

アプリケーションファイルテーブル内のレコード数に応じて、RPA Hub アプリケーションの Tokyo 以前のリリースから Xanadu へのアップグレードに遅延が生じる可能性があります。

RPA Hub を Xanadu にアップグレードする前

に、`glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change` システムプロパティの値を **[false]** に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加し、その値を false に設定します。プロパティを追加する方法については、「[Add a system property](#)」を参照してください。

Xanadu にアップグレードすると、ボットプロセス定義は新しい構造、つまりボットプロセス構成に変更されます。

ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありませんが、ほとんどのフィールドはボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。システムプロパティ値を更新せずに Xanadu にアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、Now Support ナレッジベースの記事「[Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah and beyond release \(Utah 以降のリリースの sys_metadata への RPA Hub テーブルの再ビルド\)](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Credential Management in RPA Hub

アプリケーション認証情報、ロボット認証情報、および時間ベースのワンタイムパスワード (TOTP) 認証を作成し、認証情報グループを介して複数のボットプロセスで再利用できます。

でのボットプロセス構成の移行 RPA Hub

ボットプロセス構成と関連資産をある環境から別の環境に移行します。

たとえば、ボットプロセスを開発者の環境から UAT 環境に移行する準備ができた
ら、RPA 開発者または RPA アドミニストレーターは、公開されたボットプロセスの
[移行準備完了 (**Ready for Migration**)] ボタンを選択できます。このアクションによ
り、[移行] ボタンが表示されるようになります。このボタンは、ボットプロセスの移
行が進行中でない場合にのみ表示されます。その後、RPA リリースマネージャーまた
は RPA アドミニストレーターは、[移行] ボタンを選択して移行プロセスを開始できま
す。ボットプロセスと関連資産が移行された後、リリースマネージャーは必要な変更を
行い、認証情報を作成して関連付け、関連するボットプロセスレコードを作成し、ボッ
トプロセスを UAT (ターゲット) 環境で公開することができます。

レコーダー機能を使用した要素の問い合わせの強化

RPA デスクトップデザインスタジオ アプリケーションでは、レコーダー機能の使用
中に、記録されたアクションと画面を [記録されたアクション (Recorded actions)] ペイ
ンで移動および配置できます。記録されたアクションと要素名を編集することもできま
す。

15 の新しいサンプル自動化

RPA デスクトップデザインスタジオ の [サンプル自動化] ページに追加された無人お
よび有人のサンプル自動化を使用します。また、[サンプルエクスプローラー (Samples
Explorer)] セクションで表示することもできます。

- CSV ファイルをマージ
- Excel を JSON に変換
- メールから連絡先情報をフェッチ
- スキル照合を再開
- ある Excel ファイルから別の Excel ファイルへの範囲のコピー
- メールのアーカイブまたは削除
- レポートデータ分析の簡素化
- メール本文に埋め込む Excel テーブルを抽出
- ファイルの圧縮と解凍
- XML から Excel への変換
- テーブルからデータを抽出して Excel に保存する
- Excel シートを結合
- Outlook から添付ファイルをダウンロード

サンプル自動化は、RPA デスクトップデザインスタジオで自動化がどのように機能す
るかを示す事前構築済みの自動化です。RPA デスクトップデザインスタジオ には、さ
まざまなユースケースに対応する複数のサンプル自動化が用意されています。

スキルの強化

ボットプロセス内の関連パッケージ、または RPA Hub の有人および無人パッケージ
のスキルパッケージバージョンを表示します。RPA リリースマネージャーは、スキル
バージョンを上書きして、ボットプロセスに特定のスキルパッケージバージョンを使用
できます。

たとえば、最新バージョンのスキルパッケージを使用するには、有人または無人のパッ
ッケージを再度公開することなく、RPA Hub でスキルパッケージのバージョンを上書き
できます。ボットプロセスのスキルバージョンを上書きするか、スキルパッケージバー
ジョンで上書きするボットプロセスを選択できます。

特定の要件に応じて、同じスキルの異なるバージョンを異なるボットプロセスに使用できます。ボットプロセスが実行されると、自動化で定義されたバージョンではなく、選択したバージョンが使用されます。

次のタブが追加されました。

- ボットプロセスフォームの [スキルの上書き (**Skill Override**)] タブを使用して、使用されたスキルバージョンを表示します。このタブを使用して、特定のボットプロセスのスキルバージョンを上書きすることもできます。
- 有人または無人のいずれかのタイプのパッケージバージョンで [スキル] タブを使用して、パッケージバージョンで使用されたスキルを確認します。
- スキルパッケージバージョンの [ボットプロセス] タブを使用して、1 つ以上のボットプロセスのスキルバージョンを上書きします。

RPA デスクトップデザインスタジオでは、スキル自動化プロジェクトに対して [ボットプロセスをアサイン (Assign Bot Process)] 機能が有効になっています。[ボットプロセス] フィールドに、有人および無人の両方のボットプロセスが表示されます。無人プロセスの場合、関連付けられたロボットがドロップダウンメニューに一覧表示されます。詳細については、「[Assign bot process to an automation project](#)」を参照してください。

ボットプロセスでスキルが上書きされている場合は、RPA デスクトップデザインスタジオの [ボットプロセスをアサイン (Assign Bot Process)] 機能を使用して、現在の実行中に変更されたスキルバージョンを使用します。

ロボットの実行中にスキルが上書きされた場合、ロボットは現在の実行に上書きされたスキルを使用しません。代わりに、ロボットは更新されたスキルバージョンを次の実行から開始することを考慮します。

キューの機密要求コンテンツ

機密データと非機密データの両方を作業項目で個別に渡します。

作業アイテムフォームに、機密コンテンツを保存するための [機密要求コンテンツ (**Sensitive Request Content**)] フィールドが追加されました。詳細については、「[Work item form in RPA Hub](#)」を参照してください。

RPA デスクトップデザインスタジオでは、RPA 開発者はキューコネクタのメソッドで次のように機密データを処理できます。

- *CreateJSONWorkItem*、*PickWorkItem*、*UpdateWorkItem* メソッドでは、RPA 開発者が特定の JSON フィールドを識別して機密としてマークできます。
- *CreateStringWorkItem* メソッドでは、RPA 開発者には機密性の高い要求コンテンツと機密でない要求コンテンツの両方を含めるオプションがあります。これらの詳細をキャプチャするために、新しいパラメーター *Sensitive Request Content* が追加されました。機密の要求コンテンツで渡されるデータは暗号化されたデータとして保管され、[要求コンテンツ] フィールドで渡されるデータはプレーンデータとして保管されます。

これらのメソッドの詳細については、「[Queue connector methods](#)」を参照してください。

Zip カテゴリの新しい CreateFile コンポーネント

既存のフォルダーを圧縮するか、RPA デスクトップデザインスタジオの CreateFile コンポーネントを使用して zip ファイルを作成します。

でのロボットユーザーマッピング RPA Hub

許可されたユーザーを無人ロボットにマッピングして、マッピングされたユーザーのみがロボット認証情報にアクセスできるようにします。

無人ロボットフォームに [ユーザー] フィールドが追加されました。

アップグレードする顧客の場合、[ユーザー] フィールドには、選択した無人ロボットのプロセスジョブを最近作成したユーザー名が自動的にマッピングされます。選択したロボットのプロセスジョブが見つからない場合、RPA リリースマネージャーは適切なユーザーをロボットに手動でマッピングする必要があります。

のガイド付きツアー RPA Hub

クラシック環境では、次のガイド付きツアーを利用できます。

- キュー：キューの作成方法に関するステップバイステップの簡単な手順がインスタンスで示されます。
- ボットプロセス：ボットプロセスとその関連リストをエンドツーエンドで構成する方法について、インスタンスでステップバイステップの簡単な手順が示されます。ツアーを選択して、無人のボットプロセス、有人のボットプロセス、または埋め込みタスクの自動化を作成できます。

ヘルプセンターの [新着情報] タブ RPA Hub

インスタンスで新しくリリースされた RPA Hub 機能について説明します。

新しいコンテンツが利用可能になると、[ヘルプセンター] ボタンの青色のインジケータにより、その機能コンテンツが新規であり、インスタンスで未読であることが通知されます。

このリリースでの変更

ログのないプロセスジョブ

RPA デスクトップデザインスタジオでは、次のプロセスジョブレコードが [ログを添付 (Attach log)] ウィンドウに表示されません。

- ログのないプロセスジョブレコード。
- ロボットマシンに保存されているプロセスジョブレコード。

資格情報セットは認証情報グループに置き換えられる

RPA Hub では、ボットプロセス用に作成された資格情報セットが認証情報グループに置き換えられるようになりました。ロボット認証情報、時間ベースのワンタイムパスワード (TOTP) 認証、およびアプリケーション認証情報をボットプロセスの外部で定義し、複数のボットプロセスで再利用できるようになりました。認証情報グループを使用すると、ボットプロセスごとに同じ認証情報を作成する必要がなくなります。

アップグレードする顧客の場合、既存の資格情報セットと関連する認証情報がシームレスに移行されます。

[プロセスの開始] UI アクションの変更点

RPA Hub では、[プロセスの開始] ボタンを選択しても、[メンテナンス中] ライフサイクルステータスのロボットを表示できません。

ボットプロセスが [メンテナンス中] または [ビルド] ライフサイクルステータスのいずれかで、ロボットプールを使用している場合、新しいロボットは動的割り当て用に展開されません。

ロボットプールの動的割り当ては、公開されたボットプロセスに対してのみアクティブ化されます。

[プロセスの開始] アクションの変更点

[処理の開始] ワークフロースタジオ アクションを呼び出すと、ライフサイクルステータスが [メンテナンス中] のロボットは、失敗したロボットとして扱われます。

[プロセスの開始] サブフローの変更点

プロセスジョブが [実行中] ステータスでない場合、プロセスジョブに関連付けられているロボットは、[プロセスの開始] サブフロー出力で [失敗] として扱われます。

ループでの Break コンポーネントの問題

ループの中断に失敗したネストされたアクティビティの Break コンポーネントに関する問題が修正されました。詳細については、「[List of components compatible with latest version](#)」を参照してください。

Microsoft ソフトウェアインストーラー (MSI) の互換性

RPA Hub ストアリリースバージョン 7.0.3 および 9.0.0 の 無人口ロボット、アテンド型ロボット、RPA デスクトップデザインスタジオ に関連する古い MSI は互換性があり、RPA Hub の現在のストアリリースバージョン (10.0.X) で使用できます。

ただし、いくつかの制限があります。

- 最新バージョンで利用可能な新しい自動化コンポーネントは、古いバージョンでは使用できません。たとえば、バージョン 10.0 の Zip カテゴリの CreateFile コンポーネントは、古いバージョンでは機能しません。
- 異なるパラメーターを持つ同じ名前のコンポーネントには下位互換性がありません。

ロボットマシンがインスタンスの現在のバージョンよりも古い MSI を使用している場合、それ以降のバージョンで追加された新機能は古い MSI では使用できません。たとえば、バージョン 7.0.3 以降にリリースされた機能は、バージョン 7.0.3 MSI では動作しません。バージョン 7.0.3 に存在する機能のみが、そのバージョンで動作します。

このリリースでの削除

資格情報セット関連リストが RPA Hub のボットプロセスフォームから削除されました。

廃止

- RPA サンプルテンプレートストアアプリケーションは現在廃止されており、サポートや新しいアクティベーションは終了しています。RPA デスクトップデザインスタジオ は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、「[RPA Desktop Design Studio user interface](#)」を参照してください。
- RPA Hub では、[キュー] フォームの [要求コンテンツが機密かどうか] フィールドは廃止されました。
- RPA Hub では、プロセスロボット認証情報フォームの [資格情報セット] フィールドは廃止されました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、RPA Hub をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

RPA Hub に関する累積的なリリースノート情報については、「[RPA Hub release notes \(RPA Hub リリースノート\)](#)」を参照してください。

RPA デスクトップデザインスタジオ に関する累積的なリリースノート情報については、「[RPA Plugin Bundle release notes \(RPA プラグインバンドルのリリースノート\)](#)」を参照してください。

以前にアプリケーションを ServiceNow Store からダウンロードしていて、新しいバージョンが利用可能な場合は、Now Platform インスタンスで次の場所で更新できます。すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション。

その他の要件

無人ロボット アプリケーションを使用するための最小要件：

- Intel プロセッサ (1vCPU)
- 4 GB RAM
- 20 GB 以上の空きディスク容量 (OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後)
- Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019.
- .NET Framework 4.7.1 以降。
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

無人ロボット アプリケーションを使用するための要件は次のとおりです。

- Intel プロセッサ (4vCPU)
- 8 GB RAM
- 50 GB 以上の空きディスク容量 (OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後)。
- Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019.
- .NET Framework 4.7.1 以降。
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

Unattended ロボットは 1 つのマシンのみにマッピングされます。

無人ロボット アプリケーションに使用される仮想マシン (VM) は永続的であり、常に稼働している必要があります。

アテンド型ロボット アプリケーションを使用するための最小要件：

- Intel プロセッサ (1vCPU)
- 4 GB RAM
- 20 GB 以上の空きディスク容量 (OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後)
- Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019.
- .NET Framework 4.7.1 以降。
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

アテンド型ロボット アプリケーションを使用するための要件は次のとおりです。

- Intel プロセッサ (4vCPU)
- 8 GB RAM
- 50 GB 以上の空きディスク容量 (OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後)。
- Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019.

- .NET Framework 4.7.1 以降。
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

アテンド型ロボットは 1 人のユーザーのみにマッピングされます。

RPA デスクトップデザインスタジオ アプリケーションを使用するための最小要件：

- Intel プロセッサ (Core i5 以上)。
- 4 GB RAM
- 20 GB の空きディスク容量
- Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019.
- .NET Framework 4.7.1 以降。
- 解像度 1920x1080p のモニター
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

RPA デスクトップデザインスタジオ アプリケーションを使用するための要件は次のとおりです。

- Intel プロセッサ (Core i7)
- 8 GB RAM
- 50 GB の空きディスク容量
- Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019.
- .NET Framework 4.7.1 以降。
- 解像度 1920x1080p のモニター
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

ブラウザー要件

ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイスをサポートしていません。サポートされているブラウザーのリストの詳細については、「[ブラウザーのサポート](#)」を参照してください。

ローカリゼーション情報

RPA Hub は多言語に対応しています。詳細については、「[Internationalization support for RPA Hub \(RPA Hub のインターナショナル化プラグインのサポート\)](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Workflow Studio

ServiceNow ワークフロースタジオ を RPA Hub と統合すると、シームレスなロボット実行ができます。ワークフロースタジオ設計環境を使用して、フローとアクションを作成し、また、作成した結果を表示できます。

ServiceNow IDE リリースノート

ServiceNow 統合開発環境 (IDE) アプリケーションを使用すると、開発者は Now Platform 上の Visual Studio Code for the Web に基づいて、IDE のソースコード内にスコープ対象のアプリケーションを作成できます。ServiceNow IDE は、Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの ServiceNow IDE の特長

- Now Platform の Visual Studio Code に基づいて、IDE でスコープ対象のアプリケーションを開発します。
- ServiceNow Fluent でアプリケーションを構成するメタデータを定義するソースコードを記述します。
- インスタンス全体でさまざまなスキルセットのユーザーとコラボレーションし、埋め込み Now Platform ユーザーインターフェイスで変更を表示します。
- 一般的な Git プロバイダーを使用してソースコントロールでアプリケーションを管理します。

詳細については、「[ServiceNow IDE](#)」を参照してください。

重要:

ServiceNow IDE は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ServiceNow IDEの機能

以下に基づく IDE での作業 Visual Studio Code Web の場合

Visual Studio Code for the Web をベースとした使い慣れた統合開発環境でアプリケーションを作成および開発します。ServiceNow IDE には、タイプセーフティ、IntelliSense、依存関係の適用、コード検索、ソースコントロールの統合など、Visual Studio Code と同じ機能が多数あります。

ソースコードでスコープ対象のアプリケーションを構築する

ServiceNow Fluent を使用して、アプリケーションを構成するメタデータを定義するソースコードを記述します。ServiceNow Fluent は、さまざまなタイプのアプリケーションメタデータを定義するための API を備えたドメイン固有のプログラミング言語です。ソースコードでアプリケーションを開発すると、使い慣れた開発環境での作業、複雑なアプリケーションの作成と変更、ソースコントロールでの容易なコードの管理、ビルド時のエラーのキャッチが可能になります。ServiceNow Fluent の言語処理と検証は、デフォルトで ServiceNow IDE に含まれています。

JavaScript モジュールとサードパーティライブラリの作成と使用

カスタム JavaScript モジュールとサードパーティの JavaScript ユーティリティを使用して、スコープ対象のアプリケーション内でコードを整理して再利用します。

さまざまなスキルセットのユーザーとアプリケーションでコラボレーションする

ServiceNow IDE やその他の Now Platform ビルダーツールやインターフェイスから、さまざまなスキルセットのユーザーと同時にアプリケーションでコラボレーションします。開発者は、アプリケーションを構築してソースファイルをメタデータにコンパイルし、埋め込み Now Platform ユーザーインターフェイスで表示できます。ServiceNow IDE 内のアプリケーションは、他のユーザーの変更と自動的に同期されます。

ソースコントロールでのアプリケーションの管理

リモート Git リポジトリと統合して、ServiceNow IDE でソースコントロールを使用します。ベーシック認証 または OAuth 2.0 を使用して、リモートの Git プロバイダーとリポジトリに接続します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、ServiceNow IDE (sn_glider) をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノー

ト情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

ServiceNow SDK

ServiceNow SDK は、アプリケーションを構築し、ソースコードでアプリケーションを開発するための ServiceNow Fluent API を提供するアプリケーションパッケージサービスとして、ServiceNow IDE のバックグラウンドで使用されます。ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成されたスコープ対象のアプリケーションは、どちらのアプリケーションでも開発できます。

ServiceNow SDK リリースノート

ServiceNow ソフトウェア開発キット (SDK) を使用すると、開発者は Visual Studio Code Desktop でソースコード内にスコープ対象のアプリケーションを作成し、変更を ServiceNow インスタンスにアップロードできます。ServiceNow SDK は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの **ServiceNow SDK** の特長

ServiceNow Fluent でアプリケーションを構成するメタデータを定義するソースコードを記述します。

詳細については、「[ServiceNow SDK](#)」を参照してください。

ServiceNow SDK を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

`now-sdk upgrade` コマンドを使用して、最新バージョンの ServiceNow SDK にアップグレードします。詳細については、「[Upgrade the ServiceNow SDK](#)」を参照してください。

i 注:

ServiceNow SDK のパッチリリースの詳細については、ServiceNow Community の [ServiceNow IDE、SDK、および Fluent の記事](#) を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

ソースコードでスコープ対象のアプリケーションを構築する

ServiceNow Fluent を使用して、アプリケーションを構成するメタデータを定義するソースコードを記述します。ServiceNow Fluent は、さまざまなタイプのアプリケーションメタデータを定義するための API を備えたドメイン固有のプログラミング言語です。ソースコードでアプリケーションを開発すると、使い慣れた開発環境での作業、複雑なアプリケーションの作成と変更、ソースコントロールでの容易なコードの管理、ビルド時のエラーのキャッチが可能になります。

ServiceNow Fluent の言語サーバー Visual Studio Code

Visual Studio Code Marketplace から ServiceNow Fluent Language Server をインストールして、Visual Studio Code の ServiceNow Fluent の言語処理と検証を取得します。

このリリースでの変更

デフォルトのアプリケーション構造

デフォルトのアプリケーション構造には、`.gitignore` ファイルの追加や、`package.json` 内の `now` オブジェクト構成の専用の `now.config.json` ファイルへの移動など、ディレクトリとファイルに対するいくつかの変更が含まれています。

project-type およびテンプレート parameter を含むコマンドと変換コマンドを作成します

`now-sdk create` コマンドおよび `now-sdk convert` コマンドの `project-type` パラメーターを使用して、作成または変換するアプリケーションのタイプを指定します。このパラメーターは、アプリケーションで ServiceNow Fluent モジュールと JavaScript モジュールおよびサードパーティライブラリを使用するか (fluent)、または JavaScript モジュールとサードパーティライブラリのみを使用するか (module) に基づいて、デフォルトのアプリケーション構造を決定します。

`now-sdk create` コマンドと `now-sdk convert` コマンドのテンプレートパラメーターを使用して、モジュールで JavaScript と TypeScript のどちらを使用するかを指定します。このパラメーターは、`package.json` ファイルと `now.config.json` ファイルの構成を決定し、TypeScript プロジェクトの `tsconfig.json` ファイルを追加します。

fetch コマンドにデバッグパラメーターが含まれている

`now-sdk fetch` コマンドで `debug` パラメーターを `true` に設定して、フェッチプロセス中に生成されたデバッグログを返します。

deploy コマンドに reinstall パラメーターが含まれている

`now-sdk deploy` コマンドで `reinstall` パラメーターを `true` に設定して、インスタンスでアプリケーションをアンインストールして再インストールします。アプリケーションを再インストールすると、インスタンス上のメタデータが展開パッケージのメタデータと確実に一致します。

警告:

インスタンスにはあるがローカルアプリケーションにはないメタデータは削除されます。

このリリースでの削除

- グローバルアプリケーションの変換をサポートしていた `now-sdk convert` コマンドから `scopeId` パラメーターが削除されました。スコープ対象のアプリケーションのみ変換できます。
- `now-sdk fetch` コマンドと `now-sdk deploy` コマンドから `mode` パラメーターが削除されました。完全なフェッチまたは展開が常に実行されます。

アクティベーション情報

ServiceNow SDK は、[公開 npm レジストリ !\[\]\(b4eeff342f60cc7bcd67d869b4fedca2_img.jpg\)](#) から npm パッケージとして入手しローカルにインストールできます。ServiceNow SDK のインストールの詳細については、「[Install the ServiceNow SDK in an application !\[\]\(7cbfaf281ed50ce10ba1259f16ecca5e_img.jpg\)](#)」を参照してください。

その他の要件

ServiceNow SDK をインストールするには、Node.js と npm がインストールされている必要があります。詳細については、「[Install the ServiceNow SDK in an application !\[\]\(3342c215b2a8b663596a81468d5dc314_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

ServiceNow IDE

ServiceNow IDE はアプリケーションを構築するためのアプリケーションパッケージサービスとして ServiceNow SDK を使用し、ServiceNow SDK は、ServiceNow IDE のソースコードでアプリケーションを開発するための ServiceNow Fluent API を提供します。ServiceNow SDK または ServiceNow IDE で作成されたスコープ対象のアプリケーションは、どちらのアプリケーションでも開発できます。

ServiceNow スタジオ リリースノート

アプリケーションは、製品の主な利点を説明。 は リリースの新しいアプリケーションです。ServiceNow ServiceNow スタジオServiceNow スタジオXanadu

Xanadu リリースでの ServiceNow スタジオ の特長

- 統合されたツールを使用してアプリケーションを開発し、シームレスなエクスペリエンスを実現します。
- あらゆるアプリケーションまたはスコープでメタデータを検索、整理、編集します。
- 更新セットとアプリリポジトリを使用して、作業を追跡、パッケージ化、および展開します。

詳細については、「[Building applications with ServiceNow Studio](#)」を参照してください。

重要:

ServiceNow スタジオ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ServiceNow スタジオの機能

UI の変更

ServiceNow スタジオ の重要なアップグレード情報

アクティブ化情報

ServiceNow Store から要求して、ServiceNow スタジオ をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

ブラウザー要件

アクセシビリティ情報

ローカリゼーション情報

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

ストリームコネクト ダッシュボードリリースノート

ServiceNow ストリームコネクト ダッシュボードアプリケーションは、ストリームコネクト統合を表示および管理できる一元的な場所を提供します。ストリームコネクト ダッシュボードは、Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

ストリームコネクトXanadu リリースのダッシュボードの特長

- ストリームコネクトコンシューマー、トピック、およびレプリケーターを 1 つの統合されたインターフェイスで管理します。
- アクティブなエンティティ、処理されたメッセージ、データ消費の傾向など、ストリームコネクト統合の詳細な統計を表示します。
- トピックを作成または編集し、ダッシュボードから直接コンシューマーを追加します。

詳細については、「[Using the Stream Connect Dashboard](#)」を参照してください。

i 重要:

ストリームコネクトダッシュボードはServiceNow Storeで使用できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ストリームコネクト ダッシュボードの機能

Using the Stream Connect Dashboard

ストリームコネクト 統合の詳細な統計情報を表示し、ServiceNow ストリームコネクトダッシュボードを使用してトピック、レプリケーター、およびコンシューマーを作成または編集します。

アクティベーション情報

ストリームコネクト ダッシュボードをServiceNow Storeから要求してインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

ストリームコネクト には オートメーションエンジン と ストリームコネクト のサブスクリプション登録が必要です。詳細については、「<https://www.servicenow.com/products/automation-engine.html>」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

統合ハブ

ServiceNow ワークフロースタジオ用に ServiceNow のコンポーネントを使用して統合タスクを自動化するか、カスタム統合を開発します。別途サブスクリプションが必要です。

システムアップデートセットリリースノート

ServiceNow システムアップデートセットはあるインスタンスから別のインスタンスに移動できる構成変更のグループです。この機能により、アドミニストレーターは一連の変更を名前付きセットにグループ化し、テストまたはデプロイメントのために別のシステムにユニットとして移動できます。システムアップデートセットは、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでのシステムアップデートセットの特長

- アップデートセットによるアプリのインストールを有効にします。
- プレースホルダー
- プレースホルダー

詳細については、「[System update sets](#)」を参照してください。

i 重要:

システムアップデートセットは ServiceNow Store で利用できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

システムアップデートセットを **Xanadu** にアップグレードする際の重要な情報

情報収集

Xanadu リリースの新機能

新機能

情報収集

UI の変更

新しい UI の変更

情報収集

このリリースでの変更

新しいシステムアップデートセットのエクスペリエンス

新しいシステムアップデートセットは、より効率的で合理化された作業方法を提供します。アップグレード方法の詳細については、「[」](#)を参照してください。PLACEHOLDER (プレースホルダー) はこのリリースでも引き続きサポートされています。

システムアップデートセットの変更

情報収集

アクティベーション情報

システムアップデートセットは、デフォルトでアクティブな Now Platform の機能です。

UI コンポーネント **CLI** 拡張機能リリースノート

ServiceNow UI コンポーネント CLI 拡張機能は、プロジェクトのスキュアフォールディング、ローカル開発サーバーの起動、ServiceNow インスタンスへのコンポーネントの展開など、さまざまなコンポーネント開発ワークフローを抽象化します。UI コンポーネント CLI 拡張機能は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの UI コンポーネント **CLI** 拡張機能の特長

モジュールキャッシュを使用して開発者サーバーのパフォーマンスを向上させます。

詳細については、「[UI コンポーネント拡張機能](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

モジュールキャッシュ

モジュール キャッシュは、インポートされたときにモジュールをメモリに格納し、将来使用されるときにキャッシュからモジュールを返すことで、開発者サーバーのパフォーマンスを向上させます。

アクティベーション情報

UI コンポーネント CLI 拡張機能をインストールするには、ServiceNow CLI をインストールし、UI コンポーネント拡張機能を追加します。詳細については、「[環境のセットアップ](#)」を参照してください。

その他の要件

UI コンポーネント CLI 拡張機能には、Windows 10 または Yosemite 以降を搭載した MacOS が必要です。

UI ビルダー リリースノート

ServiceNow UI ビルダーアプリケーションは、ネクストエクスペリエンスのコンポーネントを使用してワークスペースとポータル、またはカスタム Web エクスペリエンスのページをビルドするための Web ユーザーインターフェイスビルダーです。UI ビルダーは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの UI ビルダー の特長

- ビデオ、ガイド付きツアー、および製品ドキュメントの検索可能なライブラリを探索して、UI ビルダー スキルの開発と練習を行います。
- ガイド付きツアーを受講して機能について学習し、UI ビルダー のステップバイステップでタスクを完了します。
- ダークテーマを使用すると、暗い場所での使いやすさが向上します。
- レスポンシブオーサリングを使用して、ラップトップ、タブレット、モバイルデバイスなどのさまざまなフォームファクターで外観と機能に優れたページを設計します。
- 複数のデータソースから情報をフェッチし、UI ビルダー から新しいマルチテーブルデータリソースを使用して、選択したコンポーネントにより簡単にデータをバインドします。

詳細については、「[UI Builder](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

画面条件を宣言的に設定

スクリプトを記述する代わりに条件ビルダーを使用して、ページのヴィジリティを制御します。

タブを使用してコンテキストサイドバーを構成

コンテキストサイドバーコンポーネントは、ビューポートの代わりにタブコンポーネントを基盤として使用し、縦方向のタブのセットとしての簡単に構成できるようになりました。

さまざまなデバイスサイズのページレイアウトを制御

さまざまなサイズの画面に適したカスタマイズされたページを作成します。

コンポーネントのさまざまなソースからデータを取得

フィールドマッピングに基づいて、さまざまなデータソースから単一のコンポーネントにデータを簡単に追加できます。

ページ上の複数のフォームのサポート

複数のフォームとフォームコントローラーを 1 つのページに追加します。

アクティベーション情報

UI ビルダー はデフォルトでアクティブです。ServiceNow Store からダウンロードすることで、最新バージョンの UI ビルダー に更新できます。

ブラウザー要件

UI ビルダー では Internet Explorer はサポートされていません。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

App Engine Studio

ServiceNow App Engine Studio でアプリを作成した後、ServiceNow UI ビルダー でユーザーインターフェイスを作成できます。

ワークフロースタジオ リリースノート

ServiceNow ワークフロースタジオ アプリケーションは、すべてのプロセス自動化アプリケーションに単一の場所からアクセスできます。ワークフロースタジオ は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ワークフロースタジオ の特長

- タブヘッダーの [作成] ボタンを使用して、任意のワークフロースタジオページからワークフローアイテムを作成します。
- 独自のカテゴリを作成して、アクション、データストリーム、およびサブフローを整理します。
- 新しい使用状況ダッシュボードを使用して、プレイブックとフローの操作を監視します。
- 新しいバージョンの ワークフロースタジオ が利用可能になると、情報バナーが表示されます。

詳細については、「[Workflow Studio](#)」を参照してください。

重要:

ワークフロースタジオ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ワークフロースタジオ を **Xanadu** にアップグレードする際の重要な情報

パッチ 3 Washington DC 時点では、ワークフロースタジオ を更新すると、ServiceNow ワークフロースタジオ、プレイブック、ServiceNow ディジショナルビルダーなどのすべてのアプリケーション依存関係が自動的に更新されます。ServiceNow Store またはプラグインのリストから、ワークフロースタジオ の個々のアプリケーション依存関係を表示または更新することはできなくなりました。

Xanadu リリースの新機能

タブヘッダーのボタンからワークフローアイテムを作成する

タブヘッダーの [作成] ボタンを使用して、任意のワークフロースタジオページからワークフローアイテムを作成します。

カテゴリを作成してアクションを整理する

独自のカテゴリを作成してアクションを整理します。

カテゴリを作成してデータストリームアクションを整理する

独自のカテゴリを作成して、データストリームアクションを整理します。

サブフローを整理するためのカテゴリの作成

独自のカテゴリを作成してサブフローを整理します。

新しいバージョンのワークフロースタジオが利用可能になる時期を確認する

新しいバージョンのワークフロースタジオが利用可能になると、情報バナーが表示されます。

UI の変更

フロー実行のリストをフロー使用状況ダッシュボードに置き換えました

操作ビューを開くと、最近の実行のリストではなく、フローとサブフローの [使用状況] ダッシュボードが表示されます。これで、フローとサブフローの実行のリストが [監視] セクションの下に表示されます。

プレイブック実行のリストをプレイブック使用状況ダッシュボードに置き換えました

操作ビューを開くと、最近の実行のリストではなく、プレイブックの使用状況ダッシュボードが表示されます。プレイブック実行のリストが [監視] セクションの下に表示されました。

このリリースでの変更

ワークフロースタジオとそのすべての依存関係を更新

パッチ 3 Washington DC 時点では、ワークフロースタジオを更新すると、ワークフロースタジオ、プレイブック、ディシジョンビルダーなどのすべてのアプリケーション依存関係が自動的に更新されます。ServiceNow Store またはプラグインのリストから、ワークフロースタジオの個々のアプリケーション依存関係を表示または更新することはできなくなりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ワークフロースタジオをインストールします。ServiceNow Store  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

統合ハブ

ServiceNow ワークフロースタジオ用に ServiceNow のコンポーネントを使用して統合タスクを自動化するか、カスタム統合を開発します。別のサブスクリプションが必要です。

統合ハブの利用できるスポーク

スポークをアクティブ化して、統合専用のコンテンツでワークフロースタジオエクスペリエンスを向上させます。事前にビルドされたフローとアクションを使用して、統合を自動化するか、または独自に統合の自動化を作成します。

MID サーバー

管理、計測、ディスカバリー (MID) サーバーは、ローカルネットワーク内のサーバーで Windows のサービスまたは UNIX のデーモンとして動作する Java アプリケーションです。ServiceNow MID サーバーは、ServiceNow インスタンスと外部のアプリケーション、データソース、サービスの間のデータの通信や移動を支援します。

ロボティックプロセスオートメーション (RPA) ハブ

ServiceNow ロボティックプロセスオートメーション Hub を使用して、組織のエンドツーエンドの自動化を有効にします。UI インタラクション、要素ベースの自動化、およびさまざまなビジネスアプリケーション間でやり取りする API を組み合わせて使

用することで、ユーザーアクションをエミュレートし、日常の反復的な人的アクティビティをなくすことができます。

ネクストエクスペリエンスのコンポーネント リリースノート

ServiceNow® ネクストエクスペリエンスのコンポーネント は、カスタムユーザーインターフェイスをビルドするために使用されるコンポーネントです。ネクストエクスペリエンスのコンポーネントは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ネクストエクスペリエンスのコンポーネント の特長

- ビルド済みのシステムまたはカスタムコンポーネントを使用して、リッチな UI エクスペリエンスをビルドします。ネクストエクスペリエンスのコンポーネント API リファレンス、使用ガイドンス、および ServiceNow UI ビルダー セットアップドキュメントを見るには、[開発者サイトの「Next Experience コンポーネント」ドキュメント](#) にアクセスしてください。
- JavaScript フレームワーク、不変データ、シンプルなアクションハンドラーなどの一般的な Web コンポーネントのパターンと原則を使用します。
- 複数のユーザーインターフェイスでコンポーネントを再利用して、エンドユーザーに統一感のあるエクスペリエンスを作成します。
- 事前設定されたプロパティ値を使用して、コンポーネントのプロパティとイベントハンドラーを自動的に設定すると、コンポーネントをページに追加したときに機能できるようになります。プリセットは、コンポーネントのデータリソースとして機能するコントローラーに接続できます。詳細については、「[Automatically configure components using presets](#)」と「[Bind data to UI Builder pages using controllers \(advanced feature\)](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

コンポーネント

コンポーネント	説明
カスタム図	テーマ可能なインラインのスケーラブルベクトルグラフィックス (SVG) をワークスペースページに挿入します。

既存のコンポーネントに追加されたドキュメント

UI 要素	説明
コンポーネント	
プレゼンテーションリスト	現在のテーブルの列と行を含むリストコンポーネント。ユーザーは、テーブル内のアイテムをソート、フィルター、および編集できます。

このリリースでの変更

コンポーネント

コンポーネント	拡張
バッジ	部分的計数と、プラス「+」記号を含む追加の文字を有効にするオプション。
パンくずリスト	オーバーフローメニューを有効にするオプションにより、ブレッドクラムの向きのエクスペリエンスが改善されました。

コンポーネント (続く)

コンポーネント	拡張
カレンダー	- ボタンを追加するためのヘッダーの追加コンテンツスロット。 - タイムラインビューの列幅コントロール。
チェックボックス	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。
Checklist (チェックリスト)	- 無効化、読み取り専用、無効などの追加の構成オプション。 - フォントサイズのカスタマイズ。 - 必須フィールドインジケターを構成するオプション。 - ユーザーが必須フィールドに不完全なフォームを送信しようとする、エラー通知が表示されます。
日付-時刻	- ユーザーのタイムゾーン表示。 - 日時入力フィールドの水平レイアウトオプション。
メールコンポーザー	- メールフッターとサイドパネルアクションボタンを使用したドラフト管理エクスペリエンスが改善されました。 - 作成領域の拡大と垂直方向のスペースを節約するための機能強化により、ドラフト作成エクスペリエンスが向上しました。 - 最新のドラフトの自動ロードを有効にするオプション。 [メール送信] ボタンを非表示にするオプション。 - メール ID での国際文字のサポート。
メールコンポーザー (ミニ)	- メールフッターとサイドパネルアクションボタンを使用したドラフト管理エクスペリエンスが改善されました。 - 作成領域の拡大と垂直方向のスペースを節約するための機能強化により、ドラフト作成エクスペリエンスが向上しました。 - 最新のドラフトの自動ロードを有効にするオプション。 [メール送信] ボタンを非表示にするオプション。 - メール ID での国際文字のサポート。
フォーム	1 ページでの 2 つ以上のフォームのサポート。 i 注: 既存のフォームを使用して従来のページにフォームを追加する場合は、フォーム UIB セットアップのドキュメント を参照してください。
ハイライト表示される値	テキストの折り返し機能により、長いテキストの表示が改善されました。

コンポーネント (続く)

コンポーネント	拡張
入力	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。
ノードマップ	階層レイアウトの場合： • マップ内の移動可能なノード。 • カスタマイズ可能なコントロールパネル。 • 新しいノードでのカスタマイズ可能なノード接続。 • より高いブラウザーズームレベルでのリフローが改善されました。 • ノードマップレイアウトの更新 (再レイアウト) の一時停止のサポート。
ラジオボタン	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。
選択	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。
テキストエリア	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。
トグル	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。
先行入力	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。
先行入力マルチ	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。

アクティベーション情報

ネクストエクスペリエンスのコンポーネント はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アクセシビリティ情報

ネクストエクスペリエンスのコンポーネント は、Xanadu リリースでアクセシビリティ用に更新されています。

更新されたコンポーネント

Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA をサポートするために、次のコンポーネントが更新されました。

- 360 度可視化 [sn-grc-360-degree-visualization]
- エージェントメッセージング [sn-agent-messaging]
- アナリティクス Q&A [sn-nlq-analytics]
- 予約カレンダー [now-appointment-calendar]
- オーディオプレイヤー [sn-audio-player]
- BCM 危機マップ [sn-bcm-crisis-map-connected]
- カレンダー [now-calendar]

- キャパシティ計画立案 [sn-capacity]
- カタログウィザード [sn-catalog-wizard-connected]
- チャットポップオーバー [now-requestor-chat-popover]
- 回路マップ [sn-circuit-map]
- 確認メッセージ [now-confirmation-message]
- Q1 ダッシュボード概要 [sn-dashboards-overview]
- データグリッド UI コンポーネント [sn-datagrid]
- データ可視化デザイナー [sn-viz-designer]
- DevOps パイプライン [sn-devops-pipeline]
- 表示専用フォーム [now-record-form-section-connected]
- メールコンポーザー [now-email-client-composer-connected]
- FAM マップ [sn-fam-map]
- フォームレコードのプレゼンス [now-record-common-record-presence]
- じょうごグラフ [sn-va-funnel]
- ガントチャート [now-gantt]
- Geo マップ [sn-geo-map]
- ガイド付きディシジョンアプリのシェルヘッダー [sn-gd-app-shell-header]
- ガイド付きディシジョンビルダー [sn-guided-decisions-builder]
- ガイド付きディシジョンエクスペリエンス [sn-guided-decisions-card]
- インドアマッピング [sn-map-component]
- 測定基準データテーブルコンポーネント [sn-metric-datatable]
- ノードマップ [sn-node-map]
- OHS けがピッカー [sn-ohs-injury-picker-connected]
- 変数を入力するための PaCE 動的フォーム [sn-pace-policy-dynamic-form]
- PaCE ポリシービルダー [sn-pace-policy-builder]
- PaCE ポリシー入力 [sn-pace-policy-builder-io]
- PAR コンポーネントビルダー [sn-par-component-builder]
- プレイブックアクティビティピッカー [now-playbook-activity-picker]
- プレイブックフォーム [now-playbook-experience-form-connected]
- コードエンジンテストプレイグラウンドコントロールとしてのポリシー [sn-pace-test-playground-control]
- プレゼンテーションリスト [now-list]
- プロセスマイニング - オートメーションディスカバリーレポート [sn-promin-automation-discovery-report]
- プロセスマイニング - 改善イニシアチブ [sn-promin-initiatives-connected]
- プロセスマイニング - 改善の機会 [sn-promin-process-findings-connected]
- プロセスマイニング - メモ [sn-promin-notes-connected]
- プロセスマイニング - プロジェクトリスト [sn-promin-process-list-connected]

- プロセスマイニング - ルート [sn-promin-process-routes-connected]
- プロセスマイニングワークベンチ [sn-promin-workbench-connected]
- プロセス最適化 - マップ [sn-promin-process-map-connected]
- クイックフィルター [sn-quick-filter]
- クイックフィルターポップオーバー [sn-quick-filter-popover]
- 条件ビルダーを使用した参照セクター [sn-pace-policy-reference-selector-cb]
- リスクヒートマップ [sn-risk-heatmap]
- ロードマップ [sn-roadmap]
- スケジュール済みエクスポート [sn-par-scheduled-export]
- 検索ファセット [sn-search-facets]
- 検索入力 [sn-search-combobox]
- 検索結果ラッパー [sn-search-result-wrapper]
- ビューの分割 [split view]
- タブフィルター [sn-tab-filter]
- Task Planner [sn-task-planner]
- VA アナリティクスチャートコンテナ [sn-va-slotted-tile]
- VA アナリティクスイベントプロパティセット [sn-va-custom-event-props]
- VA アナリティクス傾向スコア [sn-va-score-trend]
- Workplace Stack Plan [sn-wsd-stackplan]

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

UI Builder

UI ビルダー は、ワークスペースとポータル Web ベースのエクスペリエンス向けのページをビルドできるローコードのツールです。

Configurable Workspace UI

コンポーネントを使用して、内部または外部の顧客の問題を解決するエージェント向けのカスタムワークスペースエクスペリエンスをビルドします。

Intelligent Experiences リリースノート

Xanadu リリースには、Intelligent Experiences の新機能と更新された機能が含まれます。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) リリースノート

ServiceNow ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションは、ドキュメントから情報を迅速かつ正確に分類して抽出する人工知能 (AI) ソリューションです。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の特長

- 描画ツールを使用してドキュメント領域を選択し、情報を抽出することで、単一のフィールドからデータを抽出します。
- あいまいなフィールド値を解釈する方法を決定し、抽出された値を参照テーブルのデータと照合することで、抽出されたデータを標準化します。

- 簡体字中国語または日本語で書かれたドキュメントを処理します。
- 改善されたダッシュボードチャートを使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の実装を監視します。

詳細については、「[Document Intelligence](#)」を参照してください。

i 重要:

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

描画ツールの機能強化

描画ツールを使用してドキュメント領域を選択し、情報を抽出することで、単一のフィールドからデータを抽出します。

データ正規化

次の改善により、ドキュメントから抽出されたデータを標準化します。

- 日付フィールドと数値フィールドのあいまいな値のデフォルトの解釈を決定します。
- 抽出されたフィールド値を、参照テーブルレコードのフィールドと照合するための参照フィールドタイプを作成します。

アドミンエクスペリエンスのダッシュボード

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) モニタリングダッシュボードでドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の全体的なパフォーマンスを監視します。ユースケースパフォーマンスダッシュボードで、ユースケースレベルでパフォーマンスを監視します。

ドキュメント分類統合ワークフロー

ドキュメント分類ユースケースをカスタムアプリケーションまたはワークフローと統合します。

UI の変更

描画ツール機能の使いやすさの向上

描画ツールのさまざまな機能が更新され、効果的なユーザーエクスペリエンスが生まれます。

このリリースでの削除

Xanadu リリース以降、プラットフォームドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 使用状況ダッシュボードはサポートされなくなり、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションでは利用できなくなりました。パフォーマンス測定基準は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミンエクスペリエンスで使用できます。詳細については、「[Document Intelligence monitoring dashboard](#)」を参照してください。

アクティブ化情報

ServiceNow Store から要求することで、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーション (sn_docintel) は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) プラグイン (com.glide.platform_ml)、予測インテリジェンスプラグイン (com.glide.platform_ml)、および ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) UIB コ

ンポーネント (com.sn_docintel_iframe) に依存します。詳細については、「[ドキュメントインテリジェンス \(DocIntel\) のインストール](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

リフローのサポート

sn-docintel-iframe コンポーネントが更新され、リフローに対応できるようになりました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見つらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]一般的なアクセシビリティ機能拡張[End]

[store-future: BEGIN review]ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)のさまざまな機能が更新され、より使いやすいユーザーエクスペリエンスが実現されます。

- 描画ツール機能は、スクリーンリーダーのユーザーなど支援技術のユーザーに正しいラベルやその他の関連情報を提供します。
- 描画ツール機能では、マウス操作の代わりにキーボード操作が利用できます。

[End]

ローカリゼーション情報

中国語と日本語のサポート

ドキュメントの処理言語が追加され、簡体字中国語と日本語のサポートが追加されました。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

買掛金オペレーション

買掛金オペレーションのドキュメントインテリジェンス (DocIntel)を使用して、メールで添付ファイルとして受信した請求書ドキュメントから情報を迅速かつ正確に抽出し、買掛金オペレーションアプリケーションで請求書レコードを作成します。

カスタマーサービス管理 (CSM)

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) for カスタマーサービス管理 (CSM) を使用して、メールやケースの添付ファイルから口座番号や顧客の住所などの関連情報を抽出し、その情報をケースに追加します。

ファイナンシャルサービスオペレーション

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を ファイナンシャルサービスオペレーションアプリケーションのデジタルワークフローと統合して使用すると、ドキュメント処理を迅速に自動化し、ドキュメントから Now Platform に情報を正確に抽出できます。

Automation Center

オートメーションセンターのドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の自動化メトリクスを使用したドキュメント処理の自動化の機会を検出します。

生成 AI コントローラー リリースノート

ServiceNow 生成 AI コントローラーアプリケーションでは、Now Platform 上のサードパーティの大規模言語モジュール (LLM) プロバイダーで生成 AI 機能を使用して、コンテンツを生成および要約し、ユーザーの感情を分析し、独自のプロンプトを記述すること、複雑さを軽減し、ユーザーエクスペリエンスを向上させることができます。生成 AI コントローラーは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 生成 AI コントローラー の特長

パフォーマンスを向上させるために、機能、セマンティックフィルター処理、および再帰的要約のプロンプトを更新しました。

詳細については、「[生成 AI コントローラー](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

の生成 AI 更新の指示 [生成 AI コントローラー](#)

4 つすべての機能 (汎用プロンプト、コンテンツの生成、要約、感情分析)、セマンティックフィルタリング、再帰要約について、大規模言語モデル (LLM) への指示であるプロンプトが更新されました。

アクティベーション情報

生成 AI コントローラーは、任意の ServiceNow Now Assist アプリケーションをアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、次を参照してください。 [インストール 生成 AI コントローラー](#)。

ローカリゼーション情報

生成 AI コントローラー は [Now Assist で Microsoft Azure OEM for Dynamic Translation](#) を使用して複数言語をサポートします。Now Assist アドミン コンソールから動的翻訳を有効にできます。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

[Now Assist](#)

Now Assist には、Now Platform で Now Assist のスキルをセットアップ、構成、監視、および使用するための Now Assist アドミン コンソールが入っています。Now Assist パネルを使用すると、ユーザーは ServiceNow ネクストエクスペリエンス で Now Assist のスキルを操作できます。

[Agent Chat](#)

ServiceNow エージェントチャット は、エージェントと要求者がエージェントとエンドユーザーのチャットエクスペリエンスを簡素化するために使用できるさまざまな機能を備えています。エージェントチャット には、マネージャーがエージェントを監視および支援するために使用できる機能もあります。

[Customer Service Management](#)

ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションを使用すると、外部顧客が必要とするサービスとサポートを提供できます。たとえば、顧客は Web、メール、チャット、電話、ソーシャルメディアを通じてコミュニケーションを取り、サポートを受けることができます。

[Field Service Management](#)

ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) では、作業指示と関連するタスク、リソース、スキル、資産、および場所を管理できます。このアプリケーションを使用し

て、機器の設置、修理、メンテナンスなどのあらゆる種類のフィールド作業を実行するために、作業指示タスクとエージェントを顧客の場所に派遣します。

Flow Designer

ServiceNow ワークフロースタジオ は、プロセスオーナーが作業を自動化できる Now Platform 機能です。複数ステップのフローを再利用可能なコンポーネントからコーディングなしにビルドできます。

HR Service Delivery

ServiceNow HR サービスデリバリー (HRSD) アプリケーションは、従業員にふさわしいサービスエクスペリエンスを提供します。従業員に対してバックエンドの複雑性を見せず自分の作業ニーズを一元的に管理する場所を提供することで、現代的な人員の需要を満たす優れたエクスペリエンスを提供できます。

IT Service Management

ServiceNow IT Service Management (ITSM) ソリューションが提供するスケーラブルなワークフローでは、1 つのクラウドベースプラットフォームを介して IT サービスを管理し、ユーザーに提供することができます。この ITSM ソリューションは、エージェントの生産性の向上、問題の迅速な解決、およびユーザー満足度の向上に役立ちます。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペース は、エージェントが問題を検索、調査、解決するために使用するツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。

Now Assist リリースノート

ServiceNow Now Assist エクスペリエンスは、生成 AI を組織に導入します。セルフサービス、推奨アクション、回答の機能が向上し、ユーザーが AI 検索 を利用できるようになることで、生産性と効率が向上します。Now Assist は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Now Assist の特長

- 多言語の動的翻訳を使用して、さまざまな言語を話すユーザーをサポートします。
- Now Assist パネルでナビゲーションプラットフォームスキルを使用して、テーブルやリストをより簡単かつ効率的に検索できるようにします。
- Now Assist による書き込みで、会話のコンテンツに基づいてエージェントにチャットとメールの提案を提供します。
- 開発者が Now Assist スキルキット を使用して独自のカスタムスキルを作成できるようにします。
- 類似のケースまたはインシデントの選択からナレッジベース記事を生成し、ナレッジ管理で Now Assist を使用して単一の記事に関連する懸念事項に対処します。

詳細については、「[Now Assist !\[\]\(a8f9309f944226d1420f5fed22e2b6e6_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

生成 AI 製品を購入した後、ServiceNow Store からインストールできます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Now Assist を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

Now Assist スキルに関連付けられている UI アクションやその他のアイテムをカスタマイズした場合は、カスタマイズしたコードが新しいスキルリリースで更新されていることを確認してください。そうしないと、特定の機能が期待どおりに機能しない可能性があります。

Now Assist 製品のアップグレード中に問題が発生した場合は、「[KB1637452 : Now Assist \(生成 AI\) アプリケーションおよびプラグインの更新の問題と軽減策](#)」を参照してください。記事を表示するにはログインする必要があります。

Xanadu リリースの新機能

動的テーマを使用すると、さまざまなテーマをチャット要約カードに適用できます。

チャット要約カードの動的テーマをサポートします。

で書く Now Assist

エージェントが、生成 AI を利用したテキスト生成および編集支援に Now Assist による書き込みを使用できるようにします。この機能は、ライティングの責任を改善および簡素化するのに役立ちます。

Now Assist Platform skills を使用

- Xanadu リリース以降のプラットフォームワークフローで生成 AI プラットフォームのスキルを使用して、ユーザーエクスペリエンスを強化および簡素化します。
- 検索コマンドを分かりやすい言語で入力し、Navigation スキルを使用してレコードとテーブルを取得およびフィルタリングします。

使用 Now Assist スキルキット 生成 AI アプリ開発者向け

Now Assist エージェントのユースケースに合わせて、カスタンプromptとスキルを作成してアクティブ化します。

を使用した複数のケースまたはインシデントからのナレッジ記事の生成 の Now Assist ナレッジ管理

Now Assist を使用した類似のケースまたはインシデントに基づいて、構成可能ワークスペース環境またはクラシック環境から迅速にナレッジ記事のドラフトを作成します。ナレッジ記事は、類似のケースまたはインシデントのリストから選択したり、ケースまたはインシデント番号から選択したり、ケースまたはインシデントに固有のキーワードを検索したりして生成できます。

UI の変更

チャット要約のガイド付きセットアップの新しいステップ

[出力をカスタマイズ (Customize output)] ステップを使用して、段落形式と箇条書き形式を選択できるようになりました。

の法的免責事項 Now Assist パネルと仮想エージェントでの Now Assist

Now Assist パネルの上部または仮想エージェント会話の Now Assist に、次のテキストが表示されます。「回答は AI によって生成されています。正確かどうかを確認してください。(Answers generated by AI. Review for accuracy.)」

このリリースでの変更

解決メモ生成のためにガイド付きセットアップに追加された「はじめに」ステップ

解決メモ生成スキルのガイド付きセットアップに、新しいリリース後にスキルに関連付けられているカスタマイズされたコードを更新するように通知するステップが追加されました。

アクティベーション情報

Now Assist 機能は ServiceNow Store から任意の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。次のプラグインを使用できます。

- [Now Assist for Customer Service Management \(CSM\)](#)
- [Now Assist for Creator](#)
- [Now Assist for Field Service Management \(FSM\)](#)
- [Now Assist for Financial Services Operations \(FSO\)](#)
- [Now Assist for HR Service Delivery \(HRSD\)](#)
- [Now Assist for IT Operations Management \(ITOM\)](#)
- [Now Assist for IT Service Management \(ITSM\)](#)
- [Now Assist for PSDS](#)
- [Now Assist for Security Incident Response](#)
- [Now Assist for Sourcing and Procurement Operations \(SPO\)](#)
- [Now Assist for Strategic Portfolio Management \(SPM\)](#)
- [Now Assist for Telecommunications, Media and Technology \(TMT\)](#)

i 注:

Now Assist プラグインで利用できる生成 AI 機能は異なる場合があります。

詳細については、「[Install Now Assist plugins](#)」を参照してください。

その他の要件

Now Assist パネルを使用するには、ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク を有効にする必要があります。

ブラウザ要件

Now Assist は、Google Chrome や Microsoft Edge などのさまざまなブラウザをサポートしています。Now Assist は Microsoft Internet Explorer ではサポートされていません。

ローカリゼーション情報

Now Assist は Xanadu の動的翻訳をサポートしています。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Agent Chat](#)

ServiceNow エージェントチャットは、エージェントと要求者がエージェントとエンドユーザーのチャットエクスペリエンスを簡素化するために使用できるさまざまな機能を備えています。エージェントチャットには、マネージャーがエージェントを監視および支援するために使用できる機能もあります。

[AI Search](#)

ServiceNow AI 検索アプリケーションは、サービスポータル、Now Mobile 、仮想エージェント用にコンシューマーグレードの検索エンジンを提供します。インテリジェントなクエリ機能により、すぐに必要な答えを見つけることができます。

[Customer Service Management](#)

ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションを使用すると、外部顧客が必要とするサービスとサポートを提供できます。たとえば、顧客は Web、メール、チャット、電話、ソーシャルメディアを通じてコミュニケーションを取り、サポートを受けることができます。

Dynamic Translation

ServiceNow 動的翻訳アプリケーションを使用すると、アプリケーションまたはチャットウィンドウに入力されたテキストを動的に翻訳して、シームレスなローカライズエクスペリエンスを実現できます。

Field Service Management

ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) では、作業指示と関連するタスク、リソース、スキル、資産、および場所を管理できます。このアプリケーションを使用し、機器の設置、修理、メンテナンスといったあらゆる現場作業を実行するための作業指示書タスクとエージェントを、顧客の現場に派遣できます。

Generative AI Controller

ServiceNow 生成 AI コントローラーを使用すると、サードパーティの大規模言語モデル (LLM) をワークフローと統合できます。

HR Service Delivery

ServiceNow HR サービスデリバリー (HRSD) アプリケーションは、従業員にふさわしいサービスエクスペリエンスを提供します。従業員に対してバックエンドの複雑性を見せず自分の作業ニーズを一元的に管理する場所を提供することで、現代的な人員の需要を満たす優れたエクスペリエンスを提供できます。

Knowledge Management

ServiceNow ナレッジ管理 (KM) アプリケーションを使用すると、ナレッジベースで情報を共有できます。これらのナレッジベースには、セルフヘルプ、トラブルシューティング、およびタスク解決などの情報をユーザーに提供する記事が含まれています。

ITOM Health

ServiceNow ITOM ヘルス製品には、ServiceNow イベント管理アプリケーションと ServiceNow メトリックインテリジェンスアプリケーションが含まれています。これらにより、組織内のサービスの健全性を追跡して管理できます。

IT Service Management

ServiceNow IT Service Management ソリューションが提供するスケーラブルなワークフローでは、1 つのクラウドベースプラットフォームを介して IT サービスを管理し、ユーザーに提供することができます。この ITSM ソリューションは、エージェントの生産性の向上、問題の迅速な解決、およびユーザー満足度の向上に役立ちます。

Security Operations

Security Operations の Now Assist アプリケーションを使用すると、セキュリティアナリストは生成 AI スキルを使用してセキュリティインシデントをより迅速に解決できます。アナリストとマネージャーは、セキュリティインシデントに関する長いアクティビティストリームを読みやすい簡潔なサマリーに凝縮し、クローズメモを自動的に生成できます。Security Operations の Now Assist は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Workflow Studio

ServiceNow ワークフロースタジオを使用すると、ワークフローの作成、構成、および監視を単一のページエクスペリエンスに統合できます。

Configurable Workspace UI

ServiceNow ワークスペース は、エージェントが問題を検索、調査、解決するために使用するツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。

予測インテリジェンスリリースノート

ServiceNow 予測インテリジェンス アプリケーションを使用すると、機械学習モデルを作成およびトレーニングして、システムのパフォーマンス、効率、および柔軟性を向上させることができます。予測インテリジェンスは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの予測インテリジェンスの特長

- 予測結果のダッシュボードがネクストエクスペリエンス UI に移行されました。既存の予測結果ダッシュボードを使用してアップグレードする顧客は、ネクストエクスペリエンス UI バージョンを使用するか、新しいダッシュボード内からコア UI バージョンにアクセスできます。
- ソリューション統計のダッシュボードは廃止されました。アップグレードの顧客は、アプリケーションメニューから既存のソリューション統計情報ダッシュボードを引き続き使用できます。

「」を参照してください。 [予測インテリジェンス](#) 詳細を参照します。

UI の変更

予想結果ダッシュボード

予測結果のダッシュボードがネクストエクスペリエンス UI に移行されました。Xanadu リリースでオンボーディングする新規顧客の場合、予測結果ダッシュボードはネクストエクスペリエンス UI でのみ使用できます。アップグレードの顧客は、新しいダッシュボードの中からコア UI ダッシュボードにアクセスすることもできます。詳細については、「[Track classification prediction results over time](#)」を参照してください。

廃止

ソリューション統計のダッシュボードは廃止されました。アップグレードの顧客は、アプリケーションメニューから既存のソリューション統計情報ダッシュボードを引き続き使用できます。Xanadu リリースでオンボーディングする新規顧客の場合、ソリューション統計情報ダッシュボードは利用できません。詳細については、「[Review classification solution statistics](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

予測インテリジェンスは、Predictive Intelligence Reports (com.glide.platform_ml_pa) プラグインとそれに依存する予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml) プラグインをアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Install Predictive Intelligence](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) で、人工知能 (AI) を使用してドキュメントから重要な情報を抽出して分類します。

タスクインテリジェンス

機械学習モデルを作成およびトレーニングして、タスクの作成、トリガー、および調査を自動化します。

IT Asset Management リリースノート

Xanadu リリースには、IT Asset Management の新機能と更新された機能が含まれます。

ソフトウェア資産管理 リリースノート

ServiceNow ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ソフトウェアと SaaS アプリケーションのコスト、使用率、コンプライアンス、および最適化を体系的に追跡、評価、および管理します。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ソフトウェア資産管理 の特長

- ソフトウェア資産のインベントリのインサイト情報を初日から把握し、バージョンの無秩序な増加を制御し、所定のワークフローで提供終了 (EOL) ソフトウェア製品を管理します。
- Nutanix 仮想化テクノロジー用の追加サポートを使用して、Microsoft Windows Server、SQL Server、および Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL Server) のライセンスコンプライアンス要件を満たします。
- ソフトウェア資産管理 アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスを使用して、パブリッククラウド全体で IBM ライセンスを追跡および最適化します。
- SAP Digital Access ライセンスモデルを使用して、SAP アプリケーションの間接的な使用状況を追跡および管理し、予期しないライセンスコストを回避します。

詳細については、「[Software Asset Management](#)」を参照してください。

i 重要:

SaaS ライセンス管理、Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services、IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理、ITAM Health Check、ソフトウェア資産管理 Guided Experiences、機械学習の契約分析は、ServiceNow Store で利用可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ソフトウェア資産管理 を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

Microsoft Entra ID スポーク 4.3 バージョンにアップグレードすると、既存の Microsoft Azure AD SSO またはディレクトリ統合に対して *Microsoft Azure AD - Download Group Membership* ディレクトリジョブは実行されません。このディレクトリジョブは、新しい Microsoft Azure AD SSO またはディレクトリ統合用にも作成されません。代わりに、*Microsoft Azure AD - Download Groups* ディレクトリジョブは、Microsoft Azure AD で構成されているすべてのグループとグループメンバーシップをダウンロードします。

Xanadu リリースの新機能

Tableau クラウドアプリケーションの直接統合サポート

ServiceNow インスタンスを Tableau Cloud アプリケーションと統合することで、サブスクリプションを可視化し、古いライセンスを再利用します。

業務の全体像を把握する GitHub Enterprise クラウドサブスクリプション

外部コラボレーター、保留中の招待、保留中の外部コラボレーターを含む、GitHub Enterprise クラウドサブスクリプションを最適化する拡張機能を活用します。

コストの最小化と最適化 Smartsheet イベントレポートアドオンを必要としないサブスクリプション

追加の Smartsheet イベントレポートアドオンを使用せずに、Smartsheet サブスクリプションを最適化します。Smartsheet 統合を使用して前回のログイン情報を取得すると、効率的に使用されていないサブスクリプションを分析して、Smartsheet のソフトウェア支出を削減できます。

統合: SaaS 最小限のユーザー権限を持つアプリケーション

SaaS ライセンスを最適化するために必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

のログインベースのライセンスを可視化する Salesforce CRM applications

ユーザーサブスクリプションを作成しなくても、Salesforce CRM ログインの消費数に関するインサイトを取得できます。

のライセンスを組織に付与する Oracle Java SE Universal with the Employee ライセンス・メトリック

従業員ライセンス測定基準を使用して、Oracle Java SE Universal を使用しているすべての従業員にライセンスを付与します。階層ベースのライセンスモデルでは、ライセンス割引もサポートされています。

のエクスポート機能を使用して、資産情報の分析を拡張 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース からの資産情報のエクスポートのサポートにより、より多くのインサイトを取得し、運用を簡素化します。

検出されたインベントリに関する実用的なインサイトにより、ソフトウェア資産管理のライセンスの成果を向上させる

資産内で検出されたインベントリ、正規化、EOL ソフトウェア製品、ソフトウェアバージョン、エディションの急増に関するインサイトを取得します。正規化を改善し、バージョンとエディションの急増を減らし、EOL ソフトウェアを修復するために行動します。

支出トランザクションからのインサイトを追加して、重複するソフトウェア使用状況の分析を拡張

ソフトウェア資産ワークスペース の重複する使用状況ビューで、支出トランザクションに関連するデータを表示します。支出検出、直接統合プロファイル、SSO 統合プロファイルなどのアプリケーションから、結合されたデータに関するインサイトを得ることができます。

のライセンスコンプライアンスの判断 Microsoft Windows Server、SQL Server、および RHEL Server Nutanix 仮想化テクノロジーに展開

Nutanix 仮想化テクノロジーでの展開により、Microsoft Windows Server、SQL Server、RHEL Server のライセンスコンプライアンス要件に対応します。

管理のための手作業を削減する Microsoft Windows サーバークライアントアクセスライセンス (CAL) と自動使用状況追跡

ServiceNow ディスカバリー を使用してサーバースoftwareにアクセスしているユーザーとデバイスを追跡および管理し、Microsoft Windows Server のベース CAL の自動作成サポートを使用します。

最適化 Microsoft Visio、Project Online、および Microsoft 365 の Copilot サブスクリプション Microsoft 365 アドミンセンター

Microsoft 365 アドミンセンターで Microsoft Visio、Project Online、Microsoft 365 Copilot サブスクリプションの使用状況を追跡し、未使用のサブスクリプションの再利用候補を作成します。さらに、すべてのサブスクリプションで、削除の可能性があるライセンスを消費しているブロックされたユーザーを監視できます。

ソフトウェアスイートを検出するための追加構成により、ソフトウェアスイートのライセンス精度が向上

スイートコンポーネントの推定数を設定することで、ソフトウェアスイートのライセンス精度を向上させます。スイートコンポーネントを含む新規作成のソフトウェアモデルの場合、デフォルトで [推定数 (Number inference)] オプションが選択されています。

[ライセンス使用状況 (License usage)] ビューを管理対象ソフトウェアに制限

エンタイトルメントに関連付けられているソフトウェアモデルのみのソフトウェアモデルの結果を表示し、[ライセンス使用状況 (License usage)] ビューを管理対象ソフトウェアに制限します。

クラスター構成、ライセンス、最適化に関する包括的なインサイトの取得

インフラストラクチャ、ライセンス使用状況、最適化、およびクラスターの健全性データを 1 つの包括的なビューに統合することで、クラスター分析を簡素化します。この統合により、ソフトウェア資産管理 (SAM) マネージャーはクラスターのセットアップを理解し、クラスターで実行されているホスト、仮想マシン、ソフトウェアなどの詳

細を調べることができます。さらに、ソフトウェアライセンスの使用状況、最適化、および健全性の問題に関するインサイトを得ることができます。この知識を得ることで、SAM マネージャーは、クラスターのあらゆる側面を対象として、情報に基づいた意思決定を行うことができます。

ワイドネット正規化により、類似のディスカバリーモデルの正規化範囲が向上

ワイドネット正規化により、類似のディスカバリーモデルを持つソフトウェア製品の正規化を改善します。ワイドネット正規化では、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは単一の正規化ルールを使用して、検出されたメジャーバージョン、検出されたパブリッシャー、および検出された製品について同じパターンを共有するソフトウェア製品を正規化します。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、コンテンツサービスチームが類似のディスカバリーモデルに対して追加の正規化ルールを作成しなくても、検出されたソフトウェア製品をすぐに正規化できます。この簡素化された正規化プロセスにより、ソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスをより効率的に調整し、判断することができます。

を使用してソフトウェア製品のコンテンツ要求を直接管理する ソフトウェア資産管理 application

ソフトウェア資産管理 アプリケーションから直接、ソフトウェア製品のコンテンツ要求を送信、レビュー、および廃棄します。公開されているソフトウェア製品が ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ に存在しない場合は、カスタムソフトウェア製品として ServiceNow インスタンスに追加できます。これらのカスタムソフトウェア製品をインスタンスに追加することで、対応するコンテンツ要求を コンテンツサービスチームに自動的に送信しながら、下流のプロセスですぐに使用できます。これらのコンテンツ要求が コンテンツサービスチームによって処理された後、カスタムソフトウェア製品を ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ に追加されたソフトウェア製品と統合できます。

のライセンスコンプライアンスの管理 Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ソフトウェアをハイブリッドインフラストラクチャ全体で

Red Hat Enterprise Linux (RHEL) の Bring Your Own Subscription (BYOS) サポートを使用して、オンプレミス環境とパブリッククラウド環境の両方で RHEL ソフトウェアのライセンスコンプライアンスを判断します。サポートされているパブリッククラウドプロバイダーには、AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP) が含まれます。ライセンスコンプライアンス情報を使用して、準拠していない RHEL ソフトウェアインストールを修正します。

最適化 IBM パブリッククラウド全体でライセンスを付与するには、IBM のライセンスコンプライアンス ソフトウェア資産管理 application

IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを使用して、パブリッククラウド全体で IBM ライセンスを追跡および測定します。サポートされているパブリッククラウドプロバイダーには、AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP) が含まれます。

のライセンスコストを最適化 Microsoft Windows サーバーと Microsoft クラスターでの SQL Server のデプロイ

Microsoft コアライセンス最適化レポートを使用して、Microsoft クラスターに推奨されるコストベースのライセンス最適化に関するインサイトを得ます。この情報を使用して、Microsoft クラスター展開全体のコストを最大限に削減します。

への間接アクセスのライセンスを管理する SAP を使用するアプリケーション SAP デジタル アクセス ライセンス モデル

SAP デジタルアクセスモデルを使用して、サードパーティアプリケーションまたは SAP 以外の仲介ソフトウェアを介した SAP アプリケーションの使用状況を追跡します。このライセンスモデルでは、SAP アプリケーションの使用は、サードパーティアプリケーションによって作成されたドキュメントの数によってライセンス供与されます。ドキュメントには次のものが含まれます。

- 営業
- 請求書
- 発注書 (PO)
- サービスとメンテナンス
- 製造業
- 品質管理
- 時間管理
- 財務
- 資料

UI の変更

の結合データを表示するレポート SaaS 重複する使用状況ビュー内の支出検出アプリケーション

ソフトウェア資産ワークスペース の重複使用ビューで、次のウィジェットが変更されました。

- 重複するソフトウェアアプリケーションの最大数は、SaaS および支出検出アプリケーションの合計数に置き換えられました。
- 重複するソフトウェアアプリケーションの最大支出は、SaaS および支出検出アプリケーションの総支出に置き換えられました。

ライセンス使用状況ビューでの公開済み製品の詳細を含むレポートの可視化

ライセンス使用状況ビューの [パブリッシャーの詳細 (Publisher details)] ページで、次のウィジェットが変更されました。

- 調整コストと節減額はスコアカードに置き換えられました
- ソフトウェアモデル統計は削除されました
- 進捗状況インジケータは 2 つのウィジェットに分割され、1 つのウィジェットにはライセンスのないエンティティのみが表示されます

このリリースでの削除

次の従来のダッシュボードは、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、Xanadu の前に ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Xanadu にアップグレードした新規 Xanadu ユーザーは使用できなくなりました。

- Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボード
- ソフトウェア資産アナリティクスダッシュボード
- [Software Publisher Analytics] ダッシュボード
- SaaS 概要ダッシュボード
- ソフトウェア資産管理 ダッシュボード
- [Engineering License Overview] ダッシュボード
- 正規化およびコンテンツサービスダッシュボード
- ソフトウェア資産管理基盤ダッシュボード
- 重複するソフトウェアダッシュボード

i 注:

Xanadu より前に ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化していても、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、従来のダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Xanadu へのアップグレードの前後に) アクティブ化すると、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューから従来のダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、従来のダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

廃止

- ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルの [ライフサイクルに関連付けられているインストール (Installs associated to lifecycle)] 列は廃止されました。
- ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルでは、[インストール] 列は廃止されました。[名前] 列を選択すると、[ソフトウェアインストール] 関連リストを表示できます。

アクティベーション情報

ソフトウェア資産管理 は、ソフトウェア資産ワークスペースプラグイン (com.sn_samp_master_ws) を含む Activate all Software Asset Management Professional プラグインをアクティブ化すると使用可能になります。このプラグインをアクティブ化すると、Activate all Software Asset Management Professional プラグイン (com.sn_samp_master) と Software Asset Workspace プラグイン (com.sn_sam_workspace) が自動的にアクティブになります。新しいプラグインをアクティブ化すると、クラシックユーザーインターフェイスにアクセスできなくなります。プラグインとその要求方法の詳細については、「[Components installed with Software Asset Management Professional](#)」を参照してください。

Now Platform Xanadu リリースでは、ソフトウェア資産管理クラシックユーザーインターフェイスのサポートは限定的です。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内では引き続き有効ですが、直感的でパーソナライズされたエクスペリエンスの新しいワークスペースに移行できます。

Utah より前のリリースでは、古いソフトウェア資産管理プロプラグイン (com.sn_samp_master) をアクティブ化している場合、ソフトウェア資産ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化することでソフトウェア資産ワークスペースを使用できます。ワークスペースプラグインをアクティブ化した後、クラシックユーザーインターフェイスに戻すことはできません。プラグインの詳細と要求方法については、「[ソフトウェア資産管理プラグインの要求](#)」を参照してください。

ネクストエクスペリエンス をアクティブ化するには、インスタンスの `glide.ui.polaris.experience` システムプロパティが `true` に設定されていることを確認してください。

次のソフトウェア資産管理アプリケーションを ServiceNow Store から要求してインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

- ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理
- Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services
- IBM ソフトウェア資産管理のライセンスコンプライアンス

- ITAM 健全性チェック
- ソフトウェア資産管理ガイド付きエクスペリエンス

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Hardware Asset Management

ServiceNow ハードウェア資産管理 アプリケーションは、資産環境を追跡および管理するための高度なワークフロー、自動化、およびモバイル機能を提供します。

Enterprise Asset Management

ServiceNow エンタープライズ資産管理 アプリケーションを使用すると、接続されているエンタープライズ資産と接続されていないエンタープライズ資産のライフサイクル全体を管理できます。また、エンタープライズ資産を維持し、コストのかかるダウンタイムを最小限に抑え、エンタープライズ資産のユーザビリティを最大化するための包括的なエンドツーエンドのソリューションを提供します。

クラウドインサイト

ServiceNow クラウドコスト管理アプリケーションを使用すると、クラウド資産に関連付けられているすべてのコストを分析できます。この情報を使用して運用を最適化し、クラウドの消費量を削減できます。

Contract Management

ServiceNow 契約管理 アプリケーションを使用すると、契約の追跡と管理ができます。

Procurement

ServiceNow 調達 アプリケーションは、発注書を作成し、サービスカタログ要求を満たすためのアイテムを取得するのに役立ちます。

ハードウェア資産管理 **11.0.0** リリースノート

ServiceNow ハードウェア資産管理 アプリケーションは、テクノロジー資産環境を追跡および管理するための高度なワークフロー、自動化、およびモバイル機能を提供します。ハードウェア資産管理は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ハードウェア資産管理 の特長

- Device as a Service (DaaS) 機能を使用して、DaaSプロバイダーが顧客に提供する資産のライフサイクル全体を管理します。
- ゼロタッチ要求フローを使用して、ハードウェア資産要求を最小限の介入で履行できるようにします。
- 修理フローを使用して、倉庫内の欠陥のあるハードウェア資産を迅速に修理します。
- ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内の資産を効率的に探して集荷します。

詳細については、「[Hardware Asset Management !\[\]\(eabd9f9ababee93effadc3b380fe65fd_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

ハードウェア資産管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ハードウェア資産管理を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

Xanadu にアップグレードすると、ハードウェア資産管理のコア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードとネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの両方を表示できます。

注:

コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードをネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクスダッシュボードに移行する際、ダッシュボードの重複を避けるために、自動移行はデフォルトで無効になっています。

Xanadu リリースの新機能

による資産および資産管理サービスの提供 Device as a Service 機能

サブスクリプションモデルを通じて、DaaS プロバイダーの顧客に資産および資産管理サービスを提供します。

ゼロタッチ要求フローを使用してハードウェア資産要求を管理する

ゼロタッチでリフレッシュフローを使用し、外部ベンダーを介してハードウェア資産要求を履行します。従業員がゼロタッチ要求フローに関連付けられたハードウェアカタログアイテムの要求を送信すると、その要求は外部ベンダーに送信され、外部ベンダーが従業員に直接資産を出荷します。

修理フローを使用したストックルームの欠陥資産の修理の管理

トラブルシューティング、修理、評価タスクを含む修理フローを使用して、欠陥のある資産や修理待ちの資産の修理を要求します。修理注文は、ハードウェア資産ワークスペースアプリケーションまたはServiceNow モバイルエージェントアプリケーションのいずれかで処理されます。

ストックルーム内のインベントリ集荷を管理する

ストックルームの集荷タスクを有効にすると、調達、ハードウェア資産要求、ハードウェア資産リフレッシュのワークフローのために、ストックルーム内の資産を簡単に集荷できます。このタスクには、ストックルームから集荷する必要がある資産がリストされ、通路とスペースの詳細とともに資産の正確な集荷元となる場所が示されます。インドアマッピング機能を使用すると、ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションでストックルーム内の資産の場所への道順を取得できます。

UI の変更

コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのリダイレクト先: ハードウェア資産ワークスペース

次の コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードモジュールのリンクは、ハードウェア資産ワークスペースにリダイレクトされます。

- 調達の概要
- 資産契約の概要

アナリティクス概要ダッシュボードと自分の資産アナリティクスダッシュボード

資産概要ダッシュボードと自分の資産 コア UI ダッシュボードの次のプラットフォームアナリティクスダッシュボードバージョンを利用できます。

- アナリティクス概要
- 自分の資産のアナリティクス

廃止

Xanadu リリース以降、ハードウェア資産管理 の新規ユーザーは次の コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードを使用できません。

- ハードウェア資産ダッシュボード
- ハードウェア正規化ダッシュボード
- 自分の資産
- 調達の概要
- 資産契約の概要
- 資産の概要

i 注:

コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードは、ハードウェア資産管理 の既存のユーザーが利用できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ハードウェア資産管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store/バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Software Asset Management

ソフトウェア資産管理 アプリケーションにより、ソフトウェアライセンス、ソフトウェアコンプライアンス、およびソフトウェア最適化を追跡、評価、および管理できます。未使用のソフトウェア権限を再利用したり、新しいソフトウェア権限を購入したり、エンタイトルメントの割り当てを管理したりできます。

Enterprise Asset Management

エンタープライズ資産管理 アプリケーションを使用すると、接続されているエンタープライズ資産と接続されていないエンタープライズ資産のライフサイクル全体を管理できます。また、エンタープライズ資産を維持し、コストのかかるダウンタイムを最小限に抑え、エンタープライズ資産のユーザビリティを最大化するための包括的なエンドツーエンドのソリューションを提供します。

Contract Management

契約管理 アプリケーションを使用すると、契約の追跡と管理ができます。

Procurement

調達 アプリケーションは、発注書を作成し、サービスカタログ要求を満たすためのアイテムを取得するのに役立ちます。

エンタープライズ資産管理 リリースノート

ServiceNow エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、企業の接続された資産と接続されていない資産のライフサイクル全体を管理します。これにより、コストのかかるダウンタイムを最小限に抑えながら、資産の寿命を維持して最大化できます。エンタープライズ資産管理 は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの エンタープライズ資産管理 の特長

- エンタープライズ資産に対して行われた調整を、そのライフサイクル全体にわたって追跡および管理します。
- 指定されたロールを使用して、カスタマイズされたワークスペースで業界固有の資産とモデルを管理します。
- 修理フローを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産を迅速に修理することで、インベントリを最適化します。
- 納品タスクを作成することで、個人のストックルームにある資産を簡単に返却できます。
- ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションを使用すると、ストックルーム内の資産を効率的かつ少ない労力で見つけて集荷できます。

詳細については、「[Enterprise Asset Management](#)」を参照してください。

i 重要:

エンタープライズ資産管理、エンタープライズ資産管理 for Healthcare、オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産管理、および Expanded Model and Asset Classes は、ServiceNow Storeで入手できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

調整属性を使用して、エンタープライズ資産に必要な調整を定義します

調整属性を使用して、エンタープライズ資産に必要な調整を定義します。キャリブレーション頻度、キャリブレーション品質基準、精度測定ガイドラインなど、各キャリブレーションの詳細と要件を指定します。各キャリブレーションの包括的で最新の記録を維持することで、エンタープライズ資産のパフォーマンス、安全性、寿命を向上させることができます。

作業指示によるエンタープライズ資産のキャリブレーションのスケジュールと追跡

作業指示を使用して、エンタープライズ資産のキャリブレーションのスケジュール、実行、および進捗状況の追跡を行います。ServiceNow インスタンスまたは ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションのガイド付きプレイブックエクスペリエンスを使用して、対応する作業指示タスクを表示および管理します。

医療および施設管理業界向けにカスタマイズされたワークスペースとロールを使用する

カスタマイズされたワークスペースで医療および施設の資産とモデルを作成および管理することで、組織内のデータセキュリティを強化します。特定のロールを使用してこれらの資産とモデルへのアクセスを制限し、データの機密性と整合性を向上させます。

修理フローを使用したストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産の修理の管理

修理フローを使用して、欠陥のある資産または修理待ちの資産の修理を要求します。エンタープライズ資産マネージャーは、エンタープライズ資産ワークスペースで、またはサービスカタログを使用して、資産修理要求を送信できます。修理フローには、トラブルシューティング、修理、および評価のタスクが含まれています。修理注文は、エンタープライズ資産ワークスペースアプリケーションまたはServiceNow モバイル モバイルエージェントアプリケーションのいずれかで処理されます。

ストックルームでの資産の納品と受領

納品タスクを作成して、個人のストックルームにある資産を別のストックルームに返却します。宛先ストックルームの資産マネージャーは、受領タスクを通じて納品された資産を受領します。その後、資産マネージャーは受領した資産を検証し、納品タスクをクローズします。

ストックルーム内のインベントリ集荷を管理する

ストックルームの集荷タスクを有効にすると、調達、エンタープライズ資産要求、エンタープライズ資産リフレッシュのワークフローで、ストックルーム内の資産を簡単に集荷できます。タスクには、ストックルームから集荷する必要がある資産が一覧表示されます。資産の通路とスペースの詳細により、資産を集荷する正確な場所が示されます。ServiceNow モバイル モバイルエージェントアプリケーションを使用して、自分にアサインされた集荷タスクを処理できます。インドアマッピング機能を使用すると、ServiceNow モバイル モバイルエージェントアプリケーションでストックルーム内の資産の場所への道順を取得することもできます。

Enterprise 資産ワークスペースから作業計画管理アプリケーションの機能にアクセスする

フィールドサービス管理 (FSM) Pro または フィールドサービス管理 (FSM) Enterprise のユーザーが、作業計画管理アプリケーションの機能を利用して、Enterprise 資産ワークスペース内から作業計画を管理できるようにします。

ワークスペースで運用資産を効率的に管理する

すべてのオペレーショナルテクノロジー (OT) および運用機器 (OE) 資産を包括的に把握し、OT 資産ワークスペースで効率的に管理します。OT 資産マネージャーと OT 資産技術者のロールにより、これらの資産を管理できます。

でのエンタープライズモデルの階層の詳細の表示 エンタープライズ資産ワークスペース

モデルフォームのコンテキストサイドバーでエンタープライズモデルの階層の詳細を直接可視化できます。事前に組み立てられたモデルとユーザーによって組み立てられたモデルのすべてのモデルコンポーネントをツリー状形式で表示できます。

エンタープライズモデルのライフサイクルを効率的に管理

計算されたモデルライフサイクルテンプレートを適用することで、エンタープライズモデルの完全なライフサイクルを効率的に管理します。ライフサイクルテンプレートをエンタープライズモデルレコードに関連付けると、すべてのライフサイクルフェーズの詳細が計算され、モデルフォームに表示されます。

複数の資産をオンボーディングするプロセスを直接開始する エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産ワークスペースでオンボーディング注文を作成して、複数の資産を一度にオンボーディングします。資産オンボーディングプレイブックは、展開アクティビティを含むガイド付きエクスペリエンスです。このアクティビティでは、Enterprise 資産展開タスクまたは作業指示タスクを使用して、資産の展開タスクを作成できます。資産を展開する場所を指定することもできます。

UI の変更

代替機器のメンテナンスモデルウィジェット

代替機器メンテナンスモデルウィジェットが エンタープライズ資産ワークスペースの [モデル管理] ビューに追加されます。

[作業管理] ビューの新しいウィジェット

エンタープライズ資産ワークスペースの [作業管理] ビューに以下のウィジェットが追加されます。

- 代替機器のメンテナンス資産
- 30 日以内にメンテナンスされる資産の数
- 過去 30 日間にクローズされた作業指示

Enterprise モデル管理ビューの [スワップ] オプション

マルチコンポーネント資産の親で利用できる [スワップ] オプションを使用すると、一度に 1 つの子資産のみをスワップできます。

Enterprise モデル管理ビューの [資産をリリース] オプション

マルチコンポーネント資産の親に対して使用できる [資産のリリース] オプションを使用すると、一度に 1 つの子資産のみをリリースできます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して次のアプリケーションをインストールします。

- エンタープライズ資産管理
- 医療向け エンタープライズ資産管理
- OT 資産管理
- 展開されたモデルと資産クラス

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Field Service Management

ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションを使用すると、場所に基づく作業をより効率的かつ安全に管理できます。

Contract Management

ServiceNow 契約管理 アプリケーションを使用すると、契約の追跡と管理ができます。

Procurement

ServiceNow 調達アプリケーションは、発注書を作成し、サービスカタログ要求を満たすアイテムを取得する際に役立ちます。

クラウドコスト管理 **8.0.0** リリースノート

ServiceNow クラウドコスト管理 アプリケーション (以前は ServiceNow クラウドインサイトと呼ばれていました) は、クラウドリソースのコストを分析し、コストを削減して組織の運用を最適化する機会を特定して対処できるようにするのに役立ちます。クラウドコスト管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの クラウドコスト管理 の特長

- クラウドコスト管理の実装における問題を簡単に診断して修正します。
- 機械学習サービスカテゴリを通じて AI リソースの消費量の詳細を表示します。

詳細については、「[Cloud Cost Management](#)」を参照してください。

i 重要:

クラウドコスト管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

クラウドコスト管理 を **Xanadu** にアップグレードする際の重要な情報

クラウドコスト管理 8.0 バージョンにアップグレードすると、Amazon Web サービス (AWS)、Microsoft Azure、および Google Cloud Platform (GCP) サービスプロバイダーが新しいタグカテゴリ **AI** サービスを利用できるようになります。クラウドコスト管理では、請求処理ダウンロードジョブは当月以降のみ実行されるため、AI サービスへの支出は当月分のみが含まれます。当

月より前の月の請求の詳細を表示する場合は、請求処理ダウンロードジョブを手動で実行する必要があります。請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されると、AI サービスの支出データを表示できます。

Xanadu リリースの新機能

クラウドコスト管理実装の請求に関する問題のトラブルシューティング

メトリックベース (Clotho) データを Amazon Web サービス (AWS)、Azure、Google Cloud Platform (GCP) の支出データと比較して、クラウドコスト管理の請求の問題を診断してトラブルシューティングします。また、比較データを CSV ファイルとしてダウンロードし、両方のソースからのコスト値の不一致を分析することもできます。

AI リソースの消費量に関するインサイトを取得する

AWS、Azure、GCP の現在の請求処理ダウンロードの [機械学習サービス] カテゴリで、AI サービスの合計消費量の詳細を表示します。クラウドカテゴリ、タグカテゴリ、タグ値で結果をフィルタリングすることもできます。

廃止

Xanadu リリース以降の次の廃止に注意してください。

- クラウドコスト管理アプリケーションの コア UI インターフェイスは今後、展開、拡張、またはサポートされません。アクセスと機能を継続させるには、クラウドコスト管理ワークスペースに移行してください。詳細については、「[Cloud Cost Management Workspace](#)」を参照してください。
- クラウド支出ダッシュボードの展開、拡張、サポートは終了しています。資産担当役員ワークスペースは、この機能を提供します。詳細については、「[Visibility into Cloud Cost Management KPIs using the Asset Management Executive Dashboard](#)」を参照してください。
- 機能が制限されたクラウドプロビジョニングとガバナンス製品をサポートするクラウドインサイト請求アプリケーションは、将来の廃止に備えています。ServiceNow Store でのダウンロードやインストールはできなくなりますが、引き続きサポートされます。

詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Storeから要求してクラウドコスト管理を有効にします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

IT Asset Management

ServiceNow IT Asset Management には、資産ライフサイクル全体を通じてテクノロジー資産管理の技術、契約、および財務の側面を統合する製品ファミリーが含まれています。

Software Asset Management

ServiceNow ソフトウェア資産管理 アプリケーションにより、ソフトウェアライセンス、ソフトウェアコンプライアンス、およびソフトウェア最適化を体系的に追跡、評価、および管理できます。未使用のソフトウェア権限を再利用したり、新しいソフトウェア権限を購入したり、エンタイトルメントの割り当てを管理したりできます。

IT Operations Management (ITOM) リリースノート

Xanadu には、IT Operations Management (ITOM) の新機能と更新された機能が含まれます。

ITOM ヘルス リリースノート

ServiceNow ITOM ヘルス 製品には、イベント管理、エージェントクライアントコレクター、ヘルスログアナリティクス、およびサービスリライアビリティ管理 アプリケーションが含まれています。ITOM ヘルス を使用すると、組織内のサービスの健全性を追跡して管理できます。ITOM ヘルスは、Xanadu リリースで機能拡張と更新が行われています。

Xanadu リリースでの ITOM ヘルス の特長

エージェントクライアントコレクターの特長：

- acc.yml 構成ファイルにアクセスする必要なく、インスタンスからエージェントのログレベルを構成します。
- 自己署名証明書を追加して、セキュアなエージェント接続を確保します。
- 拡張された Linux と Windows チェックを使用します。

ヘルスログアナリティクスの特長：

- 最新のアップデートでシステムを強化：セキュリティ修正。Filebeat、Elasticsearch、および Microsoft Azure Event Hubs データ入力の更新。Java JDK 17 の更新とサポート、および依存関係のアップグレード。

i 重要:

エージェントクライアントコレクターは ServiceNow Store で利用できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ITOM ヘルス を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

ServiceNow Store から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。

Xanadu リリースの新機能

構成ファイルからのみ許可リストをロードする

構成ファイルから許可リストをロードし、allow-list パラメーターを無視することで、セキュリティを強化します。

インスタンスからのエージェントログレベルの構成

acc.yml 構成ファイルにアクセスすることなく、ServiceNow インスタンスから直接エージェントのログレベルを構成します。

安全なエージェント接続を確保する

オペレーティングシステムのトラストストアに自己署名証明書を追加して、エージェント接続が安全であることを確認します。証明書をトラストストアに追加すると、証明書が本物であることが確認されます。

新しいアプリケーションを使用 サービスリライアビリティ管理

サービスリライアビリティ管理アプリケーションを使用して、アラートやインシデントでの作業時に、応答、コラボレーション、追跡、および自己修復を行います。

廃止

次のダッシュボードは廃止されました。

- イベント管理 スコアカード
- イベント管理インサイト
- イベント管理の概要
- ヘルスログアナリティクス概要

サービス管理ダッシュボードは、将来の廃止に向けて準備中です。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Supportナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。

アクティベーション情報

ITOM ヘルス は、イベント管理 プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できます。ヘルスログアナリティクスを統合して作業ができるようにするには、より包括的な ITOM ヘルスパッケージである ITOM 予測 AIOps を購入する必要があります。詳細については、「[Event Management setup](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

ITOM ヴィジビリティ

ITOM ヴィジビリティ 製品は、[ディスカバリー](#)、[サービスマッピング](#)、証明書インベントリと管理、サービスグラフ コネクタ、CMDB 360、および ファイアウォール 監査およびレポート で構成されています。ディスカバリー および サービスマッピング では、IT ネットワーク全体と IT ネットワークでサポートされているサービスの統合 接続ビューが得られます。

ITOM 最適化

ITOM 最適化 には、[Cloud Provisioning and Governance](#) 機能が含まれています。この機能を使用して、プライベートとパブリッククラウドインフラストラクチャおよびサービスをプロビジョニングし、一貫した管理とコストの可視化を実現できます。

イベント管理 リリースノート

ServiceNow イベント管理アプリケーションを使用すると、単一の管理コンソールでデータセンター全体の健全性の問題を特定できます。イベント管理は、検出されたサービス、アプリケーション サービス、および自動アラートグループのアラートを集計します。イベント管理は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの イベント管理 の特長

- Express List でアラートグループのタイムラインを表示して、問題の原因となった一連のイベントを可視化します。
- アラートグループに関するアラートアシストの AI 主導のテクニカル分析を使用して、アラート間の関連性を理解します。
- 拡張サービスマップを使用して、サービスオペレーションワークスペースと Express List でアラートの影響度を可視化します。
- Express List 内のすべてのアラートを選択して、一括アクションを実行します。
- Express List のアラートグループからアラートを削除します。
- Express List でクローズ済みアラートを非表示にします。

- Express List のプレビューパネルで、影響を受けるサービスに関するデータを表示します。
- Express List のアラートから AI で生成されたサマリーを使用してインシデントを作成します。

詳細については、「[Event Management](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

アラート関連アルゴリズムのデフォルトの順序をカスタマイズ

必要に応じてカスタマイズして、アラート関連アルゴリズムのシーケンスを構成します。

チームベースのアラート管理ルールを作成

指定されたグループにアサインされているアラートのみが実行されるように、アラート管理ルールを特定のアサイン先グループにアサインします。

チーム別にタグベースのアラートクラスタリング定義を作成

タグベースのアラートクラスターを特定のグループにアサインすることで、アラートグループにアサインされたアラートに対してのみタグクラスターを作成します。

アラートアサイン先グループ全体でアラートグループを制限する

さまざまな要件に従ってアラートをグループ化することで、アラート関連の精度と関連性を向上させます。

アラートグループ作成のためのスケールアウト

アラートグループジョブをスケールアウトすることで、アラートの多いトラフィックのときにジョブを実行する際の効率を確保します。

View unified service map and the impact paths in Service Operations Workspace

サービスに対する影響度をすばやく評価できるように、アラートの影響を受けたパスに焦点を当てるように設計された、サービスオペレーションワークスペースの更新されたサービスマップを確認します。マップには、アラートステータスに関係なく、最大 60 個の構成アイテム (CI) を持つサービスのすべての CI が表示されます。アラートのある CI が 60 件を超えるサービスには、最も重大な最新のアラートのパスが表示されます。また、サービストポロジのより広範なビューを調査することもできます。サービスマップには、サービスオペレーションワークスペースから直接アクセスするか、Express List のプレビューパネルまたは影響を受けるサービスからアクセスします。

Express List のアラートに対して一括アクションを実行

アクティブなアラートリスト内の最大 1,000 件のアラートに対して同時にアクションを実行します。

Express List のアラートグループからアラートを削除する

[Express List] ペインまたはプレビューパネルで、アラートグループからセカンダリアラートを直接削除します。

Express List のプレビューパネルとリンクビューでクローズ済みアラートを非表示にする

クローズ済みアラートを非表示に切り替えて、プレビューパネルと Express List のリンクビューにオープンアラートのみを表示します。

View data on impacted services on the preview panel in Express List

Express List のプレビューパネルとリンクビューで影響を受けるサービスに関する情報を表示し、パネルから直接サービスマップと Metric Explorer を開きます。

Create an incident with Now Assist in Express List

構成アイテムと影響を受けるサービスの詳細を含む生成 AI によって作成されたサマリーを使用して、Express List のアラートからインシデントを生成します。

このリリースでの変更

アラートページのパフォーマンスの強化

アラートフォームとサービスダッシュボードのロード時間が短縮されたことによるメリット。

ループ依存関係中の影響度を計算

影響ツリー内の構成アイテム間の循環 (ループ) 依存関係のサポートが有効になっています。

自動アラートグループによるタグベースのアラートクラスタリングの実行

タグベースのアラートグループの相関は、自動アラートグループの一部として実行されます。

このリリースでの削除

イベント管理モバイルアプリケーションは使用できなくなりました。

廃止

次のダッシュボードは廃止されました。

- イベント管理 スコアカード
- イベント管理インサイト
- イベント管理の概要
- ヘルスログアナリティクス概要

サービス管理ダッシュボードは今後廃止される予定です。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Supportナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) (KB0867184) 

アクティベーション情報

イベント管理 は、イベント管理 プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Request Event Management !\[\]\(4f6bf54ae7e4144a72d78316053e412d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Metric Explorer

Metric Intelligence  の ServiceNow エージェントワークスペースは、アラートに関連付けられた CI の健全性を表示できる中央インターフェイスを提供します。CI の健全性の詳細には、コントロール限界を含むさまざまなメトリクスグラフと単スコアグラフの集計が含まれます。

ヘルスログアナリティクス リリースノート

ServiceNow ヘルスログアナリティクス アプリケーションを使用すると、マシンで生成されたログデータをリアルタイムで取り込み、分析し、関連付けることで、IT の問題がユーザーに影響を及ぼす前に予測できます。ヘルスログアナリティクス が通常のパターンからの逸脱を検出すると、潜在的な問題のアラートを発します。ヘルスログアナリティクス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ヘルスログアナリティクス の特長

ServiceNow インスタンスとの MID サーバーの通信に Lightning gRPC クライアントを使用すると、ログストリーミング速度が大幅に向上します。

詳細については、「[ヘルスログアナリティクス](#)」を参照してください。

重要:

ヘルスログアナリティクス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「[アクティブ化情報](#)」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

ServiceNow インスタンスとの MID サーバーの通信に Lightning gRPC クライアントを使用すると、ログストリーミング速度が大幅に向上します 

Lightning gRPC クライアントを使用して ヘルスログアナリティクス へのログストリーミング速度を最大 6 倍にし、ServiceNow インスタンスとの MID サーバー の通信を強化します。Lightning gRPC クライアントをアクティブ化するには、手動で設定する必要があることに注意してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、ヘルスログアナリティクス をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ローカリゼーション情報

ヘルスログアナリティクスで現在利用可能な言語は、英語 (US)、英語 (UK)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、スペイン語です。デフォルトの言語は英語 (US) です。

[store-future: BEGIN review]

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

イベント管理

イベント管理 アプリケーションは、ヘルスログアナリティクス によって生成されたイベントを使用します。ヘルスログアナリティクス がログデータ内で例外を検出すると、イベント管理 にイベントが送信されます。イベント管理 はイベントを受信し、イベントおよびアラート管理ルールに基づいてアラートを生成します。

エージェントクライアントコレクター

ヘルスログアナリティクス バージョン 21.0.1 - 2021 年 9 月以降のエージェントデータ入力では、エージェントクライアントコレクター を使用して、ServiceNow インスタンスにログをストリーミングします。

MID サーバー

ヘルスログアナリティクス は ServiceNow MID サーバー 製品を使用して ServiceNow インスタンスにログをストリーミングします。

サービスオペレーションワークスペース

ヘルスログアナリティクス は、複数の IT Operations Management (ITOM) ワークフローにおいて統一されたエクスペリエンスを実現する構成可能なワークスペースである ServiceNow サービスオペレーションワークスペース でアラートを生成します。

[End]

エージェントクライアントコレクター リリースノート

ServiceNow エージェントクライアントコレクター アプリケーションは、システムのサービス可用性、パフォーマンス、およびインフラストラクチャを監視できるツールです。エージェントクライアントコレクター は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの エージェントクライアントコレクター の特長

- acc.yml 構成ファイルにアクセスする必要なく、インスタンスからエージェントのログレベルを構成します。
- 自己署名証明書を追加して、セキュアなエージェント接続を確保します。
- 拡張された Linux と Windows チェックを使用します。
- ServiceNow インスタンスから Visibility Informer の Cloud Native Operations をアップグレードします。
- インスタンスから Informer の実行パラメーターを制御します。
- Informer が Azure Kubernetes Engine (AKS) を使用するとき、インスタンスの認証情報を Microsoft Azure Vault に保存します。
- Informer が OAuth2.0 認証を使用してインスタンスに接続できるようにします。

詳細については、「[Agent Client Collector](#)」を参照してください。

i 重要:

エージェントクライアントコレクター は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

構成ファイルからのみ許可リストをロードする

プラグインにバンドルされている許可リストを無視して、構成ファイルの `allow-list` パラメーターで指定されたファイルから許可リストをロードすることで、システムセキュリティを強化します。エージェントプラグインにバンドルされている許可リストを無視して、指定された許可リストで実行するチェックを指定できます。

インスタンスからのエージェントログレベルの設定

acc.yml 構成ファイルにアクセスすることなく、ServiceNow インスタンスからエージェントログレベルを構成します。

安全なエージェント接続を確保する

オペレーティングシステムのトラストストアに自己署名証明書を追加して、エージェント接続が安全であることを確認します。証明書をトラストストアに追加すると、証明書が本物であることが確認されます。

既存の資産を更新

再インストールする前に既存のプラグインを削除して、エージェントクライアントコレクター (ACC) プラグインを最新バージョンに更新してください。

Linux および Windows の拡張チェックを使用

デフォルトでシステムに付属している拡張 Linux と Windows チェックを使用して、拡張チェック機能を有効にします。

Upgrade Agent Client Collector for Kubernetes – Visibility Informers remotely

バージョン 3.6.3 以降では、Kubernetes アドミンへの依存を回避するために、ServiceNow インスタンスからリモートで Kubernetes クラスター内の Informer ポッドをアップグレードします。

Override Informer parameters from the Instance

バージョン 3.6.3 以降では、ServiceNow インスタンスからの Visibility Informer 実行パラメーターのCNOを制御して、Kubernetes アドミンへの依存を回避します。

Informer が Azure Kubernetes Service (AKS) を使用するとき Microsoft Azure Vault にインスタンス認証情報を保存する

バージョン 3.6.3 以降では、組織で AKS を使用している場合は、シークレットを Microsoft Azure Vault に格納できます。その後、Informer はインスタンスにアクセスするための ServiceNow 認証情報を Azure Vault からプルします。

Informer が OAuth2.0 認証を使用してインスタンスに接続できるようにします

バージョン 3.6.3 以降、Informer は OAuth2.0 認証を使用して ServiceNow インスタンスに接続し、セキュリティを強化できます。

アクティベーション情報

エージェントクライアントコレクター は、イベント管理 がインストールされているインスタンスでエージェントクライアントコレクターフレームワーク プラグイン (sn_agent) および エージェントクライアントコレクターモニタリング プラグイン (sn_itmon) をアクティブ化すると利用できます。

[store-future: BEGIN review]

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

イベント管理

エージェントクライアントコレクター は イベント管理 がインストールされているインスタンス内で機能し、インフラストラクチャコンポーネントを監視します。エージェントクライアントコレクター と イベント管理 は、同じデータソースからメトリクスデータとイベントをプルするコネクタを共有しています。

ヘルスログアナリティクス

ヘルスログアナリティクス アプリケーションは、ユーザーに影響を与える前に IT の問題を予測します。このアプリケーションを使用すると、マシンで生成されたログデータをリアルタイムで取り込み、分析し、関連付けることで、問題を迅速に解決できます。

[End]

サービスリライアビリティ管理 リリースノート

ServiceNow サービスリライアビリティ管理 (SRM) アプリケーションは、アラートおよびインシデントの作業時に、組織が対応、共同作業、追跡、および自己修復を行うために役立ちます。サービスリライアビリティ管理 は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

[store-future: BEGIN review]

Xanadu リリースでの サービスリライアビリティ管理 の特長

- スケジュールを管理し、チームのエスカレーションポリシーを定義します。
- SRM 内の統合により、監視およびコラボレーションツールを使用して、アラートとインシデントを効率的に管理できるようになります。
- SRM 信頼性測定基準は、サービスレベルインジケーター (SLI)、サービスレベル目標 (SLO)、およびエラー予算ポリシーを定義し、サービスヘルスを追跡し、必要なアクションを実行できるようにします。
- SRM オンコールスケジュールは、特定の時間に誰がオンコールまたは対応可能かを決定します。

- SRM では、作成から解決まで、応答のライフサイクル全体を通じてアラートを管理できます。
- SRM は、タグベースのアプリケーションサービスのサポートを提供します。

詳細については、「[Service Reliability Management](#)」を参照してください。

[End]

Xanadu リリースの新機能

[Service Reliability Management](#) および [Service Level Objective Management](#)

サービスオペレーションワークスペースの サービスリライアビリティ管理 と サービスレベル目標管理 ページの詳細を確認します。



重要:

サービスリライアビリティ管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、サービスリライアビリティ管理 をインストールします。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Agent Client Collector](#)

エージェントクライアントコレクター は イベント管理 がインストールされているインスタンス内で機能し、インフラストラクチャコンポーネントを監視します。エージェントクライアントコレクター と イベント管理 は、同じデータソースからメトリクスデータとイベントをプルするコネクタを共有しています。

[ヘルスログアナリティクス](#)

ヘルスログアナリティクス アプリケーションは、ユーザーに影響を与える前に IT の問題を予測します。このアプリケーションを使用すると、マシンで生成されたログデータをリアルタイムで取り込み、分析し、関連付けることで、問題を迅速に解決できます。

[Metric Explorer](#)

[Metric Intelligence](#) の ServiceNow エージェントワークスペースは、アラートに関連付けられた CI の健全性を表示できる中央インターフェイスを提供します。CI の健全性の詳細には、コントロール限界を含むさまざまなメトリクスグラフと単スコアグラフの集計が含まれます。

ITOM クラウドアクセラレート リリースノート

ServiceNow ITOM クラウドアクセラレート アプリケーションは、組織のクラウドの準備状況を評価し、ITOM クラウドアクセラレートのガイドラインを適用するためのワークフローを提供します。ITOM クラウドアクセラレートは Xanadu リリースで Google Cloud Platform (GCP) の Terraformサポートにより拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ITOM クラウドアクセラレート の特長

- Google Cloud Platform (GCP)で、追加のすぐに利用可能なカタログアイテムを活用します。
- Terraform アプリとコードとしてのインフラストラクチャ (IaC) ディスカバリーで、複数のリポジトリ構造を使用します。
- ServiceNow クラウドサービスカタログユーザーインターフェイスに追加された機能を使用して、クラウドリソースにアクセスして管理し、クラウド製品をカタログに公開します。

詳細については、「[ITOM Cloud Accelerate](#)」を参照してください。

i 重要:

ITOM クラウドアクセラレート は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

[store-future: BEGIN review]

Xanadu リリースの新機能

Cloud Services Catalog アプリの機能

すぐに利用可能なカタログ：従業員センターから直接、AWSおよび Microsoft Azure クラウドリソースに加えて、さまざまな Google Cloud Platform (GCP) のすぐに利用可能なカタログアイテムを注文します。これらのカタログアイテムには、Linux および Windows 仮想マシン (VM)、ロードバランサー、安全な展開、スケーラブルなウェブサーバー、Amazon DynamoDB データベース、Cloud SQL、Google BigQuery、Amazon S3 ストレージバケットが含まれます。クラウドサービスからのクラウドサービス要求や自動化のために、すぐに利用可能なこれらのカタログを使用します。

サポートされているすべてのクラウドプロバイダーに対して独自のカタログアイテムを公開します。従来のカタログアイテムとカスタムのカタログアイテムを クラウドプロビジョニングとガバナンス から従業員センターに公開することもできます。

詳細については、「[Out Of Box Catalogs using Cloud Services Catalog](#)」を参照してください。

ドメインセパレーション：クラウドサービスカタログアプリケーションでサポートされるようになったドメインセパレーション機能を使用して、複数のドメインを安全かつシームレスに管理します。

クラウドセットアップ：クラウドのセットアップには Microsoft Azure、AWS、または Google Cloud Platform (GCP) を使用します。

[End]

このリリースでの変更

Cloud Services Catalog クラウドサービスカタログエクスペリエンスを向上

Terraform Connector IaC ディスカバリー機能のサポートにより、複数のリポジトリの階層構造が改善されました。

Google Cloud Platform (GCP) と Terraform Open Source の統合のサポート。

アクティベーション情報

ITOM クラウドアクセラレート機能は、クラウドガバナンスサブスクリプションが必要なクラウドアクセラレートプラグインをアクティブ化すると、アプリケーションとして利用できます。ITOM クラ

ウドアクセラレート のエンタイトルメントを調達するには、ServiceNow 営業担当者にお問い合わせください。

<https://docs.servicenow.com/bundle/xanadu-it-operations-management/page/product/cloud-services-catalog/concept/csc-home.html> アプリケーションは、ITOM クラウドアクセラレート のエンタイトルメントがあれば利用できます。または、https://store.servicenow.com/sn_appstore_store.do#!/store/application/bc3429fc24e02910f877b722d6bbdcac から要求してインストールすることもできます。

クラウドサービスカタログ アプリケーションを起動して使用するための前提条件として、従業員センターが必要です。

i 注:

クラウドプロビジョニングとガバナンスは既に ITOM エンタイトルメントの一部として含まれているため、個別に調達する必要はありません。詳細については、「<https://docs.servicenow.com/csh?topicname=request-plugin-cloud-mgt&version=xanadu&pubname=xanadu-it-operations-management>」を参照してください。

交換可能なITOM 最適化：クラウドインサイトライセンスをお持ちの場合は、ServiceNowのアカウント担当者にお問い合わせの上、ライセンスを無償で ITOM クラウドアクセラレートに移行してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

クラウドコンフィグレーションガバナンス

クラウドコンフィグレーションガバナンス アプリケーションは、組織内のクラウドリソースの構成設定をチェックして構成違反を特定できる、すぐに使用できるポリシーのセットを提供します。

クラウドアクションライブラリ

クラウドアクションライブラリ アプリケーションは、組織のクラウドリソースを操作できる、すぐに使用できるアクションとサブフローを提供します。

クラウド移行アセスメント

クラウド移行アセスメント では、エンタープライズ IT リソースと作業負荷をクラウドプラットフォームに再配置するプロセスを計画、整理、および追跡できます。

ITOM 最適化

ITOM 最適化 は、ライフサイクル全体でクラウドリソースを管理するために使用できる、自動化されたクラウドワークフローを提供します。認定およびエンタープライズ準拠のクラウド展開、コストの可視化、およびその他のクラウド管理プロセスを可能にします。

ITOM ヴィジビリティ

ITOM ヴィジビリティ製品は、ディスカバリー、サービスマッピング、および Tag Governance で構成されています。詳細については、**ディスカバリー**、**サービスマッピング**、**Tag Governance**、証明書インベントリと管理、サービスグラフコネクタ、CMDB 360、ファイアウォール監査およびレポートを参照してください。**ディスカバリーとサービスマッピング** では、IT ネットワーク全体と IT ネットワークでサポートされているサービスの統合接続ビューが得られます。

ITOM/OT SU ライセンスとサブスクリプション

ITOM と OT SU ライセンスでは、アプリケーションにアサインされたライセンスの合計数を表示できます。

クラウドサービスカタログ と統合するサードパーティ製品：

次のサードパーティ製品を統合することで、ITOM クラウドアクセラレート とそのコネクタの機能を拡張します。

- クラウドサービス
 - Amazon Web サービス
 - Microsoft Azure
 - VMware
 - Google Cloud Platform
- ジョブテンプレートを使用して、プラットフォームやクラウドサービスプロバイダー間でカタログアイテムの展開を大幅に自動化する Ansible 構成管理です。

ITOM 最適化 リリースノート

ServiceNow ITOM 最適化 アプリケーションは、ライフサイクル全体でクラウドリソースを管理するために使用するクラウドワークフローを自動化します。また、エンタープライズ準拠の認定クラウドを展開し、コストを可視化し、他のクラウド管理プロセスを管理することもできます。クラウドプロビジョニングとガバナンス は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ITOM 最適化 の特長

- クラウドサービスカタログはクラウドプロビジョニングとガバナンス (CPG) の強化された機能のために ITOM クラウドアクセラレートと一緒に使用します。これらの機能には、すぐに利用可能なカタログアイテムや、クラウドリソースの簡素化および自動プロビジョニングが含まれます。
- クラウドプロビジョニングとガバナンス から ITOM クラウドアクセラレート への移行時に、交換可能な ITOM 最適化ライセンスを移動します。

詳細については、「[ITOM Optimization](#)」を参照してください。

ITOM 最適化 を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

ServiceNow Store から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。

Xanadu リリースの新機能

Cloud Provisioning and Governance [Cloud Admin Portal](#)

クラウドアドミンポータルで利用できるようになった ネクストエクスペリエンス ダッシュボードページを探索します。

[クラウドサービスカタログ](#) アプリケーションをインストールおよびセットアップした場合に、ユーザーポータルへのクラウドアドミンポータルのリンクが従業員センターを指すようになりました。

UI の変更

Cloud Admin Portal [Cloud Admin Portal](#)

これで、クラウドアドミンポータルのダッシュボードページへのリンクを使用できるようになりました。ユーザーロールに基づいて、新しいタブで次のネクストエクスペリエンスダッシュボードページにアクセスできます。

- クラウド根本原因分析ダッシュボード
- クラウドオペレーションダッシュボード
- クラウドタグ値ダッシュボード

このリリースでの変更

Cloud Admin Portal

クラウドサービスカタログアプリケーションをインストールおよびセットアップした場合に、ユーザーポータルへのクラウドアドミンポータルのリンクが従業員センターを指すようになりました。

廃止

新しいインスタンスでのクラウド API (CAPI) ベースのクラウドディスカバリーの廃止：

- Xanadu の新しいインスタンスでは、CAPI ベースのディスカバリーは廃止されました。
- ディスカバリー機能を使用するには、アドミニストレーターに連絡して最新バージョンのディスカバリーとサービスマッピングパターン ServiceNow Store アプリケーションをインストールしてください。
- 既存のインスタンスの場合は、パターンベースディスカバリーに手動で移行します。
- クラウドアドミンポータルの [スケジュールの検出 (**Discover Schedules**)] タブは、クラウドディスカバリーワークスペースにリダイレクトされます。

注:

CAPI からパターンベースディスカバリーへの移行の詳細については、「[Migrate from CAPI to Patterns !\[\]\(05be7c7a8995decd503647c99211f7c2_img.jpg\)](#)」を参照してください。

詳細については、Now Support ナレッジベースの「[アプリケーション/プラグインの廃止プロセス \[KB0867184\] !\[\]\(aa53ad6fea213b8b2226d3077e30533a_img.jpg\)](#)」記事を参照してください。

[store-future: BEGIN review]

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

ITOM Cloud Accelerate

ServiceNow ITOM クラウドアクセラレートでは、組織のクラウドの準備状況を評価し、クラウドアクセラレートのガイドラインを適用するためのワークフローが提供されます。

[クラウドサービスカタログ !\[\]\(a8f9309f944226d1420f5fed22e2b6e6_img.jpg\)](#) は ITOM クラウドアクセラレートの一部となり、クラウドリソースへのアクセスと管理、およびクラウドオフリングのカタログへの公開を簡単に行うことができます。

[クラウドコンフィグレーションガバナンス !\[\]\(248b91fcdac4810ffd15cf33fb6aec6f_img.jpg\)](#) アプリケーションは、組織内のクラウドリソースの構成設定をチェックして構成違反を特定できる、すぐに使用できるポリシーのセットを提供します。

[クラウドアクションライブラリ !\[\]\(899d8b7697d64725bf017d3296cfcf1b_img.jpg\)](#) アプリケーションは、組織のクラウドリソースを操作できる、すぐに使用できるアクションとサブフローを提供します。

[クラウド移行アセスメント !\[\]\(c1168d6a8b365d11e842ece304635fa7_img.jpg\)](#) では、エンタープライズ IT リソースと作業負荷をクラウドプラットフォームに再配置するプロセスを計画、整理、および追跡できます。

Cloud Discovery Workspace

クラウドオペレーションワークスペースは、組織のクラウドオペレーションを管理するための包括的なソリューションを提供します。

ITOM ヴィジビリティ

ITOM ヴィジビリティ製品は、ディスカバリー、サービスマッピング、および Tag Governance で構成されています。詳細については、[ディスカバリー !\[\]\(ccd39a0dc6d5afcc151e1371f9462f58_img.jpg\)](#)、[サービス](#)

マッピング²、Tag Governance²、証明書インベントリと管理、サービスグラフコネクタ、CMDB 360、ファイアウォール監査およびレポートを参照してください。ディスカバリーとサービスマッピング²では、IT ネットワーク全体と IT ネットワークでサポートされているサービスの統合接続ビューが得られます。

ITOM/OT SU ライセンスとサブスクリプション²

ITOM/OT SU ライセンスでは、アプリケーションにアサインされたライセンスの合計数を表示できます。

クラウドサービスカタログ²と統合するサードパーティ製品：

次のサードパーティ製品を統合することで、ITOM クラウドアクセラレートとそのコネクタの機能を拡張します。

- クラウドサービス
 - Amazon Web サービス
 - Microsoft Azure
 - Google Cloud Platform
 - Terraform Opensource
- ジョブテンプレートを使用して、プラットフォームやクラウドサービスプロバイダー間でカタログアイテムの展開を大幅に自動化する Ansible 構成管理。

[End]

ITOM ヴィジビリティ リリースノート

ServiceNow ITOM ヴィジビリティ アプリケーションは、IT ネットワーク全体とそのサポート対象サービスのつながりを統合されたビューで表示します。ITOM ヴィジビリティ は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ITOM ヴィジビリティ の特長

- ディスカバリーアドミンワークスペースを使用してディスカバリーアドミンエクスペリエンスを向上させます。検出されたデータに関するインサイトを提供診断ツールを使用して、ディスカバリーの構成、進捗状況の追跡、エラーの管理を行う統合ワークスペースのメリットを活用できます。
- ITOM コンテンツサービスを使用して、大量の構成アイテムでCMDBを拡張します。
- CMDBベースマッピングでアプリケーションサービスを作成します。
- Cloud Native Operations Informer ポッドをアップグレードし、インスタンスから直接 Informer の実行パラメーターを変更することで、Kubernetes アドミンへの依存を回避します。
- Informer が基本認証ではなく OAuth2.0 認証を使用してインスタンスに接続できるようにすることで、セキュリティを強化します。

詳細については、「IT Operations Management²」を参照してください。



重要:

ディスカバリーとサービスマッピングパターン は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ITOM ヴィジビリティ を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

サービスマッピングエクスペリエンスを向上させるには、ServiceNow Store からサービスマッピングプラスバージョン 13.0 をインストールします。

ServiceNow[®] Store から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。

サービスマッピングプラスのお客様の場合は、ServiceNow[®] Store から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。

Xanadu リリースの新機能

使用 ディスカバリーアドミンワークスペース Discoveryの実装をすぐに開始できます

- ディスカバリーアドミンワークスペースホームを使用して、検出の傾向とタスクを表示し、関連する ITOM ヴィジビリティアプリと情報にアクセスします。
- [スケジュール] タブを使用して、すべての検出のパフォーマンスに関するインサイトを取得します。
- [診断] タブを使用して検出エラーを分析し、トラブルシューティングします。
- [インサイト] タブからオンデマンドレポートにアクセスし、検出操作を最適化します。

で製品を検出する ディスカバリーとサービスマッピングパターン

ディスカバリーとサービスマッピングパターン から次の製品を検出します。

- Dell EMC Data Domain ストレージ 
- Dell EMC PowerMax ストレージ 

MID サーバー ディスカバリーパフォーマンスを向上させるための機能

- Microsoft Azure Key Vault を使用して、インスタンスに認証情報を保存せずに他のアプリケーションを実行します。
- MID サーバーは、ログファイルの圧縮をサポートします。新しいログファイルハンドラーの設定は、インスタンスの MID サーバープロパティとして使用できます。圧縮モードは、初期設定では有効になっていません。

CMDB ベースのマッピングを使用して新しいアプリケーションサービスを作成する

MID サーバーの代わりに自動サービス提案とCMDBデータを使用して、新しいアプリケーションサービスを作成します。

ヴィジビリティ機能に最新の CNO を使用する

バージョン 3.6.3 以降では、ヴィジビリティのための Cloud Native Operations の新機能を利用できます。

- ServiceNow インスタンスから Visibility Informer のCNOをアップグレードします。
- インスタンスから Informer の実行パラメーターを制御します。
- Informer が Azure Kubernetes Engine (AKS) を使用するとき、インスタンスの認証情報を Microsoft Azure Vault に保存する
- Informer が OAuth2.0 認証を使用してインスタンスに接続できるようにします

このリリースでの変更

拡張された Shazzam プロープを使用してデータを収集

Shazzam プロープによって収集された拡張データを [ディスカバリーアドミンワークスペースインサイト] タブに表示します。

変更済み サービスマッピング roles

更新されたロールにより、サービスマッピングでの ML を利用した候補の可視化が向上します。

- service_mapping_admin は sm_admin を置き換えます。
- service_mapping_user は sm_user を置き換えます。

拡張された ディスカバリーとサービスマッピングパターン 拡張検出用

次の新しいパターン拡張に注意してください。

- Pure Storage FlashArray 
- Azure SQL ライセンス情報 

を使用したトップダウンディスカバリーの実行 サービスマッピング との統合 エージェントクライアントコレクター

エージェントクライアントコレクターでは、トップダウンのサービスマッピングと自動サービス提案が全面的にサポートされています。

CMDBデータを活用した サービスグラフコネクタ を使用してサービスマップを作成します。

アクティベーション情報

ITOM ヴィジビリティ は、ディスカバリー (com.snc.discovery) プラグインとサービスマッピング (com.snc.service-mapping) プラグインのアクティベーションで利用可能ですが、ITOM ヴィジビリティ のサブスクリプションが必要です。詳細については、「[ディスカバリーの要求 !\[\]\(c50c8b7b2cc2cf9ff925edec0ee94c0d_img.jpg\)](#)」と「[サービスマッピングの要求 !\[\]\(8bed43dc33ecdde61e2f76c8f5517125_img.jpg\)](#)」を参照してください。ITOM ヴィジビリティ のすべての機能を使用するには、ServiceNow Store から最新の ITOM ヴィジビリティ 帯域外アプリケーションをインストールしてください。リリースされたすべてのアプリの累積リリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

関連 ITOM アプリケーションと機能

ITOM ヘルス [®]

ServiceNow ITOM ヘルス 製品には、ServiceNow イベント管理 アプリケーションと ServiceNow メトリックインテリジェンス アプリケーションが含まれています。これらにより、組織内のサービスの健全性を追跡して管理できます。

イベント管理 は、サードパーティの監視ツールおよび ServiceNow 内部エージェントがキャプチャしたインフラストラクチャイベントからアラートを収集します。[®] イベント管理 は、アラートを構成アイテムにマッピングできるように、ServiceNow ディスカバリー で収集した IT 関連情報を使用します。収集された情報に基づいて、イベント管理 はすべてのサービス影響度イベントの統合ビューを表示するダッシュボードを提供します。

エージェントクライアントコレクター アプリケーションでは、次のことができます。

- サービス可用性を監視する。
- 現在の環境の健全性とパフォーマンスを調べる。
- インフラストラクチャとそのアプリケーションが適切に実行されていることを確認する。

エージェントクライアントコレクター は、イベントやメトリクスを収集します。Windows または Linux の環境で実行されます。

ITOM 最適化

ITOM 最適化 は、ライフサイクル全体でクラウドリソースを管理するために使用されるクラウドワークフローを自動化します。認定およびエンタープライズ準拠のクラウド展開、コストの可視化、およびその他のクラウド管理プロセスを可能にします。

ITOM ライセンス

ITOM SU Licensing は ITOM/OT SU Licensing としてリブランドされました。ITOM/OT SU Licensingは、サブスクリプションユニットに基づいて ITOM サブスクリプションの使用率を計算して表示します。アプリケーションと構成アイテム (CI) に割り当てられたライセンスの合計数の包括的な概要にアクセスすると同時に、ライセンスの対象となる特定の CI を可視化する高度な機能セットを提供します。ITOM ヘルス、ITOM ヴィジビリティ、ITOM 最適化、および ITOM クラウドアクセラレーターのサブスクリプションブレイクダウンを表示できます。詳細については、「[View which CIs have an ITOM license \(ITOM ライセンスを持つ CI の表示\)](#)」を参照してください。

IT Service Management リリースノート

Xanadu リリースには、IT Service Management の新機能と更新された機能が含まれます。

ベンチマーク リリースノート

ServiceNow ベンチマークアプリケーションを使用すると、重要業績評価指標 (KPI) や傾向を即座に可視化できます。ベンチマークは、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ベンチマーク の特長

ITSM ベンチマーク の自己解決転送カテゴリでまったく新しい KPI を体験して、ユーザーが日常的に遭遇するデジタルの問題を解決するのに役立ちます。

詳細については、「[Benchmarks](#)」を参照してください。

i 重要:

ベンチマーク は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Benchmark KPIs

自己解決回避に追加された新しい AI 検索 Q&A を使用した自己解決 KPI と DeX のプロアクティブエンゲージメントを使用した自己解決 KPI は、すべてのコホートでベンチマークされます。これらの新しい貢献インジケータは、組織が自己解決した転送を追跡するのに役立ちます。

アクティベーション情報

ベンチマーク はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。新しいベンチマークダッシュボードは、Xanadu とともに自動的にインストールされ、ServiceNow Store で利用できます。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Performance Analytics (Indicator data sources)

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス アプリケーションは、組織が管理ダッシュボードを作成し、KPI とメトリクスに関するレポートを作成し、重要なビジネス上の質問に回答することで、品質向上とサービスデリバリのコストを削減するのに役立つプラットフォーム内ソリューションです。

サクセスダッシュボード

ServiceNow のサクセスダッシュボードにより、リーダーシップチームとプロセス所有者が、Now Platform で定義された KPI を用いて自身が行った ServiceNow IT Service Management (ITSM) 実装のパフォーマンスに関するインサイトを獲得できるようになります。

Continual Improvement Management

ServiceNow 継続的改善管理 アプリケーションを使用して、改善の機会を要求し、業績目標を達成し、進捗状況を追跡し、成功を評価するためのフェーズとタスクを実装します。

Strategic Portfolio Management

ServiceNow 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) アプリケーションを使用すると、作業をビジネスゴールに合わせて、戦略的な優先順位をサポートする方法で製品とサービスを提供できます。

DevOps チェンジベロシティ リリースノート

ServiceNow DevOps チェンジベロシティアプリケーションは、単一システム内の DevOps データの可視化を向上させ、変更プロセスを自動化して促進し、DevOps 環境のパフォーマンスを測定するためのインサイトを得るのに役立ちます。DevOps チェンジベロシティは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの DevOps チェンジベロシティ の特長

- サービスオペレーションワークスペース アドミンセンターから変更管理機能を構成することで、DevOps データを活用して変更を自動化します。
- アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。

詳細については、「[DevOps Change Velocity](#)」を参照してください。

重要:

DevOps チェンジベロシティ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

SOW アドミンセンターでの変更管理

サービスオペレーションワークスペース アドミンセンターから変更管理機能を構成して、変更効率を高め、変更承認を迅速化し、データ駆動型のリスク分析を推進し、DevOps データを変更の自動化に活用します。

このリリースでの変更

のリフロー 構成可能ワークスペース

DevOps 変更構成可能ワークスペースは折り返しをサポートしているため、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザ設定を使用してページとコンテンツを最大 400% ズームできます。詳細については、以下の「[アクセシビリティ情報](#)」セクションを参照してください。

変更要求の DevOps データ

サービスオペレーションワークスペースで手動で作成された変更要求の DevOps データを表示、追加、および編集することで、DevOps 変更ワークスペースとサービスオペレーションワークスペースの両方で統一された変更要求エクスペリエンスを実現します。

DevOps モデル変更の機能拡張

- 製品内ガイダンスを使用すると、DevOps モデルを活用して、変更プロセスを中断することなく DevOps 変更を簡単に作成できます。
- DevOps モデルの [変更] - [DevOps] - [実装] フローを DevOps 変更により適したものにすることで、変更タスクは自動的に作成されなくなりました。
- DevOps モデルの新しい [変更] - [DevOps] - [更新実行ステータス] フローにより、サードパーティのオーケストレーションツールにコールバックを送信するために DevOps 変更要求の手動承認フローをアクティブ化する必要がなくなりました。
- [評価] ステータスを含まない新しい DevOps 簡素化された変更モデルを使用して、変更プロセスを迅速に追跡します。このモデルの変更承認は、DevOps 簡素化されたモデル変更ポリシーに基づいています。

アーティファクトとパッケージのブランチの詳細

パイプライン実行からのブランチの詳細が、より適切に追跡できるように、アーティファクトとパッケージで使えるようになりました。

リストを作成

DevOps 変更 ワークスペースの変更、ツール、および管理モジュールに追加されるカスタマイズされたリストを作成するオプション。

API キーを使用した Jira Server 接続

ベーシック認証ではなく API キー認証を使用して Jira Server に接続します。

GitHub アクションの再実行

失敗した GitHub ジョブを再実行すると、新しい変更要求を作成する代わりに、失敗したジョブに対して作成された既存の変更要求が使用されるようになりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Storeから要求してDevOps チェンジベロシティを有効にします。 [ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 」を参照してください。

アクセシビリティ情報

アクセシビリティの改善

アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。

リフロー

構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見づらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#) 」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

パフォーマンスアナリティクス

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス は、管理ダッシュボードを作成し、KPI とメトリクスに関するレポートを作成し、重要なビジネス上の質問に回答するための、プラットフォーム内のプロセス最適化ソリューションです。このアプリケーションは、品質の向上とサービスコストの削減に役立ちます。

変更管理

ServiceNow 変更管理 アプリケーションは、すべての変更のライフサイクルを制御する体系的なアプローチを提供し、IT サービスの中断を最小限に抑えて有益な変更を容易にします。

アジャイル開発

ServiceNow アジャイル開発 アプリケーションは、反復的、段階的かつ柔軟なアプローチを使用してソフトウェア開発ライフサイクルを管理および追跡することで、ソフトウェアプロジェクトをより効率的に提供できるようにします。

リスク管理

ServiceNow ガバナンス、リスク、コンプライアンス リスク管理 アプリケーションは、影響度の高いリスクを継続的に監視して特定し、リスクベースの意思決定を改善し、応答時間を効果的に短縮するのに役立ちます。このアプリケーションは、リスクアセスメント、リスクインジケータ、およびリスク問題を管理するための構造化されたワークフローも提供します。

デジタルエンドユーザーエクスペリエンス リリースノート

ServiceNow デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX) ソリューションは、ユーザーアプリケーション、ネットワーク、デバイスに関する包括的な可視化と監視の機能を IT 部門に提供するクラウドベースのツールです。DEXスイートには、IT 部門がデバイスとアプリケーションの問題をプロアクティブに解決するのに役立つ アプリケーションとデバイスヘルスト、セルフサービスオプションに簡単にアクセスできる デスクトップアシスタントの 2 つの製品が含まれています。DEXは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの DEX の特長

- アプリケーション、ネットワーク、エンドユーザーデバイスの包括的な可視化を通して、パフォーマンス測定基準をシームレスに監視および分析します。
- DEXアラートとインサイトを使用して、潜在的な問題がエンドユーザーに影響を与える前に検出して解決します。
- プロアクティブにユーザーを引き付け、直面する可能性のある問題を解決します。
- アクションライブラリと呼ばれる事前定義された問題解決のリストで利用可能なアクションを使用して、ユーザーが直面している問題を解決します。

詳細については、「[Digital End-User Experience !\[\]\(b4eeff342f60cc7bcd67d869b4fedca2_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

DEX は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

デジタルエンドユーザーエクスペリエンス を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

DEXデータ移行の詳細については、HI ナレッジベースの [KB1646364 !\[\]\(1f56542a42e2413e44a2b2023033aa2e_img.jpg\)](#) 記事を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

DEX インサイト

DEXデータを使用して、デバイスのパフォーマンス、ユーザーの操作、ネットワークの状態の全体像を確認します。DEXインサイトは、明確なインサイトを含む簡素化されたビューを提供するため、速度が低下する前に問題と解決策を特定できます。

統合: ServiceNow プロアクティブエンゲージメント

物事を円滑に進め、中断を避けます。DEXとServiceNow プロアクティブエンゲージメントとの統合により、デジタルエクスペリエンスの管理がよりスムーズになります。デバイスとアプリを監視し、潜在的な問題に関するアラートを送信し、それらの修正をガイドします。

デスクトップアシスタント による Now Assist

デスクトップアシスタントを使用して個別に問題のトラブルシューティングと解決を行います。これにより、分かりやすいインターフェイスで生成 AI に直接アクセスできます。

アクションとアクションライブラリ

DEXのアクションとアクションライブラリを使用して、デジタルエクスペリエンス環境内の問題解決を自動化および簡素化します。事前に構築されたソリューションを使用し、自動化されたアクションを設定して、問題を効率的に解決できます。

UI の変更

UI エラー処理

拡張エラー処理シナリオが次のページに追加されました。

- ユーザーまたはデバイスの詳細
- Web アプリケーション
- インストール済みアプリケーション

アプリケーションユーザーページの機能拡張

[ステータス] オプションリストにさらに多くのオプションが追加され、パフォーマンスを向上させるために過去 15 分間のオプションがデフォルトになりました。

スケーラブルなページネーション

一度に 10 ページ、20 ページ、50 ページ、または 100 ページを表示できるようになりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、DEX をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(166772600a13ad0a433053f90fe45649_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(98e7c6b0160281a12fbadc337ff6b6c3_img.jpg\)](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

Web/SaaS アプリケーションの場合、システムで Web/SaaS アプリケーションをモニタリングするためのDEXブラウザー拡張を有効にして、さまざまな運用またはパフォーマンスベースの測定基準を収集します。詳細については、「[Enable DEX browser extension !\[\]\(a73c1962d20a39dd8fd6a060ae69693f_img.jpg\)](#)」を参照してください。

ローカリゼーション情報

ローカリゼーションは、Now Platform でサポートされているすべての言語でDEXに適用されます。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

DEX for サービスデスク エージェント

サービスデスクエージェントは、[DEXデバイスの健全性] ページに移動して、プラットフォーム内からデバイスの測定基準を表示します。このページには、コア UI インシデントエクスペリエンスまたは [調査] タブ サービスオペレーションワークスペース (SOW) からアクセスできます。

Proactive Engagement

パフォーマンスに影響が及ぶ前に、問題を防止し、問題を自己解決します。

Now Assist for IT Service Management (ITSM)

デスクトップアシスタントから、生成 AI を使用して、会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じて生産性と効率性を向上させます。

デジタルポートフォリオ管理 リリースノート

ServiceNow デジタルポートフォリオ管理 ワークスペースを使用すると、サービスとアプリケーションのライフサイクル全体を単一のワークスペースで表示および管理できます。デジタルポートフォリオ管理 ワークスペースは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの デジタルポートフォリオ管理 の特長

- DPM ワークスペースを設定するDPM アドミンセンターを導入しました。アドミンセンターには、ビジネスサービスとテクニカルサービス、ビジネスアプリケーション、およびアプリケーションサービスを識別して設定するためのワークフローが含まれています。DPM アドミンセンターには、ガイド付きステップ、プロンプト、ソリューションと役立つリソースへのリンクが含まれています。
- カスタム DPM 関係マップを ServiceNow プラットフォーム 統一マップ に置き換えて、サービスとアプリケーションの関係のより包括的なビューを提供しました。
- 重要業績評価指標 (KPI) 機能を更新しました。
 - インジケータータデータを明確にするために、説明的な KPI ツールヒントを追加しました。
 - 新規および zBoot の顧客に対して、システムプロパティ **[KPI の最新スコア (KPI latest score)]** を true に設定します。
- [要注意] パネルの構成オプションを更新しました。
 - [要注意] 属性に問題 (PRB) レコードが追加されました。
 - [要注意] パネルの [DPM 連絡先] タブのチームロジックを更新しました。
- アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。

詳細については、「[Digital Portfolio Management](#)」を参照してください。



重要:

デジタルポートフォリオ管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Use the Admin Center in Digital Portfolio Management

DPM アドミンセンター ガイド付きウォークスルーを使用して、DPM ワークスペースを設定します。この アドミンセンター は、DPM で表示する準備ができているインスタンス内のデータを特定するためのガイドです。提供された提案を使用して、そのインスタンスの DPM ワークスペースをセットアップおよび構成します。たとえば、計画立

案データがインスタンスで使用されていない場合、DPM アドミンセンター が [計画] タブを非表示にする方法を示します。また、DPM アドミンセンター には、サービス、アプリケーション、およびポートフォリオを作成または編集するための適切なテーブルへのリンクもあります。DPM アドミニストレーターがDPM アドミンセンターに対して実行できるその他のタスクを次に示します。

- ワークフローを使用して、ソリューション (サービス、サービスオフリング、ビジネスアプリケーション、およびアプリケーションサービス) を特定して設定します。ガイド付きウォークスルーには、DPM に対する各ソリューションのデータの準備状況に関する分析情報が含まれています。
- 設定ページにアクセスし、提供されたシステムプロパティを使用して DPM ワークスペースを構成します。
- ソリューションページヘッダーと [情報] タブの [一般情報] セクションを構成します。
- KPI グループをソリューションにマッピングして、DPM ワークスペースで測定基準を表示します。
- 役に立つリソースへのリンクを使用します。
- 実装を支援するために、一般的な質問のリンクを参照してください。
- その他のセットアップタスクについては、プロンプトに従います。

View relationship maps in Digital Portfolio Management

ServiceNow プラットフォーム統一マップを使用すると、サービスとアプリケーションの関係をより包括的かつ包括的に把握できます。統一マップはカスタム DPM 関係マップに置き換わりますが、引き続き DPM ワークスペースのコンテキストで統一マップにアクセスします。プラットフォームマップの詳細については、「[Unified Map !\[\]\(23d9fc146e83b5c3013cfa32c784f8d5_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Update KPIs in Digital Portfolio Management

- ベースシステムによって提供される KPI インジケータの説明を更新します。ソリューションレコードの KPI インジケータは、パフォーマンスアナリティクス (PA) から取得されます。DPM ワークスペースでは、ソリューションインジケータカードのツールヒントを選択して、インジケータデータを明確にする説明を表示できます。説明はベースシステムに付属していますが、アドミニストレーターは組織に合わせて説明を更新できます。
- 2024 年 6 月リリース以降では、新規および zBoot のお客様の **[KPI の最新スコア (KPI latest score)]** システムプロパティが true に設定されます。

Work with Needs attention panels in Digital Portfolio Management

- [要注意] 属性に問題 (PRB) レコードが追加され、次のソリューションの問題を特定できるようになりました。
 - サービスとサービスオフリング。問題は、フォームのサービスオフリングレコード、[影響を受けるサービス] 関連リスト、および [影響を受ける CI] 関連リストを介して、サービスオフリングに関連付けられます。その後、問題は親サービスにロールアップされ、親サービスレベルで重複排除する必要があります。
 - ビジネスアプリケーション。問題は、フォームの構成アイテム (CI) フィールドを介してアプリケーションサービスに関連付けられます。その後、問題はアプリケーションサービスからビジネスアプリケーションにロールアップされ、親サービスレベルで重複排除する必要があります。
 - アプリケーションサービス。問題は、フォームの構成アイテム (CI) フィールドを介してアプリケーションサービスに関連付けられます。

- 各ソリューションの [DPM 連絡先] タブのチームロジックを更新しました。[要注意] パネルの横にある [連絡先] アイコン () を選択すると、レコードをサポートする複数のチームが [チーム] タブに表示されます。複数チームのアサインは、DPM ワークスペースでチームを表示できるように サービスポートフォリオ管理 に追加された既存のプラットフォーム機能です。プラットフォーム機能の詳細については、「[Teams related list](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

のリフロー 構成可能ワークスペース

デジタルポートフォリオ管理 構成可能ワークスペースがリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。アップグレード方法の詳細については、次の「[アクセシビリティ情報](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、デジタルポートフォリオ管理 をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

アクセシビリティの改善

アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。

リフロー

構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザーのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザー上の Web コンテンツが見つからないユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

サービスポートフォリオ管理

ServiceNow サービスポートフォリオ管理 アプリケーションを使用して、サービスとオフリングを設定して管理し、ポートフォリオでそれらを整理します。デジタルポートフォリオ管理 アプリケーションでは、これらのポートフォリオの健全性とステータスを表示し、一元的に追跡できます。

サービスビルダー

デジタルポートフォリオ管理 でサービス情報を表示すると、ServiceNow サービスビルダー アプリケーションにすばやくアクセスしてサービスとサービスオフリングを作成および編集できます。

i 重要:

サービスビルダー を使用していて、現在のバージョンの DPM にアップグレードする場合は、同時に サービスビルダー の現在のバージョンにもアップグレードする必要があります。

パフォーマンスアナリティクス

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス を使用して重要業績評価指標 (KPI) に関するレポートを作成し、測定基準を監視および分析します。

Digital Portfolio Management 関連アプリケーションおよびデータソース

その他の関連する ServiceNow アプリケーションは、サービス、サービスオフリング、ビジネスアプリケーション、およびアプリケーションサービスからデータを取り込み、それらをすべて統合ワークスペースビューに表示します。関連するアプリケーションはすべてオプションであり、デジタルポートフォリオ管理 を使用する必要はありません。このトピックでは、データソースに関する詳細情報を含む ナレッジベース 記事へのリンクも提供しています。

インシデント管理 リリースノート

ServiceNow インシデント管理 は、ビジネスオペレーションに対する影響を最小限に抑え、品質を維持しながら通常のサービス運用状態に戻します。インシデント管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの インシデント管理 の特長

メール通知のインシデントレコードリンクが サービスオペレーションワークスペース (SOW) のインシデントレコードにリダイレクトされるタイミングを制御します。

詳細については、「[Incident Management](#)」を参照してください。

このリリースでの変更**メール通知リンクのリダイレクト動作**

メール通知で、インシデントレコードへのリンクのリダイレクト先を決定できるようになりました。インシデント管理 のクラシック UI16 インターフェイスでインシデントレコードが自動的に開く代わりに、SOW でインシデントレコードを開くことができます。メール通知のインシデントレコードリンクは、次の条件が満たされた場合にのみ SOW で開きます。

- **SOW** メール通知のリダイレクト (`sow_email_notification_redirect`) システムプロパティが `true` に設定されている。
- インシデントレコードリンクを選択したユーザーには、`sn_sow_user` ロールがあります。

この動作をサポートするために、ITSM 通知リダイレクト (`com.snc.itsm.notifications_redirection`) プラグインが自動的にインストールされ、アクティブ化されます。

アクティベーション情報

インシデント管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

IT Service Management (ITSM) の Now Assist リリースノート

ServiceNow ITSM の Now Assist アプリケーションでは生成 AI を IT Service Management で利用します。エージェントは、インシデント情報の要約、インシデント解決メモの生成、およびインタラクションのチャットの要約を行えます。ITSM の Now Assist は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ITSM の Now Assist の特長

- エージェントが変更要求の要約を使用して変更を承認するときに、より多くの情報に基づいた意思決定を迅速かつ効率的に行えるようにします。
- エージェントがチャット返信の推奨事項の Now Assist アイコンを使用して、チャットで尋ねられる一般的な質問に返信できるようにします。
- エージェントが要求者に解決策を提案するときに、サイドバーディスカッションの要約を使用して、チャットとインシデントのコンテキストをよりよく理解できるようにします。

詳細については、「[Now Assist for IT Service Management \(ITSM\)](#)」を参照してください。

重要:

ITSM の Now Assist は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

変更要求を要約

変更要求フォームと Now Assist パネルで変更のサマリーを表示して、管理者が変更要求の内容、意図、および影響をよりよく理解できるようにします。

類似のインシデントからナレッジ記事を生成

エージェントが、類似のインシデントセットの情報を活用して包括的なナレッジ記事を生成できるようにします。

チャット返信の推奨事項を生成

チャット返信の推奨事項の Now Assist アイコンを使用して、チャットで尋ねられる一般的な質問に対する迅速な回答をエージェントに提供します。

サイドバーディスカッションを要約

エージェントは、サイドバーディスカッションの要約を使用して、サイドバーチャットを要約し、インシデント、変更、要求、問題、およびナレッジベースタスク (サイドバーディスカッションが有効になっている任意のレコードタイプ) の作業メモにサマリーを投稿できます。

Confluence 検索コネクタ

エージェントが Confluence 検索コネクタを使用して、外部 Atlassian Confluence スペースと従業員センター、エージェントワークスペース、Now Mobile アプリ、仮想エージェントのページから AI 検索結果を取得できるようにします。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ITSM の Now Assist をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

ITSM の Now Assist アプリケーションには、IT Service Management Pro Plus または Enterprise Plus のライセンスが必要です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Now Assist

組織の生産性と効率を向上させ、より優れたセルフサービスを提供し、アクションを推奨し、回答を提供し、ユーザーがより効果的に検索できるようにします。

Now Assist アドミン 慰める

Now Assist アドミンコンソールを使用すると、Now Assist アプリケーションと機能の設定、構成、および監視に必要な重要情報にすばやく簡単にアクセスできます。

Now Assist パネル

サービスオペレーションワークスペースでこの会話型インターフェイスを使用してチャット、インシデント、または解決メモを要約すると、この情報のコンテキストをより迅速に取得できます。

Now Assist skills

Now Assist製品を使用して、ケースまたはインシデントの要約、チャットの要約、解決メモの生成、コード生成など、さまざまなワークフローでユーザーのニーズを満たす生成 AI スキルを提供します。

オンコールスケジューリングリリースノート

ServiceNow オンコールスケジューリング アプリケーションは、発生した問題を解決するために専任のサポートチームメンバーが対応可能であることを確認できるように支援します。オンコールスケジューリング は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの オンコールスケジューリング の特長

- 新しい 2024 スケジュールエンジンを使用して、オンコールシフトのギャップをより効率的に削減および解決します。
- シフトのメンバーの追加、削除、または移動に必要な時間をより効率的に短縮します。
- 新しいスケジュールエンジンでメンバーの継続性を確認します。

詳細については、「[On-Call Scheduling](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

On-Call Scheduling new schedule engine

新しい 2024 スケジュールエンジンは、スケジュールとシフトを管理するためのより効率的で改善されたエクスペリエンスを提供します。オンコールスケジューリングは、新しいスケジュールエンジンへの自動アップグレードをサポートしています。

On-Call Scheduling new schedule engine

新しいスケジュールエンジンでは、次の拡張機能が導入されています。

- メンバーの配置によって生じるギャップを解決するためのシフトサポート。
- メンバーの追加や削除、祝祭日スケジュール、または時間の延長によって発生する日次ローテーションのギャップを解決します。
- 前のスケジュールの最後のオンコールメンバーに基づいてユーザーの継続性を確認します。
- メンバーの追加、削除、または移動に必要な時間が短縮され、パフォーマンスが向上しました。

アクティベーション情報

オンコールスケジューリング は、Now Platform オンコールスケジューリング プラグイン (com.snc.on_call_rotation) を有効にすると利用できます。詳細については、「[Activate On-Call](#)」

[Scheduling](#)」を参照してください。プラグインをアクティブ化すると、以下のサードパーティライブラリがアクティブ化されます。

- FullCalendar ライブラリ
- DHTMLX スケジューラ

i 注:

zboot ユーザーの場合、オンコールスケジューリング (com.snc.on_call_rotation) プラグインがデフォルトで有効になっています。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Notify](#)

メールに加えて、SMS アラートや音声通話としてオンコールエスカレーション通知を送信できます。ServiceNow 通知 カンファレンスコールでオンコールエスカレーションを行います。

[ITSM Mobile Agent](#)

ServiceNow ITSM モバイルエージェント アプリでチームメンバーの今後のシフトと休暇要求にアクセスします。オンコールスケジューリング エスカレーション通知をモバイルプッシュ通知として送信します。

[Service Operations Workspace for ITSM](#)

問題を解決するために問い合わせができるサポートグループの対応可能な オンコールスケジューリング メンバーを ServiceNow サービスオペレーションワークスペースで特定します。

パフォーマンスアナリティクス **ITSM** ダッシュボードリリースノート

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス ITSM ダッシュボードには、事前構成済みのダッシュボードを含むいくつかのプラットフォームアナリティクス ソリューションが用意されています。パフォーマンスアナリティクス ITSM ダッシュボードは、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの パフォーマンスアナリティクス **ITSM** ダッシュボードの特長

Xanadu リリースで拡張された パフォーマンスアナリティクス ITSMダッシュボードを体験してください。

詳細については、「[Legacy: Performance Analytics ITSM Dashboards](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

ネクストエクスペリエンス [Legacy: IT Executive dashboard](#)

ITSM サクセスダッシュボードを使用して、IT Service Management (ITSM) データに関するインサイトを取得します。このダッシュボードは、経営幹部やマネージャーが情報に基づいた意思決定を行うための測定基準を提供します。エージェントは、[Service Operations Workspace for ITSM](#) エージェントダッシュボードを使用して、作業に関する情報を取得できます。これらのダッシュボードは、既存のパフォーマンスアナリティクス ダッシュボードに代わるものです。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Performance Analytics \(Indicator data sources\)](#)

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス を使用して重要業績評価指標 (KPI) に関するレポートを作成し、測定基準を監視および分析します。

サクセスダッシュボード

ServiceNow のサクセスダッシュボードにより、リーダーシップチームとプロセスオーナーが、Now Platform で定義された KPI を用いて自身が行った ServiceNow IT Service Management (ITSM) 実装のパフォーマンスに関するインサイトを獲得できるようになります。

Service Operations Workspace for ITSM

ServiceNow サービスオペレーションワークスペースを使用して、ITSM エージェントのエクスペリエンスを改善し、IT フルフィルメントボリュームをより効率的に管理します。サービスオペレーションワークスペースで ServiceNow ITSM のワークフォース最適化を使用して、スケジュールを管理し、トレーニングを完了します。

プロアクティブエンゲージメントリリースノート

ServiceNow プロアクティブエンゲージメントアプリケーションは、従業員が日常的に経験するデジタルの問題をプロアクティブに自己解決できるようにすることで、組織の従業員のデジタルエクスペリエンス、生産性、および満足度の向上を支援します。プロアクティブエンゲージメントは Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの プロアクティブエンゲージメント の特長

- プロアクティブエンゲージメントはServiceNow デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX) ソリューションと統合して、問題を積極的に検出し、エンドユーザーが問題を解決できるようにします。
- エンゲージメント設定を使用して DEX 測定基準ルールとプロアクティブエンゲージメント解決を構成します。
- 解決のライフサイクル管理には、プロアクティブエンゲージメントワークベンチエクスペリエンスを使用します。

詳細については、「[Proactive Engagement](#)」を参照してください。

プロアクティブエンゲージメント 機能

Exploring Proactive Engagement

プロアクティブエンゲージメントを使用してデジタルエンドユーザーエクスペリエンスの積極的な問題検出および解決機能を利用することで、従業員がデジタルエクスペリエンスの問題を自己解決できるようにします。

Configuring Proactive Engagement resolutions with DEX

ServiceNow 仮想エージェントを通じて従業員のエンゲージメントを高め、エンゲージメント設定を構成して、従業員がデジタルエクスペリエンスの問題を自己解決する方法を定義します。

Proactive Engagement life-cycle management

ワークベンチでプロアクティブエンゲージメント解決のライフサイクルを表示および管理します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、プロアクティブエンゲージメント をインストールします。次のプラグインをアクティブ化します。

- プロアクティブエンゲージメント (sn_pren)
- DEX アプリケーションとデバイスヘルス (sn_dex)
- Glide 仮想エージェント (com.glide.cs.chatbot)

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして、利用可能なすべてのアプリを表示し、要求をストアに送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのこれまでのリリースメモ情報については、「**ServiceNow Store のバージョン履歴リリースノート**」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Digital End-User Experience

ServiceNow デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX) ソリューションは、ユーザーアプリケーション、ネットワーク、デバイスに関する包括的な可視化と監視の機能を IT 部門に提供するクラウドベースのツールです。DEX スイートには、IT 部門がデバイスやアプリケーションの問題をプロアクティブに解決するためのアプリケーションとデバイスヘルスと、セルフサービスオプションに簡単にアクセスできるようにするためのデスクトップアシスタントという製品が含まれています。

ITSM Virtual Agent

ServiceNow 仮想エージェント アプリケーションを使用すると、IT 組織を拡張でき、技術者はより困難な IT 関連のユーザー要求やインシデントに対処できます。ITSM 仮想エージェント は Vancouver リリースで拡張および更新されました。

サクセスダッシュボード

ServiceNow のサクセスダッシュボードにより、リーダーシップチームとプロセス オーナーが、Now Platform で定義された KPI を用いて自身が行った ServiceNow IT Service Management (ITSM) 実装のパフォーマンスに関するインサイトを獲得できるようになります。

問題管理 リリースノート

ServiceNow 問題管理 アプリケーションは、関連インシデントの発生として報告される IT インフラストラクチャのエラーの原因を特定するのに役立ちます。問題管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 問題管理 の特長

- 追加の問題および問題タスクシナリオのサポートを提供する 問題管理 モデルの導入
- 既知のエラー記事は、新規顧客に対してデフォルトで有効
- クラシック UI16 エクスペリエンスではなくサービスオペレーションワークスペースにリダイレクトするようにメール通知を構成
- 対応中から問題タスクを再評価

詳細については、「**Problem Management**」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

の初期サポート 問題管理 モデル

1 つのデフォルトの問題モデル (全般) と 2 つのデフォルトの問題タスクモデル (根本原因分析と全般) から始まる、問題管理モデルの導入。

デフォルトのモデルは、Washington DC リリースの基本ライフサイクルに相当します。この初期サポートにより、カスタムモデルを作成して、特定のユースケースに合わせて追加のシナリオを調整できます。

i 注:

サービスオペレーションワークスペース 5.x を使用していて、問題管理モデルを有効にしている場合、問題および問題タスクは、サービスオペレーションワークスペースではなくクラシック UI16 エクスペリエンスで管理します。

サービスオペレーションワークスペース 6.x は Xanadu リリースに基づいており、問題管理 モデルをサポートしています。

UI の変更**問題フォーム**

[最初の報告事案] フィールドの名前が、新規顧客に対して [元のタスク] に変更されました。

マルチレコードアソシエーターの [すべて追加] ボタン使用時のプロンプト

現在の問題に関連付けられるインシデントの数を確認し、意図しない複数のレコードが関連付けられないようにします。

このリリースでの変更**問題タスクを [対応中] ステータスから再評価**

問題タスクアナリストのワークフローの柔軟性がさらに向上します。

メール通知のリダイレクト動作

ユーザーがメール通知で問題レコードのリンクを選択すると、従来の UI16 エクスペリエンスの代わりにサービスオペレーションワークスペースで問題レコードにリダイレクトできます。この動作をサポートするために、ITSM 通知リダイレクト (com.snc.itsm.notifications_redirection) プラグインが自動的にインストールされ、アクティブ化されます。

デフォルトで利用可能な既知のエラー記事

新規顧客の場合、Problem Knowledge Integration はデフォルトで有効になります。

問題管理移行ユーティリティ

Xanaduベースの問題ファイルリストが更新され、問題管理移行ユーティリティがカスタマイズを検出できるようになります。

アクティベーション情報

Problem Management はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

サービスオペレーションワークスペース for ITSM リリースノート

ServiceNow サービスオペレーションワークスペース アプリケーションは、複数の IT Service Management および IT Operations Management (ITOM) 機能に対して統一されたエクスペリエンスを実現する構成可能なワークスペースです。サービスオペレーションワークスペース for ITSM のインターフェイスを使用して、エージェントエクスペリエンスを構成できます。サービスオペレーションワークスペース for IT Service Management は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの サービスオペレーションワークスペース for ITSM の特長

- アドミンセンターからの簡素化されたナビゲーションを使用して、インシデント、問題、変更要求、および サービスオペレーションワークスペース for ITSM のレコードページのコンテキストサイドパネルの構成を管理します。これにより、アドミニストレーターのエクスペリエンスが向上します。

- オンスクリーンユーティリティを使用して、ITSM エージェントワークスペースの機能を サービスオペレーションワークスペース for ITSM に移行します。
- 詳細なロールを使用して、サービスオペレーションワークスペース for ITSM のさまざまなレコードページへのユーザーアクセスを構成します。
- インシデントレコード内の参照フィールドの構成アイテム (CI) 依存関係マップを表示します。
- VIP ユーザーのインシデントレコードの問い合わせユーザーフィールドで VIP フィールドデコレーターを表示します。
- クイックスタートテストを使用して、サービスオペレーションワークスペース for ITSM でインシデント管理の機能とワークフローをテストします。
- 通信メッセージを重大インシデント管理のお知らせとしてブロードキャストします。
- インシデントレコードの [パスワードリセット (**Password reset**)] UI アクションを使用して、パスワードリセット関連インシデントを解決します。
- [オープン対象者 (**Opened for**)] フィールドと [簡単な説明 (**Short description**)] フィールドの値を指定して、正確な処理を行うインタラクションレコードを特定します。
- サービスデスクエージェントが サービスオペレーションワークスペース for ITSM でユーザーのパスワードをリセットできるようにします。
- インシデント、インシデントタスク、問題、問題タスク、変更要求、変更要求タスク、インタラクション、および要求のレコードタイプについて、AI を活用した検索結果を取得します。これらの AI を活用した検索結果は、必要なソリューションをすばやく見つけるのに役立ちます。
- 構成可能で動的な [概要] タブを使用して、問題のライフサイクルを管理します。
- ガイド付きツアー を使用して、サービスオペレーションワークスペース for ITSM 内の概念またはプロセスについて学習します。
- アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。

詳細については、「[ITSM のサービスオペレーションワークスペース](#)」を参照してください。

i 重要:

サービスオペレーションワークスペース for ITSM は ServiceNow Store で入手できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

サービスオペレーションワークスペースを **Xanadu** にアップグレードする際の重要な情報

次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。

- サービスオペレーションワークスペース ITSM Applications アプリケーション (sn_sow_itsm_cont)
- サービスオペレーションワークスペース ITOM Applications アプリケーション (sn_sow_itom_cont)

互換性のあるサービスオペレーションワークスペースバージョン

サービスオペレーションワークスペース for ITSM (sn_sow_itsm_cont)	サービスオペレーションワークスペース for ITOM (sn_sow_itom_cont)
1.1.x	21.0.y
1.2.x	21.1.y

互換性のあるサービスオペレーションワークスペースバージョン (続く)

サービスオペレーションワークスペース for ITSM (sn_sow_itsm_cont)	サービスオペレーションワークスペース for ITOM (sn_sow_itom_cont)
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y
2.0.x	22.0.y
2.1.x	22.1.y および 22.y.y
3.1.x	23.y.y
4.x.x	24.y.y
5.0.x	24.2.y

Xanadu リリースの新機能

アドミンセンターの変更

- 画面上のユーティリティを使用して、これらの機能を再構築することなく、ITSM エージェントワークスペースの機能をサービスオペレーションワークスペースに移行します。この移行には、さまざまなフォーム、UI アクション、およびリストに対して行われたITSM エージェントワークスペースのカスタマイズが含まれます。
- レコードページのコンテキストサイドパネルタブの可用性と順序を構成します。
- サービスオペレーションワークスペース アドミンセンターから最新の変更管理機能を構成して、変更の効率を高め、変更承認を迅速化し、データ駆動導型のリスク分析を推進し、DevOps データを使用して変更を自動化します。
- 各問題レコードのステータスについて、[概要] タブの可視性設定を構成します。
- インシデント管理 in アドミンセンターのインシデントレコードセクションから、階層 1 エージェントのインシデントレコードページにある [概要] タブのヴィジリティ設定を構成します。
- サービスデスク支援パスワードリセットを構成して、次のタスクを実行します。
 - パスワードリセットサービスデスクロールをユーザーにアサインします。
 - ユーザーがパスワードの変更またはリセットを実行している間の認証情報ストアサーバーへのアクセスを構成するには、認証情報ストアレコードを作成します。
 - サービスデスクプロセスの検証方法を構成します。
 - パスワードポリシーを構成します。

詳細なロール

次の詳細なロールを使用して、サービスオペレーションワークスペース for ITSM のさまざまなレコードページのユーザーアクセスを構成します。これらのレコードページへのユーザーのアクセスは、アサインされたロールに基づきます。

- インシデント：sn_incident_read and sn_incident_write
- 要求：sn_request_read、sn_request_write
- 問題：sn_problem_read、sn_problem_write
- 変更：sn_change_read と sn_change_write

i 注:

これらの詳細ルールは sn_sow.sow_home ルールと sn_sow.sow_list ルールを継承するため、詳細ルールを持つユーザーは、サービスオペレーションワークスペース for ITSM のホームページとリストページにアクセスできます。

インタラクションレコードページの機能拡張

[依頼者 (Opened for)] カードから、要求者の詳細、資産、最近のインタラクション、および関連リンクを表示します。この一元化されたアクセスポイントは、要求者の情報を効率的に管理するための包括的な概要をエージェントに提供します。

ワークフローを簡素化し、インタラクションに引き続き焦点を当てるために、レコード関連付け用のモダルベースのインターフェイスが サービスオペレーションワークスペース のインタラクションレコードに実装されています。このインターフェイスは、変更、インシデント、ナレッジ、問題、要求など、インタラクションに頻繁に関連付けられるテーブルを自動的に提案することで、ワークフローを簡素化します。この機能強化は、運用を合理化し、ユーザーの効率を高めることを目的としています。

インシデントレコードページの機能拡張

インシデントレコードページの機能拡張は次のとおりです。

- 次の参照フィールドの構成アイテム (CI) の依存関係を表示します。
 - 構成アイテム
 - サービス
 - サービスオフリング
- VIP ユーザーのコンテキストサイドパネルの [詳細] タブと [レコード情報] タブで、申請者フィールドの VIP フィールドデコレーターを表示します。
- 影響を受ける CI をインシデントレコードに追加するときに、構成クラスに基づいて構成アイテム (CI) を検索してフィルタリングします。
- エージェントがインシデントレコードからナレッジギャップを報告すると、作成されたナレッジフィードバックタスクレコードリンクを含む成功メッセージが表示されます。リンクを選択すると、別のタブでナレッジフィードバックタスクレコードを開いて、情報を提供し、ナレッジギャップの記事を作成できます。
- パスワードリセットに関連する問題について、インシデントカテゴリとして [パスワードリセット] を選択できるようになりました。このカテゴリを設定してインシデントレコードを保存した後、[パスワードのリセット (Reset password)] UI アクションを使用してインシデントを解決できます。パスワードリセットの詳細については、「[Password Reset in SOW \(SOW のパスワードリセット\)](#)」を参照してください。

重大なインシデントのお知らせ

進行中の重大なインシデントに関するコミュニケーションメッセージをブロードキャストすることで、ユーザーに知らせます。重大なインシデントレコードの [通信] タブからお知らせを作成および構成します。お知らせは、ユーザーが IT サービスポータルで表示できるお知らせバナーまたはお知らせウィジェットに表示できます。

のクイックスタートテスト インシデント管理 次の値のいずれか サービスオペレーションワークスペース for ITSM

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了した後、クイックスタートテストを実行して、インシデント管理の機能が想定どおりに機能していることを確認します。インシデント管理をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために構成します。サービスオペレーションワークスペース for ITSM のインシデント管理に、次のクイックスタートテストが追加されています。

- インシデントからの問題の作成：[問題の作成 (Create problem)] UI オプションを使用して、インシデントからの問題の作成をテストできます。
- [自分にアサイン (Assign to me)] ボタン機能の確認：[自分にアサイン (Assign to me)] UI オプションを使用して、インシデントのアサインをテストできます。

でのパスワードリセット サービスオペレーションワークスペース for ITSM

ユーザーのパスワードをリセットできるようにし、ユーザーが自分のアカウントにすばやくアクセスできるようにします。

Exploring Recommended Actions for ITSM in Service Operations Workspace

問題の迅速な対処に役立つ AI を活用した推奨事項を手動で検索します。AI 拡張検索結果は、インシデント、インシデントタスク、問題、問題タスク、変更要求、変更要求タスク、インタラクション、および要求のレコードタイプで使用できます。

問題レコードの [概要] タブ

各問題ステータスの動的な [概要] タブのセクションに、どのような情報をどのように表示するかを構成します。

問題タスクのライフサイクルの管理

[対応中 (Work in Progress)] ステータスから問題タスクを再評価する機能など、問題タスクアナリストにさらなる柔軟性を提供します。

問題モデルの初期サポート

問題管理モデルの概要。1 つのデフォルトの問題モデル (全般) と 2 つのデフォルトの問題タスクモデル (根本原因分析と全般)。

デフォルトのモデルは、Xanadu リリースの基本ライフサイクルに相当します。この初期サポートにより、カスタムモデルを作成して、特定のユースケースに合わせて追加のシナリオを調整できます。

注:

サービスオペレーションワークスペース 5.x を使用していて、問題管理モデルを有効にしている場合、問題および問題タスクは、サービスオペレーションワークスペースではなくクラシック UI16 エクスペリエンスで管理します。

サービスオペレーションワークスペース 6.x は Xanadu リリースに基づいており、問題管理モデルをサポートしています。

問題から修正タスクを作成するためのショートカット

問題の [概要] タブから次のショートカットを使用します。

- [欠陥を作成] (アジャイル開発 2.0 の一部)
- [機能拡張を作成] (アジャイル開発 2.0 の一部)
- [改善イニシアチブを作成] (継続的改善管理 の一部)

ガイド付きツアー

特定の概念やプロセスをガイドする一連のインタラクティブな手順を通じて、サービスオペレーションワークスペース for ITSM について学習します。

このリリースでの変更

アドミンセンターからのランディングページの構成

ランディングページのリダイレクト、ドーナツ構成などのすべてのランディングページ構成は、[構成] タブの [ランディングページ構成] セクションにグループ化されます。

左側のナビゲーションペインのモジュールの並べ替え

受信トレイやリストなどの左側のナビゲーションペインモジュールは、これらのモジュールにアクセスしやすくするために並べ替えられます。

インタラクションレコードおよびインシデントレコードから要求を作成するロール

インタラクションレコードとインシデントレコードから要求を作成するには、ユーザーに itil ロールまたは sn_request_write ロールが必要です。Xanadu 以前は、ユーザーが要求を作成するには、interaction_agent ロールが必要でした。

変更要求の DevOps データ

サービスオペレーションワークスペース for ITSM で手動で作成された変更要求の DevOps データを表示、追加、および編集し、DevOps 変更 Workspace と サービスオペレーションワークスペース for ITSM で統一された変更要求エクスペリエンスを実現します。

問題レコードからの変更要求の作成

アクションは一度使用すると非表示ではなくなるため、追加の変更要求を作成できません。

[問題タスク] タブでのインライン編集

レコードを開いてフォーム上で変更するのではなく、問題タスクリストのフィールドを変更します。

インシデントのサイドバーの機能拡張

サイドバーに、インシデントまたはタスクの解決でエージェントを支援できるユーザー向けの推奨事項が表示されるようになりました。サポートワークフローを強化するための推奨事項の標準セットが提供されています。

ITSM Pro は、AI ベースのアルゴリズムを使用してカスタマイズされた推奨事項を提供し、タスクを支援するために最も適切なユーザーが提案されるようにします。

グループ追加機能を使用すると、グループ全体を会話に追加できます。デフォルトでは、グループのすべてのメンバーが会話に含まれます。指定されたオンコールメンバーがいるグループの場合、それらのメンバーのみが会話に追加され、的を絞った効率的なコミュニケーションが可能になります。

Reflow for Configurable Workspace

サービスオペレーションワークスペース for ITSM 構成可能ワークスペースはリフローをサポートし、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。

アクティベーション情報

サービスオペレーションワークスペース for ITSM はデフォルトでアクティブで、デフォルトバージョンは Xanadu では 5.0 です。以前のリリースを ServiceNow Store から Xanadu にアップグレードすると、サービスオペレーションワークスペース for ITSM 5.0 が自動的にインストールされます。

アクセシビリティ情報

アクセシビリティの改善

アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。

リフロー

構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見つらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

高度な作業アサイン

可用性に基づいて、インタラクションをエージェントに自動的にアサインします。

Change Management

変更のライフサイクルをコントロールし、IT サービスの中断を最小限に抑えて変更を実装します。

インシデント管理

ユーザーがインシデント管理システムを使用して IT の問題を特定し、インシデントをログに記録できるようにします。インシデントを効率的に追跡、分類、および優先順位付けして、解決に向けて効果的に作業します。

インタラクション管理

すべてのコミュニケーションチャンネルに一元的な場所を提供するインタラクションを使用して、着信チャット、電話、ウォークアップ、またはメッセージングインタラクションに迅速に応答します。

Knowledge Management

セルフヘルプ、トラブルシューティング、およびタスク解決などの情報を含むナレッジ記事をエージェントに提供します。

Notify

チームや顧客とコミュニケーションを取るために、プラットフォームで SMS および音声チャンネルのサポートを提供します。

ITSM 向け Now Assist

ServiceNow ITSM の Now Assist アプリケーションを使用して、インシデント情報の要約、解決メモの生成、およびインタラクションのチャット情報を生成します。エージェントがチャットとインシデントのコンテキストを理解し、より迅速な解決策を提案できるようにします。

オンコールスケジューリング

問題を解決するために問い合わせができるサポートグループの対応可能なオンコールメンバーを特定します。

Password Reset

ServiceNow パスワードリセット アプリケーションは、エンドユーザーがセルフサービスプロセスを使用するか、サービスデスクエージェントのサポートを受けてパスワードをリセットまたは変更できるようにすることで、強力で安全なパスワードを適用します。

予測インテリジェンス

機械学習アルゴリズムを使用して、インシデントを解決するための動的かつコンテキストに応じた推奨事項を提供します。

問題管理

繰り返し発生しているインシデントまたは重大なインシデントの根本原因を特定し、再発を防止します。

Recommended Actions for ITSM in Service Operations Workspace

サービスオペレーションワークスペースで、インシデントフォームのサイドパネルでフィールドの推奨事項とガイダンスを取得します。

Request Management

カタログ要求を使用するインシデントフローなど、別の IT Service Management フローからカタログ要求フローを開始します。

Service Level Management

サービスオペレーションワークスペース for ITSM ランディングページとインシデントレコードページで、インシデントサービスレベルアグリーメント (SLA) 情報にアクセスします。

ServiceNow for Microsoft Teams

サービスオペレーションワークスペース for ITSM が提供する接続エクスペリエンスを介して、ユーザーがコラボレーションできるようにします。

ITOM のサービスオペレーションワークスペース

複数の ServiceNow IT Operations Management (ITOM) ワークフローの統一されたインターフェイスを介してオペレーターエクスペリエンスを構成します。

Task Intelligence for ITSM

機械学習を使用してソリューションベースのモデルを設定、展開、および追跡し、重要なビジネス成果を達成します。

Universal Request

ServiceNow ユニバーサル要求 は、エージェントが企業全体でシームレスにケースを解決し、従業員エクスペリエンスを改善できるようにすることで、エンタープライズサービス管理 (ESM) またはグローバルビジネスサービス (GBS) に対するカスタマージャーニーを支援します。

ワークアップエクスペリエンス

サービスオペレーションワークスペース for ITSM を使用して Walk-up インタラクションとキューを簡単に管理できます。

Workforce Optimization for ITSM

ITSM のワークフォース最適化 Scheduling を使用してエージェントのスケジュールを管理します。ServiceNow コーチング を使用して、アサインされたトレーニングをレビューして修了します。

サービスポートフォリオ管理 リリースノート

ServiceNow サービスポートフォリオ管理 アプリケーションを使用すると、サービスポートフォリオを計画、設計、構築、および実装できます。サービスポートフォリオ管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの サービスポートフォリオ管理 の特長

- サービス可用性レコードのタイムゾーンを設定できるように、可用性システムプロパティ [com.sn.availability.v2] を更新しました。
 - タイムゾーンを反映して、すべての可用性の結果のグローバルタイムゾーンを変更する機能が追加されました。
 - サービスオフリングのコミットメントを反映して可用性の結果のタイムゾーンを設定する機能が追加されました。
 - 設定したタイムゾーンを反映するように可用性の再計算を更新しました。
 - サービス可用性レコードに読み取り専用のタイムゾーンフィールドが追加されました。
- サービスオフリングレコードに [チーム] 関連リンクタブが追加され、サービスオフリング (1 対多の関係) をサポートする複数のチームをアサインできるようになりました。

詳細については、「[Service Portfolio Management](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Set the time zone for availability results in Service Portfolio Management

可用性システムプロパティ [com.snc.availability.v2] を true に設定して、可用性の結果を計算するタイムゾーンを設定することができます。可用性の計算の設定ページでは、サービスオフリングのコミットメントタイムゾーン ([はい] または [いいえ]) を使用して可用性を計算することを選択できます。また、提供されたリストからタイムゾーンを選択して、グローバルな可用性タイムゾーンを設定するオプションも提供します。[はい] を選択してコミットメントタイムゾーンで可用性を計算すると、コミットメントレコードの [タイムゾーン] フィールドを使用して可用性の結果が計算されます。可用性レコードの [タイムゾーン] フィールドは読み取り専用です。グローバルタイムゾーンを設定することを選択すると、すべての可用性の結果で、グローバルとして設定したタイムゾーンが使用されます。

i 注:

グローバルタイムゾーンとコミットメントタイムゾーンを管理する基礎となるシステムプロパティは排他的です。グローバルタイムゾーンを設定することも、サービスオフリングのコミットメントを反映するようにタイムゾーンを設定することもできますが、両方を同時に設定することはできません。

Assign multiple teams to support a service offering in Service Portfolio Management

サービスオフリングに追加された Teams 関連リストを使用して、サービスオフリングをサポートするさまざまなグループタイプをアサインします。関連リスト機能は、サービスポートフォリオ管理アプリケーションに追加された既存のプラットフォーム機能であるため、関連するサポートチームをデジタルポートフォリオ管理ビューで表示できます。プラットフォーム機能の詳細については、「[Teams related list](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

サービスポートフォリオ管理 コアプラグイン [com.snc.service_portfolio_core] は、IT Service Management のライセンスを持つ顧客であればデフォルトで使用できます。詳細については、「[Activate Service Portfolio Management](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Configuration Management

サービスポートフォリオ管理 - Core はサービスオファリングテーブル [service_offering] を CSDM に追加します。

Service Catalog

サービスポートフォリオ管理 は、アプリケーションのサービスオファリングレベルで ServiceNow サービスカタログ と統合します。既存のカタログからサービスを選択することも、サービスカタログを追加することもできます。

Service Level Management

ServiceNow サービスレベル管理 と統合することによって、サービスレベルアグリーメント (SLA) コミットメントのサポート機能が サービスポートフォリオ管理 に追加されます。

Service Builder

ServiceNow サービスビルダー は、サービスとポートフォリオの所有者がサービスとサービスオファリングを作成および編集するのに役立つガイド付きワークスルーを提供します。

Digital Portfolio Management

ServiceNow Store から ServiceNow デジタルポートフォリオ管理 (DPM) を追加して、サービスポートフォリオ管理 のすべてのデータを 1 か所で表示します。 [Service Portfolio Management portfolios](#)  で説明されているように、標準のサービスポートフォリオ構造に移行すると、DPM の重要業績評価指標 (KPI) グループを使用して、サービス、ノード、およびポートフォリオのパフォーマンスについてレポートできます。

ITSM のタスクインテリジェンス リリースノート

ServiceNow ITSM のタスクインテリジェンス アプリケーションは、機械学習を使用してソリューションベースのモデルを設定、展開、および追跡し、重要なビジネス成果を達成します。ITSM のタスクインテリジェンス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ITSM のタスクインテリジェンス の特長

- インシデントテーブルのフィールドと選択したトレーニングテーブルの間の類似性を識別する新しいトレーニング類似性モデルを設定および構成します。
- 類似性テンプレートカードまたはインシデント類似性モデルを使用して類似性モデルを設定して、インシデントレコードの類似レコードに関する推奨事項を提供し、エージェントの処理時間を短縮します。
- 類似性モデルの予測設定を設定し、データを使用してトレーニングし、類似のレコードを予測するモデルを展開します。
- 展開された類似性モデルのパフォーマンスを追跡および監視します。
- パフォーマンス結果に基づいて類似性モデルを編集、トレーニング、および再展開します。

詳細については、「[Task Intelligence for ITSM](#) 

重要:

ITSM のタスクインテリジェンス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

類似性モデルの設定

フィールドを比較することで 2 つのタイプのテーブル間の類似パターンを学習する類似性モデルを設定および構成します。

類似性テンプレートカードを使用して、新しい類似性モデルを設定するか、ベースシステムで利用可能なインシデント類似性モデルを選択できます。

類似性モデルの測定基準

選択した類似性モデルによって行われた予測の数と、予測を提供したインシデントレコードの数を表示します。

モデルを編集して再展開する

モデルのパフォーマンスと影響に基づいて、類似性モデルを編集、再トレーニング、および再展開して、パフォーマンスを向上させることができます。

このリリースでの変更

分類モデルの名前変更

ベースシステムで利用可能な分類モデルの名前が、**ITSM OOTB TI** ソリューション から インシデント分類に変更されました。

モニタリングとアナリティクス

類似性モデルによって予測されたレコードの数を [タスクインテリジェンスアナリティクス (Task intelligence analytics)] ページに表示できるようになりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ITSM のタスクインテリジェンス をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Service Operations Workspace for ITSM

ServiceNow サービスオペレーションワークスペース は、複数の IT Service Management および IT Operations Management (ITOM) ワークフローにおいて統一されたエクスペリエンスを提供する構成可能なワークスペースです。サービスオペレーションワークスペース for ITSM のインターフェイスを使用してエージェントエクスペリエンスを構成します。

Exploring Recommended Actions for ITSM in Service Operations Workspace

ServiceNow ITSM の高度なリコメンドアクション を使用すると、レコードコンテキストに基づいてエージェントに関連するアクションを設定および表示できます。エージェントは、これらのアクションを使用して顧客を支援し、問題を解決できます。

Machine learning solutions for IT Service Management

IT Service Management における機械学習は、ビジネスのスケラビリティを高め、組織の事業運営を改善します。

ベンダー管理ワークスペース リリースノート

ServiceNow ベンダー管理ワークスペース アプリケーションを使用すると、会社のベンダーのパフォーマンスを監視し、すべてのベンダー関連情報を 1 つの場所から管理できます。ベンダー管理ワークスペース は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ベンダー管理ワークスペース の特長

新しいベンダー重要業績評価指標 (KPI) を使用して、ベンダーパフォーマンスを監視します。

詳細については、「[Vendor Management Workspace](#)」を参照してください。

i 重要:

ベンダー管理ワークスペース は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

更新されたベンダー KPI

廃止されたサービスオファリング測定基準データ [service_offering_metric_data] テーブルの従来の KPI を置き換えた新しいベンダー KPI を使用します。

廃止

Xanadu リリース以降、ベンダーサクセスインジケター プラグイン (com.snc.vendor.insights) は将来の廃止に備えて準備しています。これは非表示になり、新しいインスタンスにはインストールされなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ベンダー管理ワークスペース をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。詳細については、「[Activate Vendor Management Workspace](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Digital Portfolio Management

ServiceNow デジタルポートフォリオ管理 (DPM) アプリケーションを使用して、すべてのサービス、アプリケーション、および製品を 1 つの場所から管理し維持します。

Performance Analytics (Indicator data sources)

ServiceNow Performance Analytics を使用して重要業績評価指標 (KPI) に関するレポートを作成し、測定基準を監視および分析します。

Risk Management

ServiceNow リスク管理 を使用して、ベンダーのパフォーマンスに悪影響を与える可能性のあるリスクを評価します。

ITSM のワークフォース最適化 リリースノート

ServiceNow ITSM のワークフォース最適化 アプリケーションを使用すると、人員の生産性を一元的に管理および維持できます。ITSM のワークフォース最適化 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ITSM のワークフォース最適化 の特長

- ITSM のワークフォース最適化 アドミンコンソールを使用してアプリケーションを構成します。
- チームカレンダーとイベントを Microsoft Outlook と同期します。
- アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。

詳細については、「[Workforce Optimization for ITSM](#)」を参照してください。

i 重要:

ITSM のワークフォース最適化 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能**アドミンコンソールエクスペリエンス**

アドミンコンソールを使用して、ITSM のワークフォース最適化 アプリケーションを設定および構成します。

スケジュールカレンダーと Microsoft Outlook の同期

スケジュールモジュールでエージェントのカレンダーを Microsoft Outlook と同期すると、エージェントは、エージェントカレンダーに表示されるすべてのスケジュール、シフト、およびイベントを Microsoft Outlook カレンダーでも表示できます。

チームカレンダーで繰り返し発生するイベント

イベントを作成するときに、定期的なイベントにすることができます。

このリリースでの変更**のリフロー 構成可能ワークスペース**

ITSM のワークフォース最適化 構成可能ワークスペースがリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。アップグレードの詳細については、以下の「[アクセシビリティ情報](#)」セクションを参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ITSM のワークフォース最適化 プラグイン (sn_wfo_cfg_itsm) をアクティブ化します。詳細については、「[Activate Workforce Optimization for ITSM](#)」[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。」を参照してください。

アクセシビリティ情報**アクセシビリティの改善**

アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。

リフロー

構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザーのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザー上の Web コンテンツが見つらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

高度なワークアサインメント[®]

ServiceNow 高度な作業アサイン を使用して、可用性、キャパシティ、スキルによって作業アイテムを自動的にエージェントにアサインします。

Coaching[®]

ServiceNow コーチング アプリケーションを使用して、従業員のパフォーマンスを監視し、改善します。従業員のスキルを評価し、スキルの向上に必要なトレーニングを受けさせることができます。

Learning Posts[®]

従業員が適切なときに適切な学習を行えるように、オムニチャネル学習エクスペリエンスを作成します。

Performance Analytics (Indicator data sources)[®]

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス を使用して重要業績評価指標 (KPI) に関するレポートを作成し、メトリクスを監視および分析します。

Predictive Intelligence[®]

ServiceNow 予測インテリジェンス を使用して、完了した作業に基づいてエージェントにスキルを推奨します。

Process Mining[®]

ビジネスプロセスを分析し、迅速に最適化します。

Service Operations Workspace for ITSM[®]

サービスオペレーションワークスペースを使用して、ITSM エージェントのエクスペリエンスを改善し、IT フルフィルメントボリュームをより効率的に管理します。サービスオペレーションワークスペース で ITSM のワークフォース最適化 を使用して、スケジュールを管理し、トレーニングを完了します。

Skills Management[®]

組織が必要とするスキルを評価し、ギャップを特定し、チームの雇用とトレーニングを計画します。

Surveys[®]

基本のサーベイを作成、送信、および回答を収集できます。インストールされている場合は、サーベイウィジェットを使用してServiceNow サービスポータル内でサーベイを設定することもできます。

ITSM サクセスダッシュボード リリースノート[®]

ServiceNow ITSM サクセスダッシュボード アプリケーションは、ServiceNow IT Service Management (ITSM) 実装のパフォーマンスを測定するために使用できるインサイトを IT リーダーシップチームとプロセスオーナーに提供します。ITSM サクセスダッシュボード は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ITSM サクセスダッシュボード の特長

ITSM サクセスダッシュボード の自己解決転送カテゴリで導入された新しい KPI を体験して、ユーザーが日常的に遭遇するデジタルの問題を解決するのに役立ちます。

詳細については、「[ITSM Success Dashboard indicators[®]](#)」を参照してください。

i 重要:

ITSM サクセスダッシュボード は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

- AI 検索 QnA を使用した新しい自己解決と Now Assist 検索 QnA KPI を使用した自己解決が自己解決転送に追加されます。これらの新しい貢献インジケータは、ユーザーが AI 検索 と Now LLM サービス を使用してデジタルの問題を解決するのに役立ちます。
- DEX 向けプロアクティブエンゲージメントインジケータを使用した ITSM 自己解決は自己解決転送に追加されます。これにより、ServiceNow デジタルエンドユーザーエクスペリエンス製品のプロアクティブな問題検出および解決機能を活用して従業員がデジタルエクスペリエンスの問題を自己解決します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ITSM サクセスダッシュボード をインストールします。
[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Benchmarks[®]

ServiceNow ベンチマークアプリケーションを使用すると、重要業績評価指標 (KPI) や傾向、ピアの業界平均と業界上位実績者に対する相対比較インサイトを即座に可視化できます。

Performance Analytics (Indicator data sources)

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス アプリケーションは、組織が管理ダッシュボードを作成し、KPI とメトリクスに関するレポートを作成し、重要なビジネス上の質問に回答することで、品質向上とサービスデリバリのコストを削減するのに役立つプラットフォーム内ソリューションです。

HR Success Dashboard indicators

HR Success Dashboard indicators は、HR リーダーシップチームとプロセス所有者に、パフォーマンスに関するインサイトを提供します。さまざまな KPI を使用して HR 実装のパフォーマンスを測定できます。

リリース管理 リリースノート

ServiceNow リリース管理 アプリケーションを使用すると、ハードウェアとソフトウェアのリリースのあらゆる側面を管理、計画、スケジュール、および制御できるため、リリースコンポーネントの定義済みのセットを作成できます。リリース管理 は Xanadu リリース以降廃止されます。

Xanadu リリースでの リリース管理 の特長

デジタルプロダクトリリース アプリケーションは、デジタル製品のリリースプロセスを追跡および管理する場合に適したアプリケーションです。

詳細については、「[Digital Product Release](#)」を参照してください。

廃止

Xanadu リリース以降、リリース管理 v2 は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。デジタルプロダクトリリース は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、Now Support ナレッジベース の「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。

アクティベーション情報

リリース管理 は、リリース管理プラグイン (com.snc.release_management_v2) をアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Release Management を有効化](#)」を参照してください。

製造業営業オペレーションリリースノート

ServiceNow 製造業営業オペレーションアプリケーションを使用すると、機会の作成、見積もり、契約、注文の生成、例外と異議申し立ての解決、顧客の苦情と製品またはサービスの問題のサポート、シームレスなチャネル運用の実現など、製品、サブスクリプション、およびサービスのエンドツーエンドのライフサイクルを管理できます。製造業営業オペレーションは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 製造業営業オペレーション の特長

- サービスブリッジは製造業営業オペレーションの一部としてリリースされています。製造業営業オペレーション向けサービスブリッジを使用すると、メーカー、顧客、サプライヤー、チャネル、およびパートナーは、カスタム統合を構成および維持することなく、インスタンス間でサービスを直接接続して追跡できます。サービスブリッジは Xanadu リリースで拡張および更新されました。
- 製造業営業オペレーション向けサービスブリッジ：
 - メーカーが新機能を採用し、製品オフリングを公開し、アップグレードしていない顧客に中断のないサービスを提供できるようにします。
 - 顧客、サプライヤー、チャネル、およびパートナーに同期する前に、エンタイトルメントの互換性を評価します。
 - メーカーと顧客インスタンス間の構成データの自動同期をサポートし、顧客、サプライヤー、チャネル、およびパートナーがメーカーとタスクを同期する前に特定のプロセスを実行できるようにします。

詳細については、「[Exploring Manufacturing Commercial Operations](#)」を参照してください。

i 重要:

製造業営業オペレーション は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

アクティベーション情報

製造業 アプリケーションを ServiceNow Store から要求してインストールします。アプリケーションのインストールの詳細については、「[Configuring Manufacturing Commercial Operations](#)」を参照してください。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Field Service Management

ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションでは、作業指示と関連するタスク、リソース、スキル、資産、および場所を管理できます。

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM)

作業を戦略に合わせて、ビジネスゴールと優先順位をサポートする方法で製品とサービスを提供できます。ServiceNow 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) (旧 IT Business Management) を使用すると、デジタルトランスフォーメーションを活用して、より多くの顧客価値をより迅速に推進できます。

モバイルプラットフォーム リリースノート

ServiceNow モバイルプラットフォーム を使用すると、どこからでも ServiceNow インスタンスにアクセスできます。モバイルプラットフォーム は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Mobile の特長

- ユーザー基準権限を使用して、モバイルプラットフォームの指定された領域の可視化をユーザー属性に基づいて定義します。
- レコード画面を指すトップアイコン機能ボタンインスタンスを使用して、モバイルプラットフォーム上のサイドバーエクスペリエンスでエージェント間チャットのタスクコラボレーションを簡素化します。
- モバイルプラットフォーム向けのServiceNow 仮想エージェントで ServiceNow Now Assist を使用して、インテリジェントで会話型のセルフサービスを提供します。
- 入力フォーム画面でのユーザーの選択に基づいて、入力を動的に自動入力します。

詳細については、「[Mobile Platform](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

ユーザー基準権限

ユーザー権限基準を定義することで、モバイルプラットフォームのさまざまな領域の可視化を制御します。ユーザー基準権限は、ユーザーロール権限とは異なり、ユーザーを場所、部門、会社などのさまざまなグループにセグメント化できます。ユーザー基準権限を使用すると、グループの 1 つの領域内の情報を変更して、そのグループ内に関連付けられているすべてのユーザーの詳細を更新できます。たとえば、会社が移転し、管理上、新しい場所のユーザーが別のモバイルコンテンツにアクセスできる必要がある場合です。アドミンは、この新しいコンテンツがこのグループのすべてのユーザーに表示されるように、ユーザー基準権限を更新できます。

モバイルアプリビルダー

- すべての モバイルプラットフォーム Xanadu 機能のサポート。
- 多くのレコードにわたる Now Assist 別のコンポーネントの推奨事項。

UI の変更

Mobile App Builder の機能拡張

- 単純なアルファベット順のリストではなく、Now Assist 別のコンポーネントの推奨事項。
- モバイルアプリビルダーに統合されたモバイルカードビルダーを使用して、カードを視覚的に選択して作成します。
- カードテンプレート、ランチャー画面、機能などの拡張された重複機能を使用して、より多くのレコードにアクセスします。
- 簡素化されたユーザーエクスペリエンスのために、レコード画面が埋め込まれたリスト画面の作成が簡素化されました。

モバイルカードビルダー 機能拡張

- モバイルカードビルダーでカードを最初から作成します。
- モバイルアプリビルダーと同じブラウザータブ内でモバイルカードビルダーを開いて、ツール間の移行を簡素化します。

このリリースでの変更

Now Assist for 仮想エージェント 機能拡張

仮想エージェントで AI によって生成されたメッセージにフィードバックを提供する機能など、生成 AI を使用して、質問に対する直接的で関連性の高い会話形式の応答を提供します。

Now Assist 次の値のいずれか AI 検索 モバイル版

AI が生成した回答または AI が選択した回答をユーザー検索に提供し、キュレーションされた回答の関連性についてユーザーがフィードバックを提供できるようにします。

2 つの新しいボタンインスタンス

- 上部アイコン機能ボタンのインスタンスを備えたレコード画面でアイテムまたはアクションへの追加のショートカットをユーザーに提供し、エージェント間のモバイルサイドバーエクスペリエンスをサポートします。
- カスタムマップ下部のドロワー機能ボタンのインスタンスで、屋内ルート案内エクスペリエンスにショートカットを追加します。

モバイルクライアントスクリプティングの機能拡張

1 つまたは複数のユーザー入力に基づいた自動入力により、入力フォーム画面の入力を簡素化します。

ナビゲーションバーの機能拡張

ナビゲーションバータブにバッジ機能を追加します。これにより、ナビゲーションタブアイコンのバッジが有効になります。

[通知] タブの機能拡張

ナビゲーションバー内の [通知] タブに追加された次の拡張機能を使用します。

- すべての通知を既読にするオプションで、通知エントリを管理できます。
- 通知領域で重大なアラートをハイライト表示します。

Mobile Publishing 機能強化と変更

- 新しいブランド化されたアプリビルドが要求されたとき、および既存のブランド化されたアプリが更新されたときに、インスタンス URL を自動入力します。
- リストにない iOS ブランド化されたアプリのサポート。
- iOS Microsoft Intune アプリを Microsoft Entra ID (旧称 Azure AD) に登録するための新しい要件。

アクティベーション情報

ServiceNow モバイルプラットフォーム [®] はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アクセシビリティ情報

ServiceNow モバイルプラットフォーム のアクセシビリティの改善には、次の更新が含まれます。

- モバイルデバイスを Bluetooth キーボードに接続する機能が、特にマップとフィルターの領域で改善されました。この更新により、モバイルアプリ全体のナビゲーションが改善されます。
- 複数のメッセージが同時に表示される場合のバナーメッセージの管理とレイアウトが改善されました。

Now Platform 管理リリースノート [®]

Xanadu リリースでの Now Platform 管理製品の機能拡張と更新について説明します。

Now Platform 管理機能を使用して、組織のビジネスニーズに対応します。管理機能は、すべてのインスタンスでデフォルトで有効です。

AI 検索 リリースノート [®]

ServiceNow AI 検索 アプリケーションは、Now Platform のユーザーにコンシューマーグレードの検索エクスペリエンスを提供します。AI 検索 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの AI 検索 の特長

- NLQ Genius 結果を使用して、複数のCMDBテーブルの情報を表示します。
- 中黒 (中点) 文字を含む日本語フレーズの検索精度が向上します。
- カルセル内の複数の Genius 結果回答カードをスクロールして、質問に対して最も実用的な回答を選択します。

詳細については、「[AI Search](#)」を参照してください。

AI 検索 を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

以前のリリースから Xanadu にアップグレードした後、次の手順を実行して、ネクストエクスペリエンス の AI 検索のグローバル検索結果に [ダッシュボード]、[データの可視化]、および [KPI] ナビゲーションタブを追加します。

1. ネクストエクスペリエンス ServiceNow Store アプリケーションの AI 検索をバージョン 4 以降に更新します。更新手順については、「[Install an update to a ServiceNow Store application](#)」を参照してください。
2. で提供された更新セットをコミットします。 [AI 検索 for ネクストエクスペリエンス 4.0 PAR テーブル更新セット \(KB1644544\)](#) Now Support ナレッジベースの記事。更新セットの詳細については、「[System update sets](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

NLQ Genius 結果は複数の検索をサポート CMDB テーブル

検索に複数のCMDBテーブルに一致する可能性のある用語が含まれている場合、NLQ Genius 結果の回答には、影響を受ける用語ごとに一致する可能性のあるCMDBテーブルのドロップダウンリストが表示されます。これらのドロップダウンリストを使用して、情報を表示する CMDB テーブルを選択します。

日本語の中点サポート

中黒 (中点) 文字を含む日本語フレーズの検索精度が向上します。日本語のテキストにインデックスを付けたり、日本語で検索したりする場合、AI 検索では、個々の用語を 1 つの用語に結合するのではなく、中黒で区切って保持します。

UI の変更

サービスポータル および 仮想エージェント カルセルに Genius 結果回答カードを表示

検索で複数の Genius 結果回答が返された場合、サービスポータルと仮想エージェントでは、リストではなくカーセルに Genius 結果回答カードが表示されます。UI の変更により、検索クエリの通常の結果を結果画面でよりアクセスしやすくしながら、複数の Genius 結果回答をスクロールできます。

このリリースでの変更

ファセットは検索ユーザーの言語で絞り込みフィルターを表示

参照フィールド値をファセット絞り込みフィルターとして表示するとき、検索ユーザーの言語が利用可能な場合、AI 検索はフィールド値の翻訳を使用します。ユーザーの言語の翻訳がない場合、AI 検索はシステム言語の翻訳を使用します。

遅延バインディングのセキュリティ実装で正しいクリックランクの検索シグナルを保持

遅延バインディングセキュリティによってアクセスできない結果が削除されると、クリックランク検索シグナルは最終結果の順序を正しく反映します。

アクティベーション情報

AI 検索 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

ブラウザー要件

AI 検索は Internet Explorer をサポートしていません。

ローカリゼーション情報

AI 検索 は多言語に対応しています。機能別の言語サポートの詳細については、「[Internationalization support for AI Search](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

詳細 AI 検索 管理ツール

高度な AI 検索 管理ツール アプリケーションは AI 検索 に新しい機能を追加します。

- アドミニストレーターは、AI 検索 の使用状況と構成に関連するメトリクス、傾向、およびレポートをダッシュボードで確認できます。
- アドミニストレーターは、検索プレビュー UI を使用して検索をテストすることで、ユーザーの検索結果を把握できます。
- 高セキュリティアクセス権を持つアドミニストレーターは、検索プレビュー UI で検索ソースおよびコンテンツセキュリティフィルターをバイパスすることで、そのフィルターがどのようにユーザーの検索結果に影響しているかを確認できます。

Now Assist 次の値のいずれか AI 検索

AI 検索 アプリケーションでの Now Assist は、検索機能を Now LLM 生成 AI モデルと組み合わせることで、ユーザー検索の質問に対し、関連するナレッジ記事から AI によって生成されたアクション可能な回答を提示します。

Knowledge Management

アドミニストレーターは、ServiceNow ナレッジ管理 Advanced プラグインをアクティブ化して、FAQ [kb_template_faq] テーブルをインストールできます。AI 検索は、一般的なユーザー検索の質問に対する Q&A Genius 結果の回答として、このテーブルのレコードを返すことができます。

アプリケーションマネージャー リリースノート

ServiceNow アプリケーションマネージャー アプリケーションは、アドミンがインスタンスのライセンス済みアプリケーションとプラグインをインストール、更新、および管理する機能を提供します。アプリケーションマネージャー は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの アプリケーションマネージャー の特長

- 推奨事項が追加された改善された検索バーを使用して、結果を見つけます。
- 選択したタブで結果が利用できない場合、検索バーにメッセージが表示されます。

詳細については、「[Application Manager](#)」を参照してください。

UI の変更

[検索結果] タブの推奨事項

現在選択されているタブの下にアプリケーションまたはプラグインが表示されない場合は、検索バーの使用時にメッセージが表示されます。検索結果を見つけるために別のタブを選択することを推奨するメッセージが表示されます。

アクティベーション情報

アプリケーションマネージャー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

クローンアドミンコンソール リリースノート

ServiceNow クローンアドミンコンソール アプリケーションは既存のクローンエンジンに依存しています。インスタンス間でのデータクローンの統一されたアドミンエクスペリエンスと強化された可視性を提供します。クローンアドミンコンソール は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの クローンアドミンコンソール の特長

- クローンアドミンコンソールをバックアップするときは、新しいバックアップを使用すると、バックアップがより迅速に実行されます。
- クローンの作成フォームに追加されたクローンプリザーバーのガイダンスを確認して、クローンプリザーバーの使用方法を理解してください。

詳細については、「[Clone Admin Console](#)」を参照してください。

i 重要:

クローンアドミンコンソール は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

ターゲットインスタンスモダリティ

クローンを要求して、本番インスタンスから非本番インスタンスにデータをコピーしたり、非本番インスタンス間でデータをコピーしたりします。[クローン要求ターゲットインスタンス (**clone request target instance**)] フィールドの [インスタンスを追加 (**Add an instance**)] オプションを使用すると、フォームから離れずにクローンを要求できます。

別のクローンと同じバックアップの使用

バックアッププロセスを高速化するためにバックアップオプションを選択する場合は、別のクローンからのバックアップを使用します。バックアップが存在しなくなった場合は、代わりにオンデマンドバックアップがトリガーされます。

クローンストレージ

従来のクローンと新しいクローンは別々に保存されます。クローンアドミンコンソールを介して要求したクローンは、新しいテーブルに保存され、新しいコンソール内に表示されます。従来のクローンはクローンアドミンコンソールに表示されません。従来の [クローンを要求] ページから開始されたクローンは、従来のクローン履歴テーブルに保存されます。

UI の変更

新しいクローンプリザーバーの作成

[新しいクローンデータプリザーバーの作成 (Create New Clone Data Preserver)] ページで、プリザーバーを使用している場合のクローン期間の影響をメッセージが通知するようになりました。また、このメッセージは、条件を使用して必要なデータのみを保持することを検討するように指示します。

カレンダータイムスロットのスケジュール

[クローンの要求] ページで、利用可能なタイムスロットがスケジュールカレンダーに追加されました。

クローン期間

クローン期間のタイムスタンプが正しく表示されるようになりました。

日付とタイムスタンプ

クローンの日付とタイムスタンプがシステムの日付と時刻の形式になりました。

クローン完了の進捗状況バー

クローンステータスページのクローン完了の進捗状況バーが更新され、精度が向上しました。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

システムクローン

ServiceNow システムクローン アプリケーションを使用して、データベース内のすべてのものを、あるインスタンスから別のインスタンスにコピーします。

Core Now Platform リリースノート

ServiceNow Core Now Platform は、Now Platform のアプリケーションやその他の部分に機能を提供します。Core Now Platform は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Core Now Platform の特長

- 任意のサーバー側スクリプトで ECMAScript 2021 (ES12) 機能を使用します。
- TinyMCE の V4 から V6.8.3 へのアップグレードには、書式設定オプションと編集機能が拡張されているほか、ユーザーがニーズに合わせてコンテンツを書式設定できるようにする拡張機能が含まれています。
- テーブルに新しい列を追加する代わりに、複数の属性とその値を 1 つの列にキャプチャします。
- 新しい自動ジョブスケジューリング機能と、イベント処理のためのロールバックおよび構成の取得機能を体験してください。

詳細については、「[Administer the ServiceNow AI Platform](#)」を参照してください。

i 重要:

ログエクスポートサービス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能**属性を格納するための動的スキーマ**

属性とその値の構造化されたグループを作成し、動的な属性ストアフィールドに保存します。

サーバー側スクリプトでの ECMAScript 2021 (ES12) 機能の使用

ES5 標準モードまたは互換モードを使用するアプリケーションの個々のスクリプトで、ECMAScript 2021 (ES12) モードでサポートされている最新の JavaScript 機能を使用します。スクリプトのレコードから、**[ECMAScript 2021 (ES12) モードをオンにする]** を選択します。

ジョブの自動スケジューリングとジョブの手動スケールリング

Xanadu リリース以降、キュー登録を使用した自動ジョブスケジューリングを選択できます。新しいイベントフォームでキューを選択します。アドミンは、[キューの詳細] フォームで必要に応じてスケールアップまたはスケールダウンすることで、キューレベルで実行されるジョブの数を手動で定義することもできます。

既存のシステムイベントアプリケーションのメッセージ処理フレームワークへの移行

既存のシステムイベントキューをメッセージ処理フレームワークに移行します。キューを以前の構成にロールバックすることもできます。

ジオポイント関数

経度と緯度の列をジオポイントフィールドに変換します。ジオポイントフィールドまたは有効な数値や列を、緯度と経度の列または値に変換します。

システムイベントとスケジュール済みジョブの機能拡張

処理フレームワークのキューに関連付けられているジョブの数を示すシステムイベントダッシュボードの新しい [アクティブジョブ] タイルを試してください。[スケジュール済みジョブ] ダッシュボードの新しい [スタックしたジョブ (**Stuck Jobs**)] および [永続的エラージョブ (**Permanent Error Jobs**)] タイルを使用して、完了したジョブの詳細を確認することもできます。

このリリースでの変更**TinyMCE のアップグレード**

HTML エディターフィールドで、TinyMCE のアップグレードバージョンが使用されるようになりました。TinyMCE が v4 から v6.8.3 にアップグレードされました。このアップグレードでは、テーブル機能が強化されているだけでなく、アコーディオン、辞書属性によるカスタムスタイルの追加、テキストメニューバーの有効化/無効化、強化されたパワーペーストなどの書式設定および編集機能が強化されています。これらの機能拡張により、ユーザーはニーズに合わせてコンテンツをフォーマットできます。サポートされているプラグインをシステムプロパティ **glide.ui.html.editor.enabled_plugins** に追加し、サポートされているツールバーオプションをシステムプロパティ **glide.ui.html.editor.toolbar** に追加して、必要に応じてエディターを設定します。アップグレードには、新しいバージョンの構成をサポートするためのプラグイン名、ツールバー名、および新しいシステムプロパティの変更が含まれています。

ビジネスカレンダーの機能拡張

ビジネスカレンダーの機能拡張には、ビジネスカレンダーのスパンとその名前 (グローバルアプリケーションとスコープ対象のアプリケーションの両方でアクセス可能) の作

成、カレンダータイプと呼ばれる新しいカレンダーフィールドの追加、類似するカレンダー名により簡単な区別などの機能が含まれます。

REST 要求の送信 - 受信テストステップは相互認証をサポート

X.509 証明書を選択して、**[REST 要求の送信 - 受信]** テストステップで相互認証を使用します。

GraphQL API パスに ACL を適用する

[パス **ACL** の深さ] フィールドで、ACL を適用する GraphQL API のレベルを指定します。

REST および SOAP API アナリティクスダッシュボードの移行先 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス

REST および SOAP API アナリティクスダッシュボードは、コア UI から プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されました。からダッシュボードにアクセスする すべて > **System Web Services** > アナリティクス使用率の概要. アップグレード後も、コア UI ダッシュボードは引き続き すべて > **System Web Services**.

CORS 要求の HTTP ヘッダーへのアクセスの制御

[Access-Control-Allow-Credentials] フィールドを使用した要求で認証情報を許可するかどうか、**[Access-Control-Allow-Headers]** フィールドを使用した要求でどの HTTP ヘッダーを許可するかを構成します。

CORS ルールを非アクティブ化する

[アクティブ] フィールドで CORS ルール [sys_cors_rule] をオンまたはオフにします。

プラットフォーム上の JavaScript エンジンの Rhino 更新

Rhino が更新され、プラットフォーム上の JavaScript エンジンのパフォーマンスが向上しました。

廃止

- システムパフォーマンスダッシュボードは、Xanadu リリースをもって廃止されました。Impact Instance Observer  は、システムパフォーマンスを向上させる強力なソリューションを提供します。詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。
- Xanadu リリース以降、Application Insights は将来の廃止に備えて準備されます。これは ServiceNow Store で非表示になり、利用できなくなりますが、引き続きサポートされます。代わりに、Impact Instance Observer  がシステムパフォーマンスを向上させるための強力なソリューションを提供します。詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] 」の記事を参照してください。

アクティベーション情報

Now Platform はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アクセシビリティ情報

TinyMCE のアップグレード

TinyMCE を v5 から v6.8.3 にアップグレードすることで、いくつかのアクセシビリティの不具合を解決しました。Tiny MCE は、HTML エディターフィールドで使用されるオープンソースのリッチテキストエディターです。

アドミンセンターとアダプションブループリントのアクセシビリティの機能拡張

Xanadu の一部として、アドミンセンターおよびアダプションブループリントで、次のペルソナのアクセシビリティの問題が修正されました。

- persona_low_vision
- persona_no_vision
- persona_color
- persona_auditory
- persona_speech
- persona_cognitive
- persona_physical

データ管理 リリースノート

ServiceNow データ管理機能を使用すると、インスタンス内のデータの増加を管理できます。データ管理機能は Xanadu リリースで機能拡張および更新されました。

Xanadu リリースでのデータ管理の特長

- データ管理ポリシーページから、テーブルのすべてのデータ管理ルールを定義してアクセスします。
- 1 つのテーブルに複数のアーカイブルールを作成します。
- データ管理ポリシーページから、アーカイブされたレコードを削除するための破棄ルールにアクセスして設定します。
- テーブルクリーナーを使用してパフォーマンスを向上させながら、古いレコードを大規模に削除します。
- インスタンスのストレージ消費量のサマリーを表示します。

詳細については、「[Data Management](#)」を参照してください。

データ管理 を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

アップグレード前にアーカイブルールまたはテーブルクリーナルールが設定されているテーブルごとに、データ管理ポリシーレコードが自動的に作成されます。

Xanadu リリースの新機能

データ管理ポリシー

テーブルに設定したデータ管理ルールの全体像にアクセスします。

1 つのテーブルでの複数のアーカイブルールのサポート

データ管理ポリシーを使用して、単一のテーブルに対して複数のアーカイブルールを作成します。

テーブルクリーナーのパフォーマンスの改善

テーブルクリーナーを使用して、古いレコードをより効率的に自動的に削除します。

データ管理使用状況ダッシュボード

インスタンスのストレージ消費量のサマリーを表示し、インスタンスで最も多くのデータを消費している上位 10 個のテーブルを監視します。

アクティベーション情報

データ管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Table administration

Now Platform 上のテーブルとレコードを使用した大量のデータの操作について学習します。

動的翻訳リリースノート

ServiceNow 動的翻訳アプリケーションは、動的翻訳で構成された翻訳サービスプロバイダーを使用して、ユーザーが生成したテキストの翻訳を可能にします。動的翻訳は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの動的翻訳の特長

- IBM Watson Translator サービススポークは、2024 年にサービスを廃止すると発表しました。
- Microsoft Azure Translator サービスでは、翻訳要求の最大長が 10,000 文字から 50,000 文字に増加しました。

詳細については、「[Dynamic Translation !\[\]\(c50c8b7b2cc2cf9ff925edec0ee94c0d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

IBM は、IBM Watson Translator サービスを廃止すると発表しました。Xanadu リリースでは、この統合が ServiceNow Store では利用できなくなりました。既存のスポークがインストールされているお客様は、IBM によって取り消されるまで、翻訳者サービスを引き続き使用できます。

このリリースでの変更

MS 翻訳要求の最大文字数が増加しました

Microsoft Azure Translator サービスのユーザーの場合：翻訳要求の最大文字数制限が 50,000 文字に増加しました。検出要求の最大文字数は 50,000 文字のままです。

廃止

- IBM は、すべての地域で IBM Cloud 向けの IBM Watson Translator サービスを廃止すると発表しました。2023 年 6 月 10 日をもって、新規顧客向けの [Language Translator] タイルは IBM クラウドプラットフォームから削除され、既存の顧客しかこの製品にアクセスできなくなります。2024 年 6 月 10 日をもって、サービスのサポート終了日となります。2024 年 12 月 10 日をもって、サービスは完全に廃止され、どの顧客にも利用できなくなります。詳細については、「[!\[\]\(c25df6c57dccd81095d14ed16c5e6013_img.jpg\)](https://cloud.ibm.com/docs/language-translator?topic=language-translator-release-notes)」を参照してください。
- Xanadu リリースでは、IBM Watson Translator サービス統合は ServiceNow Store で使用できなくなりました。既存のスポークがインストールされているお客様は、IBM によって取り消されるまで、翻訳者サービスを引き続き使用できます。

アクティベーション情報

動的翻訳は、動的翻訳プラグイン (com.glide.dynamic_translation) を有効にすると利用できる Now Platform 機能です。詳細については、「[Activate Dynamic Translation !\[\]\(166772600a13ad0a433053f90fe45649_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Localization Framework

ローカリゼーションフレームワークアプリケーションは、構成可能なワークフローを通じて、プラットフォーム全体でアーティファクトの翻訳プロセスを標準化して拡張します。

統合ハブ

ローカリゼーションフレームワークは ServiceNow [®] 統合ハブ スポークを使用して翻訳サービスプロバイダーに接続します。

ローカリゼーションフレームワーク リリースノート

ServiceNow [®] ローカリゼーションフレームワークアプリケーションは、構成可能なワークフローを通じて、プラットフォーム全体でアーティファクトの翻訳を可能にします。ローカリゼーションフレームワーク は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでのローカリゼーションフレームワークの特長

ローカリゼーションインサイトダッシュボードは、ネクストエクスペリエンス UI で利用できます。

詳細については、「[Localization Framework !\[\]\(4fe57c3593bf1b21d272ae7ac8dfaf77_img.jpg\)](#)」を参照してください。

UI の変更

Localization Insights dashboard

ローカリゼーションインサイトダッシュボードは、ネクストエクスペリエンス UI で利用できます。詳細については、「[Localization Insights dashboard !\[\]\(7d1d6890825e83a6a4a51febe2dcc7f3_img.jpg\)](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

ローカリゼーションフレームワークは、ローカリゼーションフレームワーク インストーラー (com.glide.localization_framework.installer) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Activate Localization Framework !\[\]\(b64b40baaee5acddc1eab8538ba84754_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

動的翻訳

インスタンス全体でユーザーが生成したテキストのライブ翻訳を有効にして、エージェントの生産性と言語間サポートを向上させます。

Notifications [®] リリースノート

ServiceNow Notifications アプリケーションを使用すると、重要なイベント、アクション、およびアラートに関するワークフローで、カスタム通知を作成、管理、および送信できます。Notifications は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの **Notifications** の特長

- 顧客が開始した受信メールから機密データを編集。
- メールアドレスの国際文字のサポート。
- システム通知のカテゴリ別にフィルタリングし、カスタム通知を検索。
- SMTP Sender ジョブを最適化して、送信メール配信を強化。
- RFC 5321 に従い、メールの再試行ロジックを変更して配信エクスペリエンスを向上。

詳細については、「[Notifications](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

機密データの編集

受信メールの機密データを編集します。

国際文字のサポート

メールアドレスの国際文字のサポートが追加されました。

UI の変更

検索ボタン

通知設定にカスタム通知用の検索ボタンが追加されました。

カテゴリフィルター

システム通知のカテゴリフィルターが通知設定に追加されました。

受信アクション

機密データの編集を有効にするためのチェックボックスが追加されました。

このリリースでの変更

通知設定の新しい検索とカテゴリフィルター

通知設定に、カスタム通知内を検索し、システム通知でカテゴリ別にフィルタリングする機能が含まれるようになりました。

メールの購読解除

メールヘッダーの登録解除機能を使用して、メールの登録を解除します。

言語設定

メール翻訳用にユーザーが設定した sys_user 言語設定に従います。

アクティベーション情報

Notifications はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アクセシビリティ情報

通知設定と詳細設定で、スクリーンリーダーのサポートが aria ラベルに拡張されました。このサポートにより、トグルボタンなどのボタンアクションの説明が提供されます。

サブスクリプション管理 リリースノート

ServiceNow サブスクリプション管理アプリケーションを使用すると、サブスクリプションを積極的に管理し、インスタンスでサブスクリプションの使用状況を監視できます。サブスクリプション管理は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの サブスクリプション管理 の特長

- 製品サブスクリプションの可視化とコントロールを実現します。
- サブスクリプションの使用率を最大化し、サブスクリプションのモニタリングにより十分な情報に基づいて将来の購入について決定を下すことができます。
- サブスクリプションの使用率と割り当てを経時的にトラッキングすることで、予期しないコストを回避します。

詳細については、「[Subscription Management](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Now Assist使用状況の監視

Now Assist エンタイトルメントのアカウントレベルの概要を表示し、インスタンス全体の Now Assist 使用状況を追跡します。

Now Assistクリエイターを監視する

Creator Plus エンタイトルメントのアカウントレベルの概要を表示し、インスタンス全体のトラックの割り当てを追跡します。

クラウド容量の監視

クラウド容量を監視し、アカウントに関連付けられているすべてのインスタンスのストレージ容量を追跡します。

アクティベーション情報

サブスクリプション管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アップグレードセンター リリースノート

ServiceNow アップグレードセンター アプリケーションはアップグレードの計画と管理に役立ちます。アップグレードセンター は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの アップグレードセンター の特長

- 入手可能なさまざまなリリースバージョンをアップグレードプレビューモジュールで確認できます。
- インスタンスを実際にアップグレードすることなく、アップグレードの状況に関するインサイトを得ます。
- アップグレードモニターモジュールで進行中のアップグレードのステータスを監視して最新のアップグレードの概要を表示できます。
- アップグレード履歴モジュールで過去のアップグレードをすべて表示できます。
- プランのアップグレード機能を使用して、アップグレードを加速します。

詳細については、「[Upgrade Center](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

アップグレードのリスクを管理するための UI メッセージ

ファイルの重大度に基づいてメタデータレコードを管理するための新しい UI メッセージが追加されました。

Default skipped rules

新しいデフォルトのスキップルールを使用して軋轢の原因となる構成メタデータタイプを自動的に保持し、アップグレード処理時間を短縮します。

アクティベーション情報

アップグレードセンター はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

Now Platform 機能リリースノート

Now Platform 機能は Xanadu リリースで機能拡張および更新されました。

System of Action が Now Platform 機能で提供するサービスを展開します。これらのオプション機能を有効にして設定し、カスタムビジネスロジックの作成、データの管理および保護、代替ユーザーインターフェイスの構築を行ないます。

高度な作業アサイン リリースノート

ServiceNow 高度な作業アサイン (AWA) アプリケーションを使用すると、エージェントの対応可能性、キャパシティ、スキル (オプション) に基づいて、作業アイテムがエージェントに自動でアサインされます。高度な作業アサイン は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 高度な作業アサイン の特長

- 外部ルーティング機能を使用して、サードパーティプロバイダーとの高度な作業アサイン統合を有効にします。
- 高度な作業アサインダッシュボードを ネクストエクスペリエンス に移動します。
- シンプルな外部ルーティング ATF ベースのテスト実装で、外部ルーティングテストツールプラグイン (com.glide.awa.external.test_tools) を定義しました。

詳細については、「[Advanced Work Assignment](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

External routing overview

更新されたアドミン UI を使用して、外部ルーティング機能を使用し、サードパーティの Contact Center-as-a-Service (CCaaS) プロバイダーと 高度な作業アサイン の統合を有効にします。

Migrating Advanced Work Assignment Dashboards

AWAダッシュボード (インタラクション、メッセージング、タスク、オペレーションの各ダッシュボード) を ネクストエクスペリエンス に移行します。

Define external routing test implementation

外部イベントに関する REST コールを受信して処理するために、簡素化された外部ルーティングプロバイダー ATF ベースのサンプル実装を使用して外部ルーティングテストツールプラグイン (com.glide.awa.external.test_tools) を定義しました。

サンプル実装のデモデータによって生成されたペイロードを調整して処理し、ATF ベースのツールを使用して、変更されたコンポーネントを検証します。

UI の変更

Enable external routing for queues

外部ブーリアン UI の可視化は、Advanced Work Assignment - External Routing Support プラグイン (com.glide.awa.external) で使用できるため、外部キューが Xanadu 以前に設定されているユーザーは、Xanadu へのアップグレード後にフィールドを表示できます。

アクティベーション情報

高度な作業アサインは、Glide Advanced Work Assignment プラグイン (com.glide.awa) をアクティブ化すると利用可能になる Now Platform の機能です。詳細については、「[Activate Advanced Work Assignment](#)」を参照してください。

インスタンスで外部ルーティング機能を使用するには、外部ルーティングサポートプラグイン (com.glide.awa-external) を有効にする必要があります。

ブラウザ要件

高度な作業アサインでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge-Chromium、または「[ブラウザサポート](#)」に記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Now Assist [®]

ServiceNow Now Assist は、会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率性を向上させるために設計された生成 AI を使用します。

ワークスペース [®]

ServiceNow ワークスペース アプリケーションは、エージェント、ケースマネージャー、ヘルプデスク担当者、その他マネージャーが、顧客の質問に回答し、顧客の問題を解決する際に役立ちます。

構成管理データベース (CMDB) リリースノート

ServiceNow CMDB アプリケーションは、組織のインフラストラクチャに関するデータを格納します。CMDB は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの CMDB の特長

- CMDB の健全性の構成と使用は、有用な分析データが簡素化され、全体的なヘルススコアなどの一部の概念が削除されたことで簡素化されました。
- CMDB 360 ダッシュボードのカバレッジチャートの新しいフィルタリングオプションは、分析に関心のあるクラスのみに制限しながら、チャートの計算に関連するパフォーマンスをより適切に管理するのに役立ちます。
- 一部の測定基準のパフォーマンス設定を構成して、*CI's Processed via IRE* や *Business Application with Application Service Relationship* などの測定基準を自動的に非アクティブ化するようにシステムをトリガーするなど、一部の測定基準のパフォーマンスへの影響を制限することで、CSDM および CMDB データ基盤ダッシュボードのパフォーマンスへの影響を制限します。
- CMDB 健全性ダッシュボードが、CMDB ワークスペースのネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスに実装されました。
- 識別ルールの [検索するテーブル] フィールドを現在のクラスの親クラスの 1 つに設定することで、CMDB の完全性を維持し、重複 CI が不必要に作成されないようにすることができます。

詳細については、「[Configuration Management !\[\]\(9c2e8d1b5bd77cb5c9f83b7a9cff79fd_img.jpg\)](#)」を参照してください。

CMDB を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

- Xanadu にアップグレードする前は、CMDB ワークスペースの管理ビューの [最近の CI アクティビティ] および [最近のアプリケーションサービスアクティビティ] タイルの [更新された CI] および [更新されたアプリケーションサービス] 傾向ラインが、システムの変更を正確に反映していない可能性があります。Xanadu および CMDB ワークスペースのバージョン 5.5、6.2、または 7.2 にアップグレードすると、これらの傾向ラインは、更新された CI と更新されたアプリケーションサービスのより正確な検出に反映されます。
- CMDB の健全性：

CMDB Health Dashboard - Relationship Compliance Processor または CMDB Health Dashboard - Relationship Score Calculation ダッシュボードジョブのいずれかがアクティブな場合、Xanadu へのアップグレード中にそのジョブは非アクティブ化されます。

アップグレードが完了したら、これらのジョブを再アクティブ化して、CI 関係のヘルスレポートを再開できます。他のすべての CMDB 健全性ダッシュボードジョブのアクティブ状態は保持されます。

100,000 を超える KPI または測定基準の失敗しきい値は、アップグレード中に 100,000 に設定されます。この上限は、多数の CI が指定された測定基準テストに失敗した場合に過剰な処理を避けるために適用されます。

- Xanadu にアップグレードすると、CI ダッシュボードのブックマークは機能しなくなります。「ページが見つかりません」というエラーメッセージが表示されます。CI の CMDB 健全性レポートを表示するには、CMDB ワークスペースで CI フォームを開きます。
- コア UI の従来のアプリケーションサービスダッシュボードは、Xanadu リリースではサポートされていません。アップグレード後も、以前に作成したブックマークを使用して、その従来のダッシュボードに引き続きアクセスできます。代わりに、CMDB ワークスペースのインサイトビューにある [アプリケーションサービス] タイルから CMDB ワークスペースのアプリケーションサービスダッシュボードにアクセスすることもできます。
- コア UI の CMDB 統合ダッシュボードは、Xanadu リリースではサポートされていません。アップグレード後も、以前に作成したブックマークを使用して、その従来のダッシュボードに引き続きアクセスできます。

アップグレードされたインスタンスの従来のダッシュボードにアクセスするには、すべて > セルフサービス > **Dashboards** (ダッシュボード) をクリックし、ダッシュボードを検索します。

Xanadu リリースの新機能

CMDB 健全性ダッシュボード

CMDB 健全性ダッシュボードは、UI ビルダー コンポーネントを使用して構築され、CMDB ワークスペースに完全に統合されました。いずれかのビューを選択すると、CMDB ワークスペースで開きます。健全性ダッシュボードは、ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスの最新のルックアンドフィールを備えています

CI 健全性は、CMDB ワークスペースの [CI 健全性] タイル内の CI フォームでレポートされるようになりました。

CSDM および CMDB Data Foundations ダッシュボード

バージョン 4.0 以降、CSDM および CMDB データ基盤ダッシュボードストアアプリは、UI ビルダー コンポーネントを使用して構築されています。また、CMDB ワークスペースの管理ビューにある管理ツールから CSDM データ基盤ダッシュボードにアクセスできるようになりました。

CMDB 統合ダッシュボード の ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイス

CMDB 統合ダッシュボードは、ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスを備えた最新のルックアンドフィールを備えています。Xanadu リリース以降、CMDB 統合ダッシュボードは自動的に ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスに移行されます。ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスの詳細については、「[Next Experience UI !\[\]\(0d5ec72f61334709c3fc9450209b754f_img.jpg\)](#)」を参照してください。

のクイックスタートテスト CMDB

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、CMDB が想定どおりに機能していることを確認します。CMDB をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

UI の変更

リレーションシップ健全性ダッシュボード

[リレーションシップ健全性] タブは、CMDB 健全性ダッシュボードで使用できなくなりました。代わりに、[クイックリンク] セクションの [リレーションシップ健全性ダッシュボード] リンクを選択して、CMDB ワークスペースのホームページからリレーションシップ健全性ダッシュボードにアクセスする必要があります。

アグリゲートされた関係性測定基準は、ダッシュボードに円グラフとして表示されます。

の設定と構成 CMDB 健全性

CMDB 健全性ダッシュボードの **[CMDB ヘルス設定]** ボタンは、CMDB の健全性関連のシステムプロパティ、スケジュール済みジョブ、および KPI と測定基準を構成するための [CMDB 健全性ダッシュボードのジョブ] タブに代わるものです。

CI 健全性レポート

- CI フォームの [CI 健全性] タイルが拡張され、CI の CMDB の健全性によって計算された KPI および測定基準のヘルススコアを持つウィジェットが含まれるようになりました。
- CI ダッシュボードが削除され、CI フォームの **[CMDB ワークスペースで開く]** ボタンが [ダッシュボード] ボタンに置き換わり、CMDB ワークスペースの CI 健全性レポートにアクセスします。この新しいボタンは、sn_cmdb_user ロールを持つユーザーのみが使用できます。

このリリースでの変更

CMDB Health

- CMDB の健全性の構成と使用は、全体的なヘルススコアなどの一部の概念が削除されたことで簡素化されています。
- 準拠 CI についてレポートする CMDB 健全性ダッシュボードのセクションは、注意が必要な非準拠 CI のレポートセクションと明確に分離されています。
- KPI および測定基準の失敗しきい値では、多数の CI が指定された測定基準テストに失敗した場合に過剰な処理が発生しないように、上限の 100,000 を強制します。
- CMDB 健全性ダッシュボードには、過度のエラーが原因でプロセスが停止した場合でも、収集された非準拠データが表示されるため、既に検出された特定のエラーを修正できます。
- CI 健全性レポートは、CMDB ワークスペースの CI フォームに統合されています。

CMDB ワークスペースストアアプリ

- **CMDB 360** :
 - CMDB ワークスペースの CMDB 360 ダッシュボードの範囲チャートに含まれるデータを、プリンシパルクラス設定によって、またはテーブルが CMDB 階層内にあるかどうかによってフィルタリングすることで、パフォーマンスを管理します。
 - クラスあたりのマルチソースレコード数の最大しきい値を設定し、そのしきい値を超えるクラスをテーブルで追跡して、それらのクラスが将来の CMDB 360 計算から除外されるようにすることで、CMDB 360 によって処理されるデータの範囲を管理します。この除外を上書きして、しきい値を超えた場合でも、選択したクラスを含めることができます。
- **データ認定**

CMDB ワークスペースでデータ認定タスクを確認するときは、シングルクリックでタスクに関連付けられたすべてのレコードを選択し、認定を一括で認定または不合格にします。

• の CI タイムライン CMDB ワークスペース

CMDB ワークスペースの CI 詳細ペインで CI タイムラインのロードに失敗した場合、表示されるエラーメッセージには、ベースシステムの CI タイムラインに移動するために選択できるリンクが含まれるようになりました。

CSDM および CMDB Data Foundations ダッシュボード

- *CIs Processed via IRE* や *Business Application with Application Service Relationship* などの一部の CMDB および CSDM 測定基準のパフォーマンスへの影響を制限するには、これらの測定基準を自動的に非アクティブ化するようにシステムをトリガーするための設定を調整します。
- CMDB のリストビューで [Updated] 列を表示して、現在と非現在の測定基準データを特定します。
- [Management view in CMDB Workspace](#) から CSDM データ基盤ダッシュボードにアクセスします。

IRE 識別ルールでの親クラスの選択

識別ルールの [検索するテーブル] フィールドを現在のクラスの親クラスの 1 つに設定することで、重複 CI が不必要に作成されないようにします。識別および調整 (IRE) が、ペイロード内の CI と一致する親クラス内の CI を識別すると、IRE は重複する CI を作成せずに、ペイロードの詳細でその CI を更新します。

の移行と継続的な同期の改善 CSDM ライフサイクルデータ

1 回限りの操作により資産テーブルと CI テーブルの CSDM ライフサイクル値が調整されます。最初の調整後、ビジネスルールを定期的なスケジュールで実行することにより、資産、CI、および IBI テーブルのライフサイクル値の調整された状態を維持できます。標準のライフサイクル値を使用すると、データの精度が大幅に向上し、多くの Now Platform アプリケーションの値を最適化できます。

アプリケーションサービスダッシュボード

アプリケーションサービスをフィルタリングするアプリケーションサービスダッシュボードの内部クエリで、アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] クラスのすべてのレコードだけでなく、*Service classification* の値が [アプリケーションサービス] であるレコードもチェックされるようになりました。

このリリースでの削除

- CMDB の健全性：
 - コア UI の CMDB 健全性ダッシュボードは、新しい Xanadu インスタンスには含まれません。アップグレードされたインスタンスでは、このダッシュボードは使用できますが、サポートされなくなりました。
 - CI ダッシュボードは、新しい Xanadu インスタンスには含まれません。アップグレードされたインスタンスでは、このダッシュボードは使用できますが、サポートされなくなりました。
 - CMDB ワークスペースの [CI 健全性] タイルから、不完全な属性と合計属性、非準拠リレーションシップと合計リレーションシップ、および古い関係と合計リレーションシップの各ウィジェットが削除されました。
 - 全体的なヘルススコア概念は削除され、CMDB 健全性ダッシュボードまたはビューには表示されなくなりました。
 - 健全性ステータスの範囲を指定する加重平均とスコアカードのしきい値概念が削除されました。

- メインの CMDB 健全性ダッシュボードの測定基準の棒グラフと、上位 10 件のインシデント、アラート、および変更ジェネレーターのタイルが削除されました。
- *CMDB Health Dashboard - Top Task Generating CIs Calculation* スケジュール済みジョブが削除されました。
- CSDM と CMDB データ基盤ダッシュボード：
 - [データ管理手法] 測定基準グループの [IRE で処理されない CI] にドリルダウンする場合、[レコードを表示] ボタンはサポートされていません。
 - [孤立 CI] 測定基準にドリルダウンすると、孤立 CI のリストビューのみがパフォーマンスアナリティクスの詳細なしで表示されます。

廃止

- Xanadu リリース以降、データ認定プラグイン (com.snc.certification_v2) は将来の廃止に備えて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。- [CMDB ワークスペースストアアプリ](#) は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。
- ServiceNow がホストする ExtraHop のサービスグラフコネクタは現在廃止されており、新しいアクティベーションのサポートや利用は終了しています。ExtraHop のサービスグラフコネクタは、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。

アクティベーション情報

CMDB はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

共通サービスデータモデル (CSDM)

共通サービスデータモデル (CSDM) (CSDM) は、CMDB 内のサービスモデリングに関する規範的なガイドラインを提供し、CMDB を使用するすべての ServiceNow 製品の標準となります。CSDM は、IT サービスや他の製品から CMDB にデータをマッピングするためのフレームワークを提供します。CSDM フレームワークに従うと、ServiceNow アプリケーションに必要なデータを適切な CMDB テーブルに正しくマッピングするのに役立ちます。

サービスグラフコネクタ

事前定義された ServiceNow サービスグラフ コネクタを使用して、Microsoft SCCM などのサードパーティアプリケーションから CMDB にデータをインポートします。さらに、[統合ハブ ETL](#)  ストアアプリを使用して、カスタム ETL 変換マップを作成および管理することで、整合性を損なうことなくサードパーティデータを CMDB に統合できます。

CMDB ワークスペース

CMDB ワークスペースストアアプリを使用して、CMDB を検索、探索し、インサイトを得ます。CMDB ワークスペース は、CMDB を一元的に操作できるストアアプリです。CMDB ワークスペースでは、CMDB に関連する健全性と最近のアクティビティを調査して、組織内のタスクをサポートするための各種 CMDB ダッシュボードとツールにアクセスできます。

ドキュメントサービス リリースノート

ServiceNow ドキュメントサービスアプリケーションは、ドキュメントの作成、メンテナンス、変換、および Microsoft SharePoint などのサードパーティとの統合など、ドキュメント管理に関連する幅広いサービスを提供します。ドキュメントサービスは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ドキュメントサービス の特長

- Microsoft OneDrive、Google ドライブ、Microsoft SharePoint などの外部クラウドプロバイダーとのドキュメント管理の統合により、コラボレーションを拡張し、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。
- Google ドライブ上の Google ドキュメントファイルの管理により、コラボレーションを強化します。
- ドキュメント内のデータの編集により機密情報を管理します。

詳細については、「[Document Services](#)」を参照してください。

i 重要:

マルチプロバイダードキュメントサービスフレームワーク は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

ドキュメント管理：外部コンテンツプロバイダーとの統合

Microsoft OneDrive、Microsoft SharePoint、または Google ドライブのドキュメントでコラボレーションを行います。

機密データの編集

構成可能なワークスペース用にドキュメント内の機密情報を編集します。

このリリースでの変更

Google ドライブ上の Google ドキュメントのファイル

マルチプロバイダードキュメントサービスフレームワーク を使用して、Google ドライブ上の Google ドキュメントファイルを管理します。

ドキュメントビューアーでのハイパーリンク、添付ファイル、デジタル署名のサポート

ドキュメントビューアーでは、ハイパーリンクの使用、PDF 添付ファイルのダウンロード、およびデジタル署名の表示がサポートされるようになりました。

DOCX から PDF への変換のためのアクセシビリティ機能

DOCX から PDF への変換にアクセシビリティサポートが追加されました。PDF アクセシビリティタグは、変換された PDF ドキュメントをスクリーンリーダーを使用してナビゲート、理解、および操作する視覚障がいがあるユーザーを支援するために利用できるようになりました。

アクティベーション情報

ドキュメントサービス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

ドキュメント管理は、ドキュメント管理プラグイン (com.snc.platform_document_management) を有効にすると利用できます。詳細については、「[Activate Document Management](#)」を参照してください。

Multi Provider Document Services Framework ServiceNow Store から要求することで、マルチプロバイダードキュメントサービスフレームワーク をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

DOCX から PDF へのドキュメント変換にアクセシビリティのサポートが追加されました。PDF アクセシビリティタグは、変換された PDF ドキュメントをスクリーンリーダーを使用してナビゲート、理解、および操作するユーザーを支援するために利用できるようになりました。

Hermes メッセージングサービス リリースノート

ServiceNow Hermes メッセージングサービス アプリケーションを使用すると、Apache Kafka 環境を ServiceNow インスタンスと統合できます。Hermes メッセージングサービス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Hermes メッセージングサービスの 特長

- ServiceNow インスタンスから Apache Kafka 環境にイベントを公開し、外部システムからの大量の Apache Kafka イベントを低レイテンシで使用します。
- 外部システムからのメッセージボリューム内のスパイクやバーストを効果的に処理して、インスタンスへのパフォーマンスへの影響を最小限に抑えます。
- Hermes 診断ツールを使用して、メッセージ配信の健全性とパフォーマンスを管理します。

詳細については、「[Hermes Messaging Service](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Hermes データスループットの監視

Hermes メトリクスダッシュボードを使用して、アプリケーション別のデータ使用量を監視し、トピック別のデータスループットを追跡します。

このリリースでの変更

複数のクラスターセット内のトピックの監視

Hermes トピックインスペクターモジュールでサービスグループを選択して、複数のクラスターセットからのメッセージを表示します。

複数のクラスターセットへの接続をテストする

Hermes 診断モジュールでサービスグループを選択して、インスタンスが複数のクラスターセットとの間でメッセージを送受信できることを確認します。

アクティベーション情報

Hermes メッセージングサービス は、ストリームコネクト プラグイン (com.glide.hub.flow_trigger.kafka または com.glide.hub.action_step.kafka) をアクティブ化するか、ログエクスポートサービス アプリケーションをインストールすると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Hermes Messaging Service activation](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Using Stream Connect for Apache Kafka

ワークフロースタジオを使用して ServiceNow インスタンスから Apache Kafka メッセージを生成し、そのメッセージを外部アプリケーションで消費します。外部アプリケーションから Apache Kafka メッセージを生成し、ストリームコネクタでさまざまなコンシューマーを使用してそのメッセージを ServiceNow インスタンスで消費することもできます。

Log Export Service (LES)

Hermes メッセージングサービスとログエクスポートサービスを使用して、レポート、監査、または規制の目的でログデータを外部データレイクに安全にエクスポートします。

Instance Data Replication

Xanadu リリースの前に作成したレプリケーションセットをアップグレードして Hermes メッセージングサービスを使用することで、インスタンスデータレプリケーション (IDR) のパフォーマンスと処理効率を向上させます。

ナレッジ管理 リリースノート

ServiceNow ナレッジ管理アプリケーションを使用すると、セルフヘルプ、トラブルシューティング、およびタスク解決のための情報を提供するナレッジ記事を共有できます。ナレッジ管理は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ナレッジ管理 の特長

- ナレッジ記事エディターが最新バージョンの TinyMCE に更新され、Power Paste、Anchor、Insert Accordion などの複数の機能が強化されています。これらの機能により、記事作成者の書式設定エクスペリエンスが向上します。
- ナレッジ管理詳細プラグインは、新しい顧客にはデフォルトでインストールされるようになりました。既存の顧客には、プラグインを手動でインストールするオプションがあります。このプラグインは、ナレッジの作成と管理を強化する、記事のバージョンニング、記事のサブスクリプション、記事テンプレート、記事の品質インデックスなどの機能をアクティブ化します。
- 新しいナレッジ管理概要ダッシュボードには、今後 90 日以内に期限切れになる記事のリストなど、役立つレポートが表示されます。このレポートは、作成者が記事をレビューし、記事を廃止するか再公開するかをタイムリーに決定するのに役立ちます。
- AI 検索は、最適化され、パーソナライズされた関連性の高い検索結果を提供するために、ナレッジ管理 サービスポータルホームページのナレッジベース記事に対して有効になっています。
- ナレッジ管理で Now Assist を使用して、類似のケースの選択からナレッジベース記事を生成し、単一の記事で関連ケースの懸念事項に対処します。

詳細については、「[Knowledge Management](#) 

Xanadu リリースの新機能

New (新規) ナレッジ管理 ダッシュボード

ナレッジ管理ダッシュボードは新しいエクスペリエンスとして利用できます。今後 90 日以内に有効期限が切れる記事は、新しいダッシュボードで新しいレポートとして利用できます。このレポートは、作成者が記事をレビューし、記事を廃止するか再公開するかをタイムリーに決定するのに役立ちます。

の Now Assist ナレッジ 複数のケースから記事を生成

作成者とエージェントは、Now Assist を使用した類似ケースに基づいて、ワークスペースまたはクラシック環境からナレッジ記事のドラフトをすぐに作成できます。ナレッジ記事は、類似ケースのリストまたはケース番号を選択するか、ケースに固有のキーワードを検索することによって生成できます。

このリリースでの変更

有効化 AI 検索 上の ナレッジ管理 サービスポータル

ナレッジ管理 サービスポータルは現在、AI 検索を提供しています。ナレッジ管理 サービスポータルホームページでナレッジベース記事を選択すると、それぞれの記事の AI を利用した検索結果が表示されます。

デフォルトの高度なプラグインのインストール

ナレッジ管理詳細プラグインが利用可能になり、新規の顧客にはデフォルトでインストールされます。既存の顧客には、この機能を有効にするオプションがあります。このプラグインは、ナレッジの作成と管理を強化する、記事のバージョンング、記事のサブスクリプション、記事テンプレート、記事の品質インデックスなどの機能をアクティブ化します。

アクティベーション情報

ナレッジ管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

CSM 構成可能ワークスペース

ServiceNow CSM 構成可能ワークスペースと ServiceNow CSM エージェントワークスペースにより、カスタマーサービスエージェントが、ケースに添付されたナレッジ記事を読み取り、ケースをより効率的に解決するために役立つ追加情報を取得できます。

Field Service Management (フィールドサービス管理 (FSM))

フィールドサービスエージェントが、オフライン中に Now Mobile エージェントアプリを通じて作業指示タスクに添付されているナレッジ記事を読めるようにします。詳細については、「[Access the information you need using the Now Mobile Agent application !\[\]\(4b7a79268f6ba26c1471d4232fffa85a_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Communities

コミュニティの投稿からナレッジ情報を収集します。質問に関する構造化されていないディスカッションから構造化されたナレッジ記事を作成します。

問題管理

問題フォームから生成された情報から、同様の問題の解決に役立つ構造化されたナレッジ記事を作成します。

インシデント管理

インシデントからナレッジ記事を検索して問題を解決します。記事のある問題にフラグを立て、インシデントから記事を編集し、インシデントの解決中にナレッジギャップを報告します。記事テンプレートを使用してインシデントからナレッジ記事を作成して、暗黙の知識を形にします。

従業員サービス管理 (ESM)

HR ナレッジ管理でナレッジブロックを使用すると、ライターによる HR ナレッジ作成とリーダーによるナレッジ利用が簡単になります。HR エージェントが、[HR ケースのデマンドに関するインサイト] ダッシュボードを使用して、ナレッジの範囲が不十分なケースを特定し、ナレッジギャップを報告できるようにします。詳細については、「[\[人事ケースのデマンドに関するインサイト\] ダッシュボード !\[\]\(5a351309c3b87e4420622c1f0e57efc0_img.jpg\)](#)」を参照してください。

MID サーバー リリースノート

ServiceNow MID サーバー アプリケーションは、ServiceNow インスタンスと外部アプリケーション、データソース、およびサービス間の通信とデータ転送を可能にします。MID サーバー は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの MID サーバー の特長

- Azure Key Vault を使用して、インスタンスに認証情報を保存せずに他のアプリケーションを実行します。
- MID サーバー ログファイルの圧縮をサポートします。

詳細については、「[MID Server](#)」を参照してください。

MID サーバー を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

最新の MID サーバー システム要件については、「[MID サーバーのシステム要件](#)」を参照してください。サポートされている JRE の最小バージョンは 11.0.9 で、推奨バージョンは 11.0.16.1 です。

独自の JRE をインストールしている場合、サポートされている JRE を MID サーバーが使用することを検証するために、アップグレードプロセスでは次のアクションが実行されます。

- アップグレードの際に MID サーバーがサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスで JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。
- サポートされている JRE が MID サーバーホストで実行されている場合、アップグレードされた MID サーバーではそのバージョンが使用されます。

自動アップグレードを行なうには、すべての MID サーバーホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、システムが管理する方法をお読みください。 [MID サーバー 設定してください](#)。

実行可能ファイルパスに従って許可される Windows MID サーバーサービスは 1 件のみです。アップグレードした Windows MID サーバーに同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。「」を参照してください。 [MID サーバー 起動に失敗](#)。詳細を参照します。

MID サーバーのアップグレードについて詳しくは、次のトピックを参照してください。

- [MID サーバー アップグレード前のチェック](#)：実際のアップグレードの前に、システム上の MID サーバー のアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明します。
- [のアップグレード MID サーバー 手動](#)：MID サーバー を手動でアップグレードする方法について説明します。

Xanadu リリースの新機能

MID サーバー Azure Key Vault のサポート

MID サーバー と Azure Key Vault との統合により、インスタンスに認証情報を保存せずに、オーケストレーション、ディスカバリー、サービスマッピングを実行することができます。

このリリースでの変更

MID サーバー ログの機能拡張

MID サーバー ログファイルの圧縮をサポートします。新しいログファイルハンドラーの設定は、インスタンスの MID サーバープロパティとして使用できます。ベースシステムでは圧縮モードが有効になっていません。

アクティベーション情報

MID サーバー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

ディスカバリー

ディスカバリー は MID サーバー を使用して、お使いの環境で実行されているデバイスとアプリケーションに関する情報を CMDB に返すプローブとパターンを起動します。ディスカバリースケジュールは、設定された機能と割り当てられた IP 範囲に基づいて適切な MID サーバー を選択します。

オーケストレーション

オーケストレーションは MID サーバーを使用して内部および外部システムで作業を行います。オーケストレーションは、使用できる機能とアプリケーションに基づいて MID サーバーを選択します。

サービスマッピング

サービスマッピング は MID サーバー を使用して、お使いの環境で実行されているビジネスサービスに関する情報を返すパターンを起動します。

イベント管理

イベント管理 は MID サーバー を使用して、イベントを受信して処理し、根本原因分析 (RCA) 用のデータを収集し、SNMP トラップを収集します。

クラウド管理

クラウド管理 は MID サーバー を使用して VMware イベントを収集し、処理します。

オペレーショナルインテリジェンス

オペレーショナルインテリジェンス は MID サーバー クラスターを使用して、外部データソースから運用評価指標データをキャプチャし、例外がないかどうかを分析します。

ヘルスログアナリティクス

ヘルスログアナリティクス は MID サーバー を使用してインスタンスへのログデータストリーミングを収集し、問題の根本原因を特定するのに役立ちます。

通知 リリースノート

ServiceNow 通知 アプリケーションは、Now Platform で顧客と通信するための SMS および音声チャンネルのサポートを提供します。通知 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 通知 の特長

Twilio が ServiceNow インスタンスから切断されたときに、Twilio メッセージングレコードを削除または保持する柔軟性を提供します。

詳細については、「[Notify !\[\]\(a8ff699ced33317c53c86f9bf3171905_img.jpg\)](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

Notify Twilio Direct driver

Twilio メッセージングサービス が ServiceNow インスタンスから切断された場合、データ管理およびセキュリティ保持ポリシーに従ってメッセージングレコードを削除するか、将来の参照のためにレコードを保持するかを選択できます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「[Behavior of Default Messaging Service when connecting to Twilio from ServiceNow instance \[KB1644265\]](#) (ServiceNow インスタンスから Twilio に接続するときのデフォルトのメッセージングサービスの動作)」を参照してください。

アクティベーション情報

通知 は、通知 (com.snc.notify) プラグインをアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Notify](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Notify connector for Microsoft Teams

Microsoft Teams 用通知コネクタが、インシデントやタスクなどの任意のレコードから Microsoft Teams 会議を直接管理および開始できるようにします。

パスワードリセット リリースノート

ServiceNow パスワードリセット アプリケーションを使用すると、エンドユーザーはセルフサービスを使用して、またはサービスデスクエージェントのサポートを受けて、パスワードをリセットして変更できます。パスワードリセット は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの パスワードリセット の特長

通知メールで指定された パスワードリセット URL の有効期間を制御します。

詳細については、「[Password Reset](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

パスワードリセットのセキュリティ URL の強化

`glide.pwd_reset.onetime.token.validity` プロパティを設定して、パスワードリセット URL の有効期限を制御します。デフォルトでは、URL は 1 時間有効です。

アクティベーション情報

パスワードリセット はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

サービスカタログ リリースノート

ServiceNow サービスカタログ アプリケーションは、組織内の部門が提供する利用可能なサービスと製品の要求者ビューを提供します。サービスカタログ は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの サービスカタログ の特長

- 仮想エージェントの会話でカタログアイテムフォームにインラインで入力します。
- ユーザーがサービスカタログのゼロトラストアクセス (ZTA) セキュリティモデルのサポートを体験できるようにします。
- 人気のあるアイテムウィジェットで人気のあるカタログアイテムのロードを高速化します。
- サードパーティ Web サイトにカタログアイテムを埋め込みます。

詳細については、「[Service Catalog](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

でのカタログアイテムのインライン表示タイプのサポートの追加 仮想エージェント

自然言語理解 (NLU) を利用した仮想エージェントでカタログアイテムフォームにインラインで入力します。

たとえば、インライン表示タイプとマークされたカタログアイテムを要求しているときに、要求者は仮想エージェントの会話内でアイテムとそのオプションを入力できます。

アクティベーション情報

サービスカタログ はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Now Assist in Catalog Builder

カタログビルダーで ServiceNow Now Assist を使用して、テキスト入力によりカタログビルダーで任意のカタログアイテムを作成します。

Catalog Conversational Coverage

ServiceNow カatalog会話型カバー範囲では、会話型および非会話型カタログアイテムの大まかな概要を表示するダッシュボードを提供しています。

Employee Center

ServiceNow 従業員センター ポータルは、標準的な複数部門の、サービスデリバリーと従業員のエンゲージメントのための動的なポータルです。

Zero Trust Access

Zero Trust Access (ZTA) は、デフォルトで信頼できるユーザーまたはデバイスがないことを前提とするセキュリティモデルです。

スキル管理 リリースノート

ServiceNow スキル管理 アプリケーションを使用すると、組織に必要なスキルを評価し、ギャップを特定し、チームの効果的な雇用またはトレーニング計画を実装できます。スキル管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの スキル管理 の特長

- 直感的な [Next Experience UI](#) を使用してスキルダッシュボードを分析します。
- スキル管理 で多言語機能を使用して、スキル名とその説明を希望する言語に翻訳できるようにします。

詳細については、「[Skills Management](#)」を参照してください。

スキル管理 を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

スキルダッシュボードは、Xanadu リリースで [Next Experience UI](#) に自動的に移行されます。アップグレードすると、[Next Experience UI](#) のスキルダッシュボードに自動的にアクセスできるようになります。

Xanadu リリースの新機能

でスキル管理ダッシュボードを使用する ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェース

ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスを使用して、傾向を分析し、組織のスキルギャップを評価します。

の多言語機能 スキル管理

スキル [cmn_skill] テーブルの翻訳されたテキストデータタイプをサポートする次のフィールドを使用して、スキル名と説明を翻訳します。

- スキル名を表示：[名前] フィールドの対応する値を自動入力します。
- [説明]

UI の変更

ネクストエクスペリエンススキルダッシュボードを使用してスキルを分析する

ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスを使用して、チームのスキルを分析します。ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスの詳細については、「[Next Experience UI](#)」を参照してください。

アクティブ化情報

スキル管理 は スキル管理 (com.snc.skills_management) プラグインをアクティブ化すると利用可能になります。詳細については、「[Skills Management の有効化](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Coaching

ServiceNow コーチング を使用してチームのパフォーマンスを監視し、従業員にスキルセットを向上させるよう指導します。

Workforce Optimization for ITSM

ITSM のワークフォース最適化 を使用すると、チームのスキルとスケジュールを効率的に管理し、作業割り当てをチームにルーティングし、チームのパフォーマンスを監視できます。

Now Platform セキュリティリリースノート

Xanadu リリースでの Now Platform セキュリティ製品の機能拡張と更新について説明します。

Now Platform セキュリティを使用して、インスタンスの保護、データの暗号化、ユーザーの認証、およびアプリケーションセキュリティ標準に基づく現在のコンプライアンスレベルの表示を行います。

認証 リリースノート

ServiceNow 認証 アプリケーションは、ユーザーの ID を検証できる多くの認証メカニズムをサポートしています。認証 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 認証 の特長

- 認証アプリのセットアップを必要とせずに、FIDO2 認証システム、パスキー、生体認証装置、ハードウェアセキュリティキーを多要素認証 (MFA) 要素として使用します。

詳細については、「[認証](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

マルチファクター認証 (MFA)

認証アプリのセットアップを必要とせずに、FIDO2 認証システム、パスキー、生体認証装置、ハードウェアセキュリティキーを多要素認証 (MFA) 要素として使用します。

廃止

- MultiSSO v1 プラグインは廃止されました。MultiSSO v1 から MultiSSO v2 にアップグレードしてください。MultiSSO v2 にアップグレードする方法の詳細については、Now Support ナレッジベースのナレッジ記事「[MultiSSO v2 upgrade instructions \(MultiSSO v2 のアップグレード手順\) \[KB9756504\]](#)」を参照してください。
- SAML 1.1 および SAML 1.1 シングルサインオン - Update 1 プラグインは廃止されました。SAML ベースの ID プロバイダー (IdP) は既に SAML 2.0 に移行されています。SAML 2.0 を使用するには、MultiSSO v2 プラグインをアクティブ化し、ID プロバイダーを設定する必要があります。
- OpenID SSO プラグインは廃止されました。OpenID Connect (OIDC) を使用するには、MultiSSO v2 をアクティブ化し、OIDC ベースの ID プロバイダーを設定する必要があります。

アクティベーション情報

認証 はデフォルトでアクティブ化される Now Platform 製品です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

プラットフォームセキュリティ

プラットフォームセキュリティは Now Platform のすべてのレベルに組み込まれています。組織に適したセキュリティ機能を実装してください。失敗したログイン、暗号化されたパスワード保護、アクセス制御ルール、および監査ログを管理します。

暗号化キー管理 リリースノート

ServiceNow 暗号化キー管理 アプリケーションを使用すると、暗号化、厳密に制御されたキーアクセス、米国国立標準技術研究所 (NIST) 800-57 ベースのキーライフサイクル管理、および FIPS 140-2-L3 キー保護を使用してデータを保護できます。暗号化キー管理は、このリリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 暗号化キー管理 の特長

- コード署名の改善されたアクティベーションプロセスの使用を開始します。新規コード署名 UI ページを使用すると、より迅速で効率的なアクティベーションを行うことができます。
- 新しい列レベル暗号化 API、ロール、および管理機能を使用して、列レベル暗号化を管理します。列レベル暗号化のログ記録が拡張され、読みやすさが向上しました。
- 新しい [すべてダウンロード] ボタンを使用して、暗号化されたすべての添付ファイルを zip ファイルとしてダウンロードします。

詳細については、「[Key Management Framework](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

コード署名のロールと管理機能に利用可能な新しいプラグイン

新しいロールと管理機能にアクセスするには、プラグインを有効にします。新しいプラグインは、署名移行ジョブ、新しいコード署名ロール、および新しいコード署名管理ページを作成します。

このリリースでの変更

コード署名要件の変更

Root of Trust に関するセキュリティ向上の一環として、スクリプトと添付ファイルレコードの署名は、信頼できる非本番インスタンスで実行するか、スタンドアロンの署名ツールを使用して行う必要があります。ただし、公証は例外で、保護された本番インスタンスで引き続き実行できます。

コード署名スタンドアロン署名ツールの拡張要求

コード署名の更新により、アドミニストレータは、キーストア、署名レコード、およびローカルシステムの外部で署名されるレコードを操作できます。

コード署名のアクティベーションプロセスの改善

アクティベーションプロセスを簡素化するように設計された新しい UI ページでコード署名をアクティブ化します。

複数の添付ファイルの [すべてダウンロード] ボタンは、エッジ暗号化が有効になっている場合に使用できます

[すべてダウンロード] 機能を使用することで、エッジ暗号化を有効にしたときに、複数のドキュメントを zip ファイルにダウンロードできるようになりました。

エッジ暗号化 jRobin ダッシュボードがネクストエクスペリエンスに移行されました

廃止された jRobin フレームワークから移行されたダッシュボードのトラブルシューティングとパフォーマンスを表示します。これらのダッシュボードには、以前のバージョンで利用可能だったものと同じ情報が表示されます。

列レベル暗号化エンタープライズは、購入後にアドミニストレータがインストール可能

列レベル暗号化エンタープライズを購入した後、通常、アドミニストレータはテクニカルサポートを必要とせずに製品をアクティブ化できます。

列レベル暗号化での完全な文字列 UTF-8 のサポート

CLE は、絵文字を含む UTF-8 文字の全範囲の暗号化と復号化をサポートしています。

列レベル暗号化ログの読みやすさを改善

改善されたシステム、ノード、アプリケーション、および監査ログにより、アドミニストレータは CLE または CLEE 実装の分析とトラブルシューティングを行うことができます。

アクティベーション情報

Platform Encryption サブスクリプションバンドルは、列レベル暗号化エンタープライズ、クラウド暗号化、およびデータベース暗号化を含む、商用グループエンタイトルメントです。

列レベル暗号化エンタープライズ は 列レベル暗号化 の無制限ライセンスです。Enterprise プラグインは、com.glide.now.platform.encryption プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[暗号化とキー管理のサブスクリプションバンドル !\[\]\(291e070cef6c4d5e78fefe4696ef53be_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

暗号化とキー管理

暗号化は、プレーンテキストを暗号テキストに変換する暗号化手順であり、意図した受信者以外の人物がそのデータを読み取ることを防止するために役立ちます。

キー管理フレームワーク

キー管理フレームワークを使用すると、インスタンスでの暗号化操作の実行方法を完全にカスタマイズして管理できます。

コード署名

コード署名は、データの信頼性と整合性を確認するために後でチェックされるデータのデジタル署名を作成します。コード署名は、ボルトのコンポーネントとしてライセンスされるモジュールです。

Edge Encryption

エッジ暗号化は、社内の機密データを暗号化し (送信中に暗号化)、インターネット経由でインスタンスに送信します。インスタンスでは保存時もデータは暗号化されたままです。

Cloud Encryption with Key Management

クラウド暗号化は、拡張キー管理とともに、ブロック暗号化を使用したデータベースの暗号化ストレージを提供します。クラウド暗号化は、Platform Encryption サブスクリプションバンドルで使用できます。

ID リリースノート

ServiceNow ID アプリケーションは、ユーザーの ID を検証できる ID メカニズムをサポートしています。ID は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ID の特長

- ServiceNow アクセスアナライザー V3 ツールの下にあるアクセスシミュレーターモジュールを使用して、ユーザーアクセスをシミュレートし、ユーザーに追加のアクセスを提供することの影響を理解します。
- CRUD 操作には、拡張されたクロスドメイン ID 管理システム (SCIM) API エンドポイントを使用します。

詳細については、「[ID](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

アクセスシミュレーター

アクセスシミュレーターを使用して、ユーザーアクセスと、Now Platform 上のリソースに対するアクセスの影響をシミュレートします。

重要:

アクセスシミュレーター (アクセスアナライザー V3) は ServiceNow Store で利用できます。詳細については、ServiceNow Store を参照してください。

SCIM

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) API エンドポイントを使用して、SCIM プロトコルを使用してユーザーとグループの操作を作成、読み取り、更新、および削除します。

アクティベーション情報

ID はデフォルトでアクティブ化される Now Platform 製品です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

プラットフォームセキュリティ

プラットフォームセキュリティは Now Platform のすべてのレベルに組み込まれています。組織に適したセキュリティ機能を実装してください。失敗したログイン、暗号化されたパスワード保護、アクセス制御ルール、および監査ログを管理します。

セキュリティセンター リリースノート

ServiceNow セキュリティセンターアプリケーションは、セキュリティ体制を改善し、ServiceNow のキュレーションされたセキュリティの推奨事項へのコンプライアンスを強化するために設計された複数の異なるツールで構成されています。セキュリティセンターは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの セキュリティセンター の特長

- セキュリティイベント通知ツールで指定したユーザーの行動に関するプロンプト通知を受信します。
- すべてのインスタンスのセキュリティ健全性を監視し、新しいセキュリティ体制ダッシュボードを使用して迅速にアクションを実行します。
- セキュリティバナーのお知らせ機能を備えた ServiceNow からの将来のセキュリティのお知らせに備えます。
- 更新された監査スイートでセキュリティスキャンをスケジュールし、セキュリティスキャナーツールでアクセス制御構成を監視します。

詳細については、「[Security Best Practices](#)」、「[Customer Actions](#)」、「[Hardening settings baseline versions](#)」、「[Security Event Notifications](#)」、「[Data Classification](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Security Event Notifications

セキュリティイベント通知ツールで指定したユーザーの行動に関するプロンプト通知を受信します。選択したユーザーは、ポリシーがトリガーされたときにメール通知を受信し、問題を迅速に修復できます。

セキュリティ体制ダッシュボード

セキュリティ体制ダッシュボードを使用して、すべてのインスタンスのセキュリティ健全性を監視します。単一インスタンスのダッシュボードは、主要なセキュリティのキープロセスインジケーター (KPI) のグラフィカルウィジェットを提供します。本番インスタンスでのみ利用可能なマルチインスタンスダッシュボードには、すべてのインスタンスの同じ KPI が表形式で表示されます。ダッシュボードをクローン作成してから完全にカスタマイズすることができます。

Security banner announcements

セキュリティバナーのお知らせを使用して、ServiceNow からの今後のセキュリティに関するお知らせに備えます。この機能により、ServiceNow で、システムアドミニストレーターに表示されるカスタマーインスタンスで新しいバナーをトリガーできます。これらのメッセージは、新規および緊急の潜在的なセキュリティ問題を通知し、詳細へのリンクを含んでいます。

Data Classification

セキュリティ測定基準ツールのデータ分類測定基準を使用して機密データを監視します。ツールの更新には、2 つの新しい測定基準が含まれています。[分類可能なデータ (Classifiable Data)] 測定基準には、分類に利用可能なデータの量と、既に分類されている部分が表示されます。[分類済みデータ (Classified Data)] 測定基準には、分類ラベル全体の分類済みデータのブレイクダウンが表示されます。

このリリースでの変更

Scan checks

更新された監査ツールでセキュリティスキャンをスケジュールし、セキュリティスキャナーツールのアクセス制御構成を監視します。監査人スキャンスイートは、アクセス制御チェックのみを含むように簡素化され、アクセス制御監査人スイートに名前が変更されました。ServiceNowセキュリティの専門家によると、更新されたアクセス制御チェックは、潜在的なセキュリティの脆弱性を反映した、より少ない、より焦点を絞った結果を生成します。

廃止

Now Platform Xanadu リリース以降、ServiceNow は のサポートを終了します。

詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\)](#) [KB 0867184]

アクティベーション情報

セキュリティセンター v1.5 は、Xanadu ファミリーリリースではデフォルトでインストールされます。バージョン 1.6 では大幅な機能拡張が行われています。セキュリティセンター v1.6 を入手するには、[ServiceNow Store](#) にアクセスしてください。

アクセス管理リリースノート

ServiceNow アクセス管理には、アクセス制御リスト (ACL)、セキュリティ属性、コンテキストセキュリティマネージャー、データフィルタリング、その他多数のコントロールが含まれています。これらのツールは、データアクセスを管理するためのより細かい制御と強化されたセキュリティを提供します。アクセス管理は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

[store-future: BEGIN review]

Xanadu リリースでのアクセス管理の特長

- 新しい Deny-Unless ACL およびクエリ演算子を使用してアクセス制御を微調整します。
- 新しいデフォルトの拒否動作により、ACL セキュリティを強化します。
- 新しい ACL 作成ルールを使用して、空の ACL または誤って構成された ACL を特定して修正します。

詳細については、「[Access Control List Rules](#)」を参照してください。

[End]

[store-future: BEGIN review]

このリリースでの変更

ACL の Deny-Until 条件

新しい [意思決定タイプ] フィールドは、管理者がユーザーにデータへのアクセスを許可または拒否する条件を定義するのに役立ちます。これにより、プラットフォーム上で適切なアクセス戦略を定義しながら、より詳細な意思決定が可能になります。

ACL セキュリティの強化

ACL が正しく構成されていないか空の場合は、デフォルトでデータへのアクセスを拒否して、プラットフォームの全体的なセキュリティを強化できます。

ACL クエリの動作

新しい演算子 (クエリの一致とクエリ範囲) の導入により、データをクエリするためのルールを指示することで、アクセス制御を微調整します。

>明示的なロールの動作調整

システムプロパティ glide.security.explicit_roles.do_not_fix が true の場合、**snc_internal** ロールはメモリ内またはユーザーロール [sys_user_has_role] テーブルに追加されなくなります。

[End]

アクティベーション情報

アクセス管理はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

データプライバシー リリースノート

ServiceNow データプライバシー アプリケーションを使用して、機密データを分類し、本番インスタンスのユーザーデータから個人識別可能情報 (PII) を削除して、本番および非本番インスタンスのデータを匿名化できます。データプライバシー は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの データプライバシー の特長

- ネクストエクスペリエンス ダッシュボードで、改善されたデータプライバシーとデータディスカバリー UI にナビゲートします。
- リアルタイム匿名化ポリシーを使用して、機密データが入力されたときにそのデータを検出して匿名化します。
- サポートが拡張され、データパターンの正規表現の制限が最大 1000 文字に増加したことで、ジャーナルフィールドを匿名化して検出します。

詳細については、「[Platform Privacy](#)」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]

重要:

データプライバシー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

[End]

[store-future: BEGIN review]

データプライバシー を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

ライセンスの変更により、データディスカバリー、データディスカバリー API、データの匿名化、およびデータプライバシー API をエンタイトルメントなしでインストールできますが、ジョブを実行するにはエンタイトルメントが必要です。

[End]

[store-future: BEGIN review]

Xanadu リリースの新機能

子ジョブ実行

子並列ジョブを実行して、ジョブの実行時間を最適化します。

列レベル暗号化 (CLE) による暗号化

セキュリティアドミンは、検出フィールドが暗号化されているか、または暗号化できるかを確認します。

[End]

[store-future: BEGIN review]

UI の変更

ネクストエクスペリエンス ダッシュボード

データディスカバリーおよびデータプライバシーダッシュボードで ネクストエクスペリエンス ダッシュボードが使用されるようになりました。

[End]

[store-future: BEGIN review]

このリリースでの変更

ジャーナルフィールドを検出および匿名化

ワークスペース UI を使用したデータディスカバリーおよびデータの匿名化でジャーナルフィールドがサポートされるようになりました。

データパターン正規表現の長さの増加

データパターンの正規表現の長さ制限が 1000 文字に増加しました。

新しいベースシステムデータパターン

新しいベースシステムデータパターンがサポートされています。詳細については、「[Default data patterns](#) 

のインジケータ セキュリティセンター dependencies

セキュリティセンター依存関係が欠落していることを示すインジケータが追加されました。

[End]

Now Platform ユーザーインターフェイスリリースノート [®]

Xanadu リリースでの Now Platform ユーザーインターフェイス製品の機能拡張と更新について説明します。

これらのリリースノートでは、リストやフォームなどのユーザーインターフェイスのコアプラットフォーム機能拡張について説明します。

ネクストエクスペリエンス リリースノート [®]

ServiceNow ネクストエクスペリエンス アプリケーションは、Now Platform [®] を使用して会社の生産性の向上、エンゲージメントの改善、学習意欲の促進を可能にする、直感的なパーソナライズされたエクスペリエンスを提供します。ネクストエクスペリエンス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Next Experience の特長

- テーマビルダーで作成された複数のテーマから選択し、インスタンスに適用します。
- 新しいキーボードショートカットを使用すると、OpenFrame UI にアクセスできます。
- [ネクストエクスペリエンスをオフにする]、[アナリティクスを有効にする]、および [現在のスタートページ] の設定に、新しい [ユーザーエクスペリエンス] ユーザー初期設定グループが追加されました。
- 新しいクライアントインタラクションテーブルには、パフォーマンス異常を特定して調査するための UI ロード時間が表示されます。

詳細については、「[Next Experience UI](#) 

i 重要:

テーマビルダー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能**Next Experience keyboard shortcuts**

新しいキーボードショートカットを使用して、OpenFrame ウィンドウを開くのに必要な時間を短縮します。

ユーザーエクスペリエンスユーザー設定グループが追加されました

[ネクストエクスペリエンスをオフにする]、[アナリティクスを有効にする]、および [現在のスタートページ] の設定に、新しい [ユーザーエクスペリエンス] ユーザー初期設定グループが追加されました。

通知メニューを固定する

重要な更新にすばやくアクセスできるように、通知メニューを固定します。

ネクストエクスペリエンスパフォーマンス測定基準を表示する

任意の ネクストエクスペリエンス ページのパフォーマンス測定基準を表示します。

Preserve your custom Next Experience theme during a clone

クローン作成は、ネクストエクスペリエンス とテーマビルダーテーマを保持するように最適化されています。これにより、クローン作成プロセス中にテーマが上書きされないようにすることができます。

このリリースでの変更**Select a theme in Next Experience**

テーマビルダーを使用して複数のコアテーマが作成されている場合、それらのテーマとその代替カラーパレットが [テーマ] ユーザー設定グループに表示されます。

アクティベーション情報

ネクストエクスペリエンス は、ユーザーが Xanadu リリースをロードまたはアップグレードしたときにデフォルトでアクティブになる Now Platform 機能です。インスタンスで ネクストエクスペリエンス をオンにする際に既知の問題がある場合は、アップグレード前にオプトアウトシステムプロパティを作成できます。

ServiceNow Store から要求することで、テーマビルダー をインストールします。

ブラウザー要件

Xanadu では Internet Explorer 11 がサポートされなくなりました。そのブラウザーからログインすることはできません。Firefox の iOS バージョンもサポートされていません。

アクセシビリティ情報**Next Experience keyboard shortcuts**

使用可能な 40 個のキーボードショートカットに加えて、OpenFrame ウィンドウを開くのに必要な時間を短縮する新しいキーボードショートカットがあります。このショートカットを使用すると、エージェントはプラットフォームからダイヤルして電話に応答できます。

Workspace リリースノート

ServiceNow ワークスペースアプリケーションは、エージェント、ケースマネージャー、ヘルプデスク担当者、およびツールを持つマネージャーが、顧客の質問に回答し、顧客の問題を解決する際に役立ちます。ワークスペースは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでのワークスペースの特徴

- 国際文字の使用、メール受信者ピルの編集、無効なアドレスまたはブロックされたアドレスに関する簡潔なエラーメッセージの表示など、より柔軟に受信者フィールドにメールアドレスを追加します。
- アクティビティストリームレコードを分類およびフィルタリングします。
- 事前にフィルタリングされた削除可能なクエリパラメーターを参照リストに適用することで、ユーザーが関連する参照検索結果にアクセスできるようにします。

詳細については、「[ワークスペース UI](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

メールアドレスでの国際文字のサポート

メールアドレスに国際文字をエラーを発生させずに入力できます。

RFC6530 規格に従ってユーザーによる国際文字の使用を有効にするか、またはシステムプロパティを変更し、追加の構成を実行することによって国際文字を無効にします。

メールクライアントプラグインのシステムプロパティ

Tiny MCE v6 のデフォルトで提供される更新されたプラグイン (`glide.ui.email.composer.enabled_plugins`) およびツールバー (`glide.ui.email.composer.toolbar`) システムプロパティを使用して、エージェントがメールクライアントの最新機能を活用できるようにします。

アクティビティストリームレコードのタグ

タグを使用して、アクティビティストリームに表示されるレコードを分類およびフィルタリングします。

アドミンは、ユーザーのアクティビティストリームレコードのタグの有効化、追加、カスタマイズ、および編集を行うことができます。

クエリによる参照検索

事前にフィルタリングされた削除可能なクエリパラメーターを参照リストに適用することで、ユーザーが関連する参照検索結果にアクセスできるようにします。これらのクエリパラメーターは、エンドユーザーが削除できない固定クエリへの追加として機能します。

フィールドデコレーターのクライアントスクリプト

クライアントスクリプトを使用してフィールドデコレーターをフィールドタイプに追加します。

複数レコードアソシエーターでレコードを事前にフィルタリングする

スクリプトを使用して、複数レコードアソシエーターの先行入力でレコードを事前にフィルタリングします。

UI の変更

メールヘッダーの表示と非表示

二重山かっこアイコン (^) を選択して、メールヘッダーのすべての受信者フィールドを折りたたんだり展開したりします。

メールアドレスの編集

メールアドレスを削除して再入力するのではなく、メールアドレスのピルから直接メールアドレスを編集します。

無効なメールアドレスアラート

無効なメールアドレスを入力すると、メールアドレスのピル内に感嘆符アイコン (⚠) が表示され、[メールを送信 (Send email)] ボタンが非アクティブになります。

ブロックされたメールアドレスを入力すると、ブロック済みアイコン (⛔) がメールアドレスのピル内に表示され、[メールを送信 (Send email)] ボタンが非アクティブになります。

複数の無効なメールアドレスを入力すると、無効なメールアドレスとブロックされたメールアドレスのリストとして 1 つのアラートを受信します。

メールコンポーザー全体からメールのドラフトを管理する

メールコンポーザー全体の [ドラフトを管理 (Manage drafts)] ボタンを使用して、下書きを表示、編集、削除します。

ミニメールコンポーザーからメールのドラフトを管理する

メールフッターのドラフトアイコン (📧) を選択し、開いたメニューからアクションを選択して、ミニメールコンポーザーからメールドラフトを管理します。

ミニメールコンポーザーからメールテンプレートを追加する

メールフッターのメールテンプレートアイコン (📧) を選択して、ミニメールコンポーザーからメールテンプレートを追加します。

日時の選択

月と年を選択するためのカレンダーが、時刻を入力するためのテキストボックスを含むリストとして表示されます。

リストエクスペリエンスの [グループに戻る (Back to Group)] ボタン

[グループに戻る (Back to Group)] ボタンをクリックすると、前のグループ化されたリストに戻ります。

アクティベーション情報

ワークスペースはデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

サービスポータル リリースノート

ServiceNow サービスポータル アプリケーションを使用すると、使いやすいモジュラーポータルフレームワークを使用して、顧客や従業員向けにモバイル対応のセルフサービスエクスペリエンスをビルドできます。サービスポータル は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの サービスポータル の特長

ポータルを非アクティブ化し、オプションでユーザーを代替ポータルにリダイレクトします。

詳細については、「[Service Portal !\[\]\(fa03f7688acce2280e23104ced18e610_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

ポータルの非アクティブ化

ユーザーにアクセスさせたくないポータルへのアクセスをオフにし、別のポータルにリダイレクトします。

このリリースでの変更

ユーザープロフィールウィジェットのチームメンバーリストに現在のユーザーを表示します

ユーザープロフィールウィジェットから別のチームメンバーのユーザープロフィールを表示するときに、ログインしているユーザーをチームメンバーリストに含めるかどうかを指定します。

追加のマルチファクター認証オプション

生体認証装置またはマルチファクター認証 (MFA) を備えたハードウェアセキュリティキーを使用してポータルにログインします。

アクティベーション情報

サービスポータル はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

ブラウザー要件

Xanadu リリースでは Internet Explorer 11 はサポートされていません。

iOS バージョンの Firefox ではサービスポータルページはサポートされません。

サービスポータル ブラウザサポートの詳細については、「[ブラウザサポート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

サイトマップジェネレーター

XML サイトマップを定義して自動的に生成し、公開ポータルページの検索エンジン最適化 (SEO) を改善します。

AI 検索

ServiceNow AI 検索 アプリケーションは、サービスポータル、Now Mobile、および仮想エージェント に最新の検索機能を提供します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス for サービスポータル を有効にすると、詳細な重要業績評価指標 (KPI) データをダッシュボードとリストビューに表示できます。

認証

インスタンスにアクセスするユーザーの ID を検証し、ユーザーのロールや職務に一致する機能の使用をユーザーに許可します。PIV/CAC カード認証を有効にすることで、ポータルユーザーがパスワードなしでログインできるようにすることができます。

テーマビルダー リリースノート

ServiceNow テーマビルダー アプリケーションを使用すると、ユーザーのビジュアルエクスペリエンスをカスタマイズできるため、外観を更新してブランドの独自色を出すことができます。テーマビルダー は、Xanaduリリースで強化および更新されました。

Xanadu リリースでの テーマビルダー の特長

- 複数のテーマと代替カラーパレットをユーザーに提供することで、ブランディングとスタイリングのニーズを満たします。
- 新しく作成したテーマにダーク代替カラーパレットを追加し、編集してテーマを調整します。

詳細については、「[Working with themes in Next Experience](#)」を参照してください。

i 重要:

テーマビルダー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノート「[アクティブ化情報](#)」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

[テーマビルダーでテーマを公開](#)

複数のテーマを代替カラーパレットとともに Web インスタンスに公開します。ユーザーのデフォルトテーマを設定します。

[Add an alternate color palette](#)

ダーク代替カラーパレットを テーマビルダー テーマに追加します。この代替カラーパレットを編集して、ブランドスタイルをさらに強化できます。

[Publish multiple themes in Next Experience](#)

ServiceNow ネクストエクスペリエンス ユーザー設定に表示されるテーマの表示順序を定義します。

[Configure Next Experience display preferences](#)

複数のテーマとその代替カラーパレットを ネクストエクスペリエンス ユーザー設定に表示します。

UI の変更

[Web テーマとモバイルテーマを個別に管理](#)

更新されたマネージャービューを使用して、Web テーマとモバイルテーマのエクスペリエンスを別々に管理します。

マネージャービューで、各テーマおよびすべての関連するカラーパレットが 1 か所に表示されるようになりました。

各コアテーマおよびすべての関連する代替カラーパレットが、1 つのテーマカード内に配置されるようになりました。

このリリースでの削除

- テーマを Web インスタンスおよびモバイルインスタンスに適用するために使用されていた [適用] ボタンを削除しました。テーマを公開するには、テーマカードオーバーローメニューから [公開] オプションを使用します。テーマの公開の詳細については、「[テーマビルダーでテーマを公開](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、テーマビルダー をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Build apps using App Engine Studio](#)

ServiceNow App Engine Studio を使用して、情報を保存し、ビジネスプロセスを自動化し、ビジネス上の問題を解決するためのリッチな Web アプリケーションを開発します。

ServiceNow UI Builder

ServiceNow UI ビルダー を使用して、App Engine Studio で生成されたワークスペース、または ネクストエクスペリエンスのコンポーネント とカスタム Web コンポーネントを使用するカスタム Web エクスペリエンスのためのページをビルドします。

アダプションサービス リリースノート

ServiceNow アダプションサービス は、製品と機能の両方を含む一連のソリューションであり、必要に応じてユーザーサポートと重要な情報を提供します。アダプションサービス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの アダプションサービスの 特長

- 新しい UI と機能のエクスペリエンスが、プレイブックを利用したガイド付きセットアップビルダーで利用可能です。
- より簡素化されたエクスペリエンスと強化された UI を提供する、プレイブックを利用した新しいガイド付きセットアッププレーヤープロセスを使用します。

詳細については、「[Adoption services](#)」を参照してください。

i 重要:

アダプションサービス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

UI の変更

構成セットアップタイプ

基本、推奨、またはカスタムのセットアップタイプから選択できる構成セットアップタイプページが ガイド付きセットアップ プレーヤーから削除されています。

開始

ガイド付きセットアッププレーヤーで [続行] ボタンが [開始] に変更されています。

[カテゴリ] ドロップダウン

[カテゴリ]ドロップダウンリストは、ガイド付きセットアッププレーヤーのヘッダーで更新されています。

接種完了として処理

ガイド付きセットアッププレーヤーの [セットアップ部門] ページ、[Web クライアントのブランディング] ページ、および [テーマエンジン] ページで、[続行] ボタンが [完了としてマーク] に変更されています。

[スキップ] ボタン

[スキップ] ボタンは、ガイド付きセットアッププレーヤーで不要なタスクに対してのみ有効になります。

このリリースでの変更

プレイブックバックエンドを利用した新しいガイド付きセットアッププレーヤープロセスバックエンドを使用します。製品のガイド付きセットアップを作成するアプリ開発チームのアドミンは、プレイブックに含まれるすべての機能を利用できるようになりました。この変更では、UI の新しいビジュアル強化により、同様のエクスペリエンスがガイド付きセットアッププレーヤーで実現されます。

ガイド付きセットアップを作成

プレイブック (PAD) バックエンドで提供される新機能を使用して、ガイド付きセットアップビルダーの既存のアクティビティに加えて、PAD がサポートできるアクティビティが定義されます。たとえば、ガイド付きセットアップフローで導入される条件付きフローを使用できます。

アクティベーション情報

アダプションサービス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

オペレーショナルテクノロジー リリースノート

Xanadu リリースには、オペレーショナルテクノロジー の新機能と更新された機能が含まれます。

産業用プロセスマネージャー リリースノート

ServiceNow 産業用プロセスマネージャー アプリケーションを使用すると、チームは各施設の産業用機器モデルと関連する生産プロセスをマッピングして可視化できます。産業用プロセスマネージャー は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 産業用プロセスマネージャー の特長

- IP アドレスを使用して、機器モデルエンティティにオペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスを追加します。
- 機器モデルエンティティの [エンティティ名]と[親] フィールドを変更して、作成後に機器モデルエンティティ情報を最新の状態に保ちます。

詳細については、「[Industrial Process Manager](#)」を参照してください。

i 重要:

産業用プロセスマネージャー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

産業用プロセスマネージャー を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

これで、産業用プロセスマネージャー アプリケーションは、オペレーショナルテクノロジーインシデント管理およびオペレーショナルテクノロジー変更管理を含むOperational Technology Service Managementアプリケーションと依存関係を持つようになりました。インスタンスに 産業用プロセスマネージャー をインストールするには、次のいずれかの SKU が必要です。

- オペレーショナルテクノロジーヴィジビリティ SKU
- Operational Technology Service Management SKU
- 産業用プロセスマネージャー に資格を付与するカスタム SKU

Xanadu リリースの新機能

IP アドレスによって機器モデルエンティティに OT デバイスを追加する

産業用ワークスペース機器モデルマネージャーの [マッピングされた OT デバイス] 関連リストに OT デバイスを手動で追加する場合は、IP アドレスで OT デバイスを追加できます。

Update the entity name or parent of an equipment model entity

機器モデル情報を最新の状態に保つために、必要に応じて機器モデルエンティティレコードの [エンティティ名] または [親] フィールドを更新します。

UI の変更

機器モデルエンティティレコードの親フィールドが親エンティティに変更されました [🔗](#)

[親] フィールドは、Now Platform の機器モデルエンティティレコードで [親エンティティ] に変更されています。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、産業用プロセスマネージャー をインストールします。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

i 注:

産業用プロセスマネージャー はオペレーショナルテクノロジーインシデント管理およびオペレーショナルテクノロジー変更管理とともに自動的にインストールされます。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Operational Technology Manager](#)

ServiceNow オペレーショナルテクノロジーマネージャーを使用すると、複数のソースからオペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスデータをアグリゲートできるため、産業用ソリューションで使用される基本的なデータ関係をビルドできます。

オペレーショナルテクノロジー変更管理 リリースノート

ServiceNow オペレーショナルテクノロジー変更管理 アプリケーションを使用すると、エンジニアは オペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスと本番プロセスに変更を実装できます。オペレーショナルテクノロジー変更管理は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの オペレーショナルテクノロジー変更管理 の特長

産業用 ワークスペース の更新された OT 変更レコードを使用して OT 変更要求を整理します。

詳細については、「[Operational Technology Change Management](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

の OT 変更レコードのレイアウトが更新されました 産業用 ワークスペース [🔗](#)

産業用 ワークスペース 内の OT 変更レコードが更新され、既存のすべての関連リストが [関連レコード] タブに含まれるようになりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、オペレーショナルテクノロジー変更管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

i 注:

オペレーショナルテクノロジー変更管理 に 産業用プロセスマネージャー が含まれるようになり、オペレーショナルテクノロジーマネージャー の有無にかかわらず使用できます。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

IT Service Management

オペレーショナルテクノロジー変更管理 と統合すると、ServiceNow IT Service Management アプリケーションを使用してエンジニアは OT デバイスと本番プロセスの問題を解決できます。

Industrial Process Manager

ServiceNow 産業用プロセスマネージャー アプリケーションを使用して、ServiceNow 産業用 ソリューションに必要な ISA-95 設備階層モデルデータ基盤を作成します。これにより、各産業ソリューション現場で独自のバージョンの機器モデルを作成できます。

オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 リリースノート

ServiceNow オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 アプリケーションを使用すると、エンジニアはオペレーショナルテクノロジー (OT) のデバイスと本番プロセスの問題を解決できます。オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 の特長

産業用 ワークスペースで更新された OT インシデントレコードを使用して OT インシデントを整理します。

詳細については、「[Operational Technology Incident Management !\[\]\(cf531ed27e91483460120fcc057b3901_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

このリリースでの変更

の OT インシデントレコードのレイアウトが更新されました 産業用 ワークスペース

産業用 ワークスペース 内の OT インシデントレコードが更新され、[関連レコード] タブの既存のすべての関連リストが含まれるようになりました。

このリリースでの削除

[オープン] 列は、産業用 ワークスペース リストビューの OT インシデントモジュールの下にあるリストから削除されました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(19d44b37fb4fa155bf9d60c77a3d3cb2_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(32b0d4c179ff868011656ab6c9e92913_img.jpg\)](#)」を参照してください。

注:

オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 に 産業用プロセスマネージャー が含まれるようになり、オペレーショナルテクノロジーマネージャー の有無にかかわらず使用できます。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

IT Service Management

オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 と統合すると、ServiceNow IT Service Management アプリケーションを使用してエンジニアは OT デバイスと本番プロセスの問題を解決できます。

Industrial Process Manager

ServiceNow 産業用プロセスマネージャー アプリケーションを使用して、ServiceNow 産業用 ソリューションに必要な ISA-95 設備階層モデルデータ基盤を作成します。これにより、各産業ソリューション現場で独自のバージョンの機器モデルを作成できます。

オペレーショナルテクノロジーマネージャー リリースノート

ServiceNow オペレーショナルテクノロジーマネージャー アプリケーションを使用すると、複数のソースから オペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスデータをアグリゲートできるため、産業用 ソリューションに基本的なデータ関係をビルドできます。オペレーショナルテクノロジーマネージャー は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの オペレーショナルテクノロジーマネージャー の特長

- OT 進捗スコアカードを使用して、産業用ワークスペース 内の主要な測定基準別にサイトを比較します。
- 産業用ワークスペース の OT アクション指向ランディングページで OT システムに関連するタスクを追跡します。OT アクション指向のランディングページは、産業用ワークスペース のホームページとして OT マネージャーダッシュボードに置き換わりました。
- SyncIPAddressToOT スケジュール済みジョブを使用して IP アドレスを OT デバイスにマッピングします。
- 構成管理データベース (CMDB) OT クラスモデルの更新と UI の拡張機能を使用します。
- OT デバイスデータのインポートと分類に役立てるには、インポート前の OT Worksheet Entry Review (POWER) ツールの更新と UI の機能拡張を使用します。

詳細については、「[Operational Technology Manager !\[\]\(c50c8b7b2cc2cf9ff925edec0ee94c0d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

オペレーショナルテクノロジーマネージャー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

OT アクション指向ランディングページ

産業用ワークスペース の OT アクション指向ランディングページで OT ネットワークに関連する重要なタスクを追跡します。このランディングページには、サイトと事業部門のデータの全体像が表示され、サインインしているユーザーが優先する必要がある重要なアクションが呼び出されます。

Operational Technology Progress Scorecard

主要測定基準別にサイトを 産業用ワークスペースの OT 進捗スコアカードと比較します。OT 進捗スコアカードにアクセスするには、OT 進捗スコアカードビューアー (ot_progress_scorecard_viewer) ロールが必要です。

[別のページへのリダイレクト：産業用ワークスペース !\[\]\(83bbbd261710c59db0214aa27b2edc0d_img.jpg\)](#)

新しいホームページ宛先ルールを使用して、アサインされたロールに応じて、産業用ワークスペース のさまざまなページにリダイレクトされます。このリダイレクトは、必要なデータへのアクセスに役立ちます。

SynclPAddressToOT スケジュール設定済みジョブを使用して IP アドレスを OT デバイスにマッピングする

SynclPAddressToOT スケジュール済みジョブを使用して、利用可能なすべての OT デバイスの IP アドレス情報を更新および同期します。スケジュール設定済みジョブは、IP アドレス [cmdb_ci_ip_address] テーブルから IP アドレス情報を取得し、構成アイテム (CI) の **[IP アドレス]** フィールドに追加します。

CMDBOT クラスモデルの更新

拡張された OT ユーザーエクスペリエンスを活用し、次の CMDB OT クラスモデルの更新を使用して追加の構成を行います。

- 品質検査管理システム [cmdb_ci_ot_qics] クラスは、品質および検査機能を支援する制御システムを表します。この新しいクラスは、OT コントロールシステム [cmdb_ci_ot_control] クラスの子クラスです。
- バックアップストレージ情報 [cmdb_backup_storage_information] クラスは、OT デバイスデータのバックアップを管理するのに役立ちます。
- OT システムサービス [cmdb_ci_ot_system_service] クラスは、OT システムとその関連ソフトウェア、ハードウェア、および分散制御システム (DCS) などの通信ネットワークコンポーネントをモデル化できます。
- 各 NIDS レコードを個別に検証する代わりに、リストビューから NIDS レコードを一括検証できるようになりました。

Pre-import OT Worksheet Entry Review (POWER) ツール

配布された Microsoft Excel スプレッドシートを使用して OT デバイスをインポートし、OT システムとデバイスの管理性を向上させます。POWER ツールには、次の新機能が含まれています。

- 品質検査管理システム [cmdb_ci_ot_qics] クラスのインポートと分類をサポートします。SG-OT Excel ステージングテーブルで OT デバイスを手動で作成する場合、品質検査管理システムクラスは **[OT デバイスのタイプは何ですか? (What is the type of OT device?)]** タスクのオプションです。
- ステージングテーブル、ステージングテーブルフォーム、および ETL のバックアップストレージ情報 [cmdb_backup_storage_information] クラス属性のキャプチャをサポートします。
- ステージングテーブルレコードの [ステータス] フィールドを、構成アイテム (CI) レコードの [ライフサイクルステージ] および [ライフサイクルステータス] フィールドにマッピングします。[ステータス] フィールドが CI レコードの [インストールステータス] フィールドにマッピングされなくなりました。
- OT クラスデバイスの 産業用 製品モデルカテゴリに資産を作成します。これにより、エンタープライズ資産管理 製品との互換性が実現し、OT クラスのデバイスのライフサイクル全体を管理できます。

UI の変更

新しいホームページ：産業用ワークスペース

OT アクション指向のランディングページは、産業用ワークスペース のホームページとして OT マネージャーダッシュボードに置き換わりました。

OT マネージャーダッシュボードの新しい場所：産業用ワークスペース

[OT デバイス] タブと [OT 脆弱性] タブを含む OT マネージャーダッシュボードは、産業用ワークスペース の [ホーム] アイコンから [OT マネージャーダッシュボード] () アイコンに移動されました。

このリリースでの変更

OT ランディングページの名前の変更

OT ランディングページは、OT マネージャーダッシュボードと呼ばれるようになりました。

このリリースでの削除

- [新規] ボタンは、[すべての OT デバイス] リストビューとそれに対応するリストビューから削除されました。
- [新規] ボタンは、品質検査管理システム [cmdb_ci_ot_qics] フォームの [機器モデルエンティティ] 関連リストから削除されました。

廃止

オペレーショナルテクノロジーマネージャー アプリケーションで使用されていたサイトブレイクダウンは、OT マネージャーダッシュボードでのインジケータの作成ではサポートされなくなりました。インジケータを作成する場合は、産業用ワークスペース Common に含まれるサイトブレイクダウンを使用する必要があります。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、オペレーショナルテクノロジーマネージャー をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

CMDB CI Class Models

オペレーショナルテクノロジーマネージャー アプリケーションは、ServiceNow Store の CMDB CI クラスモデルアプリケーションで利用可能な オペレーショナルテクノロジー (OT) 拡張クラスの最新バージョンを自動的にインストールします。

オペレーショナルテクノロジー要求管理 リリースノート

ServiceNow オペレーショナルテクノロジー要求管理アプリケーションを使用すると、オペレーショナルテクノロジー (OT) サービスカタログにアクセスして OT カタログアイテムを要求し、定義されたフローに基づいてそれらを履行できます。OT ワーカーは、カタログアイテムから OT 要求を作成して送信できます。これにより、一貫したエクスペリエンスが提供され、部門横断型の要求が容易になります。オペレーショナルテクノロジー要求管理は Xanadu リリースの新機能です。

Xanadu リリースでの オペレーショナルテクノロジー要求管理 の特長

- 産業用ワークスペース内の単一のビューを使用して、複数のカタログ要求を効率的に管理します。
- 透明性を高め、要求プロセスを迅速化し、自動通知と承認によって遅延を最小限に抑えます。
- カatalog要求の作成と更新に使用できる製品とサービスのメニューを管理します。

詳細については、「[Operational Technology Request Management](#)」を参照してください。

オペレーショナルテクノロジー要求管理 機能

OT サービスカタログのカタログアイテムを作成

カタログビルダーを使用して OT サービスカタログのカタログアイテムを作成し、他のユーザーがカタログアイテム別に分類された OT 要求を送信できるようにします。

OT 要求を履行できる実行フローを作成する

カタログアイテムが OT 要求を実行するために従う実行フローを作成します。OT サービスカタログ内のカタログアイテムの実行フローには、カタログタスクが含まれます。

OT 要求を作成

オペレーショナルテクノロジー要求管理を設定したら、産業用ワークスペースに OT 要求を作成して、OT デバイスまたはインシデントに必要な製品またはサービスに対応します。

産業用ワークスペースで OT 要求とカタログタスクを管理する

[OT 要求]と [OT タスク] モジュールの産業用ワークスペースリストビューで、OT 要求とカタログタスクをそれぞれ表示してアクセスします。

アクティベーション情報

オペレーショナルテクノロジー要求管理は産業用ワークスペース Common に含まれています。追加に必要なロールはありません。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Request Management

要求管理を使用すると、定義されたフローに基づいてカタログアイテムを要求して実行できます。

IT Service Management

ServiceNow IT Service Management アプリケーションによって、エンジニアが OT デバイスと本番プロセスの問題を解決できるようになります。

Industrial Process Manager

ServiceNow 産業用プロセスマネージャー アプリケーションを使用して、ServiceNow 産業用 ソリューションに必要な ISA-95 設備階層モデルデータ基盤を作成します。これにより、各産業ソリューション現場で独自のバージョンの機器モデルを作成できます。

オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 リリースノート

ServiceNow オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 アプリケーションを使用すると、サイトレベルで オペレーショナルテクノロジー (OT) の脆弱性を優先順位付けできます。オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 の特長

- 複数のサイトレコードのオペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 (OT VR) アサイン先グループフィールドを一括で変更します。
- アグリゲーターまたは信頼できるプロバイダーからソリューションをインポートする場合は、共通セキュリティアドバイザリーフレームワーク (CSAF) を複数のベンダーのサポートとともに使用します。
- OT 脆弱性修正オーナー (sn_otvr.remediation_owner) ロールを使用すると、修復タスクをより効率的に管理できます。

- 産業用ワークスペースのライブラリモジュールを使用してコントロールを軽減します。
- 拡張 OTVR (PA) ダッシュボードを使用します。

詳細については、「[Operational Technology Vulnerability Response](#)」を参照してください。

i 重要:

オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

OT 脆弱性修正オーナー (sn_otvr.remediation_owner) ロール

アサインされた修復タスクを主に処理し、必要に応じて変更タスクを作成できるユーザーに、OT 脆弱性修正オーナー (sn_otvr.remediation_owner) ロールをアサインします。OT 脆弱性修正オーナーロールには、次のロールが含まれています。

- cmdmb_ot_isa_viewer
- cmdmb_ot_viewer
- sn_vul.close_vi_vg
- sn_vul.remediation_owner

ISA メンテナンススケジュールに基づいて修復タスクの開始時間を自動的に設定する

ISA メンテナンススケジュールに基づいて、修復タスクを自動的に開始します。修復タスクを作成すると、そのタスクが次の定期メンテナンス中に取得されます。

OT マネージャーダッシュボードの [OT 脆弱性] タブで、マッピングされていないデバイスとサイトにアサインされていないデバイスを表示する

[脆弱性リスク] ウィジェットに含まれる [サイトがアサインされていません (**No Site Assigned**)] テーブルで、マッピングされていない OT デバイスとサイトにアサインされていない OT デバイスを表示します。

Common Security Advisory Framework (CSAF) のサポート対象: オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応

アグリゲーターまたは信頼できるプロバイダーからソリューションをインポートする場合は、共通セキュリティアドバイザリーフレームワーク (CSAF) を複数のベンダーのサポートとともに使用します。

OTVR (PA) ダッシュボード ガイド付きセットアップ

産業用ワークスペース ガイド付きセットアップの [オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応] セクションにある OTVR (PA) ダッシュボードガイド付きセットアップを使用して、データ収集を構成し、インジケーターソースを確認します。

一括編集での オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 (OT VR) アサイン先グループフィールドの変更

一括編集機能を使用して、複数のサイトレコードの [OT VR アサイン先グループ] フィールドを一度に更新します。

Use compensating controls for Operational Technology

OT の補完コントロールを使用して、すぐにパッチを適用できない脆弱性リスクを軽減します。補完コントロールはリスクの軽減に役立ちます。

UI の変更

のライブラリモジュール 産業用ワークスペース

産業用ワークスペースのライブラリモジュールを使用して、次の機能を実行できます。

- 補完コントロールを有効にする
- 補完コントロールを共通脆弱性識別子 (CVE) に関連付ける
- CVE でリスク削減を無効にする

これらの機能は、すぐに対処できない脆弱性によってもたらされるリスクを軽減するのに役立ちます。ライブラリモジュールには、**[CVE]** リストと **[補完コントロール]** リストが含まれています。

OT マネージャーダッシュボードの **[OT 脆弱性]** タブのステータス別脆弱性一致アイテムチャート

[OT 脆弱性] タブの **[ステータス別の脆弱性一致アイテム]** グラフは、ステータス別に順番に整理されています。

OTVR (PA) ダッシュボードの更新

OTVR (PA) ダッシュボードが更新され、次の機能が追加されました。

- 修正ターゲットを満たした OT VI ウィジェットと OT VI 平均修正時間 (MTTR) ウィジェットで、次の時間枠でデータを表示できるようになりました。
 - 先月
 - 過去 3 か月
 - 過去 6 か月
 - 昨年
 - 常時
- **[OT 修復タスク (OT Remediation Tasks)]** ウィジェットと **[期限間近の OT 重大な修復タスク (OT Critical Remediation Tasks Near Due)]** ウィジェットが **[修復 (Remediation)]** タブに移動されました。
- **[未アサインの OT 脆弱性一致アイテム (OT Unassigned Vulnerable Items)]** ウィジェットが **[概要]** タブに移動されました。
- **[概要]** タブの **[OT 脆弱性一致アイテム (VI)]** ウィジェットを選択して、脆弱性一致アイテムのリストを開くことができます。
- **[OT 脆弱性一致アイテム (VI)]** ウィジェットと **[OT 脆弱性構成アイテム (CI)]** ウィジェットには、OT クラスレベルのブレークダウンが表示されます。

での修復タスクの 例外管理 のサポート 産業用ワークスペース

修復タスクに例外管理を使用して、脆弱性一致アイテムを保留します。産業用ワークスペースの修復レコードの **[例外の要求]** ボタンを選択すると、修復タスクを保留できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

CMDB CI Class Models

CMDB CI Class Models ストアアプリは、クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を含む、CMDB クラス階層を拡張するクラスモデルを追加します。

Vulnerability Response

オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 と統合すると、ServiceNow 脆弱性対応アプリケーションはプロセスの重要度に基づいて OT の脆弱性を優先順位付けして解決するのに役立ちます。

Operational Technology Manager

ServiceNow オペレーショナルテクノロジーマネージャーを使用すると、複数のソースから (OT) デバイスデータをアグリゲートできるため、産業用ソリューションで利用される基本的なデータ関係をビルドできます。

Industrial Process Manager

ServiceNow 産業用プロセスマネージャー アプリケーションを使用し、ServiceNow 産業用 ソリューションに必要な ISA-95 設備階層モデルデータ基盤を作成します。これにより、各産業ソリューション現場で独自のバージョンの機器モデルを作成できます。

サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) リリースノート

ServiceNow サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) アプリケーションは、デバイスとセンサーアプライアンスのインポートを自動化します。サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) は、Xanadu リリースで強化および更新されています。

Xanadu リリースでの サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) のハイライト

強化された Microsoft Defender for IoT (Azure) のサービスグラフコネクタ アプリケーションを使用して、オペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスが 産業用 製品モデルカテゴリに分類されていることを確認します。

詳細については、「[Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT \(Azure\)](#)」を参照してください。

重要:

サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) は ServiceNow Store から入手できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

OT デバイスを産業製品モデルカテゴリに分類する

強化された Microsoft Defender for IoT (Azure) のサービスグラフコネクタ は、OT クラスデバイスの 産業用 製品モデルカテゴリに資産を作成します。これにより、エンタープライズ資産管理 製品との互換性が実現し、OT クラスのデバイスのライフサイクル全体を管理できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

CMDB CI Class Models

オペレーショナルテクノロジー クラスは、構成管理データベース (CMDB) 構成アイテム (CI) クラスとともにインポートされます。

Operational Technology Manager

Cloty CTD を ServiceNow オペレーショナルテクノロジーマネージャー アプリケーションと統合して、検出されたデバイスと Cloty CTD サイト (センサーと NIDS アプリアランスを含む) をインポートします。

Claroty CTD[®] のサービスグラフコネクタ統合 リリースノート

ServiceNow Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 アプリケーションは、検出されたデバイスと Cloty CTD サイトのインポートを自動化します。Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの **Claroty CTD** のサービスグラフコネクタ統合 の特長

強化された Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 アプリケーションを使用して、オペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスが 産業用 製品モデルカテゴリに分類されていることを確認します。

詳細については、「[Service Graph Connector Integration for Claroty CTD !\[\]\(dd161862f9164df98f62b726e9846241_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

OT デバイスを産業製品モデルカテゴリに分類する

強化された Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 は、OT クラスデバイスの 産業用 製品モデルカテゴリに資産を作成します。これにより、エンタープライズ資産管理 製品との互換性が実現し、OT クラスのデバイスのライフサイクル全体を管理できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 をインストールします。[ServiceNow Store !\[\]\(c1168d6a8b365d11e842ece304635fa7_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(821e2adbc4e694c5a65f45cf90787bff_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

CMDB CI Class Models

オペレーショナルテクノロジー クラスは、構成管理データベース (CMDB) 構成アイテム (CI) クラスとともにインポートされます。

Operational Technology Manager

Cloty CTD を ServiceNow オペレーショナルテクノロジーマネージャー アプリケーションと統合して、検出されたデバイスと Cloty CTD サイト (センサーと NIDS アプリアランスを含む) をインポートします。

脆弱性対応と **Microsoft Defender for IoT (Azure)** の統合リリースノート

ServiceNow 脆弱性対応と Microsoft Defender for IoT (Azure) の統合アプリケーションは、Microsoft Defender for IoT (Azure) からインポートされたデータを使用して、本番プロセスのコンテキストでリスクベースのアクションを有効にします。脆弱性対応と Microsoft Defender for IoT (Azure) の統合は、Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースの脆弱性対応と **Microsoft Defender for IoT (Azure)** の統合の特長

- Microsoft Defender for IoT (Azure) から OT に関連付けられた CVE をインポートし、脆弱性一致アイテム (VIT) を作成して、本番プロセスのコンテキストで OT デバイスの脆弱性データを一目で見られるビューを作成します。
- 脆弱性のインポートを独自のスケジュールで自動的に実行します。
- VIT のアサインルールを使用して、リスクベースのアクションを実行できるローカルサイトベースのチームに、修復のために VIT を自動的にルーティングできます。

詳細については、「[Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT \(Azure\)](#)」を参照してください。

i 重要:

脆弱性対応と Microsoft Defender for IoT (Azure) の統合は ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

脆弱性対応と **Microsoft Defender for IoT (Azure)** の統合の機能**Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (Azure)**

脆弱性対応と Microsoft Defender for IoT (Azure) の統合アプリケーションとオペレーショナルテクノロジー脆弱性対応アプリケーションを使用して、本番プロセスで使用される OT デバイスの脆弱性を追跡、優先順位付け、および解決します。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能**CMDB CI Class Models**

オペレーショナルテクノロジーマネージャーアプリケーションは、ServiceNow Store の CMDB CI クラスモデルアプリケーションで利用可能なオペレーショナルテクノロジー (OT) 拡張クラスの最新バージョンを自動的にインストールします。

Vulnerability Response

オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応アプリケーションと統合すると、脆弱性対応アプリケーションはプロセスの重要度に基づいて OT の脆弱性を優先順位付けして解決するのに役立ちます。

Industrial Process Manager

ServiceNow 産業用プロセスマネージャーアプリケーションを使用して、ServiceNow 産業用ソリューションに必要な ISA-95 機器階層モデルデータ基盤を作成します。これにより、各産業ソリューションサイトで独自のバージョンの機器モデルを作成できます。

Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (Azure)

Microsoft Defender for IoT (Azure) のサービスグラフコネクタである ServiceNow オペレーショナルテクノロジーマネージャーアプリケーションと統合すると、OT デバイスとセンサーアプライアンスのインポートが自動化されます。

プラットフォームアナリティクスリリースノート

Xanadu リリースには、プラットフォームアナリティクスの新機能と更新された機能が含まれます。

アナリティクス、インテリジェンス、レポートリリースノート

ServiceNow アナリティクス、インテリジェンス、レポートアプリケーションは、レポートとパフォーマンスアナリティクスウィジェットを介してコア UI ダッシュボードに分析を表示し、アナリティクスハブでパフォーマンスアナリティクスインジケータを調べることができます。アナリティクス、インテリジェンス、レポートは、Xanadu リリースで強化および更新されました。

Xanadu リリースでのアナリティクス、インテリジェンス、レポートの特長

- コア UI レポートおよびダッシュボード機能は Xanadu リリースで廃止
- アクセシビリティのために複数の機能強化を実施

アナリティクス、インテリジェンス、レポートを **Xanadu** にアップグレードする際の重要な情報

アップグレードする場合は、プラットフォームアナリティクス移行センター を使用して、すべてのデータソースに対して単一の可視化セットと統合フィルターを利用できます。

廃止

- コア UI レポート機能は廃止され、新しいインスタンスおよびプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスの [Data visualizations in Platform Analytics](#) が優先されます。
- コア UI ダッシュボードの機能は廃止され、新しいインスタンスとプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスの [Dashboards in Platform Analytics](#) が優先されます。

アクティベーション情報

アナリティクス、インテリジェンス、レポート機能は、デフォルトで有効な Now Platform 機能です。インジケータなどの一部のデータソースには、サブスクリプションが必要な場合があります。

アクセシビリティ情報

視力の弱いユーザー向けにリフローがサポートされています。このサポートを提供するために、次の変更が加えられました。

- 400% ズームでは、凡例が画面の下部に移動します。
- 400% ズームでは、バブルの可視化でズームがデフォルトで有効になります。
- 400% 以上のズームでは、ツールヒントは画面内に収まります。
- ツールヒントは、棒グラフおよび時系列の可視化のデータポイントにカーソルを合わせると表示されます。
- ゲージによる可視化では、範囲ラベルは凡例として表示されます。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Platform Analytics Migration Center

プラットフォームアナリティクス移行センター は、すべてのデータソースに対して単一の可視化と統一されたフィルターのセットを提供します。

Platform Analytics experience

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスは、複数のデータソースのデータを可視化するための統一インターフェイスです。

パフォーマンスアナリティクスリリースノート

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス アプリケーションは、プラットフォーム内のプロセス最適化ソリューションです。これを使用することで、組織は目標に向けた進捗状況を設定、追跡、および分析できます。パフォーマンスアナリティクス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの パフォーマンスアナリティクスの 特長

- 重要なプロセスのメトリクスと傾向を追跡します。
- 組織のターゲットに対してプロセスの健全性と動作を測定します。
- プロセスパターンと潜在的なボトルネックを発生前に特定します。
- ロールベースのダッシュボードで、履歴およびリアルタイムのプロセス統計情報を継続的に可視化します。ダッシュボードを使用すると、個々のステークホルダーは情報に基づいた意思決定を行うことができます。

詳細については、「[Performance Analytics \(Indicator data sources\)](#) 

UI の変更

パフォーマンスアナリティクスは移行後のナビゲーションに表示されない

新しいインスタンスで、またはアップグレードされたインスタンスでプラットフォームアナリティクスに移行した後、パフォーマンスアナリティクスはナビゲーションメニューに表示されません。代わりに、パフォーマンスアナリティクスのすべての機能が [プラットフォームアナリティクス管理] の下に一覧表示されます。

[アナリティクスハブに公開] チェックボックス

インジケーターフォームでは、[アナリティクスハブに公開] チェックボックスの名前が [ライブラリに保存] に変更されました。これは、このオプションがコア UI アナリティクスハブだけでなく、プラットフォームアナリティクスライブラリ内の KPI のリストと KPI 詳細への公開も制御するためです。

注:

この変更は、アナリティクスハブが廃止されるためにも行われました。

KPI とインジケーターの用語の明確化

製品全体で、パフォーマンスアナリティクス インジケーターを指す KPI という用語は、一貫性を保つために「インジケーター」という用語に置き換えられました。ただし、機能名 KPI Composer、KPI 詳細、KPI シグナル は変更されません。

廃止

- パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは新しいインスタンスでは使用できません。代わりに、インジケーターデータソースで プラットフォームアナリティクス データの可視化を使用してください。admin ロールと pa_admin ロールを持つユーザーは、サービスポータルにパフォーマンスアナリティクスウィジェットを引き続き使用できます。

- アナリティクスハブは、新しいインスタンスまたはプラットフォームアナリティクスに完全に移行されたインスタンスでは使用できません。代わりに KPI 詳細 を使用してください。
- パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソールは、新しいインスタンスで廃止されました。アップグレードする顧客の場合、コンソールは利用できますが、新しいプラットフォームアナリティクスアーティファクトからのデータは表示されません。

アクティベーション情報

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス はデフォルトでアクティブです。このアプリケーションでは、インジケータやブレイクダウンを作成することはできません。

サブスクリプションにより、パフォーマンスアナリティクス の全機能を利用できます。サブスクリプションに一致する パフォーマンスアナリティクス プラグインをアクティブ化します。詳細については、「[Activating your Performance Analytics subscription](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Platform Analytics experience

オプションのフィルターとともに、データの可視化とダッシュボードを通じて、パフォーマンスアナリティクス インジケータ (KPI) を配布および消費します。KPI を検索し、データ内の重要なイベントに関するインサイトを受け取ります。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスリリースノート

ServiceNow プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスでは、すべての プラットフォームアナリティクス 製品のデータを 1 か所で使用できます。プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの プラットフォームアナリティクスの特長

- プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスをアクティブ化することで、簡素化された最新の方法でアナリティクスを使用できます。
- アナリティクスデータから有意義なインサイトを提示して、視聴者の直接的な意思決定を可能にします。

詳細については、「[Platform Analytics experience](#)」を参照してください。

プラットフォームアナリティクス を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

新規顧客：プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスは Now Platformで自動的に利用可能になります。直感的なインターフェイスを提供し、データをよりよく理解して活用するのに役立ちます。

アップグレード顧客：現在 コア UI のレスポンシブダッシュボードを使用している場合は、中断することなく引き続きアクセスできます。新しい機能を最大限に活用するには、プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスへの移行を検討してください。

Xanadu リリースの新機能

作成 プロセスマイニング ダッシュボードインサイトからのプロジェクト

1 回のクリックで、ダッシュボードの [インサイト] パネルの提案リストから プロセスマイニング プロジェクトを作成します。提案は、プロセスマイニングによって改善される可能性がある問題が特定された場合に利用できます。

Control data source availability by role

データソースのデータ可視化を作成する機能を、指定したロールに制限します。

UI の変更

色を選択するためのカラーアイコン

データの可視化の設定中に、チャートの色を 1 つ選択する場合に、カラーリストだけでなく、一連のカラーアイコンから選択できるようになりました。代わりに色のリストから選択すると、各リストアイテムにその色のアイコンが表示されます。ゲージと円グラフまたはドーナツグラフを除くすべてのデータ可視化タイプに対して、1 色を選択できます。

パフォーマンスアナリティクスは移行後のナビゲーションに表示されない

新しいインスタンスで、またはアップグレードされたインスタンスでプラットフォームアナリティクスに移行した後、パフォーマンスアナリティクスはナビゲーションメニューに表示されません。代わりに、パフォーマンスアナリティクスのすべての機能が [プラットフォームアナリティクス管理] の下に一覧表示されます。

KPI とインジケータの用語の明確化

製品全体で、パフォーマンスアナリティクス インジケータを指す KPI という用語は、一貫性を保つために「インジケータ」という用語に置き換えられました。ただし、機能名 KPI Composer、KPI 詳細、KPI シグナル は変更されません。

このリリースでの変更

データ可視化のインジケータの分析キャッシュ

インジケータデータとテーブルデータをキャッシュできるようになりました。

キャッシュデータのプリフェッチ

有効期限が 8 時間以上のキャッシュデータは、有効期限が切れる前の 30 分以内に自動的に更新されます。したがって、その日の最初の表示時に、ダッシュボードまたは可視化が新しいデータをロードするのを待つ必要はありません。

更新セットへのプラットフォームアナリティクスダッシュボードのアンロードの簡素化

ワンクリックで プラットフォームアナリティクス インラインダッシュボードを更新セットにアンロードします。

移行の改善

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスへの移行により、Xanadu リリースの次のアイテムの完全な移行が追加されました。

- V1 ピボットレポートと複数列のピボットレポート
- カスタム順序とラベル名を含むインジケータスコアカード
- 時系列ブレイクダウンの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの上位 X 個の要素
- クリック時のカスタム URL の動作
- フィルター機能として動作
- 未構成のレポート、パフォーマンスアナリティクス ウィジェット、およびインタラクティブフィルター：これらのオブジェクトは、空のデータ可視化とフィルター要素に移行されます。
- カスケードフィルター
- ダッシュボードの背景色
- チャートインタラクション：チャート間のドリルダウン

移行センターの改善

- 以前のバージョンで移行した場合、以前はサポートされていなかった可視化がアップグレード時に移行されます。
- 移行ログの UX を改善しました。

特定のスコープ対象アプリのプラットフォームアナリティクス作成権限

Now Platform 委任開発機能を使用すると、アドミン以外のユーザーは、特定のスコープ対象アプリの プラットフォームアナリティクス オブジェクトを作成する権限を取得できます。

インサイトカードのグループ化

同じタイプのインサイトが複数生成されると、1 つのカードにアグリゲートされます。

傾向とターゲットまたはしきい値のインサイトも 1 つのカードに表示されます。

データの可視化に関するインサイト通知

データの可視化で使用するデータソースに関するインサイトが生成されると、その可視化にアラートが表示されます。この機能は、インサイトがアクティブ化されたインラインダッシュボードと UI ビルダー ページの両方でのデータの可視化に適用されます。

プロセスマイニングインサイトにプロジェクトを指定する必要はありません

プロセスマイニングインサイトをアクティブ化している場合は、インサイトを確認するプロセスマイニングプロジェクトをダッシュボードごとに指定する必要がなくなります。関連するすべてのプロジェクトが自動的にチェックされます。

データの可視化に関するインサイト通知

データの可視化で使用するデータソースに関するインサイトが生成されると、その可視化にアラートが表示されます。この機能は、インサイトがアクティブ化されたインラインダッシュボードのデータ可視化と、UI ビルダー ページの個々のデータ可視化の両方に適用されます。

単一スコアの可視化によるチャート化の自動サイジング

単一スコア可視化の新しい [自動サイズ (Auto size)] オプションは、表示されるターゲットやその他の情報に応じて、可視化を使用可能なスペースに動的に収めます。

グローバルフィルターは詳細ダッシュボードに適用されます

詳細ダッシュボードを開くと、ソースページから渡されたグローバルフィルターの値で自動的にフィルタリングされます。

ダッシュボードに保存されたデータの可視化は、ライブラリからリンク解除できます

ダッシュボードに編集可能な共有データ可視化がある場合は、ダッシュボード上のローカルコピーをライブラリからリンク解除し、特別なロールなしで他のダッシュボードに影響を与えることなく編集できます。

簡易リストがフィルターに従う

ダッシュボードの簡易リストは、そのダッシュボードのフィルターに従うことができます。簡易リストに野線を追加することもできます。

廃止

- レポート は新しいインスタンスでは使用できません。代わりに、テーブルデータソースで プラットフォームアナリティクス データの可視化を使用してください。アドミンロールと report_admin ロールを持つユーザーは、引き続き レポート for サービスポータル を使用できます。
- パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは新規のお客様にはご利用いただけません。代わりに、インジケーターデータソースで プラットフォームアナリティクス データの可視化を使用してください。

ください。admin ロールと pa_admin ロールを持つユーザーは、サービスポータルにパフォーマンスアナリティクスウィジェットを引き続き使用できます。

- レスポンシブダッシュボードは、新規のお客様にはご利用いただけません。代わりに、プラットフォームアナリティクス でダッシュボードを作成してください。
- インタラクティブフィルターは、新規のお客様にはご利用いただけません。代わりに、プラットフォームアナリティクス でフィルターを作成してください。
- アナリティクスハブ は、新規のお客様にはご利用いただけません。代わりに KPI 詳細 を使用してください。
- 新規のお客様の場合、インタラクティブアナリシスは コア UI リストでのみ使用できます。
- フォーム内アナリティクスは、新しいインスタンスで、およびプラットフォームアナリティクスへの移行後には廃止されます。この機能は、プラットフォームアナリティクスのアーティファクトには適用されません。
- パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソールは、新しいインスタンスで、およびプラットフォームアナリティクスへの移行後は廃止されます。この機能は、プラットフォームアナリティクスのアーティファクトには適用されません。
- 依存関係アセスメントは、新しいインスタンスで、およびプラットフォームアナリティクス への移行後に廃止されます。この機能は、プラットフォームアナリティクスのアーティファクトには適用されません。

アクティベーション情報

プラットフォームアナリティクス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。インジケターなどの一部のデータソースには、サブスクリプションが必要な場合があります。

アクセシビリティ情報

視力の弱いユーザー向けにリフローがサポートされています。このサポートを提供するために、次の変更が行われました。

- プラットフォームアナリティクスダッシュボードエディターと可視化デザイナーの表示モードは、リフローをサポートしています。
- すべてのグラフ：400% ズームでは、凡例が最初に上または下以外の位置にある場合は、下に移動されます。
- バブルチャート：XY ズームは、400% ズームでのリフロー中にデフォルトで有効になっています。
- ドーナツグラフと円グラフ：範囲ラベルは、デフォルトで 400% ズームで凡例として表示されます。
- ゲージチャート：代わりに範囲ラベルを凡例として表示できます。400% ズームでは、このオプションは自動的に有効になります。
- GeoMap：ズームコントロールは、200%+ ズームでのリフロー中に保持されます。
- ピボットテーブル：行のヘッダーとフッター、および最初の列は、400% ズームでのリフロー中にデフォルトで固定解除されます。
- 時系列および棒グラフ：すべてのデータポイントではなく、特定のデータポイントをツールヒントに表示する新しい構成オプション。デフォルトでは、400% ズームでのリフロー中は 1 つのデータポイントが表示されます。また、これらのグラフには、データのないポイントは表示されません。
- 日付フィルター：リフロー中は、構成パネルで日付ピッカーを使用できません。代わりに、[日付範囲の選択 (Select a date range)] メニューから開始日時と終了日時を選択できます。また、すべてのコンポーネントが垂直方向にスタックされます。

- 複数選択フィルター：水平レイアウトのチェックボックスグループは、ズームすると垂直レイアウトにリフローされます。
- True/False フィルター：ポップオーバーと [クリア]、[キャンセル]、および [適用] ボタンは、400% ズームでのリフロー中に削除されます。

その他のアクセシビリティの変更には、次のものがあります。

- 関連するすべての可視化に対してデータテーブルを表示して、スクリーンリーダーに役立てることができます。これらのデータテーブルは、値の比率をパーセンテージにブレイクダウンします。
- すべてのグラフ：[その他のオプション] メニューにグラフのタイトルが含まれるようになりました。
- インジケータースコアカード：行を展開および折りたたむためのキーボードナビゲーションと音声出力がサポートされるようになりました。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Performance Analytics (Indicator data sources)

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス アプリケーションは、プラットフォーム内のプロセス最適化ソリューションです。これにより、組織は目標に向けた進捗状況を設定、追跡、および分析できます。パフォーマンスアナリティクス は、プラットフォームアナリティクス のデータの可視化で表示できるインジケータースコアカードを提供します。

Process Mining

プロセスマイニング は、アナリストとプロセスオーナーがビジネスプロセスを迅速に分析して最適化するのに役立ちます。プロセスマイニング を プラットフォームアナリティクス インサイトと使用して、インジケータースコアカードを最適化します。

User Experience Analytics

このアプリケーションは、ネクストエクスペリエンス Web アプリケーションと 仮想エージェント、ServiceNow モバイル、および サービスポータル アプリケーションの使用状況アナリティクスを監視するためのダッシュボードビューを提供します。ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、データの可視化で表示できるデータソースを提供します。

プロセスマイニング リリースノート

ServiceNow プロセスマイニング アプリケーションを使用すると、アナリストとプロセスオーナーはビジネスプロセスを表示して分析し、プロセスを改善する意思決定を行うことができます。プロセスマイニング は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの プロセスマイニング の特長

- プロセスマイニング評価版が利用可能
- プロセスマイニング パースペクティブで拡張されたグラフ
- 検索ビルダーの導入
- プロジェクトに自動的に含まれる追加のユースケース分析
- プロセスマイニンググラフダッシュボード (星形図) で利用可能なレコードを表示アクション

詳細については、「[Process Mining !\[\]\(f1c5da15572e3e09d343161be98f508d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

i 重要:

プロセスマイニング は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能**プロセスマイニング 評価版が利用可能**

高度な機能が組織にとって有益かどうかを判断できるように、エンタイトルメントのないインシデントテーブルでサンプルマイニングと制限付き機能を試してください。

プロセスマイニング パースペクティブで拡張されたグラフ

特定の時間に表示するアクティビティ定義でプロセスマイニンググラフをフィルタリングします。

非効率性の根本原因を容易に理解

すべての作業メモのサマリーを生成して、個々の作業メモを個別に読む必要がなく、非効率性の履歴を確認できます。

検索定義を構成

包括的なガイド付きセットアップを使用して、自動化されたルールベースの検索定義を効率的に構成および表示します。

プロジェクトに自動的に追加のユースケース分析を含める

この選択を手動で行う必要がないように、プロジェクトの作成時に該当するプロセスに対して承認分析または SLA 違反分析を自動的に設定します。

[サマリーとインサイト] ページで導入されたバリエーション分析

プロセス内のレコードがたどったさまざまなルートを、ほぼトラバースされた、その他のステップなどのパラメーターに基づいて分析します。この情報には、[サマリーとインサイト] ページからアクセスできます。

プロセスマイニンググラフダッシュボードのアウトラインをカスタマイズする

グラフ内にあるノードの現在のプロジェクトワークベンチに設定されたプロセスグラフのアウトラインの向きをカスタマイズします。たとえば、垂直方向のウィジェットを使用する場合、グラフと星形図を水平レイアウトではなく垂直レイアウトで表示したい場合があります。

Inflow and outflow analysis: node star diagram

マップダッシュボードから任意のノードまたはアークのレコードを表示します。

受信または送信アークを除外するオプション

受信アークのみまたは送信アークのみを表示して、グラフ上の他の関連プロセスに関する特定のプロセスの作業のインフロー/アウトフローを確認します。

アクティベーション情報

プロセスマイニングは、sn_po プラグインを有効にすると利用できます。

公共機関デジタルサービス リリースノート

ServiceNow 公共機関デジタルサービスアプリケーションを使用すると、政府機関は、市民、企業、およびその他の機関に、公的記録、ライセンス、許可、社会サービスなどの重要なサービスを提供できます。公共機関デジタルサービスは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 公共機関デジタルサービス の特長

- 取り込みおよび決定ステージの更新や、行政サービスポータル申請者向けのプロセスプレイブックの更新など、福利厚生プレイブックの機能拡張。
- Information Request Playbook内の PDF ドキュメントから機密コンテンツまたはデータを編集します。
- 公共機関デジタルサービス (PSDS) の Now Assist を使用して、福利厚生プレイブック内のケースのケースサマリーとケース解決メモを自動生成します。

詳細については、「[公共機関デジタルサービス](#)」を参照してください。

i 重要:

公共機関デジタルサービス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

公共機関デジタルサービスを Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

アップグレード後、CSM 構成可能ワークスペース 内の特定の公共部門メニューおよびメニューアイテムは、元の CSM ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。再レベル付けの詳細については、次を参照してください。すべて > 構成員サービス > 管理 > ガイド付きセットアップをクリックし、公共機関デジタルサービスの構成可能ワークスペース > ワークスペースラベルを手動でカスタマイズ。

Xanadu リリースの新機能

Information Request Playbook のドキュメント編集

テキスト本文を強調表示して編集対象に指定することで、Information Request Playbook のドキュメント管理ツール内の機密コンテンツ、データ、またはドキュメント全体を編集します。この機能は、[公開] または [ドラフト] ステータスのドキュメントに対して、情報要求ケースエージェントのみが使用できます。同じドキュメントの新しいバージョンは、テキストが編集または編集解除されるたびに生成されます。

公共機関デジタルサービス (PSDS) の Now Assist

PSDS の Now Assist のケース要約スキルを使用して、ケースレコードを短いサマリーに要約します。エージェントは、解決策の要約スキルを使用して、ケースの解決情報を生成し、顧客に解決策を提案して、その情報をケースレコードに追加できます。PSDS の Now Assist アプリケーションは、生成 AI ケースの要約と解決メモの生成を公共機関デジタルサービスにもたらしめます。

このリリースでの変更

構成員サービスダッシュボードのプラットフォームアナリティクスへの移行

構成員サービスダッシュボードは、ネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクス に移行されました。ネクストエクスペリエンス は、ユーザーが Xanadu リリースをロードまたはアップグレードしたときにデフォルトでアクティブになる Now Platform 機能です。ダッシュボードのネクストエクスペリエンス への移行により、ロールベースのダッシュボードで履歴およびリアルタイムのプロセス統計情報を継続的に可視化できるため、個々のステークホルダーが情報に基づいた意思決定を行うことができます。新しいダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > **Dashboards** (ダッシュボード)。

の機能強化: 福利厚生プレイブック

拡張された 福利厚生プレイブック を使用して、プライマリ申請者に関するより詳細な情報を含む更新された構成員カードを表示します。行政サービスポータルで更新された

プロセスプレイブックを使用して、ドラフトケースをキャンセルし、最初の適格性スクリーニングをバイパスし、プレイブックアクティビティをスキップします。

アクティベーション情報

公共機関デジタルサービス アプリケーションを ServiceNow Store から要求してインストールします。アプリケーションのインストールの詳細については、「[Configuring Public Sector Digital Services](#)」を参照してください。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

カスタマーサービス管理 (CSM)

ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションを使用すると、カスタマーサービス組織とサービスオペレーションがコラボレーションして顧客の問題を解決できます。

CSM 構成可能ワークスペース

CSM 構成可能ワークスペースアプリケーションは、情報を調査し、市民からの質問に回答し、ケースを解決するためのツールを政府機関に提供します。

Now Assist

ServiceNow Now Assist は、会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率性を向上させるために設計された生成 AI を使用します。

リテールオペレーション リリースノート

ServiceNow リテールオペレーションアプリケーションを使用すると、フロントラインマネージャーとアソシエイトは、タスクを自動化し、セルフサービスで問題を迅速に解決し、顧客へのサービス向上に時間を割くことで、日々の店舗運営をシームレスに管理できます。リテールオペレーションはXanaduリリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの リテールオペレーション の特長

- これらの小売組織のチームの可視性とタスク完了機能を向上させて、本社と小売組織間の接続を簡素化します。
- ナレッジベースなどのセルフサービスツールを使用して、小売組織のワーカーエクスペリエンスを向上させます。
- 小売組織のケースにアクセスできる中央ポータルを通じて可視化を提供することで、個々の要求の重複を減らします。
- 小売組織チームが、必要に応じてケース、ライブチャット、電話などを通じて本社から直接支援を要求できるようにすることで、効率を最適化します。
- 店舗内での顧客の問題を報告することで、顧客満足度を向上させます。

詳細については、「[Exploring Retail Core](#)」を参照してください。

重要:

リテールオペレーション は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

リテールオペレーション 機能

小売業データモデル

小売組織の階層構造をモデル化することで、小売業務を最適化します。

小売業ケースタイプ

小売業ケースタイプを使用すると、店舗内の問題を効果的に管理できます。

ストアサポートポータル

小売業のストアサポートポータルを使用して、セルフサービスツールを利用します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求してリテールオペレーションをインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(003082e50e3009141f59bd5df831749f_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(f439ede8735757e3190eab35e168f1de_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Customer Service Management

ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM)アプリケーションは、リテールオペレーションアプリケーションの基盤となります。ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM)アプリケーションの機能を活用して、顧客と小売サイトにサポートを提供し、小売組織に最も効果的に利益をもたらすようにカスタマイズできます。

Field Service Management

フィールドサービス管理 (FSM)アプリケーションは、リテールオペレーションアプリケーションを使用する特定の各小売業の場所内で使用するための作業指示などの機能を提供することでリテールオペレーションと連携し、小売組織のサポート要求のユースケースを活用する方法の柔軟性を高めます。ディスパッチと技術者が関与するフィールドサービスのユースケースでは、フィールドサービス管理 (FSM)を活用してください。

Retail Task Management リリースノート

ServiceNow Retail Task Management (リテールタスク管理) アプリケーション <製品の主な利点を説明する>。Retail Task Management (リテールタスク管理) は、Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの **Retail Task Management** の特長

-
-
-

詳細については、「」を参照してください。

重要:

Retail Task Management は ServiceNow Storeで利用できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Retail Task Management (リテールタスク管理) の機能

UI の変更

Retail Task Management (リテールタスク管理) の重要なアップグレード情報

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

ブラウザー要件

アクセシビリティ情報

ローカリゼーション情報

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Retail Operations Core

セールスと注文管理 リリースノート

ServiceNow セールスと注文管理 は Xanadu リリースの新規および更新されたアプリケーションと機能のセットです。これらのアプリケーションを使用すると、リード、プリセールス機会、営業見積もりの生成、注文のキャプチャ、受注処理、ポストセールスの注文変更および更新など、組織内の製品販売ライフサイクルを管理できます。

i 注:

セールスと注文管理 には、顧客ライフサイクルオペレーション (Customer Life Cycle Management) と カスタマー契約とエンタイトルメント のワークフローが含まれています。Xanadu リリースに含まれるこれらの機能の詳細については、カスタマーサービス管理 (CSM) リリースノートの「[Data management for CSM リリースノート](#)」および「[カスタマー契約とエンタイトルメント リリースノート](#)」を参照してください。

製品カタログ管理 および **Pricing Management** リリースノート

セールスと注文管理アプリケーションには、組織で使用する製品オフリング、カタログ、価格設定、割引戦略を作成および管理するための製品カタログ管理および Pricing Management の機能が入っています。これらの基本機能は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 製品カタログ管理 と **Pricing Management** の特長

- 製品カタログの対象製品のみを見積もりと注文に追加できるルールを設定することで、適切な製品を販売し、注文エラーのリスクを軽減します。
- 製品仕様または製品仕様階層を参照するバンドル製品オファーの複雑な注文を処理します。
- 製品コンフィギュレーターに表示されるデフォルトの製品構成を設定することで、エージェントの見積および注文プロセスを簡素化します。

詳細については、「[Product Catalog Management](#)」と「[Pricing Management](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

製品カタログ管理 機能

製品オファ어의適格性

ビジネスルールを使用して、製品カタログ、製品カテゴリ、および製品オフリングを動的にフィルタリングし、製品カタログ内の顧客に適切な製品オフリングのみを表示します。製品の適格性マトリクスを使用してビジネスルールを定義します。販売計画を使用している場合、製品カタログには、販売計画で設定された対象製品オファ어의みが表示されます。

Product offer bundling with product specifications

製品仕様または仕様階層が関連付けられているオファ어의バンドルをサポートします。たとえば、製品仕様に関連付けられている製品オファ어를作成し、親仕様に加えて子仕様から特性を継承するかどうかを指定できます。

Pricing Management 機能

販売契約価格リスト

販売契約 機能を使用している場合、セールスエージェントが完了した見積もりから販売契約書を作成すると、公開された販売契約価格表が自動的に生成されます。販売契約書の価格表は、販売契約書に取り込まれた各製品の最終的な単価を反映し、契約書に指定された開始日と終了日に対して有効です。販売契約の詳細については、「[Sales Agreement Management](#)」を参照してください。

UI の変更

コンテキストルール管理ナビゲーションの変更

CSM 構成可能ワークスペースでは、リストビューから製品適格性マトリクスにアクセスし、ルール > 適格性ルール または コンテキストルール管理 > ルールマトリクス 製品の適格性を制御するための適切なマトリクスを選択する。

このリリースでの変更

製品カタログ管理 個の変更

構成 UI の変更

構成 UI のアラート、エラー、および情報メッセージの表示とアグリゲーションが改善され、より多くのコンテキストが提供されるようになりました。構成が不完全であることを示すビジュアルインジケターを追加しました。

構成ステータスモデル API フレームワークの機能拡張

構成ステータスモデルを使用して、製品コンフィギュレーターのさまざまな機能を制御します。たとえば、ロールや営業チャネルなどのコンテキストに基づいて、エージェントに表示されるさまざまなデフォルトの製品構成を定義できます。また、エージェントが構成ノードに入力できる数量の値を制御したり、設定した特定の条件に対してトリガーされる情報メッセージをオプションで定義したりすることもできます。

Pricing Management 個の変更

公開された価格リストの変更

Xanadu リリース以降、公開された価格リストの [説明] フィールドと価格リストの [終了日] フィールドのみを変更できます。引き続き価格明細を追加できます。

Copy a price list

価格リストとその価格明細を再作成することなく、公開された価格リスト、その価格明細、および関連する属性調整とディシジョンテーブルを複製します。たとえば、公開された価格リストとその価格明細をコピーし、別のアカウントまたは場所に価格リストのコピーを使用できます。

原価表の機能拡張

特定の通貨に対して複数の原価表を作成し、特定の通貨に対してデフォルトの原価表を設定します。次の操作も実行できます。

- [Copy a cost book !\[\]\(633dd45d48d71eb51a85c6dd83ee51e9_img.jpg\)](#) .
- 使用するデフォルトの原価表を管理し、[原価表のデフォルト設定マトリクス !\[\]\(bdddf9191a284aa0945448444083c5b0_img.jpg\)](#) を使用して原価表の検証ルールを設定します。
- [DefaultCostBookExtensionPoint 拡張ポイント !\[\]\(944943bcf87a12c5b9337bf7ed1ef546_img.jpg\)](#) を使用して、他の SOM アプリケーションによって呼び出されるデフォルトの原価表ロジックをカスタマイズします。

マトリクスルールの検証

事前定義された検証ルールを使用するか、独自のルールを作成して、価格設定および製品適格性ルールマトリクスの必須入力などのコンテキスト変数を検証します。各検証定義には、検証するコンテキスト変数と、検証結果に応じてマトリクスディシジョンテーブルに表示される対応するエラーまたは警告メッセージを識別するスクリプトがあります。

Pricing Matrix Management アプリケーションの名称変更

Xanadu リリース以降、Pricing Matrix Management アプリケーションは、Product and Pricing Rules アプリケーション (sn_csm_price_mtrx プラグイン) に名前が変更されています。アプリケーションには、このリリースで導入された製品カタログ適格性マトリクスと価格設定マトリクスが含まれています。

アクティベーション情報

製品カタログ管理およびPricing Managementの機能はそれぞれのストアアプリケーションに含まれているため、アクティブ化する必要はありません。エンタイトルメントに応じて、価格設定および製品適格性マトリクス用の製品および価格設定ルールアプリケーションと製品コンフィギュレーター機能を、ServiceNow Store からインストールできます。

注文管理 リリースノート

ServiceNow 注文管理アプリケーションを使用すると、法人顧客からの製品とサービスの注文をキャプチャ、管理、および実行できます。注文管理は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 注文管理 の特長

- 危険管理により、エージェントは予定されているタスクの営業時間を設定できます。管理者は、営業時間を反映するように予定タスク時間を設定できます。
- 販売契約: エージェントは、注文管理ヘッダーで販売計画情報を表示できます。
- 親品目から子品目への数量のカスケード: エージェントが親レベルで数量を変更すると、数量は子品目にカスケードされます。

詳細については、「[Using Order Management !\[\]\(a8f9309f944226d1420f5fed22e2b6e6_img.jpg\)](#)」を参照してください。

注文管理 を **Xanadu** にアップグレードする際の重要な情報

この Xanadu リリースで導入された新機能は、注文管理 の以前のリリースではサポートされていません。

通信事業とメディア向け注文管理バージョン 6.0 以前からアップグレードする場合：

- Washington DC リリース以降では、製品オフリングと製品属性の特性に設定された毎月の定期料金 (MRC) と非定期料金 (NRC) は、製品オフリングデータモデルではなく、価格リストと価格明細の価格設定データモデルに保存されます。Washington DC にアップグレードした後に価格リストを使用するように価格情報をアップグレードする場合は、Now Support ナレッジベースの記事「[Washington にアップグレードする電気通信、メディア、およびテクノロジーの顧客向けの Price Management プラグイン \(com.sn_csm_pricing\) の取り込み \(Price Management Plugin \(com.sn_csm_pricing\) uptake for Telecommunications, Media, and Technology customers upgrading to Washington\) \[KB1585863\]](#)」を参照してください。
- リリースにアップグレードすると、修正スクリプトが自動的に実行され、未完了の注文のキャプチャを再開するために不要になった特定の電気通信リストレコードが非アクティブになります。これらのレコードの詳細と以前の注文キャプチャプロセス (必要な場合) の使用については、Now Support ナレッジベースの記事「[Deprecating List for Order Capture \[KB1586538\] \(注文キャプチャのリストの廃止\)](#)」を参照してください。

[契約開始日 (**contract start date**)] と [契約終了日 (**contract end date**)] フィールドを使用し、レコードがあるアップグレードの顧客である場合は、*Migrate data from deprecated contract fields to new fields on Order and Order Lines* スケジュール済みジョブを実行して、それらのレコードを新しいデータモデルに移行できます。このスケジュール済みジョブは、次の場所に移動して手動で実行する必要があります。システム定義 > スケジュール済みジョブ。スケジュール済みジョブの詳細については、「[Scheduled jobs](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Updating specification versions

アドミンが製品仕様の一括バージョン更新を実行できるようにします。

Add covered products to order line items

エージェントが注文キャプチャの一部として対象製品と変更を作成し、補償関係を確立できるようにします。エージェントは、エンタイトルメントおよび契約から対象製品として販売済み製品またはインストールベースアイテムを削除する変更指示を作成することもできます。

エージェントが新しい変更指示機能を使用して製品在庫の場所を変更できるようにします。

履行マネージャーが製品オフリングにマッピング仕様を追加できるようにします。

このリリースでの変更

仕様を製品オフリングにマッピングします。たとえば、製品が注文されると、この更新によりエージェントは製品に仕様を追加できます。

Add a sales agreement to an order in Order Management

販売計画サポートを使用すると、エージェントは既存の注文に販売計画を追加できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、注文管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Customer Service Management

構成管理データベース (CMDB)アプリケーションは、必要な構成アイテム (CI) を作成し、顧客に提供されるサービスとリソースのベースアイテムをアクティブ化します。これにより、注文が履行されたときにサービスが開始されることが保証されます。

Customer Service Management

カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションは、アカウント、コンシューマー、および製品インベントリデータモデルを使用します。カスタマーサービスエージェントは、注文管理を使用して顧客に提供された製品とサービスを完全に把握できます。

Customer Service Management

製品カタログ管理アプリケーションを使用すると、カタログアドミニストレーターは、エージェントが製品やサービスを検索して注文に追加するために使用する製品カタログを作成できます。

Pricing Management

Pricing Managementアプリケーションを使用すると、価格設定アドミニストレーターは、注文で使用する製品とサービスの価格を設定できます。価格設定アドミニストレーターは、販売代理店が注文内の製品の価格設定を調整できるようにするコントロールも設定します。

Quote Management

見積管理アプリケーションを使用すると、販売代理店と営業担当者が顧客の販売見積もりを生成および管理できます。顧客の準備ができたなら、販売見積もりを注文にシームレスに変換できます。

Customer Service Management Workflow Studio actions

ワークフロースタジオコンポーネントを使用すると、オーケストレーションワークフローなどのワークフローの一部として設計されたフローやサブフローを呼び出すことができます。これらのコンポーネントで、フローやサブフローの出力または実行状況を確認することもできます。

Configuring Field Service Management

Customer Service with Field Service Management プラグイン (com.snc.csm_fsm_integration) を使用すると、カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションとフィールドサービス管理 (FSM)アプリケーションが統合され、アプリケーションで作業指示および作業指示タスクのアカウントと連絡先情報を表示できます。

リード管理 リリースノート

ServiceNow リード管理アプリケーションを使用すると、営業開発担当者はリードを作成および管理できます。リードとは、製品やサービスに興味を示し、潜在的な販売機会に認定されるために育成を必要とする個人または組織です。リード管理 は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの リード管理 の特長

- Web サイトのフォーム、ソーシャルメディア、イベントなどのさまざまなチャネルを通じて見込み客の関心を引くことで、Now Platform でリードを作成します。
- 営業サイクルのさまざまな段階でリードの進捗状況を追跡します。
- アンケートを通じてリードのニーズと要件を理解し、リード品目を通じて製品オフリングを推奨およびキャプチャします。
- リードとそのステージのカードベースのビューを表示するカンバンボードを使用して、リードを可視化してナビゲートします。
- タスクの作成と割り当て、メールの送信、リードとの予約のスケジュール設定を行います。
- リードを認定し、潜在顧客レコードや機会に転換します。

詳細については、「[Lead Management](#)」を参照してください。

i 重要:

リード管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノート「[アクティブ化情報](#)」セクションを参照してください。

リード管理 機能

Create a lead

潜在的な販売機会のリードを作成および管理します。

リードワークスペースを使用したニーズ分析

アンケートを通じてリードのニーズを理解し、リード品目を通じて製品オフリングを推奨およびキャプチャします。

カンバンビューを使用してリードを管理する

リードのカードベースのビューを表示するカンバンボードを使用して、さまざまなステージでこれらのリードをナビゲートおよび可視化することで、さまざまなリードのステータスをすばやく評価します。

リードを育成し、リードアクティビティを追跡する

メールを作成し、タスクを作成し、予約をスケジュールして、リードの関心とニーズの分析を追跡することで、リードを育成します。

リードを機会に変換する

新規および既存の取引先担当者に新たな機会を作成することで、リードを認定します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、リード管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store/バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Customer Service Management

オポチュニティ管理 アプリケーションは、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アカウント、コンシューマー、および製品インベントリデータモデルを使用します。オポチュニティ管理を使用して作成された営業案件をカスタマーサービスエージェントが見ると、完全に案件を把握できます。

オポチュニティ管理

ServiceNow オポチュニティ管理アプリケーションは、ニーズ分析に基づいて、販売代理店とアカウント担当役員に顧客向けの製品推奨を提示します。顧客の準備ができたら、販売機会を見積もりにシームレスに変換できます。

Product Catalog Management

カタログアドミニストレーターはセールスと注文管理の製品カタログ管理機能を使用して製品カタログを作成できます。エージェントはこの製品カタログにあるカテゴリをナビゲートして、営業案件に追加する製品やサービスを検索することが簡単にできます。

オポチュニティ管理 リリースノート

ServiceNow オポチュニティ管理 アプリケーションを使用すると、営業エージェントとアカウントエグゼクティブは、顧客の潜在的な販売を特定して追跡する機会を作成および管理できます。オポチュニティ管理 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの オポチュニティ管理 の特長

- サイドバーと Microsoft Teams の統合を使用して、内部および外部のステークホルダーと機会に対してコラボレーションします。
- 新しい UI アクションを使用して、機会レコードで選択した品目の見積もりを作成します。

詳細については、「[Opportunity Management](#)」を参照してください。

i 重要:

オポチュニティ管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Microsoft Teams とのサイドバー統合を使用

Microsoft Teams と統合されたサイドバーを使用して営業マネージャーやソリューションコンサルタント、または製品チームと法務チームと商談についてコラボレーションし、商談または機会を成立させます。さらに、メッセージ、絵文字、添付ファイルを使用してステークホルダーとコミュニケーションを取ることができます。

i 注:

この機能を使用するには、Now Platform を Xanadu にアップグレードする必要があります。詳細については、「[Xanadu リリースへのアップグレード](#)」を参照してください。

機会品目から見積もりを作成

機会レコード内の個々の品目を選択して見積もりを作成します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して オポチュニティ管理 をインストールします。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Customer Service Management

オポチュニティ管理 アプリケーションは、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アカウント、コンシューマー、および製品インベントリデータモデルを使用します。オポチュニティ管理を使用して作成された営業案件をカスタマーサービスエージェントが見ると、完全に案件を把握できます。

Quote Management

ServiceNow 見積管理アプリケーションを使用すると、販売代理店は顧客の販売見積もりを生成および管理できます。顧客の準備ができれば、販売機会を見積もりにシームレスに変換できます。

Product Catalog Management

カタログアドミニストレーターはセールスと注文管理の製品カタログ管理機能を使用して製品カタログを作成できます。エージェントはこの製品カタログにあるカテゴリをナビゲートして、機会に追加する製品やサービスを検索することができます。

Pricing Management

セールスと注文管理のPricing Management機能により、セールスと注文管理の各種アプリケーションで使用される製品とサービスの価格設定を価格設定アドミニストレーターが設定できます。

販売契約管理 リリースノート

ServiceNow 販売契約管理 アプリケーションを使用すると、販売者と購入者の間の指定された期間における将来の販売トランザクションの見積もりからスコープと条件をキャプチャできます。販売契約管理 は、Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの 販売契約管理 の特長

見積もりから販売契約を作成し、購入者と販売者の間で交わされる今後の販売取引について合意された範囲と価格をキャプチャします。

詳細については、「[Sales Agreement Management](#)」を参照してください。



重要:

販売契約管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

販売契約管理 機能

販売契約管理 application

見積もりから販売契約書を作成し、購入者と販売者の間で交わされる今後の販売取引の範囲と価格をキャプチャします。販売契約には、購入者と販売者の詳細、契約の有効期間、製品とサービスの数量と価格などの情報が含まれています。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Customer Service Management

販売契約管理 アプリケーションは、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アカウント、コンシューマー、および製品インベントリデータモデルを使用します。カスタマーサービスエージェントは、見積管理を使用して作成された見積もりの完全な可視化を確保できます。

オポチュニティ管理

ServiceNow オポチュニティ管理アプリケーションは、ニーズ分析に基づいて、販売代理店とアカウント担当役員に顧客向けの製品推奨を提示します。顧客の準備ができたら、販売機会を見積もりにシームレスに変換できます。

Product Catalog Management

セールスと注文管理の製品カタログ管理機能を使用すると、カタログアドミニストレーターは、エージェントが製品やサービスを検索して販売見積もりに追加できる価格設定を含む製品カタログを作成できます。

Pricing Management

セールスと注文管理のPricing Management機能を使用すると、価格設定アドミニストレーターは、見積もりで使用する製品とサービスの価格設定を設定できます。価格設定アドミニストレーターは、販売代理店が見積もり内の複雑な製品オファーの価格を調整できるようにするコントロールも設定します。

注文管理

注文エージェントと履行エージェントは、販売契約管理アプリケーションから作成された顧客の注文を履行するためにServiceNow 注文管理を使用できます。

見積管理 リリースノート

ServiceNow 見積管理アプリケーションを使用すると、セールスエージェントは顧客の販売見積もりを生成および管理できます。見積管理は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 見積管理 の特長

- 見積もりの販売契約 - エージェントが見積もりから SA を追加できるようにします。
- 対象製品を見積もりに追加する: エージェントは対象製品を見積もりに追加できます。
- 見積もりの場所の更新 - 管理者は見積もりの場所を更新できます。
- 子明細行へのカスケード数量: 数量は子明細行にカスケードされます。

詳細については、「[Quote Management](#)」を参照してください。

重要:

見積管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノート
の「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Quote Management integration with Contract Management Pro

顧客が承認した見積もりから法的な販売契約を生成します。この統合機能を使用すると、取引を確定し、顧客との間の販売契約を正式にするプロセスを簡素化できます。

見積もりから販売契約を作成

見積もりから販売契約書を作成し、購入者と販売者の間で交わされる今後の販売取引の範囲と価格をキャプチャします。販売契約書には、購入者と販売者の詳細、契約の有効期間、製品とサービスの数量と価格が含まれています。

見積もりタスクを作成する

見積もりに対して複数のタスクを作成し、ターゲットグループにアサインします。これらのタスクは、エージェントが見積もりを生成するために必要なアクションを実行するための参照として機能します。

見積品目から注文を作成する

見積もり内で複数の親品目を選択して注文を作成します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、見積管理 をインストールします。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Customer Service Management

見積管理 アプリケーションは、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アカウント、コンシューマー、および製品インベントリデータモデルを使用します。カスタマーサービスエージェントは、見積管理を使用して作成された見積もりの完全な可視化を確保できます。

オポチュニティ管理

ServiceNow オポチュニティ管理アプリケーションは、ニーズ分析に基づいて、販売代理店とアカウント担当役員に顧客向けの製品推奨を提示します。顧客の準備ができたら、販売機会を見積もりにシームレスに変換できます。

Product Catalog Management

セールスと注文管理アプリケーションの製品カタログ管理機能を使用すると、カタログアドミニストレーターは、エージェントが製品やサービスを検索して販売見積もりに追加できる価格設定を含む製品カタログを作成できます。

Pricing Management

セールスと注文管理のPricing Management機能を使用すると、価格設定アドミニストレーターは、見積もりで使用される製品とサービスの価格設定を設定できます。価格設定アドミニストレーターは、販売代理店が見積もり内の複雑な製品オファーの価格を調整できるようにするコントロールも設定します。

注文管理

注文エージェントと履行エージェントは、見積管理アプリケーションから作成された顧客の注文を履行するためにServiceNow 注文管理を使用できます。

Security Operations リリースノート

Xanadu リリースには、Security Operations の新機能と更新された機能が含まれます。

アプリケーション脆弱性対応 リリースノート

ServiceNow アプリケーション脆弱性対応 アプリケーションを使用すると、セキュリティと IT が連携して迅速かつ効率的に最も重要な脆弱性を修正できます。アプリケーション脆弱性対応 は ServiceNow 脆弱性対応 アプリケーションの一部として含まれています。アプリケーション脆弱性対応 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの アプリケーション脆弱性対応 の特長

- Vulnerability Manager ワークスペース内の特定のアプリケーション脆弱性一致アイテムのリスクスコア、アサイン、修復ターゲット日、および修復タスクを再評価します。
- サポートされているサードパーティのスキャナーと統合して、脆弱性データをインポートします。
- アプリケーション脆弱性関連データを比較して、アプリケーション内にアプリケーション脆弱性があるかが判断されます。
- アプリケーション脆弱性一致アイテム (AVI) に優先順位を付け、修復し、管理します。各アプリケーション脆弱性は、CWE またはサードパーティライブラリ内の脆弱性エントリを表します。
- 組織のアプリケーションで使用されているコンポーネントを特定し、インスタンスにアップロードする ソフトウェア部品表 (SBOM) ファイルからのオープンソースソフトウェアの使用に関連するリスクへの潜在的なエクスポージャーを特定します。

詳細については、「[Application Vulnerability Response](#)」を参照してください。

重要:

脆弱性対応 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

アプリケーション脆弱性対応 を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

- 脆弱性対応の新機能の詳細については、「[脆弱性対応リリースノート](#)」を参照してください。
- アプリケーション脆弱性対応アプリケーションのリリースバージョン、Xanadu リリースと互換性のあるサードパーティアプリケーションや ServiceNow アプリケーションについて詳しくは、Now Support ナレッジベースの「[Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes](#) (脆弱性対応互換性マトリクスおよびリリーススキーマの変更) [KB0856498]」の記事を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

脆弱性マネージャーワークスペースでのアプリケーション脆弱性一致アイテムの修復プロパティの再評価

アプリケーション脆弱性一致アイテムを条件付きで選択して、Vulnerability Manager ワークスペース 内の次の修復プロパティを再評価します。

- アサイン
- 修復タスク
- 修復ターゲット日
- リスクスコア

CycloneDX SBOM ファイルのソフトウェア部品表の機能拡張

CycloneDX フォーマットの SBOM ファイルをサポートするために、以下の機能強化が行われました。

CycloneDX SBOM ファイルの追加情報を (`sn_sbom_core.collect_properties`) プロパティでインポートします。このプロパティはデフォルトで非アクティブ化されています。一般的にサポートされていない情報をインポートするには、このプロパティを有効にします。これらのプロパティからインポートされた情報は、次の SBOM コンポーネントプロパティ [`sn_sbom_comp_property`] テーブルにアップロードされます。

- アップロードされた SBOM ファイル
- メタデータ
- 個々の脆弱性
- コンポーネント

CycloneDX のバージョン 1.4 以降の SBOM ファイルの宣言済みライセンスと締結ライセンスのインポートされたコンポーネントデータを、2 つの新しいライセンスフィールドに表示します。

- 宣言済み
- 締結

SBOM 解析サポートは、以下の CycloneDX バージョンおよびコンポーネントタイプで強化されています。

- バージョン 1.5：プラットフォーム、データ、デバイスドライバー、機械学習モデル
- バージョン 1.6：暗号化

PaCE 向け SBOM Response の機能拡張

ポリシーアズコードエンジン (PaCE) アプリケーションは SBOM Response で使用できます。

- *Run PaCE policies for SBOM Response* スケジュール済みジョブで、コンポーネントが古くなっているか破棄されているかを判断します。このスケジュール済みジョブは、デフォルトでは非アクティブです。
- SBOM ワークスペースで利用可能な PaCE インターフェイスで、古いコンポーネントまたは非準拠として破棄されたコンポーネントを表示します。

®

への SBOM ファイルのアップロード Now Platform から GitHub リポジトリ

CI/CD (継続的統合および継続的デリバリ/展開) パイプラインで生成された SBOM ファイルが、Now Platform インスタンスで正常にキューに入れられているかどうかを確認します。

- GitHub 環境から開始する GitHub アクションを使用して、ソフトウェア開発サイクル中に潜在的に有害なコンポーネントから環境を保護します。
- GitHub Marketplace での SBOM アップロードに必要な GitHub Actions を取得します。

Veracode 脆弱性統合のための部品表レコードの機能拡張

Vericode は、アップロードする Veracode SBOM ファイルの部品表 [sn_sbom_doc] テーブル内のレコードの [ソース] フィールドにマッピングされます。

Container Vulnerability Response の修復タスクルール

修復タスクルールに基づいてコンテナ脆弱性一致アイテムを自動的に定義してグループ化します。

GitHub シークレットスキャン

組織のコードで検出されたシークレットをアプリケーションセキュリティテスト結果とともに取り込み、開発者がこれらにアクセスして結果を簡単に緩和できるようにします。

スケジュール済みジョブの処理パフォーマンスの向上

Rollup application vulnerable item values to vulnerability and group スケジュール済みジョブが拡張され、マルチスレッド機能を備えたバックグラウンドジョブを作成できるようになりました。このアップグレードでは、ジョブをいくつかの小さな子ジョブに分割し、並列または同時に実行します。この変更により、複数のレコードを同時に処理できるようになり、タスク全体の速度が大幅に向上します。

アプリケーション脆弱性対応 のクイックスタートテスト

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了した後、クイックスタートテストを実行して、アプリケーション脆弱性対応 が想定どおりに機能していることを検証します。アプリケーション脆弱性対応 をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

このリリースでの削除

クラシック UI、Vulnerability Manager ワークスペース、および IT 修復ワークスペースの修復タスクの [閉じる] ボタンは削除されました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して アプリケーション脆弱性対応 をインストールします。アプリケーション脆弱性対応 は、脆弱性対応アプリケーションの一部として含まれます。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

コンフィグレーションコンプライアンスリリースノート

ServiceNow コンフィグレーションコンプライアンス アプリケーションを使用すると、迅速かつ効率的に環境内の最も重要な構成関連の脆弱性に優先順位を付け、修正できます。コンフィグレーションコンプライアンス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの コンフィグレーションコンプライアンス の特長

- Vulnerability Manager ワークスペース の一連のテスト結果について、リスクスコア、アサイン、修復ターゲット日、および修復タスクを再評価します。
- テストグループの CI コンプライアンスとテスト結果のコンプライアンスの割合を Vulnerability Manager ワークスペース で表示します。

詳細については、「[Configuration Compliance](#)」を参照してください。

i 重要:

コンフィグレーションコンプライアンス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

脆弱性マネージャーワークスペースでのテスト結果の修復プロパティの再評価

テスト結果を条件付きで選択して、Vulnerability Manager ワークスペースの次の修復プロパティを再評価します。

- アサイン
- 修復タスク
- 修復ターゲット日
- リスクスコア

脆弱性マネージャーワークスペースでテスト結果の一括編集を使用する

複数のテスト結果に対して同時に、またはVulnerability Manager ワークスペースの修復タスクに対して、次のタスクを実行します。

- テスト結果を修復のためにアサイン先グループにアサインします。
- 例外を一括で要求します。
- テスト結果を一括で誤検出としてマークします。

テスト結果の追加情報の入力

[経過時間 (Age)]、[クローズ所要時間 (Age closed)]、[クローズ日 (Closed date)]、[アクティブ (Active)]、[最終オープン日 (Last open date)] 列がテスト結果テーブルに追加されました。

[クローズ済み (Closed)] ステータスでないテスト結果は、[アクティブ (Active)] フィールドで *true* とマークされます。[すべて] メニュー、[コンフィグレーションコンプライアンス の概要]、[統一 (Unified)]、[サイバーセキュリティエグゼクティブ (Cybersecurity Executive)]、および [健全性 (Health)] の各ダッシュボードで、デフォルトで保存されているフィルターのフィルター条件の [結果] フィールドと [ステータス] フィールドが [アクティブ] フィールドに置き換えられます。

脆弱性マネージャーワークスペースのテストグループの CI コンプライアンスとテスト結果のコンプライアンス

テストグループの CI コンプライアンスとテスト結果のコンプライアンスの割合をVulnerability Manager ワークスペースで表示します。

脆弱性マネージャーワークスペースでの Qualys テストグループのテスト結果インポートの有効化または無効化

Vulnerability Manager ワークスペース の Qualys テストグループのテスト結果のインポートを有効または無効にします。

ロールアップ算出の [ロールアップ重み付け (Rollup weights)] セクションの更新

スクリプト形式以外に、ロールアップ算出の [ロールアップ重み付け (Rollup weights)] セクションに重み付けを追加する別の方法が導入されました。

[検出されたアイテム (Discovered Items)] テーブルのテスト結果のコンプライアンスの割合

CI のテスト結果のコンプライアンスの割合は、検出されたアイテムの [テスト結果のコンプライアンスの割合 (% Test Results Compliance)] 列に入力されます。この値を [テスト結果のコンプライアンスの割合 (% Test Results Compliance)] 列に入力するには、*Update remediation metrics* スケジュール済みジョブで `calcTRComplianceForCI` を `true` に設定します。

コンフィグレーションコンプライアンスのクイックスタートテスト

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了した後、クイックスタートテストを実行して、コンフィグレーションコンプライアンス が想定どおりに機能していることを検証します。コンフィグレーションコンプライアンス をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

UI の変更

[テストグループ] フォームの [使用廃止 (Is deprecated)] フィールドの名前の変更

[テストグループ] フォームの [使用廃止 (**Is deprecated**)] フィールドの名前が [インポート済み (**Is imported**)] に変更されました。

[テストグループ] フォームの [廃止をマーク (Mark Deprecated)] ボタンの名前を [インポートを無効にする (Disable imports)] に変更

[テストグループ] フォームの [廃止をマーク (**Mark Deprecated**)] ボタンの名前が [インポートを無効にする (**Disable Imports**)] に変更されました。

Tenable および Microsoft Defender 統合のテストを使用したテストグループのマッピング

テストグループは、Tenable および Microsoft Defender 統合に関連付けられたテストにマッピングされます。

[検出されたアイテム (Discovered Items)] リストでの CI のテスト結果のコンプライアンスの割合の表示

構成アイテム (CI) に関連付けられたテストに準拠しているテスト結果の割合は、[検出されたアイテム (Discovered Item)] リストの [テスト結果コンプライアンスの割合 (% Test Results Compliance)] 列に入力されます。この値を [テスト結果コンプライアンスの割合 (% Test Results Compliance)] 列に入力するには、*Update remediation metrics* スケジュール済みジョブで `calcTRComplianceForCI` パラメーターを `true` に設定します。

このリリースでの変更

テスト結果と修復タスクの状況移行

セキュリティポスチャコントロール のポリシー監査の機能拡張により、廃止された資産がアクティブ化されたポリシーによって評価されなくなります。資産のステータスが [廃止] から [アクティブ] に戻ると、次のポリシー評価の対象となります。

合格したテスト結果の 0 以外のリスクスコア

合格したテスト結果のリスクスコアが計算され、どの程度リスクが軽減されるかが判断されます。

アドミンロールのテスト結果を削除する権限を廃止

`sn_vulc.admin` ロールを持つアドミンは、テスト結果を削除できません。この権限は、`sn_vulc.delete` 詳細ロールに付与されるようになりました。

修復タスクのリスクスコア算出の更新

修復タスク内のすべてのテスト結果の平均リスクスコアが、修復タスクのリスクスコア計算で考慮されます。

[store-future: BEGIN review]

このリリースでの削除

- クラシック UI、Vulnerability Manager ワークスペース、および IT 修復ワークスペースの修復タスクで、[解決 (Resolve)] モーダルの [理由 (**Reason**)] フィールドが削除されました。
- クラシック UI、Vulnerability Manager ワークスペース、および IT 修復ワークスペースの修復タスクで、[閉じる] ボタンが削除されました。

[End]

コンテナ脆弱性対応リリースノート

ServiceNow コンテナ脆弱性対応 アプリケーションを使用すると、セキュリティと IT が連携して迅速かつ効率的に最も重要な脆弱性を修正できます。コンテナ脆弱性対応 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの コンテナ脆弱性対応 の特長

- Vulnerability Manager ワークスペース内の特定のコンテナ脆弱性一致アイテムのリスクスコア、アサイン、修復ターゲット日、および修復タスクを再評価します。

詳細については、「[Container Vulnerability Response !\[\]\(d3102649f02e825ddb76dc3de0190154_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

コンテナ脆弱性対応 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

脆弱性マネージャーワークスペースでのコンテナ脆弱性一致アイテムの修復プロパティの再評価

コンテナ脆弱性一致アイテムを条件付きで選択して、Vulnerability Manager ワークスペース内の次の修復プロパティを再評価します。

- アサイン
- 修復タスク
- 修復ターゲット日
- リスクスコア

スケジュール済みジョブの処理パフォーマンスの向上

Rollup container vulnerable item values to vulnerability and group スケジュール済みジョブが拡張され、マルチスレッド機能を備えたバックグラウンドジョブを作成できるようになりました。このアップグレードでは、ジョブをいくつかの小さな子ジョブに分割し、並列または同時に実行します。この変更により、複数のレコードを同時に処理できるようになり、タスク全体の速度が大幅に向上します。

for コンテナ脆弱性対応

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、コンテナ脆弱性対応 が想定どおりに機能していることを確認します。コンテナ脆弱性対応 をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

このリリースでの変更

アドミンロールのコンテナ脆弱性一致アイテムを削除する権限を廃止

sn_vul.vulnerability_admin ロールを持つアドミンは、コンテナ脆弱性一致アイテムを削除することはできません。この権限は、sn_vul.delete 詳細ロールに付与されるようになりました。

このリリースでの削除

クラシック UI、Vulnerability Manager ワークスペース、および IT 修復ワークスペースの修復タスクの [閉じる] ボタンが削除されました。

Security Operations の Now Assist リリースノート

ServiceNow Security Operations の Now Assist アプリケーションを使用すると、セキュリティアナリストは、インテリジェントワークフローと生成 AI スキルを使用してセキュリティインシデントをより迅速に解決できます。Security Operations の Now Assist は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの Security Operations の Now Assist の特長

- 作業メモとコンテキスト情報を簡潔で読みやすい形式ですばやく確認することで、アクティビティストリームが長いセキュリティインシデントのトリアージを迅速化します。
- 生成 AI を使用し、セキュリティインシデントの詳細、潜在的な影響、および既に実行された重要なアクションをセキュリティインシデントサマリーでプレビューします。
- 生成 AI を使用して、セキュリティインシデントのクローズメモを自動的に生成します。
- Now Assist パネル、セキュリティインシデントレコード、またはセキュリティインシデントレスポンスワークスペースから、サマリーとクローズメモにアクセスします。

詳細については、「[Now Assist for Security Incident Response](#)」を参照してください。

i 重要:

Now Assist Security Operations は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Security Operations の Now Assist 機能

生成 AI によるセキュリティインシデントの要約

セキュリティアナリストは、セキュリティインシデントをコア UI (UI16) およびセキュリティインシデントレスポンスワークスペースで要約できます。

- 長いアクティビティストリームを含むセキュリティインシデントの重要な詳細を迅速に要約します。
- アナリストは、AI によって生成されたサマリーを編集し、作業メモに投稿できます。セキュリティインシデントのサマリーは引き続き編集可能であり、他のアナリストは作業メモを更新する前に引き続きサマリーの編集と削除を行うことができます。
- 次の情報を含む概要を IT マネージャー、他のアナリスト、および主要なステークホルダーと共有します。

- 根本的な問題
- 詳細
- 観察事項
- 実行された主なアクション
- クローズの詳細

生成 AI を使用したセキュリティインシデントのクローズメモの生成

セキュリティインシデントをクローズする準備ができると、クローズメモを自動的に生成します。

- セキュリティインシデントをクローズする準備ができると、生成 AI を使用してクローズメモを自動的に更新します。
- セキュリティインシデントをクローズする前に、AI スキルによって生成されたコンテンツを編集、削除、または独自のメモを追加することで変更します。

スキルのカスタマイズ

環境の要件に合わせて、Now Assist アドミン コンソールから生成 AI スキルの入力フィールドの一部をカスタマイズします。

- 一部のベース入力テーブルフィールド、条件、およびスキルの関連リストを構成できます。
- スキルの入力またはトリガーを変更して、スキルをいつどのように使用するかを決定します。

Security Operations の Now Assist の重要なアップグレード情報

アプリケーションを実装するための要件の一覧については、「[Supporting information for Now Assist for Security Incident Response !\[\]\(5361750c22c4e047a52f4eac1ec2d4cc_img.jpg\)](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Security Operations の Now Assist をインストールします。[ServiceNow Store !\[\]\(4fe57c3593bf1b21d272ae7ac8dfaf77_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(67b4b7a7e28d2fb85c0437cda45ea068_img.jpg\)](#)」を参照してください。

セキュリティインシデントレスポンスリリースノート

ServiceNow セキュリティインシデントレスポンス (SIR) アプリケーションは、セキュリティチームと IT チームの連携、脅威に対する迅速かつ効率的な対応、会社のセキュリティ体制の確認に役立ちます。セキュリティインシデントレスポンス は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの セキュリティインシデントレスポンス の特長

- ユーザー定義の基準に基づくリスクスコア算出を使用して、セキュリティインシデントのリスクスコアを定義および計算します。セキュリティインシデントレコードのリスクスコアが自動的に計算されます。
- シフトの引き継ぎアプリケーションを使用して、シフト間での重要な作業アイテムの引き継ぎを追跡します。
- インシデントマネージャーがインシデント回答者と連携して MSIM Slack 統合を使用して重大なセキュリティインシデントを管理するための専用の Slack チャンネルを自動的に作成します。

- MSIM 法務要求プレイブックを使用して、インシデントマネージャーが重大なセキュリティインシデントの概要を法務部門に提供することができるようにします。法務部門は、セキュリティ侵害を開示する際に SEC などの規制機関に準拠するために 8K または 10K フォームを提出する際に、その概要を使用できます。
- メール形式で生成されたモバイル対応の MSIM エグゼクティブステータスレポートを共有します。エグゼクティブステータスレポートは、サードパーティベンダー、他のエンティティ、メール配布リストなど、ServiceNow インスタンス外のユーザーと共有することもできます。



重要:

セキュリティインシデントレスポンス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

セキュリティインシデントレスポンス を **Xanadu** にアップグレードする際の重要な情報

該当なし

Xanadu リリースの新機能

Configure Shift Handover Templates

シフトの引き継ぎ機能を使用して、シフト間のシームレスな移行のために、退勤者と出勤者の間で重要な詳細情報、タスク、および最新情報を伝達できるようにします。作業場で円滑に運用を継続できるようにし、エラーを減らし、全体的な効率を向上させます。

Configure Slack chat connector for major security incidents

Slack でのコラボレーションチャットアクティビティを表示およびフィルタリングして、重大なセキュリティインシデントを解決するためにより効率的にコラボレーションします。

Playbook for Legal Request

重大なセキュリティインシデントの最新のサマリーを法務部門に通知し、重大な違反の場合に必要な 4 日以内の SEC への通知を可能にする方法について、ステップバイステップのガイダンスを取得します。

Add Zscaler Internet Access URL category lists

[承認が必要 (Require Approval)] オプションが選択されている場合、Zscaler 承認者は、必要な承認のリストに観測事象を追加または削除することができます。

Configure how an automatic event is created および MISP event data

MISP プロファイルの自動構成中にセキュリティタグを追加します。

Mapping DLP incident status with Netskope

ServiceNow インスタンスの DLP インシデントステータスと Netskope オブジェクトステータスの間のマッピングを指定します。

Define the new Risk Score Calculator Rules

セキュリティインシデントレスポンスワークスペースのリスクスコア構成が、次の機能で拡張されました。

- スクリプトまたは条件ビルダーからリスクスコア算出を設定します。
- ルールベースの採点の設定中に複数の条件を適用します。
- 各スコアリングラインに重み付けを適用します。重みの合計は 100 にする必要があります。

- ルールベースの採点の場合は、条件を設定するためのテーブルフィールドと値を選択します。
- スクリプトを使用して条件とスコアリングをキャプチャします。
- リスクスコア算出を手動で実行して、変更後に再計算します。

Managing MSIM status reports

サードパーティベンダー、他のエンティティ、メール配布リストなど、ServiceNow インスタンス外のユーザーとモバイル対応のエグゼクティブステータスレポートを共有します。

UI の変更

Configure how an automatic event is created

- 自動 MISP プロファイル構成の新しい [セキュリティタグ (**Security tags**)] フィールドは、プロファイルを使用して作成された自動イベントに添付されないセキュリティタグを持つ観測事象を決定します。
- 選択したタグを新しく作成された自動 MISP イベントに追加するために、自動 MISP プロファイル構成にローカルタグとグローバルタグが導入されました。

このリリースでの変更

Review and assign your DLP incidents

DLP IR アナリストワークスペースから DLP インシデントをクローズするときにクローズコードを入力することが必須になりました。

DLP Incident Response Administration

次の管理モジュールで、ユーザーとグループを追加する場合、それぞれの構成からユーザーを追加するのではなく、関連リストから追加できるようになりました。

- DLP デフォルト構成。
- DLP アサインルール。
- DLP 応答期日ルール。
- DLP インシデントのアセスメント。
- DLP ユーザー指示テンプレート。
- DLP レコードレベル制限。
- DLP フィールドレベル制限。

Install and configure the Netskope DLP integration for Data Loss Prevention

Netskope 統合で DLP インシデントの取り込みがサポートされるようになりました。

Data Loss Prevention Incident Response Incident Management

DLP IR アナリストワークスペースと DLP エンドユーザーワークスペースの両方で、DLP インシデントのフォレンジックの詳細を表示します。

Download evidence files

Netskope 統合は、証拠ファイルをオンデマンドで直接ダウンロードすることをサポートしています。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、セキュリティインシデントレスポンス をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

Security Operations common functionality

Security Operations のメインのアプリケーション (セキュリティインシデントレスポンス、脆弱性対応、脅威インテリジェンス、またはコンフィグレーションコンプライアンス) のいずれかのプラグインがアクティブ化されると、Security Support Common プラグインがアクティブ化されます。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Vulnerability Response

脆弱性対応 は、Security Operations アプリケーションスイートの一部です。これらのアプリケーションを組み合わせることで、セキュリティと IT 部門が連携し、対応の速度と効率が向上し、セキュリティ体制を明確に把握できます。

Threat Intelligence

ServiceNow 脅威インテリジェンスアプリケーションでは、セキュリティ侵害のインジケター (IoC) を見つけ、脅威インテリジェンスデータでセキュリティインシデントを強化できます。

セキュリティポスチャコントロール リリースノート

ServiceNow セキュリティポスチャコントロールアプリケーションを使用すると、サイバーセキュリティチームは、セキュリティツールの範囲でのギャップや、エンタープライズ資産のセキュリティツール構成からの逸脱についてのヴィジビリティを得られます。セキュリティポスチャコントロールは、Xanadu リリースで機能強化および更新されました。

Xanadu リリースでの セキュリティポスチャコントロール の特長

- アプリケーションに組み込まれているポリシーを使用するか、カスタムポリシーを作成して、セキュリティツールの全体的な範囲、内部構成規格への準拠、セキュリティギャップと脆弱性の重要な組み合わせ、およびインターネットエクスポージャーの可能性について資産を監視します。
- サポートされているさまざまな API 統合 (サービスグラフコネクタ) または ServiceNow 製品のデータに対して作成したクエリに基づいて資産を検索します。
- ダッシュボードでカスタムインサイトを作成し、重要な測定基準を監視します。全体的なセキュリティ体制について、IT 部門、IT およびセキュリティマネージャー、およびその他の主要なステークホルダーに報告します。
- セキュリティポスチャコントロール の 脆弱性対応 リスク算出と修復ターゲットルールからのインサイトを通じて、優先度の高い脆弱性を特定し、解決を推進します。
- ServiceNow コンフィグレーションコンプライアンス アプリケーションの セキュリティポスチャコントロール ポリシーからの検出結果を公開することで、セキュリティギャップの修復ワークフローを自動化します。

詳細については、「[Security Posture Control](#)」を参照してください。



重要:

セキュリティポスチャコントロールは ServiceNow Store から入手できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

セキュリティポスチャコントロールを **Xanadu** にアップグレードする際の重要な情報

セキュリティポスチャコントロールの実装に必要なすべてのアプリケーションのリストについては、「[セキュリティポスチャコントロールのインストール](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

セキュリティポスチャコントロールワークスペースのカスタムインサイトの機能拡張

セキュリティポスチャコントロール ワークスペースのカスタムインサイトモジュールの名前が構成済みインサイトモジュールに変更されました。

カスタムインサイトレコードを作成するときは、グループをアサインしてカテゴリ別にレポートを編成する必要があります。グループは、設定した基準に従って、構成済みインサイトモジュールのダッシュボードでデータの可視化が表示される場所を決定します。

ポリシーと結果モジュールの条件ポリシービルダーの機能拡張

[接続 (**Connection**)] の [集計データあり (**With aggregated data**)] を選択し、ポリシーで、報告されたデータにわずかな違いがある資産を一致させるようにします。ハードウェア資産のポリシーの次のプロパティは、さまざまなソースによって報告されるようサポートされています。

- ホスト名
- FQDN
- OS
- OS バージョン
- OS ドメイン
- OS サービスパック

テスト結果と修復タスクの状況移行

ポリシー監査の機能拡張により、廃止された資産がアクティブ化されたポリシーによって評価されなくなります。資産のステータスが [廃止] から [アクティブ] に戻ると、次のポリシー評価の対象となります。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、セキュリティポスチャコントロール をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

脅威インテリジェンスセキュリティセンター リリースノート

ServiceNow 脅威インテリジェンスセキュリティセンター (TISC) アプリケーションを使用すると、組織はセキュリティチームと IT チームをつなぐことができるため、脅威に対してより迅速かつ効率的に対応できます。

Xanadu リリースでの 脅威インテリジェンスセキュリティセンター の特長

- TISC API 2.0 の実装を通じて、観測事象の作成を整理および管理します。
- 有効期限ポリシーをより詳細なレベルで定義します。

- セキュリティインシデントレスポンスワークスペースからケースレコードに観測事象を直接追加します。
- 自動化フローを使用してアナリストのアクションを管理します。
- 脅威に関する調査を実施して、セキュリティチームの事後対応型および事前対応型のニーズをサポートします。☑
- ケース管理を使用して脅威調査を作成および追跡します。☑

詳細については、「[Threat Intelligence Security Center](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

[TISC API References](#)

TISC API 2.0 の実装により、TISC での観測事象の作成が可能になりました。

[Defining Expiration Rules](#)

データソースとレコードタイプの組み合わせに対して有効期限ルールを作成することで、有効期限ポリシーをより詳細なレベルで定義します。

[Working with Webhooks](#)

Webhook を使用して、トリガーベースの通知を開始します。

[Working with automated flows](#)

サンプル自動化フローを使用してアナリストのアクションを自動化します。

[Add observables to TISC Case](#)

セキュリティインシデントと観測事象をセキュリティインシデントレスポンスワークスペースの TISC ケースに直接追加します。

UI の変更

[View related info from TISC](#)

セキュリティインシデントレスポンスワークスペースで、**[TISC コンテキスト (TISC Context)]** タブに、選択した観測事象の関連情報が表示されるようになりました。

[Custom Threat Score Calculator in TISC](#)

顧客脅威スコア算出は、ユーザー定義の基準に基づいてセキュリティインシデントの脅威スコア基準を自動的に定義します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、脅威インテリジェンスセキュリティセンター をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

[Security Operations common functionality](#)

Security Operations のメインのアプリケーション (セキュリティインシデントレスポンス、脆弱性対応、脅威インテリジェンス、またはコンフィグレーションコンプライアンス) のいずれかのプラグインがアクティブ化されると、Security Support Common プラグインがアクティブ化されます。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

[Vulnerability Response](#)

脆弱性対応は、SecOps アプリケーションスイートの一部です。これらのアプリケーションを組み合わせることで、セキュリティ部門と IT 部門が連携し、対応の速度と効率が向上し、セキュリティ体制の概要を把握できます。

Threat Intelligence

ServiceNow 脅威インテリジェンスアプリケーションでは、セキュリティ侵害のインジケータ (IoC) を表示し、脅威インテリジェンスデータでセキュリティインシデントを強化できます。

[store-future: BEGIN review]

脆弱性対応 統合リリースノート

ServiceNow 脆弱性対応アプリケーションとのサードパーティ統合は、脆弱性データを強化するのに役立ちます。脆弱性対応 アプリケーションと互換性のある ServiceNow アプリケーションおよびサードパーティ統合は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースの脆弱性対応 統合の特長

- ハイライトを追加します。
- ハイライトを追加します。
- ハイライトを追加します。

詳細については、「[Vulnerability Response integrations !\[\]\(aa53ad6fea213b8b2226d3077e30533a_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

脆弱性対応 アプリケーションでサポートされているアプリケーションは、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

脆弱性対応 を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

アップグレード情報を追加します。

Xanadu リリースの新機能

[Vulnerability Response integrations](#)

リストの統合。

[End]

脆弱性対応リリースノート

ServiceNow 脆弱性対応 アプリケーションを使用すると、セキュリティと IT が連携して迅速かつ効率的に最も重要な脆弱性を修正できます。脆弱性対応 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの脆弱性対応 の特長

- Vulnerability Manager ワークスペース内の脆弱性一致アイテムのリスクスコア、アサイン、修復ターゲット日、および修復タスクを再評価します。
- ワークスペースから脆弱性一致アイテムレコードを再評価します。
- Vulnerability Response Pro または Enterprise サブスクリプションで、[すべて] メニューから脆弱性マネージャーワークスペースまたは脆弱性アセスメントワークスペースの [エクスポージャーアセスメント (Exposure Assessment)] ページに移動します。

- [作業メモ (Work notes)] セクションでリスク評価に関連する変更を表示します。
- 脆弱性算出の変更に応じてアイテムのリスクスコアがどのように調整されるかに関する情報にアクセスします。

詳細については、「[Vulnerability Response](#)」を参照してください。

i 重要:

脆弱性対応 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノート「[アクティブ化情報](#)」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

脆弱性マネージャーのワークスペースでの脆弱性一致アイテムの修復プロパティの再評価

脆弱性一致アイテムを条件付きで選択して、Vulnerability Manager ワークスペース内の次の修復プロパティを再評価します。

- アサイン
- 修復タスク
- 修復ターゲット日
- リスクスコア

[すべて] メニューからワークスペースの [エクスポージャーアセスメント (Exposure Assessment)] ページに移動します

Vulnerability Response Pro または Enterprise サブスクリプションでは、[すべて] メニューの [エクスポージャーアセスメント (Exposure Assessment)] リンクを選択すると、ロールに基づいて脆弱性マネージャーワークスペースまたは脆弱性アセスメントワークスペースの [エクスポージャーアセスメント (Exposure Assessment)] ページにリダイレクトされます。

Common Security Advisory Framework (CSAF) スキャナーマッピングはオプションです

[スキャナーマッピング (Scanner mapping)] フィールドは、次の Common Security Advisory Framework (CSAF) インポート方法ではオプションになりました。

- ファイルインポート
- アドバイザリー
- CSAF URL

Rolie フィードを通じて CSAF をサポートする複数のベンダー

Resource-Oriented Lightweight Information Exchange (ROLIE) フィードをサポートする URL インポートを介して、CSAF アグリゲーターまたは信頼できるプロバイダーから脆弱性ソリューションをインポートします。これらの脆弱性ソリューションは、共通脆弱性識別子 (CVE) に基づいて、正しいベンダーおよび脆弱性一致アイテム (VIT) に自動的にマッピングされます。

スケジュール済みジョブの処理パフォーマンスの向上

Rollup vulnerable item values to vulnerability and group スケジュール済みジョブが拡張され、マルチスレッド機能を備えたバックグラウンドジョブを作成できるようになりました。このアップグレードでは、ジョブをいくつかの小さな子ジョブに分割し、並列または同時に実行します。この変更により、複数のレコードを同時に処理できるようになり、タスク全体の速度が大幅に向上します。

フローデザイナーによるワークフローの廃止と置き換え

次のワークフローは廃止され、フローデザイナーによって置き換えられました。

- 例外ルールのステータス承認
- 修復タスクステータスの承認
- 脆弱性対応 - 脆弱性のスキャン
- 脆弱性一致アイテムのステータス承認
- 脆弱性対応 - 脆弱性一致アイテムのスキャン

。

[メモ (Notes)] セクションのリスクスコアの更新

脆弱性算出の変更に応じてアイテムのリスクスコアがどのように調整されるかに関する情報にアクセスします。これらの詳細は [メモ (Notes)] セクションで確認でき、次のものが含まれます。

- 算出グループ名
- 算出名：
- フィールド値とその重み付けおよびリスクスコアへの影響度
- 最終的なリスクスコア

脆弱性危機管理 (VCM) は、ストアで別のサブスクリプションとして入手できます

脆弱性危機管理 v1.0.1 以降のアプリケーションはストアで個別のサブスクリプションとしてストアで入手できます。脆弱性アセスメントワークスペースから脆弱性危機管理にアクセスできるのは、詳細なエンタイトルメントがあるか、ストアからアプリケーションをインストールしている場合のみです。以前は、脆弱性危機管理は脆弱性緊急対応プラグインに含まれていました。

脆弱性エクスポージャー対応 (Vulnerability Exposure Response) は脆弱性エクスポージャーアセスメントに名前が変更されました

v3.2.2 以降、脆弱性緊急対応プラグインは脆弱性エクスポージャーアセスメントに名前が変更されました。

このリリースでの変更

アドミンロールの脆弱性一致アイテムを削除する権限が廃止されました

脆弱性管理者 [sn_vul.vulnerability_admin] は、脆弱性一致アイテムを削除することはできません。この権限は、sn_vul.delete 詳細ロールに付与されるようになりました。

sn_vul.admin および sn_vul.admin_solutions ロールのソースレコードを削除する権限が廃止されました

sn_vul.admin および sn_vul.admin_solutions ロールのソースレコードを削除する権限は廃止されました。この権限は、sn_vul_cmn.delete 詳細ロールに付与されるようになりました。

このリリースでの削除

クラシック UI、脆弱性マネージャーワークスペース、および IT 修復ワークスペースの修復タスクの [閉じる] ボタンが削除されました。

Source-to-Pay オペレーション リリースノート

Xanadu リリースには、Source-to-Pay オペレーション の新機能と更新された機能が含まれます。

買掛金オペレーションリリースノート

ServiceNow 買掛金オペレーションアプリケーションを使用すると、買掛金スペシャリストと税務スペシャリストは、サプライヤーから提供された税金を検証し、税務コンプライアンスを確保できます。買掛金オペレーションは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 買掛金オペレーション の特長

- 税務コンプライアンスのサポートを提供します。
- 税務マネージャーまたは税務スペシャリストは、税タイプと税コードを作成、編集、更新できます。
- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) または統合を通じて取り込まれた請求書の場合は、参照フィールドを使用して請求書フィールド全体で有効な ERP ソースを入力できます。
- プレイブックを使用して、税明細行を含む請求書処理ケースのワークフローを可視化します。
- 税差異許容範囲ルールで構成された請求書をチェックする例外エンジンを使用して、税関連の例外を検索します。

i 重要:

買掛金オペレーションは、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

買掛金オペレーションを Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

以前のリリースからアップグレードする場合は、参照フィールドの税コード [sn_fin_tax_code] テーブルを構成する必要があります。例外エンジンは税コードを使用して請求書を検証し、必要に応じて例外を発生させます。

Xanadu リリースの新機能

Tolerance Rules and Variances for invoices

- *tax tolerance* ルールは、請求書の税額差異に設定された差異制限を定義します。
- *under tax amount* 差異の例外は、サプライヤーが指定した税額がシステムで計算された税額よりも少ない場合に発生します。
- 税額差異の例外は、サプライヤーが指定した税額がシステム計算の税額よりも大きい場合に発生します。

Playbook for updating the invoice primary data

- プレイブックアクティビティを使用して請求書明細に税明細を追加します。
- 新しい税明細を 1 つまたは複数の請求書明細に適用します。

Tax calculations

税オーナーまたは税マネージャーは、税明細行と税コードを追加できます。

このリリースでの変更

APO landing page

タスクオーナーは、買掛金オペレーションワークスペースのタスクフィルター、ウィジェット、および棒グラフを使用して、請求書タスクをより効率的に表示および処理できます。

Accounts Payable Operations integration framework

税フィールドを使用した請求書統合の更新により、請求書をより迅速に処理できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、買掛金オペレーション をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store/バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ローカリゼーション情報

買掛金オペレーションは複数の言語をサポートします。現在の ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) モデルは、英語のみの請求書を抽出するようにトレーニングされています。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) でサポートされている多言語で請求書を処理する場合は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) モデルを独自にトレーニングする必要があります。

ソーシングと調達オペレーション リリースノート

ServiceNow® ソーシングと調達オペレーション アプリケーションは、仮想エージェントの ServiceNow Now Assist を通じて従業員に生成 AI を提供し、職場に必要な商品やサービスの購入方法を簡素化します。アプリケーションを使用すると、調達から要求、受注処理、受領、支払いに至るまで、エンドツーエンドの調達プロセスワークフローを自動化できます。ソーシングと調達オペレーション は、Xanadu リリースで機能拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ソーシングと調達オペレーション の特長

- 従業員が仕事に必要なアイテムの注文に使用できる、商品とサービスのカタログを管理します。
- Now Assist を使用して、従業員が商品やサービスをソーシングまたは調達する際に支援を要求する方法をさらに効率化および簡素化します。
- 定期的な更新により、透明性の高い調達プロセスを提供します。
- 調達から要求、受注処理、受領、支払いに至るまで、エンドツーエンドの調達プロセスを自動化します。
- 調達スペシャリストが、組織の商品やサービスのソーシング、交渉、調達を実行し、調達タスクを処理できるようにします。

詳細については、「[Sourcing and Procurement Operations](#)」を参照してください。

重要:

ソーシングと調達オペレーション は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Now Assist for Sourcing and Procurement Operations (SPO)

プラットフォームの Now Assist 会話スキル、仮想エージェントの Now Assist を活用した新しい ソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist アプリケーションを使用して、調達ニーズに対応する会話のようなエクスペリエンスを通じて要求者をガイドします

仮想エージェントの Now Assist では、調達関連のトピックを使用して要求者を適切な取り込みチャンネルにルーティングし、会話を通じて要求の送信を支援します。このアプリケーションを使用すると、履行者に依存する必要がなく、要求者は AI コンパニオンの助けを借りて調達要求を正確に送信できます。

要求者の購入ニーズに合わせて、SPO の Now Assist アプリケーションは製品カタログ内の既存の製品を検索し、利用可能な製品を表示します。カタログで価格の有無にかかわらず製品が見つかった場合、要求者は会話を通じて質問に入力できます。製品がカタログに見つからない場合、アプリケーションはより多くの情報を収集し、要求者を正しいカタログ外の記入フォームにルーティングします。

Source-to-Pay Operations Pro SKU と Sourcing and Procurement Operations Pro SKU の資格がある場合は、このアプリケーションをインストールできます。

Shopping Hub でエンドツーエンドのプロセスを可視化し、購入者が要求を送信した後の調達プロセスの透明性を確保します。また、独自のビジネスプロセスに合わせてこの機能を構成することもできます。たとえば、デフォルトのコンテンツおよび構成フレームワークを使用して、独自のコンテンツを変更および編集できます。

- アドミニストレーターが、ステップと、各ステップ内にある作業を定義および変更できるようにする構成フレームワークを通じて、エンドツーエンドのプロセスの可視性を構成します。また、ラベルの順序付けや変更を行うことで、柔軟性を高め、ビジネスプロセスとの整合性を高めることができます。
- Shopping Hub の調達要求、購買要求、発注書について、次のエンドツーエンドの可視性を購入者に提供します。
 - 要求の進捗状況と予想される完了タイムライン。
 - 順次ステップおよび同時ステップのステップの依存関係と進行状況。
 - 完了したステップ、現在のステップ、および将来のステップ。これによりステップ内の作業のステータスを監視できます。
 - 承認、ケース、タスクなどの作業の順序付け。
 - 購入者とのコミュニケーションが強化され、購入者がプラットフォーム内から直接タスクアサインやタスクアサイン担当者にメッセージを送信できます。この通信は、監査証跡を通じて追跡できます。
 - Shopping Hub の [自分の購入リスト (My Purchases List)] ページと [詳細] ビューページ間の購入者のページナビゲーションの記録。

このリリースでの変更

Sourcing and Procurement Operations integration with third-party sourcing solutions

サードパーティの調達ツールとの統合の Source-to-Pay 統合フレームワーク を強化しました。複数の調達要求で構成される交渉イベントベースの統合をサポートできるようになりました。

発注書送信テーブルから更新された発注書のキャンセルフローが拡張されました。

Inbound staging tables for Sourcing and Procurement Operations

エンタープライズリソースプランニング (ERP) システムステージングテーブルからメイン発注書テーブルに転送された添付ファイル。これらの添付ファイルは発注書にも表示されます。

Source-to-Pay integration framework

接続ポイントを構築し、他の ERP システムと連携できるように、Source-to-Pay 統合フレームワーク の一部のフィールドとプロセス (次のフィールドとプロセスを含む) を更新しました。

- ステージングテーブルの統合ステータスが [新規] または [処理中] の場合、発注書を更新するボタンをオフにしました。
- 発注書が ERP システムからまだ取り込まれていない場合に、発注書明細を作成することを許可しません。発注書が作成された後に発注書明細の追加を再試行するスケジュール済みジョブが追加されました。
- 送信受領書、購入グループのプライマリおよびステージング、コストセンターステージング、FX 通貨テーブルなど、一部のステージングテーブルとプライマリテーブルで欠落している列を追加し、一部の列を削除しました。これらの列をレンダリングするために、これらのテーブルの一部の変換マッピングロジックを更新しました。
- ERP プラントアドレスマッピングステージングテーブルが作成されました。

廃止

- SAP ECC および SAP4HANA は廃止され、新しいアクティベーションではサポートされていないか、使用できません。Source-to-Pay Integration with SAP ECC および SAP S4 HANA が、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。
- SPO クラシックダッシュボードは廃止され、新しいアクティベーションではサポートされていないか、使用できません。この機能の最新のエクスペリエンスは次の ネクストエクスペリエンスダッシュボードで提供されます。
 - 調達購入者ダッシュボード
 - 調達戦略および運用ダッシュボード
 - 調達チームのパフォーマンスダッシュボード
 - 調達ケース管理ダッシュボード
- クラシック ShoppingHub [com.snc.sn_shop] ポータルは廃止され、新しいアクティベーションではサポートされていないか、使用できません。新しい Shopping Hub [com.snc.sn_spend_uib] ポータルが、この機能の最新の UIB 対応エクスペリエンスを提供します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ソーシングと調達オペレーション をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

サプライヤーライフサイクルオペレーション リリースノート

ServiceNow サプライヤーライフサイクルオペレーション アプリケーションでは、迅速なオンボーディング、サプライヤーとのコラボレーション、サプライヤーとの関係の管理、サプライヤーのライフサイクル全体でのリスク、コンプライアンス、およびパフォーマンスの監視ができます。サプライヤーライフサイクルオペレーション は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの サプライヤーライフサイクルオペレーション の特長

- 受信テーブルと送信テーブルの追加フィールドを使用して、サプライヤーデータを外部 ERP システムと正確に交換します。
- サプライヤー製品、契約、発注書、請求書などのサプライヤーの詳細を Source-to-Pay ワークスペース および Supplier Collaboration Portalから直接表示します。

詳細については、「[Supplier Lifecycle Operations](#)」を参照してください。

i 重要:

サプライヤーライフサイクルオペレーション は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能**Supplier Lifecycle Operations integration framework**

拡張変換マップと受信および送信の統合テーブルを使用して、サプライヤーデータをサードパーティの ERP システムと交換します。

Source-to-Pay ワークスペースでのサプライヤーの詳細の表示

- Source-to-Pay ワークスペースサプライヤーページの [関連情報 (**About**)] タブにある [関連リンク (Related Links)] セクションで、契約やサプライヤー製品などのサプライヤーの詳細を表示します。
- Source-to-Pay ワークスペースサプライヤーページの [関連作業 (**Related work**)] タブで、発注書や請求書などのサプライヤーの詳細を表示します。

Supplier Collaboration Portal でのサプライヤーの詳細の表示

[自分のアクティブなアイテム (My active items)] ウィジェットの次のタイルでサプライヤーの詳細を表示します。

- 契約
- サプライヤー製品
- 発注書 (PO)
- 請求書

i 注:

これらの新しいタイルは、ソーシングと調達オートメーション (com.snc.sn_pr) プラグインおよび Source-to-Pay 共通アーキテクチャ (com.snc.sn_shop) プラグインがインストールされている場合に表示されます。

廃止**Source-to-Pay Workspace**

Washington DC リリース以降、サプライヤー管理ワークスペース は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。Source-to-Pay ワークスペースは、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、サプライヤーライフサイクルオペレーション をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) リリースノート

Xanadu リリースには、戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) (以前の IT Business Management) の新機能と更新された機能が含まれます。

コラボレーションワーク管理 リリースノート

ServiceNow コラボレーションワーク管理 (CWM) アプリケーションは業界に依存しないアプリケーションであり、組織全体のチームメンバーとの作業を計画、可視化、および共同作業するための中心的なハブを提供します。CWM は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの コラボレーションワーク管理 の特長

- [自分の作業] という 1 つのビューから、自分にアサインされたすべての作業を追跡および管理します。
- [アサイン先] 列または [人] タイプの他のカスタム列で自動化を作成します。
- CWM ボードとドキュメントを複製する機能により、時間を節約し、情報を手動でコピーする必要がなくなります。

詳細については、「[Collaborative Work Management](#)」を参照してください。

重要:

コラボレーションワーク管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

My Work in CWM

CWMタスク、プロジェクトタスク、RIDAC アイテム、アジャイルストーリー、デマンドタスクなどの自分に割り当てられたすべての作業を、統合ダッシュボードビューの [自分の作業] から管理します。

- 自分にアサインされたすべての作業の全体的な進捗状況を追跡し、[概要] タブのさまざまなウィジェットと可視化を使用して、優先度の高いタスクや期限切れのタスクをすばやく特定します。
- [リスト] タブから、割り当てられたすべてのタスクをリストビューで表示します。このビューから、ソースアイテムに移動することもできます。リスクが自分にアサインされている場合は、プロジェクトワークスペースの関連する RIDAC ページに直接移動して詳細を確認できます。
- ダッシュボードをフィルタリングして、特定のタスクのみを表示するか、特定の日付範囲のタスクを表示します。

Duplicate a Board in CWM

既存のボードを複製して、情報を手動でコピーすることなくすべてのタスクと協力者の詳細をコピーすることで、時間を節約できます。

- コピーしたボードは、元のボードと同じスペースに追加されます。
- コピーされたすべてのタスクのステータスは、ボードでデフォルトにリセットされます。
- 元のボードのカスタム列は、新しいボードにコピーされます。

Duplicate a Doc in CWM

既存のドキュメントを複製して、情報を手動でコピーせずにすべてのページとコンテンツをコピーすることで、時間を節約できます。コピーされたドキュメントは、元のドキュメントと同じスペースに追加されます。

ボードの自動化で [人] 列のユーザーを追加する

メールを通知および送信するボードの自動化に、CWMタスクの列からユーザーとグループを含めることができるようになりました。たとえば、タスクの優先度が更新されるたびにタスクのアサインに通知する自動化を作成できます。ユーザーは、タスクの [アサイン先] 列から動的に選択されます。同様に、[人] タイプのカスタム列を使用して、このような自動化を作成できます。

このリリースでの変更

Share a Space in CWM and manage sharing permissions

他の協力者とスペースを共有しているときに、ユーザーやグループをメールと名前で検索できるようになりました。この機能は、個々のユーザーまたはグループが同じ名前である場合に、適切な協力者を選択するのに役立ちます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、コラボレーションワーク管理 をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Strategic Planning

ServiceNow 戦略的計画で従来の手法、アジャイル手法、またはハイブリッド手法を使用する場合に、作業を優先順位付け、ロードマップ、および追跡します。組織全体で目標を定義して追跡することで、戦略を実行に合わせます。戦略的計画はSPM Professional ライセンスで利用できます。

Portfolio Planning

ServiceNow ポートフォリオ計画で従来のプロジェクトおよび製品の提供アプローチの管理を強化します。一元化されたワークスペースを使用して、プロジェクトとデマンドの作業を効果的に計画、追跡、管理します。ポートフォリオ計画はSPM標準ライセンスで利用できます。

ゴールフレームワーク リリースノート

ServiceNow ゴールフレームワーク アプリケーションを使用すると、目標を作成し、そのためのターゲットを設定し、目標とターゲットの進捗状況を評価して、組織計画を達成してビジネス成果を推進することができます。ゴールフレームワーク は、Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ゴールフレームワーク の特長

拡張された ゴールフレームワーク テーブルを使用して目標を管理します。

詳細については、「[ゴールフレームワーク](#)」を参照してください。

i 重要:

ゴールフレームワーク は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

このリリースでの変更

ゴールフレームワークテーブル

戦略計画 [sn_gf_strategic_plan]、戦略的優先事項 [sn_gf_strategy]、ゴール [sn_gf_goal]、ターゲット [sn_gf_goal_target] テーブルの [名前] フィールドに入力できる最大文字数が 80 から 255 に増加しました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ゴールフレームワーク をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Strategic Planning における目標管理

ServiceNow 戦略的計画 アプリケーションの ゴールフレームワーク アプリケーションを使用して、目標を作成し、そのためのターゲットを設定し、目標とターゲットの進捗状況を評価して、組織計画を達成してビジネスの成果を推進します。

Goal Framework for SPM

ServiceNow SPM のゴールフレームワーク アプリケーションを使用して、ゴールフレームワーク を使用して定義された目標について、ターゲットの実際の値を自動化します。SPM のゴールフレームワーク アプリケーションは ゴールフレームワーク アプリケーションの拡張です。

Project Portfolio Management

ServiceNow プロジェクトポートフォリオ管理 は、複数の個別アプリケーションを組み合わせることで、プロジェクトポートフォリオおよび IT 開発を管理するための、簡素化されたチーム指向アプローチを提供します。ゴールフレームワーク アプリケーションと組み合わせて、プロジェクトおよびデマンド作業アイテムおよびプログラム戦略的アイテムとの目標関係を作成できます。

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist リリースノート

ServiceNow 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assistアプリケーションは、生成 AI スキルを戦略的ポートフォリオ管理 (SPM)に導入します。フィードバックから簡潔なサマリーを生成し、これまで手動でのフィードバック分析に費やしていた時間を節約できます。生成 AI のスキルと仮想エージェントを使用してデマンド要求を作成および編集し、要求者が迅速に要求を送信し、コアタスクに優先順位を付けることができますようにします。 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist は Xanaduの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの SPM の Now Assist の特長

- マルチフィードバック要約スキルを使用して、複数のフィードバックレコードを同時に要約します。
- 生成されたサマリーをコピーし、それを使用して計画立案アイテムまたは計画立案以外のアイテムを作成します。
- ドキュメントの Now Assist を使用して、時間を節約し、選択したテキストの概要を生成します。

詳細については、「[Now Assist for Strategic Portfolio Management \(SPM\)](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

マルチフィードバック要約

生成 AI を使用して複数のフィードバックレコードを要約し、手動でフィードバック分析を行う必要がないため時間を節約します。1 つまたは複数のフィードバックレコードの簡単なサマリーを一度に生成し、それを使用して製品に関する情報に基づいた意思決定を行うことができます。

ドキュメントの Now Assist

ドキュメントの Now Assist を使用して、選択したテキストの簡潔な要約を作成し、関連情報をすばやく取得します。

アクティベーション情報

Now Assist 機能は [Now Assist for Strategic Portfolio Management \(SPM\) !\[\]\(74d4806277d7e73349d8e8c0897931e9_img.jpg\)](#) プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Install Now Assist plugins !\[\]\(5f42d2cd7ad901bc24e5d35a38c777fd_img.jpg\)](#)」を参照してください。

その他の要件

SPM の Now Assist アプリケーションには、戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) Pro plus のライセンスが必要です。SPM の Now Assist は Xanadu パッチ 3 リリースからサポートされています。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Now Assist

組織の生産性と効率を上げ、より優れたセルフサービスを提供し、アクションを推奨し、回答を提供し、ユーザーによるより効果的な検索を実現します。

Now Assist Admin console

Now Assist アドミン コンソールを使用すると、Now Assist アプリケーションと機能の設定、構成、および監視に必要な重要情報にすばやく簡単にアクセスできます。

Now Assist skills

Now Assist 製品は、ケースやインシデントの要約、チャットの要約、解決メモの生成、コード生成など、さまざまなワークフローでユーザーのニーズを満たすために作られた生成 AI スキルを提供します。

ポートフォリオ計画 リリースノート

ServiceNow ポートフォリオ計画 アプリケーションは、組織の目標に沿った作業を可視化することで、従来の製品およびポートフォリオ管理を強化するのに役立ちます。ポートフォリオ計画 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの ポートフォリオ計画 の特長

- シナリオを作成し、ポートフォリオ計画の変更をシミュレートし、シナリオを比較してトレードオフの意思決定を可視化し、シナリオを承認して情報に基づいた意思決定を行いながら本稼働計画を変更します。
- ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップからロードマップを Microsoft PowerPoint ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーとコラボレーションします。
- プロジェクト、プログラム、レンズを使用してポートフォリオ計画を構築することで、組織のプログラム [pm_program] アイテムに高いレベルで優先順位を付け、ロードマップを作成します。
- 計画立案アイテムの予算を ネクストエクスペリエンス に移行し、ポートフォリオマネージャーは、予算を比較、割り当て、管理、および承認できます。
- 設定サイドパネルから実績トグルを有効にすることで、各リソースアサインの実績を表示および追跡します。

詳細については、「[Portfolio Planning](#)」を参照してください。

i 重要:

ポートフォリオ計画 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノート「[アクティブ化情報](#)」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

シナリオ計画を使用した計画の最適化

- シミュレートされた環境でシナリオを作成し、計画立案アイテムの優先順位付けとタイムラインを調整します。
- 計画立案アイテムとゴールの整合性をチェックし、戦略的な成果の達成を確認します。
- シナリオを並べて比較することで、シナリオ間のトレードオフの意思決定を可視化します。
- 実行して情報に基づいた意思決定を行うための本稼働ポートフォリオ計画として最適なシナリオを承認します。

PowerPoint へのロードマップまたはフリーフォームロードマップのエクスポート

ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップからロードマップを Microsoft PowerPoint ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーとコラボレーションします。事前定義されたテンプレートは、ロードマップのマイルストーン、アイテムのマイルストーン、垂直線、水平レーンなど、ロードマップのレポートを生成するのに役立ちます。

レーンの最大保有期間のロードマップを 1 年ごとにエクスポートできます。サイドパネルを使用してロードマップをエクスポートするときに、コンパクトモード (スライドごとに 25 の水平レーンをエクスポート) またはデフォルトモード (スライドごとに 15 の水平レーンをエクスポート) を選択することもできます。

事前定義されたテンプレートを編集するか、独自のブランド化されたテンプレートを作成して、レポートにエクスポートするデータを選択できます。詳細については、「[Create a Microsoft PowerPoint template](#)」を参照してください。

プロジェクトプログラムレンズを使用した概要の計画

プロジェクトプログラムレンズを使用してプログラム [pm_program] アイテムのポートフォリオ計画を構築し、高レベルで計画します。プログラムに優先順位を付け、ロードマップを使用して追跡します。

クラシック UI からの計画立案アイテムの予算の移行と管理 [ネクストエクスペリエンス](#)

- [予算の移行 (**Migrate Budget**)] オプションを使用して、計画立案アイテムの既存の予算を クラシック UI から [ネクストエクスペリエンス](#) に移行します。
- ポートフォリオマネージャーは、予算ビューとコストビューを使用して、計画立案アイテムの予算を割り当てて管理できます。
- プロジェクトマネージャーは、計画立案アイテムのキャプチャされたコストと予算の比較を表示し、承認された予算を満たすように計画コストを再予測できます。
- 財務ベースラインを比較して、簡単な財務と予算を表示します。

UI の変更

財務 UI の変更

- プロジェクトマネージャーとプロダクトマネージャーが予算と取得したコストの比較を表示するための新しい [予算とコスト (**Budget vs. cost**)] トグル。
- ポートフォリオマネージャーがプロジェクト予算を管理するための新しい [予算割り当て] トグル。
- ポートフォリオマネージャーが予算の変更を承認するための、予算割り当てビューの新しい [予算を承認 (**Approve budget**)] ボタン。
- 会計期間、四半期、年次の予算情報を入力および表示するための新しいグリッドビュー。経費タイプ別または原価費目別の合計ブレイクダウン。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ポートフォリオ計画 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Strategic Planning

ServiceNow 戦略的計画で従来の手法、アジャイル手法、またはハイブリッド手法を使用する場合に、作業を優先順位付け、ロードマップ、および追跡します。組織全体で目標を定義して追跡することで、戦略を実行に合わせます。

Export to PowerPoint for Strategic Portfolio Management

事前定義されたテンプレートを編集するか、ServiceNow 戦略的ポートフォリオ管理の PowerPoint エクスポート を使用して独自のブランド化されたテンプレートを作成し、ロードマップデータをレポートにエクスポートします。

プロジェクトポートフォリオ管理 リリースノート

ServiceNow プロジェクトポートフォリオ管理アプリケーションを使用すると、少数の小規模なタスクから大規模なプロジェクトポートフォリオまで、幅広いプランニングアイテムを作成および管理できます。プロジェクトポートフォリオ管理は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの プロジェクトポートフォリオ管理 の特長

タイムシートとタイムカードのユーザー向けに、新しいアナリティクスタイムシート、アナリティクスユーザーマネージャー、およびアナリティクスプロジェクトマネージャーの各ダッシュボードを ネクストエクスペリエンス で表示します。

詳細については、「[Project Portfolio Management](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Time Card Management

Xanadu リリース以降、新規のお客様は、ネクストエクスペリエンス のアナリティクスタイムシート、アナリティクスユーザーマネージャー、アナリティクスプロジェクトマネージャーの各ダッシュボードに直接アクセスできるようになります。

UI の変更

Project Portfolio Management

- 「タイムシートダッシュボード」の名前が「アナリティクスタイムシート」に変更されました。
- 「ユーザーマネージャーダッシュボード」の名前が「アナリティクスユーザーマネージャー」に変更されました。
- 「プロジェクトマネージャーダッシュボード」の名前が「アナリティクスプロジェクトマネージャー」に変更されました。

このリリースでの変更

Project Portfolio Management

新しいServiceNow プロジェクトワークスペースアプリケーションは、より効率的な簡素化された操作エクスペリエンスを提供します。アップグレード方法については、「[Project Workspace](#)」を参照してください。プロジェクトポートフォリオ管理は、このリリースでも引き続きサポートされています。

廃止情報

Allocation workbench

[Allocation workbench](#) は Xanadu リリース以降廃止されました。これは非表示になり、インストールできなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。

リソースマネージャーには、次のことをお勧めします [使う リソース管理ワークスペース](#) リソースのアサインを割り当て、承認、および管理します。

Strategic Planning

Xanadu リリース以降、タイムライン可視化/ CIO ロードマップ (com.snc.timeline_visualization) は、将来の廃止に備えて準備されています。これは非表示になり、有効化できなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。この機能の最新のエクスペリエンスを得るには、[Strategic Planning](#) (SPM Pro) または [Portfolio Planning](#) (SPM Standard) アプリケーションに移行してください。

Project Workspace

Xanadu リリース以降、クラシックプロジェクトワークスペースは将来の廃止に向けて準備中です。これは非表示になり、インストールできなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。

アクティベーション情報

プロジェクトポートフォリオ管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Project Workspace

ネクストエクスペリエンス でServiceNow ワークスペースを使用する方法の詳細については、[Project Workspace](#) のドキュメントを参照してください。

プロジェクトワークスペース リリースノート

ServiceNow プロジェクトワークスペースアプリケーションは、プロジェクトマネージャーがプロジェクトを計画および管理できるようにする直観的なユーザーエクスペリエンスを提供します。プロジェクトワークスペースは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの プロジェクトワークスペース の特長

- プロジェクト予算を ネクストエクスペリエンス に移行します。
- ポートフォリオマネージャーは、プロジェクト予算の割り当て、管理、および承認を行います。
- 財務ベースラインを比較して、簡単な財務と予算を表示します。
- 実績トグルを使用して、各リソースアサインの実績を表示および追跡します。

詳細については、「[Project Workspace](#)」を参照してください。



重要:

プロジェクトワークスペース は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Now Assist 次の値のいずれか プロジェクトワークスペース

- Now Assist を使用して、ドキュメントコンポーネントで選択したテキストの簡潔な要約を生成します。
- プロジェクト生成 AI ドキュメントスキルを使用して、ドキュメントコンポーネントで選択したコンテンツを要約、詳細化、短縮します。

Managing projects with Project Workspace

- プロジェクトの予算をクラシック UI から ネクストエクスペリエンス に移行します。
- ネクストエクスペリエンス の財務を使用して、プロジェクトの予算を割り当ておよび承認します。

でのリソース計画 プロジェクトワークスペース

- リソースにスケジュールがある場合は、アサインされた割り当てスケジュールに従います。
- アサインの作成時に、選択した工数タイプに基づいてユーザーまたはグループを割り当てます。
- 選択した工数タイプの割り当てをインラインで表示します。

プロジェクトの詳細ページの機能拡張

- ステークホルダーを追加し、リソース計画を延長または確認して、新しいリソース割り当てを日次で追加します。
- プログラムのステータスレポートを表示し、[新規テンプレートとして保存] オプションを使用してプロジェクトをテンプレートとして保存します。
- [アジャイル] または [ハイブリッド] 実行タイプから、アジャイルフェーズまたはテストフェーズを作成します。

- ・ストーリーを作成またはプロジェクトに追加したり、新しいエピックを追加したりします。
- ・サイドパネルからプロジェクトまたはプロジェクトタスクの詳細を表示します。
- ・プロジェクトを別のタブで開くには、[タスクを新しいタブで開く (**Open task in new tab**)] アイコンを使用します。
- ・[完全な詳細] リンクを使用して、作業メモと添付ファイルを追加したり、プロジェクトまたはタスクの関連リストを表示したりします。

プロジェクトの予算を管理し、クラシック UI から ネクストエクスペリエンス

- ・予算の移行オプションを使用して、既存のプロジェクト予算をクラシック UI から ネクストエクスペリエンス に移行します。
- ・ポートフォリオマネージャーは、予算とコストビューを使用してプロジェクトの予算を割り当て、管理します。
- ・プロジェクトマネージャーは、計画立案アイテムの予算とキャプチャされたコストの比較を表示します。

UI の変更

プロジェクトワークスペース UI の変更

- ・割り当てヒートマップに実績を表示するための新しい [実績を表示 (**Show actuals**)] トグルが設定サイドパネルに追加されました。
- ・新しい [タスクを新しいタブで開く (**Open task in new tab**)] アイコンが追加され、プロジェクトの詳細が別のウィンドウで開きます。
- ・プロジェクトワークスペースホームページでプロジェクトをフィルタリングするための新しい [フィルター] アイコンが追加されました。
- ・プロジェクトワークスペースホームページにプロジェクトを再ロードするための新しい [更新] アイコンが追加されました。
- ・プロジェクトワークスペースホームページの [新しいプロジェクト] ボタンが [新規] ボタンに置き換わりました。
- ・プロジェクトをカード形式で表示するための新しい [グリッドビュー] アイコンが追加されました。
- ・プロジェクトをリスト形式で表示するための新しい [リストビュー] アイコンが追加されました。
- ・プロジェクトをテンプレートとして保存するための [新規テンプレートとして保存] オプションが [その他のアクション] メニューに追加されました。

財務 UI の変更

- ・プロジェクトマネージャーが予算とキャプチャされたコストの比較を表示できるように、新しい [予算とコスト (**Budget vs. cost**)] トグルが追加されました。
- ・ポートフォリオマネージャーがプロジェクト予算を管理できるように、新しい [**Budget allocation** (予算割り当て)] トグルが追加されました。
- ・ポートフォリオマネージャーが予算の変更を承認するための新しい [**Approve budget** (予算を承認)] ボタンが予算割り当てビューに追加されました。
- ・会計期間、四半期、年次でのプロジェクト予算情報を入力および表示するための新しいグリッドビュー。経費タイプ別または原価費目別の合計ブレイクダウン。

廃止

Xanadu リリース以降、クラシックプロジェクトワークスペースは将来の廃止に向けて準備中です。これは非表示になり、インストールできなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。

アクティブ化情報

ServiceNow Store から要求することで、プロジェクトワークスペース をインストールします。Xanadu リリース以降、PPM 標準プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をインストールすると、プロジェクトワークスペースアプリケーションもインストールされます。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Portfolio Management

複数の個別アプリケーションを組み合わせることで、プロジェクト管理 (PM) および IT 開発への簡素化されたチーム指向アプローチを使用します。

リソース管理ワークスペース リリースノート

ServiceNow リソース管理ワークスペースアプリケーションを使用すると、リソースマネージャーは、リソースのアサインを表示および管理するための専用ワークスペースをより効率的に操作できます。リソース管理ワークスペースは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの リソース管理ワークスペースの特長

- リソース管理ワークスペースからのリソースのアサイン作成
- タスクをフィルタリングしてリソースボードを作成し、アサインされたリソースを表示し、作業の優先度に基づいて割り当てを管理します。
- アサインされたリソースの割り当てを分割し、作業を別のリソースにアサインしてリソースの割り当てを処理します。
- 新しいアイコンを使用して、リソースのアサインに対する割り当てとステータスの変更を識別します。

詳細については、「[Resource Management Workspace](#)」を参照してください。

重要:

リソース管理ワークスペース は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Resource Management Workspace

- 選択したタスクで作業しているリソースを表示するには、リソースボードを作成しているときに、[タスク] オプションを使用してタスクベースのリソースボードを作成します。
- リソース管理ワークスペースビューから直接、リソースのアサインと運用リソースのアサインの作成、アサイン、および管理を行います。
- グループのリソースのアサインと、グループ運用リソースのアサインを作成し、それらを [未アサイン (Unassigned)] タスクトレイに表示します。

- 選択した日付からリソースのアサインを分割し、他のリソースに割り当てを再アサインします。
- 新しいアイコンを使用して、承認されたタスクの更新を表示します。

UI の変更

Resource Management Workspace リソース管理ワークスペース

- 新しい行のコンテキストメニューの作業を分割する [分割] オプション。
- 既存の [タスクのアサインを解除 (Unassign task)] 行のコンテキストメニューを [アサイン解除 (Unassign)] に変更しました。
- 既存の [タスクの再アサイン (Reassign task)] 行のコンテキストメニューを [再アサイン (Reassign)] に変更しました。
- リソースアサインおよび運用リソースアサインを作成するための新しいオプション。
- 承認されたタスクのステータス変更を識別するための新しいアイコン。

このリリースでの変更

Resource Management Workspace

新しい リソース管理ワークスペース は、より効率的な簡素化された操作エクスペリエンスを提供します。アップグレード方法については、「[Resource Management Workspace !\[\]\(de95854c7ee024cfadc48187bbb781b2_img.jpg\)](#)」を参照してください。 [Resource Management classic !\[\]\(cef08d8c15d8a8acd5e25ab0d65432c3_img.jpg\)](#) は、このリリースでも引き続きサポートされています。

アクティベーション情報

ServiceNow Store に要求の上、リソース管理ワークスペース アプリケーションをインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(6059a5aa8b4ca7bb793408023d6c6e42_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(d293b9aef7d8767760396289fbc64e8a_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

キャパシティ計画立案

キャパシティ計画立案により、リソースの可用性、割り当ての詳細、可用性、および運用作業のアサインに関するインサイトが得られます。リソースマネージャーは、この情報を使用して、要求されたリソースのアサインを承認し、作業を割り当てることができます。

Scaled Agile Framework (SAFe) [®] リリースノート

ServiceNow Scaled Agile Framework (SAFe) アプリケーションは、無駄のないアジャイルの原則を使用して、戦略的作業と運用作業をすべて 1 か所から管理するのに役立ちます。さまざまな SAFe アプリケーションが Xanadu リリースで廃止される予定です。

廃止

次の SAFe 関連プラグインは廃止が予定されており、新たにアクティブ化するために展開できなくなりました。ただし、既存のユーザーは引き続き使用できます。

- Essential SAFe (com.snc.sdlc.safe)
- Portfolio SAFe (com.snc.sdlc.portfolio_safe)

- Essential SAFe 向けパフォーマンスアナリティクスコンテンツパック (com.sn_safe_dashboards)
- SAFe の作業進捗ステータス (com.sn_safe_progress)
- アジャイル - Scaled Agile Framework - 統合バックログ (com.snc.sdlc.safe.multi_task)
- SAFe の読み取り専用ロール

廃止プロセスおよびその影響の詳細については、Now Support ナレッジベースの[アプリケーション/プラグインの廃止プロセス \[KB0867184\]](#) の記事を参照してください。

別の方法として、柔軟なチームと作業階層構成で SAFe 機能を提供する Enterprise Agile Planning (EAP) をインストールすることもできます。インタラクティブなワークスペースエクスペリエンスにより、EAP はチーム間のコミュニケーションとコラボレーションを簡素化するのに役立ちます。詳細については、「[Enterprise Agile Planning](#)」を参照してください。

戦略的計画 リリースノート

ServiceNow 戦略的計画 アプリケーションは、単一のワークスペースを使用してエンドツーエンドの計画立案を実現するのに役立ちます。戦略的計画 は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 戦略的計画 の特長

- リッチテキストドキュメントを作成して、計画立案アイテムとアジャイルチームのアーティファクト情報を EAP に保存および管理します。
- シナリオを作成し、ポートフォリオ計画の変更をシミュレートし、シナリオを比較してトレードオフの意思決定を可視化し、シナリオを承認して情報に基づいた意思決定を行いながら本稼働計画を変更します。
- ゴールとターゲットを Microsoft Excel ファイルにエクスポートし、ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップからのロードマップを Microsoft PowerPoint ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーとコラボレーションします。
- プロジェクト、プログラム、レンズを使用してポートフォリオ計画を構築することで、組織のプログラム [pm_program] アイテムに高いレベルで優先順位を付け、スコアを付け、ロードマップを作成します。
- 計画立案アイテムの予算を ネクストエクスペリエンス に移行し、ポートフォリオマネージャーは、予算を比較、割り当て、管理、および承認できます。
- 設定サイドパネルから実績トグルを有効にすることで、各リソースアサインの実績を表示および追跡します。

詳細については、「[Strategic Planning](#)」を参照してください。

重要:

戦略的計画 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

戦略計画の Now Assist

- 計画立案アイテム生成 AI Docs スキルを使用して、ドキュメントで選択したテキストのサマリーを生成します。ドキュメントで選択したコンテンツの要約、詳しい説明の作成、短縮を行うことができます。
- 製品フィードバックのマルチフィードバック要約スキルを使用して、1 つまたは複数のフィードバックを要約します。
- Now Assist 会話型カタログ作成機能を使用して、従業員サービス管理 (ESM) (ESC) ポータル内でデマンドを作成します。

Collaborate using Docs in EAP

- 主要なアーティファクトの情報や、エピック、機能などの計画立案アイテムのその他の詳細をワークスペース内から直接保存します。
- アジャイルチーム、ART、ソリューショントレーニング、およびポートフォリオのチームレベルのドキュメントを管理します。
- 各計画立案アイテムレベルまたはアジャイルチームレベルで複数のリッチテキストドキュメントを作成します。
 - リアルタイムのコラボレーションにより、データの損失や並列編集を回避します。
 - チームメンバーを @ メンションして、アクションアイテムにタグ付けします。
 - メディアと URL を挿入します。

Migrating from SAgile to EAP

Essential SAgile や Portfolio SAgile などの Scaled Agile Framework (SAgile) アプリケーションから EAP に移行します。戦略的計画 アプリケーションのガイド付きセットアップモジュールを使用して、段階的な方法で移行を実行します。

この移行は 1 回限りです。EAP で SAgile アプリケーションを引き続き使用することはお勧めしません。

アジャイルチームのデフォルトの計画立案カレンダーの上書き

アジャイルチームおよびアジャイルリリーストレーニング (ART) の場合、[計画立案カレンダーの上書き (**Override planning calendar**)] フィールドを使用すると、チームメンバーが計画立案カレンダーを変更できます。新しいカレンダーは、子チームがある場合は自動的に適用され、次の反復の開始時から有効になります。

EAP PI 計画立案ボードのパーソナライズ設定の永続化

チームタイプの PI 計画立案ボードで行われた設定のカスタマイズは、ユーザー、チームタイプ、および作業アイテムタイプに従ってワークスペース全体に適用されます。たとえば、依存関係トグルの有効化、チームバックログレーン、カードの圧縮など、1 つの ART に適用される設定は、ユーザーのワークスペース内のすべての ART に適用されます。

シナリオ計画を使用した計画の最適化

- シミュレートされた環境でシナリオを作成し、計画立案アイテムの優先順位付けとタイムラインを調整します。
- 計画立案アイテムとゴールの整合性をチェックし、戦略的な成果の達成を検証します。
- シナリオを並べて比較することで、シナリオ間の目標の整合性とトレードオフの意思決定の違いを可視化します。
- 実行して情報に基づいた意思決定を行うための本稼働ポートフォリオ計画として最適なシナリオを承認します。

Export goals and targets data to Excel or CSV

ゴールとターゲットをポートフォリオ計画から Microsoft Excel または CSV ファイルにエクスポートし、データを共有し、ビジネスステークホルダーとコラボレーションします。

PowerPoint へのロードマップまたはフリーフォームロードマップのエクスポート

ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップからロードマップを Microsoft PowerPoint ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーとコラボレーションします。事前定義されたテンプレートは、ロードマップのマイルストーン、アイテムのマイルストーン、垂直線、水平レーンなど、ロードマップのレポートを生成するのに役立ちます。

一度に最大 1 年間のロードマップをエクスポートできます。サイドパネルを使用してロードマップをエクスポートするときに、コンパクトモード (スライドごとに 25 の水平レーンをエクスポート) またはデフォルトモード (スライドごとに 15 の水平レーンをエクスポート) を選択することもできます。

事前定義されたテンプレートを編集するか、独自のブランド化されたテンプレートを作成して、レポートにエクスポートするデータを選択できます。詳細については、「[Create a Microsoft PowerPoint template !\[\]\(830769b31eeeaca920791081939ff8ba_img.jpg\)](#)」を参照してください。

プロジェクトプログラムレンズを使用した概要の計画

プロジェクトプログラムレンズを使用してプログラム [pm_program] アイテムのポートフォリオ計画を構築し、高レベルで計画します。プログラムをスコアリングして優先順位を付け、ロードマップを使用して追跡します。

フィードバックフィルターカードの機能拡張

- フィードバックフィルターカードをフィードバックホームページから直接管理するには、フィードバックカードをソート、固定、共有、更新、または削除します。
- フィードバックフィルターカードを共有するときに、特定のユーザーまたはグループのアクセスを許可します。また、フィードバックフィルターカードにアクセスできるユーザーを確認します。

クラシック UI からの計画立案アイテムの予算の移行と管理 ネクストエクスペリエンス

- [予算の移行 (**Migrate Budget**)] オプションを使用して、計画立案アイテムの既存の予算を クラシック UI から ネクストエクスペリエンス に移行します。
- ポートフォリオマネージャーは、予算ビューとコストビューを使用して、計画立案アイテムの予算を割り当てて管理できます。
- プロジェクトマネージャーは、計画立案アイテムのキャプチャされたコストと予算の比較を表示し、承認された予算を満たすように計画コストを再予測できます。
- 財務ベースラインを比較して、簡単な財務と予算を表示します。

UI の変更

製品フィードバック UI 変更

- フィードバックフィルターフォームから [メンバーまたはグループと共有 (**Share with members or group**)] フィールドを削除しました。
- フィードバックフィルターカードに [共有] オプションを追加しました。

目標 UI の変更

- 目標とターゲットのセットを区別するために、水平線 (セパレーター) をリストビューに追加しました。
- 目標列とターゲット列でターゲットブレイクダウンを区別するために縦線を追加しました。
- 目標 [sn_gf_goal] およびターゲット [sn_gf_goal_target] テーブルで [名前] フィールドに入力できる最大文字数が 80 から 255 に増加しました。

財務 UI の変更

- プロジェクトマネージャーとプロダクトマネージャーが予算とキャプチャしたコストの比較を表示するための新しい [予算とコスト (**Budget vs. cost**)] トグル。
- ポートフォリオマネージャーがプロジェクト予算を管理するための新しい [予算割り当て (**Budget allocation**)] トグル。
- ポートフォリオマネージャーが予算の変更を承認するための、予算割り当てビューの新しい [予算を承認 (**Approve budget**)] ボタン。
- 会計期間、四半期、年次の予算情報を入力および表示するための新しいグリッドビュー。経費タイプ別または原価費目別の合計ブレイクダウン。

このリリースでの変更

EAP の PI 計画ボードの機能拡張

PI 計画立案ボードには、現在のアジャイル構造レベルとその子チームにアサインされたすべての作業が表示されます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、戦略的計画 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Export to PowerPoint for Strategic Portfolio Management

事前定義されたテンプレートを編集するか、ServiceNow 戦略的ポートフォリオ管理の PowerPoint エクスポート を使用して独自のブランド化されたテンプレートを作成し、ロードマップデータをレポートにエクスポートします。

Telecommunications, Media, and Technology リリースノート

Xanadu リリースには、ServiceNow Telecommunications, Media, and Technology の新規および更新されたアプリケーションと機能が含まれます。

通信事業 製品とアプリケーション：

通信事業 業種別ソリューションには、次のアプリケーションが含まれています。

- 通信事業サービス管理 は、ネットワークから顧客までの電気通信運用全体を 1 つのプラットフォームに統合し、積極的なケアを提供して、サービスの可用性と品質を最大化します。これには次のアプリケーションが含まれています。
 - サービスブリッジ
 - Proactive Service Experience Workflows
 - アカウントライフサイクルイベント
- 通信事業、メディア、およびテクノロジー向け 注文管理。「[セールスと注文管理 リリースノート](#)」を参照してください。
- 通信事業ネットワークインベントリ

テクノロジー 業種別ソリューションには、次のアプリケーションが含まれています。

- テクノロジーサービス管理 は、ネットワークから顧客までのテクノロジー運用全体を 1 つのプラットフォームに統合し、積極的なケアを提供して、サービスの可用性と品質を最大化します。これには次のアプリケーションが含まれています。
 - サービスブリッジ
 - Proactive Service Experience Workflows
 - アカウントライフサイクルイベント
- 通信事業、メディア、およびテクノロジー向け 注文管理。「[セールスと注文管理 リリースノート](#)」を参照してください。

サービスブリッジ[®] リリースノート

ServiceNow サービスブリッジ アプリケーションを使用すると、プロバイダーとコンシューマーは、カスタム統合を構成および維持することなく、インスタンス間でサービスを直接接続して追跡できます。サービスブリッジ は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの サービスブリッジ の特長

- プロバイダーが新しい機能を採用し、アップグレードしていないコンシューマーに中断のないサービスを提供できるようにします。
- エンタイトルメントをコンシューマーに同期する前に、互換性を評価します。
- コンシューマーがプロバイダーとタスクを同期する前に、承認などの特定のプロセスを実行できるようにします。
- プロバイダーインスタンスとコンシューマーインスタンス間の構成データの自動同期をサポートします。

詳細については、「[Service Bridge](#)」を参照してください。

i 重要:

サービスブリッジ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

サービスブリッジ を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

- Xanadu リリースでリリースされる サービスブリッジ 2.x.x は、サービスブリッジ (レガシー) バージョンの移行をサポートしていません。サービスブリッジ (レガシー) バージョンを使用している場合は、Xanadu リリースにアップグレードする前に、Now Support ナレッジベースの記事「[Service Bridge for Providers \(Legacy\) - Migration Utility \(KB1499823\)](#)」の手順に従って構成データを移行する必要があります。

- 不一致バージョンのサポートの導入により、コンシューマーとプロバイダーの両方が Xanadu リリースにアップグレードするまで、新しいエンタイトルメントをアクティブ化できません。古いアクティブなエンタイトルメントは引き続き機能しますが、新しいエンタイトルメントはアクティブ化できません。

Xanadu リリースの新機能

Service Bridge mismatched version support

プロバイダーとコンシューマーは、データ交換機能に影響を与えることなく、異なるバージョンの サービスブリッジ アプリケーションを実行できます。プロバイダーは、コンシューマーとアプリケーションのアップグレードを調整することなく、新しい機能を採用できます。

構成リビジョン

プロバイダーは、アプリケーションを更新していないコンシューマーに影響を与えることなく、機能が更新されたエンタイトルメントの新しいバージョンまたはリビジョンを開発して、互換性のあるコンシューマーに展開できます。したがって、コンシューマーは、新しいリビジョンを展開する際に、リモートタスク定義、リモートレコードプロデューサー、基盤データ同期オフリングなどの古いリビジョンのエンタイトルメントを使用できます。

コンシューマーのプリフロー

コンシューマーは、フローを サービスブリッジ リモートレコードプロデューサーに関連付けることでプロバイダーとのデータ同期を制御し、タスクがプロバイダーと同期される前に、承認などのコンシューマー定義のプロセスを実行できます。

Integration with Sales and Order Management

プロバイダーは、コンシューマーインスタンスでリモートレコードプロデューサーとして公開することで、顧客が資格付与された セールスと注文管理 製品オフリングをサービスカタログから迅速に注文できるようにします。

廃止

- サービスブリッジ (レガシー) アプリケーションは現在廃止されており、新しいアクティベーションのサポートや利用は終了しています。この機能の最新のエクスペリエンスはコンシューマー向け サービスブリッジ アプリケーションで提供されます。
- プロバイダー向け サービスブリッジ (レガシー) アプリケーションは現在廃止されており、新しいアクティベーションのサポートや利用は終了しています。この機能の最新のエクスペリエンスはプロバイダー向け サービスブリッジ アプリケーションで提供されます。

従来のバージョンからの移行の詳細については、[KB1499823](#) を参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、サービスブリッジ をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store/バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Sales and Order Management

セールスと注文管理 アプリケーションを使用すると、プリセールス機会、営業見積もりの生成、注文のキャプチャ、受注処理、ポストセールスエンゲージメントなど、組織内の製品販売ライフサイクルを管理できます。

Proactive Service Experience Workflows リリースノート

ServiceNow Proactive Service Experience Workflows は、テクニカルサポートチームが影響を受ける顧客を特定し、顧客と直接やり取りを行い、必要に応じてケースをエスカレートし、ケースを自動生成して問題を迅速に解決するのに役立ちます。Proactive Service Experience Workflows は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの Proactive Service Experience Workflows の特長

- カスタマーサービスエージェントが カスタマーサービス問題管理 アプリケーションを使用して、カスタマーサービスの問題を効率的に特定して解決できるようにします。
- 運用チームは、一元化された分析ダッシュボードを通じて運用データを管理および監視できます。

「」を参照してください。 [Proactive Service Experience Workflows](#) 詳細を参照します。

重要:

Proactive Service Experience Workflows は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

カスタマーサービス問題管理

カスタマーサービス問題管理 を使用して、サービスの問題ケースのレビュー、診断、および解決策の提供のプロセス全体を管理します。

Proactive Service Experience Workflows アカウント 360 アナリティクス

一元化されたダッシュボードで、顧客、販売されたサービス、および進行中の顧客アカウントタスクの進捗状況をより深く理解します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Proactive Service Experience Workflows をインストールします。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

フィールドサービス管理 (FSM)

ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションは、現場で実行する作業タスクを管理する組織を支援します。スキル、地理的なテリトリーのアサイン、および利用可能なインベントリに基づいて、タスクとエージェントをマッチングします。エージェントは、完了ステータス、ジョブへの移動時間、所要時間など、アサインされたタスクの詳細を記録できます。

インシデント管理

ServiceNow インシデント管理 は、ビジネスオペレーションに対する影響を最小限に抑え、品質を維持しながら通常のサービス運用状態に戻します。どのユーザーも、インシデントを記録することができ、サービスが回復して問題が解決されるまで、インシデントのライフサイクル全体を通じてインシデントを追跡できます。

変更管理

ServiceNow 変更管理 アプリケーションは、すべての変更のライフサイクルを制御する体系的なアプローチを提供し、ビジネスオペレーションの中断を最小限に抑えて有益な変更を容易にします。

プロセスマイニング

ServiceNow[®] プロセスマイニング は、アナリストとプロセスオーナーがビジネスプロセスを迅速に分析して最適化するのに役立ちます。データから自動化されたビジネスプロセスフローを作成し、プロセスの非効率性を監視し、より迅速に検出できるようにします。

アカウントライフサイクルイベント リリースノート

ServiceNow アカウントライフサイクルイベント アプリケーションは、オンボーディングプロセスの簡素化、目標と結果の定義と追跡、リスクの特定と軽減、更新率の向上に役立ちます。アカウントライフサイクルイベント は Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの アカウントライフサイクルイベント の特長

- オンボーディングケースのプロセスベースのプレイブックを使用して、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。
- カスタマーサービスポータルでオンボーディングケースとケースタスクを表示します。
- データインポートビルダーとデータ検証支援機能を使用して、データのキャプチャと検証を改善します。
- 価値を促進するために、文書化された成功計画を使用してビジネス成果を定義および測定します。
- 顧客エンゲージメントを作成し、健全性を監視し、進捗状況を評価します。

詳細については、「[Account Lifecycle Events](#)」を参照してください。

重要:

アカウントライフサイクルイベント は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Xanadu リリースの新機能

アカウントオンボーディングプレイブック

アカウントライフサイクルイベント プレイブックを使用してアカウントのオンボーディングを管理します。このプレイブックには、オンボーディングのステータスや進捗状況などの重要な詳細を含むオンボーディングワークフローのアクティビティ定義が含まれており、さまざまなステークホルダーにタスクをいつ提供すべきかについての明確な指示が共有されています。

アカウントオンボーディングホームページ

ケースタスク、データキャプチャタスク、関連するリスクなど、自分にアサインされたオンボーディングケースを監視します。

データインポート検証

- 複数のファイルを同時にステージングテーブルにアップロードして処理します。
- データインポートビルダーを使用して、データをインポートするためのデータソースと変換マップを構成します。
- データ検証支援テーブルでフィールドレベルおよびレコードレベルのデータ検証を実行します。さらに、8 つの事前設定されたフィールドレベルの検証もベースシステムで使用できます。

Recommended actions for account onboarding

エージェントが必要に応じて適切なアクションを実行できるように、現在のレコードのコンテキストに基づいてユーザーにガイダンスと推奨アクションを提供します。さらに、エージェントはガイド付きディシジョンツリーを使用して、オンボーディングプロセスのナビゲートとトラブルシューティングを行うことができます。

View account onboarding cases in the Consumer Service Portal

CSM ポータルで アカウントライフサイクルイベント オンボーディングケースレコードまたはケースタスクレコードを表示して、アカウントライフサイクルイベント オンボーディングジャーニーの詳細を確認します。

カスタマーサクセス (CS) によるアダプションの改善と離職率の削減

カスタマーサクセス (CS) 機能を使用して、顧客と連携し、成功事例を実行することでリスクを軽減し、拡張と更新の機会を特定します。

- 成功ランディングページで成功ポートフォリオを監視します。現在のエンゲージメント、今後の更新、および新しいエンゲージメントのステータスを表示します。
- 成功イニシアチブ、成功ブループリントなどのエンゲージメントの詳細を表示し、成功ケースを監視します。
- ワークフローランチャーを使用して、成功戦略と成功ブループリントを作成し、手動または自動のアクティビティを定義します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、アカウントライフサイクルイベント をインストールします。[ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 」を参照してください。

関連の **ServiceNow** アプリケーションと機能

Customer Service Management

カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションを使用すると、オンボーディングおよびケースモニタリングプロセスを自動化し、サービスエージェントに、顧客へのプロアクティブなサービスを提供するために必要な顧客のシステムとツールの可視化を提供できます。

通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の **Now Assist** リリースノート

ServiceNow TMT の Now Assist アプリケーションでは生成 AI を Proactive Service Experience Workflows で利用します。セルフサービス、推奨アクション、回答の機能が向上することで、生産性と効率を向上させます。TMT の Now Assist は Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの TMT の **Now Assist** の特長

- 生成 AI を使用して、サービスの問題ケースを要約し、解決メモを生成して、サービス関連の問題のテストサマリーを作成します。
- ケースレコードの各フィールドに条件を追加して、ケースの要約のスキルと解決メモの生成が利用可能になるタイミングを決定します。
- ケースの要約および解決メモ生成スキルの可用性をユーザーロールによって制限します。
- ケースのステータス (新規、処理中、または解決済み) に基づいて、テンプレート主導型のサービス問題ケースの要約を作成します。

詳細については、「[Now Assist for Telecommunications, Media and Technology \(TMT\)](#) 

i 重要:

通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

TMT の Now Assist 機能**サービス問題ケースの要約スキル**

サービス問題ケースレコードを短いサマリーに凝縮して、エージェントの時間を節約するように設計されています。

解決メモ生成スキル

エージェントは、解決策の要約スキルにより、ケースの解決情報を生成し、顧客に解決策を提案して、その情報をサービス問題ケースレコードに追加できます。

テスト要約スキル

テスト要約スキルを使用して、サービスの問題の明確で簡潔な根本原因分析を生成して、テスト実行中に診断された問題の根本原因を特定します。

Now Assist パネル

エージェントは、CSM/FSM 構成可能ワークスペースで使用可能なパネルで Now Assist スキルにアクセスできます。Now Assist はコンテキストを認識するため、現在表示されているレコードや会話を要約でき、またケース番号を指定することができます。

Now Assist 管理コンソール

Now Assist アドミン コンソールで、機能と個々のスキルをアクティブ化および構成します。たとえば、スキルにアクセスできるロールや、スキルを、CSM/FSM 構成可能ワークスペース、Now Assist パネル、またはその両方で使用できるかどうかを指定できます。

スキルの可用性に条件を追加

サービス問題ケースレコードの各フィールドに条件を追加して、ケースのスキルと解決メモの要約が利用可能になるタイミングを決定します。

スキルの可用性のユーザーロールによる制限

ケースの要約および解決メモの要約スキルにアクセスできるロールを指定します。

ケース要約の最小テキスト要件

ケースのアクティビティストリーム内の最低限必要な情報量が決まっているケースに対して、ケースの要約作成スキルを有効にします。

アクティベーション情報

Now Assist 機能は TMT の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Now Assist プラグインのインストール](#)」を参照してください。

その他の要件

TMT の Now Assist アプリケーションには、Proactive Service Experience Workflows Pro Plus または Enterprise Plus のライセンスが必要です。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能**Now Assist**

ServiceNow Now Assist は、会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率性を向上させる生成 AI を使用します。

Now Assist アドミンコンソール

ServiceNow Now Assist アドミンコンソールを使用すると、Now Assist アプリケーションと機能の設定、構成、および監視に必要な重要情報にすばやく簡単にアクセスできます。

Now Assist パネル

CSM/FSM 構成可能ワークスペースでこの会話型インターフェイスを使用してチャット、ケース、または解決メモを要約すると、この情報のコンテキストをより迅速に示すことができます。

Now Assist スキル

Now Assist製品を使用して、ケースまたはインシデントの要約、チャットの要約、解決メモの生成、コード生成など、さまざまなワークフローでユーザーのニーズを満たす生成 AI スキルを提供します。

通信事業ネットワークインベントリ リリースノート

ServiceNow 通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用すると、ネットワーク計画者は物理ネットワーク、論理ネットワーク、または仮想ネットワークをモデル化し、それらのネットワークモデルに基づいてサービスを設計および割り当てることができます。通信事業ネットワークインベントリは Xanadu リリースで拡張および更新されました。

Xanadu リリースでの 通信事業ネットワークインベントリ の特長

- 専用のキャンバス上に、リビジョンと保護パスを含む回路とその基礎となる接続要素を可視化します。
- 機能の表示、編集、更新などを含む強化されたラックとキャビネットの可視化機能、およびキャパシティ計画立案と優先順位付けをより効果的に行うための新しい KPI を利用できます。
- 計画されたリビジョンの運用中に現在の構成をアーカイブし、それらを元の接続と比較して変更を検出します。
- 機器モデルとテンプレートを、関連するハードウェアとともに Excel データソースにエクスポートし、それらを別の ServiceNow インスタンスにインポートします。
- TMF 639 Resource Inventory API の TMF 準拠。

詳細については、「[Telecommunications Network Inventory !\[\]\(4fe57c3593bf1b21d272ae7ac8dfaf77_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

通信事業ネットワークインベントリ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

通信事業ネットワークインベントリ を Xanadu にアップグレードする際の重要な情報

以前のリリースの既存のユーザーの場合は、Xanadu にアップグレードすると、レガシー製品モデルと新しい製品モデルの両方が [Network Inventory Workspace] メニューで使用できるようになります。この問題を修正するには、従来の製品モデルデータを現在のインスタンスの新しい製品モデルテーブルに移行する必要があります。手順の詳細については、「[KB1695167 !\[\]\(2bae76de5ebbd5c4d7d47162f1673734_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Xanadu リリースの新機能

Visualization of a rack or cabinet

高度なラックとキャビネットのインサイトにより、データセンターインフラストラクチャを可視化します。ラックまたはキャビネットを編集して、機器を追加、予約、移動、取り外します。これにより、ラックビューまたはキャビネットビューから機器を作成できます。

Revise a configuration item

リビジョン と元の接続の間に 比較検証を実行してそれらの間の変更を特定します。

Import Models and Templates

XLS テンプレートを介して外部システムからモデルとテンプレートをインポートします。

Visualization of circuits

専用のウィンドウ上に回路とその基礎となる接続要素を可視化します。保護パスのリビジョンと論理接続を表示し、構造全体を折りたたむのではなく、展開されたレイヤーを選択的に折りたたみます。

Create a cable record by using design and assign

ケーブルテンプレートを使用して、ケーブルと関連するストランドをインスタンス化します。

Modify a network topology record using design and assign

新しい変更モデルを使用して、ネットワーク トポロジを変更し、ノードやエッジを追加または削除します。

Create capacity function

カテゴリ属性と順序属性を使用して、キャパシティ機能を特定して優先順位を付けます。ワークスペースのリストビューからキャパシティ管理フォームにアクセスします。

Network Inventory Workspace

新しいランディングページで自分とチームの作業を表示します。

UI の変更

Revise a configuration item

変更された CI (構成アイテム) との比較、および変更された CI のリビジョン履歴の追跡を容易にするために、[リビジョンを検証 (Validate Revision)] ボタンが改訂された CI 内に実装されています。

Export hierarchy of models and templates

モデルまたはインベントリテンプレートの階層とすべての関連レコードをエクスポートするために、[エクスポート] ボタンが追加され。

Optimizing rack and cabinet usage

新しいラックまたはキャビネットの可視化機能により、機器の作成、ラックまたはキャビネットの編集、キャパシティの計算、およびその他のアクションを実行します。

Visualization of circuits

論理接続レコードの回路図のタブベースのエクスペリエンスを置き換えて、専用のウィンドウで図を開くことができるように、接続ボタン [接続を表示] ボタンが導入されました。

Network Inventory Workspace

マップウィジェットがワークスペースのランディングページから削除されました。使用状況測定基準ウィジェットが、ワークスペースのランディングページからインベントリ管理ビューに移動されました。

このリリースでの変更

Visualization of a rack or cabinet

新しいラックの可視化は、新しい電力、重量、およびキャパシティの測定基準を提供します。

アクティベーション情報

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションは、高度なネットワークインベントリプラグイン (sn_ni_adv) をアクティブ化すると利用できる Now Platform 機能です。詳細については、「[Install Telecommunications Network Inventory](#)」を参照してください。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Configuration Management Database (CMDB)

構成管理データベース (CMDB) アプリケーションでは、組織のインフラストラクチャを構成する資産、サービス、および資産とサービスの関係の論理表現を作成します。これらのコンポーネントに関する詳細は、CMDB に格納されます。これを使用して次のインフラストラクチャを監視し、完全性、安定性、および連続的なサービスオペレーションを促進できます。

[store-future: BEGIN review]

Field Service Management for Telecommunication リリースノート

ServiceNow Field Service Management for Telecommunication アプリケーションを使用すると、電気通信業界のフィールドサービスワークフローを管理できます。Field Service Management for Telecommunications は、Xanadu リリースの新しいアプリケーションです。

Xanadu リリースでの Field Service Management for Telecommunication の特長

API を介して電気通信フィールドサービスの予約を作成します。

Field Service Management for Telecommunication の機能

ServiceNow® Telecommunication Open API アプリケーションを使用して、接続関連のフィールドサービスのシステムから予約を作成します。Telecommunication Open API アプリケーションは、TM Forum 646 API を使用して、フィールドサービスの予約を作成および管理する外部システムをサポートします。

アクティベーション情報

Telecommunications Open API (com.sn_tmf_api)、フィールドサービス管理 (FSM) (com.snc.work_management)、および予約 (com.snc.appointment_booking) アプリケーションをアクティブ化して、予約を管理できます。ServiceNow Store から要求してこれらのアプリケーションをインストールします。

関連の ServiceNow アプリケーションと機能

Field Service Management

ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションでは、作業指示と関連するタスク、リソース、スキル、資産、および場所を管理できます。このアプリケーションを使用して、機器の設置、修理、メンテナンスといったあらゆる現場作業を実行するための作業指示書タスクとエージェントを、顧客の現場に派遣できます。

[End]

Xanadu 機能のリリースノートの概要

新規および更新された Xanadu 機能の統合されたリリースノート情報。

複数の Xanadu 製品の特定のテーマについて

Xanadu ファミリーでは、ServiceNow の機能と製品が導入または更新されました。新規または更新されたすべての機能および製品には、個別に独自のリリースノートトピックがあり、アップグレードタスク、新機能、変更された機能、ブラウザー要件、その他の仕様などの情報が含まれています。これらの製品固有のリリースノートは「[製品別の機能と変更](#)」にリストされています。

ユーザーがさまざまなクラスの情報を一目で確認できるように、各リリースノートセクションには独自の概要トピックがあります。たとえば、「」には、Xanadu で導入または更新された機能のすべてのブラウザー要件が集約されています。

Xanadu のすべての機能と製品のハイライト

Xanadu の機能と製品のハイライトに関する累積的なリリースノートの概要。

Xanadu の最新情報については、製品のハイライトを確認してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI 検索	- NLQ Genius 結果を使用して、複数のCMDBテーブルの情報を表示します。 - 中黒 (中点) 文字を含む日本語フレーズの検索精度が向上します。 - カルーセル内の複数の Genius 結果回答カードをスクロールして、質問に対して最も実用的な回答を選択します。 詳細については、「AI Search」を参照してください。
API	- スクリプトでサーバー側の JavaScript API を使用して、アプリケーションの機能を変更します。 - フォームのロード時、フォームの送信時、フィールド値の変更時など、クライアントベースのイベントが発生するたびにクライアント API を実行します。 - インバウンド REST API を使用して、アプリケーション内のさまざまな ServiceNow 機能とやり取りします。 詳細については、「API implementation and reference」を参照してください。
アカウントライフサイクルイベント	- オンボーディングケースのプロセスベースのプレイブックを使用して、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。 - カスタマーサービスポータルでオンボーディングケースとケースタスクを表示します。 - データインポートビルダーとデータ検証支援機能を使用して、データのキャプチャと検証を改善します。 - 価値を促進するために、文書化された成功計画を使用してビジネス成果を定義および測定します。 - 顧客エンゲージメントを作成し、健全性を監視し、進捗状況を評価します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Account Lifecycle Events」を参照してください。
買掛金オペレーション	- 税務コンプライアンスのサポートを提供します。 - 税務マネージャーまたは税務スペシャリストは、税タイプと税コードを作成、編集、更新できます。 - ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) または統合を通じて取り込まれた請求書の場合は、参照フィールドを使用して請求書フィールド全体で有効な ERP ソースを入力できます。 - プレイブックを使用して、税明細行を含む請求書処理ケースのワークフローを可視化します。 - 税差異許容範囲ルールで構成された請求書をチェックする例外エンジンを使用して、税関連の例外を検索します。
アダプションサービス	- 新しい UI と機能のエクスペリエンスが、プレイブックを利用したガイド付きセットアップビルダーで利用可能です。 - より簡素化されたエクスペリエンスと強化された UI を提供する、プレイブックを利用した新しいガイド付きセットアッププレーヤープロセスを使用します。 詳細については、「Adoption services」を参照してください。
高度なリスク	- すべてのタイプのリスク対応戦略に対して統一されたワークフローを使用し、GRC：承認コンフィギュレーターを使用して動的承認を有効にして、各リスク対応計画のさまざまなアクションアイテムを含む複数の戦略を作成します。 - リスクを再評価するときは、オープンリスク対応タスクをリンクするか、以前のアセスメントからリスク対応戦略とともにタスクをコピーします。 - リスクアセスメントの結果として、問題を作成するか、既存の未解決の問題をリンクします。 - スマートアセスメントエンジンを使用して改善されたユーザーエクスペリエンスでリスク識別アンケートに回答します。 - クローズ済みリスクイベントを再オープンして、見落とされている、または過小評価されているリスクを特定して対処し、新しいリスクイベントを作成する代わりに既存のリスクイベントを更新します。 詳細については、「高度なリスクアセスメント」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
高度なワークアサインメント	- 外部ルーティング機能を使用して、サードパーティプロバイダーとの高度な作業アサイン統合を有効にします。 - 高度な作業アサインダッシュボードをネクストエクスペリエンスに移動します。 - シンプルな外部ルーティング ATF ベースのテスト実装で、外部ルーティングテストツールプラグイン (com.glide.awa.external.test_tools) を定義しました。 詳細については、「Advanced Work Assignment」を参照してください。
エージェントチャット	エージェントチャット でユーザーとやり取りしながら、Now Assist をトリガーして推奨応答を生成します。 詳細については、「Agent Chat」を参照してください。
エージェントクライアントコレクター	- acc.yml 構成ファイルにアクセスする必要なく、インスタンスからエージェントのログレベルを構成します。 - 自己署名証明書を追加して、セキュアなエージェント接続を確保します。 - 拡張された Linux と Windows チェックを使用します。 - ServiceNow インスタンスから Visibility Informer の Cloud Native Operations をアップグレードします。 - インスタンスから Informer の実行パラメーターを制御します。 - Informer が Azure Kubernetes Engine (AKS) を使用するとき、インスタンスの認証情報を Microsoft Azure Vault に保存します。 - Informer が OAuth2.0 認証を使用してインスタンスに接続できるようにします。 詳細については、「Agent Client Collector」を参照してください。
HR ケース管理のエージェントワークスペース	- ケースの作成時に HR サービスの説明を表示することで、ケースの転送を最小限に抑え、エージェントの効率を向上させます。 - 最近更新されたケースをリストビューで表示します。 - エージェントが応答テンプレートを使用して HR タスクに迅速に応答できるようにします。 - HR エージェントが意思決定ツリーを作成することでサービスを迅速化できるようにします。 - 個人メモの添付ファイルをアップロードすることで、労務 (ER) ケースの請求をサポートします。 - アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Agent Workspace for HR Case Management (Configurable)」を参照してください。
CSM のエージェントエクスペリエンス	• [メールの作成] モードレスダイアログでヘッダーを展開したり折りたたんだりして、アドレスフィールドを編集したり、メール本文の作業スペースを増やしたりします。 • アイコンを使用すると、テンプレートの適用や添付ファイルの追加などのメールツールにすばやくアクセスできます。 • 最後に保存したメールの下書きがある [メールの作成] モードレスダイアログを開きます。 詳細については、「CSM 構成可能ワークスペース」を参照してください。
アナリティクス、インテリジェンス、レポート	• コア UI レポートおよびダッシュボード機能は Xanadu リリースで廃止 • アクセシビリティのために複数の機能強化を実施
App Engine Studio	• AEMC の取り込み要求レビュープロセス中にロールをアサインすることで、AESまたはクリエイタースタジオで作業する権限をユーザーに付与します。 • ユーザーグループ権限タイプ [sn_app_intake_permission_type] テーブルのレコードを管理して、どのAESおよびクリエイタースタジオグループがアクティブとして表示されるかを管理します。 • 本番に移行する前に、非本番インスタンスでAEMCをテストして、すべてが期待どおりに機能することを確認します。 詳細については、「Build apps using App Engine Studio」を参照してください。
アプリケーションマネージャー	• 推奨事項が追加された改善された検索バーを使用して、結果を見つけます。 • 選択したタブで結果が利用できない場合、検索バーにメッセージが表示されます。 詳細については、「Application Manager」を参照してください。
アプリケーション脆弱性対応	• Vulnerability Manager ワークスペース内の特定のアプリケーション脆弱性一致アイテムのリスクスコア、アサイン、修復ターゲット日、および修復タスクを再評価します。 • サポートされているサードパーティのスキャナーと統合して、脆弱性データをインポートします。 • アプリケーション脆弱性関連データを比較して、アプリケーション内にアプリケーション脆弱性があるかが判断されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- アプリケーション脆弱性一致アイテム (AVI) に優先順位を付け、修復し、管理します。各アプリケーション脆弱性は、CWE またはサードパーティライブラリ内の脆弱性エントリーを表します。 - 組織のアプリケーションで使用されているコンポーネントを特定し、インスタンスにアップロードする ソフトウェア部品表 (SBOM) ファイルからのオープンソースソフトウェアの使用に関連するリスクへの潜在的なエクスポージャーを特定します。 詳細については、「Application Vulnerability Response」を参照してください。
Audit Management	- ドキュメントとワークシートを 監査管理 でクラウドファイルとして管理します。 - クラウドファイルを任意の GRC レコードにリンクし、単一のクラウドファイルを複数のレコードと共有します。 - ローカルコンピューターからドキュメントをクラウドファイルとしてアップロードし、それらをServiceNowの任意のレコードにリンクします。 - 監査管理 で導入された Lite ロールを使用して、より簡単なビジネスオペレーションを実現します。 詳細については、「Audit Management」を参照してください。
認証	認証アプリのセットアップを必要とせずに、FIDO2 認証システム、パスキー、生体認証装置、ハードウェアセキュリティキーを多要素認証 (MFA) 要素として使用します。 詳細については、「認証」を参照してください。
Benchmarks (ベンチマーク)	ITSM ベンチマーク の自己解決転送カテゴリでまったく新しい KPI を体験して、ユーザーが日常的に遭遇するデジタルの問題を解決するのに役立ちます。 詳細については、「Benchmarks」を参照してください。
Business Continuity Management	- 更新された計画レコードを使用して、資産のタイプ、関係、および関係のソースを確認します。 - ビジネスインパクトアナリシス (BIA)、計画、およびイベントに関連する依存関係に関する最新情報にアクセスします。 - 依存関係に基づいて編成された、計画内にリストされている復旧タスクを管理および評価します。 詳細については、「Business Continuity Management」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ケースとナレッジ管理	- グローバルレベルと親または子レベルでのドメインセパレーションをサポートする、新しい HR ガイド付きセットアップを使用します。 - HR ドキュメントテンプレートは廃止され、使用できなくなりました。HR ドキュメントテンプレートの代わりに ServiceNow ドキュメントテンプレート アプリケーションを使用できます。 詳細については、「Case and Knowledge Management」を参照してください。
CSM のケース管理	- プレイブックテンプレートを使用して、水平または垂直のプレイブックを含むページとページのバリエーションを作成します。 - CSM 構成可能ワークスペースの プレイブックレコードページを使用して、プレイブックのステージとアクティビティを通じてユーザーをガイドし、ケースを解決します。 - プロセスマイニング定義を使用して、顧客運用の一般的な非効率性を特定します。 詳細については、「Case management for Customer Service Management」を参照してください。
クローンアドミンコンソール	- クローンアドミンコンソールをバックアップするときは、新しいバックアップを使用すると、バックアップがより迅速に実行されます。 - クローンの作成フォームに追加されたクローンプリザーバーのガイダンスを確認して、クローンプリザーバーの使用方法を理解してください。 詳細については、「Clone Admin Console」を参照してください。
クラウドコスト管理 8.0.0	- クラウドコスト管理の実装における問題を簡単に診断して修正します。 - 機械学習サービスカテゴリを通じて AI リソースの消費量の詳細を表示します。 詳細については、「Cloud Cost Management」を参照してください。
コラボレーションワーク管理	[自分の作業] という 1 つのビューから、自分にアサインされたすべての作業を追跡および管理します。 [アサイン先] 列または [人] タイプの他のカスタム列で自動化を作成します。 - CWM ボードとドキュメントを複製する機能により、時間を節約し、情報を手動でコピーする必要がなくなります。 詳細については、「Collaborative Work Management」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
共通ガバナンス、リスク、コンプライアンス機能	- ワークスペース内の問題をグループ化して関連する問題を整理および管理し、機密性と継承の機能強化によって問題のグループ化プロセスを簡素化します。 - 問題のグループ化中に他の関連する問題の親として機能する既存のスタンドアロン問題を選択します。 - GRC ライセンスの概要ダッシュボードを使用して、さまざまな製品ファミリーのライセンス使用量を追跡します。 - 新しい GRC 従業員ロールを使用して、GRC ワークフローをレポートまたは要求し、従業員センター (GRC 従業員ユーザー アプリケーションを使用する資格があり、インストールした顧客のみに適用) からポリシーを読んで確認します。 - 監査を読み取り、承認し、拡張された Lite オペレーターの変更を使用して監査関連テーブルを読み取ります。 詳細については、「Governance, Risk, and Compliance」を参照してください。
コンプライアンスケース管理	- 各管轄区域内の特定の業界またはセクターの監督を担当する関連規制当局を特定するための機関の一元化されたライブラリを確立します。一元化されたライブラリは、メールを介したすべての規制コミュニケーションを統合し、報告されたコンプライアンスケースのデータプライバシーまたはセキュリティ違反の通知ルールを実装します。 - レポートされたコンプライアンスケースの通知日を自動計算します。 - 新しいグラフィカルなグラフにより、サブタイプ分類別にコンプライアンスケースを監視してアクセスします。 - コンプライアンスアナリストがホームページにアクセスして、レポートされたコンプライアンスケースまたは要求を管理できるようにします。 詳細については、「Compliance Case Management」を参照してください。
コンフィギュレーションコンプライアンス	- Vulnerability Manager ワークスペース の一連のテスト結果について、リスクスコア、アサイン、修復ターゲット日、および修復タスクを再評価します。 - テストグループの CI コンプライアンスとテスト結果のコンプライアンスの割合を Vulnerability Manager ワークスペース で表示します。 詳細については、「Configuration Compliance」を参照してください。
構成管理データベース (CMDB)	- CMDB の健全性の構成と使用は、有用な分析データが簡素化され、全体的なヘルススコアなどの一部の概念が削除されたことで簡素化されました。 - CMDB 360 ダッシュボードのカバレッジチャートの新しいフィルタリングオプションは、分析に関心のあるクラスのみに制限しながら、

アプリケーションまたは機能	詳細
	チャートの計算に関連するパフォーマンスをより適切に管理するのに役立ちます。 - 一部の測定基準のパフォーマンス設定を構成して、<i>CIs Processed via IRE</i> や <i>Business Application with Application Service Relationship</i> などの測定基準を自動的に非アクティブ化するようにシステムをトリガーするなど、一部の測定基準のパフォーマンスへの影響を制限することで、CSDM および CMDB データ基盤ダッシュボードのパフォーマンスへの影響を制限します。 - CMDB 健全性ダッシュボードが、CMDB ワークスペースのネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスに実装されました。 - 識別ルールの [検索するテーブル] フィールドを現在のクラスの親クラスの 1 つに設定することで、CMDB の完全性を維持し、重複 CI が不必要に作成されないようにすることができます。 詳細については、「Configuration Management」を参照してください。
コンテナ脆弱性対応	Vulnerability Manager ワークスペース内の特定のコンテナ脆弱性一致アイテムのリスクスコア、アサイン、修復ターゲット日、および修復タスクを再評価します。 詳細については、「Container Vulnerability Response」を参照してください。
Continuous Authorization and Monitoring	- CAM ワークスペース に追加された機能を使用すると、作業を簡素化し、効率的なエンドツーエンドのユーザーエクスペリエンスを実現できます。 - システムセキュリティ計画 (SSP) ファイルを、カタログ、プロファイル、SSP などのモデルを含む OSCAL 形式でエクスポートします。 - CAM で導入された Lite ロールを使用して、より簡単なビジネスオペレーションを実現します。 - 類似したコントロールをファミリー関連とクラブ関連にグループ化して、コントロールを特定して理解できるようにします。 詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。
Core Now Platform	- 任意のサーバー側スクリプトで ECMAScript 2021 (ES12) 機能を使用します。 - TinyMCE の V4 から V6.8.3 へのアップグレードには、書式設定オプションと編集機能が拡張されているほか、ユーザーがニーズに合わせてコンテンツを書式設定できるようにする拡張機能が含まれています。 - テーブルに新しい列を追加する代わりに、複数の属性とその値を 1 つの列にキャプチャします。 - 新しい自動ジョブスケジューリング機能と、イベント処理のためのロールバックおよび構成の取得機能を体験してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Administer the ServiceNow AI Platform」を参照してください。
クリエイタースタジオ	- 従業員センターに表示するフォームにトピックを関連付ける - 質問を自動化トリガーとして使用する - プロセスでのメール送信の自動化 - アドミンがキュレーションした質問セットのフォームへの追加 詳細については、「Creator Studio」を参照してください。
カスタマー契約とエンタイトルメント	契約レコードを通じて対象製品を追跡することで、変更が容易になり、補償の詳細をより明確に把握できるようになります。 詳細については、「Customer Contracts and Entitlements」を参照してください。
データ管理	- データ管理ポリシーページから、テーブルのすべてのデータ管理ルールを定義してアクセスします。 1 つのテーブルに複数のアーカイブルールを作成します。 - データ管理ポリシーページから、アーカイブされたレコードを削除するための破棄ルールにアクセスして設定します。 - テーブルクリーナーを使用してパフォーマンスを向上させながら、古いレコードを大規模に削除します。 - インスタンスのストレージ消費量のサマリーを表示します。 詳細については、「Data Management」を参照してください。
データプライバシー	- ネクストエクスペリエンス ダッシュボードで、改善されたデータプライバシーとデータディスカバリー UI にナビゲートします。 - リアルタイム匿名化ポリシーを使用して、機密データが入力されたときにそのデータを検出して匿名化します。 - サポートが拡張され、データパターンの正規表現の制限が最大 1000 文字に増加したことで、ジャーナルフィールドを匿名化して検出します。 詳細については、「Platform Privacy」を参照してください。
CSM のデータ管理	- エージェントが組織間サポート機能を使用して、サポートする事業所を可視化できるようにします。 - 会社テーブルからサービス組織のペアレント化を解除することで、サービス組織データモデルの採用を強化します。 - エージェントがケースを作成できるようにするには、販売済み製品のプロバイダーサービス組織情報を使用します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Data management for Customer Service Management」を参照してください。
ワークフロースタジオの意思決定テーブル	- ワークフロースタジオでフローまたはサブフローを作成するときに、ディシジョンテーブルをインラインで作成します。 - ワークフロースタジオのプレイブックでディシジョンテーブルを直接使用します。複雑な意思決定を管理するには、プレイブックからの入力を使用して [意志決定] - [最初の一致] アクティビティを追加します。 - 大きなディシジョンテーブルでは、テーブル内をスクロールしてさらに行を表示します。 - テーブルで意思決定行が読み取られる順序をランク付けし、必要に応じて行を並べ替えます。 詳細については、「Exploring decision tables」を参照してください。
DevOps Change Velocity (DevOps チェンジベロシティ)	- サービスオペレーションワークスペース アドミンセンターから変更管理機能を構成することで、DevOps データを活用して変更を自動化します。 - アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。 詳細については、「DevOps Change Velocity」を参照してください。
デジタルエンドユーザーエクスペリエンス	- アプリケーション、ネットワーク、エンドユーザーデバイスの包括的な可視化を通して、パフォーマンス測定基準をシームレスに監視および分析します。 - DEXアラートとインサイトを使用して、潜在的な問題がエンドユーザーに影響を与える前に検出して解決します。 - プロアクティブにユーザーを引き付け、直面する可能性のある問題を解決します。 - アクションライブラリと呼ばれる事前定義された問題解決のリストで利用可能なアクションを使用して、ユーザーが直面している問題を解決します。 詳細については、「Digital End-User Experience」を参照してください。
Digital Portfolio Management (デジタルポートフォリオ管理)	DPM ワークスペースを設定するDPM アドミンセンターを導入しました。アドミンセンターには、ビジネスサービスとテクニカルサービス、ビジネスアプリケーション、およびアプリケーションサービスを識別して設定するためのワークフローが含まれています。DPM アドミンセンターには、ガイド付きステップ、プロンプト、ソリューションと役立つリソースへのリンクが含まれています。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- カスタム DPM 関係マップを ServiceNow プラットフォーム 統一マップに置き換えて、サービスとアプリケーションの関係のより包括的なビューを提供しました。 - 重要業績評価指標 (KPI) 機能を更新しました。 - インジケーターデータを明確にするために、説明的な KPI ツールヒントを追加しました。 - 新規および zBoot の顧客に対して、システムプロパティ [KPI の最新スコア (KPI latest score)] を true に設定します。 [要注意] パネルの構成オプションを更新しました。 [要注意] 属性に問題 (PRB) レコードが追加されました。 [要注意] パネルの [DPM 連絡先] タブのチームロジックを更新しました。 - アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。 詳細については、「Digital Portfolio Management」を参照してください。
米国の規制の異議申し立てコンテンツパック	- 異議申し立てケースの追跡と管理を簡素化します。 - 規制 E (Reg E) や規制 Z (Reg Z) などの米国の規制に準拠しています。 - サービスレベルアグリーメント (SLA) の定義を組み込んで、発行者が期限を監視し、アクションを実行できるようにします。 詳細については、「Dispute Content Pack for US Regulations」を参照してください。
Mastercard の異議申し立てルールコンテンツパック	- Mastercardチャージバックガイドに基づく一連の異議申し立ての質問を使用して、エージェントが Mastercard のトランザクションの異議申し立てを処理できるようにします。 - 指定されたディシジョンテーブルを使用して、Mastercard トランザクションのチャージバック適格性を判断します。適格性は、異議申し立ての理由コード、質問の回答、およびトランザクションデータに基づいて決まります。 詳細については、「Dispute Rules Content Pack for Mastercard」を参照してください。
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	- カード決済ネットワークに異議申し立てを送信する前に、適格性をすぐに特定することで、チャージバックプロセスを最適化します。 - 理由コードとトランザクションデータに基づいて不適格なトランザクションを識別することにより、ペナルティを回避します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Dispute Rules Content Pack for Visa」を参照してください。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	- 描画ツールを使用してドキュメント領域を選択し、情報を抽出することで、単一のフィールドからデータを抽出します。 - あいまいなフィールド値を解釈する方法を決定し、抽出された値を参照テーブルのデータと照合することで、抽出されたデータを標準化します。 - 簡体字中国語または日本語で書かれたドキュメントを処理します。 - 改善されたダッシュボードチャートを使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の実装を監視します。 詳細については、「Document Intelligence」を参照してください。
ドキュメントサービス	- Microsoft OneDrive、Google ドライブ、Microsoft SharePoint などの外部クラウドプロバイダーとのドキュメント管理の統合により、コラボレーションを拡張し、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。 - Google ドライブ上の Google ドキュメントファイルの管理により、コラボレーションを強化します。 - ドキュメント内のデータの編集により機密情報を管理します。 詳細については、「Document Services」を参照してください。
ドキュメントテンプレート	PDF ドキュメントテンプレートの署名日機能を使用して、参加者が PDF ドキュメントに署名する日付を記録します。 詳細については、「Document Templates」を参照してください。
動的翻訳	- IBM Watson Translator サービススポークは、2024 年にサービスを廃止すると発表しました。 - Microsoft Azure Translator サービスでは、翻訳要求の最大長が 10,000 文字から 50,000 文字に増加しました。 詳細については、「Dynamic Translation」を参照してください。
ERP データハブ	- アプリケーションの名前を ERP キャンバスから ERP データハブに変更しました。 - UI を更新し、手順とラベルを明確にしました。 詳細については、「ERP Data Hub」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ESG Management	- バリューチェーンからのスコープ 3 排出量を追跡して、環境への影響に関する知識を得て、進化する規制へのコンプライアンスを促進します。 - 組織独自の会計カレンダーに合わせて会計カレンダーを作成し、定義された会計カレンダーに従ってデータを柔軟に収集およびレポートできるようにします。 - ESG Content Accelerator の排出係数コンテンツを使用します。 - ESG アドミニストレーターが、すべての測定基準および測定基準の定義に対して、簡単な承認フローまたは高度な承認フローのいずれかを定義できるようにします。 - 手動測定基準でアドホック測定基準データタスクを作成することで、既存の測定基準の定義と測定基準のデータを収集するオフサイクル要求に対処します。 詳細については、「Environmental, Social, and Governance Management」を参照してください。
労務 (ER)	- 対象者が単一の 労務 (ER) ケースの場合、【申し立ての対象】フィールドには対象者の名前が自動的に入力されます。 - コア UI ケースの作成、HR サービスデリバリー (HRSD) HR ケース管理のエージェントワークスペース、または匿名レポートセンター (ARC) ポータルを使用して、差別に直接関連するケースを報告します。 詳細については、「Employee Relations cases」を参照してください。
暗号化キー管理	- コード署名の改善されたアクティベーションプロセスの使用を開始します。新規コード署名 UI ページを使用すると、より迅速で効率的なアクティベーションを行うことができます。 - 新しい列レベル暗号化 API、ロール、および管理機能を使用して、列レベル暗号化を管理します。列レベル暗号化のログ記録が拡張され、読みやすさが向上しました。 - 新しい [すべてダウンロード] ボタンを使用して、暗号化されたすべての添付ファイルを zip ファイルとしてダウンロードします。 詳細については、「Key Management Framework」を参照してください。
エンタープライズアーキテクチャ (旧称アプリケーションポートフォリオ管理)	- ServiceNow® アプリケーションポートフォリオ管理 製品は ServiceNow エンタープライズアーキテクチャへと拡張されています。 - 一部の アプリケーションポートフォリオ管理 モジュールは廃止され、[すべて] メニューからナビゲーションが削除されました。ただし、廃止されたすべてのモジュールは エンタープライズアーキテクチャワークスペース 内で使用できます。これらの機能を活用するに

アプリケーションまたは機能	詳細
	は、エンタープライズアーキテクチャワークスペース を使用する必要があります。 注: 既存のお客様は、これらのナビゲーションリンクを引き続き使用できます。ただし、新規アクティベーションのお客様は、[すべて] メニューからナビゲーションを使用することはできません。 - アプリケーション階層の図を作成してアーキテクチャアーティファクトに関連付け、エンタープライズアーキテクチャワークスペース の エンタープライズモデリングと可視化 機能を使用して、ビジネスとの整合性を備えた IT の将来の状態モデリングを計画します。 - デジタルインターフェイスと CMDB API の間に 1 対多の関係を作成します。どのデジタル統合とインターフェイスがどの API を使用しているかを確認します。展開先の環境を特定します。展開された API をグループ化し、関連する API の設計面を記述するデジタルインターフェイスに関連付けます。 - エンタープライズアーキテクチャワークスペースから テクノロジー参照モデル (TRM) 製品と TRM 製品ライフサイクルを追加または要求します。 「」を参照してください。 エンタープライズアーキテクチャ 詳細を参照します。
Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理)	- エンタープライズ資産に対して行われた調整を、そのライフサイクル全体にわたって追跡および管理します。 - 指定されたロールを使用して、カスタマイズされたワークスペースで業界固有の資産とモデルを管理します。 - 修理フローを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産を迅速に修理することで、インベントリを最適化します。 - 納品タスクを作成することで、個人のストックルームにある資産を簡単に返却できます。 - ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションを使用すると、ストックルーム内の資産を効率的かつ少ない労力で見つけて集荷できます。 詳細については、「Enterprise Asset Management」を参照してください。
イベント管理	- Express List でアラートグループのタイムラインを表示して、問題の原因となった一連のイベントを可視化します。 - アラートグループに関するアラートアシストの AI 主導のテクニカル分析を使用して、アラート間の関連性を理解します。 - 拡張サービスマップを使用して、サービスオペレーションワークスペースと Express List でアラートの影響度を可視化します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- Express List 内のすべてのアラートを選択して、一括アクションを実行します。 - Express List のアラートグループからアラートを削除します。 - Express List でクローズ済みアラートを非表示にします。 - Express List のプレビューパネルで、影響を受けるサービスに関するデータを表示します。 - Express List のアラートから AI で生成されたサマリーを使用してインシデントを作成します。 詳細については、「Event Management」を参照してください。
フィールドサービス管理 (FSM)	- テリトリー間でエージェントを移動し、スケジューリングを最適化して、エージェントがタスクを実行する間の手動追跡を最小限に抑えます。 - Now Mobile エージェントアプリケーションを使用して、フィールドサービス訪問中に営業機会を作成および表示します。 - アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。 詳細については、「Field Service Management」を参照してください。
ファイナンシャルサービスカードオペレーション	- カード所有者が、ポータル上の異議申し立てプレイブックエクスペリエンスを使用して異議申し立てを作成および追跡できるようにします。 - 異なるロールベースのランディングページ間の直感的な移行により、ナビゲーションを強化します。 - スコープ指定されたアドミンが広範な機能を持つランディングページを変更できるようにして、コンテンツをユーザーベースの特定のニーズや好みに確実に合わせます。 詳細については、「Financial Services Card Operations」を参照してください。
ワークフロースタジオのフロー、サブフロー、およびアクション	- 操作読み取りロールを使用して、実行の詳細の機密データを保護します。 - サブフローおよびアクション入力の変数データタイプのサポートが改善されました。 - フロー生成時にアクション、フローロジック、およびサブフローの生成に使用されたテキストの方向に関する注釈を表示します。 - 任意のフロー、サブフロー、またはアクションに署名して検証します。 詳細については、「Workflow Studio」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
生成 AI コントローラー	パフォーマンスを向上させるために、機能、セマンティックフィルター処理、および再帰的要約のプロンプトを更新しました。 詳細については、「生成 AI コントローラー」を参照してください。
ゴールフレームワーク	拡張された ゴールフレームワーク テーブルを使用して目標を管理します。 詳細については、「ゴールフレームワーク」を参照してください。
医療向け HR サービスデリバリー	- 医療従事者データモデルを使用して、医療従事者のデータを安全に管理します。 - デフォルトの医療従事者オンボーディングワークフローを使用して、医療従事者を組織にスムーズにオンボーディングするために必要なタスクを自動的に設定して自動作成します。 詳細については、「HR Service Delivery for Healthcare」を参照してください。
ハードウェア資産管理 11.0.0	- Device as a Service (DaaS) 機能を使用して、DaaSプロバイダーが顧客に提供する資産のライフサイクル全体を管理します。 - ゼロタッチ要求フローを使用して、ハードウェア資産要求を最小限の介入で履行できるようにします。 - 修理フローを使用して、倉庫内の欠陥のあるハードウェア資産を迅速に修理します。 - ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内の資産を効率的に探して集荷します。 詳細については、「Hardware Asset Management」を参照してください。
Health Log Analytics (ヘルスログアナリティクス)	ServiceNow インスタンスとの MID サーバーの通信に Lighting gRPC クライアントを使用すると、ログストリーミング速度が大幅に向上します。 詳細については、「ヘルスログアナリティクス」を参照してください。
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	- 拡張された ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 データモデル内の複数の患者識別子を活用することで、正確で包括的な患者データ管理を促進します。 - ヘルスケアワークスペース内のパフォーマンスの更新を利用して、ロード時間を最適化します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Exploring Healthcare and Life Sciences Service Management Core」を参照してください。
Hermes Messaging Service	- ServiceNow インスタンスから Apache Kafka 環境にイベントを公開し、外部システムからの大量の Apache Kafka イベントを低レイテンシで使用します。 - 外部システムからのメッセージボリューム内のスパイクやバーストを効果的に処理して、インスタンスへのパフォーマンスへの影響を最小限に抑えます。 - Hermes 診断ツールを使用して、メッセージ配信の健全性とパフォーマンスを管理します。 詳細については、「Hermes Messaging Service」を参照してください。
ITOM クラウドアクセラレート	- Google Cloud Platform (GCP)で、追加のすぐに利用可能なカタログアイテムを活用します。 - Terraform アプリとコードとしてのインフラストラクチャ (IaC) ディスカバリーで、複数のリポジトリ構造を使用します。 - ServiceNow クラウドサービスカタログユーザーインターフェイスに追加された機能を使用して、クラウドリソースにアクセスして管理し、クラウド製品をカタログに公開します。 詳細については、「ITOM Cloud Accelerate」を参照してください。
ITOM ヘルス	エージェントクライアントコレクターの特長： - acc.yml 構成ファイルにアクセスする必要なく、インスタンスからエージェントのログレベルを構成します。 - 自己署名証明書を追加して、セキュアなエージェント接続を確保します。 - 拡張された Linux と Windows チェックを使用します。 ヘルスログアナリティクスの特長： - 最新のアップデートでシステムを強化：セキュリティ修正。Filebeat、Elasticsearch、および Microsoft Azure Event Hubs データ入力の更新。Java JDK 17 の更新とサポート、および依存関係のアップグレード。
ITOM 最適化	- クラウドサービスカタログはクラウドプロビジョニングとガバナンス (CPG) の強化された機能のために ITOM クラウドアクセラレートと一緒に使用します。これらの機能には、すぐに利用可能なカタログアイテムや、クラウドリソースの簡素化および自動プロビジョニングが含まれます。 - クラウドプロビジョニングとガバナンス から ITOM クラウドアクセラレート への移行時に、交換可能な ITOM 最適化ライセンスを移動します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「 ITOM Optimization 」を参照してください。
ITOM ヴィジビリティ	- ディスカバリーアドミンワークスペースを使用してディスカバリーアドミンエクスペリエンスを向上させます。検出されたデータに関するインサイトを提供する診断ツールを使用して、ディスカバリーの構成、進捗状況の追跡、エラーの管理を行う統合ワークスペースのメリットを活用できます。 - ITOM コンテンツサービスを使用して、大量の構成アイテムでCMDBを拡張します。 - CMDBベースマッピングでアプリケーションサービスを作成します。 - Cloud Native Operations Informer ポッドをアップグレードし、インスタンスから直接 Informer の実行パラメーターを変更することで、Kubernetes アドミンへの依存を回避します。 - Informer が基本認証ではなく OAuth2.0 認証を使用してインスタンスに接続できるようにすることで、セキュリティを強化します。 詳細については、「IT Operations Management」を参照してください。
ITSM サクセスダッシュボード	ITSM サクセスダッシュボード の自己解決転送カテゴリで導入された新しい KPI を体験して、ユーザーが日常的に遭遇するデジタルの問題を解決するのに役立ちます。 詳細については、「ITSM Success Dashboard indicators」を参照してください。
ID	- ServiceNow[®] アクセサナライザー V3 ツールの下にあるアクセスシミュレーターモジュールを使用して、ユーザーアクセスをシミュレートし、ユーザーに追加のアクセスを提供することの影響を理解します。 - CRUD 操作には、拡張されたクロスドメイン ID 管理システム (SCIM) API エンドポイントを使用します。 詳細については、「ID」を参照してください。
Incident Management (インシデント管理)	メール通知のインシデントレコードリンクが サービスオペレーションワークスペース (SOW) のインシデントレコードにリダイレクトされるタイミングを制御します。 詳細については、「Incident Management」を参照してください。
個人向け生命保険請求	- 問診票スペシャリスト、請求スペシャリスト、およびマネージャー向けの明確で直感的なシステムを使用して、請求プロセスを簡素化します。 - 請求スペシャリストが請求ケース内の複数の保険契約を処理できるようにします。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- さまざまな請求関連ルール用にカスタマイズされたプレイブックとワークスペースを使用します。 - 損失の初回通知 (FNOL) からケースのクローズまで、請求ライフサイクル全体を管理します。 詳細については、「Individual Life Claims」を参照してください。
産業用プロセスマネージャー	- IP アドレスを使用して、機器モデルエンティティにオペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスを追加します。 - 機器モデルエンティティの [エンティティ名] と [親] フィールドを変更して、作成後に機器モデルエンティティ情報を最新の状態に保ちます。 詳細については、「Industrial Process Manager」を参照してください。
統合ハブ	- ServiceNow ストリームコネクタを使用して、Apache Avro 形式でメッセージを送受信します。 - CyberArk Digital Vault を使用して、OAuth 2.0 認証情報を保存してアクセスします。 - 個人の認証情報を使用して、サードパーティ統合に接続します。 詳細については、「Integration Hub」を参照してください。
CSM のインテリジェンス	- 同じテーブルに対して複数の推奨アクションコンテキストレコードを作成し、ユーザー属性やドメインなどの基準に基づいてさまざまなエクスペリエンスを作成します。 - プレイブックで意思決定ツリーを再開し、以前の意思決定ツリーの実行履歴を保持します。 - 顧客が意思決定ツリーをカタログアイテムとしてサービスカタログに追加できるようにします。 - ユーザーがキーワードを使用して意思決定ツリーを検索し、検索結果から意思決定ツリーを開くことができますようにします。 詳細については、「Intelligence for CSM」を参照してください。
ジャーニーデザイナー	- 組織内で進行中のタスクとジャーニーを効率的に追跡および管理できる包括的なダッシュボードである [ジャーニーの概要] ダッシュボードを使用します。 - ジャーニーを完了した従業員数、SLA 違反、ジャーニーを完了するまでの平均日数、その他の測定基準などの情報を含むレポートを備えた [エグゼクティブビュー] ダッシュボードを使用します。 - ジャーニーの構成中にマネージャーを変更します。 - 育児休暇のデモデータの一部として提供される育児休暇ガイドによる従業員エクスペリエンスの向上。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Journey designer」を参照してください。
ナレッジ管理	- ナレッジ記事エディターが最新バージョンの TinyMCE に更新され、Power Paste、Anchor、Insert Accordion などの複数の機能が強化されています。これらの機能により、記事作成者の書式設定エクスペリエンスが向上します。 - ナレッジ管理詳細プラグインは、新しい顧客にはデフォルトでインストールされるようになりました。既存の顧客には、プラグインを手動でインストールするオプションがあります。このプラグインは、ナレッジの作成と管理を強化する、記事のバージョンニング、記事のサブスクリプション、記事テンプレート、記事の品質インデックスなどの機能をアクティブ化します。 - 新しいナレッジ管理概要ダッシュボードには、今後 90 日以内に期限切れになる記事のリストなど、役立つレポートが表示されます。このレポートは、作成者が記事をレビューし、記事を廃止するか再公開するかをタイムリーに決定するのに役立ちます。 - AI 検索は、最適化され、パーソナライズされた関連性の高い検索結果を提供するために、ナレッジ管理 サービスポータルホームページのナレッジベース記事に対して有効になっています。 - ナレッジ管理で Now Assist を使用して、類似のケースの選択からナレッジベース記事を生成し、単一の記事で関連ケースの懸念事項に対処します。 詳細については、「Knowledge Management」を参照してください。
リード管理	- Web サイトのフォーム、ソーシャルメディア、イベントなどのさまざまなチャネルを通じて見込み客の関心を引くことで、Now Platform でリードを作成します。 - 営業サイクルのさまざまな段階でリードの進捗状況を追跡します。 - アンケートを通じてリードのニーズと要件を理解し、リード品目を通じて製品オフリングを推奨およびキャプチャします。 - リードとそのステージのカードベースのビューを表示するカンバンボードを使用して、リードを可視化してナビゲートします。 - タスクの作成と割り当て、メールの送信、リードとの予約のスケジュール設定を行います。 - リードを認定し、潜在顧客レコードや機会に転換します。 詳細については、「Lead Management」を参照してください。
Leader Hub	さまざまなチーム間のスキルコンピテンシーの測定基準、重大なスキルギャップの特定、人材開発 アプリケーションスイートで提供される成長ツールを使用した従業員のエンゲージメントなど、組織の人材の包括的な概要にすばやくアクセスできます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 組織内に存在する各チームのスキルと人材構成を、組織内のさまざまなチーム間の報告関係を示す組織図を通じて、あらゆるレベルの粒度で可視化します。 - リーダーが責任を委任した組織のサポーターは、指定されたリーダーの組織を確認し、それに応じてサポートを提供できるビューから Leader Hub にアクセスできるようにします。 詳細については、「Leader Hub」を参照してください。
ローカリゼーションフレームワーク	ローカリゼーションインサイトダッシュボードは、ネクストエクスペリエンス UI で利用できます。 詳細については、「Localization Framework」を参照してください。
MID サーバー	- Azure Key Vault を使用して、インスタンスに認証情報を保存せずに他のアプリケーションを実行します。 - MID サーバー ログファイルの圧縮をサポートします。 詳細については、「MID Server」を参照してください。
製造業営業オペレーション	- サービスブリッジは製造業営業オペレーションの一部としてリリースされています。製造業営業オペレーション向けサービスブリッジを使用すると、メーカー、顧客、サプライヤー、チャネル、およびパートナーは、カスタム統合を構成および維持することなく、インスタンス間でサービスを直接接続して追跡できます。サービスブリッジは Xanadu リリースで拡張および更新されました。 - 製造業営業オペレーション向けサービスブリッジ： - メーカーが新機能を採用し、製品オフリングを公開し、アップグレードしていない顧客に中断のないサービスを提供できるようにします。 - 顧客、サプライヤー、チャネル、およびパートナーに同期する前に、エンタイトルメントの互換性を評価します。 - メーカーと顧客インスタンス間の構成データの自動同期をサポートし、顧客、サプライヤー、チャネル、およびパートナーがメーカーとタスクを同期する前に特定のプロセスを実行できるようにします。 詳細については、「Exploring Manufacturing Commercial Operations」を参照してください。
モバイルプラットフォーム	- ユーザー基準権限を使用して、モバイルプラットフォームの指定された領域の可視化をユーザー属性に基づいて定義します。 - レコード画面を指すトップアイコン機能ボタンインスタンスを使用して、モバイルプラットフォーム上のサイドバーエクスペリエンスでエージェント間チャットのタスクコラボレーションを簡素化します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- モバイルプラットフォーム向けのServiceNow 仮想エージェントでServiceNow Now Assist を使用して、インテリジェントで会話型のセルフサービスを提供します。 - 入力フォーム画面でのユーザーの選択に基づいて、入力を動的に自動入力します。 詳細については、「Mobile Platform」を参照してください。
Next Experience	- テーマビルダーで作成された複数のテーマから選択し、インスタンスに適用します。 - 新しいキーボードショートカットを使用すると、OpenFrame UI にアクセスできます。 [ネクストエクスペリエンスをオフにする]、[アナリティクスを有効にする]、および [現在のスタートページ] の設定に、新しい [ユーザーエクスペリエンス] ユーザー初期設定グループが追加されました。 - 新しいクライアントインタラクションテーブルには、パフォーマンス異常を特定して調査するための UI ロード時間が表示されます。 詳細については、「Next Experience UI」を参照してください。 - テーマビルダーで作成された複数のテーマから選択し、インスタンスに適用します。 - 新しいキーボードショートカットを使用すると、OpenFrame UI にアクセスできます。 [ネクストエクスペリエンスをオフにする]、[アナリティクスを有効にする]、および [現在のスタートページ] の設定に、新しい [ユーザーエクスペリエンス] ユーザー初期設定グループが追加されました。 - 新しいクライアントインタラクションテーブルには、パフォーマンス異常を特定して調査するための UI ロード時間が表示されます。 詳細については、「Next Experience UI」を参照してください。
Next Experience コンポーネント	- ビルド済みのシステムまたはカスタムコンポーネントを使用して、リッチな UI エクスペリエンスをビルドします。ネクストエクスペリエンスのコンポーネント API リファレンス、使用ガイダンス、および ServiceNow UI ビルダー セットアップドキュメントを見るには、開発者サイトの「Next Experience コンポーネント」ドキュメント にアクセスしてください。 - JavaScript フレームワーク、不変データ、シンプルなアクションハンドラーなどの一般的な Web コンポーネントのパターンと原則を使用します。 - 複数のユーザーインターフェイスでコンポーネントを再利用して、エンドユーザーに統一感のあるエクスペリエンスを作成します。 - 事前設定されたプロパティ値を使用して、コンポーネントのプロパティとイベントハンドラーを自動的に設定すると、コンポーネントをページに追加したときに機能できるようになります。プリセッ

アプリケーションまたは機能	詳細
	トは、コンポーネントのデータリソースとして機能するコントローラーに接続できます。詳細については、「 Automatically configure components using presets 」と「 Bind data to UI Builder pages using controllers (advanced feature) 」を参照してください。
ネクストエクスペリエンス 開発者 (NED) ツール	- サーバーログにページのバックエンドデータを記録します。 - 健全性インジケータのダッシュボードを使用して、コンポーネントとアクションの潜在的な問題の概要を取得します。 - ページに対して行われたコールのウォーターフォールと、各コールにかかった時間に関する情報を表示します。 - 呼び出しの種類、タイミング、頻度、ネットワーク URL など、ページに対して行われたネットワーク呼び出しに関する情報を取得します。 詳細については、「Next Experience 開発者ツール」を参照してください。
通知	- 顧客が開始した受信メールから機密データを編集。 - メールアドレスの国際文字のサポート。 - システム通知のカテゴリ別にフィルタリングし、カスタム通知を検索。 - SMTP Sender ジョブを最適化して、送信メール配信を強化。 - RFC 5321 に従い、メールの再試行ロジックを変更して配信エクスペリエンスを向上。 詳細については、「Notifications」を参照してください。
通知	Twilio が ServiceNow インスタンスから切断されたときに、Twilio メッセージングレコードを削除または保持する柔軟性を提供します。 詳細については、「Notify」を参照してください。
Now Assist	- 多言語の動的翻訳を使用して、さまざまな言語を話すユーザーをサポートします。 - Now Assist パネルでナビゲーションプラットフォームスキルを使用して、テーブルやリストをより簡単かつ効率的に検索できるようにします。 - Now Assist による書き込みで、会話の内容に基づいてエージェントにチャットとメールの提案を提供します。 - 開発者が Now Assist スキルキット を使用して独自のカスタムスキルを作成できるようにします。 - 類似のケースまたはインシデントの選択からナレッジベース記事を生成し、ナレッジ管理で Now Assist を使用して単一の記事で関連する懸念事項に対処します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「 Now Assist 」を参照してください。
Now Assist for Creator	• プレースホルダーアクティビティを置き換えるアクティビティに関する推奨事項を取得します。 • Now Assist でプレイブックのアウトラインを生成する前に、テキストの向きをプレビューして変更します。 • フロー生成時にアクション、フローロジック、およびサブフローの生成に使用されたテキストの方向に関する注釈を表示します。 詳細については、「Now Assist for Creator」を参照してください。
CSM の Now Assist	• 関連するコンテキスト推奨事項をリアルタイムで受け取ることで、顧客との会話を拡張します。 • エージェントが検証して送信できるメールを自動生成することで、生産性を向上させ、エラーを減らすのに役立ちます。 • 複数の類似ケースの情報を統合し、ナレッジベース記事にまとめます。 • レコードを要約して、エージェント間でのコールの引き継ぎを容易にし、顧客満足度の向上に役立ちます。 「」を参照してください。 CSM の Now Assist 詳細を参照します。
FSM の Now Assist	• 生成 AI を使用して、作業指示タスク情報からナレッジ記事を作成します。 • 生成 AI を使用して サイドバー ディスカッションを要約します。 詳細については、「フィールドサービス管理 (FSM) の Now Assist」を参照してください。
FSO の Now Assist	• カード異議申し立てケースと保険金請求にケース要約スキルを使用します。 • 複雑な情報を解析し、重要な詳細を強調することで、エージェントが、取引レコード、異議申し立てに関するマーチャントとのやり取り、および保険金請求に関するインシデントの詳細について、情報に基づいた意思決定を行えるようにします。 • 異議申し立ておよび請求管理における複数の引き継ぎの必要性を減らし、一貫性と迅速な解決を実現します。 • ケースの要約を自動化し、手動タスクを実行していたリソースを複雑なケース分析などの重要な領域に再割り当てします。 詳細については、「Now Assist for Financial Services Operations (FSO)」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
IT Service Management (ITSM) の Now Assist	• エージェントが変更要求の要約を使用して変更を承認するときに、より多くの情報に基づいた意思決定を迅速かつ効率的に行えるようにします。 • エージェントがチャット返信の推奨事項の Now Assist アイコンを使用して、チャットで尋ねられる一般的な質問に返信できるようにします。 • エージェントが要求者に解決策を提案するときに、サイドバーディスカッションの要約を使用して、チャットとインシデントのコンテキストをよりよく理解できるようにします。 詳細については、「Now Assist for IT Service Management (ITSM)」を参照してください。
Security Operations の Now Assist	• 作業メモとコンテキスト情報を簡潔で読みやすい形式ですばやく確認することで、アクティビティストリームが長いセキュリティインシデントのトリアージを迅速化します。 • 生成 AI を使用し、セキュリティインシデントの詳細、潜在的な影響、および既に実行された重要なアクションをセキュリティインシデントサマリーでプレビューします。 • 生成 AI を使用して、セキュリティインシデントのクローズメモを自動的に生成します。 • Now Assist パネル、セキュリティインシデントレコード、またはセキュリティインシデントレスポンスワークスペースから、サマリーとクローズメモにアクセスします。 詳細については、「Now Assist for Security Incident Response」を参照してください。
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist	• マルチフィードバック要約スキルを使用して、複数のフィードバックレコードを同時に要約します。 • 生成されたサマリーをコピーし、それを使用して計画立案アイテムまたは計画立案以外のアイテムを作成します。 • ドキュメントの Now Assist を使用して、時間を節約し、選択したテキストの概要を生成します。 詳細については、「Now Assist for Strategic Portfolio Management (SPM)」を参照してください。
電気通信、メディア、および技術 (TMT) の Now Assist	• 生成 AI を使用して、サービスの問題ケースを要約し、解決メモを生成して、サービス関連の問題のテストサマリーを作成します。 • ケースレコードの各フィールドに条件を追加して、ケースの要約のスキルと解決メモの生成が利用可能になるタイミングを決定します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• ケースの要約および解決メモ生成スキルの可用性をユーザーロールによって制限します。 • ケースのステータス (新規、処理中、または解決済み) に基づいて、テンプレート主導型のサービス問題ケースの要約を作成します。 詳細については、「Now Assist for Telecommunications, Media and Technology (TMT)」を参照してください。
仮想エージェントの Now Assist	仮想エージェント アドミンのガイド付きセットアップの Now Assist の機能拡張。 詳細については、「Now Assist in Virtual Agent」を参照してください。
オンコールスケジューリング	• 新しい 2024 スケジュールエンジンを使用して、オンコールシフトのギャップをより効率的に削減および解決します。 • シフトのメンバーの追加、削除、または移動に必要な時間をより効率的に短縮します。 • 新しいスケジュールエンジンでメンバーの継続性を確認します。 詳細については、「On-Call Scheduling」を参照してください。
オペレーショナルテクノロジー変更管理	産業用 ワークスペース の更新された OT 変更レコードを使用して OT 変更要求を整理します。 詳細については、「Operational Technology Change Management」を参照してください。
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理	産業用 ワークスペースで更新された OT インシデントレコードを使用して OT インシデントを整理します。 詳細については、「Operational Technology Incident Management」を参照してください。
Operational Technology Manager (オペレーショナルテクノロジーマネージャー)	• OT 進捗スコアカードを使用して、産業用ワークスペース 内の主要な測定基準別にサイトを比較します。 • 産業用ワークスペース の OT アクション指向ランディングページで OT システムに関連するタスクを追跡します。OT アクション指向のランディングページは、産業用ワークスペース のホームページとして OT マネージャーダッシュボードに置き換わりました。 • SyncIPAddressToOT スケジュール済みジョブを使用して IP アドレスを OT デバイスにマッピングします。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 構成管理データベース (CMDB) OT クラスモデルの更新と UI の拡張機能を使用します。 - OT デバイスデータのインポートと分類に役立てるには、インポート前の OT Worksheet Entry Review (POWER) ツールの更新と UI の機能拡張を使用します。 詳細については、「Operational Technology Manager」を参照してください。
オペレーショナルテクノロジー要求管理	- 産業用ワークスペース内の単一のビューを使用して、複数のカタログ要求を効率的に管理します。 - 透明性を高め、要求プロセスを迅速化し、自動通知と承認によって遅延を最小限に抑えます。 - カタログ要求の作成と更新に使用できる製品とサービスのメニューを管理します。 詳細については、「Operational Technology Request Management」を参照してください。
Operational Technology Vulnerability Response (オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応)	- 複数のサイトレコードのオペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 (OT VR) アサイン先グループフィールドを一括で変更します。 - アグリゲーターまたは信頼できるプロバイダーからソリューションをインポートする場合は、共通セキュリティアドバイザリーフレームワーク (CSAF) を複数のベンダーのサポートとともに使用します。 - OT 脆弱性修正オーナー (sn_otvr.remediation_owner) ロールを使用すると、修復タスクをより効率的に管理できます。 - 産業用ワークスペースのライブラリモジュールを使用してコントロールを軽減します。 - 拡張 OTVR (PA) ダッシュボードを使用します。 詳細については、「Operational Technology Vulnerability Response」を参照してください。
オポチュニティ管理	- サイドバーと Microsoft Teams の統合を使用して、内部および外部のステークホルダーと機会に対してコラボレーションします。 - 新しい UI アクションを使用して、機会レコードで選択した品目の見積もりを作成します。 詳細については、「Opportunity Management」を参照してください。
パスワードリセット	通知メールで指定された パスワードリセット URL の有効期間を制御します。 詳細については、「Password Reset」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Performance Analytics (パフォーマンスアナリティクス)	• 重要なプロセスのメトリクスと傾向を追跡します。 • 組織のターゲットに対してプロセスの健全性と動作を測定します。 • プロセスパターンと潜在的なボトルネックを発生前に特定します。 • ロールベースのダッシュボードで、履歴およびリアルタイムのプロセス統計情報を継続的に可視化します。ダッシュボードを使用すると、個々のステークホルダーは情報に基づいた意思決定を行うことができます。 詳細については、「Performance Analytics (Indicator data sources)」を参照してください。
パフォーマンスアナリティクス ITSM ダッシュボード	Xanadu リリースで拡張された パフォーマンスアナリティクス ITSMダッシュボードを体験してください。 詳細については、「Legacy: Performance Analytics ITSM Dashboards」を参照してください。
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	• プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスをアクティブ化することで、簡素化された最新の方法でアナリティクスを使用できます。 • アナリティクスデータから有意義なインサイトを提示して、視聴者の直接的な意思決定を可能にします。 詳細については、「Platform Analytics experience」を参照してください。
ワークフロースタジオのプレイブック	• プレースホルダーアクティビティを置き換えるアクティビティに関する推奨事項を取得します。 • Now Assist でプレイブックのアウトラインを生成する前に、テキストの向きをプレビューして変更します。 • 既存のテーブルやフィールドを必要とせずに、エンドユーザーからカスタム応答を収集します。 • プレイブックとプレイブックコンポーネントへのアクセスをより適切に管理します。 詳細については、「Exploring playbooks」を参照してください。
ポリシーとコンプライアンス管理	• Microsoft SharePoint と統合することで、ポリシーを改訂し、ポリシーテキストを定期的に更新します。 • ポリシー作成とレッドライン機能を使用して、ポリシーオーナーとレビュー担当者がポリシーを共同作業、レビュー、およびレッドラインの作業を行えるようにします。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- エンティティとしての会社に対して Cyber Risk Institute (CRI) アセスメントを実行して、そのコントロールステータスを判断し、アセスメントスコアを計算します。 - 従業員センターの操作には、ポリシーとコンプライアンス管理 で導入された従業員オペレーターロールを使用します。 詳細については、「Policy and Compliance Management」を参照してください。
ポートフォリオ計画立案	- シナリオを作成し、ポートフォリオ計画の変更をシミュレートし、シナリオを比較してトレードオフの意思決定を可視化し、シナリオを承認して情報に基づいた意思決定を行いながら本稼働計画を変更します。 - ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップからロードマップを Microsoft PowerPoint ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーとコラボレーションします。 - プロジェクト、プログラム、レンズを使用してポートフォリオ計画を構築することで、組織のプログラム [pm_program] アイテムに高いレベルで優先順位を付け、ロードマップを作成します。 - 計画立案アイテムの予算を ネクストエクスペリエンス に移行し、ポートフォリオマネージャーは、予算を比較、割り当て、管理、および承認できます。 - 設定サイドパネルから実績トグルを有効にすることで、各リソースアサインの実績を表示および追跡します。 詳細については、「Portfolio Planning」を参照してください。
予測インテリジェンス	- 予測結果のダッシュボードがネクストエクスペリエンス UI に移行されました。既存の予測結果ダッシュボードを使用してアップグレードする顧客は、ネクストエクスペリエンス UI バージョンを使用するか、新しいダッシュボード内からコア UI バージョンにアクセスできます。 - ソリューション統計のダッシュボードは廃止されました。アップグレードの顧客は、アプリケーションメニューから既存のソリューション統計情報ダッシュボードを引き続き使用できます。 」を参照してください。 予測インテリジェンス 詳細を参照します。
プライバシー管理	- Personal Data Rights アプリケーションを使用して、グローバルなプライバシー規制に準拠して、顧客、コンシューマー、および従業員からの個人データに関する権利要求を管理します。 - データリネージを構築して、処理アクティビティのデータ消費、共有、および関連するリスクを可視化します。 - スマートアセスメントエンジン を使用して、処理アクティビティに関連する新しいコントロール証明書に応答し、表示します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 規制機関ライブラリを作成し、規制機関との通信など、規制の詳細を保存してアクセスします。 - プライバシーアセスメント、処理アクティビティ、プライバシーケース、および個人データ権限要求からチャットを開始し、さまざまなチームとコラボレーションして迅速な応答を保証します。 詳細については、「Exploring Privacy Management」を参照してください。
プロアクティブエンゲージメント	- プロアクティブエンゲージメントはServiceNow[®] デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX) ソリューションと統合して、問題を積極的に検出し、エンドユーザーが問題を解決できるようにします。 - エンゲージメント設定を使用して DEX 測定基準ルールとプロアクティブエンゲージメント解決を構成します。 - 解決のライフサイクル管理には、プロアクティブエンゲージメントワークベンチエクスペリエンスを使用します。 詳細については、「Proactive Engagement」を参照してください。
Proactive Service Experience Workflows	- カスタマーサービスエージェントが カスタマーサービス問題管理 アプリケーションを使用して、カスタマーサービスの問題を効率的に特定して解決できるようにします。 - 運用チームは、一元化された分析ダッシュボードを通じて運用データを管理および監視できます。 「」を参照してください。 Proactive Service Experience Workflows 詳細を参照します。
Problem Management (問題管理)	- 追加の問題および問題タスクシナリオのサポートを提供する 問題管理モデルの導入 - 既知のエラー記事は、新規顧客に対してデフォルトで有効 - クラシック UI16 エクスペリエンスではなくサービスオペレーションワークスペースにリダイレクトするようにメール通知を構成 - 対応中から問題タスクを再評価 詳細については、「Problem Management」を参照してください。
プロセスマイニング	- プロセスマイニング評価版が利用可能 - プロセスマイニング パースペクティブで拡張されたグラフ - 検索ビルダーの導入 - プロジェクトに自動的に含まれる追加のユースケース分析 - プロセスマイニンググラフダッシュボード (星形図) で利用可能なレコードを表示アクション

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「 Process Mining 」を参照してください。
製品カタログ管理および Pricing Management	- 製品カタログの対象製品のみを見積もりと注文に追加できるルールを設定することで、適切な製品を販売し、注文エラーのリスクを軽減します。 - 製品仕様または製品仕様階層を参照するバンドル製品オファーの複雑な注文を処理します。 - 製品コンフィギュレーターに表示されるデフォルトの製品構成を設定することで、エージェントの見積および注文プロセスを簡素化します。 詳細については、「Product Catalog Management」と「Pricing Management」を参照してください。
プロジェクトポートフォリオ管理	タイムシートとタイムカードのユーザー向けに、新しいアナリティクスタイムシート、アナリティクスユーザーマネージャー、およびアナリティクスプロジェクトマネージャーの各ダッシュボードを ネクストエクスペリエンス で表示します。 詳細については、「Project Portfolio Management」を参照してください。
プロジェクトワークスペース	- プロジェクト予算を ネクストエクスペリエンス に移行します。 - ポートフォリオマネージャーは、プロジェクト予算の割り当て、管理、および承認を行います。 - 財務ベースラインを比較して、簡単な財務と予算を表示します。 - 実績トグルを使用して、各リソースアサインの実績を表示および追跡します。 詳細については、「Project Workspace」を参照してください。
公共機関デジタルサービス	- 取り込みおよび決定ステージの更新や、行政サービスポータル申請者向けのプロセスプレイブックの更新など、福利厚生プレイブックの機能拡張。 - Information Request Playbook内の PDF ドキュメントから機密コンテンツまたはデータを編集します。 - 公共機関デジタルサービス (PSDS) の Now Assist を使用して、福利厚生プレイブック内のケースのケースサマリーとケース解決メモを自動生成します。 詳細については、「公共機関デジタルサービス」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
RPA Hub	- 複数のボットプロセスで再利用できる一元化された認証情報を作成します。 - ボタンをクリックするだけで、ボットプロセス構成と関連資産を 1 つの環境から別の環境に移行します。 - 設定に応じて記録されたアクションと画面を再配置し、自動化フローを生成します。 - RPA デスクトップデザインスタジオ で追加された、さまざまなユースケースに対応する 15 個の新しいサンプル自動化を使用します。 - パッケージで使用されているスキルバージョンを RPA Hub の一元的な場所から表示および管理します。各ボットプロセスに使用された既存のスキルバージョンを上書きできます。 - 作業項目の 2 つの別々のフィールドで機密データと非機密データを管理します。 - ガイド付きツアーを使用すると、キューの作成方法とボットプロセスの構成方法の簡単な手順が示されます。 詳細については、「Robotic Process Automation (RPA) Hub」を参照してください。
規制変更管理	- 規制当局の文書に AI を活用した引用を追加します。 - 更新された ネクストエクスペリエンス Chat Collaboration and Discuss 機能を使用して、仮想エージェントと対話します。 - 拡張されたタスク管理機能を使用して、変更タスクとアクションタスクの所有権を簡単に変更できます。 - 構成されたルールに基づくレビューのために、規制アラートをドメインエキスパートにアサインします。 - ネクストエクスペリエンス Chat Collaboration and Discuss を使用して、仮想エージェントとコラボレーションします。 詳細については、「Regulatory Change Management」を参照してください。
リリース管理	デジタルプロダクトリリース アプリケーションは、デジタル製品のリリースプロセスを追跡および管理する場合に適したアプリケーションです。 詳細については、「Digital Product Release」を参照してください。
リソース管理ワークスペース	- リソース管理ワークスペースからのリソースのアサイン作成 - タスクをフィルタリングしてリソースボードを作成し、アサインされたリソースを表示し、作業の優先度に基づいて割り当てを管理します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• アサインされたリソースの割り当てを分割し、作業を別のリソースにアサインしてリソースの割り当てを処理します。 • 新しいアイコンを使用して、リソースのアサインに対する割り当てとステータスの変更を識別します。 詳細については、「Resource Management Workspace」を参照してください。
Retail Operations (リテールオペレーション)	• これらの小売組織のチームの可視性とタスク完了機能を向上させて、本社と小売組織間の接続を簡素化します。 • ナレッジベースなどのセルフサービスツールを使用して、小売組織のワーカーエクスペリエンスを向上させます。 • 小売組織のケースにアクセスできる中央ポータルを通じて可視化を提供することで、個々の要求の重複を減らします。 • 小売組織チームが、必要に応じてケース、ライブチャット、電話などを通じて本社から直接支援を要求できるようにすることで、効率を最適化します。 • 店舗内での顧客の問題を報告することで、顧客満足度を向上させます。 詳細については、「Exploring Retail Core」を参照してください。
販売契約管理	見積もりから販売契約を作成し、購入者と販売者の間で交わされる今後の販売取引について合意された範囲と価格をキャプチャします。 詳細については、「Sales Agreement Management」を参照してください。
セキュリティセンター	• セキュリティイベント通知ツールで指定したユーザーの行動に関するプロンプト通知を受信します。 • すべてのインスタンスのセキュリティ健全性を監視し、新しいセキュリティ体制ダッシュボードを使用して迅速にアクションを実行します。 • セキュリティバナーのお知らせ機能を備えた ServiceNow からの将来のセキュリティのお知らせに備えます。 • 更新された監査スイートでセキュリティスキャンをスケジュールし、セキュリティスキャナーツールでアクセス制御構成を監視します。 詳細については、「Security Best Practices」、「Customer Actions」、「Hardening settings baseline versions」、「Security Event Notifications」、「Data Classification」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
セキュリティインシデントレスポンス	• ユーザー定義の基準に基づくリスクスコア算出を使用して、セキュリティインシデントのリスクスコアを定義および計算します。セキュリティインシデントレコードのリスクスコアが自動的に計算されます。 • シフトの引き継ぎアプリケーションを使用して、シフト間での重要な作業アイテムの引き継ぎを追跡します。 • インシデントマネージャーがインシデント回答者と連携して MSIM Slack 統合を使用して重大なセキュリティインシデントを管理するための専用の Slack チャンネルを自動的に作成します。 • MSIM 法務要求プレイブックを使用して、インシデントマネージャーが重大なセキュリティインシデントの概要を法務部門に提供することができますようにします。法務部門は、セキュリティ侵害を開示する際に SEC などの規制機関に準拠するために 8K または 10K フォームを提出する際に、その概要を使用できます。 • メール形式で生成されたモバイル対応の MSIM エグゼクティブステータスレポートを共有します。エグゼクティブステータスレポートは、サードパーティベンダー、他のエンティティ、メール配布リストなど、ServiceNow インスタンス外のユーザーと共有することもできます。
セキュリティポスチャコントロール	• アプリケーションに組み込まれているポリシーを使用するか、カスタムポリシーを作成して、セキュリティツールの全体的な範囲、内部構成規格への準拠、セキュリティギャップと脆弱性の重要な組み合わせ、およびインターネットエクスポージャーの可能性について資産を監視します。 • サポートされているさまざまな API 統合 (サービスグラフコネクタ) または ServiceNow 製品のデータに対して作成したクエリに基づいて資産を検索します。 • ダッシュボードでカスタムインサイトを作成し、重要な測定基準を監視します。全体的なセキュリティ体制について、IT 部門、IT およびセキュリティマネージャー、およびその他の主要なステークホルダーに報告します。 • セキュリティポスチャコントロールの脆弱性対応 リスク算出と修復ターゲットルールからのインサイトを通じて、優先度の高い脆弱性を特定し、解決を推進します。 • ServiceNow コンフィグレーションコンプライアンス アプリケーションのセキュリティポスチャコントロール ポリシーからの検出結果を公開することで、セキュリティギャップの修復ワークフローを自動化します。 詳細については、「Security Posture Control」を参照してください。
サービスブリッジ	• プロバイダーが新しい機能を採用し、アップグレードしていないコンシューマーに中断のないサービスを提供できるようにします。 • エンタイトルメントをコンシューマーに同期する前に、互換性を評価します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• コンシューマーがプロバイダーとタスクを同期する前に、承認などの特定のプロセスを実行できるようにします。 • プロバイダーインスタンスとコンシューマーインスタンス間の構成データの自動同期をサポートします。 詳細については、「Service Bridge」を参照してください。
サービスカタログ	• 仮想エージェントの会話でカタログアイテムフォームにインラインで入力します。 • ユーザーがサービスカタログのゼロトラストアクセス (ZTA) セキュリティモデルのサポートを体験できるようにします。 • 人気のあるアイテムウィジェットで人気のあるカタログアイテムのロードを高速化します。 • サードパーティ Web サイトにカタログアイテムを埋め込みます。 詳細については、「Service Catalog」を参照してください。
Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合	強化された Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 アプリケーションを使用して、オペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスが 産業用 製品モデルカテゴリに分類されていることを確認します。 詳細については、「Service Graph Connector Integration for Claroty CTD」を参照してください。
Microsoft Defender for IoT のサービスグラフコネクタ (Azure)	強化された Microsoft Defender for IoT (Azure) のサービスグラフコネクタ アプリケーションを使用して、オペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスが 産業用 製品モデルカテゴリに分類されていることを確認します。 詳細については、「Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (Azure)」を参照してください。
Service Operations Workspace for ITSM	• アドミンセンターからの簡素化されたナビゲーションを使用して、インシデント、問題、変更要求、および サービスオペレーションワークスペース for ITSM のレコードページのコンテキストサイドパネルの構成を管理します。これにより、アドミニストレーターのエクスペリエンスが向上します。 • オンスクリーンユーティリティを使用して、ITSM エージェントワークスペースの機能を サービスオペレーションワークスペース for ITSM に移行します。 • 詳細なルールを使用して、サービスオペレーションワークスペース for ITSM のさまざまなレコードページへのユーザーアクセスを構成します。 • インシデントレコード内の参照フィールドの構成アイテム (CI) 依存関係マップを表示します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• VIP ユーザーのインシデントレコードの問い合わせユーザーフィールドで VIP フィールドデコレーターを表示します。 • クイックスタートテストを使用して、サービスオペレーションワークスペース for ITSM でインシデント管理の機能とワークフローをテストします。 • 通信メッセージを重大インシデント管理のお知らせとしてブロードキャストします。 • インシデントレコードの [パスワードリセット (Password reset)] UI アクションを使用して、パスワードリセット関連インシデントを解決します。 • [オープン対象者 (Opened for)] フィールドと [簡単な説明 (Short description)] フィールドの値を指定して、正確な処理を行うインタラクションレコードを特定します。 • サービスデスクエージェントが サービスオペレーションワークスペース for ITSM でユーザーのパスワードをリセットできるようにします。 • インシデント、インシデントタスク、問題、問題タスク、変更要求、変更要求タスク、インタラクション、および要求のレコードタイプについて、AI を活用した検索結果を取得します。これらの AI を活用した検索結果は、必要なソリューションをすばやく見つけるのに役立ちます。 • 構成可能で動的な [概要] タブを使用して、問題のライフサイクルを管理します。 • ガイド付きツアー を使用して、サービスオペレーションワークスペース for ITSM 内の概念またはプロセスについて学習します。 • アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。 詳細については、「ITSM のサービスオペレーションワークスペース」を参照してください。
サービスポータル	ポータルを非アクティブ化し、オプションでユーザーを代替ポータルにリダイレクトします。 詳細については、「Service Portal」を参照してください。
サービスポートフォリオ管理	• サービス可用性レコードのタイムゾーンを設定できるように、可用性システムプロパティ [com.sn.availability.v2] を更新しました。 ◦ タイムゾーンを反映して、すべての可用性の結果のグローバルタイムゾーンを変更する機能が追加されました。 ◦ サービスオフリングのコミットメントを反映して可用性の結果のタイムゾーンを設定する機能が追加されました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	○ 設定したタイムゾーンを反映するように可用性の再計算を更新しました。 ○ サービス可用性レコードに読み取り専用のタイムゾーンフィールドが追加されました。 ● サービスオフリングレコードに [チーム] 関連リンクタブが追加され、サービスオフリング (1 対多の関係) をサポートする複数のチームをアサインできるようになりました。 詳細については、「Service Portfolio Management」を参照してください。
ServiceNow IDE	● Now Platform の Visual Studio Code に基づいて、IDE でスコープ対象のアプリケーションを開発します。 ● ServiceNow Fluent でアプリケーションを構成するメタデータを定義するソースコードを記述します。 ● インスタンス全体でさまざまなスキルセットのユーザーとコラボレーションし、埋め込み Now Platform ユーザーインターフェイスで変更を表示します。 ● 一般的な Git プロバイダーを使用してソースコントロールでアプリケーションを管理します。 詳細については、「ServiceNow IDE」を参照してください。
ServiceNow SDK	ServiceNow Fluent でアプリケーションを構成するメタデータを定義するソースコードを記述します。 詳細については、「ServiceNow SDK」を参照してください。
サイドバー	● 個々のユーザーに加えて、ユーザーグループを サイドバー ディスカッションに追加できるようになりました。 ● エージェントの場合は、モバイルプラットフォームでサイドバーを使用します。 ● インタクションやタスクベースのレコードだけでなく、すべてのレコードタイプで サイドバー ディスカッションを作成します。 ● サイドバー にアクセスする場所に応じて、異なるエキスパートファインダーサービスを使用します。 ● クイックアクションを使用してチャットの要約を生成します。 詳細については、「Sidebar」を参照してください。
Skills Intelligence (スキルインテリジェンス)	● 会社のジョブアーキテクチャをノードマップとして表示および編集して、ジョブファミリーとロールグループ、およびスキルインテリジェンスワークスペース内の相互に関連するスキルをよりよく理解できるようにします。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• スキルインテリジェンスワークスペースでロールグループとスキルの推奨事項を表示します。 • 従業員ポータルのカリヤハブのカリヤプロフィールから直接ロールレベルを選択し、プロフィールにスキルを追加します。 • スキルインテリジェンスワークスペース内でより動的でインタラクティブなプレイブックエクスペリエンスに移行します。 詳細については、「Skills Foundation」を参照してください。
Skills Management (スキル管理)	• 直感的な Next Experience UI を使用してスキルダッシュボードを分析します。 • スキル管理 で多言語機能を使用して、スキル名とその説明を希望する言語に翻訳できるようにします。 詳細については、「Skills Management」を参照してください。
スマートアセスメントエンジン	• 新しいテンプレートデザイナーを使用してアセスメントを作成します。 • 新しい SAE アセスメントエクスペリエンスでアセスメントプロセスを改善します。 • 複数のアセスメントを 1 つの統一された送信にまとめます。 • 従来のアセスメント測定基準タイプをSAEテンプレートへ移行します。 詳細については、「Smart Assessment Engine」を参照してください。
Software Asset Management (ソフトウェア資産管理)	• ソフトウェア資産のインベントリのインサイト情報を初日から把握し、バージョンの無秩序な増加を制御し、所定のワークフローで提供終了 (EOL) ソフトウェア製品を管理します。 • Nutanix 仮想化テクノロジー用の追加サポートを使用して、Microsoft Windows Server、SQL Server、および Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL Server) のライセンスコンプライアンス要件を満たします。 • ソフトウェア資産管理 アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスを使用して、パブリッククラウド全体で IBM ライセンスを追跡および最適化します。 • SAP Digital Access ライセンスモデルを使用して、SAP アプリケーションの間接的な使用状況を追跡および管理し、予期しないライセンスコストを回避します。 詳細については、「Software Asset Management」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ソーシングと調達オペレーション	- 従業員が仕事に必要なアイテムの注文に使用できる、商品とサービスのカタログを管理します。 - Now Assist を使用して、従業員が商品やサービスをソーシングまたは調達する際に支援を要求する方法をさらに効率化および簡素化します。 - 定期的な更新により、透明性の高い調達プロセスを提供します。 - 調達から要求、受注処理、受領、支払いに至るまで、エンドツーエンドの調達プロセスを自動化します。 - 調達スペシャリストが、組織の商品やサービスのソーシング、交渉、調達を実行し、調達タスクを処理できるようにします。 詳細については、「Sourcing and Procurement Operations」を参照してください。
戦略的計画	- リッチテキストドキュメントを作成して、計画立案アイテムとアジャイルチームのアーティファクト情報を EAP に保存および管理します。 - シナリオを作成し、ポートフォリオ計画の変更をシミュレートし、シナリオを比較してトレードオフの意思決定を可視化し、シナリオを承認して情報に基づいた意思決定を行いながら本稼働計画を変更します。 - ゴールとターゲットを Microsoft Excel ファイルにエクスポートし、ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップからのロードマップを Microsoft PowerPoint ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーとコラボレーションします。 - プロジェクト、プログラム、レンズを使用してポートフォリオ計画を構築することで、組織のプログラム [pm_program] アイテムに高いレベルで優先順位を付け、スコアを付け、ロードマップを作成します。 - 計画立案アイテムの予算をネクストエクスペリエンスに移行し、ポートフォリオマネージャーは、予算を比較、割り当て、管理、および承認できます。 - 設定サイドパネルから実績トグルを有効にすることで、各リソースアサインの実績を表示および追跡します。 詳細については、「Strategic Planning」を参照してください。
ストリームコネクトダッシュボード	- ストリームコネクトコンシューマー、トピック、およびレプリケーターを 1 つの統合されたインターフェイスで管理します。 - アクティブなエンティティ、処理されたメッセージ、データ消費の傾向など、ストリームコネクト 統合の詳細な統計を表示します。 - トピックを作成または編集し、ダッシュボードから直接コンシューマーを追加します。 詳細については、「Using the Stream Connect Dashboard」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
サブスクリプション管理	- 製品サブスクリプションの可視化とコントロールを実現します。 - サブスクリプションの使用率を最大化し、サブスクリプションのモニタリングにより十分な情報に基づいて将来の購入について決定を下すことができます。 - サブスクリプションの使用率と割り当てを経時的にトラッキングすることで、予期しないコストを回避します。 詳細については、「Subscription Management」を参照してください。
サプライヤーライフサイクルオペレーション	- 受信テーブルと送信テーブルの追加フィールドを使用して、サプライヤーデータを外部 ERP システムと正確に交換します。 - サプライヤー製品、契約、発注書、請求書などのサプライヤーの詳細を Source-to-Pay ワークスペース および Supplier Collaboration Portalから直接表示します。 詳細については、「Supplier Lifecycle Operations」を参照してください。
システムアップデートセット	- アップデートセットによるアプリのインストールを有効にします。 - ブレースホルダー - ブレースホルダー 詳細については、「System update sets」を参照してください。
人材開発 Core	従業員の成長と能力開発コアアプリケーションの名前が 人材開発コア に変更されました。 詳細については、「Talent Development Core」を参照してください。
Task Intelligence for ITSM	- インシデントテーブルのフィールドと選択したトレーニングテーブルの間の類似性を識別する新しいトレーニング類似性モデルを設定および構成します。 - 類似性テンプレートカードまたはインシデント類似性モデルを使用して類似性モデルを設定して、インシデントレコードの類似レコードに関する推奨事項を提供し、エージェントの処理時間を短縮します。 - 類似性モデルの予測設定を設定し、データを使用してトレーニングし、類似のレコードを予測するモデルを展開します。 - 展開された類似性モデルのパフォーマンスを追跡および監視します。 - パフォーマンス結果に基づいて類似性モデルを編集、トレーニング、および再展開します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Task Intelligence for ITSM」を参照してください。
通信ネットワークインベントリ	• 専用のキャンバス上に、リビジョンと保護パスを含む回路とその基礎となる接続要素を可視化します。 • 機能の表示、編集、更新などを含む強化されたラックとキャビネットの可視化機能、およびキャパシティ計画立案と優先順位付けをより効果的に行うための新しい KPI を利用できます。 • 計画されたリビジョンの運用中に現在の構成をアーカイブし、それらを元の接続と比較して変更を検出します。 • 機器モデルとテンプレートを、関連するハードウェアとともに Excel データソースにエクスポートし、それらを別の ServiceNow インスタンスにインポートします。 • TMF 639 Resource Inventory API の TMF 準拠。 詳細については、「Telecommunications Network Inventory」を参照してください。
テーマビルダー	• 複数のテーマと代替カラーパレットをユーザーに提供することで、ブランディングとスタイリングのニーズを満たします。 • 新しく作成したテーマにダーク代替カラーパレットを追加し、編集してテーマを調整します。 詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。
サードパーティリスク管理	• エンゲージメントのサードパーティ要素を収集、監視、および評価します。 • リスクインテリジェンスレポート (RIR) とスコアを要求して、RIR 要求をすべて TPRM 内で管理および監視できるようにします。 • サードパーティリスク管理 データモデルを表示します。 詳細については、「Third-party Risk Management」を参照してください。
脅威インテリジェンスセキュリティセンター	• TISC API 2.0 の実装を通じて、観測事象の作成を整理および管理します。 • 有効期限ポリシーをより詳細なレベルで定義します。 • セキュリティインシデントレスポンスワークスペースからケースレコードに観測事象を直接追加します。 • 自動化フローを使用してアナリストのアクションを管理します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 脅威に関する調査を実施して、セキュリティチームの事後対応型および事前対応型のニーズをサポートします。☒ - ケース管理を使用して脅威調査を作成および追跡します。☒ 詳細については、「Threat Intelligence Security Center」を参照してください。
UI ビルダー	- ビデオ、ガイド付きツアー、および製品ドキュメントの検索可能なライブラリを探索して、UI ビルダー スキルの開発と練習を行います。 - ガイド付きツアーを受講して機能について学習し、UI ビルダー のステップバイステップでタスクを完了します。 - ダークテーマを使用すると、暗い場所での使いやすさが向上します。 - レスポンシブオーサリングを使用して、ラップトップ、タブレット、モバイルデバイスなどのさまざまなフォームファクターで外観と機能に優れたページを設計します。 - 複数のデータソースから情報をフェッチし、UI ビルダー から新しいマルチテーブルデータリソースを使用して、選択したコンポーネントにより簡単にデータをバインドします。 詳細については、「UI Builder」を参照してください。
UI コンポーネント CLI 拡張機能	モジュールキャッシュを使用して開発者サーバーのパフォーマンスを向上させます。 詳細については、「UI コンポーネント拡張機能」を参照してください。
アップグレードセンター	- 入手可能なさまざまなリリースバージョンをアップグレードプレビューモジュールで確認できます。 - インスタンスを実際にアップグレードすることなく、アップグレードの状況に関するインサイトを得ます。 - アップグレードモニターモジュールで進行中のアップグレードのステータスを監視して最新のアップグレードの概要を表示できます。 - アップグレード履歴モジュールで過去のアップグレードをすべて表示できます。 - プランのアップグレード機能を使用して、アップグレードを加速します。 詳細については、「Upgrade Center」を参照してください。
ベンダー管理ワークスペース	新しいベンダー重要業績評価指標 (KPI) を使用して、ベンダーパフォーマンスを監視します。 詳細については、「Vendor Management Workspace」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Verifi スポーク	• ケースの作成を開始する。 • 単一および複数のケースを取得する。 • マーチャントの適格性について問い合わせる。 • ケースを取り消すかクローズする。 詳細については、「Verifi Spoke」を参照してください。
仮想エージェント	• ServiceNow Now Assist for 仮想エージェント[®] を Microsoft Copilot と統合して、Microsoft Teams テナントを離れることなく IT 関連の電話をかけ、タスクを解決できるようにします。 • Microsoft Teams との対話型統合 および Conversational Integration with Slack で 仮想エージェント 会話の Now LLM サービス サポートを有効にします。 • 大規模言語モデル (LLM) トピックの説明を既存の 自然言語理解 (NLU) (NLU) 発言と比較してレビューおよびテストし、仮想エージェント 通知と プロアクティブトリガー を移行し、NLU の NLU 語彙ソースを LLM トピック移行ワークフローに移行します。 • プロバイダーの受信要求の One Extend レート制限を構成します。 詳細については、「Virtual Agent」を参照してください。 注: アプリとのインタラクションを含むアプリ内アクティビティの集計を追跡することで、パフォーマンスとユーザーエクスペリエンスが向上します。この追跡は、個人情報ではなく、集計された技術情報に焦点を当てています。
脆弱性対応	• Vulnerability Manager ワークスペース内の脆弱性一致アイテムのリスクスコア、アサイン、修復ターゲット日、および修復タスクを再評価します。 • ワークスペースから脆弱性一致アイテムレコードを再評価します。 • Vulnerability Response Pro または Enterprise サブスクリプションで、[すべて] メニューから脆弱性マネージャーワークスペースまたは脆弱性アセスメントワークスペースの [エクスポージャーアセスメント (Exposure Assessment)] ページに移動します。 • [作業メモ (Work notes)] セクションでリスク評価に関連する変更を表示します。 • 脆弱性算出の変更に応じてアイテムのリスクスコアがどのように調整されるかに関する情報にアクセスします。 詳細については、「Vulnerability Response」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (Azure)	• Microsoft Defender for IoT (Azure) から OT に関連付けられた CVE をインポートし、脆弱性一致アイテム (VIT) を作成して、本番プロセスのコンテキストで OT デバイスの脆弱性データを一目で見られるビューを作成します。 • 脆弱性のインポートを独自のスケジュールで自動的に実行します。 • VIT のアサインルールを使用して、リスクベースのアクションを実行できるローカルサイトベースのチームに、修復のために VIT を自動的にルーティングできます。 詳細については、「Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (Azure)」を参照してください。
ワークフロースタジオ	• タブヘッダーの [作成] ボタンを使用して、任意のワークフロースタジオページからワークフローアイテムを作成します。 • 独自のカテゴリを作成して、アクション、データストリーム、およびサブフローを整理します。 • 新しい使用状況ダッシュボードを使用して、プレイブックとフローの操作を監視します。 • 新しいバージョンの ワークフロースタジオ が利用可能になると、情報バナーが表示されます。 詳細については、「Workflow Studio」を参照してください。
カスタマーサービスのワークフォース最適化	• チームカレンダーでマネージャーとそのチームメンバーとの定期的な会議を作成して追跡します。 • アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。 詳細については、「Exploring Workforce Optimization for Customer Service」を参照してください。
ITSM のワークフォース最適化	• ITSM のワークフォース最適化 アドミンコンソールを使用してアプリケーションを構成します。 • チームカレンダーとイベントを Microsoft Outlook と同期します。 • アクセシビリティの改善を活用して、Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースを作成します。 詳細については、「Workforce Optimization for ITSM」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ワークスペース	- 国際文字の使用、メール受信者ピルの編集、無効なアドレスまたはブロックされたアドレスに関する簡潔なエラーメッセージの表示など、より柔軟に受信者フィールドにメールアドレスを追加します。 - アクティビティストリームのレコードを分類およびフィルタリングします。 - 事前にフィルタリングされた削除可能なクエリパラメーターを参照リストに適用することで、ユーザーが関連する参照検索結果にアクセスできるようにします。 詳細については、「ワークスペース UI」を参照してください。

Xanadu のすべての機能と製品のアップグレード情報

Xanadu の機能と製品のアップグレード情報に関する累積的なリリースノート概要。

Xanadu にアップグレードする前に、使用しているすべての製品のアップグレード情報を確認してください。一部の製品では、アップグレードする前に特定のタスクを完了する必要があります。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI 検索	以前のリリースから Xanadu にアップグレードした後、次の手順を実行して、ネクストエクスペリエンス の AI 検索のグローバル検索結果に [ダッシュボード]、[データの可視化]、および [KPI] ナビゲーションタブを追加します。 - ネクストエクスペリエンス ServiceNow Store アプリケーションの AI 検索をバージョン 4 以降に更新します。更新手順については、「Install an update to a ServiceNow Store application」を参照してください。 - で提供された更新セットをコミットします。AI 検索 for ネクストエクスペリエンス 4.0 PAR テーブル更新セット (KB1644544) Now Support ナレッジベースの記事。更新セットの詳細については、「System update sets」を参照してください。
買掛金オペレーション	以前のリリースからアップグレードする場合は、参照フィールドの税コード [sn_fin_tax_code] テーブルを構成する必要があります。例外エンジンは税コードを使用して請求書を検証し、必要に応じて例外を発生させます。
アナリティクス、インテリジェンス、レポート	アップグレードする場合は、プラットフォームアナリティクス移行センター を使用して、すべてのデータソースに対して単一の可視化セットと統合フィルターを利用できます。
App Engine Studio	App Engine 管理センター (AEMC) でグループをアサインする新しいプロセスにより、各インスタンスに同じバージョンの Application Intake プラグインがインストールされていることを確認してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
アプリケーション脆弱性対応	- 脆弱性対応の新機能の詳細については、「脆弱性対応リリースノート」を参照してください。 - アプリケーション脆弱性対応アプリケーションのリリースバージョン、Xanadu リリースと互換性のあるサードパーティアプリケーションや ServiceNow アプリケーションについて詳しくは、Now Support ナレッジベースの「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (脆弱性対応互換性マトリクスおよびリリーススキーマの変更) [KB0856498]」の記事を参照してください。
事業継続性管理	計画レコードに導入された関係テーブルは、<i>Update BCP dependencies snapshot</i> スケジュール済みジョブによって生成されます。Xanadu リリースにアップグレードした後は、ジョブスケジュールが実行された後、または [依存関係を更新 (Update dependencies)] ボタンを手動で選択した後にのみ、これらのテーブルを表示できます。
CSM のケース管理	カスタマーサービスマネージャーロール [sn_customerservice_manager] には、承認者ユーザーロール [approver_user] が含まれています。承認者ユーザーロールは、承認アドミンロール [approval_admin] に置き換わります。カスタマーサービスマネージャーロールを持つユーザーは、自分にアサインされた承認要求を承認できます。
クラウドコスト管理 8.0.0	クラウドコスト管理 8.0 バージョンにアップグレードすると、Amazon Web サービス (AWS)、Microsoft Azure、および Google Cloud Platform (GCP) サービスプロバイダーが新しいタグカテゴリ AI サービスを利用できるようになります。クラウドコスト管理では、請求処理ダウンロードジョブは当月以降のみ実行されるため、AI サービスへの支出は当月分のみが含まれます。当月より前の月の請求の詳細を表示する場合は、請求処理ダウンロードジョブを手動で実行する必要があります。請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されると、AI サービスの支出データを表示できます。
Configuration Management Database (構成管理データベース) (CMDB)	- Xanadu にアップグレードする前は、CMDB ワークスペースの管理ビューの [最近の CI アクティビティ] および [最近のアプリケーションサービスアクティビティ] タイルの [更新された CI] および [更新されたアプリケーションサービス] 傾向ラインが、システムの変更を正確に反映していない可能性があります。Xanadu および CMDB ワークスペースのバージョン 5.5、6.2、または 7.2 にアップグレードすると、これらの傾向ラインは、更新された CI と更新されたアプリケーションサービスのより正確な検出に反映されます。 - CMDB の健全性： <i>CMDB Health Dashboard - Relationship Compliance Processor</i> または <i>CMDB Health Dashboard - Relationship Score Calculation</i> ダッシュボードジョブのいずれかがアクティブな場合、Xanadu へのアップグレード中にそのジョブは非アクティブ化されます。アップグレードが完了したら、これらのジョブを再アク

アプリケーションまたは機能	詳細
	ティビ化して、CI 関係のヘルスレポートを再開できます。他のすべての CMDB 健全性ダッシュボードジョブのアクティブ状態は保持されます。 100,000 を超える KPI または測定基準の失敗しきい値は、アップグレード中に 100,000 に設定されます。この上限は、多数の CI が指定された測定基準テストに失敗した場合に過剰な処理を避けるために適用されます。 • Xanadu にアップグレードすると、CI ダッシュボードのブックマークは機能しなくなります。「ページが見つかりません」というエラーメッセージが表示されます。CI の CMDB 健全性レポートを表示するには、CMDB ワークスペースで CI フォームを開きます。 • コア UI の従来のアプリケーションサービスダッシュボードは、Xanadu リリースではサポートされていません。アップグレード後も、以前に作成したブックマークを使用して、その従来のダッシュボードに引き続きアクセスできます。代わりに、CMDB ワークスペースのインサイトビューにある [アプリケーションサービス] タイルから CMDB ワークスペースのアプリケーションサービスダッシュボードにアクセスすることもできます。 • コア UI の CMDB 統合ダッシュボードは、Xanadu リリースではサポートされていません。アップグレード後も、以前に作成したブックマークを使用して、その従来のダッシュボードに引き続きアクセスできます。 アップグレードされたインスタンスの従来のダッシュボードにアクセスするには、すべて > セルフサービス > Dashboards (ダッシュボード) をクリックし、ダッシュボードを検索します。
データ管理	アップグレード前にアーカイブルールまたはテーブルクリーナールールが設定されているテーブルごとに、データ管理ポリシーレコードが自動的に作成されます。
ワークフロースタジオの意思決定テーブル	ワークフロースタジオ はインスタンスに自動でインストールされます。ただし、ワークフロースタジオ は ServiceNow Store アプリケーションであるため、最新の機能を取得するには、バージョンを最新バージョンに更新する必要があります。Washington DC バッチ 3 では、ワークフロースタジオを更新すると、ワークフロースタジオ、プレイブック、ディシジョンビルダー などのすべてのアプリケーション依存関係が自動的に更新されます。ServiceNow Store またはプラグインのリストから、ワークフロースタジオ の個々のアプリケーション依存関係を表示または更新することはできなくなりました。
デジタルエンドユーザーエクスペリエンス	DEXデータ移行の詳細については、HI ナレッジベースの KB1646364 記事を参照してください。
ワークフロースタジオのフロー、サブフロー、およびアクション	アップグレード後、以前に fd_read_operations ロールを持っていたユーザーには、実行ステータスや期間などの基本的な実行の詳細のみが表示されるようになりました。この制限により、このロールを持つユーザーは実行の詳細で機密情報を表示できなくなります。入力構成やランタイム

アプリケーションまたは機能	詳細
	値などのすべての実行の詳細への読み取りアクセス権を付与するには、ユーザーに新しいロール <code>fd_read_operations_all</code> を付与します。
ハードウェア資産管理 11.0.0	Xanadu にアップグレードすると、ハードウェア資産管理 の コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードと ネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの両方を表示できます。 注: コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードをネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクスダッシュボードに移行する際、ダッシュボードの重複を避けるために、自動移行はデフォルトで無効になっています。
ITOM ヘルス	ServiceNow Store から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。
ITOM 最適化	ServiceNow Store から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。
ITOM ヴィジビリティ	サービスマッピングエクスペリエンスを向上させるには、ServiceNow Store からサービスマッピングプラスバージョン 13.0 をインストールします。 ServiceNow Store から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。 サービスマッピングプラスのお客様の場合は、ServiceNow Store から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。
産業用プロセスマネージャー	これで、産業用プロセスマネージャー アプリケーションは、オペレーショナルテクノロジーインシデント管理およびオペレーショナルテクノロジー変更管理を含むOperational Technology Service Managementアプリケーションと依存関係を持つようになりました。インスタンスに 産業用プロセスマネージャー をインストールするには、次のいずれかの SKU が必要です。 • オペレーショナルテクノロジーヴィジビリティ SKU • Operational Technology Service Management SKU • 産業用プロセスマネージャー に資格を付与するカスタム SKU
MID サーバー	最新の MID サーバー システム要件については、「MID サーバーのシステム要件」を参照してください。サポートされている JRE の最小バージョンは 11.0.9 で、推奨バージョンは 11.0.16.1 です。 独自の JRE をインストールしている場合、サポートされている JRE を MID サーバーが使用することを検証するために、アップグレードプロセスでは次のアクションが実行されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- アップグレードの際に MID サーバーがサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスで JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。 - サポートされている JRE が MID サーバーホストで実行されている場合、アップグレードされた MID サーバーではそのバージョンが使用されます。 自動アップグレードを行なうには、すべての MID サーバーホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、システムが管理する方法をお読みください。MID サーバー 設定してください。 実行可能ファイルパスに従って許可される Windows MID サーバーサービスは 1 件のみです。アップグレードした Windows MID サーバーに同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。「」を参照してください。MID サーバー 起動に失敗 詳細を参照します。 MID サーバーのアップグレードについて詳しくは、次のトピックを参照してください。 MID サーバー アップグレード前のチェック：実際のアップグレードの前に、システム上の MID サーバー のアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明します。 のアップグレード MID サーバー 手動：MID サーバー を手動でアップグレードする方法について説明します。
Now Assist	Now Assist スキルに関連付けられている UI アクションやその他のアイテムをカスタマイズした場合は、カスタマイズしたコードが新しいスキルリリースで更新されていることを確認してください。そうしないと、特定の機能が期待どおりに機能しない可能性があります。 Now Assist 製品のアップグレード中に問題が発生した場合は、「KB1637452：Now Assist (生成 AI) アプリケーションおよびプラグインの更新の問題と軽減策」を参照してください。記事を表示するにはログインする必要があります。
Security Operations の Now Assist	アプリケーションを実装するための要件の一覧については、「Supporting information for Now Assist for Security Incident Response」を参照してください。
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	新規顧客：プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスは Now Platformで自動的に利用可能になります。直感的なインターフェイスを提供し、データをよりよく理解して活用するのに役立ちます。 アップグレード顧客：現在 コア UI のレスポンスダッシュボードを使用している場合は、中断することなく引き続きアクセスできます。新しい機能を最大限に活用するには、プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスへの移行を検討してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ワークフロースタジオのプレイブック	Xanadu にアップグレードした後、ServiceNow Store でプレイブックとワークフロースタジオアプリケーションを更新します。
公共機関デジタルサービス	アップグレード後、CSM 構成可能ワークスペース 内の特定の公共部門メニューおよびメニューアイテムは、元の CSM ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。再レベル付けの詳細については、次を参照してください。すべて > 構成員サービス > 管理 > ガイド付きセットアップをクリックし、公共機関デジタルサービスの構成可能ワークスペース > ワークスペースラベルを手動でカスタマイズ。
RPA Hub	RPA アプリケーションをダウンロードして、現在インストールされている Microsoft ソフトウェアインストーラー (MSI) をアップグレードしてください。 • RPA デスクトップデザインスタジオ • アテンド型ロボット • 無人ロボット • 無人ロボット ログインエージェント 詳細については、「Download the RPA applications from RPA Hub (RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード)」を参照してください。 次のアップグレード情報は、San Diego または Tokyo から Xanadu にアップグレードする場合にのみ適用されます。 アプリケーションファイルテーブル内のレコード数に応じて、RPA Hub アプリケーションの Tokyo 以前のリリースから Xanadu へのアップグレードに遅延が生じる可能性があります。 RPA Hub を Xanadu にアップグレードする前に、<code>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</code> システムプロパティの値を [false] に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加し、その値を false に設定します。プロパティを追加する方法については、「Add a system property」を参照してください。 Xanadu にアップグレードすると、ボットプロセス定義は新しい構造、つまりボットプロセス構成に変更されます。 ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありませんが、ほとんどのフィールドはボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。システムプロパティ値を更新せずに Xanadu にアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、Now Support ナレッジベースの記事「Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah and beyond release (Utah 以降のリリースの

アプリケーションまたは機能	詳細												
	sys_metadata への RPA Hub テーブルの再ビルド 」を参照してください。												
Security Incident Response (セキュリティインシデントレスポンス)	該当なし												
セキュリティポスチャコントロール	セキュリティポスチャコントロールの実装に必要なすべてのアプリケーションのリストについては、「 セキュリティポスチャコントロールのインストール 」を参照してください。												
サービスブリッジ	- Xanadu リリースでリリースされる サービスブリッジ 2.x.x は、サービスブリッジ (レガシー) バージョンの移行をサポートしていません。サービスブリッジ (レガシー) バージョンを使用している場合は、Xanadu リリースにアップグレードする前に、Now Support ナレッジベースの記事「Service Bridge for Providers (Legacy) - Migration Utility (KB1499823)」の手順に従って構成データを移行する必要があります。 - 不一致バージョンのサポートの導入により、コンシューマーとプロバイダーの両方が Xanadu リリースにアップグレードするまで、新しいエンタイトルメントをアクティブ化できません。古いアクティブなエンタイトルメントは引き続き機能しますが、新しいエンタイトルメントはアクティブ化できません。												
Service Operations Workspace for ITSM	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 - サービスオペレーションワークスペース ITSM Applications アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) - サービスオペレーションワークスペース ITOM Applications アプリケーション (sn_sow_itom_cont) 互換性のあるサービスオペレーションワークスペースバージョン <table> <tr> <th>サービスオペレーションワークスペース for ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>サービスオペレーションワークスペース for ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr> <tr> <td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr> <tr> <td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr> <tr> <td>1.3.x</td><td>21.2.y、21.5.y、および 21.6.y</td></tr> <tr> <td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr> <tr> <td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr> </table>	サービスオペレーションワークスペース for ITSM (sn_sow_itsm_cont)	サービスオペレーションワークスペース for ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y	2.0.x	22.0.y	2.1.x	22.1.y および 22.y.y
サービスオペレーションワークスペース for ITSM (sn_sow_itsm_cont)	サービスオペレーションワークスペース for ITOM (sn_sow_itom_cont)												
1.1.x	21.0.y												
1.2.x	21.1.y												
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y												
2.0.x	22.0.y												
2.1.x	22.1.y および 22.y.y												

アプリケーションまたは機能	詳細								
	<table> <tr> <th data-bbox="502 189 940 310">サービスオペレーションワークスペース for ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th data-bbox="940 189 1377 310">サービスオペレーションワークスペース for ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr> <tr> <td data-bbox="502 310 940 388">3.1.x</td><td data-bbox="940 310 1377 388">23.y.y</td></tr> <tr> <td data-bbox="502 388 940 466">4.x.x</td><td data-bbox="940 388 1377 466">24.y.y</td></tr> <tr> <td data-bbox="502 466 940 525">5.0.x</td><td data-bbox="940 466 1377 525">24.2.y</td></tr> </table>	サービスオペレーションワークスペース for ITSM (sn_sow_itsm_cont)	サービスオペレーションワークスペース for ITOM (sn_sow_itom_cont)	3.1.x	23.y.y	4.x.x	24.y.y	5.0.x	24.2.y
サービスオペレーションワークスペース for ITSM (sn_sow_itsm_cont)	サービスオペレーションワークスペース for ITOM (sn_sow_itom_cont)								
3.1.x	23.y.y								
4.x.x	24.y.y								
5.0.x	24.2.y								
ServiceNow SDK	now-sdk upgrade コマンドを使用して、最新バージョンの ServiceNow SDK にアップグレードします。詳細については、「 Upgrade the ServiceNow SDK 」を参照してください。								
Skills Management (スキル管理)	スキルダッシュボードは、Xanadu リリースで Next Experience UI に自動的に移行されます。アップグレードすると、 Next Experience UI のスキルダッシュボードに自動的にアクセスできるようになります。								
Software Asset Management (ソフトウェア資産管理)	Microsoft Entra ID スポーク 4.3 バージョンにアップグレードすると、既存の Microsoft Azure AD SSO またはディレクトリ統合に対して <i>Microsoft Azure AD - Download Group Membership</i> ディレクトリジョブは実行されません。このディレクトリジョブは、新しい Microsoft Azure AD SSO またはディレクトリ統合用にも作成されません。代わりに、 <i>Microsoft Azure AD - Download Groups</i> ディレクトリジョブは、Microsoft Azure AD で構成されているすべてのグループとグループメンバーシップをダウンロードします。								
システムアップデートセット	情報収集								
通信ネットワークインベントリ	以前のリリースの既存のユーザーの場合は、Xanadu にアップグレードすると、レガシー製品モデルと新しい製品モデルの両方が [Network Inventory Workspace] メニューで使用できるようになります。この問題を修正するには、従来の製品モデルデータを現在のインスタンスの新しい製品モデルテーブルに移行する必要があります。手順の詳細については、「 KB1695167 」を参照してください。								
ワークフロースタジオ	パッチ 3 Washington DC 時点では、ワークフロースタジオを更新すると、ServiceNow ワークフロースタジオ、プレイブック、ServiceNow ディシジョンビルダーなどのすべてのアプリケーション依存関係が自動的に更新されます。ServiceNow Store またはプラグインのリストから、ワークフロースタジオの個々のアプリケーション依存関係を表示または更新することはできなくなりました。								

Xanadu の新機能と製品

Xanadu の新機能と製品に関する累積的なリリースノートの概要。

Xanadu では新しい製品が導入され、既存の 製品に機能が追加されました。

アプリケーションまたは機能	詳細												
AI 検索	NLQ Genius 結果は複数の検索をサポート CMDB テーブル 検索に複数のCMDBテーブルに一致する可能性のある用語が含まれている場合、NLQ Genius 結果の回答には、影響を受ける用語ごとに一致する可能性のあるCMDBテーブルのドロップダウンリストが表示されます。これらのドロップダウンリストを使用して、情報を表示する CMDB テーブルを選択します。 日本語の中間サポート 中黒 (中点) 文字を含む日本語フレーズの検索精度が向上します。日本語のテキストにインデックスを付けたり、日本語で検索したりする場合、AI 検索では、個々の用語を 1 つの用語に結合するのではなく、中黒で区切って保持します。												
API	Xanadu での新しいスコープ対象クラスと既存のスコープ対象クラスへの追加メソッド <table> <tr> <th>クラス</th><th>メソッド</th></tr> <tr> <td>CMDBQBScopedScriptableAPI - Scoped</td><td> - createReport() - deleteQuery() - getSavedQueryExecutionDetails() - saveQuery() - updateQuery() </td></tr> <tr> <td>HistoryWalker - Scoped, Global</td><td>walkTo(チェックポイント)</td></tr> <tr> <td>NumberFormatter - Scoped, Global</td><td> - parseWithLocale() - parseWithSeparators() </td></tr> <tr> <td>PDAutomationProvider - Scoped, Global</td><td> - activateProcess() - deactivateProcess() - duplicateProcess() </td></tr> <tr> <td>PDFGenerationAPI - Scoped, Global</td><td>redact()</td></tr> </table>	クラス	メソッド	CMDBQBScopedScriptableAPI - Scoped	- createReport() - deleteQuery() - getSavedQueryExecutionDetails() - saveQuery() - updateQuery()	HistoryWalker - Scoped, Global	walkTo(チェックポイント)	NumberFormatter - Scoped, Global	- parseWithLocale() - parseWithSeparators()	PDAutomationProvider - Scoped, Global	- activateProcess() - deactivateProcess() - duplicateProcess()	PDFGenerationAPI - Scoped, Global	redact()
クラス	メソッド												
CMDBQBScopedScriptableAPI - Scoped	- createReport() - deleteQuery() - getSavedQueryExecutionDetails() - saveQuery() - updateQuery()												
HistoryWalker - Scoped, Global	walkTo(チェックポイント)												
NumberFormatter - Scoped, Global	- parseWithLocale() - parseWithSeparators()												
PDAutomationProvider - Scoped, Global	- activateProcess() - deactivateProcess() - duplicateProcess()												
PDFGenerationAPI - Scoped, Global	redact()												

アプリケーションまたは機能	詳細	
	クラス	メソッド
	PersonalAuthAPI - Scoped 	- PersonalAuthAPI() - getInitiatorURL() - isTokenValid() - revokeToken()
	PlaybookExperience - Scoped 	restartPlaybook()
	Xanadu での新しいグローバルクラスと既存のグローバルクラスへの追加メソッド	
	クラス	メソッド
	CMDBQueryBuilderAPI - Global 	- createReport() - deleteQuery() - saveQuery() - updateQuery()
	DynamicSchemaAPI - Global 	- clearDynamicCategoryCache() - clearDynamicChoiceSetCache() - clearDynamicAttributeGroupCache() - clearDynamicAttributeGroupCacheItem() - clearDynamicCategoryCacheItem() - clearDynamicChoiceSetItem() - get()
	GlideAggregate - Global 	- getDynamicAttributeValue() - 2 つの署名 - getDynamicAttributeDisplayValue() - 2 つの署名
	GlideDate - Global 	parseDate()
	GlideDynamicAttributeStore - Global 	- clear() - getDisplayValue() - getValue()

アプリケーションまたは機能	詳細	
	クラス	メソッド
		• setDisplayValue() • setDynamicAttributeDisplayValue() • setDynamicAttributeValue() • setDynamicAttributeValues() • setValue() • toString()
	GlideElementDynamicAttributeStore - Global	• getDynamicAttribute() • getDynamicAttributeDisplayValue() • getDynamicAttributeValue() • setDynamicAttributeValue() • setDynamicAttributeValues() • setDynamicAttributeDisplayValue() • setDynamicAttributeDisplayValues()
	GlideRecord - Global	• getDynamicAttribute() - 2 つの署名 • getDynamicAttributeValue() - 2 つの署名 • getDynamicAttributeDisplayValue() - 2 つの署名 • setDynamicAttributeValue() - 2 つの署名 • setDynamicAttributeDisplayValue() - 2 つの署名 • setDynamicAttributeValues()
	HistoryWalker - Scoped, Global	walkTo(チェックポイント)
	NumberFormatter - Scoped, Global	• parseWithLocale() • parseWithSeparators()
	PDFGenerationAPI - Scoped, Global	redact()

アプリケーションまたは機能	詳細						
	Xanadu での新しいクライアントモバイル API と既存のクライアントモバイル API への追加メソッド <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="512 289 967 348">クラス</th><th data-bbox="967 289 1380 348">メソッド</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="512 348 967 680"> m_form - Client </td><td data-bbox="967 348 1380 680"> • addErrorMessage() • addInfoMessage() • getValue() • setAffectedInputs() • setValue() </td></tr> <tr> <td data-bbox="512 680 967 898"> MobileScriptIncludeCaller - Client </td><td data-bbox="967 680 1380 898"> • MobileScriptIncludeCaller() • addParam() • call() </td></tr> </tbody> </table>	クラス	メソッド	m_form - Client	• addErrorMessage() • addInfoMessage() • getValue() • setAffectedInputs() • setValue()	MobileScriptIncludeCaller - Client	• MobileScriptIncludeCaller() • addParam() • call()
クラス	メソッド						
m_form - Client	• addErrorMessage() • addInfoMessage() • getValue() • setAffectedInputs() • setValue()						
MobileScriptIncludeCaller - Client	• MobileScriptIncludeCaller() • addParam() • call()						
アカウントライフサイクルイベント	アカウントオンボーディングプレイブック アカウントライフサイクルイベント プレイブックを使用してアカウントのオンボーディングを管理します。このプレイブックには、オンボーディングのステータスや進捗状況などの重要な詳細を含むオンボーディングワークフローのアクティビティ定義が含まれており、さまざまなステークホルダーにタスクをいつ提供すべきかについての明確な指示が共有されています。 アカウントオンボーディングホームページ ケースタスク、データキャプチャタスク、関連するリスクなど、自分にアサインされたオンボーディングケースを監視します。 データインポート検証 • 複数のファイルを同時にステージングテーブルにアップロードして処理します。 • データインポートビルダーを使用して、データをインポートするためのデータソースと変換マップを構成します。 • データ検証支援テーブルでフィールドレベルおよびレコードレベルのデータ検証を実行します。さらに、8 つの事前設定されたフィールドレベルの検証もベースシステムで使用できます。 Recommended actions for account onboarding エージェントが必要に応じて適切なアクションを実行できるように、現在のレコードのコンテキストに基づいてユーザーにガイダンスと推奨アクションを提供します。さらに、エージェントはガイド付きディジジョンツリーを使用して、オン						

アプリケーションまたは機能	詳細
	ボーディングプロセスのナビゲートとトラブルシューティングを行うことができます。 View account onboarding cases in the Consumer Service Portal CSM ポータルで アカウントライフサイクルイベント オンボーディングケースレコードまたはケースタスクレコードを表示して、アカウントライフサイクルイベント オンボーディングジャーニーの詳細を確認します。 カスタマーサクセス (CS) によるアダプションの改善と離職率の削減 カスタマーサクセス (CS) 機能を使用して、顧客と連携し、成功事例を実行することでリスクを軽減し、拡張と更新の機会を特定します。 - 成功ランディングページで成功ポートフォリオを監視します。現在のエンゲージメント、今後の更新、および新しいエンゲージメントのステータスを表示します。 - 成功イニシアチブ、成功ブループリントなどのエンゲージメントの詳細を表示し、成功ケースを監視します。 - ワークフローランチャーを使用して、成功戦略と成功ブループリントを作成し、手動または自動のアクティビティを定義します。
買掛金オペレーション	Tolerance Rules and Variances for invoices <i>tax tolerance</i> ルールは、請求書の税額差異に設定された差異制限を定義します。 <i>under tax amount</i> 差異の例外は、サプライヤーが指定した税額がシステムで計算された税額よりも少ない場合に発生します。 - 税額差異の例外は、サプライヤーが指定した税額がシステム計算の税額よりも大きい場合に発生します。 Playbook for updating the invoice primary data - プレイブックアクティビティを使用して請求書明細に税明細を追加します。 - 新しい税明細を 1 つまたは複数の請求書明細に適用します。 Tax calculations 税オーナーまたは税マネージャーは、税明細行と税コードを追加できます。
ここでの GRC は Advanced Risk です。	強化されたリスク対応ワークフロー 次の機能拡張により、リスク対応ワークフローを簡素化します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- すべてのタイプのリスク対応タスクに統一されたワークフローを使用します。リスク対応タスクの標準化されたワークフローにより、すべてのタイプのリスク対応タスクの管理が強化され、一貫性が促進されて、カスタマイズの必要性が軽減されます。 - 承認コンフィギュレーターを使用して、リスク対応タスクの複数レベルの承認を構成します。デフォルトでは、すべてのタイプのリスク対応タスクに対して単一レベルの承認が有効になっており、リスクオーナーがタスクを承認できます。これらの承認は、要件に基づいて構成できます。 - リスク対応タスクを却下し、クローズせずに対応中ステータスに移行します。この機能は、承認者が応答に満足できない場合に、リスク対応タスクオーナーが応答戦略を変更するのに役立ちます。 - 独立したワークフローでアクションアイテムを作成し、[ドラフト] または [対応中] ステータスのときにリスク対応タスクにリンクします。 注: リスク受容タスクを除くすべてのタイプのリスク対応に対して、リスク対応アクションアイテムを作成できます。 - 再アセスメント中に、以前のリスクアセスメントから現在のリスクアセスメントにリスク対応計画をコピーします。 - 再アセスメント中に、以前のアセスメントから現在のリスクアセスメントにオープンリスク対応タスクをリンクします。既存のリスク対応タスクを編集または削除することもできます。 リスクアセスメントと問題のリンク 次の機能拡張により、リスクアセスメントを簡素化します。 - リスクアセスメント方法論 (RAM) フォームで問題のリンクオプションを有効にして、問題を作成するか、既存のオープンな問題をリスクアセスメントにリンクします。 - リスクアセスメントで利用できる構成可能な問題カードから問題の詳細を表示します。 - 問題カードの視覚的な差別化要素を使用して、既存のリンクされた問題から新しく作成された問題を特定します。 - 問題を編集または削除します。 拡張リスクイベントタスクワークフロー 次の機能拡張により、リスクイベントワークフローを簡素化します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• リスクイベントタスクに対し、統一された拡張ワークフローを使用します。標準化されたワークフローにより、リスクイベントタスクの管理が強化されます。 • 承認コンフィギュレーターを使用して、リスクイベントタスクの複数レベルの承認を構成します。 • リスクイベントタスクを却下し、クローズせずに対応中ステータスに移行します。この機能は、承認者が満足できない場合にリスクイベントタスクオーナーがリスクイベントを変更するのに役立ちます。 を使用したリスク識別アンケートのユーザーエクスペリエンスの改善 スマートアセスメントエンジン  インタラクティブで直感的なユーザーエクスペリエンスを使用して、アセスメントワークスペース  からリスク識別アンケートに回答します。リスクアドミンは、リスク識別構成でクラシックアセスメントアンケートとスマートアセスメントアンケートのいずれかを、強制動作にすることなく選択できます。既存のリスク識別テンプレートをスマートアセスメントエンジン アプリケーションに移行できます。アセスメントワークスペース  でリスク識別テンプレートを作成することもできます。 i 注: リスク識別構成フォームでは、リスク識別カテゴリを持つ公開済みアセスメントテンプレートのみを選択できます。 通貨換算日の構成  システムプロパティでリスクイベントエントリの通貨換算日を定義します。この機能により、影響日のみに依存するのではなく、通貨換算の特定の日付を選択できるようになり、純損失計算の精度が向上します。通貨換算日は、システムプロパティレベルで次のオプションから選択できます。 • リスクイベントエントリ日 (Risk event entry date) • 最初の損失エントリ日 (First loss entry date) • 前回の損失エントリ日 (Last loss entry date) • 最初の復旧エントリ日 (First recovery entry date) • 前回の復旧エントリ日 (Last recovery entry date) • カスタム日付 (Custom date) i 注: リスク応答テンプレート構成で、定義された通貨換算日を上書きすることもできます。これらの変更は、新規および進行中のリスクイベントワークフローの両方に適用されます。 クローズ済みリスクイベントを再オープン 

アプリケーションまたは機能	詳細
	クローズ済みリスクイベントを再オープンして、新しいリスクイベントを作成せずに、既存のリスクイベントを新しい検出、損失、または関連情報で更新します。この機能により、時間と労力が節約され、リスクイベント管理の柔軟性と効率が向上します。リスクイベントは個別にまたは一括で再オープンできます。 その他の機能強化と改善 次の機能拡張により、プロセスを簡素化します。 - リスクアセスメントが承認または却下されたときにメール通知でリスク査定人に通知します。 - ターゲットレコードにユーザーまたはグループがない場合は、フィードバック統合構成フォームで特定のグループを回答者タイプとして定義します。詳細については、「Configure a feedback integration」を参照してください。 - 高度なリスクアセスメントの単一通貨モードを構成します。この機能は、選択した単一通貨ですべての財務値を表示し、すべてのフィールドの一貫性と明確性を確認します。詳細については、「Single-currency mode」を参照してください。 - リスク識別フォームに追加された新しいフィールド [最終完了日 (Last completed date)] に、最新のリスク識別の完了日を表示します。詳細については、「Set up risk identification integration」を参照してください。
高度なワークアサインメント	External routing overview 更新されたアドミン UI を使用して、外部ルーティング機能を使用し、サードパーティの Contact Center-as-a-Service (CCaaS) プロバイダーと 高度な作業アサイン の統合を有効にします。 Migrating Advanced Work Assignment Dashboards AWAダッシュボード (インタラクション、メッセージング、タスク、オペレーションの各ダッシュボード) を ネクストエクスペリエンス に移行します。 Define external routing test implementation 外部イベントに関する REST コールを受信して処理するために、簡素化された外部ルーティングプロバイダー ATF ベースのサンプル実装を使用して外部ルーティングテストツールプラグイン (com.glide.awa.external.test_tools) を定義しました。 サンプル実装のデモデータによって生成されたペイロードを調整して処理し、ATF ベースのツールを使用して、変更されたコンポーネントを検証します。
エージェントチャット	Using Agent Chat エージェントチャット でユーザーとやり取りしているときに Now Assist をトリガーして、推奨される応答を生成し

アプリケーションまたは機能	詳細
	ます。推奨される応答を編集したり、Now Assist を短くしたり長くしたりすることができます。
エージェントクライアントコレクター	構成ファイルからのみ許可リストをロードする  プラグインにバンドルされている許可リストを無視して、構成ファイルの <code>allow-list</code> パラメーターで指定されたファイルから許可リストをロードすることで、システムセキュリティを強化します。エージェントプラグインにバンドルされている許可リストを無視して、指定された許可リストで実行するチェックを指定できます。 インスタンスからのエージェントログレベルの設定  <code>acc.yml</code> 構成ファイルにアクセスすることなく、ServiceNow インスタンスからエージェントログレベルを構成します。 安全なエージェント接続を確保する  オペレーティングシステムのトラストストアに自己署名証明書を追加して、エージェント接続が安全であることを確認します。証明書をトラストストアに追加すると、証明書が本物であることが確認されます。 既存の資産を更新  再インストールする前に既存のプラグインを削除して、エージェントクライアントコレクター (ACC) プラグインを最新バージョンに更新してください。 Linux および Windows の拡張チェックを使用  デフォルトでシステムに付属している拡張 Linux と Windows チェックを使用して、拡張チェック機能を有効にします。 Upgrade Agent Client Collector for Kubernetes – Visibility Informers remotely  バージョン 3.6.3 以降では、Kubernetes アドミンへの依存を回避するために、ServiceNow インスタンスからリモートで Kubernetes クラスター内の Informer ポッドをアップグレードします。 Override Informer parameters from the Instance  バージョン 3.6.3 以降では、ServiceNow インスタンスからの Visibility Informer 実行パラメーターの CNO を制御して、Kubernetes アドミンへの依存を回避します。 Informer が Azure Kubernetes Service (AKS) を使用するとき Microsoft Azure Vault にインスタンス認証情報を保存する  バージョン 3.6.3 以降では、組織で AKS を使用している場合は、シークレットを Microsoft Azure Vault に格納できます。その後、Informer はインスタンスにアクセスするための ServiceNow 認証情報を Azure Vault からプルします。 Informer が OAuth2.0 認証を使用してインスタンスに接続できるようにします 

アプリケーションまたは機能	詳細
	バージョン 3.6.3 以降、Informer は OAuth2.0 認証を使用して ServiceNow インスタンスに接続し、セキュリティを強化できます。
HR ケース管理のエージェントワークスペース	Create a case in Agent Workspace for HR Case Management HR エージェントは、ケースの作成時に HR アドミンが HR サービス構成に入力した HR サービスの説明を表示することで、ケースの転送を最小限に抑えて効率を向上させることができます。 Lists in Agent Workspace for HR Case Management HR ケース管理のエージェントワークスペース のリストビューにある [最近更新された] タブを使用して、最近更新されたケースを表示します。 Using a Response template in an HR case or HR task record コピーして HR タスクのコメントまたは作業メモに貼り付けることができるように、再利用可能なメッセージとして応答テンプレートを使用し、エージェントが HR タスクに迅速に対応できるようにします。 Resolve HR cases using guided decision trees in Agent Workspace for HR Case Management エージェントが従業員のケースをトリアージするために使用できる意思決定ツリーを作成することで、HR サービスを迅速化します。 Add personal notes アサインされたエージェントの 労務 (ER) ケースの請求を裏付ける個人メモの添付ファイルをアップロードします。
CSM のエージェントエクスペリエンス	Quick start tests for Customer Service Management 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、カスタマーサービス管理 (CSM) が想定どおりに機能していることを確認します。カスタマーサービス管理 (CSM) をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
App Engine Studio	1 つまたは複数のユーザーグループにユーザーを追加 AEMC で取り込み要求を表示するときに、ユーザーを 1 つ以上の AES およびクリエイタースタジオユーザーグループに追加します。 アプリケーション取り込みのユーザーグループを管理 ユーザーグループ権限タイプ [sn_app_intake_permission_type] テーブルのレコードを更新して、インスタンス内でアクティブな AES ユーザーグループとクリエイタースタジオを管理します。 Test (テスト) AEMC 非本番インスタンスで

アプリケーションまたは機能	詳細
	本番インスタンスに移行する前に、非本番インスタンスでAEMCをテストして、すべてが期待どおりに機能することを確認します。
アプリケーション脆弱性対応	脆弱性マネージャーワークスペースでのアプリケーション脆弱性一致アイテムの修復プロパティの再評価 アプリケーション脆弱性一致アイテムを条件付きで選択して、Vulnerability Manager ワークスペース 内の次の修復プロパティを再評価します。 • アサイン • 修復タスク • 修復ターゲット日 • リスクスコア CycloneDX SBOM ファイルのソフトウェア部品表の機能拡張 CycloneDX フォーマットの SBOM ファイルをサポートするために、以下の機能強化が行われました。 CycloneDX SBOM ファイルの追加情報を (<code>sn_sbom_core.collect_properties</code>) プロパティでインポートします。このプロパティはデフォルトで非アクティブ化されています。一般的にサポートされていない情報をインポートするには、このプロパティを有効にします。これらのプロパティからインポートされた情報は、次の SBOM コンポーネントプロパティ [<code>sn_sbom_comp_property</code>] テーブルにアップロードされます。 • アップロードされた SBOM ファイル • メタデータ • 個々の脆弱性 • コンポーネント CycloneDX のバージョン 1.4 以降の SBOM ファイルの宣言済みライセンスと締結ライセンスのインポートされたコンポーネントデータを、2 つの新しいライセンスフィールドに表示します。 • 宣言済み • 締結 SBOM 解析サポートは、以下の CycloneDX バージョンおよびコンポーネントタイプで強化されています。 • バージョン 1.5：プラットフォーム、データ、デバイスドライバ、機械学習モデル • バージョン 1.6：暗号化 PaCE 向け SBOM Response の機能拡張

アプリケーションまたは機能	詳細
	ポリシーアズコードエンジン (PaCE) アプリケーションは SBOM Response で使用できます。 • <i>Run PaCE policies for SBOM Response</i> スケジュール済みジョブで、コンポーネントが古くなっているか破棄されているかを判断します。このスケジュール済みジョブは、デフォルトでは非アクティブです。 • SBOM ワークスペースで利用可能な PaCE インターフェイスで、古いコンポーネントまたは非準拠として破棄されたコンポーネントを表示します。 [®] への SBOM ファイルのアップロード Now Platform から GitHub リポジトリ CI/CD (継続的統合および継続的デリバリー/展開) パイプラインで生成された SBOM ファイルが、Now Platform インスタンスで正常にキューに入れられているかどうかを確認します。 • GitHub 環境から開始する GitHub アクションを使用して、ソフトウェア開発サイクル中に潜在的に有害なコンポーネントから環境を保護します。 • GitHub Marketplace での SBOM アップロードに必要な GitHub Actions を取得します。 Veracode 脆弱性統合のための部品表レコードの機能拡張  Vericode は、アップロードする Veracode SBOM ファイルの部品表 [sn_sbom_doc] テーブル内のレコードの [ソース] フィールドにマッピングされます。 Container Vulnerability Response の修復タスクルール  修復タスクルールに基づいてコンテナ脆弱性一致アイテムを自動的に定義してグループ化します。 GitHub シークレットスキャン  組織のコードで検出されたシークレットをアプリケーションセキュリティテスト結果とともに取り込み、開発者がこれらにアクセスして結果を簡単に緩和できるようにします。 スケジュール済みジョブの処理パフォーマンスの向上  <i>Rollup application vulnerable item values to vulnerability and group</i> スケジュール済みジョブが拡張され、マルチスレッド機能を備えたバックグラウンドジョブを作成できるようになりました。このアップグレードでは、ジョブをいくつかの小さな子ジョブに分割し、並列または同時に実行します。この変更により、複数のレコードを同時に処理できるようになり、タスク全体の速度が大幅に向上します。 アプリケーション脆弱性対応 のクイックスタートテスト  新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了した後、クイックスタートテストを実行して、アプリケーション脆弱性対応 が想定どおりに機能していることを検証します。アプリケーション脆弱性対応 をカスタマイ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
Audit Management	クラウドドキュメント管理 ローカルコンピュータからドキュメントをクラウドファイルとしてアップロードし、それらをServiceNowの任意のレコードにリンクします。事前定義されたフォルダーのパスと場所にファイルをアップロードできます。 Audit Management のユーザーロールの機能拡張 次のロールが追加されました。 - 監査承認者 (sn_audit.approver) ロールを使用して、エンゲージメントおよび監査計画を承認します。このロールを持つユーザーは誰でも承認者リストに含めることができます。このロールは、Lite オペレーターロールとしても分類されます。 - 監査リーダー (sn_audit.reader) ロールを使用して、エンゲージメント、計画、観察、監査タスクなどの監査関連エンティティを表示します。このロールを持つユーザーは、監査管理 アプリケーション内のすべてのエンティティに対する排他的な読み取りアクセス権を持ちます。このロールは、Lite オペレーターロールとしても分類されます。
Benchmarks (ベンチマーク)	Benchmark KPIs 自己解決回避に追加された新しい AI 検索 Q&A を使用した自己解決 KPI と DeX のプロアクティブエンゲージメントを使用した自己解決 KPI は、すべてのコホートでベンチマークされます。これらの新しい貢献インジケータは、組織が自己解決した転送を追跡するのに役立ちます。
Business Continuity Management	Create a business impact analysis 最新のビジネスインパクトアナリシス (BIA) レコードの最新の更新を使用して、資産の依存関係がビジネスに与える影響を分析します。また、資産の復旧期間とデータバックアップのニーズを決定することもできます。 Create a business continuity plan ドキュメント ID タイプから参照タイプに更新された資産計画フォームの [BIA] 列から、ビジネスインパクトアナリシス (BIA) レコードに直接アクセスします。これにより、BIA 情報を更新し、計画レコードに移動できます。 資産をプライマリスコープとしてマークし、その関連資産を識別することで、プライマリスコープが運用上ダウンしたときに影響を受ける資産を特定します。これにより、資産間の関係を明確に把握することも容易になります。 Add asset and scope to the BCP 計画レコードの階層ビューを使用してプライマリ資産と関連資産の不一致を特定し、目標復旧時間 (RTO)、目標復旧

アプリケーションまたは機能	詳細
	時点 (RPO)、および復旧階層 (RT) の値のギャップに対処します。 Dependency Configuration records ビジネスインパクトアナリシス、計画、およびイベントに関連する依存関係に関する最新情報にアクセスします。依存関係アセスメントを使用すると、これらの依存関係がビジネスにどのように影響するかを分析できます。 Add recovery tasks 資産を復旧タスクにタグ付けすることで、各イベント資産の復旧にかかる時間を正確に計算します。 Create New Recovery task form 演習中または実際のイベント中に、依存関係別に整理された復旧タスクの実行順序をプレビューします。エラー通知をトリガーし、その復旧タスクに対する以降のアクションを停止する可能性がある、計画内の復旧タスクの循環依存関係を特定します。復旧タスクに必要な推定時間を復旧タスクフォームに直接記録することもできます。 Create an exercise アクティブ化された計画と影響を受ける資産の復旧に必要な時間と労力を評価します。オープン中のアクティブ化された計画のステータスを追跡し、実際のイベント中に進捗状況を監視できます。 Format PDF templates for BIAs, BCPs, and Events 新しいレイアウトを実装することで、ビジネスインパクトアナリシス、計画、およびイベントの PDF のコンテンツを改善します。 • 各種イベントタスクを表形式で記載します。 • 資産所有者の詳細とビジネスインパクトアナリシスの説明を含めます。 • 計画資産の依存関係の概要を示すテーブルを表示します。 • 最初のページに PDF の作成日を記載します。
ケースとナレッジ管理	Guided setup for HR Service Delivery HR サービスデリバリー (HRSD) 内の各ドメインのガイド付きセットアップを実行します。Xanadu リリースより前は、ガイド付きセットアップはグローバルドメインでのみ実行できました。 ワークフローから ワークフロースタジオ への移行 ワークフロースタジオ の拡張機能により、HR サービスアクティビティ、HR ケースのユーザー受け入れ、HR ケース承認のサブフローがワークフローから ワークフロースタジオ に移行されました。HR アドミニストレーターは、sn_hr_core.deprecated_workflows システムプロパティを構成して、従来のワークフローを実行するか、対応するフローを ワークフロースタジオ で実行するかを決定できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	HR サービスデリバリ (HRSD)のゼロトラストアクセス (ZTA) アドミニストレーターが動的なロール降格機能を使用して、時間内アクセスを設定できるようにします。アドミニストレーターは、IP アドレス、場所、デバイス、時間などのさまざまな基準に基づいて、セッションでのユーザーの元のロールの特定のサブセットのみを許可するポリシーを作成できます。
CSM のケース管理	Playbook (プレイブック) モードレスダイアログ、アクティビティストリーム、ルックアップカード、関連アイテムなど、生成 AI 機能パリティとエージェントエクスペリエンスの最新化機能を組み込んだ UI ビルダーで、更新されたプレイブックテンプレートを使用します。 Quick start tests for Customer Service Management 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、カスタマーサービス管理 (CSM) が想定どおりに機能していることを確認します。カスタマーサービス管理 (CSM) をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
クローンアドミンコンソール	ターゲットインスタンスモダール クローンを要求して、本番インスタンスから非本番インスタンスにデータをコピーしたり、非本番インスタンス間でデータをコピーしたりします。[クローン要求ターゲットインスタンス (clone request target instance)] フィールドの [インスタンスを追加 (Add an instance)] オプションを使用すると、フォームから離れずにクローンを要求できます。 別のクローンと同じバックアップの使用 バックアッププロセスを高速化するためにバックアップオプションを選択する場合は、別のクローンからのバックアップを使用します。バックアップが存在しなくなった場合は、代わりにオンデマンドバックアップがトリガーされます。 クローンストレージ 従来のクローンと新しいクローンは別々に保存されます。クローンアドミンコンソールを介して要求したクローンは、新しいテーブルに保存され、新しいコンソール内に表示されます。従来のクローンはクローンアドミンコンソールに表示されません。従来の [クローンを要求] ページから開始されたクローンは、従来のクローン履歴テーブルに保存されます。
クラウドコスト管理 8.0.0	クラウドコスト管理実装の請求に関する問題のトラブルシューティング メトリックベース (Clotho) データを Amazon Web サービス (AWS)、Azure、Google Cloud Platform (GCP) の支出データと比較して、クラウドコスト管理の請求の問題を診断してトラブルシューティングします。また、比較データ

アプリケーションまたは機能	詳細
	を CSV ファイルとしてダウンロードし、両方のソースからのコスト値の不一致を分析することもできます。 AI リソースの消費量に関するインサイトを取得する  AWS、Azure、GCP の現在の請求処理ダウンロードの [機械学習サービス] カテゴリで、AI サービスの合計消費量の詳細を表示します。クラウドカテゴリ、タグカテゴリ、タグ値で結果をフィルタリングすることもできます。
コラボレーションワーク管理	My Work in CWM  CWMタスク、プロジェクトタスク、RIDAC アイテム、アジャイルストーリー、デマンドタスクなどの自分に割り当てられたすべての作業を、統合ダッシュボードビューの [自分の作業] から管理します。 - 自分にアサインされたすべての作業の全体的な進捗状況を追跡し、[概要] タブのさまざまなウィジェットと可視化を使用して、優先度の高いタスクや期限切れのタスクをすばやく特定します。 [リスト] タブから、割り当てられたすべてのタスクをリストビューで表示します。このビューから、ソースアイテムに移動することもできます。リスクが自分にアサインされている場合は、プロジェクトワークスペースの関連する RIDAC ページに直接移動して詳細を確認できます。 - ダッシュボードをフィルタリングして、特定のタスクのみを表示するか、特定の日付範囲のタスクを表示します。 Duplicate a Board in CWM  既存のボードを複製して、情報を手動でコピーすることなくすべてのタスクと協力者の詳細をコピーすることで、時間を節約できます。 - コピーしたボードは、元のボードと同じスペースに追加されます。 - コピーされたすべてのタスクのステータスは、ボードでデフォルトにリセットされます。 - 元のボードのカスタム列は、新しいボードにコピーされます。 Duplicate a Doc in CWM  既存のドキュメントを複製して、情報を手動でコピーせずにすべてのページとコンテンツをコピーすることで、時間を節約できます。コピーされたドキュメントは、元のドキュメントと同じスペースに追加されます。 ボードの自動化で [人] 列のユーザーを追加する  メールを通知および送信するボードの自動化に、CWMタスクの列からユーザーとグループを含めることができるようになりました。たとえば、タスクの優先度が更新されるたびにタスクのアサイニーに通知する自動化を作成できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	ユーザーは、タスクの [アサイン先] 列から動的に選択されます。同様に、[人] タイプのカスタム列を使用して、このような自動化を作成できます。
共通ガバナンス、リスク、コンプライアンス機能	問題グループ化の管理方法  親問題から問題をグループ化して管理するか、グループ問題管理方法を使用して子問題を個別に管理します。管理方法として [親の管理 (Manage parent)] を選択すると、子問題は親問題の [ステータス (State)]、[応答]、および [説明] フィールドの値を継承します。[子の管理 (Manage child)] を選択すると、子問題は独自の [ステータス (State)]、[応答]、および [説明] フィールドを個別に保持します。 この機能の一環として、[問題のグループ化] セクションの問題レコードに次の 2 つの新しいフィールドが追加されました。 • グループレベル：問題が子、親、またはスタンドアロンの問題であるかどうかを識別します。 • 管理方法：問題が親問題から管理されているか、個々の子問題として管理されているかを示します。 問題グループ化の機密性と継承の強化  次の機能強化により、問題のグループ化プロセスを簡素化します。 • 機密親問題の下にのみ機密子問題を追加します。 • 機密または機密でない親問題の下に機密でない子問題を追加します。 • 機密親問題を機密でない問題に変更します。このアクションにより、親問題の下にあるすべての機密子問題が削除され、レコードを保存した後にスタンドアロンの問題になります。 注: 機密でない子問題を、機密でない親問題の下にある機密に変更すると、このアクションにより、機密でない親問題から子問題が削除されます。子問題はスタンドアロン問題になり、親問題にリンクされなくなります。 GRC licensing summary dashboard  セルフサービスの GRC ライセンスの概要ダッシュボードを使用して、ロールの割り当てに基づいて、ライセンス使用傾向と翌月の予測使用状況を追跡します。Integrated Risk Management、事業継続性管理、プライバシー管理など、さまざまな製品ファミリーのライセンス消費の月次集計数を確認できます。次のインフラストラクチャの強化が行われました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 一意のユーザー使用量テーブルのキャパシティを 9 か月から 12 か月に拡張しました。 - ライセンス消費の詳細は 5 年間アーカイブされます。 - ライセンス使用状況の集計された月次カウントが保存されます。 紹介 GRC 従業員ロール 新しい GRC 従業員ユーザー アプリケーションをインストールし、従業員に GRC 従業員ロールをアサインします。GRC 従業員ロールを持つユーザーは、従業員センターから次のアクティビティを実行できます。 - 組織のポリシーを読んで確認する。 - リスクイベントと問題を報告する。 - ポリシー例外を要求する。 - コンプライアンスケースをコンプライアンスチームに報告する。 - コンプライアンスチームに問い合わせや要求を行う。 注: この更新プログラムは、GRC 従業員ユーザーアプリケーションを使用する資格があり、インストール済みのお客様にのみ適用されます。詳細については、サブスクリプションダッシュボードでエンタイトルメントを確認するか、ServiceNow にお問い合わせください。 Lite オペレーターロールの機能拡張 sn_audit.reader ロールと sn_audit.approver ロールが Lite オペレーターロールとして追加されました。これらの新しいロールは、すべてのお客様が利用できます。 GRC 従業員ユーザーアプリケーションと GRC ビジネスユーザー Lite アプリケーションがインストールされている場合、次のオペレーターロールは Lite オペレーターロールとして再分類されます。 - sn_grc.business_user - sn_risk_advanced.ara_assessor - sn_irm_cont_auth.authorization_official - sn_irm_cont_auth.reader - sn_irm_cont_auth.executive_read

アプリケーションまたは機能	詳細
	注: この再分類は、GRC 従業員ユーザーアプリケーションを使用する資格があり、すでにインストールされている顧客にのみ適用されます。詳細については、サブスクリプションダッシュボードでエンタイトルメントを確認するか、ServiceNow にお問い合わせください。 エンティティフィルターの削除または変更警告 警告メッセージが表示されたエンティティフィルターを削除または変更することによる意図しない結果を回避します。このメッセージには、影響を受けるエンティティ、リスク、およびコントロールレコードの影響分析が含まれています。
コンプライアンスケース管理	Regulatory Agency Library 各管轄区域内の特定の業界またはセクターの監督を担当する関連規制当局を特定するための機関の一元化されたライブラリを確立します。一元化されたライブラリは、メールを介したすべての規制コミュニケーションを統合し、報告されたコンプライアンスケースのデータプライバシーまたはセキュリティ違反の通知ルールを実装します。 将来の日付を自動計算 今後の自動計算を設定して、コンプライアンスケースまたは要求を追跡します。
コンフィグレーションコンプライアンス	脆弱性マネージャーワークスペースでのテスト結果の修復プロパティの再評価 テスト結果を条件付きで選択して、Vulnerability Manager ワークスペースの次の修復プロパティを再評価します。 • アサイン • 修復タスク • 修復ターゲット日 • リスクスコア 脆弱性マネージャーワークスペースでテスト結果の一括編集を使用する 複数のテスト結果に対して同時に、またはVulnerability Manager ワークスペースの修復タスクに対して、次のタスクを実行します。 • テスト結果を修復のためにアサイン先グループにアサインします。 • 例外を一括で要求します。 • テスト結果を一括で誤検出としてマークします。 テスト結果の追加情報の入力 [経過時間 (Age)]、[クローズ所要時間 (Age closed)]、[クローズ日 (Closed date)]、[アクティブ (Active)]、[最終

アプリケーションまたは機能	詳細
	オープン日 (Last open date)) 列がテスト結果テーブルに追加されました。 [クローズ済み (Closed)] ステータスでないテスト結果は、[アクティブ (Active)] フィールドで <i>true</i> とマークされます。[すべて] メニュー、[コンフィグレーションコンプライアンス の概要]、[統一 (Unified)]、[サイバーセキュリティエグゼクティブ (Cybersecurity Executive)]、および [健全性 (Health)] の各ダッシュボードで、デフォルトで保存されているフィルターのフィルター条件の [結果] フィールドと [ステータス] フィールドが [アクティブ] フィールドに置き換えられます。 脆弱性マネージャーワークスペースのテストグループの CI コンプライアンスとテスト結果のコンプライアンス  テストグループの CI コンプライアンスとテスト結果のコンプライアンスの割合をVulnerability Manager ワークスペースで表示します。 脆弱性マネージャーワークスペースでの Qualys テストグループのテスト結果インポートの有効化または無効化  Vulnerability Manager ワークスペース の Qualys テストグループのテスト結果のインポートを有効または無効にします。 ロールアップ算出の [ロールアップ重み付け (Rollup weights)] セクションの更新  スクリプト形式以外に、ロールアップ算出の [ロールアップ重み付け (Rollup weights)] セクションに重み付けを追加する別の方法が導入されました。 [検出されたアイテム (Discovered Items)] テーブルのテスト結果のコンプライアンスの割合  CI のテスト結果のコンプライアンスの割合は、検出されたアイテムの [テスト結果のコンプライアンスの割合 (% Test Results Compliance)] 列に入力されます。この値を [テスト結果のコンプライアンスの割合 (% Test Results Compliance)] 列に入力するには、<i>Update remediation metrics</i> スケジュール済みジョブで <i>calcTRComplianceForCI</i> を <i>true</i> に設定します。 コンフィグレーションコンプライアンスのクイックスタートテスト  新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了した後、クイックスタートテストを実行して、コンフィグレーションコンプライアンス が想定どおりに機能していることを検証します。コンフィグレーションコンプライアンス をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
構成管理データベース (CMDB)	CMDB 健全性ダッシュボード  CMDB 健全性ダッシュボードは、UI ビルダー コンポーネントを使用して構築され、CMDB ワークスペースに完全に

アプリケーションまたは機能	詳細
	統合されました。いずれかのビューを選択すると、CMDB ワークスペースで開きます。健全性ダッシュボードは、ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスの最新のルックアンドフィールを備えています CI 健全性は、CMDB ワークスペースの [CI 健全性] タイル内の CI フォームでレポートされるようになりました。 CSDM および CMDB Data Foundations ダッシュボード バージョン 4.0 以降、CSDM および CMDB データ基盤ダッシュボードストアアプリは、UI ビルダー コンポーネントを使用して構築されています。また、CMDB ワークスペースの管理ビューにある管理ツールから CSDM データ基盤ダッシュボードにアクセスできるようになりました。 CMDB 統合ダッシュボード の ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイス CMDB 統合ダッシュボードは、ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスを備えた最新のルックアンドフィールを備えています。Xanadu リリース以降、CMDB統合ダッシュボードは自動的に ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスに移行されます。ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスの詳細については、「Next Experience UI」を参照してください。 のクイックスタートテスト CMDB 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、CMDB が想定どおりに機能していることを確認します。CMDB をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
コンテナ脆弱性対応	脆弱性マネージャーワークスペースでのコンテナ脆弱性一致アイテムの修復プロパティの再評価 コンテナ脆弱性一致アイテムを条件付きで選択して、Vulnerability Manager ワークスペース内の次の修復プロパティを再評価します。 • アサイン • 修復タスク • 修復ターゲット日 • リスクスコア スケジュール済みジョブの処理パフォーマンスの向上 <i>Rollup container vulnerable item values to vulnerability and group</i> スケジュール済みジョブが拡張され、マルチスレッド機能を備えたバックグラウンドジョブを作成できるようになりました。このアップグレードでは、ジョブをいくつかの小さな子ジョブに分割し、並列または同時に実行します。この変更により、複数のレコー

アプリケーションまたは機能	詳細
	ドを同時に処理できるようになり、タスク全体の速度が大幅に向上します。 for コンテナ脆弱性対応 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、コンテナ脆弱性対応 が想定どおりに機能していることを確認します。コンテナ脆弱性対応 をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
Continuous Authorization and Monitoring	CAM ワークスペース エンドツーエンドのユーザーエクスペリエンスのために CAM ワークスペース を使用します。ホームページ、認証境界と認証パッケージの概要ページ、統合タスクページ、およびダッシュボードは、情報をキャプチャし、意思決定に役立つデータに関するより適切なインサイトを提供するのに役立ちます。 CAM ワークスペース には、次のことができる独自の機能が含まれています。 • 関連コントロール目標を追加します。 • NIST 800-53 のコントロール目標のファミリー別にコントロールを表示し、ファミリーに基づいてレポートします。 • アセスメント手順とドキュメントのメモに添付ファイルを追加します。 • すべてのアクション計画とマイルストーン (POA&M) を 1 つのペインに表示します。 CAM は、制御関連情報をエクスポートするための OSCAL 形式をサポートしています SSP ファイルを、SSP、プロファイル、カタログ、カタログオーバーレイなどのさまざまなモデルに基づいて OSCAL 形式でエクスポートします。生成されたレポートは、他のシステムと情報を共有するための互換性があります。CAM は、米国国立標準技術研究所 (NIST) が推奨する OSCAL 形式をサポートしており、制御ベースの情報を機械可読形式で提供します。 CAM ATO アーティファクト 次のレポート用に、認証パッケージから Microsoft Word 形式で ATO アーティファクトを生成します。 • SSP • セキュリティアセスメントレポート (SAR) • POA&M の機能拡張 CAM ユーザーロール

アプリケーションまたは機能	詳細
	CAM アプリケーションの既存のユーザーロールは、次の権限で拡張されています。 - 情報所有者 (sn_irm_cont_auth.information_owner) ロールを使用して、認証パッケージの情報タイプを表示および更新します。 - 監査リーダー (sn_audit.reader) Lite ロールを使用して、エンゲージメントなどの監査関連エンティティを表示します。 - システムユーザーとして問題を作成および管理します。
Core Now Platform	属性を格納するための動的スキーマ 🔗 属性とその値の構造化されたグループを作成し、動的な属性ストアフィールドに保存します。 サーバー側スクリプトでの ECMAScript 2021 (ES12) 機能の使用 🔗 ES5 標準モードまたは互換モードを使用するアプリケーションの個々のスクリプトで、ECMAScript 2021 (ES12) モードでサポートされている最新の JavaScript 機能を使用します。スクリプトのレコードから、[ECMAScript 2021 (ES12) モードをオンにする] を選択します。 ジョブの自動スケジューリングとジョブの手動スケーリング 🔗 Xanadu リリース以降、キュー登録を使用した自動ジョブスケジューリングを選択できます。新しいイベントフォームでキューを選択します。アドミンは、[キューの詳細] フォームで必要に応じてスケールアップまたはスケールダウンすることで、キューレベルで実行されるジョブの数を手動で定義することもできます。 既存のシステムイベントアプリケーションのメッセージ処理フレームワークへの移行 🔗 既存のシステムイベントキューをメッセージ処理フレームワークに移行します。キューを以前の構成にロールバックすることもできます。 ジオポイント関数 🔗 経度と緯度の列をジオポイントフィールドに変換します。ジオポイントフィールドまたは有効な数値や列を、緯度と経度の列または値に変換します。 システムイベントとスケジュール済みジョブの機能拡張 🔗 処理フレームワークのキューに関連付けられているジョブの数を示すシステムイベントダッシュボードの新しい [アクティブジョブ] タイルを試してください。[スケジュール済みジョブ] ダッシュボードの新しい [スタックしたジョブ (Stuck Jobs)] および [永続的エラージョブ (Permanent Error Jobs)] タイルを使用して、完了したジョブの詳細を確認することもできます。
クリエイタースタジオ	トピックとフォームの関連付け 🔗

アプリケーションまたは機能	詳細
	フォームの設定にトピックを追加して、ユーザーが関連するトピック別にフォームを参照できるようになりました。 質問をプロセストリガーとして使用する  アプリのフォームから公開された質問の 1 つをプロセスのトリガーとして選択できるようになりました。たとえば、ユーザーがアプリのフォームで好きな色に関する返信として「青」を選択した場合、自動プロセスのトリガーとして「青」を指定できます。 自動化の新しいメール送信アクティビティ  プロセスを作成するときに、指定した条件が満たされた場合にアプリの自動化で自動的にメールを送信できるようになりました。 質問セットを使用したキュレーションされた質問のフォームへの追加  フォームを作成するときに、開発者は事前設定された質問セットから選択できるようになり、詳細を気にせずにキュレーションされた質問を選択できるようになりました。アドミンは Now Platform で質問セットを作成し、質問セットをクリエイタースタジオで編集することはできません。
カスタマー契約とエンタイトルメント	サービス契約とエンタイトルメントのワークフローの拡張  契約レコードを通じて対象製品を直接追跡し、対象の変更と可視化を容易にします。対象製品とは、サービス契約に含まれる特定の製品または注文品目を指します。これらの品目は契約にリンクされ、サービスまたはメンテナンスの対象を定義します。注文管理のエージェントは、契約オフリングの注文がキャプチャされたときに、契約の対象となる製品を選択できます。
データ管理	データ管理ポリシー  テーブルに設定したデータ管理ルール of 全体像にアクセスします。 1 つのテーブルでの複数のアーカイブルールのサポート  データ管理ポリシーを使用して、単一のテーブルに対して複数のアーカイブルールを作成します。 テーブルクリーナーのパフォーマンスの改善  テーブルクリーナーを使用して、古いレコードをより効率的に自動的に削除します。 データ管理使用状況ダッシュボード  インスタンスのストレージ消費量のサマリーを表示し、インスタンスで最も多くのデータを消費している上位 10 個のテーブルを監視します。
CSM のデータ管理	コンシューマーとしてのユーザーと従業員の統一  統一されたコンシューマー (sn_customerservice.unified_consumer) ロールをサポートするために、ケースタイプ 注文管理や フィールドサービ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ス管理 (FSM) 統合などの追加機能とワークフローを更新します。 組織間サポート  エージェントがサポートする事業所を可視化して、問題を効率的に解決できるようにします。履行サービス組織にアサインされたエージェントに、サポートしているすべての要求サービス組織のケース、インストールベースアイテム、販売済み製品、およびメンバーの詳細へのアクセス権を提供できます。 履行者としての外部事業所  パートナー、外部代理店、フランチャイズなどの外部事業所が、店舗関連の問題に関する顧客ケースを履行できるようにします。 アサイン先グループと事業所の関連付け  グループを内部または外部の事業所に関連付けます。これは一対多 (1:M) の関係であり、1 つ以上のアサイン先グループを 1 つの事業所に関連付けることができます。 インストールベース階層の可視化  CSM 構成可能ワークスペースの [インストールベース階層] タブを使用して、インストールベースアイテムの階層全体を表示します。階層の複数のノードを展開して、インストールベースアイテムのケースを作成できます。
ワークフロースタジオの意思決定テーブル	フローでのディシジョンテーブルの作成  フローでディシジョンテーブルを直接作成し、フローの入力を使用して意思決定をすばやく追加します。 サブフローでのディシジョンテーブルの作成  サブフローでディシジョンテーブルを直接作成し、フローまたはサブフローの入力を使用して意思決定をすばやく追加します。 プレイブックでのディシジョンテーブルの作成  ディシジョンテーブルをプレイブックに直接追加し、[意志決定] - [最初の一致] アクティビティを使用して複雑なビジネスロジックを管理します。プレイブックからの入力を追加し、ディシジョンテーブルの結果に基づいて他のアクションを管理します。 ディシジョンテーブルの行のランク付けおよび並べ替え  ディシジョンテーブルで行を並べ替えて、意思決定ルールが評価される順序を決定または変更します。[ランク] 列に新しい値を入力すると、意思決定行の順序を簡単に変更できます。
DevOps Change Velocity (DevOps チェンジベロシティ)	SOW アドミンセンターでの変更管理  サービスオペレーションワークスペース アドミンセンターから変更管理機能を構成して、変更効率を高め、変

アプリケーションまたは機能	詳細
	更承認を迅速化し、データ駆動型のリスク分析を推進し、DevOps データを変更の自動化に活用します。
デジタルエンドユーザーエクスペリエンス	DEX インサイト  DEXデータを使用して、デバイスのパフォーマンス、ユーザーの操作、ネットワークの状態の全体像を確認します。DEXインサイトは、明確なインサイトを含む簡素化されたビューを提供するため、速度が低下する前に問題と解決策を特定できます。 統合: ServiceNow プロアクティブエンゲージメント  物事を円滑に進め、中断を避けます。DEXとServiceNow プロアクティブエンゲージメントとの統合により、デジタルエクスペリエンスの管理がよりスムーズになります。デバイスとアプリを監視し、潜在的な問題に関するアラートを送信し、それらの修正をガイドします。 デスクトップアシスタント による Now Assist  デスクトップアシスタントを使用して個別に問題のトラブルシューティングと解決を行います。これにより、分かりやすいインターフェイスで生成 AI に直接アクセスできます。 アクションとアクションライブラリ  DEXのアクションとアクションライブラリを使用して、デジタルエクスペリエンス環境内の問題解決を自動化および簡素化します。事前に構築されたソリューションを使用し、自動化されたアクションを設定して、問題を効率的に解決できます。
Digital Portfolio Management (デジタルポートフォリオ管理)	Use the Admin Center in Digital Portfolio Management  DPM アドミンセンター ガイド付きウォークスルーを使用して、DPM ワークスペースを設定します。このアドミンセンターは、DPM で表示する準備ができていないインスタンス内のデータを特定するためのガイドです。提供された提案を使用して、そのインスタンスの DPM ワークスペースをセットアップおよび構成します。たとえば、計画立案データがインスタンスで使用されていない場合、DPM アドミンセンターが [計画] タブを非表示にする方法を示します。また、DPM アドミンセンターには、サービス、アプリケーション、およびポートフォリオを作成または編集するための適切なテーブルへのリンクもあります。DPM アドミニストレーターがDPM アドミンセンターに対して実行できるその他のタスクを次に示します。 - ワークフローを使用して、ソリューション (サービス、サービスオフリング、ビジネスアプリケーション、およびアプリケーションサービス) を特定して設定します。ガイド付きウォークスルーには、DPM に対する各ソリューションのデータの準備状況に関する分析情報が含まれています。 - 設定ページにアクセスし、提供されたシステムプロパティを使用して DPM ワークスペースを構成します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- ソリューションページヘッダーと [情報] タブの [一般情報] セクションを構成します。 - KPI グループをソリューションにマッピングして、DPM ワークスペースで測定基準を表示します。 - 役に立つリソースへのリンクを使用します。 - 実装を支援するために、一般的な質問のリンクを参照してください。 - その他のセットアップタスクについては、プロンプトに従います。 View relationship maps in Digital Portfolio Management ServiceNow プラットフォーム統一マップを使用すると、サービスとアプリケーションの関係をより包括的かつ包括的に把握できます。統一マップはカスタム DPM 関係マップに置き換わりますが、引き続き DPM ワークスペースのコンテキストで統一マップにアクセスします。プラットフォームマップの詳細については、「Unified Map」を参照してください。 Update KPIs in Digital Portfolio Management - ベースシステムによって提供される KPI インジケータの説明を更新します。ソリューションレコードの KPI インジケータは、パフォーマンスアナリティクス (PA) から取得されます。DPM ワークスペースでは、ソリューションインジケータカードのツールヒントを選択して、インジケータデータを明確にする説明を表示できます。説明はベースシステムに付属していますが、アドミニストレータは組織に合わせて説明を更新できます。 2024 年 6 月リリース以降では、新規および zBoot のお客様の [KPI の最新スコア (KPI latest score)] システムプロパティが true に設定されます。 Work with Needs attention panels in Digital Portfolio Management [要注意] 属性に問題 (PRB) レコードが追加され、次のソリューションの問題を特定できるようになりました。 - サービスとサービスオフリング。問題は、フォームのサービスオフリングレコード、[影響を受けるサービス] 関連リスト、および [影響を受ける CI] 関連リストを介して、サービスオフリングに関連付けられます。その後、問題は親サービスにロールアップされ、親サービスレベルで重複排除する必要があります。 - ビジネスアプリケーション。問題は、フォームの構成アイテム (CI) フィールドを介してアプリケーションサービスに関連付けられます。その後、問題はアプリケーションサービスからビジネスアプリケーションにロー

アプリケーションまたは機能	詳細
	ルアップされ、親サービスレベルで重複排除する必要があります。 ○ アプリケーションサービス。問題は、フォームの構成アイテム (CI) フィールドを介してアプリケーションサービスに関連付けられます。 ● 各ソリューションの [DPM 連絡先] タブのチームロジックを更新しました。[要注意] パネルの横にある [連絡先] アイコン () を選択すると、レコードをサポートする複数のチームが [チーム] タブに表示されます。複数チームのアサインは、DPM ワークスペースでチームを表示できるように サービスポートフォリオ管理 に追加された既存のプラットフォーム機能です。プラットフォーム機能の詳細については、「Teams related list」を参照してください。
米国の規制の異議申し立てコンテンツパック	Reg E および Reg Z の設定可能な SLA 定義 Reg E および Reg Z の SLA 定義を構成して、異議申し立てエージェントがケースを効率的に管理し、マネージャーが進捗状況を監視してタイムリーなアクションを実行できるようにします。 異議申し立てマネージャーと異議申し立てエージェントのランディングページの機能強化 異議申し立てマネージャーと異議申し立てエージェントの両方のランディングページで、既存のタブ [デビットカード異議申し立てケース (Debit card disputes cases)] および [誤った請求によるクレジットカードケース (Credit card cases under incorrect billing)] の [SLA 違反] と [リスクのある SLA] を変更しました。
Mastercard の異議申し立てルールコンテンツパック	異議申し立てアンケートテーブル カード名義人が Mastercard 固有の異議申し立ての異議申し立てプロセスの早い段階で関連データを収集できるように、堅牢な一連の質問を使用することで、データ品質を向上させます。 ディシジョンテーブル このアプリケーションに含まれているディシジョンテーブルの適格性ルールに照らして Mastercard トランザクションの詳細とアンケートの回答を検証することで、異議申し立て処理を簡素化します。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	描画ツールの機能強化 描画ツールを使用してドキュメント領域を選択し、情報を抽出することで、単一のフィールドからデータを抽出します。 データ正規化 次の改善により、ドキュメントから抽出されたデータを標準化します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 日付フィールドと数値フィールドのあいまいな値のデフォルトの解釈を決定します。 - 抽出されたフィールド値を、参照テーブルレコードのフィールドと照合するための参照フィールドタイプを作成します。 アドミンエクスペリエンスのダッシュボード  ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) モニタリングダッシュボードでドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の全体的なパフォーマンスを監視します。ユースケースパフォーマンスダッシュボードで、ユースケースレベルでパフォーマンスを監視します。 ドキュメント分類統合ワークフロー  ドキュメント分類ユースケースをカスタムアプリケーションまたはワークフローと統合します。
ドキュメントサービス	ドキュメント管理：外部コンテンツプロバイダーとの統合  Microsoft OneDrive、Microsoft SharePoint、または Google ドライブのドキュメントでコラボレーションを行います。 機密データの編集  構成可能なワークスペース用にドキュメント内の機密情報を編集します。
ドキュメントテンプレート	PDF での署名日  参加者がドキュメントに署名すると、日付が自動的に記録されます。[署名日の使用] オプションを選択すると、日付は PDF ドキュメントの PDF テンプレートマッピングレコードの [フィールド名] フィールドで指定したフィールド内に表示されます。この機能は、ServiceNow 署名タイプでのみ使用できます。
ESG Management	スコープ 3 排出量を追跡する  スコープ 3 ダッシュボードを使用してスコープ 3 排出量を追跡し、組織の環境への影響を完全に把握して管理します。これらの排出量は、間接的な発生源に由来する温室効果ガス排出量の大部分を占めています。この包括的な理解は、規制コンプライアンスと、カーボンフットプリントの完全な開示の取得に役立ちます。スコープ 3 の排出源を特定したら、間接的な排出の最大の排出源を軽減するための措置を講じることができます。 ESG Content Accelerator で排出係数を表示  ESG Content Accelerator を使用して、標準ソースによって公開されている排出係数を自動的に取得します。排出係数は、活動、材料、またはエネルギー消費の単位あたりに生成される排出量を定量化する係数です。これらは、さまざまな活動に基づいて大気中に排出される温室効果ガス (GHG) または汚染物質の量を計算するために重要です。

アプリケーションまたは機能	詳細
	会計カレンダーを作成して、地理的なさまざまな場所から測定基準を収集する 🔗 標準のグレゴリオ暦とは異なる可能性がある会計カレンダーに従って、データを収集、アグリゲート、およびレポートします。多くのグローバル組織は、独自の会計カレンダーに従ってさまざまな国で事業を展開している可能性があります。この機能により、他の場所のエンティティは、独自の会計カレンダーに従ってデータを収集できます。 測定基準の承認フローの選択 🔗 測定基準と測定基準定義に簡単な承認フローを使用するか、GRC：承認コンフィギュレーター を使用してビジネスルール定義に基づいて複数レベルの承認を定義するように、sn_esg.metric_approval プロパティを設定します。このプロパティには 2 つの選択肢があります。 [シンプル] オプションを選択すると、手動測定基準の定義フォームと測定基準の両方で [承認] セクションが有効になります。このセクションを使用して、測定基準の定義フォームで承認者を直接指定することができます。このオプションの承認レベルは 1 つです。 [詳細] オプションを選択すると、手動測定基準の定義フォームおよび測定基準内で [承認] セクションが使用できなくなり、そこに承認者をアサインできなくなります。代わりに、GRC：承認コンフィギュレーター アプリケーションで承認条件、テーブル、および承認者を設定することで承認を取得できます。このアプリケーションでは、複数レベルの承認を定義することもできます。 Create ad hoc metric data tasks 🔗 アドホック測定基準データタスクを作成して、既存の測定基準の定義と測定基準に関する最新情報のオフサイクル要求を処理します。これらのタスクは、オフサイクルの要求に対応し、最新情報を提供します。 Metric data table 🔗 測定基準データテーブルの拡張フィルターを使用して、タスクをフィルタリングします。フィルターは、データ所有者と承認者に関連するオープンタスクのみを表示するのに役立ちます。 すべての資産のエネルギー使用量と排出量を特定 🔗 持続可能な IT ダッシュボードを使用して、特定のカテゴリ内のモデルを探索し、各資産モデルとそのすべての資産のエネルギー消費量を降順で表示します。この機能により、エネルギー使用量に関するより深いインサイトが得られ、使用中のモデルや最もエネルギーを消費しているモデルを特定するのに役立ちます。
労務 (ER)	Create an allegation record for HR Service Delivery Employee Relations in the legacy UI or Agent Workspace 🔗

アプリケーションまたは機能	詳細
	対象者が 1 人の 労務 (ER) ケースの場合、関連するケースタブの [申し立ての対象] フィールドには、対象者の名前が自動的に入力されます。 Create an HR Service Delivery Employee Relations case using the legacy UI 🔗、Create an HR Service Delivery Employee Relations case using Agent Workspace 🔗、Anonymously report discrimination 🔗 コア UI のケース作成 HR サービスデリバリー (HRSD) HR ケース管理のエージェントワークスペース、または匿名レポートセンター (ARC) ポータルを使用して、特に差別に関連するケースを作成します。
暗号化キー管理	コード署名のロールと管理機能に利用可能な新しいプラグイン 🔗 新しいロールと管理機能にアクセスするには、プラグインを有効にします。新しいプラグインは、署名移行ジョブ、新しいコード署名ロール、および新しいコード署名管理ページを作成します。
エンタープライズアーキテクチャ (旧称アプリケーションポートフォリオ管理)	Exploring Enterprise Modeling and Visualization in the EA Workspace 🔗 エンタープライズアーキテクチャワークスペースのエンタープライズモデリングと可視化機能を使用して、アプリケーション階層の図を作成します。図をアーキテクチャアーティファクトに関連付け、ビジネスに合わせて IT の将来の状態モデリングを計画できます。モデリング図を作成すると、ステークホルダーが組織の複雑さを理解するのに役立ちます。Enterprise Modeling and Visualization を使用して、次のタスクを実行します。 • 使用可能な形状を使用してモデリング図を作成および更新します。 • [図を作成] メニューオプションを使用して、[ビジネスアプリケーション] ビューからダイアグラムを作成します。 • 図形を追加し、図形間の関係を作成します。 • 図形に関連レコードを追加します。 • 図形、リレーションシップ、および図全体をリポジトリに同期します。 • キャンバスから図形を削除します。 • 図の作成時にアーキテクチャカテゴリを選択します。 • 図を他のユーザーまたはグループと共有し、図のアクセスレベルを定義します。 • 既存の図を複製するか、新しいバージョンを作成します。 • 新しい一般的な図形が追加されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• ドラフト図を保存し、承認のために送信します。 • ロール、ユーザー、およびグループの エンタープライズ モデリングと可視化 メニューアイテムのアクセス権を設定します。 技術ポートフォリオ TRM カタログページを使用して、TRM 製品または TRM 製品ライフサイクルを要求または追加します。カテゴリと製品名でグループ化された TRM 製品を表示します。 デジタル統合とインターフェイスの機能強化 • デジタル統合またはデジタルインターフェイスに関連付けられた情報オブジェクトと SDLC コンポーネントを表示します。 • デジタルインターフェイス、デジタル統合、およびビジネスアプリケーションにアサインされた認証情報を表示します。 • デジタル統合のプロバイダーデジタルインターフェイスに対して、プロバイダービジネスアプリケーションの代わりにプロバイダー会社を設定します。 ポートフォリオセクションの機能拡張 ポートフォリオセクションが再構築され、新しいモジュールと機能が追加されました。新しい構造は次のとおりです。 • ビジネスアーキテクチャ ◦ 事業部門 ◦ 部門 ◦ ゴール ◦ ビジネスケイパビリティ ◦ ビジネスプロセス ◦ デマンド • アプリケーションポートフォリオ ◦ ビジネスアプリケーション ◦ アプリケーションサービス ◦ デジタル統合 ◦ デジタルインターフェイス • 技術ポートフォリオ ◦ 検出済みテクノロジー ◦ 技術リスク ◦ TPM ログ ◦ テクノロジー参照モデル製品 ◦ 技術的負債

アプリケーションまたは機能	詳細
	• 情報ポートフォリオ ◦ データドメイン ◦ 情報オブジェクト ◦ アーキテクチャアーティファクト ◦ Architectural Artifact Versions (アーキテクチャアーティファクトのバージョン) ◦ 図 • 自分のエンティティ ◦ 自分のビジネスレイバビリティ ◦ 自分のビジネスプロセス ◦ 自分のビジネスアプリケーション ◦ 自分のアプリケーションサービス ◦ 自分の情報オブジェクト ◦ 自分のアーキテクチャアーティファクト ◦ 自分のテクノロジー参照モデル製品 ◦ 自分のデジタル統合 ◦ 自分のデジタルインターフェイス セットアップセクションの機能拡張 Enterprise Modeling and Visualization の構成は次のとおりです。 • 形状ライブラリ • モデリングメニューオプション • エンティティ • 関係性 Connect a digital interface with the CMDB API in the EA Workspace デジタルインターフェイス関連リストから、デジタルインターフェイスと CMDB API の間の関係を作成します。どのデジタル統合がどの API を使用しているかを確認します。展開されている環境を検索し、展開された API をグループ化します。 Working with the Enterprise Architecture Workspace dashboard 次のウィジェットは、エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードの [TCO] タブで利用できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• TCO スコア別のビジネスアプリケーション • FY:Q (現在の四半期) の原価費目で予定されている処分別のビジネスアプリケーションの総所有コスト (TCO) • FY:Q (現在の四半期) のコストが最も高い上位 10 件のビジネスアプリケーション
Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理)	調整属性を使用して、エンタープライズ資産に必要な調整を定義します 🔗 調整属性を使用して、エンタープライズ資産に必要な調整を定義します。キャリブレーション頻度、キャリブレーション品質基準、精度測定ガイドラインなど、各キャリブレーションの詳細と要件を指定します。各キャリブレーションの包括的で最新の記録を維持することで、エンタープライズ資産のパフォーマンス、安全性、寿命を向上させることができます。 作業指示によるエンタープライズ資産のキャリブレーションのスケジュールと追跡 🔗 作業指示を使用して、エンタープライズ資産のキャリブレーションのスケジュール、実行、および進捗状況の追跡を行います。ServiceNow インスタンスまたは ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションのガイド付きプレイブックエクスペリエンスを使用して、対応する作業指示タスクを表示および管理します。 医療および施設管理業界向けにカスタマイズされたワークスペースとロールを使用する 🔗 カスタマイズされたワークスペースで医療および施設の資産とモデルを作成および管理することで、組織内のデータセキュリティを強化します。特定のロールを使用してこれらの資産とモデルへのアクセスを制限し、データの機密性と整合性を向上させます。 修理フローを使用したストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産の修理の管理 🔗 修理フローを使用して、欠陥のある資産または修理待ちの資産の修理を要求します。エンタープライズ資産マネージャーは、エンタープライズ資産ワークスペースで、またはサービスカタログを使用して、資産修理要求を送信できます。修理フローには、トラブルシューティング、修理、および評価のタスクが含まれています。修理注文は、エンタープライズ資産ワークスペースアプリケーションまたは ServiceNow モバイル モバイルエージェントアプリケーションのいずれかで処理されます。 ストックルームでの資産の納品と受領 🔗 納品タスクを作成して、個人のストックルームにある資産を別のストックルームに返却します。宛先ストックルームの資産マネージャーは、受領タスクを通じて納品された資産を受領します。その後、資産マネージャーは受領した資産を検証し、納品タスクをクローズします。 ストックルーム内のインベントリ集荷を管理する 🔗

アプリケーションまたは機能	詳細
	ストックルームの集荷タスクを有効にすると、調達、エンタープライズ資産要求、エンタープライズ資産リフレッシュのワークフローで、ストックルーム内の資産を簡単に集荷できます。タスクには、ストックルームから集荷する必要がある資産が一覧表示されます。資産の通路とスペースの詳細により、資産を集荷する正確な場所が示されます。ServiceNow モバイル モバイルエージェントアプリケーションを使用して、自分にアサインされた集荷タスクを処理できます。インドアマッピング機能を使用すると、ServiceNow モバイル モバイルエージェントアプリケーションでストックルーム内の資産の場所への道順を取得することもできます。 Enterprise 資産ワークスペースから作業計画管理アプリケーションの機能にアクセスする フィールドサービス管理 (FSM) Pro または フィールドサービス管理 (FSM) Enterprise のユーザーが、作業計画管理アプリケーションの機能を利用して、Enterprise 資産ワークスペース内から作業計画を管理できるようにします。 ワークスペースで運用資産を効率的に管理する すべてのオペレーショナルテクノロジー (OT) および運用機器 (OE) 資産を包括的に把握し、OT 資産ワークスペースで効率的に管理します。OT 資産マネージャーと OT 資産技術者のロールにより、これらの資産を管理できます。 でのエンタープライズモデルの階層の詳細の表示 エンタープライズ資産ワークスペース モデルフォームのコンテキストサイドバーでエンタープライズモデルの階層の詳細を直接可視化できます。事前に組み立てられたモデルとユーザーによって組み立てられたモデルのすべてのモデルコンポーネントをツリー状形式で表示できます。 エンタープライズモデルのライフサイクルを効率的に管理 計算されたモデルライフサイクルテンプレートを適用することで、エンタープライズモデルの完全なライフサイクルを効率的に管理します。ライフサイクルテンプレートをエンタープライズモデルレコードに関連付けると、すべてのライフサイクルフェーズの詳細が計算され、モデルフォームに表示されます。 複数の資産をオンボーディングするプロセスを直接開始する エンタープライズ資産ワークスペース エンタープライズ資産ワークスペースでオンボーディング注文を作成して、複数の資産を一度にオンボーディングします。資産オンボーディングプレイブックは、展開アクティビティを含むガイド付きエクスペリエンスです。このアクティビティでは、Enterprise 資産展開タスクまたは作業指示タスクを使用して、資産の展開タスクを作成できます。資産を展開する場所を指定することもできます。
イベント管理	アラート関連アルゴリズムのデフォルトの順序をカスタマイズ

アプリケーションまたは機能	詳細
	必要に応じてカスタマイズして、アラート関連アルゴリズムのシーケンスを構成します。 チームベースのアラート管理ルールを作成  指定されたグループにアサインされているアラートのみが実行されるように、アラート管理ルールを特定のアサイン先グループにアサインします。 チーム別にタグベースのアラートクラスタリング定義を作成  タグベースのアラートクラスターを特定のグループにアサインすることで、アラートグループにアサインされたアラートに対してのみタグクラスターを作成します。 アラートアサイン先グループ全体でアラートグループを制限する  さまざまな要件に従ってアラートをグループ化することで、アラート関連の精度と関連性を向上させます。 アラートグループ作成のためのスケールアウト  アラートグループジョブをスケールアウトすることで、アラートの多いトラフィックのときにジョブを実行する際の効率を確保します。 View unified service map and the impact paths in Service Operations Workspace  サービスに対する影響度をすばやく評価できるように、アラートの影響を受けたパスに焦点を当てるように設計された、サービスオペレーションワークスペースの更新されたサービスマップを確認します。マップには、アラートステータスに関係なく、最大 60 個の構成アイテム (CI) を持つサービスのすべての CI が表示されます。アラートのある CI が 60 件を超えるサービスには、最も重大な最新のアラートのパスが表示されます。また、サービストポロジのより広範なビューを調査することもできます。サービスマップには、サービスオペレーションワークスペースから直接アクセスするか、Express List のプレビューパネルまたは影響を受けるサービスからアクセスします。 Express List のアラートに対して一括アクションを実行  アクティブなアラートリスト内の最大 1,000 件のアラートに対して同時にアクションを実行します。 Express List のアラートグループからアラートを削除する  [Express List] ペインまたはプレビューパネルで、アラートグループからセカンダリアラートを直接削除します。 Express List のプレビューパネルとリンクビューでクローズ済みアラートを非表示にする  クローズ済みアラートを非表示に切り替えて、プレビューパネルと Express List のリンクビューにオープンアラートのみを表示します。 View data on impacted services on the preview panel in Express List  Express List のプレビューパネルとリンクビューで影響を受けるサービスに関する情報を表示し、パネルから直接サービスマップと Metric Explorer を開きます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	Create an incident with Now Assist in Express List 構成アイテムと影響を受けるサービスの詳細を含む生成 AI によって作成されたサマリーを使用して、Express List のアラートからインシデントを生成します。
フィールドサービス管理 (FSM)	スケジュール最適化機能 スケジュール最適化 を使用して次のタスクを行います。 - ポリシーを作成するときは、SLA コンプライアンスバッファの最大化、タスク時間のペナルティの最小化、優先エージェントのアサインの最大化 などの新しい目標を使用します。 - テリトリユーザーの 1 日の開始時刻と終了時刻を定義し、実際のエージェントの場所に基づいて移動時間を計算することでスケジュールの精度を向上させます。 - 既成のバンドルをスケジュールして、類似のタスクをまとめます。 - 非同期処理により、beans.ai 移動見積もり処理時間を短縮します。 - フィールドサービス管理 (FSM) スケジュールのヘルスダッシュボードにアクセスして、タスク測定基準、技術者測定基準、および最適化構成の詳細を表示します。 - 作業指示タスクの選択したフィールドをディスパッチャーが編集できるようにすることで、ディスパッチャーがスケジュール最適化の動作に影響を与えることができるようにします。ディスパッチャーは、作業指示タスクパラメーターを上書きし、技術者設定を追加して、残業を許可することができます。 フィールドサービステリトリキャパシティアナリティクスダッシュボード フィールドサービステリトリキャパシティアナリティクスダッシュボードは、次のタスクに使用します。 - インタラクティブなチャートとグラフを使用して、全体的なデマンドと割り当て済みキャパシティ、および時間の経過に伴うキャパシティの使用状況など、キャパシティの傾向を追跡します。 - カスタマイズ可能なピボットテーブルビューを使用してキャパシティギャップ分析を実行します。これにより、テリトリ別およびデマンドチャンネル別にデータを探索できます。 - フィルターを適用してセットアップに基づいて特定のデータを表示すると、ターゲットを絞った分析と情報に基づいた意思決定が可能になります。 エージェントの再配置 次のタスクを実行して、エージェントを管理します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• 特定の期間、エージェントをあるテリトリーから別のテリトリーに再配置します。 • 宛先テリトリーの正確な選択を容易にし、各エージェントが最適な場所に配置されるようにします。 • 改善されたスケジュール計画により、リソースの可用性とタスク要件を一致させます。これにより、タスクの実行が最適化され、スケジュールされていない作業に効率的に対処します。 • 一時的なリソース再配置の処理を簡素化することで、手動によるオーバーヘッドを最小限に抑え、手動による追跡プロセスを回避します。 柔軟な作業場所でエージェントの運用を最適化  次のタスクを実行して、エージェントの柔軟な作業場所を追加します。 • エージェントが 1 つの場所で 1 日を開始し、別の場所で終了するように、異なる 1 日の始業時刻と終業時刻の場所を定義して、運用に柔軟性を持たせます。 • 特定の期間中のデフォルトの動作を上書きする例外を実装することで、柔軟性を高めます。 • エージェントの開始場所と終了場所に基づいて移動時間を計算することで、スケジュールリングの精度を向上させます。 の営業機会 Now Mobile エージェントアプリ  フィールドサービス技術者が Now Mobile エージェントアプリケーションで次の操作を実行できるようにします。 • フィールドサービス訪問中に顧客の場所から直接販売機会を作成します。 • データにアクセスして、営業案件を表示、検索、フィルタリングします。 ディスパッチワークスペース  ディスパッチワークスペースを使用して、次のタスクを実行します。 • 複数のタイムゾーンを表示して、複数の場所で作業指示タスクに対応可能なエージェントを表示します。 • スケジュールされていないタスクに対して考えられるすべてのスケジュールオプションについてインテリジェントなガイダンスを受け取ります。エージェントとタスクの一致率、距離などに基づいて、スケジュールリングオプションをランク付けします。 • シフト外のエージェントを非表示にして、ディスパッチャーがその時点でタスクに対する準備ができているエージェントに集中できるようにします。 バンドルされたタスクの Beans.ai マップ統合

アプリケーションまたは機能	詳細
	Beans.ai を使用してバンドルされたタスクのルートを最適化します。 予約の機能強化  予約の拡張構成を使用して、次のタスクを実行します。 - 作業指示タスクを予約します。 - 選択した構成に応じて、予約を再スケジュールするときにリードタイムを計算またはスキップできるようにします。 - 予約のリードタイム計算時に休日 considers。 フィールドサービスマーケットプレイスの機能強化  - タスクをマーケットプレイスにプッシュし、マーケットプレイス要求を自動的に作成し、指定した基準に従って適格な請負業者をリスト化するプロセスを自動化します。 - タスクフィルターを設定して、マーケットプレイスの対象となる作業指示タスクを特定します。 [プログレッシブプッシュ] チェックボックスを使用して、ランク付けに基づいて適格な請負業者にマーケットプレイス要求を増分プッシュします。 [応答評価フロー] フィールドを使用して、契約社員の応答を評価し、最低コストの請負業者にタスクを自動的に割り当てます。 Field Service Quality Management  フィールドサービス品質管理 を使用して次のタスクを行います。 - 完了前に作業指示タスクの品質とデータをレビューします。 - レビューされ、詳細を求めて返送された作業指示に対処します。 - 技術者にフィードバックを提供し、レビュープロセス中に必要に応じて連絡します。 人員の拡張  人員の拡張構成を使用して、次のタスクを実行します。 - すべてのペルソナにアクセス権を拡張し、ロールに関係なくすべてのユーザーが自分のカレンダーを表示できるようにします。 - グループとテリトリーのカレンダーの可視性を有効にする設定を構成し、作成エージェントは、フィールドサービスのワークフォース最適化 が有効になっていない場合に、グループ内またはテリトリー内のメンバーのリストとカレンダーを表示できます。 - エージェントが自分自身のパーソナルイベントを作成できるようにします。 複数の作業構成 

アプリケーションまたは機能	詳細
	インストール、修理、障害修理、メンテナンスなど、複数の作業タイプの構成を作成します。 - さまざまな作業タイプの作業構成を設定し、指定された事業部門または部門に関連する作業タイプとフローが表示されるようにします。 - 複数のワークフローをサポートする サービス管理 構成 (SM 構成) を作成します。 - 作業指示タスクテーブルを拡張して、さまざまな作業タイプに対応します。
ファイナンシャルサービスカードオペレーション	異議申し立て用プレイブックの機能拡張  これらの機能拡張により、カード所有者は次のことが可能になります。 - 異議申し立てを行う金融口座とトランザクションを選択して、ポータルから直接異議申し立てを開始します。 - 分かりやすい異議申し立てポータルインターフェイスにより、異議申し立ての開始と追跡のプロセスを簡素化します。 - ポータルのアンケートを通じて異議申し立てに関する詳細情報を収集します。 - カード名義人が関連ドキュメントを異議申し立てケースに添付できるようにします。 - ポータルの異議申し立てトラッカーを通じて、ケースに関する最新情報をリアルタイムで受け取ります。 - ポータルから異議申し立てを送信してレビューページを表示します。エージェントはレビューページで、調査のために送信する前に、必要に応じてケースの詳細を確認および変更できます。
ワークフロースタジオのフロー、サブフロー、およびアクション	読み取りアクセス権を持つユーザーが実行の詳細で表示できる内容を制御する  読み取りアクセス権を持つユーザーが実行の詳細で表示できる内容を制御するユーザーロールを付与します。読み取りアクセスを基本的な実行の詳細のみに制限するには、ユーザーに既存の <code>fd_read_operations</code> ロールを付与します。すべての実行の詳細への読み取りアクセスを許可するには、ユーザーに新しい <code>fd_read_operations_all</code> ロールを付与します。 フロー生成で使用するテキストの向きの注釈を表示  フロー生成によって追加された各アイテムに使用されるテキストの向きの注釈を表示します。向きが特定のアクション、フローロジック、およびサブフローにどのようにマッピングされているかについてフィードバックを受け取ります。 フロー、サブフロー、およびアクションに署名する  任意のフロー、サブフロー、またはアクションに署名して検証します。

アプリケーションまたは機能	詳細
医療向け HR サービス デリバリ	Healthcare Professional data model  医療従事者データモデルを使用して、診療所名、学位、診療場所など、医療従事者に関する機密データを保存します。医療従事者データモデルを使用すると、組織は医療従事者の雇用期間を通じて医療プロフィール情報にアクセスし、追跡し、更新することができます。プロフィールレコードは機密情報として保存され、公開されることはありません。 Customize Healthcare Employee Onboarding workflow  ジャーニーデザイナー のデフォルトの医療従事者オンボーディングワークフローを使用して、医療機関で新規雇用された医療従事者の次のタスクを設定して自動化します。 - 医療従事者のプロフィールとメールアカウントを自動作成します。 - 医療従事者に必要なフォーム入力タスクを自動的に開始します。 - HR エージェントの認証情報と検証タスクを自動作成して、エージェントが医療専門家から送信された情報をレビューおよび検証できるようにします。
ハードウェア資産管理 11.0.0	による資産および資産管理サービスの提供 Device as a Service 機能  サブスクリプションモデルを通じて、DaaS プロバイダーの顧客に資産および資産管理サービスを提供します。 ゼロタッチ要求フローを使用してハードウェア資産要求を管理する  ゼロタッチでリフレッシュフローを使用し、外部ベンダーを介してハードウェア資産要求を履行します。従業員がゼロタッチ要求フローに関連付けられたハードウェアカタログアイテムの要求を送信すると、その要求は外部ベンダーに送信され、外部ベンダーが従業員に直接資産を出荷します。 修理フローを使用したストックルームの欠陥資産の修理の管理  トラブルシューティング、修理、評価タスクを含む修理フローを使用して、欠陥のある資産や修理待ちの資産の修理を要求します。修理注文は、ハードウェア資産ワークスペースアプリケーションまたはServiceNow モバイルエージェントアプリケーションのいずれかで処理されます。 ストックルーム内のインベントリ集荷を管理する  ストックルームの集荷タスクを有効にすると、調達、ハードウェア資産要求、ハードウェア資産リフレッシュのワークフローのために、ストックルーム内の資産を簡単に集荷できます。このタスクには、ストックルームから集荷する必要がある資産がリストされ、通路とスペースの詳細とともに資産の正確な集荷元となる場所が示されます。インドアマッピング機能を使用すると、ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションでストックルーム内の資産の場所への道順を取得できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
Health Log Analytics (ヘルスログアナリティクス)	ServiceNow インスタンスとの MID サーバーの通信に Lightning gRPC クライアントを使用すると、ログストリーミング速度が大幅に向上します 🔗 Lightning gRPC クライアントを使用して ヘルスログアナリティクス へのログストリーミング速度を最大 6 倍にし、ServiceNow インスタンスとの MID サーバー の通信を強化します。Lightning gRPC クライアントをアクティブ化するには、手動で設定する必要があることに注意してください。
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	Patient identifier table 🔗 新しい患者識別子テーブルを使用して、患者の MRN、社会保障番号などの複数の識別子を維持および管理します。 患者テーブルから患者識別子テーブルにデータを移行する手順については、Now Support 🔗 に連絡して修正スクリプトを入手してください。
Hermes Messaging Service	Hermesデータスループットの監視 Hermes メトリクスダッシュボードを使用して、アプリケーション別のデータ使用量を監視し、トピック別のデータスループットを追跡します。
ITOM ヘルス	構成ファイルからのみ許可リストをロードする 🔗 構成ファイルから許可リストをロードし、allow-list パラメーターを無視することで、セキュリティを強化します。 インスタンスからのエージェントログレベルの構成 🔗 acc.yml 構成ファイルにアクセスすることなく、ServiceNow インスタンスから直接エージェントのログレベルを構成します。 安全なエージェント接続を確保する 🔗 オペレーティングシステムのトラストストアに自己署名証明書を追加して、エージェント接続が安全であることを確認します。証明書をトラストストアに追加すると、証明書が本物であることが確認されます。 新しいアプリケーションを使用 サービスリライアビリティ管理 🔗 サービスリライアビリティ管理アプリケーションを使用して、アラートやインシデントでの作業時に、応答、コラボレーション、追跡、および自己修復を行います。
ITOM 最適化	Cloud Provisioning and Governance 🔗 Cloud Admin Portal 🔗 クラウドアドミンポータルで利用できるようになった ネクストエクスペリエンス ダッシュボードページを探索します。 クラウドサービスカタログ 🔗 アプリケーションをインストールおよびセットアップした場合に、ユーザーポータルへ

アプリケーションまたは機能	詳細
	のクラウドアドミンポータルリンクが従業員センターを指すようになりました。
ITOM ヴィジビリティ	使用 ディスカバリーアドミンワークスペース Discoveryの実装をすぐに開始できます  • ディスカバリーアドミンワークスペースホームを使用して、検出の傾向とタスクを表示し、関連する ITOM ヴィジビリティアプリと情報にアクセスします。 • [スケジュール] タブを使用して、すべての検出のパフォーマンスに関するインサイトを取得します。 • [診断] タブを使用して検出エラーを分析し、トラブルシューティングします。 • [インサイト] タブからオンデマンドレポートにアクセスし、検出操作を最適化します。 で製品を検出する ディスカバリーとサービスマッピングパターン  ディスカバリーとサービスマッピングパターン から次の製品を検出します。 • Dell EMC Data Domain ストレージ  • Dell EMC PowerMax ストレージ  MID サーバー ディスカバリーパフォーマンスを向上させるための機能 • Microsoft Azure Key Vault を使用して、インスタンスに認証情報を保存せずに他のアプリケーションを実行します。 • MID サーバーは、ログファイルの圧縮をサポートします。新しいログファイルハンドラーの設定は、インスタンスの MID サーバープロパティとして使用できます。圧縮モードは、初期設定では有効になっていません。 CMDB ベースのマッピングを使用して新しいアプリケーションサービスを作成する  MID サーバーの代わりに自動サービス提案とCMDBデータを使用して、新しいアプリケーションサービスを作成します。 ヴィジビリティ機能に最新の CNO を使用する  バージョン 3.6.3 以降では、ヴィジビリティのための Cloud Native Operations の新機能を利用できます。 • ServiceNow インスタンスから Visibility Informer のCNOをアップグレードします。 • インスタンスから Informer の実行パラメーターを制御します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• Informer が Azure Kubernetes Engine (AKS) を使用するとき、インスタンスの認証情報を Microsoft Azure Vault に保存する • Informer が OAuth2.0 認証を使用してインスタンスに接続できるようにします
ITSM サクセスダッシュボード	• AI 検索 QnA を使用した新しい自己解決と Now Assist 検索 QnA KPI を使用した自己解決が自己解決転送に追加されます。これらの新しい貢献インジケータは、ユーザーが AI 検索 と Now LLM サービス を使用してデジタルの問題を解決するのに役立ちます。 • DEX 向けプロアクティブエンゲージメントインジケータを使用した ITSM 自己解決は自己解決転送に追加されます。これにより、ServiceNow デジタルエンドユーザーエクスペリエンス製品のプロアクティブな問題検出および解決機能を活用して従業員がデジタルエクスペリエンスの問題を自己解決します。
ID	アクセスシミュレーター アクセスシミュレーターを使用して、ユーザーアクセスと、Now Platform 上のリソースに対するアクセスの影響をシミュレートします。 i 重要: アクセスシミュレーター (アクセスアナライザー V3) は ServiceNow Store で利用できます。詳細については、ServiceNow Store を参照してください。 SCIM クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) API エンド ポイントを使用して、SCIM プロトコルを使用してユーザーとグループの操作を作成、読み取り、更新、および削除します。
個人向け生命保険請求	個人向け生命保険請求 application FNOL で重要な詳細を記録し、ドキュメントを検証し、プライマリ請求と関連する請求のタスクを管理します。 請求データモデル 介護、障がい、重篤な病気などの個々の福利厚生への請求フローを構築します。 FNOL のカスタマイズされたプレイブックエクスペリエンス カスタマイズされたプレイブックを使用して、ステップバイステップのガイダンスに従って FNOL プロセスを完了し、すべてのタスクがプロセスの正しいステージで完了することを検証します。 新しいアジャスターワークスペース 新しいワークスペースで、個人向け生命保険請求に関する複数の保険契約にわたって問題を解決し、タスクを完了し、準備金と支払いを管理します。 死亡保険金ワークフロー

アプリケーションまたは機能	詳細
	含まれている死亡保険金請求ワークフローを例として使用し、独自のワークフローの構築を開始します。 引当金と支払の承認エンジン 査定人の認可された限度を超える引当金または支払を承認する要求をマネージャーにルーティングします。
産業用プロセスマネージャー	IP アドレスによって機器モデルエンティティに OT デバイスを追加する 産業用ワークスペース機器モデルマネージャーの [マッピングされた OT デバイス] 関連リストに OT デバイスを手動で追加する場合は、IP アドレスで OT デバイスを追加できません。 Update the entity name or parent of an equipment model entity 機器モデル情報を最新の状態に保つために、必要に応じて機器モデルエンティティレコードの [エンティティ名] または [親] フィールドを更新します。
統合ハブ	ストリームコネクトを使用して Avro 形式でメッセージを送受信する Avro スキーマをインポートして作成し、ストリームコネクトスキーマ [stream_connect_schema] テーブルに保存します。ストリームコネクトのプロデューサーとコンシューマーは、スキーマを使用してプレーンテキストの JSON メッセージを Avro バイナリ形式に変換したり、その逆を行ったりします。Avro 形式を使用すると、ペイロードのサイズを小さくし、ローカルの Apache Kafka インスタンスへの統合を簡素化できます。 SOAP API と REST API、および URL エクスポートの受信要求を追跡 拡張された使用状況ダッシュボードでデータエグレスの詳細を表示します。ダッシュボードを使用して、ソースごとのデータエグレスの使用状況を経時的に追跡できます。この情報は折れ線グラフで表示され、必要に応じて、指定した日付範囲内の任意の日付のソース別のデータ転送量を表示できます。ダッシュボードは、データエグレス数テーブル [data_egress_count] からデータを取得します。 カスタム (スクリプトによるロード) タイプのデータソースで並列ロードを有効化 スクリプトを使用してデータを小さなセクションに分割し、それらのセクションを並列でロードします。並列ロードにより、統合をより迅速に完了し、他のタスクへの影響を軽減できます。 CyberArk credential storage integration CyberArk のデジタルボールドを使用して OAuth 2.0 認証情報を保存し、アクセスする ServiceNow MID サーバーを使用して、CyberArk Digital Vault に保存されている OAuth 2.0 認証情報にアクセスします。MID サーバーはこの情報を使用して、クライアント

アプリケーションまたは機能	詳細
	認証情報権限許可タイプの OAuth 2.0 トークンを生成し、サードパーティサーバーへの REST API 呼び出しを行うために使用されます。 mTLS を使用して MID サーバー経由で送信 REST および SOAP 呼び出しを行う  mTLS パスワードと証明書情報をインスタンス、ボールト、または構成ファイルに保存します。MID サーバーはこの情報を使用して、mTLS プロトコルで送信 REST および SOAP 呼び出しを行います。 個人認証ダッシュボードを使用する  個人の認証情報を使用して、サードパーティ統合に接続します。簡素化された統合インターフェイスを介して、個人認証を表示、認証、取り消し、および更新します。 外部トリガーエンドポイントの機能拡張  OAuth 2.0 認証  をサポートするサードパーティアプリケーションで Webhook のエンドポイントを生成します。エンドポイントにより、Webhook が ServiceNow インスタンスに接続できるようになります。 ServiceNow インスタンスでベースシステムの外部イベントソースを更新して、エンドポイントを生成します。その後、サードパーティアプリケーションでエンドポイントを構成し、ServiceNow インスタンスに Webhook を送信してフローを実行できるようにします。サードパーティシステムがサポートする認証タイプに基づいて、ハッシュ、シークレット、またはトークンを生成したり、外部イベントソースにロールまたはユーザーを追加したりできます。最後に、サードパーティシステムの Webhook で使用できるエンドポイントを生成します。 JSON ビルダーステップ用の JSON ペイロードの自動生成  ステップのスクリプトエディターに JSON ペイロードを入力すると、ペイロードが自動的に構造化入力に逆シリアル化されます。 拡張 OpenAPI ステップ  統合を構築するために、OpenAPI 仕様をインポートするか、サードパーティの送信 REST Web サービスの Postman コレクションをインポートするかを選択します。OpenAPI ステップは、Postman API コレクションをサポートするように拡張され、OpenAPI/Postman ステップに名前が変更されました。
CSM のインテリジェンス	推奨アクション - タスクインテリジェンス類似性モデルの統合  タスクインテリジェンス (TI) アドミンコンソールと統合された類似モデルを使用して、機械学習モデルを構成、トレーニング、および展開します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- リソースジェネレーター：推奨アクションフレームワークは、TI 類似性モデルを活用して推奨事項を構成する新しいリソースジェネレーターをサポートします。 - アドミン構成：アドミニストレーターは、予測のために TI ソリューションを指すようにリソースジェネレーターを構成し、topN オプションパラメーターを使用して上位の推奨事項をフェッチできます。 [store-future: BEGIN review]カスタマーサービスのタスクインテリジェンス - 依存フィールド予測[End] [store-future: BEGIN review]予測値を表示する前にモデル内の依存フィールドを特定することで、モデルのパフォーマンスを向上させます。[End] カスタマーサービスのタスクインテリジェンス - レコード予測  簡単な説明または説明を入力した後にケースレコードの構成済みフィールドを予測し、ケースフォームを保存せずに予測値を確認します。 推奨アクション - 1 つのレコードエンティティに対して複数のコンテキストを作成する  UI ビルダー入力プロパティを使用して推奨アクションコンポーネントに対して構成できる 1 つのアクティブなコンテキストレコードを使用して、ケーステーブルなどの同じテーブルの複数のコンテキストをサポートします。複数のコンテキストを作成することで、ユーザー属性やドメインなどの基準によって決定されるさまざまなエクスペリエンスを作成できます。推奨事項と AI 検索結果は、設定されたアクティブなコンテキストに従って動的に調整されます。 ガイド付きディシジョン - システムユーザーとしてガイダンスを実行する <i>guidance_honor_subflow</i> システムプロパティを有効にして、ガイダンスアクションサブフロープロパティで指定されたユーザーとして意思決定ツリーでガイダンスを実行します。このプロパティが <i>false</i> に設定されている場合、ガイダンスは現在のユーザーとして実行されます。 ガイド付きディシジョン - カタログアイテムコンテンツタイプとしての意思決定ツリー  顧客が意思決定ツリーをカタログアイテムとしてサービスカタログに追加できるようにします。顧客は、カスタマーサービスポータルから意思決定ツリーを選択して新しいタブで開くことができます。 ガイド付きディシジョン - ポータルで意思決定ツリーを検索する  ポータルユーザーがキーワードを含む意思決定ツリーを検索できるようにします。検索結果で意思決定ツリーを選択すると、意思決定ツリーウィジェットを含むページが開きます。 ガイド付きディシジョン - 開始ノードにタスク入力のみを含めることができるようにする  タスク入力から直接開始する意思決定ツリーの開始ノードを作成し、タスク参照のデータから派生したパスを作成し

アプリケーションまたは機能	詳細
	ます。質問またはタスク入力から開始ノードを作成するオプションがあります。 ガイド付きディシジョン - プレイブックでの意思決定ツリーの再開 意思決定ツリーの実行を再開します。ユーザーがプレイブックで意思決定ツリーの実行を完了すると、必要に応じて意思決定ツリーを最初からやり直して完了できます。プレイブックを再開すると、以前の意思決定ツリー実行の履歴が保持されます。
ジャーニーデザイナー	マネージャーの交代をサポート マネージャーの変更をサポートするジャーニーを有効にします。 のベースインスタンスデモデータ ジャーニーデザイナー 複数のジャーニーをサポートする 育児休暇のデモデータに含まれている育児休暇ガイドを活用して、従業員エクスペリエンスを向上させます。 タスク完了後はジャーニーの詳細ページに戻る タスクの完了後にジャーニーの詳細ページに戻ると、ブレイドグラムに移動する必要がなくなります。 ジャーニーが削除されたときに後続のタスクを削除する ジャーニーと後続のすべてのタスクを同時に削除します。
ナレッジ管理	New (新規) ナレッジ管理 ダッシュボード ナレッジ管理ダッシュボードは新しいエクスペリエンスとして利用できます。今後 90 日以内に有効期限が切れる記事は、新しいダッシュボードで新しいレポートとして利用できます。このレポートは、作成者が記事をレビューし、記事を廃止するか再公開するかをタイムリーに決定するのに役立ちます。 の Now Assist ナレッジ 複数のケースから記事を生成 作成者とエージェントは、Now Assist を使用した類似ケースに基づいて、ワークスペースまたはクラシック環境からナレッジ記事のドラフトをすぐに作成できます。ナレッジ記事は、類似ケースのリストまたはケース番号を選択するか、ケースに固有のキーワードを検索することによって生成できます。
リード管理	Create a lead 潜在的な販売機会のリードを作成および管理します。 リードワークスペースを使用したニーズ分析 アンケートを通じてリードのニーズを理解し、リード品目を通じて製品オファリングを推奨およびキャプチャします。 カンバンビューを使用してリードを管理する リードのカードベースのビューを表示するカンバンボードを使用して、さまざまなステージでこれらのリードをナビゲート

アプリケーションまたは機能	詳細
	トおよび可視化することで、さまざまなリードのステータスをすばやく評価します。 リードを育成し、リードアクティビティを追跡する  メールを作成し、タスクを作成し、予約をスケジュールして、リードの関心とニーズの分析を追跡することで、リードを育成します。 リードを機会に変換する  新規および既存の取引先担当者に新たな機会を作成することで、リードを認定します。
Leader Hub	概要  組織と人事のリーダーが、[概要] ページから組織の人材の包括的な概要にすぐにアクセスできるようにします。このページは Leader Hub のホームページであり、従業員のエンゲージメントとスキル習熟度を測定するデータを一目で確認し、組織を構成するチームをざっと見ることができます。[概要] ページでは、リーダーは組織内のチームに関する次の情報にすばやく簡単にアクセスできます。 • スキルスコア • 重大なスキルギャップ • 人材開発 アプリケーションスイートで利用可能な成長ツールを使用した従業員のエンゲージメント。 リーダーは、[Leader Hub] ドロップダウンリストから [概要] を選択して [概要] ページにアクセスできます。 組織の才能  [組織の人材 (Org talent)] ページを通じて、組織内に存在する各チームの人材を一元的に表示できる場所をリーダーに提供します。リーダーは、組織の構造と、組織内の各チームのマネージャーと従業員間の報告関係を示すインタラクティブな組織図を通じて、人材データを任意のレベルの詳細度で表示できます。 リーダーは、[Leader Hub] ドロップダウンリストから [組織の人材 (Org talent)] を選択することで、[組織の人材 (Org talent)] ページにアクセスできます。 組織スキル  組織のスキル構成を理解するためのツールを [組織スキル (Org skills)] ページからリーダーに提供します。[組織スキル (Org skills)] ページには、リーダーの組織に関連するスキルが表示され、リーダーが重大なスキルギャップを特定し、マネージャーにチーム内の人材育成の責任を負わせるために使用できる測定基準を提供します。リーダーは、表示するスキルの名前を選択して [スキルの詳細] ページにアクセスすることで、各スキルに関連付けられた詳細をさらに詳しく調べることができます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	リーダーは、[Leader Hub] ドロップダウンリストから [組織スキル (Org skills)] を選択することで、[組織スキル (Org skills)] ページにアクセスできます。 サポートする組織  組織のサポーターに、[サポートする組織 (Orgs you support)] ページを通じて、リーダーの人員に関するインサイトを提供します。責任を委任されたサポーターには、リーダーが Leader Hub にアクセスするように指定できるため、組織の成功に必要な能力でサポートを提供できます。 サポーターは、従業員センターポータルメガメニューで [Orgs you support (サポートする組織)] を選択することで、[サポートする組織 (Orgs you support)] ページにアクセスできます。
MID サーバー	MID サーバー Azure Key Vault のサポート  MID サーバー と Azure Key Vault との統合により、インスタンスに認証情報を保存せずに、オーケストレーション、ディスカバリー、サービスマッピングを実行することができます。
モバイルプラットフォーム	ユーザー基準権限  ユーザー権限基準を定義することで、モバイルプラットフォームのさまざまな領域の可視化を制御します。ユーザー基準権限は、ユーザーロール権限とは異なり、ユーザーを場所、部門、会社などのさまざまなグループにセグメント化できます。ユーザー基準権限を使用すると、グループの 1 つの領域内の情報を変更して、そのグループ内に関連付けられているすべてのユーザーの詳細を更新できます。たとえば、会社が移転し、管理上、新しい場所のユーザーが別のモバイルコンテンツにアクセスできる必要がある場合です。アドミンは、この新しいコンテンツがこのグループのすべてのユーザーに表示されるように、ユーザー基準権限を更新できます。 モバイルアプリビルダー  - すべての モバイルプラットフォーム Xanadu 機能のサポート。 - 多くのレコードにわたる Now Assist 別のコンポーネントの推奨事項。
Next Experience	Next Experience keyboard shortcuts  新しいキーボードショートカットを使用して、OpenFrame ウィンドウを開くのに必要な時間を短縮します。 ユーザーエクスペリエンスユーザー設定グループが追加されました  [ネクストエクスペリエンスをオフにする]、[アナリティクスを有効にする]、および [現在のスタートページ] の設定

アプリケーションまたは機能	詳細				
	に、新しい [ユーザーエクスペリエンス] ユーザー初期設定グループが追加されました。 通知メニューを固定する  重要な更新にすばやくアクセスできるように、通知メニューを固定します。 ネクストエクスペリエンスパフォーマンス測定基準を表示する  任意の ネクストエクスペリエンス ページのパフォーマンス測定基準を表示します。 Preserve your custom Next Experience theme during a clone  クローン作成は、ネクストエクスペリエンス とテーマビルダーテーマを保持するように最適化されています。これにより、クローン作成プロセス中にテーマが上書きされないようにすることができます。 Next Experience keyboard shortcuts  新しいキーボードショートカットを使用して、OpenFrame ウィンドウを開くのに必要な時間を短縮します。 ユーザーエクスペリエンスユーザー設定グループが追加されました  [ネクストエクスペリエンスをオフにする]、[アナリティクスを有効にする]、および [現在のスタートページ] の設定に、新しい [ユーザーエクスペリエンス] ユーザー初期設定グループが追加されました。 通知メニューを固定する  重要な更新にすばやくアクセスできるように、通知メニューを固定します。 ネクストエクスペリエンスパフォーマンス測定基準を表示する  任意の ネクストエクスペリエンス ページのパフォーマンス測定基準を表示します。 Preserve your custom Next Experience theme during a clone  クローン作成は、ネクストエクスペリエンス とテーマビルダーテーマを保持するように最適化されています。これにより、クローン作成プロセス中にテーマが上書きされないようにすることができます。				
Next Experience コンポーネント	コンポーネント <table border="1" data-bbox="507 1619 1383 1808"> <thead> <tr> <th data-bbox="512 1625 719 1671">コンポーネント</th><th data-bbox="719 1625 1378 1671">説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="512 1692 719 1801">カスタム図</td><td data-bbox="719 1692 1378 1801">テーマ可能なインラインのスケラブルベクトルグラフィックス (SVG) をワークスペースページに挿入します。</td></tr> </tbody> </table>	コンポーネント	説明	カスタム図	テーマ可能なインラインのスケラブルベクトルグラフィックス (SVG) をワークスペースページに挿入します。
コンポーネント	説明				
カスタム図	テーマ可能なインラインのスケラブルベクトルグラフィックス (SVG) をワークスペースページに挿入します。				

アプリケーションまたは機能	詳細						
	既存のコンポーネントに追加されたドキュメント <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="512 254 719 310">UI 要素</th><th data-bbox="719 254 1380 310">説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="512 321 719 380">コンポーネント</td><td data-bbox="719 321 1380 380"></td></tr> <tr> <td data-bbox="512 390 719 520">プレゼンテーションリスト</td><td data-bbox="719 390 1380 520">現在のテーブルの列と行を含むリストコンポーネント。ユーザーは、テーブル内のアイテムをソート、フィルター、および編集できます。</td></tr> </tbody> </table>	UI 要素	説明	コンポーネント		プレゼンテーションリスト	現在のテーブルの列と行を含むリストコンポーネント。ユーザーは、テーブル内のアイテムをソート、フィルター、および編集できます。
UI 要素	説明						
コンポーネント							
プレゼンテーションリスト	現在のテーブルの列と行を含むリストコンポーネント。ユーザーは、テーブル内のアイテムをソート、フィルター、および編集できます。						
ネクストエクスペリエンス 開発者 (NED) ツール	ネクストエクスペリエンスインスペクターの健全性インジケータ ホームビューは、コンポーネントおよびアクションの健全性インジケータのダッシュボードを介して、情報を提供し、ページ上の潜在的な問題を伝達します。 ネクストエクスペリエンスインスペクターでトレースを表示する トレースビューには、ページに対して行われた呼び出しのウォーターフォールと、各呼び出しの期間に関する情報が表示されます。 ネクストエクスペリエンスインスペクターの [ログ] タブのサーバー側ログ アドミンとしてログインしているときに、ユーザー設定をクライアントログからサーバーログに変更して、バックエンドデータを記録および表示します。 ネクストエクスペリエンスインスペクターでイベントを管理する [イベント] ビューには、イベントを管理するためのコンテキスト情報とアクションが表示されます。 ネクストエクスペリエンスインスペクターの [サービスワーカー] タブ [サービスワーカー] タブでは、サービスワーカーの動作を可視化できます。						
通知	機密データの編集 受信メールの機密データを編集します。 国際文字のサポート メールアドレスの国際文字のサポートが追加されました。						
Now Assist	動的テーマを使用すると、さまざまなテーマをチャット要約カードに適用できます チャット要約カードの動的テーマをサポートします。 で書く Now Assist エージェントが、生成 AI を利用したテキスト生成および編集支援に Now Assist による書き込みを使用できるようにします。この機能は、ライティングの責任を改善および簡素化するのに役立ちます。						

アプリケーションまたは機能	詳細
	Now Assist Platform skills を使用 • Xanadu リリース以降のプラットフォームワークフローで生成 AI プラットフォームのスキルを使用して、ユーザーエクスペリエンスを強化および簡素化します。 • 検索コマンドを分かりやすい言語で入力し、Navigation スキルを使用してレコードとテーブルを取得およびフィルタリングします。 使用 Now Assist スキルキット 生成 AI アプリ開発者向け Now Assist エージェントのユースケースに合わせて、カスタムプロンプトとスキルを作成してアクティブ化します。 を使用した複数のケースまたはインシデントからのナレッジ記事の生成 の Now Assist ナレッジ管理 Now Assist を使用した類似のケースまたはインシデントに基づいて、構成可能ワークスペース環境またはクラシック環境から迅速にナレッジ記事のドラフトを作成します。ナレッジ記事は、類似のケースまたはインシデントのリストから選択したり、ケースまたはインシデント番号から選択したり、ケースまたはインシデントに固有のキーワードを検索したりして生成できます。
Now Assist for Creator	プレイブックの推奨事項を取得 プレースホルダーアクティビティをどのアクティビティに置き換えるかの提案を取得します。 プレイブックの生成中に再プロンプトおよびプレビューする プレイブックアウトラインを生成する前に、プロンプトをプレビューして変更します。 フロー生成で使用するテキストの向きの注釈を表示 フロー生成によって追加された各アイテムに使用されるテキストの向きの注釈を表示します。向きが特定のアクション、フローロジック、およびサブフローにどのようにマッピングされているかについてフィードバックを受け取ります。 Data visualization generation 会話を通じて プラットフォームアナリティクス グラフを生成します。
CSM の Now Assist	サイドバーの会話の要約 CSM の Now Assist を使用して、エージェント、要求者、および該当分野のエキスパート間のサイドバーディスカッションを要約します。 リアルタイムのチャット返信の推奨事項 生成 AI を使用して、エージェントが顧客に応答する前に、ナレッジベース、FAQ、類似ケース、チャット、通話などのソースから、関連するコンテキスト推奨事項をエージェントに提供します。エージェントは、生成 AI を使用してチャット応答を作成することもできます。この機能により、

アプリケーションまたは機能	詳細
	エージェントは手動のタスクを実行せずに顧客との会話に集中できます。 生成 AI を活用したメール返信の推奨事項  エージェントが確認および送信できるメール応答の推奨事項を取得します。エージェントは、生成 AI を使用してメール返信の推奨事項を編集することもできます。 [store-future: BEGIN review]アクティビティストリームで生成 AI タイプのログを表示する[End] [store-future: BEGIN review]フィルターオプションを使用して、アクティビティストリームに生成 AI 関連のログを表示します。[End] [store-future: BEGIN review]大規模な入力を行うための再帰的な要約を有効にする[End] [store-future: BEGIN review]再帰要約を使用して、大規模な言語モデル (LLM) の大きなレコードを小さな断片に分割し、生成 AI 機能のコンテキストを維持できるようにします。[End]
FSM の Now Assist	KB の生成 エージェントが既知の問題をより迅速に解決できるように、作業指示タスクからナレッジ記事を生成します。 サイドバーの要約 プラットフォームと モバイルエージェント アプリケーションからの サイドバー ディスカッションを要約します。
FSO の Now Assist	ケースの要約スキル  レコードを短いサマリーに凝縮することで、エージェントの時間を節約できるように設計されています。FSO の Now Assist には、カード異議申し立てと保険金請求のユースケースに固有のカスタマイズされたスキルが含まれています。 Now Assist パネル  エージェントは、Financial Servicesで使用可能なパネルで Now Assist スキルにアクセスできます。Now Assist はコンテキストを認識するため、現在表示されているレコードや会話を要約でき、また、エージェントはケース番号を指定することができます。 Now Assist アドミン 慰める  Now Assist アドミン コンソールを使用して、機能と個々のスキルをアクティブ化および構成します。たとえば、スキルにアクセスできるロールや、スキルをFinancial Servicesワークスペース、Now Assist パネル、またはその両方で使用できるかどうかを指定できます。 ユーザーロールによるスキルの可用性の制限  ケースの要約スキルにアクセスできるロールを指定します。

アプリケーションまたは機能	詳細
IT Service Management (ITSM) の Now Assist	変更要求を要約  変更要求フォームと Now Assist パネルで変更のサマリーを表示して、管理者が変更要求の内容、意図、および影響をよりよく理解できるようにします。 類似のインシデントからナレッジ記事を生成  エージェントが、類似のインシデントセットの情報を活用して包括的なナレッジ記事を生成できるようにします。 チャット返信の推奨事項を生成  チャット返信の推奨事項の Now Assist アイコンを使用して、チャットで尋ねられる一般的な質問に対する迅速な回答をエージェントに提供します。 サイドバーディスカッションを要約  エージェントは、サイドバーディスカッションの要約を使用して、サイドバーチャットを要約し、インシデント、変更、要求、問題、およびナレッジベースタスク (サイドバーディスカッションが有効になっている任意のレコードタイプ) の作業メモにサマリーを投稿できます。 Confluence 検索コネクタ エージェントが Confluence 検索コネクタを使用して、外部 Atlassian Confluence スペースと従業員センター、エージェントワークスペース、Now Mobile アプリ、仮想エージェント のページから AI 検索結果を取得できるようにします。
Security Operations の Now Assist	生成 AI によるセキュリティインシデントの要約  セキュリティアナリストは、セキュリティインシデントをコア UI (UI16) およびセキュリティインシデントレスポンスワークスペースで要約できます。 - 長いアクティビティストリームを含むセキュリティインシデントの重要な詳細を迅速に要約します。 - アナリストは、AI によって生成されたサマリーを編集し、作業メモに投稿できます。セキュリティインシデントのサマリーは引き続き編集可能であり、他のアナリストは作業メモを更新する前に引き続きサマリーの編集と削除を行うことができます。 - 次の情報を含む概要を IT マネージャー、他のアナリスト、および主要なステークホルダーと共有します。 - 根本的な問題 - 詳細 - 観察事項 - 実行された主なアクション - クローズの詳細 生成 AI を使用したセキュリティインシデントのクローズメモの生成 

アプリケーションまたは機能	詳細
	セキュリティインシデントをクローズする準備ができると、クローズメモを自動的に生成します。 - セキュリティインシデントをクローズする準備ができると、生成 AI を使用してクローズメモを自動的に更新します。 - セキュリティインシデントをクローズする前に、AI スキルによって生成されたコンテンツを編集、削除、または独自のメモを追加することで変更します。 スキルのカスタマイズ 環境の要件に合わせて、Now Assist アドミン コンソールから生成 AI スキルの入力フィールドの一部をカスタマイズします。 - 一部のベース入力テーブルフィールド、条件、およびスキルの関連リストを構成できます。 - スキルの入力またはトリガーを変更して、スキルをどのように使用するかを決定します。
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist	マルチフィードバック要約 生成 AI を使用して複数のフィードバックレコードを要約し、手動でフィードバック分析を行う必要がないため時間を節約します。1 つまたは複数のフィードバックレコードの簡単なサマリーを一度に生成し、それを使用して製品に関する情報に基づいた意思決定を行うことができます。 ドキュメントの Now Assist ドキュメントの Now Assist を使用して、選択したテキストの簡潔な要約を作成し、関連情報をすばやく取得します。
電気通信、メディア、および技術 (TMT) の Now Assist	サービス問題ケースの要約スキル サービス問題ケースレコードを短いサマリーに凝縮して、エージェントの時間を節約するように設計されています。 解決メモ生成スキル エージェントは、解決策の要約スキルにより、ケースの解決情報を生成し、顧客に解決策を提案して、その情報をサービス問題ケースレコードに追加できます。 テスト要約スキル テスト要約スキルを使用して、サービスの問題の明確で簡潔な根本原因分析を生成して、テスト実行中に診断された問題の根本原因を特定します。 Now Assist パネル エージェントは、CSM/FSM 構成可能ワークスペースで使用可能なパネルで Now Assist スキルにアクセスできます。Now Assist はコンテキストを認識するため、現在表示されているレコードや会話を要約でき、またケース番号を指定することができます。 Now Assist 管理コンソール

アプリケーションまたは機能	詳細
	Now Assist アドミン コンソールで、機能と個々のスキルをアクティブ化および構成します。たとえば、スキルにアクセスできるロールや、スキルを、CSM/FSM 構成可能ワークスペース、Now Assist パネル、またはその両方で使用できるかどうかを指定できます。 スキルの可用性に条件を追加 サービス問題ケースレコードの各フィールドに条件を追加して、ケースのスキルと解決メモの要約が利用可能になるタイミングを決定します。 スキルの可用性のユーザーロールによる制限 ケースの要約および解決メモの要約スキルにアクセスできるロールを指定します。 ケース要約の最小テキスト要件 ケースのアクティビティストリーム内の最低限必要な情報量が決まっているケースに対して、ケースの要約作成スキルを有効にします。
仮想エージェントの Now Assist	アドミンガイド付きセットアップ：Configuring Now Assist in Virtual Agent アシスタントリストから 仮想エージェント を削除します。 ポータルでの LLM ベースの 仮想エージェント の公開を許可します。 優先メッセージングチャネルと統合して 仮想エージェント を表示します。 [レビュー] ページ内から プロアクティブトリガー をインストールします。 仮想エージェント での LLM 会話のアクション可能な通知とアクション不可能な通知をサポートします。
Operational Technology Manager (オペレーショナルテクノロジーマネージャー)	OT アクション指向ランディングページ 産業用ワークスペース の OT アクション指向ランディングページで OT ネットワークに関連する重要なタスクを追跡します。このランディングページには、サイトと事業部門のデータの全体像が表示され、サインインしているユーザーが優先する必要がある重要なアクションが呼び出されます。 Operational Technology Progress Scorecard 主要測定基準別にサイトを 産業用ワークスペースの OT 進捗スコアカードと比較します。OT 進捗スコアカードにアクセスするには、OT 進捗スコアカードビューアー (ot_progress_scorecard_viewer) ロールが必要です。 別のページへのリダイレクト：産業用ワークスペース 新しいホームページ宛先ルールを使用して、アサインされたロールに応じて、産業用ワークスペース のさまざまなページにリダイレクトされます。このリダイレクトは、必要なデータへのアクセスに役立ちます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	SyncIPAddressToOT スケジュール設定済みジョブを使用して IP アドレスを OT デバイスにマッピングする  SyncIPAddressToOT スケジュール済みジョブを使用して、利用可能なすべての OT デバイスの IP アドレス情報を更新および同期します。スケジュール設定済みジョブは、IP アドレス [cmdb_ci_ip_address] テーブルから IP アドレス情報を取得し、構成アイテム (CI) の [IP アドレス] フィールドに追加します。 CMDBOT クラスモデルの更新  拡張された OT ユーザーエクスペリエンスを活用し、次の CMDB OT クラスモデルの更新を使用して追加の構成を行います。 - 品質検査管理システム [cmdb_ci_ot_qics] クラスは、品質および検査機能を支援する制御システムを表します。この新しいクラスは、OT コントロールシステム [cmdb_ci_ot_control] クラスの子クラスです。 - バックアップストレージ情報 [cmdb_backup_storage_information] クラスは、OT デバイスデータのバックアップを管理するのに役立ちます。 - OT システムサービス [cmdb_ci_ot_system_service] クラスは、OT システムとその関連ソフトウェア、ハードウェア、および分散制御システム (DCS) などの通信ネットワークコンポーネントをモデル化できます。 - 各 NIDS レコードを個別に検証する代わりに、リストビューから NIDS レコードを一括検証できるようになりました。 Pre-import OT Worksheet Entry Review (POWER) ツール  配布された Microsoft Excel スプレッドシートを使用して OT デバイスをインポートし、OT システムとデバイスの管理性を向上させます。POWER ツールには、次の新機能が含まれています。 - 品質検査管理システム [cmdb_ci_ot_qics] クラスのインポートと分類をサポートします。SG-OT Excel ステージングテーブルで OT デバイスを手動で作成する場合、品質検査管理システムクラスは [OT デバイスのタイプは何ですか? (What is the type of OT device?)] タスクのオプションです。 - ステージングテーブル、ステージングテーブルフォーム、および ETL のバックアップストレージ情報 [cmdb_backup_storage_information] クラス属性のキャプチャをサポートします。 - ステージングテーブルレコードの [ステータス] フィールドを、構成アイテム (CI) レコードの [ライフサイクルステータス] および [ライフサイクルステータス] フィールドにマッピングします。[ステータス] フィールドが CI レコードの [インストールステータス] フィールドにマッピングされなくなりました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	OT クラスデバイスの 産業用 製品モデルカテゴリに資産を作成します。これにより、エンタープライズ資産管理製品との互換性が実現し、OT クラスのデバイスのライフサイクル全体を管理できます。
オペレーショナルテクノロジー要求管理	OT サービスカタログのカタログアイテムを作成  カタログビルダーを使用して OT サービスカタログのカタログアイテムを作成し、他のユーザーがカタログアイテム別に分類された OT 要求を送信できるようにします。 OT 要求を履行できる実行フローを作成する  カタログアイテムが OT 要求を実行するために従う実行フローを作成します。OT サービスカタログ内のカタログアイテムの実行フローには、カタログタスクが含まれます。 OT 要求を作成  オペレーショナルテクノロジー要求管理を設定したら、産業用ワークスペースに OT 要求を作成して、OT デバイスまたはインシデントに必要な製品またはサービスに対応します。 産業用ワークスペースで OT 要求とカタログタスクを管理する  [OT 要求]と [OT タスク] モジュールの産業用ワークスペースリストビューで、OT 要求とカタログタスクをそれぞれ表示してアクセスします。
Operational Technology Vulnerability Response (オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応)	OT 脆弱性修正オーナー (sn_otvr.remediation_owner) ロール  アサインされた修復タスクを主に処理し、必要に応じて変更タスクを作成できるユーザーに、OT 脆弱性修正オーナー (sn_otvr.remediation_owner) ロールをアサインします。OT 脆弱性修正オーナーロールには、次のロールが含まれています。 - cmdb_ot_isa_viewer - cmdb_ot_viewer - sn_vul.close_vi_vg - sn_vul.remediation_owner ISA メンテナンススケジュールに基づいて修復タスクの開始時間を自動的に設定する  ISA メンテナンススケジュールに基づいて、修復タスクを自動的に開始します。修復タスクを作成すると、そのタスクが次の定期メンテナンス中に取得されます。 OT マネージャーダッシュボードの [OT 脆弱性] タブで、マッピングされていないデバイスとサイトにアサインされていないデバイスを表示する  [脆弱性リスク] ウィジェットに含まれる [サイトがアサインされていません (No Site Assigned)] テーブルで、マッピングされていない OT デバイスとサイトにアサインされていない OT デバイスを表示します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	Common Security Advisory Framework (CSAF) のサポート対象: オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 アグリゲーターまたは信頼できるプロバイダーからソリューションをインポートする場合は、共通セキュリティアドバイザリーフレームワーク (CSAF) を複数のベンダーのサポートとともに使用します。 OTVR (PA) ダッシュボード ガイド付きセットアップ 産業用ワークスペース ガイド付きセットアップの [オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応] セクションにある OTVR (PA) ダッシュボードガイド付きセットアップを使用して、データ収集を構成し、インジケーターソースを確認します。 一括編集での オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 (OT VR) アサイン先グループフィールドの変更 一括編集機能を使用して、複数のサイトレコードの [OT VR アサイン先グループ] フィールドを一度に更新します。 Use compensating controls for Operational Technology OT の補完コントロールを使用して、すぐにパッチを適用できない脆弱性リスクを軽減します。補完コントロールはリスクの軽減に役立ちます。
オポチュニティ管理	Microsoft Teams とのサイドバー統合を使用 Microsoft Teams と統合されたサイドバーを使用して営業マネージャーやソリューションコンサルタント、または製品チームと法務チームと商談についてコラボレーションし、商談または機会を成立させます。さらに、メッセージ、絵文字、添付ファイルを使用してステークホルダーとコミュニケーションを取ることができます。 i 注: この機能を使用するには、Now Platform を Xanadu にアップグレードする必要があります。詳細については、「Xanadu リリースへのアップグレード」を参照してください。 機会品目から見積もりを作成 機会レコード内の個々の品目を選択して見積もりを作成します。
オポチュニティマーケットプレイス	Explore Opportunity Marketplace (OPM) 当初、オポチュニティマーケットプレイス には単一の機会タイプ、内部ジョブがありました。Xanaduリリースでは、プロジェクト、ギグ、ボランティアの 3 つの機会タイプが追加されています。これらの機会タイプは、固定期間の一時的なものであるという点で従来の機会とは異なります。期間は短期または長期にすることができますが、永続的ではありません。 機会オーナーペルソナの概要

アプリケーションまたは機能	詳細
	機会オーナーは、機会のリーダーまたはホストです。オーナーは、従業員が表示して適用するための機会を作成してマーケットプレイスに公開できます。さらに、機会オーナーは、[自分が所有する機会 (Opportunities you own)] ダッシュボードから機会のステータスの更新を管理および表示できます。 オーナーは詳細ページを使用して応募者をレビューし、選択します。応募者は、機会に応募した従業員です。応募者レビューエクスペリエンスには、従業員がロールに指定されたスキルと基準をどの程度満たしているかに基づく一致スコアが含まれます。 機会の閲覧の強化 従業員は、[その他の機会] (Other opportunities) ページから自分の好みやスキルに一致する機会を検索して参照できます。 機会とロールの拡張された詳細ビュー 従業員は、機会の詳細ページから機会とロールの詳細を表示できます。従業員は、必要なスキルと優先スキルを確認し、1 つ以上のロールの一致スコアを理解します。機会の詳細は、従業員が応募するロールと比較して、自分の長所と短所を理解するのに役立ちます。
パフォーマンスアナリティクス ITSM ダッシュボード	ネクストエクスペリエンス Legacy: IT Executive dashboard ITSM サクセスダッシュボードを使用して、IT Service Management (ITSM) データに関するインサイトを取得します。このダッシュボードは、経営幹部やマネージャーが情報に基づいた意思決定を行うための測定基準を提供します。エージェントは、Service Operations Workspace for ITSM エージェントダッシュボードを使用して、作業に関する情報を取得できます。これらのダッシュボードは、既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードに代わるものです。
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	作成 プロセスマイニング ダッシュボードインサイトからのプロジェクト 1 回のクリックで、ダッシュボードの [インサイト] パネルの提案リストから プロセスマイニング プロジェクトを作成します。提案は、プロセスマイニングによって改善される可能性がある問題が特定された場合に利用できます。 Control data source availability by role データソースのデータ可視化を作成する機能を、指定したロールに制限します。
ワークフロースタジオのプレイブック	[store-future: BEGIN review]バリエーション[End] [store-future: BEGIN review]バリエーションを含む複数のシナリオで 1 つのプレイブックを使用します。[End] プレイブックの推奨事項

アプリケーションまたは機能	詳細
	プレースホルダーアクティビティをどのアクティビティに置き換えるかの提案を取得します。 再プロンプトとプレビュー  プレイブックを構築する前に、プロンプトをプレビューして変更します。 アンケートアクティビティ  アクティビティの条件ビルダーでフローの Glide 変数の入力値と出力値を参照し、エージェントまたは履行者から最大 10 個の情報を収集して、既存のテーブルやフィールドを必要とせずに後でプレイブックの実行中に使用できるようにします。 アクセス制御の向上  プレイブックとプレイブックコンポーネントへのアクセスをより適切に管理します。 アーカイブデータの機能拡張  プロセス実行データをアーカイブするようにスケジュールし、アーカイブされたデータの JSON ファイルを表示します。 アクティブ化、再起動、非アクティブ化、および複製のスクリプトサポート  プレイブックのアクティブ化、非アクティブ化、再起動、または複製 API を呼び出すスクリプトインクルードまたはビジネスルールを使用します。 Washington 25.2 リリース  25.2の機能については、 Washington DC プレイブック リリースノート : • プレイブックアシスト
ポリシーとコンプライアンス管理	を使用したポリシー作成 Microsoft SharePoint  組織のポリシーを定期的に監視して修正し、その関連性とコンプライアンスを維持します。Microsoft Word ドキュメントファイルを複数の Microsoft SharePoint と統合すると、ポリシー所有者、レビュー担当者、および承認者が、ポリシーテキストのさまざまなバージョンを作成、変更、および管理して、その履歴を保持できます。ポリシーの下書きやレビューのプロセスでコラボレーションすることもできます。ポリシーテキストは自動的に更新されます。テキストをドキュメントから HTML の [ポリシーテキスト] フィールドにコピーしてから PDF 形式に変換できます。 CRI アセスメント質問の使用によるエンティティのプロファイル  エンティティの CRI 階層アセスメントを実行してその階層を決定してから、そのエンティティの CRI アセスメントを実行します。査定人からの CRI アンケートへの回答に基づいて、質問にマップされた各コントロールのコンプライアンスステータスが決定されます。エンティティの全体的なコンプライアンススコアも計算されます。 のユーザーロールの機能拡張 ポリシーとコンプライアンス管理 

アプリケーションまたは機能	詳細
	従業員オペレーターロールを使用して、ポリシーの確認応答に回答し、従業員センターポータルからポリシー例外を要求します。
ポートフォリオ計画	シナリオ計画を使用した計画の最適化  - シミュレートされた環境でシナリオを作成し、計画立案アイテムの優先順位付けとタイムラインを調整します。 - 計画立案アイテムとゴールの整合性をチェックし、戦略的な成果の達成を確認します。 - シナリオを並べて比較することで、シナリオ間のトレードオフの意思決定を可視化します。 - 実行して情報に基づいた意思決定を行うための本稼働ポートフォリオ計画として最適なシナリオを承認します。 PowerPoint へのロードマップまたはフリーフォームロードマップのエクスポート  ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップからロードマップを Microsoft PowerPoint ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーとコラボレーションします。事前定義されたテンプレートは、ロードマップのマイルストーン、アイテムのマイルストーン、垂直線、水平レーンなど、ロードマップのレポートを生成するのに役立ちます。 レーンの最大保有期間のロードマップを 1 年ごとにエクスポートできます。サイドパネルを使用してロードマップをエクスポートするときに、コンパクトモード (スライドごとに 25 の水平レーンをエクスポート) またはデフォルトモード (スライドごとに 15 の水平レーンをエクスポート) を選択することもできます。 事前定義されたテンプレートを編集するか、独自のブランド化されたテンプレートを作成して、レポートにエクスポートするデータを選択できます。詳細については、「Create a Microsoft PowerPoint template  プロジェクトプログラムレンズを使用した概要の計画  プロジェクトプログラムレンズを使用してプログラム [pm_program] アイテムのポートフォリオ計画を構築し、高レベルで計画します。プログラムに優先順位を付け、ロードマップを使用して追跡します。 クラシック UI からの計画立案アイテムの予算の移行と管理 ネクストエクスペリエンス  [予算の移行 (Migrate Budget)] オプションを使用して、計画立案アイテムの既存の予算を クラシック UI から ネクストエクスペリエンス に移行します。 - ポートフォリオマネージャーは、予算ビューとコストビューを使用して、計画立案アイテムの予算を割り当てて管理できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- プロジェクトマネージャーは、計画立案アイテムのキャプチャされたコストと予算の比較を表示し、承認された予算を満たすように計画コストを再予測できます。 - 財務ベースラインを比較して、簡単な財務と予算を表示します。
プライバシー管理	Personal Data Rights  構成可能なワークフローを提供する Personal Data Rights アプリケーションを使用して、Personal Data Rights 要求を効率的に管理および自動化し、非準拠のリスクを軽減します。Personal Data Rights アプリケーションを使用すると、顧客はデータ主体のアクセス要求 (DSAR)、コンシューマー権利要求などを効率的に管理および履行し、プライバシー規制へのコンプライアンスを確保できます。このアプリケーションは、従業員がデータ保護標準をグローバルに維持できるようにしながら、組織が消費者の個人データの権利に関連する要求を処理するのに役立ちます。 データリネージを作成する  データリネージを確立して、特定の処理アクティビティでデータがどのように消費および共有されているかを理解します。データリネージを作成すると、共有されるデータに関連するリスクを理解して管理するのに役立ちます。この機能は、データリネージまたは階層を視覚的に表現します。 規制機関の作成  プライバシーワークスペース内に規制機関を作成して、公共の利益のために事業の監督を担当する関連する規制当局を特定します。一元化されたライブラリは、メールを介してすべての規制コミュニケーションを統合します。 アクティビティ、プライバシーケース、プライバシーアセスメント、および個人データ権限要求を処理するために、部門横断型チームとコラボレーションおよびチャットを行う  処理アクティビティ、プライバシーケース、または Personal Data Rights 要求の処理中に、主要なステークホルダーとのディスカッションを迅速に開始します。チャット機能は Microsoft Teams と統合されており、ディスカッションが開始されると Microsoft Teams にグループが自動的に作成されます。[ディスカッション] ボタンを使用して行われるチャット会話はそれぞれのレコードに保存されるため、プライバシーチームはタスクを処理するときに簡単に参照できます。 処理アクティビティに関するスマート証明書の表示  スマートアセスメントエンジン 機能を使用して証明書に回答します。プライバシーアナリストとプライバシーマネージャーのランディングページで、新しいコントロール証明書のレポートを表示します。証明書レポートのフィルターを使用して、従来の証明書を表示するか、新しい証明書を表示するかを選択します。 Privacy Employee ユーザーアプリケーションでのロールの変更 

アプリケーションまたは機能	詳細
	注: GRC プライバシー従業員ユーザー アプリケーション (sn_privacy_emp) がインストールされている顧客にのみ適用されます。 新しい GRC プライバシー従業員ユーザー アプリケーションをインストールし、sn_privacy_emp.privacy_employee ロールを従業員に割り当てると、このロールにより、従業員は従業員センターから次の操作を実行できます。 • 新しい実装、アプリケーション、およびプロセスのプライバシー影響度評価 (PIA) を従業員センターに積極的に要求します。 • データプライバシーポリシーおよび規制違反に関連するプライバシーケースを報告します。 • 組織のプライバシーポリシーを読んで確認します。 • ポリシーの例外を作成します。 • プライバシーの問題を作成します。 GRC: Privacy Lite User アプリケーションでのロールの変更 GRC: Privacy Lite User アプリケーション (sn_privacy_lite) がインストールされている場合、次のロールは Lite オペレーターと見なされます。 • sn_privacy.business_user • sn_privacy.assessment_responder • sn_privacy_case.privacy_case_business_user • sn_grc_pdr.data_owner_admin Lite オペレーターロールを持つユーザーは、次の操作を実行できます。 • ビジネスユーザーとしてプライバシーアセスメントタスクに回答します。 • 処理アクティビティの重要度リスクアセスメントとオブジェクトベースのアセスメントに回答します。 • アサインされた問題を確認、更新、およびクローズします。 • アサインされたコントロール証明書に回答します。 • 手動インジケータタスクに対応します。 • アサインされた修復タスクを作成、更新、およびクローズします。 • 処理アクティビティがアサインされたら、その処理アクティビティをビジネスユーザーとして処理し、必要な詳細を収集します。 • 侵害アセスメントおよびその他のプライバシーケースタスクを処理します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• 処理アクティビティで特定された各リスクの詳細なプライバシーリスクアセスメントに回答します。 • プライバシーチームによってアサインされたアセスメントおよび調査タスクに対応します。 • 要求者の要求に従ってデータを処理するための Personal Data Rights アクションタスクを処理します。
プロアクティブエンゲージメント	Exploring Proactive Engagement プロアクティブエンゲージメントを使用してデジタルエンドユーザーエクスペリエンスの積極的な問題検出および解決機能を利用することで、従業員がデジタルエクスペリエンスの問題を自己解決できるようにします。 Configuring Proactive Engagement resolutions with DEX ServiceNow 仮想エージェントを通じて従業員のエンゲージメントを高め、エンゲージメント設定を構成して、従業員がデジタルエクスペリエンスの問題を自己解決する方法を定義します。 Proactive Engagement life-cycle management ワークベンチでプロアクティブエンゲージメント解決のライフサイクルを表示および管理します。
Proactive Service Experience Workflows	カスタマーサービス問題管理 カスタマーサービス問題管理 を使用して、サービスの問題ケースのレビュー、診断、および解決策の提供のプロセス全体を管理します。 Proactive Service Experience Workflows アカウント 360 アナリティクス 一元化されたダッシュボードで、顧客、販売されたサービス、および進行中の顧客アカウントタスクの進捗状況をより深く理解します。
Problem Management (問題管理)	の初期サポート 問題管理 モデル 1 つのデフォルトの問題モデル (全般) と 2 つのデフォルトの問題タスクモデル (根本原因分析と全般) から始まる、問題管理モデルの導入。 デフォルトのモデルは、Washington DC リリースの基本ライフサイクルに相当します。この初期サポートにより、カスタムモデルを作成して、特定のユースケースに合わせて追加のシナリオを調整できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	注: サービスオペレーションワークスペース 5.x を使用していて、問題管理モデルを有効にしている場合、問題および問題タスクは、サービスオペレーションワークスペースではなくクラシック UI16 エクスペリエンスで管理します。 サービスオペレーションワークスペース 6.x は Xanadu リリースに基づいており、問題管理 モデルをサポートしています。
プロセスマイニング	プロセスマイニング 評価版が利用可能 高度な機能が組織にとって有益かどうかを判断できるように、エンタイトルメントのないインシデントテーブルでサンプルマイニングと制限付き機能を試してください。 プロセスマイニング パースペクティブで拡張されたグラフ 特定の時間に表示するアクティビティ定義でプロセスマイニンググラフをフィルタリングします。 非効率性の根本原因を容易に理解 すべての作業メモのサマリーを生成して、個々の作業メモを個別に読む必要がなく、非効率性の履歴を確認できます。 検索定義を構成 包括的なガイド付きセットアップを使用して、自動化されたルールベースの検索定義を効率的に構成および表示します。 プロジェクトに自動的に追加のユースケース分析を含める この選択を手動で行う必要がないように、プロジェクトの作成時に該当するプロセスに対して承認分析または SLA 違反分析を自動的に設定します。 [サマリーとインサイト] ページで導入されたバリエーション分析 プロセス内のレコードがたどったさまざまなルート、ほぼトラバースされた、その他のステップなどのパラメーターに基づいて分析します。この情報には、[サマリーとインサイト] ページからアクセスできます。 プロセスマイニンググラフダッシュボードのアウトラインをカスタマイズする グラフ内にあるノードの現在のプロジェクトワークベンチに設定されたプロセスグラフのアウトラインの向きをカスタマイズします。たとえば、垂直方向のウィジェットを使用する場合、グラフと星形図を水平レイアウトではなく垂直レイアウトで表示したい場合があります。 Inflow and outflow analysis: node star diagram マップダッシュボードから任意のノードまたはアークのレコードを表示します。 受信または送信アークを除外するオプション

アプリケーションまたは機能	詳細
	受信アークのみまたは送信アークのみを表示して、グラフ上の他の関連プロセスに関する特定のプロセスの作業のインフロー/アウトフローを確認します。
製品カタログ管理および Pricing Management	製品カタログ管理 機能 製品オファアの適格性 ビジネスルールを使用して、製品カタログ、製品カテゴリ、および製品オファリングを動的にフィルタリングし、製品カタログ内の顧客に適格な製品オファリングのみを表示します。製品の適格性マトリクスを使用してビジネスルールを定義します。販売計画を使用している場合、製品カタログには、販売計画で設定された対象製品オファアのみが表示されます。 Product offer bundling with product specifications 製品仕様または仕様階層が関連付けられているオファアのバンドルをサポートします。たとえば、製品仕様に関連付けられている製品オファアを作成し、親仕様に加えて子仕様から特性を継承するかどうかを指定できます。 Pricing Management 機能 販売契約価格リスト 販売契約 機能を使用している場合、セールスエージェントが完了した見積もりから販売契約書を作成すると、公開された販売契約価格表が自動的に生成されます。販売契約書の価格表は、販売契約書に取り込まれた各製品の最終的な単価を反映し、契約書に指定された開始日と終了日に対して有効です。販売契約の詳細については、「Sales Agreement Management」を参照してください。
プロジェクトポートフォリオ管理	Time Card Management Xanadu リリース以降、新規のお客様は、ネクストエクスペリエンス のアナリティクスタイムシート、アナリティクスユーザーマネージャー、アナリティクスプロジェクトマネージャーの各ダッシュボードに直接アクセスできるようになります。
プロジェクトワークスペース	Now Assist 次の値のいずれか プロジェクトワークスペース - Now Assist を使用して、ドキュメントコンポーネントで選択したテキストの簡潔な要約を生成します。 - プロジェクト生成 AI ドキュメントスキルを使用して、ドキュメントコンポーネントで選択したコンテンツを要約、詳細化、短縮します。 Managing projects with Project Workspace - プロジェクトの予算をクラシック UI から ネクストエクスペリエンス に移行します。 - ネクストエクスペリエンス の財務を使用して、プロジェクトの予算を割り当ておよび承認します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	でのリソース計画 プロジェクトワークスペース - リソースにスケジュールがある場合は、アサインされた割り当てスケジュールに従います。 - アサインの作成時に、選択した工数タイプに基づいてユーザーまたはグループを割り当てます。 - 選択した工数タイプの割り当てをインラインで表示します。 プロジェクトの詳細ページの機能拡張 - ステークホルダーを追加し、リソース計画を延長または確認して、新しいリソース割り当てを日次で追加します。 - プログラムのステータスレポートを表示し、[新規テンプレートとして保存] オプションを使用してプロジェクトをテンプレートとして保存します。 [アジャイル] または [ハイブリッド] 実行タイプから、アジャイルフェーズまたはテストフェーズを作成します。 - ストーリーを作成またはプロジェクトに追加したり、新しいエピックを追加したりします。 - サイドパネルからプロジェクトまたはプロジェクトタスクの詳細を表示します。 - プロジェクトを別のタブで開くには、[タスクを新しいタブで開く (Open task in new tab)] アイコンを使用します。 [完全な詳細] リンクを使用して、作業メモと添付ファイルを追加したり、プロジェクトまたはタスクの関連リストを表示したりします。 プロジェクトの予算を管理し、クラシック UI から ネクストエクスペリエンス - 予算の移行オプションを使用して、既存のプロジェクト予算をクラシック UI から ネクストエクスペリエンス に移行します。 - ポートフォリオマネージャーは、予算とコストビューを使用してプロジェクトの予算を割り当て、管理します。 - プロジェクトマネージャーは、計画立案アイテムの予算とキャプチャされたコストの比較を表示します。
公共機関デジタルサービス	Information Request Playbook のドキュメント編集 テキスト本文を強調表示して編集対象に指定することで、Information Request Playbook のドキュメント管理ツール内の機密コンテンツ、データ、またはドキュメント全体を編集します。この機能は、[公開] または [ドラフト] ステータスのドキュメントに対して、情報要求ケースエージェントのみが使用できます。同じドキュメントの新しいバージョンは、テキストが編集または編集解除されるたびに生成されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	公共機関デジタルサービス (PSDS) の Now Assist PSDS の Now Assist のケース要約スキルを使用して、ケースレコードを短いサマリーに要約します。エージェントは、解決策の要約スキルを使用して、ケースの解決情報を生成し、顧客に解決策を提案して、その情報をケースレコードに追加できます。PSDS の Now Assist アプリケーションは、生成 AI ケースの要約と解決メモの生成を公共機関デジタルサービスにもたらしめます。
RPA Hub	Credential Management in RPA Hub アプリケーション認証情報、ロボット認証情報、および時間ベースのワンタイムパスワード (TOTP) 認証を作成し、認証情報グループを介して複数のボットプロセスで再利用できます。 でのボットプロセス構成の移行 RPA Hub ボットプロセス構成と関連資産をある環境から別の環境に移行します。 たとえば、ボットプロセスを開発者の環境から UAT 環境に移行する準備ができたなら、RPA 開発者または RPA アドミニストレータは、公開されたボットプロセスの [移行準備完了 (Ready for Migration)] ボタンを選択できます。このアクションにより、[移行] ボタンが表示されるようになります。このボタンは、ボットプロセスの移行が進行中でない場合にのみ表示されます。その後、RPA リリースマネージャーまたは RPA アドミニストレータは、[移行] ボタンを選択して移行プロセスを開始できます。ボットプロセスと関連資産が移行された後、リリースマネージャーは必要な変更を行い、認証情報を作成して関連付け、関連するボットプロセスレコードを作成し、ボットプロセスを UAT (ターゲット) 環境で公開することができます。 レコーダー機能を使用した要素の問い合わせの強化 RPA デスクトップデザインスタジオ アプリケーションでは、レコーダー機能の使用中に、記録されたアクションと画面を [記録されたアクション (Recorded actions)] ペインで移動および配置できます。記録されたアクションと要素名を編集することもできます。 15 の新しいサンプル自動化 RPA デスクトップデザインスタジオ の [サンプル自動化] ページに追加された無人および有人のサンプル自動化を使用します。また、[サンプルエクスプローラー (Samples Explorer)] セクションで表示することもできます。 • CSV ファイルをマージ • Excel を JSON に変換 • メールから連絡先情報をフェッチ • スキル照合を再開 • ある Excel ファイルから別の Excel ファイルへの範囲のコピー

アプリケーションまたは機能	詳細
	• メールのアーカイブまたは削除 • レポートデータ分析の簡素化 • メール本文に埋め込む Excel テーブルを抽出 • ファイルの圧縮と解凍 • XML から Excel への変換 • テーブルからデータを抽出して Excel に保存する • Excel シートを結合 • Outlook から添付ファイルをダウンロード サンプル自動化は、RPA デスクトップデザインスタジオで自動化がどのように機能するかを示す事前構築済みの自動化です。RPA デスクトップデザインスタジオ には、さまざまなユースケースに対応する複数のサンプル自動化が用意されています。 スキルの強化  ボットプロセス内の関連パッケージ、または RPA Hub の有人および無人パッケージのスキルパッケージバージョンを表示します。RPA リリースマネージャーは、スキルバージョンを上書きして、ボットプロセスに特定のスキルパッケージバージョンを使用できます。 たとえば、最新バージョンのスキルパッケージを使用するには、有人または無人のパッケージを再度公開することなく、RPA Hub でスキルパッケージのバージョンを上書きできます。ボットプロセスのスキルバージョンを上書きするか、スキルパッケージバージョンで上書きするボットプロセスを選択できます。 特定の要件に応じて、同じスキルの異なるバージョンを異なるボットプロセスに使用できます。ボットプロセスが実行されると、自動化で定義されたバージョンではなく、選択したバージョンが使用されます。 次のタブが追加されました。 • ボットプロセスフォームの [スキルの上書き (Skill Override)] タブを使用して、使用されたスキルバージョンを表示します。このタブを使用して、特定のボットプロセスのスキルバージョンを上書きすることもできます。 • 有人または無人のいずれかのタイプのパッケージバージョンで [スキル] タブを使用して、パッケージバージョンで使用されたスキルを確認します。 • スキルパッケージバージョンの [ボットプロセス] タブを使用して、1 つ以上のボットプロセスのスキルバージョンを上書きします。 RPA デスクトップデザインスタジオでは、スキル自動化プロジェクトに対して [ボットプロセスをアサイン (Assign

アプリケーションまたは機能	詳細
	Bot Process)) 機能が有効になっています。[ボットプロセス] フィールドに、有人および無人の両方のボットプロセスが表示されます。無人プロセスの場合、関連付けられたロボットがドロップダウンメニューに一覧表示されます。詳細については、「Assign bot process to an automation project」を参照してください。 ボットプロセスでスキルが上書きされている場合は、RPA デスクトップデザインスタジオの [ボットプロセスをアサイン (Assign Bot Process)] 機能を使用して、現在の実行中に変更されたスキルバージョンを使用します。 ロボットの実行中にスキルが上書きされた場合、ロボットは現在の実行に上書きされたスキルを使用しません。代わりに、ロボットは更新されたスキルバージョンを次の実行から開始することを考慮します。 キューの機密要求コンテンツ 機密データと非機密データの両方を作業項目で個別に渡します。 作業アイテムフォームに、機密コンテンツを保存するための [機密要求コンテンツ (Sensitive Request Content)] フィールドが追加されました。詳細については、「Work item form in RPA Hub」を参照してください。 RPA デスクトップデザインスタジオでは、RPA 開発者はキューコネクタのメソッドで次のように機密データを処理できます。 • <code>CreateJSONWorkItem</code>、<code>PickWorkItem</code>、<code>UpdateWorkItem</code> メソッドでは、RPA 開発者が特定の JSON フィールドを識別して機密としてマークできます。 • <code>CreateStringWorkItem</code> メソッドでは、RPA 開発者には機密性の高い要求コンテンツと機密でない要求コンテンツの両方を含めるオプションがあります。これらの詳細をキャプチャするために、新しいパラメーター <code>Sensitive Request Content</code> が追加されました。機密の要求コンテンツで渡されるデータは暗号化されたデータとして保管され、[要求コンテンツ] フィールドで渡されるデータはプレーンデータとして保管されます。 これらのメソッドの詳細については、「Queue connector methods」を参照してください。 Zip カテゴリの新しい CreateFile コンポーネント 既存のフォルダーを圧縮するか、RPA デスクトップデザインスタジオの CreateFile コンポーネントを使用して zip ファイルを作成します。 でのロボットユーザーマッピング RPA Hub 許可されたユーザーを無人ロボットにマッピングして、マッピングされたユーザーのみがロボット認証情報にアクセスできるようにします。

アプリケーションまたは機能	詳細
	無人ロボットフォームに [ユーザー] フィールドが追加されました。 アップグレードする顧客の場合、[ユーザー] フィールドには、選択した無人ロボットのプロセスジョブを最近作成したユーザー名が自動的にマッピングされます。選択したロボットのプロセスジョブが見つからない場合、RPA リリースマネージャーは適切なユーザーをロボットに手動でマッピングする必要があります。 のガイド付きツアー RPA Hub クラシック環境では、次のガイド付きツアーを利用できます。 • キュー：キューの作成方法に関するステップバイステップの簡単な手順がインスタンスで示されます。 • ボットプロセス：ボットプロセスとその関連リストをエンドツーエンドで構成する方法について、インスタンスでステップバイステップの簡単な手順が示されます。ツアーを選択して、無人のボットプロセス、有人のボットプロセス、または埋め込みタスクの自動化を作成できます。 ヘルプセンターの [新着情報] タブ RPA Hub インスタンスで新しくリリースされた RPA Hub 機能について説明します。 新しいコンテンツが利用可能になると、[ヘルプセンター] ボタンの青色のインジケーターにより、その機能コンテンツが新規であり、インスタンスで未読であることが通知されます。
規制変更管理	ルールベースの規制アラートのアサイン 規制アラートを内部のステークホルダーに自動的に配信するためのルーティングルールを定義します。条件を適用して、受信した規制フィードを [タイトル]、[説明]、[キープ付]、その他多くのフィールドでフィルタリングできます。さらにレビューするために、フィルタリングされた規制アラートをドメインエキスパートに自動アサインすることもできます。 Add an AI-recommended citation to a regulatory alert 受信した規制変更、各種法令・基準等、子引用、および関連するコントロールオブジェクトを通じて、最も関連性の高い引用から AI を利用した推奨事項を追加します。推奨事項にドリルダウンして、アラートのコンテキスト内の詳細を調べることができます。 • アプリケーションに同梱されているクラシック UI のカレンダーレポートビューを拡張する予定はありません。 • アプリケーションに同梱されているクラシック UI の概要ダッシュボードを拡張する予定はありません。

アプリケーションまたは機能	詳細
リソース管理ワークスペース	Resource Management Workspace - 選択したタスクで作業しているリソースを表示するには、リソースボードを作成しているときに、[タスク] オプションを使用してタスクベースのリソースボードを作成します。 - リソース管理ワークスペースビューから直接、リソースのアサインと運用リソースのアサインの作成、アサイン、および管理を行います。 - グループのリソースのアサインと、グループ運用リソースのアサインを作成し、それらを [未アサイン (Unassigned)] タスクトレイに表示します。 - 選択した日付からリソースのアサインを分割し、他のリソースに割り当てを再アサインします。 - 新しいアイコンを使用して、承認されたタスクの更新を表示します。
Retail Operations (リテールオペレーション)	小売業データモデル 小売組織の階層構造をモデル化することで、小売業務を最適化します。 小売業ケースタイプ 小売業ケースタイプを使用すると、店舗内の問題を効果的に管理できます。 ストアサポートポータル 小売業のストアサポートポータルを使用して、セルフサービスツールを利用します。
販売契約管理	販売契約管理 application 見積もりから販売契約書を作成し、購入者と販売者の間で交わされる今後の販売取引の範囲と価格をキャプチャします。販売契約には、購入者と販売者の詳細、契約の有効期間、製品とサービスの数量と価格などの情報が含まれています。
セキュリティセンター	Security Event Notifications セキュリティイベント通知ツールで指定したユーザーの行動に関するプロンプト通知を受信します。選択したユーザーは、ポリシーがトリガーされたときにメール通知を受信し、問題を迅速に修復できます。 セキュリティ体制ダッシュボード セキュリティ体制ダッシュボードを使用して、すべてのインスタンスのセキュリティ健全性を監視します。単一インスタンスのダッシュボードは、主要なセキュリティのキープロセスインジケーター (KPI) のグラフィカルウィジェットを提供します。本番インスタンスでのみ利用可能なマルチインスタンスダッシュボードには、すべてのインスタンスの同じ

アプリケーションまたは機能	詳細
	KPI が表形式で表示されます。ダッシュボードをクローン作成してから完全にカスタマイズすることができます。 Security banner announcements  セキュリティバナーのお知らせを使用して、ServiceNow からの今後のセキュリティに関するお知らせに備えます。この機能により、ServiceNow で、システムアドミニストレーターに表示されるカスタマーインスタンスで新しいバナーをトリガーできます。これらのメッセージは、新規および緊急の潜在的なセキュリティ問題を通知し、詳細へのリンクを含んでいます。 Data Classification  セキュリティ測定基準ツールのデータ分類測定基準を使用して機密データを監視します。ツールの更新には、2 つの新しい測定基準が含まれています。[分類可能なデータ (Classifiable Data)] 測定基準には、分類に利用可能なデータの量と、既に分類されている部分が表示されます。[分類済みデータ (Classified Data)] 測定基準には、分類ラベル全体の分類済みデータのブレイクダウンが表示されます。
セキュリティインシデントレスポンス	Configure Shift Handover Templates  シフトの引き継ぎ機能を使用して、シフト間のシームレスな移行のために、退勤者と出勤者の間で重要な詳細情報、タスク、および最新情報を伝達できるようにします。作業場で円滑に運用を継続できるようにし、エラーを減らし、全体的な効率を向上させます。 Configure Slack chat connector for major security incidents  Slack でのコラボレーションチャットアクティビティを表示およびフィルタリングして、重大なセキュリティインシデントを解決するためにより効率的にコラボレーションします。 Playbook for Legal Request  重大なセキュリティインシデントの最新のサマリーを法務部門に通知し、重大な違反の場合に必要な 4 日以内の SEC への通知を可能にする方法について、ステップバイステップのガイダンスを取得します。 Add Zscaler Internet Access URL category lists  [承認が必要 (Require Approval)] オプションが選択されている場合、Zscaler 承認者は、必要な承認のリストに観測事象を追加または削除することができます。 Configure how an automatic event is created  および MISP event data  MISP プロファイルの自動構成中にセキュリティタグを追加します。 Mapping DLP incident status with Netskope  ServiceNow インスタンスの DLP インシデントステータスと Netskope オブジェクトステータスの間のマッピングを指定します。 Define the new Risk Score Calculator Rules 

アプリケーションまたは機能	詳細
	セキュリティインシデントレスポンスワークスペースのリスクコア構成が、次の機能で拡張されました。 • スクリプトまたは条件ビルダーからリスクスコア算出を設定します。 • ルールベースの採点の設定中に複数の条件を適用します。 • 各スコアリングラインに重み付けを適用します。重みの合計は 100 にする必要があります。 • ルールベースの採点の場合は、条件を設定するためのテーブルフィールドと値を選択します。 • スクリプトを使用して条件とスコアリングをキャプチャします。 • リスクスコア算出を手動で実行して、変更後に再計算します。 Managing MSIM status reports サードパーティベンダー、他のエンティティ、メール配布リストなど、ServiceNow インスタンス外のユーザーとモバイル対応のエグゼクティブステータスレポートを共有します。
セキュリティポスチャコントロール	セキュリティポスチャコントロールワークスペースのカスタムインサイトの機能拡張 セキュリティポスチャコントロール ワークスペースのカスタムインサイトモジュールの名前が構成済みインサイトモジュールに変更されました。 カスタムインサイトレコードを作成するときは、グループをアサインしてカテゴリ別にレポートを編成する必要があります。グループは、設定した基準に従って、構成済みインサイトモジュールのダッシュボードでデータの可視化が表示される場所を決定します。 ポリシーと結果モジュールの条件ポリシービルダーの機能拡張 [接続 (Connection)] の [集計データあり (With aggregated data)] を選択し、ポリシーで、報告されたデータにわずかな違いがある資産を一致させるようにします。ハードウェア資産のポリシーの次のプロパティは、さまざまなソースによって報告されるようサポートされています。 • ホスト名 • FQDN • OS • OS バージョン • OS ドメイン • OS サービスパック テスト結果と修復タスクの状況移行

アプリケーションまたは機能	詳細
	ポリシー監査の機能拡張により、廃止された資産がアクティブ化されたポリシーによって評価されなくなります。資産のステータスが [廃止] から [アクティブ] に戻ると、次のポリシー評価の対象となります。
サービスブリッジ	Service Bridge mismatched version support プロバイダーとコンシューマーは、データ交換機能に影響を与えることなく、異なるバージョンの サービスブリッジ アプリケーションを実行できます。プロバイダーは、コンシューマーとアプリケーションのアップグレードを調整することなく、新しい機能を採用できます。 構成リビジョン プロバイダーは、アプリケーションを更新していないコンシューマーに影響を与えることなく、機能が更新されたエンタイトルメントの新しいバージョンまたはリビジョンを開発して、互換性のあるコンシューマーに展開できます。したがって、コンシューマーは、新しいリビジョンを展開する際に、リモートタスク定義、リモートレコードプロデューサー、基盤データ同期オフリングなどの古いリビジョンのエンタイトルメントを使用できます。 コンシューマーのプリフロー コンシューマーは、フローを サービスブリッジ リモートレコードプロデューサーに関連付けることでプロバイダーとのデータ同期を制御し、タスクがプロバイダーと同期される前に、承認などのコンシューマー定義のプロセスを実行できます。 Integration with Sales and Order Management プロバイダーは、コンシューマーインスタンスでリモートレコードプロデューサーとして公開することで、顧客が資格付与された セールスと注文管理 製品オフリングをサービスカタログから迅速に注文できるようにします。
サービスカタログ	でのカタログアイテムのインライン表示タイプのサポートの追加 仮想エージェント 自然言語理解 (NLU) を利用した仮想エージェントでカタログアイテムフォームにインラインで入力します。 たとえば、インライン表示タイプとマークされたカタログアイテムを要求しているときに、要求者は仮想エージェントの会話内でアイテムとそのオプションを入力できます。
Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合	OT デバイスを産業製品モデルカテゴリに分類する 強化された Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合は、OT クラスデバイスの 産業用 製品モデルカテゴリに資産を作成します。これにより、エンタープライズ資産管理製品との互換性が実現し、OT クラスのデバイスのライフサイクル全体を管理できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
Microsoft Defender for IoT のサービスグラフィコネクタ (Azure)	OT デバイスを産業製品モデルカテゴリに分類する 強化された Microsoft Defender for IoT (Azure) のサービスグラフィコネクタ は、OT クラスデバイスの 産業用 製品モデルカテゴリに資産を作成します。これにより、エンタープライズ資産管理 製品との互換性が実現し、OT クラスのデバイスのライフサイクル全体を管理できます。
Service Operations Workspace for ITSM	アドミンセンターの変更 • 画面上のユーティリティを使用して、これらの機能を再構築することなく、ITSM エージェントワークスペースの機能をサービスオペレーションワークスペースに移行します。この移行には、さまざまなフォーム、UI アクション、およびリストに対して行われたITSM エージェントワークスペースのカスタマイズが含まれます。 • レコードページのコンテキストサイドパネルタブの可用性と順序を構成します。 • サービスオペレーションワークスペース アドミンセンターから最新の変更管理機能を構成して、変更の効率を高め、変更承認を迅速化し、データ駆動導型のリスク分析を推進し、DevOps データを使用して変更を自動化します。 • 各問題レコードのステータスについて、[概要] タブの可視性設定を構成します。 • インシデント管理 in アドミンセンターのインシデントレコードセクションから、階層 1 エージェントのインシデントレコードページにある [概要] タブのヴィジリティ設定を構成します。 • サービスデスク支援パスワードリセットを構成して、次のタスクを実行します。 ◦ パスワードリセットサービスデスクロールをユーザーにアサインします。 ◦ ユーザーがパスワードの変更またはリセットを実行している間の認証情報ストアサーバーへのアクセスを構成するには、認証情報ストアレコードを作成します。 ◦ サービスデスクプロセスの検証方法を構成します。 ◦ パスワードポリシーを構成します。 詳細なロール 次の詳細なロールを使用して、サービスオペレーションワークスペース for ITSM のさまざまなレコードページのユーザーアクセスを構成します。これらのレコードページへのユーザーのアクセスは、アサインされたロールに基づきます。 • インシデント：sn_incident_read and sn_incident_write • 要求：sn_request_read、sn_request_write

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 問題：sn_problem_read、sn_problem_write - 変更：sn_change_read と sn_change_write i 注: これらの詳細ロールは sn_sow.sow_home ロールと sn_sow.sow_list ロールを継承するため、詳細ロールを持つユーザーは、サービスオペレーションワークスペース for ITSM のホームページとリストページにアクセスできます。 インタラクションレコードページの機能拡張  [依頼者 (Opened for)] カードから、要求者の詳細、資産、最近のインタラクション、および関連リンクを表示します。この一元化されたアクセスポイントは、要求者の情報を効率的に管理するための包括的な概要をエージェントに提供します。 ワークフローを簡素化し、インタラクションに引き続き焦点を当てるために、レコード関連付け用のモダルのインターフェイスが サービスオペレーションワークスペース のインタラクションレコードに実装されています。このインターフェイスは、変更、インシデント、ナレッジ、問題、要求など、インタラクションに頻繁に関連付けられるテーブルを自動的に提案することで、ワークフローを簡素化します。この機能強化は、運用を合理化し、ユーザーの効率を高めることを目的としています。 インシデントレコードページの機能拡張  インシデントレコードページの機能拡張は次のとおりです。 - 次の参照フィールドの構成アイテム (CI) の依存関係を表示します。 - 構成アイテム - サービス - サービスオフリング - VIP ユーザーのコンテキストサイドパネルの [詳細] タブと [レコード情報] タブで、申請者フィールドの VIP フィールドデコレーターを表示します。 - 影響を受ける CI をインシデントレコードに追加するときに、構成クラスに基づいて構成アイテム (CI) を検索してフィルタリングします。 - エージェントがインシデントレコードからナレッジギャップを報告すると、作成されたナレッジフィードバックタスクレコードリンクを含む成功メッセージが表示されます。リンクを選択すると、別のタブでナレッジフィードバックタスクレコードを開いて、情報を提供し、ナレッジギャップの記事を作成できます。 - パスワードリセットに関連する問題について、インシデントカテゴリとして [パスワードリセット] を選択できるようになりました。このカテゴリを設定してインシデ

アプリケーションまたは機能	詳細
	トレコードを保存した後、[パスワードのリセット (Reset password)] UI アクションを使用してインシデントを解決できます。パスワードリセットの詳細については、「Password Reset in SOW (SOW のパスワードリセット)」を参照してください。 重大なインシデントのお知らせ 進行中の重大なインシデントに関するコミュニケーションメッセージをブロードキャストすることで、ユーザーに知らせます。重大なインシデントレコードの [通信] タブからお知らせを作成および構成します。お知らせは、ユーザーが IT サービスポータルで表示できるお知らせバナーまたはお知らせウィジェットに表示できます。 のクイックスタートテスト インシデント管理 次の値のいずれか サービスオペレーションワークスペース for ITSM 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了した後、クイックスタートテストを実行して、インシデント管理の機能が想定どおりに機能していることを確認します。インシデント管理をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために構成します。サービスオペレーションワークスペース for ITSM のインシデント管理に、次のクイックスタートテストが追加されています。 - インシデントからの問題の作成：[問題の作成 (Create problem)] UI オプションを使用して、インシデントからの問題の作成をテストできます。 [自分にアサイン (Assign to me)] ボタン機能の確認：[自分にアサイン (Assign to me)] UI オプションを使用して、インシデントのアサインをテストできます。 でのパスワードリセット サービスオペレーションワークスペース for ITSM ユーザーのパスワードをリセットできるようにし、ユーザーが自分のアカウントにすばやくアクセスできるようにします。 Exploring Recommended Actions for ITSM in Service Operations Workspace 問題の迅速な対処に役立つ AI を活用した推奨事項を手動で検索します。AI 拡張検索結果は、インシデント、インシデントタスク、問題、問題タスク、変更要求、変更要求タスク、インタラクション、および要求のレコードタイプで使用できます。 問題レコードの [概要] タブ 各問題ステータスの動的な [概要] タブのセクションに、どのような情報をどのように表示するかを構成します。 問題タスクのライフサイクルの管理

アプリケーションまたは機能	詳細
	[対応中 (Work in Progress)] ステータスから問題タスクを再評価する機能など、問題タスクアナリストにさらなる柔軟性を提供します。 問題モデルの初期サポート 問題管理モデルの概要。1 つのデフォルトの問題モデル (全般) と 2 つのデフォルトの問題タスクモデル (根本原因分析と全般)。 デフォルトのモデルは、Xanadu リリースの基本ライフサイクルに相当します。この初期サポートにより、カスタムモデルを作成して、特定のユースケースに合わせて追加のシナリオを調整できます。 注: サービスオペレーションワークスペース 5.x を使用していて、問題管理モデルを有効にしている場合、問題および問題タスクは、サービスオペレーションワークスペースではなくクラシック UI16 エクスペリエンスで管理します。 サービスオペレーションワークスペース 6.x は Xanadu リリースに基づいており、問題管理モデルをサポートしています。 問題から修正タスクを作成するためのショートカット 問題の [概要] タブから次のショートカットを使用します。 • [欠陥を作成] (アジャイル開発 2.0 の一部) • [機能拡張を作成] (アジャイル開発 2.0 の一部) • [改善イニシアチブを作成] (継続的改善管理 の一部) ガイド付きツアー 特定の概念やプロセスをガイドする一連のインタラクティブな手順を通じて、サービスオペレーションワークスペース for ITSM について学習します。
サービスポータル	ポータルの非アクティブ化 ユーザーにアクセスさせたくないポータルへのアクセスをオフにし、別のポータルにリダイレクトします。
サービスポートフォリオ管理	Set the time zone for availability results in Service Portfolio Management 可用性システムプロパティ [com.snc.availability.v2] を true に設定して、可用性の結果を計算するタイムゾーンを設定することができます。可用性の計算の設定ページでは、サービスオフリングのコミットメントタイムゾーン ([はい] または [いいえ]) を使用して可用性を計算することを選択できます。また、提供されたリストからタイムゾーンを選択して、グローバルな可用性タイムゾーンを設定するオプションも提供します。[はい] を選択してコミットメントタ

アプリケーションまたは機能	詳細
	タイムゾーンで可用性を計算すると、コミットメントレコードの [タイムゾーン] フィールドを使用して可用性の結果が計算されます。可用性レコードの [タイムゾーン] フィールドは読み取り専用です。グローバルタイムゾーンを設定することを選択すると、すべての可用性の結果で、グローバルとして設定したタイムゾーンが使用されます。 注: グローバルタイムゾーンとコミットメントタイムゾーンを管理する基礎となるシステムプロパティは排他的です。グローバルタイムゾーンを設定することも、サービスオフリングのコミットメントを反映するようにタイムゾーンを設定することもできますが、両方を同時に設定することはできません。 Assign multiple teams to support a service offering in Service Portfolio Management サービスオフリングに追加された Teams 関連リストを使用して、サービスオフリングをサポートするさまざまなグループタイプをアサインします。関連リスト機能は、サービスポートフォリオ管理アプリケーションに追加された既存のプラットフォーム機能であるため、関連するサポートチームをデジタルポートフォリオ管理ビューで表示できます。プラットフォーム機能の詳細については、「Teams related list」を参照してください。
サービスリライアビリティ管理	Service Reliability Management および Service Level Objective Management サービスオペレーションワークスペースの サービスリライアビリティ管理 と サービスレベル目標管理 ページの詳細を確認します。
ServiceNow IDE	以下に基づく IDE での作業 Visual Studio Code Web の場合 Visual Studio Code for the Web をベースとした使い慣れた統合開発環境でアプリケーションを作成および開発します。ServiceNow IDE には、タイプセーフティ、IntelliSense、依存関係の適用、コード検索、ソースコントロールの統合など、Visual Studio Code と同じ機能が多数あります。 ソースコードでスコープ対象のアプリケーションを構築する ServiceNow Fluent を使用して、アプリケーションを構成するメタデータを定義するソースコードを記述します。ServiceNow Fluent は、さまざまなタイプのアプリケーションメタデータを定義するための API を備えたドメイン固有のプログラミング言語です。ソースコードでアプリケーションを開発すると、使い慣れた開発環境での作業、複雑なアプリケーションの作成と変更、ソースコントロールでの容易なコードの管理、ビルド時のエラーのキャッチが可能になります。ServiceNow Fluent の言語処理と検証は、デフォルトで ServiceNow IDE に含まれています。 JavaScript モジュールとサードパーティライブラリの作成と使用

アプリケーションまたは機能	詳細
	カスタム JavaScript モジュールとサードパーティの JavaScript ユーティリティを使用して、スコープ対象のアプリケーション内でコードを整理して再利用します。 さまざまなスキルセットのユーザーとアプリケーションでコラボレーションする  ServiceNow IDE やその他の Now Platform ビルダーツールやインターフェイスから、さまざまなスキルセットのユーザーと同時にアプリケーションでコラボレーションします。開発者は、アプリケーションを構築してソースファイルをメタデータにコンパイルし、埋め込み Now Platform ユーザーインターフェイスで表示できます。ServiceNow IDE 内のアプリケーションは、他のユーザーの変更と自動的に同期されます。 ソースコントロールでのアプリケーションの管理  リモート Git リポジトリと統合して、ServiceNow IDE でソースコントロールを使用します。ベーシック認証 または OAuth 2.0 を使用して、リモートの Git プロバイダーとリポジトリに接続します。
ServiceNow SDK	ソースコードでスコープ対象のアプリケーションを構築する  ServiceNow Fluent を使用して、アプリケーションを構成するメタデータを定義するソースコードを記述します。ServiceNow Fluent は、さまざまなタイプのアプリケーションメタデータを定義するための API を備えたドメイン固有のプログラミング言語です。ソースコードでアプリケーションを開発すると、使い慣れた開発環境での作業、複雑なアプリケーションの作成と変更、ソースコントロールでの容易なコードの管理、ビルド時のエラーのキャッチが可能になります。 ServiceNow Fluent の言語サーバー Visual Studio Code  Visual Studio Code Marketplace から ServiceNow Fluent Language Server をインストールして、Visual Studio Code の ServiceNow Fluent の言語処理と検証を取得します。
サイドバー	サイドバーディスカッションへのユーザーグループの追加  個々のユーザーに加えて、ユーザーグループを サイドバーディスカッションに追加できるようになりました。 サイドバーの使用日時 モバイルプラットフォーム エージェント向け  エージェントの場合は、モバイルプラットフォームで利用できるようになった サイドバー を使用します。 すべてのレコードタイプでサイドバーディスカッションを作成  インタラクションやタスクベースのレコードだけでなく、すべてのレコードタイプで サイドバー ディスカッションを作成します。 でのさまざまなエキスパートファインダーサービスの使用 サイドバー 

アプリケーションまたは機能	詳細
	サイドバー にアクセスする場所に応じて、異なるエキスパートファインダーサービスを使用します。 チャットの要約のクイックアクションを使用 クイックアクションを使用してチャットの要約を生成します。
Skills Intelligence (スキルインテリジェンス)	Skills Workspace スキルインテリジェンスワークスペースのジョブアーキテクチャビューを使用して、ジョブアーキテクチャが現在どのように構成されているか、およびジョブファミリーとロールグループ、およびそれらに関連するスキルを確認します。ノードマップを見ることで、修正が必要な問題を把握します。 スキルインテリジェンスワークスペースに表示される推奨事項からロールグループとスキルを選択します。 従業員ポータルに従業員向けのインターフェイスを使用してロールレベルとスキルを選択および更新します。 スキルのインポートと呼ばれる動的でインタラクティブなプレイブックエクスペリエンスを使用して、スキルをインポートおよびレビューします。
Skills Management (スキル管理)	でスキル管理ダッシュボードを使用する ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイス ネクストエクスペリエンス ユーザーインターフェイスを使用して、傾向を分析し、組織のスキルギャップを評価します。 の多言語機能 スキル管理 スキル [cmn_skill] テーブルの翻訳されたテキストデータタイプをサポートする次のフィールドを使用して、スキル名と説明を翻訳します。 • スキル名を表示：[名前] フィールドの対応する値を自動入力します。 • [説明]
スマートアセスメントエンジン	Using the template designer スマートアセスメントエンジンでテンプレートデザイナーを使用すると、アセスメントテンプレートを簡単に作成し、指示、質問、および参照情報をアセスメントテンプレートに追加できます。 • アセスメントテンプレートに指示と質問を追加する ：SAE ラジオボタン、チェックボックス、ドロップダウンリストなど、最も一般的に使用される質問タイプをサポートしています。スマートアセスメントは高度にカスタマイズ可能であるため、次のタスクを実行できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	○ 質問を明確にするために、セクションとサブセクションに整理します。 ○ 査定人が各質問のコンテキストと要件を理解するのに役立つ指示を追加して、応答の精度と関連性を向上させます。 ○ 査定人が質問に答えやすいように、質問のガイダンステキストを構成します。 ○ 査定人の以前の回答に応じて質問を表示または非表示にするように設定します。 ○ 選択した応答に基づく説明を査定人に提供する、応答の正当性プロンプトを統合します。 ○ 査定人に、応答に基づく契約、許可、請求書などの補足ドキュメントを添付するように要求します。 • アセスメントテンプレートに参照情報を追加する  : アセスメントスコープのライブデータを参照情報として組み込んで、査定人がアセスメントに回答している間に必要な情報にすぐにアクセスできるようにします。このライブデータにより、外部参照の必要性が最小限に抑えられます。 • アセスメントテンプレートカテゴリの作成  : 関連するアセスメントテンプレートのコンテナとしてテンプレートカテゴリを作成します。アセスメントテンプレートカテゴリを作成することで、許可された担当者のみがテンプレートにアクセスして変更できるようにすることができます。 アセスメントに対応する  アセスメントがどの程度完了したかを示す進行状況インジケータを使用すると、アセスメントをより効率的にナビゲートできます。アセスメントをより簡単にナビゲートできるように、質問はページネーションされています。作業は自動的に保存されるため、手動で保存する必要がなくなり、データの損失を防ぐことができます。進行中のアセスメントを別のユーザーに再アサインしたり、不要になったアセスメントをキャンセルしたりすることもできます。 アセスメントをトリガー  公開されたアセスメントテンプレートに基づく [スマートアセスメントのトリガー (Trigger Smart Assessment)] フローアクションを使用して、アセスメントを開始します。定義されたスコープと期限を使用して、指定された査定人にアセスメントを割り当てることができます。 複数のアセスメントを 1 つの統一された送信にまとめる  アサインされた複数のアセスメントを 1 つの簡素化されたビューにまとめます。これらの結合されたアセスメントを一度に効率的に管理、送信、または再アサインすることができます。一括送信や一括再割り当てなどの機能を使用して、すべてのアセスメントを 1 回のアクションで処理できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	ドメインで区切られた展開  スマートアセスメントエンジン でのドメインセパレーションは Xanadu リリース以降サポートされており、データ、プロセス、および管理タスクを個別のドメインに整理できます。このフレームワーク内では、テンプレートはプロセスごとに分離され、アセスメントはデータごとに分離されるため、ドメインに従って制御されたアクセスと可視化を確保できます。 従来のアセスメント測定基準タイプをスマートアセスメントテンプレートに移行する  ServiceNow アセスメントとサーベイ アプリケーションから既存のアセスメントデザインを移行します。テンプレートは、ワンクリックで自動的に下書きとして転送されます。デザインを移行した後、これらのドラフトをレビューして公開し、結果を確認する必要があります。アセスメントとサーベイ アプリケーションの質問のセットは、測定基準タイプとして保存されます。移行時に、これらの測定基準タイプは質問タイプとして保存されます。カスタム、期間、画像スケール、パーセンテージ、ランキング、および評価の質問タイプは、移行ではサポートされていません。
Software Asset Management (ソフトウェア資産管理)	Tableau クラウドアプリケーションの直接統合サポート  ServiceNow インスタンスを Tableau Cloud アプリケーションと統合することで、サブスクリプションを可視化し、古いライセンスを再利用します。 業務の全体像を把握する GitHub Enterprise クラウドサブスクリプション  外部コラボレーター、保留中の招待、保留中の外部コラボレーターを含む、GitHub Enterprise クラウドサブスクリプションを最適化する拡張機能を活用します。 コストの最小化と最適化 Smartsheet イベントレポートアドオンを必要としないサブスクリプション  追加の Smartsheet イベントレポートアドオンを使用せずに、Smartsheet サブスクリプションを最適化します。Smartsheet 統合を使用して前回のログイン情報を取得すると、効率的に使用されていないサブスクリプションを分析して、Smartsheet のソフトウェア支出を削減できます。 統合: SaaS 最小限のユーザー権限を持つアプリケーション SaaS ライセンスを最適化するために必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。 のログインベースのライセンスを可視化する Salesforce CRM applications  ユーザーサブスクリプションを作成しなくても、Salesforce CRM ログインの消費数に関するインサイトを取得できます。 のライセンスを組織に付与する Oracle Java SE Universal with the Employeeライセンス・メトリック 

アプリケーションまたは機能	詳細
	従業員ライセンス測定基準を使用して、Oracle Java SE Universal を使用しているすべての従業員にライセンスを付与します。階層ベースのライセンスモデルでは、ライセンス割引もサポートされています。 のエクスポート機能を使用して、資産情報の分析を拡張 ソフトウェア資産ワークスペース ソフトウェア資産ワークスペース からの資産情報のエクスポートのサポートにより、より多くのインサイトを取得し、運用を簡素化します。 検出されたインベントリに関する実用的なインサイトにより、ソフトウェア資産管理のライセンスの成果を向上させる 資産内で検出されたインベントリ、正規化、EOL ソフトウェア製品、ソフトウェアバージョン、エディションの急増に関するインサイトを取得します。正規化を改善し、バージョンとエディションの急増を減らし、EOL ソフトウェアを修復するために行動します。 支出トランザクションからのインサイトを追加して、重複するソフトウェア使用状況の分析を拡張 ソフトウェア資産ワークスペース の重複する使用状況ビューで、支出トランザクションに関連するデータを表示します。支出検出、直接統合プロファイル、SSO 統合プロファイルなどのアプリケーションから、結合されたデータに関するインサイトを得ることができます。 のライセンスコンプライアンスの判断 Microsoft Windows Server、SQL Server、および RHEL Server Nutanix仮想化テクノロジーに展開 Nutanix 仮想化テクノロジーでの展開により、Microsoft Windows Server、SQL Server、RHEL Server のライセンスコンプライアンス要件に対応します。 管理のための手作業を削減する Microsoft Windows サーバークライアントアクセスライセンス (CAL) と自動使用状況追跡 ServiceNow ディスカバリー を使用してサーバーソフトウェアにアクセスしているユーザーとデバイスを追跡および管理し、Microsoft Windows Server のベース CAL の自動作成サポートを使用します。 最適化 Microsoft Visio、Project Online、および Microsoft 365 の Copilot サブスクリプション Microsoft 365 アドミンセンター Microsoft 365 アドミンセンターで Microsoft Visio、Project Online、Microsoft 365 Copilot サブスクリプションの使用状況を追跡し、未使用のサブスクリプションの再利用候補を作成します。さらに、すべてのサブスクリプションで、削除の可能性があるライセンスを消費しているブロックされたユーザーを監視できます。 ソフトウェアスイートを検出するための追加構成により、ソフトウェアスイートのライセンス精度が向上 スイートコンポーネントの推定数を設定することで、ソフトウェアスイートのライセンス精度を向上させます。スイート

アプリケーションまたは機能	詳細
	コンポーネントを含む新規作成のソフトウェアモデルの場合、デフォルトで [推定数 (Number inference)] オプションが選択されています。 [ライセンス使用状況 (License usage)] ビューを管理対象ソフトウェアに制限  エンタイトルメントに関連付けられているソフトウェアモデルのみのソフトウェアモデルの結果を表示し、[ライセンス使用状況 (License usage)] ビューを管理対象ソフトウェアに制限します。 クラスター構成、ライセンス、最適化に関する包括的なインサイトの取得  インフラストラクチャ、ライセンス使用状況、最適化、およびクラスターの健全性データを 1 つの包括的なビューに統合することで、クラスター分析を簡素化します。この統合により、ソフトウェア資産管理 (SAM) マネージャーはクラスターのセットアップを理解し、クラスターで実行されているホスト、仮想マシン、ソフトウェアなどの詳細を調べることができます。さらに、ソフトウェアライセンスの使用状況、最適化、および健全性の問題に関するインサイトを得ることができます。この知識を得ることで、SAM マネージャーは、クラスターのあらゆる側面を対象として、情報に基づいた意思決定を行うことができます。 ワイドネット正規化により、類似のディスカバリーモデルの正規化範囲が向上  ワイドネット正規化により、類似のディスカバリーモデルを持つソフトウェア製品の正規化を改善します。ワイドネット正規化では、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは単一の正規化ルールを使用して、検出されたメジャーバージョン、検出されたパブリッシャー、および検出された製品について同じパターンを共有するソフトウェア製品を正規化します。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、コンテンツサービス チームが類似のディスカバリーモデルに対して追加の正規化ルールを作成しなくても、検出されたソフトウェア製品をすぐに正規化できます。この簡素化された正規化プロセスにより、ソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスをより効率的に調整し、判断することができます。 を使用してソフトウェア製品のコンテンツ要求を直接管理する ソフトウェア資産管理 application  ソフトウェア資産管理 アプリケーションから直接、ソフトウェア製品のコンテンツ要求を送信、レビュー、および廃棄します。公開されているソフトウェア製品がソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ に存在しない場合は、カスタムソフトウェア製品として ServiceNow インスタンスに追加できます。これらのカスタムソフトウェア製品をインスタンスに追加することで、対応するコンテンツ要求をコンテンツサービス チームに自動的に送信しながら、下流のプロセスですぐに使用できます。これらのコンテンツ要求がコンテンツサービス チームによって処理された後、カスタムソフトウェア製品をソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ に追加されたソフトウェア製品と統合できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	のライセンスコンプライアンスの管理 Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ソフトウェアをハイブリッドインフラストラクチャ全体で Red Hat Enterprise Linux (RHEL) の Bring Your Own Subscription (BYOS) サポートを使用して、オンプレミス環境とパブリッククラウド環境の両方で RHEL ソフトウェアのライセンスコンプライアンスを判断します。サポートされているパブリッククラウドプロバイダーには、AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP) が含まれます。ライセンスコンプライアンス情報を使用して、準拠していない RHEL ソフトウェアインストールを修正します。 最適化 IBM パブリッククラウド全体でライセンスを付与するには、IBM のライセンスコンプライアンス ソフトウェア資産管理 application IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを使用して、パブリッククラウド全体で IBM ライセンスを追跡および測定します。サポートされているパブリッククラウドプロバイダーには、AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP) が含まれます。 のライセンスコストを最適化 Microsoft Windows サーバーと Microsoft クラスターでの SQL Server のデプロイ Microsoft コアライセンス最適化レポートを使用して、Microsoft クラスターに推奨されるコストベースのライセンス最適化に関するインサイトを得ます。この情報を使用して、Microsoft クラスター展開全体のコストを最大限に削減します。 への間接アクセスのライセンスを管理する SAP を使用するアプリケーション SAP デジタル アクセス ライセンス モデル SAP デジタルアクセスモデルを使用して、サードパーティアプリケーションまたは SAP 以外の仲介ソフトウェアを介した SAP アプリケーションの使用状況を追跡します。このライセンスモデルでは、SAP アプリケーションの使用は、サードパーティアプリケーションによって作成されたドキュメントの数によってライセンス供与されます。ドキュメントには次のものが含まれます。 • 営業 • 請求書 • 発注書 (PO) • サービスとメンテナンス • 製造業 • 品質管理 • 時間管理 • 財務 • 資料

アプリケーションまたは機能	詳細
ソーシングと調達オペレーション	Now Assist for Sourcing and Procurement Operations (SPO)  プラットフォームの Now Assist 会話スキル、仮想エージェントの Now Assist を活用した新しいソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist アプリケーションを使用して、調達ニーズに対応する会話のようなエクスペリエンスを通じて要求者をガイドします 仮想エージェントの Now Assist では、調達関連のトピックを使用して要求者を適切な取り込みチャンネルにルーティングし、会話を通じて要求の送信を支援します。このアプリケーションを使用すると、履行者に依存する必要がなく、要求者は AI コンパニオンの助けを借りて調達要求を正確に送信できます。 要求者の購入ニーズに合わせて、SPO の Now Assist アプリケーションは製品カタログ内の既存の製品を検索し、利用可能な製品を表示します。カタログで価格の有無にかかわらず製品が見つかった場合、要求者は会話を通じて質問に入力できます。製品がカタログに見つからない場合、アプリケーションはより多くの情報を収集し、要求者を正しいカタログ外の記入フォームにルーティングします。 Source-to-Pay Operations Pro SKU と Sourcing and Procurement Operations Pro SKU の資格がある場合は、このアプリケーションをインストールできます。 Shopping Hub でエンドツーエンドのプロセスを可視化し、購入者が要求を送信した後の調達プロセスの透明性を確保します。また、独自のビジネスプロセスに合わせてこの機能を構成することもできます。たとえば、デフォルトのコンテンツおよび構成フレームワークを使用して、独自のコンテンツを変更および編集できます。 • アドミニストレータが、ステップと、各ステップ内にある作業を定義および変更できるようにする構成フレームワークを通じて、エンドツーエンドのプロセスのヴィジビリティを構成します。また、ラベルの順序付けや変更を行うことで、柔軟性を高め、ビジネスプロセスとの整合性を高めることができます。 • Shopping Hub の調達要求、購買要求、発注書について、次のエンドツーエンドの可視性を購入者に提供します。 ◦ 要求の進捗状況と予想される完了タイムライン。 ◦ 順次ステップおよび同時ステップのステップの依存関係と進行状況。 ◦ 完了したステップ、現在のステップ、および将来のステップ。これによりステップ内の作業のステータスを監視できます。 ◦ 承認、ケース、タスクなどの作業の順序付け。 ◦ 購入者とのコミュニケーションが強化され、購入者がプラットフォーム内から直接タスクアサインやタス

アプリケーションまたは機能	詳細
	クアサイン担当者にメッセージを送信できます。この通信は、監査証跡を通じて追跡できます。 Shopping Hub の [自分の購入リスト (My Purchases List)] ページと [詳細] ビューページ間の購入者のページナビゲーションの記録。
戦略的計画	戦略計画の Now Assist - 計画立案アイテム生成 AI Docs スキルを使用して、ドキュメントで選択したテキストのサマリーを生成します。ドキュメントで選択したコンテンツの要約、詳しい説明の作成、短縮を行うことができます。 - 製品フィードバックのマルチフィードバック要約スキルを使用して、1 つまたは複数のフィードバックを要約します。 - Now Assist 会話型カタログ作成機能を使用して、従業員サービス管理 (ESM) (ESC) ポータル内でデマンドを作成します。 Collaborate using Docs in EAP - 主要なアーティファクトの情報や、エピック、機能などの計画立案アイテムのその他の詳細をワークスペース内から直接保存します。 - アジャイルチーム、ART、ソリューショントレーニング、およびポートフォリオのチームレベルのドキュメントを管理します。 - 各計画立案アイテムレベルまたはアジャイルチームレベルで複数のリッチテキストドキュメントを作成します。 - リアルタイムのコラボレーションにより、データの損失や並列編集を回避します。 - チームメンバーを @ メンションして、アクションアイテムにタグ付けします。 - メディアと URL を挿入します。 Migrating from SAFe to EAP Essential SAFe や Portfolio SAFe などの Scaled Agile Framework (SAFe) アプリケーションから EAP に移行します。戦略的計画 アプリケーションのガイド付きセットアップモジュールを使用して、段階的な方法で移行を実行します。 この移行は 1 回限りです。EAP で SAFe アプリケーションを引き続き使用することはお勧めしません。 アジャイルチームのデフォルトの計画立案カレンダーの上書き アジャイルチームおよびアジャイルリリーストレーニング (ART) の場合、[計画立案カレンダーの上書き (Override planning calendar)] フィールドを使用すると、チームメン

アプリケーションまたは機能	詳細
	バーが計画立案カレンダーを変更できます。新しいカレンダーは、子チームがある場合は自動的に適用され、次の反復の開始時から有効になります。 EAP PI 計画立案ボードのパーソナライズ設定の永続化  チームタイプの PI 計画立案ボードで行われた設定のカスタマイズは、ユーザー、チームタイプ、および作業アイテムタイプに従ってワークスペース全体に適用されます。たとえば、依存関係トグルの有効化、チームバックログレン、カードの圧縮など、1 つの ART に適用される設定は、ユーザーのワークスペース内のすべての ART に適用されます。 シナリオ計画を使用した計画の最適化  - シミュレートされた環境でシナリオを作成し、計画立案アイテムの優先順位付けとタイムラインを調整します。 - 計画立案アイテムとゴールの整合性をチェックし、戦略的な成果の達成を検証します。 - シナリオを並べて比較することで、シナリオ間の目標の整合性とトレードオフの意思決定の違いを可視化します。 - 実行して情報に基づいた意思決定を行うための本稼働ポートフォリオ計画として最適なシナリオを承認します。 Export goals and targets data to Excel or CSV  ゴールとターゲットをポートフォリオ計画から Microsoft Excel または CSV ファイルにエクスポートし、データを共有し、ビジネスステークホルダーとコラボレーションします。 PowerPoint へのロードマップまたはフリーフォームロードマップのエクスポート  ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップからロードマップを Microsoft PowerPoint ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーとコラボレーションします。事前定義されたテンプレートは、ロードマップのマイルストーン、アイテムのマイルストーン、垂直線、水平レーンなど、ロードマップのレポートを生成するのに役立ちます。 一度に最大 1 年間のロードマップをエクスポートできます。サイドパネルを使用してロードマップをエクスポートするときに、コンパクトモード (スライドごとに 25 の水平レーンをエクスポート) またはデフォルトモード (スライドごとに 15 の水平レーンをエクスポート) を選択することもできます。 事前定義されたテンプレートを編集するか、独自のブランド化されたテンプレートを作成して、レポートにエクスポートするデータを選択できます。詳細については、「Create a Microsoft PowerPoint template  プロジェクトプログラムレンズを使用した概要の計画 

アプリケーションまたは機能	詳細
	プロジェクトプログラムレンズを使用してプログラム [pm_program] アイテムのポートフォリオ計画を構築し、高レベルで計画します。プログラムをスコアリングして優先順位を付け、ロードマップを使用して追跡します。 フィードバックフィルターカードの機能拡張 - フィードバックフィルターカードをフィードバックホームページから直接管理するには、フィードバックカードをソート、固定、共有、更新、または削除します。 - フィードバックフィルターカードを共有するときに、特定のユーザーまたはグループのアクセスを許可します。また、フィードバックフィルターカードにアクセスできるユーザーを確認します。 クラシック UI からの計画立案アイテムの予算の移行と管理 ネクストエクスペリエンス [予算の移行 (Migrate Budget)] オプションを使用して、計画立案アイテムの既存の予算を クラシック UI から ネクストエクスペリエンス に移行します。 - ポートフォリオマネージャーは、予算ビューとコストビューを使用して、計画立案アイテムの予算を割り当てて管理できます。 - プロジェクトマネージャーは、計画立案アイテムのキャプチャされたコストと予算の比較を表示し、承認された予算を満たすように計画コストを再予測できます。 - 財務ベースラインを比較して、簡単な財務と予算を表示します。
ストリームコネク タッシュボード	Using the Stream Connect Dashboard ストリームコネク 統合の詳細な統計情報を表示し、ServiceNow ストリームコネクタダッシュボードを使用してトピック、レプリケーター、およびコンシューマーを作成または編集します。
サブスクリプション管理	Now Assist使用状況の監視 Now Assist エンタイトルメントのアカウントレベルの概要を表示し、インスタンス全体の Now Assist 使用状況を追跡します。 Now Assistクリエイターを監視する Creator Plus エンタイトルメントのアカウントレベルの概要を表示し、インスタンス全体のトラックの割り当てを追跡します。 クラウド容量の監視 クラウド容量を監視し、アカウントに関連付けられているすべてのインスタンスのストレージ容量を追跡します。

アプリケーションまたは機能	詳細
サプライヤーライフサイクルオペレーション	Supplier Lifecycle Operations integration framework 拡張変換マップと受信および送信の統合テーブルを使用して、サプライヤーデータをサードパーティの ERP システムと交換します。 Source-to-Pay ワークスペースでのサプライヤーの詳細の表示 - Source-to-Pay ワークスペースサプライヤーページの [関連情報 (About)] タブにある [関連リンク (Related Links)] セクションで、契約やサプライヤー製品などのサプライヤーの詳細を表示します。 - Source-to-Pay ワークスペースサプライヤーページの [関連作業 (Related work)] タブで、発注書や請求書などのサプライヤーの詳細を表示します。 Supplier Collaboration Portal でのサプライヤーの詳細の表示 [自分のアクティブなアイテム (My active items)] ウィジェットの次のタイルでサプライヤーの詳細を表示します。 - 契約 - サプライヤー製品 - 発注書 (PO) - 請求書 i 注: これらの新しいタイルは、ソーシングと調達オートメーション (com.snc.sn_pr) プラグインおよび Source-to-Pay 共通アーキテクチャ (com.snc.sn_shop) プラグインがインストールされている場合に表示されます。
システムアップデートセット	新機能 情報収集
Task Intelligence for ITSM	類似性モデルの設定 フィールドを比較することで 2 つのタイプのテーブル間の類似パターンを学習する類似性モデルを設定および構成します。 類似性テンプレートカードを使用して、新しい類似性モデルを設定するか、ベースシステムで利用可能なインシデント類似性モデルを選択できます。 類似性モデルの測定基準 選択した類似性モデルによって行われた予測の数と、予測を提供したインシデントレコードの数を表示します。 モデルを編集して再展開する

アプリケーションまたは機能	詳細
	モデルのパフォーマンスと影響に基づいて、類似性モデルを編集、再トレーニング、および再展開して、パフォーマンスを向上させることができます。
通信ネットワークインベントリ	Visualization of a rack or cabinet  高度なラックとキャビネットのインサイトにより、データセンターインフラストラクチャを可視化します。ラックまたはキャビネットを編集して、機器を追加、予約、移動、取り外します。これにより、ラックビューまたはキャビネットビューから機器を作成できます。 Revise a configuration item  リビジョン と元の接続の間で 比較検証を実行してそれらの間の変更を特定します。 Import Models and Templates  XLS テンプレートを介して外部システムからモデルとテンプレートをインポートします。 Visualization of circuits  専用のウィンドウ上に回路とその基礎となる接続要素を可視化します。保護パスのリビジョンと論理接続を表示し、構造全体を折りたたむのではなく、展開されたレイヤーを選択的に折りたたみます。 Create a cable record by using design and assign  ケーブルテンプレートを使用して、ケーブルと関連するストランドをインスタンス化します。 Modify a network topology record using design and assign  新しい変更モデルを使用して、ネットワーク トポロジを変更し、ノードやエッジを追加または削除します。 Create capacity function  カテゴリ属性と順序属性を使用して、キャパシティ機能を特定して優先順位を付けます。ワークスペースのリストビューからキャパシティ管理フォームにアクセスします。 Network Inventory Workspace  新しいランディングページで自分とチームの作業を表示します。
テーマビルダー	テーマビルダーでテーマを公開  複数のテーマを代替カラーパレットとともに Web インスタンスに公開します。ユーザーのデフォルトテーマを設定します。 Add an alternate color palette  ダーク代替カラーパレットを テーマビルダー テーマに追加します。この代替カラーパレットを編集して、ブランドスタイルをさらに強化できます。 Publish multiple themes in Next Experience 

アプリケーションまたは機能	詳細
	ServiceNow ネクストエクスペリエンス ユーザー設定に表示されるテーマの表示順序を 定義します。 Configure Next Experience display preferences 複数のテーマとその代替カラーパレットを ネクストエクスペリエンス ユーザー設定に表示します。
サードパーティリスク管理	サードパーティ要素収集 サードパーティ要素に依存するエンゲージメントに関連するリスクの特定、評価、および管理を支援します。これらのサードパーティ要素を監視することで、エンゲージメントと同じセキュリティおよびコンプライアンス標準に準拠していることを確認できます。 リスクインテリジェンスレポート要求 外部のリスクインテリジェンスコンテンツプロバイダーからリスクインテリジェンスレポートまたはスコアを管理および要求します。この情報は、その重要性またはリスクレベルによって要求および管理することができます。この情報は、エンゲージメントまたはサードパーティとの連携について意思決定を行うときに役立ちます。 Third-party risk management data model サードパーティリスク管理 データモデルを表示して、TPRM を使用してリスク管理プログラムに必要なリスクを評価、監視、および軽減する方法を学習します。
脅威インテリジェンスセキュリティセンター	TISC API References TISC API 2.0 の実装により、TISC での観測事象の作成が可能になりました。 Defining Expiration Rules データソースとレコードタイプの組み合わせに対して有効期限ルールを作成することで、有効期限ポリシーをより詳細なレベルで定義します。 Working with Webhooks Webhook を使用して、トリガーベースの通知を開始します。 Working with automated flows サンプル自動化フローを使用してアナリストのアクションを自動化します。 Add observables to TISC Case セキュリティインシデントと観測事象をセキュリティインシデントレスポンスワークスペースの TISC ケースに直接追加します。
UI ビルダー	画面条件を宣言的に設定 スクリプトを記述する代わりに条件ビルダーを使用して、ページのヴィジリティを制御します。 タブを使用してコンテキストサイドバーを構成

アプリケーションまたは機能	詳細
	コンテキストサイドバーコンポーネントは、ビューポートの代わりにタブコンポーネントを基盤として使用し、縦方向のタブのセットとしての簡単に構成できるようになりました。 さまざまなデバイスサイズのページレイアウトを制御  さまざまなサイズの画面に適したカスタマイズされたページを作成します。 コンポーネントのさまざまなソースからデータを取得  フィールドマッピングに基づいて、さまざまなデータソースから単一のコンポーネントにデータを簡単に追加できます。 ページ上の複数のフォームのサポート  複数のフォームとフォームコントローラーを 1 つのページに追加します。
UI コンポーネント CLI 拡張機能	モジュールキャッシュ モジュール キャッシュは、インポートされたときにモジュールをメモリに格納し、将来使用されるときにキャッシュからモジュールを返すことで、開発者サーバーのパフォーマンスを向上させます。
アップグレードセンター	アップグレードのリスクを管理するための UI メッセージ  ファイルの重大度に基づいてメタデータレコードを管理するための新しい UI メッセージが追加されました。 Default skipped rules  新しいデフォルトのスキップルールを使用して軋轢の原因となる構成メタデータタイプを自動的に保持し、アップグレード処理時間を短縮します。
ベンダー管理ワークスペース	更新されたベンダー KPI  廃止されたサービスオファリング測定基準データ [service_offering_metric_data] テーブルの従来の KPI を置き換えた新しいベンダー KPI を使用します。
Verifi スポーク	Verifi スポークのアクション  Verifi スポーク アクションを使用して、ケースの作成、ケースの取り消しまたはクローズ、ケース詳細の取得、マーチャントの問い合わせの取得などの、さまざまな API 機能にアクセスします。
仮想エージェント	Virtual Agent  のクイックスタートテスト 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、仮想エージェント が想定どおりに機能していることを確認します。仮想エージェント をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	静的および動的選択肢コントロールのリッチテキスト：Static Choice user input control および Dynamic Choice user input control ServiceNow 仮想エージェントデザイナー で静的および動的選択肢ノードを作成する場合は、リッチテキストオプションを使用します。 仮想エージェント Web クライアントブランディング：Set up your Virtual Agent bot's branding チャットウィンドウの [上に新規メッセージ (New Messages Above)] バナーと [下に新規メッセージ (New Messages Below)] バナーの色をカスタマイズします。 LLM トピックタイプの関連付け：Create a Virtual Agent topic LLM アシスタントをセットアップトピック、トピックブロック、およびカスタムコントロールに関連付けます。 LLM トピックのテスト アシスタントを選択して [すべてのアクティブなトピックをテスト (Test All Active Topics)] を選択するときに、仮想エージェント (VA) テストパネルでアシスタントを定義します。 LLM Text bot response control LLM テキストボット応答コントロールを使用して、LLM トピックディスカバリーを使用した会話でメッセージを生成します。 Conversational Analytics dashboard in Platform Analytics experience ServiceNow プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスの対話型アナリティクスダッシュボードは、Government Community Cloud (GCC) などのデータ規制市場環境のコンプライアンス要件を満たしています。このダッシュボードには、豊富な可視化と詳細な分析のためのインジケータとブレイクダウンが含まれています。ダッシュボードにアクセスするには、次の場所へ移動します。 すべて > 対話型インターフェース > 分析。 新しいシステムプロパティ <code>com.glide.cs.notification.create_llm_actions_after_topic_migration</code> および <code>com.glide.cs.proactive_trigger.create_llm_actions_after_topic_migration</code> システムプロパティを使用して、完全なトピック移行ワークフローを完了した後に仮想エージェント通知とプロアクティブトリガーのアクションを作成するかどうかを決定します。 NLU から LLM トピックへの移行の機能拡張 - NLU で LLM トピック移行ワークフローに新しく移行された LLM トピックを公開した後で、[接続の確認 (Review connections)] ステップで仮想エージェント通知とプロアクティブトリガーのアクションを移行します。 [説明をレビュー (Review descriptions)] ステップで、既存の NLU 発言に対して LLM トピックの説明をレ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ビュー、編集、およびテストします (利用可能な場合)。[説明をレビュー (Review descriptions)] ステップは、移行の後に、NLU から LLM へのトピック移行ワークフローでの公開の前に発生します。 - NLU で設定された語彙ソースに応じて、NLU 語彙ソースを動的選択肢ノードまたは静的選択肢ノードのいずれかに自動的に移行します。 最大待機時間キューにより LLM トピックの選択が可能 仮想エージェント会話の Now Assist 中に最大待機時間に達した後に選択される LLM 対応トピックを選択します。ServiceNow 高度な作業アサイン キュートリガーは、[トリガータイプ] フィールドの値が [最大待機 (Max Wait)] で、仮想エージェントトピックを選択するように求められた場合は常に、LLM 対応トピックをサポートします。 Catalogs for Virtual Agent わかりやすい言葉を使用して、仮想エージェントチャットでカタログ macroponent からサービスまたは製品を検索して注文します。ビジネスのブランディングに合わせて、カタログの外観をカスタマイズします。 Integrating Now Assist in Virtual Agent with Microsoft Copilot 自己構成ボットを使用して Microsoft Copilot に接続します。自己構成ボットを Microsoft Copilot と統合するプロセスは、自己構成ボットを Microsoft Teams と統合するプロセスと同様です。 仮想エージェントの Now Assist と統合されたときの Microsoft Copilot は、ServiceNow コンテキストを理解し、ユーザーを Now Assist にルーティングして、Microsoft Teams 内で ServiceNow 関連の質問やタスクを実行できます。 Integrating Virtual Agent with enterprise messaging apps Now LLM サービスのチャネルのサポートにより、Microsoft Teams との対話型統合 および Conversational Integration with Slack の Now Assist との LLM ベースの会話が可能になります。 Now LLM サービス サポートは、次の機能を備えた新しい ServiceNow AI 検索エクスペリエンスをチャネルで提供します。 - 法的免責事項 - ページネーション - 検索 - 生成 AI Q&A カード Configure rate limiting for providers

アプリケーションまたは機能	詳細
	プロバイダーレベルでレート制限を構成して、規定の時間内に行われた要求の要求フローを制御します。 Xanadu パッチ 3  Xanadu パッチ 3 以降では、次の機能を使用できます。 • コンテンツを更新します。 • コンテンツを更新します。
脆弱性対応	脆弱性マネージャーのワークスペースでの脆弱性一致アイテムの修復プロパティの再評価  脆弱性一致アイテムを条件付きで選択して、Vulnerability Manager ワークスペース内の次の修復プロパティを再評価します。 • アサイン • 修復タスク • 修復ターゲット日 • リスクスコア [すべて] メニューからワークスペースの [エクスポージャーアセスメント (Exposure Assessment)] ページに移動します  Vulnerability Response Pro または Enterprise サブスクリプションでは、[すべて] メニューの [エクスポージャーアセスメント (Exposure Assessment)] リンクを選択すると、ロールに基づいて脆弱性マネージャーワークスペースまたは脆弱性アセスメントワークスペースの [エクスポージャーアセスメント (Exposure Assessment)] ページにリダイレクトされます。 Common Security Advisory Framework (CSAF) スキャナーマッピングはオプションです  [スキャナーマッピング (Scanner mapping)] フィールドは、次の Common Security Advisory Framework (CSAF) インポート方法ではオプションになりました。 • ファイルインポート • アドバイザリー • CSAF URL Rolie フィードを通じて CSAF をサポートする複数のベンダー  Resource-Oriented Lightweight Information Exchange (ROLIE) フィードをサポートする URL インポートを介して、CSAF アグリゲーターまたは信頼できるプロバイダーから脆弱性ソリューションをインポートします。これらの脆弱性ソリューションは、共通脆弱性識別子 (CVE) に基づいて、正しいベンダーおよび脆弱性一致アイテム (VIT) に自動的にマッピングされます。 スケジュール済みジョブの処理パフォーマンスの向上 

アプリケーションまたは機能	詳細
	<i>Rollup vulnerable item values to vulnerability and group</i> スケジュール済みジョブが拡張され、マルチスレッド機能を備えたバックグラウンドジョブを作成できるようになりました。このアップグレードでは、ジョブをいくつかの小さな子ジョブに分割し、並列または同時に実行します。この変更により、複数のレコードを同時に処理できるようになり、タスク全体の速度が大幅に向上します。 フローデザイナーによるワークフローの廃止と置き換え  次のワークフローは廃止され、フローデザイナーによって置き換えられました。 • 例外ルールのステータス承認 • 修復タスクステータスの承認 • 脆弱性対応 - 脆弱性のスキャン • 脆弱性一致アイテムのステータス承認 • 脆弱性対応 - 脆弱性一致アイテムのスキャン 。 [メモ (Notes)] セクションのリスクスコアの更新  脆弱性算出の変更に応じてアイテムのリスクスコアがどのように調整されるかに関する情報にアクセスします。これらの詳細は [メモ (Notes)] セクションで確認でき、次のものが含まれます。 • 算出グループ名 • 算出名： • フィールド値とその重み付けおよびリスクスコアへの影響度 • 最終的なリスクスコア 脆弱性危機管理 (VCM) は、ストアで別のサブスクリプションとして入手できます  脆弱性危機管理 v1.0.1 以降のアプリケーションはストアで個別のサブスクリプションとしてストアで入手できます。脆弱性アセスメントワークスペースから脆弱性危機管理にアクセスできるのは、詳細なエンタイトルメントがあるか、ストアからアプリケーションをインストールしている場合のみです。以前は、脆弱性危機管理は脆弱性緊急対応プラグインに含まれていました。 脆弱性エクスポージャー対応 (Vulnerability Exposure Response) は脆弱性エクスポージャーアセスメントに名前が変更されました  v3.2.2 以降、脆弱性緊急対応プラグインは脆弱性エクスポージャーアセスメントに名前が変更されました。
Vulnerability Response Integration with Microsoft	Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (Azure) 

アプリケーションまたは機能	詳細
Defender for IoT (Azure)	脆弱性対応 と Microsoft Defender for IoT (Azure) の統合アプリケーションと オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 アプリケーションを使用して、本番プロセスで使用する OT デバイスの脆弱性を追跡、優先順位付け、および解決します。
ワークフロースタジオ	タブヘッダーのボタンからワークフローアイテムを作成する  タブヘッダーの [作成] ボタンを使用して、任意のワークフロースタジオページからワークフローアイテムを作成します。 カテゴリを作成してアクションを整理する  独自のカテゴリを作成してアクションを整理します。 カテゴリを作成してデータストリームアクションを整理する  独自のカテゴリを作成して、データストリームアクションを整理します。 サブフローを整理するためのカテゴリの作成  独自のカテゴリを作成してサブフローを整理します。 新しいバージョンのワークフロースタジオが利用可能になる時期を確認する  新しいバージョンの ワークフロースタジオ が利用可能になると、情報バナーが表示されます。
カスタマーサービスのワークフォース最適化	音声チャネルのパフォーマンスメトリクス  Amazon Connect からより多くの測定基準とレポートを表示して、チャンネル管理で音声キューの健全性を監視および管理します。 スケジュールの定期的な会議  トレーニングセッションやチームメイトとの 1 対 1 のセッションなど、定期的な会議をスケジュールして追跡します。 スケジューリングの機能強化  休暇とシフト交替の要求を効率的に管理および監視します。
ITSM のワークフォース最適化	アドミンコンソールエクスペリエンス  アドミンコンソールを使用して、ITSM のワークフォース最適化 アプリケーションを設定および構成します。 スケジュールカレンダーと Microsoft Outlook の同期  スケジュールモジュールでエージェントのカレンダーを Microsoft Outlook と同期すると、エージェントは、エージェントカレンダーに表示されるすべてのスケジュール、シフト、およびイベントを Microsoft Outlook カレンダーでも表示できます。 チームカレンダーで繰り返し発生するイベント  イベントを作成するときに、定期的なイベントにすることができます。

アプリケーションまたは機能	詳細
ワークスペース	メールアドレスでの国際文字のサポート メールアドレスに国際文字をエラーを発生させずに入力できます。 RFC6530 規格に従ってユーザーによる国際文字の使用を有効にするか、またはシステムプロパティを変更し、追加の構成を実行することによって国際文字を無効にします。 メールクライアントプラグインのシステムプロパティ  Tiny MCE v6 のデフォルトで提供される更新されたプラグイン (<code>glide.ui.email.composer.enabled_plugins</code>) およびツールバー (<code>glide.ui.email.composer.toolbar</code>) システムプロパティを使用して、エージェントがメールクライアントの最新機能を活用できるようにします。 アクティビティストリームレコードのタグ  タグを使用して、アクティビティストリームに表示されるレコードを分類およびフィルタリングします。 アドミンは、ユーザーのアクティビティストリームレコードのタグの有効化、追加、カスタマイズ、および編集を行うことができます。 クエリによる参照検索 事前にフィルタリングされた削除可能なクエリパラメーターを参照リストに適用することで、ユーザーが関連する参照検索結果にアクセスできるようにします。これらのクエリパラメーターは、エンドユーザーが削除できない固定クエリへの追加として機能します。 フィールドデコレーターのクライアントスクリプト クライアントスクリプトを使用してフィールドデコレーターをフィールドタイプに追加します。 複数レコードアソシエーターでレコードを事前にフィルタリングする スクリプトを使用して、複数レコードアソシエーターの先行入力でレコードを事前にフィルタリングします。

Xanadu の機能と製品への変更

Xanadu の機能と製品に対する変更に関する累積的なリリースノートの概要。

Xanadu では既存の 製品が更新および変更されました。これには、特定のボタンまたは機能の名前変更が含まれます。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI 検索	ファセットは検索ユーザーの言語で絞り込みフィルターを表示  参照フィールド値をファセット絞り込みフィルターとして表示するとき、検索ユーザーの言語が利用可能な場合、AI

アプリケーションまたは機能	詳細												
	検索はフィールド値の翻訳を使用します。ユーザーの言語の翻訳がない場合、AI 検索はシステム言語の翻訳を使用します。 遅延バインディングのセキュリティ実装で正しいクリックランクの検索シグナルを保持 🔗 遅延バインディングセキュリティによってアクセスできない結果が削除されると、クリックランク検索シグナルは最終結果の順序を正しく反映します。												
API	Xanadu で変更されたスコープ対象クラス <table><tr><th>クラス</th><th>メソッド</th></tr><tr><td>HistoryWalker - Scoped, Global 🔗</td><td>使用する History Walker 実装のタイプを指定するためのパラメーターが追加されました。 HistoryWalker()</td></tr></table> Xanadu で変更されたグローバルクラス <table><tr><th>クラス</th><th>メソッド</th></tr><tr><td>GlideAggregate - Global 🔗</td><td>動的スキーマのサポートが追加されました。 • addAggregate() • addHaving() • getValue() • groupBy() • orderBy() • orderByAggregate() </td></tr><tr><td>GlideRecord - Global 🔗</td><td>動的スキーマのサポートが追加されました。 • addQuery() • getDisplayValue() • getValue() • orderBy() • orderByDesc() • setDisplayValue() • setValue() </td></tr><tr><td>HistoryWalker - Scoped, Global 🔗</td><td>使用する History Walker 実装のタイプを指定するためのパラメーターが追加されました。</td></tr></table>	クラス	メソッド	HistoryWalker - Scoped, Global 🔗	使用する History Walker 実装のタイプを指定するためのパラメーターが追加されました。 HistoryWalker()	クラス	メソッド	GlideAggregate - Global 🔗	動的スキーマのサポートが追加されました。 • addAggregate() • addHaving() • getValue() • groupBy() • orderBy() • orderByAggregate()	GlideRecord - Global 🔗	動的スキーマのサポートが追加されました。 • addQuery() • getDisplayValue() • getValue() • orderBy() • orderByDesc() • setDisplayValue() • setValue()	HistoryWalker - Scoped, Global 🔗	使用する History Walker 実装のタイプを指定するためのパラメーターが追加されました。
クラス	メソッド												
HistoryWalker - Scoped, Global 🔗	使用する History Walker 実装のタイプを指定するためのパラメーターが追加されました。 HistoryWalker()												
クラス	メソッド												
GlideAggregate - Global 🔗	動的スキーマのサポートが追加されました。 • addAggregate() • addHaving() • getValue() • groupBy() • orderBy() • orderByAggregate()												
GlideRecord - Global 🔗	動的スキーマのサポートが追加されました。 • addQuery() • getDisplayValue() • getValue() • orderBy() • orderByDesc() • setDisplayValue() • setValue()												
HistoryWalker - Scoped, Global 🔗	使用する History Walker 実装のタイプを指定するためのパラメーターが追加されました。												

アプリケーションまたは機能	詳細	
	クラス	メソッド
		HistoryWalker()
Xanadu で変更された REST API		
	クラス	メソッド
	AWA Manual Assignment API 	新しい要求本文パラメーターが追加されました。 POST /awa/workitems/{work_item_sys_id}/assignments
	Continuous Integration/Continuous Delivery (CI/CD) API 	テストスイートをパフォーマンステストとして実行するか、クラウドランナーで実行するかを指定するための新しいオプションのクエリパラメーターが追加されました。 POST /sn_cicd/testsuite/run
ServiceNow ストアの変更されたスコープ対象クラス		
	クラス	メソッド
	LeadtoCashCore - Scoped 	LeadtoCashCore スクリプトインクルードは、再構成のユースケースをサポートするように拡張されています。 • <code>createInstance()</code> - エンティティレコードがアクティブか非アクティブかを識別する <code>_state</code> を返します。 • <code>delta()</code> - <code>additionalParams</code> では、ソースと <code>dirtyJSON</code> で比較する属性を無視する機能がサポートされるようになりました。 • <code>effect()</code> - <code>additionalParams</code> では、辞書フィールド名の代わりにコンテキスト変数キーを提供する機能がサポートされるようになりました。さらに、<code>effect()</code> は、エンティティレコードがアクティブまたは非アクティブな状態のどちらであるかを識別する <code>_state</code> パラメーターを返します。

アプリケーションまたは機能	詳細										
	ServiceNow ストアの変更されたクライアント API <table> <tr> <th>クラス</th><th>メソッド</th></tr> <tr> <td>openFrameAPI - Client </td><td> <i>workitem_rejected</i> および <i>workitem_accepted</i> 応答ペイロードが追加されました。 <code>subscribe()</code> </td></tr> </table> ServiceNow ストアの変更された REST API <table> <tr> <th>クラス</th><th>メソッド</th></tr> <tr> <td>Service Order Open API </td><td> - すべてのエンドポイントで、名前空間とエンドポイントのパスが <code>sn_ind_tmt_ord</code> から <code>sn_tmf_api</code> に変更されました。 - 次のメソッドは、<i>href</i> と <i>orderDate</i> の 2 つの新しいパラメーターを返します。 - GET <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder</code> - POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder/cancelServiceOrder</code> - サービスオーダーオープン API – POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder</code> - POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder/outboundresponse</code> </td></tr> <tr> <td>Product Catalog Open API </td><td> - すべてのエンドポイントで、名前空間とエンドポイントのパスが <code>sn_ind_tmt_ord</code> から <code>sn_tmf_api</code> に変更されました。 <code>productOffering</code> メソッドは、2 つの新しいオプションパラメーター <i>href</i> と <i>lifecycleStatus</i> を返します。 - GET <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering</code> - GET <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}</code> - PATCH <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}</code> - POST <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering</code> <code>productSpecification</code> メソッドは、3 つの新しいオプションパラメーター、<i>isBundle</i>、<i>href</i>、<i>lifecycleStatus</i> を返します。 </td></tr> </table>	クラス	メソッド	openFrameAPI - Client 	<i>workitem_rejected</i> および <i>workitem_accepted</i> 応答ペイロードが追加されました。 <code>subscribe()</code>	クラス	メソッド	Service Order Open API 	- すべてのエンドポイントで、名前空間とエンドポイントのパスが <code>sn_ind_tmt_ord</code> から <code>sn_tmf_api</code> に変更されました。 - 次のメソッドは、<i>href</i> と <i>orderDate</i> の 2 つの新しいパラメーターを返します。 - GET <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder</code> - POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder/cancelServiceOrder</code> - サービスオーダーオープン API – POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder</code> - POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder/outboundresponse</code>	Product Catalog Open API 	- すべてのエンドポイントで、名前空間とエンドポイントのパスが <code>sn_ind_tmt_ord</code> から <code>sn_tmf_api</code> に変更されました。 <code>productOffering</code> メソッドは、2 つの新しいオプションパラメーター <i>href</i> と <i>lifecycleStatus</i> を返します。 - GET <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering</code> - GET <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}</code> - PATCH <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}</code> - POST <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering</code> <code>productSpecification</code> メソッドは、3 つの新しいオプションパラメーター、<i>isBundle</i>、<i>href</i>、<i>lifecycleStatus</i> を返します。
クラス	メソッド										
openFrameAPI - Client 	<i>workitem_rejected</i> および <i>workitem_accepted</i> 応答ペイロードが追加されました。 <code>subscribe()</code>										
クラス	メソッド										
Service Order Open API 	- すべてのエンドポイントで、名前空間とエンドポイントのパスが <code>sn_ind_tmt_ord</code> から <code>sn_tmf_api</code> に変更されました。 - 次のメソッドは、<i>href</i> と <i>orderDate</i> の 2 つの新しいパラメーターを返します。 - GET <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder</code> - POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder/cancelServiceOrder</code> - サービスオーダーオープン API – POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder</code> - POST <code>/sn_tmf_api/order/serviceOrder/outboundresponse</code>										
Product Catalog Open API 	- すべてのエンドポイントで、名前空間とエンドポイントのパスが <code>sn_ind_tmt_ord</code> から <code>sn_tmf_api</code> に変更されました。 <code>productOffering</code> メソッドは、2 つの新しいオプションパラメーター <i>href</i> と <i>lifecycleStatus</i> を返します。 - GET <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering</code> - GET <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}</code> - PATCH <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}</code> - POST <code>/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering</code> <code>productSpecification</code> メソッドは、3 つの新しいオプションパラメーター、<i>isBundle</i>、<i>href</i>、<i>lifecycleStatus</i> を返します。										

アプリケーションまたは機能	詳細										
	<table> <tr> <th data-bbox="518 193 692 241">クラス</th><th data-bbox="692 193 1380 241">メソッド</th></tr> <tr> <td data-bbox="518 241 692 625"></td><td data-bbox="692 241 1380 625"> - GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification - GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id} - PATCH /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id} - POST /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification </td></tr> <tr> <td data-bbox="518 625 692 842"> WSD Extra Service Request API </td><td data-bbox="692 625 1380 842"> 新しい要求本文パラメーター reservationDateTimeChanged が追加されました。 GET /sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/{sys_ids} </td></tr> <tr> <td data-bbox="518 842 692 1058"> WSD Reservable API </td><td data-bbox="692 842 1380 1058"> 新しいクエリパラメーター reservation_start_time が追加されました。 GET /sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/{sys_ids} </td></tr> <tr> <td data-bbox="518 1058 692 1262"> WSD Reservable V2 API </td><td data-bbox="692 1058 1380 1262"> 新しいクエリパラメーター reservation_start_time が追加されました。 POST /sn_wsd_rsv/v2/reservable/list_reservables </td></tr> </table>	クラス	メソッド		- GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification - GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id} - PATCH /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id} - POST /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification	WSD Extra Service Request API	新しい要求本文パラメーター reservationDateTimeChanged が追加されました。 GET /sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/{sys_ids}	WSD Reservable API	新しいクエリパラメーター reservation_start_time が追加されました。 GET /sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/{sys_ids}	WSD Reservable V2 API	新しいクエリパラメーター reservation_start_time が追加されました。 POST /sn_wsd_rsv/v2/reservable/list_reservables
クラス	メソッド										
	- GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification - GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id} - PATCH /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id} - POST /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification										
WSD Extra Service Request API	新しい要求本文パラメーター reservationDateTimeChanged が追加されました。 GET /sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/{sys_ids}										
WSD Reservable API	新しいクエリパラメーター reservation_start_time が追加されました。 GET /sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/{sys_ids}										
WSD Reservable V2 API	新しいクエリパラメーター reservation_start_time が追加されました。 POST /sn_wsd_rsv/v2/reservable/list_reservables										
買掛金オペレーション	APO landing page タスクオーナーは、買掛金オペレーションワークスペースのタスクフィルター、ウィジェット、および棒グラフを使用して、請求書タスクをより効率的に表示および処理できます。 Accounts Payable Operations integration framework 税フィールドを使用した請求書統合の更新により、請求書をより迅速に処理できます。										
アダプションサービス	プレイブックバックエンドを利用した新しいガイド付きセットアッププレーヤープロセスバックエンドを使用します。製品のガイド付きセットアップを作成するアプリ開発チームのアドミンは、プレイブックに含まれるすべての機能を利用できるようになりました。この変更では、UI の新しいビジュアル強化により、同様のエクスペリエンスがガイド付きセットアッププレーヤーで実現されます。 ガイド付きセットアップを作成 プレイブック (PAD) バックエンドで提供される新機能を使用して、ガイド付きセットアップビルダーの既存のアクティ										

アプリケーションまたは機能	詳細
	ビティに加えて、PAD がサポートできるアクティビティが定義されます。たとえば、ガイド付きセットアップフローで導入される条件付きフローを使用できます。
HR ケース管理のエージェントワークスペース	のリフロー 構成可能ワークスペース HR ケース管理のエージェントワークスペース 構成可能ワークスペースがリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。アップグレード方法の詳細については、次の「#unique_231_Connect_42_hr-aws-rn-accessibility」を参照してください。
CSM のエージェントエクスペリエンス	メール機能強化 [メールの作成] モードレスダイアログでは、次の機能が強化されています。 • [宛先]、[CC]、[BCC]、および [件名] フィールドを含む折りたたみ可能なヘッダー。 • フッターのアイコンを使用すると、現在のメールドラフトの破棄、テンプレートの適用、最近のメールドラフトのリストの表示、添付ファイルの追加を行うことができます。 • 最後に保存されたメールドラフトを表示するために開くことができる [メールの作成] モードレスダイアログ。
Audit Management	ワークフローを承認するユーザーのロール変更 エンゲージメントおよび監査計画の承認者は、監査承認者 (sn_audit.approver) ロールを Lite オペレーターロールとして使用して、監査ワークフローを承認することもできます。
認証	マルチファクター認証 (MFA) 認証アプリのセットアップを必要とせずに、FIDO2 認証システム、パスキー、生体認証装置、ハードウェアセキュリティキーを多要素認証 (MFA) 要素として使用します。
事業継続性管理	Element definitions and variables Windows Server 要素定義に Windows Server 資産を追加したり、Linux サーバー要素定義に Linux サーバー資産を追加したりできるようになりました。ただし、ハードウェア要素定義のフィルターに Windows Server 資産または Linux サーバー資産を追加することはできません。
CSM のケース管理	ケースタイプセクターの構成 ケースタイプセクターの製品サービス選択バージョンを設定して、製品フィルターを非表示にします。 カスタマーサービスマネージャーに含まれているロール

アプリケーションまたは機能	詳細
	カスタマーサービスマネージャーロール [sn_customerservice_manager] には、承認者ユーザーロール [approver_user] が含まれています。アップグレードのお客様の場合、承認アドミンロール [approval_admin] が承認者ユーザーロールに置き換わります。カスタマーサービスマネージャーロールを持つユーザーは、自分にアサインされた承認要求を承認できます。 プロセスマイニング 顧客運用の一般的な非効率性を特定して対処するためにプロジェクトで使用できる、2つの拡張タイプのベースシステム機会のさまざまなバリエーションが追加されました。 - ルールベースの検索定義：定義に従って1つ以上の検索ルールチェーンを順番に実行します。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会の一致として分類されます。 - 自動検索定義：既に選択可能なデフォルトのパターンを使用して、改善の機会を表示します。
コラボレーションワーク管理	Share a Space in CWM and manage sharing permissions 他の協力者とスペースを共有しているときに、ユーザーやグループをメールと名前で見つけられるようになりました。この機能は、個々のユーザーまたはグループが同じ名前である場合に、適切な協力者を選択するのに役立ちます。
コンプライアンスケース管理	新しいグラフィカルなグラフにより、コンプライアンスケースマネージャーは、サブタイプ分類別にコンプライアンスケースを監視してアクセスします。
コンフィグレーションコンプライアンス	テスト結果と修復タスクの状況移行 セキュリティポスチャコントロールのポリシー監査の機能拡張により、廃止された資産がアクティブ化されたポリシーによって評価されなくなります。資産のステータスが [廃止] から [アクティブ] に戻ると、次のポリシー評価の対象となります。 合格したテスト結果の0以外のリスクスコア 合格したテスト結果のリスクスコアが計算され、どの程度リスクが軽減されるかが判断されます。 アドミンロールのテスト結果を削除する権限を廃止 sn_vulc.admin ロールを持つアドミンは、テスト結果を削除できません。この権限は、sn_vulc.delete 詳細ロールに付与されるようになりました。 修復タスクのリスクスコア算出の更新 修復タスク内のすべてのテスト結果の平均リスクスコアが、修復タスクのリスクスコア計算で考慮されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
構成管理データベース (CMDB)	CMDB Health  - CMDB の健全性の構成と使用は、全体的なヘルススコアなどの一部の概念が削除されたことで簡素化されています。 - 準拠 CI についてレポートする CMDB 健全性ダッシュボードのセクションは、注意が必要な非準拠 CI のレポートセクションと明確に分離されています。 - KPI および測定基準の失敗しきい値では、多数の CI が指定された測定基準テストに失敗した場合に過剰な処理が発生しないように、上限の 100,000 を強制します。 - CMDB 健全性ダッシュボードには、過度のエラーが原因でプロセスが停止した場合でも、収集された非準拠データが表示されるため、既に検出された特定のエラーを修正できます。 - CI 健全性レポートは、CMDB ワークスペースの CI フォームに統合されています。 CMDB ワークスペースストアアプリ  CMDB 360  : - CMDB ワークスペースの CMDB 360 ダッシュボードの範囲チャートに含まれるデータを、プリンシパルクラス設定によって、またはテーブルが CMDB 階層内にあるかどうかによってフィルタリングすることで、パフォーマンスを管理します。 - クラスあたりのマルチソースレコード数の最大しきい値を設定し、そのしきい値を超えるクラスをテーブルで追跡して、それらのクラスが将来の CMDB 360 計算から除外されるようにすることで、CMDB 360 によって処理されるデータの範囲を管理します。この除外を上書きして、しきい値を超えた場合でも、選択したクラスを含めることができます。 データ認定  CMDB ワークスペースでデータ認定タスクを確認するときは、シングルクリックでタスクに関連付けられたすべてのレコードを選択し、認定を一括で認定または不合格にします。 の CI タイムライン CMDB ワークスペース  CMDB ワークスペースの CI 詳細ペインで CI タイムラインのロードに失敗した場合、表示されるエラーメッセージには、ベースシステムの CI タイムラインに移動するために選択できるリンクが含まれるようになりました。 CSDM および CMDB Data Foundations ダッシュボード 

アプリケーションまたは機能	詳細
	• <i>CI's Processed via IRE</i> や <i>Business Application with Application Service Relationship</i> などの一部の CMDB および CSDM 測定基準のパフォーマンスへの影響を制限するには、これらの測定基準を自動的に非アクティブ化するようにシステムをトリガーするための設定を調整します。 • CMDB のリストビューで [Updated] 列を表示して、現在と非現在の測定基準データを特定します。 • Management view in CMDB Workspace から CSDM データ基盤ダッシュボードにアクセスします。 IRE 識別ルールでの親クラスの選択 識別ルールの [検索するテーブル] フィールドを現在のクラスの親クラスの 1 つに設定することで、重複 CI が不必要に作成されないようにします。識別および調整 (IRE) が、ペイロード内の CI と一致する親クラス内の CI を識別すると、IRE は重複する CI を作成せずに、ペイロードの詳細でその CI を更新します。 の移行と継続的な同期の改善 CSDM ライフサイクルデータ 1 回限りの操作により資産テーブルと CI テーブルの CSDM ライフサイクル値が調整されます。最初の調整後、ビジネスルールを定期的なスケジュールで実行することにより、資産、CI、および IBI テーブルのライフサイクル値の調整された状態を維持できます。標準のライフサイクル値を使用すると、データの精度が大幅に向上し、多くの Now Platform アプリケーションの値を最適化できます。 アプリケーションサービスダッシュボード アプリケーションサービスをフィルタリングするアプリケーションサービスダッシュボードの内部クエリで、アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] クラスのすべてのレコードだけでなく、<i>Service classification</i> の値が [アプリケーションサービス] であるレコードもチェックされるようになりました。
コンテナ脆弱性対応	アドミンロールのコンテナ脆弱性一致アイテムを削除する権限を廃止 sn_vul.vulnerability_admin ロールを持つアドミンは、コンテナ脆弱性一致アイテムを削除することはできません。この権限は、sn_vul.delete 詳細ロールに付与されるようになりました。
Continuous Authorization and Monitoring	の機能拡張 CAM ワークスペース CAM ワークスペース で次の機能拡張が行われました。 • ハイブリッドコントロールの作成に、追加機能を含む新しいポップアップが追加されます。 • POA&M には、すべての認証パッケージの問題が含まれます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• [ファミリー] フィールドと [ファミリー ID] フィールドが [コントロール目標] ページに追加されます。 • [メモ] フィールドと [添付ファイル] フィールドが [アセスメント手順] ページに追加されます。 • [360 度ビュー] ボタンは、CAM ワークスペース のすべてのページで構成されています。 CAM ユーザーロールの変更 承認のロールを定義し、権限と権限を割り当てることは、CAM アプリケーションのセキュリティを確保するために重要です。ユーザーロールの変更は次のとおりです。 • 情報所有者 (sn_irm_cont_auth.information_owner) ロールは、認証パッケージの情報タイプも更新できます。このロールには、リーダー (sn_irm_cont_auth.reader) ロールに加えて、監査ユーザー (sn_audit.user) ロールも含まれています。 • 情報システムセキュリティマネージャー (sn_irm_cont_auth.info_system_sec_manager) ロールは認証パッケージを更新でき、このロールにはコンプライアンスユーザー (sn_compliance.user) ロールとリーダー (sn_irm_cont_auth.reader) ロールが含まれています。 • 情報システムセキュリティ責任者 (sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer) ロールは、認証パッケージを更新できます。 • リーダー (sn_irm_cont_auth.reader) ロールには、監査リーダー (sn_audit.reader) ロールが含まれています。 • システムユーザー (sn_irm_cont_auth.system_user) ロールには、監査ユーザー (sn_audit.user) ロールが含まれています。 • システムオーナー (sn_irm_cont_auth.system_owner) ロールには、監査ユーザー (sn_audit.user) ロールとコンプライアンスユーザー (sn_compliance.user) ロールも含まれています。
Core Now Platform	TinyMCE のアップグレード HTML エディターフィールドで、TinyMCE のアップグレードバージョンが使用されるようになりました。TinyMCE が v4 から v6.8.3 にアップグレードされました。このアップグレードでは、テーブル機能が強化されているだけでなく、アコーディオン、辞書属性によるカスタムスタイルの追加、テキストメニューバーの有効化/無効化、強化されたパワーペーストなどの書式設定および編集機能が強化されています。これらの機能拡張により、ユーザーはニーズに合わせてコンテンツをフォーマットできます。サポートされているプラグインをシステムプロパティ glide.ui.html.editor.enabled_plugins に追加し、サポートされているツールバーオプションをシステムプロパティ glide.ui.html.editor.toolbar に追加して、必要に応じてエ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ディターを設定します。アップグレードには、新しいバージョンの構成をサポートするためのプラグイン名、ツールバー名、および新しいシステムプロパティの変更が含まれています。 ビジネスカレンダーの機能拡張  ビジネスカレンダーの機能拡張には、ビジネスカレンダーのスパンとその名前 (グローバルアプリケーションとスコープ対象のアプリケーションの両方でアクセス可能) の作成、カレンダータイプと呼ばれる新しいカレンダーフィールドの追加、類似するカレンダー名のより簡単な区別などの機能が含まれます。 REST 要求の送信 - 受信テストステップは相互認証をサポート  X.509 証明書を選択して、[REST 要求の送信 - 受信] テストステップで相互認証を使用します。 GraphQL API パスに ACL を適用する  [パス ACL の深さ] フィールドで、ACL を適用する GraphQL API のレベルを指定します。 REST および SOAP API アナリティクスダッシュボードの移行先 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス  REST および SOAP API アナリティクスダッシュボードは、コア UI から プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されました。からダッシュボードにアクセスする すべて > System Web Services > アナリティクス 使用率の概要. アップグレード後も、コア UI ダッシュボードは引き続き すべて > System Web Services. CORS 要求の HTTP ヘッダーへのアクセスの制御  [Access-Control-Allow-Credentials] フィールドを使用した要求で認証情報を許可するかどうか、[Access-Control-Allow-Headers] フィールドを使用した要求でどの HTTP ヘッダーを許可するかを構成します。 CORS ルールを非アクティブ化する  [アクティブ] フィールドで CORS ルール [sys_cors_rule] をオンまたはオフにします。 プラットフォーム上の JavaScript エンジンの Rhino 更新  Rhino が更新され、プラットフォーム上の JavaScript エンジンのパフォーマンスが向上しました。
CSM のデータ管理	会社からサービス組織のペアレント化を解除する  会社テーブルからサービス組織のペアレント化を解除することで、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理、公共機関デジタルサービス、ファイナンシャルサービスオペレーションなどのさまざまな業界に対応するために、サービス組織モデルの採用を強化しました。 フィールドサービス管理 (FSM) とサービスモデル基盤の統合  事業所スタッフが事業所サービスポータル (BLSP) を使用して事業所の作業指示を追跡できるようにしました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	販売済み製品のデータモデル • [販売済み製品] フォームで、顧客に製品またはサービスを販売したプロバイダーサービス組織情報を表示できるようになりました。 • [販売済み製品] テーブル (sn_install_base_sold_product) の [製品の場所] フィールドと [製品仕様] フィールドを使用して、販売済み製品の場所とオファーに関連付けられている販売済み製品に関する情報をキャプチャできるようになりました。 インストールベース管理の製品インスタンスディレクティブ 資産と対応するインストールベース階層間の変更を、拡張された製品インスタンス階層と同期しました。 Customer Life Cycle Management Workflows 複数の販売済み製品を同時に選択して、一時停止、再開、切断のフローをトリガーし、既存のルート販売済み製品とそのサービスを更新できるようになりました。
ワークフロースタジオの意思決定テーブル	テーマの更新 ディシジョンテーブル UI の一部の詳細が、標準の Now Platform テーマに従うように更新されました。 ディシジョンテーブル内でのスクロールの使いやすさの向上 大きなディシジョンテーブルでは、テーブル内をスクロールしてさらに行を表示します。ヘッダーはテーブルの上部に留まることに注意してください。
DevOps Change Velocity (DevOps チェンジベロシティ)	のリフロー 構成可能ワークスペース DevOps 変更構成可能ワークスペースは折り返しをサポートしているため、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザ設定を使用してページとコンテンツを最大 400% ズームできます。詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。 変更要求の DevOps データ サービスオペレーションワークスペースで手動で作成された変更要求の DevOps データを表示、追加、および編集することで、DevOps 変更ワークスペースとサービスオペレーションワークスペースの両方で統一された変更要求エクスペリエンスを実現します。 DevOps モデル変更の機能拡張 • 製品内ガイダンスを使用すると、DevOps モデルを活用して、変更プロセスを中断することなく DevOps 変更を簡単に作成できます。 • DevOps モデルの [変更] - [DevOps] - [実装] フローを DevOps 変更により適したものにするため、変更タスクは自動的に作成されなくなりました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• DevOps モデルの新しい [変更] - [DevOps] - [更新実行ステータス] フローにより、サードパーティのオーケストレーションツールにコールバックを送信するために DevOps 変更要求の手動承認フローをアクティブ化する必要がなくなりました。 • [評価] ステータスを含まない新しい DevOps 簡素化された変更モデルを使用して、変更プロセスを迅速に追跡します。このモデルの変更承認は、DevOps 簡素化されたモデル変更ポリシーに基づいています。 アーティファクトとパッケージのブランチの詳細 パイプライン実行からのブランチの詳細が、より適切に追跡できるように、アーティファクトとパッケージで使用できるようになりました。 リストを作成 DevOps 変更 ワークスペースの変更、ツール、および管理モジュールに追加されるカスタマイズされたリストを作成するオプション。 API キーを使用した Jira Server 接続 ベーシック認証ではなく API キー認証を使用して Jira Server に接続します。 GitHub アクションの再実行 失敗した GitHub ジョブを再実行すると、新しい変更要求を作成する代わりに、失敗したジョブに対して作成された既存の変更要求が使用されるようになりました。
デジタルポートフォリオ管理	のリフロー 構成可能ワークスペース デジタルポートフォリオ管理 構成可能ワークスペースがリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。アップグレード方法の詳細については、次の「#unique_231_Connect_42_digital-portfolio-management-rn-accessibility」を参照してください。
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	アンケートとチャージバックの適格性ルール Visa からの最新の異議申し立て条件を反映するために、新しいチャージバック適格性ルールが追加されました。 異議申し立てアンケートを更新して、次の理由コードをサポートしました。 • 10.3 (その他の詐欺 - カード提示環境) • 13.1 (受領されていない商品/サービス) • 13.5 (虚偽表示) 更新されたデータモデル

アプリケーションまたは機能	詳細
	更新されたチャージバック適格性条件と、異議申し立て中のトランザクションの検証に使用されるフィールドをサポートするように Visa の紛争ルールコンテンツパック を拡張しました。
ドキュメントサービス	Google ドライブ上の Google ドキュメントのファイル  マルチプロバイダードキュメントサービスフレームワークを使用して、Google ドライブ上の Google ドキュメント ファイルを管理します。 ドキュメントビューアーでのハイパーリンク、添付ファイル、デジタル署名のサポート  ドキュメントビューアーでは、ハイパーリンクの使用、PDF 添付ファイルのダウンロード、およびデジタル署名の表示がサポートされるようになりました。 DOCX から PDF への変換のためのアクセシビリティ機能  DOCX から PDF への変換にアクセシビリティサポートが追加されました。PDF アクセシビリティタグは、変換された PDF ドキュメントをスクリーンリーダーを使用してナビゲート、理解、および操作する視覚障がいがあるユーザーを支援するために利用できるようになりました。
動的翻訳	MS 翻訳要求の最大文字数が増加しました  Microsoft Azure Translator サービスのユーザーの場合：翻訳要求の最大文字数制限が 50,000 文字に増加しました。検出要求の最大文字数は 50,000 文字のままです。
ESG Management	ESG プログラムマネージャーロールの強化  ESG プログラムマネージャー (sn_esg.program_manager) が、排出係数を作成、読み取り、更新、および削除できるようになりました。 測定基準テーブルの変更 次の測定基準関連テーブルが読み取りアクセス制御リスト (ACL) で拡張されました。 • メトリクスの定義 • メトリクス • メトリクスデータ • メトリクスデータタスク • メトリクスデータタスク URL この変更により、次の変更が有効になります。 • 測定基準レベルの承認者ユーザーまたは承認者グループ：これは、承認者として指定されたユーザーまたはグループが、承認者として指定された特定の測定基準とテーブルにのみアクセスできることを意味します。 • マルチレベル承認：これは、承認者として指定されたユーザーまたはグループが、自身が承認者である測定基準

アプリケーションまたは機能	詳細
	関連テーブル内のレコードにのみアクセスできることを意味します。 企業オーナーが測定基準レコードにアクセスできるようにする：これは、企業オーナーがすべての測定基準関連レコードにアクセスできることを意味します。
暗号化キー管理	コード署名要件の変更  Root of Trust に関するセキュリティ向上の一環として、スクリプトと添付ファイルレコードの署名は、信頼できる非本番インスタンスで実行するか、スタンドアロンの署名ツールを使用して行う必要があります。ただし、公証は例外で、保護された本番インスタンスで引き続き実行できます。 コード署名スタンドアロン署名ツールの拡張要求  コード署名の更新により、アドミニストレーターは、キーストア、署名レコード、およびローカルシステムの外部で署名されるレコードを操作できます。 コード署名のアクティベーションプロセスの改善  アクティベーションプロセスを簡素化するように設計された新しい UI ページでコード署名をアクティブ化します。 複数の添付ファイルの [すべてダウンロード] ボタンは、エッジ暗号化が有効になっている場合に使用できます  [すべてダウンロード] 機能を使用することで、エッジ暗号化を有効にしたときに、複数のドキュメントを zip ファイルにダウンロードできるようになりました。 エッジ暗号化 jRobin ダッシュボードがネクストエクスペリエンスに移行されました  廃止された jRobin フレームワークから移行されたダッシュボードのトラブルシューティングとパフォーマンスを表示します。これらのダッシュボードには、以前のバージョンで利用可能だったものと同じ情報が表示されます。 列レベル暗号化エンタープライズは、購入後にアドミニストレーターがインストール可能  列レベル暗号化エンタープライズを購入した後、通常、アドミニストレーターはテクニカルサポートを必要とせずに製品をアクティブ化できます。 列レベル暗号化での完全な文字列 UTF-8 のサポート  CLE は、絵文字を含む UTF-8 文字の全範囲の暗号化と復号化をサポートしています。 列レベル暗号化ログの読みやすさを改善  改善されたシステム、ノード、アプリケーション、および監査ログにより、アドミニストレーターは CLE または CLEE 実装の分析とトラブルシューティングを行うことができます。
イベント管理	アラートページのパフォーマンスの強化  アラートフォームとサービスダッシュボードのロード時間が短縮されたことによるメリット。

アプリケーションまたは機能	詳細
	ループ依存関係中の影響度を計算  影響ツリー内の構成アイテム間の循環 (ループ) 依存関係のサポートが有効になっています。 自動アラートグループによるタグベースのアラートクラスタリングの実行  タグベースのアラートグループの相関は、自動アラートグループの一部として実行されます。
Field Service Management (フィールドサービス管理 (FSM))	キャパシティと予約の管理 キャパシティと予約の管理データモデルは、エージェントの開始場所と終了場所に対応するように変更されました。 Reflow for Configurable Workspace  ディスパッチワークスペースとフィールドサービスのワークフォース最適化 がリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。詳細については、次の <code>#unique_231_Connect_42_field-service-management-rn-accessibility</code> セクションを参照してください。
生成 AI コントローラー	の生成 AI 更新の指示 生成 AI コントローラー  4 つすべての機能 (汎用プロンプト、コンテンツの生成、要約、感情分析)、セマンティックフィルタリング、再帰要約について、大規模言語モデル (LLM) への指示であるプロンプトが更新されました。
ゴールフレームワーク	ゴールフレームワークテーブル  戦略計画 [sn_gf_strategic_plan]、戦略的優先事項 [sn_gf_strategy]、ゴール [sn_gf_goal]、ターゲット [sn_gf_goal_target] テーブルの [名前] フィールドに入力できる最大文字数が 80 から 255 に増加しました。
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	ワークスペースパフォーマンスの拡張  ヘルスケアワークスペースのパフォーマンスが強化され、ロード時間が最適化されました。
Hermes Messaging Service	複数のクラスターセット内のトピックの監視  Hermes トピックインスペクターモジュールでサービスグループを選択して、複数のクラスターセットからのメッセージを表示します。 複数のクラスターセットへの接続をテストする  Hermes 診断モジュールでサービスグループを選択して、インスタンスが複数のクラスターセットとの間でメッセージを送受信できることを確認します。

アプリケーションまたは機能	詳細
ITOM クラウドアクセラレート	Cloud Services Catalog クラウドサービスカタログエクスペリエンスを向上 Terraform Connector IaC ディスカバリー機能のサポートにより、複数のリポジトリの階層構造が改善されました。 Google Cloud Platform (GCP) と Terraform Open Source の統合のサポート。
ITOM 最適化	Cloud Admin Portal クラウドサービスカタログアプリケーションをインストールおよびセットアップした場合に、ユーザーポータルへのクラウドアドミンポータルのリンクが従業員センターを指すようになりました。
ITOM ヴィジビリティ	拡張された Shazzam プローブを使用してデータを収集 Shazzam プローブによって収集された拡張データを [ディスカバリーアドミンワークスペースインサイト] タブに表示します。 変更済み サービスマッピング roles 更新されたロールにより、サービスマッピングでの ML を利用した候補の可視化が向上します。 • service_mapping_admin は sm_admin を置き換えます。 • service_mapping_user は sm_user を置き換えます。 拡張された ディスカバリーとサービスマッピングパターン 拡張検出 次の新しいパターン拡張に注意してください。 • Pure Storage FlashArray • Azure SQL ライセンス情報 を使用したトップダウンディスカバリーの実行 サービスマッピングとの統合 エージェントクライアントコレクター エージェントクライアントコレクターでは、トップダウンのサービスマッピングと自動サービス提案が全面的にサポートされています。 CMDBデータを活用した サービスグラフコネクタ を使用してサービスマップを作成します。
インシデント管理	メール通知リンクのリダイレクト動作 メール通知で、インシデントレコードへのリンクのリダイレクト先を決定できるようになりました。インシデント管理 のクラシック UI16 インターフェイスでインシデントレコードが自動的に開く代わりに、SOW でインシデントレコードを開くことができます。メール通知のインシデント

アプリケーションまたは機能	詳細
	レコードリンクは、次の条件が満たされた場合にのみ SOW で開きます。 • SOW メール通知のリダイレクト (<code>sow_email_notification_redirect</code>) システムプロパティが <code>true</code> に設定されている。 • インシデントレコードリンクを選択したユーザーには、<code>sn_sow_user</code> ロールがあります。 この動作をサポートするために、ITSM 通知リダイレクト (<code>com.snc.itsm.notifications_redirection</code>) プラグインが自動的にインストールされ、アクティブ化されます。
統合ハブ	プラットフォームセキュリティが提供する新機能を使用するための外部トリガーフレームワーク 既存の外部トリガーフレームワークをアップグレードして、アクセスポリシーでハッシュベースおよびトークンベースの認証プロファイルなどの新機能を使用します。
CSM のインテリジェンス	ガイド付きディシジョン - 質問フィールドが HTML タイプに更新されました [質問] フィールドが <code>type=string</code> から <code>type=HTML</code> に更新されました。意思決定ノードに質問を追加するときに、意思決定ツリーの作成者は、テキスト、書式設定されたテキスト、および画像を [質問] フィールドに含めることができます。
ナレッジ管理	有効化 AI 検索 上の ナレッジ管理 サービスポータル ナレッジ管理 サービスポータルは現在、AI 検索を提供しています。ナレッジ管理 サービスポータルホームページでナレッジベース記事を選択すると、それぞれの記事の AI を利用した検索結果が表示されます。 デフォルトの高度なプラグインのインストール ナレッジ管理詳細プラグインが利用可能になり、新規の顧客にはデフォルトでインストールされます。既存の顧客には、この機能を有効にするオプションがあります。このプラグインは、ナレッジの作成と管理を強化する、記事のバージョンニング、記事のサブスクリプション、記事テンプレート、記事の品質インデックスなどの機能をアクティブ化します。
MID サーバー	MID サーバー ログの機能拡張 MID サーバー ログファイルの圧縮をサポートします。新しいログファイルハンドラーの設定は、インスタンスの MID サーバードプロパティとして使用できます。ベースシステムでは圧縮モードが有効になっていません。
モバイルプラットフォーム	Now Assist for 仮想エージェント 機能拡張

アプリケーションまたは機能	詳細
	仮想エージェントで AI によって生成されたメッセージにフィードバックを提供する機能など、生成 AI を使用して、質問に対する直接的で関連性の高い会話形式の応答を提供します。 Now Assist 次の値のいずれか AI 検索 モバイル版 AI が生成した回答または AI が選択した回答をユーザー検索に提供し、キュレーションされた回答の関連性についてユーザーがフィードバックを提供できるようにします。 2 つの新しいボタンインスタンス - 上部アイコン機能ボタンのインスタンスを備えたレコード画面でアイテムまたはアクションへの追加のショートカットをユーザーに提供し、エージェント間のモバイルサイドバーエクスペリエンスをサポートします。 - カスタムマップ下部のドロワー機能ボタンのインスタンスで、屋内ルート案内エクスペリエンスにショートカットを追加します。 モバイルクライアントスクリプティングの機能拡張 1 つまたは複数のユーザー入力に基づいた自動入力により、入力フォーム画面の入力を簡素化します。 ナビゲーションバーの機能拡張 ナビゲーションバータブにバッジ機能を追加します。これにより、ナビゲーションタブアイコンのバッジが有効になります。 [通知] タブの機能拡張 ナビゲーションバー内の [通知] タブに追加された次の拡張機能を使用します。 - すべての通知を既読にするオプションで、通知エントリを管理できます。 - 通知領域で重大なアラートをハイライト表示します。 Mobile Publishing 機能強化と変更 - 新しいブランド化されたアプリビルドが要求されたとき、および既存のブランド化されたアプリが更新されたときに、インスタンス URL を自動入力します。 - リストにない iOS ブランド化されたアプリのサポート。 - iOS Microsoft Intune アプリを Microsoft Entra ID (旧称 Azure AD) に登録するための新しい要件。
Next Experience	Select a theme in Next Experience テーマビルダーを使用して複数のコアテーマが作成されている場合、それらのテーマとその代替カラーパレットが [テーマ] ユーザー設定グループに表示されます。 Select a theme in Next Experience

アプリケーションまたは機能	詳細																
	テーマビルダーを使用して複数のコアテーマが作成されている場合、それらのテーマとその代替カラーパレットが [テーマ] ユーザー設定グループに表示されます。																
Next Experience コンポーネント	コンポーネント <table> <tr> <th>コンポーネント</th><th>拡張</th></tr> <tr> <td>バッジ</td><td>部分的計数と、プラス「+」記号を含む追加の文字を有効にするオプション。</td></tr> <tr> <td>パンくずリスト</td><td>オーバーフローメニューを有効にするオプションにより、ブレッドクラムの向きのエクスペリエンスが改善されました。</td></tr> <tr> <td>カレンダー</td><td> - ボタンを追加するためのヘッダーの追加コンテンツスロット。 - タイムラインビューの列幅コントロール。 </td></tr> <tr> <td>チェックボックス</td><td>情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。</td></tr> <tr> <td>Checklist (チェックリスト)</td><td> - 無効化、読み取り専用、無効などの追加の構成オプション。 - フォントサイズのカスタマイズ。 - 必須フィールドインジケータを構成するオプション。 - ユーザーが必須フィールドに不完全なフォームを送信しようとする、エラー通知が表示されません。 </td></tr> <tr> <td>日付-時刻</td><td> - ユーザーのタイムゾーン表示。 - 日時入力フィールドの水平レイアウトオプション。 </td></tr> <tr> <td>メールコンポーザー</td><td> - メールフッターとサイドパネルアクションボタンを使用したドラフト管理エクスペリエンスが改善されました。 - 作成領域の拡大と垂直方向のスペースを節約するための機能強化により、ドラフト作成エクスペリエンスが向上しました。 - 最新のドラフトの自動ロードを有効にするオプション。 </td></tr> </table>	コンポーネント	拡張	バッジ	部分的計数と、プラス「+」記号を含む追加の文字を有効にするオプション。	パンくずリスト	オーバーフローメニューを有効にするオプションにより、ブレッドクラムの向きのエクスペリエンスが改善されました。	カレンダー	- ボタンを追加するためのヘッダーの追加コンテンツスロット。 - タイムラインビューの列幅コントロール。	チェックボックス	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。	Checklist (チェックリスト)	- 無効化、読み取り専用、無効などの追加の構成オプション。 - フォントサイズのカスタマイズ。 - 必須フィールドインジケータを構成するオプション。 - ユーザーが必須フィールドに不完全なフォームを送信しようとする、エラー通知が表示されません。	日付-時刻	- ユーザーのタイムゾーン表示。 - 日時入力フィールドの水平レイアウトオプション。	メールコンポーザー	- メールフッターとサイドパネルアクションボタンを使用したドラフト管理エクスペリエンスが改善されました。 - 作成領域の拡大と垂直方向のスペースを節約するための機能強化により、ドラフト作成エクスペリエンスが向上しました。 - 最新のドラフトの自動ロードを有効にするオプション。
コンポーネント	拡張																
バッジ	部分的計数と、プラス「+」記号を含む追加の文字を有効にするオプション。																
パンくずリスト	オーバーフローメニューを有効にするオプションにより、ブレッドクラムの向きのエクスペリエンスが改善されました。																
カレンダー	- ボタンを追加するためのヘッダーの追加コンテンツスロット。 - タイムラインビューの列幅コントロール。																
チェックボックス	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。																
Checklist (チェックリスト)	- 無効化、読み取り専用、無効などの追加の構成オプション。 - フォントサイズのカスタマイズ。 - 必須フィールドインジケータを構成するオプション。 - ユーザーが必須フィールドに不完全なフォームを送信しようとする、エラー通知が表示されません。																
日付-時刻	- ユーザーのタイムゾーン表示。 - 日時入力フィールドの水平レイアウトオプション。																
メールコンポーザー	- メールフッターとサイドパネルアクションボタンを使用したドラフト管理エクスペリエンスが改善されました。 - 作成領域の拡大と垂直方向のスペースを節約するための機能強化により、ドラフト作成エクスペリエンスが向上しました。 - 最新のドラフトの自動ロードを有効にするオプション。																

アプリケーションまたは機能	詳細	
	コンポーネント	拡張
		• [メール送信] ボタンを非表示にするオプション。 • メール ID での国際文字のサポート。
	メールコンポーザー (ミニ)	• メールフッターとサイドパネルアクションボタンを使用したドラフト管理エクスペリエンスが改善されました。 • 作成領域の拡大と垂直方向のスペースを節約するための機能強化により、ドラフト作成エクスペリエンスが向上しました。 • 最新のドラフトの自動ロードを有効にするオプション。 • [メール送信] ボタンを非表示にするオプション。 • メール ID での国際文字のサポート。
	フォーム	1 ページでの 2 つ以上のフォームのサポート。 i 注: 既存のフォームを使用して従来のページにフォームを追加する場合は、フォーム UIB セットアップのドキュメント を参照してください。
	ハイライト表示される値	テキストの折り返し機能により、長いテキストの表示が改善されました。
	入力	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。
	ノードマップ	階層レイアウトの場合： • マップ内の移動可能なノード。 • カスタマイズ可能なコントロールパネル。 • 新しいノードでのカスタマイズ可能なノード接続。 • より高いブラウザーズームレベルでのリフローが改善されました。 • ノードマップレイアウトの更新 (再レイアウト) の一時停止のサポート。
	ラジオボタン	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。

アプリケーションまたは機能	詳細												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="518 193 719 243">コンポーネント</th><th data-bbox="719 193 1378 243">拡張</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="518 243 719 344">選択</td><td data-bbox="719 243 1378 344">情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。</td></tr> <tr> <td data-bbox="518 344 719 445">テキストエリア</td><td data-bbox="719 344 1378 445">情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。</td></tr> <tr> <td data-bbox="518 445 719 546">トグル</td><td data-bbox="719 445 1378 546">情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。</td></tr> <tr> <td data-bbox="518 546 719 646">先行入力</td><td data-bbox="719 546 1378 646">情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。</td></tr> <tr> <td data-bbox="518 646 719 764">先行入力マルチ</td><td data-bbox="719 646 1378 764">情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。</td></tr> </tbody> </table>	コンポーネント	拡張	選択	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。	テキストエリア	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。	トグル	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。	先行入力	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。	先行入力マルチ	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。
コンポーネント	拡張												
選択	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。												
テキストエリア	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。												
トグル	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。												
先行入力	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。												
先行入力マルチ	情報ボタンの後ろにある、追加要素を挿入するためのカスタマイズ可能なスロット。												
Notifications	通知設定の新しい検索とカテゴリフィルター  通知設定に、カスタム通知内を検索し、システム通知でカテゴリ別にフィルタリングする機能が含まれるようになりました。 メールの購読解除  メールヘッダーの登録解除機能を使用して、メールの登録を解除します。 言語設定  メール翻訳用にユーザーが設定した sys_user 言語設定に従います。												
通知	Notify Twilio Direct driver  Twilio メッセージングサービス が ServiceNow インスタンスから切断された場合、データ管理およびセキュリティ保持ポリシーに従ってメッセージングレコードを削除するか、将来の参照のためにレコードを保持するかを選択できます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「Behavior of Default Messaging Service when connecting to Twilio from ServiceNow instance [KB1644265] (ServiceNow インスタンスから Twilio に接続するときのデフォルトのメッセージングサービスの動作)  」を参照してください。												
Now Assist	解決メモ生成のためにガイド付きセットアップに追加された「はじめに」 ステップ  解決メモ生成スキルのガイド付きセットアップに、新しいリリース後にスキルに関連付けられているカスタマイズされたコードを更新するように通知するステップが追加されました。												
CSM の Now Assist	コール後の要約の機能強化 												

アプリケーションまたは機能	詳細
	あるライブエージェントから別のエージェントに引き継がれたコールをレビューし、会話中にカバーされる重要なトピックの要約を提供できるようになりました。 複数のケースからのナレッジ生成 複数の類似ケースからインサイトとデータを選択して収集し、CSM の Now Assist を使用して記事のドラフトを作成できるようになりました。
オンコールスケジューリング	On-Call Scheduling new schedule engine 新しい 2024 スケジュールエンジンは、スケジュールとシフトを管理するためのより効率的で改善されたエクスペリエンスを提供します。オンコールスケジューリングは、新しいスケジュールエンジンへの自動アップグレードをサポートしています。 On-Call Scheduling new schedule engine 新しいスケジュールエンジンでは、次の拡張機能が導入されています。 - メンバーの配置によって生じるギャップを解決するためのシフトサポート。 - メンバーの追加や削除、祝祭日スケジュール、または時間の延長によって発生する日次ローテーションのギャップを解決します。 - 前のスケジュールの最後のオンコールメンバーに基づいてユーザーの継続性を確認します。 - メンバーの追加、削除、または移動に必要な時間が短縮され、パフォーマンスが向上しました。
オペレーショナルテクノロジー変更管理	の OT 変更レコードのレイアウトが更新されました 産業用 ワークスペース 産業用 ワークスペース 内の OT 変更レコードが更新され、既存のすべての関連リストが [関連レコード] タブに含まれるようになりました。
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理	の OT インシデントレコードのレイアウトが更新されました 産業用 ワークスペース 産業用 ワークスペース 内の OT インシデントレコードが更新され、[関連レコード] タブの既存のすべての関連リストが含まれるようになりました。
Operational Technology Manager (オペレーショナルテクノロジーマネージャー)	OT ランディングページの名前の変更 OT ランディングページは、OT マネージャーダッシュボードと呼ばれるようになりました。
パスワードリセット	パスワードリセットのセキュリティ URL の強化

アプリケーションまたは機能	詳細
	glide.pwd_reset.onetime.token.validity プロパティを設定して、パスワードリセット URL の有効期限を制御します。デフォルトでは、URL は 1 時間有効です。
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	データ可視化のインジケータの分析キャッシュ  インジケータデータとテーブルデータをキャッシュできるようになりました。 キャッシュデータのプリフェッチ  有効期限が 8 時間以上のキャッシュデータは、有効期限が切れる前の 30 分以内に自動的に更新されます。したがって、その日の最初の表示時に、ダッシュボードまたは可視化が新しいデータをロードするのを待つ必要はありません。 更新セットへのプラットフォームアナリティクスダッシュボードのアンロードの簡素化  ワンクリックで プラットフォームアナリティクス インラインダッシュボードを更新セットにアンロードします。 移行の改善  プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスへの移行により、Xanadu リリースの次のアイテムの完全な移行が追加されました。 • V1 ピボットレポートと複数列のピボットレポート • カスタム順序とラベル名を含むインジケータスコアカード • 時系列ブレイクダウンの パフォーマンスアナリティクスウィジェットの上位 X 個の要素  • クリック時のカスタム URL の動作 • フィルター機能として動作 • 未構成のレポート、パフォーマンスアナリティクス ウィジェット、およびインタラクティブフィルター：これらのオブジェクトは、空のデータ可視化とフィルター要素に移行されます。 • カスケードフィルター • ダッシュボードの背景色 • チャートインタラクション：チャート間のドリルダウン 移行センターの改善  • 以前のバージョンで移行した場合、以前はサポートされていなかった可視化がアップグレード時に移行されます。 • 移行ログの UX を改善しました。 特定のスコープ対象アプリのプラットフォームアナリティクス作成権限  Now Platform 委任開発機能を使用すると、アドミン以外のユーザーは、特定のスコープ対象アプリの プラット

アプリケーションまたは機能	詳細
	フォームアナリティクス オブジェクトを作成する権限を取得できます。 インサイトカードのグループ化  同じタイプのインサイトが複数生成されると、1 つのカードにアグリゲートされます。 傾向とターゲットまたはしきい値のインサイトも 1 つのカードに表示されます。 データの可視化に関するインサイト通知  データの可視化で使用するデータソースに関するインサイトが生成されると、その可視化にアラートが表示されます。この機能は、インサイトがアクティブ化されたインラインダッシュボードと UI ビルダー ページの両方でのデータの可視化に適用されます。 プロセスマイニングインサイトにプロジェクトを指定する必要はありません  プロセスマイニングインサイトをアクティブ化している場合は、インサイトを確認するプロセスマイニングプロジェクトをダッシュボードごとに指定する必要がなくなります。関連するすべてのプロジェクトが自動的にチェックされます。 データの可視化に関するインサイト通知  データの可視化で使用するデータソースに関するインサイトが生成されると、その可視化にアラートが表示されます。この機能は、インサイトがアクティブ化されたインラインダッシュボードのデータ可視化と、UI ビルダー ページの個々のデータ可視化の両方に適用されます。 単一スコアの可視化によるチャート化の自動サイジング  単一スコア可視化の新しい [自動サイズ (Auto size)] オプションは、表示されるターゲットやその他の情報に応じて、可視化を使用可能なスペースに動的に収めます。 グローバルフィルターは詳細ダッシュボードに適用されます  詳細ダッシュボードを開くと、ソースページから渡されたグローバルフィルターの値で自動的にフィルタリングされます。 ダッシュボードに保存されたデータの可視化は、ライブラリからリンク解除できます  ダッシュボードに編集可能な共有データ可視化がある場合は、ダッシュボード上のローカルコピーをライブラリからリンク解除し、特別なロールなしで他のダッシュボードに影響を与えることなく編集できます。 簡易リストがフィルターに従う  ダッシュボードの簡易リストは、そのダッシュボードのフィルターに従うことができます。簡易リストに野線を追加することもできます。

アプリケーションまたは機能	詳細
ワークフロースタジオのプレイブック	更新されたロール  pd_admin ロールは playbook.admin になりました。 アクティビティは非同期的にトリガーされます プレイブックの実行速度が低下するのを避けるために、最初のアクティビティは非同期的にトリガーされます。
Policy and Compliance Management	Domain separation in GRC: Policy and Compliance Management  これで、手動で作成されたレコードと、ジョブスケジュールまたはスクリプトを介して作成された自動生成レコードの両方が、すべての ポリシーとコンプライアンス管理 オブジェクトの親オブジェクトまたはユーザードメインに基づいてドメインセパレーションされるようになりました。
Problem Management (問題管理)	問題タスクを [対応中] ステータスから再評価  問題タスクアナリストのワークフローの柔軟性がさらに向上します。 メール通知のリダイレクト動作  ユーザーがメール通知で問題レコードのリンクを選択すると、従来の UI16 エクスペリエンスの代わりにサービスオペレーションワークスペースで問題レコードにリダイレクトできます。この動作をサポートするために、ITSM 通知リダイレクト (com.snc.itsm.notifications_redirection) プラグインが自動的にインストールされ、アクティブ化されます。 デフォルトで利用可能な既知のエラー記事  新規顧客の場合、Problem Knowledge Integration はデフォルトで有効になります。 問題管理移行ユーティリティ  Xanaduベースの問題ファイルリストが更新され、問題管理移行ユーティリティがカスタマイズを検出できるようになります。
製品カタログ管理および Pricing Management	製品カタログ管理 個の変更 構成 UI の変更 構成 UI のアラート、エラー、および情報メッセージの表示とアグリゲーションが改善され、より多くのコンテキストが提供されるようになりました。構成が不完全であることを示すビジュアルインジケータを追加しました。 構成ステータスモデル API フレームワークの機能拡張  構成ステータスモデルを使用して、製品コンフィギュレーターのさまざまな機能を制御します。たとえば、ロールや営業チャネルなどのコンテキストに基づいて、エージェントに表示されるさまざまなデフォルトの製品構成を定義できます。また、エージェントが構成ノードに入力できる数量の値を制御したり、設定した特定の条件に対してトリガーされ

アプリケーションまたは機能	詳細
	る情報メッセージをオプションで定義したりすることもできます。 Pricing Management 個の変更 公開された価格リストの変更 Xanadu リリース以降、公開された価格リストの [説明] フィールドと価格リストの [終了日] フィールドのみを変更できます。引き続き価格明細を追加できます。 Copy a price list 価格リストとその価格明細を再作成することなく、公開された価格リスト、その価格明細、および関連する属性調整とディシジョンテーブルを複製します。たとえば、公開された価格リストとその価格明細をコピーし、別のアカウントまたは場所に価格リストのコピーを使用できます。 原価表の機能拡張 特定の通貨に対して複数の原価表を作成し、特定の通貨に対してデフォルトの原価表を設定します。次の操作も実行できます。 • Copy a cost book . • 使用するデフォルトの原価表を管理し、原価表のデフォルト設定マトリクス を使用して原価表の検証ルールを設定します。 • DefaultCostBookExtensionPoint 拡張ポイント を使用して、他の SOM アプリケーションによって呼び出されるデフォルトの原価表ロジックをカスタマイズします。 マトリクスルールの検証 事前定義された検証ルールを使用するか、独自のルールを作成して、価格設定および製品適格性ルールマトリクスの必須入力などのコンテキスト変数を検証します。各検証定義には、検証するコンテキスト変数と、検証結果に応じてマトリクスディシジョンテーブルに表示される対応するエラーまたは警告メッセージを識別するスクリプトがあります。 Pricing Matrix Management アプリケーションの名称変更 Xanadu リリース以降、Pricing Matrix Management アプリケーションは、Product and Pricing Rules アプリケーション (sn_csm_price_mtrx プラグイン) に名前が変更されています。アプリケーションには、このリリースで導入された製品カタログ適格性マトリクスと価格設定マトリクスが含まれています。
プロジェクトポートフォリオ管理	Project Portfolio Management 新しいServiceNow プロジェクトワークスペースアプリケーションは、より効率的な簡素化された操作エクスペリエンスを提供します。アップグレード方法については、「Project Workspace」を参照してください。プロジェクトポートフォリオ管理 は、このリリースでも引き続きサポートされています。

アプリケーションまたは機能	詳細
公共機関デジタルサービス	構成員サービスダッシュボードのプラットフォームアナリティクスへの移行  構成員サービスダッシュボードは、ネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクス に移行されました。ネクストエクスペリエンス は、ユーザーが Xanadu リリースをロードまたはアップグレードしたときにデフォルトでアクティブになる Now Platform 機能です。ダッシュボードのネクストエクスペリエンス への移行により、ロールベースのダッシュボードで履歴およびリアルタイムのプロセス統計情報を継続的に可視化できるため、個々のステークホルダーが情報に基づいた意思決定を行うことができます。新しいダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。すべて > プラットフォームアナリティクス > Library (ライブラリ) > Dashboards (ダッシュボード)。 の機能強化: 福利厚生プレイブック  拡張された 福利厚生プレイブック を使用して、プライマリ申請者に関するより詳細な情報を含む更新された構成員カードを表示します。行政サービスポータルで更新されたプロセスプレイブックを使用して、ドラフトケースをキャンセルし、最初の適格性スクリーニングをバイパスし、プレイブックアクティビティをスキップします。
RPA Hub	ログのないプロセスジョブ  RPA デスクトップデザインスタジオでは、次のプロセスジョブレコードが [ログを添付 (Attach log)] ウィンドウに表示されません。 • ログのないプロセスジョブレコード。 • ロボットマシンに保存されているプロセスジョブレコード。 資格情報セットは認証情報グループに置き換えられる  RPA Hub では、ボットプロセス用に作成された資格情報セットが認証情報グループに置き換えられるようになりました。ロボット認証情報、時間ベースのワンタイムパスワード (TOTP) 認証、およびアプリケーション認証情報をボットプロセスの外部で定義し、複数のボットプロセスで再利用できるようになりました。認証情報グループを使用すると、ボットプロセスごとに同じ認証情報を作成する必要がなくなります。 アップグレードする顧客の場合、既存の資格情報セットと関連する認証情報がシームレスに移行されます。 [プロセスの開始] UI アクションの変更点  RPA Hub では、[プロセスの開始] ボタンを選択しても、[メンテナンス中] ライフサイクルステータスのロボットを表示できません。 ボットプロセスが [メンテナンス中] または [ビルド] ライフサイクルステータスのいずれかで、ロボットプール

アプリケーションまたは機能	詳細
	を使用している場合、新しいロボットは動的割り当て用に展開されません。 ロボットプールの動的割り当ては、公開されたボットプロセスに対してのみアクティブ化されます。 [プロセスの開始] アクションの変更点 [処理の開始] ワークフロースタジオ アクションを呼び出すと、ライフサイクルステージステータスが [メンテナンス中] のロボットは、失敗したロボットとして扱われます。 [プロセスの開始] サブフローの変更点 プロセスジョブが [実行中] ステータスでない場合、プロセスジョブに関連付けられているロボットは、[プロセスの開始] サブフロー出力で [失敗] として扱われます。 ループでの Break コンポーネントの問題 ループの中断に失敗したネストされたアクティビティの Break コンポーネントに関する問題が修正されました。詳細については、「List of components compatible with latest version」を参照してください。 Microsoft ソフトウェアインストーラー (MSI) の互換性 RPA Hub ストアリリースバージョン 7.0.3 および 9.0.0 の 無人口ロボット、アテンド型ロボット、RPA デスクトップデザインスタジオに関連する古い MSI は互換性があり、RPA Hub の現在のストアリリースバージョン (10.0.X) で使用できます。 ただし、いくつかの制限があります。 - 最新バージョンで利用可能な新しい自動化コンポーネントは、古いバージョンでは使用できません。たとえば、バージョン 10.0 の Zip カテゴリの CreateFile コンポーネントは、古いバージョンでは機能しません。 - 異なるパラメーターを持つ同じ名前のコンポーネントには下位互換性がありません。 ロボットマシンがインスタンスの現在のバージョンよりも古い MSI を使用している場合、それ以降のバージョンで追加された新機能は古い MSI では使用できません。たとえば、バージョン 7.0.3 以降にリリースされた機能は、バージョン 7.0.3 MSI では動作しません。バージョン 7.0.3 に存在する機能のみが、そのバージョンで動作します。
規制変更管理	強化されたタスク管理 タスク管理機能が拡張され、コーディネーターが変更タスクとアクションタスクの所有権を変更できるようになりました。 Regulatory Change Management ネクストエクスペリエンス Chat Collaboration and Discuss ネクストエクスペリエンス Chat and Collaboration and Discuss 機能が強化されました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	Regulatory Change Management [自分のタスク] ポータルでの差別化とレポート作成のために、規制変更管理 または コンプライアンスケース管理 アプリケーションから分離されたアクションタスクを追加しました。
リソース管理ワークスペース	Resource Management Workspace 新しい リソース管理ワークスペース は、より効率的な簡素化された操作エクスペリエンスを提供します。アップグレード方法については、「Resource Management Workspace」を参照してください。 Resource Management classic は、このリリースでも引き続きサポートされています。
セキュリティセンター	Scan checks 更新された監査ツールでセキュリティスキャンをスケジュールし、セキュリティスキャナーツールのアクセス制御構成を監視します。監査人スキャンスイートは、アクセス制御チェックのみを含むように簡素化され、アクセス制御監査人スイートに名前が変更されました。ServiceNowセキュリティの専門家によると、更新されたアクセス制御チェックは、潜在的なセキュリティの脆弱性を反映した、より少ない、より焦点を絞った結果を生成します。
Security Incident Response (セキュリティインシデントレスポンス)	Review and assign your DLP incidents DLP IR アナリストワークスペースから DLP インシデントをクローズするときにクローズコードを入力することが必須になりました。 DLP Incident Response Administration 次の管理モジュールで、ユーザーとグループを追加する場合、それぞれの構成からユーザーを追加するのではなく、関連リストから追加できるようになりました。 • DLP デフォルト構成。 • DLP アサインルール。 • DLP 応答期日ルール。 • DLP インシデントのアセスメント。 • DLP ユーザー指示テンプレート。 • DLP レコードレベル制限。 • DLP フィールドレベル制限。 Install and configure the Netskope DLP integration for Data Loss Prevention Netskope 統合で DLP インシデントの取り込みがサポートされるようになりました。 Data Loss Prevention Incident Response Incident Management

アプリケーションまたは機能	詳細
	DLP IR アナリストワークスペースと DLP エンドユーザーワークスペースの両方で、DLP インシデントのフォレンジックの詳細を表示します。 Download evidence files Netskope 統合は、証拠ファイルをオンデマンドで直接ダウンロードすることをサポートしています。
Service Operations Workspace for ITSM	アドミンセンターからのランディングページの構成 ランディングページのリダイレクト、ドーナツ構成などのすべてのランディングページ構成は、[構成] タブの [ランディングページ構成] セクションにグループ化されます。 左側のナビゲーションペインのモジュールの並べ替え 受信トレイやリストなどの左側のナビゲーションペインモジュールは、これらのモジュールにアクセスしやすくするために並べ替えられます。 インタラクションレコードおよびインシデントレコードから要求を作成するロール インタラクションレコードとインシデントレコードから要求を作成するには、ユーザーに itil ロールまたは sn_request_write ロールが必要です。Xanadu 以前は、ユーザーが要求を作成するには、interaction_agent ロールが必要でした。 変更要求の DevOps データ サービスオペレーションワークスペース for ITSM で手動で作成された変更要求の DevOps データを表示、追加、および編集し、DevOps 変更 Workspace と サービスオペレーションワークスペース for ITSM で統一された変更要求エクスペリエンスを実現します。 問題レコードからの変更要求の作成 アクションは一度使用すると非表示ではなくなるため、追加の変更要求を作成できます。 [問題タスク] タブでのインライン編集 レコードを開いてフォーム上で変更するのではなく、問題タスクリストのフィールドを変更します。 インシデントのサイドバーの機能拡張 サイドバーに、インシデントまたはタスクの解決でエージェントを支援できるユーザー向けの推奨事項が表示されるようになりました。サポートワークフローを強化するための推奨事項の標準セットが提供されています。 ITSM Pro は、AI ベースのアルゴリズムを使用してカスタマイズされた推奨事項を提供し、タスクを支援するために最も適切なユーザーが提案されるようにします。 グループ追加機能を使用すると、グループ全体を会話に追加できます。デフォルトでは、グループのすべてのメンバーが会話に含まれます。指定されたオンコールメンバーがいるグループの場合、それらのメンバーのみが会話に追加さ

アプリケーションまたは機能	詳細
	れ、的を絞った効率的なコミュニケーションが可能になります。 Reflow for Configurable Workspace サービスオペレーションワークスペース for ITSM 構成可能ワークスペースはリフローをサポートし、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。
サービスポータル	ユーザープロファイルウィジェットのチームメンバーリストに現在のユーザーを表示します ユーザープロファイルウィジェットから別のチームメンバーのユーザープロファイルを表示するときに、ログインしているユーザーをチームメンバーリストに含めるかどうかを指定します。 追加のマルチファクター認証オプション 生体認証装置またはマルチファクター認証 (MFA) を備えたハードウェアセキュリティキーを使用してポータルにログインします。
ServiceNow SDK	デフォルトのアプリケーション構造 デフォルトのアプリケーション構造には、.gitignore ファイルの追加や、package.json 内の now オブジェクト構成の専用の now.config.json ファイルへの移動など、ディレクトリとファイルに対するいくつかの変更が含まれています。 project-type およびテンプレート parameter を含むコマンドと変換コマンドを作成します now-sdk create コマンドおよび now-sdk convert コマンドの project-type パラメーターを使用して、作成または変換するアプリケーションのタイプを指定します。このパラメーターは、アプリケーションで ServiceNow Fluent モジュールと JavaScript モジュールおよびサードパーティライブラリを使用するか (fluent)、または JavaScript モジュールとサードパーティライブラリのみを使用するか (module) に基づいて、デフォルトのアプリケーション構造を決定します。 now-sdk create コマンドと now-sdk convert コマンドのテンプレートパラメーターを使用して、モジュールで JavaScript と TypeScript のどちらを使用するかを指定します。このパラメーターは、package.json ファイルと now.config.json ファイルの構成を決定し、TypeScript プロジェクトの tsconfig.json ファイルを追加します。 fetch コマンドにデバッグパラメーターが含まれている now-sdk fetch コマンドで debug パラメーターを true に設定して、フェッチプロセス中に生成されたデバッグログを返します。 deploy コマンドに reinstall パラメーターが含まれている

アプリケーションまたは機能	詳細
	now-sdk deploy コマンドで reinstall パラメーターを true に設定して、インスタンスでアプリケーションをアンインストールして再インストールします。アプリケーションを再インストールすると、インスタンス上のメタデータが展開パッケージのメタデータと確実に一致します。 ⚠ 警告: インスタンスにはあるがローカルアプリケーションにはないメタデータは削除されます。
ソーシングと調達オペレーション	Sourcing and Procurement Operations integration with third-party sourcing solutions  サードパーティの調達ツールとの統合の Source-to-Pay 統合フレームワーク を強化しました。複数の調達要求で構成される交渉イベントベースの統合をサポートできるようになりました。 発注書送信テーブルから更新された発注書のキャンセルフローが拡張されました。 Inbound staging tables for Sourcing and Procurement Operations  エンタープライズリソースプランニング (ERP) システムステージングテーブルからメイン発注書テーブルに転送された添付ファイル。これらの添付ファイルは発注書にも表示されます。 Source-to-Pay integration framework  接続ポイントを構築し、他の ERP システムと連携できるように、Source-to-Pay 統合フレームワーク の一部のフィールドとプロセス (次のフィールドとプロセスを含む) を更新しました。 • ステージングテーブルの統合ステータスが [新規] または [処理中] の場合、発注書を更新するボタンをオフにしました。 • 発注書が ERP システムからまだ取り込まれていない場合に、発注書明細を作成することを許可しません。発注書が作成された後に発注書明細の追加を再試行するスケジュール済みジョブが追加されました。 • 送信受領書、購入グループのプライマリおよびステージング、コストセンターステージング、FX 通貨テーブルなど、一部のステージングテーブルとプライマリテーブルで欠落している列を追加し、一部の列を削除しました。これらの列をレンドリングするために、これらのテーブルの一部の変換マップロジックを更新しました。 • ERP プラントアドレスマッピングステージングテーブルが作成されました。
戦略的計画	EAP の PI 計画ボードの機能拡張  PI 計画立案ボードには、現在のアジャイル構造レベルとその子チームにアサインされたすべての作業が表示されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
システムアップデートセット	新しいシステムアップデートセットのエクスペリエンス 新しいシステムアップデートセットは、より効率的で合理化された作業方法を提供します。アップグレード方法の詳細については、「」を参照してください。PLACEHOLDER (プレースホルダー) はこのリリースでも引き続きサポートされています。 システムアップデートセットの変更 情報収集
人材開発 Core	New (新規) 人材開発コア name 人材開発コア の名前の変更により、企業全体での成長と能力開発の目標の調整が容易になります。名前の変更の詳細については、「Talent Development Core」を参照してください。
Task Intelligence for ITSM	分類モデルの名前変更 ベースシステムで利用可能な分類モデルの名前が、ITSM OOTB TI ソリューション から インシデント分類に変更されました。 モニタリングとアナリティクス 類似性モデルによって予測されたレコードの数を [タスクインテリジェンスアナリティクス (Task intelligence analytics)] ページに表示できるようになりました。
通信ネットワークインベントリ	Visualization of a rack or cabinet 新しいラックの可視化は、新しい電力、重量、およびキャパシティの測定基準を提供します。
脆弱性対応	アドミンロールの脆弱性一致アイテムを削除する権限が廃止されました 脆弱性管理者 [sn_vul.vulnerability_admin] は、脆弱性一致アイテムを削除することはできません。この権限は、sn_vul.delete 詳細ロールに付与されるようになりました。 sn_vul.admin および sn_vul.admin_solutions ロールのソースレコードを削除する権限が廃止されました sn_vul.admin および sn_vul.admin_solutions ロールのソースレコードを削除する権限は廃止されました。この権限は、sn_vul_cm.delete 詳細ロールに付与されるようになりました。
ワークフロースタジオ	ワークフロースタジオとそのすべての依存関係を更新 パッチ 3 Washington DC 時点では、ワークフロースタジオ を更新すると、ワークフロースタジオ、プレイブック、ディシジョンビルダーなどのすべてのアプリケーション依存関係が自動的に更新されます。ServiceNow Store または

アプリケーションまたは機能	詳細
	プラグインのリストから、ワークフロースタジオ の個々のアプリケーション依存関係を表示または更新することはできなくなりました。
カスタマーサービスのワークフォース最適化	Reflow for Configurable Workspace ディスパッチワークスペース および フィールドサービスのワークフォース最適化 がリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。
ITSM のワークフォース最適化	のリフロー 構成可能ワークスペース ITSM のワークフォース最適化 構成可能ワークスペースがリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。アップグレードの詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。

Xanadu の削除された機能と製品

Xanadu の機能と製品から削除された機能に関する累積的なリリースノートの概要。

Xanadu 製品の更新の一部として一部の機能が削除されました。

アプリケーションまたは機能	詳細
アプリケーション脆弱性対応	クラシック UI、Vulnerability Manager ワークスペース、および IT 修復ワークスペースの修復タスクの [閉じる] ボタンは削除されました。
Configuration Management Database (構成管理データベース) (CMDB)	- CMDB の健全性： - コア UI の CMDB 健全性ダッシュボードは、新しい Xanadu インスタンスには含まれません。アップグレードされたインスタンスでは、このダッシュボードは使用できますが、サポートされなくなりました。 - CI ダッシュボードは、新しい Xanadu インスタンスには含まれません。アップグレードされたインスタンスでは、このダッシュボードは使用できますが、サポートされなくなりました。 - CMDB ワークスペースの [CI 健全性] タイルから、不完全な属性と合計属性、非準拠リレーションシップと合計リレーションシップ、および古い関係と合計リレーションシップの各ウィジェットが削除されました。 - 全体的なヘルススコア概念は削除され、CMDB 健全性ダッシュボードまたはビューには表示されなくなりました。 - 健全性ステータスの範囲を指定する加重平均とスコアカードのしきい値概念が削除されました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- メインの CMDB 健全性ダッシュボードの測定基準の棒グラフと、上位 10 件のインシデント、アラート、および変更ジェネレーターのタイルが削除されました。 - CMDB Health Dashboard - Top Task Generating CIs Calculation スケジュール済みジョブが削除されました。 - CSDM と CMDB データ基盤ダッシュボード： [データ管理手法] 測定基準グループの [IRE で処理されない CI] にドリルダウンする場合、[レコードを表示] ボタンはサポートされていません。 [孤立 CI] 測定基準にドリルダウンすると、孤立 CI のリストビューのみがパフォーマンスアナリティクスの詳細なしで表示されます。
コンテナ脆弱性対応	クラシック UI、Vulnerability Manager ワークスペース、および IT 修復ワークスペースの修復タスクの [閉じる] ボタンが削除されました。
継続的な承認とモニタリング	- 承認担当者 (AO) (sn_irm_cont_auth.authorization_official) ロールに sn_audit.user ロールと sn_compliance.user ロールは含まれなくなりました。AO ロールは、認証パッケージの読み取りと承認のみを行うことができます。 - 情報システムセキュリティ責任者 (sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer) ロールに sn_audit.user ロールは含まれなくなりました。 - リーダー (sn_irm_cont_auth.reader) ロールに sn_audit.user ロールは含まれなくなりました。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	Xanadu リリース以降、プラットフォームドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 使用状況ダッシュボードはサポートされなくなり、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションでは利用できなくなりました。パフォーマンス測定基準は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミンエクスペリエンスで使用できます。詳細については、「 Document Intelligence monitoring dashboard 」を参照してください。
イベント管理	イベント管理モバイルアプリケーションは使用できなくなりました。
フィールドサービス管理 (FSM)	フィールドサービス ダッシュボードが エマージェンシーエクスポージャー管理 アプリケーションから削除されています。
ワークフロースタジオのフロー、サブフロー、およびアクション	- フローが実行の詳細を生成するループの反復回数を指定するために使用されていたシステムプロパティ com.snc.process_flow.reporting.iteration.lastn を削除しました。ループのすべての反復についてレポートするには、代わりにフローのフロー実行設定レコードを作成します。フロー実行設定の詳細については、「Flow execution settings」を参照してください。 - 使用可能なアクションのリストにドラフトアクションを含めるよう、フロー作成者のユーザー設定が削除されました。フロー設計時にカスタ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ムアクションを表示するには、アクションを公開します。詳細については、「 Create an action in Workflow Studio 」を参照してください。
統合ハブ	従来の使用状況の概要ダッシュボードは廃止されました。この機能は、展開、拡張、またはサポートされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。
ネクストエクスペリエンス 開発者 (NED) ツール	[アクション] タブがネクストエクスペリエンスインスペクターから削除されました。
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理	[オープン] 列は、産業用 ワークスペース リストビューの OT インシデントモジュールの下にあるリストから削除されました。
Operational Technology Manager (オペレーショナルテクノロジーマネージャー)	[新規] ボタンは、[すべての OT デバイス] リストビューとそれに対応するリストビューから削除されました。 [新規] ボタンは、品質検査管理システム [cmdb_ci_ot_qics] フォームの [機器モデルエンティティ] 関連リストから削除されました。
ワークフロースタジオのプレイブック	[ユーザーデータの収集] アクティビティの代わりに [アンケート] アクティビティを使用します。
RPA Hub	資格情報セット関連リストが RPA Hub のボットプロセスフォームから削除されました。
ServiceNow SDK	- グローバルアプリケーションの変換をサポートしていた now-sdk convert コマンドから scopeld パラメーターが削除されました。スコープ対象のアプリケーションのみ変換できます。 - now-sdk fetch コマンドと now-sdk deploy コマンドから mode パラメーターが削除されました。完全なフェッチまたは展開が常に実行されます。
Skills Intelligence (スキルインテリジェンス)	スキルオンボーディング機能は削除され、スキルインポートプレイブックエクスペリエンスに置き換えられました。スキルオンボーディングにすでにデータがある顧客の場合は、[レビュー準備完了 (Ready for review)] ステータスのすべてのスキルをダウンロードし、新しいインポートプロセスを使用して再アップロードします。詳細については、「」を参照してください。
Software Asset Management (ソフトウェア資産管理)	次の従来のダッシュボードは、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、Xanadu の前に ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ずに Xanadu にアップグレードした新規 Xanadu ユーザーは使用できなくなりました。 • Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボード • ソフトウェア資産アナリティクスダッシュボード • [Software Publisher Analytics] ダッシュボード • SaaS 概要ダッシュボード • ソフトウェア資産管理 ダッシュボード • [Engineering License Overview] ダッシュボード • 正規化およびコンテンツサービスダッシュボード • ソフトウェア資産管理基盤ダッシュボード • 重複するソフトウェアダッシュボード i 注: Xanadu より前に ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化していても、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、従来のダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Xanadu へのアップグレードの前後に) アクティブ化すると、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューから従来のダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、従来のダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。
テーマビルダー	• テーマを Web インスタンスおよびモバイルインスタンスに適用するために使用されていた [適用] ボタンを削除しました。テーマを公開するには、テーマカードオーバーローメニューから [公開] オプションを使用します。テーマの公開の詳細については、「テーマビルダーでテーマを公開」を参照してください。
脆弱性対応	クラシック UI、脆弱性マネージャーワークスペース、および IT 修復ワークスペースの修復タスクの [閉じる] ボタンが削除されました。

Xanadu のすべての機能と製品の廃止情報

Xanadu の機能と製品の廃止情報に関する累積的なリリースノートの概要。

Xanadu のプラグインの詳細については、「」および「」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
CSM のエージェントエクスペリエンス	Xanadu リリース以降、CSM エージェントワークスペース は展開、拡張、またはサポートされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。CSM 構成可能ワークスペース は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。

アプリケーションまたは機能	詳細
アナリティクス、インテリジェンス、レポート	- コア UI レポート機能は廃止され、新しいインスタンスおよびプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスの Data visualizations in Platform Analytics が優先されます。 - コア UI ダッシュボードの機能は廃止され、新しいインスタンスとプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスの Dashboards in Platform Analytics が優先されます。
認証	- MultiSSO v1 プラグインは廃止されました。MultiSSO v1 から MultiSSO v2 にアップグレードしてください。MultiSSO v2 にアップグレードする方法の詳細については、Now Support ナレッジベースのナレッジ記事「MultiSSO v2 upgrade instructions (MultiSSO v2 のアップグレード手順) [KB9756504]」を参照してください。 - SAML 1.1 および SAML 1.1 シングルサインオン - Update 1 プラグインは廃止されました。SAML ベースの ID プロバイダー (IdP) は既に SAML 2.0 に移行されています。SAML 2.0 を使用するには、MultiSSO v2 プラグインをアクティブ化し、ID プロバイダーを設定する必要があります。 - OpenID SSO プラグインは廃止されました。OpenID Connect (OIDC) を使用するには、MultiSSO v2 をアクティブ化し、OIDC ベースの ID プロバイダーを設定する必要があります。
事業継続性管理	BCM クラシックワークスペースは、Xanadu リリースで導入された新機能および拡張機能と互換性がありません。継続的な使用で発生した問題やエラーはサポートされません。中断を避けるため、BCM 構成可能ワークスペースに移行してください。 注: BCM クラシックワークスペースは廃止後も引き続き URL から利用できますが、ナビゲーションメニューには表示されません。
ケースとナレッジ管理	Xanadu リリース以降、HR ドキュメントテンプレートは廃止に備えて準備されています。HR ドキュメントテンプレートは非表示になり、新しいインスタンスにはインストールされなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「 Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] 」の記事を参照してください。HR ドキュメントテンプレートの代わりに ServiceNow ドキュメントテンプレート アプリケーションを使用できます。
CSM のケース管理	Xanadu リリース以降、CSM エージェントワークスペース は展開、拡張、またはサポートされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの「 Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] 」の記事を参照してください。CSM 構成可能ワークスペース は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。
クラウドコスト管理 8.0.0	Xanadu リリース以降の次の廃止に注意してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- クラウドコスト管理アプリケーションの コア UI インターフェイスは今後、展開、拡張、またはサポートされません。アクセスと機能を継続させるには、クラウドコスト管理ワークスペースに移行してください。詳細については、「Cloud Cost Management Workspace」を参照してください。 - クラウド支出ダッシュボードの展開、拡張、サポートは終了しています。資産担当役員ワークスペースは、この機能を提供します。詳細については、「Visibility into Cloud Cost Management KPIs using the Asset Management Executive Dashboard」を参照してください。 - 機能が制限されたクラウドプロビジョニングとガバナンス製品をサポートするクラウドインサイト請求アプリケーションは、将来の廃止に備えています。ServiceNow Store でのダウンロードやインストールはできなくなりますが、引き続きサポートされます。 詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。
Configuration Management Database (構成管理データベース) (CMDB)	- Xanadu リリース以降、データ認定プラグイン (com.snc.certification_v2) は将来の廃止に備えて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。- CMDB ワークスペースストアアプリ は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。 - ServiceNow がホストする ExtraHop のサービスグラフコネクタは現在廃止されており、新しいアクティベーションのサポートや利用は終了しています。ExtraHop のサービスグラフコネクタは、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。
Core Now Platform	- システムパフォーマンスダッシュボードは、Xanadu リリースをもって廃止されました。Impact Instance Observer は、システムパフォーマンスを向上させる強力なソリューションを提供します。詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。 - Xanadu リリース以降、Application Insights は将来の廃止に備えて準備されます。これは ServiceNow Store で非表示になり、利用できなくなりますが、引き続きサポートされます。代わりに、Impact Instance Observer がシステムパフォーマンスを向上させるための強力なソリューションを提供します。詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
動的翻訳	- IBM は、すべての地域で IBM Cloud 向けの IBM Watson Translator サービスを廃止すると発表しました。2023 年 6 月 10 日をもって、新規顧客向けの [Language Translator] タイルは IBM クラウドプラットフォームから削除され、既存の顧客しかこの製品にアクセスできなくなります。2024 年 6 月 10 日をもって、サービスのサポート終了日となります。2024 年 12 月 10 日をもって、サービスは完全に廃止され、どの顧客にも利用できなくなります。詳細については、「https://cloud.ibm.com/docs/language-translator?topic=language-translator-release-notes」を参照してください。 - Xanadu リリースでは、IBM Watson Translator サービス統合は ServiceNow Store で使用できなくなりました。既存のスポークがインストールされているお客様は、IBM によって取り消されるまで、翻訳者サービスを引き続き使用できます。
ESG Management	- Xanadu リリース以降、Global Reporting Initiative (GRI) コンテンツアクセラレータは廃止されました。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。この機能の最新のエクスペリエンスは ESG Content Accelerator アプリケーションで提供されます。 - Xanadu リリース以降、Sustainability Accounting Standards Board (SASB) コンテンツアクセラレータは廃止されました。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。この機能の最新のエクスペリエンスは ESG Content Accelerator アプリケーションで提供されます。
エンタープライズアーキテクチャ (旧称アプリケーションポートフォリオ管理)	Xanadu リリース以降、一部のモジュールが エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。廃止されたモジュールへのナビゲーションリンクは、[すべて] メニューから削除されています。既存のお客様の場合は、これらのナビゲーションリンクを引き続きご利用いただけます。しかし、アクティベーションを初めてご利用の場合、[すべて] メニューのナビゲーションリンクを使用してこれらのモジュールに移動することはできません。廃止されたすべてのモジュールは、エンタープライズアーキテクチャワークスペース内で利用できます。エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用してこれらの機能を活用することをお勧めします。廃止されたモジュールは次のとおりです。 - アプリケーションポートフォリオ管理ホーム - アプリケーションポートフォリオ - アプリケーションポートフォリオ分析 - アーキテクチャアーティファクト - ビジネスアプリケーションライフサイクル - サービス要求 - アプリケーション評価 - ケイパビリティの評価 - 情報ポートフォリオ - テクノロジーポートフォリオ管理

アプリケーションまたは機能	詳細
	• テクノロジー参照モデル • 管理 ◦ ビジネスプロセス ◦ ビジネスケイパビリティ ◦ アプリケーションファミリー ◦ アプリケーションカテゴリグループ ◦ アプリケーションカテゴリ ◦ アプリケーションインジケター ◦ 採点プロファイル ◦ バブルチャート ◦ デマンドアクション ◦ ポートフォリオ
イベント管理	次のダッシュボードは廃止されました。 • イベント管理 スコアカード • イベント管理インサイト • イベント管理の概要 • ヘルスログアナリティクス概要 サービス管理ダッシュボードは今後廃止される予定です。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Supportナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) (KB0867184)」の記事を参照してください。
Field Service Management (フィールドサービス管理 (FSM))	Xanadu リリース以降、FSM Agent Classic Workspace プラグイン (com.snc.agent_workspace.fsm) は展開、拡張、またはサポートされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。
ハードウェア資産管理 11.0.0	Xanadu リリース以降、ハードウェア資産管理 の新規ユーザーは次の コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードを使用できません。 • ハードウェア資産ダッシュボード • ハードウェア正規化ダッシュボード • 自分の資産 • 調達の概要 • 資産契約の概要 • 資産の概要

アプリケーションまたは機能	詳細
	i 注: コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードは、ハードウェア資産管理 の既存のユーザーが利用できます。
Healthcare Computerized Maintenance Management システム	Xanadu リリース以降、Healthcare Computerized Maintenance Management システム は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスにはインストールされなくなりますが、引き続きサポートされます。このプロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。メンテナンスとサービスの詳細については、「フィールドサービス管理 (FSM)」を参照してください。インベントリと管理については、「Enterprise Asset Management for Healthcare」をご覧ください。
ITOM ヘルス	次のダッシュボードは廃止されました。 • イベント管理 スコアカード • イベント管理インサイト • イベント管理の概要 • ヘルスログアナリティクス概要 サービス管理ダッシュボードは、将来の廃止に向けて準備中です。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。
ITOM 最適化	新しいインスタンスでのクラウド API (CAPI) ベースのクラウドディスカバリーの廃止： • Xanadu の新しいインスタンスでは、CAPI ベースのディスカバリーは廃止されました。 • ディスカバリー機能を使用するには、アドミニストレーターに連絡して最新バージョンのディスカバリーとサービスマッピングパターン ServiceNow Store アプリケーションをインストールしてください。 • 既存のインスタンスの場合は、パターンベースディスカバリーに手動で移行します。 • クラウドアドミンポータルの [スケジュールの検出 (Discover Schedules)] タブは、クラウドディスカバリーワークスペースにリダイレクトされます。 i 注: CAPI からパターンベースディスカバリーへの移行の詳細については、「Migrate from CAPI to Patterns」を参照してください。 詳細については、Now Support ナレッジベースの「アプリケーション/プラグインの廃止プロセス [KB0867184]」記事を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Operational Technology Manager (オペレーショナルテクノロジーマネージャー)	オペレーショナルテクノロジーマネージャー アプリケーションで使用されていたサイトブレイクダウンは、OT マネージャーダッシュボードでのインジケータの作成ではサポートされなくなりました。インジケータを作成する場合は、産業用ワークスペース Common に含まれるサイトブレイクダウンを使用する必要があります。
Performance Analytics (パフォーマンスアナリティクス)	- パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは新しいインスタンスでは使用できません。代わりに、インジケータデータソースでプラットフォームアナリティクス データの可視化を使用してください。admin ロールと pa_admin ロールを持つユーザーは、サービスポータルにパフォーマンスアナリティクスウィジェットを引き続き使用できます。 - アナリティクスハブは、新しいインスタンスまたはプラットフォームアナリティクスに完全に移行されたインスタンスでは使用できません。代わりに KPI 詳細 を使用してください。 - パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソールは、新しいインスタンスで廃止されました。アップグレードする顧客の場合、コンソールは利用できますが、新しいプラットフォームアナリティクスアーティファクトからのデータは表示されません。
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	- レポート は新しいインスタンスでは使用できません。代わりに、テーブルデータソースでプラットフォームアナリティクス データの可視化を使用してください。アドミンロールと report_admin ロールを持つユーザーは、引き続き レポート for サービスポータル を使用できます。 - パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは新規のお客様にはご利用いただけません。代わりに、インジケータデータソースでプラットフォームアナリティクス データの可視化を使用してください。admin ロールと pa_admin ロールを持つユーザーは、サービスポータルにパフォーマンスアナリティクスウィジェットを引き続き使用できます。 - レスポンスダッシュボードは、新規のお客様にはご利用いただけません。代わりに、プラットフォームアナリティクス でダッシュボードを作成してください。 - インタラクティブフィルターは、新規のお客様にはご利用いただけません。代わりに、プラットフォームアナリティクス でフィルターを作成してください。 - アナリティクスハブ は、新規のお客様にはご利用いただけません。代わりに KPI 詳細 を使用してください。 - 新規のお客様の場合、インタラクティブアナリシスは コア UI リスト でのみ使用できます。 - フォーム内アナリティクスは、新しいインスタンスで、およびプラットフォームアナリティクスへの移行後には廃止されます。この機能は、プラットフォームアナリティクスのアーティファクトには適用されません。 - パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソールは、新しいインスタンスで、および プラットフォームアナリティクスへの移行後は廃止

アプリケーションまたは機能	詳細
	されます。この機能は、プラットフォームアナリティクスのアーティファクトには適用されません。 依存関係アセスメントは、新しいインスタンスで、および プラットフォームアナリティクス への移行後に廃止されます。この機能は、プラットフォームアナリティクスのアーティファクトには適用されません。
予測インテリジェンス	ソリューション統計のダッシュボードは廃止されました。アップグレードの顧客は、アプリケーションメニューから既存のソリューション統計情報ダッシュボードを引き続き使用できます。Xanadu リリースでオンボーディングする新規顧客の場合、ソリューション統計情報ダッシュボードは利用できません。詳細については、「Review classification solution statistics」を参照してください。
プロジェクトワークスペース	Xanadu リリース以降、クラシックプロジェクトワークスペースは将来の廃止に向けて準備中です。これは非表示になり、インストールできなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。
RPA Hub	- RPA サンプルテンプレートストアアプリケーションは現在廃止されており、サポートや新しいアクティベーションは終了しています。RPA デスクトップデザインスタジオ は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、「RPA Desktop Design Studio user interface」を参照してください。 - RPA Hub では、[キュー] フォームの [要求コンテンツが機密かどうか] フィールドは廃止されました。 - RPA Hub では、プロセスロボット認証情報フォームの [資格情報セット] フィールドは廃止されました。
リリース管理	Xanadu リリース以降、リリース管理 v2 は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。デジタルプロダクトリリース は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。
Scaled Agile Framework (SAFe)	次の SAFe 関連プラグインは廃止が予定されており、新たにアクティブ化するために展開できなくなりました。ただし、既存のユーザーは引き続き使用できます。 - Essential SAFe (com.snc.sdlc.safe) - Portfolio SAFe (com.snc.sdlc.portfolio_safe) - Essential SAFe 向けパフォーマンスアナリティクスコンテンツパック (com.sn_safe_dashboards) - SAFe の作業進捗ステータス (com.sn_safe_progress)

アプリケーションまたは機能	詳細
	• アジャイル - Scaled Agile Framework - 統合バックログ (com.snc.sdlc.safe.multi_task) • SAFe の読み取り専用ロール 廃止プロセスおよびその影響の詳細については、Now Support ナレッジベースのアプリケーション/プラグインの廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。 別の方法として、柔軟なチームと作業階層構成で SAFe 機能を提供する Enterprise Agile Planning (EAP) をインストールすることもできます。インタラクティブなワークスペースエクスペリエンスにより、EAP はチーム間のコミュニケーションとコラボレーションを簡素化するのに役立ちます。詳細については、「Enterprise Agile Planning」を参照してください。
セキュリティセンター	Now Platform Xanadu リリース以降、ServiceNow は のサポートを終了します。 詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB 0867184]」の記事を参照してください。
サービスブリッジ	• サービスブリッジ (レガシー) アプリケーションは現在廃止されており、新しいアクティベーションのサポートや利用は終了しています。この機能の最新のエクスペリエンスはコンシューマー向け サービスブリッジ アプリケーションで提供されます。 • プロバイダー向け サービスブリッジ (レガシー) アプリケーションは現在廃止されており、新しいアクティベーションのサポートや利用は終了しています。この機能の最新のエクスペリエンスはプロバイダー向け サービスブリッジ アプリケーションで提供されます。 従来のバージョンからの移行の詳細については、KB1499823 を参照してください。
Software Asset Management (ソフトウェア資産管理)	• ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルの [ライフサイクルに関連付けられているインストール (Installs associated to lifecycle)] 列は廃止されました。 • ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルでは、[インストール] 列は廃止されました。[名前] 列を選択すると、[ソフトウェアインストール] 関連リストを表示できます。
ソーシングと調達オペレーション	• SAP ECC および SAP4HANA は廃止され、新しいアクティベーションではサポートされていないか、使用できません。Source-to-Pay Integration with SAP ECC および SAP S4 HANA が、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。 • SPO クラシックダッシュボードは廃止され、新しいアクティベーションではサポートされていないか、使用できません。この機能の最新の

アプリケーションまたは機能	詳細
	エクスペリエンスは次の ネクストエクスペリエンス ダッシュボードで提供されます。 - 調達購入者ダッシュボード - 調達戦略および運用ダッシュボード - 調達チームのパフォーマンスダッシュボード - 調達ケース管理ダッシュボード • クラシック ShoppingHub [com.snc.sn_shop] ポータルは廃止され、新しいアクティベーションではサポートされていないか、使用できません。新しい Shopping Hub [com.snc.sn_spend_uib] ポータルが、この機能の最新の UIB 対応エクスペリエンスを提供します。
サプライヤーライフサイクルオペレーション	Source-to-Pay Workspace  Washington DC リリース以降、サプライヤー管理ワークスペース は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。Source-to-Pay ワークスペースは、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。
ベンダー管理ワークスペース	Xanadu リリース以降、ベンダーサクセスインジケーター プラグイン (com.snc.vendor.insights) は将来の廃止に備えて準備しています。これは非表示になり、新しいインスタンスにはインストールされなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベース の「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]  Xanadu のすべての機能と製品のアクティブ化情報

Xanadu の機能と製品のアクティブ化情報に関する累積的なリリースノートの概要。

一部の製品および機能には、特定のサブスクリプション、ロール、またはライセンスが必要です。その他の機能は の一部であり、デフォルトで有効になっています。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI 検索	AI 検索 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
API	デフォルトでは、次の API が利用可能です。 - クラウドサービスカタログ API - DynamicSchemaAPI

アプリケーションまたは機能	詳細
	• <i>GlideAggregate</i> • <i>GlideDate</i> • <i>GlideDynamicAttributeStore</i> • <i>GlideElementAttributeStore</i> • <i>GlideRecord</i> • <i>HistoryWalker</i> • <i>NumberFormatter</i> • <i>openFrameAPI</i> • <i>PDAutomationProvider</i> • <i>PDFGenerationAPI</i> • <i>PlaybookExperience</i> • 製品カタログオープン API • サービス注文オープン API 次の API はプラグインのアクティブ化が必要です。 • <i>AWA Manual Assignment API</i> を使用するには、高度な作業アサイン (com.glide.awa) プラグインをアクティブ化する必要があります。 • <i>PersonalAuthAPI</i> を使用するには、個人認証 (com.snc.sn_ihub_personal_auth) プラグインをアクティブ化する必要があります。 • <i>プロアクティブエンゲージメント API</i> を使用するには、プロアクティブエンゲージメント (proactive-engagement) プラグインをアクティブ化する必要があります。 • <i>PSBPublicAPIUtil</i> を使用するには、サービスブリッジ for Providers アプリケーション (sn_sb_pro) と サービスブリッジ Base (sn_sb) プラグインをアクティブ化する必要があります。 • <i>Resource Inventory Open API</i> を使用するには、Customer Network Inventory Core アプリケーション (com.app-ni-core) プラグインをアクティブ化する必要があります。 • <i>Service Test Management Open API</i> を使用するには、Customer Service Problem Management (com.sn_sprb_mgmt) プラグインをアクティブ化する必要があります。 • <i>WSD Extra Service Request API</i> を使用するには、ワークプレイス予約管理 (com.sn_wsd_rsv) プラグインをアクティブ化する必要があります。 • <i>WSD 予約可能 API</i> を使用するには、ワークプレイス予約管理 (com.sn_wsd_rsv) プラグインをアクティブ化する必要があります。 • <i>WSD 予約可能 v2 API</i> を使用するには、ワークプレイス予約管理 (com.sn_wsd_rsv) プラグインをアクティブ化する必要があります。
アクセス管理	アクセス管理はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アプリケーションまたは機能	詳細
アカウントライフサイクルイベント	ServiceNow Store から要求して、アカウントライフサイクルイベントをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
買掛金オペレーション	ServiceNow Store から要求して、買掛金オペレーション をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
アダプションサービス	アダプションサービス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
高度なリスク	ServiceNow Store から要求して、高度なリスク をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
高度なワークアサインメント	高度な作業アサインは、Glide Advanced Work Assignment プラグイン (com.glide.awa) をアクティブ化すると利用可能になる Now Platform の機能です。詳細については、「Activate Advanced Work Assignment」を参照してください。 インスタンスで外部ルーティング機能を使用するには、外部ルーティングサポートプラグイン (com.glide.awa-external) を有効にする必要があります。
エージェントチャット	エージェントチャット は、エージェントチャット プラグイン (com.glide.interaction.awa) をアクティブ化すると利用できる Now Platform 機能です。詳細については、「 Configuring Agent Chat 」を参照してください。
エージェントクライアントコレクター	エージェントクライアントコレクター は、イベント管理 がインストールされているインスタンスで エージェントクライアントコレクターフレームワーク プラグイン (sn_agent) および エージェントクライアントコレクターモニタリング プラグイン (sn_itmon) をアクティブ化すると利用できます。
HR ケース管理のエージェントワークスペース	ServiceNow Store から要求して、HR ケース管理のエージェントワークスペース をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのア

アプリケーションまたは機能	詳細
	アプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
CSM のエージェントエクスペリエンス	ServiceNow Store から要求して、CSM 構成可能ワークスペース をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
アナリティクス、インテリジェンス、レポート	アナリティクス、インテリジェンス、レポート機能は、デフォルトで有効な Now Platform 機能です。インジケータなどの一部のデータソースには、サブスクリプションが必要な場合があります。
App Engine Studio	ServiceNow Store から要求して、App Engine Studio をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
アプリケーションマネージャー	アプリケーションマネージャー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
アプリケーション脆弱性対応	ServiceNow Store から要求して アプリケーション脆弱性対応 をインストールします。アプリケーション脆弱性対応 は、脆弱性対応アプリケーションの一部として含まれます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Audit Management	ServiceNow Store から要求して、ポリシーとコンプライアンス管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
認証	認証 はデフォルトでアクティブ化される Now Platform 製品です。
Benchmarks (ベンチマーク)	ベンチマーク はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。新しいベンチマークダッシュボードは、Xanadu とともに自動的にインストールされ、ServiceNow Store で利用できます。
Business Continuity Management	ServiceNow Store から要求して、事業継続性管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべ

アプリケーションまたは機能	詳細
	でのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
ケースとナレッジ管理	ケースとナレッジ管理 は、 ヒューマンリソース (HR) スコープ対象アプリ : Core [com.sn_hr_core] をアクティブにすると利用できる Now Platform 機能です。
CSM のケース管理	カスタマーサービス管理 (CSM) は、カスタマーサービス管理 (CSM) プラグイン (com.sn_customerservice) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「Activate Customer Service Management」を参照してください。 追加の カスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「Additional plugins for Customer Service Management」を参照してください。
クラウドコスト管理 8.0.0	ServiceNow Storeから要求してクラウドコスト管理を有効にします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
コラボレーションワーク管理	ServiceNow Store から要求して、コラボレーションワーク管理 をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
共通ガバナンス、リスク、コンプライアンス機能	ServiceNow Store から要求して、GRC をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
コンプライアンスケース管理	ServiceNow Storeから要求して規制機関ライブラリをインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Configuration Management	CMDB はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アプリケーションまたは機能	詳細
Database (構成管理データベース) (CMDB)	
Continuous Authorization and Monitoring	ServiceNow Store から要求して、継続的な承認とモニタリング をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Core Now Platform	Now Platform はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
クリエイタースタジオ	ServiceNow Store から要求して、クリエイタースタジオ をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
カスタマー契約とエンタイトルメント	ServiceNow Store から要求して、カスタマー契約とエンタイトルメント をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 カスタマー契約とエンタイトルメントは、カスタマー契約とエンタイトルメント (com.sn_pss_core) プラグインをアクティブ化すると利用できます。そのためには別個のサブスクリプションが必要です。詳細については、「Configure Customer Contracts and Entitlements」を参照してください。 注: カスタマー契約とエンタイトルメントを有効にすると、新しい契約とエンタイトルメントは新しいデータモデルのみを使用して作成されます。新しいエンタイトルメント検証 API と変更ワークフローは、新しいデータモデルに基づいています。古い契約とエンタイトルメントは引き続き表示できます。
データ管理	データ管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
CSM のデータ管理	カスタマーサービス管理 (CSM) は、カスタマーサービス管理 (CSM) プラグイン (com.sn_customerservice) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「Activate Customer Service Management」を参照してください。 追加の カスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「Additional plugins for Customer Service Management」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	セールスと注文管理は、Lead to Cash Core プラグイン (com.snd.l2c.core) を有効にすると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「 Exploring Sales and Order Management 」を参照してください。
DevOps Change Velocity (DevOps チェンジベロシティ)	ServiceNow Storeから要求してDevOps チェンジベロシティを有効にします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
デジタルエンドユーザーエクスペリエンス	ServiceNow Store から要求して、DEX をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Digital Portfolio Management (デジタルポートフォリオ管理)	ServiceNow Store から要求して、デジタルポートフォリオ管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
米国の規制の異議申し立てコンテンツパック	ServiceNow Store から要求して、Dispute Content Pack for US Regulations (米国の規制に関する異議申し立てコンテンツパック) をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Mastercard の異議申し立てルールコンテンツパック	ServiceNow Store から要求して、Mastercard の紛争ルールコンテンツパック をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	ServiceNow Store から要求して、Visa の紛争ルールコンテンツパック をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	ServiceNow Store から要求することで、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーション (sn_docintel) は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) プラグイン (com.glide.platform_ml)、予測インテリジェンスプラグイン (com.glide.platform_ml)、および ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) UIB コンポーネント (com.sn_docintel_iframe) に依存します。詳細については、「 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のインストール 」を参照してください。
ドキュメントサービス	ドキュメントサービス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。 ドキュメント管理は、ドキュメント管理プラグイン (com.snc.platform_document_management) を有効にすると利用できます。詳細については、「 Activate Document Management 」を参照してください。 Multi Provider Document Services Framework ServiceNow Store から要求することで、マルチプロバイダードキュメントサービスフレームワーク をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
ドキュメントテンプレート	ServiceNow Store から要求して、Document Templates をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
動的翻訳	動的翻訳は、動的翻訳プラグイン (com.glide.dynamic_translation) を有効にすると利用できる Now Platform 機能です。詳細については、「 Activate Dynamic Translation 」を参照してください。
ERP データハブ	ServiceNow Store から要求して、ERP データハブ をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
ESG Management	ServiceNow Store から要求して、ESG Management をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能な

アプリケーションまたは機能	詳細
	すべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
労務 (ER)	労務 (ER) は、労務 (ER) プラグイン (com.sn_hr_employee_relations) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「 Activate Employee Relations 」を参照してください。
暗号化キー管理	Platform Encryption サブスクリプションバンドルは、列レベル暗号化エンタープライズ、クラウド暗号化、およびデータベース暗号化を含む、商用グループエンタイトルメントです。 列レベル暗号化エンタープライズ は 列レベル暗号化 の無制限ライセンスです。Enterprise プラグインは、com.glide.now.platform.encryption プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「 暗号化とキー管理のサブスクリプションバンドル 」を参照してください。
エンタープライズアーキテクチャ (旧称アプリケーションポートフォリオ管理)	エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) は、エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できます。これには個別のサブスクリプションが必要です。詳細については、次を参照してください。 エンタープライズアーキテクチャ 。
Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理)	ServiceNow Store から要求して次のアプリケーションをインストールします。 - エンタープライズ資産管理 - 医療向け エンタープライズ資産管理 - OT 資産管理 - 展開されたモデルと資産クラス ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
イベント管理	イベント管理 は、イベント管理 プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できます。詳細については、「 Request Event Management 」を参照してください。
フィールドサービス管理 (FSM)	フィールドサービス管理 (FSM) は、フィールドサービス管理 (FSM) プラグイン (field_service_management) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「 Activate Field Service Management 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	追加の フィールドサービス管理 (FSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「Additional plugins for Field Service Management」を参照してください。 フィールドサービス (com.snc.fsm_technician_sales) プラグインを使用して技術者主導の営業を有効にすることで、フィールドサービス技術者が Now Mobile エージェントアプリケーションから直接販売機会を開始および監視できるようにします。
ファイナンシャルサービスカードオペレーション	ServiceNow Store から要求して、Financial Services Card Operations をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
ワークフロースタジオのフロー、サブフロー、およびアクション	ワークフロースタジオ はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
生成 AI コントローラー	生成 AI コントローラーは、任意の ServiceNow Now Assist アプリケーションをアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、次を参照してください。 インストール 生成 AI コントローラー 。
ゴールフレームワーク	ServiceNow Store から要求して、ゴールフレームワーク をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
医療向け HR サービスデリバリ	ServiceNow Store から要求して、医療向け HR サービスデリバリ をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
ハードウェア資産管理 11.0.0	ServiceNow Store から要求して、ハードウェア資産管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Health Log Analytics (ヘルスログアナリティクス)	ServiceNow Store から要求することで、ヘルスログアナリティクス をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。。
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	ServiceNow Store から要求して Healthcare and Life Sciences Service Management Core をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Hermes Messaging Service	Hermes メッセージングサービス は、ストリームコネク ト プラグイン (com.glide.hub.flow_trigger.kafka または com.glide.hub.action_step.kafka) をアクティブ化するか、ログエクスポートサービス アプリケーションをインストールすると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「 Hermes Messaging Service activation 」を参照してください。
ITOM クラウドアクセラレート	ITOM クラウドアクセラレート機能は、クラウドガバナンスサブスクリプションが必要なクラウドアクセラレートプラグインをアクティブ化すると、アプリケーションとして利用できます。ITOM クラウドアクセラレート のエンタイトルメントを調達するには、ServiceNow 営業担当者にお問い合わせください。 https://docs.servicenow.com/bundle/xanadu-it-operations-management/page/product/cloud-services-catalog/concept/csc-home.html アプリケーションは、ITOM クラウドアクセラレート のエンタイトルメントがあれば利用できます。または、 https://store.servicenow.com/sn_appstore_store.do#!/store/application/bc3429fc24e02910f877b722d6bbdcaf から要求してインストールすることもできます。 クラウドサービスカタログ アプリケーションを起動して使用するための前提条件として、従業員センターが必要です。
ITOM ヘルス	ITOM ヘルス は、イベント管理 プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できます。ヘルスログアナリティクスを統合して作業ができるようにするには、より包括的な ITOM ヘルスパッケージである ITOM 予測 AIOps を購入する必要があります。詳細については、「 Event Management setup 」を参照してください。
ITOM ヴィジビリティ	ITOM ヴィジビリティ は、ディスカバリー (com.snc.discovery) プラグインとサービスマッピング (com.snc.service-mapping) プラグインのアクティベーションで利用可能ですが、ITOM ヴィジビリティ のサブスクリプションが必要です。詳細については、「 ディスカバリーの要求 」と「 サービスマッピングの要求 」を参照してください。ITOM ヴィジ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ビリティ のすべての機能を使用するには、ServiceNow Store から最新の ITOM ヴィジビリティ 帯域外アプリケーションをインストールしてください。リリースされたすべてのアプリの累積リリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
ITSM サクセスダッシュボード	ServiceNow Store から要求して、ITSM サクセスダッシュボード をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
ID	ID はデフォルトでアクティブ化される Now Platform 製品です。
Incident Management (インシデント管理)	インシデント管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
個人向け生命保険請求	ServiceNow Store から要求して、個人向け生命保険請求 をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
産業用プロセスマネージャー	ServiceNow Store から要求して、産業用プロセスマネージャー をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 注: 産業用プロセスマネージャー はオペレーショナルテクノロジーインシデント管理およびオペレーショナルテクノロジー変更管理とともに自動的にインストールされます。
統合ハブ	統合ハブ は オートメーションエンジン に含まれており、オートメーションエンジン サブスクリプションパッケージをアクティブ化すると利用できます。詳細については、 https://www.servicenow.com/jp/products/automation-engine.html を参照してください。
CSM のインテリジェンス	ガイド付きディジション、推奨アクション、およびタスクインテリジェンスアプリケーションを ServiceNow Store から要求してインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ジャーニーデザイナー	ServiceNow Store から要求して、ジャーニーデザイナー をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
ナレッジ管理	ナレッジ管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
リード管理	ServiceNow Store から要求して、リード管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Leader Hub	ServiceNow Store から要求して、Leader Hub をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
ローカリゼーションフレームワーク	ローカリゼーションフレームワークは、ローカリゼーションフレームワーク インストーラー (com.glide.localization_framework.installer) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「 Activate Localization Framework 」を参照してください。
MID サーバー	MID サーバー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
製造業営業オペレーション	製造業 アプリケーションを ServiceNow Store から要求してインストールします。アプリケーションのインストールの詳細については、「 Configuring Manufacturing Commercial Operations 」を参照してください。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
モバイルプラットフォーム	ServiceNow モバイルプラットフォーム はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Next Experience	ネクストエクスペリエンス は、ユーザーが Xanadu リリースをロードまたはアップグレードしたときにデフォルトでアクティブになる Now Platform 機能です。インスタンスで ネクストエクスペリエンス をオンにする際に既知の問題がある場合は、アップグレード前にオプトアウトシステムプロパティを作成できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	ServiceNow Store から要求することで、テーマビルダー をインストールします。 ネクストエクスペリエンス は、ユーザーが Xanadu リリースをロードまたはアップグレードしたときにデフォルトでアクティブになる Now Platform 機能です。インスタンスで ネクストエクスペリエンス をオンにする際に既知の問題がある場合は、アップグレード前にオプトアウトシステムプロパティを作成できます。 ServiceNow Store から要求することで、テーマビルダー をインストールします。
Next Experience コンポーネント	ネクストエクスペリエンスのコンポーネント はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
ネクストエクスペリエンス 開発者 (NED) ツール	Google Chrome ウェブストアから Next Experience 開発者ツールをダウンロードします。
通知	Notifications はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
通知	通知 は、通知 (com.snc.notify) プラグインをアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「 Notify 」を参照してください。
Now Assist	Now Assist 機能は ServiceNow Store から任意の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。次のプラグインを使用できます。 • Now Assist for Customer Service Management (CSM) • Now Assist for Creator • Now Assist for Field Service Management (FSM) • Now Assist for Financial Services Operations (FSO) • Now Assist for HR Service Delivery (HRSD) • Now Assist for IT Operations Management (ITOM) • Now Assist for IT Service Management (ITSM) • Now Assist for PSDS • Now Assist for Security Incident Response • Now Assist for Sourcing and Procurement Operations (SPO) • Now Assist for Strategic Portfolio Management (SPM)

アプリケーションまたは機能	詳細
	• Now Assist for Telecommunications, Media and Technology (TMT) 注: Now Assist プラグインで利用できる生成 AI 機能は異なる場合があります。 詳細については、「Install Now Assist plugins」を参照してください。
Now Assist for Creator	ServiceNow Store から要求して、クリエイターの Now Assist をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
CSM の Now Assist	Now Assist 機能は CSM の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「 Install Now Assist plugins 」を参照してください。
FSM の Now Assist	Now Assist 機能は FSM の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「 Install Now Assist plugins 」を参照してください。
FSO の Now Assist	ServiceNow Store から要求して、FSO の Now Assist をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
IT Service Management (ITSM) の Now Assist	ServiceNow Store から要求して、ITSM の Now Assist をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Security Operations の Now Assist	ServiceNow Store から要求して、Security Operations の Now Assist をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist	Now Assist 機能は Now Assist for Strategic Portfolio Management (SPM) プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「 Install Now Assist plugins 」を参照してください。
電気通信、メディア、および技術 (TMT) の Now Assist	Now Assist 機能は TMT の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「 Now Assist プラグインのインストール 」を参照してください。
仮想エージェントの Now Assist	ServiceNow Store から要求して、Now Assist を 仮想エージェントにインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
オンコールスケジューリング	オンコールスケジューリング は、Now Platform オンコールスケジューリング プラグイン (com.snc.on_call_rotation) を有効にすると利用できます。詳細については、「Activate On-Call Scheduling」を参照してください。プラグインをアクティブ化すると、以下のサードパーティライブラリがアクティブ化されます。 • FullCalendar ライブラリ • DHTMLX スケジューラ 注: zboot ユーザーの場合、オンコールスケジューリング (com.snc.on_call_rotation) プラグインがデフォルトで有効になっています。
オペレーショナルテクノロジー変更管理	ServiceNow Store から要求することで、オペレーショナルテクノロジー変更管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 注: オペレーショナルテクノロジー変更管理 に 産業用プロセスマネージャー が含まれるようになり、オペレーショナルテクノロジーマネージャー の有無にかかわらず使用できます。
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理	ServiceNow Store から要求することで、オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	i 注: オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 に 産業用プロセスマネージャー が含まれるようになり、オペレーショナルテクノロジーマネージャー の有無にかかわらず使用できます。
Operational Technology Manager (オペレーショナルテクノロジーマネージャー)	ServiceNow Store から要求して、オペレーショナルテクノロジーマネージャー をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
オペレーショナルテクノロジー要求管理	オペレーショナルテクノロジー要求管理は産業用ワークスペース Common に含まれています。追加で必要なロールはありません。
Operational Technology Vulnerability Response (オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応)	ServiceNow Store から要求して、オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
オポチュニティ管理	ServiceNow Store から要求して オポチュニティ管理 をインストールします。
パスワードリセット	パスワードリセット はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
パフォーマンスアナリティクス	無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス はデフォルトでアクティブです。このアプリケーションでは、インジケーターやブレイクダウンを作成することはできません。 サブスクリプションにより、パフォーマンスアナリティクスの全機能を利用できます。サブスクリプションに一致する パフォーマンスアナリティクス プラグインをアクティブ化します。詳細については、「Activating your Performance Analytics subscription」を参照してください。
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	プラットフォームアナリティクス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。インジケーターなどの一部のデータソースには、サブスクリプションが必要な場合があります。
ワークフロースタジオのプレイブック	アプリケーションに ワークフロースタジオ ServiceNow Store アプリ [®] が付属するようになりました。ワークフロースタジオは Now Platform の一部であり、デフォルトで利用可能です。ServiceNow Storeでアプリや、プロセス自動化エクスペリエンスのデモアプリケーションなどの関連アプリケーションをダウンロードして、最新のプレイブック機能を入手してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	ワークフロースタジオ でプレイブック生成機能を使用するには、クリエーターの Now Assist 利用できません ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
ポリシーとコンプライアンス管理	ServiceNow Store から要求して、ポリシーとコンプライアンス管理 をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
ポートフォリオ計画立案	ServiceNow Store から要求して、ポートフォリオ計画 をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
予測インテリジェンス	予測インテリジェンスは、Predictive Intelligence Reports (com.glide.platform_ml_pa) プラグインとそれに依存する予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml) プラグインをアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「Install Predictive Intelligence」を参照してください。
プライバシー管理	ServiceNow Store から要求して、プライバシー管理 をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
プロアクティブエンゲージメント	ServiceNow Store から要求することで、プロアクティブエンゲージメント をインストールします。次のプラグインをアクティブ化します。 • プロアクティブエンゲージメント (sn_pren) • DEX アプリケーションとデバイスヘルス (sn_dex) • Glide 仮想エージェント (com.glide.cs.chatbot) ServiceNow Store Web サイトにアクセスして、利用可能なすべてのアプリを表示し、要求をストアに送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのこれまでのリリースメモ情報については、「ServiceNow Store のバージョン履歴リリースノート」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Proactive Service Experience Workflows	ServiceNow Store から要求して、Proactive Service Experience Workflows をインストールします。
Problem Management (問題管理)	Problem Management はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
プロセスマイニング	プロセスマイニングは、sn_po プラグインを有効にすると利用できます。
製品カタログ管理および Pricing Management	製品カタログ管理およびPricing Managementの機能はそれぞれのストアアプリケーションに含まれているため、アクティブ化する必要はありません。エンタイトルメントに応じて、価格設定および製品適格性マトリクス用の製品および価格設定ルールアプリケーションと製品コンフィギュレーター機能を、ServiceNow Store からインストールできます。
プロジェクトポートフォリオ管理	プロジェクトポートフォリオ管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
プロジェクトワークスペース	ServiceNow Store から要求することで、プロジェクトワークスペースをインストールします。Xanadu リリース以降、PPM 標準プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をインストールすると、プロジェクトワークスペースアプリケーションもインストールされます。
公共機関デジタルサービス	公共機関デジタルサービス アプリケーションを ServiceNow Store から要求してインストールします。アプリケーションのインストールの詳細については、「 Configuring Public Sector Digital Services 」を参照してください。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
RPA Hub	ServiceNow Store から要求して、RPA Hub をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 RPA Hub に関する累積的なリリースノート情報については、「RPA Hub release notes (RPA Hub リリースノート)」を参照してください。 RPA デスクトップデザインスタジオ に関する累積的なリリースノート情報については、「RPA Plugin Bundle release notes (RPA プラグインバンドルのリリースノート)」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	以前にアプリケーションを ServiceNow Store からダウンロードしていて、新しいバージョンが利用可能な場合は、Now Platform インスタンスで次の場所で更新できます。すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション。
規制変更管理	ServiceNow Store から要求して、規制変更管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
リリース管理	リリース管理 は、リリース管理プラグイン (com.snc.release_management_v2) をアクティブ化すると利用できます。詳細については、「 Release Management を有効化 」を参照してください。
リソース管理ワークスペース	ServiceNow Store に要求の上、リソース管理ワークスペース アプリケーションをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Retail Operations (リテールオペレーション)	ServiceNow Store から要求してリテールオペレーションをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
セキュリティセンター	セキュリティセンター v1.5 は、Xanadu ファミリーリリースではデフォルトでインストールされます。バージョン 1.6 では大幅な機能拡張が行われています。セキュリティセンター v1.6 を入手するには、 ServiceNow Store にアクセスしてください。
セキュリティインシデントレスポンス	ServiceNow Store から要求することで、セキュリティインシデントレスポンス をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
セキュリティポスチャコントロール	ServiceNow Store から要求して、セキュリティポスチャコントロール をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリ

アプリケーションまたは機能	詳細
	リリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
サービスブリッジ	ServiceNow Store から要求して、サービスブリッジ をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
サービスカタログ	サービスカタログ はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合	ServiceNow Store から要求して、Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Microsoft Defender for IoT のサービスグラフコネクタ (Azure)	ServiceNow Store から要求して、サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Service Operations Workspace for ITSM	サービスオペレーションワークスペース for ITSM はデフォルトでアクティブで、デフォルトバージョンは Xanadu では 5.0 です。以前のリリースを ServiceNow Store から Xanadu にアップグレードすると、サービスオペレーションワークスペース for ITSM 5.0 が自動的にインストールされます。
サービスポータル	サービスポータル はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
サービスポートフォリオ管理	サービスポートフォリオ管理 コアプラグイン [com.snc.service_portfolio_core] は、IT Service Management のライセンスを持つ顧客であればデフォルトで使用できます。詳細については、「 Activate Service Portfolio Management 」を参照してください。
サービスリライアビリティ管理	ServiceNow Store から要求して、サービスリライアビリティ管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ServiceNow IDE	ServiceNow Store から要求することで、ServiceNow IDE (sn_glider) をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
ServiceNow SDK	ServiceNow SDK は、 公開 npm レジストリ から npm パッケージとして入手しローカルにインストールできます。ServiceNow SDK のインストールの詳細については、「 Install the ServiceNow SDK in an application 」を参照してください。
サイドバー	ServiceNow Store から要求して、サイドバー をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Skills Intelligence (スキルインテリジェンス)	ServiceNow Store から要求して、スキルインテリジェンス をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Skills Management (スキル管理)	スキル管理 は スキル管理 (com.snc.skills_management) プラグインをアクティブ化すると利用可能になります。詳細については、「 Skills Management の有効化 」を参照してください。
スマートアセスメントエンジン	ServiceNow Store から要求して、SAE をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Software Asset Management (ソフトウェア資産管理)	ソフトウェア資産管理 は、ソフトウェア資産ワークスペースプラグイン (com.sn_samp_master_ws) を含む Activate all Software Asset Management Professional プラグインをアクティブ化すると使用可能になります。このプラグインをアクティブ化すると、Activate all Software Asset Management Professional プラグイン (com.sn_samp_master) と Software Asset Workspace プラグイン (com.sn_sam_workspace) が自動的にアクティブになります。新しいプラグインをアクティブ化すると、クラシックユーザーインターフェイスにアクセスできなくなります。プラグインとその要求方法の詳細については、「 Components installed with Software Asset Management Professional 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	Now Platform Xanadu リリースでは、ソフトウェア資産管理クラシックユーザーインターフェイスのサポートは限定的です。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内では引き続き有効ですが、直感的でパーソナライズされたエクスペリエンスの新しいワークスペースに移行できます。 Utah より前のリリースでは、古いソフトウェア資産管理プラグイン (com.sn_samp_master) をアクティブ化している場合、ソフトウェア資産ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化することでソフトウェア資産ワークスペースを使用できます。ワークスペースプラグインをアクティブ化した後、クラシックユーザーインターフェイスに戻すことはできません。プラグインの詳細と要求方法については、「ソフトウェア資産管理プラグインの要求」を参照してください。 ネクストエクスペリエンス をアクティブ化するには、インスタンスの <code>glide.ui.polaris.experience</code> システムプロパティが <code>true</code> に設定されていることを確認してください。 次のソフトウェア資産管理アプリケーションを ServiceNow Store から要求してインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 • ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 • Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services • IBM ソフトウェア資産管理のライセンスコンプライアンス • ITAM 健全性チェック • ソフトウェア資産管理ガイド付きエクスペリエンス
ソーシングと調達オペレーション	ServiceNow Store から要求して、ソーシングと調達オペレーション をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
戦略的計画	ServiceNow Store から要求して、戦略的計画 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
ストリームコネクトダッシュボード	ストリームコネクト ダッシュボードをServiceNow Storeから要求してインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	リリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
サブスクリプション管理	サブスクリプション管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
サプライヤーライフサイクルオペレーション	ServiceNow Store から要求して、サプライヤーライフサイクルオペレーション をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
システムアップデートセット	システムアップデートセットは、デフォルトでアクティブな Now Platform の機能です。
Task Intelligence for ITSM	ServiceNow Store から要求して、ITSM のタスクインテリジェンス をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
通信ネットワークインベントリ	通信事業ネットワークインベントリアプリケーションは、高度なネットワークインベントリプラグイン (sn_ni_adv) をアクティブ化すると利用できる Now Platform 機能です。詳細については、「 Install Telecommunications Network Inventory 」を参照してください。
テーマビルダー	ServiceNow Store から要求して、テーマビルダー をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
サードパーティリスク管理	ServiceNow Store から要求することで、TPRM をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 のクイックスタートテスト TPRM . 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了した後、クイックスタートテストを実行して、TPRM が想定どおりに機能していることを検証します。TPRM をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

アプリケーションまたは機能	詳細
脅威インテリジェンスセキュリティセンター	ServiceNow Store から要求することで、脅威インテリジェンスセキュリティセンター をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 Security Operations common functionality Security Operations のメインのアプリケーション (セキュリティインシデントレスポンス、脆弱性対応、脅威インテリジェンス、またはコンフィグレーションコンプライアンス) のいずれかのプラグインがアクティブ化されると、Security Support Common プラグインがアクティブ化されます。
UI ビルダー	UI ビルダー はデフォルトでアクティブです。ServiceNow Store からダウンロードすることで、最新バージョンの UI ビルダー に更新できます。
UI コンポーネント CLI 拡張機能	UI コンポーネント CLI 拡張機能をインストールするには、ServiceNow CLI をインストールし、UI コンポーネント拡張機能を追加します。詳細については、「 環境のセットアップ 」を参照してください。
アップグレードセンター	アップグレードセンター はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
ベンダー管理ワークスペース	ServiceNow Store から要求して、ベンダー管理ワークスペース をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。詳細については、「 Activate Vendor Management Workspace 」を参照してください。
Verifi スポーク	ServiceNow Store から要求して、Verifi スポーク をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
仮想エージェント	仮想エージェント は Now Platform の機能で、Glide 仮想エージェント プラグイン (com.glide.cs.chatbot) をアクティブ化すると利用できます。これには別途サブスクリプションが必要です。詳細については、「 Activate Virtual Agent 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	注: Glide 仮想エージェント プラグインでは、トピックの推奨事項 および対話型アナリティクスアプリが最初にインストールされます。それ以降のこれらのアプリの更新は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。 ServiceNow 仮想エージェント Lite は、ServiceNow IT Service Management (ITSM) のお客様が利用できる 仮想エージェント プラットフォームのサブセットです。アクティベーションは不要で、ITSM のお客様も利用できるITSM 仮想エージェント Liteの会話で動作します。
ワークフロースタジオ	ServiceNow Store から要求して、ワークフロースタジオ をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
カスタマーサービスのワークフォース最適化	ServiceNow Store から要求して、カスタマーサービスのワークフォース最適化 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
ITSM のワークフォース最適化	ServiceNow Store から要求して、ITSM のワークフォース最適化 プラグイン (sn_wfo_cfg_itsm) をアクティブ化します。詳細については、「 Activate Workforce Optimization for ITSM 」 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。」を参照してください。
ワークスペース	ワークスペースはデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

Xanadu のすべての機能と製品の追加要件

Xanadu の機能と製品の追加要件に関する累積的なリリースノートの概要。

一部の製品を使用するには、特定のセットアップまたはサードパーティの要件が必要です。

アプリケーションまたは機能	詳細
クリエイタースタジオ	クリエイタースタジオを使用するには、App Engine Enterprise ライセンスが必要です。

アプリケーションまたは機能	詳細
Mastercard の異議申し立てルールコンテンツパック	このアプリケーションを使用するには、Financial Services Card Operations (sn_bom_credit_card) と Visa の紛争ルールコンテンツパック (sn_bom_visa_cp) が必要です。
ERP データハブ	SAP ECC と S/4 HANA は、現在、ERP データハブ と統合できる唯一のシステムです。
Leader Hub	Leader Hub を使用するには、人材開発コア が必要です。
Now Assist	Now Assist パネルを使用するには、ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク を有効にする必要があります。
CSM の Now Assist	CSM の Now Assist アプリケーションには、カスタマーサービス管理 (CSM) Pro Plus または Enterprise Plus のライセンスが必要です。
FSM の Now Assist	FSM の Now Assist アプリケーションには フィールドサービス管理 (FSM) が必要です。
FSO の Now Assist	FSO の Now Assist アプリケーションには、ファイナンシャルサービスオペレーション Professional Plus または Enterprise Plus のライセンスが必要です。
IT Service Management (ITSM) の Now Assist	ITSM の Now Assist アプリケーションには、IT Service Management Pro Plus または Enterprise Plus のライセンスが必要です。
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist	SPM の Now Assist アプリケーションには、戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) Pro plus のライセンスが必要です。SPM の Now Assist は Xanadu パッチ 3 リリースからサポートされています。
電気通信、メディア、および技術 (TMT) の Now Assist	TMT の Now Assist アプリケーションには、Proactive Service Experience Workflows Pro Plus または Enterprise Plus のライセンスが必要です。
仮想エージェントの Now Assist	Now Assist in Virtual Agent では、次の Now Assist 製品の少なくとも 1 つのライセンスが必要です。 • ServiceNow[®] CSM の Now Assist • ServiceNow[®] HR サービスデリバリー (HRSD) 向け Now Assist • ServiceNow IT Service Management (ITSM) の Now Assist
オポチュニティマーケットプレイス	必要なプラグインと製品

アプリケーションまたは機能	詳細
	• 人材開発 SKU • Manager Hub • プロアクティブプロンプト • スキルインテリジェンス • 従業員プロフィール • 人材開発 Core
ワークフロースタジオのプレイブック	次の機能は Now Platform[®] の一部であり、デフォルトで有効になっています。 • アーカイブデータの機能拡張 • アクティブ化、再起動、非アクティブ化のスクリプトサポート • 更新されたロール • アクセス制御の向上 次の機能にアクセスするには、ServiceNow Storeでアプリをダウンロードします。 • [store-future: BEGIN review]バリエーション[End] • アンケートアクティビティ • プレイブックの推奨事項 • 再プロンプトとプレビュー Xanadu のすべての機能にアクセスするには、ストアで最新のアプリをダウンロードしてください。
RPA Hub	無人口ロボット アプリケーションを使用するための最小要件： • Intel プロセッサ (1vCPU) • 4 GB RAM • 20 GB 以上の空きディスク容量 (OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後) • Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019. • .NET Framework 4.7.1 以降。 • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。 無人口ロボット アプリケーションを使用するための要件は次のとおりです。 • Intel プロセッサ (4vCPU) • 8 GB RAM • 50 GB 以上の空きディスク容量 (OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後)。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019. • .NET Framework 4.7.1 以降。 • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。 Unattended ロボットは 1 つのマシンのみにマッピングされます。 無人ロボット アプリケーションに使用される仮想マシン (VM) は永続的であり、常に稼働している必要があります。 アテンド型ロボット アプリケーションを使用するための最小要件： • Intel プロセッサー (1vCPU) • 4 GB RAM • 20 GB 以上の空きディスク容量 (OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後) • Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019. • .NET Framework 4.7.1 以降。 • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。 アテンド型ロボット アプリケーションを使用するための要件は次のとおりです。 • Intel プロセッサー (4vCPU) • 8 GB RAM • 50 GB 以上の空きディスク容量 (OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後)。 • Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019. • .NET Framework 4.7.1 以降。 • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。 アテンド型ロボットは 1 人のユーザーのみにマッピングされます。 RPA デスクトップデザインスタジオ アプリケーションを使用するための最小要件： • Intel プロセッサ (Core i5 以上)。 • 4 GB RAM • 20 GB の空きディスク容量 • Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019. • .NET Framework 4.7.1 以降。 • 解像度 1920x1080p のモニター • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

アプリケーションまたは機能	詳細
	RPA デスクトップデザインスタジオ アプリケーションを使用するための要件は次のとおりです。 • Intel プロセッサ (Core i7) • 8 GB RAM • 50 GB の空きディスク容量 • Microsoft Windows 10、Windows Server 2016、または Windows Server 2019. • .NET Framework 4.7.1 以降。 • 解像度 1920x1080p のモニター • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。
ServiceNow SDK	ServiceNow SDK をインストールするには、Node.js と npm がインストールされている必要があります。詳細については、「 Install the ServiceNow SDK in an application 」を参照してください。
Skills Intelligence (スキルインテリジェンス)	ワークスペースエクスペリエンスにアクセスするには、スキルインテリジェンスワークスペース プラグイン (sn_skills_int_ws) をインストールする必要があります。
ストリームコネクト ダッシュボード	ストリームコネクト には オートメーションエンジン と ストリームコネクト のサブスクリプション登録が必要です。詳細については、「 https://www.servicenow.com/products/automation-engine.html 」を参照してください。
人材開発 Core	人材開発 には、より良いユーザーエクスペリエンスを作成するための一連の製品、作業、および相互作用が含まれています。 • 人材開発 SKU • Manager Hub • プロアクティブプロンプト • スキルインテリジェンス • 従業員プロフィール • 人材開発 Core
UI コンポーネント CLI 拡張機能	UI コンポーネント CLI 拡張機能には、Windows 10 または Yosemite 以降を搭載した MacOS が必要です。

Xanadu のすべての機能と製品のブラウザー要件

Xanadu の機能と製品のブラウザー要件に関する累積的なリリースノートの概要。

いくつかの製品には特定のブラウザー要件があります。この情報を確認して、正しいブラウザーとブラウザーバージョンを使用していることを確認してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI 検索	AI 検索は Internet Explorer をサポートしていません。
高度なワークアサインメント	高度な作業アサイン では、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge-Chromium、または「 ブラウザサポート 」に記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。
CSM のエージェントエクスペリエンス	ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「 ブラウザサポート 」に記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。
事業継続性管理	事業継続性管理 には次のブラウザが必要です。 • Google Chrome • Firefox および Firefox 延長サポートリリース (ESR) • Microsoft Edge Chromium • Safari 12.0 以降のバージョン
CSM のケース管理	ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「 ブラウザサポート 」に記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。
CSM のデータ管理	Xanadu リリース以降、ServiceNow [®] データ管理はモバイルデバイスと Internet Explorer をサポートしません。詳細については、「 ブラウザサポート 」を参照してください。
デジタルエンドユーザーエクスペリエンス	Web/SaaS アプリケーションの場合、システムで Web/SaaS アプリケーションをモニタリングするためのDEXブラウザ拡張を有効にして、さまざまな運用またはパフォーマンスベースの測定基準を収集します。詳細については、「 Enable DEX browser extension 」を参照してください。
ネクストエクスペリエンス	Xanadu では Internet Explorer 11 がサポートされなくなりました。そのブラウザからログインすることはできません。Firefox の iOS バージョンもサポートされていません。 Xanadu では Internet Explorer 11 がサポートされなくなりました。そのブラウザからログインすることはできません。Firefox の iOS バージョンもサポートされていません。
ネクストエクスペリエンス 開発者 (NED) ツール	Google Chrome ウェブストアから Next Experience 開発者ツールをダウンロードします。

アプリケーションまたは機能	詳細
Now Assist	Now Assist は、Google Chrome や Microsoft Edge などのさまざまなブラウザをサポートしています。Now Assist は Microsoft Internet Explorer ではサポートされていません。
仮想エージェントの Now Assist	仮想エージェント の Now Assist は、Google Chrome や Microsoft Edge などのさまざまなブラウザをサポートしています。詳細については、「 ブラウザサポート 」を参照してください。
Policy and Compliance Management	GRC：ポリシーとコンプライアンス管理 には、次のブラウザの最新の公開リリースと、2 つの旧リリースバージョンが必要です。 • Google Chrome • Firefox および Firefox 延長サポートリリース (ESR) • Microsoft Edge Chromium • Safari 12.0 以降のバージョン
RPA Hub	ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイスをサポートしていません。サポートされているブラウザのリストの詳細については、「 ブラウザのサポート 」を参照してください。
サービスポータル	Xanadu リリースでは Internet Explorer 11 はサポートされていません。 iOS バージョンの Firefox ではサービスポータルページはサポートされません。 サービスポータル ブラウザサポートの詳細については、「 ブラウザサポート 」を参照してください。
UI ビルダー	UI ビルダー では Internet Explorer はサポートされていません。
仮想エージェント	仮想エージェント は、Google Chrome や Microsoft Edgeなどのさまざまなブラウザをサポートしています。詳細については、「 ブラウザサポート 」を参照してください。

Xanadu のすべての機能と製品のアクセシビリティ情報

Xanadu の機能と製品のアクセシビリティ情報に関する累積的なリリースノートの概要。一部の製品には、特定のアクセシビリティ情報または例外があります。

i 重要:

ServiceNow 製品のアクセシビリティ機能に関するドキュメントを探すには、「[Product documentation for accessibility \(アクセシビリティに関する製品ドキュメント\)](#)」を参照してください。

現在サポートされているリリースのアクセシビリティ適合レポート (ACR) を表示するには、「[Accessibility conformance reports \(アクセシビリティ適合レポート\)](#)」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
HR ケース管理のエージェントワークスペース	アクセシビリティの改善 アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。 リフロー 構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。 この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見つらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。
CSM のエージェントエクスペリエンス	以下のテンプレートが更新され、リフローに対応できるようになりました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。 • ケースブレイクブック：水平ステージページテンプレート • ケースブレイクブック：垂直ステージページテンプレート この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見つらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細については、「構成可能ワークスペースのリフロー」を参照してください。
アナリティクス、インテリジェンス、レポート	視力の弱いユーザー向けにリフローがサポートされています。このサポートを提供するために、次の変更が加えられました。 • 400% ズームでは、凡例が画面の下部に移動します。 • 400% ズームでは、バブルの可視化でズームがデフォルトで有効になります。 • 400% 以上のズームでは、ツールヒントは画面内に収まります。 • ツールヒントは、棒グラフおよび時系列の可視化のデータポイントにカーソルを合わせると表示されます。 • ゲージによる可視化では、範囲ラベルは凡例として表示されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
CSM のケース管理	以下のテンプレートが更新され、リフローに対応できるようになりました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。 • ケースブレイブック：水平ステージページテンプレート 🔗 • ケースブレイブック：垂直ステージページテンプレート 🔗
Core Now Platform	TinyMCE のアップグレード TinyMCE を v5 から v6.8.3 にアップグレードすることで、いくつかのアクセシビリティの不具合を解決しました。Tiny MCE は、HTML エディターフィールドで 사용되는オープンソースのリッチテキストエディターです。 アドミンセンターとアダプシヨンプループリントのアクセシビリティの機能拡張 Xanadu の一部として、アドミンセンターおよびアダプシヨンプループリントで、次のペルソナのアクセシビリティの問題が修正されました。 • persona_low_vision • persona_no_vision • persona_color • persona_auditory • persona_speech • persona_cognitive • persona_physical
DevOps Change Velocity (DevOps チェンジベロシティ)	アクセシビリティの改善 アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。 リフロー 構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザーのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。 この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザー上の Web コンテンツが見つからないユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、

アプリケーションまたは機能	詳細
	「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。
デジタルポートフォリオ管理	アクセシビリティの改善 アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。 リフロー 構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。 この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見つからないユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	リフローのサポート sn-docintel-iframe コンポーネントが更新され、リフローに対応できるようになりました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。 この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見つからないユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。 [store-future: BEGIN review]一般的なアクセシビリティ機能拡張 [End] [store-future: BEGIN review]ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)のさまざまな機能が更新され、より使いやすいユーザーエクスペリエンスが実現されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 描画ツール機能は、スクリーンリーダーのユーザーなど支援技術のユーザーに正しいラベルやその他の関連情報を提供します。 - 描画ツール機能では、マウス操作の代わりにキーボード操作が利用できます。 [End]
ドキュメントサービス	DOCX から PDF へのドキュメント変換にアクセシビリティのサポートが追加されました。PDF アクセシビリティタグは、変換された PDF ドキュメントをスクリーンリーダーを使用してナビゲート、理解、および操作するユーザーを支援するために利用できるようになりました。
Field Service Management (フィールドサービス管理)	アクセシビリティの改善 アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。 リフロー ディスプレイワークスペースとフィールドサービスのワークフォース最適化ワークスペースがリフローに対応しました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。 さらに、リフローをサポートするように次のページが更新されました。 • テリトリー計画 • サービスの場所 • 地域 • エージェントの推奨事項 この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見つからないユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細については、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。
モバイルプラットフォーム	ServiceNow モバイルプラットフォームのアクセシビリティの改善には、次の更新が含まれます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- モバイルデバイスを Bluetooth キーボードに接続する機能が、特にマップとフィルターの領域で改善されました。この更新により、モバイルアプリ全体のナビゲーションが改善されます。 - 複数のメッセージが同時に表示される場合のバナーメッセージの管理とレイアウトが改善されました。
Next Experience	Next Experience keyboard shortcuts  使用可能な 40 個のキーボードショートカットに加えて、OpenFrame ウィンドウを開くのに必要な時間を短縮する新しいキーボードショートカットがあります。このショートカットを使用すると、エージェントはプラットフォームからダイヤルして電話に応答できます。 Next Experience keyboard shortcuts  使用可能な 40 個のキーボードショートカットに加えて、OpenFrame ウィンドウを開くのに必要な時間を短縮する新しいキーボードショートカットがあります。このショートカットを使用すると、エージェントはプラットフォームからダイヤルして電話に応答できます。
Next Experience コンポーネント	ネクストエクスペリエンスのコンポーネント は、Xanadu リリースでアクセシビリティ用に更新されています。 更新されたコンポーネント Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 レベル AA をサポートするために、次のコンポーネントが更新されました。 360 度可視化 [sn-grc-360-degree-visualization] - エージェントメッセージング [sn-agent-messaging] - アナリティクス Q&A [sn-nlq-analytics] - 予約カレンダー [now-appointment-calendar] - オーディオプレイヤー [sn-audio-player] - BCM 危機マップ [sn-bcm-crisis-map-connected] - カレンダー [now-calendar] - キャパシティ計画立案 [sn-capacity] - カタログウィザード [sn-catalog-wizard-connected] - チャットポップオーバー [now-requestor-chat-popover] - 回路マップ [sn-circuit-map] - 確認メッセージ [now-confirmation-message] - Q1 ダッシュボード概要 [sn-dashboards-overview] - データグリッド UI コンポーネント [sn-datagrid] - データ可視化デザイナー [sn-viz-designer] - DevOps パイプライン [sn-devops-pipeline]

アプリケーションまたは機能	詳細
	• 表示専用フォーム [now-record-form-section-connected] • メールコンポーザー [now-email-client-composer-connected] • FAM マップ [sn-fam-map] • フォームレコードのプレゼンス [now-record-common-record-presence] • じょうごグラフ [sn-va-funnel] • ガントチャート [now-gantt] • Geo マップ [sn-geo-map] • ガイド付きディシジョンアプリのシェルヘッダー [sn-gd-app-shell-header] • ガイド付きディシジョンビルダー [sn-guided-decisions-builder] • ガイド付きディシジョンエクスペリエンス [sn-guided-decisions-card] • インドアマッピング [sn-map-component] • 測定基準データテーブルコンポーネント [sn-metric-datatable] • ノードマップ [sn-node-map] • OHS けがピッカー [sn-ohs-injury-picker-connected] • 変数を入力するための PaCE 動的フォーム [sn-pace-policy-dynamic-form] • PaCE ポリシービルダー [sn-pace-policy-builder] • PaCE ポリシー入力 [sn-pace-policy-builder-io] • PAR コンポーネントビルダー [sn-par-component-builder] • プレイブックアクティビティピッカー [now-playbook-activity-picker] • プレイブックフォーム [now-playbook-experience-form-connected] • コードエンジンテストプレイグラウンドコントロールとしてのポリシー [sn-pace-test-playground-control] • プレゼンテーションリスト [now-list] • プロセスマイニング - オートメーションディスカバリーレポート [sn-promin-automation-discovery-report] • プロセスマイニング - 改善イニシアチブ [sn-promin-initiatives-connected] • プロセスマイニング - 改善の機会 [sn-promin-process-findings-connected]

アプリケーションまたは機能	詳細
	• プロセスマイニング - メモ [sn-promin-notes-connected] • プロセスマイニング - プロジェクトリスト [sn-promin-process-list-connected] • プロセスマイニング - ルート [sn-promin-process-routes-connected] • プロセスマイニングワークベンチ [sn-promin-workbench-connected] • プロセス最適化 - マップ [sn-promin-process-map-connected] • クイックフィルター [sn-quick-filter] • クイックフィルターポップオーバー [sn-quick-filter-popover] • 条件ビルダーを使用した参照セクター [sn-pace-policy-reference-selector-cb] • リスクヒートマップ [sn-risk-heatmap] • ロードマップ [sn-roadmap] • スケジュール済みエクスポート [sn-par-scheduled-export] • 検索ファセット [sn-search-facets] • 検索入力 [sn-search-combobox] • 検索結果ラッパー [sn-search-result-wrapper] • ビューの分割 [split view] • タブフィルター [sn-tab-filter] • Task Planner [sn-task-planner] • VA アナリティクスチャートコンテナ [sn-va-slotted-tile] • VA アナリティクスイベントプロパティセット [sn-va-custom-event-props] • VA アナリティクス傾向スコア [sn-va-score-trend] • Workplace Stack Plan [sn-wsd-stackplan]
通知	通知設定と詳細設定で、スクリーンリーダーのサポートが aria ラベルに拡張されました。このサポートにより、トグルボタンなどのボタンアクションの説明が提供されます。
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	視力の弱いユーザー向けにリフローがサポートされています。このサポートを提供するために、次の変更が行われました。 • プラットフォームアナリティクスダッシュボードエディターと可視化デザイナーの表示モードは、リフローをサポートしています。 • すべてのグラフ：400% ズームでは、凡例が最初に上または下以外の位置にある場合は、下に移動されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• バブルチャート：XY ズームは、400% ズームでのリフロー中にデフォルトで有効になっています。 • ドーナツグラフと円グラフ：範囲ラベルは、デフォルトで 400% ズームで凡例として表示されます。 • ゲージチャート：代わりに範囲ラベルを凡例として表示できます。400% ズームでは、このオプションは自動的に有効になります。 • GeoMap：ズームコントロールは、200%+ ズームでのリフロー中に保持されます。 • ピボットテーブル：行のヘッダーとフッター、および最初の列は、400% ズームでのリフロー中にデフォルトで固定解除されます。 • 時系列および棒グラフ：すべてのデータポイントではなく、特定のデータポイントをツールヒントに表示する新しい構成オプション。デフォルトでは、400% ズームでのリフロー中は 1 つのデータポイントが表示されます。また、これらのグラフには、データの無いポイントは表示されません。 • 日付フィルター：リフロー中は、構成パネルで日付ピッカーを使用できません。代わりに、[日付範囲の選択 (Select a date range)] メニューから開始日時と終了日時を選択できます。また、すべてのコンポーネントが垂直方向にスタックされます。 • 複数選択フィルター：水平レイアウトのチェックボックスグループは、ズームすると垂直レイアウトにリフローされます。 • True/False フィルター：ポップオーバーと [クリア]、[キャンセル]、および [適用] ボタンは、400% ズームでのリフロー中に削除されます。 その他のアクセシビリティの変更には、次のものがあります。 • 関連するすべての可視化に対してデータテーブルを表示して、スクリーンリーダーに役立てることができます。これらのデータテーブルは、値の比率をパーセンテージにブレイクダウンします。 • すべてのグラフ：[その他のオプション] メニューにグラフのタイトルが含まれるようになりました。 • インジケータースコアカード：行を展開および折りたたむためのキーボードナビゲーションと音声出力がサポートされるようになりました。
Service Operations Workspace for ITSM	アクセシビリティの改善 アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。 リフロー 構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザーのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザー上の Web コンテンツが見つらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。
カスタマーサービス向けワークフォース最適化	アクセシビリティの改善 アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。 リフロー 構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザーのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。 この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザー上の Web コンテンツが見つらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。
ITSM のワークフォース最適化	アクセシビリティの改善 アクセシビリティの改善により、WCAG 2.1 レベル AA 準拠をサポートする構成可能なワークスペースが作成されます。 リフロー 構成可能ワークスペース サポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザーの設定を使用してページやコンテンツを最大 400% まで拡大できます。さらに、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次的にスクロールせずにコンテンツを拡大できます。ページレイアウトは、ブラウザーのズームを 400% まで上げると、自動的に縦長のスタックビューに変換されます。 この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザー上の Web コンテンツが見つらいユーザーにとって便利です。リフローは、インスタンス、エクスペリエンス、およびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、

アプリケーションまたは機能	詳細
	「 Reflow for Configurable Workspace 」を参照してください。

Xanadu の製品ローカリゼーション情報

Xanadu の新機能と製品に関する累積的なリリースノートの概要。

一部の製品には、Xanadu で特定のローカリゼーション要件または動作があります。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI 検索	AI 検索 は多言語に対応しています。機能別の言語サポートの詳細については、「 Internationalization support for AI Search 」を参照してください。
買掛金オペレーション	買掛金オペレーションは複数の言語をサポートします。現在の ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) モデルは、英語のみの請求書を抽出するようにトレーニングされています。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) でサポートされている多言語で請求書进行处理する場合は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) モデルを独自にトレーニングする必要があります。
ワークフロースタジオの意思決定テーブル	ローカリゼーションフレームワークはディシジョンテーブルに統合されています。ただし、Excel での編集はローカリゼーションをサポートしていないため、英語を使用しないインスタンスではこの機能を使用できません。
デジタルエンドユーザーエクスペリエンス	ローカリゼーションは、Now Platform でサポートされているすべての言語でDEXに適用されます。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	中国語と日本語のサポート ドキュメントの処理言語が追加され、簡体字中国語と日本語のサポートが追加されました。
生成 AI コントローラー	生成 AI コントローラー は Now Assist で Microsoft Azure OEM for Dynamic Translation を使用して複数言語をサポートします。Now Assist アドミン コンソールから動的翻訳を有効にできます。
Health Log Analytics (ヘルスログアナリティクス)	ヘルスログアナリティクスで現在利用可能な言語は、英語 (US)、英語 (UK)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、スペイン語です。デフォルトの言語は英語 (US) です。
Now Assist	Now Assist は Xanadu の動的翻訳をサポートしています。

アプリケーションまたは機能	詳細
仮想エージェントの Now Assist	Dynamic Translation は Now Assist 仮想エージェント の会話でサポートされています。詳細については、「 Enable translation for Now Assist applications 」および「」を参照してください。
RPA Hub	RPA Hub は多言語に対応しています。詳細については、「 Internationalization support for RPA Hub (RPA Hub の国際化プラグインのサポート) 」を参照してください。
仮想エージェント	ServiceNow ローカリゼーションフレームワーク は 仮想エージェント に統合されています。

Xanadu リリースにおけるプラグインの変更

この表には、廃止済み、廃止予定、名前変更、または何らかの変更があった既存のプラグインがリストされています。

- 廃止予定：将来の廃止のために準備中です。アプリケーションは将来の廃止に向けて準備されます。プラグインは非表示になり、アクティブ化できなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。
- 廃止済み：アプリケーションは今後、展開、拡張、またはサポートがされません。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。
- メンテナンスモード：アプリケーションには、新しい機能拡張やアクティブ化はありませんが、引き続きサポートされます。

廃止されたプラグイン

この表は、Xanadu および Washington DC で廃止された既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
HR エージェントワークスペース [com.sn_hr_agent_workspace]	Xanadu で廃止	HR サービスデリバリエージェントワークスペースを使用して、迅速に従業員とやり取りし、問い合わせに対応し、問題を解決することができます。	ケース管理用の HRSD 構成可能なエージェントワークスペースをインストールして構成します。ガイダンスについては、「 Agent Workspace for HR Case Management (Configurable) 」およびこの コミュニティの記事 を参照してください。
HR サービスデリバリ (HRSD) v1.0 (従来)	Xanadu で廃止	エンタープライズの生産性を向上させ、	ヒューマンリソース (HR) Core v2.0

プラグイン	ステータス	説明	詳細
[com.snc.hr.core.cms、com.snc.hr.core、com.snc.hr.hrconnect、com.snc.hr.hrconnect.crm、com.snc.hr.service_portal]		従業員に対して適切なエンゲージメントとリソースを提供します。	スコープ対象のプラグインを [com.sn_hr_core] に移行します。
FSM Agent クラシックワークスペース [com.snc.agent_workspace.fsm]	Xanadu で廃止	—	フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドンスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
HR エージェントモバイル [com.sn_hr_mobile_agent]	Xanadu で廃止	—	代替品はありません。このプラグインを使用している場合は、サポートされていないプラグインをカスタムコードとして維持するオプションがあります。
Instance Security Center (インスタンスセキュリティセンター) [sn_isc_core, sn_isc_nlu, sn_isc_va]	Xanadu で廃止	インスタンスセキュリティコントロールのコンプライアンスレベルの監視、セキュリティイベントモニタリングメトリクスの表示、インスタンスセキュリティ設定の構成と維持はすべて、インスタンスセキュリティセンター内から行います。	ServiceNow Store で ServiceNow Security Center をインストールします。ガイドンスについては、「」を参照してください。
フィールドサービスマップ [com.snc.fsm_map]	Xanadu で廃止	エージェント、タスク、およびエージェントルートを表示するためのディスパッチマップを表示します。	フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドンスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
従来のクラウドディスクバリーを使用したクラウドディスクバリーのセットアップ	Xanadu で廃止	クラウドディスクバリーを実行するためのクラウドディスクバリーを設定し、検出されたクラウドリソースを管理するために Cloud	ServiceNow Store でクラウドオペレーションワークスペース (COW) をインストールします。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		Provisioning and Governance を使用できるようにします。	
Cloud Spend Dashboard [sn_sam_cld_spend]	Xanadu で廃止	単一のダッシュボードで、ソフトウェア、プラットフォーム、およびインフラストラクチャを含むすべてのクラウド支出を表示できます。	ServiceNow Store で Asset Executive Workspace をインストールします。
Employee Campaigns for Workplace from Facebook [com.snc.sn_fb_wp_campaigns]	Xanadu で廃止	コンテンツをキャンペーンにパッケージ化し、Workplace from Facebook のグループにコンテンツを公開できます。	代替品はありません。このアプリケーションを使用している場合は、サポートされていないアプリケーションをカスタムコードとして維持するオプションがあります。
Global Reporting Initiative (GRI) Content Accelerator for ESG [com.sn_esg_gri]	Xanadu で廃止	各種法令・基準等および引用などの ESG フレームワークを提供し、関連するメトリクスの定義を提供します。	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator アプリケーションをインストールします。ガイダンスについては、「 ESG content accelerator 」を参照してください。
RPA Sample Template [com.sn_rpa_template]	Xanadu で廃止	RPA テンプレートは、顧客が RPA イニシアチブを開始できるようにするビルド済みの自動化ツールです。	ServiceNow Store から RPA Hub バージョン 9.0.0 以降をインストールします。 - ドキュメントのガイダンスに従って、RPA デスクトップデザインスタジオをダウンロードしてインストールします。 - RPA デスクトップデザインスタジオのホームページからテンプレート (サンプル自動化と呼ばれる) にアクセスできます。RPA デスクトップデザインスタジオを開き、

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			ホームページで「自動化プロジェクト」を選択して、サンプル自動化のリストを表示します。詳細については、ドキュメントを参照してください。
Sustainability Accounting Standards Board (SASB) Content Accelerator for ESG [com.sn_esg_sasb]	Xanadu で廃止	SASB Accelerator は、ESG Management and Reporting アプリケーションで使用するよう設計されているため、顧客は SASB フレームワークを簡単に採用して ESG 開示を作成できます。	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator アプリケーションをインストールします。ガイダンスについては、「 ESG content accelerator 」を参照してください。
Service Bridge for Providers (Legacy) [com.sn_nowebonding_provider]	Xanadu で廃止	プロバイダーが顧客のカタログを公開し、カスタマーサービス要求を受信して履行できるようにします。	- ServiceNow Store から Service Bridge for Providers アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します。 - KB1499823 のガイダンスに従って、構成を移行 - コンシューマーに ServiceNow Store から新しい Service Bridge for Consumers アプリケーションをインストールしてもらいます。新しいアプリケーションをコンシューマーとともにテストします。検証が完了したら、サービスブリッジ (レガシー) コンテンツのエントタイトルメントを削除し、Service Bridge for Providers のコ

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			コンテンツにエンタイトルメントを付与します。
サービスブリッジ (レガシー) [com.sn_nowebonding]	Xanadu で廃止	顧客がプロバイダーにサービス要求を送信し、これらの要求を監視できるようにします。	- ServiceNow Store から Service Bridge for Consumers アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します。 - サービスブリッジのプロバイダーに連絡して、新しいサービスブリッジアプリケーションへの移行を調整してください。テストと移行をプロバイダーと調整する必要があります。準備ができたら、新しいアプリケーションに接続するための登録リンクが送信されます。
ServiceNow DevOps 用の Jenkins プラグイン	Xanadu で廃止	ServiceNow DevOps プラグインは Jenkins のデフォルトの動作を拡張し、ServiceNow 変更管理アプリケーションを通じてジョブ実行を制御するメカニズムを提供します。	このアプリケーションの今後のリリースはすべて、 Jenkins Store から直接インストールしてください。
Human Resources Scoped App: Parental Journey [com.sn_hr_parental_journey]	Xanadu で廃止	HR 組織における育児休暇 (LOAs) のパッケージ済み構成を提供します。育児休暇には、マタニティ休暇、パタニティ休暇、養子縁組休暇などがあります。	—
Human Resources Scoped App: Data Migration [sn_hr_migration]	Xanadu で廃止	HR テーブルおよびロールを、HR のスコープ外バージョンからスコープ対象	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		バージョンに移行できます。	
Service Graph Connector for Extra Hop [com.snc.cmdb.extrahop_integration]	Xanadu で廃止	ExtraHop アプリケーションから ServiceNow インスタンスにデータをプルする機能を提供します。	ServiceNow Store で ExtraHop Reveal(x) のサービスグラフコネクタアプリケーションをインストールします。このアプリケーションは ExtraHop が所有しています。
Cloud Native Operations [sn_k8s]	Washington DC で廃止	Cloud Native Operations を使用して、Kubernetes プラットフォームの継続的な検出と監視を実行します。	ServiceNow Store から Agent Client Collector for Visibility (ACC-V) アプリケーションをインストールし、 Agent Client Collector for Visibility ドキュメントを確認します。
アイテムデザイナー [com.glideapp.servicecatalog.item_designer]	Washington DC で廃止	サービスカタログアイテムデザイナーでは、アドミニストレーターではないユーザーがカタログアイテムを作成、保守、公開できます。構造化されたデザインと公開プロセスが使用され、一貫性のある使用が確保されます。	カタログビルダープラグインは、すべてのインスタンス (com.glideapp.servicecatalog.catalog_builder) で、デフォルトで有効になっています。
CSM エージェントワークスペース [com.snc.agent_workspace.csm]	Washington DC で廃止	CSM エージェントワークスペースを使用すると、カスタマーサービス管理 (CSM) を他のアプリケーションと統合できます。	ServiceNow Store から CSM Configurable Workspace アプリケーションをインストールします。
注文のカスタマーサービス管理 (CSM) (com.snc.csm.order)	Washington DC で廃止	注文向けカスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、注文および注文明細のサポートをカスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションに追加します。	注文管理ストアアプリケーションをインストールします。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
製品モデルとカタログアイテムの関係 [com.snc.product_catalog_relationship]	Washington DC で 廃止	顧客が製品モデルとカタログアイテム間で関係を作成することにより、製品のサービスを要求するセルフサービスを有効にします。	カスタマーサービスケースタイププラグイン (com.snc.csm_case_types) をインストールし、サービス定義機能を使用します。
セントラルディスパッチ [com.snc.central_dispatch]	Washington DC で 廃止	未アサインタスクのリストビューとカレンダービューの両方を提供します。	ディスパッチャークワークスペースプラグイン [com.snc.uib.fsm_dispatcher_work] をインストールして設定します。
ジャーニーアクセラレーター v4.0.3 以前 [com.sn_ja]	Washington DC で 廃止	計画や To-Do タスク用のテンプレートを作成できます。マネージャーはテンプレートを使用して、主要な従業員の移行に対応するカスタマイズされた計画を作成および公開します。マネージャー、従業員、メンターは、従業員センター (EC) から計画にアクセスできます。	置き換えのジャーニーデザイナーアプリケーションに移行します。ジャーニーデザイナーによって、ジャーニーデザイナーでサポートされるバージョンのジャーニーアクセラレーター v5.0+ が自動的にインストールされます。
モバイルスタジオ [com.glide.sg-studio]	Washington DC で 廃止	任意の ServiceNow モバイルアプリで使用するモバイルコンポーネントの作成および変更にはモバイルスタジオを使用します。	モバイルアプリビルダーに移行します。
HTML プロセッサ	Washington DC で 廃止	—	インスタンスでこの機能を無効にする手順については、KB1119956 を確認してください。
ウォークアップエクスペリエンスの Badge Reader Integration (com.snc.badge_reader から削除)	Washington DC で 廃止	現場のウォークアップキューの場所で Badge Reader Integration アプリケーションを使用することで、ウォークアップエクスペリエンスのユーザー満足度を向上させます。	顧客のバッジリーダークライアントをビルドするためのガイドランスを確認します。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
ITSM エージェントワークスペースと CMDB エージェントワークスペース [com.snc.agent_workspace.itsm、com.snc.agent_workspace.cmdb-workspace]	Washington DC で廃止	ITSM エージェントワークスペースを使用して、ITSM エージェントワークスペースの理解を改善し、IT フルフィルメントボリュームをより効率的に管理します。	ServiceNow Store から ITSM のサービスオペレーションアプリケーションをインストールします。
オペレーターワークスペースと CMDB エージェントワークスペース [com.itom-noc-app、com.ois-scoped-app、com.sn-em-ai-action、com.sn-em-hidden-component com.sn-em-ai-overview、com.sn-em-metric、com.sn_log_viewer com.cmdb-workspace]	Washington DC で廃止	—	ServiceNow Store から ITOM のサービスオペレーションワークスペースアプリケーションをインストールします。

廃止予定のプラグイン

この表は、将来のリリースで廃止が予定されている既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
リリース管理 [com.snc.release_management]	2031 年 6 月または契約期間終了日のいずれか早い方を予定	計画されたリリースとそのリリースの実行に必要なタスクに関する情報を格納するリリーステーブルを提供します。	—
Healthcare Computerized Maintenance Management システム [com.sn_hcls_cmms]	2029 年 9 月または契約期間終了日のいずれか早い方に廃止予定	医療デバイス関連の稼働中プロセス、代替機器メンテナンス (AEM) レビュープロセス、医療デバイスの問題、およびサービス停止プロセスを管理	医療向けエンタープライズ資産管理には、CDMv2 SKU が必要です。担当アカウントエグゼクティブにお問い合わせください。 ServiceNow Store から医療向けエンタープライズ資産管理アプリケーションをインストールし、Install Enterprise Asset Management for healthcare のドキュメントで構成ガイダンスを確認します。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			- エンタープライズ資産の作業指示を作成および管理するための Managing work orders for your enterprise assets  ドキュメントを確認します。 Field Service Management  は、医療向け EAM に依存するため、前提条件としてインストールする必要があります。
クラウドインサイト請求 [sn_clin_billing]	Z リリースで廃止 予定	クラウドインサイト請求アプリケーションは、プロビジョニングされた Amazon Web Services (AWS)、Google Cloud Platform (GCP) および Microsoft Azure リソースの請求処理データをダウンロードし、ダッシュボードでデータを可視化するためのツールを提供します。	—
パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - GRC：ポリシーとコンプライアンス管理 [app-compliance-pa]	Z リリースで廃止 予定	—	—
パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - GRC：リスク管理 [app-risk-pa]	Z リリースで廃止 予定	—	—
パフォーマンスアナリティクス - GRC：Audit Management [app-audit-pa]	Z リリースで廃止 予定	—	—
ベンダーサクセスインジケータ [com.snc.vendor.insights]	Z リリースで廃止 予定	ベンダー管理ワークスペースの確率比やその他の ML 機能を利用するベンダーサクセスインジケータ	ServiceNow Store  からベンダー管理ワークスペースをインストールし、KPI グループ機能を使用し

c.portfolio sa

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			クスペース (SPM Standard) アプリケーションに移行します。
ヒューマンリソース (HR) : ライフサイクルイベント - パ フォーマンスアナリティクス [com.sn_hr_lifecycle_pa]	Z リリースで廃止 予定	—	—
データ認定 [com.snc.certification_v2]	Z リリースで廃止 予定	データ認定は、構成管理データベース (CMDB) データのスケジュール検証およびオンデマンド検証を管理します。	CMDB データマネージャー機能を使用するには、 ServiceNow Store から CMDB ワークスペース v6.0+ アプリケーション (Washington D.C. 以降と互換性あり) をインストールします。「 Working with CMDB Data Manager 」を参照してください。
インスタンストラブルシューティングツール [com.sn_troubleshooter]	Y リリースで廃止 予定	—	次のいずれかの代替アプリケーションに移行します。 - デフォルトでインスタンスにインストールされているインスタンスキャンツールを使用します。製品ドキュメント をレビューします。 ServiceNow Impact パッケージ で利用可能なヘルスキャン製品を評価します。アカウントチームと協力して、この製品の使用に必要な Impact パッケージを調達します。
Enterprise Employee Experience Pack [app-hr-swc-content]	Z リリースで廃止 予定	事前設定されたプロセスフローとサンプルコンテンツを提供し、複数部門にまたがるエンタープライズ規模のユースケー	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		スの迅速な実装に役立ちます。	
Application Insights [sn_app_insights]	Z リリースで廃止 予定	Application Insights は、システムの健全性の視覚化と監視を一元的に行える場所を提供します。	Impact packages で利用可能な Impact Instance Observer 製品を評価します。アカウントチームと協力して、この製品の使用に必要な Impact パッケージを調達します。
ワークプレイスサービスデリバリーと Mappedin との統合 [com.sn_wsd_mappedin]	Z リリースで廃止 予定	インタラクティブなデジタルマッピングソリューションを提供します。	ServiceNow Store からインストアマッピングアプリケーションをインストールします。
DevOps コンフィグ [com.snc.devops_config] - DevOps コンフィグエクスポートコンテンツパック [com.snc.devops.config.exporter.content] - DevOps コンフィグポリシーコンテンツパック [com.snc.devops.config.policy.content] - 構成データ管理 [com.sn_cdm] - 構成データ管理 UI のコンテキストメニューコンポーネント [com.servicenow_cdm_context_menu]	顧客固有の DevOps コンフィグアプリケーション契約終了期間に廃止予定。	単一のシステムを使用して、DevOps 環境で構成データを管理および検証します。	—
GRC : DevOps アクセラレーター [com.sn_grc_devops]	Y リリースで廃止 予定	顧客が DevOps ポリシーおよび GRC コントロール目標と Policy as a Code Engine (PaCE) とのコンプライアンスを評価できるようにします。	—
ITSM の予測インテリジェンスワークベンチ [com.sn_piwb_itsm_content]	Y リリースで廃止 予定	顧客がドメイン固有のコンテンツをシェアして、予測インテリジェンスワークベンチで作成されたユースケースの実装ガイダンスを提供できるようにします	ServiceNow Store から ITSM のタスクインテリジェンスアプリケーションをインストールし、タスクインテリジェンスアドミンコンソールを使用します。詳細については、 Task

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			Intelligence for ITSM のドキュメントを参照してください。
法務顧問センター従来 [com.sn_lg_workspace] および 法務顧問センターコンポーネント [com.sn_lg_ws_comps]	Y リリースで廃止 予定	法務顧問センター従来により、法務部門のメンバー、法務問題を分類、優先順位付けし、効率的に対処することができます。	ServiceNow Store から法務顧問センターアプリケーションをインストールし、 Legal Counsel Center のドキュメントを確認します。
カスタマーサービス管理 (CSM) 用注文管理 [com.sn_csm_order_mgmt]	2028 年 9 月または注文管理のサブスクリプション期間の終了日 (いずれか早い方) に廃止予定	注文管理には、注文を作成、管理、および追跡する機能があります。	ServiceNow Store から新しい注文管理アプリケーションをインストールします。
IBM 動的翻訳 [com.glide.ibm_translation_spoke]	2024 年 12 月に廃止予定	このスポークはストアで入手可能で、ServiceNow の動的翻訳プラグインと連携します。代替の翻訳サービス (Google、Microsoft) が利用可能です。	IBM は、Watson Language Translator の提供終了と 2024 年 6 月 10 日のサポート終了、2024 年 12 月 10 日の完全な削除を発表しました。 Dynamic Translation のドキュメントで、Google および Microsoft で利用可能な動的翻訳サービスを確認してください。
Site Reliability Metrics および [com.sn_srm]	Y リリースで廃止 予定	一般にサービスレベルインジケータ (SLI) と呼ばれるアプリケーションパフォーマンス管理 (APM) ツールから、アプリケーションパフォーマンスのシグナルをキャプチャします。その後 SRM アプリケーションで、サービスレベル目標 (SLO)、エラー予算 (EB)、およびポリシーベースのアクションを作成できます。	ServiceNow Store からサービスリライアビリティ管理アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を読んでアプリケーションと機能の詳細を確認してください。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
サイトリライアビリティオペレーション [com.sn_srops]	Y リリースで廃止予定	チームをオンボーディングし、短時間でサービスを登録することで、単一ワークスペース内のマイクロサービスのヴィジビリティを向上させます。Webhook 統合を介してテレメトリーにすばやく連携することで観測可能性を向上させ、アラートの自動化によってインシデントをより迅速に解決します。	ServiceNow Store からサービスリライアビリティ管理アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を読んでアプリケーションと機能の詳細を確認してください。
ナレッジ管理 v3 [com.snc.knowledge3]	Y リリースで廃止予定	ナレッジ管理 v3 ホームページは、Washington DC リリース以降、展開もアクティブ化もされなくなります。	Configuring Knowledge Management のガイダンスを使用してナレッジ管理サービスポータルプラグイン (com.snc.knowledge_serviceportal) をインストールして構成し、sn_km_portal_system_properties を true に設定して、v3 ホームページからポータルへのリダイレクトをアクティブ化します。
設備サービス管理 [com.snc.facilities_service_automation.fvw]	2025 年 3 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	施設要求を管理し、ユーザーが場所別に要求を報告および追跡できるようにします。フロアプランの要求を表示するには、Facilities Visualization Workbench (com.snc.facilities_service_automation.fvw) プラグインが必要です。	ワークプレイスサービスデリバリに移行します。
施設ビジュアル化ワークベンチ [com.snc.facilities_service_automation.fvw]	2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	インタラクティブなフロアプラン機能を有効にします。	Workplace Service Delivery に移行します。
Finance Service Management [com.snc.finance_service_automation.fsm]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間	Finance Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーション	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
	の終了時に廃止予定。	を起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow お問い合わせください。	
ITSM Pro - Service Owner Workspace [com.spm_owner_workspace]	サブスクリプション期間の終了時またはデジタルポートフォリオ管理への移行時に廃止予定。	プレミアムなサービスポートフォリオ管理エクスペリエンスを提供します。ポートフォリオマネージャーとサービスオーナーは、直観的に操作できる統合されたグラフィカルユーザーインターフェイスを利用して、ポートフォリオとサービスの管理や監視を行います。	ServiceNow Store のデジタルポートフォリオ管理に移行します。
MaestroRS [app-irm-bcm]	顧客固有の MaestroRS アプリケーション契約終了期間に廃止予定。	—	ServiceNow Store の 4 つの事業継続性管理代替アプリケーションをアクティブ化します。 • GRC：事業継続性管理 – コア • GRC：事業継続性計画 • GRC: ビジネスインパクトアナリシス • GRC：事業継続性管理 – コンポーネント
マーケティングサービス管理 [com.snc.marketing_service_automation]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Marketing Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		にお問い合わせください。	
統合ハブ用 Microsoft AD スポーク [com.sn.ad.spoke]	契約終了日または 2028 年 3 月 (いずれか早い方) に廃止予定。	プロセスアナリストがフローをデザインするときに使用できるアクションを提供します。これらのアクションにより、AD のユーザー、グループ、コンピューターおよびオブジェクトの管理を自動化できます。	ServiceNow Store で Microsoft Active Directory v2 スポークアプリケーションをインストールします。ガイドランスについては、「 移行ガイド [KB1284583] 」を参照してください。
ソーシャル Q&A [com.sn_kb_social_qa]	将来のリリースで廃止予定。	ユーザーによる質問と回答、および質問と回答に対する投票を可能にします。ソーシャル Q&A はナレッジアプリケーションを拡張し、ユーザー基準や複数のナレッジベースなどの既存のナレッジ機能を使用します。	—
トラステッドセキュリティサークル [sn_ti]、[sn_tis_a]	2023 年 9 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	—	—
Vendor Performance Management [com.snc.vendor_performance]、 [com.snc.vendor_ticket]	2024 年 3 月またはサブスクリプション期間終了時に廃止予定。	ベンダーデータを測定、管理、追跡し、独自のグラフィカルビューでパフォーマンス特性を比較する機能を提供します。	ITSM Pro v2 サブスクリプションパッケージに含まれるベンダー管理ワークスペースに移行します。

名前変更および変更されたプラグイン

この表は、Xanadu または Washington DC で変更された既存のプラグインを示しています (名前が変更されたものも含まれます)。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
アプリケーションポートフォリオ管理 Core [com.snc.apm_core]	Xanadu で名前を変更	このプラグインには、デフォルトですぐに使用可能なエンタープライズアーキテクチャのコア機能が含まれています。	プラグイン名がエンタープライズアーキテクチャ Core [com.snc.apm_core] に変更されています
Read only roles for Application Portfolio Management [com.snc.apm_read_roles]	Xanadu で名前を変更	このプラグインは、エンタープライズアーキテクチャの読	プラグイン名が Read only roles for Enterprise

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		み取り専用ロールを提供します。	Architecture [com.snc.apm_read_roles] に変更されています
アプリケーションポートフォリオ管理 - TRM [com.snc.apm_trm]	Xanadu で名前を変更	このプラグインには、エンタープライズアーキテクチャの TRM ライフサイクルが含まれています。	プラグイン名が Enterprise Architecture - TRM [com.snc.apm_trm] に変更されています
パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - アプリケーションポートフォリオ管理 [com.snc.pa.apm]	Xanadu で名前を変更	パフォーマンスアナリティクスプレミアム版を使用して開発されたエンタープライズアーキテクチャのダッシュボード。	プラグイン名が Performance Analytics - Content Pack - Enterprise Architecture [com.snc.pa.apm] に変更されています。
Performance Analytics - Content Pack - Application Portfolio Management and Change Management [com.snc.pa.apm.change_request]	Xanadu で名前を変更	エンタープライズアーキテクチャと、変更要求に関連付けられたビジネスアプリケーションのパフォーマンスアナリティクスダッシュボードが含まれている変更管理を統合した機能を提供します。	プラグイン名が「パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - Enterprise Architecture and Change Management [com.snc.pa.apm.change_request] に変更されています
Performance Analytics - Content Pack - Application Portfolio Management and Problem Management [com.snc.pa.apm.problem]	Xanadu で名前を変更	エンタープライズアーキテクチャと、ビジネスアプリケーションのパフォーマンスアナリティクスダッシュボードが含まれている問題管理を統合した機能を提供します。	プラグイン名が Performance Analytics - Content Pack - Enterprise Architecture and Problem Management [com.snc.pa.apm.problem] に変更されています。
Application Portfolio Management Digital Integration Management [com.snc.apm_digital_integration]	Xanadu で名前を変更	ビジネスアプリケーション間のデジタル統合を管理するモデリングとフローを提供します。	プラグイン名が Digital Integration Management plugin [com.snc.apm_di] に変更されています
Application Portfolio Management - Predictive Intelligence [com.snc.apm.predictive_intelligence]	Xanadu で名前を変更	このプラグインは、エンタープライズアーキテクチャの予測インテリジェンスソリューションを提供します。ビジネス	プラグイン名が Enterprise Architecture - Predictive Intelligence

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		アプリケーション関連データの類似性と同様のアルゴリズムを適用して、予測に役立てます。	[com.snc.apm.predictive_intelligence] に変更されています
Application Portfolio Management - ATF Tests [com.snc.apm.atf]	Xanadu で名前を変更	このプラグインは、エンタープライズアーキテクチャで実行できる ATF テストケースとテストスイートを提供します。	プラグイン名が Enterprise Architecture - ATF Tests [com.snc.apm.atf] に変更されています
アプリケーションポートフォリオ管理 [com.snc.apm]	Xanadu で名前を変更	このプラグインは、企業がビジネスアプリケーションインベントリを可視化し、ビジネスアプリケーションを合理化し、ビジネスコンテキストを提供し、各ビジネスアプリケーションのビジネス価値を決定するのに役立ちます。また、ビジネスアプリケーションのテクノロジー (ソフトウェアとハードウェア) コンポーネントを理解し、組織の情報資産とそれらの情報資産のビジネスアプリケーションの使用をキャプチャするのに役立ちます。	プラグイン名が Enterprise Architecture [com.snc.apm] に変更されています
仮想エージェント API (sn_va_as_service)	Washington DC での変更	チャットインターフェイスやボットを仮想エージェントまたはエージェントチャットと統合します。	com.sn.omnichannel.callback プラグインは削除され、com.sn_ext_agent_management プラグインが依存関係になりました。

メンテナンスモードのプラグイン

次の表は、メンテナンスモードの既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
CSM 向け高度なワークアサインメント [com.sn_csm.awa]	メンテナンスモードのみ。	カスタマーサービス (com.sn_customerservice) プラグインをアクティブ化すると、こ	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		のプラグインが有効になります。	
CMS ユーザーインターフェイス - サービス管理 Core [com.snc.service_management.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	コア IT セルフサービスアプリケーションを参照するために使用されるすべてのコンテンツ管理システムアイテム (ブロック、ページ、およびメニュー) は、このプラグインにパッケージ化されています。また、すべての サービス管理アプリケーションのコア基盤でもあります。	—
コンテンツ管理 [com.glide.cms]	メンテナンスモードのみ。	—	—
コンテンツ管理 Extended Types [com.glide.cms.types]	メンテナンスモードのみ。	iFrames と Flash フレームを追加するコンテンツ管理の拡張。 新規開発には CMS の代わりに サービスポータル を使用します。サービスポータル は、洗練されたユーザーエクスペリエンスを備えた CMS の代替手段であり、デフォルトでベースシステムで有効になっています。詳細については、「 Service Portal 」と「 Content Management and Service Portal 」を参照してください。	—
コンテンツ管理 IFrame タイプ [com.glide.cms.type.iframe]	メンテナンスモードのみ。	—	—
Content Management Flash Type [com.glide.cms.type.flash]	メンテナンスモードのみ。	—	—

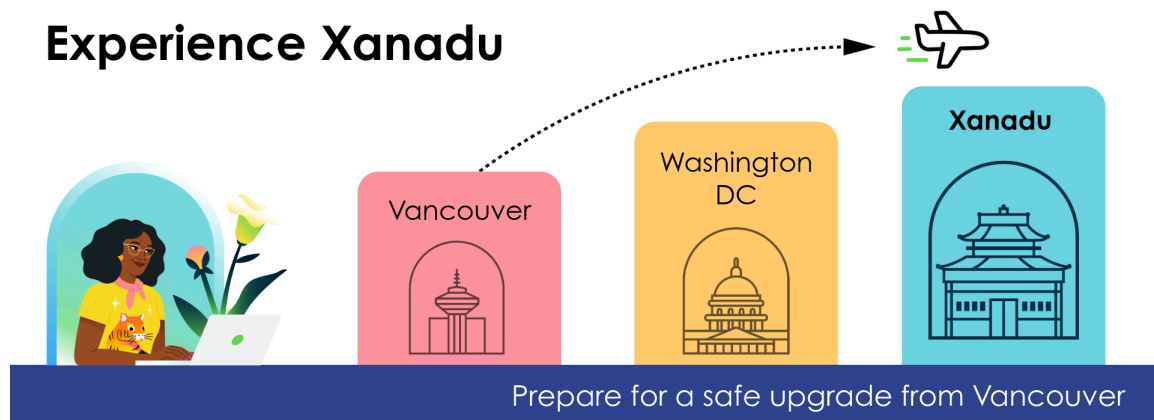
プラグイン	ステータス	説明	詳細
CSM アカウント階層 [com.snc.sn_csm_account_hierarchy]	メンテナンスモードのみ。	—	—
CSM ルックアップと検証 [com.snc.sn_csm_lookup_verify]	メンテナンスモードのみ。	—	—
CSM Workspace - Components [com.csm_workspace_components]	メンテナンスモードのみ。	—	—
施設移動管理 [com.snc.facilities_service_automation.move]	メンテナンスモードのみ。 2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	単一ユーザーの移動機能と、エンタープライズ移動および移動計画機能が有効になります。	ワークプレイスサービスデリバリーに移行します。
設備サービス管理 CMS ポータル [com.snc.facilities_service_automation.cms]	メンテナンスモードのみ。	—	—
設備サービス管理モバイル [com.snc.facilities_service_automation_m]	メンテナンスモードのみ。	設備サービス管理モバイルコンポーネントを管理します。	—
Field Service Management CMS Portal [com.snc.work_management.cms]	メンテナンスモードのみ。	Field Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを単一の CMS ページから起動できます。	—
ヒューマンリソース (HR) スコア対象のアプリ: Core CMS [com.snc.hr.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	HR のケースとナレッジ管理を提供します。従業員の問い合わせと要求の文書化、やり取り、および実行を標準化すると同時に、受信するケースの数とタイプを可視化します。	—
ルックアップと検証 [com.snc.sn_lookup_and_verify_config]	メンテナンスモードのみ。	—	—
サービスカタログ CMS Extension [com.glideapp.servicecatalog.cms]	メンテナンスモードのみ。	CMS 内でカタログエクスペリエンスを定義する機能を提供します。	—

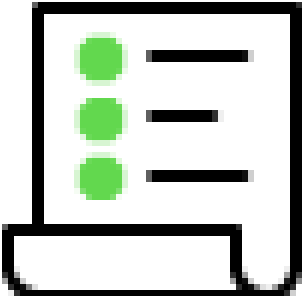
Vancouver からアップグレードのリリースノート

Vancouver リリースからアップグレードする場合は、各リリースバージョンの修正、ユーザーインターフェイスの重要な変更、ブラウザのサポート、プラグインの更新、および各機能のアップグレードと移行のタスク (該当する場合) を把握しておきましょう。

Vancouver から Xanadu へのアップグレード

Experience Xanadu



統合製品リリースノート  Vancouverから新機能の詳細情報Xanadu	カスタマイズされたPRB リリースノート  現在のバージョンと利用可能なターゲットバージョンの間で修正された問題のリストを生成	Vancouver から Xanadu へのプラグインの変更  新規、変更、名前変更、廃止されたプラグインのリスト

自動翻訳

アクセシビリティと適合性  VPAT に基づくアクセシビリティのハイライトとアクセシビリティ適合性レポート	利用可能なパッチとホットフィックス  修正された問題のリリースノート	ブラウザサポート  サポートされているブラウザのバージョンと特定の製品の追加要件

Vancouver から Xanadu へのアップグレードの統合製品リリースノート

Vancouver から Xanadu へのアップグレードに役立つ情報として、各製品のファミリー共通リリースノートを 1 ページにまとめました。ご使用の製品を選択して、リリースノートの結果をカスタマイズしてください。

製品を選択して **Vancouver** から **Xanadu** のリリースノートを表示

以下の表には、Vancouver と Xanadu で使用可能な全製品が一覧表示されています。目的の製品を選択するには、[フィルター基準] 機能を使用します。テーブルがフィルタリングされ、選択した製品の統合リリースノートが表示されます。リンクをクリックすると、各製品の統合リリースノートが表示されます。

製品	統合リリースノート
アクセス管理	リンク
アカウントライフサイクルイベント	リンク
買掛金オペレーション	リンク
アドミンセンター	リンク
アダプションサービス	リンク
高度なゴールフレームワーク	リンク
高度なリスク	リンク

製品	統合リリースノート
高度なワークアサインメント	リンク
エージェントチャット	リンク
エージェントチャットおよびサイドバー	リンク
エージェントクライアントコレクター	リンク
CSM のエージェントエクスペリエンス	リンク
HR ケース管理のエージェントワークスペース	リンク
Agile Development 2.0	リンク
AI 検索	リンク
アラインメントプランナーワークスペース	リンク
アナリティクス、インテリジェンス、レポート	リンク
API	リンク
App Engine Studio	リンク
アプリケーション管理	リンク
アプリケーションマネージャー	リンク
アプリケーションポートフォリオ管理	リンク
アプリケーション脆弱性対応	リンク
アセスメントとサーベイ	リンク
Audit Management	リンク
認証	リンク
自動テストフレームワーク (ATF)	リンク

製品	統合リリースノート
ベンチマーク	リンク
事業継続性管理	リンク
キャリアアセスメント	リンク
Career conversations (キャリア対話)	リンク
ケースとナレッジ管理	リンク
CSM のケース管理	リンク
変更管理	リンク
臨床機器管理	リンク
クローンアドミンコンソール	リンク
クラウドコスト管理	リンク
クラウドコスト管理 8.0.0	リンク
Cloud Provisioning and Governance	リンク
コーチング	リンク
コラボレーションワーク管理	リンク
企業保険請求	リンク
共通ガバナンス、リスク、コンプライアンス機能	リンク
共通の GRC 機能	リンク
コンプライアンスケース管理	リンク
コンフィギュレーションコンプライアンス	リンク
構成管理データベース (CMDB)	リンク

製品	統合リリースノート
コンテナ脆弱性対応	リンク
Continuous Authorization and Monitoring	リンク
Continuous Authorization and Monitoring (CAM)	リンク
対話型インターフェース	リンク
対話型インターフェースのホーム	リンク
Core Now Platform	リンク
クリエイタースタジオ	リンク
カスタマー契約とエンタイトルメント	リンク
カスタマーサービス管理 (CSM)	リンク
ダッシュボード	リンク
データディスカバリー	リンク
データ管理	リンク
CSM のデータ管理	リンク
データプライバシー	リンク
データ分離	リンク
ディジションビルダー	リンク
ワークフロースタジオの意思決定テーブル	リンク
委託開発	リンク
DevOps チェンジベロシティ	リンク
DevOps コンフィグ	リンク

製品	統合リリースノート
デジタルエンドユーザーエクスペリエンス	リンク
デジタルポートフォリオ管理	リンク
米国の規制の異議申し立てコンテンツパック	リンク
Mastercard の異議申し立てルールコンテンツパック	リンク
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	リンク
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	リンク
ドキュメントサービス	リンク
ドキュメントテンプレート	リンク
動的翻訳	リンク
従業員センター	リンク
従業員ドキュメント管理	リンク
従業員ジャーニー管理	リンク
労務 (ER)	リンク
EMR Help	リンク
暗号化キー管理	リンク
エンタープライズアーキテクチャ (旧称アプリケーションポートフォリオ管理)	リンク
エンタープライズ資産管理	リンク
環境、社会、ガバナンス管理	リンク
Equifax スポーク	リンク

製品	統合リリースノート
ERP キャンバス	リンク
ERP Customization Mining	リンク
ERP データハブ	リンク
ESG Management	リンク
イベント管理	リンク
戦略的ポートフォリオ管理向けパワーポイントへのエクスポート	リンク
フィールドサービス管理 (FSM)	リンク
Financial Services Business Deposit Operations	リンク
Financial Services Business Lifecycle	リンク
Financial Services Business Loan Operations	リンク
ファイナンシャルサービスカードオペレーション	リンク
Financial Services Client Lifecycle	リンク
Financial Services Complaint Management	リンク
Financial Services Credit Operations	リンク
Jack Henry Associates jXchange のファイナンシャルサービス統合	リンク
Socure のファイナンシャルサービス統合	リンク
ファイナンシャルサービスオペレーションコア	リンク
FRISS のファイナンシャルサービスオペレーション統合	リンク
Guidewire のファイナンシャルサービスオペレーション統合	リンク
Jack Henry jXchange のファイナンシャルサービスオペレーション統合	リンク

製品	統合リリースノート
Visa とのファイナンシャルサービスオペレーション	リンク
ファイナンシャルサービスオペレーションプラットフォームアナリティクスソリューション	リンク
Financial Services Payment Operations	リンク
Financial Services Personal Deposit Operations	リンク
Financial Services Personal Loan Operations	リンク
Financial Services Treasury Operations	リンク
フローデザイナー	リンク
ワークフロースタジオでのフロー、サブフロー、およびアクション	リンク
生成 AI コントローラー	リンク
ゴールフレームワーク	リンク
SPM のゴールフレームワーク	リンク
ガバナンス、リスク、コンプライアンス	リンク
Granular Delegation	リンク
Group Life Servicing	リンク
ハードウェア資産管理 10.0.0	リンク
ハードウェア資産管理 11.0.0	リンク
ハードウェア資産管理 5.0	リンク
ハードウェア資産管理 7.0.0	リンク
ハードウェア資産管理 8.0.0	リンク

製品	統合リリースノート
ヘルスケアおよびライフサイエンスサービス管理コア	リンク
Healthcare Computerized Maintenance Management システム	リンク
ヘルスログアナリティクス	リンク
Hermes Messaging Service	リンク
HR サービスデリバリー (HRSD)	リンク
HR サービスデリバリー用ケースとナレッジ管理	リンク
医療向け HR サービスデリバリー	リンク
Magnit の HR サービスデリバリー統合	リンク
HR Service Delivery Integration with Workday Learning	リンク
ID	リンク
ID と認証	リンク
インポートとエクスポート	リンク
インシデント管理	リンク
個人向け生命保険請求	リンク
Individual Life Servicing	リンク
産業用プロセスマネージャー	リンク
Industry 製品	リンク
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	リンク
Instance Scan	リンク
統合ハブ	リンク

製品	統合リリースノート
CSM のインテリジェンス	リンク
Intelligent Service Delivery	リンク
Intelligent Servicing for Fraud	リンク
投資枠管理	リンク
ITOM クラウドアクセラレート	リンク
ITOM ヘルス	リンク
ITOM 最適化	リンク
ITOM 最適化 ITOM 最適化	リンク
ITOM ヴィジビリティ	リンク
ITSM エージェントワークスペース	リンク
ITSM モバイルエージェント	リンク
ITSM 予測インテリジェンスワークベンチ	リンク
ITSM サクセスダッシュボード	リンク
ITSM 仮想エージェント	リンク
ジャーニーデザイナー	リンク
ジャーニーデザイナー 2.0	リンク
ナレッジ管理	リンク
リーダーハブ	リンク
リード管理	リンク
ラーニング	リンク

製品	統合リリースノート
法務サービスデリバリ	リンク
ローカリゼーションフレームワーク	リンク
Manager Hub	リンク
製造業営業オペレーション	リンク
Manufacturing Process Manager	リンク
メンタリング	リンク
メトリックベース	リンク
MID サーバー	リンク
Mobile	リンク
モバイルプラットフォーム	リンク
Natural Language Query	リンク
自然言語理解 (NLU)	リンク
Next Experience	リンク
Next Experience コンポーネント	リンク
ネクストエクスペリエンス開発者 (NED) ツール	リンク
Next Experience 開発者ツール	リンク
Next Experience ユーザーインターフェイス	リンク
Notifications	リンク
通知	リンク
Now Assist	リンク

製品	統合リリースノート
クリエイターの Now Assist	リンク
CSM の Now Assist	リンク
CSM の Now Assist	リンク
FSM の Now Assist	リンク
FSO の Now Assist	リンク
HR サービスデリバリー (HRSD) 向け Now Assist	リンク
IT Operations Management (ITOM) の Now Assist	リンク
IT Service Management (ITSM) の Now Assist	リンク
Security Operations の Now Assist	リンク
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist	リンク
電気通信、メディア、および技術 (TMT) の Now Assist	リンク
仮想エージェントの Now Assist	リンク
Now Mobile アプリ	リンク
Omnichannel Callback	リンク
オンコールスケジューリング	リンク
オペレーショナルレジリエンス	リンク
オペレーショナルテクノロジー変更管理	リンク
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理	リンク
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 v2	リンク
オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理	リンク

製品	統合リリースノート
オペレーショナルテクノロジーマネージャー	リンク
オペレーショナルテクノロジー要求管理	リンク
オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応	リンク
オポチュニティ管理	リンク
Opportunity Marketplace (オポチュニティマーケットプレイス)	リンク
注文管理	リンク
カスタマーサービス管理 (CSM) 向け注文管理	リンク
電気通信、メディア、テクノロジー向け注文管理	リンク
パスワードリセット	リンク
Patient Support Services	リンク
パフォーマンスアナリティクス	リンク
パフォーマンスアナリティクス ITSM ダッシュボード	リンク
個人向け保険請求	リンク
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	リンク
プラットフォームアナリティクスワークスペース	リンク
プラットフォームセキュリティ	リンク
ワークフロースタジオのプレイブック	リンク
ポリシーとコンプライアンス管理	リンク
ポートフォリオ計画	リンク
予測インテリジェンス	リンク

製品	統合リリースノート
Pre-Visit Management	リンク
プライバシー管理	リンク
プロアクティブエンゲージメント	リンク
プロアクティブプロンプト	リンク
Proactive Service Experience Workflows	リンク
Proactive Service Experience Workflows (テクノロジー)	リンク
Proactive Service Experience Workflows (電気通信)	リンク
プロアクティブトリガー	リンク
問題管理	リンク
プロセスオートメーションデザイナー	リンク
プロセスマイニング	リンク
プロセス最適化	リンク
調達サービス管理	リンク
製品カタログ管理および Pricing Management	リンク
プロジェクトポートフォリオ管理	リンク
プロジェクトワークスペース	リンク
公共機関デジタルサービス	リンク
見積管理	リンク
Redox Inbound Integration	リンク
規制変更管理	リンク

製品	統合リリースノート
リリース管理	リンク
レポート	リンク
リソース管理ワークスペース	リンク
レスポンスダッシュボード	リンク
Retail Operations (リテールオペレーション)	リンク
ロボティックプロセスオートメーション (RPA) ハブ	リンク
RPA Hub	リンク
販売契約管理	リンク
Scaled Agile Framework (SAFe)	リンク
スクリプティング	リンク
セキュリティセンター	リンク
セキュリティインシデントレスポンス	リンク
セキュリティポスチャコントロール	リンク
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	リンク
サービスブリッジ	リンク
サービスブリッジ (テクノロジー)	リンク
サービスブリッジ (電気通信)	リンク
サービスビルダー	リンク
サービスカタログ	リンク
Microsoft Defender for IoT のサービスグラフコネクタ (Azure)	リンク

製品	統合リリースノート
Microsoft Defender for IoT のサービスグラフコネクタ (オンプレミス管理コンソール)	リンク
Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合	リンク
ServiceNow IDE	リンク
ServiceNow SDK	リンク
IT Service Management のサービスオペレーションワークスペース	リンク
Service Operations Workspace for ITSM	リンク
サービスポータル	リンク
サービスポートフォリオ管理	リンク
サービスリライアビリティ管理	リンク
サイドバー	リンク
サイトマップジェネレーター	リンク
スキルインテリジェンス	リンク
スキル管理	リンク
スマートアセスメントエンジン	リンク
ソフトウェア資産管理	リンク
ソーシングと調達オペレーション	リンク
SPM ベンチマーク	リンク
Strategic Planning	リンク
スタジオ	リンク

製品	統合リリースノート
サブスクリプション管理	リンク
サプライヤーライフサイクル管理	リンク
サプライヤーライフサイクルオペレーション	リンク
システムクローン	リンク
システムアップデートセット	リンク
テーブルビルダー	リンク
App Engine のテーブルビルダー	リンク
人材開発	リンク
人材開発 Core	リンク
ITSM のタスクインテリジェンス	リンク
テクノロジープロバイダーサービス管理	リンク
通信ネットワークインベントリ	リンク
通信事業サービス管理	リンク
通信事業サービスオペレーション管理	リンク
テーマビルダー	リンク
サードパーティリスク管理	リンク
脅威インテリジェンスセキュリティセンター	リンク
UI ビルダー	リンク
UI コンポーネント CLI 拡張機能	リンク
ユニバーサル要求	リンク

製品	統合リリースノート
アップグレードセンター	リンク
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス	リンク
ワクチン接種アドミニストレーション管理	リンク
ベンダー管理ワークスペース	リンク
Verifi スポーク	リンク
仮想エージェント	リンク
Visa スポーク	リンク
ビジュアルタスクボード	リンク
脆弱性対応	リンク
Microsoft Defender for IoT の脆弱性対応 (オンプレミス管理コンソール)	リンク
脆弱性対応統合	リンク
脆弱性対応と Claroty CTD の統合	リンク
Microsoft Defender for IoT との脆弱性対応の統合	リンク
Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (Azure)	リンク
ウォークアップエクスペリエンス	リンク
ワークフロースタジオ	リンク
カスタマーサービスのワークフォース最適化	リンク
HR のワークフォース最適化	リンク
ITSM のワークフォース最適化	リンク

製品	統合リリースノート
ワークスペース	リンク
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	リンク

Vancouver から Xanadu へのプラグインの変更

Vancouver から Washington DC にアップグレードする前に、新規プラグインおよび廃止済み、名前変更済み、または何らかの変更があった既存のプラグインに関する情報をリリースノートで確認してください。

Vancouver と Washington DC プラグインの変更

詳細については、「[Vancouver plugin changes \(Vancouver でのプラグインの変更\)](#)」を参照してください。

詳細については、「[Washington DC plugin changes \(Washington DC プラグインの変更\)](#)」を参照してください。

Vancouver から Xanadu で廃止されたプラグイン

この表は、Vancouver、Washington DC、または Xanadu で廃止された既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
ウォークアップエクスペリエンスの Badge Reader Integration (com.snc.badge_reader から削除)	Washington DC で廃止	現場のウォークアップキューの場所で Badge Reader Integration アプリケーションを使用することで、ウォークアップエクスペリエンスのユーザー満足度を向上させます。	顧客のバッジリーダークライアントをビルドするためのガイドランスを確認します。
セントラルディスパッチ [com.snc.central_dispatch]	Washington DC で廃止	未アサインタスクのリストビューとカレンダービューの両方を提供します。	ディスパッチャワークスペースプラグイン [com.snc.uib.fsm_dispatcher_work] をインストールして設定します。
従来のクラウドディスカバリーを使用したクラウドディスカバリーのセットアップ	Xanadu で廃止	クラウドディスカバリーを実行するためのクラウドディスカバリーを設定し、検出されたクラウドリソースを管理するために Cloud Provisioning and Governance を使用できるようにします。	ServiceNow Store でクラウドオペレーションワークスペース (COW) をインストールします。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
Cloud Native Operations [sn_k8s]	Washington DC で 廃止	Cloud Native Operations を使用して、Kubernetes プラットフォームの継続的な検出と監視を実行します。	ServiceNow Store から Agent Client Collector for Visibility (ACC-V) アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します。
Cloud Spend Dashboard (クラウド支出ダッシュボード) [sn_sam_cld_spend]	Xanadu で廃止	単一のダッシュボードで、ソフトウェア、プラットフォーム、およびインフラストラクチャを含むすべてのクラウド支出を表示できます。	ServiceNow Store で Asset Executive Workspace をインストールします。
CMDB の検索 [com.snc.cmdb_search]	Vancouver で使用 廃止。	CMDB を検索するための拡張機能を提供します。	CMDB ワークスペースに移行します。
Conversational Integration with Google Assistant [com.sn.va.google.assistant]	Vancouver で使用 廃止。	仮想エージェントが、仮想エージェントトピックを使用して Google の音声インターフェイスで要求とやり取りできるようにします。	Google は、2023 年 6 月 13 日をもって会話型アクション機能を廃止しました。この廃止された機能への依存関係により、「Conversational Integration with Google Assistant」ストアアプリケーションのサポートも終了します。
CSM エージェントワークスペース [com.snc.agent_workspace.csm]	Washington DC で 廃止	CSM エージェントワークスペースを使用すると、カスタマーサービス管理 (CSM) を他のアプリケーションと統合できます。	ServiceNow Store から CSM Configurable Workspace アプリケーションをインストールします。
注文のカスタマーサービス管理 (CSM) (com.snc.csm.order)	Washington DC で 廃止	注文向けカスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、注文および注文明細のサポートをカスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションに追加します。	注文管理ストアアプリケーションをインストールします。
DevOps コンフィグインサイト [com.snc.devops.config.insights]	Vancouver で使用 廃止。	構成エラーをすばやく特定してアクションを実行するための	以前に DevOps コンフィグインサイトアプリケー

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		レポートを表示します。	ションでリリースされた DevOps コンフィグインサイトダッシュボードが、DevOps Config アプリケーションでリリースされるようになりました。この変更に伴って必要な顧客アクションはありません。
Employee Campaigns for Workplace from Facebook [com.snc.sn_fb_wp_campaigns]	Xanadu で廃止	コンテンツをキャンペーンにパッケージ化し、Workplace from Facebook のグループにコンテンツを公開できます。	代替品はありません。このアプリケーションを使用している場合は、サポートされていないアプリケーションをカスタムコードとして維持するオプションがあります。
フィールドサービス管理 (FSM) モバイル (従来) [com.snc.work_management_m]	Vancouver で使用廃止。	組織が場所に基づく作業をより効率的かつ安全に管理するのに役立ちます。	フィールドサービス管理 (FSM) モバイルのすべての機能を提供する新しい Field Service Mobile アプリケーション (com.sn_fsm_mobile) に移行すると、ネイティブエクスペリエンスとオフライン機能が向上します。
フィールドサービスマップ [com.snc.fsm_map]	Xanadu で廃止	エージェント、タスク、およびエージェントルートを表示するためのディスパッチマップを表示します。	フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドランスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
FSM Agent クラシックワークスペース [com.snc.agent_workspace.fsm]	Xanadu で廃止	—	フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドランスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
Global Reporting Initiative (GRI) Content Accelerator for ESG [com.sn_esg_gri]	Xanadu で廃止	各種法令・基準等および引用などの ESG フレームワークを提供し、関連するメトリクスの定義を提供します。	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator アプリケーションをインストールします。ガイダンスについては、「 ESG content accelerator 」を参照してください。
Google Hangouts スポーク [com.sn.ghangouts.spoke]	Vancouver で使用廃止。	ServiceNow でイベントが発生したときに Google Hangouts タスクを実行するアクションが提供されます。	カレンダーのスケジュール設定に Google Hangouts スポークを使用している場合は、 移行ガイド [KB1288254] で、ServiceNow Store での Google カレンダーアプリケーションのインストールと構成に関するガイダンスを参照してください。
HR エージェントモバイル [com.sn_hr_mobile_agent]	Xanadu で廃止	—	代替品はありません。このプラグインを使用している場合は、サポートされていないプラグインをカスタムコードとして維持するオプションがあります。
HR エージェントワークスペース [com.sn_hr_agent_workspace]	Xanadu で廃止	HR サービスデリバリエージェントワークスペースを使用して、迅速に従業員とやり取りし、問い合わせに対応し、問題を解決することができます。	ケース管理用の HRSD 構成可能なエージェントワークスペースをインストールして構成します。ガイダンスについては、「 Agent Workspace for HR Case Management (Configurable) 」およびこの コミュニティの記事 を参照してください。
HR サービスデリバリ (HRSD) v1.0 (従来) [com.snc.hr.core.cms、com.snc.hr.core、com.snc.hr.connect、com.snc.hr.ga、com.snc.hr.service_portal、com.snc.hr.service_portal]	Xanadu で廃止	エンタープライズの生産性を向上させ、従業員に対して適切なサービスエクスペリエンスを提供します。	ヒューマンリソース (HR) Core v2.0 スコープ対象のアプリケーション

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		リエンスを提供します。	[com.sn_hr_core]に移行します。
HTML プロセッサ [該当なし]	Washington DC で廃止		インスタンスでこの機能を無効にする手順については、KB1119956を確認してください。
Human Resources Scoped App: Data Migration [sn_hr_migration]	Xanadu で廃止	HR テーブルおよびロールを、HR のスコープ外バージョンからスコープ対象バージョンに移行できます。	—
Human Resources Scoped App: Parental Journey [com.sn_hr_parental_journey]	Xanadu で廃止	HR 組織における育児休暇 (LOAs) のパッケージ済み構成を提供します。育児休暇には、マタニティ休暇、パタニティ休暇、養子縁組休暇などがあります。	—
仮想エージェントの IE11 サポート [com.glide.cs.chatbot、com.glide.cs.chatbot.lite]	IE11 ブラウザーのサポートは終了しました。		
Instance Security Center (インスタンスセキュリティセンター) [sn_isc_core, sn_isc_nlu, sn_isc_va]	Xanadu で廃止	インスタンスセキュリティコントロールのコンプライアンスレベルの監視、セキュリティイベントモニタリングメトリクスの表示、インスタンスセキュリティ設定の構成と維持はすべて、インスタンスセキュリティセンター内から行います。	ServiceNow Store で ServiceNow Security Center をインストールします。ガイダンスについては、「」を参照してください。
アイテムデザイナー [com.glideapp.servicecatalog.itemdesigner]	Washington DC で廃止	サービスカタログアイテムデザイナーでは、アドミニストレーターではないユーザーがカタログアイテムを作成、保守、公開できます。構造化されたデザインと公開プロセスが使用され、一貫性の	カタログビルダープラグインは、すべてのインスタンス (com.glideapp.servicecatalog.catalogbuilder) で、デフォルトで有効になっています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		ある使用が確保されます。	
ITSM エージェントワークスペースと CMDB エージェントワークスペース [com.snc.agent_workspace.itsm、com.snc.agent_workspace.cmdb、com.snc.agent_workspace.workspace]	Washington DC で廃止	ITSM エージェントワークスペースを使用して、ITSM エージェントワークスペースのエンタナリングページから com.snc.agent_workspace.itsm をインストールし、IT フルフィルメントボリュームをより効率的に管理します。	ServiceNow Store から ITSM のサービスオペレーションアプリケーションをインストールします。
ITSM のワークフォース最適化 [sn_wfo_itsm、sn_wfo_itsm_cnt]	Vancouver で使用廃止。	1 か所で人員の生産性を管理および維持できます。	ServiceNow Store で ITSM のワークフォース最適化構成可能ワークスペースアプリケーションをインストールします。
ServiceNow DevOps 用の Jenkins プラグイン	Xanadu で廃止	ServiceNow DevOps プラグインは Jenkins のデフォルトの動作を拡張し、ServiceNow 変更管理アプリケーションを通じてジョブ実行を制御するメカニズムを提供します。	このアプリケーションの今後のリリースはすべて、 Jenkins Store から直接インストールしてください。
ジャーニーアクセラレーター v4.0.3 以前 [com.sn_ja]	Washington DC で廃止	計画や To-Do タスク用のテンプレートを作成できます。マネージャーはテンプレートを使用して、主要な従業員の移行に対応するカスタマイズされた計画を作成および公開します。マネージャー、従業員、メンターは、従業員センター (EC) から計画にアクセスできます。	置き換えのジャーニーデザイナーアプリケーションに移行します。ジャーニーデザイナーによって、ジャーニーデザイナーでサポートされるバージョンのジャーニーアクセラレーター v5.0+ が自動的にインストールされます。
Map プラグイン [com.snc.fsm_map]	Vancouver で使用廃止。	エージェント、タスク、およびエージェントルートを表示するためのディスパッチマップを表示します。	Dispatcher Workspace プラグイン [com.snc.uib.fsm_dispatcher_workspace] をアクティブ化します。
モバイルスタジオ [com.glide.sg-studio]	Washington DC で廃止	任意の ServiceNow モバイルアプリで使用するモバイルコンポー	モバイルアプリビルダーに移行します。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		ネットの作成および変更にはモバイルスタジオを使用します。	
オペレーターワークスペースと CMDB エージェントワークスペース [com.itom-noc-app、com.oi-scoped-app、com.sn-em-ai-action、com.sn-em-hidden-component com.sn-em-ai-overview、com.sn-em-metric、com.sn_log_viewer com.cmdb-workspace]	Washington DC で廃止		ServiceNow Store から ITOM のサービスオペレーションワークスペースアプリケーションをインストールします。
製品モデルとカタログアイテムの関係 [com.snc.product_catalog_relationship]	Washington DC で廃止	顧客が製品モデルとカタログアイテム間で関係を作成することにより、製品のサービスを要求するセルフサービスを有効にします。	カスタマーサービスケースタイププラグイン (com.snc.csm_case_types) をインストールし、サービス定義機能を使用します。
RPA Sample Template [com.sn_rpa_template]	Xanadu で廃止	RPA テンプレートは、顧客が RPA イニシアチブを開始できるようにするビルド済みの自動化ツールです。	ServiceNow Store から RPA Hub バージョン 9.0.0 以降をインストールします。 - ドキュメントのガイドランスに従って、RPA デスクトップデザインスタジオをダウンロードしてインストールします。 - RPA デスクトップデザインスタジオのホームページからテンプレート (サンプル自動化と呼ばれる) にアクセスできます。RPA デスクトップデザインスタジオを開き、ホームページで「自動化プロジェクト」を選択して、サンプル自動化のリストを表示します。詳細につ

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			いては、ドキュメントを参照してください。
サービスブリッジ (レガシー) [com.sn_nowebonding]	Xanadu で廃止	顧客がプロバイダーにサービス要求を送信し、これらの要求を監視できるようにします。	- ServiceNow Store から Service Bridge for Consumers アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します。 - サービスブリッジのプロバイダーに連絡して、新しいサービスブリッジアプリケーションへの移行を調整してください。テストと移行をプロバイダーと調整する必要があります。準備ができたら、新しいアプリケーションに接続するための登録リンクが送信されます。
Service Bridge for Providers (Legacy) [com.sn_nowebonding_provider]	Xanadu で廃止	プロバイダーが顧客のカタログを公開し、カスタマーサービス要求を受信して履行できるようにします。	- ServiceNow Store から Service Bridge for Providers アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します。 - KB1499823 のガイドンスに従って、構成を移行 - コンシューマーに ServiceNow Store から新しい Service Bridge for Consumers アプリケーションをインストールしてもらいます。新しいアプリケーションをコンシューマーとともにテ

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			ストします。検証が完了したら、サービスブリッジ (レガシー) コンテンツのエンタイトルメントを削除し、Service Bridge for Providers のコンテンツにエンタイトルメントを付与します。
Service Graph Connector for Extra Hop [com.snc.cmdb.extrahop_integration]	Xanadu で廃止	ExtraHop アプリケーションから ServiceNow インスタンスにデータをプルする機能を提供します。	ServiceNow Store で ExtraHop Reveal(x) のサービスグラフコネクタアプリケーションをインストールします。このアプリケーションは ExtraHop が所有しています。
サービス管理位置情報管理モバイル [com.snc.service_management_m]	Vancouver で使用廃止。	サービス管理位置情報管理のモバイル UI のメニューを提供します。	サービス管理位置情報管理のすべての機能を提供する新しい Field Service Mobile アプリケーションに移行すると、ネイティブエクスペリエンスが向上します。
標準化された情報収集 (SIG) アセスメント [com.snc.sig_asmt_core]	Vancouver で使用廃止。	Excel シートを介して SIG Questionnaire に回答をインポートするために必要なプロセッサ。	GRC: SIG Questionnaire Integration [com.sn_sig_asmt] ストアアプリケーションに移行します。
標準化された情報収集 (SIG) アンケート [com.sn_sig_app]	Vancouver で使用廃止。	2018 および 2019 SIG Questionnaire コンテンツで配布されたストアアプリケーション。このコンテンツは ServiceNow によりサポートされなくなりました。	サポートされているバージョンの SIG Questionnaire (2023、2022、2021) を含む GRC: SIG Questionnaire Integration [com.sn_sig_asmt] ストアアプリケーションに移行します。
Sustainability Accounting Standards Board (SASB) Content Accelerator for ESG	Xanadu で廃止	SASB Accelerator は、ESG Management and	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator ア

プラグイン	ステータス	説明	詳細
[com.sn_esg_sasb]		Reporting アプリケーションで使用するよう設計されているため、顧客は SASB フレームワークを簡単に採用して ESG 開示を作成できます。	プリケーションをインストールします。ガイドランスについては、「 ESG content accelerator 」を参照してください。
Tanium Integration V2 for Security Operations [com.snc.secops.tanium.v2]	Vancouver で使用廃止。	Tanium 機能の拡張ユースケースをサポートします。	Tanium からリリースされた Tanium Integration for Security Operations を ServiceNow Store でインストールします。
CSM のワークフォース最適化 (従来) [com_snc_wfo_csm]	Vancouver で使用廃止。	マネージャー、スーパーバイザー、およびチームリードに Channel Management、チームパフォーマンス、スケジューリング、スキル決定、およびコーチング機能を提供し、カスタマーサービスチームの品質と効率を向上させ、チームの満足度を高めます。	ServiceNow Store で入手可能な CSM のワークフォース最適化 アプリケーションに移行します。UI ビルダーを使用してカスタマーサービスのワークフォース最適化を構成することができます。
ITSM のワークフォース最適化 (従来) [com.snc.wfo_itsm]	Vancouver で使用廃止。	従来のワークスペースの 1 つの場所から人員の生産性を管理および維持できます。	ServiceNow Store で入手可能な ITSM のワークフォース最適化 (sn_wfo_cfg_itsm) アプリケーションに移行します。UI ビルダーを使用して IT Service Management のワークフォース最適化を構成することができます。

廃止予定のプラグイン

この表は、将来のリリースで廃止が予定されている既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
リリース管理 [com.snc.release_management_v2]	2031 年 6 月または契約期間終了日	計画されたリリースとそのリリースの実行に必要なタスクに	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
	のいずれか早い方を予定	関する情報を格納するリリーステーブルを提供します。	
Healthcare Computerized Maintenance Management システム [com.sn_hcls_cmms]	2029 年 9 月または契約期間終了日のいずれか早い方に廃止予定	医療デバイス関連の稼働中プロセス、代替機器メンテナンス (AEM) レビュープロセス、医療デバイスの問題、およびサービス停止プロセスを管理	医療向けエンタープライズ資産管理には、CDMv2 SKU が必要です。担当アカウントエグゼクティブにお問い合わせください。 • ServiceNow Store から医療向けエンタープライズ資産管理アプリケーションをインストールし、Install Enterprise Asset Management for healthcare のドキュメントで構成ガイダンスを確認します。 • エンタープライズ資産の作業指示を作成および管理するための Managing work orders for your enterprise assets ドキュメントを確認します。 • Field Service Management は、医療向け EAM に依存するため、前提条件としてインストールする必要があります。
クラウドインサイト請求 [sn_clin_billing]	Z リリースで廃止予定	クラウドインサイト請求アプリケーションは、プロビジョニングされた Amazon Web Services (AWS)、Google Cloud Platform (GCP) および Microsoft Azure	—

c.portfolio sa

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			Agile Planning の使用を開始します。
タイムライン可視化/CIO ロードマップ [com.snc.timeline_visualization]	Z リリースで廃止予定	インシデント、問題、変更、プロジェクトなど、組織の戦略的および運用上のアクティビティを高レベルに表示するために時間経過の中でアクティビティをグラフィカルに表現できるようにします。	ServiceNow Store から ポートフォリオ計画 (標準顧客) または 戦略的計画 (Pro 顧客) アプリケーションをインストールします。これらのワークスペース内で利用可能なロードマップ機能のガイダンスについては、 Planning roadmaps in Portfolio Planning または Roadmaps in Strategic Planning ドキュメントを確認してください。この機能の最新のエクスペリエンスを提供するポートフォリオ計画ワークスペース (SPM Standard) アプリケーションに移行します。
ヒューマンリソース (HR) : ライフサイクルイベント - パフォーマンスアナリティクス [com.sn_hr_lifecycle_pa]	Z リリースで廃止予定	—	—
データ認定 [com.snc.certification_v2]	Z リリースで廃止予定	データ認定は、構成管理データベース (CMDB) データのスケジュール検証およびオンデマンド検証を管理します。	CMDB データマネージャー機能を使用するには、 ServiceNow Store から CMDB ワークスペース v6.0+ アプリケーション (Washington D.C. 以降と互換性あり) をインストールします。「 Working with CMDB Data Manager 」を参照してください。
インスタントトラブルシューティングツール [com.sn_troubleshooter]	Y リリースで廃止予定	—	次のいずれかの代替アプリケーションに移行します。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			- デフォルトでインスタンスにインストールされているインスタンスキャンツールを使用します。製品ドキュメントをレビューします。 ServiceNow Impact パッケージで利用可能なヘルスキャン製品を評価します。アカウントチームと協力して、この製品の使用に必要な Impact パッケージを調達します。
Enterprise Employee Experience Pack [app-hr-swc-content]	Z リリースで廃止予定	事前設定されたプロセスフローとサンプルコンテンツを提供し、複数部門にまたがるエンタープライズ規模のユースケースの迅速な実装に役立ちます。	—
Application Insights [sn_app_insights]	Z リリースで廃止予定	Application Insights は、システムの健全性の視覚化と監視を一元的に行える場所を提供します。	Impact packages で利用可能な Impact Instance Observer 製品を評価します。アカウントチームと協力して、この製品の使用に必要な Impact パッケージを調達します。
ワークプレイスサービスデリバリーと Mappedin との統合 [com.sn_wsd_mappedin]	Z リリースで廃止予定	インタラクティブなデジタルマッピングソリューションを提供します。	ServiceNow Store からインストアマッピングアプリケーションをインストールします。
DevOps コンフィグ [com.snc.devops_config]	顧客固有の DevOps コンフィグアプリケーション契約終了期間に廃止予定。	単一のシステムを使用して、DevOps 環境で構成データを管理および検証します。	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
• DevOps コンフィグエクスポートコンテンツパック [com.snc.devops.config.exporter.content] • DevOps コンフィグポリシーコンテンツパック [com.snc.devops.config.policy.content] • 構成データ管理 [com.sn_cdm] • 構成データ管理 UI のコンテキストメニューコンポーネント [com.servicenow_cdm_context_menu]			
GRC : DevOps アクセラレーター [com.sn_grc_devops]	Y リリースで廃止予定	顧客が DevOps ポリシーおよび GRC コントロール目標と Policy as a Code Engine (PaCE) とのコンプライアンスを評価できるようにします。	—
ITSM の予測インテリジェンスワークベンチ [com.sn_piwb_itsm_content]	Y リリースで廃止予定	顧客がドメイン固有のコンテンツをシェアして、予測インテリジェンスワークベンチで作成されたユースケースの実装ガイダンスを提供できるようにします	ServiceNow Store から ITSM のタスクインテリジェンスアプリケーションをインストールし、タスクインテリジェンスアドミンコンソールを使用します。詳細については、 Task Intelligence for ITSM のドキュメントを参照してください。
法務顧問センター従来 [com.sn_lg_workspace] および 法務顧問センターコンポーネント [com.sn_lg_ws_comps]	Y リリースで廃止予定	法務顧問センター従来により、法務部門のメンバー、法務問題を分類、優先順位付けし、効率的に対処できるようになります。	ServiceNow Store から法務顧問センターアプリケーションをインストールし、 Legal Counsel Center のドキュメントを確認します。
カスタマーサービス管理 (CSM) 用注文管理 [com.sn_csm_order_mgmt]	2028 年 9 月または注文管理のサブスクリプション期間の終了日 (いずれか早い方) に廃止予定	注文管理には、注文を作成、管理、および追跡する機能があります。	ServiceNow Store から新しい注文管理アプリケーションをインストールします。
IBM 動的翻訳 [com.glide.ibm_translation_spoke]	2024 年 12 月に廃止予定	このスポークはストアで入手可能	IBM は、Watson

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		で、ServiceNow の動的翻訳プラグインと連携します。代替の翻訳サービス (Google、Microsoft) が利用可能です。	Language Translator の提供終了と 2024 年 6 月 10 日のサポート終了、2024 年 12 月 10 日の完全な削除を発表しました。 Dynamic Translation のドキュメントで、Google および Microsoft で利用可能な動的翻訳サービスを確認してください。
Site Reliability Metrics および [com.sn_srm]	Y リリースで廃止予定	一般にサービスレベルインジケータ (SLI) と呼ばれるアプリケーションパフォーマンス管理 (APM) ツールから、アプリケーションパフォーマンスのシグナルをキャプチャします。その後 SRM アプリケーションで、サービスレベル目標 (SLO)、エラー予算 (EB)、およびポリシーベースのアクションを作成できます。	ServiceNow Store からサービスリライアビリティ管理アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を読んでアプリケーションと機能の詳細を確認してください。
サイトリライアビリティオペレーション [com.sn_srops]	Y リリースで廃止予定	チームをオンボーディングし、短時間でサービスを登録することで、単一ワークスペース内のマイクロサービスのヴィジビリティを向上させます。Webhook 統合を介してテレメトリーにすばやく連携することで観測可能性を向上させ、アラートの自動化によってインシデントをより迅速に解決します。	ServiceNow Store からサービスリライアビリティ管理アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を読んでアプリケーションと機能の詳細を確認してください。
ナレッジ管理 v3 [com.snc.knowledge3]	Y リリースで廃止予定	ナレッジ管理 v3 ホームページは、Washington DC リリース以降、	Configuring Knowledge Management のガイダンスを

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		展開もアクティブ化もされなくなります。	使用してナレッジ管理サービスポータルプラグイン (com.snc.knowledge_serviceportal) をインストールして構成し、sn_km_portal.glide.knowledge システムプロパティを true に設定して、v3 ホームページからポータルへのリダイレクトをアクティブ化します。
設備サービス管理 [com.snc.facilities_service_automation.fvw]	2025 年 3 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	施設要求を管理し、ユーザーが場所別に要求を報告および追跡できるようにします。フロアプランの要求を表示するには、Facilities Visualization Workbench (com.snc.facilities_service_automation.fvw) プラグインが必要です。	ワークプレイスサービスデリバリーに移行します。
施設ビジュアル化ワークベンチ [com.snc.facilities_service_automation.fvw]	2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	インタラクティブなフロアプラン機能を有効にします。	Workplace Service Delivery に移行します。
Finance Service Management [com.snc.finance_service_automation.fvw]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Finance Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	—
ITSM Pro - Service Owner Workspace [com.spm_owner_workspace]	サブスクリプション期間の終了時またはデジタルポートフォリオ管理への移行時に廃止予定。	プレミアムなサービスポートフォリオ管理エクスペリエンスを提供します。ポートフォリオマネージャーとサービスオーナーは、直観的に操作できる統合されたグラフィカルユーザーインター	ServiceNow Store のデジタルポートフォリオ管理に移行します。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		フェイスを利用して、ポートフォリオとサービスの管理や監視を行います。	
MaestroRS [app-irm-bcm]	顧客固有の MaestroRS アプリケーション契約終了期間に廃止予定。	—	ServiceNow Store の 4 つの事業継続性管理代替アプリケーションをアクティブ化します。 • GRC：事業継続性管理 – コア • GRC：事業継続性計画 • GRC: ビジネスインパクトアナリシス • GRC：事業継続性管理 – コンポーネント
マーケティングサービス管理 [com.snc.marketing_service_automation]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Marketing Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	—
統合ハブ用 Microsoft AD スポーク [com.sn.ad.spoke]	契約終了日または 2028 年 3 月 (いずれか早い方) に廃止予定。	プロセスアナリストがフローをデザインするときに使用できるアクションを提供します。これらのアクションにより、AD のユーザー、グループ、コンピューターおよびオブジェクトの管理を自動化できます。	ServiceNow Store で Microsoft Active Directory v2 スポークアプリケーションをインストールします。ガイドランスについては、「 移行ガイド [KB1284583] 」を参照してください。
ソーシャル Q&A [com.sn_kb_social_qa]	将来のリリースで廃止予定。	ユーザーによる質問と回答、および質問と回答に対する投票を可能にします。ソーシャル Q&A はナレッジアプリケー	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		ションを拡張し、ユーザー基準や複数のナレッジベースなどの既存のナレッジ機能を使用します。	
トラステッドセキュリティサークル [sn_ti]、[sn_tis_a]	2023 年 9 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	—	—
Vendor Performance Management [com.snc.vendor_performance]、 [com.snc.vendor_ticket]	2024 年 3 月またはサブスクリプション期間終了時に廃止予定。	ベンダーデータを測定、管理、追跡し、独自のグラフィカルビューでパフォーマンス特性を比較する機能を提供します。	ITSM Pro v2 サブスクリプションパッケージに含まれるベンダー管理ワークスペースに移行します。

Vancouver から Xanadu に名前変更および変更されたプラグイン

この表は、Vancouver、Washington DC、または Xanadu で名前が変更されたか、変更された既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
アプリケーションポートフォリオ管理 [com.snc.apm]	Xanadu で名前を変更	このプラグインは、企業がビジネスアプリケーションインベントリを可視化し、ビジネスアプリケーションを合理化し、ビジネスコンテキストを提供し、各ビジネスアプリケーションのビジネス価値を決定するのに役立ちます。また、ビジネスアプリケーションのテクノロジー (ソフトウェアとハードウェア) コンポーネントを理解し、組織の情報資産とそれらの情報資産のビジネスアプリケーションの使用をキャプチャするのに役立ちます。	プラグイン名が Enterprise Architecture [com.snc.apm] に変更されています
Application Portfolio Management - ATF Tests [com.snc.apm.atf]	Xanadu で名前を変更	このプラグインは、エンタープライズアーキテクチャで実行できる ATF テストケースとテスト	プラグイン名が Enterprise Architecture - ATF Tests [com.snc.apm.atf] に変更されています

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		スイートを提供します。	
アプリケーションポートフォリオ管理 Core [com.snc.apm_core]	Xanadu で名前を変更	このプラグインには、デフォルトですぐに使用可能なエンタープライズアーキテクチャのコア機能が含まれています。	プラグイン名がエンタープライズアーキテクチャ Core [com.snc.apm_core] に変更されています
Application Portfolio Management Digital Integration Management [com.snc.apm_digital_integration]	Xanadu で名前を変更	ビジネスアプリケーション間のデジタル統合を管理するモデリングとフローを提供します。	プラグイン名が Digital Integration Management plugin [com.snc.apm_di] に変更されています
Application Portfolio Management - Predictive Intelligence [com.snc.apm.predictive_intelligence]	Xanadu で名前を変更	このプラグインは、エンタープライズアーキテクチャの予測インテリジェンスソリューションを提供します。ビジネスアプリケーション関連データの類似性と同様のアルゴリズムを適用して、予測に役立てます。	プラグイン名が Enterprise Architecture - Predictive Intelligence [com.snc.apm.predictive_intelligence] に変更されています
アプリケーションポートフォリオ管理 - TRM [com.snc.apm_trm]	Xanadu で名前を変更	このプラグインには、エンタープライズアーキテクチャの TRM ライフサイクルが含まれています。	プラグイン名が Enterprise Architecture - TRM [com.snc.apm_trm] に変更されています
Manufacturing Common [com.sn_mfg_common]	Vancouver で名前が変更されました。	Operational Technology ソリューションを使用できるようにする一般的な依存関係。	変更後の名前は産業用ワークスペース共通です。
Manufacturing Process Manager [com.sn_otsm]	Vancouver で名前が変更されました。	チームは各施設の産業用設備階層モデルと関連する生産プロセスをマッピングして可視化できます。	変更後の名前は産業用プロセスマネージャーです。
パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - アプリケーションポートフォリオ管理 [com.snc.pa.apm]	Xanadu で名前を変更	パフォーマンスアナリティクスプレミアム版を使用して開発されたエンタープライズアーキテクチャのダッシュボード。	プラグイン名が Performance Analytics - Content Pack - Enterprise Architecture [com.snc.pa.apm] に変更されています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
Performance Analytics - Content Pack - Application Portfolio Management and Change Management [com.snc.pa.apm.change_request]	Xanadu で名前を変更	エンタープライズアーキテクチャと、変更要求に関連付けられたビジネスアプリケーションのパフォーマンスアナリティクスダッシュボードが含まれている変更管理を統合した機能を提供します。	プラグイン名が「パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - Enterprise Architecture and Change Management [com.snc.pa.apm.change_request]
Performance Analytics - Content Pack - Application Portfolio Management and Problem Management [com.snc.pa.apm.problem]	Xanadu で名前を変更	エンタープライズアーキテクチャと、ビジネスアプリケーションのパフォーマンスアナリティクスダッシュボードが含まれている問題管理を統合した機能を提供します。	プラグイン名が Performance Analytics - Content Pack - Enterprise Architecture and Problem Management [com.snc.pa.apm.problem]
FSM 向けプロセス最適化コンテンツパック [com.snc.fsm_process_optimization]	Vancouver で名前が変更されました。	監査記録の作業指示タスクデータからビジネスプロセスフローを作成します。これによって、プロセスオーナーがプロセスの詳細な分析を行い、インサイトを発見して、ビジネスの成果を向上させることが可能になります。	変更後の名前は FSM 向けプロセスマイニングコンテンツパックです。
Read only roles for Application Portfolio Management [com.snc.apm_read_roles]	Xanadu で名前を変更	このプラグインは、エンタープライズアーキテクチャの読み取り専用ロールを提供します。	プラグイン名が Read only roles for Enterprise Architecture [com.snc.apm_read_roles]
ソフトウェア資産管理プレイブック [com.sn_sam_playbook]	Vancouver で名前が変更されました。	プレイブックおよびガイド付きセットアップは、毎日のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。	変更後の名前はソフトウェア資産管理プレイブック およびガイド付きセットアップです。
仮想エージェント API (sn_va_as_service)	Washington DC で変更されました。	チャットインターフェイスやボットを仮想エージェント	com.sn.omnichannel.callback プラグインは削除され、com.sn_ext_agent_management

自動翻訳

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		またはエージェントチャットと統合します。	プラグインが依存関係になりました。
ワークプレイス安全管理 [sn_wsd_core]	Vancouver で名前が変更されました。	職場の従業員のために、安全でシームレスな管理されたプロセスを作成するのに役立ちます。	変更後の名前はワークプレイスコアです。

メンテナンスモードのプラグイン

次の表は、メンテナンスモードの既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
CSM 向け高度なワークアサインメント [com.sn_csm.awa]	メンテナンスモードのみ。	カスタマーサービス (com.sn_customerservice) プラグインをアクティブ化すると、このプラグインが有効になります。	—
CMS ユーザーインターフェイス - サービス管理 Core [com.snc.service_management.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	コア IT セルフサービスアプリケーションを参照するために使用されるすべてのコンテンツ管理システムアイテム (ブロック、ページ、およびメニュー) は、このプラグインにパッケージ化されています。また、すべての サービス管理アプリケーションのコア基盤でもあります。	—
コンテンツ管理 [com.glide.cms]	メンテナンスモードのみ。	—	—
コンテンツ管理 Extended Types [com.glide.cms.types]	メンテナンスモードのみ。	iFrames と Flash フレームを追加するコンテンツ管理の拡張。 新規開発には CMS の代わりに サービスポータル を使用します。サービスポータル は、洗練されたユーザーエクスペリエンスを備えた CMS の代替手段であり、デ	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		フォルトでベースシステムで有効になっています。詳細については、「 Service Portal 」と「 Content Management and Service Portal 」を参照してください。	
コンテンツ管理 IFrame タイプ [com.glide.cms.type.iframe]	メンテナンスモードのみ。	—	—
Content Management Flash Type [com.glide.cms.type.flash]	メンテナンスモードのみ。	—	—
CSM アカウント階層 [com.snc.sn_csm_account_hierarchy]	メンテナンスモードのみ。	—	—
CSM ルックアップと検証 [com.snc.sn_csm_lookup_verify]	メンテナンスモードのみ。	—	—
CSM Workspace - Components [com.csm_workspace_components]	メンテナンスモードのみ。	—	—
施設移動管理 [com.snc.facilities_service_automation.move]	メンテナンスモードのみ。 2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	単一ユーザーの移動機能と、エンタープライズ移動および移動計画機能が有効になります。	ワークプレイスサービスデリバリに移行します。
設備サービス管理 CMS ポータル [com.snc.facilities_service_automation.cms]	メンテナンスモードのみ。	—	—
設備サービス管理モバイル [com.snc.facilities_service_automation_m]	メンテナンスモードのみ。	設備サービス管理モバイルコンポーネントを管理します。	—
Field Service Management CMS Portal [com.snc.work_management.cms]	メンテナンスモードのみ。	Field Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを単一の CMS ページから起動できます。	—

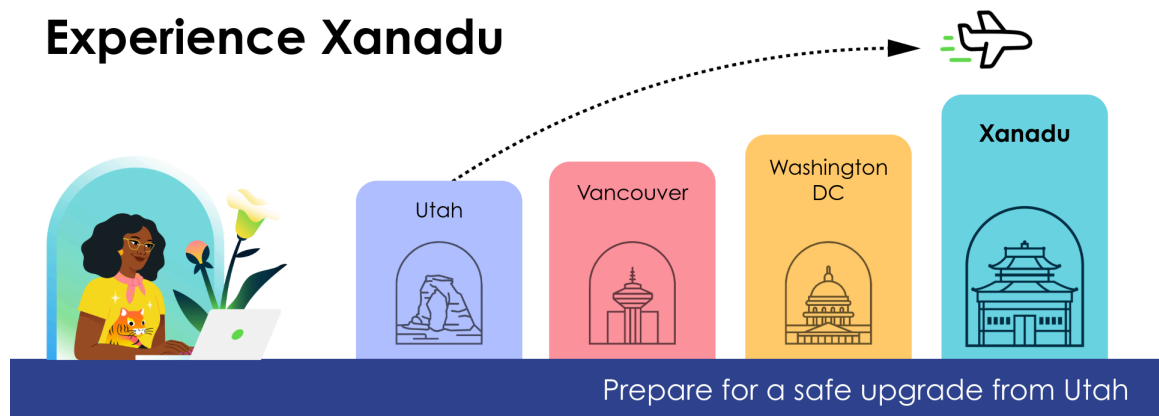
プラグイン	ステータス	説明	詳細
ヒューマンリソース (HR) スコープ対象のアプリ：Core CMS [com.snc.hr.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	HR のケースとナレッジ管理を提供します。従業員の問い合わせと要求の文書化、やり取り、および実行を標準化すると同時に、受信するケースの数とタイプを可視化します。	—
ルックアップと検証 [com.snc.sn_lookup_and_verify_config]	メンテナンスモードのみ。	—	—
サービスカタログ CMS Extension [com.glideapp.servicecatalog.cms]	メンテナンスモードのみ。	CMS 内でカタログエクスペリエンスを定義する機能を提供します。	—

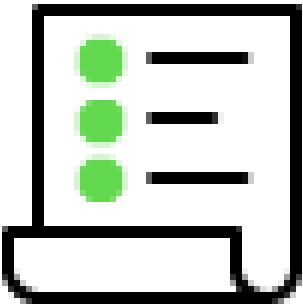
Utah からアップグレードのリリースノート

Utah リリースからアップグレードする場合は、各リリースバージョンの修正、ユーザーインターフェイスの重要な変更、ブラウザのサポート、プラグインの更新、および各機能のアップグレードと移行のタスク (該当する場合) を把握しておきましょう。

Utah から Xanadu へのアップグレード

Experience Xanadu



統合製品リリースノート  Utahから新機能の詳細情報Xanadu	カスタマイズされたPRB リリースノート  現在のバージョンと利用可能なターゲットバージョンの間で修正された問題のリストを生成	Utah から Xanadu へのプラグインの変更  新規、変更、名前変更、廃止されたプラグインのリスト
アクセシビリティと適合性  VPAT に基づくアクセシビリティのハイライトとアクセシビリティ適合性レポート	利用可能なパッチとホットフィックス  修正された問題のリリースノート	ブラウザサポート  サポートされているブラウザのバージョンと特定の製品の追加要件

Utah から Xanadu へのアップグレードの統合製品リリースノート

Utah から Xanadu へのアップグレードに役立つ情報として、各製品のファミリー共通リリースノートを 1 ページにまとめました。ご使用の製品を選択して、リリースノートの結果をカスタマイズしてください。

製品を選択して Utah から Xanadu のリリースノートを表示

以下の表には、Utah と Xanadu で使用可能な全製品が一覧表示されています。目的の製品を選択するには、[フィルター基準] 機能を使用します。テーブルがフィルタリングされ、選択した製品の統合リリースノートが表示されます。リンクをクリックすると、各製品の統合リリースノートが表示されます。

製品	統合リリースノート
アクセス管理	リンク
アカウントライフサイクルイベント	リンク
買掛金オペレーション	リンク
アドミンセンター	リンク
アダプションサービス	リンク
高度なゴールフレームワーク	リンク
高度なリスク	リンク
高度なワークアサインメント	リンク
エージェントチャット	リンク
エージェントチャットおよびサイドバー	リンク
エージェントクライアントコレクター	リンク
CSM のエージェントエクスペリエンス	リンク
HR ケース管理のエージェントワークスペース	リンク
Agile Development 2.0	リンク
AI 検索	リンク
アラインメントプランナーワークスペース	リンク
アナリティクス、インテリジェンス、レポート	リンク
API	リンク
App Engine Studio	リンク

製品	統合リリースノート
アプリケーション管理	リンク
アプリケーションマネージャー	リンク
アプリケーションポートフォリオ管理	リンク
アプリケーション脆弱性対応	リンク
アセスメントとサーベイ	リンク
Audit Management	リンク
認証	リンク
自動テストフレームワーク (ATF)	リンク
ベンチマーク	リンク
事業継続性管理	リンク
キャリアアセスメント	リンク
Career conversations (キャリア対話)	リンク
ケースとナレッジ管理	リンク
CSM のケース管理	リンク
変更管理	リンク
臨床機器管理	リンク
クローンアドミンコンソール	リンク
クラウドコスト管理	リンク
クラウドコスト管理 8.0.0	リンク
Cloud Provisioning and Governance	リンク

製品	統合リリースノート
コーチング	リンク
コラボレーションワーク管理	リンク
企業保険請求	リンク
共通ガバナンス、リスク、コンプライアンス機能	リンク
共通の GRC 機能	リンク
コンプライアンスケース管理	リンク
コンフィギュレーションコンプライアンス	リンク
構成管理データベース (CMDB)	リンク
コンテナ脆弱性対応	リンク
Continuous Authorization and Monitoring	リンク
Continuous Authorization and Monitoring (CAM)	リンク
対話型インターフェース	リンク
対話型インターフェースのホーム	リンク
Core Now Platform	リンク
クリエイタースタジオ	リンク
カスタマー契約とエンタイトルメント	リンク
カスタマーサービス管理 (CSM)	リンク
ダッシュボード	リンク
データディスカバリー	リンク
データ管理	リンク

製品	統合リリースノート
CSM のデータ管理	リンク
データプライバシー	リンク
データ分離	リンク
ディシジョンビルダー	リンク
ワークフロースタジオの意思決定テーブル	リンク
委託開発	リンク
DevOps チェンジベロシティ	リンク
DevOps コンフィグ	リンク
デジタルエンドユーザーエクスペリエンス	リンク
デジタルポートフォリオ管理	リンク
米国の規制の異議申し立てコンテンツパック	リンク
Mastercard の異議申し立てルールコンテンツパック	リンク
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	リンク
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	リンク
ドキュメントサービス	リンク
ドキュメントテンプレート	リンク
動的翻訳	リンク
従業員センター	リンク
従業員ドキュメント管理	リンク
従業員ジャーニー管理	リンク

製品	統合リリースノート
労務 (ER)	リンク
EMR Help	リンク
暗号化キー管理	リンク
エンタープライズアーキテクチャ (旧称アプリケーションポートフォリオ管理)	リンク
エンタープライズ資産管理	リンク
環境、社会、ガバナンス管理	リンク
Equifax スポーク	リンク
ERP キャンバス	リンク
ERP Customization Mining	リンク
ERP データハブ	リンク
ESG Management	リンク
イベント管理	リンク
戦略的ポートフォリオ管理向けパワーポイントへのエクスポート	リンク
フィールドサービス管理 (FSM)	リンク
Financial Services Business Deposit Operations	リンク
Financial Services Business Lifecycle	リンク
Financial Services Business Loan Operations	リンク
ファイナンスサービスカードオペレーション	リンク
Financial Services Client Lifecycle	リンク

製品	統合リリースノート
Financial Services Complaint Management	リンク
Financial Services Credit Operations	リンク
Jack Henry Associates jXchange のファイナンシャルサービス統合	リンク
Socure のファイナンシャルサービス統合	リンク
ファイナンシャルサービスオペレーションコア	リンク
FRISS のファイナンシャルサービスオペレーション統合	リンク
Guidewire のファイナンシャルサービスオペレーション統合	リンク
Jack Henry jXchange のファイナンシャルサービスオペレーション統合	リンク
Visa とのファイナンシャルサービスオペレーション	リンク
ファイナンシャルサービスオペレーションプラットフォームアナリティクスソリューション	リンク
Financial Services Payment Operations	リンク
Financial Services Personal Deposit Operations	リンク
Financial Services Personal Loan Operations	リンク
Financial Services Treasury Operations	リンク
フローデザイナー	リンク
ワークフロースタジオでのフロー、サブフロー、およびアクション	リンク
生成 AI コントローラー	リンク
ゴールフレームワーク	リンク
SPM のゴールフレームワーク	リンク

製品	統合リリースノート
ガバナンス、リスク、コンプライアンス	リンク
Granular Delegation	リンク
Group Life Servicing	リンク
ハードウェア資産管理 10.0.0	リンク
ハードウェア資産管理 11.0.0	リンク
ハードウェア資産管理 5.0	リンク
ハードウェア資産管理 7.0.0	リンク
ハードウェア資産管理 8.0.0	リンク
ヘルスケアおよびライフサイエンスサービス管理コア	リンク
Healthcare Computerized Maintenance Management システム	リンク
ヘルスログアナリティクス	リンク
Hermes Messaging Service	リンク
HR サービスデリバリー (HRSD)	リンク
HR サービスデリバリー用ケースとナレッジ管理	リンク
医療向け HR サービスデリバリー	リンク
Magnit の HR サービスデリバリー統合	リンク
HR Service Delivery Integration with Workday Learning	リンク
ID	リンク
ID と認証	リンク
インポートとエクスポート	リンク

製品	統合リリースノート
インシデント管理	リンク
個人向け生命保険請求	リンク
Individual Life Servicing	リンク
産業用プロセスマネージャー	リンク
Industry 製品	リンク
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	リンク
Instance Scan	リンク
統合ハブ	リンク
CSM のインテリジェンス	リンク
Intelligent Service Delivery	リンク
Intelligent Servicing for Fraud	リンク
投資枠管理	リンク
ITOM クラウドアクセラレート	リンク
ITOM ヘルス	リンク
ITOM 最適化	リンク
ITOM 最適化 ITOM 最適化	リンク
ITOM ヴィジビリティ	リンク
ITSM エージェントワークスペース	リンク
ITSM モバイルエージェント	リンク
ITSM 予測インテリジェンスワークベンチ	リンク

製品	統合リリースノート
ITSM サクセスダッシュボード	リンク
ITSM 仮想エージェント	リンク
ジャーニーデザイナー	リンク
ジャーニーデザイナー 2.0	リンク
ナレッジ管理	リンク
リーダーハブ	リンク
リード管理	リンク
ラーニング	リンク
法務サービスデリバリ	リンク
ローカリゼーションフレームワーク	リンク
Manager Hub	リンク
製造業営業オペレーション	リンク
Manufacturing Process Manager	リンク
メンタリング	リンク
メトリックベース	リンク
MID サーバー	リンク
Mobile	リンク
モバイルプラットフォーム	リンク
Natural Language Query	リンク
自然言語理解 (NLU)	リンク

製品	統合リリースノート
Next Experience	リンク
Next Experience コンポーネント	リンク
ネクストエクスペリエンス開発者 (NED) ツール	リンク
Next Experience 開発者ツール	リンク
Next Experience ユーザーインターフェイス	リンク
Notifications	リンク
通知	リンク
Now Assist	リンク
クリエイターの Now Assist	リンク
CSM の Now Assist	リンク
CSM の Now Assist	リンク
FSM の Now Assist	リンク
FSO の Now Assist	リンク
HR サービスデリバリー (HRSD) 向け Now Assist	リンク
IT Operations Management (ITOM) の Now Assist	リンク
IT Service Management (ITSM) の Now Assist	リンク
Security Operations の Now Assist	リンク
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist	リンク
電気通信、メディア、および技術 (TMT) の Now Assist	リンク
仮想エージェントの Now Assist	リンク

製品	統合リリースノート
Now Mobile アプリ	リンク
Omnichannel Callback	リンク
オンコールスケジューリング	リンク
オペレーショナルレジリエンス	リンク
オペレーショナルテクノロジー変更管理	リンク
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理	リンク
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 v2	リンク
オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理	リンク
オペレーショナルテクノロジーマネージャー	リンク
オペレーショナルテクノロジー要求管理	リンク
オペレーショナルテクノロジー脆弱性対応	リンク
オポチュニティ管理	リンク
Opportunity Marketplace (オポチュニティマーケットプレイス)	リンク
注文管理	リンク
カスタマーサービス管理 (CSM) 向け注文管理	リンク
電気通信、メディア、テクノロジー向け注文管理	リンク
パスワードリセット	リンク
Patient Support Services	リンク
パフォーマンスアナリティクス	リンク
パフォーマンスアナリティクス ITSM ダッシュボード	リンク

製品	統合リリースノート
個人向け保険請求	リンク
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	リンク
プラットフォームアナリティクスワークスペース	リンク
プラットフォームセキュリティ	リンク
ワークフロースタジオのプレイブック	リンク
ポリシーとコンプライアンス管理	リンク
ポートフォリオ計画	リンク
予測インテリジェンス	リンク
Pre-Visit Management	リンク
プライバシー管理	リンク
プロアクティブエンゲージメント	リンク
プロアクティブプロンプト	リンク
Proactive Service Experience Workflows	リンク
Proactive Service Experience Workflows (テクノロジー)	リンク
Proactive Service Experience Workflows (電気通信)	リンク
プロアクティブトリガー	リンク
問題管理	リンク
プロセスオートメーションデザイナー	リンク
プロセスマイニング	リンク
プロセス最適化	リンク

製品	統合リリースノート
調達サービス管理	リンク
製品カタログ管理および Pricing Management	リンク
プロジェクトポートフォリオ管理	リンク
プロジェクトワークスペース	リンク
公共機関デジタルサービス	リンク
見積管理	リンク
Redox Inbound Integration	リンク
規制変更管理	リンク
リリース管理	リンク
レポート	リンク
リソース管理ワークスペース	リンク
レスポンスダッシュボード	リンク
Retail Operations (リテールオペレーション)	リンク
ロボティックプロセスオートメーション (RPA) ハブ	リンク
RPA Hub	リンク
販売契約管理	リンク
Scaled Agile Framework (SAFe)	リンク
スクリプティング	リンク
セキュリティセンター	リンク
セキュリティインシデントレスポンス	リンク

製品	統合リリースノート
セキュリティポスチャコントロール	リンク
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	リンク
サービスブリッジ	リンク
サービスブリッジ (テクノロジー)	リンク
サービスブリッジ (電気通信)	リンク
サービスビルダー	リンク
サービスカタログ	リンク
Microsoft Defender for IoT のサービスグラフコネクタ (Azure)	リンク
Microsoft Defender for IoT のサービスグラフコネクタ (オンプレミス管理コンソール)	リンク
Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合	リンク
ServiceNow IDE	リンク
ServiceNow SDK	リンク
IT Service Management のサービスオペレーションワークスペース	リンク
Service Operations Workspace for ITSM	リンク
サービスポータル	リンク
サービスポートフォリオ管理	リンク
サービスリライアビリティ管理	リンク
サイドバー	リンク
サイトマップジェネレーター	リンク

製品	統合リリースノート
スキルインテリジェンス	リンク
スキル管理	リンク
スマートアセスメントエンジン	リンク
ソフトウェア資産管理	リンク
ソーシングと調達オペレーション	リンク
SPM ベンチマーク	リンク
Strategic Planning	リンク
スタジオ	リンク
サブスクリプション管理	リンク
サプライヤーライフサイクル管理	リンク
サプライヤーライフサイクルオペレーション	リンク
システムクローン	リンク
システムアップデートセット	リンク
テーブルビルダー	リンク
App Engine のテーブルビルダー	リンク
人材開発	リンク
人材開発 Core	リンク
ITSM のタスクインテリジェンス	リンク
テクノロジープロバイダーサービス管理	リンク
通信ネットワークインベントリ	リンク

製品	統合リリースノート
通信事業サービス管理	リンク
通信事業サービスオペレーション管理	リンク
テーマビルダー	リンク
サードパーティリスク管理	リンク
脅威インテリジェンスセキュリティセンター	リンク
UI ビルダー	リンク
UI コンポーネント CLI 拡張機能	リンク
ユニバーサル要求	リンク
アップグレードセンター	リンク
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス	リンク
ワクチン接種アドミニストレーション管理	リンク
ベンダー管理ワークスペース	リンク
Verifi スポーク	リンク
仮想エージェント	リンク
Visa スポーク	リンク
ビジュアルタスクボード	リンク
脆弱性対応	リンク
Microsoft Defender for IoT の脆弱性対応 (オンプレミス管理コンソール)	リンク
脆弱性対応統合	リンク

製品	統合リリースノート
脆弱性対応と Claroty CTD の統合	リンク
Microsoft Defender for IoT との脆弱性対応の統合	リンク
Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (Azure)	リンク
ウォークアップエクスペリエンス	リンク
ワークフロースタジオ	リンク
カスタマーサービスのワークフォース最適化	リンク
HR のワークフォース最適化	リンク
ITSM のワークフォース最適化	リンク
ワークスペース	リンク
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	リンク

Utah から Xanadu へのプラグインの変更

Utah から Xanadu にアップグレードする前に、新規プラグインおよび廃止済み、名前変更済み、または何らかの変更があった既存のプラグインに関する情報をリリースノートで確認してください。

Utah、Vancouver、Washington DC プラグインの変更

詳細については、「[Utah plugin changes \(Utah でのプラグインの変更\)](#)」を参照してください。

詳細については、「[Vancouver plugin changes \(Vancouver でのプラグインの変更\)](#)」を参照してください。

詳細については、「[Washington DC plugin changes \(Washington DC プラグインの変更\)](#)」を参照してください。

廃止されたプラグイン

この表は、Utah、Vancouver、Washington DC、または Xanadu で廃止された既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
ウォークアップエクスペリエンスの Badge Reader Integration (com.snc.badge_reader から削除)	Washington DC で廃止	現場のウォークアップキューの場所で Badge Reader Integration アプリケーションを使用す	顧客のバッジリーダークライアントをビルドするためのガイドランスを確認します。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		ることで、ワークアップエクスペリエンスのユーザー満足度を向上させます。	
セントラルディスパッチ [com.snc.central_dispatch]	Washington DC で 廃止	未アサインタスクの リストビューとカレ ンダービューの両方 を提供します。	ディスパッチャ ワークスパー スプラグイン [com.snc.uib.fsm_dispatcher_work をインストールして 設定します。
従来のクラウドディスカバリーを 使用したクラウドディスカバリー のセットアップ	Xanadu で廃止	クラウドディスカバ リーを実行するた めのクラウドディス カバリーを設定し、 検出されたクラウ ドリソースを管理 するために Cloud Provisioning and Governance を使 用できるようにしま す。	ServiceNow Store でクラウドオペレ ーションワークスパー ス (COW) をインス トールします。
Cloud Native Operations [sn_k8s]	Washington DC で 廃止	Cloud Native Operations を使用 して、Kubernetes プラットフォームの 継続的な検出と監視 を実行します。	ServiceNow Store から Agent Client Collector for Visibility (ACC-V) アプリケーションを インストールし、 ドキュメントを確認 します。
Cloud Provisioning and Governance - Terraform Connector for IBM Cloud	Utah で使用廃止。		
Cloud Spend Dashboard (クラ ウド支出ダッシュボード) [sn_sam_cld_spend]	Xanadu で廃止	単一のダッシュボー ドで、ソフトウェ ア、プラットフォーム、およびインフラ ストラクチャを含む すべてのクラウド支 出を表示できます。	ServiceNow Store で Asset Executive Workspace をイン ストールします。
CMDB: IT Fundamentals [com.sn_apphealth]	Utah で使用廃止。		CMDB Data Workspace/ Insights and Data Foundation Dashboard に移行 します。
CMDB の検索 [com.snc.cmdb_search]	Vancouver で使用 廃止。	CMDB を検索する ための拡張機能を提 供します。	CMDB ワークス ペースに移行しま す。
コネクトサポート	Utah で使用廃止。	Connect メッセー ジングプラットフォーム	高度なワークアサイ ンメントと Agent

プラグイン	ステータス	説明	詳細
[com.glide.connect.support]		フォームをベースにビルドされており、キューを使用してサポートエージェントがリアルタイムのサポートをエンドユーザーに提供できるようにします。	Workspace 上のエージェントチャットに移行します。
Conversational Integration with Google Assistant [com.sn.va.google.assistant]	Vancouver で使用 廃止。	仮想エージェントが、仮想エージェントトピックを使用して Google の音声インターフェイスで要求者とやり取りできるようにします。	Google は、2023 年 6 月 13 日をもって会話型アクション機能を廃止しました。この廃止された機能への依存関係により、「Conversational Integration with Google Assistant」ストアアプリケーションのサポートも終了します。
CSM エージェントワークスペース [com.snc.agent_workspace.csm]	Washington DC で 廃止	CSM エージェントワークスペースを使用すると、カスタマーサービス管理 (CSM) を他のアプリケーションと統合できます。	ServiceNow Store から CSM Configurable Workspace アプリケーションをインストールします。
注文のカスタマーサービス管理 (CSM) (com.snc.csm.order)	Washington DC で 廃止	注文向けカスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、注文および注文明細のサポートをカスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションに追加します。	注文管理ストアアプリケーションをインストールします。
DevOps コンフィグインサイト [com.snc.devops.config.insights]	Vancouver で使用 廃止。	構成エラーをすばやく特定してアクションを実行するためのレポートを表示します。	以前に DevOps コンフィグインサイトアプリケーションでリリースされた DevOps コンフィグインサイトダッシュボードが、DevOps Config アプリケーションでリリースされるようになりました。この変更に伴って必要な顧客アクションはありません。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
Employee Campaigns for Workplace from Facebook [com.snc.sn_fb_wp_campaigns]	Xanadu で廃止	コンテンツをキャンペーンにパッケージ化し、Workplace from Facebook のグループにコンテンツを公開できます。	代替品はありません。このアプリケーションを使用している場合は、サポートされていないアプリケーションをカスタムコードとして維持するオプションがあります。
フィールドサービス管理 (FSM) モバイル (従来) [com.snc.work_management_m]	Vancouver で使用廃止。	組織が場所に基づく作業をより効率的かつ安全に管理するのに役立ちます。	フィールドサービス管理 (FSM) モバイルのすべての機能を提供する新しい Field Service Mobile アプリケーション (com.sn_fsm_mobile) に移行すると、ネイティブエクスペリエンスとオフライン機能が向上します。
フィールドサービスマップ [com.snc.fsm_map]	Xanadu で廃止	エージェント、タスク、およびエージェントルートを表示するためのディスパッチマップを表示します。	フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドンスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
FSM Agent クラシックワークスペース [com.snc.agent_workspace.fsm]	Xanadu で廃止	—	フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドンスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
Global Reporting Initiative (GRI) Content Accelerator for ESG [com.sn_esg_gri]	Xanadu で廃止	各種法令・基準等および引用などの ESG フレームワークを提供し、関連するメトリクスの定義を提供します。	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator アプリケーションをインストールします。ガイドンスについては、「 ESG content accelerator 」を参照してください。

service portal

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		からスコープ対象バージョンに移行できます。	
Human Resources Scoped App: Parental Journey [com.sn_hr_parental_journey]	Xanadu で廃止	HR 組織における育児休暇 (LOAs) のパッケージ済み構成を提供します。育児休暇には、マタニティ休暇、パタニティ休暇、養子縁組休暇などがあります。	—
IBM Connector [com.sn.cmp.ibm]	Utah で使用廃止。		代替機能である Integrations Hub または Integrations with Anisble を選択してアクティブ化します。
仮想エージェントの IE11 サポート [com.glide.cs.chatbot、 com.glide.cs.chatbot.lite]	IE11 ブラウザーのサポートは終了しました。		
Instance Security Center (インスタンスセキュリティセンター) [sn_isc_core, sn_isc_nlu, sn_isc_va]	Xanadu で廃止	インスタンスセキュリティコントロールのコンプライアンスレベルの監視、セキュリティイベントモニタリングメトリクスの表示、インスタンスセキュリティ設定の構成と維持はすべて、インスタンスセキュリティセンター内から行います。	ServiceNow Store で ServiceNow Security Center をインストールします。ガイダンスについては、「」を参照してください。
アイテムデザイナー [com.glideapp.servicecatalog.itemdesigner]	Washington DC で廃止	サービスカタログアイテムデザイナーでは、アドミニストレーターではないユーザーがカタログアイテムを作成、保守、公開できます。構造化されたデザインと公開プロセスが使用され、一貫性のある使用が確保されます。	カタログビルダープラグインは、すべてのインスタンス (com.glideapp.servicecatalog.catalog) で、デフォルトで有効になっています。
ITSM エージェントワークスペースと CMDB エージェントワークスペース	Washington DC で廃止	ITSM エージェントワークスペースを使用して、ITSM エージェントのエク	ServiceNow Store から ITSM のサービスオペレーションワークスペースアプ

プラグイン	ステータス	説明	詳細
[com.snc.agent_workspace.itsm、com.snc.agent_workspace.itsm_agent_workspace]		ワークスペースを改善し、IT フルフィルメントボリュームをより効率的に管理します。	このプラグインをインストールします。
ITSM のワークフォース最適化 [sn_wfo_itsm、sn_wfo_itsm_cnt]	Vancouver で使用 廃止。	1 か所で人員の生産性を管理および維持できます。	ServiceNow Store で ITSM のワークフォース最適化構成可能ワークスペースアプリケーションをインストールします。
ServiceNow DevOps 用の Jenkins プラグイン	Xanadu で廃止	ServiceNow DevOps プラグインは Jenkins のデフォルトの動作を拡張し、ServiceNow 変更管理アプリケーションを通じてジョブ実行を制御するメカニズムを提供します。	このアプリケーションの今後のリリースはすべて、 Jenkins Store から直接インストールしてください。
ジャーニーアクセラレーター v4.0.3 以前 [com.sn_ja]	Washington DC で 廃止	計画や To-Do タスク用のテンプレートを作成できます。マネージャーはテンプレートを使用して、主要な従業員の移行に対応するカスタマイズされた計画を作成および公開します。マネージャー、従業員、メンターは、従業員センター (EC) から計画にアクセスできます。	置き換えのジャーニーデザイナーアプリケーションに移行します。ジャーニーデザイナーによって、ジャーニーデザイナーでサポートされるバージョンのジャーニーアクセラレーター v5.0+ が自動的にインストールされます。
法務サービス管理 [com.snc.legal_service_automation、com.snc.marketing_service_automation]	Utah で使用廃止。	Legal Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	顧客が代替テクノロジーを見つける必要はありません。
Map プラグイン	Vancouver で使用 廃止。	エージェント、タスク、およびエージェ	Dispatcher Workspace

プラグイン	ステータス	説明	詳細
[com.snc.fsm_map]		ントルートを表示するためのディスパッチマップを表示します。	プラグイン [com.snc.uib.fsm_dispatcher_work] をアクティブ化します。
モバイルスタジオ [com.glide.sg-studio]	Washington DC で 廃止	任意の ServiceNow モバイルアプリで使用するモバイルコンポーネントの作成および変更にはモバイルスタジオを使用します。	モバイルアプリビルダーに移行します。
OpenID シングルサインオン [com.snc.integrations.sso.openid]	Utah で使用廃止。		「Integration - Multiple Provider Single Sign-On Installer」プラグイン (com.snc.integration.sso.multi.inst) に移行し、SSO 機能を使用するように IDP を設定します。
オペレーターワークスペースと CMDB エージェントワークスペース [com.itom-noc-app、com.oi-scoped-app、com.sn-em-ai-action、com.sn-em-hidden-component com.sn-em-ai-overview、com.sn-em-metric、com.sn_log_viewer com.cmdb-workspace]	Washington DC で 廃止		ServiceNow Store から ITOM のサービスオペレーションワークスペースアプリケーションをインストールします。
製品モデルとカタログアイテムの関係 [com.snc.product_catalog_relationship]	Washington DC で 廃止	顧客が製品モデルとカタログアイテム間で関係を作成することにより、製品のサービスを要求するセルフサービスを有効にします。	カスタマーサービスケースタイププラグイン (com.snc.csm_case_types) をインストールし、サービス定義機能を使用します。
RPA Sample Template [com.sn_rpa_template]	Xanadu で廃止	RPA テンプレートは、顧客が RPA イニシアチブを開始できるようにするビルド済みの自動化ツールです。	ServiceNow Store から RPA Hub バージョン 9.0.0 以降をインストールします。 • ドキュメントのガイダンスに従って、RPA デスクトップデザインスタジオをダウンロードしてインストールします。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			RPA デスクトップデザインスタジオのホームページからテンプレート (サンプル自動化と呼ばれる) にアクセスできます。RPA デスクトップデザインスタジオを開き、ホームページで「自動化プロジェクト」を選択して、サンプル自動化のリストを表示します。詳細については、ドキュメントを参照してください。
SAML 1.1 Single Sign-on - Update 1 [com.snc.sso.saml11.update1] SAML 1.1 シングルサインオン [com.snc.sso.saml11] Integration - OpenID SSO [com.snc.integration.sso.openid]	Utah で使用廃止。	外部 OpenID プロバイダー (OP) で使用される従来のバージョンのシングルサインオン。OpenID Connect は London で提供されていますが、Web サービスに限定されています。	「Integration - Multiple Provider シングルサインオン Installer」プラグイン (com.snc.integration.sso.multi.installer) に移行し、OIDC ベースの SSO 機能を使用するように IDP を設定します。
サービスブリッジ (レガシー) [com.sn_nowebonding]	Xanadu で廃止	顧客がプロバイダーにサービス要求を送信し、これらの要求を監視できるようにします。	- ServiceNow Store から Service Bridge for Consumers アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します。 - サービスブリッジのプロバイダーに連絡して、新しいサービスブリッジアプリケーションへの移行を調整してください。テストと移行をプロバイダーと調整する必要があります。準備ができたら、新しいアプリケー

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			ションに接続するための登録リンクが送信されます。
Service Bridge for Providers (Legacy) [com.sn_nowebonding_provider]	Xanadu で廃止	プロバイダーが顧客のカatalogを公開し、カスタマーサービス要求を受信して履行できるようにします。	- ServiceNow Store から Service Bridge for Providers アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します。 - KB1499823 のガイダンスに従って、構成を移行 - コンシューマーに ServiceNow Store から新しい Service Bridge for Consumers アプリケーションをインストールしてもらいます。新しいアプリケーションをコンシューマーとともにテストします。検証が完了したら、サービスブリッジ (レガシー) コンテンツのエンタイトルメントを削除し、Service Bridge for Providers のコンテンツにエンタイトルメントを付与します。
Service Graph Connector for Extra Hop [com.snc.cmdb.extrahop_integration]	Xanadu で廃止	ExtraHop アプリケーションから ServiceNow インスタンスにデータをプルする機能を提供します。	ServiceNow Store で ExtraHop Reveal(x) のサービスグラフコネクタアプリケーションをインストールします。このアプリケーションは ExtraHop が所有しています。
サービス管理位置情報管理モバイル	Vancouver で使用廃止。	サービス管理位置情報管理のモバイル	Service Management 位置情報管理のすべて

プラグイン	ステータス	説明	詳細
[com.snc.service_management_m]		UI のメニューを提供します。	の機能を提供する新しい Field Service Mobile アプリケーションに移行すると、ネイティブエクスペリエンスが向上します。
ソフトウェア資産管理クラシック UI	Utah で使用廃止。	ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) のクラシックユーザーインターフェイス。	新しいユーザーインターフェイスを使用する場合は、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) に移行します。
標準化された情報収集 (SIG) アセスメント [com.snc.sig_asmt_core]	Vancouver で使用廃止。	Excel シートを介して SIG Questionnaire に回答をインポートするために必要なプロセッサ。	GRC: SIG Questionnaire Integration [com.sn_sig_asmt] ストアアプリケーションに移行します。
標準化された情報収集 (SIG) アンケート [com.sn_sig_app]	Vancouver で使用廃止。	2018 および 2019 SIG Questionnaire コンテンツで配布されたストアアプリケーション。このコンテンツは ServiceNow によりサポートされなくなりました。	サポートされているバージョンの SIG Questionnaire (2023、2022、2021) を含む GRC: SIG Questionnaire Integration [com.sn_sig_asmt] ストアアプリケーションに移行します。
Sustainability Accounting Standards Board (SASB) Content Accelerator for ESG [com.sn_esg_sasb]	Xanadu で廃止	SASB Accelerator は、ESG Management and Reporting アプリケーションで使用するよう設計されているため、顧客は SASB フレームワークを簡単に採用して ESG 開示を作成できます。	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator アプリケーションをインストールします。ガイダンスについては、「 ESG content accelerator 」を参照してください。
Tanium Integration V2 for Security Operations [com.snc.secops.tanium.v2]	Vancouver で使用廃止。	Tanium 機能の拡張ユースケースをサポートします。	Tanium からリリースされた Tanium Integration for Security Operations を ServiceNow Store でインストールします。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
ベンダー管理ワークスペース (従来版) [com.snc.vlm.vmw]	Utah で使用廃止。	ベンダー管理ワークスペース にアクセスします。	ServiceNow Store の新しいワークスペース Vendor Management Workspace に移行します。
CSM のワークフォース最適化 (従来) [com_snc_wfo_csm]	Vancouver で使用廃止。	マネージャー、スーパーバイザー、およびチームリードに Channel Management、チームパフォーマンス、スケジューリング、スキル決定、およびコーチング機能を提供し、カスタマーサービスチームの品質と効率を向上させ、チームの満足度を高めます。	ServiceNow Store で入手可能な CSM のワークフォース最適化 アプリケーションに移行します。UI ビルダーを使用してカスタマーサービスのワークフォース最適化を構成することができます。
ITSM のワークフォース最適化 (従来) [com.snc.wfo_itsm]	Vancouver で使用廃止。	従来のワークスペースの 1 つの場所から人員の生産性を管理および維持できます。	ServiceNow Store で入手可能な ITSM のワークフォース最適化 (sn_wfo_cfg_itsm) アプリケーションに移行します。UI ビルダーを使用して IT Service Management のワークフォース最適化を構成することができます。

廃止予定のプラグイン

この表は、将来のリリースで廃止が予定されている既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
リリース管理 [com.snc.release_management]	2031 年 6 月または契約期間終了日のいずれか早い方を予定	計画されたリリースとそのリリースの実行に必要なタスクに関する情報を格納するリリーステーブルを提供します。	—
Healthcare Computerized Maintenance Management システム [com.sn_hcls_cmms]	2029 年 9 月または契約期間終了日のいずれか早い方に廃止予定	医療デバイス関連の稼働中プロセス、代替機器メンテナンス (AEM) レビュープロセス、医療デバイスの問題、および	医療向けエンタープライズ資産管理には、CDMv2 SKU が必要です。担当アカウントエグゼクティブにお問い合わせください。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		サービス停止プロセスを管理	• ServiceNow Store から医療向けエンタープライズ資産管理アプリケーションをインストールし、Install Enterprise Asset Management for healthcare のドキュメントで構成ガイダンスを確認します。 • エンタープライズ資産の作業指示を作成および管理するための Managing work orders for your enterprise assets ドキュメントを確認します。 • Field Service Management は、医療向け EAM に依存するため、前提条件としてインストールする必要があります。
クラウドインサイト請求 [sn_clin_billing]	Z リリースで廃止 予定	クラウドインサイト請求アプリケーションは、プロビジョニングされた Amazon Web Services (AWS)、Google Cloud Platform (GCP) および Microsoft Azure リソースの請求処理データをダウンロードし、ダッシュボードでデータを可視化するためのツールを提供します。	—
パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - GRC：ポ	Z リリースで廃止 予定	—	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
リシーとコンプライアンス管理 [app-compliance-pa]			
パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - GRC：リス ク管理 [app-risk-pa]	Z リリースで廃止 予定	—	—
パフォーマンスアナリティクス - GRC：Audit Management [app-audit-pa]	Z リリースで廃止 予定	—	—
ベンダーサクセスインジケータ [com.snc.vendor.insights]	Z リリースで廃止 予定	ベンダー管理ワーク スペースの確率比や その他の ML 機能 を利用するベンダー サクセスインジケー ター	ServiceNow Store からベ ンダー管理ワーク スペースをインス トールし、KPI グ ループ機能を使用し ます。 Create KPI groups to track metrics for your vendors ドキュ メントをレビューし ます。
セーフワークプレイスダッシュ ボード [sn_int_dashboards]	Z リリースで廃止 予定	職場と従業員の安全 情報を迅速に評価し ます。	—
Scaled Agile Framework [com.sn_safe_dashboards、com.snc.scaled_agile_framework、com.snc.scaled_agile_framework]	2030 年 9 月また は契約期間終了時、 のいずれか早い方 に廃止予定	無駄のないアジャイル アプリケーションを 企業に適用し、実現 可能な最短のリード タイムで、より欠陥 の少ないソフトウェ ア製品を開発して提 供できるように支援 します。	代替アプリケー ションを選択し てアクティブ化し ます。Enterprise Agile Planning に は SPM Pro サブ スクリプションが必 要です。Pro をご利用 でない場合は、 担当アカウントエ グゼクティブに問い 合わせてオプション についてご相談く ださい。ServiceNow Store から戦略的 計画ワークスパー スアプリケーション をインストール して、Enterprise Agile Planning の 使用を開始します。
タイムライン可視 化/CIO ロードマップ [com.snc.timeline_visualization]	Z リリースで廃止 予定	インシデント、問 題、変更、プロジェ クトなど、組織の戦 略的および運用上の アクティビティを高 レベルに表示するた めに時間経過の中で アクティビティをグ	ServiceNow Store から ポートフォリオ 計画 (標準顧客) または 戦略的計画 (Pro 顧客) アプリ ケーションをインス トールします。これ らのワークスパー

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		ラフィカルに表現できるようにします。	ス内で利用可能なロードマップ機能のガイダンスについては、 Planning roadmaps in Portfolio Planning または Roadmaps in Strategic Planning ドキュメントを確認してください。この機能の最新のエクスペリエンスを提供するポートフォリオ計画ワークスペース (SPM Standard) アプリケーションに移行します。
ヒューマンリソース (HR) : ライフサイクルイベント - パフォーマンスアナリティクス [com.sn_hr_lifecycle_pa]	Z リリースで廃止 予定	—	—
データ認定 [com.snc.certification_v2]	Z リリースで廃止 予定	データ認定は、構成管理データベース (CMDB) データのスケジュール検証およびオンデマンド検証を管理します。	CMDB データ マネージャー機能を使用するには、 ServiceNow Store から CMDB ワークスペース v6.0+ アプリケーション (Washington D.C. 以降と互換性あり) をインストールします。「 Working with CMDB Data Manager 」を参照してください。
インスタントトラブルシューティングツール [com.sn_troubleshooter]	Y リリースで廃止 予定	—	次のいずれかの代替アプリケーションに移行します。 - デフォルトでインスタンスにインストールされているインスタンスキャンツールを使用します。製品ドキュメント をレビューします。 ServiceNow Impact パッケージ で利用可能

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			なヘルススキャン製品  を評価します。アカウントチームと協力して、この製品の使用に必要な Impact パッケージを調達します。
Enterprise Employee Experience Pack [app-hr-swc-content]	Z リリースで廃止予定	事前設定されたプロセスフローとサンプルコンテンツを提供し、複数部門にまたがるエンタープライズ規模のユースケースの迅速な実装に役立ちます。	—
Application Insights [sn_app_insights]	Z リリースで廃止予定	Application Insights は、システムの健全性の視覚化と監視を一元的に行える場所を提供します。	Impact packages  で利用可能な Impact Instance Observer  製品を評価します。アカウントチームと協力して、この製品の使用に必要な Impact パッケージを調達します。
ワークプレイスサービスデリバリーと Mappedin との統合 [com.sn_wsd_mappedin]	Z リリースで廃止予定	インタラクティブなデジタルマッピングソリューションを提供します。	ServiceNow Store  からインドアマッピングアプリケーションをインストールします。
DevOps コンフィグ [com.snc.devops_config] - DevOps コンフィグエクスポートコンテンツパック [com.snc.devops.config.exporter.content] - DevOps コンフィグポリシーコンテンツパック [com.snc.devops.config.policy.content] - 構成データ管理 [com.sn_cdm] - 構成データ管理 UI のコンテキストメニューコンポーネント [com.servicenow_cdm_context_menu]	顧客固有の DevOps コンフィグアプリケーション契約終了期間に廃止予定	単一のシステムを使用して、DevOps 環境で構成データを管理および検証します。	—
GRC : DevOps アクセラレーター [com.sn_grc_devops]	Y リリースで廃止予定	顧客が DevOps ポリシーおよび GRC コントロール目標と	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		Policy as a Code Engine (PaCE) とのコンプライアンスを評価できるようにします。	
ITSM の予測インテリジェンスワークベンチ [com.sn_piwb_itsm_content]	Y リリースで廃止予定	顧客がドメイン固有のコンテンツをシェアして、予測インテリジェンスワークベンチで作成されたユースケースの実装ガイダンスを提供できるようにします	ServiceNow Store から ITSM のタスクインテリジェンスアプリケーションをインストールし、タスクインテリジェンスアドミンコンソールを使用します。詳細については、 Task Intelligence for ITSM のドキュメントを参照してください。
法務顧問センター従来 [com.sn_lg_workspace] および 法務顧問センターコンポーネント [com.sn_lg_ws_comps]	Y リリースで廃止予定	法務顧問センター従来により、法務部門のメンバー、法務問題を分類、優先順位付けし、効率的に対処することができます。	ServiceNow Store から法務顧問センターアプリケーションをインストールし、 Legal Counsel Center のドキュメントを確認します。
カスタマーサービス管理 (CSM) 用注文管理 [com.sn_csm_order_mgmt]	2028 年 9 月または注文管理のサブスクリプション期間の終了日 (いずれか早い方) に廃止予定	注文管理には、注文を作成、管理、および追跡する機能があります。	ServiceNow Store から新しい注文管理アプリケーションをインストールします。
IBM 動的翻訳 [com.glide.ibm_translation_spoken]	2024 年 12 月に廃止予定	このスポークはストアで入手可能で、ServiceNow の動的翻訳プラグインと連携します。代替の翻訳サービス (Google、Microsoft) が利用可能です。	IBM は、Watson Language Translator の提供終了と 2024 年 6 月 10 日のサポート終了、2024 年 12 月 10 日の完全な削除を発表しました。 Dynamic Translation のドキュメントで、Google および Microsoft で利用可能な動的翻訳サービスを確認してください。
Site Reliability Metrics および [com.sn_srm]	Y リリースで廃止予定	一般にサービスレベルインジケター	ServiceNow Store からサービスリライ

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		(SLI) と呼ばれるアプリケーションパフォーマンス管理 (APM) ツールから、アプリケーションパフォーマンスのシグナルをキャプチャします。その後 SRM アプリケーションで、サービスレベル目標 (SLO)、エラー予算 (EB)、およびポリシーベースのアクションを作成できます。	アビリティ管理アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を読んでアプリケーションと機能の詳細を確認してください。
サイトリライアビリティオペレーション [com.sn_srops]	Y リリースで廃止予定	チームをオンボーディングし、短時間でサービスを登録することで、単一ワークスペース内のマイクロサービスのヴィジビリティを向上させます。Webhook 統合を介してテレメトリーにすばやく連携することで観測可能性を向上させ、アラートの自動化によってインシデントをより迅速に解決します。	ServiceNow Store からサービスリライアビリティ管理アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を読んでアプリケーションと機能の詳細を確認してください。
ナレッジ管理 v3 [com.snc.knowledge3]	Y リリースで廃止予定	ナレッジ管理 v3 ホームページは、Washington DC リリース以降、展開もアクティブ化もされなくなります。	Configuring Knowledge Management のガイダンスを使用してナレッジ管理サービスポータルプラグイン (com.snc.knowledge_serviceportal) をインストールして構成し、sn_km_portal.glide.knowma システムプロパティを true に設定して、v3 ホームページからポータルへのリダイレクトをアクティブ化します。
設備サービス管理 [com.snc.facilities_service_automation]	2025 年 3 月または最後のサブスクリプション期間	施設要求を管理し、ユーザーが場所別に要求を報告および追跡できるように	ワークプレイスサービスデリバリに移行します。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
	の終了時に廃止予定。	します。フロアプランの要求を表示するには、Facilities Visualization Workbench (com.snc.facilities_service_automation.fvw) プラグインが必要です。	
施設ビジュアル化ワークベンチ [com.snc.facilities_service_automation.fvw]	2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	インタラクティブなフロアプラン機能を有効にします。	Workplace Service Delivery に移行します。
Finance Service Management [com.snc.finance_service_automation]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Finance Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow お問い合わせください。	—
ITSM Pro - Service Owner Workspace [com.spm_owner_workspace]	サブスクリプション期間の終了時またはデジタルポートフォリオ管理への移行時に廃止予定。	プレミアムなサービスポートフォリオ管理エクスペリエンスを提供します。ポートフォリオマネージャーとサービスオーナーは、直観的に操作できる統合されたグラフィカルユーザーインターフェイスを利用して、ポートフォリオとサービスの管理や監視を行います。	ServiceNow Store のデジタルポートフォリオ管理に移行します。
MaestroRS [app-irm-bcm]	顧客固有の MaestroRS アプリケーション契約終了期間に廃止予定。	—	ServiceNow Store の 4 つの事業継続性管理代替アプリケーションをアクティブ化します。 • GRC：事業継続性管理 – コア • GRC：事業継続性計画

プラグイン	ステータス	説明	詳細
			• GRC: ビジネスインパクトアナリシス • GRC: 事業継続性管理 – コンポーネント
マーケティングサービス管理 [com.snc.marketing_service_automation]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Marketing Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	—
統合ハブ用 Microsoft AD スポーク [com.sn.ad.spoke]	契約終了日または 2028 年 3 月 (いずれか早い方) に廃止予定。	プロセスアナリストがフローをデザインするときに使用できるアクションを提供します。これらのアクションにより、AD のユーザー、グループ、コンピューターおよびオブジェクトの管理を自動化できます。	ServiceNow Store で Microsoft Active Directory v2 スポークアプリケーションをインストールします。ガイドンスについては、「 移行ガイド [KB1284583] 」を参照してください。
ソーシャル Q&A [com.sn_kb_social_qa]	将来のリリースで廃止予定。	ユーザーによる質問と回答、および質問と回答に対する投票を可能にします。ソーシャル Q&A はナレッジアプリケーションを拡張し、ユーザー基準や複数のナレッジベースなどの既存のナレッジ機能を使用します。	—
トラステッドセキュリティサークル [sn_ti]、[sn_tis_a]	2023 年 9 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	—	—
Vendor Performance Management	2024 年 3 月またはサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	ベンダーデータを測定、管理、追跡し、独自のグラフィカル	ITSM Pro v2 サブスクリプションパッケージに含まれるベ

プラグイン	ステータス	説明	詳細
[com.snc.vendor_performance], [com.snc.vendor_ticket]	ション期間終了時に 廃止予定。	ビューでパフォーマンス 特性を比較する 機能を提供します。	ンダー管理ワークス ペースに移行しま す。

Utah から Xanadu に名前変更および変更されたプラグイン

この表は、Utah、Vancouver、Washington DC、または Xanadu で名前が変更されたか、変更された既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
Advanced Goal Framework [sn_gfa]	Utah で名前が変更 されました。	Now Platform にあ る任意のソースから ターゲットの実際の 値を自動的に導き出 すことで目標の進捗 状況をリアルタイム で監視する機能を提 供します。	変更後の名前は SPM のゴールフ レームワーク で す。
アラインメントプランナーワーク スペース [sn_align_ws]	Utah で名前が変更 されました。	従来のウォーター フォールアプローチ の優先順位付け、 ロードマップ、およ び追跡を行い、プロ ジェクトおよびデマ ンド管理を強化しま す。	変更後の名前は ポートフォリオ計画 です。
アプリケーションポートフォリオ 管理 [com.snc.apm]	Xanadu で名前を 変更	このプラグインは、 企業がビジネスアプ リケーションインベ ントリを可視化し、 ビジネスアプリケー ションを合理化し、 ビジネスコンテキス トを提供し、各ビジ ネスアプリケーション のビジネス価値を 決定するのに役立ち ます。また、ビジネ スアプリケーション のテクノロジー (ソ フトウェアとハード ウェア) コンポーネ ントを理解し、組織 の情報資産とそれら の情報資産のビジネ スアプリケーション の使用をキャプチャ するのにも役立ちま す。	プラグイン名 が Enterprise Architecture [com.snc.apm] に 変更されています
Application Portfolio Management - ATF Tests [com.snc.apm.atf]	Xanadu で名前を 変更	このプラグインは、 エンタープライズ アーキテクチャで	プラグイン名 が Enterprise Architecture

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		実行できる ATF テストケースとテストスイートを提供します。	- ATF Tests [com.snc.apm.atf] に変更されています
アプリケーションポートフォリオ管理 Core [com.snc.apm_core]	Xanadu で名前を変更	このプラグインには、デフォルトですぐに使用可能なエンタープライズアーキテクチャのコア機能が含まれています。	プラグイン名がエンタープライズアーキテクチャ Core [com.snc.apm_core] に変更されています
Application Portfolio Management Digital Integration Management [com.snc.apm_digital_integration]	Xanadu で名前を変更	ビジネスアプリケーション間のデジタル統合を管理するモデリングとフローを提供します。	プラグイン名が Digital Integration Management plugin [com.snc.apm_di] に変更されています
Application Portfolio Management - Predictive Intelligence [com.snc.apm.predictive_intelligence]	Xanadu で名前を変更	このプラグインは、エンタープライズアーキテクチャの予測インテリジェンスソリューションを提供します。ビジネスアプリケーション関連データの類似性と同様のアルゴリズムを適用して、予測に役立てます。	プラグイン名が Enterprise Architecture - Predictive Intelligence [com.snc.apm.predictive_intelligence] に変更されています
アプリケーションポートフォリオ管理 - TRM [com.snc.apm_trm]	Xanadu で名前を変更	このプラグインには、エンタープライズアーキテクチャの TRM ライフサイクルが含まれています。	プラグイン名が Enterprise Architecture - TRM [com.snc.apm_trm] に変更されています
クラウドインサイト [sn_clin]	Utah で名前が変更されました。	運用を最適化しコストを削減する機会を特定してアクションを実行できるように、クラウド資産に関連するあらゆるコストの分析を可能にします。	変更後の名前はクラウドコスト管理です。
アラインメントプランナーワークスペース向けレンズ [sn_apw_advanced]	Utah で名前が変更されました。	Agile、ウォーターフォール、またはハイブリッドアプローチを使用するときに、すべての作業に優先順位を付け、目標を視覚的にロードマップし、進捗状況を追跡します。	変更後の名前は 戦略的計画 です。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
Manufacturing Common [com.sn_mfg_common]	Vancouver で名前が変更されました。	Operational Technology ソリューションを使用できるようにする一般的な依存関係。	変更後の名前は産業用ワークスペース共通です。
Manufacturing Process Manager [com.sn_otsm]	Vancouver で名前が変更されました。	チームは各施設の産業用設備階層モデルと関連する生産プロセスをマッピングして可視化できます。	変更後の名前は産業用プロセスマネージャーです。
パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - アプリケーションポートフォリオ管理 [com.snc.pa.apm]	Xanadu で名前を変更	パフォーマンスアナリティクスプレミアム版を使用して開発されたエンタープライズアーキテクチャのダッシュボード。	プラグイン名が Performance Analytics - Content Pack - Enterprise Architecture [com.snc.pa.apm] に変更されています。
Performance Analytics - Content Pack - Application Portfolio Management and Change Management [com.snc.pa.apm.change_request]	Xanadu で名前を変更	エンタープライズアーキテクチャと、変更要求に関連付けられたビジネスアプリケーションのパフォーマンスアナリティクスダッシュボードが含まれている変更管理を統合した機能を提供します。	プラグイン名が「パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - Enterprise Architecture and Change Management [com.snc.pa.apm.change_request] に変更されています。
Performance Analytics - Content Pack - Application Portfolio Management and Problem Management [com.snc.pa.apm.problem]	Xanadu で名前を変更	エンタープライズアーキテクチャと、ビジネスアプリケーションのパフォーマンスアナリティクスダッシュボードが含まれている問題管理を統合した機能を提供します。	プラグイン名が Performance Analytics - Content Pack - Enterprise Architecture and Problem Management [com.snc.pa.apm.problem] に変更されています。
FSM 向けプロセス最適化コンテンツパック [com.snc.fsm_process_optimization]	Vancouver で名前が変更されました。	監査記録の作業指示タスクデータからビジネスプロセスフローを作成します。これによって、プロセスオーナーがプロセスの詳細な分析を行い、インサイトを発見して、ビジネスの成果を向上させる	変更後の名前は FSM 向けプロセスマイニングコンテンツパックです。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		ことが可能になります。	
Read only roles for Application Portfolio Management [com.snc.apm_read_roles]	Xanadu で名前を変更	このプラグインは、エンタープライズアーキテクチャの読み取り専用ロールを提供します。	プラグイン名が Read only roles for Enterprise Architecture [com.snc.apm_read_roles] に変更されています
ソフトウェア資産管理プレイブック [com.sn_sam_playbook]	Vancouver で名前が変更されました。	プレイブックおよびガイド付きセットアップは、毎日のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。	変更後の名前はソフトウェア資産管理プレイブック およびガイド付きセットアップです。
仮想エージェント API (sn_va_as_service)	Washington DC で変更されました。	チャットインターフェイスやボットを仮想エージェントまたはエージェントチャットと統合します。	com.sn.omnichannel.callback プラグインは削除され、com.sn_ext_agent_management プラグインが依存関係になりました。
ワークプレイス安全管理 [sn_wsd_core]	Vancouver で名前が変更されました。	職場の従業員のために、安全でシームレスな管理されたプロセスを作成するのに役立ちます。	変更後の名前はワークプレイスコアです。

メンテナンスモードのプラグイン

次の表は、メンテナンスモードの既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
CSM 向け高度なワークアサインメント [com.sn_csm.awa]	メンテナンスモードのみ。	カスタマーサービス (com.sn_customerservice) プラグインをアクティブ化すると、このプラグインが有効になります。	—
CMS ユーザーインターフェイス - サービス管理 Core [com.snc.service_management.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	コア IT セルフサービスアプリケーションを参照するために使用されるすべてのコンテンツ管理システムアイテム (ブロック、ページ、およびメニュー) は、このプラグインにパッケージ化されています。また、すべ	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		での サービス管理 アプリケーションの コア基盤でもあります。	
コンテンツ管理 [com.glide.cms]	メンテナンスモードのみ。	—	—
コンテンツ管理 Extended Types [com.glide.cms.types]	メンテナンスモードのみ。	iFrames と Flash フレームを追加する コンテンツ管理の拡張。 新規開発には CMS の代わりに サービス ポータル を使用 します。 サービス ポータル は、洗練 されたユーザーエ クスペリエンスを 備えた CMS の代 替手段であり、デ フォルトでベース システムで有効に なっています。詳 細については、「 Service Portal 」と「 Content Management and Service Portal 」 を参照してくださ い。	—
コンテンツ管理 IFrame タイプ [com.glide.cms.type.iframe]	メンテナンスモードのみ。	—	—
Content Management Flash Type [com.glide.cms.type.flash]	メンテナンスモードのみ。	—	—
CSM アカウント階層 [com.snc.sn_csm_account_hierarchy]	メンテナンスモードのみ。	—	—
CSM ルックアップと検証 [com.snc.sn_csm_lookup_verify]	メンテナンスモードのみ。	—	—
CSM Workspace - Components [com.csm_workspace_components]	メンテナンスモードのみ。	—	—

プラグイン	ステータス	説明	詳細
施設移動管理 [com.snc.facilities_service_automation.move]	メンテナンスモードのみ。 2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	単一ユーザーの移動機能と、エンタープライズ移動および移動計画機能が有効になります。	ワークプレイスサービスデリバリに移行します。
設備サービス管理 CMS ポータル [com.snc.facilities_service_automation.cms]	メンテナンスモードのみ。	—	—
設備サービス管理モバイル [com.snc.facilities_service_automation_m]	メンテナンスモードのみ。	設備サービス管理モバイルコンポーネントを管理します。	—
Field Service Management CMS Portal [com.snc.work_management.cms]	メンテナンスモードのみ。	Field Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを単一の CMS ページから起動できます。	—
ヒューマンリソース (HR) スコア対象のアプリ：Core CMS [com.snc.hr.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	HR のケースとナレッジ管理を提供します。従業員の問い合わせと要求の文書化、やり取り、および実行を標準化すると同時に、受信するケースの数とタイプを可視化します。	—
ルックアップと検証 [com.snc.sn_lookup_and_verify_config]	メンテナンスモードのみ。	—	—
サービスカタログ CMS Extension [com.glideapp.servicecatalog.cms]	メンテナンスモードのみ。	CMS 内でカタログエクスペリエンスを定義する機能を提供します。	—

Xanadu へのアップグレードのカスタマイズされた PRB リリースノート

Xanadu ファミリーへのアップグレードを検討している場合は、問題 (PRB) 修正がアップグレード計画の重要な要素になる可能性があります。アップグレードするリリースバージョンを決定するために、さまざまな Xanadu アップグレードシナリオで修正された問題のリストを比較してください。

What release version should I upgrade to?

Compare lists of fixed problems across various upgrade scenarios to help you decide:



Select current version



Current version ▼

Select target version



Target version ▼

Download a spreadsheet
or click the link to view a list



html

csv

Repeat these steps to explore other upgrade options

累積 PRB リリースノートの生成

アップグレード用のカスタマイズされたリリースノートを作成するには、[フィルター基準] 機能を使用して現在のリリースバージョンとターゲットバージョンを選択します。表がフィルタリングされ、選択したアップグレードシナリオのカスタマイズされたリリースノートが表示されます。累積 PRB リリースノートは HTML で表示することも、CSV ファイルでダウンロードすることもできます。ServiceNow では、これらのリリースノートの HTML 表示の改善に取り組んでいますが、それまでの間、このカスタマイズされたリリースノートをご利用ください。

警告:

カスタマイズされた PRB リリースノートに、セキュリティ PRB の修正が含まれるようになりました。PRB 表をセキュリティカテゴリ別にフィルターするか、「セキュリティバグ」というテキストを検索できます。

Xanadu へのアップグレードで修正された問題

利用可能なターゲットリリースバージョンのみが、カスタマイズされたリリースノートジェネレーターに一覧表示されます。特定のリリースバージョンに含まれる PRB、ドキュメントの更新、または修正の詳細については、[ServiceNow 製品ドキュメント](#) Web サイトの標準リリースノートのトピックを参照することもできます。

重要:

対象となるすべての PRB 修正を含む、最新リリースバージョンにアップグレードしてください。

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Tokyo パッチ 1a	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッチ 1a から Xanadu 早期ア クセ ス csv Tokyo パッチ 1a から Xanadu 早期

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			アクセス 
Tokyo パッチ 1a	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Tokyo パッチ 1a から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv Tokyo パッチ 1a から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ 
Tokyo パッチ 1a	Xanadu パッチ 1		Tokyo パッチ 1a から Xanadu パッチ 1 への csv Tokyo パッチ 1a から Xanadu パッチ 1 へ 
Tokyo パッチ 4	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッチ 4 から Xanadu 早期アクセス csv Tokyo パッチ 4 から Xanadu 早期アクセス 

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Tokyo パッチ 4	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Tokyo パッチ 4 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv Tokyo パッチ 4 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Tokyo パッチ 4	Xanadu パッチ 1		Tokyo パッチ 4 から Xanadu パッチ 1 へ の csv Tokyo パッチ 4 から Xanadu パッチ 1 へ
Tokyo パッチ 4b	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッチ 4b から Xanadu 早期ア クセ ス csv Tokyo パッチ 4b から Xanadu 早期 アクセ ス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Tokyo パッチ 4b	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Tokyo パッチ 4b から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv Tokyo パッチ 4b から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Tokyo パッチ 4b	Xanadu パッチ 1		Tokyo パッチ 4b から Xanadu パッチ 1 へ の csv Tokyo パッチ 4b から Xanadu パッチ 1 へ
Tokyo パッチ 5	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッチ 5 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Tokyo パッチ 5 から Xanadu 早期 アクセ ス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Tokyo パッチ 5	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Tokyo パッチ 5 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv Tokyo パッチ 5 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Tokyo パッチ 5	Xanadu パッチ 1		Tokyo パッチ 5 から Xanadu パッチ 1 へ の csv Tokyo パッチ 5 から Xanadu パッチ 1 へ
Tokyo パッチ 5 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッ チ 5 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Tokyo パッ チ 5 ホット フィッ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu 早期アクセス 
Tokyo パッチ 5 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	Tokyo	Tokyo パッチ 5 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv Tokyo パッチ 5 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ 
Tokyo パッチ 5 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		Tokyo パッチ 5 ホットフィックス 2 から Xanadu パッチ 1 csv Tokyo パッチ 5 ホットフィックス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			2 から Xanadu パッチ 1 
Tokyo パッチ 6	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッチ 6 から Xanadu 早期アクセス csv Tokyo パッチ 6 から Xanadu 早期アクセス 
Tokyo パッチ 6	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Tokyo パッチ 6 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ の csv Tokyo パッチ 6 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ 
Tokyo パッチ 6	Xanadu パッチ 1		Tokyo パッチ 6 から Xanadu パッチ 1 へ の csv Tokyo パッチ 6 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 へ
Tokyo パッチ 7	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッチ 7 から Xanadu 早期アクセス csv Tokyo パッチ 7 から Xanadu 早期アクセス
Tokyo パッチ 7	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	Tokyo	Tokyo パッチ 7 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv Tokyo パッチ 7 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ
Tokyo パッチ 7	Xanadu パッチ 1		Tokyo パッチ 7 から Xanadu パッチ 1 へ csv Tokyo パッチ 7 から Xanadu パッチ 1 へ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Tokyo パッチ 7a	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッチ 7a から Xanadu 早期ア クセ ス csv Tokyo パッチ 7a から Xanadu 早期 アクセ ス 📄
Tokyo パッチ 7a	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Tokyo パッチ 7a から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv Tokyo パッチ 7a から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 📄
Tokyo パッチ 7a	Xanadu パッチ 1		Tokyo パッチ 7a から Xanadu パッチ 1 へ csv Tokyo パッチ 7a から Xanadu パッチ 1 へ 📄
Tokyo パッチ 7b	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッチ 7b から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu 早期ア クセ ス csv Tokyo パッチ 7b から Xanadu 早期 アクセ ス 
Tokyo パッチ 7b	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	への	Tokyo パッチ 7b から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv Tokyo パッチ 7b から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
Tokyo パッチ 7b	Xanadu パッチ 1		Tokyo パッチ 7b から Xanadu パッチ 1 へ の csv Tokyo パッチ 7b から Xanadu パッチ 1 へ 
Tokyo パッチ 8	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッチ 8 から Xanadu 早期ア

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クセス csv Tokyo パッチ 8 から Xanadu 早期アクセス 🔗
Tokyo パッチ 8	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	Tokyo	Tokyo パッチ 8 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv Tokyo パッチ 8 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ 🔗
Tokyo パッチ 8	Xanadu パッチ 1	html	Tokyo パッチ 8 から Xanadu パッチ 1 へ csv Tokyo パッチ 8 から Xanadu パッチ 1 へ 🔗
Tokyo パッチ 9 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Tokyo パッチ 9 ホットフィックス 2 から Xanadu

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			早期アクセス csv Tokyo パッチ 9 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス 
Tokyo パッチ 9 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Tokyo パッチ 9 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv Tokyo パッチ 9 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ 
Tokyo パッチ 9 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		Tokyo パッチ 9 ホットフィックス 2 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1csv Tokyo パッ チ 9 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ 
Utah パッチ 1 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Utah パッ チ 1 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス csvUtah パッ チ 1 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス 
Utah パッチ 1 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィッ クス 1	Utah	Utah パッ チ 1 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1csv Utah パッ チ 1 ホット

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			フィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 へ 
Utah パッチ 1 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 1 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 csv まで Utah パッチ 1 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 へ 
Utah パッチ 4 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 4 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス csv Utah パッチ 4 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			アクセス
Utah パッチ 4 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 4 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv Utah パッ チ 4 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Utah パッチ 4 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		Utah パッ チ 4 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッ チ 1へ の csv Utah パッ チ 4 ホット フィッ クス 2 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 へ
Utah パッチ 5	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 5 から Xanadu 早期アクセス csv Utah パッチ 5 から Xanadu 早期アクセス
Utah パッチ 5	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 5 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 Utah パッチ 5 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv
Utah パッチ 5	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 5 から Xanadu パッチ 1 への csv から Utah パッチ 5 から Xanadu パッチ 1 へ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Utah パッチ 5 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 5 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Utah パッチ 5 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス
Utah パッチ 5 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 5 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 csvUtah パッチ 5 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Utah パッチ 5 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 5 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ の csv Utah パッチ 5 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ
Utah パッチ 6	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 6 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Utah パッチ 6 から Xanadu 早期 アクセ ス
Utah パッチ 6	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	への	Utah パッチ 6 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 Utah パッチ 6 から Xanadu 早期ア クセス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			ホットフィックス 1 への csv
Utah パッチ 6	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 6 から Xanadu パッチ 1 への csv Utah パッチ 6 から Xanadu パッチ 1 へ
Utah パッチ 6 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス csvUtah パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス
Utah パッチ 6 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホット

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			フィックス 1 へのcsv Utah パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 へ
Utah パッチ 6 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 へのcsv Utah パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 へ
Utah パッチ 7	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 7 から Xanadu 早期アクセスcsv Utah パッチ 7 から Xanadu 早期

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			アクセス
Utah パッチ 7	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	への	Utah パッチ 7 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv Utah パッチ 7 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ
Utah パッチ 7	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 7 から Xanadu パッチ 1 への csv Utah パッチ 7 から Xanadu パッチ 1 へ
Utah パッチ 7 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 7 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス csv Utah パッチ 7 ホット

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			フィックス 1 から Xanadu 早期アクセス 
Utah パッチ 7 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	html	Utah パッチ 7 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 csvUtah パッチ 7 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 
Utah パッチ 7 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 7 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 への csvUtah パッチ 7 ホットフィックス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			1 から Xanadu パッチ 1 へ
Utah パッチ 7a	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 7a から Xanadu 早期アクセス csv Utah パッチ 7a から Xanadu 早期アクセス
Utah パッチ 7a	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 7a から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv Utah パッチ 7a から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ
Utah パッチ 7a	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 7a から Xanadu パッチ 1 への csv Utah パッチ 7a から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 へ
Utah パッチ 7b	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 7b から Xanadu 早期ア クセ スcsv Utah パッチ 7b から Xanadu 早期 アクセ ス
Utah パッチ 7b	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	への	Utah パッチ 7b から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1への csv Utah パッチ 7b から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Utah パッチ 7b	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 7b から Xanadu パッチ 1 への csv Utah パッチ 7b から Xanadu パッチ 1 へ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Utah パッチ 8	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 8 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Utah パッチ 8 から Xanadu 早期 アクセ ス 📄
Utah パッチ 8	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	への	Utah パッチ 8 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1への csv Utah パッチ 8 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 📄
Utah パッチ 8	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 8 から Xanadu パッチ 1 への csv から Utah パッチ 8 から Xanadu パッチ 1 へ 📄

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Utah パッチ 9	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 9 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Utah パッチ 9 から Xanadu 早期 アクセ ス 📄
Utah パッチ 9	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 9 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1Utah パッチ 9 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 への csv 📄
Utah パッチ 9	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 9 から Xanadu パッチ 1 への csv か ら Utah パッチ 9 から Xanadu パッチ 1 へ 📄
Utah パッチ 9 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Utah パッ チ 9

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ スcsvUtah パッ チ 9 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス
Utah パッチ 9 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィッ クス 1		Utah パッ チ 9 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv Utah パッ チ 9 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Utah パッチ 9 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Utah パッ チ 9 ホット

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			フィックス 1 から Xanadu パッチ 1 への csv Utah パッチ 9 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 へ 
Utah パッチ 10	Xanadu 早期アクセス	への	Utah パッチ 10 から Xanadu 早期アクセス csv Utah パッチ 10 から Xanadu 早期アクセス 
Utah パッチ 10	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	への	Utah パッチ 10 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 への csv Utah パッチ 10 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クス 1 へ
Utah パッチ 10	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 10 から Xanadu パッチ 1 への csv から Utah パッチ 10 から Xanadu パッチ 1 へ
Utah パッチ 10 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Utah パッ チ 10 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Utah パッ チ 10 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス
Utah パッチ 10 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッ チ 10 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			csvUtah パッチ 10 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 
Utah パッチ 10 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Utah パッ チ 10 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv Utah パッ チ 10 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ 
Utah パッチ 10 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Utah パッ チ 10 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセ スcsvUtah パッ チ 10 ホット フィッ クス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			2 から Xanadu 早期 アクセス 
Utah パッチ 10 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 10 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 Utahパッチ 10 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv 
Utah パッチ 10 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 10 ホットフィックス 2 から Xanadu パッチ 1 への csv Utah パッチ 10 ホットフィックス 2 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 へ
Utah パッチ 10 ホットフィックス 3	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 10 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセ ス csvUtah パッチ 10 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期 アクセ ス
Utah パッチ 10 ホットフィックス 3	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 10 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 csvUtah パッチ 10 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Utah パッチ 10 ホットフィックス 3	Xanadu パッチ 1		Utah パッ チ 10 ホット フィッ クス 3 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv Utah パッ チ 10 ホット フィッ クス 3 から Xanadu パッチ 1 への csv 
Utah パッチ 10a	Xanadu 早期アクセス		Utah パッ チ 10a から Xanadu 早期ア クセ スcsv Utah パッ チ 10a から Xanadu 早期ア クセ ス 
Utah パッチ 10a	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	への	Utah パッ チ 10a から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Utah パッチ 10a から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
Utah パッチ 10a	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 10a から Xanadu パッチ 1 へ のcsv Utah パッチ 10a から Xanadu パッチ 1 へ 
Utah パッチ 10a ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 10a ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ スcsvUtah パッチ 10a ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス 
Utah パッチ 10a ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 10a

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へのcsv Utah パッ チ 10a ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Utah パッチ 10a ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Utah パッ チ 10a ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv Utah パッ チ 10a ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 への csv
Utah パッチ 10a ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Utah パッ チ 10a ホット

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			フィックス 2 から Xanadu 早期アクセス csvUtah パッチ 10a ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス 
Utah パッチ 10a ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 10a ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 csv Utah パッチ 10a ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 
Utah パッチ 10a ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 10a ホットフィックス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			2 から Xanadu パッチ 1 への csv Utah パッチ 10a ホットフィックス 2 から Xanadu パッチ 1 への csv
Utah パッチ 10b	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 10b から Xanadu 早期アクセス csv Utah パッチ 10b から Xanadu 早期アクセス
Utah パッチ 10b	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 10b から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv Utah パッチ 10b から Xanadu 早期アクセスホット

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			フィックス 1 へ
Utah パッチ 10b	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 10b から Xanadu パッチ 1 への csv から Utah パッチ 10b から Xanadu パッチ 1 へ
Utah パッチ 10b ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Utah パッチ 10b ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス csv Utah パッチ 10b ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス
Utah パッチ 10b ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 10b ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			ホット フィッ クス 1 csvUtah パッ チ 10b ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Utah パッチ 10b ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Utah パッ チ 10b ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 csv まで Utah パッ チ 10b ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ
Utah パッチ 10b ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Utah パッ チ 10b ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセ スcsvUtah パッ チ 10b

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス 
Utah パッチ 10b ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Utah パッチ 10b ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1Utah パッチ 10b ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv 
Utah パッチ 10b ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		Utah パッチ 10b ホットフィックス 2 から Xanadu パッチ 1 への csv Utah パッチ 10b ホット

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			フィックス 2 から Xanadu パッチ 1 への csv
Vancouver パッチ 1	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 1 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 1 から Xanadu 早期アクセス
Vancouver パッチ 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 1 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv Vancouver パッチ 1 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ
Vancouver パッチ 1	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 1 から Xanadu パッチ 1 csv まで Vancouver

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 から Xanadu パッチ 1 へ
Vancouver パッチ 1 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 1 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 1 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス
Vancouver パッチ 1 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 1 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 csv Vancouver パッチ 1 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			ホットフィックス 1 
Vancouver パッチ 1 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 1 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 への csv Vancouver パッチ 1 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 への csv 
Vancouver パッチ 2	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 2 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 2 から Xanadu 早期アクセス 
Vancouver パッチ 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			の csv Vancouver パッチ 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
Vancouver パッチ 2	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 2 から Xanadu パッチ 1 へ の csv Vancouver パッチ 2 から Xanadu パッチ 1 へ 
Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッ チ 2 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Vancouver パッ チ 2 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス 
Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッ チ 2 ホット

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			フィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 csvVancouver パッチ 2 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1
Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 csvVancouver パッチ 2 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1
Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			早期アクセス Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス
Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1
Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu パッチ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			1 への csv Vancouver パッチ 2 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ 
Vancouver パッチ 3	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 3 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Vancouver パッチ 3 から Xanadu 早期 アクセ ス 
Vancouver パッチ 3	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 csv Vancouver パッチ 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
Vancouver パッチ 3	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 3 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 への csv Vancouver パッチ 3 から Xanadu パッチ 1 へ
Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス
Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 csv Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 1 から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1
Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 csv Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 へ
Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 3	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 3 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 3 から Xanadu 早期アクセス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 3	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 3 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 csv Vancouver パッチ 3 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 
Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 3	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 3 ホット フィッ クス 3 から Xanadu パッチ 1 csv から Vancouver パッチ 3 ホット フィッ クス 3 から Xanadu パッチ 1 へ 

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 4	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 4 から Xanadu 早期アクセス スcsv Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 4 から Xanadu 早期アクセス ス
Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 4	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 4 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 csvVancouver パッチ 3 ホットフィックス 4 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Vancouver パッチ 3 ホットフィックス 4	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 3 ホット フィッ クス 4 から Xanadu パッチ 1 csvVancouver パッチ 3 ホット フィッ クス 4 から Xanadu パッチ 1 
Vancouver パッチ 4	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 4 から Xanadu 早期ア クセ スcsv Vancouver パッチ 4 から Xanadu 早期 アクセ ス 
Vancouver パッチ 4	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 4 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv Vancouver パッチ 4 から Xanadu 早期ア

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			アクセス ホット フィッ クス 1 へ
Vancouver パッチ 4	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 4 から Xanadu パッチ 1 へ の csv Vancouver パッチ 4 から Xanadu パッチ 1 へ
Vancouver パッチ 4 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッ チ 4 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Vancouver パッ チ 4 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス
Vancouver パッチ 4 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッ チ 4 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Hotfixes 1 from Xanadu Early Access Hotfixes 1 Vancouver Patch 4 Hotfixes 1
Vancouver Patch 4 Hotfixes 1	Xanadu Patch 1		Vancouver Patch 4 Hotfixes 1 from Xanadu Patch 1 Vancouver Patch 4 Hotfixes 1 from Xanadu Patch 1
Vancouver Patch 5	Xanadu Early Access		Vancouver Patch 5 from Xanadu Early Access Vancouver Patch 5 from Xanadu Early Access

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			アクセス 
Vancouver パッチ 5	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 5 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 csv Vancouver パッチ 5 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
Vancouver パッチ 5	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 5 から Xanadu パッチ 1 へ の csv Vancouver パッチ 5 から Xanadu パッチ 1 へ 
Vancouver パッチ 6	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 6 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Vancouver パッチ 6 から Xanadu 早期 アクセ ス 

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Vancouver パッチ 6	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	への	Vancouver パッチ 6 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1csv Vancouver パッチ 6 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Vancouver パッチ 6	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 6 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv Vancouver パッチ 6 から Xanadu パッチ 1 へ
Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッ チ 6 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ スcsv Vancouver パッ チ 6 ホット フィッ クス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			1 から Xanadu 早期アクセス 
Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1  Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 
Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 への  Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 1 から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu パッチ 1 へ
Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス
Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1csv Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クス 1 
Vancouver パッチ 6 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 6 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 csvVancouver パッチ 6 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 
Vancouver パッチ 7	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 7 から Xanadu 早期ア クセ スcsv Vancouver パッチ 7 から Xanadu 早期 アクセ ス 
Vancouver パッチ 7	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 7 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv Vancouver パッチ 7 から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 へ
Vancouver パッチ 7	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 7 から Xanadu パッチ 1 への csv Vancouver パッチ 7 から Xanadu パッチ 1 へ
Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス
Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 1 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			早期アクセス ホットフィックス 1 csvVancouver パッチ 7 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 
Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 への csv Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 へ 
Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス csv

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Vancouver パッチ 7 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期 アクセ ス
Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 7 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1csv Vancouver パッチ 7 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1
Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 7 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 csvから Vancouver

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 7 ホットフィックス 2 から Xanadu パッチ 1
Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 4	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 4 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 4 から Xanadu 早期アクセス
Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 4	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 4 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 csv Vancouver パッチ 7 ホットフィックス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			4 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 
Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 4	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 4 から Xanadu パッチ 1 csv Vancouver パッチ 7 ホットフィックス 4 から Xanadu パッチ 1 
Vancouver パッチ 8	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 8 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 8 から Xanadu 早期アクセス 
Vancouver パッチ 8	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 8 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クス 1csv Vancouver パッチ 8 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Vancouver パッチ 8	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 8 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv Vancouver パッチ 8 から Xanadu パッチ 1 へ
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ スcsv Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッ チ 8

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 csvVancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッ チ 1 csvVancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 2 から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu 早期ア クセ スcsv Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期 アクセ ス
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1csv Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 2 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 csv Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ 
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 3	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセ ス csv Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期 アクセ ス 
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 3	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 csv Vancouver パッ チ 8

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			ホットフィックス 3 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 3	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 3 から Xanadu パッチ 1 への csv Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 3 から Xanadu パッチ 1 へ 
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 4	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 4 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 4 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			早期 アクセ ス
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 4	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 4 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 csv Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 4 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1
Vancouver パッチ 8 ホットフィックス 4	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 4 から Xanadu パッ チ 1 csvから Vancouver パッ チ 8 ホット フィッ クス 4 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 
Vancouver パッチ 9	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 9 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 9 から Xanadu 早期アクセス 
Vancouver パッチ 9	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 9 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 csv Vancouver パッチ 9 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 
Vancouver パッチ 9	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 9 から Xanadu パッチ 1 への csv Vancouver パッチ 9 から Xanadu パッチ 1 へ 

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Vancouver パッチ 9 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 9 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス スcsv Vancouver パッチ 9 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ス
Vancouver パッチ 9 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 9 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 csvVancouver パッチ 9 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Vancouver パッチ 9 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 9 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv Vancouver パッチ 9 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ 
Vancouver パッチ 9 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 9 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセ スcsv Vancouver パッチ 9 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期 アクセ ス 
Vancouver パッチ 9 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 9 ホット フィッ クス 2 から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 csvVancouver パッ チ 9 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1
Vancouver パッチ 9 ホットフィッ クス 2	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッ チ 9 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッ チ 1 csvVancouver パッ チ 9 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1
Vancouver パッチ 10	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 10 から Xanadu 早期ア クセ スcsv Vancouver パッチ 10 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			早期アクセス 
Vancouver パッチ 10	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 10 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv Vancouver パッチ 10 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ 
Vancouver パッチ 10	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 10 から Xanadu パッチ 1 への csv Vancouver パッチ 10 から Xanadu パッチ 1 へ 
Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 10 から Xanadu 早期アクセス csv Vancouver パッチ 10

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス
Vancouver パッチ 10 ホットフィッ クス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィッ クス 1		Vancouver パッ チ 10 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 csvVancouver パッ チ 10 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1
Vancouver パッチ 10 ホットフィッ クス 1	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッ チ 10 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv Vancouver パッ チ 10 ホット フィッ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu パッチ 1 への csv
Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス	html	Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス csv から Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス
Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 csvVancouver パッチ 10 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期ア

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クセス ホット フィッ クス 1 
Vancouver パッチ 10 ホットフィッ クス 2	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッ チ 10 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ の csv Vancouver パッ チ 10 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ 
Vancouver パッチ 10 ホットフィッ クス 3	Xanadu 早期アクセス		Vancouver パッ チ 10 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセ ス csv から Vancouver パッ チ 10 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期 アクセ ス 

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 3	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 3 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 csvVancouver パッチ 10 ホットフィックス 3 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 
Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 3	Xanadu パッチ 1		Vancouver パッチ 10 ホットフィックス 3 から Xanadu パッチ 1 csvVancouver パッチ 10 ホットフィックス 3 から Xanadu パッチ 1 
WashingtonDC 早期アクセス	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC 早期アクセス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			から Xanadu 早期ア クセ スcsv WashingtonDC 早期ア クセス から Xanadu 早期 アクセ ス
WashingtonDC 早期アクセス	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ の csv WashingtonDC 早期ア クセス から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 への csv
WashingtonDC 早期アクセス	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC から Xanadu パッチ 1 への 早期 アクセ スWashingtonDC から Xanadu パッチ 1 への csv

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
WashingtonDC 早期アクセスホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC 早期アクセスホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス csv WashingtonDC 早期アクセスホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス 
WashingtonDC 早期アクセスホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC 早期アクセスホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv WashingtonDC 早期アクセスホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ 

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
WashingtonDC 早期アクセスホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ の csv WashingtonDC 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ 
WashingtonDC パッチ 1	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 1 から Xanadu 早期ア クセ ス csv WashingtonDC パッチ 1 から Xanadu 早期 アクセ ス 
WashingtonDC パッチ 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ の csv WashingtonDC パッチ 1 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			早期アクセス ホットフィックス 1 へ 
WashingtonDC パッチ 1	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 1 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv WashingtonDC パッチ 1 から Xanadu パッチ 1 へ 
WashingtonDC パッチ 1 ホット フィックス 1	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 1 ホット フィックス 1 から Xanadu 早期ア クセ スcsv WashingtonDC パッチ 1 ホット フィックス 1 から Xanadu 早期ア クセ ス 
WashingtonDC パッチ 1 ホット フィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 1 ホット フィックス 1 から Xanadu 早期ア

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クセス ホット フィッ クス 1へ の csv WashingtonDC パッ チ 1 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
WashingtonDC パッチ 1 ホット フィックス 1	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッ チ 1 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1csv まで WashingtonDC パッ チ 1 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ
WashingtonDC パッチ 1 ホット フィックス 2	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッ チ 1 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			ス csv WashingtonDC パッチ 1 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期 アクセ ス 
WashingtonDC パッチ 1 ホット フィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィッ クス 1		WashingtonDC パ チ 1 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 への csv WashingtonDC パ チ 1 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
WashingtonDC パッチ 1 ホット フィックス 2	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パ チ 1 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ の csv

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			WashingtonDC パッチ 1 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ 
WashingtonDC パッチ 2	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 2 から Xanadu 早期ア クセ スcsv WashingtonDC パッチ 2 から Xanadu 早期 アクセ ス 
WashingtonDC パッチ 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv WashingtonDC パッチ 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
WashingtonDC パッチ 2	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 2 から Xanadu パッチ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			1 への csv WashingtonDC パッチ 2 から Xanadu パッチ 1 へ
WashingtonDC パッチ 2 ホット フィックス 1	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 2 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ ス csv WashingtonDC パッチ 2 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス
WashingtonDC パッチ 2 ホット フィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィッ クス 1		WashingtonDC パッチ 2 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 への csv WashingtonDC パッチ 2 ホット フィッ クス 1 から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 へ
WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 への csv WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 へ
WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス csv WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 へのcsv WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 へ 
WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu パッチ 1 への csv WashingtonDC パッチ 2 ホットフィックス 2 から Xanadu パッチ 1 へ 

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
WashingtonDC パッチ 3	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 3 から Xanadu 早期ア クセ スcsv WashingtonDC パッチ 3 から Xanadu 早期 アクセ ス
WashingtonDC パッチ 3	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv WashingtonDC パッチ 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
WashingtonDC パッチ 3	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 3 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv WashingtonDC パッチ 3 から Xanadu パッチ 1 へ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
WashingtonDC パッチ 3 ホット フィックス 1	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 3 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ スcsv WashingtonDC パッチ 3 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス
WashingtonDC パッチ 3 ホット フィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィッ クス 1		WashingtonDC パッチ 3 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へのcsv WashingtonDC パッチ 3 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
WashingtonDC パッチ 3 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 3 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 csv まで WashingtonDC パッチ 3 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ 
WashingtonDC パッチ 3 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 3 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセ スへ の csv から WashingtonDC パッチ 3 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期 アクセ ス 
WashingtonDC パッチ 3 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 3 ホット フィッ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv WashingtonDC パッ チ 3 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
WashingtonDC パッチ 3 ホット フィックス 2	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッ チ 3 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ の csv WashingtonDC パッ チ 3 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ
WashingtonDC パッチ 3 ホット フィックス 3	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッ チ 3 ホット フィッ クス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			3 から Xanadu 早期アクセス csv WashingtonDC パッチ 3 ホットフィックス 3 から Xanadu 早期アクセス 
WashingtonDC パッチ 3 ホットフィックス 3	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 3 ホットフィックス 3 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 への csv WashingtonDC パッチ 3 ホットフィックス 3 から Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1 へ 
WashingtonDC パッチ 3 ホットフィックス 3	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 3 ホットフィックス 3 から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu パッチ 1 へ のcsv WashingtonDC パッ チ 3 ホット フィッ クス 3 から Xanadu パッチ 1 へ 
WashingtonDC パッチ 4	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 4 から Xanadu 早期ア クセ スcsv まで WashingtonDC パッチ 4 から Xanadu 早期ア クセス へ 
WashingtonDC パッチ 4	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 4 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ の csv WashingtonDC パッチ 4 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
WashingtonDC パッチ 4	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 4 から Xanadu パッチ 1 へ の csv WashingtonDC パッチ 4 から Xanadu パッチ 1 へ 
WashingtonDC パッチ 4 ホット フィックス 1	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッ チ 4 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ ス csv WashingtonDC パッ チ 4 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期 アクセ ス 
WashingtonDC パッチ 4 ホット フィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィッ クス 1		WashingtonDC パッ チ 4 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 への csv WashingtonDC

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 4 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
WashingtonDC パッチ 4 ホット フィックス 1	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッ チ 4 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1csv まで WashingtonDC パッ チ 4 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ
WashingtonDC パッチ 4 ホット フィックス 2	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッ チ 4 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセ スcsv WashingtonDC パッ チ 4 ホット フィッ クス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			2 から Xanadu 早期 アクセス 
WashingtonDC パッチ 4 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 4 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 への csv WashingtonDC パッチ 4 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 へ 
WashingtonDC パッチ 4 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 4 ホットフィックス 2 から Xanadu パッチ 1 への csv WashingtonDC パッチ 4 ホットフィックス 2 から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu パッチ 1 へ
WashingtonDC パッチ 5	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 5 から Xanadu 早期ア クセ ス csv まで WashingtonDC パッチ 5 から Xanadu 早期ア クセス へ
WashingtonDC パッチ 5	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 5 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv WashingtonDC パッチ 5 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ
WashingtonDC パッチ 5	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 5 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv WashingtonDC パッチ 5 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 へ
WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス csv WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス
WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 へのcsv WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クス 1 へ
WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 5 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv WashingtonDC パッチ 5 ホット フィッ クス 1 から Xanadu パッチ 1 へ
WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 5 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセ スcsv WashingtonDC パッチ 5 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期 アクセ ス
WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 5 ホット フィッ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へのcsv WashingtonDC パッ チ 5 ホット フィッ クス 2 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
WashingtonDC パッチ 5 ホット フィックス 2	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッ チ 5 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ のcsv WashingtonDC パッ チ 5 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ 
WashingtonDC パッチ 5 ホット フィックス 3	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッ チ 5 ホット フィッ クス 3 から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu 早期ア クセ スWashingtonDC パッ チ 5 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセス CSV 
WashingtonDC パッチ 5 ホット フィックス 3	Xanadu 早期アクセスホットフィッ クス 1		WashingtonDC パッ チ 5 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へのCSV WashingtonDC パッ チ 5 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
WashingtonDC パッチ 5 ホット フィックス 3	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッ チ 5 ホット フィッ クス 3 から Xanadu パッチ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			1 への csv WashingtonDC パッチ 5 ホット フィックス 3 から Xanadu パッチ 1 への csv
WashingtonDC パッチ 5 ホット フィックス 4	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 5 ホット フィックス 4 から Xanadu 早期ア クセ ス WashingtonDC パッチ 5 ホット フィックス 4 から Xanadu 早期ア クセス csv
WashingtonDC パッチ 5 ホット フィックス 4	Xanadu 早期アクセスホットフィッ クス 1		WashingtonDC パッチ 5 ホット フィックス 4 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 WashingtonDC パッチ 5 ホット

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			フィックス 4 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 への csv 
WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 4	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 4 から Xanadu パッチ 1 への csv WashingtonDC パッチ 5 ホットフィックス 4 から Xanadu パッチ 1 への 
WashingtonDC パッチ 6	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 6 から Xanadu 早期アクセス csv まで WashingtonDC パッチ 6 から Xanadu 早期アクセス への 
WashingtonDC パッチ 6	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 6 から

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv WashingtonDC パッチ 6 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
WashingtonDC パッチ 6	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 6 から Xanadu パッチ 1 へ の csv WashingtonDC パッチ 6 から Xanadu パッチ 1 へ 
WashingtonDC パッチ 6 ホット フィックス 1	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッ チ 6 ホット フィッ クス 1 から Xanadu 早期ア クセ ス csv から WashingtonDC パッ チ 6 ホット フィッ クス 1 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			早期アクセス
WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 1	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 への csv WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 への
WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 への の csv WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 1 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 へ
WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス csv WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス
WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 2	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 へのcsv WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 2 から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クス 1 へ
WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 2	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 6 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ の csv WashingtonDC パッチ 6 ホット フィッ クス 2 から Xanadu パッチ 1 へ
WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 3	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 6 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセ スcsv WashingtonDC パッチ 6 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期 アクセ ス
WashingtonDC パッチ 6 ホットフィックス 3	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 6 ホット フィッ

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			クス 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へのcsv WashingtonDC パッ チ 6 ホット フィッ クス 3 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 
WashingtonDC パッチ 6 ホット フィックス 3	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッ チ 6 ホット フィッ クス 3 から Xanadu パッチ 1 へ の csv WashingtonDC パッ チ 6 ホット フィッ クス 3 から Xanadu パッチ 1 へ 
WashingtonDC パッチ 7	Xanadu 早期アクセス		WashingtonDC パッチ 7 から Xanadu 早期ア クセ スcsv

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			まで WashingtonDC パッチ 7 から Xanadu 早期 アクセ ス 🔗
WashingtonDC パッチ 7	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		WashingtonDC パッチ 7 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1へ の csv WashingtonDC パッチ 7 から Xanadu 早期ア クセス ホット フィッ クス 1 へ 🔗
WashingtonDC パッチ 7	Xanadu パッチ 1		WashingtonDC パッチ 7 から Xanadu パッチ 1 へ の csv WashingtonDC パッチ 7 から Xanadu パッチ 1 へ 🔗
Xanadu 早期アクセス	Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1		Xanadu 早期ア クセス から Xanadu 早期ア クセス ホット

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			フィックス 1 への csv Xanadu 早期アクセス から Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 へ 
Xanadu 早期アクセス	Xanadu パッチ 1		Xanadu 早期アクセス から Xanadu パッチ 1 への csv Xanadu 早期アクセス から Xanadu パッチ 1 へ 
Xanadu 早期アクセスホットフィックス 1	Xanadu パッチ 1		Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 から Xanadu パッチ 1 への csv Xanadu 早期アクセス ホットフィックス 1 から Xanadu

自動翻訳

(続く)

現行バージョン	ターゲットバージョン	表示	ダウンロード
			パッチ 1 へ

利用可能なパッチとホットフィックス

Xanadu ファミリーには、パッチとホットフィックスが含まれています。

i 重要:

インスタンスのアップグレード方法の詳細については、「[ServiceNow のアップグレード](#)」を参照してください。

リリースサイクルの詳細については、「[ServiceNow リリースサイクル](#)」を参照してください。

i 注:

この Now Platform メジャーファミリーリリースは、ServiceNow の規制された市場環境で使用できるようになりました。隔離された環境で利用可能なサービスの詳細については、「[KB0743854](#)」を参照してください。

2024 年第 3 四半期のパッチ適用プログラムのターゲット

ターゲットはパッチ適用前に変更される可能性があります。ターゲットバージョンは、絶対に必要な場合にのみ変更されます。

リリース	パッチターゲットオプション	リリースノート
Washington DC	Washington DC パッチ 4 ホットフィックス 1b	Washington DC
Vancouver	Vancouver パッチ 9 ホットフィックス 2b	Vancouver
Utah	Utah パッチ 10b ホットフィックス 2	Utah

利用可能バージョン

セキュリティパッチおよびセキュリティホットフィックスのリリースノートを表示するには、support.servicenow.com (以前の HI) にログインしてください。

リリースバージョン	リリースタイプ	リリース日	可用性
Xanadu パッチ 1	パッチ	2024/09/10	利用可能
Xanadu EA ホットフィックス 1	ホットフィックス	2024/08/29	要求により利用可能
Xanadu のセキュリティと注目すべき修正 Xanadu におけるその他のすべての修正	機能 早期提供 (Early Availability)	2024/08/01	利用不可能

- 利用可能：すべてのユーザーがこのバージョンにアップグレードできます。「利用可能」なバージョンが [\[インスタンスアップグレード管理 \(Instance Upgrade Management\)\]](#) ダッシュボード [📄](#) に表示されます。

ServiceNow パッチプログラムのターゲットとパッチはすぐに提供されます。ユーザーは、これらのバージョンへのアップグレードをスケジュールするためにエンタイトルメントを要求する必要はありません。

- 要求により利用可能： [連絡先 カスタマーサービス & サポート](#) [📄](#) バージョンへのアップグレードの承認が必要です。
- 利用不可能：このリリースバージョンは利用できません。

メトリックベース リリース

最新の メトリックベース オンプレミスリリースノートについては、[KB0748185](#) [📄](#) を参照してください。

補足ソフトウェアリリース

ServiceNow Store からダウンロード可能な最新のパスワードリセット Windows アプリケーション、ODBC ドライバー、およびその他のすべての補足ソフトウェアの詳細については、「[ServiceNow Store のリリースノート](#) [📄](#)」を参照してください。

Xanadu パッチ 1

Xanadu パッチ 1 リリースには、重要な問題の修正が含まれています。

Xanadu パッチ 1 は 2024 年 9 月 10 日にリリースされました。

- ビルド日: 09-01-2024_1853
- ビルドタグ: glide-xanadu-07-02-2024__patch1-08-24-2024

i 重要:
インスタンスのアップグレード方法の詳細については、「[ServiceNow のアップグレード](#) [📄](#)」を参照してください。

リリースサイクルの詳細については、「[ServiceNow リリースサイクル](#) [📄](#)」を参照してください。

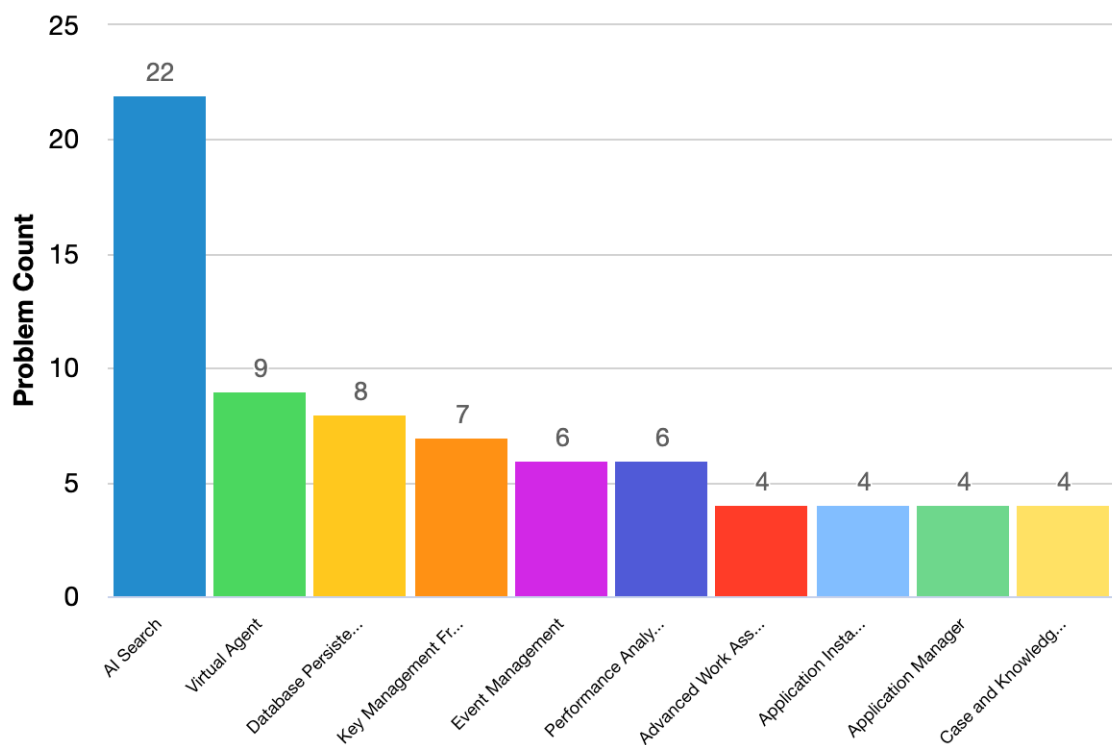
i 注:
この Now Platform メジャーファミリーリリースは、ServiceNow の規制された市場環境で使えるようになりました。隔離された環境で利用可能なサービスの詳細については、「[KB0743854](#) [📄](#)」を参照してください。

このリリースで修正された問題のダウンロード可能でソート可能なバージョンについては、[ここ](#) [📄](#) をクリックしてください。

概要

Xanadu パッチ 1 には、さまざまなカテゴリの 255 の問題修正が含まれています。以下のチャートは、このパッチに含まれる上位 10 件の問題カテゴリを示しています。

上位 10 件の問題カテゴリ



セキュリティ関連の修正

Xanadu パッチ 1 には、特定の ServiceNow アプリケーションと Now Platform に影響を与えるセキュリティ関連の問題の修正が含まれています。最も安全で最新の機能を使用するために、このリリースにアップグレードすることをお勧めします。Xanaduパッチ1で修正されたセキュリティ問題の詳細については、[KB1700380](#) を参照してください。

Xanadu パッチ 1 の変更

- [Connect to a Git provider using OAuth 2.0 with the ServiceNow IDE](#)
- [Configure OAuth 2.0 credentials to connect to a Git provider with the ServiceNow IDE](#)
- [Configure an OAuth 2.0 application registry for the ServiceNow IDE](#)
- [ServiceNow SDK リリースノート](#)
 - 作成および変換コマンドには、project-type パラメーターと template パラメーターが含まれます
- [Considerations for switching JavaScript modes](#)

注目の修正

次の問題とその修正は、顧客に潜在的な影響のあるものを最も重要な修正から順に示しています。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
AI 検索 PRB1778235	Washington DC バージョンにアップグレードした後、ポ	この問題は、「SP」や「ESC」などの任意のポータルと、空のテストページで確認できます。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB1647662	URLの任意のページにアクセスすると、ブラウザーコンソールに「Invalid or unexpected token (無効または予期しないトークン)」というエラーメッセージが表示される	ブラウザーコンソールにエラーメッセージは表示されないはずです。	
AI 検索 PRB1779119 KB1650596	Washington DC にアップグレードした後、インシデントまたはケーススタックを表示すると、ユーザーに赤いバナーの ACL メッセージが表示される	ユーザーは、「live_message.chat_message」の読み取りセキュリティルールが原因で、live_message のクエリの一部が無視されました」または「live_message.state」の読み取りセキュリティルールが原因で、live_message のクエリの一部が無視されました」というバナーでエラーを確認します。	
AI 検索 PRB1779636 KB1651332	カールセルと通常の検索結果が断続的に表示されない	検索クエリが実行されると、カールセルがロード状態でスタックします。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
アプリケーションマネージャー PRB1781787 KB1695712	依存関係が Now Assist for Creator にロードされない	依存関係プロセッサは、さらに処理するために同じ依存関係を繰り返し追加するため、リストが無限ループで継続的に増加します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
認証 PRB1782128	検証プロパティが false の場合でも、「CSRF 検証に失敗しました」というエラーメッセージがログに記録されます	Washington DC にアップグレードすると、CSRF 検証の失敗に関連するエラーが syslog テーブルに表示されます。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
データベースの永続性 - データアクセス PRB1717895 KB1629327	関連リスト条件クエリの「OR」論理演算子が「AND」演算子として動作する	「OR」論理演算子で関連リスト条件を使用してテーブルをレポートする場合、「AND」を使用した場合と同じ効果があるように思われます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

その他のすべての修正

問題	簡単な説明	説明	再現手順
アクセス制御リスト (ACL) ルール PRB1787441	スクリプトに有効なスクリプトが含まれている場合でも空の ACL モーダルが表示される	ルール、条件、またはセキュリティ属性がなく、スクリプトのみの ACL を保存しようとする、[空の ACL] モーダルが表示され、有効な ACL を保存できなくなります。これは、スクリプトの最初の行に「//」スタイルのコメントが含まれている場合に発生します。	
高度な作業アサイン PRB1781366	「AWA 外部ルーティングイベント送信」サブフローが「ドラフト」ステータスである	サブフローは「公開済み」ステータスである必要があります。	1. オープン フローデザイナー > サブフロー. 2. 「AWA 送信外部ルーティングイベント」が「ドラフト」ステータスになっていることに注意してください。「公開済み」である必要があります。
高度な作業アサイン PRB1789902	スクリプト可能 API ExternalAWAService.pushEvent が、カスタムイベントをブッシュするためにスコープ対象のアプリケーションから呼び出されたときに機能しません。		
高度な作業アサイン	ユーザーがアプリケーションスコープから <code>awa_queue</code> で	ベースインスタンスでは、読み取りアプリケーションアクセスのみが <code>awa_queue</code> で提供されます。これにより、グ	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1793955	コードを作成できない	ローパルスコープ以外からの awa_queue でのレコードの作成が防止されます。	
エージェントチャット PRB1788201	エージェントチャットとサイドバーのチャット入力テキスト領域のコピー&ペーストとデバウンスの問題を解決する	2つの問題があります。 [Send] ボタンは 250 秒遅れて有効になります。非常に速く入力されたメッセージを送信すると、メッセージが途切れます。	1. エージェントチャットを開始します。 2. テキストエリアにテキストを入力します。
エージェントチャット PRB1797451	textAreaRef がフック挿入で正しくインスタンス化されないため、入力領域の「Enter」キーと送信ボタンが機能しない	この問題は断続的に発生します。	1. 要求者としてチャットを作成します。 2. エージェントは、チャット全体がレンダリングされる前に、入力テキストエリアを選択します。 3. 何かをすばやく入力し、「Enter」キーを押します。 予想される動作: 「Enter」キーを押すか、[送信] ボタンを選択すると、メッセージが送信されます。 実際の動作: 「Enter」キーを押しても新しい行が作成され、[Send] ボタンを選択しても何も起こりません。
アジャイル開発 PRB1795981	SPM の Now Assist を調整する	これは製品の更新です。	
AI 検索 PRB1720417	翻訳されたフィールドヘルパーが、インストールされている言語に対して予期しない AI 検索ドキュメントを生成する	翻訳済みフィールドヘルパーは、sys_user のインストール済み言語をテーブルの preferred_language 検索することで sys_choice 予期しない AI 検索ドキュメントを生成します。	1. i18n パックプラグインを使用せずにインスタンスをプロビジョニングします。 2. sys_choice に移動します。 3. sys_user テーブルの [preferred_language] 列にエントリを作成します。 4. 言語を含む sc_cat_item レコードを取り込みます。 1 つの Glide レコードに対して 2 つのドキュメントが生成されることを確認します。
AI 検索 PRB1755160	レコードの SysID が、最近表示したアイテムではタイトルとして表示さ	SysID は、short_description フィールドが削除されて再度追加された後にタイ	1. ベースインスタンスで、グローバル検索が Zing を指していることを確認します。 2. XML をエクスポートします。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	れ、Zing 検索では完全一致として表示される	トルとして表示されま す。	3. short_description フィールドを削除して、再度インポートします。 4. KB を検索します。 5. 検索入力ボックスを選択し、最近表示したアイテムを確認します。 SysID がタイトルとして表示されていることに注意してください。 6. 完全一致検索を試してください。 SysID がタイトルとして表示されていることに注意してください。 7. AI 検索を使用するには、グローバル検索に切り替えます。 8. 同じ KB を検索し、クリックを実行します。 この KB は [最近の表示] または [提案] セクションに表示されないことに注意してください。
AI 検索 PRB1760249	データブローカーのユーザー代理操作を変更してもユーザーロールが更新されない		1. アドミンとしてログインします。 2. 検索プレビュー UI に移動します。 3. リストから検索プロファイルを選択し、キーワードを検索します。 選択した検索プロファイルの検索結果が表示されていることを確認します。 4. 検索プレビューの最後のタブを使用して、別のユーザーの「別のユーザーとして検索」します。 データブローカーのユーザーの代理操作を変更してもロールは更新されないことに注意してください。
AI 検索 PRB1774826	AIS 更新イベントキュー書き込み可能プロパティが GenAI セマンティックテーブルのインデックス作成で無効になる	GenAI テーブルのインデックス作成は非常に遅いため、キューに入れられたイベントais_index 1M を超える場合、これは ais_index.init 中にも発生する可能性があります。	1. ais_indexキューに 1M のイベントを作成します。 2. 10k+ ドキュメントで進行中の DPR 取り込みKb_knowledge。 予期glide.ais.update_event_queue_writable:プロパティが無効になっておらず、最終的にイベント処理の遅延が追いつきます。 実際の動作:glide.ais.update_event_queue_writable

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			が無効になり、ユーザーインスタンスに不要なアラートとケースが作成されます。
AI 検索 PRB1779590	[GR] セクションの UX の問題	ユーザーは次のメッセージを確認します: 「表示するコンテンツはありません。Please add components to carousel (カルーセルにコンポーネントを追加してください)」というエラーが表示されます。	
AI 検索 PRB1779622	提案された検索ポップオーバーで「添付ファイル」が翻訳されていない		1. 言語をインストールします。 2. KB に添付ファイルを追加します。 3. KB を公開します。 4. サービスポータルで提案ボックスで検索して添付ファイルを表示します。 「添付ファイル」が翻訳されていないことを確認します。
AI 検索 PRB1780839	非同期ケースでトリガーされた Genius 結果 (GR) に対して誤った値がログに記録される	非同期モードが「GR_ONLY」の場合、最初の検索応答を返すときに実行中の非同期 GR ごとに「GR プレースホルダー」が返されます。これらのプレースホルダーは、その応答の searchAnalyticsPayload に格納され、最初の SEARCH_EVENT をログに記録するために使用されます。その SEARCH_EVENT シグナルのログ記録の一部として、これらのプレースホルダー GR はトリガーされた GR テーブルに記録されます。ただし、それらのいずれかが実際に有効な GR になる保証はなく、有効な GR になったとしても、ユーザーに表示された保証はありません。	
AI 検索 PRB1783414	管理コンソールのスコープから呼び出せるように SAC クローン作成スクリプトを変更する	これは製品の更新です。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
AI 検索 PRB1785297	外部 URL を使用した最近表示した結果 (PERSONAL_CLICK 提案) の提案がポータルで正しく移動しない		1. AI 検索が有効なインスタンスでサービスポータルを開きます。 2. 「パスワード変更」を検索します。 3. 「パスワード変更」の通常の (Genius 以外の) 検索結果を選択します。 ユーザーがポータル外のページ (\$pwd_change_error.do など) に移動することを確認します。 4. スケジュール済みジョブを実行してキューに格納されたクリックシグナルを処理し、「最近の表示」の提案を取得します。 5. ポータルのホームページまたは検索ページに戻り、検索ボックスに「変更」と入力します。 6. その下にある [Catalog Item (カタログアイテム)] と表示されている [Recently Viewed (最近の表示)] 候補を選択します。 予想される動作: ユーザーは、通常の検索結果を選択するときに使用したのと同じ URL に移動します。 実際の動作: ユーザーは汎用ポータルフォームページに移動します。
AI 検索 PRB1785913	セクションを折りたたむ、フィルター、フィルターを非表示にする sn-search-facets で翻訳されない		1. オントラック/xnowassistで、AISを有効にします。 2. システムローカリゼーション翻訳プリフィックスをオンにします。 3. 「***」を検索します。 4. [インシデント] またはその他のタブに移動します。 [フィルター] と [フィルターを非表示] には、翻訳プリフィックスのタグは付けられません。+ 展開記号にカーソルを合わせると、「セクションを折りたたむ」には翻訳プリフィックスがありません。
AI 検索 PRB1786056	カルーセルの Genius 結果の位置がシグナルに追加されない	カルーセルをトリガーする用語が検索され、カルーセルに対してアクションが実行された場合、Genius 結果の位置はシグナルに追加されません。	1. Next Experience ホームページに移動します。 2. 複数の結果があるカルーセルをトリガーする用語を検索します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			3. フィードバックを提供するか、カルーセル上の複数のアイテムからアイテムの 1 つを要求するなどのアクションを実行します。 カルーセルの Genius 結果の位置をシグナルに追加する必要がありますが、追加されていません。
AI 検索 PRB1786362	プラットフォームとスキーマのアップグレード中に自然言語理解 (NLU) ポータルの AI 検索が機能しない		
AI 検索 PRB1787268	検索プレビュー UI のクエリロケールが機能しない	検索結果が正しい言語で表示されない。	1. 検索プレビュー UI (新規) に移動します。 2. リストオプションから [検索プロファイル] を選択します。 3. [Users] タブで [Query Locale] を [Spanish] に変更します。 4. 用語の検索を実行します (iPadなど)。 検索結果の言語がまだ英語であることに注意してください。
AI 検索 PRB1788062	Vancouver から Xanadu にアップグレードすると、検索がしばらく停止する	「AISearchService: Error is thrown from searchQueryService.search() java.lang.NullPointerException: Cannot invoke 'com.glide.db.meta.Table.getIterator()' because 'result' is null: com.glide.ais.configuration」というエラーが表示されます。DataSource.loadSemanticSearchMappings(DataSource.java:351) com.glide.ais.構成。データソース。loadFromDB(DataSource.java:250)' です。	1. Vancouver インスタンスで、Now Assist ITSM がインストールされたインスタンスをプロビジョニングします。 2. Now Assist アクションと Now Assist GET をサービスポータル検索プロファイルに添付します。 3. ポータルでクエリを実行します。 4. Glide を Xanadu にアップグレードします。 アップグレード中は通常の検索がダウンしていることに注意してください。
AI 検索 PRB1788078	sys_search_event Genius 結果のフィードバックとクリックのgr_resultsにgrConfigが含まれない		1. [フィードバック] または [Genius 結果] アクションを選択します。 2. 検索イベントが sys_signal_event_queueからフラッシュされるのを待ちます。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			sys_search_event.gr_results のエントリーの「grConfig」値が空であることを確認します。
AI 検索 PRB1789527	密集した通路検索の取り込みでは、プロパティ sn_ais_assist.dpr_enabled を有効または無効にすることを引き続きサポートする必要があります	2024 年 8 月のリリースでは、高密度パッセージ検索の取り込みで Now Assist Creator のコア機能になりました。プロパティ sn_ais_assist.dpr_enabled が Glide ファミリーリリースに移動され、名前が glide.ais.dpr_enabled に変更されたため、2024 年 6 月以前のバージョンの Now Assist for AI Search を使用しているユーザーは回帰が発生しました。DPR 取り込みが無効になっているインスタンスは、ユーザーが手動で有効にしない限り、アップグレード後も無効のままにする必要があります。	- Now Assist for AI Search を Washington またはそれ以前のリリースにインストールします。 - 非表示プロパティ「sn_ais_assist.dpr_enabled」を「false」に設定して DPR の取り込みを無効にします。 - XanaduEAバージョンにアップグレードします。 DPR 取り込みが有効になっていることに注意してください。
AI 検索 PRB1789837	添付ファイルがインデックス化されない	添付ファイルの sys_eventが存在し、問題なく処理されますが、クエリ時にインデックスには何も存在しません。AI 検索バックエンドへの添付ファイルが送信されていません。	- インデックス付きソースからの添付ファイルのインデックス作成を有効にします。 - 添付ファイルをナレッジレコードに添付します。 添付ファイル/レコードの sysevent が処理されたが、インデックスに何も含まれていないことを確認します。
AI 検索 PRB1793717	自然言語クエリ (NLQ) の「Switch」テーブルと「Show」テーブルが sn-search-top-results からフィードバックを出力しない		Washington DC で、NLQ 結果の任意の非フィードバックボタンを選択します。 ネットワーク呼び出しタブからフィードバックが返されていないこと、および検索の sys_search_event に Genius 結果イベントが記録されていないことを確認します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
AI 検索 PRB1795072	Search API でドット連結翻訳済みテキストフィールドを要求すると、null ポイントエラー (NPE) が発生する		1. ドット連結翻訳済みテキストフィールドをインデックス付きソースに追加します。 2. データソースのインデックスを再作成します。 3. 要求されたフィールドにドット連結翻訳済みテキストフィールドを使用せずにスクリプト可能検索 API を呼び出します。 機能していることを確認します。 4. 要求されたフィールドにドット連結翻訳されたテキストフィールドを指定して、スクリプト可能検索 API を呼び出します。 ログ内の空の応答と NPE を確認します。
アナリティクスデータ API PRB1788888	アップグレード後にデータブローカーの呼び出しが失敗する	Analytics Data API は、データブローカーからのリクエストをサンitizeし、プレースホルダー値を削除する必要があります。	1. UI ビルダー (UIB) ページを作成します。 2. データ可視化データブローカー (テーブル) を追加します。 3. 応答が正しいデータ可視化応答になるように、ブローカーのプロパティを入力します。 4. ページを保存します。 5. ページ定義に移動します。 6. [データ] フィールドで、データブローカーから useDataCache プロパティ値を削除します。 7. UIB に戻り、ページを更新します。 8. データブローカーを開きます。 予想される動作: 応答はステップ 3 と同じです。 実際の動作: エラーが発生します。
アンチウイルススキャン PRB1734157	Glide のリリースに合わせて com.glide.snap.v2 に更新します	[File Attachment (ファイルの添付)] フィールドにファイルを添付すると、ウイルススキャンが機能しません。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Application Install Engine PRB1753470	アプリのカスタマイズがベースインスタンスに戻された後も sys_claimが残る	インスタンス 1 とインスタンス 2 でアプリのカスタマイズ v1 を使用しているときにアプリのカスタマイズがインストールされた後でも、アプリのカスタマイズは、ベースインスタンスに戻された後も sys_claim があります。	1. インスタンス 1 にベースアプリ v2 をインストールします。 2. カスタマイズしたファイルをベースアプリ v2 に戻します。 3. アプリのカスタマイズ v2 を公開します。 4. インスタンス 2 にアプリ v2 とアプリのカスタマイズ v2 をインストールします。 予想される動作: Sys_claim 削除されます。 実際の動作: Sys_claim は削除されません。
Application Install Engine PRB1782930	プラグインの依存関係が、ベースインスタンスプラグインのアプリ依存関係として誤って分類されている	間違ったタイプのプラグイン依存関係がログで識別されます。	1. プラグインの依存関係を持つベースインスタンスプラグインのインストール 2. ログを確認する 予想される動作: 「%s から %s へのプラグイン依存関係を登録しています」を確認します。 実際の動作: 「%s から %s へのアプリの依存関係を登録しています」という間違ったタイプのプラグイン依存関係が識別されます。
Application Install Engine PRB1786797	バッチ インストールでは、アプリ以外の V2 アプリの循環依存関係は処理されません	BatchInstallDependencyMap.java クラスは、インストールされるアプリが V2 アプリでない場合、循環依存関係は処理しません。shouldEvaluateDependencies メソッドは、循環依存関係が検出されたときに誤って true を返します。V2 以外のアプリを読み込み、既に確認されている依存関係ペアがある場合、アクセスした V2 プラグインのリストがチェックされるため、shouldEvaluateDependencies は true を返します (V2 アプリではないため空)。	1. Washington DC インスタンスを開きます。 2. App Engine Studio のバッチインストールを試みます。 進捗状況バーが 0% を超えず、最終的に StackOverflow メッセージが表示されることを確認します。
Application Install Engine PRB1786807	条件付きアプリケーションが新しいアプリ管理を介してインストールされなかった		1. 新しい Washington DC インスタンスをプロビジョニングします。 2. ストアに移動します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			3. 「Healthcare and Life Sciences Service Management Core」 アプリケーションを要求します。 4. システムアプリケーションを介して、インスタンスへの「Healthcare and Life Sciences Service Management Core」 V 8.0.0 のインストールを完了します。 5. システムアプリケーションに移動します。 6. インストールsn_cwf_wrkspcステータスを確認します。 予想される動作:sn_cwf_wrkspcをインストールするか、インスタンスで CSM/FSM 構成可能ワークスペースが利用可能である必要があります。 実際の動作:sn_cwf_wrkspcがインストールされていないか、インスタンスで CSM/FSM 構成可能ワークスペースにアクセスできません。
アプリケーションマネージャー PRB1780803 KB1649374	リモートアプリケーションのエントリに [sys_code] 列に「undefined」と入力される	インストーラーは sys_remote_app テーブルから sys_store_app テーブルに sys_code 値をコピーし、すべてのアプリのインストールに使用します。ただし、「未定義」の従来の値を持つレコードは考慮されていませんでした。その結果、「未定義」の値を持つ既存のレコードでは、プラグインで条件付きコンテンツのロードに失敗します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
予約 PRB1789260	予約ユーザーの予約時に技術者カレンダーの個人イベントが無視される	また、予約ユーザーとして予約/再スケジュールすると、CSM/CSP ポータルでエラーが発生します。	1. エージェントのパーソナルイベントを作成します。 2. グループ内でそのエージェントのみが使用可能であることを確認し、DS がそのユーザーのみの可用性とイベントをチェックするようにします。 3. CSM ポータルにユーザーとしてログインします。 4. 予約します。 予想される動作:エージェントが休暇中の場合、または他の利用可能なスロットの予約が予約されている場合は、予約スロット

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			は表示されません。予約は、スローされたエラーなしで行う必要があります。 実際の動作:予約/再スケジュールでは、技術者が休暇中の時間やスロットが表示される時間が優先されません。また、画面にエラーメッセージが表示されます。
資産管理 PRB1778297 KB1649341	資産管理ワークスペース内のハードウェア資産管理 (HAM) の「インシデント」表示ルールは、エージェントワークスペースを対象としています	[ワークスペース] フィールドが [エージェントワークスペース] に設定されている。HAM の「インシデント」ビュールールは、Agent Workspace をターゲットにしないでください。 [Agent Workspace] フィールドは空のままにする必要があります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
資産管理 PRB1781337 KB1648741	「ストックランナー」ジョブがエラーで失敗する	「Stock Runner」ジョブが次のエラーで失敗します: 「ProcessStockRules: ReferenceError: 'sn_eam' is not defined.: no thrown error.」	
資産管理 PRB1789460	スウェーデン語のインスタンスで、モデルのカタログアイテムを公開するときに問題が発生する	スウェーデン語のインスタンスでモデルのカタログアイテムを公開する場合、カタログアイテムの名前にメーカーまたはモデル番号は含まれません。	
監査履歴 PRB1772442 KB1651482	Log Export Service (LES) でエクスポートするログを選択する際に、キャンセル不可能な監査機能が有効になっている場合、sys_audit が転送されない		
認証 PRB1788307	リストビューのドット連結が壊れている	ドット連結フィールド (ターゲットバージョン、親欠陥など) は空白です。この問題は、「Zero Trust - Policy Based Session Access」プラグインが	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		インストールされた後にのみ発生します。	
自動テストフレームワーク (ATF) PRB1764100	「成功」または「失敗」ステータスを明示的に設定せずに実行される ATF ステップでは、保留中のスイート結果が残され、クラウド実行の実行がスタックする可能性がある	すべてのテストが終了しても、スイートと進行状況のトラッカーは両方とも「実行中」の状態のままになります。Cloud Runner は、実行対象が何も残っていない場合でも、かなり後で最終的にタイムアウトするまでアクティブなままになります。これは、ステップ作成者が単に忘れた場合や、エラーがスローされた場合など、ATF テストステップが「ファイナライズ済み」ステータス (成功/失敗/エラーなど) に設定されない場合に発生する可能性があります。	
自動テストフレームワーク (ATF) PRB1769587	ATF のスケジュール済みクライアントテストランナーで、代理操作解除エラーが発生することがある	これにより、同じテストランナー内の他のテストでも偽装解除エラーが発生する可能性があります。	
HR サービスデリバリー用のケースとナレッジ管理 PRB1779894	HR サービスデリバリー (HRSD) でサイドバーディスカッションを要約するための制限付き発信者アクセスプラグインを起動		
HR サービスデリバリー用のケースとナレッジ管理 PRB1785629 KB1698772	[Manage Human Resource (ヒューマンリソース (HR))] カタログページがロードされない	コンソールに「Uncaught SyntaxError: Unexpected token ')...」というエラーが表示される	
HR サービスデリ	ターゲットの RCA を出	これは製品の更新です。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
バリ用の ケースと ナレッジ 管理 PRB1788858	荷:ソースス コープから hr_CoreUtils - Now assist for HR		
Change Management (変更管理) PRB1790004	ProposedChange と SNC.グロー バルスコープ の外部では CMBDUtil にア クセスできませ ん	変更スクリプトインク ロードは、すべてのス コープからアクセス可能 である必要があります。	
Change Management (変更管理) PRB1790024	レビューフロー には、実装後の レビュータスク を 1 つだけ添 付する必要があります	レビューフローの構成を 修正する必要があります。 タスクの作成は、タ スクが完了するまでフ ローが待機することを 意味するわけではない ため、タスクを作成し てからフローが終了しま す。これは、フローのトリ ガー条件に基づいて、 ユーザーがレビュー状況 のときにレコードを更 新すると、フローをトリ ガーして新しいタスクを 作成し続けることを意味 します。	1. [新規作成] で許可されていない変更モデルを使用できるようにします。 2. 許可されていない変更を作成します。 1 つの実装後のレビュータスクが関連付けられていることに注意してください。 3. 変更要求の簡単な説明を更新します。 別のフローが添付されたため、追加のタスクが関連付けられていることを確認します。
クラウド 暗号化 PRB1792686	DARE キーが リストビューに 表示されない	クラウド暗号化プ ラグインを有効にする と、デフォルトの 「dare_key_metadata」 レコードが作成されま す。リストビューには表 示されません。	
CMDB 共 通統合 PRB1787552	スケジュール済 みジョブの実 行は、単一の sn_cmdb_int_util_ cmdb_integration_ レコードにグ ループ化されま す	複数のスケジュール 済みジョブの実行 が、sn_cmdb_int_util_ cmdb_integration_ レコードの単一のレ コードに圧縮されるよ うに圧縮されます。以前 は、各スケジュール済 みジョブ/データソース にはsn_cmdb_int_util_ cmdb_integration_ execution 内にレコードがありま した。現在、sn_cmdb_int_ util_cmdb_integration_ execution 内の親スケジュール済 みジョブに基づくレコー ドが 1 つあり、スケ	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		ジュール済みインポート、同時インポートセット、および実行する最新のスケジュール済みジョブのインポートセットが含まれます。	
列レベル暗号化 PRB1781726 KB1648610	CMDB 階層内のテーブルの暗号化設定フィールドレコードが重複していると、テーブルがクエリされたときにエラーが発生する	CMDB 階層内のテーブルの暗号化設定フィールドレコードが重複すると、新しいテーブルのクローン子孫レコードの数が正しくなくなり、テーブルのクエリ時にエラーが発生する可能性があります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Configuration Management Database (構成管理データベース) (CMDB) PRB1768078 KB1651520	クラスの一一致のフォークスは、移動した後、「Tab」キーを使用してフォークスから移動すると白くなります		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Configuration Management Database (構成管理データベース) (CMDB) PRB1789033	Xanadu のアプリケーションサービスチャートの問題	[アプリケーションサービス] チャートを選択しても、ユーザーは [アプリケーションサービス] ページに移動しません。	1. 移動先 ホーム > CI 概要 > クラウドリソースと非クラウドリソース > アプリケーションサービス。 2. チャート (ハイブリッド サービスなど) を選択します。 予想される動作: グラフを選択すると、ユーザーは [アプリケーションサービス] ページに移動します。 実際の動作: ユーザーは [アプリケーションサービス] ページに移動しません。
Configuration Management Database (構成管理データベース) (CMDB) PRB1794682	CSDM データ基盤ダッシュボードのメトリクススコアが 0 と表示される	ハードウェア番号などの測定基準 CSDM データ基盤ダッシュボードの結果として、不足しているテクニカルサービスオフリングのスコアが 0 と表示されます。	移動先 すべての > CSDM データ基盤ダッシュボード > ウォーク。 テクニカルサービスへの参照が欠落しているテクニカルサービスオフリングが存在しないにもかかわらず、[テクニカルサービスを参照するテクニカルサービスオフリング] インジケータの結果にスコア 0 が表示されていることを確認します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Contract Management (契約管理) PRB1789324 KB1698586	どのロールを使用しても、グローバルスコアの条件チェックが機能しない	グローバルドメイン以外の特定のドメインで契約が作成された場合、グローバルドメインに存在するチェックは契約に適用されません。	
Customer Service Management (カスタマーサービス管理 (CSM)) PRB1788745	DEF0533101 の調整欠陥	これは製品の更新です。	
データベースの永続性 - データアクセス PRB1786888	列ストアインデックスが存在する場合、「Index 0 out of bounds for length 0」で親の再指定が失敗する	Xanadu では、列ストア インデックスの値が欠落していることに注意してください。この値は Washington DC では {0} ですが、Xanadu では空です。	
データベースの永続性 - データアクセス PRB1789910	「RLQuery」を介した集計を使用して非正規化されたテーブルで結合されている場合、「Order by」句が「Group by」句に追加されない	SQLException エラーがスローされます。	
データベースの永続性 - データ管理 PRB1765105	更新するデータ使用状況可視化コンソールのウィジェットのフィルター	これは製品の更新です。	
データベースの永続性 - データ管理	アーカイブされた関連レコードの復元が想定どおりに行われない	一部のincident_taskおよびtask_slaレコードは適切に復元されません。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB176554			
データベースの永続性 - データ管理 PRB1770139	StatsGatherer の年次および月次の統計を再実行すると、データベースとテーブルの状態レコードが重複 sys_db_pool_size		1. 前回の収集開始時刻が sys_db_pool_size になっている前月のレコードがあることを確認します。 2. 物理テーブルの月次統計収集を実行します。 3. sys_db_pool_size テーブルに作成されたレコードを確認します。 4. 物理テーブル月次統計収集を再度実行します。 データベースとテーブルに対して 2 番目の月次レコードが作成されていることを確認します。
データベースの永続性 - データ管理 PRB1773124	セーフモードがオンのときに破棄ジョブが失敗し、S3 からオブジェクトを削除できない	レコードは S3 から削除されません (S3 からの削除アクセスが拒否されました)。	1. 添付ファイル、監査、ジャーナルを含む 20,000 件のレコードを作成します。 2. レコードを ar_テーブルにアーカイブします。 3. レコードを S3 にオフロードします。 4. 同じアーカイブルールに「破棄」ルールを作成して実行します。 予想される動作:S3 および対応するテーブル (Cidx、archive_log) からレコードを削除する必要があります。 実際の動作:レコードが S3 から削除されません (S3 からの削除アクセスが拒否されました)。
データベースの永続性 - データ管理 PRB1782295	ジョブ ID はゲートウェイ統計情報レコード用に保持されません	ゲートウェイレコードがプライマリ DB に保存されると、デフォルトで新しい sys_id が割り当てられます。したがって、ゲートウェイ統計情報レコードには無効な収集ジョブ sys_id があります。	1. スクリプト化されたストレージ API をバックグラウンドスクリプト gs.print(new sn_disk_usage で実行します。StorageDiskUsageService() を呼び出します。getStorageTierDiskUsages()); 2. [sys_storage_disk_usage] に移動し、ゲートウェイレコードを確認します。 予想される動作:ジョブ ID 列は sys_sdu_colleciton_job テーブル内の正しいレコードを指しています。 実際の動作:ジョブ ID 列に「null」と表示され、値が無効な sys_id です。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
データ ベースの 永続性 - データ管理 PRB1786870	[DMTableCleaner の切り替え] ボ タンを削除しま す		1. sys_dm_jobテーブルのリストビューに移動します。 2. 「DMTableCleaner」 ジョブのフォー ムビューに移動します。 予想される動作: [DMTableCleaner の切り 替え (Toggle DMTableCleaner)] ボタン は、それが呼び出すスクリプトインクルード とともに削除する必要があります。 実際の動作: [DMTableCleaner の切り替 え (Toggle DMTableCleaner)] ボタンが 表示されます。
データ ベースの 永続性 - データ管理 PRB1790371	ゲートウェイで sys_sdu_collection_job テーブルが作成 されていない場 合のアーカイブ 関連ページのス トレージ API 例外	ユーザーにエラーメッ ジが表示されます。	1. インスタンスにゲートウェイを追加しま す。 2. Gateway にディスク使用量テーブルが まだ作成されていないことを確認しま す。 3. 任意のアーカイブルールに移動します。 「Syntax Error or Access Rule Violation detected by database ((conn=354245) Table 'test_gw_gw.sys_sdu_collection_job' doesn't exist)」というエラーメッセージ を確認します。
データ ベースの 永続性 - データ管理 PRB1790372	階層 2 スト レージディスク 情報の取得に使用 される非効率 的なスクリプト 可能 API	スクリプト可能な API は、プライマリ、ゲ ートウェイ、および階層 2 ストレージ情報のディスク 情報を取得します。た だし、必要な使用が階層 2 のみの場合は、ゲート ウェイとプライマリにア クセスする必要はありません。	1. アーカイブルールページを開きます。 2. プライマリおよびゲートウェイのスト レージ情報にアクセスするため、スタック トレースの添付に時間がかかることに 注意してください。
データ ベースの 永続性 - データスケ ール PRB1773739	DB エンジンの 変更時にキャッ シュをフラッ シュするために トリガーされる カットオーバー アクション	これは製品の更新です。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
データ ベースの 永続性 - データス ケール PRB1788006	DBLazy ライ ターは、スレ ッド スタックに メッセージを無 制限に蓄積しま す	DBLazyWriter.process では、後でリスナーをトリ ガーするためにキュー から取り出されたメッ セージを蓄積します。 キューが空でない場合 は、ループを永遠に続 行し、arraylist にメッ セージを追加し続けま す。これは無制限であ り、メモリ不足エラーが 発生します。	1. キューを満杯に保つた めに、DBLazyWriter に高いレートで書 き込みます。 2. DBLazywrite プロセスの実行速度を遅 くして、キューが常に満杯になるように します。 Glide インスタンスのメモリ使用量を確認 します。
データ ベースの 永続性 PRB1762563	移行されたイ ンスタンスで、 文字列 UTF フィールドの Unicode 値に 対する「リス ト」ビュークエ リが機能しない	[リスト] ビューに空の結 果が表示されます。	
Data Filtration PRB1768454	Vancouver の データフィルタ リングでは、対 象条件で指定さ れた IP フィル ター基準は考慮 されません	指定された IP フィル ター基準は考慮されま せん。したがって、結果は 適切に表示/フィルタリ ングされません。	1. Vancouver 以上のインスタンスで。 2. 対象条件で指定された IP フィルター基 準を使用して、データフィルタリングを 作成します。 3. IP フィルタリング基準が遵守され、結 果がフィルタリングされているかどうか を確認します。 予想される動作:対象条件で指定された IP [ネットワーク] フィルター基準を考 慮し、それに応じて結果をフィルタリ ング/表示する必要があります。 実際の動作:対象条件で指定された IP [ネットワーク] フィルター基準は考慮さ れません。
開発者サ ンドボッ クス PRB1774289	サンドボック スログインは SSO (シングル サインオン) を サポートしてい ません	サンドボックスへのログ インでは SSO はサポー トされていません。	1. SSO ログインを使用してサンドボック スインスタンスを設定します。 2. Sandbox を作成します。 3. サンドボックスへのログインを試みま す。 予想される動作:ユーザーは SSO を使用し てログインできます。 実際の動作:SSO が正しく機能しません。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
開発者サ ンドボッ クス PRB1787278	SQLException エラーにより、 サンドボックス が正常に動作し ない	ユーザーが別のテーブル にアクセスすると、構文 エラーのある赤いバナー に気付きます。	1. サンドボックス機能が完全に有効になっ た複数のノードを持つインスタンスを用 意します。 2. 新しいサンドボックスを作成し、初期化 を完了させます。 3. 準備ができたなら、インシデント、問 題、cmdb_ci_computer、alm_assetな どのさまざまなテーブルにアクセスして みます。 構文エラーのある赤いバナーが多数ある ことに注意してください。 4. SQL デバッグを有効にする (詳細) 5. 別のテーブルに再度アクセスしてみて、 どのクエリがいつ行われたかを確認して ください。 アクセスされるテーブルは実際には元の テーブルであるため、ノードは正しくサン ドボックス化されていないことに注意して ください。
開発者サ ンドボッ クス PRB1790087	OR を含める と、sys_dsb_query_condition から構築された 条件が正しくな い	QueryConditionUtil の OR を使用して sys_dsb_query_condition からプルされたクエリを 結合します。結果は期待 どおりではありません。	1. 「a AND (b OR c)」という 形式の部分コピー表の新しい sys_dsb_query_conditionを作成しま す。 2. 任意のフィルターを使用して、 同じ部分コピー テーブルに別の sys_dsb_query_conditionを作成しま す。 3. DSB を作成します。 ステップ 1 と 2 で指定したクエリ条件で は、部分的にコピーされたテーブルが期待 どおりにならないことに注意してください (OR で結合する必要があります)。
DEX ア プリケー ションと デバイス ヘルス PRB1794322	[実行中のプロ セス] ページに は、ページ更新 時にテーブルの すべてのデータ が表示されます	実行中のプロ セステーブル (dex_running_process) に存在するすべてのデー タが表示されるため、デ バイスフィルターが適用 されます。	1. dex-admin/user としてログインしま す。 2. 任意のデバイスに移動します。 3. 左側のナビゲーションから実行中のプロ セスに移動します。 4. ブラウザを更新します。 予想される動作:そのデバイスで実行中の プロセスのリストが表示されます。 実際の動作:実行中のプロセステーブル (dex_running_process) に存在するすべ

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			てのデータが表示されるため、デバイスフィルターが適用されます。
ディスカバリー PRB1784351	パターンプラグインが CDW 依存関係の一部としてデフォルトで表示されない	パターンプラグインがデフォルトでリストされているはずですが。	1. sn_cloud_ops_ws アプリがインストールされているインスタンスを開きます。 2. CDW 依存関係の一部としてインストールされた依存関係リストを確認します。 予想される動作:パターンプラグインは、CDW 依存関係の一部としてデフォルトでリストされているはずですが。 実際の動作:パターンプラグインは、CDW 依存関係の一部としてデフォルトで表示されません。
ドキュメント管理 PRB1790213	PDF 生成のためのテレメトリの変更の追加	PDF 生成のために、エクスポート機能と Html2PDF 変換 (ページ数、出力 PDF ファイルのサイズ、生成時間など) のテレメトリの変更を追加します。	
ドメインセパレーション PRB1786824	ドメイン移行ツールが進行中のテーブル移行のステータスを更新できない	この問題による移行ツールの機能への影響はありません。ツールが正常に実行されています。唯一の問題は、UI で結果を報告することです。	1. ドメインサポートと、デモデータとともにインストールされたドメイン移行ツールプラグインの両方を使用して、インスタンスをプロビジョニングします。 2. [ドメイン移行ツール] テーブルに移動します。 3. 移行先ドメインを「Cisco」として移行ジョブを作成します。 4. [Save (保存)] を選択します。 5. 移行を開始します。 予想される動作:各テーブルの移行ステータスが [domain_separated_tables_migration_status] テーブルで利用可能である必要があります。 実際の動作:「domain_separated_tables_migration_status」テーブルにデータがありません。
動的なスキーマ PRB1786796	グループが読み取り専用設定されているため、動的スキーマライターロールは dynamic_attribute.list から新しい動的		1. sys_user.list に移動します。 2. abel_tuter にログインし、動的スキーマライターロールをユーザーに付与します。 3. [Save (保存)] を選択します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	属性を挿入できません		4. <code>abel_tuter</code> で代理操作します。 5. <code>dynamic_attribute.list</code> に移動し、新規作成します。 [Group] フィールドは読み取り専用になっています。情報を入力した後、読み取り専用設定されているため入力できないファイルがないため、「挿入に失敗しました」というエラーが表示されます。
エッジ暗号化 PRB1773542 KB1651231	Windows で実行されているプロキシのスケジュールされたアップグレードが失敗する	アップグレードはほぼ完了したようです。どのログにもエラーはありませんが、新しい Edge プロキシ サービスが開始されていません。	
エッジ暗号化 PRB1776720	BT1 本番で、KPI 詳細ページの [レコードを表示] が壊れている	ユーザーは、「指定された BatchRESTRequest が正しくフォーマットされていません (The provided BatchRESTRequest was not formatted correctly)」と表示されます。	1. BT1 Productionにログインします。 2. 収集されたデータと利用可能なスナップショットがある KPI の KPI 詳細ページに移動します。 3. [レコードを表示] トグルボタンを有効にします。 [Unable to load records - Try refreshing the page (レコードをロードできません - ページを更新してください)]が表示され、バッチ API 呼び出しで「400 Bad Request (400 不正な要求)」と表示され、「The provided BatchRESTRequest was not formatted correctly(提供された BatchRESTRequest が正しくフォーマットされていません)」というエラーが表示されることを確認します。
メール通知 PRB1783999	POP3 からメッセージを削除する (取得しない) ときに「インスタンスメールリーダー」ジョブが停止する	インスタンスがメールを収集する場合、通常の操作ではかなりの頻度でメッセージが取得されます。メッセージの削除のみを選択する (メッセージを取得しない) 場合、各メールリーダージョブは 20 通のメッセージのみを処理して終了し、インスタンスは 2 分後に次のスケジュールされたメールリーダージョブを強制的に待機します。このサイクルは、単に削	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		除するのではなく、取得することを選択したメッセージがインスタンスで見つかるまで繰り返されます。	
暗号化のサポート PRB1790352	Build Your Own Key (BYOK) 中に「Failed to download Wrapped Key」エラーが発生する	「byok_mod」モジュールのモジュールキーが生成されるはずですが、代わりにエラーが表示されます。	
イベント管理 PRB1760429	マルチジョブ/ノードイベント処理が有効になっている場合、タグベースのクラスタリングエンジンで競合状態が発生すると、複数のタグクラスターが作成される	これにより、同じアラートに対して複数のタグクラスターグループが作成されます。	1. クエリジョブから「相関用ではない」を設定します (プロパティを false に設定します)。 2. マルチジョブ (4)/ノードイベント処理を有効にします。 3. TBAC 定義を作成します。 4. 異なるメッセージキーを使用して複数のイベントを同時に送信します。 同じアラートを含む複数のタグクラスターグループが作成されていることを確認します。
イベント管理 PRB1772901	アラートに多数の子アラートがある場合、アラート優先度でメモリ不足エラーが発生する	警告ログに、「アラートグループのサイズが次の制限に達しました...」というメッセージが表示されます。	1. 300 万件のアラートを生成するイベントを 300 万件作成します。 2. 30,000 件のアラートに単一の親があり、約 100 件の親アラートにそれぞれ 30,000 件の子アラートが含まれるように、アラート相関を設定します。 3. 親アラートが「em_alert_trigger_queue」になっていることを確認します。 4. 「イベント管理 - アラート優先度キュー」ジョブを実行します。 警告ログで「アラートグループのサイズが次の制限に達しました...」というメッセージを確認します。
イベント管理 PRB1784143	MID SNMP リスナー内の不要な SNMP トラップに対してイベントが作成される	SNMP トラップを MID サーバーからフィルタリングできないため、インスタンスでイベントを作成できません。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
イベント管理 PRB1784562	仮想アラートのメインアラートの設定が ACR スクリプトと一致しない	ACR スクリプトは、メインアラートを (initial_remote_time で) 最も小さい番号を持つ最初のアラートとして選択しますが、重大度は無視します。VirtualAlertHandler.java での仮想アラートのメインアラートの設定は重大度に基づいていますが、アラート番号は無視されます。これにより、冗長な仮想アラートグループが開きます。	1. デバッグ用の TBAC プロパティを有効にする: 「evt_mgmt.sn_em_tbac.log_acr_script_debugging」 2. 重大度を「重大」に設定した複数のイベントを一度に送信します。最終的にタグクラスターにグループ化する必要があります。 作成した仮想アラートの [Activity (アクティビティ)] メモで、メインアラートが一貫しており、変更されていないことを確認します。
イベント管理 PRB1786275 KB1650970	[Link (リンク)] ビューで、CMDB グループ化の getHopsBetweenCls が失敗する	ユーザーにもエラーが表示されます。	
イベント管理 PRB1789030	Xanadu で、アラートグループ化のデフォルトの順序が正しくない	Xanadu で、アラートグループ化のデフォルトの順序が正しくない	1. タグベースの定義を作成します。同じ説明で完全に一致します。 2. 同じ説明、同じノード、同じメトリクス名の 2 つのイベントを送信します。 タグクラスターがあることが想定されているのに、自動グループが作成されることを確認します。
フロー (ファミリーチャンネル) PRB1769794 KB1650762	Xanadu でフローデザイナーが true/false 入力パラメーターを「false」に設定する		
フロー (ファミリーチャンネル) PRB1779812	既存のフローを再公開した後、フローキャンバスのデータピルが誤って評価される		1. フローデザイナーに移動し、ベースインスタンスのサブフロー (子タスクの作成や子ケースの作成など) を開きます。 2. 最後にログを追加します。 3. 公開します。 UI のデータピルに注目してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
GlideRecord PRB1786468 KB1651472	ユーザーが「Contains」を含む条件を評価すると、トランザクションが無限ループで実行される	この問題の結果として、セッション全体が使用できなくなります。	
GRC:ベンダーリ スク管理 ワークス ペース PRB1772944	Vendor Portal ページの非インタラクティブ要素は、[Tab] ボタンを使用して移動できる	アクセシビリティのためのタブは、ページ上のクリック可能なオブジェクトに対してのみ行う必要があります。	1. 任意のベンダー連絡先として代理操作します。 2. /svdp のアンケートに移動し、[メモ] タブまたは [コメント] タブに切り替えます。 ユーザーはアクティビティストリームをタブで移動して前のコメントを探すことはできませんが、矢印キーで移動することはできません。
ヘルスロ グアナリ ティクス (ファミ リー) PRB1784922	致命的なエラーが発生しているときに、HLA ストリーミングスレッドで MID デッドロックが発生する	MID ラッパーログのデッドロック例外	
Hermes (ファミリ) PRB1786836	トピックのパーティション数を更新すると、関連付けられた「サブスクリプション」が失敗する		1. トピックを作成し、パーティションの数を 1 のままにします。 2. コンシューマーを作成します。 3. 前のステップで作成したトピックを含む Kafka ストリームを作成します。 サブスクリプションが作成されます。 4. トピックへのメッセージを生成します。 5. メッセージがコンシューマーによって消費されていることを確認します。 6. パーティションの数を 1 から 4 に更新します。 7. トピックレコードを保存します。 この変更された値は、トピックページに適切に表示されます。[Topic Inspector (トピックインスペクター)] ページに移動すると、パーティションの数が増えています。しかし、sys_kafka_subscription では、パーティションの数は 1 のままです。また、手順 3 で作成したサブスクリプションは削除され、約 1 分ごとに新しいサブスクリプションが作成されます。列の [E

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			ラーあり] の値が「false」から「true」に、またはその逆に変更されます。
Hermes (ファミリ) PRB1787225	[Synchronize Partition Count (パーティション数を同期)] ボタンが sys_kafka_topic で機能しない	null ポインター例外エラーがスローされます。	1. sys_kafka_topic レコードに移動します。 2. [Synchronize Partition Count] を選択します。 何も起こらず、ログに null ポインター例外が記録されていることを確認します。
Horizon コンポーネントライブラリ PRB1782771	チャットのテキスト領域でコピー & ペーストが期待どおりに機能しない	これは、エージェントチャットとサイドバーの両方で再現可能です。	1. サイドバーディスカッションを作成するか、ライブエージェントの会話を開始します。 2. 「abcd」というメッセージを送信します。 3. インシデント番号をコピーしてチャットテキスト領域に貼り付けてみます。 予想される動作: コピーしたテキストをテキスト領域に貼り付ける必要があります。 実際の動作: 貼り付けられたテキストは最後のチャットメッセージに置き換えられます。
カスタマーサービス用の水平ポータル機能 PRB1782130	外部埋め込み可能セッションを考慮してライセンス定義を更新する	これは製品の更新です。	
Incident Management (インシデント管理) PRB1781039	[要求を作成] アクションは、UI16 のインシデントフォームで sn_request_role を持つユーザーが使用できます		
インストールベース管理 PRB1786211 KB1650430	[アカウントページ (ケースビュー) 販売済み製品] 関連リストは、デフォルトのフィルター条件で更新する必要があります	Vancouver から Washington にアップグレードすると、フィルターが追加されるため、[販売済み製品] 関連リストが空として表示されます。この問題は、レコードが仕様セットを持つ製品オファーに関連付けら	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		れている場合にのみ発生します。	
インスタンスクローン (ファミリ) PRB1774663	[clone_instance] ページでクローンを送信した後、ユーザーが「データベースで一般的なデータ例外が検出されました (パラメーター 1 に値が指定されていません)」というアラートが表示される	クローンの進行状況には影響しませんが、誤った警告を発します。	[レガシークローン要求] ページからクローンを送信します。 ページの上部にエラー警告が表示されます。
インスタンスデータレプリケーション (IDR) PRB1766400	ユーザーが null オフセットを検出する	現在、[エラーをクリアして再試行] ボタンは null オフセットの問題からの回復を試みますが、トピックにオフセットが欠落しているか null の場合は失敗します。	「空」の値 (true でも false でもない) のブールフィールドを持つテーブル。 - CDC/IDR プラグインを介して追跡されるフィールドに変更を加えます。 - ペイロードの [boolean] フィールドを確認します。 予想される動作: 値は空にする必要があります。true または false ではありません。 実際の動作: ブール値は false として表されます。
インスタンスデータレプリケーション (IDR) PRB1780168	インスタンスデータレプリケーション (IDR) の xmlstats でレプリケーションセットが正しく表示されない		- アクティブなプロデューサーおよびコンシューマーレプリケーションセットを作成します。 - xmlstats に移動します。 レプリケーションセットが表示されていないことを確認します。
インスタンスデータレプリケーション (IDR) PRB1787215	ディスク容量を節約するために、「コンシューマー」からの ACK メッセージを待機して「次のデータのバッチを公開する」シードプロデューサージョブの機能を削除します	これにより、ACK メッセージがエラーなしで受信または送信されない場合、ジョブがハングアップするという不要な障害点が追加されます。ACK メッセージ交換の唯一の利点は、ディスク サイズの制御でした。ディスクサイズ未チェックの増加は、データ保持ポリシー設定を使用して Kafka レベルで制御できます。	- QA 環境で、プロデューサーのメタデータコンシューマージョブを停止します。 - コンシューマーで新しいシードを要求します。 - メタデータトピックオフセットをリセットして、コンシューマーで終了します。 「農産物の種まき」ジョブがハングアップすることに注意してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
統合ハブ PRB1782980	glide_hub_flow_engine_glideencrypterの暗号化モジュールのスキジュールのスキript側のStrictRejectマップで「アクセス拒否」エラーが発生する	password2 または暗号化のサポートについては、厳密な拒否をオフにする必要があります。	1. スクリプトステップを使用してアクションを作成します。 2. スクリプトステップで GlideEncrypter を使用してパスワードフィールドを復号化します。 予想される動作: 「global.com_glide_hub_flow_engine_glideencrypter」のマップを作成して、スクリプトステップを含むフローを実行する必要があります。 実際の動作:暗号化モジュールへのアクセスが拒否され、フロー実行時に「global.com_glide_hub_flow_engine_glideencrypter」エラーが発生します。
統合ハブ ストリーム 接続 PRB1781839	名前付き Avro スキーマのみがスキーマレジストリから自動的にインポートされます	スキーマレジストリからのスキーマの自動インポートは、最上位の型に名前が付いていない場合、エンコードされたメッセージの消費に失敗します。その結果、スキーマレコードはインポートされず、スクリプトコンシューマーはメッセージの空のリストを受信します。	1. 配列、共用体、プリミティブなど、名前のない最上位の型を持つスキーマをレジストリに追加します。 2. スキーマでエンコードされた有効なメッセージをトピックに公開します。 3. スクリプトコンシューマーを使用してメッセージを消費し、スキーマの自動インポートをトリガーします。 スキーマレコードはインポートされず、スクリプトコンシューマーからメッセージの空の配列のプロンプトが出されます。
インスタンス間 データ比較ツール PRB1772226	レコードの再シードの制限を解除する	これは製品の更新です	
ジャーニー デザイナー PRB1752603	カタログタスクを開くときに「Unable to get the task list (タスクリストを取得できません)」というエラーが表示される		

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Key Management Framework (KMF) PRB1762398	データベースビューが Postgres インスタンスで失敗する	sys_user_has_role と sys_kmf_crypto_caller_policy を結合するデータベースビュー「sn_kmf_crypto_user_policy」が Postgres インスタンスで失敗します。ビューは保護されているため、ユーザーはビューを手動で修正できません。	1. Postgres インスタンスで、sn_kmf_crypto_user_policy.list に移動します。 2. コードが返されていないことを確認します。
Key Management Framework (KMF) PRB1777352 KB1649414	ソースで取り消されたキーによって暗号化されたクローンデータがターゲットで適切に復号化されない	インポートされるモジュールキーは、元のアルゴリズムではなく、関連する暗号化仕様からアルゴリズムを「継承」します。	
Key Management Framework (KMF) PRB1778142	鍵交換が無効になっている場合でも公開鍵が交換される	この問題は、新しい IA-Crypto Core ワークフローが有効になっている、インスタンスで Bagheera が有効になっている場合に発生します。	1. Bagheera を使用して 2 つのインスタンスをプロビジョニングします。 2. ソースインスタンスで非対称暗号化および復号化キーを生成します。 3. キーの暗号化構成がキー交換に登録されていることを確認します。 4. sys_properties に移動します。 5. glide_encryption.auto_key_exchange.enabled を false に設定します。 6. ソースインスタンスからターゲットインスタンスへのクローンをスケジュールします。 予期された結果: プロパティで鍵交換が無効になっているため、モジュールキーは交換されません。 実際: 公開モジュールキーは、プロパティを介して鍵交換が無効になっている場合でも交換されます。
Key Management Framework (KMF) PRB1786832	アドホック/ワントタイム/繰返しクローン KE が Bagheera 対応インスタンスで機能しない		

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Key Management Framework (KMF) PRB1789932 KB1652642	システムプロパティの復号化中の競合状態により、ノードに到達できません	システムプロパティキャッシュの初期化時に競合状態が発生します。これは、ノードが起動し、KMF で暗号化された password/password2 タイプのシステムプロパティを復号化しようとしたときに発生する可能性があります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Key Management Framework (KMF) PRB1794684	Bagheera クローンの CID 暗号化コアヘルスワークフローが失敗し、エラーメッセージ <code>IRK_SOURCE_INSTANCE_ID_MISMATCH</code> が表示される		DCTEST の新しい IA ワークフローを使用して、2 つの Bagheera 自動構成インスタンス間でクローンを実行します。 リキージョブの実行が完了しなかったため、クローンにエラー <code>IRK_SOURCE_INSTANCE_ID_MISMATCH</code> が表示されることに注意してください。
Key Management Framework (KMF) PRB1794830	AutoConfig が有効 = True のバージョン間移動後にインスタンスノードが起動しない		
ナレッジ管理 PRB1788025	調整バージョンを使用してインスタンスを Washington DC から Xanadu にアップグレードすると、ナレッジベース記事の作成フローが中断される	ナレッジ記事を作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。	1. 管理者として、Now Assist Admin (Now Assist アドミン) コンソール > 機能 > カスタマー. 2. 選択 ナレッジ > KB 生成スキルのアクティブ化. 3. 任意のクローズ済みケースを選択します。 4. ナレッジ記事を作成します。 予想される動作:生成 AI フローがトリガーされます。 実際の動作:「There was generating this article with Now Assist (Now Assist でこの記事を生成する際に問題が発生しました)」というエラーメッセージを確認します。
ナレッジ管理 PRB1795644	Xanadu の app-knowledge-gen-ai の調整バージョンを更新	これは製品の更新です。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
ローカル DB ログイン PRB1785794	sys_ux_lib_component ファイルに必要な変換キーがありません	翻訳はワシントン DC にありました。ただし、Xanadu では、sys_ux_lib_component ファイルに now-login の required_translation_keys がありません。	
メトリックベース PRB1728947	Clotho に多数のトリガーを登録すると、一部のトリガーが登録されない	Glide と Clotho の間でトリガーを同期するときに、シリーズ参照が要求 URL に追加される。一度に登録されているシリーズが多すぎる場合 (たとえば、20k)、ヘッダーが大きくなりすぎます。拡張性を持たせるために、シリーズ参照を要求本文に含める必要があります。	
メトリックベース PRB1785413	「累積」呼び出しにより二重カウントが発生する	GlideClothoClient に入力ミスがあると、既知の系列が不明な系列と一緒に再送信されます。これにより、「Accumulate」呼び出し中に値が 2 倍になります。	
メトリックベース PRB1788301	Xanadu インスタンスで Provision Plus ワークフロー「setupGateway run instance script」が 600 秒後にタイムアウトする	タイムアウトしたため、run-node-script でワークフローが失敗します。run-node-script.sh ログには、コードが正常に実行され、Glide が正常にシャットダウンした後、タイムアウトのエラーコードを返す前に最大 10 分間ハングしたことが示されます。	
フィールドサービス管理 (FSM) のモバイルエクスペリエンス PRB1789508	ユーザーが「+」アイコンを使用してイベントを追加できない	アイコンを選択すると、新しいページが開くはずですが、読み込まれません。	1. WFO 4.0 をインストールして有効化したインスタンスをプロビジョニングします。 2. エージェントアプリにログインします。 3. [自分のスケジュール] を選択します。 4. [+] アイコンを選択します。 ページが読み込まれないことを確認します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
マルチ ファク ター認証 (MFA) PRB1785277	sys_ux_lib_component ファイルに必要な変換キーがありません	翻訳は Washington ペイロードに存在していません。ただし、Xanadu では、sys_ux_lib_component ファイルに sn-mfa-validate と sn-mfa-setup の required_translation_keys がありません。	
ネクスト エクスペ リエンス 統一ナビ ゲーション PRB1787356 KB1652699	一部のページは、プロパティ「glide.ui.next_experience」が false に設定され、ネクストエクスペリエンスがオフになっている	プロパティが「glide.ui.next_experience」の場合、「instance_tools_disabled」の場合、「NLU ワークベンチモデル」、「サービスオペレーションワークスペース」、「CSM 構成可能ワークスペース」などのページがロードされません。instance_tools_disabled は false に設定され、Next Experience はオフになります。admin ロールのユーザーは、プラグイン (now/app-manager/home)、NLU ワークベンチモデル、サービスオペレーションワークスペース、CSM 構成可能ワークスペースのモジュールにアクセスできません。ITIL ロールのユーザーは、サービスオペレーションワークスペースと CSM 構成可能ワークスペースにアクセスできません。	詳細については、リストの KB 記事参照してください。
Now Assist for Code PRB1788701	古い JS コードがブラウザーキャッシュでまだ使用されている場合、アップグレード/サイドロードが影響を受ける	action プロパティは、古い JS コードがブラウザーのキャッシュでまだ使用されている場合、null として送信されます。	1. コードアシストの古いリリースのインストールでは、最新バージョンをアップグレードまたはサイドロードします。 2. ハードリロードせずに別のページでコードアシストをトリガーします。 ブラウザーには古いバージョンの JS ファイルがキャッシュされているため、action プロパティは API 呼び出しによって送信されず、新しいモデルではこのプロパティが 'Suggest' または 'Edit' のいずれかである必要があるため、エラーが発生することに注意してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Now Assist for Code PRB1790715	最新の Creator アプリが既にインストールされている場合、アドミンは Now Assist for Code の新しいバージョンに更新できない	バージョン 2.6.0 では、NA4Code 26.0.4 バージョンに問題があり、最新の NA4Creator アプリを既に使用しているユーザーから更新プログラムが非表示になります。	
Now Assist パネル PRB1787174	KB を含むレコードカードで不適切なコンテンツエラーが発生する		- レコードカードと KB を使用してトピックを作成します。 [NAP] を選択します。 - 手順 1 で作成したトピックを選択します。 予想される動作:KB カードに KB を開くためのボタンが表示されます。 実際の動作:コンテンツカードエラーが正しくありません。
オンコールスケジュール PRB1787870	週名のスケジュールの作成/編集ウィザードのローカライゼーションに関する問題	これは製品の更新です。	
注文管理 PRB1788283	ファミリーアップグレードの所要時間が 1 時間 23 分から 2 時間 43 分に延長されました		- Washington ビルドのインスタンスに注文管理プラグインがインストールされていることを確認します。 - Xanadu RC1 ビルドにアップグレードします。 batch_alter操作からのアップグレード期間を観察し、以前のファミリーアップグレードの期間と比較します。
パフォーマンスアナリティクス API PRB1781079	groupby および [分離/アグリゲート] オプションを使用した特定のインジケータのサーバーエラー	特定のインジケーターで、フィルターと「個別のグループとしてフィルター」(splitView = true)を有効にすると、サーバーは n 個のエラー 500 を返します。	
Performance Analytics (パフォーマンス)	com.glide.par.v_table_join.enabled が false の場合、コア UI ダッシュボード	com.glide.par.v_table_join.enabled を false に設定すると、結合ダッシュボードが無効になり、コア UI ダッシュボードが最初の要求	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
ナリティクス) PRB1740986	が自動的に移行されない	で自動的に移行されなくなります。	
Performance Analytics (パフォーマンスナリティクス) PRB1771293	日付と期間を含むフィルター条件の作成中に内部エラーが発生しました	ユーザーに「RelativeDatesQueryGenerator」エラーが発生します。	1. 解決済みインシデントインジケータースペースの数に条件を追加します。 2. 「本日解決済み」または「ビジネス期間 1 日未満」に設定します。 「RelativeDatesQueryGenerator: NAM Stats Error: Invalid ID for ZoneOffset, invalid format」というエラーを確認します。
Performance Analytics (パフォーマンスナリティクス) PRB1778421	group-by で式インジケータースコアを取得中に null ポインター例外が発生しました	ログに null ポインター例外が記録されます。	1. com.snc.pa.premium および com.snc.pa.mlb プラグインがインストールされたインスタンスをプロビジョニングします。 2. インシデントテーブルに関連するすべてのベースインスタンスインジケーターに対して MLB を有効にします。 3. 式インジケーター「オープン日と同じ日に解決されたインシデントの割合」に対して MLB を有効にしないでください。 4. 関連するインジケーターが MLB で有効になっていることを確認してください。 5. 新しいダッシュボードを作成します。 6. 上記の式インジケーターを円グラフまたはドーナツグラフによるチャート化に追加し、グループ化基準を「アサイン先グループ」として使用します。 7. キャッシュが有効になっていることを確認します。 8. インジケータースコアを取得し、ログを確認します。 null ポインター例外が観測されます。
Performance Analytics (パフォーマンスナリティクス) PRB1780038	カスケードフィルター m2m 移行データソース参照フィールドが想定どおりに設定されていません	問題は、移行されたカスケード フィルターが実行時には機能しますが、構成時には機能しないことです。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Performance Analytics (パフォーマンスアナリティクス) PRB1781018	従来のウィジェットではフィルターは公開されません	ユーザーが互換モードのカスタムフィルターを持っていて、それを操作しようとしても、フィルターは適用されません。	
プラットフォームアナリティクスダッシュボード API PRB1781006	ダッシュボード、データの可視化、およびスケジュール済みエクスポートは、元のダッシュボードではなく「プラットフォームアナリティクスの移行」を実行したユーザーによって作成されるように設定される	「作成者」ユーザーは、ダッシュボードとスケジュール済みエクスポートを実際に作成した移行前のユーザーです。ただし、移行後は、「作成者」が移行を開始したユーザーに変更されます。	1. Washington DC インスタンスに移動します。 2. <code>itil + report_scheduler</code> のようなロールを持つ非アドミンユーザーの代理操作 3. レポートを作成します。 4. レポートをスケジュール設定し、新しいダッシュボードに追加します。 <code>pa_dashboards</code>、<code>sys_report</code>、<code>sysauto_report</code> のエントリは、ステップ 2 のユーザーが作成および更新する必要があることに注意してください。 5. 代理操作を終了します。 6. <code>admin</code> ロールを持つユーザーの代理操作を行います。 7. 「プラットフォームアナリティクスの移行」をトリガーします。これは問題なく完了する必要があります。 8. <code>par_dashboard</code>、<code>par_visualization</code>、<code>par_export</code>、<code>par_report</code> での移行後に作成された新しいレコードを検証します。 予想される動作:ダッシュボード、データの可視化、およびスケジュール済みエクスポートでは、[プラットフォームアナリティクスの移行] を実行したユーザーによって [作成者] が設定されるべきではありません。代わりに、元の作成者名を保持する必要があります。 実際の動作:ダッシュボード、データの可視化、およびスケジュール済みエクスポートは、元のユーザーではなく、「プラットフォームアナリティクスの移行」を実行したユーザーによって設定されます。
プラットフォームアナリティクス	Washington DC で移行されたカスケードフィルターを調		

問題	簡単な説明	説明	再現手順
スフィルター PRB1777094	整する必要がある		
プラットフォームアナリティクスフィルター PRB1782599	検出されたイベントのソフトウェアインストールウィジェットの数が最も多い場合、[表示方法 (View by)] のデフォルトの選択が間違っている	各フィルターのページロード時に、イベントハンドラーがアレイ内の空の値で呼び出されます。	
プラットフォームアナリティクス移行 API PRB1793305	個々のダッシュボードがロールバックされている場合、移行ロールバックはアクティブ化ステップに失敗します		1. Washington DC インスタンスで、すべてのダッシュボードを移行します。 2. par_dashboardテーブルからいくつかのダッシュボードをロールバックします。 3. ロールバックプロパティを true に設定します。 4. 一括ロールバックを実行します。 予想される動作:一括ロールバックはすべてを適切にアクティブにします。 実際の動作:ロールバックは失敗します。
Playbook Experience Core PRB1789640	プロセスを複製しても、アクティビティに正しい variantId が割り当てられない	新しい複製プロセスは元のプロセスのレプリカであるべきですが、そうではありません。	1. アクティビティを含むプロセスを作成します。 2. いくつかのバリエーションおよびバリエーションアクティビティを追加します。 3. プロセスを複製します。 予想される動作:新しい複製プロセスには、すべての基本アクティビティおよびバリエーションアクティビティと同じ元のプロセスのレプリカが必要です。 実際の動作:バリエーションアクティビティはバリエーションに関連付けられていません。
予測インテリジェンスクラスタリングソリューション	ジョブ「アプリケーション提案 - ITOM ディスカバリー」によって syslog でエラーがスローされる	ジョブ [アプリケーション提案 - ITOM ディスカバリー (Application Suggestion - ITOM discovery)] によって syslog で「無効なパラメーター:null:」エラーがスローされます。処理	1. スケジュール済みジョブ「アプリケーション提案 - ITOM ディスカバリー」を実行します。 2. システムログでエラーを確認します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1769445		への影響はありません。 これは、ジョブが実行されるたびに 4 回スローされる冗長なエラーメッセージです。	
プロセスマイニング PRB1785033	サポートインスタンスでサンプルマイニングが失敗する	ServiceNow サポートインスタンスでサンプルマイニングを実行しているときに、ユーザーがエラーを観測します。	1. サポートインスタンスにログインします。 2. [プロセスマイニング] に移動します。 3. プロジェクトを作成します。 4. 同じプロジェクトでサンプルマイニングを試してください。 次のエラーを確認します: 「エンタイトルメントの問題: 「sn_customerservice_case」でフルマイニングまたはサンプルマイニングを実行できません。Please contact your ServiceNow agent for further details」 というメッセージが表示されます。
プロセスマイニング PRB1793529	外部データフルマイニングで、ライセンスが利用可能であってもライセンスエラーがスローされる		
Record Watcher PRB1788115	まれに、データベースが例外で null を返すと、ResponderRegistryが永続化されたすべてのレスポンスをメモリから削除できます	RW Cleaner Thread は 10 秒ごとに起動し、いくつかのクリーンアップを実行する Thread の一環として、孤立したすべての永続レスポンスをメモリから削除しようとしています。データベースから永続化されたすべてのレスポンスを取得し、メモリ内のレスポンスと比較します。メモリにはあるがDBにはないものを削除します。この場合、DB クエリの例外により、データベースレイヤーは null を返しました。クリーナーコードは、データベースにレスポンスがないため、これを理解し、メモリからすべてのレスポンスを削除したため、RWは一致する条	1. glide.record_watcher.debug.extra を true に設定します。 2. 「sys_rw_action」にいくつかのエントリが含まれていることを確認します。ない場合は作成します。 3. 間隔を短くします glide.record_watcher.cleaner.orphaned_persisted_r テスト用に cleanup_interval から 10 (秒) にします (これにより、1 未満のブレイクポイントに頻繁にヒットできます)。 4. 実際のクエリーの前に、getPersistedRespondersFromDatabase にデバッグ・ポインターを配置します。 5. ブレイクポイントにヒットしたら、DB をシャットダウンします。 6. プログラムを再開します。 7. ログを確認します。 予想される動作:レスポンスはメモリに保持されます。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		件でレスポンスを呼び出さなくなりました。	実際の動作: 「テーブルの永続化されたウォッチャーの削除:[メモリ内のすべてのテーブルのリスト]」のようなログメッセージが表示されます。
Request Management (要求管理) PRB1781853	カタログタスク関連レコードの問題	ユーザーが sn_request_read ロールと sn_request_write ロールを持っている場合、SOW リストビューページの [関連レコード] セクションにレコードを表示することはできません。	1. sn_request_read および sn_request_write ロールでログインします。 2. SOW リストビューページに移動します。 3. [Catalog tasks - Assigned to your groups (カタログタスク - グループにアサイン済み)] から、SCTASK0010004レコードを選択します。 4. [関連レコード] セクションを選択します。 影響を受ける CI セクションには例外エラーページが表示され、グループ承認セクションのカウントにはレコードが表示されない 1 と表示されます。
Request Management (要求管理) PRB1781908	フィールド値に対して作成された要求は、ログインしているユーザー名に自動的に割り当てられます	要求が作成されると、指定されたユーザーではなくログインユーザーにアサインされます。	
Request Management (要求管理) PRB1784152	sn_request_read インタラクティブエージェントコントロールが含まれていません	incident_read、problem_read、および change_read にはすべて、インタラクティブエージェントロールが含まれています。ただし sn_request_read にはインタラクティブエージェントロールは含まれていません。	
スケジュール最適化 PRB1792462	アサインされたタスクがキャンセルされると、locked_tasks の一部として返されます	ロックされたタスクエリが、キャンセルされたタスクとクローズされたタスクの両方を取得していました。調査時に、クローズされたタスクのみをロック済みとして送信する必要があります。	1. window_end 日を未来の日付として、「Pending Dispatch (ディスパッチ保留中)」ステータスの作業指示タスクを作成します。 2. バッチの Graph QL クエリを実行します。 タスクは「tasks」の一部として返される必要があります。 3. 手動でエージェントを割り当てるか、SO を実行します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			4. 同じタスクをキャンセルします。 5. バッチの Graph QL クエリを実行します。 タスクが「locked_tasks」の一部として返されることを確認します。これは想定されていません。
スクリプトインクルード PRB1769195	Washington DC から Xanadu にアップグレードするときに修正スクリプトに時間がかかる	修正スクリプト 「DEF0458037_set_client_callable_script_includes_sandbox_callable_part_2.xml」のロードに時間がかかります。	
スクリプトインクルード PRB1785008	修正スクリプトの問題により、Xanadu にアップグレードした後に多くの RCA が無効になる	Xanadu にアップグレードするとスクリプトインクルードが変更され、RCA が無効になります。これは、「ソースタイプ:スクリプトインクルード」の RCA でのみ発生します。	
検索管理 PRB1731361 KB1695005	UI16 の / buildtools1 でグローバルテキスト検索が壊れます		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
検索管理 PRB1789281	グローバル検索を実行するときにドメイン間でキャッシュの問題が発生する	リストの [text_search] ビューに、あるドメインでは簡単な説明が含まれていて、別のドメインでは含まれていない場合、グローバル検索を実行するときにドメイン間でキャッシュの問題が発生します。	1. Washington DC バージョンの任意のインスタンスに移動します。 2. グローバルドメインのインシデントテーブルに text_search ビューがあることを確認します。 3. グローバル以外のドメインのインシデントテーブルに text_search ビューを設定します。リストレイアウトには文字列フィールドを含めないようにしてください。 4. この新しいドメインで、以前に検索されていなかったインシデントに対してグローバル検索を実行します。 5. 検索プレビューに「タイトルなし」または sys_ID が表示されるかどうかを検証します。 6. グローバルドメインに切り替えます。 7. 同じインシデントの検索を完了します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			8. 「タイトルなし」 またはsys_IDがまだ表示されているかどうかを検証します。 9. 両方のドメインで逆の操作を試みます。 キャッシュをクリアした後 (cache.do 後) に問題があることを確認します。
サーバー サイドス クリプト PRB1783318	[sandbox_callable] フィールドがス コープ対象のア プリケーション では機能しない	フィールドはスコープ対 象のアプリケーションに は適用されないため、ス コープ対象のアプリ開発 者はこのフィールドを使 用できません。	1. ベースインスタンスのス クリプトインクルード GoalFrameworkAjaxProcessor に移 動し、[サンドボックスを有効にする] をオフにします。 2. [バックグラウンドスクリプト] に移動し、サンドボックスで 次のスクリプトを実行します sn_gf。GoalFrameworkAjaxProcessor()' です。 予想される動作:スクリプトインクルード がサンドボックスで使用できないというエ ラーを確認します。 実際の動作:スクリプトインクルードは引 き続きサンドボックスから呼び出すことが できます。
サービス カタログ ビルダー PRB1793067	カタログビル ダーからテンプ レートを作成す るときに、[利 用可能] リスト の質問を変更す ると、AI 生成 としてマークさ れます	AI の「スパークル」ア イコンが表示され、質問 が AI によって生成され ていないことを示しま す。	1. カatalogビルダーを開きます。 2. [カatalogアイテムテンプレートの作 成] を選択します。 3. テンプレートに名前を付けて、[質問] ステップに移動します。 4. 歯車アイコンを選択し、左右のスラッ シュバケットの間でいくつかの変数タイ プをシャッフルします。 5. [選択の保存] を選択します。 実際の動作:質問ステップの前に AI スパー クルアイコンが表示されることに注意して ください。 予想される動作:AI スパークルアイコンは AI によって生成されていないため、表示 されません。
サービス カタログ PRB1788268	カタログクライ アントスクリ プトでg_form を使用して第 2 レベルにドット 連結すると、カ	クライアントスクリプ トが原因で会話型カタ ログのカバー範囲が急激 に低下し、オブジェクト 上で第 2 レベルのドット ワークが行われる g_form。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	タログが非会話型になる		
サービスレベル管理 PRB1790083	CheckpointWalkerランダムアクセス walkTo(checkpoint)を使用すると、一部のフィールド値が間違っている	これは、現在の履歴へのポインターが末尾に近づき、履歴が逆方向に進む場合に発生します。	
サービスマッピング PRB1745336	サービスモデルに追加されるルックアップアイテムの数を制限するプロパティには、cmdb_ci_network_adapterを含める必要があります	'sa.lookup_tables.tables_for_limited_query' は、ルックアップクエリを制限するためのテーブル名のカンマ区切りリストです。テーブルリストに制限が追加され、すべてのテーブルがそこから継承されます。デフォルト値は cmdb_ci,cmdb_serial_number です。'sa.lookup_tables.exclusion_tables_for_limited_query' は「sa.lookup_tables」を補完するものです。tables_for_limited_query' です。これは、無制限のルックアップクエリに対するテーブル名のカンマ区切りリストです。テーブルリストは無制限であり、すべてのテーブルはそこから継承されます。デフォルト値は空です。「sa.lookup_tables.max_records_to_check」には、ルックアップクエリを制限するレコード数が含まれます。デフォルト値は 100 です。	1. cmdb_ci_network_adapter の任意のスイッチのネットワークアダプターに対して多くのレコード (7 ~ 9K) を作成します。 2. このスイッチをアプリケーションサーバーに追加します。 3. このスイッチを使用してサービスの再計算を実行します。 「WARNING *** WARNING *** Large table: table handling an extremely large result set: 45321...」というエラーが表示されます。
サービスマッピング PRB1791752	破壊的になる可能性のあるプロパティに厳しい制限を設ける	これは製品の更新です。	
サービスマッピング PRB1795145	ServiceMappingScriptEngine#runEngine(cmdb_rel_ci) への変更により、cmdb_rel_ci テーブルへの GlideRecord 挿入のアプリ CPU で >9%	新しい関係 (cmdb_rel_ci) を挿入すると、CPU 使用率がいくらか低下します。挿入アクションは、より多くの CPU を消費する可能性があります。application_extension	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB17001877	パフォーマンスオーバーヘッドが発生する	アプリケーションがインストールされている場合、パフォーマンスはさらに悪化する可能性があります。	
ServiceNow スタジオ (従来) PRB1788174	スタジオで SnS URL を更新する	ServiceNow Studio を使用している開発者が従来の Studio アプリケーションを起動した場合、新しい ServiceNow Studio を起動できません。すでにアプリケーションで作業している場合は、対応するアプリケーションが開いた状態で ServiceNow Studio が開きます。	1. スタジオに移動します。 2. バナーから SnS を開いてみます。 予想される動作: ユーザーは従来のスタジオのエントリーポイントから SNS に移動できます。 実際の動作: URL が機能していません。
サービス リライア ビリティ 管理 (ファ ミリリ リース) PRB1787187	ホストされたプラグインに移動された ACL ファイルの重複コピーがグローバルスコープにまだ存在する		
サイド バー (ファ ミリリ リース) PRB1763064	Microsoft Teams サイドバードキュメントへのアクセスを内部ドキュメントに変更する	参加者の上限に達したために Microsoft Teams サイドバーで参加者をディスカッションに追加できない場合、ドキュメントへのリンクを含むエラーメッセージが表示されます。Microsoft Teams サイドバードキュメントにアクセスするリンクを、内部ドキュメントリンクに変更する必要があります。	
サイド バー (ファ ミリリ リース) PRB1789913	glide.collab.group_search_limit プロパティが候補検索時に優先されない	これは製品の更新です。	
Software Asset Management (ソフト ウェア)	[Publishers overview (パブリッシャーの概要)] ページの [Summary (概要)] セクショ		

問題	簡単な説明	説明	再現手順
ウェア資産管理) PRB1782652 KB1698516	ンが [Actual savings] (実際の節減額) クエリが原因で読み込みに時間がかかりすぎる		
ソフト ウェアモ デル PRB1785844 KB1651223	Washington DC から Xanadu へのアップグレード中に com.snc.sams プラグインのロードに時間がかかる	修正スクリプトは、com.snc.sams プラグインを Washington DC から Xanadu にアップグレードするのに約 32 分かかります。	
シンタックスエディター PRB1771372	スクリプティングウィンドウにボタンがない	スクリプティングパネルに、ユーザーがスクリプティング変数にアクセスできるようにするボタンがありません。	1. オーケストレーションプラグインがインストールされたインスタンスを開きます。 2. ワークフローエディターを開きます。 3. 右側のパネルで、[カスタム] タブを選択します。 4. フィルター ボックスの横にある [+] を選択し、[REST Web サービス] を選択します。 5. 任意の名前を付けて、[続行] を選択します。 6. [出力] タブを選択します。 7. [後処理に移動] を選択します。 予想される動作:スクリプティングパネルには、スクリプティング変数へのアクセスを許可するボタンが隣にあります。 実際の動作:スクリプティングウィンドウに ➤ ボタンが表示されなくなりました。
システム イベント PRB1789717	アップグレード時に、新しく移行されたキューのジョブの差異は考慮されません		1. 2 つのノードを持つ Xanadu より前のインスタンスにログインします。 2. SYS_TRIGGERテーブルに移動し、ジョブ「events process 0」を確認します。 3. 親ジョブをクローンして、別のジョブを作成します。 4. インスタンスを Xanadu にアップグレードします。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			5. テストのため、テーブルローテーションに移動し、SYS_EVENTテーブルのシャードを同期します。 6. 移動先 すべて > システムポリシー > キューレジストリ 「Default queue」を検索します 7. デフォルトのキューを開き、プロビジョニングされるまで待ちます。 8. キュー構成テーブル内のジョブを検証します。 9. SYS_TRIGGERテーブルに移動し、ジョブ「events process 0」を確認します。 予想される動作:デフォルトキューで 4 つのジョブが使用可能である必要があります。 実際の動作:利用可能なジョブは 2 つだけです。
システムエクスポートセット PRB1792544 KB1699358	ログエクスポートサービス (LES) が有効になっていて、LES ソースがグローバルスコープフィルターで syslog を使用して構成されている場合、Washington DC のアップグレード後に gs.log を使用すると null ポインター例外が発生する	「Script execution error: Script Identifier: null.null.script, Error Description: java.lang.NullPointerException, Script ES Level: 0 Couldn't decipher the stack trace resulting from the following JavaScriptException...」というエラーが出ます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
システムインポートセット PRB1786846	MID サーバーの JDBC データソースが JDBCProbeCompleted 応答を処理しない	「MID サーバークラスター管理」ビジネスルールは、フェイルオーバーと負荷分散をサポートするために JDBC データソースをサポートしています。これにより、JDBCProbe ローダークエリが JDBC データソースにあるため、MID サーバーは JDBCProbeCompleted 応答を処理できなくなります。	1. MID サーバーを使用して TD インスタンスを作成します。 2. ローカル MID サーバーを実行して TD インスタンスに接続し、2 つの MID サーバーインスタンスを作成します。 3. MID クラスターを作成します。 4. 2 つの MID サーバーを追加します。 5. 同等の機能を追加します。 6. データを MID サーバーにロードするように JDBC データソースを構成して、

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			ローカル MID サーバーを介してデータをロードできるようにします。 7. TD MID サーバーのステータスを「ダウン」に設定します。 8. JDBC データソースの MID サーバーを元の TD MID サーバーに設定します。 9. すべてのレコードをロードします。 データが正しくロードされ、JDBCProbeCompleted レコードが残っていることに注意してください。5 分後、JDBCProbeError メッセージが ecc_queue に表示されます。
テーブルクリーナー PRB1792186	テーブルクリーナー chunkDelete() が数回のループで停止する	存在しないレコードを削除しようとしているときにテーブルクリーナーが「回転」しないようにするためのチェックは、まだ削除する必要がある追加のレコードがある場合でも、条件が満たされると chunkDelete() を直ちに停止します。	
テリトリ計画 PRB1777951	ディスパッチャワークスペースでタスクのアサインを解除すると、アサイン先グループが空の文字列リテラルに設定される	ワークスペースイベントのコンテンツメニュー、カスタマーサービスポータルタスク、または左側のタスクパネルのタスクカードを使用して作業指示タスクのアサインを解除すると、アサイン先グループは空の文字列リテラルに設定されます。この空の文字列リテラルは、同じタスクの自動アサイン/動的スケジューリングフローを中断します。	1. FSM 構成可能ディスパッチャワークスペースバージョン 25.0.7 ストアアプリケーションをインストールします。 2. フィールドサービステリトリ計画プラグインをインストールします。 3. ディスパッチャワークスペースに移動します。 4. テリトリフィールドが値に設定されている作業指示タスクをアサインします。 5. 作業指示タスクのアサインを解除します。 6. ネイティブ UI で作業指示タスクを開きます。 7. 移動先 履歴 > カレンダー。 アサイン先グループが空の文字列リテラルに設定されていることを確認します。
テリトリ計画 PRB1791695	テリトリがアサイン先グループをカバーせず、アドホックエージェントのみがいる場合、アドホックエージェントはテリ		

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	トリーの下にロードされません		
階層 2 ストレージオフロード PRB1763233	ジョブオフロードのアーカイブ、添付ファイル、監査、およびジャーナルのデフォルト値を変更して、インストールメンテーションを改善し、遅延を検出		
階層 2 ストレージオフロード PRB1790724	階層 2 ストレージオフロードのテーブルはクローン作成から除外されません	テーブル SYS_ARCHIVE_TIER2_CHUNK、SYS_ATTACHMENT_INDEX、sys_attachmentはクローン作成から除外されません。クローンインスタンスはソースから異なる S3 バケットとクラスターを参照する可能性があるため、テーブルはクローンを作成しないでください。	
階層 2 ストレージオフロード PRB1791750	親と子が異なる破棄チャンクにある場合、オフロードされた関連レコードの破棄がサイレントで失敗する	すべてのレコードが S3 テーブルとインデックステーブルから削除されるわけではありません。	注:このバグを再現できるかどうかは、破棄チャンクでテーブルが出現する順序に依存するため、これらの正確なテーブル名を使用するのが最善です。 1. u_archive_test と u_archive_test_detail の 2 つのテーブルを作成し、u_archive_test_detail 内の 1 つのフィールドが u_archive_test sys_id を参照するようにします。 2. u_archive_test に 2 つのレコードを入力します。 3. u_archive_test レコードのいずれかを指す 1 つのレコードを u_archive_test_detail に入力します。 4. u_archive_test とアーカイブ関連レコードにアーカイブルールを作成し、u_archive_test_detail 内のレコードがアーカイブルールによってアーカイブされるようにします。 5. すべてのレコードをアーカイブしてオフロードします。 6. プロパティ glide.db.archive_destroy.batch_size を「1」に設定します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			7. 期間がほぼゼロの破棄ルールを <code>u_archive_test</code> に作成し、関連レコードの破棄を有効にします。 8. 破棄ジョブを実行します。 予想される動作: すべてのレコードが S3 とインデックステーブルから削除されます。 実際の動作: <code>u_archive_test_detail</code> レコードはインデックステーブル (および S3) から削除されません。
タイム カード管 理 PRB1785263	マネージャーが タイムカードを コピーできない	マネージャーがレポー トの 1 つのタイムカー ドをコピーしようとす ると、作成されたタイム カード{0}返されます。	1. インスタンスでマネージャーの代理操作を行います。 2. ユーザーリストからユーザーを選択します。 3. [タイムカードをコピー] ボタンを選択します。 4. タイムシートの日付を選択します。 5. [OK] を選択します。 エラーメッセージを確認します。
UI フィー ルド管理 PRB1753031	[ヒューマンリ ソース (HR) カタログの管 理 (Manage Human Resource Catalog)] ペー ジにアクセスす るとエラーが発 生する	エラー: 'Unexpected token ')' (at js_includes_ng_dc.jsx')。	
UI フィー ルド管理 PRB1789428	更新しない 限り、依存 フィールドから 値を選択する と、 TinyMCE フィールドのコ ンテンツのロー ドに失敗する	リンクが HTML フィー ルドに表示されない、お よびその他のコンテンツ の問題。	
UI フォー ム管理 PRB1783850 KB1651462	viewrule_all_cache 別のメモリ使 用量が多い (ワークスペー スビュールー ル)	viewrule_all_cache は、 アプリケーションノ ードで過剰なメモリを消 費する可能性があります。 これにより、メモ リの競合/ガベージコレ クションの増加/アプリ ケーションノードのパ	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		パフォーマンスが低下する可能性があります。	
アップグレードセンター PRB1776398	ファミリーをアップグレードしてストアアプリをアクティブ化した後、条件付きコンテンツがインストールされない		1. Washington DC でインスタンスをプロビジョニングします。 2. インスタンスを Washington DC から Xanadu にアップグレードします。 3. Security Center (SC) ストアアプリを 1.5.3 から 1.6 にアップグレードします 予想される動作: 「クライアントプッシュ通知」テーブルが存在し、glide.cmdb.canonical.url プロパティが表示されます。 実際の動作: sn_vsc_client_push_notifications テーブルおよびその他のテーブルがありません。
利用状況アナリティクス PRB1771870	Gateway からトークンを取得する代わりに、インスタンスで秘密鍵と公開鍵のペアを使用してトークンを生成します	Glide は、特定のアプリ ID の独自の秘密鍵で JWT トークンに署名し、公開鍵を返すように API を公開する必要があります。	
利用状況アナリティクス PRB1778725	Cookie でトークンを送信するセキュリティメカニズムの変更をサポートするための SDK の変更	メトリック API が正しくないため、/uxa/web/metric ではなく /uxa/now/web/metric にする必要があります。	1. 昇格された権限を持つユーザーとして AppSee 対応インスタンスにログインします。 2. サービスポータル (/sp) に移動します。 3. 最初のメトリクス API 呼び出しの要求ヘッダーを調べます。 予想される動作: 最初の呼び出しであっても、channelType フィールドに要求ヘッダーに適切な値が入力されている必要があります。 実際の動作: channelType フィールドは空の文字列 (") です。
UXF コンポーネント PRB1792110	フィールドに staticDependent の属性がある場合、構成可能なワークスペースのフォームにテンプレート値が表示されない	辞書エントリに staticDependent の属性がある場合、そのテンプレート値フィールドは構成可能なワークスペース内でどの形式でも表示されませんが、テーブルフィールドが定義され、	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		そのテーブルフィールドを依存として使用するようテンプレート値が設定されている場合は、フィールドが表示されません。	
UX フレームワーク PRB1792196	シングルサインオン (SSO) ユーザーに対して [セッションの延長] オプションが表示されない	SSO 対応インスタンスを Washington DC にアップグレードした後、ユーザーの [プラットフォーム] ビューに [セッションの延長] モーダルが表示されなくなります。代わりに、セッションがタイムアウトすると、ユーザーはログアウトされます。これにより、作業が失われます。ただし、モーダルは引き続き /esc ポータルと /sp ポータルに表示されます。SSO ユーザーに [セッションの延長] モーダルを表示するには、glide.ui.session.show_modals.override が存在しない場合は作成し、システムプロパティの [すべて] メニューで [true] に設定する必要があります。	1. SSO を介した読み取り/書き込みアクセス権を持つインスタンスに移動します。 2. フィルターナビゲーターから、コンテンツライブラリ > すべて表示。 3. 次の画面で、上隅にある [新規] を選択します。 4. ポップアップするモーダルで、[Rich Content (リッチコンテンツ)] を選択します。 5. [続行] を選択します。 6. 左側の列の [コンテンツ名] フィールドに、任意の値を入力します。 7. [エディターを開く] を選択します。 8. カードを選択して入力します。 15 分後、ユーザーは自動的にログアウトし、モーダルは設定されないことを確認します。
仮想エージェントデザイナー PRB1786655	仮想エージェント LLM 通知アクションが表示されず、会話がスタックする	アクション可能な通知がトリガーされると、アクションが表示されなくなるか、会話が停止し、ユーザーはアクションを実行できなくなります。	
仮想エージェントデザイナー PRB1793134	昇格された権限のないユーザーが大規模言語モデル (LLM) sys_cs_context_profile を作成できない		1. 昇格された権限はないが、virtual_agent_admin ロールを持つユーザーの代理操作を行います。 2. /sys_cs_context_profile.do に移動します。 [model_type] フィールドが [NLU/keyword] であり、[LLM] に設定できないことを確認します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
仮想エージェントデザイナー PRB1793793	NAVA トピックの実行で sys_cs_fdi invocation テーブルの [API] 列に入力されず、ETL ジョブが失敗する	通常の仮想エージェントの会話では、トピックの実行によって sys_cs_fdi invocation テーブルの [API] 列に値が入力されます。この列は、会話を処理するために ETL ジョブによって使用されます。ただし、NAVA 会話では、トピックを実行しても [API] 列に入力されないため、ETL ジョブが失敗し、仮想エージェントダッシュボードにすべての会話が表示されません。	1. NAVA を設定します。 2. 「スパムとは」を検索します。 3. sys_cs_fdi invocation テーブルで新しく生成されたレコードの [API] 列を確認します。 予想される動作: 「API」列に値が入力されます。 実際の動作: 「API」列は空です。
仮想エージェント PRB1782232	トピック検出時に発言の長さがチェックされないため、速度低下の原因となる大きな発言が許可されます	トピックディスカバリーでは、入力の長さはチェックされないため、大きな発言が検索に渡される可能性があります。また、USER_INPUT_MAX_LENGTH はチェックされず、トピックディスカバリーには大きすぎます。	1. glide.cs.chatbot プラグインを使用してインスタンスをプロビジョニングします。 2. 仮想エージェントとの会話を開始します。 3. トピック検出時に大きな発言を入力します。 速度低下を観察します。
仮想エージェント PRB1784826	仮想エージェントチャットがサービスポータル UI で開いているときに JavaScript コンソールエラーが表示される	キーボードショートカット API が 400 ~ 500 の範囲のコードを返すと、サービスポータル UI に JavaScript コンソールエラーが表示されます。	1. [チケットの追跡]を選択します。 2. 任意のケースを開きます。 3. チャットオプションを選択して、Engagement Messenger で仮想アシスタントを起動します。 コンソールエラーがブラウザーと JavaScript に表示されることに注意してください。
仮想エージェント PRB1787170 KB1650880	クライアントスクリプトで変数の最大値に達すると、Now Assist の VA が応答しない	プラットフォーム向け Now Assist の VA が応答せず、クライアントスクリプトの変数の最大値に達すると (特にクライアントスクリプトがカタログアイテムに 100 個の変数の値を設定する場合)、値が入力されません。	
仮想エージェント	ページをリロードするとカルーセルが消える	仮想エージェントチャットにクエリを入力すると、そのクエリに関連するカルーセルが表示され	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1787404		ます。ユーザーがページを更新すると、カルーセルは表示されなくなります。	
仮想エージェント PRB1787965	LLM サマリー 入力と合計トークンが正しく表示されない	Now LLM サマリー プロンプト応答には有効な 応答が表示されますが、 入力トークン = 1、合計 トークン = 1	
仮想エージェント PRB1789855 KB1651479	Washington DC のアップグレード後の仮想エージェントで、複数のキーワードに一致するすべての入力 でエラーがスローされる	仮想エージェントはキーワードに一致するすべてのトピックを表示する必要がありますが、技術的なエラーメッセージが表示されたり、ハングアップしたりすることがあります。	
仮想エージェント PRB1791763	oneextendUtil の GetSkillDetails API で、タイプ glide_record の属性の tableName と クエリが入力されない		
仮想エージェント PRB1791936	スロット入力に複数のエンティティがあると、 会話がクラッシュします	NLU ベースのユーザーが、NLU トピックの切り替え中に会話で入力中の複数のエンティティを持っている場合、選択ピッカーが表示されます。選択が行われると、VA に「技術的な問題があり、この会話を続けることができません」と表示されます。	
仮想エージェント PRB1793069	Now Assist for Creator (NAFC) 26.1.1 バンドルのインストール中に一部の依存関係が失われる	Now Assist パネル (NAP) で発言が送信されると、ユーザーにエラーメッセージが表示されます。	1. 「Now Assist for Creator」 (26.1.1) がインストールされたインスタンスをプロビジョニングします。 2. sn_text2analytics(1.0.5)がNAFCのインストールとともにインストールされていることを確認します。 3. Now Assist 機能 (すべて > Now Assist アドミン > Now Assist の機能 > 作成者.

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			4. 設定で NAP を有効にする (すべて > Now Assist アドミン > 設定 > Now Assist パネル). 5. NAP を開き、発話を送信します (「カテゴリ別のオープンインシデントの数」など)。 メッセージを確認します。「申し訳ありません。この要求を完了しようとしてこちら側で問題が発生しました。後でもう一度聞いてみてください。また、sys_cs_fdi_h_invocation_list テーブルログには「応答ステータス」が「TIMED_OUT」と表示されます。
Word ドキュメント API PRB1789946	Microsoft Office Word の最近の更新後、WordDocument API から破損した Word 文書が生成される	これは、Microsoft Office の最近の更新が原因で発生しています。このバージョンからテンプレートを作成すると、いくつかの新しいタグがドキュメントに追加されます。これらは API ではまだ処理されていません。	1. 16.85.x バージョンの MS Office Word で Word テンプレートドキュメントを作成します。 2. 「契約」テンプレートに追加します。 3. 解析します。 4. このテンプレートドキュメントを使用して契約を開始します。 ドキュメントが生成され、ダウンロードして開くと、ドキュメントが破損していることを確認します。

含まれる修正

特に記載のない限り、以下のいずれのバージョンからでも、このリリースバージョンに安全にアップグレードできます。これら以前のバージョンに含まれる PRB の修正は、このリリースにも含まれています。関心のあるすべての PRB 修正を含む、一覧されている最新パッチにアップグレードしてください。

- [Xanadu のセキュリティと注目すべき修正](#)
- [Xanadu におけるその他のすべての修正](#)

Xanadu EA ホットフィックス 1

Xanadu EA Hotfix 1 リリースには、これらの問題の修正が含まれています。

ビルド情報：

ビルド日: 08-27-2024_1527

ビルドタグ: glide-xanadu-07-02-2024_patch0-hotfix1-08-26-2024



重要:

インスタンスのアップグレード方法の詳細については、「[ServiceNow のアップグレード](#)」を参照してください。

リリースサイクルの詳細については、「[ServiceNow リリースサイクル](#)」を参照してください。



注:

この Now Platform メジャーファミリーリリースは、ServiceNow の規制された市場環境で使えるようになりました。隔離された環境で利用可能なサービスの詳細については、「[KB0743854](#)」を参照してください。

修正された問題

問題	簡単な説明	説明	再現手順
エージェント チャット PRB179745	textAreaRef がフック挿入 で正しくインス タンス化されな いため、入力領 域の「Enter」 キーと 送信 ボ タンが機能しな い	この問題は断続的に発生 します。	1. 要求者としてチャットを作成します。 2. エージェントは、チャット全体がレンダ リングされる前に、入力テキストエリア を選択します。 3. 何かをすばやく入力し、「Enter」キー を押します。 予想される動作: 「Enter」キーを押すか、 [送信] ボタンを選択すると、メッセージ が送信されます。 実際の動作: 「Enter」キーを押しても新し い行が作成され、[Send] ボタンを選択し ても何も起こりません。
エージェント チャット PRB1788201	エージェント チャットとサイ ドバーのチャッ ト入力テキスト 領域のコピー、 貼り付け、およ びデバウンスの 問題を解決する	2 つの問題があります。 [Send] ボタンは 250 秒遅れて有効になりま す。非常に速く入力され たメッセージを送信する と、メッセージが途切れ ます。	1. エージェントチャットを開始します。 2. テキストエリアにテキストを入力しま す。
Horizon コンポー ネントラ イブラリ PRB1782771	チャットのテキ スト領域でコ ピー & ペース トが期待どおり に機能しない	これは、エージェント チャットとサイドバーの 両方で再現可能です。	1. サイドバーディスカッションを作成する か、ライブエージェントの会話を開始し ます。 2. 「abcd」というメッセージを送信しま す。 3. インシデント番号をコピーしてチャット テキスト領域に貼り付けてみます。 予想される動作: コピーしたテキストをテ キスト領域に貼り付ける必要があります。 実際の動作: 貼り付けられたテキストは最 後のチャットメッセージに置き換えられま す。

含まれる修正

特に記載のない限り、以下のいずれのバージョンからでも、このリリースバージョンに安全にアップグレードできます。これら以前のバージョンに含まれる PRB の修正は、このリリースにも含まれています。関心のあるすべての PRB 修正を含む、一覧されている最新パッチにアップグレードしてください。

- [Xanadu のセキュリティと注目すべき修正](#)
- [Xanadu におけるその他のすべての修正](#)

Xanadu のセキュリティと注目すべき修正

Xanadu リリースには、重要な問題の修正が含まれています。

Xanadu は 2024 年 8 月 1 日にリリースされました。

- ビルド日 : 07-27-2024_1019
- ビルドタグ : glide-xanadu-07-02-2024__patch0-07-16-2024

 **重要:**
インスタンスのアップグレード方法の詳細については、「[ServiceNow のアップグレード](#)」を参照してください。

リリースサイクルの詳細については、「[ServiceNow リリースサイクル](#)」を参照してください。

 **注:**
この Now Platform メジャーファミリーリリースは、ServiceNow の規制された市場環境で使用できるようになりました。隔離された環境で利用可能なサービスの詳細については、「[KB0743854](#)」を参照してください。

このリリースで修正された問題のダウンロード可能でソート可能なバージョンについては、[ここ](#)をクリックしてください。

セキュリティ関連の修正

Xanadu には、特定の ServiceNow アプリケーションと Now Platform に影響を与えるセキュリティ関連の問題の修正が含まれています。最も安全で最新の機能を使用するために、このリリースにアップグレードすることをお勧めします。Xanadu で修正されたセキュリティの問題の詳細については、[KB1650904](#) を参照してください。

注目の修正

次の問題とその修正は、顧客に潜在的な影響のあるものを最も重要な修正から順に示しています。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
アクセス制御 PRB1641097 KB1432102	タイプ = 添付ファイルタイプフィールドの削除中に、テーブル名条件を含む sys_attachment の ACL を削除できない	添付ファイルをアップロードしようとするとエラーメッセージ「file.delete.failed」が生成され、sys_attachment にカスタマイズされた削除 ACL がありません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
アクセス制御 PRB1703976	システムプロパティ「glide.ui.schedule_save_for_group」が true に設定されている場合、ユーザーはユーザーをロールに昇格させた後、グループにユーザーを追加できない	システムプロパティ「glide.ui.schedule_save_for_group」が true に設定されているときに、ユーザーをロールに昇格する必要がある場合、ユーザーはユーザーをグループに追加できません。作成されたバックグラウンドジョブでは、ユーザーはグループに追加されません。	
アクセス制御 PRB1736031 KB1630133	「システム」セキュリティ属性のキャッシュに関する問題	場合によっては、特にユーザーのセッションがしばらくアイドル状態になった後、UserIsAuthenticated セキュリティ属性を持つ ACL によって保護されている一部のリソースにアクセスできなくなることがあります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
アクティビティストリーム PRB1675128 KB1641686	ワークスペースのアクティビティストリームで、メールの「差出人」フィールドに sys_id が表示されません。	sys_id は、メールがインタラクションに添付されるとワークスペースの「差出人」フィールドに表示され、アクティビティストリームに表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
アクティビティストリーム PRB1736995 KB1642093	アクティビティストリームが、ワークスペースと UI16 でタグを使用して異なる方法でレンダリングされる	アクティビティストリームがワークスペースで構築されている場合、変更回数には最新のユーザーが必要です。UI16 は最も古い更新プログラムを使用し、そのユーザーを変更回数に使用します。問題は、タグが追加されるときに、同じユーザー更新プログラム (sys_mod_count) に追加されることです。更新は、UI1 では元のユーザーとして、ワークスペースでは別のユーザーとして表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
アクティビティストリーム PRB1761952	カーソルが [コメント] セクションのサービスオペレーションワークスペース (SOW) アクティビティストリームを含むテキストの下部にジャンプします。	SOW 内で、インシデントの作業中に [コメント] セクションにテキストを入力すると、カーソルが断続的にテキストの下部に移動します。	1. SOW から、インシデントを開きます。 2. [コメント] セクションにテキストを含むテンプレートを適用します。 3. テキストの下部より上の任意の場所を入力を開始します。 カーソルがランダムに一番下にジャンプすることを確認します。問題が断続的に再現されることがあります。
アクティビティストリーム PRB1780340 KB1649222	Washington DC のアップグレード後、[sys_email] の GlideRecord ですべてのフィールドが更新されます	トランザクションには、sys_email レコードの関連情報のみが更新されたことが表示されますが、無関係なフィールドも更新されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
エージェントアシスト PRB1680218 KB1433227	検索ツール「応答」テンプレートを使用したテーブル構成に対して [クリップボードにコピー] アクションが作成されない	[クリップボードにコピー] のすべての既存レコードが [current_table] フィールドに入力されるために、アクションがコピーされない問題が発生します。このフィールドは、生成されるテーブルアクションを制御します。空のままにすると、任意のテーブルに対して作成されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
エージェントチャット PRB1687713	ユーザーが上にスクロールしたときに、エージェントチャットのスクロールバーが正しく機能しない	スクロールバーが少し下に押し下げられます。	
エージェントチャット PRB1734352	sn-inbox-card をレンダリングしようとしたが、作業アイテムカードが受信トレイにレンダリングされません	作業アイテムがエージェントにアサインされており、音声通知が聞こえるにもかかわらず、エージェントの受信トレイにレンダリングされた作業アイテムカードが表示されないという断続的な問題が発生します。	1. エージェントとしてログインします。 2. ワークスペースに移動します。 3. 要求者としてチャットを開始します。 4. システムプロパティ「com.glide.awa.client_logging.enabled」をロール「awa_agent」および

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			「awa_manager」で設定して、クライアント側のログ記録を有効にします。 これは、拡張ログ記録を有効にするためです。 予想される動作：エージェントは、通知を含む作業アイテムカードを受信トレイで受信する必要があります。 実際の動作：エージェントは何も受信しません。
サービスポータル の AI 検索 PRB1753189	アップグレード後に AI 検索結果ページのソートオプションが表示されない	アップグレード後にソートオプションが表示されない。[最も関連性が高い] メニューを選択した後は何も発生せず、ユーザーは他の並べ替えオプションを選択できません。	1. 「NL UAT Now Create」ポータルにログインします。 2. [資産の検索 (Search for an asset)] の下にある [検索] ボタンを選択します。 3. [資産/サービスパック (Asset/Success Pack)] ナビゲーションタブで、[最も関連性が高い (Most relevant)] ソートオプションを見つけます。
AI 検索 PRB1706402	AI 検索で「参照」タイプの列の翻訳済みテキストのインデックスが作成されない	現在、複数の言語の翻訳を利用できますが、AI 検索インデックス参照列の値には言語が 1 つしかありません。	
AI 検索 PRB1709322	AI 検索の使用時に表示されるテキストを翻訳できない	テキスト「[number] results for [keyword]」を翻訳できません。	
AI 検索 PRB1734605	AI 検索の提案で外部 URL の構成が確認されない	ユーザーが結果の外部ソースへのカスタム URL を使用する場合は、 navigation_url フィールドを上書きするスクリプト付きポストプロセッサを介して検索結果に対してこれを構成するか、カスタム宣言アクションを作成します。ただし、ユーザーは、これらの方法のどちらも提案リーダーによって確認されていないことに気づいています。	
AI 検索 PRB1758577	Washington DC のアップグレード後にポータルに JavaScript エ	Washington DC をアップグレードすると、以前のバージョンでは発生しなかった JavaScript エラーがポータルとブラウ	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB1644179	エラーが表示される	ザーコンソールに表示されます。これらのエラーには、機能的な副作用はありません。	
AI 検索 PRB1770551 KB1647708	ポータルで検索すると、結果が見つからない場合に空の Genius 結果カードが上部に表示される	結果が見つからない場合は、空の Genius 結果カードが上部に表示されます。キーワード検索に失敗した場合の Genius 結果では、9 秒から 10 秒後に「結果が生成されませんでした (No results generated)」と表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
AI 検索 PRB1779636	カルーセルと通常の検索結果が断続的に表示されない	検索クエリが実行されると、カルーセルがロード状態でスタックします。	1. インスタンスをプロビジョニングします。 2. Now Assist アクションと Now Assist QnA がサービスポータル検索プロファイルにアタッチされていることを確認します。 3. 任意のカタログまたは QnA クエリの検索を実行します。 カルーセルがロード状態でスタックしていることに注意してください。
Application Install Engine PRB1733557	新しいノードを追加するときに store_packages が見つかりません	新しいノードを追加したときに、必要なパッケージがアクティブ化される必要があります。	
Application Install Engine PRB1736711 KB1634502	[アプリケーションのインストール] 関連リンクが sys_store_app レコードに表示されません。		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Application Install Engine PRB1746800 KB1649407	ホストアプリが「ui.templates」のマクロをロードできないため、ネクストエクスペリエンス以外の UI の OpenFrame 機能が壊れる	ホストされたプラグインは、アクティベーション後にキャッシュ内の静的コンテンツのロードに失敗します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
アプリケーションマネージャー PRB1714286 KB1646367	前回のストアとの同期で、「dd-MM-yyyy」日付形式で無効な日付が表示される	glide.sys.date_format が別のデフォルト形式を使用するように調整されている場合、ストアの日時との最終同期が正しく表示されません。	1. フィルターナビゲーターで、システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて。 2. [前回のストアとの同期 (Last sync with store)] の日時の横にある [アプリを同期 (Sync apps)] ボタン (二重矢印の丸) を選択し、同期が完了するのを待ちます。 日付が正しく表示されていることを確認します。 3. glide.sys.date_format を dd/MM/yyyy に設定します。 4. フィルターナビゲーターで、システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて。 これにより、アプリケーションマネージャーが開きます。 [Last sync with store (前回のストアとの同期)] の日付が正しくないか (日が月で月が日)、無効であることを確認します。
アプリケーションマネージャー PRB1714732	新しいアプリケーションマネージャーインターフェイスで App Engine Studio アプリケーションを選択するとエラーが発生し、アプリケーションレコードが開きません	「インスタンスからの製品詳細のフェッチに失敗しました」というエラーメッセージが表示されます。アプリケーションレコードがロードされません。	
アプリケーションマネージャー PRB1718754 KB1587314	Vancouver では、従来のアプリケーションマネージャーでアップグレードが完了したと表示されています。新しいアプリケーションマネージャーでプラグインのアップグレードが停止します。	従来のアプリケーションマネージャーでは、プラグインが正常にインストールされたことが表示されますが、sys_execution_tracker エントリは引き続き実行中として表示されます。実行トラッカーは完了状態に更新されず、エラーのために進捗状況が 94% のままになっていました。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
アプリケーションマネージャー PRB1728645	依存アプリケーションの UI が ServiceNow Store で非表示になり、本番インスタンスでのアプリケーションのインストールプロセスを妨げます。	この問題は、本番インスタンスでのアプリケーションのインストール中にのみ発生します。アプリケーションがインストールプロセス中に依存関係アプリをインストールする必要がある、それらのアプリ (依存関係アプリ) が ServiceNow Store でインスタンスにマッピングされていない場合、アプリのインストールダイアログボックスで、ユーザーに、続行する前にストアからアプリを購入するように求められます。ユーザーが提供されたリンクをクリックすると、ServiceNow Store に移動し、「選択した条件に一致するアプリが見つかりませんでした (No apps were found matching the selected criteria)」というメッセージが表示されます。	1. 本番インスタンスで従業員センターのインストールを試行します。 2. 「システムアプリケーション」でアプリを検索します。 3. [インストール (Install)] を選択します。 4. インストールを続行する前に、従業員センターの依存関係のリストを示すダイアログボックスが表示されます。従業員センター Core はその依存関係の 1 つです。これがインスタンスにインストールされていない場合は、ダイアログボックスに「ストアから購入する必要があります (Needs to be purchased from Store)」というメッセージが表示されることを確認します。 5. ダイアログボックスに表示される [従業員センター Core] リンクを選択します。 ストアのページが開き、「選択した条件に一致するアプリが見つかりませんでした (No apps were found matching the selected criteria)」というメッセージが表示されます。
アプリケーションマネージャー PRB1741568 KB1644191 	ユーザーが「アプリケーションマネージャー」UI で内部サーバーエラーを観測する	ユーザーは次のエラー：「アプリ情報が見つかりません。[OK] をクリックしてホームページに戻ります」と内部サーバーエラー(500)を観測します。	1. インスタンスにログインします。 2. 新しい [アプリケーションマネージャー (Application Manager)] に移動します。 3. アプリを同期して最新バージョンを取得します。 4. 同期後、検索ボックスで「appstore」を検索し、[アップデート (Updates)] タブを確認します。 5. [アプリストア (App Store)] を選択します。 空白のページと内部サーバーエラー (500) が表示され、テキスト「App info not found. Click ok to go back to home page (アプリ情報が見つかりません。[OK] をクリックしてホームページに戻ります)」が表示されます。ユーザーは、ページが更新される前に何度か戻って再試行する必要があります。時間がかかります。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
アプリケーションスコーピング PRB1388380 KB0823213	アドミン以外のユーザーに、現在選択されているアプリケーションスコープにないレコードの「スコープが間違っています」メッセージが表示されない	レコードのスコープが現在選択されているアプリケーションスコープと異なる場合は、ユーザーとロールに関係なく、「スコープが間違っています」のメッセージとともにレコードは読み取り専用となります。	1. メタデータテーブルを作成します。 2. アドミンユーザーを使用して、このメタデータテーブル内の異なるスコープ A と B のレコードを作成します。 アドミンが現在選択されているスコープとは異なるスコープにあるレコードを開くと、レコードが読み取り専用として表示され、「This record is in the ABC application, but XYZ is the current application.(このレコードは ABC アプリケーションに含まれていますが、現在のアプリケーションは XYZ です) To edit this record click here.' is displayed (レコードを編集するには、ここをクリックしてください)」というメッセージが表示されます。 3. ロールを作成します。 4. このロールをメタデータテーブルの書き込み ACL に追加します。 5. この新しいロールを持つユーザーを作成します。 6. 異なるスコープで作成されたレコードを開きます。 レコードは常に編集可能として表示され、ユーザーの現在のスコープに関係なく、間違ったスコープのメッセージは表示されません。
Appsee - プラットフォームインフラストラクチャ PRB1716290	core_country テーブルレコードの [アナリティクス同意ポリシー] フィールドの値が空の場合、エラーが発生する	core_country テーブルレコードの [アナリティクス同意ポリシー] フィールドの値が空の場合、401 unauthorized エラーが発生し、ナビゲーションバーが壊れます。	1. [アナリティクス同意ポリシー] フィールドが空の core_country テーブルに国を作成します (または既存の国があります)。 2. [同意ポリシープロバイダー (Consent policy provider)] フィールドで、「GeolP」のみを有効にし、残りをオフにしていることを確認します。 3. 同意ポリシーが空に設定されている場所からログインします。 ログインすると、ux-metrics フローがトリガーされ、[同意を得る (Get consent)] API が実行されます。 予想される動作: [同意を得る (Get consent)] は、予想される同意ポリシーを ux 測定基準に返す必要があります。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			実際の動作：null ポインターエラーがスローされ、ux 測定基準に正しい応答を返すように処理されません。
アプリテンプレートフレームワーク PRB1718490	テンプレートからアプリを作成するときにエラーが発生した		1. 管理者ユーザーとしてログインします。 2. App Engine Studio に移動します。 3. アプリ、ワークスペース、およびポータルエクスペリエンスを作成します。 4. [テンプレート] に移動します。 5. 既存のアプリを使用してテンプレートを作成します。 6. 以前に作成されたアプリを選択します。 7. テンプレートが作成された後、既存のテンプレートからアプリを作成します。 ユーザーがスコープを変更せずに空のレコード (すべてのフィールドが空) を sys_translated_text に追加し、それをテンプレート化しようとする、いくつかのスキャンペイロードのノードの 1 つとして sys_translated_text レコードが追加されます。
アーカイブルール PRB1669506	「アーカイブ破棄」ルールが機能せず、常に 0 レコードが表示される	「アーカイブ破棄」ルールが機能せず、常に 0 レコードが表示され、「AR」テーブルからレコードが削除されません。	
監査履歴 PRB1767585	別のユーザーがターゲットレコードを更新したときに、履歴セットとアクティビティストリームのユーザー名が正しくない	ジャーナル履歴セットは、最初のレコードの後に正しいユーザーを属性付けしません。	1. glide.history_set.pull_journal_entries_from_journal_table を true に設定します。 2. スクリプトを使用してインシデントに作業メモを追加します。 3. これらのジャーナルエントリの履歴セットを削除します。 4. インシデントのプラットフォームビューで作業メモを表示します。 予想される動作：最初のジャーナルエントリは「システム管理者」からのもので、次の 2 つは「Abraham Lincoln」からのものです。 実際の動作：すべてのジャーナルエントリが「システム管理者」からのものです。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
認証 PRB1667269 KB1329268	JSON Web トークン (JWT) キーの作成時に「Unable to extract Key from KeyStore (KeyStore からキーを抽出できません)」というエラーが発生する		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
認証 PRB1725399	BasicAuth および BearerAuth スクリプトの「getHeader()」呼び出しが期待どおりに機能しない	これは、API キーと Hmac プラグインが有効になっているためです。	1. Washington DC リリースのインスタンスを開きます。 2. basicAuth スクリプトで、var header = this.request.getHeader (「認証」) の行を追加します。 予想される動作：正しい認証情報を使用した BasicAuth が機能するはずです。 実際の動作：正しい認証情報を使用した BasicAuth が失敗します。
CMDB CI クラスマネージャー PRB1756070 KB1644165	CI クラスマネージャービューに複数の問題がある	問題の概要：1. しきい値設定のインジケーターがありません。2. 複数のスクロールバーがありますが、これは想定されません。3. 冗長なしきい値設定情報。4. 同じページ内の冗長なテーブル。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
CMDB データマネージャー PRB1752346 KB1641376	CMDB データマネージャーの [依存 CI 管理 (Dependent CIs management)] 機能が警告なしでインスタンスで有効になる	Utah では、インスタンスに 1 つ以上のアクティブな CSDM ライフサイクルルールがある場合、CMDB データマネージャーはデフォルトで有効になります。これにより、CMDB データマネージャーの [依存 CI 管理 (Dependent CIs management)] 機能も有効になるという意図しない結果が発生しました。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
条件ビルダー PRB1697408 KB1629848	データ可視化リストの列に追加された変数のロードの問題	プラットフォームアナリティクスワークスペースとサービスオペレーションワークスペースで、item_option_new 関数の大量のデータを処理するときに繰り返し発生するタイムアウトの問題があります。タイムアウト制限を 60 秒に増やしても、指定された期間内にすべてのレコードをロードできるわけではありません。	1. プラットフォームアナリティクスワークスペースまたはサービスオペレーションワークスペースを開きます。 2. ページの [タップ 2 (Tap 2)] を選択します。 3. [すべてのアクティブなタスク (All Active Tasks)] コンポーネントを選択します。 4. 3 つの点を選択します。 5. 構成します。 6. [既定の表示 (Default Display)] セクションで [+ 追加 (+Add)] リンクを選択します。 7. リストの一番下に質問を追加してみます。 読み込まれません。
条件ビルダー PRB1721656 KB1642058	Tokyo から Vancouver にアップグレードすると、UI ビルダーの [データの可視化] コンポーネントの [データソースを追加] ページの [カスタム条件を追加] ボタンが正しく機能しない	設定された条件は表示されず、[カスタム条件を追加] ボタンは表示されません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
条件ビルダー PRB1735699	参照リスト条件ビルダーに複数の問題がある	次の問題が発生します。クエリを実行すると、デフォルトの条件がクエリに追加されます (たとえば、2 つのデフォルト条件で実行すると、4 つの条件が表示されます)。[ソート基準] 条件が保持されない (ユーザーは列にソートを追加できますが、フィルターを再度開くとそこにありません)。[名前] 列は常に [昇順] としてソートされ、変更できません。	1. サービスオペレーションワークスペースに移動します。 2. インシデントレコードを開きます。 3. [詳細] タブを開きます。 4. サービス参照入力の虫眼鏡を選択します。 クエリを実行するときは、次の問題を確認してください。デフォルトの条件がクエリに追加され、[ソート基準 (Sort By)] 条件が保持されず、[名前] 列が「昇順」でソートされます。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
構成管理データベース (CMDB) PRB1332966	[不明な検出ソースステータスをリセット (Reset Unknown Discovery Source State)] ビジネスルール (BR) は current.setWorkItem を呼び出すため、その後に行う必要があるすべての BR がキャンセルされます	[アプリケーションサービスに変換 (Convert to application service)] アクションは、cmdb_ci_service_discovery テーブルを挿入/更新します。ただし、サービスで検出ソースが [不明] に設定されていたため、不明な検出ソースステータスのリセット (Reset Unknown Discovery Source State) が実行され、実行されるはずだったモデル更新 BR が実行されませんでした。したがって、サービスモデルは作成されませんでした。	1. [不明な検出ソースステータスのリセット (Reset Unknown Discovery Source State)] (1010) の順序よりも高い順序の BR を cmdb_ci テーブルに追加します。 2. テーブルを更新します。 3. 新しい BR が実行されたかどうかを確認します。
構成管理データベース (CMDB) PRB1687690	プラグイン plugin com.snc.cmdb.csdm.activation でインスタンスのアップグレードがスタックする	アップグレードモニターでは、アップグレードの進行状況に、アップグレードが進行していないことが示されます。	
構成管理データベース (CMDB) PRB1702705	パフォーマンステストでは、PRB1369519 と同様の症状が認められた	パフォーマンス テスト中に、PRB1369519 と同様の現象である「cmdb_qb_result_base テーブルでの競合と継続的な更新 (Contention and continuous updates on the cmdb_qb_result_base table)」が確認されました。	
構成管理データベース (CMDB) PRB1728603	ユーザーが各レベルで多くの関係を持っている場合、CMDBUtil.getRelatedServices() でパフォーマンスの問題が発生します	ユーザーが構成アイテムを指定し、ボタンを手動で押してこの API を呼び出すと、[影響を受けたサービスのリフレッシュ] が ITSM の change_request UI フォームから呼び出されます。大量の CMDB データを持つユーザーの場合、この API は過剰なメモリを消費し、そのために JVM ノードが再起動されます。	1. ターゲット CI の各レベルで多くの関係がある (深さは浅くても広い) 関係マップを作成します。 2. CI 上のサービスをリフレッシュするときに、ノードログに、IN 句に多くの sys_id があり、クエリが大きいというフラグが立てられているかどうかご注意ください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
構成管理データベース (CMDB) PRB1729639	調整が有効な場合、同じ sys_id を持つ複数のコミット担当者がいると、識別および調整エンジン (IRE) の例外が発生します	データソースの [最終更新日時] は、コミット担当者のバッチ内で一意の sys_id を予期しています。	
構成管理データベース (CMDB) PRB1736102	コードパスに対するマルチソース更新により、複数の冗長な更新ステートメントが生成される	マルチソース更新コードパスが、同じ CI に対して sys_mod_count の where 節を使用して冗長な更新ステートメントを複数生成する	
構成管理データベース (CMDB) PRB1742296	CSDMReportProcessor のクエリを最適化すると、csdm_dashboard_data テーブルの挿入時にレプリケーション遅延が発生する	例外「SEVERE *** ERROR *** Exception during batch statement commit to glide...」という警告が表示される	
構成管理データベース (CMDB) PRB1751001	csdm_dashboard_data テーブルの更新を最適化する	エラーメッセージ	
Core Platform PRB1732676 KB1587782	変数 \${comments_and_work_notes} が Vancouver へのアップグレード後の HR ケースで機能しない	Vancouver にアップグレード後、\${comments_and_work_notes} を含むメール通知が受信者のメールに空として表示されます。これは Tokyo インスタンスでは正常に機能します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Core Platform PRB1735834	ユーザーに「*** ERROR *** loadRow failure java.lang.IllegalArgumentException: Unable to parse unicode value: XXX...」というエラーが表示される		
データベース	クラスターサマリテーブルに	ユーザーに影響を与えるクエリの平均実行時間が	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
インデックス PRB1721733	クラスター ID のインデックスがない	1 秒を超えています。クエリは「アプリケーション提案 - ITOM オートディスカバリー」から取得されています。	
データベースの永続性 - データアクセス PRB1692793	データセンターインスタンスに「Operation not permitted on a closed resultSet (クローズされた結果セットに対する操作は許可されていません)」というエラーが表示される	エラーは Utah 以降のインスタンスに表示されます。これにより、ワークフローの完了に問題が発生する可能性があります。	
データベースの永続性 - データ管理 PRB1709781 KB1571178	空き領域の要件を満たしているが、行数が 5,000 行を超えないテーブルは再構築できません	これにより、再構築するために手動アクションを必要とする大きな空のテーブルが発生する可能性があります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
データベースの永続性 - データ管理 PRB1719831	データベースフットプリントまたは sys_physical_table_stats に正しいテーブルサイズが表示されません	table_name の行の詳細が、sys_storage_table_alias テーブルの sys_physical_table_stats alias と等しくありません。	1. 40 文字を超えるテストテーブルを作成します。 2. sys_storage_table_alias でエイリアス化されていることを検証します。 3. テストテーブルにいくつかのレコードを追加します。 4. 物理テーブル統計収集プログラムの sys_trigger を実行します。 sys_physical_table_stats テーブルの値が更新されていないことを確認します。
データベースの永続性 - データ管理 PRB1731252	ArchiveDocumentID.move DBQuery によりメモリが大量に消費される		

問題	簡単な説明	説明	再現手順
データベースの永続性 - データ管理 PRB1732094	「物理テーブル統計収集」ジョブがデータベースの負荷に影響を与える	大量のインスタンスをホストする「物理テーブル統計収集」というジョブは、ホストされたデータベースのデータベース負荷に影響を与える可能性があります。	
データベースの永続性 - データ管理 PRB1765904 KB1647554	Washington DC のアップグレード後、トランザクション/ジョブが深夜にキャンセルされる	DropTmpTablesJob は、1 日に 5 つの tmp_ テーブルを、バッチ サイズ 5 から 100 になるまでクリーニングしていました。実行時間が十分に長く、実行時間の一部で DB がロックされているため、すべてが停止し再試行する必要があります。最終的には放棄されます。これにより、処理がキャンセルされます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
データベースの永続性 PRB1731458 KB1645608	関連リストクエリを setAggregateWindow とともに使用すると、無効な SQL ステートメントが書き込まれる	ノードログにエラーが含まれています。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
データベースの永続性 PRB1740957 KB1634707	テーブルで孤立したデータベーストリガーによって、データベーストリガーが削除されるまで挿入/更新/削除操作ができなくなる	月次ジョブ「Dropping tmp tables」は、残っている tmp_* テーブルをチェックし、データベースから削除します。テーブルにトリガーがある場合、またはソーステーブル (「task」など) に更新がある場合、トリガーが削除されるまで機能しません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
データベースの永続性 PRB1749923	SQL のエイリアス名が正しくないため、テーブル結合クエリの実行に失敗する		
データベースの永続性	StatementBatch を使用すると、接続共有違反が発生する可能性がある	通常、この問題は process_flow ジョブの実行中に発生します。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1761025			
データポ リシー PRB1670181	opened_at の 日時が、ワーク スペースのイン タラクションレ コードから作成 されたインシデ ントの 4 時間 後になる	作成されたインシデ ントでは、[オープン] フィールドと [作成済み] フィールドの間に数時間 の差があります。	
ディスカ バリー PRB1509705 KB0967278	簡易ネットワー ク管理プロト コル (SNMP) オブジェクト 識別子 (OID) 1.3.6.1.4.1.1602.4.7 が「Network Multi-PDL Printer Board- D1/H1」と して検出さ れ、Canon の 多機能プリン ターのさまざま なファミリーや モデルで使用さ れている	SNMP 分類 OID レコード 1.3.6.1.4.1.1602.4.7 は、Canon 多機能プ リンターのファミリー 全体で使用されます。 この OID レコードに より、実際のファミ リー/モデルに関係な く、すべての OID がモ デル「Network Multi- PDL Printer Board- D1/H1」になります。	OID 1.3.6.1.4.1.1602.4.7 の Canon プ リンターを検出します。 プリンター CI はモデル「Network Multi- PDL Printer Board-D1/H1」で作成され ますが、これは 99% の時間正しくありま せん。
ディスカ バリー PRB1592609	大規模なクエリ を実行するとク ラウドディスカ バリーがキャン セルされる	パターンに時間がかかり すぎて、ディスカバリー がハングアップします。 パターンの結果を処理す るトランザクションの実 行時間が長すぎてプラッ トフォームによってキャン セルされたため、クラ ウドディスカバリースケ ジュールがハングアップ します。	1. 単一の論理データセンター (LDC) で 最 大 50 万のストレージボリュームを検出 します。 2. クラウドから 1 つのボリュームを削除 します。 3. 再検出します。 ストレージボリュームを削除しようとする と、最初にすべてのボリュームが照会され ます。
ディスカ バリー PRB1640443	ジョブ [オブ ジェクトソー ステーブルの 整合性チェッ ク (Object Source Table Integrity Check)] の実 行時間が長く なり、メモリ 使用率が高くな り、[CMDB シ ステムオブジェ クトソースの	ジョブ [オブジェクト ソーステーブルの整 合性チェック (Object Source Table Integrity Check)] は、6 か月以 上経過した last_scan sys_object_source を クエリします。返される 各レコードは、参照さ れている CMDB レコー ドが存在するかどうかを チェックします。存在す る場合は、次のレコード に進みます。CMDB レ	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	クリーンアップ (CMDB Sys Object Source Cleanup)] が重複する	コードが存在しない場合、sys_object_source は削除されます。last_scan は、CMDB レコードが識別および調整エンジン (IRE) によって更新されると更新されます。CMDB を更新するプロセスがない場合、last_scan も更新されません。このジョブは完了するまでに数時間かかる場合があります、大量のメモリを消費します。	
ディスカバリー PRB1651345	L3 マッピングのパフォーマンスの向上		
ディスカバリー PRB1715045 KB1573366	ディスカバリースケジュールが誤った開始/完了ジョブでスタックし、スケジュールが 1 日待機した後、最大時間が原因でキャンセルされる	センサークォータールの最大時間を超過したためにトランザクションがキャンセルされた場合、その入力レコードの完了済みジョブ数は増加しません。これにより、ディスカバリーは永久にアクティブに保たれ、最大実行時間に達するとキャンセルされます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
ディスカバリー PRB1721054	クラウドホスト (cmdb_ci_cloud_host) で「IP Address in payload is null (ペイロードの IP アドレスが null です)」という警告が表示される		
ディスカバリー PRB1725044	URL 証明書検出が一部の URL で機能しない	「Failed to retrieve certificate chain for URL... (URL の証明書チェーンの取得に失敗しました...)」というメッセージが表示されます。	
ディスカバリー PRB1732616	AIX サーバーでディスカバリーコマンドがバックグラウンドで実行されている	ディスカバリーが完了した後も、コマンドはターゲットホストで実行されており、CPU ス	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	ため、CPU 使用率が高い	ペースのほとんどを消費します。	
ディスカバリー PRB1776300	ディスカバリーおよびエージェントクライアントコレクターヴィジビリティ (ACC-V) からの多数の running.process.absent イベントによってシステムイベント処理が妨げられる	Tokyo では、テーブルクリーナーが cmdb_running_process レコードを削除した後、孤立したアプリケーション CI と関係をクリーンアップする新しい running.process.absent イベントが追加されました。このイベントは、ディスカバリーセンサーの一部としての「RunningProcessReconciler」スクリプトインクルード、およびエージェントクライアントコレクターヴィジビリティのチェックによってトリガーされます。その後、tcmdb_ci_appl CI によって「Absent (不在)」ステータスとして処理されます。これには、多くのレコードのループ処理が含まれる可能性があります。大規模な ACC-V 実装がある場合、これはデフォルトで 8 時間ごとのエージェントのインストールごとにトリガーされるため、これらのイベントの多くが発生します。これらのイベントは、一般的なイベントキューと「Events Process 0 (イベントプロセス 0)」ジョブを使用します。これにより、他のすべてのイベントがこれらのイベントがクリアされるのを待ってから実行する必要があるバックログイベント処理が発生します。	1. ACC-V をインストールし、多数のエージェントを作成します。 2. 1 日に作成された running.process.absent イベントの数を確認します。 ビジー状態のインスタンスでは、イベント処理がバックログである場合、これらがバックログの大部分を占めることに注意してください。このような影響の大きいイベントには、通常、デフォルトのキューと「Events Process 0 (イベントプロセス 0)」ジョブに影響を与えないように、専用のキューとイベントプロセスジョブがあります。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 統一バックエンド	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) タスクの失敗	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ジョブが次のエラーで 50% で失敗しました: 「NSE0014:Failed to initialize pipeline : No columns to parse from file (NSE0014 : パイプラインの初期化	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1743818 KB1646495		に失敗しました：ファイルから解析する列がありません) および「nse0014:Failed to initialize pipeline : NSE0003:Failed to get pipeline json to have dataset path information (nse0014 : パイプラインの初期化に失敗しました : NSE0003 : パイプライン json にデータセットパス情報を含めることができませんでした)」	
メール通知 PRB1681360	スケジュール済みレポートにすべてのメールの添付ファイルが含まれない	メールの添付ファイルは、複数の受信者により分割されたメールでは送信されません。この問題は、添付ファイルのサイズが 220 KB を超える場合にのみ発生します。	180 KB を超える .xlsx 添付ファイルを生成するレポートのスケジュール済みメールを作成します。 2 人の受信者をリストに追加します。 - glide.email.smtp.max_recipients プロパティの値を 1 に設定します。 - オンデマンドでレポートをトリガーします。 添付ファイルが分割されたメールの 1 つにのみ存在します。
メール通知 PRB1763775	サービスオペレーションワークスペース (SOW) でメールを作成し、「Caller (問い合わせユーザー)」の名前をコピーして [宛先 (To)] または [CC] フィールドに貼り付けると、参照フィールドのオートコンプリートが表示されない	たとえば、ユーザーが「Abraham Lincoln」という名前をコピーして貼り付けると、「Local address contains control or whitespace. (ローカルアドレスにコントロールまたは空白が含まれています。) Characters in format [a-z][A-Z][0-9] {-} are accepted. ([a-z][A-Z][0-9] 形式の文字が許容されます。)」というエラーが表示されます。	- サービスオペレーションワークスペースに移動します。 - 任意のインシデントまたは RITM レコードを開きます。 [詳細 (Details)] タブの [問い合わせユーザー (Caller)] フィールドから名前をコピーします。 [作成 (Compose)] セクションで、[メール (Email)] を選択します。 - メールの [宛先 (To)] または [CC] フィールドに名前を貼り付けます。 - 名前の横にある (i) セクションを選択し、エラーを確認します。
埋め込みヘルプ PRB1749112	ヘルプコンテンツテーブルに ai_generated 列がないため、ドキュメント	この問題は、Washington DC へのアップグレード後に発生し、Washington DC へのアップグレード時に ai_generated 列がヘル	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB163881	API が失敗している	プロコンテンツテーブルに追加されない場合にのみ再現可能です。	
イベント管理 PRB1723329	イベント管理影響度でのメモリ使用量が多いとノードに影響して、メモリマネージャがスレッドを強制終了する原因になります	メモリマネージャは、ノードのメモリが不足していることを検出すると、最も長い時間実行されているプロセスを終了します。	
会計カレンダー PRB1636278	会計期間が「1月1日」以外の月に開始されると、「カレンダースパン」外のレコードが正しく返されない	会計カレンダー別の時系列傾向であるレポートを作成する場合、会計期間の範囲外 (生成された会計期間の前または後) のレコード (たとえば、「空の」バー) は、ドリルインしたときに正しく表示されません。	1. 開始月を 4 月 (04) とするインスタンスの会計期間を生成し、数年間の会計期間を生成します。 2. 期間を検証して、カレンダーが有効であることを確認します。 3. [レポート (Reports)] メニューに移動し、レポートを作成します。 a. テーブル = インシデント b. タイプ = 時系列 (縦棒/折れ線) c. レポートを次のように構成します d. カレンダー = 会計カレンダー e. 頻度 = 年 f. グループ = 優先度 g. 傾向の基準 = 作成済み 4. レポートを実行します。レポートチャートが表示されると、生成された会計期間外に作成されたインシデントの「空の」会計期間のバーが表示されます。 5. バーに表示されている数字をメモします。 6. 空の列と任意の優先度をドリルダウンします。 予想される動作：リストビューは、レポート列に表示される数と一致する必要があります。 実際の動作：リストビューにレコードが表示されません。
フローデザイナー (ファミリーチャンネル)	ユーザーが sys_json_chunk データを削除すると、フローデザイナーがコン	ユーザーが sys_json_chunk データを削除することがあります。スナップショットデータを削除すると、	1. サブフローを作成します。 2. サブフローを公開します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1519404	404エラー時に失敗する	テーブルフローが中断し始めます。	3. スクリプトを使用してサブフローを実行します。 4. sys_hub_snapshot のサブフローの最新のスナップショットに関連付けられている sys_json_chunk データを削除します。 5. CacheManager をフラッシュします。 6. スクリプトを使用してサブフローを実行します。 エラーになります。
フローデザイナー (ファミリーチャンネル) PRB1648314	結果が得られない場合に「LookUpRecord」エラーログがある	[ルックアップレコード] が null を返すと、[エラーがあっても続行する] が true の場合でもシステムログにエラーログが記録されます。	
フローデザイナー (ファミリーチャンネル) PRB1658718	要求されたアイテム (RITM) の送信後にカタログアイテムが更新された場合、RITM のためにカタログビルダーで生成されたタスクに空のフィールドがあります		
フローデザイナー (ファミリーチャンネル) PRB1718202	フローコンテキストの詳細を開くときにエラーが発生した	レコードプロデューサーアクションには、フローレポートに従って実行の詳細が表示されます。しかし、ユーザーは画面に「問題が発生しています」というエラーを観測し、ページが応答しなくなります。	
フローデザイナー (ファミリーチャンネル) PRB1721354	要求アイテムのワークフローステージがフランス語設定でも英語で表示される	ワークフローに関連付けられた要求アイテム (RITM) が、フランス語設定でも英語でステージ値を表示します。RITM アイテムがワークフローに関連付けられている場合は、この問題は発生しません。	1. ベースインスタンスにフランス語プラグインをインストールします。 2. ワークフローを使用するカタログアイテムの要求を送信します。 3. 言語設定をフランス語に切り替えます。 4. sc_req_item テーブルに移動します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			5. ステップ 2 で生成された RITM を探します。 6. [ステージ (Stage)] フィールドの下を確認します。 値は引き続き英語で表示されています。
フローデザイナー (ファミリーチャンネル) PRB1732451	[テスト] ボタンを使用すると、「run_as」フローがシステムではなくユーザーとして表示される	フローコンテキストの XML で、「run_as」値が正しく表示されます。ただし、レポートには正しく表示されません。	1. フォアグラウンドでフローを実行する場合は、[実行方法 (Run as)] を [システム (System)] に設定してフローを作成します。 2. フローにログアクションを追加します。 3. フローレポートを「FULL」に設定します。 4. フォアグラウンドの [テスト] ボタンを使用してフローをトリガーします。 5. フローレポートを開きます。フローレポートの [実行方法 (Run as)] セクションには、フローをトリガーしたユーザーのユーザー名が表示されます。 6. フローの トリガー > 詳細オプション > フローを実行する場所 を「フォアグラウンドでフローを実行」に設定します。 7. トリガー条件を満たすようにフローをトリガーします。 8. フローレポートを開きます。 予想される動作：フローレポートの [実行方法 (Run as)] セクションに [システム (System)] が表示されます。 実際の動作：フローレポートの [実行方法 (Run as)] セクションには、フローをトリガーしたユーザーのユーザー名が表示されます。
フローデザイナー (ファミリーチャンネル) PRB1737061	フローズナップショットの合計文字長が逆シリアル化制限を超えた場合、フローズナップショットを逆シリアル化できません	サブフローが [フロー操作] ビューに「ペイロード」として表示され、サブフローコンテキストを開けません。	1. 大きなフローを作成します。 2. フローでサブフローが使用されていることを確認します。 3. インスタンスをアップグレードします。 「最大文字列長 (Max String Length)」エラーが発生することを確認します。
フローデザイナー	FlowGlideCompiler がスレッドセーフではない	複数のフローが同時にコンパイルされる状況では、フローのコンパイ	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
(ファミリーチャンネル) PRB1747868		ルで例外がスローされたり、フローが破損したりすることがあります。	
フローデザイナー (ファミリーチャンネル) PRB1755683 KB1640735	「sys_flow_plan_context_binding」のデータクリーナージョブが原因で、「1 回実行」フローが予期せずトリガーされる	「sys_flow_plan_context_binding」ジョブは、「sys_flow_plan_context_binding」テーブルから 1 年以上前のレコードを削除しています。これにより、「1 回実行」フローが再度トリガーされますが、これは予期しない動作です。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
フローデザイナー (ファミリーチャンネル) PRB1761716	別のドメインのユーザーとしてグローバルドメイン内のフローを更新すると、重複するフローが作成される		1. Domain Support - Domain Extensions Installer プラグインをインストールします。 2. TOP ドメインにユーザーを作成します。 3. アドミンとしてログインして、グローバルドメインでフローを作成します。 4. 手順 2 からユーザーの代理操作を行います。 5. ドメインがまだグローバルに設定されていることを確認し、手順 3 で作成したフローを変更します。 6. ユーザーのドメインを TOP に変更します。 予想される動作：新しいフローはユーザーのドメインに存在しません。 実際の動作：TOP ドメインに同じ名前でフローが作成されます。
フローエンジン PRB1743462 KB1638768	フローデザイナーで大規模なフローが失敗する	大規模なフローがフローデザイナーで次のエラーで失敗する： 「Rejected large REST payload with content-length = 27239395 bytes. Max allowed: 10485760 bytes」	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
フローエンジン PRB1758754	ユーザーがフロー [ID 別のすべての占有率を取得 (Get All Occupancy by IDs)] を実行すると、	「一意のキー違反...」に関するエラーメッセージは、例外スタックトレースから発生します。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	「Unique Key violation detected by database (データベースで一意的なキー違反が検出されました)」エラーが発生する		
フローエンジン PRB1765140	[カタログ変数を取得 (Get Catalog Variables)] アクションが、複数行の変数セットの前の実行行を取得する	GetCatalogVariablesOperation は、変数セットエントリを演算 CoCollection 出力に追加します。出力はデフォルト値として開始され、コンパイルされたフローの後続の実行と共有されます。	
フローエンジン PRB1772034	フローが「進行中」のままで、「中断と推定」のマークが付かず、先に進まない	この欠陥により、フローデザイナーで構築されたフローとプロセスオートメーションデザイナー (PAD) で構築されたプロセスがスタックし、待機しているレコードが更新されて先に進められても処理は先に進まなくなります。	
フォームデザイナー PRB1502906 KB0964319	フォームのデザインは、sys_choice レコードが重複しているために変更が加えられていない場合に、sys_choice レコードを更新できる		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
GRC Platform プラグイン PRB1672671	インポートポリシーテキストのハイパーリンクで作業用リンクが公開されない	ポリシードキュメントが [ポリシーテキストをインポート] ボタンを使用してコンプライアンスワークスペースにインポートされると、URL はコピーされますが、ポリシーが [公開済み] に設定されている場合、ドキュメント内のリンクはクリックできません。	
GRC Platform	ベンダーリスクアセスメントデザイナーが多数の発信コール	1 秒あたり約 60 件程度の発信コールがあります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
プラグイン PRB1728648 KB1646055	を行うと、ブラウザがクラッシュします		
ガイド付きツアー PRB1742187	ブラウザの Microsoft Teams の埋め込みサービスポータル (/sp) にサービスポータルヘッダーメニューがロードされない	コンソールエラーが観測されます。	1. ブラウザーで Microsoft Teams アプリのチャットを開きます。 2. [+] アイコンを選択して、チャットのトップバーに新しいタブを追加します。 3. [すべてのアプリを表示 (See All Apps)] を選択します。 4. [Web サイト (Website)] を選択します。 5. 名前と URL を入力します。 6. [保存] を選択します。 上部のタブには、新しく作成された Web サイトが表示され、ログインするように求められます。 7. テストユーザー認証情報でログインします。 ヘッダーメニュー項目が無期限にロードされ、コンソールエラーメッセージが表示されます。
カスタマーサービス用の水平ポータル機能 PRB1755325	Washington のアップグレード後、アクティビティストリームに改行がない	サービスポータルウィジェットの [標準チケット (Standard Ticket)] タブで発生します。	
HR サービスデリバリ PRB1732823	エージェントの新しいナレッジ作成フォームに [記事本文] フィールドのみが表示される		
HTML エディター PRB1755971	キーストロークごとに HTML 変数カーソルが先頭に戻る	これにより、逆方向の書き込みが発生します。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
インポートセット API PRB1715017 KB1575986	Vancouver で導入されたビジネスルールが原因で問題が発生する	「シート名の変更時にシート番号を更新」というビジネスルールは、すべてのデータソースのシート番号をデフォルト値の 1 に更新します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
インポートセット API PRB1757699	JDBC データソースの場合、MID サーバーが再起動されるまでパスワードの変更が認識されない	これは、別の問題に対応して発生します。Washington にアップグレードし、SQL 接続に MID サーバーを使用してデータソースにデータをロードすると、「"this.flmportSourceFields" が null であるため、"java.util.Map.keySet()" を呼び出すことができません (Cannot invoke "java.util.Map.keySet()" because "this.flmportSourceFields" is null)」というエラーが表示されます。	
インスタンスデータレプリケーション (IDR) PRB1721309 KB1584953	アプリノードが java.io.IOException をスローしています：「IDR/Kafka の問題により、開いているファイルが多すぎます」	ノードが応答しないか、ワイドアに空のページと断続的な xmlstats.do 出力が表示されるなど、奇妙な動作をします。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
大規模な JVM PRB1709224 KB1576486	Vancouver で [パフォーマンス] ダッシュボードのメモリグラフの一部が表示されなくなった	その一例が MemoryMaxMonitor.java です。これは、「Java Memory」の「Max」行を表します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Key Management Framework (KMF) PRB1734388	ユーザーがログ内の保護されたスクリプトエラーを復号化できません	Washington のアップグレード直後、システムログに多数のキー管理フレームワーク (KMF) 復号化エラーが記録されていることがわかります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB1628704 			
Key Management Framework (KMF) PRB1773544 KB1646553 	GlideProperties がロードされる前にシステムユーザーを初期化すると、Glide (Glide.init()) の初期化時に無効なシステムユーザーがキャッシュされる	この問題は、タイムゾーン設定 (glide.sys.default.tz) がアメリカ/ロサンゼルスまたは米国/太平洋以外のリージョンに設定されているインスタンスで発生します。ノードの起動時に、システムユーザーが誤ったタイムゾーンでキャッシュされます。システムプロパティ値 (glide.sys.default.tz) を使用する代わりに、誤った値を使用しています。これは、フロー、通知、ビジネスルール、ジョブのスケジュール、およびシステムユーザーによって実行されるすべてのプロセスに影響します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
ナレッジ管理 PRB1681728 KB1515158 	2 つの日本語の選択肢に同じシーケンス番号がある	インスタンスが Tokyo から Utah にアップグレードされた後、2 つの日本語の選択肢に同じシーケンス番号があります。これにより、kb_knowledge.workflow_state で混乱の問題が発生します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
ナレッジ管理 PRB1733799	KB 記事の公開およびアクセス時に、望ましくないゲストユーザー代理操作システムログが生成される		
ナレッジ管理 PRB1734169	kb_social_qa_and_answers [質問を投稿] を選択して質問を作成した後、一部のユーザーは自分の質問に対する回答またはコメントを投稿できません。確認されたエラーは、「ユーザーが投稿した返信の daily limit に達しました (You have reached the daily limit for replies posted by a user)」と		

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	いうエラーが発生する	for replies posted by a user)」です。	
ナレッジ管理 PRB1740936	カスタマーサービス管理 (CSM) コンシューマーが glide.knowman.ownership_group.override プロパティのナレッジ記事にコメントできない	この問題は、コンシューマーに読み取りアクセス権がある場合でも発生します。	
ナレッジ管理 PRB1783762	glide.knowman.ownership_group.override プロパティが true に設定されている場合でも、所有グループのメンバーではない作成者がナレッジベース記事を編集できなくなる	関連する条件では、ユーザーが KB 記事の作成者であるかどうか、および glide.knowman.ownership_group.override プロパティが true に設定されているかどうかを確認されないため、ACL が失敗します。	1. 「テスト所有グループ」などの所有グループを作成します。 2. マネージャーとしてシステムアドミニストレーターを追加し、メンバーとして Abel Tuter を追加します。 3. itil および [寄稿可能 (Can Contribute)] リストのナレッジロールを使用してナレッジベースを作成します。 4. 公開用ワークフローが [Knowledge – Approval Publish] であることを確認します。 5. 次のプロパティを設定します。 a. glide.knowman.ownership_group.override = true b. glide.knowman.ownership_group.enabled = true 6. 「テスト所有グループ」のメンバーまたはアドミンではなく、ナレッジロールも持たないユーザーで、ただし itil ロールを持っているユーザーの代理操作を行います。 7. 次の設定を使用してナレッジ記事を作成します。 a. ナレッジベース：一般的なナレッジ b. 所有グループ：テスト所有グループ 8. ナレッジ記事を送信します。 予想される動作：ナレッジ記事を編集できます。 実際の動作：作成されたばかりのナレッジ記事がナレッジ記事のリストに見つかりません。したがって、作成者はナレッジ記事を編集できません。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
言語と翻訳 PRB1674206	「true」と「false」の日本語訳が「True」と「False」に変更される	これは、PRB1613806の以前の問題に関連しています。	1. I18N のアクティブ化： Japanese Translations プラグイン 2. 日本語モードに切り替えます。 3. sys_ui_message.list を実行し、[true] と [false] の値の変換を確認します。 予想される動作：[true] および [false] のままである必要があります。 実際の動作：これは [True] と [False] に変換されます。これは、一部の機能に影響を与え、getDisplayValue() のようなメッセージを発生させます。
従来のエージェントワークスペース PRB1713134	アクティビティが、エンドユーザー要求者からワークスペースのライブエージェントに送信された画像のフォアグラウンドに表示される	要求者/エンドユーザーから送信された画像をエージェントがワークスペースで開くと、アクティビティが画像のフォアグラウンドに表示されます。	1. 1 つのタブでエージェントとして Vancouver インスタンスに移動します。 2. サービスオペレーションワークスペースに移動し、利用可能な状態を維持します。 3. エンドユーザーとしてシークレットタブでログインし、ポータル「/sp」から会話を開始して、ライブエージェントに接続します。 4. エンドユーザーとして、画像をエージェントに送信します。 5. エージェントとして、エンドユーザーから送信された画像を開きます。 予想される動作：画像は適切に表示され、アクティビティは画像の上に表示されません。 実際の動作：エージェントが画像を開くと、アクティビティが画像の前景に表示されます。
従来のエージェントワークスペース PRB1722642	HR エージェントワークスペースで 2 人のユーザーが HR ケースを開いた場合、2 人目のユーザーには 1 人目のユーザーが表示されていることがわからない	ユーザー X が HR エージェントワークスペースで HR ケースを開き、次にユーザー Y が HR エージェントワークスペースで同じ HR ケースを開く場合、ユーザー X はユーザー Y が HR ケースを表示していることを確認できますが、ユーザー X はユーザー X が HR ケースを表示	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		していることを確認できません。	
ライセンス使用 PRB1764672 KB1644243	ライセンスのないエンタイルメントのライセンス使用が遅く、進捗状況インジケータウィジェットが遅い	[ライセンス使用状況 (License Usage)] ページには、無視されたインストール、ライセンスのないインストール、公開者の結果、製品の結果、ソフトウェアモデルの結果に対するアクションが必要なインストールの数を表示するウィジェットがあります。これらの集計数は保存されず、代わりにクエリが実行されるため、時間がかかる場合があります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
リスト管理 PRB1709691 KB1641555	「ダッシュボード」の列の各ソート順が、個別のビューのようには機能する	「ダッシュボード」では、列を並べ替えると、各列とリスト内の位置で新しいビューが作成されるように見えます。予想される動作は、並べ替えられた列に関係なく、選択した列とその位置が同じままになることです。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
リスト管理 PRB1713894 KB1642444	リストラベルのスペースの代わりに ASCII 文字「%20」が表示される	ネットワークまたは CPU スロットリングの期間中は、タイトルの対応する記号（「&」など）の代わりに「%26」などの ASCII 文字が表示されるという不一致が観察されます。この問題は、特に ASCII 文字の表示に関連し、ネットワークまたは CPU スロットリングメカニズムがアクティブになっている場合に顕著になります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
リスト管理 PRB1736156 KB1635300	[すべて表示] リンクまたは [リストを新しいタブで開く] を選択すると、ワークスペースにセキュリティ制限メッセージが表示される	「セキュリティ制限によりこのリストから X 行が削除されました(X rows removed from this list by security constraints)」というメッセージがリストの下部に表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
リスト管理 PRB1752336	文字列のインライン編集で、行の作成に Shift + Enter が受け入れられない	リストビューで、ユーザーが Shift + Enter ショートカットを使用して文字列に行を追加しようとしても、何も起こりません。たとえば、インシデントリストビューの [説明] フィールドなどです。これは Vancouver リリースで期待どおりに機能しました。	1. 任意の Washington DC インスタンスにアクセスします。 2. 任意のテーブルリストビュー (incident.list など) に移動します。 3. 長い文字列フィールド ([説明] フィールドなど) がリストに表示されていることを確認します。 4. フィールドの編集を開始し、Shift + Enter キーを押します。 予想される動作：フィールドに改行が作成されます。 実際の動作：何も起こりません。
リスト管理 PRB1758905	レコードが複数のページにわたって選択されている場合、[自分にアサイン] ワークスペースリストアクションによってすべてのレコードが現在のユーザーにアサインされる		1. エージェントワークスペースまたは任意の構成可能なワークスペースで、タスクテーブルにパーソナルリストを作成します。 2. 新しく作成されたリストに移動します。 3. 以下のフィルターを追加します。 a. タスクタイプ = インシデント b. アサイン先 = 空白 c. ステータス = 新規 4. 最初のページから任意のセルを選択します。 5. 6 ページ目に移動し、任意のレコードを選択します。 6. 任意のページに移動し、任意のレコードを選択します。 7. ページ 1 に移動し、何も選択せずに、ページ 3 に移動します。SelectionQuery は空白です。 8. リストアクション [自分にアサイン (Assign to me)] を使用して、選択した 3 つのレコードを自分にアサインします。 予想される動作：選択したレコードのみがアサインされます。 実際の動作：選択した 3 つのレコードとは対照的に、リスト内のすべてのレコードがアサイン/更新されます。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
リストセルメニュー PRB1757572 KB1645358	リスト編集ポップアップがホワイトスペースで開く	Vancouver では、リスト編集を行うと、セル編集ウィンドウが、編集のフィールドの横ではなく下部のホワイトスペースで開きます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
ListService PRB1738548	日本語のリストのフィールドを編集すると、選択肢 [なし] が 2 回表示される	「なし」というテキストの 2 つのオプションが表示されます。	1. I18N のアクティブ化： Japanese Translations プラグイン 2. incident.list を実行し、リストビューに「Resolution code」を追加します。 3. 日本語に切り替えて [解決コード (Resolution code)] をダブルクリックします。 「なし」というテキストの 2 つのオプションが表示されることに注意してください。
Microsoft の調整 PRB1734544	Microsoft の調整がクラスタの StackOverflowError および IllegalStateException エラーで失敗します	調整は複数のエラーで失敗します。	
MID サーバー PRB1666031 KB1435403	場合によっては、AWS クラウドディスカバリーの設定によって StackoverFlow エラーが発生することがある	具体的には、再現手順の構成に従うと、ecc_queue 入力で StackOverflow エラーが報告されます。	1. 親アカウント「P」と「アクセサー」をメンバーアカウント 1 として構成します。 2. インスタンスプロファイルを使用して MID サーバーをメンバーアカウント 2 として構成します。 3. P でディスカバリーを実行します。
MID サーバー PRB1731256 KB1632761	アップグレード中に MID サーバーがスタックする	Windows MID サーバーの検証と Utah から Washington へのアップグレードが、権限がないために「アップグレード中」ステータスでスタックします。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
MID サーバー PRB1734629	wrapper.conf のファイルロックが原因で MID サーバーのアップグ	MID サーバーを Washington パッチ 3 以前へアップグレードすると、アップグレードプロセスログに次の	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB1646639	ロードが失敗し、MID サーバーがダウンしたままになり、手動でファイルを修復しないと起動できないことがある	ように記録されることがあります。SEVERE: com.snc.dist.mid_upgrade.UpgradeException: java.nio.file.FileSystemException: C:\...\agent\conf\wrapper.conf。別のプロセスで使用されているためプロセスはファイルにアクセスできません。MID サーバーは停止したままでファイルが不足しているため、再起動できません。	
MID サーバー PRB1753280	credentials_reload イベントで MID サーバー ConnectionCache が接続をリークする	MID サーバーが credentials_reload イベントを受信すると、MID サーバーで現在キャッシュされているすべての接続は、クリーンにシャットダウンされずに孤立します。これは、次のガベージコレクションイベントまで (場合によっては数時間)、リソースが消費されていることを意味します。データベース接続のリークは他のタイプのリークよりも大きな問題を引き起こす可能性があるため、これは JDBC 接続で報告されていますが、MID によってキャッシュされたすべての接続タイプが影響を受けます。	1. JDBC 接続を使用して MID サーバーで Glide を設定します。 2. データベースクエリを実行します。 3. データベースの診断を使用します。接続がキャッシュされているため、接続がまだ開いていることに注意してください。 4. Glide で認証情報を変更します。 これにより、credentials_reload コマンドがすべての MID サーバーに送信されます。データベース接続がまだ開いていることに注意してください。 5. データベースクエリを再度実行します。 MID サーバーが接続を作成するため、データベースへの開いた接続が 2 つあることに注意してください。
MID サーバー PRB1779555 KB1648957	PRB1530694 が [SSH プライベートキーの暗号化 (Encrypt Ssh private key)] ビジネスルールを一時的に非アクティブ化したために、Washington DC のアップグレードで PRB1665263 がスキップされる	San Diego での PRB1530694 の修正には、スクリプトアクション [SSH プライベートキーの移行 (SSH Private Key Migration)] が含まれていました。これにより、discovery_credentials テーブルのビジネスルール [SSH プライベートキーの暗号化 (Encrypt ssh private key)] が一時的に無効になりました。更新の一環として、security.job.status イベントが発生し、	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		データを移行するためのスクリプトアクションが実行されました。古い ssh_private データを再暗号化する前に、[SSH プライベートキーの暗号化 (Encrypt ssh private key)] ビジネスルールを非アクティブにして、干渉なしで新しいデータを挿入できるようにする必要がありました。その後、スクリプトアクションによって再度アクティブ化されましたが、通常の更新と同様に、「システム」によるカスタマイズのように見えます。このビジネスルールが Washington DC で初期設定として再度変更されたときに、PRB1665263 の更新としてアップグレード時にスキップされ、修正は適用されません。	
MID サーバー PRB178051	mid_server ロールは snc_platform_rest_api_access を継承する必要があります	MID サーバーログインユーザーに snc_platform_rest_api_access ロールがない場合、REST レベルステータス「403 Not Authorised」エラーが原因で、MID サーバーで使用される REST API が機能しない可能性があります。	
Mordor PRB171577	多くの例外をスローするスクリプトがメモリ不足エラーを引き起こす	「次の JavaScriptException の結果、スタックトレースを解読できませんでした。 (Couldn't decipher the stack trace resulting from the following JavaScriptException:...)」というエラーがスローされます。	
ネクストエクスペリエンス UI16 の	ユーザーが Google Chrome を使用してフォーム内のテキストをハ	ユーザーが Google Chrome v121.0.6167.8 を使用してフォーム内のテキスト	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
テーマ作成	イライト表示できない	トをハイライト表示できません。	
PRB1723262			
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	ネクストエクスペリエンスの通知設定が Utah で翻訳されない	通知設定は、初回ロード時には翻訳されません。これらは詳細設定で翻訳されます。	
PRB1669623			
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	[バッジカウントを表示] がインクリメントされない	ベルアイコンの通知バッジカウントは、インシデントがアサインされたときにすぐには増加しません。ユーザーがログアウトしてからブラウザーを閉じ、再度ログインすると、バッジカウントが更新される場合があります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
PRB1697827			
KB1558900			
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	アプリケーションセレクトには、最近選択したアプリケーションのみが表示されます	インスタンス内のすべてのアクティブなアプリケーションが表示されません。	1. 任意の Vancouver インスタンスにアクセスし、システムプロパティ「<code>glide.ui.next_experience.instance_tools_disabled</code>」を <code>false</code> に設定します。 2. 「ユーザーの代理操作」を参照してください。 3. [インスタンスツールの表示 (Show instance tools)] を切り替えます。 4. 従業員センター Core などのアプリケーションを選択します。 5. [アプリケーションスコープ (Application Scope)] アイコンを展開するか、インスタンスで現在アクティブな他のアプリケーションの名前を入力して、別のアプリケーションの選択を試みます。 予想される動作：インスタンス内のすべてのアクティブなアプリケーションが表示されます。 実際の動作：最近選択したアプリケーションスコープのみが表示されます。
PRB1712079			
KB1567085			

問題	簡単な説明	説明	再現手順
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション PRB1714303 KB1641644	システムプロパティ <code>glide.ui.domain_picker.enabled</code> が true に設定されている場合、ドメインピッカーが [最近の選択] ドメインに切り替えられない	<code>reference_</code>	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション PRB1719513	ログイン時に「エラー 500」メッセージを受信し、ユーザーのフィルターナビゲーションが破損する	ユーザーのブックマークに不正な形式の URL が含まれていて、ネクストエクスペリエンスがアクティブな場合、ユーザーとしてログインすると「エラー 500」メッセージが表示され、ナビゲーターメニューが破損します。	1. ネクストエクスペリエンスをアクティブ化します。 2. <code>sys_ui_bookmark.do</code> に移動して、ユーザーの新しいお気に入りを作成します。 3. フォームの [ユーザー] フィールドで、任意のユーザーを選択します。 4. [URL] フィールドに、誤った形式の URL を追加します。 5. レコードを保存します。 6. ブックマークレコードが作成された対象のユーザーとしてログイン/代理操作します。 ユーザーとしてログインすると、すぐに「Error 500 (エラー 500)」メッセージが表示され、メインフィルターナビゲーターとお気に入りナビゲーターが空になります。
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション PRB1733072	ユーザーが Enter キーを使用してレコード番号をクエリするとき、グローバル検索でレコードが自動的に開かない	以前は、ケースまたはタスク番号を貼り付けると、クイック結果でレコードが強調表示され、ユーザーが Enter を押すと直接開いていました。現在は、ユーザーが Enter キーを押すと、コンソールエラーがスローされます。ユーザーは下向き矢印またはマウスを使用してレコードをハイライト表示し、直接開く必要があります。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
ネクスト エクスペ リエンス 統一ナビ ゲーション PRB1763887	Washington DC にアップグレードした後、ユーザーがロゴを選択すると、ワークスペースで [見つかりません] タブが自動的に開く	この問題は、Vancouver と Utah では再現できません。	1. ワークスペースをホームページとしてインスタンスにログインします。 2. ロゴを選択します。 3. ロゴがクリックされるたびに [見つかりません] タブが開くかどうかを確認します。
通知設定 PRB1610033	ネクストエクスペリエンスが有効になっている場合、[通知設定] ポップアップウィンドウを閉じた後にダッシュボードの表示が停止する	[通知設定] からモーダルウィンドウを閉じた後、バックグラウンドのダッシュボードが別のものに変わります。この問題は、ネクストエクスペリエンス UI が有効になっている場合にのみ発生します。	1. Tokyo インスタンスにログインします。 2. glide.ui.polaris.experience が true に設定されていることを確認します。 3. フィルターナビゲーターに「Dashboards (ダッシュボード)」と入力します。 4. 任意のダッシュボード (My Assets (自分の資産) など) を開きます。 5. ダッシュボードのロードが完了した後、フィルターナビゲーターに「My Notification Preferences (自分の通知設定)」と入力します。 6. [自分の通知設定 (My Notification Preferences)] を開きます。 7. 4 秒後、[自分の通知設定 (My Notification Preferences)] ポップアップウィンドウを閉じます。 予想される動作：[自分の資産 (My Assets)] ダッシュボードが表示されます。 実際の動作：[自分の資産 (My Assets)] ダッシュボードが表示されません。代わりに [自分のインスタンスを管理 (Manage your instance)] という他のページが表示されます。
通知設定 PRB1701164	メールの [通知設定] リンクをクリックすると、ブラウザーで 2 つのタブが開く		1. 移動先 システムログ > メール。 2. 既存のメールを開きます。 3. [メールをプレビュー (Preview Email)] 関連リンクを選択します。 4. [通知設定 (Notification Preferences)] を選択します。 予想される動作：新しいタブが開き、通知設定にリンクします。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			実際の動作：2 つの新しいタブが開きます。1 つはホームページで、もう 1 つは通知設定です。
Now コードエディター PRB1426660 KB0856205	ドル - 角かっこ構文を置き換えるために UI スクリプトが予期せずクライアントに提供される	その結果、クライアントに提供される UI スクリプトがレコードと一致しません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Now コードエディター PRB1751768	有効なスクリプトが、最新のバックグラウンドスクリプトで構文/解析エラーをスローする	有効なスクリプトが正常に動作している場合でも、バックグラウンドスクリプトに「解析エラー」という警告が表示されます。バックグラウンドスクリプトエディターがスコープのバージョンを優先していません。	
パフォーマンスアナリティクス API PRB1715114	選択したインジケータブレークダウンフィルター要素が、パフォーマンスアナリティクスインジケータデータのビジュアル化に常に適用されていない		1. ベースインスタンスにログインします。 2. プラットフォームアナリティクス (PA) ワークスペースに移動します。 3. ダッシュボードを開きます。 2 つのデータ可視化 (1 つの PA インジケータレポートと 1 つのシンプルテーブルレポート) と 1 つのインジケータブレークダウンフィルターがあります。 4. 事前に入力されたインジケータブレークダウンフィルターのリストに表示される要素を選択します。 これは、PA インジケータレポートとシンプルテーブルレポートのデータ可視化の両方に適用されます。 5. 事前に入力されたリストにないものを選択します。 PA インジケータレポートには適用されませんが、シンプルテーブルレポートのデータ可視化には適用されます。
パフォーマンスア	「相関」ジョブではブレークダウン制限が考慮されないため、	「PA CalculateCorrelation」ジョブによりメモリの問	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
ナリティクス PRB1739397	メモリ消費量が増加します	題が発生し、ノードが再起動されます。	
プラットフォームライセンス PRB1697425	統合ハブ (IH) プールライセンスのレポート名が切り捨てられる	[タイトル] フィールドには最大 100 文字を入力できるため、一部のレポート名は切り捨てられます。	IH ローリング寄稿ライセンスを使用して [UA ライセンスのダウンロード (UA License Download)] ジョブをトリガーします。
プラットフォームライセンス PRB1746750 KB1639094	Java レイヤーでサブスクリプションエンタイトルメントサービスにアクセスできない	これにより、トランザクション中にエラーがログに記録されます。トランザクションが誤って「ライセンスなし」としてアトリビュートされます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
プラットフォームランタイム PRB1770154	モバイルからの PDF 生成で雑費の [コスト] 列に無効な値が表示される		1. アドミンユーザーとして、フィールド サービス > 管理 > 構成 > アドオン. 2. [署名キャプチャと PDF 注文概要 (Signature Capture And PDF Order Summary)] セクションで、すべてのスイッチをオンに切り替えます。 3. ServiceNow エージェントアプリケーションにエージェントとしてログインします。 4. 移動先 設定 > オフラインモード. 5. キャッシュをダウンロードし、オフラインモードをオンにしないようにします。 6. [自分の作業 (My work)] に移動し、任意のタスクを選択します。 7. 移動先 関連 > 雑費. 8. コストが \$180 でタイプが「Car (車)」のインシデントを作成します。 9. 移動先 設定 > オフラインモード をクリックし、オフラインモードに切り替えます。 10. 同じタスクに移動し、タイプ「Rental (レンタル)」の別のインシデントをオフラインモードで作成します。 11. オンラインモードに戻ります。 12. 同じタスクに戻り、タスクを完了してクローズします。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			13. そのタスクの作業指示に移動し、作業指示書が [完了してクローズ] であることを確認します。 14. [署名 (Sign)] を選択し、署名を確認して追加します。 15. アクティビティストリームに移動します。PDF ファイルが生成されたことを確認します。 16. PDF ファイルを開き、[サービス管理雑費 (Service Management Incidentals)] を確認します。 最初の雑費の [コスト (Cost)] 列に「wo_incidentals80.00」という値が表示されていることを確認します。ただし、これは \$180 になっている必要があります。
プロセスオートメーションデザイナー (ファミリチャネル) PRB1728558	プロセスオートメーションデザイナーは、「pd_admin」ロールを持つユーザーのトリガーを選択できません	pd_admin ロールを持つユーザーは、トリガータイプを選択できません。「結果が見つかりません」と表示されます。アドミンロールがユーザーにアサインされている場合、ユーザーはトリガーオプションを選択できます。	
リリース管理 PRB1745992	リリース管理 V2 ユーザーは特定のテーブルにアクセスできない		
要求管理 PRB1734528 KB164264	システムの日付形式が dd-MM-yyyy に設定されている場合、sc_task で誤ったビジネス時間の計算が行われる	DurationCalculator.calcScheduleDuration の動作が Utah から Vancouver で変更されていません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
リソース交換 PRB1735846	競合状態の generateAutoKeyExchangeRequests と startKeyExchangeClone に問題があります	日次のスケジュール交換 (generateAutoKeyExchangeRequests) は、クローンアップ後のスクリプト (startKeyExchangeClone) の前に実行されます。この問題が発生した場合、generateAutoKeyExchangeRequests は、クローン作成され	1. 2 つのキー管理フレームワーク (KMF) 健全性インスタンスを準備します。 2. いずれかのインスタンスに移動します。 3. 「リソース交換」テーブルに移動します。 4. sn_kmf_resource_exchange_request に移動します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		たテンプレート要求メッセージをすべて消去して置き換えます。その後、これらのメッセージは startKeyExchangeClone によって (誤って) 利用されます。これにより、自動キー交換が失敗します。要求メッセージには「インスタンス上のエラー (Error on Instance)」が表示されます。	5. フィルターを削除します。 6. 一連のテンプレート要求メッセージ (要求保留中) が存在するはずですが、存在しない場合は、バックグラウンドに移動し、generateAutoKeyExchangeRequests を実行してテンプレート要求メッセージを生成します。 7. すべての要求メッセージを XML ファイルにコピーします。 8. 他のインスタンスに移動します。 9. 「リソース交換」テーブルに移動します。 10. sn_kmf_resource_exchange_request に移動します。 11. フィルターを削除します。 12. テーブル内のすべてのレコードを削除します。 13. ソースインスタンスから作成された XML ファイルをインポートします。 この状態は、startKeyExchangeClone の実行時にクローン作成されたターゲットインスタンスの状態をシミュレートします。 14. generateAutoKeyExchangeRequests を実行します。 15. 「リソース交換」テーブルを調べて、ソースからインポートされたテンプレートメッセージがなくなっていることを確認します。 16. startKeyExchangeClone を実行します。 17. 「リソース交換」テーブルを再び調べます。 メッセージは、Status = 'Error on Local Instance' で処理されました。
リソース管理 PRB173805	クライアントスクリプト「ShowInfoMsgIfResPlanWasCleared」の ReferenceError: GlideURL is not defined の実行時にエラーが発生する	クライアントスクリプトがブラウザーコンソールに「ShowInfoMsgIfResPlanWasCleared」をスローする：「クライアントスクリプト「ShowInfoMsgIfResPlanWasCleared」の実行中にエラーが発生しました：ReferenceError: ユー	1. リソース管理とタイムカードポータルがインストールされたインスタンスをプロビジョニングします。 2. タイムシートポータルに移動します。 3. タイムカードを追加します (タスクまたは [その他 (other)] タブから)。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		ザーがタイムカードポータルにアクセスし、タイムカードフォームを開こうとするとときに GlideURL が定義されていません (Error while running Client Script "ShowInfoMsgIf ResPlanWasCleared": ReferenceError: GlideURL is not defined when the user accesses the time card portal and tries opening the time card form)」	4. 3 つの点を選択します。 5. [フォームビューを開く (Open Form View)] を選択します。 フォームの上部に表示される「There is a JavaScript error in your browser console (ブラウザーコンソールに JavaScript エラーがあります)」というエラーメッセージを確認します。
リソース管理 PRB1764189	ユーザーがプロジェクトワークベンチからリソース計画で UI アクションの [拡張 (Extend)] を選択しようとする、[リソース計画を拡張 (Extend resource plan)] ポップアップが空で表示される	テスト	1. プロジェクトモジュールに移動します。 2. プロジェクトを開きます。 3. 関連リンクで、プロジェクトワークベンチを選択します。 4. [リソース (Resource)] タブで、任意のリソース計画を選択します。 5. [拡張 (Extend)] UI アクションを選択します。 空白の画面が表示されます。
制限付き発信者アクセス (RCA) PRB1741012 KB1635189	「RCA の無効なソースおよびターゲットを防止 (Prevent invalid source & target on RCA)」ビジネスルールにより、sys_restricted_caller_access テーブルで重複レコードが発生する	「RCA の無効なソースおよびターゲットを防止 (Prevent invalid source & target on RCA)」ビジネスルールにより、[ターゲット] フィールドが NULL に設定されます。これにより、sys_restricted_caller_access テーブルに挿入できません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
スケジューラ 済みジョブ PRB1754295	スケジューラの V2 から V3 への切り替え中に長時間実行されるジョブが再度キューに入れられ、2 回実行される	インスタンスのアップグレードが完全に完了したとマークされ、完了するまでに 5 分以上かかるとき、実行されていたジョブは、最終的に再度キューに入れられます。	1. 「glide.central_scheduler.enable」を false に更新します。 2. sys_trigger に「testjob」という名前と script - gs.sleep(600000) のジョブを作成します。 3. 「glide.central_scheduler.enable」を true に更新します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			4. 5 分間待ちます。 5. localhost ログに移動します。 予想される動作：testjob が再度キューに入れられたり、2 回実行されたりしないようにする必要があります。 実際の動作：testjob は再度キューに入れられ、2 回実行されます。
スケジュール最適化 PRB1777921	予測インテリジェンスの更新により、エンドツーエンドのスケジュール最適化フローが期待どおりに機能しない		
スクリプトインクルード PRB1761513	EmbeddedSlotManager.hungton 上でハングしたセマフォスレッド	EmbeddedSlotManager.hungton では、ハングしたセマフォスレッドのアラートの数が大幅に増加しています。	
Seismic フレームワーク PRB1736853	ポップオーバーコンポーネントに [閉じる] アイコンがない	サービスワーカーがキャッシュバスター値を上書きするため、library-uxf が 2 回ロードされます。	1. トラックインスタンスを作成します。 2. プロアクティブトリガーを設定します。 3. インスタンスをシークレットモードで開きます。 [閉じる] アイコンが表示されていないことを確認します。
サーバーサイドスクリプト PRB1703346 KB1637446	スクリプトデバッガがモジュールスクリプトで機能しない	デバッガーは、モジュールスクリプトが編集されると正しく中断されますが、スクリプトが再実行 (キャッシュ) されると中断しません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
サーバーサイドスクリプト PRB1769142	インストレーションイグジットのソースハンドラーがないため、「Error accessing descriptor for metaObject: package_private	インストレーションイグジットは、スクリプトインクルードオブジェクトとして扱われます。記述子を取得するときは、sys_installation_exit ではなく sys_script_include を検索します。インスト	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	script include function IE : no thrown error (metaObject の記述子へ のアクセス中 にエラーが発 生しました : package_private スクリプトイン クルード機能 IE : スローされ たエラーはあり ません)」が発 生する	レーションイグジット が見つからないため、エ ラーがスローされます。	
サーバー サイドス クリプト PRB1786423	トランスパイラ がスレッドごと のカスタムメモ リ制限に従わな いため、エラー が発生する	トランスパイラの 一部のスレッドは、 システムプロパティ com.glide.script.swc .memory_threshold_in_kb の値を優先せず、代わり にメモリ使用量がスレッ ドごとのデフォルトの 制限である 16 MB を超 えると例外をスローし ます。エラーは繰り返し ログに記録され、ノード で実行されるサーバー側 スクリプトの一部 (最大 1/4) が失敗するのを防 ぎます。	
サービ スカタ ログポー タルウィ ジェット PRB1763795	ドラフトとし て保存された レコードプロ デューサーを送 信した後に、タ スクレコードに 添付ファイルが ない	この問題 は、Washington DC イ ンスタンスで確認されて います。	1. /sp に移動し、「Create incident (インシデントの作成)」を検索します。 2. 必須フィールドに入力し、ファイルを添付します。 3. [ドラフトとして保存 (Save as draft)] を選択します。 4. [自分の要求 (My Request)] ページに移動し、ドラフトとして保存された要求を選択します。 5. [送信] を選択します。 6. [添付ファイル] タブを選択します。 予想される動作：添付ファイルが表示されます。 実際の動作：添付ファイルがありません。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
サービス カタログ PRB1710169	プロセスオート メーションデザ イナ (PAD) で、UI マクロ 「show_process」 に問題がある	エラーが表示されます。	1. PAD (テーブル 「sc_cat_item_guide」) を活用したカ テゴリアイテムガイドにアクセスしま す。 2. [シーケンスプロセス (Sequencing Process)] フィールドにエントリがある ことを確認します。 3. UI マクロ [シーケンスプロセスを表示 (Show Sequencing Process)] を選択 します。 新しいページが開きます。 PAD でレコードを開く代わりに、404 エ ラーメッセージが表示されます。[シーケ ンスを生成 (Generate sequence)] でも 同じエラーが発生します。
サービス カタログ PRB1732298 KB1641827	注文ガイドの順 序付けで、一部 のノードのアイ テムキャッシュ に順序付け ID が入力されな い。		詳細については、リストの KB 記事を参 照してください。
サービス カタログ PRB1736392	更新セットが 「システム」ご とに追加エント リをキャプチャ する	Vancouver でカタログ クライアントスクリプ トレコードを更新する と、その親レコードであ る「レコードプロデュ ーサー」が、システムユー ザーが作成した [更新者] フィールドとともに更新 セットに追加されます。 この更新内でシステムに よってキャプチャされる 変更はありません。追加 のエントリが作成される だけです。	1. Vancouver インスタンスのプロビジョ ニング 2. 新しい更新セットを作成して、最新の更 新セットにします。 3. catalog_script_client.list に移動し、任 意のベースインスタンスレコードを選択 します。 4. 小さな更新を行います (たとえば、スク リプトに「//test」を追加します)。 5. 新しい更新セットに移動します。 予想される動作：ユーザーが行ったエント リが見られます (予想どおり、キャプチャ されたシステムエントリはありません) 実際の動作：ユーザーが行ったエントリと システムによってキャプチャされたエント リが見られます。
サービス カタログ	エージェントモ バイルアプリ で最新のパッチ リリースにアッ	iOS と Android の両方 で問題が発生します。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1751304	アップグレードした後、変数の詳細が表示されない		
サービス カタログ PRB1763397 KB16449224	[アクセシビリティを有効にする (Accessibility enabled)] が true に設定されているユーザーに対して ESC/SP カート数が機能しない	ユーザーが ESC ポータルプロファイルで [アクセシビリティを有効にする (Accessibility enabled)] オプションを有効にしている場合、カート数 (ESC/SP ヘッダー内) は表示されません。ユーザーが [アクセシビリティを有効にする (Accessibility enabled)] をオフにすると、カウントが戻ります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
サービス カタログ PRB1763535 KB16463164	非グローバルスコープの「レコードプロデューサー」スクリプトから CRUD 操作がトリガーされたときに、「現在の」参照が正しくないため、ビジネスルールが実行されない	「レコードプロデューサー」スクリプトによってトリガーされた CRUD 操作のために実行されるはずのビジネスルールは実行されません。これは、レコードプロデューサーの自然なフローに依存してレコードを作成せず、代わりに [スクリプト] フィールドを使用して複数のテーブルにレコードを作成する複数のユースケースに影響する可能性があります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
ServiceNow セキュリティセン ター (ファミリ リース) PRB1711845	[セキュリティインシデントレスポンスへの API 呼び出しではユーザーロール sn_si のアカウントを使用する必要がある] スコープを [セキュリティセンター] から [グローバル] に変更する必要がある	「セキュリティインシデントレスポンスへの API 呼び出し...」チェックに関連する調査から、チェックの検出結果生成ロジックがソースレコードの設定を誤っていることがわかりました。	
サービス ポータル PRB1282090	プラットフォーム UI に [すべてのテキストを表示] 機能がある場合、[チケット会話]	glide.max_activity_size プロパティのためにアクティビティで非表示になっている [ジャーナル] フィールドのテキストはポータルに表示されず、	1. システムプロパティ glide.max_activity_size を追加します。 2. タイプを「整数」に設定します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB0998082	ウィジェットで [ジャーナル] フィールド (コメントと作業メモ) が切り取られる	通常の UI のように表示する方法はありません。	3. 値を「1024」に設定します。 4. 通常のプラットフォームの任意のレコードに移動します。 5. 大量の長いテキストをコメントとして追加します。 6. フォームを再ロードします。 7. テキストが切り取られ、選択したときにすべてのテキストが表示される [すべてのテキストを表示] への青いリンクがあることを確認します。 8. ポータルの [チケット会話 (Ticket Conversations)] ウィジェットの同じレコードに移動します。 予想される動作：すべてのテキストが表示されるか、さらに表示するオプションが表示されます。 実際の動作：テキストが切り取られ、展開して追加のテキストを表示する方法はありません。
サービスポータル PRB1405409 KB0994576	サービスポータルフォームウィジェットが予想しない UI スクリプトをロードし、アップロードされたフォームデータに含まれる	フォームウィジェットは、ウィジェットの依存関係に追加されていない UI スクリプトをロードします。これにより、ウィジェットのロードにオーバーヘッド時間が追加されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
サービスポータル PRB1588397	「フォーム」ウィジェットで、ユーザーが CTRL + S または [保存] を繰り返しクリックするか、CTRL + S の長押しを実行すると、フォームが複数回送信される	この問題により、ケースフォームが何百回も更新される可能性があり、リアルタイムアプリケーションに影響を及ぼします。	1. インスタンスに移動します。 2. サービスポータルで任意のフォーム (ケース/INT) を開きます。 3. コメントを追加します。 4. CTRL + S または Mac の場合は CMD + S を繰り返しクリックします。 重複するコメントがフォームに追加されます。
サービスポータル PRB1735271 KB1629628	Vancouver にアップグレードした後に、ポータルの検索バーが表示されない	この問題は断続的に発生します。すべてのユーザーまたはすべてのインスタンスに発生するわけではありません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
サービス ポータル PRB1758218	読み取り専用 チェックボック スがクリックさ れると、フィー ルドが非表示に なる	カタログアイテムでは、 デフォルトで読み取り専 用であるチェックボッ クス変数が選択可能で す。読み取り専用チェッ クボックスが「True」 に設定されている場合、 チェックマークが非表示 になっていてもチェック ボックスをクリックする とフィールドが非表示に なる状況が発生する可能 性があります。	
サービス ポータル PRB1758358	ポータルで [表 示 (Show)] URL タイプの フィールド/変 数がデフォルト でロック解除さ れない	[表示 (Show)] URL タ イプのフィールド/変数 は、 <code>glide.ui.unlock_empty_url</code> プロパティの値が <code>true</code> に設定された後でも、 ポータルでデフォルトで ロック解除されません。 ロックされた状態で表示 されます。	
サービ スポート フォリ オ管理 (SPM) PRB1731498 KB1587599	カタログアイテ ムのコールド キャッシュで サービスポータ ルのロードに 時間がかかる	ロード時間を再現する には、サービスカタログ に大量のデータが必要で す。ユーザーが使用でき るカテゴリとカタログア イテムを表示するのに、 初期ロード時間は 40 秒 以上かかります。キャッ シュを使用した後続の読 み込みでは数秒です。	詳細については、リストの KB 記事を参 照してください。
セッシ ョンロ グ PRB1739637	Vancouver ヘ のアップグレー ド後、スクリプ トデバッグが期 待どおりに機能 しない		1. 最新バージョンの Vancouver にログインします。 2. カスタムスクリプトインクルードを作成するか、既存のスクリプトインクルードを開きます。 3. サーバーサイドスクリプトインクルードにブレークポイントを設定します。 4. スクリプトデバッグを開きます。 5. [スクリプト - バックグラウンド (Scripts - Background)] からスクリプトインクルードを呼び出します。 スクリプトランナーは最初のブレークポイントで停止しますが、コードをステップ実行することはできません。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
セッション管理 PRB1730421	org.apache.coyote.http11.upgrade.UpgradeProtocolが大量のメモリを消費し、ノードでメモリ競合が発生する	このモードでは、他のプロセスがメモリ不足またはセマフォの消耗が頻繁に発生します。Heapdumpは、大きなオブジェクト「org.apache.coyote.http11.Http11Nio2Protocol」を表示します。	
Software Asset Management (ソフトウェア資産管理) PRB1455184	調整が失敗して「InternalError: String object would exceed maximum permitted size of 33554432」エラーが出力される	調整の実行時に、文字列オブジェクトのプラットフォームが 32 MB に制限されているために調整ジョブが失敗します。	
Software Asset Management (ソフトウェア資産管理) PRB1665612 KB1641524	alm_license で購入した権限が [整数] フィールドタイプによって制限される	ユーザーは [長整数] フィールドタイプにのみ格納できる値を持つことができ、この制限が原因で問題が発生します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Software Asset Management (ソフトウェア資産管理) PRB1722817	「SAM - Deduplication Worker」に実行時間が長いクエリがある	ログは、クエリが遅いことを示しています。	
ソフトウェア資産管理 PRB1731302 KB1637220	ソフトウェア資産管理 (SAM) ランディングページの [節減見込み] ドリルダウンが想定どおりに機能しない	ユーザーが他のページに移動すると、エラーメッセージが表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Software Asset Management	Washington DC にアップグレードした後、	[調整の実行 (Run Reconciliation)] UI ページの [公開者	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
(ソフトウェア資産管理) PRB1741844 KB1637537	ソフトウェア資産管理の調整が機能しない	(Publisher)] フィールドは値を取得しません。	
ソフトウェア資産調整 PRB1715795 KB1585469	エンタイトルメント上でソフトウェアモデルが license_under_management = false になっている場合、割り当ては処理されません	ライセンスメトリクスの結果 (LMR) は、管理下でない (license_under_management = false) ソフトウェアモデルのエンタイトルメントに対しては作成されません。ただし、コードはこれらのエンタイトルメントに対する割り当てを処理しています。これにより、LMR が存在しない場合に、割り当てられたデバイス/ユーザーに [権限使用者] を作成しようとするダウンストリームの問題が発生します。エラーはダウンストリームの影響として発生します。	1. [デバイスごと] のエンタイトルメントに割り当てを作成します。 2. エンタイトルメントソフトウェアモデルを LUM = false にします。 3. 調整を実行します。 調整ステータスは [一部完了] です。進捗状況のサマリーログに、「TypeError: 未定義からプロパティ null を読み取ることができません (TypeError: Cannot read property null from undefined)」というエラーがあります。「samp_licenses_required_by」に空白の LMR を含み、[割り当て済みおよび未使用] が 0 より大きいレコードが存在する可能性があります。
シンタックスエディター PRB1725418 KB1588249	オートコンプリートのオプションがありません	オートコンプリートでは、g_form およびその他の変数に予期されるすべての完了オプションが表示されません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
システムイベント PRB1738452	Glide.policy.event の問題により、イベントが更新されないため、イベントキューがイベントを処理しない	この問題は、イベントキューが期待どおりにイベントを処理できないことに関連します。子エンティティを削除して親エンティティを再確立するための対策が講じられましたが、イベントキューに観測可能な減少はありません。	
システムアップデートセット	2 つの更新セットごとにエラーメッセージが表示される	2 回の更新セットがコミットされるたびに、UI に次のエラーが表示され、2 番目の更新セットのコミットがほぼ 30 秒間妨げられます (最初	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1737199		の更新セットが既にコミットされている場合でも)。「別の操作が実行されているため、更新セットのプレビューとコミットは利用できません：空の ACL に認証チェックを追加する」	
テーブルアドミニストレーションとデータ管理 PRB1563161	テーブルに古い日時形式の列がある場合、インスタント変更が機能しない	これは、列が古いエンジンバージョンで作成され、DB エンジンの更新後にテーブルが変更されていない場合に発生します。	1. 影響を受けるテーブルに、オンライン変更をトリガーするのに十分なレコード (5000 以上) があることを確認してください。 2. インスタント変更を有効にします。 3. 影響を受けるテーブルで変更操作を実行します (たとえば、新しい列を追加します)。 4. 変更がオンラインであり、インスタントではないことを確認します。 5. テーブルを再度変更します。 2 番目の変更がインスタントであることを確認します。
テーブルアドミニストレーションとデータ管理 PRB1703208	同期されたフィールドと同期されていないフィールドの組み合わせを含むインデックスで構文エラーが発生する		1. CMDB の同期フィールドと非同期フィールドの組み合わせを使用して複合インデックスを作成します (例： name, sys_class_path, managed_by)。 2. CMDB リストでフィルターを実行し、cmdb\$par1 に存在するフィールドの条件を含めます (順序が「name」であることを確認してください)。 「Syntax Error or Access Rule Violation detected by database ((conn=797954) Key 'idx2' doesn't exist in table 'cmdb_par10') (データベースによって構文エラーまたはアクセスルール違反が検出されました ((conn=797954) キー「idx2」がテーブル「cmdb_par10」に存在しません))」というエラーが発生します。
UI ビルダー (ファミリチャネル) PRB1627810	UI ビルダーで、sys_ux_macroponent レコードと新しく作成されたリスト ID が「選択...」として保存されることがある		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB1561055 			
UI フィールド管理 PRB1695552	翻訳されたテキスト参照フィールドで、右から左に記述する (RTL) 言語が使用されている場合、参照ポップアップリストに値が表示されない		1. アラビア語などの RTL 言語のプラグインをインストールします。 2. 少なくとも次のフィールドを含む参照テーブルとして使用するテーブルを作成します。 ○ 名前：表示列、タイプ：翻訳されたテキスト、表示：true ○ 名前：アクティブ、タイプ：true/false ○ 名前：タイプ、タイプ：選択肢、選択肢：Type A、Type B 3. 新しいテーブルに少なくとも次のレコードを作成します。 ○ 表示列：「Ref - Type A - Active 1」、タイプ：Type A、アクティブ：true ○ 表示列：「Ref - Type A - Inactive 1」、タイプ：Type A、アクティブ：false 4. インシデントテーブルに参照タイプのフィールドを作成します。 5. そのフィールドで手順 1 で新しく作成したテーブルを参照します。 6. インシデントテーブルフォームレイアウトを設定してこのフィールドを表示します。 7. セッション言語をアラビア語に変更します。 8. 任意のインシデントを開きます。 予想される動作: [参照 (Reference)] フィールドのタイプ [Ref] で、前に作成したテーブルの 2 つのエントリが表示されます。 実際の動作: [参照 (Reference)] フィールドのタイプ [Ref] で、[参照 (Reference)] リストが表示されますが、リストのエントリは空です。
UI フィールド管理 PRB1702033	[作業時間] フィールドでシステムプロパティ	フィールドタイプ sn-record-time-worked-connected が影響を受けます。	1. インシデントフォームの構成 2. ワークスペースビューに [作業時間 (Time Worked)] を追加します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	glide.ui.timer.started が優先されない		3. sys プロパティ glide.ui.timer.started=false を設定します。 4. カスタマーサービス管理 (CSM) またはサービスオペレーションワークスペースのワークスペースでインシデントレコードを開きます。 5. [作業時間 (time worked)] フィールドに移動します。 予想される動作: [タイマー (timer)] フィールドが一時停止し、[再生 (play)] ボタンが表示されます。 実際の動作: [タイマー (timer)] フィールドが時を刻み、[一時停止 (pause)] ボタンが表示されます。
UI フィールド管理 PRB1706249 KB1550639	ネクストエクスペリエンスがオフになっている場合、参照フィールドの検索結果リストがフィールドをブロックする	この問題は、ネクストエクスペリエンスがオフになっている場合にのみ発生します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
UI フォーム管理 PRB1665993	g_aw.closeRecord(保存して閉じる) UI アクションがワークスペースの新しいレコードに対して機能しない	この問題は、[保存して閉じる] UI アクションを作成した後、新しいレコードの現在のレコードタブを閉じることができません。	
UI フォーム管理 PRB1706564	glide.sys.date_format が dd-MM-yyyy に設定されている場合、[日付/時刻 (Date/time)] フィールド条件を含む UI ポリシーがワークスペースで呼び出されない	glide.sys.date_format が dd-MM-yyyy に設定されている場合、[日付/時刻 (Date/time)] フィールド条件を含む UI ポリシーがワークスペースで期待どおりに機能しません。UI16/ネクストエクスペリエンスで想定どおりに機能します。デフォルトの日付形式 yyyy-MM-dd は、UI16/ネクストエクスペリエンスとワークスペースの両方で機能します。	
UI フォーム管理	生の HTML が [その他のアクティブなタスクを表示 (Show	/problem.do フォームページでは、[サービス] の横に [その他のアクティブなタスクを表	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB171792	Other active tasks]] ポップアップに表示される	示 (Show other active tasks)] というボタンがあります。選択すると、生の HTML を含むポップアップが表示されます。	
UI フォーム管理 PRB173474	UI ビルダーの「now-record-common-attachments-connected」コンポーネントが、アドミン以外のユーザーの新しいレコードで期待どおりに機能せず、[+ ファイルを追加 (+Add File)] オプションが表示されない	UI ビルダーの添付ファイルコンポーネント (now-record-common-attachments-connected) が「Glide フォーム」データリソースと関連付けられている場合、アドミン以外のユーザーに [+ ファイルを追加 (+Add File)] オプションが表示されません。	
UI フォーム管理 PRB1746953	Washington DC で、OnChange クライアントスクリプトを使用して [参照] フィールドの値を空白 (値なし) に変更すると、そのフィールドの値が「未定義」と表示される	[参照] フィールドの値が Vancouver では空白 (値なし) として表示されていても、Washington DC では OnChange クライアントスクリプトを使用して空白 (値なし) に変更されると「未定義」と表示されます。	
UI フォーム管理 PRB1765581	多数の添付ファイルが存在するチェックボックスをオンにしたときに、添付ファイルモダルの動作に問題が発生する	多数の添付ファイルが存在するチェックボックスをオンにしたときに、モーダルが切り取られ、さらに添付ファイルが追加されると上に移動します。この問題は UI16 で再現できます。	1. インスタンスにログインします。 2. ネクストエクスペリエンス UI をオフにします。 3. 任意のインシデントまたは kb_knowledge を開きます。 4. ケースに約 15 個の添付ファイルを追加します。 5. モーダルの最後の添付ファイルのチェックボックスをオンにします。 予想される動作：添付ファイルのチェックボックスをオンにしてもモーダルは移動しません。 実際の動作：大量の添付ファイルが存在する場合、チェックボックスをオンにすると

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			モーダルが上に移動し、上部が切り取られます。これは、スクロールの下部にある添付ファイルに対してのみ生じます。
UI フォーム管理 PRB1784983 KB1649352	まったく同じ名前の重複した UI スクリプトを使用すると、ワークスペース ページをロードできない	sys_ui_script テーブルに同じ API 名を持つ重複する UI スクリプトがある場合、ワークスペースのロードに失敗します。これは、ワークスペース UI スクリプトの呼び出し方法が機能的に変更されたことが原因です。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
アップグレードモニター PRB1717068 KB1585080	アップグレードモニターからのスクリプトの「競合の解決」が正しく機能しません。	未キャッチの TypeError : 「MutationObserver」で 'observe' を実行できませんでした : パラメーター 1 が「Node」タイプではありません ('Failed to execute 'observe' on 'MutationObserver' : parameter 1 is not of type 'Node')」	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
UX フレームワーク PRB1681503 KB1638974	ワークスペースを開くと、/xmlstats.do からのログに BucketStats エラーが表示される		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
UX フレームワーク PRB1724083	ワークスペースでタブを切り替えると、誤ったコンテンツが表示される	ワークスペースでタブを切り替えると、(レコードタブコンポーネント内で) 誤ったコンテンツが表示されます。	1. SOW ワークスペース (または以前のレコードページがある他のワークスペース) 内のインシデントレコードを開きます。 2. ワークスペースのタブを切り替えます。 タブ内に誤ったコンテンツが断続的に表示されることに注意してください。
UX フレームワーク PRB1733058	エクスペリエンスの親アプリが空の場合、macroponent が断続的にロードされない		

問題	簡単な説明	説明	再現手順
UX フレームワーク PRB1737007	複数のタブを閉じると、既存のワークスペースタブが、閉じることができない ゴースト [詳細] タブにすばやく変換される	ユーザーがタブをすばやく閉じると、ランタイムアクションハンドラーはすべての受信イベントを一度に処理しようとし、これにより、プロパティは失敗状態になります。	
UX フレームワーク PRB1758514 KB1641590	Washington にアップグレードした後、glide.ui.polaris.theme.custom が原因でインスタンスが長時間ロードされる	アップグレード後、インスタンスがロードされないかロードに時間がかか rs, the glide.ui.polaris.theme.custom の値が空または無効になります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
仮想エージェント Web クライアント PRB1746294	カルーセルでアイテムを選択すると、画像へのリンクが表示される		
ビジュアルタスクボード PRB1697799	ビジュアルタスクボード (VTB) よりも多くのタスクがリストに表示される	VTB のオーナーはインシデントテーブルのすべてのレコードにアクセスできないため、自分が表示できるカードのみが表示されます。ただし、ボードメンバーのカードの枚数の方が多くなります。	1. Agile Development 2.0 プラグインをインストールします。 2. タイプが「Agile Team」に設定されたグループを sys_user_group.list に作成します。 3. scrum* ロールを持つ 2 人のユーザーをグループに追加します。 4. ユーザー 1 を代理操作します。 5. アジャイルボードを開きます。 6. グループのスプリントを作成し、スプリントを現在に設定します。 7. アジャイルボードのプロパティを確認します。 8. ボードの所有者がユーザー 1 に設定されていることを確認します。 9. 現在のスプリントにストーリーを追加します。 10. アジャイルボードにストーリーが表示されていることを確認します。 11. ユーザー 1 のすべてのロールをオフにして削除します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			12. ユーザー 2 を代理操作します。 13. ストーリーを作成します。 アジャイルボードでは、このストーリーは表示されません。 スプリントフォームの場合、ストーリーは表示されます。
Web UX ランタイム PRB1770269	一部のボタンが翻訳されていない	[タブを閉じる]、[他のタブを閉じる]、[すべてのタブを閉じる] ボタンに、翻訳や MSG プレフィックスは表示されません。	1. 言語プラグイン (com.snc.i18n.french など) がインストールされたテスト環境を設定します。 2. システムアドミニストレーターとしてサインインします。 3. i18n デバッグプリフィックスを有効にします。 4. 移動先 SOW > リスト > 変更 > すべて。 5. レコードを選択します。 6. 言語をフランス語に変更して更新します。 7. 右上隅のグレー表示されたツールバーで 3 つのドットを選択します。 [タブを閉じる]、[他のタブを閉じる]、[すべてのタブを閉じる] の文字列が翻訳されていないことを確認します。

その他のすべての修正

Xanadu で修正された他のすべての PRB のリストを表示するには、「[Xanadu におけるその他のすべての修正](#)」を参照してください。

Xanadu におけるその他のすべての修正

Xanadu リリースには、重要な問題の修正が含まれています。

Xanadu は 2024 年 8 月 1 日にリリースされました。

- ビルド日 : 07-27-2024_1019
- ビルドタグ : glide-xanadu-07-02-2024_patch0-07-16-2024



重要:

インスタンスのアップグレード方法の詳細については、「[ServiceNow のアップグレード](#)」を参照してください。

リリースサイクルの詳細については、「[ServiceNow リリースサイクル](#)」を参照してください。



注:

この Now Platform メジャーファミリーリリースは、ServiceNow の規制された市場環境で使えるようになりました。隔離された環境で利用可能なサービスの詳細については、「[KB0743854](#)」を参照してください。

このリリースで修正された問題のダウンロード可能でソート可能なバージョンについては、[ここ](#)をクリックしてください。

その他のすべての修正

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
アクセス制御	PRB1685081	削除されるべきときに [グループメンバー権限を確認 (Check group member privilege)] ビジネスルールが存在する
アクセス制御	PRB1592670	[セッション無効化 (Session invalidator)] ジョブが実行されて古いセッションが無効になり、インスタンスが使用できなくなる
アクセス制御	PRB1717869	ACL 「asmt_assessable_record」 [読み込み] が、ITSM/CMDB の詳細ロールの代わりに ITIL ロールを使用するか、または組み合わせ条件を使用する
アクセス制御	PRB1718132	読み取り「ui_page」タイプの ACL ルールで条件が機能しない
アクセス制御	PRB1718210	snc_access_control が、sys_trigger テーブルに多数の「Session invalidator -<USER>」 エントリを生成する
アクセス制御	PRB1728431	空の sys_scope と sys_package フィールドを持つ「Explicit roles」プラグインをインストールした後に、sys_security_acl_role レコードが作成される
アクセス制御	PRB1735671	ユーザーがビジネスステークホルダー/ITSM ロールを持つレポートの変数を表示できない
アクセス制御リスト (ACL) ルール	PRB1713026	tableLevelACLAllow がインスタンスのいくつかのテーブルでエラーをスローする
アクセス制御リスト (ACL) ルール	PRB1729095	glide.ui.choices.show_missing が false の場合、ACL フォームのロード時に ACL 名がアスタリスク (*) で上書きされる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
アクティビティストリーム	PRB1755658	エージェントワークスペースのアクティビティペインから添付ファイルをダウンロードすると、Chrome、Firefox、Edge で閲覧タブが強制終了される
アクティビティストリーム	PRB1748492	言語設定が変更された後に、now-activity-stream-connected のジャーナルタイトルで正しい言語が選択されない
アクティビティストリーム	PRB1709271	ユーザーがサービスオペレーションワークスペース (SOW) のアクティビティストリームでメールのハイパーリンクを選択できない
アクティビティストリーム	PRB1743075	Washington DC のアップグレード後、作業メモに余分な改行が表示される
アクティビティストリーム	PRB1736287	複数のテンプレートが適用されている場合、アクティビティストリームコンポーザーとフォームフィールドの同期に失敗する
アクティビティストリーム	PRB1694567	構成可能なワークスペースでタスクが作成されると、ログにエラーメッセージが表示される
アクティビティストリーム	PRB1725845	必須の [作業メモ] セクションにテキストを入力すると、[コメント] セクションのテキストが消去される
アクティビティストリーム	PRB1763824	メールの UI15 のアクティビティストリームでスペース/改行が観測される
アクティビティストリーム	PRB1734763	誰かを @ メンションしているときに最初の単語を削除すると、ワークスペースで 400 エラーが発生する
アクティビティストリーム	PRB1738631	プレーンテキストのコメントや作業メモを投稿しても、ケースやタスクの作成中のテキストが消去されない
アクティビティストリーム	PRB1754987	ネクストエクスペリエンス UI が無効になっている場合、作業メモの背景色が黄色にならない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
アクティビティストリーム	PRB1697171	メールの詳細リンクがスクリーンリーダーで正しく読み上げられない
アクティビティストリーム	PRB1722795	77glide.ui.html.editor. contextmenu=false がアクティビティストリームの HTML フィールドで機能しない
アクティビティストリーム	PRB1726314	スクロールを修正して、すべてのドキュメントオブジェクトモデル (DOM) 要素が表示されないようにする必要がある
アクティビティストリーム	PRB1733485	[全員に返信] と [返信] を使用してアクティビティストリームから作成されたメールが UI16 で想定どおりに機能しない
アクティビティストリーム	PRB1736171	アクティビティストリームの処理中にワークスペースでレコードにアクセスすると、「SEVERE *** ERROR *** Unparseable date: (重大 *** エラー *** 解析不能な日付：)」が表示される
アクティビティストリーム	PRB1739271	Vancouver のテーブル行内で長いテキストを使用すると、メールコンテンツの書式が失われる
アクティビティストリーム	PRB1757111	新しいレコードを作成するときに、並列作成設定のユーザー設定が保存されない
アクティビティストリーム	PRB1760804	ユーザーアバターが、構成可能なワークスペースの添付ファイルアクティビティエントリに表示されない
アクティビティストリーム	PRB1733920	レコードの作成時に [作成 (Compose)] 設定のユーザー設定が保存されない
アクティビティストリーム	PRB1763981	過度の監査関係を持つテーブルから保護するために、アクティビティストリームに最大長が必要です
高度な作業アサイン	PRB1735889	再サブスクライブ時の重複した awa/work_item メッセージの蓄積を回避します
高度な作業アサイン	PRB1735007	AWA が複数のケースをアサインし、エージェントの最大キャパシティを超えている

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
高度な作業アサイン	PRB1745788	isLiveAgentAvailable が、要求者とエージェントが異なるドメインに存在するときにドメインセパレーションインスタンスで機能しない
高度な作業アサイン	PRB1707250	AWA 作業アイテムリポジトリ 「getWorkItemsForAgent」からのクエリが遅くなる
高度な作業アサイン	PRB1702695	使用率条件がキュールーティングの決定を妨げる
高度な作業アサイン	PRB1712555	高度な作業アサイン (AWA) グループキューの優先度テーブルが同期していない
高度な作業アサイン	PRB1720565	転送の失敗によりステータスが「closed abandoned (破棄してクローズ)」としてクローズされたインタラクションの場合、ステータスの理由が入力されない
高度な作業アサイン	PRB1727244	フォームの保存後 で、snFormDataConnected の取得が完了する前に発生するライブ更新が、保存の完了後にフォームに組み込まれない
エージェントアシスト	PRB1726805	カーソルがジャンプする
エージェントアシスト	PRB1734162	エージェントアシストで、サービスオペレーションワークスペースで検索するために「Enter」を複数回試行する必要がある
エージェントアシスト	PRB1745339	サービスオペレーションワークスペースのエージェントアシストで、ナレッジベースの[無効 (disabled)] の提案が「true」である場合でも [フラグ] オプションが表示される
エージェントアシスト	PRB1769967	ユーザーがエージェントアシストに「ナレッジのみ」の記事を追加できない
エージェントカレンダー [従来]	PRB1736903	エージェントが会議を作成できない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
エージェントカレンダー [従来]	PRB1757720	ビジネスルール「Restrict only one Primary Work schedule (1 つの主要作業スケジュールのみを制限する)」により、主要作業スケジュールを持つ 1 人のユーザーに対して [その他 (Other)] タイプのエージェント作業スケジュールを挿入できない
エージェントチャット	PRB1734421	エージェントが最初のチャットウィンドウを閉じた後に、エージェントの 2 番目のチャットウィンドウが空で表示される
エージェントチャット	PRB1753757	チャットボットのカーソルを合わせたテキストの言語が正しくない
エージェントチャット	PRB1762590	Washington DC のアップグレード後に昇格されたトピックのテキストが太字で表示されない
エージェントチャット	PRB1733013	サマリーカードのチャットパネルに ⓘ アイコンがない
エージェントチャット	PRB1736749	ユーザー ID とユーザー名の違いに応じて、アバターのイニシャルとエージェント側チャットウィンドウに一貫性のないイニシャルが表示される
エージェントチャット	PRB1771911	自分を対応可能のままにしているエージェントが [ワークスペース] タブを閉じた後にサインアウトされない
エージェントチャット	PRB1752938	インタラクションを作成するときに、ユーザーが [キャンセル] ボタンを選択しない限り、ブラウザーの更新ポップアップウィンドウが開く
アジャイル開発	PRB1742974	35~42 文字の [簡単な説明 (Short description)] を含むストーリーで、アジャイルボードモダルの UI アクションと [フォームを閉じる] (X/クロス) ボタンが重複する
AI 検索	PRB1743942	検索プロファイルが非 ais_admin によって更新される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
AI 検索	PRB1732660	AI 検索の [すべて] タブの数が返された結果の数と一致しない
AI 検索	PRB1734185	ユーザーが非常に速く Enter を押すと完全一致がスキップされる
AI 検索	PRB1772860	メッセージは Asynchronous Message Bus (AMB) 経由で送信されますが、Entity View Action Mapper (EVAM) を介して Genius 結果を実行すると、geniusResultsTemplates が null になり、エラーが発生する
AI 検索	PRB1687420	AI 検索で遅延バインディングセキュリティが適用されている場合、不正確なクリックランクが記録される
AI 検索	PRB1724666	AI 検索対応ポータルが、提案された結果に対して非アクティブなカタログアイテムを返す
AI 検索	PRB1745648	サービスポータルでテーマ AI 検索の CSS 変数の一部が機能しなくなった
AI 検索	PRB1622116	ユーザーが登録者プラグインをインストールしたアクセス権を持っていない場合に、AI 検索にカタログが表示される
AI 検索	PRB1716502	AI 検索 (AIS) フェイルオーバーレプリケーション復旧では、同じデータソース統計に対して複数の「ブロックなし」AIS イベントを再処理すべきではありません
AI 検索	PRB1746727	非検索ベースの提案からの外部コンテンツ提案で URL が開かない
AI 検索	PRB1726781	新しい翻訳がインデックス化されない
AI 検索	PRB1730043	トリガーされた Genius 結果 (GR) とクリックされた Genius 結果 (GR) の間にカードタイプの不一致がある
AI 検索	PRB1730209	従業員センターの検索結果で記事にカーソルを合わせると、記事の本文全体が表示される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
AI 検索	PRB1734894	「sys_class_name」列がないテーブルの AI 検索の [ソースプレビュー (Source Preview)] リンクが正しくない
AI 検索	PRB1686165	グローバル検索グループの結果が断続的に異なる順序で表示される
AI 検索	PRB1699235	AI 検索ウィジェットをポータルで使用する場合に、Windows ハイコントラストモードのフォーカス表示が提供されない
AI 検索	PRB1699352	サービスポータル AI 検索リストに複数のカテゴリがある場合、ユーザーがカテゴリの下の結果に移動しても、スクリーンリーダーがカテゴリの名前を読み上げない
AI 検索	PRB1712183	グローバル検索結果のページを更新すると、2 つの検索要求が送信される
AI 検索	PRB1713687	サービスポータル の AI 検索が、ユーザー基準のためにユーザーが利用できないアイテムを提案する
AI 検索	PRB1714472	ユーザーが、名前が 40 文字を超えるフィールドに対して AI 検索フィールド設定を作成できない
AI 検索	PRB1722030	複数のソースがある場合、ファセットが正しくエンコードされない
AI 検索	PRB1724955	更新セットがコミットされたときに、ais_genius_result_configuration.request_processor_script への更新が適用されません
AI 検索	PRB1726532	部門の親列が同じ部門以外の場合、検索に失敗する
AI 検索	PRB1726710	インデックス付きソースが false に設定されている場合でもカスケード更新イベントが作成される
AI 検索	PRB1726721	モデルが aisearch_teaser_title を返しても、[最近表示した提案 (Recently viewed

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		suggestions)) に [説明] フィールドが表示される
AI 検索	PRB1727056	ドメイン分離されたユーザー基準が AisCatalogItemQuery で優先されない
AI 検索	PRB1727142	遅延バインディングのインデックス付きソースの範囲ファセットが表示されない
AI 検索	PRB1728608	clear{} ボタンの aria ラベルが翻訳されない
AI 検索	PRB1729952	インデックス付きソースのフィルターチェックで大文字と小文字が区別されるため、ingestSingleRecord を使用すると、レコードが削除される
AI 検索	PRB1737451	アップグレード時に、ハッシュマップベースのアップグレードオブティマイザーを使用するとグローバル検索が欠落する
AI 検索	PRB1737517	AIS が既に初期化されている場合、AIS Init は、データソースのインデックスを非同期的に再作成する必要がある
AI 検索	PRB1747038	UI のアクションペイロードマッピングデータが XML のものと異なる
AI 検索	PRB1748854	グローバル、検索ポータル、および ESC で、どの検索用語の結果も返されない
AI 検索	PRB1748983	サービスポータルでリストのソートが機能しない
AI 検索	PRB1758639	スクリーンリーダーを使用しているときに、最近の検索のリストをスクロールしようとする、フォーカスインジケターが最初のエントリを超えて進まない
AI 検索アシスト	PRB1732784	検索結果の添付ファイルにより、AI 検索アシストウィジェットのページネーション (上/下矢印) が壊れる
AI 検索アシスト	PRB1734491	AI 検索アシストを使用したときにコンテンツアイテムの外部 URL が表示されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
AI 検索アシスト	PRB1765456	ハウツーテンプレート記事で、従業員センターの [インシデントの作成 (Create incident)] コンテキスト検索で本文コンテンツが表示されない
AI 検索 Glide	PRB1578586	カテゴリレベルが利用できない場合、ユーザー基準の遅延バインディングと早期バインディングでアクセスが矛盾する
AI 検索 Glide	PRB1594303	ドット連結参照フィールドで増分更新が機能しない
アナリティクスハブ	PRB1718540	アナリティクスハブで、週の数フランス語で表示されるという問題が発生する
アナリティクスハブ	PRB1739877	pa_admin ロールが、アナリティクスハブにコメントを追加できない
アナリティクスハブ	PRB1763326	パフォーマンスアナリティクスで、検索のキャンセル (x) アイコンが正しく配置されない
Application Install Engine	PRB1768085	glide.cache.hard_references をオーバーライドすると、Washington DC へのアップグレード時に依存関係キャッシュがガベージコレクションされる可能性がある
Application Install Engine	PRB1695862	ソースから AppRepo に公開され、アプリがターゲットにインストールされている場合、sys_ui_view と sys_ui_form レコードが削除されない
Application Install Engine	PRB1716980	アプリパッケージの UI フォームセクションが、ターゲットビューを削除する代わりにデフォルトのビューを削除します
Application Install Engine	PRB1723518	ユーザーが EC Pro をインストールすると、ポータル分類レコードの [アクティブ] フィールドが false に設定される
Application Install Engine	PRB1735394	アプリ操作キュー健全性モニター (スケジュール済みジョブ) が見つからないか非アクティブの場合、アプリケーション操作キューは実行されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
Application Install Engine	PRB1740567	グローバルアプリケーションをインストールすると、パッケージに要求がなくても、インスタンスに基本要件が存在するレコードのレビューがスキップされる
Application Install Engine	PRB1743934	新しいアプリケーションマネージャーを使用してプラグインをアクティブ化すると、「システム」としてログに記録されますが、古いマネージャーにはプラグインをアクティブ化したユーザーとして記録される
アプリケーションマネージャー	PRB1719552	アプリケーションが正常にインストールされた場合でも、AppClient に [保留中 (pending)] ステータスが表示される
アプリケーションマネージャー	PRB1681825	修復モダルからポップアップを閉じた後、ユーザーに「404 page not found (404 ページが見つかりません)」というエラーが表示される
アプリケーションマネージャー	PRB1723206	sn_appclient.apps_last_sync_time プロパティの変更が更新セットで追跡される
アプリケーションマネージャー	PRB1728977	ネクストエクスペリエンスのテーマビルダーでアプリケーションマネージャーページのボタンにテキストが表示されない
アプリケーションマネージャー	PRB1737218	アプリケーションマネージャーを使用してアプリケーションの更新を確認しているときに、カスタマイズされたアプリケーションのカスタマイズされたファイルのリストを確認しようとすると、エラーが発生する
アプリケーションマネージャー	PRB1736510	フレームワークアプリのみのアプリ更新がストアから出荷される場合、アドミンユーザーはフレームワークアプリをインストールできない
アプリケーションマネージャー	PRB1719299	多数の依存関係を持つアプリケーションをインストールしたときに、バッチインストーラーが「414 URI too long (414 URI が長すぎます)」を返す

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
アプリケーションマネージャー	PRB1722187	Studio Git でブランチが切り替わり、開発者の権限に基づいて想定どおりに ACL の変更が自動的に破棄されない
アプリケーションマネージャー	PRB1734718	既にインストールされているアプリケーションの検索結果が正しくない
アプリケーションマネージャー	PRB1754629	一部の製品でアプリの更新があるにもかかわらず、[更新に進む (Proceed to Update)] オプションが表示されない
アプリケーションマネージャー	PRB1756440	[添付ファイル (Attachment)] スクリプトインクルードのアクセシビリティが [すべてのアプリケーションスコープ (All Application Scopes)] から [このアプリケーションスコープのみ (This Application Scope Only)] に変更された
アプリケーションナビゲーター	PRB1716876	sys_ui_navigator_history テーブルに「ui_type」列がない場合、「*** ERROR *** NavigatorHistory No such column: ui_type」が表示される
アプリケーションナビゲーター	PRB1750960	[すべて] メニューが固定されている場合、スクリーンリーダーとキーボードのみのユーザーがページ内を移動するのが難しい
アプリケーションポートフォリオ管理	PRB1729500	新しいアプリケーションマネージャーでは、[インストールの詳細 (Install Details)] ポップアップの [デモデータ (Demo Data)] チェックボックスがデフォルトでオンになっている
アプリケーションポートフォリオ管理	PRB1715173	アプリケーションポートフォリオ管理 (APA) パフォーマンスアナリティクスの問題
アプリケーションポートフォリオ管理	PRB1715689	SDLC コンポーネントに関連付けられたアプリケーションサービスが TPM ライフサイクルビューに表示されない
アプリケーションポートフォリオ管理	PRB1720559	sn_apm_generate_assessments ページが「ダーク」モードを適切にサポートするように調整されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
アプリケーションスコーピング	PRB1667466	アプリケーションスコーピングにおけるビジネスロジックの欠陥
アプリケーションスコーピング	PRB1687716	sys_store_app ライセンスの変更以降、ユーザーがプライベートスコープのメタデータを編集できる
予約	PRB1740485	ウォークアップレコードプロデューサーからカレンダーアイコンを選択すると、可用性 API がエラーをスローする
予約	PRB1756203	予約モダルの月と日が翻訳されない
予約	PRB1758818	予約タスクが予約後すぐにアサインされない
予約	PRB1773412	予約構成でレコードプロデューサーを送信すると、「Appointment window is no longer available. Please select another appointment' displays (予約期間は利用できません。別の予約を選択してください)」が表示される
承認	PRB1729612	[ステージ] フィールドの要求が削除されたときに sc_req_item をクエリするとパフォーマンスの問題が発生する
アーカイブルール	PRB1762255	ACL が壊れているため、アーカイブされた承認が表示されない
アーカイブルール	PRB1732196	テーブルにレコードがない場合、RefCopyJob が完了しない
アーカイブルール	PRB1693969	Glide.db.archiving .max_consumer_workers が、減少するときに直ちに優先されない
アセスメント	PRB1770524	構文の問題により、ACL が正しく機能しない
アセスメント	PRB1733138	グループ化された証明書のアセスメント応答が最小化されている場合、依存フィールドが再び展開されたときに表示されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
アセスメント	PRB1748845	プリンター対応版から送信したときに、アセスメントが必須フィールドとともに送信される
資産管理	PRB1723307	SAM 基盤コードが「ベース資産管理」ビジネスルールに存在する
資産管理	PRB1757504	pc_hardware_cat_item の一部のサムネイル添付ファイルで、添付ファイルテーブルで ZZ_YYZZ_YY プリフィックスを取得する
資産管理	PRB1701884	[返品された転送注文 (Transfer Order Return)] が開始および完了しても、元の転送注文が [対応中 (Work In Progress)] のままになる
資産管理	PRB1714849	資産ワークスペースで、ドメインの可視性があるドメイン分離インスタンスの重要なアクション数が正しくない
資産管理	PRB1717913	資産管理アプリケーションの UI アクションが、ITSM の詳細なロールの代わりに ITIL ロールを使用する
資産管理	PRB1738355	ベンダー管理ワークスペースの [更新 (Renew)] ボタンが機能しない
資産管理	PRB1742587	メーカーとモデルなしで作成された CI は「不明な」モデルにリンクされるが、メーカーが入力されているモデルは使用される可能性があり、それがモデル名に追加される
資産管理	PRB1757082	[資産の再利用 (Reclaim Asset)] カタログアイテムの [要求元 (Requested For)] フィールドが必須に設定されない
Asynchronous Message Bus (AMB)	PRB1738465	AMB クラスターシンクロナイザーが無効なチャンネル名を検出したときに起動に失敗することがある
ATG - Glide インターフェイス	PRB1762735	ワークフロークラスター定義をトレーニングするときに、イタリア語のストップワードが [可視化 (Visualization)] タブから削除されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ATG - Glide インターフェイス	PRB1735703	[ITSM 予測結果の修正 (Fix ITSM Predictor Results)] 修正スクリプトを更新して、predictedOutput 値タイプに従って finalOutputValue を設定するために汎用性を高める
レコードの添付ファイル	PRB1733053	従業員ドキュメント管理 (EDM) 添付ファイルで [削除] および [名前の変更] オプションを使用できない
レコードの添付ファイル	PRB1737426	レコードに .ics ファイル拡張子を添付できない
レコードの添付ファイル	PRB1739760	GlideScriptableInputStream を介して XMLDocument2 オブジェクトに XML 添付ファイルをロードしたときに、想定どおりに機能しない
レコードの添付ファイル	PRB1761911	添付ファイルがタスクから要求アイテムにコピーされるときに暗号化に問題がある
監査履歴	PRB1740373	古い sys_audit シャードのレコードを削除すると、現在の sys_audit テーブルに挿入され、ディスクが増大する
認証	PRB1718457	UI ビルダーのログインコンポーネントがユーザーをシングルサインオンにリダイレクトしない
認証	PRB1742755	Washington DC へのアップグレード中に MultiSSOV1 に対するセキュリティアサーションマークアップ言語 (SAML) シングルサインオン (SSO) ログインが失敗する
認証	PRB1713173	sys_user の user_name と OpenID Connect (OIDC) 応答要求で受信した user_name のキャメルケースの違いが原因で発生するユーザー不一致エラーがある
認証	PRB1726569	glide.basicauth.update_last_login_time は、ユーザーの最終ログイン時間を設定し、sys_updated_on、sys_updated_by、sys_mod_count も更新する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
認証	PRB1732623	アップグレード中に IMAP アクセストークンが期限切れになる
認証	PRB1751459	パスワード変更画面に表示される一部のメッセージが日本語に翻訳されない
認証	PRB1756765	Now Login ウィジェットに言語ピッカーが表示されない
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1717536	サービスポータル ページで select2 要素の値の設定に失敗する
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1760564	パラメーター化されたテストでテストデータが不足していると、スイートが失敗し、[実行中 (Running)] ステータスのままになる
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1761012	子トランザクションがメモリウォッチャーによって終了されても、ルートトラッカーは実行されたままになる
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1729292	フォームに埋め込みリストが存在すると、[関連リストのヴィジビリティを検証 (Validate Related List Visibility)] を使用したテストが失敗する
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1710308	スナップショットが大きいとテストが成功する
キャッシュ	PRB1709933	ノードの再起動タイムスタンプ後に更新されるカタログの再起動済みノードでキャッシュ同期が機能しない
キャッシュ	PRB1709834	キャッシュされたスクリプト API は、ディシジョンテーブルの評価中にも入力のカエリを実行する
キャッシュ	PRB1724751	数値要素の値が大きい場合、sys_choice が原因でキャッシュの問題が発生する
キャッシュ	PRB1741630	あるノードが存在しないロールをキャッシュし、別のノードが XML を介してそのロールをインポートするシナリオで、ロールキャッシュに古いエントリがある

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
キャッシュ	PRB1744271	データベースから大きなマップを取り込もうとして 5 秒以上かかっている場合、別のスレッドが入ってきて同じ処理を実行しようすると、複数のスレッドが個別の大きなハッシュマップを作成し、メモリ不足になる可能性がある
HR サービスデリバリー用のケースとナレッジ管理	PRB1735647	カタログアイテムのタイトルが長い場合、[編集] アイコンは表示されず、表示するにはズームアウトする必要がある
HR サービスデリバリー用のケースとナレッジ管理	PRB1756562	non-sys_metadata テーブル 「sys_attachment」に不要な 「sys_scoped_admin_acl_inheritance」レコードがある
HR サービスデリバリー用のケースとナレッジ管理	PRB1760617	「クエリ」ビジネスルールは、システムユーザーに対するバイパスを追加する必要がある
ケース管理	PRB1725822	[エージェントを検索 (Find Agents)] に ITIL 以外のアサイン先グループを含めないようにする必要がある
ケース管理	PRB1746238	[公開 (Publication)] 関連リストの [新規] ボタンを削除する必要がある
ケース管理	PRB1750553	ケースを更新したときに、[アカウント] および [連絡先] フィールドのデータが消えることがある
カタログクライアントスクリプト	PRB1734165	カタログアイテムポップアップで g_user メソッドが機能しない
変更管理	PRB1702068	タスクの「影響を受ける CI」に追加された共通 CI から動的 CI グループを特定する
変更管理	PRB1727062	スケジュールアシスタントの [競合 (Conflict)] カレンダーにエラーが表示される
変更管理	PRB1742266	[変更 - 権限なし - レビュー (Change - Unauthorized - Review)] フローがない
変更管理	PRB1746451	glide.approval_engine.change_task のデフォルト値は [プロセスガイド (Process

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		Guides]] のままになっていますが、これは非推奨であり、使用しないでください
変更管理	PRB1747938	変更諮問委員会 (CAB) ワークベンチは、1 時間未満にスケジュールされている CAB 会議を 1 時間ブロックする
変更管理	PRB1754593	com.snc.change_management.change_model.hide、および com.snc.change_management.change_model.type_compatibility が true の場合、変更要求が作成されると、変更要求は 2 レベルリダイレクトされる
変更管理	PRB1756173	ポップアップモーダルにコメントを入力せずに CAB ワークベンチを介して変更レコードを承認しても、sysapproval_approver レコードにコメントのアクティビティが作成される
変更管理	PRB1759338	計算されたリスクスコアが、リスク/影響度の評価中にデータベース内の影響度を更新し、新しいトランザクションを開始し、結果として誤ったメッセージが表示される
変更管理	PRB1768653	変更要求を作成するときに、視覚障害のあるユーザーに対してタブの [ステータス] がわかりにくくなる
変更管理	PRB1768655	JAWS を使用するとき、変更モデルのボタンが正しく読み上げられない
変更管理	PRB1772868	ユーザーが「変更モデル」テンプレートで HTML 構文を使用している場合、ユーザーは変更モデルを使用して変更要求を作成できない
変更管理衝突判定	PRB1718631	アセスメント状況がスキップされると、競合ステータスが [未実行 (Not Run)] に戻る
クライアントスクリプト	PRB1745770	ワークスペースで「On change client script (変更時クライアントスクリプト)」の「showFieldMsg」がすぐに消える

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
クライアントスクリプト	PRB1724306	ブラウザの [戻る] ボタンと [進む] ボタンを使用した後、UI とレコードでチェックボックス変数の setValue が異なる
クライアントスクリプト	PRB1759330	クライアントスクリプト [WS1 UEM で支援用に新しいタブを開く (WS1 UEM Open new tab for assis)] がトリガーされない
クライアントスクリプト	PRB1714508	ワークスペースの g_form.submit() クライアント側コードで、コード内で .then() を使用した「promise」機能が許可されない
クライアントスクリプト	PRB1759667	ヘッダーとフッター (sp_header_footer) の「link」、「script」、および「client_script」の g_form.setReadOnly が機能しない
クライアントソフトウェアディストリビューション	PRB1762221	クライアントソフトウェアディストリビューション (CSD) 1.0 ソフトウェアの取り消しの問題
クラウド暗号化	PRB1740559	フォーラムコントロールがオンのときに、フォーラムコントロール要求レコードの作成中にエラーが発生した場合は、例外をスローし、dare_key_request が処理ステータスのままにならないようにする
Cloud Provisioning and Governance	PRB1633842	Cloud Provisioning and Governance (CPG) から「Patterns Migration Cloud Discovery」への移行後もクラウド API (CAPI) 注文が開始されるため、パフォーマンスに影響が生じる
Cloud Provisioning and Governance	PRB1729820	AWS クラウドイベントの処理には複数のパフォーマンス上の問題がある
Cloud Provisioning and Governance	PRB1716781	プロビジョニングに時間がかかる場合、例外処理が不正となる
Cloud Provisioning and Governance	PRB1540112	ユーザー名に日本語の文字列が含まれている場合、タグ値が文字化けする
Cloud Provisioning and Governance	PRB1707089	[ストレージボリューム (Storage Volume)] 関連リスト内の多数のレコードがデータセン

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		ターに関連付けられているため、データセンサーがロードされず、実行時間が最大になる
Cloud Provisioning and Governance	PRB1770243	DiscoverNow を介して Cloud.account からトリガーされたディスカバリーでインフラパターンがトリガーされない
CMDB CI クラスマネージャー	PRB1730839	グローバル ACL レコードのスコープが [グローバルカスタマイズ - アップグレードプラン (Global Customization - Upgrade Plan)] に変更されると、REST API が「403 Forbidden」エラーをスローする
CMDB CI クラスマネージャー	PRB1669983	[基本情報 (Basic Info)] ページは最初の試行で表示に最大 5 分かかり、再実行には最大 35 秒かかる
CMDB データマネージャー	PRB1717464	CMDB データマネージャーの条件フィルター数、[レコード一致条件 (records match condition)] リンク、および [プレビュー] リストで誤った廃止定義が使用されることがある
CMDB データマネージャー	PRB1758088	CI 数が 1,000 を超えるタスクをアーカイブするとエラーが発生し、完全なリストがアーカイブされないことがある
CMDB データマネージャー	PRB1709874	CMDBRetirementScriptableApi .getFullEncodedQuery API が ArrayIndexOutOfBoundsException をスローする
CMDB データマネージャー	PRB1729974	依存 CI 削除タスクに削除された CI の添付ファイルがない
CMDB データマネージャー	PRB1668702	言語が日本語の場合、cmdb_rel_type テーブルの表示名が親の記述子と子の記述子の組み合わせではない
CMDB データマネージャー	PRB1693656	ライフサイクルフィールドと値計算列が CMDB 階層の子の値を考慮しない
CMDB データマネージャー	PRB1727234	[依存 CI の削除 (Dependent CI Deletion)] ポリシーでサブフローのカスタマイズが許可されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
CMDB データマネージャー	PRB1729909	CMDB データマネージャーを使用してポリシーを編集するときに、ユーザーがポリシーの説明を削除できない
CMDB 識別および調整	PRB1732983	挿入中に「no-change (変更なし)」と比較されるフィールドにより、それらのフィールドにペイロード値が設定されないことがある
CMDB 識別および調整	PRB1733575	スクリプトフィールドの cert_audit テーブルの default_value から提供される壊れたデフォルトスクリプトがあり、そのために cert_audits を実行できない
コード署名	PRB1722766	安全な値のないデータベースセーフの上書きプロパティは、アップグレード中にスキップされる
COE 従来のファミリコンポーネント	PRB1753063	アジア/アルマトゥイのタイムゾーンは、カレンダー UX コンポーネントで 2024 年 3 月 1 日から引き続き UTC+6 として表示される
Communities	PRB1727794	コミュニティ内の多数のフォーラム (約 2400) で構成されるトピックを開くのに時間がかかる
Communities	PRB1754041	ユーザーコミュニティプロフィールは、ユーザーが非アクティブ化されても削除されない
Communities	PRB1761664	community_create_event ページのクローンを作成した後に、DIV「create-event-container」がデフォルトで非表示になり、表示されない
Communities	PRB1774977	コミュニティユーザープロフィールの [注目 (Featured)] タブに他のタブのテキストが表示される
コミュニティサービスポータル	PRB1744322	ナレッジタイトルの簡単な説明がコミュニティの検索結果に表示されない
条件ビルダー	PRB1777164	変更諮問委員会 (CAB) ワークベンチの [開始予定日 (Planned start date)] フィールドに余分なバックスラッシュが表示される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
条件ビルダー	PRB1750793	「is one of」 比較タイプに誤ったラベルがある
条件ビルダー	PRB1722622	ワークスペースのフィルターで変数名の代わりに sys_id が表示される
条件ビルダー	PRB1593149	変数の選択時にドット連結コンポーネントがロード状態のままになる
条件ビルダー	PRB1611325	新しい条件ビルダーが [その他] の日付フィールドタイプで正しく機能しない
条件ビルダー	PRB1716021	addEncodedQuery が URL クエリを [好きではありません] から [次の値を含まない] に変更する
条件ビルダー	PRB1689206	ドット連結展開リストを開くには、右矢印を押すようにユーザーに通知する必要がある
条件ビルダー	PRB1690879	ワークスペースビューの条件ビルダーで [総計 (Amount)] フィールドがワイプされる
条件ビルダー	PRB1718166	構成アイテムポップアップ検索のフィルターがサービスオペレーションワークスペース で機能しない
条件ビルダー	PRB1718773	ラジオボタンに関連付けられているアクセス許可ラベルがスクリーンリーダーによって読み上げられない
条件ビルダー	PRB1738408	プラットフォームアナリティクスワークスペースでフィルター条件 [次の値より大きい] および [次の値より小さい] が想定どおりに機能しない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1538972	CMDB クエリビルダーの演算子ノードを含むクエリでメモリ使用率が高くなっている
構成管理データベース (CMDB)	PRB1751775	cmdb_datasource_last_update テーブルへの書き込みを減らす
構成管理データベース (CMDB)	PRB1748280	処理する部分的ペイロードがない場合でも、「Stopped processing partial payloads

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		(部分的ペイロードの処理を停止しました)」という誤ったログメッセージが表示される
構成管理データベース (CMDB)	PRB1666448	ライフサイクル API で重複ステージ/ステータスの作成が許可される
構成管理データベース (CMDB)	PRB1687147	カスタムライフサイクルマッピングが想定通りに機能しない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1701048	CMDBTASK の作成により重複した通知が送信される
構成管理データベース (CMDB)	PRB1565197	ビジネスルール [CMDB CI の運用ステータスの同期 (Sync Ops Status for CMDB CI)] をカスタマイズすると、それを作成した従来の修正スクリプトはすべての更新を完全に無視する
構成管理データベース (CMDB)	PRB1673894	CertificationProcessing がメモリを大量に消費し、実行速度が非常に遅くなる
構成管理データベース (CMDB)	PRB1689097	「ciModel.do」ページで選択したアイテムの色のコントラストエラーが発生する
構成管理データベース (CMDB)	PRB1708243	ジョブ [アプリサービスの欠損データを計算 (Calculate App Services Missing Data)] の実行中に、cmdb_ci_service_auto に多数のアプリケーションサービスレコードがあるために、デフォルトのセマフォが影響を受ける
構成管理データベース (CMDB)	PRB1708303	「svc_ci_assoc」テーブルの CI の数が、関連する動的 CI グループの CMDB グループのエンコードクエリの結果の CI 数と一致しない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1709507	言語が日本語の場合、[CMDB CI の運用ステータスの同期 (Sync Ops Status for CMDB CI)] ビジネスルールが想定どおりに機能しない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1743081	cmdb_datasource_last_update テーブルの未使用インデックス

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
構成管理データベース (CMDB)	PRB1754898	ドメインセパレーションにおける健全性ジョブのスコアリングの改善
構成管理データベース (CMDB)	PRB1508482	部分的なペイロードの結合により MULTIPLE_DEPENDENCIES エラーが発生する
構成管理データベース (CMDB)	PRB1669388	Istanbul 以降のインスタンスのみが [準備完了 (Ready)] および [廃止 (Retired)] 運用ステータスの値が 5/6 である必要があるが、言語パックですべての選択肢が追加される
構成管理データベース (CMDB)	PRB1732485	trigger_type が [間隔 (Interval)] 以外の場合、データマネージャーのアーカイブポリシーが失敗する
構成管理データベース (CMDB)	PRB1734920	CMDB CI サービスでダークテーマのアイコンが正しく表示されない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1741163	[CI クラスから管理担当者グループを同期 (Sync Managed By Group from CI Class)] スクリプトアクションがバッチ処理されない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1688963	リバース同期の選択肢の重複
構成管理データベース (CMDB)	PRB1709386	[関係エディター (Relationship editor)] ページで、[次へ] ページネーションをクリックするたびに 2 つの同一のページネーション要求が発生する
構成管理データベース (CMDB)	PRB1714712	[依存関係 (Dependency)] ビューの [関係の変更 (Modify Relationship)] ポップアップが、Utah と Vancouver では左揃えになるが、Tokyo では中央揃えになる
構成管理データベース (CMDB)	PRB1719623	「ツリー」モードの場合、従来の CI 関係のフォーマッターが正しいタスクリストにリンクされない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1722001	調整ルールでユーザーが属性の空の値を更新できない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
構成管理データベース (CMDB)	PRB1722636	ウィジェット [クラウド要求タブ (Cloud Requests Tabs)] が、ITSM/CMDB の詳細ロールの代わりに ITIL ロールを使用するか、または組み合わせ条件を使用する
構成管理データベース (CMDB)	PRB1725941	監査履歴レコードが多すぎる場合、CMDB ワークスペースレコードページの [CI タイムライン (CI timeline)] コンポーネントのロードに失敗する
構成管理データベース (CMDB)	PRB1730333	サービスの再計算時に、依存アプリケーションサービスが削除される
構成管理データベース (CMDB)	PRB1730795	依存アイテムの挿入シナリオで、識別および調整エンジン (IRE) シミュレーター/identifyCIEnhanced API が NO_IDENTIFIER_KEYS エラーを返す
構成管理データベース (CMDB)	PRB1731438	非 CMDB のマルチソースがオフになっている場合は、マルチソースレコードをクリーンアップする必要がある
構成管理データベース (CMDB)	PRB1732243	[1 対 1 の逆マッピングを強制(Enforce 1 to reverse mappings)] ビジネスルールにより、許可されるべきさまざまな従来のフィールドに対する逆同期 = true が阻止される
構成管理データベース (CMDB)	PRB1734586	[アプリケーションサービス (Application Service)] レポートに含まれないハードウェアサーバーでは、[アプリケーション] サービスとして分類されていないサービスとの関係があるサーバーは表示されない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1735603	調整定義マッピング (cmdb_reconciliation_definition_mapping) が更新セットに追加されない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1747749	データマネージャーのカスタムバッチサイズプロパティが想定どおりに機能しない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1749714	削除ポリシーに従って CI が削除された後も、cmdb_ci_state_management_task_to_ci が削除された CI への参照を保持する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
構成管理データベース (CMDB)	PRB1749921	CI が挿入されるときに、そのライフサイクル値が従来の値から派生するのではなく、デフォルト値に設定される
構成管理データベース (CMDB)	PRB1750915	ベースインスタンスのクライアントスクリプト [開始と終了をクリア (Clear begin and end)] の動作が正しくない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1754392	Record.java は、テーブル記述子キャッシュで使用可能な sys_dictionary のアイテムを照会する
構成管理データベース (CMDB)	PRB1754547	CMDB クエリビルダーページの [ソート基準 (Sort by)] リストが降順でのみソートされる
構成管理データベース (CMDB)	PRB1757075	新しいライフサイクルマッピングの追加中に、UI でユーザーがサブフィールド値として [なし (None)] を選択できない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1757510	CSDM によると、ビジネスアプリケーションからアプリケーションサービスへの CI 関係は「Consumes::Consumed By」である必要があるが、ユーザーが CSDM でアプリケーションサービスを作成したときに、「Consumed by :: Consumes」と表示される
構成管理データベース (CMDB)	PRB1761907	ドメインは、cmdb_health_processor ステータステーブルに保持する前に検証する必要がある
構成管理データベース (CMDB)	PRB1773826	onBefore および onAfter スクリプトは、setRun() から初期化され、データソースが null の場合に機能しない
構成管理データベース (CMDB)	PRB1736182	マルチソースコードで、複数の DB 更新によって同じ sys_updated_on を持つレコードが更新される
コネクチャット	PRB1692098	live_group_member にクエリが流入すると、DB サーバーの CPU 負荷が高くなる
コンテキスト検索	PRB1747453	記事のナビゲーションが Washington DC で「HOME/Null」と表示される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
コンテキスト検索	PRB1731850	[関連検索 (Related Search)] の結果ヘッダーが検索結果と重なっている
コンテキスト検索	PRB1746563	[別ユーザーとして検索 (Search As)] が開始されると、ログインイベントが作成される
継続的改善管理	PRB1718946	スクリプトインクルード「CIMUtil」が、ITSM/CMDB の詳細なロールの代わりに ITIL ロールを使用するか、または組み合わせ条件を使用する
継続的改善管理	PRB1753753	共通情報モデル (CIM) インジケータが glide.system.locale を優先しない
請負会社管理	PRB1729666	モバイルアプリの請負業者のアンケート画像アップロードエラー
Core Platform	PRB1707194	xmlstats.do や PortScanGlideServiceStatusProvider が https で始まるサービスエンドポイントのポート 80 にヒットする
Core Platform	PRB1425002	日付/時刻フィールドを参照している参照フィールドが、レコードの保存時に GMT に変換される
Core Platform	PRB1644827	[関数 (Function)] フィールドを含む子テーブルを作成する更新セットをコミットするときにエラーが発生する
Core Platform	PRB1758692	NativeRecordMutex は、「get」または「release」中にドメインを考慮しない
Core Platform	PRB1594189	文字列によりメモリチェーンが高くなる可能性があるため、コンパイルされた関数を渡すために JavaScript を逆コンパイルする
Core Platform	PRB1696571	ノードの再起動後、ノードのスケジューラーが「specified」から「any」に変更される
Core Platform	PRB1704668	ノードログの localhost ログに SessionID と txID がいないため、日付形式が正しくない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
Core Platform	PRB1705439	スレッドセーフでない操作
Core Platform	PRB1763492	処理する大きなサイズの JSON データを含むスクリプトインクルードを呼び出す一部のスケジュール済みジョブが原因で、式のキャッシュサイズが最大 1 GB に増加する
Core Platform	PRB1642006	ナレッジ記事のフィルター条件を追加すると、リストが評価で正しくソートされない
Core Platform	PRB1718789	[ログエントリを表示 (Show Log Entries)] UI アクションで対応するログが表示されない
Core Platform	PRB1735417	GlideJellyContext のパーサーキャッシュ (fParserStack) が多くのステータスを保持することがある
Core Platform	PRB1741869	委任が既に終了している場合、委任のクリーンアップに終了日がない
Core Platform	PRB1744149	セキュリティアサーションマークアップ言語 (SAML) 変換マップに、gs.log ステートメントがある
Core Platform	PRB1754999	ログエクスポートサービスによってエクスポートされた「sys_outbound_http_log」メッセージに「_log_table」が 2 回含まれている
Core Platform	PRB1760524	正規化されているフィールドに空白の値がある場合、IP 正規化ジョブが失敗する
クルーオペレーション	PRB1758968	クルーリーダーの変更時に「Access to API 'setWorkflow' from scope 'sn_fsm_crew' has been refused due to the API's cross-scope access policy (スコープ「sn_fsm_crew」から API「setWorkflow」へのアクセスは、API のクロススコープアクセスポリシーが原因で拒否されました)」が表示される
クルーオペレーション	PRB1763496	クルーリーダーを別のクルーメンバーに再アサインすると、ディスパッチワークスペースで 2 人の重複したクルーリーダーを持つクルーが発生する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ディスパッチワークスペースのクルーオペレーション	PRB1764931	ユーザーが [クルーが必要 (Needs crew)] フィールドを false に設定して保存すると、重複した WOT カードがディスパッチワークスペースのカレンダーに表示される
Critical Security Update Manager (ファミリーリリース)	PRB1733701	で [Enable 3DES Deprecation (3DES 廃止を有効にする)] リンクが壊れている セキュリティセンター > 重大な更新
通貨管理	PRB1746302	GlideRecord でレコードを更新すると、入力/セッション金額が変更されていない場合でも、最新の通貨レートに基づいて参照金額が更新される
カスタマーサービス管理の顧客運用	PRB1749397	デフォルトビューで customer_account テーブルのフォームレイアウトを構成するときに予期しない動作が発生するが、他のビューでは発生しない
カスタマーサービス管理の顧客運用	PRB1711621	「sn_customerservice_m2m_asset_contact」 テーブルの「主連絡先」の関連付けに問題がある
データアーカイブ	PRB1743164	アーカイブ破棄ルールで推定の再計算を選択すると、レコード推定がタイムアウトになる
データベースインデックス	PRB1694114	sys_user(sys_id, active) で一意のインデックスを作成すると、sys_user テーブルのデータが失われる可能性がある
データベースインデックス	PRB1699808	「Enterprise Edition」 データベースでオンライン設定によるインデックスの作成が許可される
データベースの永続性	PRB1732151	文字列がテーブルかどうかを確認するために TableDescriptor.isValid または GlideRecord.isValid を使用すると、テーブル以外のものでテーブル記述子キャッシュがいっぱいになり、メモリ不足 (OOM) エラーが発生する
データベースの永続性	PRB1760592	準備されたクエリがローテーションテーブルで正しく形成されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
データベースの永続性	PRB1714908	テーブルローテーションに対する GlideAggregate クエリで誤った結果が生成される
データベースの永続性	PRB1739880	「TS」クエリの forcePrimaryKeyOrder が無視される
データベースの永続性	PRB1514936	ユニオン置換によって「ORDER BY」値にテーブルエイリアスが追加されないため、プラットフォームでユニオン置換が適用されない
データベースの永続性	PRB1643974	レポートの [日付] フィールドで「次の値を超える」条件を使用すると、データベースによって検出される一般的なデータ例外エラーが発生する
データベースの永続性	PRB1749083	移行時に、「Low connection (低接続)」モードの自動アクティブ化をオフにする必要がある
データベースの永続性	PRB1757110	Vancouver から Washington への Glide アップグレードでエラーが発生する
データベースの永続性	PRB1670286	クエリが、長いテーブル名を持つテーブルのゲートウェイデータベースにユーザーを誘導しない
データベースの永続性	PRB1688148	null データの挿入中に列を削除すると、StorageColumnResetter によってテーブルがロックされる
データベースの永続性	PRB1736307	GlideRecord メソッドの jsFunction_updateMultiple および jsFunction_deleteMultiple は無効なフィールド名を含むクエリ条件から保護する必要がある
データベースの永続性	PRB1742990	deleteDuplicates 修正スクリプトで入力ミスが見つかった
データベースの永続性	PRB1747247	DropTmpTablesJob を使用して孤立した更新ステージング テーブルをクリーンアップする

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1763146	GlideFilter に複数の条件を追加する新しいクエリ (NQ) がある場合、同じエンコードクエリから異なる JavaScript が生成される
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1647519	localhost ログがローカルホストログに「MySQL スレッド ID」を出力しない
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1777345	ドメインセパレーションプラグインのインストールによるメモリ不足 (OOM) エラー
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1734995	メモリ不足エラーが原因でノードが再起動される
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1730026	ケースへのメールのレコード addJoinQuery で「0」を返す必要がある
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1744977	sys_dictionary を使用して関数フィールドを作成すると、フィールドのストレージエイリアスメタデータが誤って作成される
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1751743	FromItem タイプ '[SubSelect]' の解析がサポートされていない
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1766707	名前に「ref_」プリフィックスが付いたサードパーティ契約 (TPC) 階層の子テーブルへの参照フィールドが無効な SQL を生成する
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1781863	列が CMDB パーティションに保存されている場合、RLQuery 関連リスト条件が機能しない
データベースの永続性 - データ管理	PRB1723302	例外発生時に ArchiveJob が誤って record_estimate を更新する
データベースの永続性 - データ管理	PRB1737526	ユーザーが (ユーザーテーブルの) 日付形式を yyyy-MM-dd に設定している場合、sys_dm_delete テーブルの [更新 (Update)] UI アクションが正しく機能しない。
データベースの永続性 - データ管理	PRB1713164	TableCleaner で、再起動中にルールがアクティブな場合、ノードの再起動後 2 日間はルールがスキップされる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
データベースの永続性 - データ管理	PRB1733299	CloneDBAPI().getExcludeStatements は、「sys_term02.sys_class_name が存在しません (sys_term02.sys_class_name doesn't exist)」というエラーで除外時に失敗します
データベースの永続性 - データスケール	PRB1734637	インスタンスに新しく追加されたノードの glide_build_tag に「{」が追加され、一部のノードに null/empty glide_build_tag がある
データベースの永続性 - データスケール	PRB1718003	Utah for Oracle インスタンスの UNION ステートメントの変更が実行時間に影響する
データベースの永続性 - データスケール	PRB1671297	TableCheckpointExclusionList にさらにテーブルを追加する必要があるかどうかを確認する
データベースの永続性 - データスケール	PRB1731352	重要なメッセージがドロップされる可能性を減らす必要がある
データベースの永続性 - データスケール	PRB1744444	プライマリデータベースでタイムアウトしたリードレプリカクエリが再試行されない
データベースの永続性 - データスケール	PRB1752213	検出された最長遅延が 11 分であった場合、レプリケーション遅延スロットラーが 4 時間 41 分で一時停止する
データベースビュー	PRB1730383	[関数] フィールドを含むデータベースビューでレコードが欠落しています
データ認定	PRB1742248	通知の送信中に、ベースインスタンスのメールテンプレート「certification.task.reminder.inserted」で cmdb_ci.URI_REF が入力されない
データ認定	PRB1735000	レコードが 2 回目にクローズされたときに cert_task の closed_at が更新されない
ソフトウェア資産管理用 Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services	PRB1743059	Global License Advisory Services (GLAS) Data Collection の zip フォルダをダウンロードした後、「Windows cannot open the folder and zip file is invalid (Windows がフォルダを開くことができず、zip ファイルが無効です)」という Windows エラーが表示される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
Data Filtration	PRB1768454	Vancouver のデータフィルタリングで、対象条件で指定された IP フィルター基準が考慮されない
データプライバシー (従来)	PRB1759020	プラグイン「sn_dp_store_app」が、テーブル sys_filter のフィールドへのアクセスを防止する新しいフィールドレベルの ACL を追加する
データプライバシー (従来)	PRB1732467	プライマリ参照が設定されていない場合、ユーザーベースのジョブをスケジュールすると誤ったメッセージが表示される
データプライバシー (従来)	PRB1772904	sys_dictionary で許可されている列の文字長を超える列の入力を使用して「データプライバシー」ジョブをスケジュールすると、ジョブがエラーになる
ディシジョンテーブル (ファミリー)	PRB1758837	インポートされた参照レコードが、一部の制限付きロールで保存後に優先されない
宣言アクション	PRB1695335	[構成アイテム (Configuration Item)] フィールドのフィルター条件がポップアップモデルに適用されない
宣言アクション	PRB1707531	リストのグループ化されたアクションが、プライマリとして構成されている場合でもセカンダリとして表示される
宣言アクション	PRB1754553	変数エディターがフォームに追加されている場合、宣言アクションで「JSONObject['value'] not found」エラーがスローされる
宣言アクション	PRB1759017	一部のビルドでエラーが発生する
宣言アクション	PRB1767497	宣言アクションがペイロード定義のランダムキーで機能しない
宣言アクション	PRB1767859	リストにフィルターがある場合、構成可能ワークスペースのサーバースクリプトリストアクションが複数回実行される
デマンド管理	PRB1770378	UI アクション [デマンドを送信 (Submit Demand)] の名前が原因で自動テストフレー

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		ムワーク (ATF) とプラットフォーム API で問題が発生する
デマンド管理	PRB1732855	[編集] ボタンが [アイデアの詳細 (Idea details)] ページに表示されるが、選択してもコンテンツが保存されない
デマンド管理	PRB1754035	フォームが保存されるまで、[承認された開始日 (Approved Start Date)] の背景色が白に変わらない
デマンド管理	PRB1768990	デマンドタスクがワークスペースから作成された場合、アクティビティログがキャプチャされない
DevOps (ファミリー)	PRB1769655	「could not execute query (クエリを実行できませんでした)」が原因でパフォーマンスアナリティクスジョブ「[DevOps] Daily Data Collection ([DevOps] 日次データ収集)」が失敗する
ディスカバリー	PRB1726066	vCenter クラウドプローブが、Web サーバー (http.https) がオープンであると判断されるたびにトリガーされる
ディスカバリー	PRB1661511	メタスペースがトランザクション/PatternDesignerManager.do 中にメモリ不足になる
ディスカバリー	PRB1713075	itom_lu_discovery_mapping テーブルにエントリがない
ディスカバリー	PRB1712133	ビジネスルール [ディスカバリー親和性および資格情報エイリアスの挿入 (Insert Discovery Affinity & Cred Aliases)] の queryPrivAffinity で、cmdb.name が null の場合に大規模テーブル処理 (LTH) が警告される
ディスカバリー	PRB1702370	クラウドディスカバリーは、アカウントパターンの検証が完了した後で完了とマークされる
ディスカバリー	PRB1752501	VMWareVCenterVMTagsProbe と VMWareVCenterVMsProbec/

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		cVMWarevCenterDatastoresProbe の間で証明書チェックが異なる
ディスカバリー	PRB1636480	削除スクリプトの「_getCIs」を手動で上書きしたときに、関連エントリが古くない CI から消去されない
ディスカバリー	PRB1668660	ステータスが「Mixed (混合)」を返す場合、ディスカバリーパターンログの中に、ステータスが設定されていないものがある
ディスカバリー	PRB1714427	TCP 接続を検索するための既存の関数で、pfiles がサーバーで開かれている TCP 接続の数よりも少ない数の TCP 接続を返さない
ディスカバリー	PRB1733245	仮想マシン (VM) が vCenter でテンプレートに変換された場合、ディスカバリーで新しい cmdb_ci_vmware_template レコードが作成され、古い VM レコードは廃止としてマークされない
ディスカバリー	PRB1736034	複数ページのペイロードに対してパターンログメッセージが重複する
ディスカバリー	PRB1742222	ネットワークアダプターテーブルに多数のレコードがある場合、過剰なログ記録が原因で Windows で「プローブからパターンへの」移行がスタックする
ディスカバリー	PRB1759521	DiscoveryIDSensor の例外により、discovery_status の「started」カウントが不正になることがある
ディスカバリー	PRB1611015	SMIStorageServer センサーがストレージサーバーの古いストレージボリュームを削除またはマークしない
ディスカバリー	PRB1635588	大文字の UUID を使用して新しいクラウドオペレーションスケジュールを作成するとエラー「Invalid UUID (無効な UUID)」が表示される
ディスカバリー	PRB1686698	クラウド MID の選択が想定どおりに機能しない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ディスカバリー	PRB1701762	Unix の TCP 接続に無効なデータが入力される
ディスカバリー	PRB1706081	エージェントホストが Windows ワークグループのメンバーである場合、FQDN の解析に失敗し、ホスト名にワークグループ名が含まれる
ディスカバリー	PRB1715437	プロセス分類「Nginx」に入力ミスがある
ディスカバリー	PRB1721760	部分的ペイロードからの非ホストアイテムが discovery_device_history に挿入される
ディスカバリー	PRB1729133	Solaris アプリケーション依存関係マッピング (ADM) プロブは、コメント行の一部を完全なコマンドであるかのように実行する
ディスカバリー	PRB1730011	スナップショットベースの削除戦略が論理データセンター (LDC) のバッチ処理で正常に機能しない
ディスカバリー	PRB1731277	ユーザーが昇格された権限がアクティブ化された「ディスカバリーアドミン」ロールを持っている場合、[クラウドディスカバリー (Cloud Discovery)] ページがロードされない
ディスカバリー	PRB1732051	FileBasedDiscoverySensor が wildCardPaths を適切に処理しない
ディスカバリー	PRB1734170	CI に複数の IP アドレスがあり、それらの IP が異なるディスカバリースケジュールの一部である場合、CI の [今すぐ検出 (Discover now)] UI 関連リンクを介してトリガーされたディスカバリーステータスがスタックする
ディスカバリー	PRB1735766	アプリケーション依存関係マッピング (ADM) により、ループバックインターフェイスでリッスンしているリモートアドレスに対する「Depends on::Used by」関係が作成される
ディスカバリー	PRB1739753	認証情報なしディスカバリーが、MID プロファイルシナリオまたはアクセサロールシナリオを介して AWS マスター/メンバーに対して機能しない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ディスカバリー	PRB1740533	廃止された VM が多すぎると、VMware - vCenter データセンターの処理時にセンサーエラーが発生する可能性がある
ディスカバリー	PRB1743219	ライセンスアプリの調整 v3.4.0
ディスカバリー	PRB1755084	SNMP OID レコードに、削除された「汎用ホスト」分類子への壊れた参照が残っている
ディスカバリー	PRB1759950	DiscoveryCloudConfig データセンターの「getter」関数が、IP データの送信元のリージョンがアクティブかどうかをチェックしないため、Shazzam が意図しない IP にタッチする
ディスカバリー	PRB1761955	Maverick SSH を使用している場合、SSH ソケットのアイドルタイムアウト時にディスカバリーが回復しない
ディスカバリー	PRB1764379	パターンデバッグで Windows Management Instrumentation (WMI) クエリエラーが発生し、後続の WMI クエリステップに引き継がれ、デバッグのユーザビリティに影響する
ディスカバリーブローブとセンサー	PRB1760828	MID サーバースクリプトインクルード「CimQuery」が想定どおりに機能しない
ドキュメント管理	PRB1750158	ワークスペースドキュメントビューアーが、コンテンツタイプが application/pdf;charset=UTF-8 の PDF を表示できない
ドキュメント管理サービス	PRB1740264	デフォルトの sys_service_endpoint URL が正しくないために、失敗した要求のエラーコードを適切に処理できない
ドキュメント管理サービス	PRB1637082	HTML からの PDF の生成で「PDFGenerationService: Index 1 out of bounds for length 1」というエラーがスローされる
ドキュメント管理サービス	PRB1756312	glide プロパティが false に設定されている場合は、関連リストをエクスポートできない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ドキュメント管理サービス	PRB1678512	管理者以外のユーザーが HTML から PDF を生成できない
ドキュメント管理サービス	PRB1757005	ワークスペースリストの PDF エクスポートで、エクスポートするレコードをクエリするときに glide.pdf.max_rows が優先されない
ドキュメントビューアー	PRB1747952	ドキュメントビューアーに jpg および png タイプのファイルのドキュメント名が表示されない
エッジ暗号化	PRB1729586	EdgeLatencyAPI でリソースリークが発生する
エッジ暗号化	PRB1730076	エッジルールの不適切な実行から架空のエラーがログに記録される
エッジ暗号化	PRB1737568	HR エージェントのワークスペース内でケースを作成するときにエッジ暗号化構成が適用されない
エッジ暗号化	PRB1763202	長時間実行されているビジネスルール [キーステータスを計算 (Calculate key status)] が複数回トリガーされ、エッジプロキシの起動が停止する
メール通知	PRB1732389	翻訳された通知が遅れて送信される
メール通知	PRB1726155	Gmail のワンクリックの登録解除機能をサポートする必要があります
メール通知	PRB1715483	通知の最後にあるページネーションスピナーが常にオンになっている
メール通知	PRB1723145	ワークスペースで受信したメールで [全員に返信 (Reply All)] を選択すると、受信者の 1 人のみが [宛先: (To:)] として設定される
メール通知	PRB1771175	Washington DC のアップグレード後、メール送信時にメールテンプレートで [アサイン済み (Assigned)] フィールドが適用されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
メール通知	PRB1715280	メールクライアントで [全員に返信 (Reply all)] を選択すると、重複するメール ID が追加される
メール通知	PRB1726824	メールフィルターが繰り返し実行される
メール通知	PRB1730423	content-type の値が引用符で囲まれた文字列の場合、メールは電子署名付きとして認識されない
メール通知	PRB1732093	デバイスでメール通知をオフにしているユーザーにメールを送信したときに、サービスオペレーションワークスペース (SOW) とネイティブワークスペース UI16 の間で動作に不一致がある
メール通知	PRB1746013	HR ケースの面談レコードにメールテンプレートが利用できない
メール通知	PRB1762409	通知の [必須 (Mandatory)] フィールドをオンにしても、ユーザーが通知を受信しない
埋め込みヘルプ	PRB1742478	埋め込みヘルプのテーブルが Firefox で正しく表示されない
埋め込みヘルプ	PRB1748376	サービスカタログモジュールで引数を /sp に変更すると、400 エラーがスローされる
従業員ドキュメント管理	PRB1764655	[添付ファイルを移動 (Move attachment)] ボタンが UI16 でトピックの詳細をロードしない
従業員エクスペリエンスフレームワーク	PRB1719474	トピック名を更新した後のヘブライ語翻訳で、トピックパスのパスセパレーターが欠落している
従業員サービスセンター (ESC)	PRB1738643	ナレッジ記事を承認すると、「Content cannot be associated to the same topic more than once (コンテンツを同じトピックに複数回関連付けることはできません)」というエラーが発生する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
従業員サービスセンター (ESC)	PRB1728117	ユーザーが昇格された権限を持つユーザーから代理操作された場合、ポータルで代理操作の終了が想定どおりに機能しない
従業員サービスセンター (ESC)	PRB1735683	ナレッジ記事のお気に入りに誤ったバージョンの記事が表示される
Employee Taxonomy Framework	PRB1731660	複数のトピックに関連付けられたナレッジ記事を公開するときにエラーが発生する
Employee Taxonomy Framework	PRB1726526	カタログアイテム名が変更されても [接続されたコンテンツ (Connected Content)] の表示値が更新されない
Employee Taxonomy Framework	PRB1739682	システム プロパティ taxonomy.content.featured_content_limit を 10 に変更した後、2 つ以上の注目コンテンツアイテムを追加できない
Employee Taxonomy Framework	PRB1755519	カタログマッピングのないカタログアイテムが、分類コンテンツ構成によってフィルタリングされない
Entity View Action Mapper (EVAM)	PRB1747238	コンテナにパディングまたはマージンがある場合、Now-data-row の内部コンテンツがオーバーフローする
イベント管理	PRB1735920	プルコネクタのテスト接続で未定義のエラーが発生する
イベント管理	PRB1740996	デバッグパラメーターのないコネクタが失敗し、「isDebug」が定義されていないというエラーがスローされる
イベント管理	PRB1626676	送信されたペイロードが空または無効である場合、API 追加ログで示されていないイベント管理のデフォルト REST でイベントを取得すると、要求が失敗する
イベント管理	PRB1674744	イベントルール正規表現デザイナーが「\」文字をサポートしていない
イベント管理	PRB1701487	ベースインスタンスサブフロー「Create Incident (インシデントの作成)」とベースイ

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		インスタンスのビジネスルール「Sync CI with Affected CIs (影響を受ける CI と CI を同期)」の間に競合がある
イベント管理	PRB1712416	「アラート」グループ (プライマリアラート) を再オープンしても、ドメインセパレーションインスタンスで関連インシデントが再オープンされない
イベント管理	PRB1719307	ユーザーがイベント管理プラグインをインストールしたときに、予期しない sys_ui_related_list アイテムが追加される
イベント管理	PRB1725183	glide.system.locale が「nl.NL」の場合、em_alert テーブルの [優先度 (Priority)] タブに特定のアラートの優先度が「0」と表示される
イベント管理	PRB1732558	特定のアラート例外で UI アクション [インサイトエクスプローラーで開く (Open in Insight Explorer)] を選択すると、[インサイトエクスプローラー (Insights Explorer)] ページが空になる
イベント管理	PRB1732824	すべての重複ハッシュに対してセルフ健全性アラートが作成されるわけではない
イベント管理	PRB1733215	priority_group がフィルターに含まれている場合、一部のアラートに対してアラート管理ルール (AMR) が処理されない
イベント管理	PRB1735071	「接続済みビジネスサービス」のインパクトカリキュレーションにメモリ保護が必要である
イベント管理	PRB1739212	二重スペースを含むノードのイベントバインディングが失敗する
イベント管理	PRB1745041	サービスオペレーションワークスペースの [オープンアラート (Open alerts)] リストに非効率な条件が含まれている
イベント管理	PRB1768322	タグベースのグループの仮想アラートの作成中に簡単な説明が入力されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
イベントルール	PRB1688527	古い [イベントルール (Event Rules)] フォームビューをブロックする必要がある
ファイル署名の正規化	PRB1749282	[正規化の提案を検索 (Find Normalization Suggestions)] ジョブの実行時間が非常に長い
ファイナンスサービス管理 (従来)	PRB1738329	ベースインスタンスの UI アクションがテーブル「itfm_budget_task」のドメイン上書きでエラーをスローする
ファイナンシャルマネジメント	PRB1743328	マップされたすべてのアプリケーションに対して経費ラインが生成されるわけではない
固定リストクエリ	PRB1721024	ユーザーが固定クエリリストにレコードを作成できない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1744936	アドミンが読み取り専用フローを非アクティブ化できない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1747210	Washington DC にアップグレードした後、[カタログタスクの作成 (Create Catalog Task)] アクションで新しい sys_hub_snapshot が作成されない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1731825	タイマーを含む現在のループがそのフローロジックの後に設定されている場合、SetFlowVariables がインクリメントされない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1755867	フローステージを保存すると内部サーバーエラーがスローされる
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1713385	クローン作成後にフローデザイナーアクションステップアイコンが sys_attachment から削除される
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1737097	「com.glide.script.RhinoEcmaError: Cannot read property 'length' from null (com.glide.script.RhinoEcmaError: プロパティ 'length' を null から読み取れません)」ログにエラーが記録される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1729404	サブフロー、PAD、および DATA_STREAM_ACTION に「Flow Element is of unknown category (フロー要素が不明なカテゴリです)」という警告が表示される
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1733023	ユーザー入力フィールドで「if」条件を使用するカタログアイテムに対してフローが機能しない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1738138	更新され、フローの削除またはアクティブ化と組み合わせられた sys_trigger_runner_mapping レコードが、更新セットによって収集されない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1738330	オーダー ID の [意思決定 (Make Decision)] の結果は、実際の値ではなく、切り捨てられたメッセージで表示される
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1750937	機能アクセスが有効な場合、フローが読み取り専用になる
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1757305	委任開発者としてフローデザイナーの変換機能を使用しようとしたときにエラーが発生する
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1757401	フローデザイナーロールでテストすると、ユーザーがフローのプレビューを取得できない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1698998	ProcessAutomationException 以外の例外が処理されない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1713552	ユーザー設定「showDraftActions」が問題を引き起こすため、削除する必要がある
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1715010	繰り返しトリガーが想定どおりに機能しない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1723249	プラグイン「com.glide.pad.core.runtime」により、過剰な「Process Automation Event Handler (プロセス自動化イベントハンドラー)」ジョブが再作成される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1727712	フロー出力で、ユーザーがラベルを入力しても名前が自動入力されない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1731548	ユーザーがメトリックベースに関するフローをテストするときにレベル値が入力されない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1733976	フローデザイナーで、ユーザーが「-」を含む REST API ヘッダーを追加できない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1734105	フローデザイナーを開くと警告が生成される
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1736329	サブフローが、ネストされた「For each」ループで完了したステップを表示しない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1736753	ゴースト (非コミット) GR レコードをサブフローに渡すことができない
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1742679	[JSON として保存 (Save As JSON)] の場合、変数を含むカタログアイテムを含む [カタログアイテム要求を送信 (Submit Catalog Item Request)] アクションが待機ステータスになる
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1744954	Glide リストオブジェクトでレコードを選択するときの動的テンプレートのパフォーマンスが低下する
フローデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1716852	「再コンパイル」API が古いスナップショットを使用して最新のスナップショットを生成する
フローエンジン	PRB1751604	CSM ワークスペースでプレイブック「Playbook for Changes」から変更を作成すると、エラーが発生する
フローエンジン	PRB1725467	孤立した sys_flow_report_doc レコードが原因でフロー操作ビューがタイムアウトする
フローエンジン	PRB1763738	「Else」の下での「For-Each」ループが途中で終了し、null ポイントエラーが発生する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
フローエンジン	PRB1758414	トリガー条件のフィールド値が別のサブフローから設定されている場合、レコードの更新時にフローがトリガーされない
フローエンジン	PRB1781775	FlowCallbackExecutor コールバックが null ポインター例外をスローする
フローエンジン	PRB1747447	子サブフロー内で非同期 HTTP が呼び出されると、ユーザーに問題が発生する
フォームコントローラー	PRB1731381	問題レコードページで、[アクティビティ (Activity)] セクションと [設定 (Setting)] セクションが空として表示される
フォームコントローラー	PRB1761801	従来のワークスペースでアクティビティストリームの一部になっているリストを開くと、ページが応答しない
フォームデザイナー	PRB1719316	重複するラベルが存在する場合、フォームデザイナーで拡張テーブルのラベルの上書き (sys_documentation) が予期せず自動作成されることがある
フォームテンプレート	PRB1760565	ユーザーがテンプレートにカーソルを合わせると、テンプレートの適用時に [変更を元に戻す (Undo changes)] リンクが表示されなくなる
フォームテンプレート	PRB1739995	参照修飾子はワークスペースの template_value.reference に適用されるが、プラットフォームビューでは適用されない
フォームテンプレート	PRB1740403	サービスオペレーションワークスペース からインシデントテンプレートを作成および適用するときに、[番号 (Number)] フィールドが入力され、編集できるようになる
GlideRecord	PRB1714230	ドット連結フィールドを使用すると、システムログ SEVERE *** ERROR *** loadRow failure が生成される
GlideRecord	PRB1738303	[日付/時刻 (date/time)] フィールドの予期しない動作。監査においてすべての更新が古い

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		値なしでキャプチャされ、新しい値は以前と同じ値に更新される
GlideRecord	PRB1732249	二重エスケープが発生し、キャレットとスラッシュの両方が使用されている場合、クエリが中断される
GlideRecord	PRB1736736	ドキュメント ID が無効なフィールドに依存している場合、GlideRecordSecure.update で値が更新されない
GlideRecord	PRB1762359	無効なフィールド名を含む GlideRecord get() が、glide.invalid_query.returns_no_rows を有効にしてもターゲットテーブルからレコードを返す
Google Maps OOB 統合	PRB1733649	Google Maps API バージョン 3.55 で「マップ」ページが読み込まれない
GraphQL API	PRB1604366	ユーザーが OSP エージェント (snc_external) の初期設定をダークテーマに設定できない
GraphQL API	PRB1745262	AsyncSerialExecutionStrategy が throwable を正しく処理しない
GRC Platform プラグイン	PRB1748143	新しいフォームコントローラーが変更された Vancouver インスタンスで関連リストアクションの追加が機能しない
ガイド付きアプリケーションクリエーター	PRB1664046	スコープ内の「&」文字に関する問題 - 例: 「Order management for Telecom, Media and Tech」
ガイド付きツアー	PRB1748595	ツアーの開始後にユーザーがページを更新しても、自動起動ツアーが開始されない
ガイド付きツアー	PRB1722731	ガイド付きツアー aria-label が英語以外の言語に翻訳されていないため、スクリーンリーダーの使用時に問題が発生する
ガイド付きツアー	PRB1726992	従業員センターヘッダーのガイド付きツアーステップが、構成された場所よりやや左に配置される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ガイド付きツアー	PRB1729295	VoiceOver で、プライマリナビゲーションメニューの [ツアー] メニューアイテムのラベルが読み上げられない
ガイド付きツアー	PRB1737729	ユーザーが計画立案コンソールのガイド付きツアーで不要な設定を保存できない
Hermes (ファミリ)	PRB1770566	IPKI 証明書を取り消すと JS エラーがスローされる
Hermes (ファミリ)	PRB1734239	プロデューサーとコンシューマーが完全にアクティブ化されたレプリケーションセットで、すべてのレコードがレプリケートされるわけではなく、シードがスタックトレースでスタックになる
Hermes (ファミリ)	PRB1748050	Hermes がインストールされていても、構成されていない
Hermes (ファミリ)	PRB1755317	コンシューマークライアントで「subscribe by pattern (パターンによる登録)」が使用されている場合、トピックインスペクターがコンシューマーグループ情報のロードに失敗する
階層リスト	PRB1603968	連結された文字列が、日本語で文法エラーを引き起こす
Horizon コンポーネントライブラリ	PRB1663860	長い作成テキストフィールドに入力すると、一番上までスクロールする
Horizon コンポーネントライブラリ	PRB1733120	ワークスペースの [顧客アクティビティ (Customer activity)] ページのロードに時間がかかる
Horizon コンポーネントライブラリ	PRB1727953	ランディングページで [ホーム] から [リスト] に移動しようとする、ワークスペースページが固まる
Horizon コンポーネントライブラリ	PRB1740271	サービスオペレーションワークスペースのナビゲーションアイコンタブに、表示されるフォーカスインジケーターがない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
Horizon コンポーネントライブラリ	PRB1750876	UI ビルダーの「日付/時刻」コンポーネントに、システムの優先言語でデータが部分的に表示されるが、ユーザーの優先言語では表示されない
カスタマーサービス用の水平ポータル機能	PRB1745441	CSM チケットページに添付ファイルを追加すると、入力コメントがクリアされる
カスタマーサービス用の水平ポータル機能	PRB1765258	「csm_my_lists」ページでデータのロード時間が 1000 ミリ秒を超えると、[自分のリストフィルター (My list filters)] ウィジェットでリスト名を正しく更新できない
HR サービスデリバリー	PRB1772519	Vancouver にアップグレードした後に、COE セキュリティの動作が変わる
HR サービスデリバリー	PRB1726178	[署名ブロックをマーク (Mark Signature Blocks)] ページで HR PDF テンプレートの選択ボックスが機能しない
HR サービスデリバリー	PRB1726645	新しい証拠レコードを作成すると、[親] フィールドが「空」に設定され、自動入力されない
HR サービスデリバリー	PRB1734098	ポータルからアイテムを送信するときに、 rich_description フィールドによってテーブル構造が破棄される
HR サービスデリバリー	PRB1710767	動的フィルター [自分のアサインの 1 つ (One of My Assignments)] が詳細な委任で機能しない
HR サービスデリバリー	PRB1718216	プレイブックのアクティビティ順序がエージェントワークスペースで機能しない
HR サービスデリバリー	PRB1725924	HR チェックリストタスクタイプを [完了 (Completed)] としてマークした後に HR タスクの説明が入力されない
HR サービスデリバリー	PRB1733328	sn_hr_core.impersonateCheck プロパティがスケジュール済みレポートに影響する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
HR サービスデリバリー	PRB1739141	サマリーレポート UI アクションはハードコードされた pdfName を使用しており、ERDocTemplatesUtils が読み取り専用であるため上書きできない
HR サービスデリバリー	PRB1744663	ユーザーセグメントを 2 回より多く更新すると、一括ケース作成がスタックする
HR サービスデリバリー	PRB1748144	ケース作成時に HR ケースの詳しい説明に貼り付けられた画像が、ユーザーには壊れた画像として表示される
HR サービスデリバリー	PRB1757704	HR サービスを選択した後に、[トピックの詳細 (Topic Detail)] フィールドと [トピックカテゴリ (Topic Category)] フィールドに自動入力されない
HR サービスデリバリー	PRB1702511	「^」記号または「=」記号が HR スコープ内のフィールドに追加された場合、 rich_description フィールドが切り捨てられる
HR サービスデリバリー	PRB1704171	HR タスクタイプを選択したときに、HR タスクの [フォーム] ページでクライアント側の問題が発生する
HR サービスデリバリー	PRB1707722	[概要 (Glance)] ビューで、sn_hr_core_profile の作成時にオフィスの場所が更新されない
HR サービスデリバリー	PRB1709857	ビジネスルールの setAbortAction メソッドのエラーメッセージが翻訳されていない
HR サービスデリバリー	PRB1714909	[承認を再送信 (Resubmit Approvals)] UI アクションに問題がある
HR サービスデリバリー	PRB1722548	sn_hr_core.manager ロールを持つユーザーが HR PDF テンプレートで署名をマークできない
HR サービスデリバリー	PRB1728268	HR レコードをアーカイブすると添付ファイルが削除され、アドミンユーザーでもアーカイブされた HR レコードの添付ファイルを表示できない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
HR サービスデリバ リ	PRB1730983	HR エージェントワークスペースの [COE] フィールドが、値が入力されているにもかかわらず、赤でハイライト表示される
HR サービスデリバ リ	PRB1734937	添付ファイルがチャットから HR ケースにコ ピーされない
HR サービスデリバ リ	PRB1735207	ヒューマンリソース (HR) の一部のスクリプ トインクルードに、呼び出し元制限のないコ アスコープがある
HR サービスデリバ リ	PRB1736121	HR 労務 (ER) のアドミンが HR ER ケース の [協力者 (Collaborator)] フィールドを追加 または更新できない
HR サービスデリバ リ	PRB1739949	労務 (ER) の UI アクションの動作が壊れて いる
HR サービスデリバ リ	PRB1739950	HR エージェントワークスペースで従業員ド キュメントを作成するときに、HR プロファ イルが関連付けられているユーザープロファ イルだけでなく、指定された名前のすべての ユーザープロファイルが HR エージェントに 表示される
HR サービスデリバ リ	PRB1739969	証拠フォームで労務 (ER) ケーステーブルが 自動入力されない
HR サービスデリバ リ	PRB1741522	hr_Utils._cancelRequestedItems API が、 空の親を持つレコードを誤って更新すること がある
HR サービスデリバ リ	PRB1743184	一部のドキュメントの添付ファイルがアッ プロードされたときに、ドキュメント所有者 のアドミンユーザーがアップロードされたド キュメントを表示またはダウンロードできな い
HR サービスデリバ リ	PRB1744431	[更新前 (Before Update)] ビジネスルール addInfoMessage() が HR エージェントワー クスペースに 2 回表示される
HR サービスデリバ リ	PRB1744978	ポータル新しいタブで要求を開こうとした ときに時間がかかる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
HR サービスデリバリ	PRB1753439	ユーザーが HR ケースの opened_at フィールドを表示できない場合、HR エージェントワークスペースで内部サーバーエラー 500 が発生する
HR サービスデリバリ	PRB1755082	エラーメッセージの翻訳がない
HR サービスデリバリ	PRB1757799	[一時停止の理由 (Suspend Reason)] に子テーブル (他の COE) の選択肢が表示される
HR サービスデリバリ	PRB1759013	ワークスペースでクローズメモフィールドのデータポリシー例外が発生する
HR サービスデリバリ	PRB1781562	「interaction.state」 ACL を更新できない
HR サービスデリバリケース管理	PRB1633415	ロード時に HR ケースヘッダーの詳細が表示されないか、または空になる
ライフサイクルイベント用の HR サービスデリバリケース管理	PRB1712418	設定値のないリストフィールドが含まれている場合、応答テンプレートが空として表示される
ライフサイクルイベント用の HR サービスデリバリケース管理	PRB1732550	アクティビティセットトリガー条件の NQ の問題により、条件が失敗する
ライフサイクルイベント用の HR サービスデリバリケース管理	PRB1738109	委任プラグインがアクティブな場合、一括バナーと機能が想定どおりに機能しない
HTML エディター	PRB1727046	glide.html.enable_media_sites システムプロパティに改行がある場合、すべての HTML フィールドが改行される
HTML エディター	PRB1728095	JAWS 編集ボックスリストに、[編集] フィールド項目として「 [X]extarea 」 Edit undefined」と表示される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
識別および調整 API	PRB1761702	ペイロードアイテムの className と sys_class_name が異なる場合、IRE は両方に className 値を使用する必要がある
ID	PRB1722897	ID が null の場合にフェデレーションされた ID によってユーザーをチェックすると、数十万行を返す大規模なクエリが発生します
ID	PRB1739422	com.snc.integration.scim2.client プラグインがインストールされている場合に、フォームコンテキストメニューの [保存] UI アクションが表示されなくなった
ID	PRB1744985	ライセンスコンプライアンスのために、時間制限付きユーザーロールのアサインを制限する必要がある
受信メールアクション	PRB1720030	受信アクション [インシデントの更新 (Update Incident)] および [インシデントの更新 (BP) (Update Incident (BP))] では、ITSM/CMDB の詳細なロールではなく ITIL ロールが使用される
インシデントコミュニケーション管理	PRB1751178	ConferenceParticipantsTCM0 で「instanceof」を使用する際にログにエラーが記録される
インシデントコミュニケーション管理	PRB1744121	インシデントコミュニケーションタスクとワークベンチで [作成 (Compose)] ボタンが機能しない
インシデント管理	PRB1670366	インシデントフォームで [その他のアクティブなタスクを表示 (Show other active tasks)] と [UI マクロ右クリックでメニューを開く (UI Macro Right click to open menu)] が機能しない
インシデント管理	PRB1775234	Washington DC のアップグレード後、重大なインシデントで [提案者 (Proposed By)] フィールドに値が入力されない
Innovation Management	PRB1692413	「アイデア」ポータルを検索フィールドに背景色に対する十分なコントラストがない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
インストールベース管理	PRB1764835	インストールベースプラグインがインストールされておらず、カスタマーサービスプラグインがインストールされている場合、テーブル sn_customerservice_case に不明なフィールド install_base エラーが発生する
インストールベース管理	PRB1731646	「SoldProductFilter」スクリプトインクルードが原因で、sn_install_base_sold_product テーブルを参照するフィールドのロードに時間がかかる
インストールベース管理	PRB1746144	スクリプトインクルード 「SoldProductAndInstallBaseFilterSNC」の「isLoggedInUserValidConsumer」のために大量のエラーが発生する
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	PRB1679559	レガシーコンポーネントが動作しているときに IDR 診断が誤動作を示す
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	PRB1684566	IDR レプリケーションは正常に動作しているが、IDR 診断でルートチェーン管理の誤動作が示される
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	PRB1736093	[更新セット内で追跡 (Track in Update Set)] ボタンが更新セットに変換を追加しない
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	PRB1684672	レプリケーションセットを簡単に再作成できない
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	PRB1721515	インスタンスデータレプリケーション (IDR) で、sys_ フィールドと [変更者を保持 (Preserve Modified By)] のレプリケーションが再評価される
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	PRB1725366	ScopedReplicationEntryInspector (IDRReplicationEntryInspector) を初期化中に StackOverflowError が発生します
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	PRB1745789	インスタンスデータレプリケーション (IDR) のレコードトランスフォーマーを、ドラフトステータスの場合にクリアする必要がある

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	PRB1754363	idr_admin ロールのみを持つユーザーが、部分シード要求にフィルターを追加できない
インスタンススキャン	PRB1733963	[実行方法 (Run As)] フィールドはインスタンススキャンの「スケジュール」フォームに存在してはならない
統合認証	PRB1742161	認証情報エラーの可能性があるので、ダウンロード要求が失敗する
統合認証	PRB1766086	高度なパスワードポリシーの場合に、履歴ポリシールールが [login_cpw] ページに表示されない
統合ハブ	PRB1681003	MID からインスタンスへの通信の過負荷が原因でエラーが発生する
統合ハブ	PRB1710047	REST ステップがコンテンツタイプに charset=UTF-8 を追加している
統合ハブ	PRB1668651	接続タイムアウトの再試行ポリシーが HTTPS で機能しない
統合ハブ	PRB1690294	使用状況がアーティファクト名 = 「不明」 で作成されている
統合ハブ	PRB1720896	JDBC 接続で DataBricks ソースに対して「Invalid connection parameter name allowLocalInfile (無効な接続パラメーター名 allowLocalInfile)」というエラーがスローされる
統合ハブ	PRB1730794	PowerShellUtils クラスが、バックスラッシュを含む文字列で解析エラーをスローする
統合ハブ	PRB1682415	ファミリープラグイン com.glide.hub.integrations.professional がストアアプリケーションに依存している
統合ハブ	PRB1736348	MID プランの保存により、二重の gzip 圧縮が発生する可能性がある

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
統合ハブ	PRB1740218	IntegrationHubStatsCollector をオフにすることができない
統合ハブ	PRB1744483	REST ステップ [添付ファイルとして保存 (Save As Attachment)] が想定どおりに機能しない
統合ハブ	PRB1757262	JDBC ステップでフローデザイナーが「Size of the rows retrieved exceeded maximum payload (取得した行のサイズが最大ペイロードを超えました)」というエラーで失敗する
統合ハブ	PRB1764212	「anyof」および「Oneof」を含む仕様の操作をフェッチできない
統合ハブ - インポート	PRB1710992	sys_import_set_row から孤立行をクリーンアップするスクリプトが、汎用バージョンのクリーナーで機能しない
統合ハブストリーム接続	PRB1740633	パーティショングループが「LOCKED (ロック中)」の所有者でスタックする
インタラクティブフィルター	PRB1728220	選択リストのインタラクティブフィルターウィジェットコントロールのアクセス可能な名前が不十分で、関連する入力に表示されるラベルがない
インタラクティブフィルター	PRB1728601	アドミン以外のユーザーが、従来のダッシュボードでブレイクダウンソースの要素を保存できない
インタラクティブフィルター	PRB1730182	継承された選択肢フィールドに定義された選択肢がプラットフォームアナリティクスのダッシュボードフィルターに表示されない
インターナショナル化セッション機能	PRB1618316	day_of_week フィールドタイプのオプションは翻訳されなくなり、必須の sys_translation レコードがプラグインのアクティブ化時にロードされなくなった
ジャーナルフィールドタイプ	PRB1716022	作業メモがバックグラウンドスクリプトから更新されるときに、setJournalEntry が正しく機能せず、ログインユーザーの名前がアクティビティストリームに表示される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
大規模な JVM	PRB1734899	オンラインのテーブル代替によってテーブル記述子キャッシュで大量のメモリが消費される
Key Management Framework (KMF)	PRB1716042	アドホック鍵交換に成功しても、ターゲットのステータス [ローカルインスタンスのエラー (Error on Local Instance)] が正しくない
Key Management Framework (KMF)	PRB1735756	診断で証明書が有効でない、または証明書が存在しない可能性があることが示される
Key Management Framework (KMF)	PRB1737448	現在の年が 2024 年のときに、ビジネスルールが 2025 年の sys_updated_on を表示する
Key Management Framework (KMF)	PRB1692981	複数のアクティブなキーを持つモジュールを非アクティブ化する必要がある
ナレッジ記事テンプレート	PRB1762185	完全一致の場合に、レコードの sys ID が kb_template_how_to レコードのタイトルとして表示される (Zing 検索)
ナレッジ管理	PRB1711281	Vancouver 以降の ts_query_kb ACL の変更
ナレッジ管理	PRB1712553	UI ページ kb_translation_language_picker に 14 を超える言語が表示されない
ナレッジ管理	PRB1742967	マネージャーにアクセス権がないため、ViewAs 記事がスキップされる
ナレッジ管理	PRB1474932	HTML フィールド (tinyMCE) のマージン/境界線/パディング/スタイリングが、[記事の表示 (View article)] やサービスポータル KB ビューページに適用されない
ナレッジ管理	PRB1695323	公開時に太字のテキストが表示されない KB 記事の問題
ナレッジ管理	PRB1719166	ユーザー基準が想定どおりに機能しない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ナレッジ管理	PRB1732162	テーブルを含む文書ファイルをインポートするときに「ファイル解析エラー (File parsing error)」メッセージが表示される
ナレッジ管理	PRB1749371	「I18N：ナレッジ管理インターナショナル化セッションプラグイン v2」の有効化の問題
ナレッジ管理	PRB1756423	書き込みアクセスが許可されているときに、ナレッジフィードバック作業メモ (kb_feedback) が knowledge_manager ロールで許可されない
ナレッジ管理	PRB1711960	テキストサイズがデフォルトのフォントサイズと同じ場合、テキストにフォントサイズが適用されない
ナレッジ管理	PRB1715178	ドメインセパレーションが有効なインスタンスでユーザー診断基準を実行すると、代理操作によって最終ログイン時間が更新される
ナレッジ管理	PRB1715184	ナレッジキーワードに [新規] ボタンがない
ナレッジ管理	PRB1717344	glide.ITIL.assign. number.on.insert プロパティが true に設定され、Word アドインで記事が作成された場合、記事は「ドラフト」ステータスになる
ナレッジ管理	PRB1718153	「Most Viewed (最も表示された)」および「Most Useful (最も役に立つ)」というテキストは、メインコンテンツ領域の見出しレベル 3 (h3) として定義される
ナレッジ管理	PRB1725593	[ナレッジフィールドファセット (Knowledge Field Facet)] ウィジェットが想定どおりに機能しない
ナレッジ管理	PRB1731351	バッチあたり 100 件の記事を含む Knowledge API にはパフォーマンスの問題があります
ナレッジ管理	PRB1732303	マネージャーハブで従業員として検索しても、期待される結果/ナレッジ記事が表示されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ナレッジ管理	PRB1738540	ユーザーがナレッジベースページのコメントボックスを選択すると、コンソールエラーが表示される
ナレッジ管理	PRB1742810	コメントツールバーの操作がわかりにくい
ナレッジ管理	PRB1745009	「Most Useful (最も役に立つ)」および「Most Viewed (最も表示された)」サービスポータルウィジェットに、他のナレッジベースからの KB 記事が表示される
ナレッジ管理	PRB1753662	ナレッジ記事が仮想エージェントに参照を表示しない
ナレッジ管理	PRB1767594	ユーザーが [ナレッジ結果ソート (Knowledge Result Sort)] ウィジェットでデフォルトのソート順を設定できない
ナレッジ管理	PRB1771819	ナレッジクラスタリングソリューションでエラーが発生している
言語と翻訳	PRB1615848	Tokyo アップグレード後のフィンランド語翻訳にバグがある
言語と翻訳	PRB1730863	ポートフォリオ計画のワークスペースの [通貨 (Currency)] フィールドの略語が英語以外の言語で機能しない
言語と翻訳	PRB1739340	「second」の日本語訳が正しくない
言語と翻訳	PRB1759621	条件ビルダーの「on」の日本語訳が正しくない
言語と翻訳	PRB1728997	優先度フィールドの sys_choice セパレータが異なる
言語と翻訳	PRB1657482	sys_documentation テーブルの「Purchased」の日本語訳が正しくない
言語と翻訳	PRB1727009	カナダフランス語 (FQ) の「Cancel」という単語の翻訳が、Utah での「annuler」から Vancouver で「interrompre」に変更された

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
言語と翻訳	PRB1747254	change_task レコードステータスフィールド値 1 の sys_choice レコードのラベルテキストのフランス語訳が正しくない
言語と翻訳	PRB1675927	Tokyo 以降、[簡単な説明 (Short Description)] フィールドラベルのオランダ語翻訳が正しくないか、切り捨てられる
言語と翻訳	PRB1682554	com.sn_samp_master プラグインをインストールした後、sys_documentation テーブルの Table='alm_asset' と Element='sys_created_on' の日本語訳が正しくない
言語と翻訳	PRB1693537	HR エージェントワークスペースの [概要 (At a glance)] セクションに追加したときに、「Subject Person」のドイツ語訳が間違っており、プラットフォームの他の部分と異なる
言語と翻訳	PRB1701662	キー「calendar_day_wednesday_2char」のフランス語のウォークアップエクスペリエンスの翻訳が正しくない
言語と翻訳	PRB1701786	[state] フィールドのスペイン語訳が正しくない
言語と翻訳	PRB1709514	日付の翻訳が正しくない
言語と翻訳	PRB1731619	UI アクションの情報メッセージが翻訳されていない
言語と翻訳	PRB1731846	オランダ語を使用している場合、従業員センターにタイプミスがある
言語と翻訳	PRB1740163	Vancouver の「Benutzeradministration」、「System Security」、および「Organization」のナビゲーターで、「users」のドイツ語訳が「benutzer」ではなく「gruppen」に誤って設定されている
言語と翻訳	PRB1752932	「view」の日本語訳が正しくない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
言語と翻訳	PRB1769645	sys_ui_message テーブルの Key='new tab {0}' の日本語訳がフランス語で表示される
LDAP 統合	PRB1732031	複数の組織単位定義が同じターゲットテーブルの同じ LDAP サーバーで同じ相対識別名を共有している場合、LDAP リスナーで変更が変換されない
従来のエージェントワークスペース	PRB1512256	選択肢と空の参照テーブルを含む [glide_list] フィールドが機能しない
従来のエージェントワークスペース	PRB1757927	メールページで、created_on 情報の displayValue ではなく値のみが表示される
従来のエージェントワークスペース	PRB1686676	システムプロパティ 「glide.ui.fetch.list.record.count.asynchronously」が true に設定されている場合、関連リストレコードに常に 20 と表示される
従来のエージェントワークスペース	PRB1740656	アクティビティストリームでメールを表示しているときに、ユーザーに「最後の返信をロードしています... (Loading last reply...)」が表示される
従来のエージェントワークスペース	PRB1689053	フォーム GraphQL 要求で [datetime] フィールドに誤った値が入力される
従来のエージェントワークスペース	PRB1719776	ワークスペースでフィールドが最大まで展開されない
従来のエージェントワークスペース	PRB1736226	エージェントワークスペースで、アクティビティストリームにカスタムフィールドのラベル名ではなくバックエンド名が表示される
従来のエージェントワークスペース	PRB1737483	サービスオペレーションワークスペース で、メール以外のユーザーが既にウォッチリストに含まれている場合にウォッチリストに追加されたメールアドレスが、前のユーザーの名前に更新される
従来のエージェントワークスペース	PRB1739512	メールクライアントテンプレートの件名で、「,」を使用した後にスペースが切り捨てられる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
従来のエージェント ワークスペース	PRB1756344	複数行フィールド内のテキストがワークスペースのセクションヘッダーの背後に表示される
従来のエージェント ワークスペース	PRB1769340	ServiceNow のキーボードショートカットが、ノルウェー語の Washington DC のブラウザショートカットと干渉する
従来のワークフロー	PRB1736438	ワークフロープロパティが sys_updated_xxx フィールドを更新することを確認する
ライセンス使用	PRB1725703	Vancouver にアップグレードした後、ソフトウェア資産管理 (SAM) Pro の [ソフトウェアモデル (Software model)] ページ (i) が開かない
ライセンス使用	PRB1717748	ソフトウェア資産ワークスペースで、[上位 5 件のパブリッシャーの調整コスト (Top 5 publishers true-up cost)] ウィジェットが [ライセンス使用状況 (License usage)] タブの [パブリッシャー (Publishers)] ビューのフィルターをロックする
ライフサイクルイベント	PRB1731097	LE ケースをクローズすると、スキップされたアクティビティセットがキャンセルされる
ライフサイクルイベント	PRB1726402	Lifecycle Enterprise スコープでフォームを作成するときに、送信済みと表示されていても、[従業員 (Employee)] フォームに入力されない
リスト管理	PRB1737130	[タグ] 列によるグループ化が sc_req_item テーブルで機能しない
リスト管理	PRB1771202	Washington DC リリースで [リストに改行を挿入 (Put line breaks in lists)] が壊れている
リスト管理	PRB1778664	ワークスペースリストで、問題がないにもかかわらず「rows removed from this list by security constraints (セキュリティ上の制約により、行がこのリストから削除されました)」というエラーがスローされる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
リスト管理	PRB1686235	データベースビューのフォームのページネーションが壊れることがある
リスト管理	PRB1713911	[DateTime] フィールドが display = true に設定されている場合、ユーザーのタイムゾーンが反映されない
リスト管理	PRB1717255	プラットフォームアナリティクスワークスペースのダッシュボードに [すべて表示 (View All)] ボタンが表示されない
リスト管理	PRB1718119	sys_ux_my_list のワークスペースの「OR all of these conditions must be met (または以下の条件をすべて満たす必要があります)」条件により、リストをソートした後に [すべて表示 (Show All)] 機能が中断する
リスト管理	PRB1722284	ユーザーが [リストアクションを非表示 (Hide List Action)] チェックボックスを使用してリストアクションを非表示にできない
リスト管理	PRB1732838	すべてのページでレコードを選択すると、NRLC と [プレゼンテーションリスト (Presentation List)] に 0 レコードが表示される
リスト管理	PRB1735047	フィルターが定義されていない場合、フィルターアイコンに「1」が表示される
リスト管理	PRB1735472	関係レコードの [適用先 (Applies To)] テーブルがデータベースビューにある場合、関連リストが機能しない
リスト管理	PRB1661521	Tab キーと Shift + Tab キーを使用すると、キーボードのフォーカスがフィルターダイアログの外に移動する
リスト管理	PRB1672117	列ヘッダーのその他のオプションリストを呼び出した後、スクリーンリーダー (NVDA) でステータスが [展開/折りたたみ] として通知されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
リスト管理	PRB1685955	[自分のリスト (My Lists)] を並べ替えるときに、選択後に [リスト] セクションが空で表示される
リスト管理	PRB1710753	新しく追加された関連リスト [ユーザーインシデント (User Incidents)] のフィルターの選択肢が、最初のロード時に完全には表示されない
リスト管理	PRB1716453	選択したページネーションリンクの選択インジケターが、必要なコントラスト比を満たしていない
リスト管理	PRB1723111	テーブルにフィルターを適用した後で、スクリーンリーダーがテーブルの情報を読み上げない
リスト管理	PRB1726472	エージェントワークスペースからリストで [リストを更新 (Refresh list)] ボタンを選択したときに、URL が変更され、リストが表示されない
リスト管理	PRB1731560	実行時 ワークスペース リスト > フィルター > デフォルト値を復元、フォーカスは [フィルター] ボタンに戻りません
リスト管理	PRB1732648	構成可能なワークスペースで [タグ] フィールドをリスト編集するときに文字が欠落する
リスト管理	PRB1732961	ワークスペースの [リスト] ビューに正しいコンテンツが表示されない
リスト管理	PRB1733901	[数値 (Number)] フィールドに移動するか検索すると、新しい桁が必要な場合にロールオーバー後に予期せず「greater than (次の値を超える)」クエリが実行される
リスト管理	PRB1735866	ワークスペースでグループ化されたリストのページネーションが正しく機能しない
リスト管理	PRB1736123	ワークスペース/Software Operations Workspace (SOW) から参照フィールドのリストを編集するときに、フィルターの適用後にポップアップモダルが予期せず閉じる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
リスト管理	PRB1736837	ワークスペースで、辞書レコードが非アクティブで [依存先 (Dependent on)] フィールドがある場合でも、このフィールドがインラインリスト編集に表示される
リスト管理	PRB1743222	ユーザーがフィルターメニューからメニューアイテムフォームを選択したときに、スクリーンリーダーユーザーに確認が提供されない
リスト管理	PRB1750095	構成可能なワークスペースで、選択肢フィールドが子テーブルに追加されたときに、リストビューのフィールドのフィルターに選択肢フィールド値が表示されない
リスト管理	PRB1751256	ヘブライ語の UI で [Group by] を使用すると、名前が左揃えになり、矢印が右揃えになる
リスト管理	PRB1751324	スクリーンリーダーの使用時に [すべて選択] チェックボックスが翻訳されない
リスト管理	PRB1752118	サブドメインのリストレイアウトが、親ドメインからリストレイアウトを継承せず、レポートを開くときに sys_ui_list テーブルにエントリを作成する
リスト管理	PRB1767453	[グループ (Group by)] タグリストビューの閲覧数が正確でない
リスト管理	PRB1783350	サービスオペレーションワークスペースで、リスト内を移動するときに [セルフィルター (Cell Filter)] ボタンのヘッダー情報が読み上げられない
リスト管理	PRB1735539	インライン編集で更新が必要になった後に、プレゼンテーションリストの [ハイライト表示される値 (Highlighted Value)] フィールドと [タグ] フィールドが更新されない
リストエディター	PRB1719428	ドラフトのリストで参照値を選択してもユーザーがリダイレクトされず、エラーが発生する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
リストエディター	PRB1720036	ページネーションを呼び出した後、キーボードのフォーカスがページネーションボタンに留まらない
リストフィルター	PRB1731003	リストビューで複数のフィルターが適用されている場合、カレンダーが正しい配置から空白スペースに移動し、フィルターボタンが消える
リストフィルター	PRB1716029	構成可能なワークスペースで動的フィルターの翻訳が機能しない
リストフィルター	PRB1730190	[リスト - フィルターを閉じる (List - Close Filter)] ボタンで、クリアされるフィルターが指定されない
ライブフィード	PRB1655252	@ メンションにより、ユーザーのドメインが切り替えられる
ローカリゼーション フレームワーク	PRB1750438	XTM 翻訳スポークで自動翻訳と自動公開が想定どおりに機能しない
ローカリゼーション フレームワーク	PRB1755925	トピックの翻訳が sys_translated_text テーブル内に存在していても、仮想エージェントトピックが翻訳されない
機械学習 API	PRB1763422	機械学習定義の 1 つである [変更リスク (Change Risk)] ソリューションで、アップグレードされた環境でトレーニングしているときに、「Error while training solution (トレーニングソリューション中にエラーが発生しました)」というエラーが表示される
重大インシデント管理	PRB1717798	スクリプトインクルード 「MIMListActionsUtil」が、ITSM/CMDBの詳細なロールの代わりに ITIL ロールを使用するか、または組み合わせ条件を使用する
重大インシデント管理	PRB1720379	オブジェクト UI ページ「ワークベンチ」が、ITSM/CMDBの詳細なロールの代わりに ITIL ロールを使用するか、または組み合わせ条件を使用する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
重大インシデント管理	PRB1726280	重大なインシデントワークベンチの通信の必須フィールド「*」が赤ではなくグレーで表示される
重大インシデント管理	PRB1745580	「getMIMWorkbenchUrl」メールスクリプトが古いワークベンチにリダイレクトされる
重大インシデント管理	PRB1768365	「Before Insert (挿入前)」ビジネスルールがインシデントテーブルに適用されたときに、[インシデントの事後レポート (PIR) (Post-incident Report (PIR))] フィールドが正しく動作しない
ドキュメント管理	PRB1774735	ドキュメント管理のダイアログボックスでフォーカスが想定どおりに機能しない
メモリ：ヒープ領域	PRB1751913	PDF を生成すると、インスタンスの複数のノードでメモリの問題が発生する
メトリックインテリジェンス (ファミリ)	PRB1742956	「測定基準ビュー (Metrics view)」構成テーブルに、これらの測定基準タイプに対応するアクティブな系列がない場合に編集を禁止するビジネスルールがある
メトリックインテリジェンス (ファミリ)	PRB1728798	「メトリクス」ビューの構成で、ユーザーが CI タイプを選択できません
測定基準	PRB1712256	ジョブ「Metric update events process (測定基準更新イベントプロセス)」は、すべての sys_audit シャードで UNION ALL を実行するハッシュを使用してクエリをトリガーする
Microsoft の調整	PRB1715614	ライセンス不可のインストールで割り当てられたデバイスが StackOverflow 例外を発生させない
Microsoft の調整	PRB1728883	インストールの製品結果がスタンプされない
MID サーバー	PRB1710037	MID サーバーがアップグレードプロセスの開始を放棄しても、最終的に開始した場合、バイナリは削除され、MID サーバーは停止したままになる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
MID サーバー	PRB1759604	ECCSender がサイズ 0 のファイルを送信するループでスタックする
MID サーバー	PRB1730670	App Engine Studio (AES) の復号化に失敗した場合のメッセージのエラーレベルを下げる必要がある
MID サーバー	PRB1729573	シャットダウンプロセス中にプローブがまだ実行されているときに、MID が暗号化キーを早期にクリアする
MID サーバー	PRB1732428	MID が null ポインター例外でエージェントを切断する
MID サーバー	PRB1717409	Amazon Web Services (AWS) のアクセスキー ID とパスワードがローテーションされると、Cyberark 統合によるディスカバリーが機能しません
MID サーバー	PRB1725231	同じ証明書が 2 回追加されている場合、MID サーバーのトラストストアの移行に失敗し、統合が機能停止する
MID サーバー	PRB1746470	信頼ストア/cacerts に完全な証明書を追加した後でも、オンライン証明書ステータスプロトコル (OCSP) 失効チェックがエンドポイントで失敗する
MID サーバー	PRB1757421	最初の試行でファイルがロックされ、次の試行で解放された場合、バックアップを実行できない
MID サーバー	PRB1707413	MID 上に ACC-F に関連する 2 つのパラメーターがあり、更新の場合は再起動が必要になる
MID サーバー	PRB1710122	パターンプラグイン v1.8 で AWS 認証情報ディスカバリーが失敗する
MID サーバー	PRB1715027	Utah 以降、CyberArk の config.xml を更新すると赤いバーメッセージが表示される
MID サーバー	PRB1728569	「mTLS」が構成されている場合、ディスカバリー中に MID サーバーが再起動する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
MID サーバー	PRB1743685	SNCSSH は ED25519 をサポートしていないため、鍵交換中に不具合が発生する
MID サーバー	PRB1749975	Windows インストーラーでグループ管理サービスアカウント (gMSA) を使用して MID サーバーをインストールできない
MID サーバー	PRB1750910	同じ名前の 2 つの MID サーバー JAR ファイルをアップロードすると、ファイルの削除と置換が無限ループになり、Windows ですべての MID サーバーがオフラインになる
MID サーバー	PRB1757228	MID サーバーで、MID サーバーがアサインされていない状態でレコードが生成される
MID サーバー	PRB1758560	Kubernetes によって再インスタンス化された後に、コンテナ化された MID サーバーが再起動しない
モバイルプラットフォーム	PRB1693840	参照タイプの入力を持つパラメーター化された画面では、参照リストがロードされない
モバイルプラットフォーム	PRB1717693	[未アサインのインシデント] リストアプレットが Agent Mobile アプリにロードされない
モバイルプラットフォーム	PRB1728314	「アンケート」サーベイで、ブール型変数がモバイルで機能しない
モバイルプラットフォーム	PRB1736727	glide.sys.default.tz プロパティでカスタム値が設定されている場合、モバイルエージェントアプリに通知と [設定] タブのみが表示される
モバイルプラットフォーム	PRB1763577	Mobile Publishing の場合、ServiceNow インスタンスの assetlinks.json ファイルをサポートする必要がある
モバイルプラットフォーム	PRB1640755	オフラインモードでリスト画面レコードをフィルタリングしても、関連するすべてのレコードが見つからない
モバイルプラットフォーム	PRB1673307	画面の依存関係を改善して、必要な入力変数パラメーターマップのみを追加

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
モバイルプラットフォーム	PRB1711983	「モバイルカラーデフォルト」 UX スタイルはグローバルスコープで作成されるため、編集可能である
モバイルプラットフォーム	PRB1714394	Now Mobile アプリでスロットを変更すると、Walk-up 予約エラーが発生する
モバイルプラットフォーム	PRB1716091	入力フォーム画面の [詳細 (Advanced)] がオフの場合、各入力が ID をページに追加せずに独自のページ/セクションとして渡されるため、空のページ ID が発生する
モバイルプラットフォーム	PRB1721387	入力フォーム画面のリストには、レコードテーブルだけでなく子テーブルからの選択肢も表示されるため、プラットフォームの動作とは異なる
モバイルプラットフォーム	PRB1721417	ユーザーが sys_sg_write_back_action_step テーブルのスクリプトエディターで編集できない
モバイルプラットフォーム	PRB1733689	sys_sg_screen_field が正しく構成されていないと、モバイルアプリがロードされない
モバイルプラットフォーム	PRB1734915	sys_translated の文字制限により、「SG Media」セクションのテキストが 255 文字を超えると切り捨てられる
モバイルプラットフォーム	PRB1737086	[sys_sg_input] フィールドの構成ミスにより、エージェントアプリでオフラインモードが機能せず、null ポインター例外が発生し、オフラインペイロードを構成できない
モバイルプラットフォーム	PRB1739817	モバイル UI ルールの条件で使用される場合、GPS 座標変数が常に空になる
モバイルプラットフォーム	PRB1739867	iOS ブラウザーを使用している場合、ユーザーがナレッジベース記事にフラグを設定できない
モバイルプラットフォーム	PRB1742032	iOS と Android の両方で、モバイルカレンダーに PTO 開始日の前日が表示される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
モバイルプラットフォーム	PRB1742243	参照フィールドの場合、「starts with (次で始まる)」条件が想定どおりに機能しない
モバイルプラットフォーム	PRB1744438	アプレットに [アイコンの画像 (Image in Icon)] セクションを使用すると、ベースインスタンスの推奨サイズを使用しても、アプレットがゆがんで表示される
モバイルプラットフォーム	PRB1747793	パラメーターのあるスクリプト化されたデータアイテムまたは宣言データアイテムのアイテムリストが順序付けられていない
モバイルプラットフォーム	PRB1762289	モバイルクライアントスクリプト「genAUtills.ts」が原因でバイル UI ルールが失敗する
モバイルプラットフォーム	PRB1774419	自動入力複数選択入力パラメーターに問題がある
マルチファクター認証 (MFA)	PRB1734747	マルチファクター認証の「Remember browser (ブラウザを記憶する)」機能がオフになっている場合、ユーザーが FIDO を使用してログインできない
マルチファクター認証 (MFA)	PRB1740829	/validate_multifactor_auth_code.do に表示される [続行 (Continue)] ボタンが翻訳されない
マルチファクター認証 (MFA)	PRB1753034	マルチファクター認証 (MFA) での認証バイパス
マルチファクター認証 (MFA)	PRB1755019	タイムアウト発生後に再度ログインすると、MFA セットアップページ「/multi_factor_auth_setup_page.do」にリダイレクトされる
ネクストエクスペリエンスセンタービル	PRB1731562	[お気に入り削除 (Remove favorite)] モーダルのボタンにアクセス可能な名前がない
ネクストエクスペリエンス履歴メニュー	PRB1743762	[履歴 (History)] タブに移動して開いたときに、JAWS などの支援技術を使用する場合、リスト内のすべての要素が、要素名の一部としてすべての情報とともに読み上げられる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ネクストエクスペリエンス のランディングページ	PRB1744537	「/now/nav/ui/home」にランディングすると、メインの見出し「Review your work」are implemented as <h3>, although some of them are nested both visually and semantically ([作業をレビュー] は実装されていますが、それらのいくつかは視覚的にも意味的にもネストされています)」を除くすべてのセクションの見出しが表示される
ネクストエクスペリエンス UI16 のテーマ作成	PRB1743437	重複排除タスクの修正アクションウィンドウで、[次へ] ボタンがネクストエクスペリエンスのスタイリングを優先しない
ネクストエクスペリエンス UI16 のテーマ作成	PRB1751904	ネクストエクスペリエンス UI でジャーナルリストフィールドのスタイルが正しく設定されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1720035	長時間実行されているトランザクションで [キャンセル] ポップアップが表示されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1755359	Washington DC リリースで、画面をズームアウトした場合でもアプリケーションビルに完全なテーブル名が表示されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1706807	UI16 を使用すると、カスタマイズされた会社のロゴが ID センターページに反映されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1743909	ネクストエクスペリエンスで sys_app_module レコードに 500 エラーの原因となる末尾のスペースがある
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1629109	ネクストエクスペリエンスの使用時にグローバル検索結果ページが言語に翻訳されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1712674	ネクストエクスペリエンス UI で [常に上部ナビゲーションを表示 (Always show top navigation)] がオンになっている場合に、カスタム URL に問題がある
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1754311	Washington インスタンスに「No records to display (表示するレコードはありません)」の画像がない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1597183	予期しないモジュールが、選択した後もナビゲーターで強調表示されたままになる
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1709822	ネクストエクスペリエンスダークテーマにより、プロパティ「glide.ui16.live_forms.enabled」が「false」に設定されている場合、[アクティビティ (フィルター済み) (Activities (filtered))] フィールドのテキストが判読不能になる
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1723742	Vancouver リリースで、ネクストエクスペリエンス UI の受信者フィールドのハイライトが表示されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1728207	ネクストエクスペリエンスランディングページのロードでシステムログがエラーとともにスパムされる
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1740454	[サービスオペレーションワークスペース (Service operations Workspace)] という検索画面から [戻る] ボタンを選択すると、新しいインタラクションまたはインシデントが作成される
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1752326	プラットフォームからグローバル検索に「te %t」を入力すると関連する結果が返されるが、[リストビューに移動 (Go to list view)] を選択すると空白のページが表示される
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1754198	任意のユーザーを代理操作してユーザーのアイコンにカーソルを合わせると、完全なユーザー名を表示するツールヒントが表示されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1630109	ユーザーのプロファイルメニューポップアップから [ページの構成 (Configure Page)] オプションを削除
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1671182	「sn_cmp.cloud_root_admin」ロールを持つユーザーは、レコードの上部にエラーが表示されていてもビジネスルールを構成できる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1709513	glide.ui.polaris. login.logo.height がパーセンテージ値に対して機能しない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1709841	Vancouver でリスト v3 を使用している場合、リスト内の複数のレコードを編集しても、選択したセルがハイライトされない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1715543	ヘッダーセクションのリストマークアップに、ナビゲーションバーに存在するコンテンツ ([すべて]、[お気に入り]、[履歴] など) がない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1715894	上部のナビゲーションでは、セパレーターがスクリーンリーダーによって読み上げられる
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1718433	NVDA が [プレビューを開く (Open Preview)] ボタンを呼び出した後に表示されるモーダルのヘッダーを読み上げない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1722728	通知は異なるソースから取得できるが、同じターゲットが重複排除される
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1727925	ネクストエクスペリエンスを使用している場合、複数の暗号化モジュールへのアクセス権を持つ非アドミンユーザーに、ヘッダーのコンテキストピッカーの「地球」アイコンが表示されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1729720	URL パラメーター sysparm_notification が原因で、[通知設定 (Notification preferences)] ページを含む新しいタブが開く
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1732569	AI 検索 が有効で、ユーザーに [ワークスペース] メニューの表示がない場合に、検索テキストがない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1736838	ネクストエクスペリエンスドメインピッカー検索が想定どおりに機能しない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1743329	[ランディングページの承認 (Landing page approvals)] ウィジェットに、要求アイテムの requested_for 値ではなく opened_by 値が表示される
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1743781	現在選択されている更新セットの通知が、ネクストエクスペリエンス UI が有効になっているインスタンスで表示されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1749880	globalSearchDataConfigId sys_ux_page_property が定義されていないワークスペースは、デフォルトで元の統一ナビゲーション構成になる
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1757088	「contains」条件を使用すると、ユーザー通知設定の [スケジュールの追加/編集 (Add/Edit Schedule)] 内でカーソルのフォーカスが失われる
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1758972	クライアント側で読み取り専用にすると、[通貨 (Currency)] フィールドの境界線が切り取られる
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1761432	ネクストエクスペリエンスで、ドメインのリストがドメインピッカーで入力されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1762435	ServiceNow レコードへのリンクが空のレコードに直接リンクされる
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1763207	[すべて]、[お気に入り]、[履歴] で、「WAI-ARIA ライブリージョン」を使用すべきでない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1768410	Washington では サービスオペレーション ワークスペース (SOW) のタブがわかりにくく、ワークスペース名が表示されない
ネクストエクスペリエンス統一ナビゲーション	PRB1779558	階層全体がオフになっている子を持つドメインが、引き続きドメインピッカーに表示される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
正規化データサービス	PRB1714526	「正規会社を作成」ビジネスルールのデフォルトのログ記録は過剰で断片化されており、デバッグ時以外は役に立たない
通知設定	PRB1723984	[自分の通知設定 (My Notification Preferences)] で空白のページが開く
通知設定	PRB1757886	Firebase トークンの有効期限が切れているユーザーにプッシュ通知を送信しようとする と問題が発生する
通知設定	PRB1721741	[通知設定 (Notification Preferences)] の詳細設定で、カテゴリの翻訳が機能しない
通知設定	PRB1725599	インスタンスにログインした後、ユーザーが [設定 (Preferences)] UI アクションで [通知 (Notifications)] にアクセスしようすると、「Bad Request 400 (400：要求が正しくありません)」が表示される
通知設定	PRB1727713	以前は UI16 で可能だった [通知設定 (Notification Preferences)] コンポーネントで携帯電話番号の検証を使用できない
通知設定	PRB1730698	翻訳された通知の作成が断続的に停止する
通知設定	PRB1731196	フォームの保存後に通知設定フィルターが適用されない
通知設定	PRB1747621	通知のダイジェストバージョンには、特定のレコードを指すウォーターマークが含まれるが、ダイジェストメールが関連付けられているウォーターマークとは限らない
通知設定	PRB1752158	ユーザーがフランス語で通知設定を切り替えようすると、ネクストエクスペリエンス UI で 400 エラーが発生する
通知設定	PRB1762798	通知に SMS 代替がない場合、ユーザーは SMS デバイスをオフに切り替えることができない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
Notify と Twilio Direct の統合	PRB1738058	ユーザーによってキャンペーンとして登録されているデフォルトで作成されたメッセージングサービスが、切断時に削除される
Notify と Twilio Direct の統合	PRB1768557	Twilio の「MSG サービス」に既に追加されている番号が ServiceNow 側に追加されない
Now コードエディター	PRB1715803	コードエディターで初期ロード時に正しい提案が表示されない
Now Experience フレームワーク	PRB1738082	構成可能ワークスペース UI で、[フィールドリスト (Field List)] フィールドタイプの入力フィールドが応答しないか更新されない
NowMQ	PRB1759010	1 つのノードがいっぱいになると、他のノードにイベントが再配布される
Now Platform セキュリティ	PRB1484329	インスタンスに多くの sys_user_roles があるため、[ロール] フィールドを含むフォームのロードに非常に時間がかかる
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1712249	エラーメッセージが選択した言語に翻訳されない
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1725963	UI16 を使用している場合、フィルター基準セクションに垂直スクロールバーが表示されない
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1732775	カスタマーサービス管理 (CSM) の構成可能ワークスペースを開いたときに、プラットフォームの [戻る] ボタンによるナビゲーションスタックを変更する必要がある
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1739774	Windows のハイコントラストモードのヘッダーの背景が黒にならない
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1745233	ネクストエクスペリエンス UI をオンにすると、KB 記事の [お気に入りの作成 (Create Favorites)] ブックマークの動作が異なる
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1750313	PageTimingProcessor の競合状態で、ログに「SEVERE ***ERROR***」メッセージが生成されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1753893	UI16 Magellan Navigator の [お気に入り] リストに、スクリーンリーダーで読み上げられないネストされたインタラクティブ要素がある
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1769604	com.glide.script sys_properties テーブルの「Update multiple experience flag (複数のエクスペリエンスフラグを更新)」ビジネスルールに RhinoEcmaError 例外が発生する
オンコールスケジューリング	PRB1747212	オンコールワークフローがタイマーアクティビティでエラーなしで断続的にキャンセルされる
オンコールスケジューリング	PRB1729558	テーブルの canRead チェックで非グローバルスコープからエラーがスローされる
オンコールスケジューリング	PRB1737415	テーブル on_call_escalations のレコードが正確に更新されない
オンコールスケジューリング	PRB1712083	「エスカレーション」の日次データジョブ収集で、タスク以外のソースを処理すると、スクリプト化されたブレイクダウンマッピングが原因でエラーが生成される
オンコールスケジューリング	PRB1728370	[オンコールのスケジュールの作成/編集 (On-call Create/Edit Schedule)] (ウィザード) ページが正しく表示されない
オンコールスケジューリング	PRB1749524	すべての SMS 要求に対する notify.getPhoneNumbers() の使用を削除
オンコールスケジューリング	PRB1712151	「オンコール」モジュールが、夏時間が発生する 11/5/23 のシフトをカバーすることができない
オンコールスケジューリング	PRB1724115	ユーザーが入力プロンプトの前に「1」を押すと、アサインの入力がキャプチャされない
オンコールスケジューリング	PRB1725818	SMS を介したエスカレーション確認が失敗する
オンコールスケジューリング	PRB1725934	クライアントスクリプトがトリガールールにエラーを表示する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
オンコールスケジューリング	PRB1729096	エスカレーションセットを「デフォルト」に更新できない
オンコールスケジューリング	PRB1732504	オンコールスケジューリングで、プライマリシフトのギャップが 1 つあると、チーム全体のプライマリエスカレーションステップが想定どおりに機能しない
オンコールスケジューリング	PRB1735689	オンコールスケジューリングのギャップがあっても、シフト表にはカバー済みとして表示される
オンコールスケジューリング	PRB1736907	別のドメインで作成されたユーザーのオンコール通知設定が、オンコールエスカレーション中に反映されない
オンコールスケジューリング	PRB1744098	スケジュールレポートに開始時間と終了時間が誤って表示され、以前に選択したグループが表示される
オンコールスケジューリング	PRB1765309	Asia/Kuala_Lumpur タイムゾーンの終了時刻の 30 分前に、ユーザーのオンコール設定が想定どおりに反映されない
オンコールスケジューリング	PRB1773982	rota_admin/rota_manager を持つユーザーが、非アクティブなユーザーを表示できないため、ドキュメントに記載されている [メンバーを削除 (Remove member)] 機能を使用できない
Oracle 調整	PRB1759697	エンタイトルメントのアクティブなメンテナンスが true に設定されている場合、調整に失敗する
オーケストレーション	PRB1760522	JDBC プローブがオーケストレーションから機能しない
オーケストレーション	PRB1718427	MID サーバプロパティ mid.property.jms.command.allowed_factory_names に、「topicConnectionFactory」というスペルミスのある値が含まれている
送信 REST Web サービス	PRB1698360	OCSP チェックが失敗すると、プラットフォームが送信接続の誤ったメッセージをログに記録する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
パスワードリセット	PRB1727878	ユーザーが無効なユーザーを入力した場合、「Unlock Account (アカウントのロック解除)」または「Reset Password (パスワードのリセット)」 テンプレートトピックを含む仮想エージェントの会話がスタックする
パスワードリセット	PRB1728532	[パスワードリセット概要 (Password Reset Overview)] ページの [パスワードリセット - 検証失敗 (過去 7 日間) (Password Reset - Failed Verifications (last 7 days))] に「No data to display (表示するデータがありません)」とのみ表示される
パスワードリセット	PRB1734426	認証情報ストアのパスワードルールヒントフィールドが空の場合、[パスワードのリセット (Reset Password)] ページにパスワードルールのヒントが表示されない
パフォーマンスアナリティクス	PRB1754203	移行されたレポートデータの可視化で「Created by (作成者)」情報が所有者に移行されない
パフォーマンスアナリティクス	PRB1732426	スナップショットの収集中に com.snc.pa.dc.max_records プロパティが上書きされる
パフォーマンスアナリティクス	PRB1493147	TimeSeries ウィジェットが複数のブレイクダウン要素とともに適用されている場合、X 軸ラベルが週番号とともに表示されない
パフォーマンスアナリティクス	PRB1739870	Washington DC アップグレード後のプラットフォームアナリティクスの移行に関する問題
パフォーマンスアナリティクス	PRB1760487	パフォーマンスアナリティクス (PA) スコアの移行により、pa_snapshots にレコードの奇妙なサブセットが含まれる
パフォーマンスアナリティクス	PRB1716114	パフォーマンスアナリティクスとレポート (PAR) ダッシュボードがドメインスコープ外に表示される
パフォーマンスアナリティクス	PRB1759358	ホームページ廃止ツール API がビューのないホームページを無視する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
パフォーマンスアナリティクス	PRB1715188	pa_dashboard の [色 (Color)] フィールドのディクショナリのデフォルト値が、アップグレードインスタンスで想定どおりに削除されない
パフォーマンスアナリティクス	PRB1721739	パフォーマンスアナリティクスで、[管理コンソール (Admin console)] ダッシュボードタブのレコードがロードされない
パフォーマンスアナリティクス	PRB1725535	パフォーマンスアナリティクスの [インジケーター (Indicators)] フィールドラベルがダークモードで表示されない
パフォーマンスアナリティクス	PRB1738638	重複 API はトップレイアウトが常に存在することを想定しているが、そうでない場合もある
パフォーマンスアナリティクス	PRB1744336	インジケーターの単位が「時間」の場合、インジケータースコアカードの可視化に以前のスコアのデータが表示されない
パフォーマンスアナリティクス	PRB1749825	ダッシュボードレベルのグループ/ロール/ユーザー権限が一括移行中に移行されない
パフォーマンスアナリティクス	PRB1755501	「Embed PNG (PNG を埋め込む)」タイプのスケジュール済みエクスポートが機能しない
パフォーマンスアナリティクス	PRB1764014	パフォーマンスアナリティクスの Task.Location ブレークダウンに、タイムアウトの原因となる可能性のある潜在的なスクリプトの再帰がある
パフォーマンスアナリティクス	PRB1775894	HSQL データコレクターで、スクリプトインジケーターの [個別のカウント (COUNT DISTINCT)] のスコア計算に誤りがある
パフォーマンスアナリティクス API	PRB1733050	エージェントワークスペースホームページの単一スコアコンポーネントが正しく変更されない
パフォーマンスアナリティクス API	PRB1732023	target_color_scheme レコードの色値の変更がスコアカード API に反映されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
パフォーマンスアナリティクスダッシュボード	PRB1690620	インタラクティブフィルターの [すべて] チェックボックスが想定どおりに機能しない
パフォーマンスアナリティクスダッシュボード	PRB1722196	キーボードからタブにアクセスできない
パフォーマンスアナリティクスダッシュボード	PRB1730655	削除されたフィルター値が、ダッシュボードの可視化で保持される
パフォーマンスアナリティクスダッシュボード	PRB1751347	インスタンスでネクストエクスペリエンスをオフにすると、ホームページに「now/platform-analytics-workspace/dashboard-library」が強制的に表示される
パフォーマンスアナリティクスダッシュボード	PRB1774493	レポートをダークテーマの PNG/JPEG として保存すると、ダウンロードしたファイルのテキストが薄いグレーで表示される
パフォーマンスアナリティクス診断	PRB1719297	パフォーマンスアナリティクス (PA) スクリプトにフィールドが含まれていない場合、診断で「com.glide.script .RhinoEcmaError: Cannot convert null to an object (nullをオブジェクトに変換できません)」例外が発生する
パフォーマンスアナリティクスウィジェット	PRB1761413	「pa-ui」コンポーネントの新しいバージョンがリリースされても、クライアントブラウザーで更新されない
パフォーマンスダッシュボード	PRB1747942	パフォーマンスダッシュボードのグラフが空白になる (ガベージコレクションアクティビティとメタスペース)
プラットフォームラントタイム	PRB1712454	cache_nature_id 内のコロンが XMLStats を壊し、エラーをスローする
プラットフォームラントタイム	PRB1764334	自動プラグインアクティベーションによって一部のプラグインをアクティブ化したときに、一部のファイルが消費されない
プラットフォームラントタイム	PRB1742590	sys_status レコードの名前にコロンが含まれていると、xmlstats.do を解析できない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
プラットフォームラ ンタイム	PRB1752341	クローズタイムアウト時のスレッドの生成により、ノードの復旧が遅れる可能性がある
ポータルアプリシェ ル	PRB1660512	UI ビルダーで Chrome ヘッダーから完全一 致キーワード検索が機能しない
予測インテリジェン ス	PRB1612544	[行数の計算 (Calculate Row Count)] ビジネ スルールが、セカンダリデータベースにオフ ロードできる遅いクエリをトリガーする
予測インテリジェン ス	PRB1629897	ユーザーがキーワードのフィルター条件を含 む分類ソリューション定義をトレーニングで きない
予測インテリジェン ス	PRB1646823	システムクリーンアップフェーズ 1 で、デー タ保持ポリシーの採用が開始される
予測インテリジェン ス	PRB1689172	予測インテリジェンスで、クラスタリング の詳細を挿入すると「no summary found for (次のサマリーが見つかりません)」とい う Dx_C_ML エラーが発生する
予測インテリジェン ス	PRB1756981	サーバー側のコードで は、sysevent_script_action に対して GlideRecord.getRowCount() の代わりに GlideAggregate を使用する必要がある
ケース管理の予測イ ンテリジェンス	PRB1744081	CSMPredictionHelper 拡張ポイントを使用 すると、予測のカスタマーサービス管理 (CSM) カスタムテーブルとソリューション が見つからない
ナレッジ管理の予測 インテリジェンス	PRB1783818	[関連記事 (Related Article)] ウィジェット に [ナレッジ類似記事 (Knowledge Similar Articles)] ソリューションのナレッジ記事が 表示されない
プロアクティブアナ リティクス	PRB1769634	相関分析の sys_log エラーメッセージに、値 の代わりに変数名が表示される
問題管理	PRB1716410	受信メールアクション [問題の更新 (Update Problem)] で、ITSM/CMDB の詳細なロー ルの代わりに ITIL ロールを使用するか、ま たは組み合わせ条件を使用する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
問題管理	PRB1739264	英語以外の言語が選択されている場合、問題と問題タスクの「closed_at」のフィールドラベルが一致しない
問題管理	PRB1740981	サービスオペレーションワークスペース (SOW) の問題ラベルのローカリゼーションに問題がある
問題管理	PRB1746566	インシデントから作成された変更要求がキャンセルされると、problem.fixes イベントがトリガーされる
プロセスオートメーションデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1731083	リモート更新セットをプレビューしたときに false エラーが発生する
プロセスオートメーションデザイナー (ファミリチャネル)	PRB1751565	プレイブックを含む既存のレコードに、アップグレード後に構成エラーが表示される
プロセスマイニング	PRB1724052	述語「is one of」を含むコンテキスト条件を使用した移行で、スケジュールされたタスクマイニングが失敗する
プロセスマイニング	PRB1733621	新しいカスタム「開始停止」条件を作成するか、既存のカスタム「開始停止」条件を変更しても、プロジェクトがダーティとして設定されない
プロセスマイニング	PRB1740197	実際のスケジュールタスクの完了中に ExecutionTracker がタイムアウトすると、ユーザーは同じ条件のスケジュールタスクを作成できず、結果が存在しても結果が表示されない
プロセスマイニング	PRB1745642	準本番/オープンインスタンスのライセンスの確認
プロセスマイニング	PRB1745780	ルールの検証検索でタイムアウトが発生する可能性がある
調達	PRB1692608	POL の簡単な説明に特殊文字が含まれていると、資産注文が [受領済み (Received)] ステータスに移行できない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
調達	PRB1756804	「Transfer order Line SM core (転送注文ライン SM コア)」ワークフローが原因で、「Push Status to Asset/Consumable (資産/消耗品の状態を移動させる)」ビジネスルールの転送注文ラインステージ処理に問題がある
プロジェクト管理	PRB1581610	プロジェクトワークスペースで、終了予定日が状況に応じて更新されない
プロジェクト管理	PRB1758365	リソース計画関連リストの [非表示/表示 (Hide/Show)], [管理 (Manage)], および [新規 (New)] ボタンに問題がある
プロジェクト管理	PRB1642449	プログラムワークベンチのデータのフェッチ中にエラーが発生する
プロジェクト管理	PRB1711601	fm_expense_line のフィールド
プロジェクト管理	PRB1711834	プロジェクト計画立案コンソールで、開始日が空になっているプロジェクトをコピーできない
プロジェクト管理	PRB1727258	プロジェクトの関連リストで [編集 (Edit)] ボタンを選択した後、コンテンツがロードされない
プロジェクト管理	PRB1753033	サブタスクから計画立案コンソールまたはプロジェクトワークスペースを介してクローズしたプロジェクトで、 [closed_at] フィールドと [close_by] フィールドが更新されない
プロジェクト管理	PRB1711296	ユーザーは、クラシック UI からアジャイルフェーズレコードのプロジェクトタスクを作成することはできないが、プロジェクトワークスペースでは作成できる
プロジェクト管理	PRB1714424	ビジネスステークホルダーが、プロジェクトステータスレポートでリスク、問題、ディシジョン、アクション、または変更要求 (RIDAC) を表示できない
プロジェクト管理	PRB1715240	ネクストエクスペリエンスで、関連リストフィルターを変更した後に [プログラムワー

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		クベンチ (Program Workbench)] リンクを選択すると 404 エラーが発生する
プロジェクト管理	PRB1715879	ユーザーがインスタンスに辞書を持っていないにもかかわらず、ACL 条件で「is_labor_cost_plan」のスクリプトチェックが行われる
プロジェクト管理	PRB1722933	計画立案コンソールのカスタム列に [未定義 (Undefined)] が表示される
プロジェクト管理	PRB1724020	CSMProjectDomainSeparationUtils に JSUtil のグローバル修飾子がない
プロジェクト管理	PRB1724938	ユーザーが列レベルの ACL を持っている場合、クラシックプロジェクトワークスペースがロードされない
プロジェクト管理	PRB1725974	ユーザーが子プロジェクトタスクをクローズすると、[プログラムの終了予定日 (Program Planned End Date)] が誤って計算される
プロジェクト管理	PRB1727831	[利益計画明細 (Monetary Benefit Plan Breakdowns)] の [入力通貨での利益 (Entered benefit)] の値を変更すると、重複する監査が作成される
プロジェクト管理	PRB1728048	プロジェクトワークスペースの [リスク、問題、ディシジョン、アクション、または変更要求 (RIDAC) (Risk, Issue, Decision, Action, or Request Change (RIDAC))] ビューにリスクレコードが表示されない
プロジェクト管理	PRB1729864	プロジェクトタスクの開始日を変更すると、「The task start date cannot be earlier than the predecessor's end date (タスク開始日を先行処理の終了日以前にすることはできません)」というエラーがスローされる
プロジェクト管理	PRB1731897	親タスクのマイルストーンレコードの下に期間のあるサブタスクを作成しても、親タスクレコードの [主要マイルストーン (Key milestone)] がオフのままになる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
プロジェクト管理	PRB1732061	「InvstFunding RequestClientBase」 UI スクリプトにセミコロンがないと問題が発生する
プロジェクト管理	PRB1732300	[コスト計画ブレイクダウン (Cost plan breakdown)]レコードの [entered_currency] フィールドが空に設定される
プロジェクト管理	PRB1732469	プロジェクトの [アジャイル計画と追跡 (Agile Planning and Tracking)] リンクから プログラムタブが正しく表示されない
プロジェクト管理	PRB1732568	プロジェクトステータスレポートの縦向きモードで長い段落を表示する際の PDF 書式設定の問題
プロジェクト管理	PRB1735526	プロジェクトワークスペースの [構成 (Configuration)] 列にスペルミスがある
プロジェクト管理	PRB1739943	[プロジェクト移動 (Move Project)] UI アクションが想定どおりに機能しない
プロジェクト管理	PRB1746714	ストーリーがクローズ済みプロジェクトに関連付けられていない場合、プロジェクトが再オープンされる
プロジェクト管理	PRB1749505	従業員サービスセンター (ESC) ポータルで pm_project_task を変更できず、ベースインスタンス onSubmit クライアントスクリプト「Complete Agile phase (アジャイルフェーズの完了)」が原因で [保存] ボタンが応答しない
プロジェクト管理	PRB1749859	プロジェクトのスケジュールのスケジュールエントリが原因で、期間から日付が正しく計算されないことがある
プロジェクト管理	PRB1750798	チームスペーステーブルの sn_ppm_read ロールにアクセスできない
プロジェクト管理	PRB1752174	関数呼び出しのフィールドでドット連結を行うため、

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		「PercentCompleteRollupHandler」の実行に時間がかかる
プロジェクト管理	PRB1755315	[スケジュール外の日付を許可 (Allow dates outside schedule)] チェックボックスが選択されている場合、[実際の期間 (Actual Duration)] プロジェクトが予期しない動作になる
プロジェクト管理	PRB1755801	ユーザーが UI アクションによってバックログに追加され、[表示対象 (Visible to)] リストに複数回追加される
プロジェクト管理	PRB1761595	テンプレートの作成で [新規テンプレートとして保存 (Save as new template)] が失敗した
プロジェクト管理	PRB1768915	[デマンド (Demand)] UI アクションの移行
プロジェクトポートフォリオ管理	PRB1591115	プロジェクトフォームにサブプロジェクトをロードするのに 2 分以上かかる
Record Watcher	PRB1742660	「Slow Queries (遅いクエリ)」によると、Record Watcher のクリーンアップクエリが合計 DB 時間の最大 15% を占める
関連リスト	PRB1716667	ネクストエクスペリエンスの階層リストで子レコードの UI アクションが右側に揃えられる
関連リスト	PRB1748522	[契約 - 連絡先 (Contract - Contact)] の関連リストの [編集] ボタンに、ユーザー名ではなく Sys ID のみが表示される
リリース管理	PRB1777399	「release_v2_admin」ロールに「release_v2_user」ロールが含まれていない
Remote Process Synchronization (ファミリーリリース)	PRB1734587	リモートプロセス同期の [相関ステータスを更新 (Update Correlation State)] アクションで、ステータスが無効な値に更新される
更新カレンダー	PRB1714202	ロードマップコンポーネント内のフォームコンポーネントで [セクションへのジャンプナ

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		ビゲーター (Jump to section navigator)] が機能しない
更新カレンダー	PRB1748516	更新カレンダーのエンタイトルメントと契約のリストビューで active = true の不要なフィルターがある
レポート	PRB1736998	ダッシュボードでレポートをドリルダウンしてもツールヒントのテキストが消えない
レポート	PRB1743283	週の最初の日のプロパティを修正したときに、レポートデータラベルとレポート結果の間で一貫性のない傾向結果が観察される
レポート	PRB1762400	フランス語に翻訳すると、「時系列」タイプのレポートでエラーが生成される
レポート	PRB1554166	リストレポートが [選択肢 (Choice)] フィールドでグループ化されている場合に、リストビューでグループを開くと、余分なフィルターが追加される
レポート	PRB1730161	ヘブライ語とアラビア語の PDF ファイルでデータテーブルのグリッド列がミラーリングされない
レポート	PRB1733795	システムプロパティ glide.ui.escape_text が false の場合、または削除されている場合、ユーザーはレポートを開いたり作成したりできない
レポート	PRB1742675	構成可能なワークスペースのデータ可視化で「empty」という単語が翻訳されない
要求管理	PRB1734807	要求アイテムフォームの関連リスト内のカタログタスクの [新規] ボタンが常に表示される
リソース管理	PRB1741778	RA の同期時にエラーが表示される
リソース管理	PRB1724290	リソース計画の終了日が「フォーム」ビューから正しく入力されない
リソース管理	PRB1730205	運用リソース計画が割り当て後に更新された場合、「task (タスク)」および

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		「top_task」 リソース割り当て日次レコードが「undefined (未定義)」に設定される
リソース管理	PRB1733111	経費ラインブレイクダウンの時間と比較して、resource_aggregate_monthly テーブルの月次実績データが正しくない
リソース管理	PRB1736328	英語以外の言語を使用している場合、[リソース (Resource)] レポートの説明に予期されていない単位が表示される
リソース管理	PRB1738670	リソース計画が確認された直後に割り当てられると、resource_aggregate_weekly で可用性が正しく更新されない
リソース管理	PRB1739888	割り当てワークベンチで割り当ての詳細を計算するときにユーザーのタイムゾーンが考慮されないため、割り当てワークベンチで「FTE」が異なる方法で計算される
リソース管理	PRB1744509	タイムカードがプロジェクト関連のリソース計画に誤って関連付けられる
リソース管理	PRB1757925	関連リストを介してリソース計画の [作成者 (Created by)] フィールドで [この値で絞り込み (Show Matching)] 操作を実行する場合、[選択した行でアクションを実行... (Action on selected rows...)] オプションでステータスを [完了] に移行しようとしたときに、「Invalid Resource Plan ID (無効なリソース計画 ID)」というエラーメッセージが表示される
リソース管理	PRB1759244	RMUtil.getTaskSubTreeRootDataFromRP が getLocalDate() の代わりに getDate() を使用する
REST API エクスプローラー	PRB1744904	rest_api_explorer ロールを持つユーザーが REST API エクスプローラーにアクセスできない
REST API	PRB1753606	挿入と更新の参照フィールドを解決するテーブル API 要求に対して追加のクエリが発行され、トランザクションタイムアウトが発生する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
RESTMessageV2 API	PRB1734419	Cloud Provisioning and Governance (CPG) カタログは、以下からトリガーされると複数回トリガーされる ビジネスルール > REST メッセージ
制限付き発信者アクセス (RCA)	PRB1746226	スクリプトインクルードが既に含まれている場合でも、制限付きの発信者アクセス (RCA) をオンにする必要がある
強力な変換エンジン (RTE)	PRB1725594	コレクションの最初のオブジェクトに完全なスキーマ構造がない場合、強力な変換エンジン (RTE) インデックスに範囲外例外が発生する
ロールバックおよび復旧	PRB1755024	「ロールバック」が有効になっている削除操作で一括「DELETE FROM (削除)」 sys_rollback_sequence がトリガーされ、レプリケーション遅延が発生する
ロールバックおよび復旧	PRB1543140	ログインしているユーザーのドメインがドメインピッカーの選択と一致しない場合、ATF テストでレコードがロールバックされない
ロールバックおよび復旧	PRB1742336	インスタンスのプロビジョニング時に重複する「Clean Expired Rollback Contexts (期限切れロールバックコンテキストの消去)」 sys_trigger レコードが作成される
ロールバックおよび復旧	PRB1731832	バックグラウンドスクリプトで GlideMultipleDelete を使用して CMDB (cmdb_ci) レコードを削除したときに、CMDB 子テーブルに固有のフィールドからデータが正常に復元されない
ロールバックコンテキスト	PRB1706257	多数のレコードを含むロールバックで大規模な削除クエリがトリガーされ、レプリケーション遅延が発生する
スケジュールカレンダー	PRB1776450	ユーザーがシステムプロパティ (glide.sys.date_format) を dd-MMM-yyyy に更新すると、スケジュールカレンダーに月が正しく表示されない
スケジュール済みジョブ	PRB1723650	接続の問題またはノードの再起動により、スケジュール済みジョブが実行中状態のままに

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		なっているため、リセットする必要があります
スケジュール済み ジョブ	PRB1709703	クローン後、一度に実行されるのは、インスタンスごとに 1 つのテキストインデックスジョブのみになる必要があるにもかかわらず、複数のテキストインデックスジョブが実行される
スケジュール済み ジョブ	PRB1729518	sys_auto エラーメッセージの「Restrict non-admin on Run-As field」ビジネスルールがユーザーに表示されません
スケジュール済み ジョブ	PRB1734625	浮動タイムゾーンのビジネスカレンダーで DST が考慮されない
スケジュール済み ジョブ	PRB1708724	「アーカイブ」ジョブは 1 時間ごとに 1 つの「再アーカイブ」ジョブをスケジュールするため、1 つのジョブが長時間実行された場合に、スケジューラーの競合が発生する
スケジュール済み ジョブ	PRB1771051	再スケジューラーの再始動中にジョブが 2 回実行される
スケジュール済み ジョブ	PRB1782901	[ジョブ分類 (Job classification)] 列のカーディナリティが高いと、SchedulerThread の StackOverflowError が原因でスケジュール済みジョブが処理されないことがある
スケジュール	PRB1717977	シフトが翌日の 8:30:00 から 08:29:59 まで開始された場合、オンコールカレンダーが正しく表示されない
スケジュール	PRB1724036	システムスケジューラーで、[スケジュールを表示 (Show Schedule)] ページが完全にハードコードされている
スケジュール	PRB1746190	「ALL DAY (終日)」とマークされていないスケジュールエントリ (cmn_schedule_span) が、読み取り専用モードでタイムゾーンを変更する
スケジュール	PRB1758236	[終了 (To)] フィールドと [繰り返し期限 (Repeat until)] フィールドに特定の日付を入力したときに、ノードが再起動する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
スクリプトインクルード	PRB1731369	スクリプトインクルードを呼び出すときに、参照フィールドのデフォルト値の設定に失敗する
セカンダリデータベース管理	PRB1754273	キー管理フレームワーク (KMF) を早期に使用しようとする、ゲートウェイパスワードの復号化に失敗する
Seismic フレームワーク	PRB1751888	キャッシュ無効化は、UxPageProcessor を介してルーティングされたページでは発生しない
Seismic フレームワーク	PRB1752772	ユーザーがインスタンス固有のリンクを選択したときに、SSO 経由で認証される前に、インスタンスが /welcome.do または /session_timeout.do にリダイレクトされる
Seismic フレームワーク	PRB1783295	Vancouver から Washington にアップグレードした後、空のサービスオペレーションワークスペースインシデントフォームが表示される
サーバーサイドスクリプト	PRB1777353	「for」ループでマップ反復子を使用してスクリプトをコンパイルする際に問題が発生する
サーバーサイドスクリプト	PRB1714731	Utah から Vancouver にアップグレードした後、GlideRecord.getElement().getDisplayValue() がユーザーのロケール設定を優先しない
サーバーサイドスクリプト	PRB1754391	Scope.isVSScope() が、内部 Servicenow スコープを誤って ISV スコープとしてマークする
サーバーサイドスクリプト	PRB1653850	「this」オブジェクトを参照すると、スクリプトデバッガーがエラーをスローする
サーバーサイドスクリプト	PRB1692959	最初の引数をベースとして扱うため、Number.prototype.toLocaleString が失敗する
サーバーサイドスクリプト	PRB1715580	GlideRecord API が整数 addOrCondition() 値を 10 進数として不適切に渡す

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サーバーサイドスクリプト	PRB1717170	サードパーティの依存関係をモジュールにインストールし、それをスクリプトで要求すると、JVM がクラッシュする
サーバーサイドスクリプト	PRB1730509	Firefox で、バックグラウンドスクリプトを実行した後、ブラウザの [戻る] ボタンでスクリプトページに戻らない
サーバーサイドスクリプト	PRB1737150	JavaScriptGenerator の関連リスト条件にエンコードクエリが必要か、null ポインター例外が生成される
サービスカタログ	PRB1737649	スケジュール済みジョブ「Set VA Supported Flag (VA サポートフラグの設定)」によるパフォーマンスへの影響が顕著
サービスカタログ	PRB1752131	外部ユーザーがカタログアイテム macroponent に添付ファイルを追加できない
サービスカタログ	PRB1729616	サービスカタログ注文を送信するときに、「Thank you, your request has been submitted (ありがとうございました。要求が送信されました)」というメッセージがスクリーンリーダーによって読み上げられない
サービスカタログ	PRB1736019	[カタログアイテム (Catalog Item)] 画面の [翻訳を編集 (Edit Translations)] ボタンで行われたフィールド翻訳の更新が、サービスポータルに表示されない
サービスカタログ	PRB1743369	キャッシュに保存されている繰り返しの頻度が古い
サービスカタログ	PRB1658678	ポータルのカタログアイテム画像がドメイン分離インスタンスに表示されない
サービスカタログ	PRB1720343	ユーザー基準キャッシュが、サブスクリプションを含むカタログアイテムのすべてのノードで一貫していない
サービスカタログ	PRB1734166	ローカリゼーションフレームワークはグローバルスコープで翻訳を公開するが、アーティファクトレコードは別のスコープで作成される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サービスカタログ	PRB1751251	サービスカタログフォームに添付したときに添付ファイルが表示されなくなる
サービスカタログ	PRB1757001	[チケットアクション (Ticket Action)] ウィジェットをカスタマイズできない
サービスカタログ	PRB1515076	ポータルで、参照フィールドリストの通貨記号が表示されない
サービスカタログ	PRB1671988	スクリーンリーダーがコンボボックス [タイトルサイズ (Title size)] のラベル名を読み上げない
サービスカタログ	PRB1710997	子ノードを持つ sc_category アイテムがリストの配置を誤って報告する
サービスカタログ	PRB1720309	要求サマリーコンテンツがプログラムによってマークアップされない
サービスカタログ	PRB1720615	リンクのビジュアルテキストがプログラムによってコンポーネントに関連付けられない
サービスカタログ	PRB1726998	[人事カタログ管理 (Manage HR Catalog)] のカテゴリセクターの [閉じる] アイコンが機能しない
サービスカタログ	PRB1733864	コピー要求が「in」変数の要求をコピーしない
サービスカタログ	PRB1735197	一部のサービスカタログ変数のフィールドの翻訳がコピーされない
サービスカタログ	PRB1735254	ウィッシュリストからカタログアイテムを開いても変数セット内の変数を更新できない
サービスカタログ	PRB1736674	サービススクリプトを介したチェックボックスの読み取り専用および可視化の設定が正しくない
サービスカタログ	PRB1737431	アップグレード中に関連リスト sys_ui_related_sc_cat_item_producer_null が上書きされる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サービスカタログ	PRB1744529	XML のインポート時に複数のバージョンが作成/表示される
サービスカタログ	PRB1749981	デモデータ削除スクリプトにより、「sc_catalog」サービスカタログとそのカテゴリが削除される
サービスカタログ	PRB1752628	注文ガイドのレコードプロデューサーで [添付ファイルをコピー (Copy Attachment)] が機能しない
サービスカタログ	PRB1755418	条件スクリプトが実行計画で評価されない
サービスカタログ	PRB1758469	サービスポータルへのカタログ要素の名前の翻訳が想定どおりに機能しない
サービスカタログ API	PRB1782677	VA の NowAssist で「OR」節を使用する UI ポリシーが機能しない
サービスカタログビルダー	PRB1742298	カタログビルドが READ フィールドの ACL をサポートしていない
サービスカタログビルダー	PRB1748023	Washington DC リリースで、XML の無効な制御文字 (^M) に関する警告メッセージが表示される
サービスカタログビルダー	PRB1760494	カタログビルダーの履行ステップリストが想定どおりに機能しない
サービスカタログビルダー	PRB1761456	カタログビルダーエディターとしてログインすると、履行ステップでセキュリティルール関連のエラーがスローされる
サービスカタログポータルウィジェット	PRB1764839	注文ガイドルールで sc_item_variable_assignment を使用して [日付] フィールドが設定されていない
サービスカタログポータルウィジェット	PRB1609965	カスタマーサービス管理 (CSM) ポータルのケースタスクリストビューの親ケースフィールドが、フォームビューに表示されている場合でも空になる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サービスカタログ ポータルウィジェット	PRB1746017	多くの承認者がいるときにカタログアイテム [ビジネスアプリケーションの登録 (Register a Business Application)] を送信すると、標準チケット画面がバウンスする
サービスカタログ ポータルウィジェット	PRB1746815	[ウィッシュリストに追加 (Add to wishlist)] を選択した後、添付ファイルタイプ変数に追加されたファイルが保持されない
サービスカタログ ポータルウィジェット	PRB1758896	[自分の要求 (My Requests)] ウィジェット (クローンバージョン) を更新できない
サービスカタログ ポータルウィジェット	PRB1715031	カスタマーサービス管理 (CSM) ポータルで、TinyMCE HTML エディターのシステムフォントがポルトガル語に翻訳されない
サービスカタログ ポータルウィジェット	PRB1734447	サービスポータルカタログアイテムで、複数行の変数セットの行アイコンが、隣り合って表示されるのではなく、上下に重なって表示される
サービスカタログ ポータルウィジェット	PRB1740257	人事テーブルでクロススコープエラーが発生し、仮想エージェントケースの詳細カードに空のフィールドが表示される
サービスカタログ ポータルウィジェット	PRB1744103	アクティビティストリームの [承認履歴 (Approval History)] の動的翻訳が従業員センターに表示されない
サービスカタログ ポータルウィジェット	PRB1744236	ポータルページ sc_cat_item のタブタイトルが、customer_contact に対して想定されるとおりにアイテム名をフェッチしない
サービスカタログ ポータルウィジェット	PRB1745077	CSM 標準チケット構成ウィジェットで HTML コードスタイルがレンダリングされない
サービスカタログ ポータルウィジェット	PRB1745173	ドラフトから要求を送信したときに、添付ファイルが欠落する
サービスカタログ変数	PRB1720613	通貨の小数点以下が 0 の場合でも、価格の小数点以下の桁数が選択ボックス変数に予期せず表示される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サービスクリエーター	PRB1733343	インスタンスのスタンバイノードで長時間実行されている「Init Service Designer Form (サービスデザイナーフォームの初期化)」ジョブがある
サービスクリエーター	PRB1715639	サービスデザイナーの作成時に [説明 (Description)] フィールドが表示されなくなる
サービスレベル管理	PRB1728854	プロパティ com.snc.sla.condition_class.caching.enabled を false に設定すると、SLA エンジンに SLA を添付できなくなる
サービスレベル管理	PRB1734205	監査データに分割トランザクションがある場合、HistoryWalker を使用した「SLA 修理」および「SLA タイムライン」で望ましくない結果が生じる
サービス管理仮想エージェント Topic Blocks	PRB1712119	仮想エージェント (VA) チャットで vaVars._topic_sorry_msg (VA スクリプトブロック)/com.glide.cs.no_topic_sorry_message プロパティが翻訳されない
サービスマッピング	PRB1717472	アプリケーションサービスウィザードが、作成時に新しいレコードの [番号 (Number)] フィールドを複数回インクリメントする
サービスマッピング	PRB1725024	[エントリポイント候補の更新 BR の実行 (Executing Update Entry Point Candidates BR)] の過剰で不要なログ記録により、syslog テーブルのユーザビリティとパフォーマンスの問題が発生する
サービスマッピング	PRB1688161	sys_ux_applicability レコードの sm_admin ロールのレコードが正しくないため、サービスマッピングワークスペースに ML 搭載候補が表示されない
サービスマッピング	PRB1734706	スケジュール済みジョブ「Service Mapping - Traffic Process to Process (Service Mapping - トラフィックプロセス間)」で、p2p_extension テーブルの更新時に長時間実行される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サービスマッピング	PRB1723151	「Application Service Manual Ep Cleanup (アプリケーションサービスの手動 Ep クリーンアップ)」ジョブが不要な再計算をトリガーする
サービスマッピング	PRB1734462	汎用アプリケーションプロセスコマンドの実行が見つからないか空の場合、[汎用アプリケーションからパターンを作成 (Create Pattern from Generic Application)] アクションがロード時にスタックする
サービスマッピング	PRB1536950	多数のファイルシステムを処理するとき、MID サーバーがメモリ不足 (OOM) エラーでクラッシュする
サービスマッピング	PRB1705211	大規模なデータベースビューに基づくインジケータタブのアップロードに時間がかかる
サービスマッピング	PRB1733108	endpoint_id=='null' かどうかのチェックを、文字列が null チェック条件の一部であるとして追加する
サービスマッピング	PRB1736183	フォアグラウンドで実行されるタグベースのサービスの [サービス] UI アクションを再計算すると、大規模なサービスでタイムアウトが発生することがある
サービスマッピング	PRB1738279	ServiceImplementationCache がクリアされていないため、「サービスマッピングの再計算 (Service Mapping Recomputation)」ジョブでメモリリークが発生します
サービスマッピング	PRB1738372	SAProcessTopologyClassifier の情報ログを「debug」に変更
サービスマッピング	PRB1748880	包含ディスカバリータスクを作成するとき、discovery_status = null で作成される
サービスマッピング	PRB1751897	ターゲットノードが境界としてマークされている場合でもネットワークパスが計算される
サービスモデル基盤	PRB1768842	貢献者は自分が表示できるケースタスクにコメントしたり、アサインしたりできる必要がある

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ServiceNow スタジオ (従来)	PRB1741989	保護されたスクリプトにアクセスできるユーザーが、ServiceNow スタジオのコード検索機能を使用してスクリプト内のコンテンツを見つけることができない
サービスポータル	PRB1719006	onChange カタログクライアントスクリプトを介して設定されている場合、読み取り専用の HTML 変数は表示されません
サービスポータル	PRB1745184	ブレッドクラムの「サービスカタログ」が一貫して翻訳されない
サービスポータル	PRB1725506	添付ファイルが ServicePortal アクティビティストリームに表示されない
サービスポータル	PRB1732434	Vancouver へのアップグレード後、添付ファイルベースインスタンスのポップアップが PDI に表示されるものと異なる
サービスポータル	PRB1733037	ネットワークが遅い場合、フォームのリロード時に変更が保存されない
サービスポータル	PRB1715252	リンクを区別するために色のみが使用される
サービスポータル	PRB1733620	ログインしているユーザーが、プロフィールページの組織図で自分のプロフィールを表示できない
サービスポータル	PRB1743912	ベースインスタンスの検索ページウィジェットを保存できず、[サーバースクリプト (Server Script)] フィールドでエラーが発生する
サービスポータル	PRB1746097	\$sp.do へのアクセス時に Null ポインター例外が確認される
サービスポータル	PRB1754534	誤ったファビコンが Google 検索に表示される
サービスポータル	PRB1758275	サービスポータル関連リストの添付ファイルが機能せず、空白のページにリダイレクトされる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サービスポータル	PRB1635895	クエリを含むウィジェットが、ログイン直後にヘッダーメニューアイテムから指示された場合、セッションタイムアウト後に機能しない
サービスポータル	PRB1669934	ポップアップに [日付/時刻 (Date/Time)] フィールドがある場合、関連ドキュメントウィジェットでアップロードが許可されない
サービスポータル	PRB1685905	スクリーンリーダーで KB カテゴリを閲覧するときに、記事バッジの数が読み上げられない
サービスポータル	PRB1688882	サービスポータルの日付ピッカーに不適切なマークアップ role='application' がある
サービスポータル	PRB1696903	フォーカスインジケターが正しいアイテムに存在せず、ナレッジ記事の数が読み上げられない
サービスポータル	PRB1699792	サービスポータルで選択ボックスが選択されている場合、日付ピッカー (sn-date-picker) が自動的に閉じないため、ブラウザウィンドウのサイズを変更したときに重複の問題が発生する
サービスポータル	PRB1714454	ユーザーが、Mobile アプリと Mobile サービスポータルのカレンダーピッカーで日付を選択できない
サービスポータル	PRB1719087	カタログアイテムの注釈が、特定の長さになると展開されない
サービスポータル	PRB1723919	[承認 (Approval)] ウィジェットに誤った情報が表示される
サービスポータル	PRB1732351	代理操作されたユーザーの追跡は、UCM の決定に従って許可する必要がある
サービスポータル	PRB1732644	[モバイル] ビューのナレッジベースフィルターで、ユーザーが [完了 (done)] を選択してもフォーカスが [フィルター] ボタンに戻らない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サービスポータル	PRB1733272	サービスポータルのリストコレクターで、ページを終了した後も変数が表示される
サービスポータル	PRB1737463	[トップに戻る (Back to Top)] リンクが、ナレッジベースポータルおよび従業員サービスセンター (ESC) のナレッジベース記事で想定どおりに機能しない
サービスポータル	PRB1738182	Long_label が /csm で機能しない
サービスポータル	PRB1743178	レコードまたは移行を作成した後、サービスポータルで詳細ビュールールが機能しない
サービスポータル	PRB1743596	サービスポータルで、選択ボックスに必要なアクセシビリティ属性がない
サービスポータル	PRB1745256	CSM ポータルで、バックエンドに存在しない関連リストをユーザーが表示できる
サービスポータル	PRB1747389	従業員サービスセンター (ESC) でファセット検索ウィジェットの特定のテキストが翻訳されない
サービスポータル	PRB1748379	リスト選択を選択すると、フレームの左上にポップアップが表示される
サービスポータル	PRB1748592	clearValue() メソッドを呼び出した後、ユーザーが参照フィールドに到達できない
サービスポータル	PRB1751266	Washington DC のスキップされたレコードを確認すると、関数に関連するコードでスペルミスが確認される
サービスポータル	PRB1755061	サービスポータルで、リストコレクター変数が読み取り専用の場合、キーボードナビゲーションでスキップされる
サービスポータル	PRB1757924	ポータルでカタログアイテムにファイルを添付した後に、添付ファイルの名前を変更すると、拡張子が削除される
サービスポータル	PRB1760641	[暗号化フィールド構成 (Encrypted Field Configurations)] で添付ファイルの暗号化がオフになっている場合でも、ポータルのカ

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		タログアイテムに添付ファイルの暗号化オプションが表示される
サービスポータル	PRB1761633	ポータルコンソールログにアイコンプリロードエラーが表示される
サービスポータル	PRB1763318	ナレッジ記事のアンカータグが、アイコンリンクウィジェットまたはカラーセルウィジェットを選択しても、ページの特定の要素 (#id) にジャンプしない
サービスポータル	PRB1767137	sp_portal レコードの「挿入」と「維持」により、新しく作成されたレコードの [ロゴ] フィールドを更新できない
サービスポータル	PRB1763054	日付/時刻ピッカーがアラビア語に翻訳されない
サービスポータル	PRB1711713	コンボボックスが使用不可として説明される
サービスポータル	PRB1770510	Safari ブラウザーの [すべてのチケットを追跡 (Track all your tickets)] ページで UI スクロールの問題が発生する
サービスポータルのお知らせ	PRB1762268	[その他 (More)] ボタンのお知らせは、400 倍以上のズーム率で機能しない
サービスポータルコ アウィジェット	PRB1702851	3 つ以上のデータテーブルウィジェットを含むポータルページで、ユーザーがページの 2 番目のウィジェットでフィルター条件を編集/追加できない
サービスポータルコ アウィジェット	PRB1734641	[組織図 (Organization Chart)] ウィジェットで、インスタンスオプションを変更するとウィジェットがクラッシュする
サービスポータルコ アウィジェット	PRB1737559	Is_multi_text = false がサービスポータルで想定どおりに機能しない
サービスポータルコ アウィジェット	PRB1744433	アクティビティストリームに、「system」によって作成されたレコードの最初のアクティビティストリームエントリが常に英語で表示され、翻訳されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サービスポータルコ アウィジェット	PRB1757571	インスタンス定義のデータテーブルで、ACL のためにフィールドが空白の場合、ユーザー はリストをフィルタリングできない
サービスポートフォ リオ管理	PRB1739773	重複した可用性計算が発生している
サービスポートフォ リオ管理	PRB1767688	ビジネスサービスとテクニカルサービスのラ イフサイクルマッピングが正しくない
サービスポートフォ リオ管理	PRB1731037	[パフォーマンススコアの処理 (Handle Performance Score)] ビジネスルールによ りトランザクションが中止され、[サービス公 開の承認 (Publish Service Approval)] サブ フローのエラーが発生する
サービスポートフォ リオ管理	PRB1734440	親を変更したときにサービスオフリングの 更新がブロックされる
サービスポートフォ リオ管理	PRB1736011	サービスを廃止しても、サービスオフリン グは自動的に廃止されない
サービスポートフォ リオ管理	PRB1750190	ドキュメント ID がテーブル拡張を透過的に 処理しない
サービスポートフォ リオ管理	PRB1756415	従来の構造から標準ポートフォリオ構造に切 り替えた後のフィールドの参照に関する問題
サービスポートフォ リオ管理	PRB1777498	親の値が異なる場合、オフリングを「重 複」としてマークしないようにする必要があ る
セッション管理	PRB1741142	キャッチされない例外により、[アクティ ブなトランザクション (全ノード) (Active Transactions (All Nodes))] テーブルのレ コードが古くなる
セッション管理	PRB1757612	キャッチされない null ポインター例外に より、[アクティブなトランザクション (全 ノード) (Active Transactions (All Nodes))] テーブルのレコードが古くなる
セッション管理	PRB1714960	「Frequent list_history.do」 エラーがユー ザーセッションを延長しているように見える

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サイドバー (ファミリリリース)	PRB1719184	sys_cs_collab_member テーブルへの最初の挿入時に、ビジネスルールスクリプトで current.member_type が想定どおりに評価されない
サイドバー (ファミリリリース)	PRB1719893	Vancouver にアップグレードすると、ワークスペースの [ディスカッションサイドバー (Discuss Sidebar)] チャットで、チャットテキスト入力ウィンドウのサイズが小さくなる
サイドバー (ファミリリリース)	PRB1755062	Sidebar オムニエクスペリエンス標準機能セットプラグインに翻訳エラーがあり、「now-message-timestamp」の時間形式が正しくない
サイドバー (ファミリリリース)	PRB1770062	更新された KB レコードがサイドバーディスカッションのレコードカードに反映されない
サイドバー (ファミリリリース)	PRB1764002	スクリーンリーダー (NVDA および JAWS) は、フォーカスがあると [絵文字を選択 (Select Emoji)] ラベルとツールチップ [絵文字を挿入 (Insert Emoji)] の両方を読み上げる
スキル管理ダッシュボード	PRB1742662	スキル管理ダッシュボードで、「Request failed with status code 401 (ステータスコード 401 で要求が失敗しました)」というエラーが表示される
SOAP Web サービス	PRB1748918	SOAP 応答の XMLNode のシリアル化で、XML 要素の代わりに文字列表現が使用される
ソフトウェア資産データのインポート	PRB1672814	SAM Pro : [リース契約 (Lease Contract)] フィールドを使用したソフトウェアエンタイトルメントインポートの問題
ソフトウェア資産管理	PRB1638689	ビジネスルール「Bookkeeping for dedup on delete (削除時の重複排除のブックキーピング)」でインストールの正規化ステータスがチェックされない
ソフトウェア資産管理	PRB1773110	SAMCoreCompanyUtil(sams) が、ソフトウェア資産管理 - Professional (SAMP) で

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		導入された [use_when_reporting] フィールドを使用する
ソフトウェア資産管理	PRB1605569	Microsoft ライセンスステートメント (MLS) をインポートすると、ライセンスごとの権限が指定されている場合でも、ほとんどのコアごとの製品定義でエンタイトルメントのインポートエラーが発生する
ソフトウェア資産管理	PRB1748866	cmdb_sam_sw_install テーブルからレコードが削除されると、無効なレコードで sys_object_source テーブルが無制限に大きくなる
ソフトウェア資産管理	PRB1754090	CI で assigned_to が変更されても、assigned_to の変更が空の場合はソフトウェアインストールで更新されない
ソフトウェア資産管理	PRB1756212	パターンルールを使用して正規化されたディスカバリーモデルが、新しいパッケージルールの出荷時に更新されない
ソフトウェア資産管理	PRB1666851	条件フィールドで、ソフトウェアモデルフォームの [ソフトウェアインストール条件 (Software Install Condition)] の [カスタム (custom)] フィールドの選択肢が認識されない
ソフトウェア資産管理	PRB1745015	フィールドタイプ「Document ID (ドキュメント ID)」を照会する「sn_samp.SAMPReclamationUtil」の「CancelExistingWorkflow」の問題
ソフトウェア資産管理	PRB1746299	[コア会社参照の積極的な修正 (Proactively fix core company reference)] スケジュール済みジョブの [実行方法 (Run As)] フィールドが空ではない
ソフトウェア資産管理コンテンツサービス	PRB1705952	sam_sw_product_lifecycle テーブルのデフォルト値がソース、lifecycle_type、リスク、およびアクティブフィールドに設定されない
ソフトウェア資産管理コンテンツサービス	PRB1718826	ユーザーがソフトウェア資産管理コンテンツサービスをオプトインできない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
SAP 用ソフトウェア資産管理パブリッシャーパック	PRB1762414	ユーザーに「Script: SAPImportWorker: Connection name CUQ failed with error [com.ctc.wstx.exc .WstxLazyException]」というエラーが表示される
ソフトウェア資産管理ワークスペース	PRB1719783	samp_sw_client_access_installed_device に必要な ACL がない
ソフトウェア資産管理ワークスペース	PRB1731963	「パブリッシャー」フィルターが適用されている場合、ライセンス使用状況に調整結果のパブリッシャーカードが表示されない
ソフトウェア資産管理ワークスペース	PRB1732877	ソフトウェア資産管理ワークスペースの [list-report] ページに新しいボタンがある
ソフトウェア資産管理ワークスペース	PRB1761023	Oracle DB オプションの [ライセンスなしのオプション (Unlicensed options)] リストビューフィルターが正しく構成されておらず、結果が表示されない
ソフトウェア資産管理ワークスペース	PRB1768651	製品の結果からアクセスした場合、Oracle DB の [ライセンスなしのオプション (Unlicensed options)] リストビューフィルターが正しくない
ソフトウェア資産の正規化	PRB1663147	他のモデルが適切に正規化されていても、利用できないコンテンツや不一致のコンテンツに対して「SAM - 機械学習を使用したディスカバリーモデルの正規化 (SAM - Normalize discovery models using machine learning)」ジョブが失敗する
ソフトウェア資産再利用	PRB1747941	再利用候補の説明が空の場合、「SAM - Apply latest content changes (SAM - 最新のコンテンツ変更の適用)」ジョブが失敗する
ソフトウェア資産再利用	PRB1748558	「SAM - Identify Blacklisted Software (SAM - ブラックリストに登録されたソフトウェアの識別)」ジョブで、すべての拒否リストまたはクローズ済みの完了候補が [失効待ち (Awaiting revocation)] に設定される
ソフトウェア資産調整	PRB1732207	Utah 以降にアップグレードした後、[ソースコントロールからの SampRecord の削除 (Delete SampRecord from Source

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		Control)) により、既存のユーザーの Workday 調整が失敗する
ソフトウェア資産調整	PRB1743395	調整のスイート処理中にスイートエンジンが失敗する
ソフトウェア資産調整	PRB1751750	調整によってインストールテーブルの読み込みレプリカの遅延が発生する
ソフトウェア資産調整	PRB1724665	Microsoft の Windows SQL インフラレポートを生成するときにメモリ不足の問題が発生する
ソフトウェア資産調整	PRB1734593	仮想マシンのコンボが異なる場合、Microsoft の調整が失敗する
ソフトウェア資産調整	PRB1734615	SuiteEngine のパフォーマンスの改善
ソフトウェア資産調整	PRB1765646	スイートコンポーネントがないため、Visual Studio のインストールが Visual Studio 2022 と推測される
ソフトウェア資産調整	PRB1762816	インストールテーブルのデルタレコードに対してのみクラウドプロバイダーとクラウドホストタイプの列がスタンプされる
ソフトウェア資産成功ポータル	PRB1712038	成功ポータルの「Health check (健全性チェック)」ウィジェットからフィルターを削除
ソフトウェアディスカバリー	PRB1749963	sa_pattern_prepost_script [インストール済みソフトウェアを同期 (Sync Installed Software)] で、glide.discovery.software_sccm_managed システムプロパティが true の場合でも、ディスカバリーを介してソフトウェアインストールレコードが作成される
ソフトウェアエンタイトルメント	PRB1715780	メンテナンスエンタイトルメントの割り当て
ソフトウェアエンタイトルメント	PRB1728056	MLS 一括インポートにより、スイートに必要な数よりも多くのレコードが作成される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ソフトウェアエンタイトルメント	PRB1704061	CSM フィールドが、契約のベースインスタンスのソフトウェア資産ワークスペースビューにデフォルトで表示される
ソフトウェアライセンスコンプライアンスチェッカー	PRB1691508	IT 資産管理ライセンスリソース数にソフトウェア資産管理 (SAM) Pro または SAM Enterprise のみが表示される
ソフトウェアライフサイクル	PRB1722917	「ライフサイクルレポート」テーブルのフィルターが適切に適用されず、ワークスペースにレコードが入力されない
ソフトウェアライフサイクル	PRB1739133	ソフトウェア資産の概要ダッシュボードの [提供終了製品 (End of Life products)] ウィジェットのフィルターが正しくない
ソースコントロールエンジン	PRB1741485	変更をコミットするときに、さまざまなレコードの変更を [コミット済みと比較 (Compare with committed)] 操作で使用できない
ソースコントロールエンジン	PRB1772875	ソースコントロールを介してアプリケーションをインポートした後、操作ラッチがリリースされない
標準的な変更のカatalog	PRB1702225	隣に「custom with label (ラベル付きカスタム)」タイプの変数がある場合、「List Collector (リストコレクター)」変数に条件ビルダーでの演算子選択が表示されない
標準的な変更のカatalog	PRB1740549	ネクストエクスペリエンスで、標準的な変更提案に変数フォーマッターを導入すると、編集可能な変更要求値が「Closed (クローズ済み)」になり、変更要求値のスタイルが歪む
サブスクリプション管理	PRB1694629	BCM ロールを持たないユーザーがテーブルにアクセスしたことが「ua_app_usage」に表示される
サーベイ管理	PRB1724829	ユーザーが別の時間形式を使用している場合、サーベイの送信時に誤った日付が保存される
サーベイ管理	PRB1724844	サーベイデザイナーによるサーベイのコピーの作成

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
サーベイ管理	PRB1737733	非アクティブな測定基準が、ネイティブ UI には引き続き表示されるが、ポータルには表示されない
サーベイ管理	PRB1750502	クイズデザイナーの Outlook Actionable Messages チェックボックスが想定どおりに機能しない
サーベイ管理	PRB1761114	[アセスメントインスタンス (Assessment instance)] テーブルの [percent_answered] フィールドのネイティブ UI とポータル/モバイルの間に不整合がある
サーベイ管理	PRB1781172	サーベイ廃止ウィジェットで [次へ] ボタンを選択しても次の質問に進まない
シンタックスエディター	PRB1717790	Vancouver の新しいスクリプティングツールを使用すると、シンタックスエディターのマクロが常に正しくロードされない
シンタックスエディター	PRB1622389	スクリプトエディターで XML フィールドをフォーマットする方法がない
シンタックスエディター	PRB1680139	スクリプトエディターでワードラップが機能しない
シンタックスエディター	PRB1711483	既知のパラメーターの typedef がエディターに読み込まれない
システムアーカイブ	PRB1660184	アーカイブチャンクの作成時に復元されたレコードを除外する
システムアーカイブ	PRB1751060	ジョブコンシューマーがすべての環境で数日間実行される (チャンクがエラーステータスで誤ってマークされる)
システムアーカイブ	PRB1590786	大規模なテーブルでの新しいアーカイブ規則の作成が完了前にタイムアウトする
システムアーカイブ	PRB1711734	アーカイブされたテーブルの ACL 継承が想定どおりに機能しない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
システムイベント	PRB1773866	構造が正しくないために、イベント XMLstats エンドポイントでエラーが発生する
システムエクスポートセット	PRB1729204	エクスポートセットの実行で null ポイントエラーがスローされた場合、エクスポートの設定ステータスとログがエクスポート履歴に反映されない
システムインポートセット	PRB1727212	データローダーと他のいくつかのフィールドが sys_data_source のフォームセクションから削除される
システムインポートセット	PRB1694394	ImportSetCleaner スクリプトインクルードが syslog に対して gs.print を過度に実行する
システムインポートセット	PRB1754292	ノードの再起動時にインポートジョブトランスフォーマーが「Running (実行中)」ステータスでスタックする
システムインポートセット	PRB1736383	[データソース (Data Source)] ページでデータストリームアクションフィールドが入力されない
システムアップデートセット	PRB1717629	変更がソースから AppRepo に公開され、ターゲットにアプリがインストールされた場合、sys_documentation レコードが削除されない
システムアップデートセット	PRB1764439	階層内に重複する名前があり、インスタンスが Postgres データベースを使用している場合、更新セットのプレビューがキャンセルされる
システムアップデートセット	PRB1752200	ドメインで定義されたフォームセクションが、更新セットを介して展開されたときに結合されない
System Web Services	PRB1515820	テーブル API がクエリに「api=api」を追加するため、テーブルに「api」という名前の列がある場合に問題が発生する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
テーブルアドミニストレーションとデータ管理	PRB1650626	データ管理 > プレビューで更新 ジャーナル フィールドでは機能しません
テーブルアドミニストレーションとデータ管理	PRB1755862	すべてのメタデータテーブルといくつかの非メタデータテーブルに、sys_id によるデフォルトの順序付けが必要になる
テーブルアドミニストレーションとデータ管理	PRB1513819	トークン化された言語がエクスポートされる ときに、発言のテキストが書式設定されない
テーブルアドミニストレーションとデータ管理	PRB1655722	Tokyo へのアップグレード後に初めて [今すぐ実行] を使用した場合、LDAP スケジュール済みインポートの「更新」の日付が「本日」に更新される
テーブルアドミニストレーションとデータ管理	PRB1719787	テーブルの最大長が 40 文字を超える場合、[テーブル] フィールドの条件チェッカーが空に設定される
テーブルアドミニストレーションとデータ管理	PRB1725932	フィールドの参照修飾子条件が「active=true^EQ」に設定されている場合でも、ユーザーは非アクティブなユーザーに委任またはユーザーをアサインできる
テーブルクリーナー	PRB1706024	読み取りレプリカが構成されていて、レプリケーション遅延がある場合、テーブルクリーナーが存在しないレコードを削除しようとして長時間「スピン」する可能性がある
テーブルクリーナー	PRB1722902	オプションが有効になっている場合、TableCleaner で「TPH」テーブルの sys_audit と sys_journal_field が削除されない
テクノロジー参照モデル	PRB1737818	ユーザーがアプリケーションサービスから製品モデルを取得するときに、技術的負債があってもソフトウェア製品が表示されない
テリトリー計画	PRB1732080	ワークスペースの地域タイプに一致する属性を追加しているときに問題が発生する
タイムカード管理	PRB1711394	FireFox でタイムシートポータルを使用すると、ユーザーがリソース計画フィールドの

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		「ドロップダウン」メニューを選択できなくなる
タイムカード管理	PRB1724449	取り消されたタイムカードで間違った為替レートが使用される
タイムカード管理	PRB1746965	ユーザーが [タイムカードグリッド (Time Card Grid)] ウィジェットを更新できない
タイムカード管理	PRB1676673	カレンダーポップアップの前月のボタンにラベルが付いていない
タイムカード管理	PRB1677471	支援技術によって曜日が「Sun」、「Mon」などとしてアナウンスされる
タイムカード管理	PRB1708797	タイムカードを取り消すときに警告が表示されない
タイムカード管理	PRB1731868	リソース割り当ての [予定時間数 (Planned hours)] を更新すると、実績コストが [プロジェクト通貨 (Project currency)] で更新される
タイムカード管理	PRB1737941	JAWS がタイムシートポータルタスクカードフィールドを読み上げる
タイムカード管理	PRB1759941	優先度ソートを使用するときにタイムシートポータルタスクにすべてのタスクが表示される
トランザクション管理	PRB1674646	API 応答は 200 でも、API 呼び出しがアプリケーションノードに到達しない
トランスフォーマー API	PRB1733790	TransformerStats が際限なく増加し、ヒープメモリの負荷が発生します
トランスフォーマー API	PRB1722879	ComplexObjectCollection が空の要素を持つ空の配列をシリアル化する
トランスフォーマー API	PRB1712812	JSON パーサーがアレイ内の負の数をドロップする

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
トランスフォーマー API	PRB1759136	XML 応答の Integration Hub DataStream アクション REST API ページネーションが想定どおりに機能しない
UI アクション	PRB1696768	UI アクションで g_form.reload() を使用してフォームを再ロードするときに、ワークスペースビュールールが適用されない
UI アクション	PRB1667469	ユーザーが UI アクションを開いたときに、上書きが自動的に作成される
UI アクション	PRB1667945	action.setredirect がワークスペースリストで機能しない
UI アクション	PRB1765220	ネクストエクスペリエンスで、添付ファイルダイアログの [削除 (Remove)] ボタンに境界線が表示されなくなる
UI ビルダー	PRB1734100	グループにアサインされたロールが UI ビルダーで使用されない
UI ビルダー (ファミリーチャネル)	PRB1737069	構成可能ワークスペースのエージェントアシストに、記事本文にテーブルを含むナレッジ記事のスクロールバーがない
UI ビルダー (ファミリーチャネル)	PRB1711393	Utah と Vancouver で、ダッシュボードタブの同じテーマのスタイリングが Tokyo とは異なる方法で表示される
UI ビルダー (ファミリーチャネル)	PRB1717633	テーブル内の [展開 (Expand)], [折りたたみ (Collapse)], および [すべて表示 (Show all)] ボタンにキーボードからアクセスできない
UI ビルダー (ファミリーチャネル)	PRB1732414	150 以上の要素があるとページのロードが遅くなる
UI フィールド管理	PRB1695153	ユーザーが日付形式の設定を dd.MM.yyyy に設定しているフォームで日時ピッカーが表示されない
UI フィールド管理	PRB1763085	ワークスペースビューとプラットフォームビューの参照フィールドのオートコンプリートソートに違いがある

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
UI フィールド管理	PRB1737805	RTE がオフになっているワークスペースで @ メンションが機能しない
UI フィールド管理	PRB1683899	ユーザーが「画像」または「添付ファイル」タイプの必須フィールドに画像を追加できない
UI フィールド管理	PRB1742370	[アサイン先グループ (Assignment group)] のモーダルのサイズを変更すると、レイアウトが折りたたまれる
UI フィールド管理	PRB1710200	[作業時間 (Time Worked)] を更新すると、[合計時間 (Total time)] と [作業時間 (Time worked)] の履歴が正しく表示されない
UI フィールド管理	PRB1727082	記事タイプ「Wiki」で <h2> 編集/プレビューモードでヘッダーが表示されない
UI フィールド管理	PRB1731070	2 人のユーザーが同じタスクで同時に作業しているときに、1 人のユーザーがタスクを保存すると、ワークスペースで [作業時間 (Time worked)] フィールドが正しく機能しない
UI フィールド管理	PRB1674332	スクリーンリーダーが、フォーカスがリンクコンテンツに移動したときに情報を読み上げない
UI フィールド管理	PRB1739850	ワークスペース (従来のワークスペースと構成可能なワークスペースの両方) で、glide.invalid_query.returns_no_rows が true に設定されている場合、参照ルックアップフィールドのツリーピッカーに空のモーダルが表示される
UI フィールド管理	PRB1752376	編集ビューで KB 記事を表示しているときに、下部にあるいずれかのタブを選択すると、タブの下の方ではなく、KB コンテンツにジャンプする
UI フィールド管理	PRB1756977	ワークスペースで「Index 1 out of bounds for length 1 (インデックス 1 が長さ 1 の範囲外です)」というエラーが表示される
UI フィールド管理	PRB1596670	無効な入力が支援技術によって通知されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
UI フィールド管理	PRB1648730	ACL によって読み取り専用設定されたフィールドに、必須のアスタリスクが表示される
UI フィールド管理	PRB1698505	[電話番号] タイプフィールドが、プラットフォームでは保存されるがワークスペースでは保存されない
UI フィールド管理	PRB1699158	セクションの見出しが、スクリーンリーダー (NVDA) と連結される追加の項目をアナウンスしている
UI フィールド管理	PRB1711497	「変数」エディターでの参照変数の「プレビュー」ウィンドウサイズが、[要求アイテム (Requested Item)] フォームの他の参照フィールドの「プレビュー」ウィンドウサイズよりも小さい
UI フィールド管理	PRB1714549	値が「@」で始まり、「/」が含まれている場合、[簡単な説明 (Short Description)] フィールドの値が表示されない
UI フィールド管理	PRB1715716	辞書エントリの上書きによってフィールドが読み取り専用設定されている場合、リストフィールドでライブ更新が想定どおりに機能しない
UI フィールド管理	PRB1717782	[その他/不明 (Other/Unknown)] が選択されている場合、どのテーブルの e164 電話番号も正しく保存されない
UI フィールド管理	PRB1718953	参照フィールドの先行入力トランザクションが、カスタマーサービス管理 (CSM)/フィールドサービス管理 (FSM) の構成可能ワークスペースでキャンセルできない
UI フィールド管理	PRB1721196	Wiki タイプフィールドのフィールドラベルがグレーの背景色で表示される
UI フィールド管理	PRB1731626	Vancouver で、選択リストの仕様が「ドロップダウン」で [なし (None)] に設定されている場合、参照辞書エントリに対してスク립トインクルードが呼び出されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
UI フィールド管理	PRB1731871	[電話番号 (E164) (Phone Number (E164))] フィールドを更新したときに、プリフィックス (国コード) が予期せずフォーカスを失い、構成可能なワークスペースの次のフォームセクションにスクロールする
UI フィールド管理	PRB1734859	@ メンションで、ユーザーが名前に特殊文字として「(」を含むユーザーを検索できない
UI フィールド管理	PRB1734907	[電話番号 (E164)] フィールドタイプが、アドミン以外のユーザーに対して壊れている
UI フィールド管理	PRB1736621	[リスク受容 (Risk Accepted)] ステータスで問題をクローズしているときに、フィールド名 [リスク受容理由 (Risk Accepted Reason)] のラベルが揃っていない
UI フィールド管理	PRB1737421	UI16 のカレンダーポップオーバーから 1970 年より前の日付を選択できない
UI フィールド管理	PRB1737453	英語以外の言語で入力した場合、[ライフサイクルステージ (Life Cycle Stage)] フィールドと [ライフサイクルステータス (Life Cycle Status)] フィールドに値を入力できない
UI フィールド管理	PRB1737778	Currency2 フィールド値が、値「true」で完了する
UI フィールド管理	PRB1740210	言語がドイツ語に切り替えられた場合、リストコレクターの「None」プレースホルダーがオプションとして認識される
UI フィールド管理	PRB1742055	[日付/時刻 (Date/Time)] フィールドの日付ピッカーをダブルクリックすると、無効な日付が選択される
UI フィールド管理	PRB1742230	UI16 で長いフィールドラベルが切り捨てられるか、非表示になる
UI フィールド管理	PRB1750483	サービスオペレーションワークスペース でアドミン以外の ITIL ユーザーとしてユーザーレコードを表示すると、電話番号フィールドと携帯電話番号フィールドで電話番号の前に余分な 1 が付加される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
UI フィールド管理	PRB1756737	@ メンションが、ユーザーが Tab キーを押したときには選択されず、矢印ボタンで選択される
UI フィールド管理	PRB1758221	表示値がない値で [Glide_List] フィールドを変更すると、「Index x out of bounds for length x (インデックス x が長さ x の範囲外です)」エラーが発生し、ユーザーがレコードを保存または更新できない
UI フォーム管理	PRB1642153	クライアントスクリプトを使用してオプションを設定およびクリアすると、エージェントワークスペースで依存選択が想定どおりに機能しない
UI フォーム管理	PRB1734435	添付ファイルをワークスペースのレコードに添付しているときに添付ファイルの名前を変更しようとする、カーソルがジャンプする
UI フォーム管理	PRB1745712	現在のオブジェクトに関連して ACL 評価テンプレートワークスペースと UI16 フォーム (ネイティブ) の間で異なる動作がある
UI フォーム管理	PRB1757057	ワークスペースで [適用先 (Applies to)] フィールドに値が表示されない
UI フォーム管理	PRB1721247	CSM/FSM ワークスペースで、フィールドが非表示になっている場合、「After (後)」ビジネスルールでレコードが挿入されない
UI フォーム管理	PRB1735528	ワークスペースでフォーム onChange が正しく機能しない
UI フォーム管理	PRB1742034	ナレッジホームから開いたナレッジ記事内で [固定リンクのコピー (Copy Permalink)] ポップアップ (クリップボードにコピー) を選択しても翻訳されない
UI フォーム管理	PRB1746742	「変数」を拡張するテーブルに関して、 [Entity View Action Mapper (EVAM)] テーブルフィールドリストに入力されない
UI フォーム管理	PRB1753812	Oracle DB のデータの切り捨てを回避するために、「sys_ux_macroponent」テーブルの

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		[処理されるイベント (Handled events)] 列の長さを長くする必要がある
UI フォーム管理	PRB1774006	ワークスペースで、保存時に「onLoad」UI ポリシーが機能しない
UI フォーム管理	PRB1670764	インスタンスがドメインセパレーションされている場合、ポップアップモーダルを閉じたときに、ページが構成可能なワークスペースに 2 回ロードされる
UI フォーム管理	PRB1686691	新しいフォームレイアウトがレコードを開くことによって動的に作成される
UI フォーム管理	PRB1700565	解決 UI アクションで [作業時間 (Time Worked)] フィールド値が保存されない
UI フォーム管理	PRB1703974	大量のテキストが含まれる特記事項により、モーダルコンテナを超えてオーバーフローが発生する
UI フォーム管理	PRB1717532	カスタムテーブル (タスクから拡張されていない) でベースインスタンス変数フォーマッターを使用しても、ワークスペースでフォームが開かない
UI フォーム管理	PRB1718533	g_user.getClientData() API がワークスペースで正しく機能しない
UI フォーム管理	PRB1723383	空のテーブルのチェックがない場合、[記事の作成 (Create article)] で未定義のページルートが発生する
UI フォーム管理	PRB1730199	ワークスペースで [フォームのリロード] を実行しても特記事項 (SHN) がロードされない
UI フォーム管理	PRB1754719	属性名に「/」が含まれるカスタム採点フレームワークで計画立案アイテムをロードできない
UI フォーム管理	PRB1708619	プレイブックエクスペリエンスに高度な参照修飾子の問題がある

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
UI フォーム管理	PRB1708645	ユーザーが文字列フィールドに「NULL」と入力して保存すると、必須フィールドであってもフィールドが空になる
UI フォーム管理	PRB1708689	setError() が構成可能なワークスペースで機能しない
UI フォーム管理	PRB1711630	「DB」ビューの user.view イベントが予期せず作成され、エラー状態になる
UI フォーム管理	PRB1712024	フォームの最初のフィールドへのフォーカスが想定どおりに機能しない
UI フォーム管理	PRB1718196	読み取り専用の [作業時間 (Time worked)] 値がライブ更新後に正しく表示されない
UI フォーム管理	PRB1720326	「aria-」で始まる属性は有効な ARIA 属性ではない
UI フォーム管理	PRB1721805	読み取り専用の HTML フィールドに予期しない更新がある
UI フォーム管理	PRB1727325	ツールヒントにカーソルを合わせることができず、キーボードを使用して閉じることができない
UI フォーム管理	PRB1727883	必須のドット連結参照フィールドが原因でエージェントワークスペースで問題が発生する
UI フォーム管理	PRB1728214	[拡張テーブル (Extension table)] フォームの注釈を変更すると、[親テーブル (Parent table)] フォームの注釈が壊れる可能性がある
UI フォーム管理	PRB1731022	[レートモデル (Rate Model)] 属性の [属性] フィールドの辞書エントリが正しくない
UI フォーム管理	PRB1731624	拒否リストに含まれる添付ファイルをアップロードするときのエラーメッセージがセッション言語に翻訳されない
UI フォーム管理	PRB1732230	UI ビルダーフォームの構成パネルの [ビュー (View)] パラメーターが、フォームコント

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		ローラーの [ビュー (View)] パラメーターによって上書きされる
UI フォーム管理	PRB1734086	必須の [日付 (Date)] フィールドが誤った形式で送信され、検証エラーがない
UI フォーム管理	PRB1738564	リボンコンポーネントにページタイトルが「Contact (連絡先)」として表示される
UI フォーム管理	PRB1744130	G_form.clearvalue がラジオボタンの値を初期値に設定しない
UI フォーム管理	PRB1746695	フォームの読み取り専用 URL フィールドにより、URL にフォーカスが当てられ、URL が不正確に読み取られる
UI フォーム管理	PRB1751109	プレビューウィンドウで [戻る] ボタンを選択したときと [レコードを開く (Open record)] ボタンを選択したときの、[変更を保存 (Save changes)] ボックスのフォーカスが異なる
UI フォーム管理	PRB1754500	テーブルの列ヘッダーが正しく実装されていない
UI フォーム管理	PRB1769443	アクションバーコンポーネントの「UI action selected (UI アクションが選択されました)」イベントでイベント処理が機能しない
UI フォーム管理	PRB1773340	フィールドラベルの URL が構成されている場合、ブーリアンフィールドのフィールドヒントが表示されない
UI ポリシー	PRB1714781	glide_list タイプのフィールドで [複数を追加/削除 (Add/Remove Multiple)] ボタンを選択すると、必須フィールドの値が空のレコードを保存できる
UI ポリシー	PRB1728303	フォームレベルで [添付ファイル (File Attachment)] タイプフィールドの添付ファイルを追加すると、添付ファイルに関連付けられていない UI ポリシーにより、必須フィールド値がワイプされる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
統合フィルター	PRB1733858	ユーザーがランタイムフィルターに文字列フィールドの値を適用できない
ユニバーサル要求	PRB1728269	ユニバーサルレコードをアーカイブすると添付ファイルが削除され、アドミンユーザーでもアーカイブユニバーサルレコードの添付ファイルを表示できない
ユニバーサル要求	PRB1733855	「ユニバーサル要求」 ACL で、スクリプトに入力ミスがある
アップグレードセンター	PRB1708147	スキップされたレコードを解決するときに [結合の保存 (Save Merge)] を選択しても変更が保存されない
アップグレードセンター	PRB1733935	アップグレードモニターページの進捗状況バーが更新されない
アップグレードセンター	PRB1734654	アップグレードプレビューのレコードは「Predicted Update (予測された更新)」または「Insert (挿入)」と表示されるが、ビルダーインスタンスでは「Skipped (スキップ済み)」と表示される
アップグレードセンター	PRB1750401	アップグレード中の頻繁な警告
アップグレードセンター	PRB1770432	結合フォームで編集できる要素のリストを含むホワイトリストに、CSS 変数とクイックスタート構成が含まれていない
利用状況アナリティクス	PRB1741917	トランザクションソースの誤った解析により、GCFCollector コードで多くのエラーがスローされる
利用状況アナリティクス	PRB1764167	ユーザーが Vancouver より前のリリースから Vancouver リリースにアップグレードしたときに、一部のシナリオでのユーザー同意移行で null ポインター例外 (NPE) が発生する
サービスカタログのユーザー基準	PRB1766975	「ゼロトラストアクセス」機能を使用してセッションでロールが降格されている場合、ポータルユーザー基準で snc_internal や

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
		snc_external などのデフォルトロールが適切に優先されない
サービスカタログのユーザー基準	PRB1771899	メールアドレスを使用すると、ポータル上のカタログアイテムへのアクセスが拒否される
ユーザーロール継承 API	PRB1692615	sys_group_has_role の継承を false にマークすると、継承数が 0 の sys_user_has_role レコードが一時的に残る場合がある
UX フレームワーク	PRB1736722	glide-ux-builder/pom.xml の pom ファイルの一部が移動時に存在なくなり、部分的なアップグレードの問題が発生する
UX フレームワーク	PRB1745673	ユーザーが HR エージェントワークスペースで [キャンセルして破棄 (Cancel and discard)] オプションを選択したときに、[新規 HR ケース (New HR Case)] タブが閉じない
UX フレームワーク	PRB1713439	サービスオペレーションワークスペースでのレコードの関連付けが想定どおりに機能しない
UX フレームワーク	PRB1735486	アクティビティログが断続的に誤った情報を提供する
UX フレームワーク	PRB1732332	ユーザーが [サービス] ダッシュボードからサービスマップを開くと、ページが [サービスの詳細 (Service details)] に変わる
UX フレームワーク	PRB1736030	ランディングページの [対象者 (Audiences)] が想定どおりに機能しない
UX フレームワーク	PRB1652455	構成可能なワークスペースでは、モーダルが既に閉じられている場合でも、モーダルが原因でフォームでダーティフォームメッセージが検出される
UX フレームワーク	PRB1688293	CSM ワークスペースの [インタラクション] ページで、選択したタブと表示されているタブコンテンツの間に不一致がある

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
UX フレームワーク	PRB1718386	CSM ワークスペースで [サイドバーを表示] が無効になっている場合、サイドパネルのテンプレートタブの位置がずれる
UX フレームワーク	PRB1720924	サービスオペレーションワークスペース の エージェントアシストで、別のコンテキスト サイドバーコンポーネントに移動すると、リソースリストのタイトルとコンテキスト検索 がリセットされる
UX フレームワーク	PRB1604829	sys_ux_page_registry.title は翻訳できない
UX フレームワーク	PRB1662699	エージェントが構成可能ワークスペースですべてのサービスチャネルをチェックしていない場合、ページのロード時にナビゲーションメニューに利用可能な緑色のチェックマークアイコンが表示されない
UX フレームワーク	PRB1678831	UIB ログインコンポーネントで SSO への適切な切り替えが許可されない
UX フレームワーク	PRB1695799	Vancouver で失敗した 4xx/5xx HTTP 要求で目障りなモーダルが表示される
UX フレームワーク	PRB1697508	UIScript クエリをフォーム GQL から分離し、応答をキャッシュする
UX フレームワーク	PRB1697766	ワークスペースで添付ファイルをダウンロードしようすると、サイトのポップアップが残る
UX フレームワーク	PRB1714039	構成可能なワークスペースで開くと、iFrame の [戻る] ボタンが機能しない
UX フレームワーク	PRB1718453	ユーザーがドメインセパレーションされたインスタンスでドメイン固有の UX ページプロパティを作成できない
UX フレームワーク	PRB1719613	CONTENT_UPDATED イベントが 2 回目から URL パラメーターを更新しない
UX フレームワーク	PRB1720621	資産ワークスペースでサイズを変更すると、sn-canvas-toolbar が非表示になる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
UX フレームワーク	PRB1721676	スクリーンリーダーが「Menu items (メニューアイテム)」のロールを持つタブコントロールの選択されたステータスを読み上げない
UX フレームワーク	PRB1722451	UX アドオンの「イベントマッピング」がキャッシュされるが、キャッシュされるべきではない
UX フレームワーク	PRB1724469	画面 macroponent がデータ「nowAppProps」なしで作成される
UX フレームワーク	PRB1727218	ソフトウェアオペレーションワークスペースにレイアウトの問題がある
UX フレームワーク	PRB1727277	Aria-hidden 要素はフォーカス可能であり、フォーカス可能な要素を含んでいる
UX フレームワーク	PRB1727683	[ホーム] ボタンと [買い物かご (Cart)] ボタンにアクセス可能な名前がない
UX フレームワーク	PRB1732250	ブラウザの幅が狭くなったり、ユーザーがズームインしたりしたときに、サイドバータブが切り取られるか非表示になる
UX フレームワーク	PRB1733426	インスタンスのヘブライ語バージョンで、[給与 (Payroll)] テーブルの [通貨 (Currency)] フィールドが、実数であっても数値を受け入れない
UX フレームワーク	PRB1742312	新しいフォームを開くテストステップで「GraphQL API - GlideGraphQL: documents list does not contain valid document records: com.glide.graph' (GraphQL API - GlideGraphQL: ドキュメントリストに有効なドキュメントレコードが含まれていません: com.glide.graph)」というエラーが表示される
UX フレームワーク	PRB1747422	ユーザーが言語を変更した後、非アクティブなタブラベルを正しい言語に切り替えることができない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
UX フレームワーク	PRB1749701	ユーザーセッションの作成時またはワークスペースへの移動時に「Cannot deserialize value of type Lcom.glide.ux.runtime.model.v_1_0_0.MacroponentPropert (Lcom.glide.ux.runtime.model.v_1_0_0.MacroponentPropert タイプの値を逆シリアル化できません)」という警告が表示される
UX フレームワーク	PRB1752849	[ダイアログを閉じる (Close Dialog)] モーダルが翻訳されていない
UX フレームワーク	PRB1757522	キャッシュが、sys_ux_app_route テーブルの [extension_point] フィールドに加えられた変更を監視しない
UX フレームワーク	PRB1760476	HR ケース管理のエージェントワークスペースで、フォームヘッダーでハイライト表示される値の色が薄い
UX フレームワーク	PRB1762333	リスクアセスメントの参照情報から [オープンな問題 (Open issues)] を選択すると、内部サーバーエラー (500) が発生する
UX フレームワーク	PRB1778611	「Customer Success (CS)」ワークスペースで、ケースにコメントまたは作業メモを追加すると、非表示のコンテキストサイドパネル自体が再表示される
UX フレームワーク	PRB1776899	サービスオペレーションワークスペースでキーボードショートカットが機能しない
UX フレームワーク	PRB1773935	プライベート Firefox ブラウザーでワークフロースタジオを開くと空のページが表示される
UX - メトリクス	PRB1717321	合計 UI 時間と中断のデータがクライアントインタラクションで (リストでもフォームレイアウトでも) 入力されない
ベンダー管理ワークスペース (ファミリ)	PRB1733000	VendorInsightsUtil .getKPIGroupThreshold() のステータスは「positive」である必要がある
ベンダー管理ワークスペース (ファミリ)	PRB1736751	一部のベンダーのアクティビティが毎晩実行され、[ログ] タブがいっぱいになる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
仮想エージェント	PRB1586394	仮想エージェントトピックで、カウントが 10 を超えると、参照入力に対して getDisplayValue が機能しない
仮想エージェント	PRB1748942	選択肢が 1 つの参照の質問で、ラベルに質問タイプが誤って表示される
仮想エージェント	PRB1645117	[会話タスク (Conversation Task)] テーブル名が正しくない
仮想エージェント	PRB1732454	コンテキストアクションを介して会話が始まった場合、LiveAgent_interaction_id 変数が入力されない
仮想エージェント	PRB1741509	ActiveTopicTypesCache が大量のメモリを消費する
仮想エージェント	PRB1720318	テキストリンク付きのリッチテキストメッセージを含むテキスト応答ノードを持つ仮想エージェントトピックでは、ATF テストステップが実行されると、不一致のトークンが生成され、テストステップが失敗する
仮想エージェント	PRB1753464	最初の検索テキストは、エージェントチャットと会話コンテキストでエンコードされる
仮想エージェント	PRB1723142	WCAG 2.1 レベル A に準拠する ServiceNow アクセシビリティのトピック
仮想エージェント	PRB1731428	ライブエージェントのローディングのドットが静止していて、エージェントがチャットに回答するのを待っているときにジャンプしません
仮想エージェント	PRB1732726	RuntimeUtils はタスクを含む会話をフェッチする
仮想エージェント	PRB1745771	コンシューマーアカウントを持たないユーザーに、通知が到着したことを示すポップアップまたはインジケーターが表示されない
仮想エージェント	PRB1748960	アップグレード中に Sys_one_extend_builder_capability レコードが誤って削除される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
仮想エージェント	PRB1765722	Washington/Vancouver にアップグレードした後、仮想エージェントテーブルボット応答カードにすべてのデータが正しく表示されない
仮想エージェント	PRB1770638	json カードが仮想エージェントの会話にある場合、エージェントチャットでチャットを表示できない
仮想エージェント	PRB1720128	LinkUnfurlingMessageResponse メッセージが処理済みとしてマークされない
仮想エージェント	PRB1726791	Web クライアントは複数のコンテキストアクション要求を送信できる
仮想エージェント	PRB1730730	マルチリンク出力にリンクヘッダーとそれに続く説明テキストがあるが、説明テキストは 1 行に切り捨てられ、その上にカーソルを合わせたときのみ完全なコンテンツが表示される
仮想エージェント	PRB1731157	VAAISearchHelperUtah.calculateResultsTo DisplayWithContext() メソッドが Vancouver がない
仮想エージェント	PRB1731831	仮想エージェントで、ユーザーがトピックステップのノード名を翻訳できない
仮想エージェント	PRB1733286	言語の検出を経過しても発言が翻訳されない
仮想エージェント	PRB1735922	仮想エージェント「Lite」トピックは編集可能
仮想エージェント	PRB1740562	「Disconnected Chat Timeout (切断されたチャットのタイムアウト)」スケジュール済みジョブを、アドミンではなくシステムとして実行する必要がある
仮想エージェント	PRB1741127	仮想エージェントが UI 設定を Next Experience Design System (NDS) に送信しないことが原因でコンソール警告ログが発生する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
仮想エージェント	PRB1742734	コピーされた固定リンクを使用すると、エージェントチャットポップアップカードで誤ったバージョンの KB 記事が使用される
仮想エージェント	PRB1745704	変更された変数が条件に存在しない場合でも、変更時のハンドラーは常に実行される
仮想エージェント	PRB1746854	仮想エージェントデザイナーを介したライブエージェント会話中にオートパイロットトピックを開始しているときに、チャットが突然終了する
仮想エージェント	PRB1746867	仮想エージェント (VA) の「Abandoned chat (破棄されたチャット)」スケジュール済みジョブが、会話を失敗させることができない場合に短絡する
仮想エージェント	PRB1747075	「vaSystem.send TopicPickerControl (greetingMessage)」で渡された挨拶メッセージが、ポータルから開始されたチャットのトランスクリプトには存在するが、チームから開始されたチャットには存在しない
仮想エージェント	PRB1757702	空のデバイスタイプとの会話が失敗しない
仮想エージェント	PRB1760141	ユーザーがトピックブロックで [この入力の安全性を確保 (Make this input secure)] を有効にできない
仮想エージェント	PRB1760676	LLM トピックを使用中の「LLM」モードのアクション可能通知は、非 LLM モードでも受信される
仮想エージェント	PRB1762623	複数のトピックブロックが呼び出された場合、トピックブロックが親トピックに戻らない
仮想エージェント	PRB1766440	名前にアポストロフィを含むトピックブロックが呼び出されると、仮想エージェントの会話が失敗する
仮想エージェント	PRB1767655	sys_gen_ai_usage_log の機能名は「Case Summarization (ケースの要約)」と表示される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
仮想エージェント	PRB1767767	ライブエージェントに転送したときに、チャットの要約で空のエージェントメッセージ画面が表示される
仮想エージェント	PRB1770948	仮想エージェントで、アクションユーティリティにすべての関連フローアクションが表示されない
仮想エージェント	PRB1770961	ライブエージェントのオートパイロットで要求カタログアイテムの inline-seismic トピックブロックが使用されている場合、トランスクリプト/内部トランスクリプトに「Unable to generate transcript (トランスクリプトを生成できません)」と表示される
仮想エージェント	PRB1777529	[このトピックを続行 (Continue this topic)] を選択してもトピックは再開されず、会話が閉じられる
仮想エージェント	PRB1781543	仮想エージェントでサーベイが誤った値を返す
仮想エージェントの実行可能な通知	PRB1766713	前の通知会話に global_requester_session_language コンテキスト変数がなかった場合、通知はトリガーされない
仮想エージェントデザイナー	PRB1732898	仮想エージェントデザイナーの [プロパティ] ページのロードに時間がかかる
仮想エージェントデザイナー	PRB1761215	最高スコアのインテントが仮想エージェント (VA) によって選択されない
仮想エージェントデザイナー	PRB1677132	クローン中の場合、ベースインスタンストピック「オープン IT チケット 2.0 (テンプレート)」が機能しない
仮想エージェントデザイナー	PRB1731958	大規模言語モデル (LLM) トピックを作成するためにユーザーが [NAP] パネルをオンにする必要がない
仮想エージェントデザイナー	PRB1750902	仮想エージェントが、フローデザイナーから Array.Object を含む応答を受信した後、エラートピックに誘導する

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
仮想エージェントデザイナー	PRB1751801	特殊文字を含むトピックノード名が [タスクのコンテキスト (Task Context)] に表示されないため、仮想エージェントダッシュボードでジョーググラフを作成するトピックノードを使用できない
仮想エージェントデザイナー	PRB1758646	LLM 動的選択枝ノードは、getValue() を使用して変数の値にアクセスする必要がある
仮想エージェントデザイナー	PRB1761780	テストウィンドウの [保存されたテスト (Saved test)] バッジが切り取られる
仮想エージェントデザイナー	PRB1762445	仮想エージェントが会話でノード名の代わりに変数名を使用する
仮想エージェントデザイナー	PRB1766448	翻訳付きのカルーセルカードが仮想エージェントに表示されない
仮想エージェントデザイナー	PRB1773483	警告メッセージに「Now Assist in Virtual Agent Designer (仮想エージェントデザイナーの Now Assist)」ではなく「Now Assist in Virtual Agent (仮想エージェントの Now Assist)」と表示される
サービスポータル 仮想エージェント	PRB1714291	仮想エージェントスクリーンリーダーが、仮想エージェントからの完全な応答を読み上げることができない
仮想エージェントの サードパーティ統合	PRB1762476	仮想エージェント/Microsoft Teams の接続で、インタラクションの開始時にレコードとオプションが見つからない
仮想エージェント Web クライアント	PRB1743948	複数のタブが開いているときに、VA Web クライアントに空白の画面が表示される
仮想エージェント Web クライアント	PRB1772481	ブラウザの幅を 600 未満に減らすと、Web クライアントが全画面表示になる
仮想エージェント Web クライアント	PRB1744826	[会話の終了 (End Conversation)] ボタンは、ユーザーが選択した後も無効にならない
仮想エージェント Web クライアント	PRB1745475	モバイルで使用する、仮想エージェントの [閉じる] アイコンが切れる

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
仮想エージェント Web クライアント	PRB1761699	ユーザーが iOS デバイスでエンゲージメント メッセージャーのチャットに入力し始めたとき に、ページが自動的にズームインする
仮想エージェント Web クライアント	PRB1762856	仮想エージェントの [さらに 10 件を表示 (Show 10 More)] UI コントロールが自動 テストフレームワーク (ATF) のカスタム UI [コンポーネントをクリック (Click on Component)] に応答しない
ビジュアルタスク ボード	PRB1763654	glide.vtb.card_select_ due_date.dst_convert を false に設定して も、余分な時間が予期せず追加されるのを防 ぐことができない
ビジュアルタスク ボード	PRB1632630	HTML 特殊文字が正しく表示されない
ビジュアルタスク ボード	PRB1747150	ビジュアルタスクボード (VTB) に添付ファ イルの制限がないため、添付ファイルが多 すぎると、ロードの遅延、メモリの問題、お よびセマフォの枯渇が発生する可能性がある
ビジュアルタスク ボード	PRB1729596	仮想タスクボード (VTB) からカードを開い たときにアクティビティストリームがスタッ クする
ビジュアルタスク ボード	PRB1739939	ビジュアルタスクボード (VTB) カードに不 正確なタスクの数が表示される
ビジュアルタスク ボード	PRB1744873	フォームビューのタグフィールドの演算子 「does not have (次の値を持たない)」お よび「excluding (次の値を除く)」が、条件 ビルダー v2 でこれらのオプションを使用 できる場合でも、[条件 (Conditions)] タイ プフィールドで考慮されない
ウォークアップエク スperiエンス	PRB1722390	スケジュール済みジョブでは、ウォークア ップのインタラクションステータス変更が 実行されるが、スクリプトは sysauto_script テーブルに残る
ウォークアップエク スperiエンス	PRB1737053	ウォークアップエクspiriエンスで、ウォ ークアップ予約ステータスが 2 回更新される

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
ウォークアップエクスペリエンス	PRB1738315	Now Mobile アプリでウォークアップエクスペリエンスフィールドのロードに時間がかかる
ウォークアップエクスペリエンス	PRB1761510	オンサイトの [キュー (Queue)] ページでカレンダーが壊れている
ウォークアップエクスペリエンス	PRB1769107	[理由の説明 (Reason description)] フィールドを右クリックして貼り付けたときに、[スケジュールを予約 (Schedule appointment)] ボタンを使用できない
ウォークアップエクスペリエンス予約	PRB1746504	関数 logError はスコープ sn_walkup で許可されず、代わりに gs.error() が使用される
Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 適合率	PRB1737763	設定メニューの [アクセシビリティ (Accessibility)] セクション - スクリーンリーダーが「情報ボタン」の正しい名前を読み上げない。「セクション」として読み上げられる
Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 適合率	PRB1716138	リストマークアップが正しく使用されていない
Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 適合率	PRB1724967	仮想エージェントで、選択肢を選択するとフォーカスが失われる
Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 適合率	PRB1748991	JAWS リーダーは、[閉じる]、[キャンセル]、[削除] などのインタラクティブ要素を除き、ダイアログコンテンツ内のタイトルとテキストを読み上げない
Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 適合率	PRB1759881	Sidebar ディスカッションとディスカッションチャットのユーザーインターフェイスに完全にはアクセスできない
Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 適合率	PRB1759886	チャットバブルアイコンは、操作できない場合でも独自のタブインデックスを持つため、ユーザーが Tab キーのみを使用してディスカッションチャットを開くことができない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 適合率	PRB1759888	サイドバーディスカッションとディスカッションチャットのユーザーインターフェイスに完全にはアクセスできない
Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 適合率	PRB1759889	サイドバーディスカッションとディスカッションチャットのユーザーインターフェイスがバリアフリーではない
Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 適合率	PRB1763812	サイドバーディスカッションとディスカッションチャットのユーザーインターフェイスに完全にはアクセスできない
Web UX ランタイム	PRB1739325	昇格された権限を持つユーザーが glide.ui.restore.previous.session.tabs を編集できない
ワークフローコンテキスト	PRB1725402	Vancouver アップグレードでの移行後、ワークフロースクラッチパッド暗号化プラグインが正しく機能しない
作業指示管理	PRB1747917	[完了してクローズ (Closed Complete)] タスクおよび [未完了 (Incomplete)] タスクの移動ラインインジケータがディスパッチャークワークスペース (DWS) に表示されない
作業指示管理	PRB1719047	ユーザーが Vancouver にアップグレードした後、HR ケースを停止できない
作業指示管理	PRB1739619	ユーザーが [アサイン先グループ (Assignment Group)] フィールドと [アサイン先 (Assigned to)] フィールドを更新しようとすると、クリアされる
作業指示管理	PRB1761006	フィールドサービス管理 (FSM) 構成可能ワークスペースプラグインが、FSM アプリケーションに関数と関数インスタンスを追加する
作業指示管理	PRB1768728	ユーザーが編集後に既存の作業指示書ドキュメントテンプレートを公開できない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
作業指示管理	PRB1744192	expected_travel_start のある [完了してクローズ (Closed Complete)] または [未完了 (Incomplete)] のタスクの一部が endDate の範囲外になる
作業指示管理	PRB1754204	[タスクテンプレートのコピー... (Copy Task Template...)] が、作業指示テンプレートに追加されているタスクが多すぎると失敗する
作業指示管理	PRB1759426	sys_user テーブルが大きい場合、フィールドサービス管理 (FSM) プラグインのインストールに時間がかかる
作業指示管理	PRB1762739	フィールドサービス管理 (FSM) 作業タスクフローが英語ではない
作業指示管理	PRB1765374	[削除] ビジネスルールにより、エージェントスケジュールユーザーの作成が制限される
作業指示管理	PRB1769179	ユーザーのタイムゾーンが更新されたときに、community_profile ページにコミュニティユーザー向けのエラーメッセージが表示される
作業指示管理	PRB1770620	作業計画から作成された作業指示タスクに正しい期間終了日がない
作業指示管理	PRB1776096	作業指示タスクをバンドルすることで作成されたバンドルに「Bundle_」という同じ簡単な説明がある
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1762854	コア UI でグローバル検索の表示メッセージが壊れる
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1628953	エージェントワークスペースのグローバル検索で、列ラベルの翻訳で特殊文字と大文字が無視される
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1655206	グローバル検索結果から [一致するすべてのナレッジを表示 (View all knowledge matches)] を選択した後に、knowledge.do 結果で検索グループ条件が考慮されない

問題カテゴリ	問題	簡単な説明
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1677355	テキストインデックスグループ構成
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1724173	PDF 添付ファイルのテキストインデックス作成でメモリ不足エラーが発生する
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1731509	Zing 二項演算子「AND/OR/NOT」をオフにする機能を追加

ブラウザサポート

ブラウザサポートは、ユーザーインターフェイス (UI) のバージョンごとに異なります。一部の機能には追加のブラウザ要件があり、適切なドキュメントに記載されています。

注:

Washington リリース以降、Internet Explorer と [Edge](#) での [Internet Explorer モード](#) はサポートされなくなりました。

各 UI バージョンのブラウザサポート

ブラウザ	ネクストエクスペリエンス	ワークスペース	コア UI	サービスポータル
Chrome	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース
Firefox と Firefox ESR	Firefox と Firefox ESR の最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	Firefox と Firefox ESR の最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	Firefox と Firefox ESR の最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	Firefox と Firefox ESR の最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース
Internet Explorer	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
Microsoft Edge Chromium	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース
Safari	Safari 12.0 以降	Safari 12.0 以降	Safari 12.0 以降	Safari 12.0 以降
タブレットモバイル	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象	iOS と Safari の最新バージョン Android と Chrome の最新バージョン
携帯電話*	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	iOS と Safari の最新バージョン

各 UI バージョンのブラウザサポート (続く)

ブラウザ	ネクストエクスペリエンス	ワークスペース	コア UI	サービスポータル
				Android と Chrome の最新バージョン

*携帯電話のブラウザは、デスクトップ版の UI をサポートしていません。代わりに、モバイルブラウザでは**モバイル UI** が使用されます。

Firefox

Firefox の iOS バージョンでは、ServiceNow Community またはその他の サービスポータル ページをサポートしていません。

アクセシビリティと適合性

Xanadu ファミリーリリースで完了したアクセシビリティの更新と改善に関する概要を提供します。ServiceNow 製品のアクセシビリティ適合レポート (ACR) を作成するために使用された Voluntary Product Accessibility Template (VPAT) と、それらにアクセスする場所について説明します。

リリースの特徴

Xanadu リリースの主な機能は次のとおりです。

Next Experience と構成可能なワークスペースの改善

- 構成可能なワークスペースと Next Experience のアップグレードされたコンポーネントを活用して、WCAG 2.1 レベル AA への準拠を強化し、すべてのユーザーにより包括的なエクスペリエンスを提供します。
- ズーム機能の向上、リフロー (400% ズーム) の実装、テキストと画像のコントラストの改善、画像への代替テキストの追加、コントロールのラベル付けの改善により、弱視の方や支援技術 (AT) を使用している方のためのプラットフォームの使いやすさを向上させます。
- 次の構成可能なワークスペースのアクセシビリティが強化されました。
 - カスタマーサービス向けワークフォース最適化
 - フィールドサービス管理 (FSM) ディスパッチャーワークスペース
 - フィールドサービスワークスペースのワークフォース最適化
 - HR ケース管理のエージェントワークスペース
 - IT Service Management のサービスオペレーションワークスペース
 - IT Service Management デジタルポートフォリオ管理
 - IT Service Management のワークフォース最適化
 - IT サービス管理 DevOps チェンジベロシティ

新機能とその他の改善点

- ドキュメントサービス - DOCX から PDF へのドキュメント変換のアクセシビリティサポート。
新しい PDF アクセシビリティタグは、ドキュメントの構造を定義し、論理的な読み取り順序を提供します。これにより、変換された PDF ドキュメント内の移動、理解、および操作が容易になります。
- **TinyMCE** のアップグレード - TinyMCE を v5 から v6.8.3 にアップグレードすると、書式設定オプションと編集が改善され、ユーザーがコンテンツを書式設定するための拡張機能が提供されます。
- AT ユーザーによるコンテンツへのアクセス、アプリケーションの操作、または特定の機能の使用を妨げる可能性のある潜在的な制限を解決しました。これらの改善は、キーボードまたは他の AT デバイスに依存しているユーザーを支援することを目的としています。

製品のアクセシビリティ

Voluntary Product Accessibility Template (VPAT) は、製品またはサービスのアクセシビリティを評価するために使用される、世界的に認められているレポート形式です。ServiceNow は VPAT の国際バージョンを使用して、アクセシビリティ適合レポート (ACR) を作成します。ACR は現在サポートされている ServiceNow リリースで利用できます。

利用可能なアクセシビリティ適合レポートの完全なリストについては、「[Accessibility conformance reports \(アクセシビリティ適合レポート\)](#)」を参照してください。

関連情報

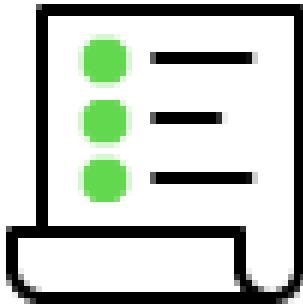
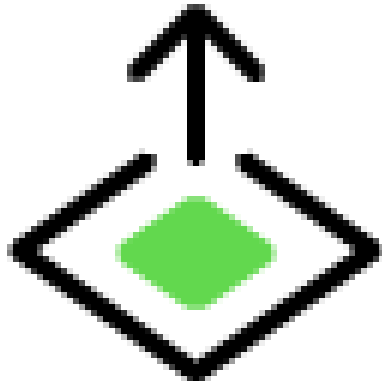
[Section508.gov](https://www.section508.gov/)

アップグレードの準備

各アップグレードの前に、一般的なアップグレードの情報を再確認し、実施するアップグレードに該当するアップグレード前後の重要なタスクと、ServiceNow 製品とツールを使用してエクスペリエンスを向上する方法について理解しておく必要があります。

安全で適切なアップグレードが行えるよう、アップグレードに関する最も重要な情報をすべて 1 か所にまとめてあります。

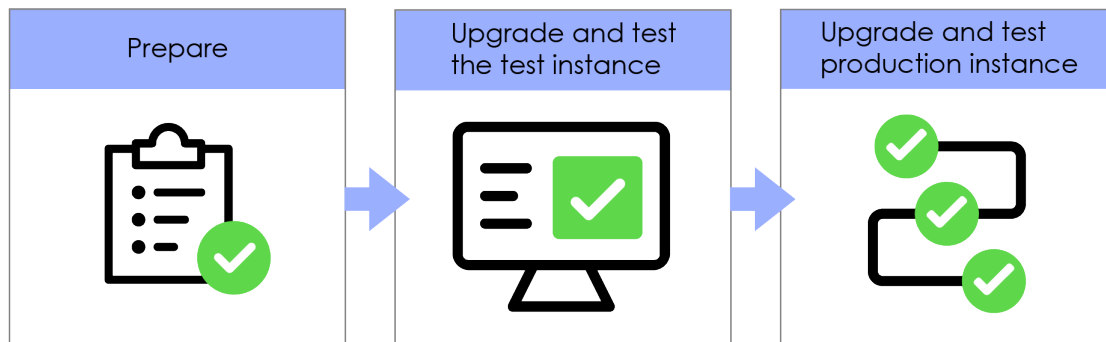
新しい ServiceNow リリースへのアップグレード

ServiceNow アップグレード  期間、ロールバックオプション、テストなど、アップグレードに関する概要情報について説明します。	アップグレード 前後のタスク  アプリケーションと機能のアップグレードの前後に完了する必要があるタスクを特定します。	計画立案チェックリストのアップグレード  エンドツーエンドのチェックリストを使用して、アップグレードのアクティビティを計画および追跡します。
アップグレード ツールとリソース  アップグレード ServiceNow エクスペリエンスを向上させる製品、ツール、リソースについて説明します。	アップグレードと ServiceNow Store  ServiceNow Store アプリケーションにアップグレードを適用する方法について説明します。	

ServiceNow アップグレード

アップグレードプロセスでは、インスタンスを新しい ServiceNow リリースバージョンに移行します。アップグレードとパッチ適用の違い、リリース定義、ロールバックとバックアップのオプション、および非本番インスタンスと本番インスタンスのアップグレードをテストする方法を理解してください。

アップグレードプロセスを開始する前に [Xanadu リリースノート](#) を読み、 [アプリケーションおよび機能のアップグレードと移行のタスクを確認](#) します。



システムのアップグレードは重要なプロジェクトになることがあります。各 ServiceNow 機能リリースには主要な追加機能が含まれており、新機能のインスタンスに対する影響を常に考慮する必要があります。アップグレードすると、ベースシステムの一部、または既に有効になっているすべての機能に拡張が実装されます (機能がインスタンスでカスタマイズされている場合を除く)。使用可能なすべてのプラグインのリストと、それらがベースシステムでデフォルトでアクティブかどうかについては、次を参照してください。 [のリスト Xanadu プラグイン](#)。

利用可能なソフトウェア、ツール、およびリソースに関して入念に準備し知識を備えておくことが、アップグレードの成功に役立ちます。ServiceNow が提供する資料に加えて、ServiceNow インスタンスの現在の動作状況と主要なビジネス機能のパフォーマンスレベルを理解することが重要です。アップグレードの準備、実装、テストには時間がかかることを IT 部門およびビジネスユーザーに ServiceNow 理解して貰いましょう。

アップグレードプロセス中に問題が発生した場合は、 [contact カスタマーサービス & サポート](#)。カスタマーサービス & サポート 24時間年中無休で、ご質問やご相談にお答えします。

アップグレードに関する追加のサポートとして、ServiceNow ではさまざまな [本番準備サービス](#) も提供しています。これらのサービスでは、特にインスタンスのアップグレード可能性、管理性、拡張性、パフォーマンスに関する課題に対処します。ServiceNow 認定プロフェッショナルコンサルタントがレビューを実施し、お客様の構成を ServiceNow ベストプラクティスに合致させるための推奨事項を提供します。詳細は ServiceNow 営業担当者にお問い合わせください。

Xanadu のアップグレードと更新の期間

アップグレードプロセスでは、更新とアップグレードの両方の時間が大幅に短縮されます。(更新は、同一リリースファミリ内で、あるパッチまたはホットフィックスから別のパッチまたはホットフィックスにインスタンスが移動するときに発生します。アップグレードは、あるリリースファミリから別のリリースファミリにインスタンスが移動するときに発生します。通常どおり、アップグレードをテストしますが、完了までの時間が大幅に短縮されたからといって、更新やアップグレードが成功しなかったと推測しないでください。

サポートされているアップグレード

最新のリリースファミリに直接アップグレードできます。アップグレードに複数のソフトウェアバージョンが含まれている場合は、現在のバージョンとターゲットバージョンの間のそれぞれのバージョンのリリースノートを必ず確認してください。リリースの用語と可用性フェーズの詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「[ServiceNow Release Cycle \(ServiceNow リリースサイクル\)](#)[KB0547244]」を参照してください。

アップグレードと更新の違い

ServiceNow ではリリースをファミリに整理しています。ファミリとは、Xanaduなどの主要都市にちなんで名付けられた一連のリリースです。ファミリには、パッチとホットフィックスも含まれています。たとえば、次のリリースはどちらも Orlando ファミリの一部です。

- Orlando パッチ 4
- Orlando パッチ 3 ホットフィックス 2

アップグレードとは、現在のリリースとは異なるファミリのリリースに移行することです。たとえば、London パッチ 7 から Orlando パッチ 3 への移行は、London と Orlando が異なるファミリであるためアップグレードとなります。

更新とは、あるパッチまたはホットフィックスから同じリリースファミリ内の別のパッチまたはホットフィックスに移行することです。たとえば、Orlando パッチ 1 から Orlando パッチ 3 への移行は、両方のバージョンが Orlando そのファミリの一部であるため更新となります。

どちらの場合も、ターゲットリリースは Orlando パッチ 3 です。アップグレードするか更新するかは、現在のリリースファミリとターゲットのリリースファミリの違いによって決まります。

機能、パッチ、ホットフィックス

各リリースファミリには、機能、パッチ、ホットフィックスが含まれています。

機能は、お客様が実装して組織に価値を付加できる完全なソリューションを提供します。通常、新機能は機能リリースの一部としてのみ入手可能です。機能はパッチやホットフィックスでサポートされます。

タイプ	スコープ
機能	• 新機能の導入 • 既存の機能に対して使用できるすべての修正が含まれています。 • 本番重視であり、ライフサイクル全体を通じて品質と安定性を最優先しています。
パッチ	• 一連の問題を修正することで既存の機能をサポートします。 • 通常新機能は含みません。
ホットフィックス	• 機能リリースに対する特定の問題を修正することで既存の機能をサポートします。 • 特定のリリースに対する以前の修正の一部を含む場合と含まない場合があります。 • 新機能は含みません。

リリースの用語と可用性フェーズの詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「[ServiceNow Release Cycle \(ServiceNow リリースサイクル\)\[KB0547244\]](#)」を参照してください。

ロールバックとバックアップ

アップグレードを計画するときは、ServiceNow にはユニバーサルロールバックオプションがありませんので注意してください。更新にはロールバックを使用できます (Xanadu パッチ間、Xanadu パッチからホットフィックスなど)。デフォルトでは、ロールバック期間は 10 日間です。この期間は、`glide.rollback.expiration_days` プロパティを変更することでカスタマイズできます。ロールバックを要求するには、[contact カスタマーサービス & サポート](#)。

ダウンタイムやデータ喪失を招くため、バックアップから本番インスタンスを復元することは可能な限り避けてください。バックアップからの本番インスタンスの復元は、他の方法で問題を解決できない場合の最終手段です。ServiceNow は、バックアップの完了タイミングにかかわらず、インスタンスを任意の時点に復元できます。カスタマーサービス & サポート は、アップグレード後の重大な課題に対して 24 時間 365 日サポートを提供します。

i 注:

ServiceNow はオンデマンドバックアップを実行しません。インスタンスは、ServiceNow で定義されたスケジュールに従って、業務の繁忙時間帯以外の時間に毎日自動的にバックアップされます。既存のバックアップスケジュールのタイミングは調整されません。

アップグレード全体のテスト

テストは不可欠な部分で、各インスタンスのアップグレード後に実行します。インスタンスをアップグレードした後、テストと検証を行ないます。

このインスタンスの命名規則は、ServiceNow インスタンスが 3 つあることを前提としています。インスタンスが 3 つある場合は、次の順序でインスタンスをアップグレードします。

1. 開発
2. テスト
3. 本番

インスタンス数が 3 つではない場合、または[チーム開発](#)を使用している場合、これらのインスタンスラベルは異なったものになります。一般に、本番インスタンスから最も離れたインスタンスを本番インスタンスにアップグレードします。

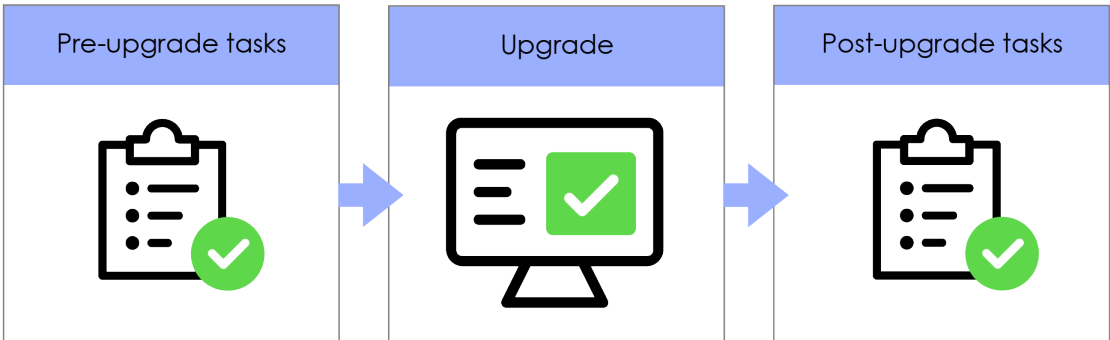
インスタンス	必要なテストのタイプ
開発	スモークテストを実施します。
テスト	- ServiceNow 自動テストフレームワーク (ATF) が、非本番インスタンスのテストを支援します。 - 自動テストフレームワーク (ATF) クイックスタートテストと製品テストスイートを使用すると、アップグレード前後のテストをすぐに開始できます。利用可能なテストとアクティブ化情報のリストについては、「クイックスタートテスト」を参照してください。 - 追加のテスト範囲として、非本番インスタンスでユーザー受け入れテスト (UAT) を実行することもできます。
本番	UAT を実施します。 i 注: 自動テストフレームワーク (ATF) は非本番インスタンスでの使用を目的としています。本番インスタンスでは、UAT のみを実施します。

アップグレード後に課題が発生した場合は、課題の状況、課題の再現手順、およびカスタマイズの内容を文書化します。 [連絡先 カスタマーサービス & サポート](#) 各問題のインシデントを開き、それに応じてこの情報を提供します。 カスタマーサービス & サポート 24時間年中無休で、ご質問やご相談にお答えします。

様々な製品に関するアップグレード前後のタスク

アップグレードの準備として、さまざまなアプリケーションや機能のアップグレードおよび移行のタスクを確認します。該当する場合は、アップグレード完了前後でそれらのタスクを完了する計画を立てます。

スムーズなアップグレードのためのインスタンスの準備



Xanadu にアップグレードする前に、これらのアップグレード前後のタスクを確認し、必要に応じて完了してください。

アップグレードおよび移行のタスク

 **重要:**
自己ホスト型のお客様のアップグレード手順の変更について詳しくは、 [KB0563844](#) を参照してください。

製品	リリースノート	ファミリー
AI 検索	以前のリリースから <i>Tokyo</i> にアップグレードすると、AI 検索は、カタログアイテム [sc_cat_item] テーブルおよびナレッジ [kb_knowledge] テーブルのインデックス付きソースからコンテンツとメタデータに自動的にインデックスを再作成します。この 1 回限りのインデックス再作成プロセスは、このリリースで検索エクスペリエンスを改善するために必要です。 以前のリリースから <i>Tokyo</i> にアップグレードした後に検索アプリケーション構成を表示または編集すると、1 つ以上のインデックス付きソースを再インデックス付けするように指示する警告メッセージが表示される場合があります。このインデックス再作成プロセス (リストされているインデックス付きソースごとに 1 回限りのプロセス) は、検索ベースのオートコンプリート候補を正しく入力するために必要です。	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	以前のリリースから <i>Tokyo</i> にアップグレードすると、検索結果のデフォルトの関連性スコアが変更される場合があります。以前のリリースでトレーニングされた関連性モデルは、引き続き同じ結果の順序を生成します。複数のリリース前にトレーニングされたモデルは、デフォルトの関連性モデルに戻る可能性があります。 AI 検索 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	
アドミンセンター	アドミンセンターアプリケーションの最新バージョンは、 <i>ServiceNow Store</i> で入手できます。	<i>Tokyo</i>
アプリケーションポートフォリオ管理	アプリケーションポートフォリオ管理 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、 <i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	<i>Tokyo</i>
アセスメントとサーベイ	以前のリリースから <i>Tokyo</i> にアップグレードすると、サービスポータルと <i>Now Mobile</i> アプリでアセスメントとサーベイがデフォルトでアクティブ化されます。	<i>Tokyo</i>
認証	認証 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、 <i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	<i>Tokyo</i>
自動テストフレームワーク (ATF)	<i>Now Platform</i>® で提供されているクイックスタートテストをコピーしカスタマイズして、構成変更後もインスタンスが動作することを検証します。たとえば、アップグレードを適用するか、アプリケーションを開発する場合です。 カスタマイズを行っていないベースシステム上で、アプリケーションまたは機能プラグインが提供するデフォルトのデモデータを使用してテストを実行した場合にのみ、テストで合格の結果を生成できます。インスタンス固有のデータにクイックスタートテストを適用するには、クイックスタートテストをコピーしてカスタムデータを追加します。詳しくは、「Available quick start tests by application or feature (アプリケーションおよび機能別に利用可能なクイックスタートテスト)」を参照してください。	<i>Tokyo</i>

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ				
Cloud Provisioning and Governance	Cloud Provisioning and Governance report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Tokyo				
コンフィギュレーションコンプライアンス	- コンフィギュレーションコンプライアンスアプリケーションのモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 - 以前にアプリケーションを ServiceNow Store からダウンロードしていて新バージョンが利用可能な場合、Now Platform インスタンスで更新できます。 - コンフィギュレーションコンプライアンスアプリケーションのリリース済みバージョンと、Tokyo と互換性のあるサードパーティアプリケーションや ServiceNow アプリケーションについて詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (脆弱性対応互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 - 脆弱性対応 と コンフィギュレーションコンプライアンス でサポートされているサードパーティアプリケーションの更新については、「脆弱性対応統合リリースノート」を参照してください。 コンフィギュレーションコンプライアンスの Tokyo へのアップグレード情報 <table><tr><th>バージョン</th><th>アップグレードの説明</th></tr><tr><td>14.3</td><td> ServiceNow Store で Tokyo の認定済みです。 詳細については、以下の「Tokyo リリースの新機能」セクションを参照してください。 </td></tr></table>	バージョン	アップグレードの説明	14.3	ServiceNow Store で Tokyo の認定済みです。 詳細については、以下の「Tokyo リリースの新機能」セクションを参照してください。	Tokyo
バージョン	アップグレードの説明					
14.3	ServiceNow Store で Tokyo の認定済みです。 詳細については、以下の「Tokyo リリースの新機能」セクションを参照してください。					
対話型インターフェースのホーム	対話型インターフェースのホームは Tokyo リリースに含まれていますので、既存のお客様はインストールする必要はありません。ただし、ServiceNow Store からアプリとしても入手できます。その場合は、後続の更新はそこからインストールする必要があります。	Tokyo				
Core Now Platform	ログ保護をオプトインするには、プラットフォームで特定のシステムログテーブルの更新および削除操作を制限できるようにする	Tokyo				

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	Protected Tables プラグイン (com.glide.protected_tables) をインストールします。アドミニストレーターは、[ログ保護管理] パネルで各テーブルのログテーブル保護ルールをカスタマイズできます。 Core Now Platform report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	
カスタマーサービス管理 (CSM)	カスタマーサービス管理 (CSM) report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Tokyo
従業員ジャーニー管理	HR サービスデリバリー (HRSD) report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Tokyo
暗号化キー管理	暗号化コンテキストは、San Diego リリース以降へのアップグレード時に、列レベル暗号化 フィールド暗号化モジュールおよび対応するモジュールアクセスポリシーに自動的に変換されます。この機能拡張について説明するガイド付きツアーをダッシュボードから利用できます。 暗号化キー管理 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Tokyo
フローデザイナー	フローデザイナー report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。 San Diego およびそれ以前のリリースからアップグレードしたインスタンスが、フローとアクションに対する制限付き呼び出し元アクセス権限要求を生成できるようにすることができます。フローとアクションのアクセス権限を有効にする方法の詳細については、「Upgrade restricted caller access privileges for flows and actions (フローとアクションに対する制限付き呼び出し元アクセス権限のアップグレード)」を参照してください。	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	⚠ 警告: フローとアクションを追跡するように制限付きの申請者アクセス特権をアップグレードすると、以前はスクリプトインクルードやビジネスルールからのクロススコープアクセスを追跡していたインスタンスで、サービスが中断される可能性があります。アップグレード後は、制限付きリソースへのアクセスを試みるすべてのフローとアクションの実行がブロックされ、代わりにそのフローやアクション独自の制限付きの申請者アクセス特権に対する承認要求が生成されます。クロススコープのフローおよびアクションを実行するには、アクセス権限要求を誰かが承認する必要があります。スクリプトの呼び出しを使用してフローとアクションの間接的な追跡を既に許可しているお客様は、このタスクをスキップして、引き続きスクリプトからフローとアクションを呼び出すことができます。既存のアクセス権限を新しいフローおよびフローアクションのソースタイプに置き換えたいお客様は、新しいアクセス権限要求を生成および承認するための機能停止のスケジュールを設定することができます。	
ガバナンス、リスク、コンプライアンス	ガバナンス、リスク、コンプライアンスバージョン 14.0 以降、ビジネスユーザー (sn_grc.business_user) ロールは GRC リーダー (sn_grc.reader) ロールから削除され、GRC ユーザー (sn_grc.user) ロールに追加されます。詳細については、 KB1123608 を参照してください。	Tokyo
HR サービスデリバリー用ケースとナレッジ管理	HR サービスデリバリー (HRSD) report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report view access control (Report view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
ヘルスログアナリティクス	Health Log Analytic のバージョンが 2022 年 2 月より前の場合は、Now Support または ServiceNow 営業担当者に連絡して、ヘルスログアナリティクスアプリケーションコアコンポーネントのアップグレードを要求してください。	Tokyo
ITOM ヴィジビリティ	ITOM ヴィジビリティ report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report view access control (Report view のアクセス制御)」を参照してください。 Tokyo にアップグレードすると、検出されたすべてのインフラストラクチャ CI のインストールステータスが自動的に「インストール済み」(「1」) に設定されます。組織でインストールステータスを使用している場合は、本番インスタンスをアップグレードする前に、テストインスタンスで Tokyo をテストしてください。	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	CSDM ライフサイクル状況を使用して、CI のライフサイクルステージとステージステータスを追跡します。詳細については、[Placeholder link text to key bundle-rn.bundle-platcap.csdm-life-cycle-standard-values (キー bundle-rn.bundle-platcap.csdm-life-cycle-standard-values へのブレースホルダーリンクテキスト)] を参照してください。 Tokyo へのアップグレード後にインストールステータスに関連する問題を解決するには、KB1213467 を参照してください。	
インポートとエクスポート	インポートとエクスポート report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
インシデント管理	インシデント管理 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	インスタンスデータレプリケーション (IDR) report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Instance Scan	Instance Scan report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
統合ハブ	統合ハブ report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Intelligent Service Delivery	HR サービスデリバリー (HRSD) report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	control (Report_view のアクセス制御) を参照してください。	
ナレッジ管理	- ナレッジ管理 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。 - Tokyo リリース以降、アップグレードされたバージョンの Angular JS 1.5.11 がベースシステムで利用可能になりました。	Tokyo
法務サービス デリバリ	法務サービスデリバリ を Tokyo にアップグレードする前に、<code>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</code> システムプロパティの値を false に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加 し、その値を false に設定します。 アップグレード後、法務要求管理、法務デジタルフォレンジック、Legal Simple Contracts の各アプリケーションでインストールされた一部のテーブルは、アプリケーションファイル [sys_metadata] テーブルを拡張して、実務エリア、問診票フォーム、契約構成、フォレンジック構成を更新セットにシームレスに移行できるようにします。 システムプロパティ値を更新せずに Tokyo バージョンにアップグレードすると、テーブルはアプリケーションファイルテーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、Now Support ナレッジベース記事「Manual upgrade steps for reparenting table changes in Tokyo (Tokyo でテーブル変更の親を再指定する手動アップグレード手順) [KB1163388]」を参照してください。	Tokyo
MID サーバー	最新の MID サーバーシステム要件については、「MID Server system requirements (MID サーバーシステム要件)」を参照してください。次の Java Runtime Environment (JRE) バージョンがサポートされています。 - JRE11 : バージョン 11.0.15 以降 - JRE8 : バージョン 1.8.0_275 以降 独自の JRE をインストールしている場合、アップグレードプロセスは次のアクションを実行して、MID サーバーがサポートされている JRE を使用するようにします。	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	- アップグレード時に <i>MID</i> サーバーがサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスはその JRE を <i>MID</i> サーバーインストーラーにバンドルされている OpenJDK に置き換えます。 - サポートされている JRE が <i>MID</i> サーバーホストで実行されている場合、アップグレードされた <i>MID</i> サーバーはそのバージョンを使用します。 自動アップグレードを行なうには、すべての <i>MID</i> サーバーホストマシンが install.servicenow.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、「How the System Manages MID Server Upgrades」(システムが <i>MID</i> サーバーアップグレードを管理する方法)」をご確認ください。 1 つの実行可能ファイルパスにつき、<i>Windows MID</i> サーバーサービスは 1 つのみ許可されます。アップグレードした <i>Windows MID</i> サーバーに同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。詳しくは『MID Server fails to start (MID サーバーが起動しない)』を参照してください。 <i>MID</i> サーバーのアップグレードについて詳しくは次のトピックを参照してください。 MID サーバーのアップグレード前のチェック：実際にアップグレードを行なう前に、システムでの <i>MID</i> サーバーのアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明しています。 手動での MID サーバーのアップグレード：<i>MID</i> サーバーを手動でアップグレードする方法について説明しています。	
モバイル	<i>ServiceNow</i> クラシックモバイルアプリから <i>ServiceNow</i> モバイルプラットフォームに移行すると、迅速な開発、オフライン機能、ネイティブモバイルデバイス機能との統合などの機能が活用できます。<i>ServiceNow</i> モバイルプラットフォームへの移行の詳細については、「Migrate from the ServiceNow Classic mobile app to the ServiceNow Mobile Platform (ServiceNow 従来版モバイルアプリから ServiceNow モバイルプラットフォームへの移行)」を参照してください。 <i>ServiceNow</i> モバイルプラットフォーム <i>report_view</i> アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Tokyo
オペレーショナルテクノロ	以前のリリースで オペレーショナルテクノロジーインシデント管理を使用している場合、以前に OT インシデントユーザー (<i>ot_incident_user</i>) ロールが割り当てられていたユーザーにオ	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
ジーインシデント管理 v2	ペレーショナルテクノロジーインシデント管理 v2 ロールを新たに割り当てる必要があります。詳細については、「 Assign new Operational Technology Incident Management roles (新しいオペレーショナルテクノロジーインシデント管理ロールの割り当て)」を参照してください。	
パスワードリセット	パスワードリセット report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
プロジェクトポートフォリオ管理	プロジェクトポートフォリオ管理 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。 PPM のシナリオ計画をバージョン 2.3.0 以降にアップグレードする場合は、統合を機能させるには、従来の投資枠管理アプリケーションを ServiceNow Store にアップグレードする必要があります。従来の投資枠管理から ServiceNow Store アプリケーションへのアップグレード手順の詳細については、「 Upgrade Instructions (アップグレード手順) 」を参照してください。	Tokyo
サービスブリッジ (テクノロジー)	サービスブリッジアプリケーションの Tokyo バージョンにアップグレードするには、 Now Support ナレッジベースの記事「 <i>Service Bridge- Upgrade steps for San Diego store release to Tokyo store release</i> (サービスブリッジ - San Diego ストアリリースから Tokyo ストアリリースへのアップグレード手順) [KB1120583]」を参照してください。	Tokyo
サービスブリッジ (電気通信)		Tokyo
ITSM のサービスオペレーションワークスペース	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 - サービスオペレーションワークスペース ITSM Applications アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) - サービスオペレーションワークスペース ITOM アプリケーション (sn_sow_itom_cont)	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ												
	互換性のある SOW バージョン <table><thead><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr><tr><td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr><tr><td>1.3.x</td><td>21.2.y、 21.5.y、 および 21.6.y</td></tr><tr><td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr><tr><td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr></tbody></table> ここで、 x は サービスオペレーションワークスペース <i>ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョンで、 y は サービスオペレーションワークスペース <i>ITOM</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサブバージョンです。	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、 21.5.y、 および 21.6.y	2.0.x	22.0.y	2.1.x	22.1.y および 22.y.y	
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)													
1.1.x	21.0.y													
1.2.x	21.1.y													
1.3.x	21.2.y、 21.5.y、 および 21.6.y													
2.0.x	22.0.y													
2.1.x	22.1.y および 22.y.y													
サービスポータル	アップグレードで有効になる Report_view ACL  サービスポータル report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)  」を参照してください。 Report_view ACL は、以前は新しい (zBoot) インスタンスで有効でした。  注: サービスポータルreport_viewアクセス制御リスト (ACL) のリストについては、次の Web サイトを参照してください。すべて > システムセキュリティ > アクセス制御 (ACL) をクリックし、条件ビルダーを使用して、[Operation] [is] [report_view] AND [Package] [contains] [service portal] AND [Package] [is not] [Service Portal - Standard Ticket] というフィルターを追加します。 デフォルトで有効になるユーザーエクスペリエンスアナリティクスのトラッキング 	Tokyo												

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	サービスポータルアナリティクス プラグイン (com.glide.service-portal.analytics) はデフォルトでアクティブ化されており、ポータルのユーザーエクスペリエンスアナリティクスのトラッキングはデフォルトでオンになっています。 以前に一部のポータルのみでユーザーエクスペリエンスアナリティクスのトラッキングを有効にしていたアップグレードのお客様の場合、ポータルのトラッキング設定はアップグレード後も変更されません。 TinyMCE 5 のアップグレード TinyMCE HTML エディターがバージョン 5.10.2 にアップグレードされました。サービスポータルで Angular プロバイダーを使用して TinyMCE 実装をカスタマイズしている場合は、カスタマイズされたバージョンのアップグレードについて、「Changes in TinyMCE 5 (TinyMCE 5 での変更点)」を参照してください。	
ソフトウェア資産管理	Software Asset Management Foundation プラグイン (com.snc.sams) のアップグレードについて詳しくは、「 Revert Software Asset Management Customizations (ソフトウェア資産管理のカスタマイズを元に戻す) 」を参照してください。	Tokyo
サブスクリプション管理	サブスクリプション管理 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
アップグレードセンター	アップグレードセンター report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
ベンダー管理ワークスペース	ベンダー管理ワークスペース report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
仮想エージェント	- 新しいポータブル仮想エージェント Web クライアント 🔗 は、Seismic コンポーネントで、サードパーティの Web サイトへ簡単に仮想エージェントを追加できます。サードパーティの Web ページに仮想エージェントを埋め込む従来の方法は引き続き機能します。 - 以前のリリースでは、仮想エージェントデザイナーのトピックブロックとカスタムコントロールはグローバルスコープで公開されていました。このリリースでは、トピックブロックとカスタムコントロールが呼び出し元トピックのスコープに含まれるようになりました。	Tokyo
ビジュアルタスクボード	ビジュアルタスクボード report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 🔗 」を参照してください。	Tokyo
脆弱性対応統合	<i>Vulnerability Response</i> アプリケーションのリリース済みバージョンと、Tokyo と互換性のあるサードパーティアプリケーションや ServiceNow アプリケーションについて詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (脆弱性対応互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498] 🔗」を参照してください。 - 脆弱性対応の新機能の詳細については、「脆弱性対応リリースノート 🔗」を参照してください。	Tokyo
脆弱性対応	脆弱性対応アプリケーションのデータモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 🔗 を参照してください。 新しいバージョンへのアップグレード中は、アップグレード元のデータとバージョンに基づいてアップグレード時間が長くなる場合があります。これは、アップグレード中に追加されたスキーマの変更が原因です。詳しくは、KB0856498 🔗 を参照してください。 脆弱性対応アプリケーションを古いバージョンからバージョン 15.x にアップグレードすると、ベースシステムのデフォルトの修復タスクルールが非アクティブ化されます。詳細については、「Vulnerability Response Workspaces and updates to remediation task and remediation task rules (脆弱性対応ワークスペースおよび、修復タスクと修復タスクルールの更新) 🔗」を参照してください。 脆弱性対応 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。 - 新しいバージョンの 脆弱性対応アプリケーションにアップグレードすると、新しいバージョンがインスタンスで利用可能になり、インストールの準備が整います。脆弱性対応の更新は <i>ServiceNow® Store</i> で入手できます。 - 脆弱性対応アプリケーションのリリース済みバージョン、<i>Tokyo</i> との互換性、スキーマ変更について詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (脆弱性対応互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 <i>Rome</i> で <i>Vulnerability Response</i> をバージョン 18.0 にアップグレードすると、脆弱性マネージャーのワークスペースはサポートされなくなります。	
ITSM のワークフォース最適化	予測方法の改善：<i>Demand Forecast</i> では、改善した予測方法を使用してデータを予測します。インジケータスコアを予測するための単純な手法を線形回帰手法にアップグレードしました。以前の単純な手法では、最新のシーズンの最初と最後のスコアのみを使用しましたが、アップグレードした手法では、評価期間中に利用可能なすべてのスコアを使用します。さらに、従来の線形メソッドとドリフトメソッドを単一の線形メソッドに置き換え、95% 予測間隔の計算を改善しました。アップグレードすると、<i>Demand Forecast</i> で使用する予測アルゴリズムが次のように更新されます。 「単純な季節トレンド分析」アルゴリズムの名前が「季節 (Seasonal)」に変更されます。 「単純な季節トレンド分析ドリフト」アルゴリズムの名前が「季節トレンド (Seasonal Trend)」に変更されます。 - ドリフトアルゴリズムが削除されます。 スケジュール計画とシフト計画のテキストインデックス作成の有効化：<i>ITSM</i> のワークフォース最適化 バージョン 1.1.1 にアップグレードする場合は、次のテーブルのテキストインデックス作成を有効にする 必要があります。 - スケジュール [sn_shift_planning_schedule_plan] - シフト計画 [sn_shift_planning_shift_plan] - シフト [cmn_rota] アップグレード後にテキストインデックス作成を実行しないと、スケジュール計画とシフト計画をキーワードで検索できません。スケジュール計画とシフト計画の名前でのみ検索できます。 ITSM のワークフォース最適化レポートビュー ACL： report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i>	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。 ラーニングのコーチング：ITSM のワークフォース最適化 Tokyo リリースにアップグレードすると、自動的に次の更新が行われます。 「学習カタログ」の名前が「学習ライブラリ」に変更されます。学習カタログ内のすべてのコースが学習ライブラリに移動されます。 - マネージャーは、コースアイテムまたはラーニングパスを作成するときに、そのコースまたはパスをコースカタログに関連付ける必要があります。各カタログに適用されるセキュリティ上の制約に応じて、ユーザーはカタログ内のコースまたはパスにアクセスできます。 i 注: 既存のコースはすべてデフォルトのコースカタログに移行されます。 ServiceNow ストアから ITSM Shift Planning Host v 5.3.0 アプリケーションにアップグレードした後： - エージェントがシフトにサインアップできるようにするには、<code>sn_shift_planning.enable_agent_signup</code> プロパティを true に設定する必要があります。 - スケジュールのフィルターに対する次のラベル変更が自動的に行われます。 「ステータス」は、「スケジュール計画ステータス」に名前が変わります。 「日付」は、「スケジュール計画日付」に名前が変わります。	
AI 検索	以前のリリースから <i>Utah</i> にアップグレード後に、タスク [task] テーブルとその子テーブルからレコードにインデックス付けすると、AI 検索が新しい自動言語検出機能を適用します。<i>Utah</i> にアップグレードする前にインデックス付けをしたタスクレコードに自動言語検出を適用するには、それらのレコードを手動で再インデックス付けする必要があります。 同様に、以前のリリースから <i>Utah</i> にアップグレードした後で、中国語テキストまたは日本語テキストの領域を持つレコードまたはドキュメントにインデックス付けをすると、AI 検索は中国語と日本語の新しいテキスト領域検出機能を自動的に適用します。<i>Utah</i> にアップグレードする前に、インデックス付けしたレコードやドキュメントにテキスト領域検出を適用するには、それらのレコードやドキュメントを手動で再インデックス付けする必要があります。	Utah

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	Utah の新しいインスタンスでは <i>Next Experience</i> 向け AI 検索アプリケーションは自動的に有効になります。以前のリリースから <i>Utah</i> にアップグレードした場合、 <i>Next Experience</i> 向け AI 検索は手動で設定および有効化できます。アプリケーションに関する詳細については、「 AI Search for Next Experience (Next Experience 向け AI 検索) 」を参照してください。	
エージェントチャットおよびサイドバー	対話型インターフェースコンソールは <i>Utah</i> リリースに含まれているため、既存のお客様はこれをインストールする必要はありません。 <i>ServiceNow Store</i> からアプリとしてインストールした場合は、後続の更新はそこからインストールする必要があります。	Utah
アセスメントとサーベイ	<i>Utah</i> リリースでは、アセスメントカードとサーベイカードのボタンをすべて削除しました。自動テストフレームワーク (ATF) テストを正常に実行するには、「[サーベイを実施] ボタンをクリックする」ステップを、このステップを含むすべてのテストで「サーベイカードをクリックする」ステップに置き換える必要があります。	Utah
Cloud Provisioning and Governance	<i>Cloud Provisioning and Governance</i> を <i>Utah</i> リリースにアップグレードした後、クラウドイベント [sn_cmp_cloud_event] テーブルの指定された列からデータベースインデックスを作成します。データベースインデックスは、インスタンスの <i>Amazon Web Services (AWS)</i> イベント処理パフォーマンスを向上するのに役立ちます。 <i>Utah</i> リリースで <i>Cloud Provisioning and Governance</i> の使用を開始している場合、アプリケーションのインストール時にデータベースインデックスが自動的に作成されます。詳細については、「 Improve AWS cloud event processing performance (AWS クラウドイベント処理パフォーマンスの改善) 」を参照してください。	Utah
コンフィギュレーションコンプライアンス	- コンフィギュレーションコンプライアンスアプリケーションのデータモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 - 以前にアプリケーションを <i>ServiceNow Store</i> からダウンロードしていて新バージョンが利用可能な場合、<i>Now Platform</i> インスタンスで更新できます。 - コンフィギュレーションコンプライアンスアプリケーションのリリース済みバージョンと、<i>Utah</i> と互換性のあるサードパーティアプリケーションや <i>ServiceNow</i> アプリケーションについて詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema」	Utah

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ				
	Changes (脆弱性対応互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 脆弱性対応とコンフィギュレーションコンプライアンスでサポートされているサードパーティアプリケーションの更新については、「脆弱性対応統合リリースノート」を参照してください。 コンフィギュレーションコンプライアンスの Utah へのアップグレード情報 <table><tr><th>バージョン</th><th>アップグレードの説明</th></tr><tr><td>14.7</td><td> ServiceNow ストアで <i>Utah</i> の認定済みです。 詳細については、以下の「<i>Utah</i> リリースの新機能」セクションを参照してください。 </td></tr></table>	バージョン	アップグレードの説明	14.7	ServiceNow ストアで <i>Utah</i> の認定済みです。 詳細については、以下の「<i>Utah</i> リリースの新機能」セクションを参照してください。	
バージョン	アップグレードの説明					
14.7	ServiceNow ストアで <i>Utah</i> の認定済みです。 詳細については、以下の「<i>Utah</i> リリースの新機能」セクションを参照してください。					
カスタマーサービス管理 (CSM)	ケースタスクの拡張により、ケースタスクレコードに複数のフィールドが追加されます。 <i>Utah</i> リリースにアップグレードすると、顧客はスクリプトを実行してアクティブなケースタスクのこれらのフィールドに入力できます。詳細については、「 Cases and case tasks (ケースとケースタスク) 」を参照してください。	Utah				
暗号化キー管理	暗号化コンテキストは、 <i>San Diego</i> リリース以降へのアップグレード時に、列レベル暗号化フィールド暗号化モジュールと対応するモジュールアクセスポリシーに自動的に変換されます。この機能拡張について説明するガイド付きツアーをダッシュボードから利用できます。 暗号化キー管理 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、 <i>Utah</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Utah				
ハードウェア資産管理 7.0.0	既存のカスタマイズの構成を変更して、標準レコードページテンプレートと互換性を持たせる必要があります。標準レコードページテンプレートおよび構成変更の詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「 Work Instruction How to Migrate existing Record Pages to Standard Record Pages (操作手順 既存のレコードページの標準レコードページへの移行) [KB1224040] 」を参照してください。	Utah				
ヘルスログアナリティクス	<i>Health Log Analytic</i> のバージョンが 2022 年 2 月より前の場合は、Now Support または ServiceNow 営業担当者に連絡して、ヘルスログアナリティクスアプリケーションコアコンポーネントのアップグレードを要求してください。	Utah				

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
ID と認証	認証 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、 <i>Utah</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Utah
産業用プロセスマネージャー	Manufacturing Process Manager に同梱されている ISA サービスグラフコネクタを使用し、産業用プロセスマネージャーにアップグレードする場合は、新しい ISA 設備階層モデルエンティティに一意の名前フィールドがあることを確認してください。	Utah
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	レプリケーションセットを V2 にアップグレードして <i>Hermes Messaging Service</i> を使用すると (IDR) のパフォーマンスと処理効率を向上できます。詳細については、「 Upgrading legacy replication set to V2 in インスタンスデータレプリケーション (IDR) (インスタンスデータレプリケーション (IDR) の V2 への従来のレプリケーションセットのアップグレード)」を参照してください。	Utah
MID サーバー	最新の MID サーバーシステム要件については、「MID Server system requirements (MID サーバーシステム要件)」を参照してください。サポートされている Java Runtime Environment (JRE) の最低バージョンは 11.0.9 で推奨バージョンは 11.0.16 です。 独自の JRE をインストールしている場合、アップグレードプロセスは次のアクションを実行して、MID サーバーがサポートされている JRE を使用するようになります。 - アップグレードの際に MID サーバーがサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスで JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。 - サポートされている JRE が MID サーバーホストで実行されている場合、アップグレードされた MID サーバーはそのバージョンを使用します。 自動アップグレードを行なうには、すべての MID サーバーホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、「How the System Manages MID Server Upgrades (システムが MID サーバーアップグレードを管理する方法)」をご確認ください。 1 つの実行可能ファイルパスにつき、<i>Windows MID</i> サーバーサービスは 1 つのみ許可されます。アップグレードした <i>Windows MID</i> サーバーに同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。詳しくは『MID	Utah

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	Server fails to start (MID サーバーが起動しない) を参照してください。 MID サーバーのアップグレードについて詳しくは次のトピックを参照してください。 • MID サーバーのアップグレード前のチェック : 実際にアップグレードを行なう前に、システムでの MID サーバーのアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明しています。 • 手動での MID サーバーのアップグレード : MID サーバーを手動でアップグレードする方法について説明しています。	
Manager Hub	Xanadu リリースにアップグレードする場合は、従業員センターの [To Do 構成] フォームでマネージャーの To Do マッピング用に作成された追加条件を、マネージャーハブの To Do マッピングモジュールで再度作成する必要があります。	Utah
オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 v2	以前のリリースで オペレーショナルテクノロジーインシデント管理を使用している場合、以前に OT インシデントユーザー (ot_incident_user) ロールが割り当てられていたユーザーにオペレーショナルテクノロジーインシデント管理 v2 ロールを新たに割り当てる必要があります。詳細については、「 Assign new Operational Technology Incident Management roles (新しいオペレーショナルテクノロジーインシデント管理ロールの割り当て) 」を参照してください。	Utah
プラットフォームセキュリティ	データプライバシー機能を使うには Vault エンタイトルメントを取得します。この機能の詳細については、「 ServiceNow Vault 」を参照してください。	Utah
ポートフォリオ計画	• v6.0.1 以降、アラインメントプランナーワークスペースは SPM 標準ライセンスのポートフォリオ計画に名前が変更されます。ServiceNow インスタンスでのアプリケーション名がポートフォリオ計画と表示され、ワークスペースモジュール名はポートフォリオ計画ワークスペースと表示されます。 • 古いバージョンからポートフォリオ計画 v6.1.1 以降にアップグレードする場合は、roadmap_editor ロールが使用されなくなるため、roadmap_editor ロールから milestone_editor ロールを削除する修正スクリプトが実行されます。この場合、ServiceNow インスタンスに roadmap_editor ロールを持つ多数のユーザーがいると、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。詳細については、KB1443618 を参照してください。	Utah
公共機関デジタルサービス	アップグレード後、CSM 構成可能ワークスペースの特定の公共部門メニューとメニューアイテムが元の CSM ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、	Utah

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ				
	顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。詳細については、「Relabel items for public sector use after upgrade (アップグレード後に公共部門用のアイテムのラベルを変更する)」を参照してください。					
ロボティック プロセスオー トメーション (RPA) ハブ	現在インストール済みの Microsoft Software Installers (MSI) (RPA デスクトップデザインスタジオ、アテンシ型ロボット、 無人ロボット) は、RPA アプリケーションをダウンロードして必ずアップグレードしてください。詳細については、「Download the RPA applications from RPA Hub (RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード)」を参照してください。 アプリケーションファイルテーブル内のレコード数に応じて、RPA Hub アプリケーションの Tokyo から Utah へのアップグレードに遅延が生じる可能性があります。 RPA Hub を Utah にアップグレードする前に、<code>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</code> システムプロパティの値を false に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加 し、その値を false に設定します。 Utah にアップグレード後、ボットプロセス定義が新しい構造のボットプロセス構成に変わります。ただし、ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありません。ほとんどのフィールドがボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。 システムプロパティ値を更新せずに Utah バージョンにアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、Now Support ナレッジベースの記事「Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah (Utah の sys_metadata への RPA Hub テーブルの再ビルド)」を参照してください。	Utah				
ITSM のサー ビスオペレー ションワーク スペース	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 - サービスオペレーションワークスペース ITSM Applications アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) - サービスオペレーションワークスペース ITOM アプリケーション (sn_sow_itom_cont) 互換性のある SOW バージョン <table><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr><tr><td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr></table>	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	Utah
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)					
1.1.x	21.0.y					

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ										
	<table><thead><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr><tr><td>1.3.x</td><td>21.2.y、21.5.y、および 21.6.y</td></tr><tr><td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr><tr><td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr></tbody></table> ここで、x は サービスオペレーションワークスペース <i>ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョンで、y は サービスオペレーションワークスペース <i>ITOM</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサブバージョンです。	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y	2.0.x	22.0.y	2.1.x	22.1.y および 22.y.y	
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)											
1.2.x	21.1.y											
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y											
2.0.x	22.0.y											
2.1.x	22.1.y および 22.y.y											
サービスポータル	アップグレード後に、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットにデータにゲストユーザーがアクセスできるテーブルを指定する必要があります。デフォルトでは、<i>Utah</i> パッチ 10 リリースでは、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットは、ゲストユーザーのどのテーブルからもデータにアクセスして返すことができません。アップグレード前に <code>glide.service_portal.widget.table_allow_list</code> または <code>glide.service_portal.widget.allow_list</code> システムプロパティを追加した場合、これらのプロパティの値は、<i>Utah</i> パッチ 10 リリース以降にアップグレードした後にウィジェットの公開テーブル許可リストに移行されます。詳細については、「ウィジェットセキュリティの構成」を参照してください。 さらに、フィールドレベルの読み取り ACL は、デフォルトで簡易リストウィジェットインスタンスのフィルター条件に適用されます。新しいシステムプロパティ <code>glide.service_portal.enable_acls_for_encoded_query_in_list</code> は、簡易リストウィジェットインスタンスに対して [フィルタークエリ用語でフィールドレベルの読み取り ACL を適用する (Enforce field-level Read ACLs on Filter query terms)] オプションが選択されているかどうかに関係なく、これらの ACL を適用します。[フィルタークエリ用語でフィールドレベルの読み取り ACL を適用する (Enforce field-level Read ACLs on Filter query terms)] オプションを使用するには、<code>glide.service_portal.enable_acls_for_encoded_query_in_list</code> の値を <code>false</code> に変更します。詳細については、「簡易リスト ウィジェット」を参照してください。	Utah										
サービスポートフォリオ管理	可用性の結果の表示 は Tokyo リリースで導入されましたが後続のリリースにも適用されます。アップグレードすると、データ負荷が高いと判断されたお客様の場合、システムが長時間実行型	Utah										

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	のバックグラウンドジョブを開始し、長い時間継続する場合があります。詳しくは「 KB1123644 」を参照してください。	
ソフトウェア 資産管理	<i>Software Asset Management Foundation</i> プラグイン (com.snc.sams) のアップグレードについて詳しくは、「Revert Software Asset Management Customizations (ソフトウェア資産管理のカスタマイズを元に戻す)」を参照してください。 <i>Utah</i> にアップグレードすると、ソフトウェア保証の対象であり汎用バージョンのソフトウェアモデルに関連付けられている既存の無期限ライセンスエンタイトルメントが変更されます。ソフトウェア資産管理は、これらのエンタイトルメントをバージョン固有のソフトウェアモデルに自動的に変換します。これらの変更は、<i>Microsoft</i> のライセンス条項に準拠し、<i>Microsoft</i> 製品のすべてのバージョンにソフトウェアアシュアランス特典を適用する潜在的なリスクを軽減するために行われます。詳細については、「ソフトウェアライセンスのメンテナンス」を参照してください。	Utah
戦略的計画	• v2.0.1 以降、アラインメントプランナーワークスペース は <i>SPM Pro</i> ライセンスの <i>Strategic Planning</i> に名前が変更されます。<i>ServiceNow</i> インスタンスでのアプリケーション名が戦略的計画と表示され、ワークスペースモジュール名は戦略的計画ワークスペースと表示されます。 • <i>Strategic Planning</i> アプリケーションをインストールすると、[目標] フォーム 上の [会社]、[事業部門]、[部門]、[ポートフォリオ] の各既存フィールドが、[アサインされたエンティティタイプ] と [アサインされたエンティティ] の 2 つのフィールドに統合され、既存のフィールドの値に基づいて自動的に入力されます。 • [事業部門]、[部門]、[会社]、または [ポートフォリオ] 以外のレンズエンティティ付き m2m 関係を作成した場合は、アサインされたエンティティの目標関係を移行する スケジュールジョブを実行して、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルのデータに基づき、[目標] フォーム の [アサインされたエンティティタイプ] および [アサインされたエンティティ] フィールドに入力します。 • 古いバージョンからポートフォリオ計画立案 v2.1.0 以降にアップグレードする場合は、roadmap_editor ロールが使用されなくなるため、roadmap_editor ロールから milestone_editor ロールを削除する修正スクリプトが実行されます。この場合、<i>ServiceNow</i> インスタンスに roadmap_editor ロールを持つ多数のユーザーがいると、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。詳細については、KB1443618 を参照してください。	Utah

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
サプライヤーライフサイクルオペレーション	<i>Utah</i> リリースで、既存のすべてのテーブルの名前が変更されました。名前の変更の一環として、既存のテーブルの新しい名前に含まれる「supplier」という単語がすべて「slm」に変更されました。たとえば、サプライヤーケース [sn_supplier_case] はサプライヤーケース (sn_slm_case) に、サプライヤータスク [sn_supplier_task] はサプライヤータスク (sn_slm_task) に変更されました。 <i>Tokyo</i> リリースから <i>Utah</i> リリースにアップグレードする場合は、修正スクリプトを実行して既存のテーブルを サプライヤー共通アーキテクチャ に移行してください。詳細については、「 修正スクリプトによる既存テーブルのサプライヤー共通アーキテクチャへの移行 」を参照してください。	Utah
アップグレードセンター	アップグレードセンター report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、 <i>Utah</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report view access control (Report view のアクセス制御) 」を参照してください。	Utah
脆弱性対応統合	- 脆弱性対応アプリケーションのリリース済みバージョンと、<i>Utah</i> と互換性のあるサードパーティアプリケーションや ServiceNow アプリケーションについて詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (脆弱性対応互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 - 脆弱性対応の新機能の詳細については、「脆弱性対応リリースノート」を参照してください。	Utah
脆弱性対応	脆弱性対応アプリケーションのデータモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 新しいバージョンへのアップグレード中は、アップグレード元のデータとバージョンに基づいてアップグレード時間が長くなる場合があります。この問題は、アップグレード中に追加されたスキーマの変更が原因です。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 <i>Rome</i> で 脆弱性対応をバージョン 18.0 にアップグレードすると、脆弱性マネージャーのワークスペースはサポートされなくなります。	Utah
AI 検索	以前のリリースから <i>Vancouver</i> にアップグレードすると、AI 検索は非タスクテーブルのインデックスを自動的に再作成して、添付ファイルの検索結果をその親レコードとともに表示できるようにしますが、タスク [task] テーブルとその子テーブルのインデックスは自動的に再作成しません。タスクレコードの添付ファイルの検索結果を親レコードとともに表示する	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	前に、タスク [task] テーブルのインデックスを手動で再作成する必要があります。テーブルのインデックスの再作成の詳細については、「単一のインデックス付きソースに対して完全なテーブルインデックス作成またはインデックス再作成を実行する」を参照してください。 注: タスクテーブルのインデックスの再作成には時間がかかる場合があります。 • 以前のリリースから <i>Vancouver</i> にアップグレードした後、必要に応じて、ブロックおよび昇格アクションを含む結果改善ルールを含む検索プロファイルを再公開できます。これらの検索プロファイルを再公開すると、結果改善ルールが翻訳された検索結果を正しくブロックまたは昇格できない可能性がある問題が解決されます。検索プロファイルを再公開する手順については、「Publish a search profile (検索プロファイルを公開する)」を参照してください。AI 検索で翻訳されたコンテンツを処理する方法の詳細については、「Internationalization support for AI Search (AI 検索のインターナショナルリゼーションサポート)」を参照してください。	
アセスメントとサーベイ	<i>Utah</i> より前のバージョンから <i>Vancouver</i> にアップグレードする場合は、自動テストフレームワーク (ATF) テストを更新します。<i>Utah</i> リリースでは、アセスメントカードとサーベイカードのボタンをすべて削除しました。ATF テストを正常に実行するには、このステップを含むすべてのテストについて、「サーベイの実施ボタンをクリックする」ステップを「サーベイカードをクリックする」のステップに置き換える必要があります。	Vancouver
自動テストフレームワーク (ATF)	<i>Now Platform</i>® で提供されているクイックスタートテストをコピーしカスタマイズして、構成変更後もインスタンスが動作することを検証します。たとえば、アップグレードを適用するか、アプリケーションを開発する場合です。 カスタマイズを行っていないベースシステム上で、アプリケーションまたは機能プラグインが提供するデフォルトのデモデータを使用してテストを実行した場合にのみ、テストで合格の結果を生成できます。インスタンス固有のデータにクイックスタートテストを適用するには、クイックスタートテストをコピーしてカスタムデータを追加します。詳しくは、「Available quick start tests by application or feature (アプリケーションおよび機能別に利用可能なクイックスタートテスト)」を参照してください。	Vancouver
クラウドコスト管理	クラウドコスト管理を <i>Vancouver</i> にアップグレードする手順については、「クラウドインサイトのアップグレード」を参照してください。	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
構成管理 データベース (CMDB)	アップグレード中に、調整定義マッピング [cmdb_reconciliation_definition_mapping] テーブルを再ペアレネティングする修正スクリプトが実行されます。この修正スクリプトが完了するまでの時間は、アップグレードされたインスタンスの調整ルールの数によって異なり、通常はアップグレードに数分かかります。 調整定義マッピング [cmdb_reconciliation_definition_mapping] テーブルを再ペアレネティングすることは、インスタンス間で調整ルールをエクスポートするときにそのテーブルのデータが更新セットによってキャプチャされるようにするために必要です。アップグレード後、調整ルールへの変更は更新セットによって完全にキャプチャされ、宛先インスタンスに適切に移植されます。	Vancouver
カスタマー サービス管理 (CSM)	Vancouver リリースへのアップグレード後に、カスタマーサービスのタスクインテリジェンスのカテゴリ化および感情モデルの再トレーニングと再展開が必要になる場合があります。詳細については、カスタマーサービスのタスクインテリジェンスのドキュメントの「 Steps to complete after upgrading to Vancouver (Vancouver にアップグレードした後に完了するステップ) 」を参照してください。	Vancouver
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 以降には、スコープ対象のアプリケーションから Now Platform プラグインへの移行をサポートする更新されたスキーマが含まれています。アップグレードの詳細については、「 バージョン 2.4 以前からドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 へのアップグレード 」を参照してください。	Vancouver
ゴールフレームワーク	v4.2.0 以降、[タイプ] フィールドが [マイルストーン] に設定されている既存のターゲットは、定性的ターゲットと見なされます。ゴールフレームワークをアップグレードすると、このような既存のターゲットの場合、測定単位は [はい]/[いいえ] に設定され、[基準] の値は [いいえ] に設定され、[ターゲット] の値は自動的に [はい] に設定されます。また、進捗値が 100 の場合、[実績] の値は [はい] に設定され、それ以外の場合は [いいえ] に設定されます。	Vancouver
ITOM ヴィジビリティ	Microsoft Azure アラート構成 アップグレード後、Microsoft Azure アラートサービスを構成して、アラート通知を安全な方法で Now Platform に転送します。詳細については、「セキュアな Webhook を使用して Microsoft Azure アラートを Now Platform に転送する」を参照してください。	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
ID と認証	認証 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Vancouver リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Vancouver
産業用プロセスマネージャー	Manufacturing Process Manager に同梱されている ISA サービスグラフコネクタを使用し、産業用プロセスマネージャーにアップグレードする場合は、新しい ISA 設備階層モデルエンティティに一意的な名前フィールドがあることを確認してください。	Vancouver
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	レプリケーションセットを V2 にアップグレードして、Hermes Messaging Service (インスタンスデータレプリケーション (HLA)) のパフォーマンスと処理効率を向上させます。詳細については、「 Upgrading legacy replication set to V2 in インスタンスデータレプリケーション (IDR) (インスタンスデータレプリケーション (IDR) の V2 への従来のレプリケーションセットのアップグレード) 」を参照してください。 インスタンスのレプリケーションペイロードエラー [idr_replication_payload_error] テーブルに 1,000 万件を超えるレコードがある場合は、 KB1364728 に従ってテーブルローテーションを設定します。テーブルローテーションを使用してレプリケーションペイロードエラー [idr_replication_payload_error] テーブルからレコードを削除しても、そのテーブルには HLA によってログに記録されたレプリケーションエラーのみが含まれ、レプリケートされたデータは含まれないため安全です。	Vancouver
MID サーバー	最新の MID サーバーシステム要件については、「 MID Server system requirements (MID サーバーシステム要件) 」を参照してください。サポートされている JRE の最小バージョンは 11.0.9 で、推奨バージョンは 11.0.16.1 です。 独自の JRE をインストールしている場合、アップグレードプロセスは次のアクションを実行して、MID サーバーがサポートされている JRE を使用するようになります。 - アップグレードの際に MID サーバーがサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスで JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。 - サポートされている JRE が MID サーバーホストで実行されている場合、アップグレードされた MID サーバーはそのバージョンを使用します。 自動アップグレードを行なうには、すべての MID サーバーホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイト	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	にアクセスする必要があります。詳細については、「How the System Manages MID Server Upgrades」(システムが MID サーバーアップグレードを管理する方法)」をご確認ください。 1 つの実行可能ファイルパスにつき、Windows MID サーバーサービスは 1 つのみ許可されます。アップグレードした Windows MID サーバーに同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。詳しくは『MID Server fails to start (MID サーバーが起動しない)』を参照してください。 MID サーバーのアップグレードについて詳しくは次のトピックを参照してください。 • MID サーバーのアップグレード前のチェック : 実際にアップグレードを行なう前に、システムでの MID サーバーのアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明しています。 • 手動での MID サーバーのアップグレード : MID サーバーを手動でアップグレードする方法について説明しています。	
Now Assist	Now Assist アプリケーションとプラグインのアップグレードのトラブルシューティングの詳細については、 Now Assist アップグレードの問題と軽減 に関する KB 記事を参照してください。	Vancouver
注文管理	2023 年 11 月のリリース以降、注文管理アプリケーションは、電気通信、メディア、テクノロジー向け注文管理アプリケーションで提供される注文履行機能を含む、製品およびサービスの注文の完全なライフサイクルをサポートします。通信事業サービス管理サブスクリプションをお持ちの場合は、ServiceNow Store から電気通信、メディア、テクノロジー向け注文管理アプリケーションをインストールします。このアプリケーションは、注文管理アプリケーション、通信デモデータ、および TM Forum API REST 仕様の次の ServiceNow オープン API 実装をインストールします。 • 製品カタログオープン API • サービスカタログオープン API • 製品注文オープン API • サービス注文オープン API • 製品インベントリオープン API • テクニカルサービス認定オープン API カスタマーサービス管理 (CSM) の注文管理アプリケーションに精通している場合は、注文管理アプリケーションをインストールした後、オプションでそのインターフェイスを使用できます。詳細については、「Enable the user interface for Order Management for Customer Service Management (カスタ	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	マーサービス管理 (CSM) の注文管理のユーザーインターフェイスを有効にする) KB1554296」を参照してください。インターフェイスの変更については、「カスタマーサービス管理 (CSM) の注文管理アプリケーションの変更 (Changes to the Order Management for Customer Service Management application) KB1560237」を参照してください。 アップグレード中、注文タスク [sn_ind_tmt_orm_order_task] テーブルは、カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションで使用される予定タスク [planned_tasks] テーブルから拡張されます。注文タスクテーブルも変更されました。注文タスクテーブルの変更に関する詳細については、「OMT Reparenting data model changes (OMT 再親化データモデルの変更) KB1496935」を参照してください。 Vancouver リリースにアップグレードしたが、電気通信、メディア、テクノロジー向け注文管理アプリケーションのバージョン 5.2.0 を使用していない場合、製品インベントリおよび製品モデル特性を設定するための修正は利用できません。これらの変更を取得するには、現在の Vancouver パッチにアップグレードします。	
プラットフォームアナリティクスワークスペース	プラットフォームアナリティクスワークスペース (3.0) の Vancouver バージョンには、以前は ServiceNow® Store でのみ利用可能だったバージョン 2.1.x の更新が含まれています。	Vancouver
ポートフォリオ計画	- 古いバージョンからポートフォリオ計画 v6.1.1 以降にアップグレードする場合は、roadmap_editor ロールが使用されなくなるため、roadmap_editor ロールから milestone_editor ロールを削除する修正スクリプトが実行されます。この場合、ServiceNow インスタンスに roadmap_editor ロールを持つ多数のユーザーがいると、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。詳細については、KB1443618」を参照してください。 - 古いバージョンからポートフォリオ計画 7.0.0 または 7.1.0 にアップグレードする場合、ポートフォリオ計画の作成または編集集中にエンティティの選択ステップでエンティティリストがロードされないことがあります。この場合、[エンティティを選択] ページのリストコンポーネントにスクリプトを追加する必要があります。詳細については、KB1566418」を参照してください。	Vancouver
プロセスオートメーションデザイナー	Vancouver にアップグレードした後、ServiceNow Store でアプリケーションを更新します。	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
公共機関デジタルサービス	公共機関デジタルサービス v8.0 にアップグレードする前に、[提供されるサービス] テーブルのデータ、[受けたサービス] テーブルのデータ、および [提供されるサービス] テーブルから [サービス定義] テーブルへの変換によって影響を受けるその他すべてのデータ (パフォーマンスアナリティクスダッシュボードデータ、構成員またはビジネスレポートデータなど) のカスタムサービス定義を作成する必要があります。以前のリリースで作成されたカスタムサービス提供データと受けたサービスデータは、新しいリリースに自動的に移行されず、アップグレード後は、データが従来のエンティティからサービス定義テーブルに移行されるまで、アプリケーション内でアクセスできなくなります。詳細については、「提供されるサービスと受けたサービスの移行ガイド (Services Offered and Services Received Migration Guidance)」および「公共機関デジタルサービスでのプレイブックのサービス定義の構成 (Configure a service definition for Playbooks in Public Sector Digital Services)」を参照してください。 アップグレード後、CSM 構成可能ワークスペースの特定の公共部門メニューとメニューアイテムが元の CSM ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。詳細については、「Relabel items for public sector use after upgrade (アップグレード後に公共部門用のアイテムのラベルを変更する)」を参照してください。	Vancouver
ロボティックプロセスオートメーション (RPA) ハブ	現在インストール済みの Microsoft Software Installers (MSI) (RPA デスクトップデザインスタジオ、アテンド型ロボット、無人ロボット、および 無人ロボット Login Agent) は、RPA アプリケーションをダウンロードして必ずアップグレードしてください。詳細については、「Download the RPA applications from RPA Hub (RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード)」を参照してください。 次のアップグレード手順は、San Diego または Tokyo から Vancouver にアップグレードする場合にのみ適用されます。 アプリケーションファイルテーブル内のレコード数に応じて、RPA Hub アプリケーションについて、Tokyo からのアップグレード中、または Vancouver へのアップグレードの前に、遅延が生じる可能性があります。 RPA Hub を Vancouver にアップグレードする前に、<code>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</code> システムプロパティの値を false に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加 し、その値を false に設定します。 Vancouver にアップグレードすると、ボットプロセス定義は新しい構造、つまりボットプロセス構成に変更されます。ただし、	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ														
	ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありません。ほとんどのフィールドがボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。 システムプロパティ値を更新せずに <i>Utah</i> バージョンにアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、<i>Now Support</i> ナレッジベースの記事「Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah (Utah の sys_metadata への RPA Hub テーブルの再ビルド)」を参照してください。															
セキュリティ インシデント レスポンス		Vancouver														
サービスブリッジ	新しい サービスブリッジアプリケーションのアップグレードと使用の詳細については、「 サービスブリッジからの移行 (レガシー) 」を参照してください。	Vancouver														
ITSM のサービスオペレーションワークスペース	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 - サービスオペレーションワークスペース <i>ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) - サービスオペレーションワークスペース <i>ITOM</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) 互換性のある SOW バージョン <table><thead><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr><tr><td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr><tr><td>1.3.x</td><td>21.2.y、21.5.y、および 21.6.y</td></tr><tr><td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr><tr><td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr><tr><td>4.0.x</td><td>24.y.y</td></tr></tbody></table> ここで、x は サービスオペレーションワークスペース <i>ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョンで、y は サービスオペレーションワークスペース	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y	2.0.x	22.0.y	2.1.x	22.1.y および 22.y.y	4.0.x	24.y.y	Vancouver
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)															
1.1.x	21.0.y															
1.2.x	21.1.y															
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y															
2.0.x	22.0.y															
2.1.x	22.1.y および 22.y.y															
4.0.x	24.y.y															

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	ITOM アプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサブバージョンです。 アップグレードされたインスタンスに次のいずれかのカスタマイズが含まれている場合は、標準レコードページの変更を移行する必要があります。詳細については、「サービスオペレーションワークスペースの標準レコードページの構成」を参照してください。 • クライアントタイプの任意のカスタム宣言アクション • 任意のカスタムモダール • カスタム水平タブまたはコンテキストサイドパネルタブの画面または画面条件 3.0 のアップグレード後は、推奨フレームワーク機能は使用できなくなり、代わりに <i>Recommended Actions for ITSM</i> 機能の標準バージョンのみが使用できます。	
サービスポータル	アップグレード後に、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットのデータにゲストユーザーがアクセスできるテーブルを指定する必要があります。デフォルトでは、Vancouver パッチ 7 リリース以降では、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットは、ゲストユーザーのどのテーブルからもデータにアクセスして返すことができません。アップグレード前に <code>glide.service_portal.widget.table_allow_list</code> または <code>glide.service_portal.widget.allow_list</code> システムプロパティを追加した場合、これらのプロパティの値は、Vancouver パッチ 7 リリース以降にアップグレードした後にウィジェットの公開テーブル許可リストに移行されます。詳細については、「ウィジェットセキュリティの構成」を参照してください。 さらに、フィールドレベルの読み取り ACL は、デフォルトで簡易リストウィジェットインスタンスのフィルター条件に適用されます。新しいシステムプロパティ <code>glide.service_portal.enable_acls_for_encoded_query_in_list</code> は、簡易リストウィジェットインスタンスに対して [フィルタークエリ用語でフィールドレベルの読み取り ACL を適用する (Enforce field-level Read ACLs on Filter query terms)] オプションが選択されているかどうかに関係なく、これらの ACL を適用します。[フィルタークエリ用語でフィールドレベルの読み取り ACL を適用する (Enforce field-level Read ACLs on Filter query terms)] オプションを使用するには、<code>glide.service_portal.enable_acls_for_encoded_query_in_list</code> の値を <code>false</code> に変更します。詳細については、「簡易リスト ウィジェット」を参照してください。	Vancouver
サービスポートフォリオ管理	可用性の結果の表示 は Tokyo リリースで導入されましたが後続のリリースにも適用されます。アップグレードすると、データ負荷が高いと判断されたお客様の場合、システムが長時間実行型	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	のバックグラウンドジョブを開始し、長い時間継続する場合があります。詳細については、「 KB1123644 」を参照してください。	
スキル管理	[スキルを管理] ページの URL をカスタマイズした場合は、新しいページを指すように URL を手動で更新する必要があります。新しい [スキルの管理] ページへの相対パスは次のとおりです：https://<instance name>.service-now.com/now/nav/ui/manage-skills/params/parent-skill/2eb1c2029f100200a3bc1471367fcfe4/parent-department/221f79b7c6112284005d646b76ab978c/recursive-departments/true/recursive-skills/true/group-by/departments。既存のパスをこのパスに置き換えることができます。 i 注: parent-skill と parent-department の sys_id が、既存の URL にあるものと同じ ID であることを確認してください。	Vancouver
ソフトウェア資産管理	Software Asset Management Foundation プラグイン (com.snc.sams) のアップグレードについて詳しくは、「Revert Software Asset Management Customizations (ソフトウェア資産管理のカスタマイズを元に戻す)」を参照してください。 Vancouver にアップグレードすると、ディスカバリーマップ (DMAP) 定義の [バージョン] フィールドと [エディション] フィールドで新しい is_empty 値がサポートされます。既存の Microsoft SQL Server コンポーネント DMAP 定義の [エディション] フィールドが以前に is_anything に設定されていた場合、コンテンツの更新後に新しい is_empty 値で自動的に更新されます。	Vancouver
戦略的計画	- v2.1.0 以降、<i>Strategic Planning</i> の目標モジュールにアクセスするには、読み取りアクセスと編集アクセスにそれぞれ sn_apw_advanced.spw_goal_user_read ロールと sn_apw_advanced.spw_goal_user ロールが必要です。<i>Strategic Planning</i> をアップグレードした後、これらのロールを既存の目標ユーザーにアサインして、<i>Strategic Planning</i> で目標を管理します。 - v2.1.0 以降、[タイプ] フィールドが [マイルストーン] に設定されている既存のターゲットは、定性的ターゲットと見なされます。<i>Strategic Planning</i> をアップグレードすると、このような既存のターゲットの場合、自動的に測定単位は [はい]/[いいえ] に設定され、基準値は [いいえ] に設定され、ターゲット値は [はい] に設定されます。また、進捗値が 100 の場合、[実績] の値は [はい] に設定され、それ以外の場合は [いいえ] に設定されます。 - 古いバージョンからポートフォリオ計画立案 v2.1.0 以降にアップグレードする場合は、roadmap_editor ロー	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	ルが使用されなくなるため、roadmap_editor ロールから milestone_editor ロールを削除する修正スクリプトが実行されます。この場合、ServiceNow インスタンスに roadmap_editor ロールを持つ多数のユーザーがいると、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。詳細については、KB1443618 を参照してください。 古いバージョンから <i>Strategic Planning</i> v3.0.0 または v3.4.0 にアップグレードする場合、ポートフォリオ計画の作成または編集にエンティティの選択手順でエンティティリストがロードされないことがあります。この場合、[エンティティを選択] ページのリストコンポーネントにスクリプトを追加する必要があります。詳細については、KB1566418 を参照してください。	
通信事業サービスオペレーション管理	統合ハブスターパッケージは、外部トリガーとともに、Vancouver パッチ 1 のスターターパッケージのコンポーネントとして含まれています。顧客は、電気通信 API 通知機能を取得するには、ファミリーリリースの Vancouver パッチ 1 を使用する必要があります。	Vancouver
サードパーティリスク管理		Vancouver
仮想エージェント	Vancouver パッチ 7 で提供されるいくつかの機能は、最初の <i>Washington DC</i> 早期アクセスリリースでは使用できません。これらの機能は、<i>Washington DC</i> の将来のパッチリリースで利用可能になります。 入力コレクターのコントロールの変更 - ドラッグアンドドロップしてノード内の入力を並べ替えます。 - ノードが受け入れる入力のタイプ (テキスト、メール、IP アドレス、電話番号、URL、またはカスタム) を指定します。 - ノードあたりの入力の最大数は 5 です。 テキストユーザー入力コントロールで強制されるユーザープロンプトオプション [詳細プロパティ] 領域の切り替えスイッチを使用すると、トピック作成者が、LLM によって生成される応答の代わりにユーザーに表示されるメッセージを指定できます。	Vancouver
脆弱性対応統合	脆弱性対応アプリケーションのリリース済みバージョンと、Vancouver と互換性のあるサードパーティアプリケーションや ServiceNow アプリケーションについて、詳しくは、ナレッジベース記事「Vulnerability Response	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	Compatibility Matrix and Release Schema Changes (脆弱性対応互換性マトリクスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498] を参照してください。 脆弱性対応の新機能の詳細については、「脆弱性対応リリースノート」を参照してください。	
脆弱性対応	脆弱性対応アプリケーションのデータモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 新しいバージョンへのアップグレード中は、アップグレード元のデータとバージョンに基づいてアップグレード時間が長くなる場合があります。この問題は、アップグレード中に追加されたスキーマの変更が原因です。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 脆弱性対応アプリケーションのバージョン 20.0 および脆弱性緊急対応アプリケーションのバージョン 2.03 以降、「脆弱性アナリストワークスペース」は「脆弱性アセスメントワークスペース」という名前に変更されています。「脆弱性アナリストワークスペース」への参照はすべて「脆弱性アセスメントワークスペース」になりました。	Vancouver
AI 検索	<i>Washington DC</i> にアップグレードすると、AI 検索で既存の Genius 結果構成が自動的に更新され、新しい AI 検索 Genius 結果構成フォーム のフィールドを使用するようになります。この更新手順では、以下のような変更が行われます。 • [Genius 結果の回答タイプ] フィールドの既存の値を削除します。 • 必要に応じて、[Genius 結果のロジック] フィールドの値を、新しい AI 検索要求プロセッサのフィールドと AI 検索応答プロセッサのフィールドに移行します。 インスタンスを <i>Washington DC</i> にアップグレードした後も、AI 検索は、以前に [検索クエリに複数の用語が含まれている場合に使用するブーリアン検索演算子] (<code>glide.ais.query.search_operator</code>) システムプロパティに設定した値を保持します。マルチターム検索に対して新たに拡張されたクエリモードを活用するには、このシステムプロパティの値を <code>AND then OR 2+ key terms</code> に設定します。AI 検索システムプロパティの詳細については、「AI 検索システムプロパティ」を参照してください。 <i>Washington DC</i> 以降、ユーザー [sys_user] テーブルではデフォルトで、インデックス付きレコードは sys_updated_on の日付でソートされず、sys_created_on の日付でソートされます。この変更では、AI 検索のユーザーテーブルのインデックス付きソースのインデックスを再作成する必要があるため、時間がかかる可能性があります。以前のファミリーリリースから <i>Washington DC</i> にアップグレードすると、AI 検索ではユー	Washington

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	ザーテーブルのインデックス付きソースのインデックスが自動的に再作成されません。ユーザーレコードの最新の構成を検索可能にする必要がある場合、ユーザーテーブルのインデックス付きソースのインデックスを手動で再作成 🔗 することはできますが、時間がかかる可能性があります。そうでない場合は、すべてのレコードのインデックスが再作成されるまで、更新時に個々のユーザーテーブルレコードのインデックスが AI 検索によって再作成されます。	
自動テストフレームワーク (ATF)	<i>Now Platform</i>® で提供されているクイックスタートテストをコピーしカスタマイズして、構成変更後もインスタンスが動作することを検証します。たとえば、アップグレードを適用するか、アプリケーションを開発する場合です。 カスタマイズを行っていないベースシステム上で、アプリケーションまたは機能プラグインが提供するデフォルトのデモデータを使用してテストを実行した場合にのみ、テストで合格の結果を生成できます。インスタンス固有のデータにクイックスタートテストを適用するには、クイックスタートテストをコピーしてカスタムデータを追加します。詳しくは、「Available quick start tests by application or feature (アプリケーションおよび機能別に利用可能なクイックスタートテスト) 🔗」を参照してください。	Washington
事業継続性管理	<i>Washington DC</i> リリースにアップグレードした後は、既存のビジネスインパクトアナリシス、事業継続性計画、およびイベントについて、次の重要な情報に注意する必要があります。 • ビジネスインパクトアナリシスの場合、アップグレード後に手動で追加された依存関係について、依存関係アセスメントの [ソース] 列の名前が [プライマリソース] に変更され、BCM ソースの名前が [手動] に変更されます。[依存関係を更新 (Update dependencies)] ボタンを選択すると、<i>CMDB</i> 依存関係が追加されます。 • 事業継続性計画については、アップグレード後に [ソース] 列の名前が [プライマリソース] に変更されます。[依存関係を更新 (Update dependencies)] ボタンを選択すると、<i>CMDB</i> および <i>BIA</i> 依存関係が追加されます。以前のリリースとの互換性を維持するために、<i>BCM</i> アドミニストレーターはソースを構成し、<i>BIA</i> アップストリーム依存関係と <i>BIA</i> ダウンストリーム依存関係のみをソースとして更新された構成に保持できます。 • イベントと演習で、[依存関係を更新 (Update dependencies)] ボタンを選択すると、アップグレード後に <i>CMDB</i>、<i>BIA</i>、および事業継続性計画 (BCP) の依存関係が追加されます。以前のリリースとの互換性を維持するために、<i>BCM</i> アドミニストレーターはソースを構成し、<i>BIA</i> アップストリーム依存関係と <i>BIA</i> ダウンストリーム依存関係のみをソースとして更新された構成に保持できます。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
構成管理データベース (CMDB)	- この列 <code>product_instance_id</code> は、新しい製品インスタンス識別子 (PID) をサポートすることを目的としてベース構成アイテム [<code>cmdb_ci</code>] テーブルに追加されました。これにより、既存の関連資産、CI、およびインストールベースアイテム (IBI) のルックアップとリンクが可能になります。アップグレード中の変更の影響とその影響を最小限に抑える方法の詳細については、ナレッジベースの記事「Washington リリースに対する CMDB_CI スキーマの変更のアップグレード時の影響 (Upgrade impact of CMDB_CI schema changes for Washington release) [KB1534035] 🔗」を参照してください。 <i>Washington DC</i> リリースへのアップグレード後に初めて CMDB 360 を有効にする場合、非 CMDB クラス (構成アイテム [<code>cmdb_ci</code>] クラスから派生していないクラス) からの CI に対する CMDB 360 データのキャプチャを有効にするには、<code>glide.identification_engine.multisource_non_cmdb_ci_enabled</code> システムプロパティを <code>true</code> に設定する必要があります。 - コア UI で従来のデータ認定アプリケーションを使用していた場合、CMDB ワークスペースでのデータ認定の新しい実装では、関連する定義を使用できません。<i>Washington DC</i> リリースおよび CMDB ワークスペースのバージョン 6.0 にアップグレードした後、従来のデータ認定アプリケーションで作成された定義は、CMDB ワークスペースでドラフトのデータマネージャー認定ポリシーに変換できます。詳細については、「」を参照してください。 🔗	Washington DC
Core Now Platform	以前は、トランザクションがキャンセルされた場合に、特定の監査可能な操作が記録されませんでした。監査レコードがなくなるこの動作が発生するのは、レコードの変更中にプラットフォームがなんらかの操作を実行し、監査の作成前にその操作がキャンセルされるためです。しかし現在では、レコードが変更された直後に監査が作成されるため、キャンセルされたトランザクションによって、監査が記録される前に操作が中止される可能性が低くなります。この更新を容易にするために、トランザクションと同じスレッドに監査が記録されるようになりました。以前の監査はバックグラウンドスレッドで作成されていました。 この変更により、<code>glide.db.audit.lazy</code> プロパティのデフォルト値が <code>true</code> から <code>false</code> に再定義されます。理想的には、このプロパティはプロパティテーブルで定義されていません。つまり、大半のインスタンスで <i>Washington DC</i> リリースで新しいデフォルト値と動作の使用が開始されるということです。インスタンスによっては、このプロパティが値を <code>true</code> に設定した状態で挿入されている可能性があります。これは、これらのインスタンスがこの変更を使用して動作を監査できないことを意味します。この更新を利用するには、このプロパティを削除してください。	Washington DC
暗号化キー管理	インスタンスを <i>Washington DC</i> にアップグレードしても、MID サーバーをアップグレードしない場合、シークレット管理認証	Washington DC

自動翻訳

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	は失敗します。MID サーバーを <i>Washington DC</i> にアップグレードすることで、認証エラーを回避します。アップグレードできない場合は、認証の失敗を避けるために、MID サーバーが <i>Washington DC</i> にアップグレードされるまでは認証をオフにする必要があります。 MID サーバーのアップグレード詳細については、「MID サーバーのアップグレード」を参照してください。	
エンタープライズ資産管理	<i>Washington DC</i> にアップグレードすると、エンタープライズ資産 [sn_ent_asset] テーブルで [model_component] フィールドを使用できなくなります。代わりに、資産 [alm_asset] テーブルで新しい model_component_id フィールドが使用可能になります。[ENT - Migrate to new model] コンポーネントスクリプトによって、既存の model_component フィールドデータが model_component_id フィールドに移動します。 資産の総所有コスト (TCO) については、次のアップグレードシナリオに注意してください。 - アップグレードは、すべてのエンタープライズ資産管理フロータスクに対して機能します。 - ワークフロータスクごとにタスクのレートカードが必要です。 - TCO のアップグレードにより、各タスクに対応する経費ラインの [資産] および [経費カテゴリ] フィールドにデータが入力されます。 - 経費カテゴリは、経費ラインと経費ラインのソースに基づいて入力されます。 - 既存のすべてのモデルの [TCO ベンチマークコスト] と [TCO ベンチマークしきい値] フィールドに手動で入力するか、一括インポート機能を使用して入力する必要があります。 - TCO をアップグレードすると、資産フォームの次のフィールドが入力されます。 - 資産の残存有効年限の終了：作成日に残存有効年限を月単位で加算したもの。 - 資産の最初の使用日：作成日。 - 資産 TCO：資産に関連するすべての経費ラインの合計。単純な資産の場合、資産 TCO はその下の経費ラインの合計です。複合資産の場合、資産 TCO は、親資産とその子資産の経費ラインの合計です。	Washington DC
ファイナンスサービスオペレーションコア	<i>Washington DC</i> へのアップグレード中に、ファイナンスサービスオペレーションコアプラグインは次のテーブルを再ペーレンディングします。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	注: アップグレードされたインスタンス内のレコードの数が多い場合、アップグレードの完了までに長時間かかることがあります。 - サービス定義 [sn_bom_service_definition] テーブルは、要求定義 [sn_ind_request_definition] ではなくサービス定義 [sn_case_type_selection] テーブルから拡張されます。 - 財務タスク [sn_bom_task] テーブルは、グローバルタスク [task] テーブルの代わりにカスタマーサービスタスク [sn_customerservice_task] テーブルから拡張されます。 - ポリシー参加者 [sn_bom_policy_participant] テーブルは、販売済み製品の関連当事者 [sn_install_base_sold_product_related_party] テーブルから拡張されます。 再ペアレンティングにより、既存のアプリケーションの機能を維持したまま、ServiceNow® カスタマーサービス管理 (CSM) のメリットと高機能を活用できます。	
ハードウェア資産管理 10.0.0	Washington DC にアップグレードした後は、資産の総所有コスト (TCO) について、次のアップグレードシナリオに留意してください。 - アップグレードは、すべてのハードウェア資産管理フロータスクに対して機能します。 - ワークフロータスクごとにタスクのレートカードが必要です。 - TCO のアップグレードにより、各タスクに対応する経費ラインの資産および経費カテゴリフィールドにデータが入力されます。 - 経費カテゴリは、経費ラインと経費ラインのソースに基づいて入力されます。 - 既存のすべてのモデルの [TCO ベンチマークコスト] と [TCO ベンチマークしきい値] フィールドに手動で入力するか、一括インポート機能を使用して入力する必要があります。 - TCO をアップグレードすると、資産に関する次のフィールドが入力されます。 - 資産の残存有効年限の終了：作成日と月単位の残存有効年限。 - 資産の最初の使用日：作成日と同じ。 - 資産 TCO：資産に関連するすべての経費ラインの合計。単純な資産の場合、資産 TCO はその下の経費ラインの合計です。複合資産の場合、資産 TCO は、親資産とその子資産の経費ラインの合計です。	Washington DC
ヘルスケアとライフサイエ	Washington DC へのアップグレード中に、ヘルスケア販売済み製品 [sn_hcls_sold_product] 親テーブルが、次のテーブルのイ	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
onsサービス 管理 Core	インストールベースアイテム [sn_install_base_item] に変更されます。 - メンバープラン [sn_hcls_member_plan] - 薬剤 [sn_hcls_medium] - 予防接種 [sn_hcls_immunization] - 登録済みプログラム [sn_hcls_enrolled_program] - 登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program] また、次のテーブルは親テーブルが削除されてスタンドアロンテーブルになっています。 - 医療機関 [sn_hcls_organization] - 医療機関の所在地 [sn_hcls_location] - 施術者所在地 [sn_hcls_practitioner_facility] このように親を指定し直すことで、顧客がより広範なユースケースに組織テーブルと場所テーブルを使用できるようになります。 既存のデータは、既存の機能が影響を受けないよう、次の方法で移行されます。 - sn_hcls_immunization の場所フィールドの参照が cmn_location を使用するように更新されました。 - すべてのデータが、ヘルスケア販売済み製品テーブルからインストールベースアイテムテーブルに移動されます。 - 影響を受けるインストールベースアイテムの行は、ヘルスケア販売済み製品の source_task の値に基づいて入力されます。 - sn_hcls_enrolled_program と sn_hcls_enrolled_program_service のステータスが hcls_state からコピーされます。 - すべてのデータは、医療機関、医療機関の場所、および施術者所在地のスタンドアロンテーブルに移動します。 - このスクリプトにより、[医療機関] テーブルにある既存のレコードの [事業所] テーブルにレコードが作成され、1 対 1 の参照が形成されます。 - サービス組織を参照するレコードは、適切な事業所への参照によって更新されます。 - 施術者所在地にレコードを持つ施術者には、適切な事業所を含めて [サービス組織メンバー] テーブルにレコードが作成されます。 - 医療機関の所在地のデータを含むレコードには、その医療機関の所在地の親サービス組織が含まれます。	

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	注: アップグレードされたインスタンス内のレコードの数が多い場合、アップグレードの完了までに長時間かかることがあります。	
産業用プロセスマネージャー	産業用プロセスマネージャーアプリケーションは、オペレーショナルテクノロジーインシデント管理およびオペレーショナルテクノロジー変更管理を含む <i>Operational Technology Service Management</i> アプリケーションと依存関係を持つようになりました。産業用プロセスマネージャーをインスタンスにインストールするには、次のいずれかの SKU が必要です。 • オペレーショナルテクノロジーヴィジビリティ SKU • <i>Operational Technology Service Management</i> SKU • 産業用プロセスマネージャーの資格を付与するカスタム SKU	Washington DC
インスタンスデータレプリケーション (IDR)	レプリケーションセットを V2 にアップグレードして、<i>Hermes Messaging Service</i> (インスタンスデータレプリケーション (HLA)) のパフォーマンスと処理効率を向上させます。詳細については、「Upgrading legacy replication set to V2 in インスタンスデータレプリケーション (IDR) (インスタンスデータレプリケーション (IDR) の V2 への従来のレプリケーションセットのアップグレード)」を参照してください。 アップグレード後に、レプリケーションペイロードエラー [idr_replication_payload_error] テーブルのログローテーションが自動的に有効になります。デフォルトでは、ログローテーションスケジュールは 7 つのシャードで構成され、シャードごとに 5 日間です。アップグレード前に作成された当該テーブルのログエントリはすべて自動的に切り捨てられます。	Washington DC
MID サーバー	最新の MID サーバーシステム要件については、「MID Server system requirements (MID サーバーシステム要件)」を参照してください。サポートされている JRE の最小バージョンは 11.0.9 で、推奨バージョンは 11.0.16.1 です。 独自の JRE をインストールしている場合、アップグレードプロセスは次のアクションを実行して、MID サーバーがサポートされている JRE を使用するようになります。 • アップグレードの際に MID サーバーがサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスで JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。 • サポートされている JRE が MID サーバーホストで実行されている場合、アップグレードされた MID サーバーはそのバージョンを使用します。 自動アップグレードを行なうには、すべての MID サーバーホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイト	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ						
	にアクセスする必要があります。詳細については、「How the System Manages MID Server Upgrades (システムが MID サーバーアップグレードを管理する方法)」をご確認ください。 1 つの実行可能ファイルパスにつき、<i>Windows MID</i> サーバーサービスは 1 つのみ許可されます。アップグレードした <i>Windows MID</i> サーバーに同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。詳しくは「MID Server fails to start (MID サーバーが起動しない)」を参照してください。 <i>MID</i> サーバーのアップグレードについて詳しくは次のトピックを参照してください。 • MID サーバーのアップグレード前のチェック : 実際にアップグレードを行なう前に、システムでの <i>MID</i> サーバーのアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明しています。 • 手動での MID サーバーのアップグレード : <i>MID</i> サーバーを手動でアップグレードする方法について説明しています。							
クリエイターの Now Assist	ワークフロースタジオのパフォーマンスを改善するには、<i>ServiceNow Store</i> からこれらのバージョンのワークフロースタジオアプリケーションのいずれかをインストールします。ワークフロースタジオのアップグレードの詳細については、「ワークフロースタジオの最新バージョンへの更新」を参照してください。 フロー生成スキルのアップグレードパス <table><tr><td>クリエイターの <i>Now Assist</i> は既にインストールされていますか？</td><td>アップグレードに使用するワークフロースタジオのバージョン</td></tr><tr><td>いいえ</td><td>ワークフロースタジオをバージョン 25.1.3 にアップグレード</td></tr><tr><td>はい</td><td>ワークフロースタジオをバージョン 25.0.0 にアップグレード</td></tr></table>	クリエイターの <i>Now Assist</i> は既にインストールされていますか？	アップグレードに使用するワークフロースタジオのバージョン	いいえ	ワークフロースタジオをバージョン 25.1.3 にアップグレード	はい	ワークフロースタジオをバージョン 25.0.0 にアップグレード	Washington DC
クリエイターの <i>Now Assist</i> は既にインストールされていますか？	アップグレードに使用するワークフロースタジオのバージョン							
いいえ	ワークフロースタジオをバージョン 25.1.3 にアップグレード							
はい	ワークフロースタジオをバージョン 25.0.0 にアップグレード							
Now Assist	<i>Now Assist</i> アプリケーションとプラグインのアップグレードのトラブルシューティングの詳細については、 Now Assist アップグレードの問題と軽減 に関する KB 記事を参照してください。	Washington DC						
注文管理	この <i>Washington DC</i> リリースで導入された機能は、注文管理の以前のリリースではサポートされていません。	Washington DC						

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	通信事業とメディア向け注文管理バージョン 6.0 以前からアップグレードする場合： - Washington DC リリース以降では、製品オフリングと製品属性の特性に設定された毎月の定期料金 (MRC) と非定期料金 (NRC) は、製品オフリングデータモデルではなく、価格リストと価格明細の価格設定データモデルに保存されます。Washington DC にアップグレードした後に価格リストを使用するように価格情報をアップグレードする場合は、Now Support ナレッジベースの記事「Washington にアップグレードする電気通信、メディア、およびテクノロジーの顧客向けの Price Management プラグイン (com.sn_csm_pricing) の取り込み (Price Management Plugin (com.sn_csm_pricing) uptake for Telecommunications, Media, and Technology customers upgrading to Washington) [KB1585863]」を参照してください。 - リリースにアップグレードすると、修正スクリプトが自動的に実行され、未完了の注文のキャプチャを再開するために不要になった特定の電気通信リストレコードが非アクティブになります。これらのレコードの詳細と以前の注文キャプチャプロセス (必要な場合) の使用については、Now Support ナレッジベースの記事「Deprecating List for Order Capture [KB1586538] (注文キャプチャのリストの廃止)」を参照してください。 Washington DC リリースにアップグレードした後、製品コンフィギュレーターの使用中に、新しい変更指示や、切断、一時停止、または再開アクションを含む注文を処理するための再構成ワークアラウンドを確認します。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「Order line reconfiguration issues in Washington when using Order Capture UI [KB1585976] (Washington で注文キャプチャ UI を使用する際の注文ライン再構成の問題)」を参照してください。	
注文管理	この <i>Washington DC</i> リリースで導入された新機能は、<i>Order Management for Telecommunications, Media, and Technology</i> の以前のリリースではサポートされていません。 <i>Washington DC</i> リリース以降では、製品オフリングと製品属性の特性に設定された毎月の定期料金 (MRC) と非定期料金 (NRC) は、製品オフリングデータモデルではなく、価格リストと価格明細の価格設定データモデルに保存されます。<i>Washington DC</i> にアップグレードした後に価格リストを使用するように価格情報をアップグレードする場合は、Now Support ナレッジベースの記事「Washington にアップグレードする電気通信、メディア、およびテクノロジーの顧客向けの Price Management プラグイン (com.sn_csm_pricing) の取り込み (Price Management Plugin (com.sn_csm_pricing) uptake for Telecommunications, Media, and Technology	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	customers upgrading to Washington) [KB1585863] を参照してください。 <i>Washington DC</i> リリースにアップグレードすると、修正スクリプトが自動的に実行され、未完了の注文のキャプチャを再開するために不要になった特定の電気通信リストレコードが非アクティブになります。これらのレコードの詳細と以前の注文キャプチャプロセス (必要な場合) の使用については、Now Support ナレッジベースの記事「注文キャプチャの電話会社リストの廃止 (Deprecating Telco List for Order Capture) [KB1586538]」を参照してください。 <i>Washington DC</i> にアップグレードした後、製品コンフィギュレーターの使用中に、新しい変更指示や、切断、一時停止、または再開アクションを含む注文を処理するための再構成ワークアラウンドを確認します。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「Washington で注文キャプチャ UI を使用する際の注文ライン再構成の問題 (Order line reconfiguration issues in Washington when using Order Capture UI) [KB1585976]」を参照してください。	
パフォーマンスアナリティクス	従来の PA スコア [pa_scores] テーブルは廃止されます。PA スコアテーブルにキャプチャされたインジケータスコアがまだ存在する場合、スコアの数 4,300 万未満であれば、そのスコアはアップグレード時に pa_scores_l1 テーブルと pa_scores_l2 テーブルに自動的に移行されます。アップグレードに追加される予想時間は約 2 時間です。詳細については、 KB1294371 または「 パフォーマンスアナリティクススコアの移行 」を参照してください。	Washington DC
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス機能は、以前はプラットフォームアナリティクスワークスペースにありました。この機能はコア <i>Now Platform</i> の一部となり、 <i>Next Experience</i> 統一ナビゲーションからアクセスできるようになりました。コア <i>UI</i> で作成されたダッシュボード、レポート、およびパフォーマンスアナリティクスウィジェットをこの機能に移行できます。	Washington DC
ワークフロースタジオのプレイブック	<i>Washington DC</i> にアップグレードした後、ServiceNow Store のプレイブックおよびワークフロースタジオアプリケーションを更新します。	Washington DC
ポートフォリオ計画	v8.0.0 以降、戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) Pro ライセンス機能には、戦略的計画ワークスペースでのみアクセスできます。ポートフォリオ計画ワークスペースを使用して、SPM Pro ライセンスの機能 (目標、製品フィードバック、ハイブリッドポートフォリオ計画など) にアクセスしている場合、そのような機能にアクセスするには <i>Strategic Planning</i> をインストールする必要があります。戦略的計画ワークスペースでのみアクセスで	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	きる機能の詳細については、「 ポートフォリオ計画と Strategic Planning の比較 」を参照してください。	
予測インテリジェンス	Washington DC にアップグレードすると、新しい回帰ソリューションを作成できなくなります。既存のソリューションがある場合、そのソリューションは引き続きサポートされ、トレーニングと変更はできますが、新しいソリューションを作成することはできません。 類似性ソリューションとクラスタリングソリューションへの変更は、Washington DC にあるすべてのインスタンスに適用されます。	Washington DC
Proactive Service Experience Workflows	トラブルチケット通知を受信したくない顧客は、インシデントテーブルとケーステーブルに関連するビジネスルールを無効にすることができます。トラブルチケット通知のビジネスルールを無効にする方法の詳細については、「 トラブルチケット通知の非アクティブ化 」を参照してください。	Washington DC
製品カタログ管理および Pricing Management	セールスと注文管理アプリケーションの初期リリースで標準価格調整マトリクスの属性特性を使用していて、セールスと注文管理アプリケーションの 2024 年 5 月リリースにアップグレードする場合は、自動生成されたコード値の形式を修正するスケジュール済みジョブを実行する必要があります。オンデマンドで特殊文字を含む特性レコードのコードフィールドを変更するスケジュール済みジョブを実行して、文字 (a ~ z、A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、アンダースコア (_)、またはドル記号 (\$) 以外の文字をアンダースコア (_) に置き換えます。このジョブは、コード値を、アンダースコアで開始または終了しないように、数字で始まらないように、および連続するアンダースコアを含まないように修正します。	Washington DC
公共機関デジタルサービス	アップグレード後、CSM 構成可能ワークスペースの特定の公共部門メニューとメニューアイテムが元の CSM ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。再レベル付けの詳細については、次を参照してください すべて > 構成メンバーサービス > 管理 > ガイド付きセットアップ をクリックし、公共機関デジタルサービスの構成可能ワークスペース > ワークスペースラベルを手動でカスタマイズ。	Washington DC
ロボティックプロセスオートメーション (RPA) ハブ	RPA アプリケーションをダウンロードして、現在インストールされている次のいずれかの Microsoft ソフトウェアインストーラー (MSI) をアップグレードしてください。 • RPA デスクトップデザインスタジオ • アテンド型ロボット	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	• 無人ロボット • 無人ロボットログインエージェント 詳細については、「Download the RPA applications from RPA Hub (RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード)」を参照してください。 次のアップグレード手順は、<i>San Diego</i> または <i>Tokyo</i> から <i>Washington DC</i> にアップグレードする場合にのみ適用されます。 アプリケーションファイルテーブル内のレコード数に応じて、<i>RPA Hub</i> アプリケーションについて、<i>Tokyo</i> からのアップグレード中、または <i>Washington DC</i> へのアップグレードの前に、遅延が生じる可能性があります。 <i>RPA Hub</i> を <i>Washington DC</i> にアップグレードする前に、<code>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</code> システムプロパティの値を false に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加し、その値を false に設定します。プロパティの追加方法の詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。 <i>Washington DC</i> にアップグレードすると、ボットプロセス定義は新しい構造、つまりボットプロセス構成に変更されます。 ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありませんが、ほとんどのフィールドはボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。システムプロパティ値を更新せずに <i>Utah</i> バージョンにアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、<i>Now Support</i> ナレッジベースの記事「Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah (Utah の sys_metadata への RPA Hub テーブルの再ビルド)」を参照してください。	
セキュリティ ポスチャ ントロール	セキュリティポスチャコントロールの実装に必要なアプリケーションの完全なリストについては、「 セキュリティポスチャコントロールでサポートされるアプリケーションのインストール 」を参照してください。	Washington DC
IT Service Management のサービス オペレーシ ョンワーク スペース	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 • サービスオペレーションワークスペース <i>ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) • サービスオペレーションワークスペース <i>ITOM</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont)	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ																
	互換性のある SOW バージョン <table><thead><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr><tr><td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr><tr><td>1.3.x</td><td>21.2.y、 21.5.y、 および 21.6.y</td></tr><tr><td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr><tr><td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr><tr><td>3.1.x</td><td>23.y.y</td></tr><tr><td>4.x.x</td><td>24.y.y</td></tr></tbody></table> テーブルでは、x はサービスオペレーションワークスペース <i>ITSM</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョンで、y はサービスオペレーションワークスペース <i>ITOM</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサブバージョンです。 3.0 のアップグレード後、推奨フレームワーク機能は使用できなくなります。代わりに、<i>Recommended Actions for ITSM</i> 機能の標準バージョンのみを使用できます。	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、 21.5.y、 および 21.6.y	2.0.x	22.0.y	2.1.x	22.1.y および 22.y.y	3.1.x	23.y.y	4.x.x	24.y.y	
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)																	
1.1.x	21.0.y																	
1.2.x	21.1.y																	
1.3.x	21.2.y、 21.5.y、 および 21.6.y																	
2.0.x	22.0.y																	
2.1.x	22.1.y および 22.y.y																	
3.1.x	23.y.y																	
4.x.x	24.y.y																	
サービスポータル	アップグレード後に、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットのデータにゲストユーザーがアクセスできるテーブルを指定する必要があります。<i>Washington DC</i> リリースのデフォルトでは、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットは、ゲストユーザーのテーブルにアクセスしてデータを返すことはできません。アップグレード前に <code>glide.service_portal.widget.table_allow_list</code> または <code>glide.service_portal.widget.allow_list</code> システムプロパティを追加した場合、これらのプロパティの値は、アップグレード後にウィジェットの公開テーブル許可リストに移行されます。詳細については、「ウィジェットセキュリティの構成」を参照してください。 さらに、フィールドレベルの読み取り ACL は、デフォルトで簡易リストウィジェットインスタンスのフィルター条件に適用されます。新しいシステムプロパティ <code>glide.service_portal.enable_acls_for_encoded_query_in_list</code> は、簡易リストウィジェットインスタンスに対して [フィルタークエリ用語でフィールドレベルの読み取り ACL を適用する (Enforce field-level Read ACLs on Filter query terms)] オプションが選択されているかどうかに関係なく、これら	Washington DC																

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	の ACL を適用します。[フィルタークエリ用語でフィールドレベルの読み取り ACL を適用する (Enforce field-level Read ACLs on Filter query terms)] オプションを使用するには、<code>glide.service_portal.enable_acls_for_encoded_query_in_list</code> の値を <code>false</code> に変更します。詳細については、「簡易リスト ウィジェット」を参照してください。 ユーザーが以前に、プラットフォームの他の部分とは異なるポータルのユーザーエクスペリエンスアナリティクスのユーザーの同意設定を選択した場合、プラットフォーム用に選択された設定は <i>Washington DC</i> リリースのポータルにも使用されます。たとえば、ユーザーがポータルの追跡をオプトアウトし、<i>Vancouver</i> リリースではプラットフォームの残りの部分の追跡をオプトインした場合、ポータルのユーザーエクスペリエンスアナリティクスは <i>Washington DC</i> リリースで追跡されます。ユーザーは、ポータルのユーザープロフィールページからいつでも選択内容を更新できます。	
ソフトウェア資産管理	<i>Washington DC</i> にアップグレードした後は、Adobe に関連するすべてのカスタマイズや ServiceNow インスタンスとの <i>Microsoft 365</i> 統合をやり直す必要があります。これらの統合の機能がソフトウェア資産管理 – SaaS ライセンス管理ストアアプリケーションに移動されるためです。 - 影響を受けるファイルをカスタマイズした場合、アップグレードプロセスはファイルをスキップし、競合を示します。競合を手動で解決し、古い既存のファイルが削除されていることを確認する必要があります。 - 影響を受けるファイルをカスタマイズしていない場合、ファイルはアップグレードの一部として削除され、新しい <code>sys_id</code> を含むファイルが作成されます。	Washington DC
戦略的計画	v4.0.2 以降、戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) Pro ライセンス機能には、戦略的計画ワークスペースでのみアクセスできます。ポートフォリオ計画ワークスペースを使用して、SPM Pro ライセンスの機能 (目標、製品フィードバック、ハイブリッドポートフォリオ計画など) にアクセスしている場合、そのような機能にアクセスするには <i>Strategic Planning</i> をインストールする必要があります。戦略的計画ワークスペースでのみアクセスできる機能の詳細については、「戦略的計画におけるポートフォリオ計画」を参照してください。 戦略的計画 v4.1.2 にアップグレードしていて、以前にパーソナライズサイドパネルを使用して [ゴール] ページのリストビューまたは階層ビューをカスタマイズしていた場合、v4.1.2 で行われたユーザーインターフェイスの拡張機能が表示されないことがあります。この場合、ユーザー設定レコードを削除する必要があります。パーソナライズサイドパネルを使用して作成したユーザー設定を削除する方法の詳細については、KB1642037 を参照してください。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
サプライヤー ライフサイ クルオペレー ション	<i>Vancouver</i> リリースから <i>Washington DC</i> リリースにアップグレードすると、[すべて] ナビゲーションタブの <i>Source-to-Pay</i> ワークスペースのみが表示されます。<i>Source-to-Pay</i> ワークスペースを引き続き使用することを選択した場合は、何もする必要はありません。 ただし、[ワークスペース] タブには、<i>Source-to-Pay</i> ワークスペースとサプライヤーマネージャーワークスペースの両方が表示されます。デフォルトの <i>Source-to-Pay</i> ワークスペースの代わりにサプライヤーマネージャーワークスペースを使用する場合は、<i>Washington DC</i> リリースにアップグレードした後に <code>fixscript_migrate_workspace_to_smw.xml</code> 修正スクリプトを実行してください。 <code>fixscript_migrate_workspace_to_smw.xml</code> ファイルは <i>ServiceNow Store</i> からダウンロードできます。 <i>Source-to-Pay</i> ワークスペースを再び使用する場合は、<code>fixscript_migrate_workspace_to_s2p.xml</code> 修正スクリプトを実行します。 <code>fixscript_migrate_workspace_to_smw.xml</code> ファイルは <i>ServiceNow Store</i> からダウンロードできます。修正スクリプトの実行方法の詳細については、「修正スクリプトの実行」を参照してください。 <i>Washington DC</i> にアップグレードした後、アップグレード後のすべてのタスクを確認し、必要に応じて完了する必要があります。詳細については、「Post-upgrade tasks for Supplier Lifecycle Management (サプライヤーライフサイクル管理のアップグレード後のタスク)」を参照してください。	Washington DC
脆弱性対応統合	- 脆弱性対応アプリケーションのリリース済みバージョンと、<i>Washington DC</i> リリースと互換性のあるサードパーティアプリケーションや <i>ServiceNow</i> アプリケーションについては、<i>Now Support</i> ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (脆弱性対応互換性マトリクスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 - 脆弱性対応の新機能の詳細については、「脆弱性対応リリースノート」を参照してください。	Washington DC
ワークフロー スタジオ	ワークフロースタジオのパフォーマンスを改善するには、 <i>ServiceNow Store</i> からこれらのバージョンのワークフロースタジオアプリケーションのいずれかをインストールします。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ						
	フロー生成スキルのアップグレードパス <table><tr><td>クリエイターの <i>Now Assist</i> は既にインストールされていますか？</td><td>アップグレードに使用するワークフロースタジオのバージョン</td></tr><tr><td>いいえ</td><td>ワークフロースタジオをバージョン 25.1.3 にアップグレード</td></tr><tr><td>はい</td><td>ワークフロースタジオをバージョン 25.0.0 にアップグレード</td></tr></table>	クリエイターの <i>Now Assist</i> は既にインストールされていますか？	アップグレードに使用するワークフロースタジオのバージョン	いいえ	ワークフロースタジオをバージョン 25.1.3 にアップグレード	はい	ワークフロースタジオをバージョン 25.0.0 にアップグレード	
クリエイターの <i>Now Assist</i> は既にインストールされていますか？	アップグレードに使用するワークフロースタジオのバージョン							
いいえ	ワークフロースタジオをバージョン 25.1.3 にアップグレード							
はい	ワークフロースタジオをバージョン 25.0.0 にアップグレード							
AI 検索	以前のリリースから <i>Xanadu</i> にアップグレードした後、次の手順を実行して、ネクストエクスペリエンス向け AI 検索のグローバル検索結果にダッシュボード、データ可視化、および KPI ナビゲーションタブを追加します。 1. ネクストエクスペリエンス向け AI 検索 <i>ServiceNow Store</i> アプリケーションをバージョン 4 以降に更新します。更新手順については、「ServiceNow Store アプリケーションをインストールまたは更新する」を参照してください。 2. <i>Now Support</i> ナレッジベースの「ネクストエクスペリエンス向け AI 検索 4.0 PAR テーブル更新セット (KB1644544)」記事で提供されている更新セットをコミットします。更新セットの詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。	Xanadu						
買掛金オペレーション	以前のリリースからアップグレードする場合は、参照フィールドの税コード [sn_fin_tax_code] テーブルを構成する必要があります。例外エンジンは税コードを使用して請求書を検証し、必要に応じて例外を発生させます。	Xanadu						
アナリティクス、インテリジェンス、レポート	アップグレードする場合は、プラットフォームアナリティクス移行センターを使用して、すべてのデータソースに対して単一の可視化セットと統合フィルターを利用できます。	Xanadu						
App Engine Studio	<i>App Engine</i> 管理センター (AEMC) でグループをアサインする新しいプロセスにより、各インスタンスに同じバージョンのアプリケーション取り込みプラグインがインストールされていることを確認してください。	Xanadu						

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
アプリケーション脆弱性対応	- 脆弱性対応の新機能の詳細については、「脆弱性対応リリースノート」を参照してください。 - アプリケーション脆弱性対応アプリケーションのリリース済みバージョンと、<i>Xanadu</i> リリースと互換性のあるサードパーティアプリケーションや <i>ServiceNow</i> アプリケーションについて詳しくは、<i>Now Support</i> ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (脆弱性対応互換性マトリクスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。	Xanadu
事業継続性管理	計画レコードに導入された関係テーブルは、 <i>Update BCP dependencies snapshot</i> スケジュール済みジョブによって生成されます。 <i>Xanadu</i> リリースにアップグレードした後は、スケジュール済みジョブが実行された後、または [依存関係を更新 (Update dependencies)] ボタンを手動で選択した後にのみ、これらのテーブルを表示できます。	Xanadu
CSM のケース管理	カスタマーサービスマネージャーロール [sn_customerservice_manager] には、承認者ユーザーロール [approver_user] が含まれています。承認者ユーザーロールは、承認アドミンロール [approval_admin] に置き換わります。カスタマーサービスマネージャーロールを持つユーザーは、自分にアサインされた承認要求を承認できます。	Xanadu
クラウドコスト管理 8.0.0	クラウドコスト管理 8.0 バージョンにアップグレードすると、 <i>Amazon Web Services (AWS)</i> 、 <i>Microsoft Azure</i> 、および <i>Google Cloud Platform (GCP)</i> サービスプロバイダーに対して、新しいタグカテゴリ [AI サービス] を利用できるようになります。クラウドコスト管理では、請求処理ダウンロードジョブは当月以降のみ実行されるため、AI サービスへの支出は当月分のみが含まれます。当月より前の月の請求の詳細を表示する場合は、請求処理ダウンロードジョブを手動で実行する必要があります。請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されると、AI サービスの支出データを表示できます。	Xanadu
構成管理データベース (CMDB)	<i>Xanadu</i> にアップグレードする前は、<i>CMDB</i> ワークスペースの管理ビューの [最近の CI アクティビティ] および [最近のアプリケーションサービスアクティビティ] タイルの [更新された CI] および [更新されたアプリケーションサービス] 傾向ラインが、システムの変更を正確に反映していない可能性があります。<i>Xanadu</i> および <i>CMDB</i> ワークスペースのバージョン 5.5、6.2、または 7.2 にアップグレードすると、これらの傾向ラインは、更新された CI と更新されたアプリケーションサービスのより正確な検出に反映されます。 <i>CMDB</i> ヘルス :	Xanadu

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	<i>CMDB Health Dashboard - Relationship Compliance Processor</i> または <i>CMDB Health Dashboard - Relationship Score Calculation</i> ダッシュボードジョブのいずれかがアクティブな場合、<i>Xanadu</i> へのアップグレード中にそのジョブは非アクティブ化されます。アップグレードが完了したら、これらのジョブを再アクティブ化して、CI 関係のヘルスレポートを再開できます。他のすべての <i>CMDB</i> ヘルスダッシュボードジョブのアクティブ状況は保持されます。 100,000 を超える KPI または測定基準の失敗しきい値は、アップグレード中に 100,000 に設定されます。この上限は、多数の CI が指定された測定基準テストに失敗した場合に過剰な処理を避けるために適用されます。 • <i>Xanadu</i> にアップグレードすると、CI ダッシュボードのブックマークは機能しなくなります。「ページが見つかりません」というエラーメッセージが表示されます。CI の <i>CMDB</i> ヘルスレポートを表示するには、<i>CMDB</i> ワークスペースで CI フォームを開きます。 • コア UI の従来のアプリケーションサービスダッシュボードは、<i>Xanadu</i> リリースではサポートされていません。アップグレード後も、以前に作成したブックマークを使用して、その従来のダッシュボードに引き続きアクセスできます。代わりに、<i>CMDB</i> ワークスペースのインサイトビューにある [アプリケーションサービス] タイルから <i>CMDB</i> ワークスペースのアプリケーションサービスダッシュボードにアクセスすることもできます。 • コア UI の <i>CMDB</i> 統合ダッシュボードは、<i>Xanadu</i> リリースではサポートされていません。アップグレード後も、以前に作成したブックマークを使用して、その従来のダッシュボードに引き続きアクセスできます。 アップグレードされたインスタンスの従来のダッシュボードにアクセスするには、すべて > セルフサービス > Dashboards (ダッシュボード) をクリックし、ダッシュボードを検索します。	
データ管理	アップグレード前にアーカイブルールまたはテーブルクリーナールールが構成されているテーブルごとに、データ管理ポリシーレコードが自動的に作成されます。	Xanadu
ワークフロースタジオのディシジョンテーブル	ワークフロースタジオはインスタンスに自動でインストールされます。ただし、ワークフロースタジオは <i>ServiceNow Store</i> アプリケーションであるため、最新の機能を取得するには、バージョンを最新バージョンに更新する必要があります。Washington DC パッチ 3 時点では、ワークフロースタジオを更新すると、ワークフロースタジオ、プレイブック、ディシジョンビルダーなどのすべてのアプリケーション依存関係が自動的に更新されます。 <i>ServiceNow Store</i> またはプラグインのリ	Xanadu

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	ストから、ワークフロースタジオ の個々のアプリケーション依存関係を表示または更新することはできなくなりました。	
ワークフロースタジオでのフロー、サブフロー、およびアクション	アップグレード後、以前に <code>fd_read_operations</code> ロールを持っていたユーザーには、実行ステータスや期間などの基本的な実行の詳細のみが表示されるようになりました。この制限により、このロールを持つユーザーは実行の詳細で機密情報を表示できなくなります。入力構成やランタイム値などのすべての実行の詳細への読み取りアクセス権を付与するには、ユーザーに新しいロール <code>fd_read_operations_all</code> を付与します。	Xanadu
ハードウェア資産管理 11.0.0	<i>Xanadu</i> にアップグレードすると、ハードウェア資産管理のコア <i>UI</i> パフォーマンスアナリティクスダッシュボードとネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクスダッシュボードの両方を表示できます。 i 注: コア <i>UI</i> パフォーマンスアナリティクスダッシュボードをネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクスダッシュボードに移行する際、ダッシュボードの重複を避けるために、自動移行はデフォルトで無効になっています。	Xanadu
ITOM ヘルス	<i>ServiceNow</i> ® <i>Store</i> から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。	Xanadu
ITOM 最適化	<i>ServiceNow</i> ® <i>Store</i> から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。	Xanadu
ITOM Visibility (ITOM ヴィジビリティ)	サービスマッピングのエクスペリエンスを向上させるには、 <i>ServiceNow</i> ® <i>Store</i> からサービスマッピング <i>Plus</i> バージョン 13.0 をインストールします。 <i>ServiceNow</i> ® <i>Store</i> から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。 サービスマッピング <i>Plus</i> の顧客は、 <i>ServiceNow</i> ® <i>Store</i> から App Service Extension アプリをインストールして、アプリケーションサービスマッピングを拡張します。	Xanadu
産業用プロセスマネージャー	産業用プロセスマネージャーアプリケーションは、オペレーショナルテクノロジーインシデント管理およびオペレーショナルテクノロジー変更管理を含む <i>Operational Technology Service Management</i> アプリケーションと依存関係を持つよう	Xanadu

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	になりました。産業用プロセスマネージャーをインスタンスにインストールするには、次のいずれかの SKU が必要です。 • オペレーショナルテクノロジーヴィジビリティ SKU • <i>Operational Technology Service Management</i> SKU • 産業用プロセスマネージャーの資格を付与するカスタム SKU	
MID サーバー	最新の MID サーバーシステム要件については、「MID Server system requirements (MID サーバーシステム要件)」を参照してください。サポートされている JRE の最小バージョンは 11.0.9 で、推奨バージョンは 11.0.16.1 です。 独自の JRE をインストールしている場合、サポートされている JRE を MID サーバーが使用することを検証するために、アップグレードプロセスでは次のアクションが実行されます。 • アップグレードの際に MID サーバーがサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスで JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。 • サポートされている JRE が MID サーバーホストで実行されている場合、アップグレードされた MID サーバーはそのバージョンを使用します。 自動アップグレードを行なうには、すべての MID サーバーホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、「How the System Manages MID Server Upgrades (システムが MID サーバーアップグレードを管理する方法)」をご確認ください。 実行可能ファイルパスに従って、<i>Windows MID サーバーサービス</i> は 1 つのみ許可されます。アップグレードした <i>Windows MID サーバー</i> に同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。詳しくは「MID Server fails to start (MID サーバーが起動しない)」を参照してください。 MID サーバーのアップグレードについて詳しくは次のトピックを参照してください。 • MID サーバーのアップグレード前のチェック : 実際にアップグレードを行なう前に、システムでの MID サーバーのアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明しています。 • 手動での MID サーバーのアップグレード : MID サーバーを手動でアップグレードする方法について説明しています。	Xanadu
Security Operations の Now Assist	アプリケーションを実装するための要件のリストについては、「Security Operations の Now Assist のサポート情報」を参照してください。	Xanadu

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
Now Assist	<i>Now Assist</i> スキルに関連付けられている UI アクションまたはその他のアイテムをカスタマイズした場合は、カスタマイズしたコードが新しいスキルリリースで更新されていることを確認してください。そうしないと、特定の機能が期待どおりに機能しない可能性があります。 <i>Now Assist</i> 製品のアップグレード中に問題が発生した場合は、「KB1637452 : Now Assist (生成 AI) アプリケーションおよびプラグインの更新の問題と軽減策」を参照してください。記事を表示するにはログインする必要があります。	Xanadu
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	新規顧客：プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスは、<i>Now Platform</i> で自動的に利用可能になります。直感的なインターフェイスを提供し、データをよりよく理解して活用するのに役立ちます。 アップグレードする顧客：現在コア UI のレスポンスダッシュボードを使用している場合は、中断することなく引き続きアクセスできます。新機能を最大限に活用するには、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスへの移行を検討してください。	Xanadu
ワークフロースタジオのプレイブック	<i>Xanadu</i> にアップグレードした後、 <i>ServiceNow Store</i> のプレイブックおよびワークフロースタジオアプリケーションを更新します。	Xanadu
公共機関デジタルサービス	アップグレード後、 <i>CSM</i> 構成可能ワークスペースの特定の公共部門メニューとメニューアイテムが元の <i>CSM</i> ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。再レベル付けの詳細については、次を参照してください。すべて > 構成メンバーサービス > 管理 > ガイド付きセットアップをクリックし、公共機関デジタルサービスの構成可能ワークスペース > ワークスペースラベルを手動でカスタマイズ。	Xanadu
RPA Hub	RPA アプリケーションをダウンロードして、現在インストールされている <i>Microsoft</i> ソフトウェアインストーラー (MSI) をアップグレードしてください。 • RPA デスクトップデザインスタジオ • アテンド型ロボット • 無人ロボット • 無人ロボットログインエージェント 詳細については、「Download the RPA applications from RPA Hub (RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード)」を参照してください。	Xanadu

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	次のアップグレード情報は、<i>San Diego</i> または <i>Tokyo</i> から <i>Xanadu</i> にアップグレードする場合にのみ適用されます。 アプリケーションファイルテーブル内のレコード数に応じて、<i>RPA Hub</i> アプリケーションの <i>Tokyo</i> 以前のリリースから <i>Xanadu</i> へのアップグレードに遅延が生じる可能性があります。 <i>RPA Hub</i> を <i>Xanadu</i> にアップグレードする前に、<code>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</code> システムプロパティの値を false に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加し、その値を false に設定します。プロパティの追加方法の詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。 <i>Xanadu</i> にアップグレードすると、ボットプロセス定義は新しい構造、つまりボットプロセス構成に変更されます。 ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありませんが、ほとんどのフィールドはボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。システムプロパティ値を更新せずに <i>Xanadu</i> にアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル (Application File)] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、<i>Now Support</i> ナレッジベースの記事「Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah and beyond release (Utah 以降のリリースの sys_metadata への RPA Hub テーブルの再ビルド)」を参照してください。	
セキュリティ インシデント レスポンス	該当なし	Xanadu
セキュリティ ポスチャコン トロール	セキュリティポスチャコントロールの実装に必要なアプリケーションの完全なリストについては、「 セキュリティポスチャコントロールのインストール 」を参照してください。	Xanadu
サービスブ リッジ	- サービスブリッジ <i>Xanadu</i> リリースでリリースされる 2.x.x は、サービスブリッジ (レガシー) バージョンの移行をサポートしていません。サービスブリッジ (レガシー) バージョンを使用している場合は、<i>Xanadu</i> リリースにアップグレードする前に、<i>Now Support</i> ナレッジベースの「Service Bridge for Providers (Legacy) - Migration Utility (KB1499823)」の記事の手順に従って構成データを移行する必要があります。 - 不一致バージョンのサポートの導入により、コンシューマーとプロバイダーの両方が <i>Xanadu</i> リリースにアップグレードするまで、新しいエンタイトルメントをアクティブ化できません。古いアクティブなエンタイトルメントは引き続き機能しますが、新しいエンタイトルメントはアクティブ化できません。	Xanadu

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ																		
ITSM 用のサービスオペレーションワークスペース	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 - サービスオペレーションワークスペース <i>ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) - サービスオペレーションワークスペース <i>ITOM</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) 互換性のあるサービスオペレーションワークスペースバージョン <table><tr><th>ITSM用のサービスオペレーションワークスペース (sn_sow_itsm_cont)</th><th>ITOMのサービスオペレーションワークスペース (sn_sow_itom_cont)</th></tr><tr><td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr><tr><td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr><tr><td>1.3.x</td><td>21.2.y、21.5.y、および21.6.y</td></tr><tr><td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr><tr><td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr><tr><td>3.1.x</td><td>23.y.y</td></tr><tr><td>4.x.x</td><td>24.y.y</td></tr><tr><td>5.0.x</td><td>24.2.y</td></tr></table>	ITSM用のサービスオペレーションワークスペース (sn_sow_itsm_cont)	ITOMのサービスオペレーションワークスペース (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、21.5.y、および21.6.y	2.0.x	22.0.y	2.1.x	22.1.y および 22.y.y	3.1.x	23.y.y	4.x.x	24.y.y	5.0.x	24.2.y	Xanadu
ITSM用のサービスオペレーションワークスペース (sn_sow_itsm_cont)	ITOMのサービスオペレーションワークスペース (sn_sow_itom_cont)																			
1.1.x	21.0.y																			
1.2.x	21.1.y																			
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および21.6.y																			
2.0.x	22.0.y																			
2.1.x	22.1.y および 22.y.y																			
3.1.x	23.y.y																			
4.x.x	24.y.y																			
5.0.x	24.2.y																			
ServiceNow SDK	now-sdk upgrade コマンドを使用して、ServiceNow SDK の最新バージョンにアップグレードします。詳細については、「ServiceNow SDK のアップグレード」を参照してください。	Xanadu																		
スキル管理	スキルダッシュボードは、Xanadu リリースでネクストエクスペリエンス UI に自動的に移行されます。アップグレードすると、ネクストエクスペリエンス UI のスキルダッシュボードに自動的にアクセスできるようになります。	Xanadu																		
ソフトウェア資産管理	Microsoft Entra ID スポーク 4.3 バージョンにアップグレードすると、既存の Microsoft Azure AD SSO またはディレクトリ統合に対して Microsoft Azure AD - Download Group Membership ディレクトリジョブは実行されません。このディレクトリジョブは、新しい Microsoft Azure AD SSO またはディレクトリ統合用にも作成されません。代わり	Xanadu																		

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	に、 <i>Microsoft Azure AD - Download Groups</i> ディレクトリジョブは、 <i>Microsoft Azure AD</i> で構成されているすべてのグループとグループメンバーシップをダウンロードします。	
システムアップデートセット	情報収集	Xanadu
通信ネットワークインベントリ	以前のリリースの既存のユーザーの場合は、 <i>Xanadu</i> にアップグレードすると、従来の製品モデルと新しい製品モデルの両方が [Network Inventory Workspace] メニューで使用できるようになります。この問題を修正するには、従来の製品モデルデータを現在のインスタンスの新しい製品モデルテーブルに移行する必要があります。手順の詳細については、「 KB1695167 」を参照してください。	Xanadu
ワークフロースタジオ	<i>Washington DC</i> パッチ 3 では、ワークフロースタジオを更新すると、 <i>ServiceNow®</i> ワークフロースタジオ、プレイブック、 <i>ServiceNow®</i> ディシジョンビルダーなどのすべてのアプリケーション依存関係が自動的に更新されます。ワークフロースタジオの個々のアプリケーションの依存関係を <i>ServiceNow®</i> Store またはプラグインのリストから表示または更新することはできなくなりました。	Xanadu

計画立案チェックリストのアップグレード

ServiceNow インスタンスのアップグレードに関連するアクティビティを計画および追跡します。すべてのタスクを完了してアップグレードを成功させるために、アップグレード計画チェックリストで指示された手順に従ってアップグレードの追跡と計画を行なってください。

インスタンスの数やカスタマイズの状態などによっては、一部のオプション手順が適切でない場合があります。**[N/A]** 列で不要なものをマークします。

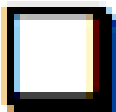
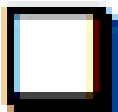
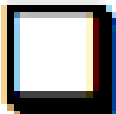
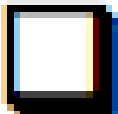
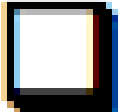
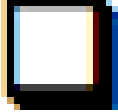
💡 ヒント:

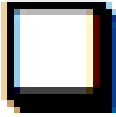
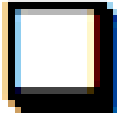
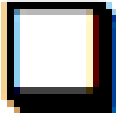
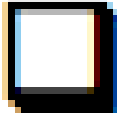
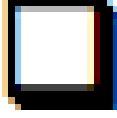
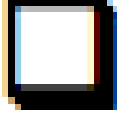
このチェックリストの PDF バージョンをダウンロードするには、[ここをクリック](#)してください。

自己ホスト型のお客様向けの手順を完了するプロセスは異なる場合があります (インスタンスのクローンやアップグレードの要求など)。これらの違いは計画時に考慮する必要があります。

顧客名:	
本番インスタンス名:	https://[instancename].service-now.com
その他のインスタンス名	https://[instancename].service-now.com https://[instancename].service-now.com

	説明	あり	いいえ	適用外
フェーズ 1 - リリースノートを読みアップグレードを計画する				
1	対象の ServiceNow 機能リリースとパッチについては、製品とリリースのドキュメントに加えて「Xanadu リリースノート」を参照してください。 Xanadu 固有のアップグレードの考慮事項については、「様々な製品に関するアップグレード前後のタスク」を参照してください。			
フェーズ 2 - 次の計画タスクを完了します。				
2	アップグレードのスコープ内にある ServiceNow インスタンスを確認します。			
3	インスタンスのホスティングモデルを確認します。たとえば、ServiceNow クラウド、オンプレミス、オフプレミスなどです。			
4	Xanadu リリースノート およびその他のリリース資料に基づいて、アップグレード後に検証する必要がある新機能または重要な変更を決定します。			
sn_callback.callback_max_retry_attempts	新しい製品リリースで導入された機能を有効または無効にする計画を確認します。			
6	ブラウザサポート を確認して、ブラウザの必須条件を確認します。たとえば、サポート対象のバージョンとタイプ、新しい UI バージョン向けの追加要件などです。サポート対象のブラウザを自社の標準と比較し、ギャップを特定します。			
7	クローン作成、アップグレード、テストのプロジェクト計画を作成します。			
8	アップグレード前後で ServiceNow インスタンスの機能を検証するために必要なテスター、パワーユーザー、主要ステークホルダーのコアチームを特定します。			
9	環境のクローン作成またはアップグレードのタイミングに影響を与える変更フリーズ期間の有無を確認します。たとえば、四半期末などです。			
10	次の状況のうち、ServiceNow の非本番インスタンスに当てはまるものを確認します。			

	説明	あり	いいえ	適用外
	1. 本番アップグレードが完了するまで開発とテストを停止できる。 2. アップグレード、修正、およびテストアクティビティを別のインスタンスで並行して実行する間、継続的な開発 (およびテスト) のアクティビティは非本番インスタンスで続行する必要がある。 3. 本番インスタンスへの最終アップグレードが完了したら、本番インスタンスの非本番のインスタンスへの最終的なクローン作成は、本番アップグレードが完了するまで待機する。			
11	統合テストに必要な他のシステムの可用性 (主要なリソースと環境) を確認します。			
12	ServiceNow インスタンスを統合テストに使用する上で制限があるかどうかを確認します。たとえば、インターフェイスシステムを特定の ServiceNow テストインスタンスのみにアクセスするよう設定することなどです。			
13	テストの範囲とアプローチを確認します。			
14	すべてのコアインスタンス機能と統合のテストケースを含む、包括的なテスト計画を作成します。			
15	テスト中に特定された不具合を追跡する方法を確認します。			
16	以下を含む実装計画の詳細を作成します。 • 非本番インスタンスと本番インスタンスをアップグレードする順序とタイミング • クローンを作成するインスタンス • 統合テストに使用するインスタンス			
17	環境のクローン作成またはアップグレードのタイミングに影響を与える変更フリーズ期間の有無を確認します。たとえば、四半期末などです。 責任者：ServiceNow またはお客様			

	説明	あり	いいえ	適用外
18	既存の内部トレーニング資料、顧客インスタンスのナレッジベース記事、その他のサポートドキュメントを、アップグレードされたバージョンに合わせて更新する必要があるかどうかを判断します。たとえば、機能やユーザーインターフェイスの変更点などです。			
19	オプション： ServiceNow 構成レビュー をスケジュールします。このレビューでは、お客様の構成を ServiceNow のベストプラクティスに合わせて調整するための推奨事項を提示します。 i 注: サービス課金およびプロフェッショナルサービスの契約が必要な場合があります。			
20	本番インスタンスでシステムクローンを作成し、開発インスタンスを [ターゲットインスタンス] として選択します。影響を受けるユーザーと内部のステークホルダーに、(本番インスタンスの) クローン作成および非本番インスタンスのアップグレードの予定日時を通知します。 i 注: 本番インスタンスをできるだけ忠実に反映するシステムでテストすることが重要です。非本番インスタンスと本番インスタンスのサイズが同じ場合は、本番監査ログと添付データを含め、除外オプションの選択を解除していることを確認します。			
フェーズ 3 - アップグレード構成を確認し、開発インスタンスのアップグレードをスケジュールする - Now Support				
21	[可能なアップグレードの配布を確認 (<i>Check distribution for possible upgrade</i>)] スケジュール済みジョブの構成を確認して、実行頻度とタイミングを表示します。			
22	[可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)] sys_trigger がアップグレードに向けて適切に設定されていることを確認します。			
23	[可能なアップグレードについてデータベースを確認 (Check database for possible upgrade)] sys_trigger がアップグレードに向けて適切に設定されていることを確認します。			

	説明	あり	いいえ	適用外
24	でアップグレードをスケジュールします。			
25	該当する場合は、バージョンエンタイトルメントを要求します。			
フェーズ 4 - 開発インスタンスのアップグレードを実行し検証を行う				
26	アップグレードモニターを使用して、インスタンスのアップグレードを監視し、開発インスタンスのアップグレードが完了したことを確認します。			
27	開発インスタンスのアップグレードが完了したら、アップグレードモニターでスキップされたレコードリストを処理  します。			
28	更新セットを特定します。			
29	アップグレードの前後に、開発インスタンスでスモークテストを実施します。包括的なテスト計画を使用して機能テストを実行します。			
フェーズ 5 - 該当する場合、テストインスタンスなど他の非本番インスタンスをアップグレードして検証する				
30	本番インスタンスでシステムクローンを作成し、開発インスタンスを [ターゲットインスタンス] として選択します。			
31	Now Support で非本番アップグレードをスケジュールし、アップグレード構成を確認します。			
32	非本番インスタンスへのアップグレードが完了したことを確認します。			
33	開発インスタンスにインストールされていたオプションのプラグインをすべてインストールします。			

	説明	あり	いいえ	適用外
34	必要なカスタムアプリケーションとアップグレード後の修正スクリプトをすべてインストールします。			
35	更新セットをインストールします。			
36	機能テストを実行し、インスタンスのパフォーマンスを監視します。			
フェーズ 6 - 本番インスタンスのアップグレードを準備する				
37	更新セットですべての非本番インスタンスの不具合が修正され検証済みであることに対する、IT およびビジネスのステークホルダーのサインオフを確認します。 責任者：お客様			
38	本番アップグレード後に ServiceNow インスタンスの機能検証に必要な主要ステークホルダーのコアチームを特定します。 責任者：お客様			
39	アップグレード後の Day 1 サポートの範囲を確認します。 責任者：お客様			
40	すべてのアップグレード手順、ロールと責任、コミュニケーション計画、主要な連絡先、Day 1 サポートの範囲などを含む本番アップグレード実装計画を作成します。 責任者：お客様			
41	主要なステークホルダーおよびコアチームと一緒に、実装計画のウォークスルーとサインオフをスケジュールします。 責任者：お客様			
42	組織の変更プロセスでの必要に応じて、変更レコードの承認を提出して取得します。 責任者：お客様			
43	本番アップグレードの停止や新機能などの詳細を主要なステークホルダーとエンドユーザーに送信します。			

	説明	あり	いいえ	適用外
	責任者：お客様			
44	アップグレードする前に、インスタンスのパフォーマンスをプロファイルします。			
45	ServiceNow パフォーマンスホームページを使用して、アップグレード前にインスタンスのパフォーマンスを文書化します。			
46	クローンで機能テストを実行し、インスタンスのパフォーマンスを監視します。			
Phase 7 - 本番環境をアップグレードする				
47	でアップグレードをスケジュールします。			
48	該当する場合は、バージョンエンタイトルメントを要求します。			
49	インスタンスのアップグレードを監視し 、本番インスタンスのアップグレードが完了したことを確認します。			
50	更新セットおよび、アップグレード後の修正スクリプトがあれば適用します。			
51	ユーザー受け入れテスト (UAT) を実施して、インスタンスの検証およびテストを行います。本番アップグレード後にシステムが適切に作動し、主要な機能が利用可能であることをすべての主要なステークホルダーに確認します。			

アップグレードツールとリソース

アップグレードエクスペリエンスを向上する ServiceNow 製品とツールについて説明します。

製品

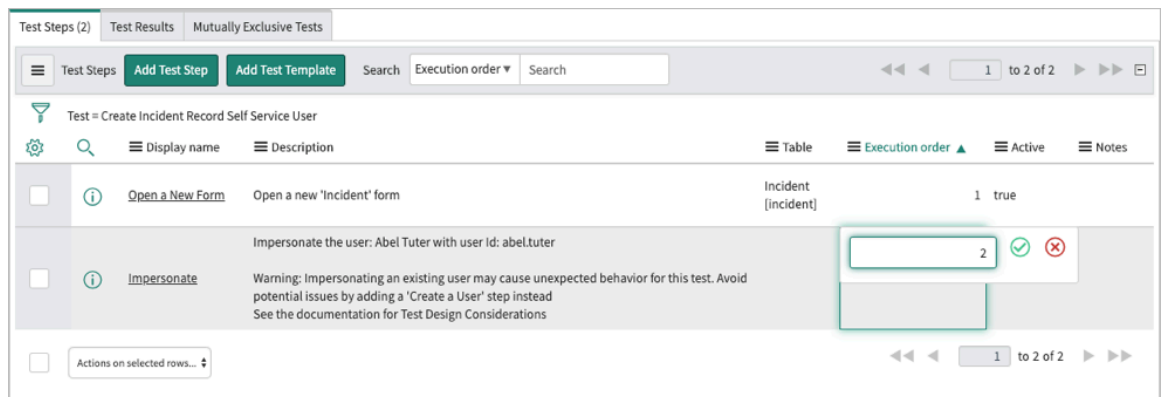
これらの ServiceNow 製品を使用して、アップグレードテストの一部を自動化し、アップグレードを一元的に管理します。

[自動テストフレームワーク \(ATF\)](#)

自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) では、変更を行った後にインスタンスが動作することを確認するための自動テストを作成して実行することができます。たとえば、アップグレード後、アプリケーション開発中、または更新セットを使用してインスタンス構成を展開する場合です。失敗したテストの結果を確認して、失敗の原因となった変更と、レビューする必要がある変更を特定します。

注:

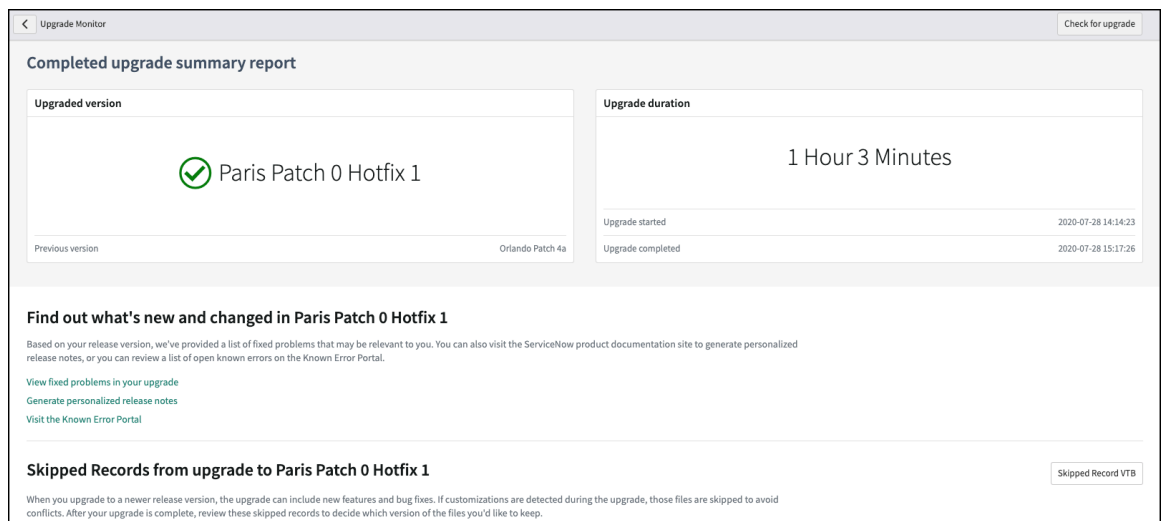
デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは無効になっており、本番システムで誤って実行されないようになっています。データの破損や機能停止を避けるため、テストは、開発、テスト、およびその他の非本番インスタンスでのみ実行してください。



アップグレードセンター

ServiceNow アップグレードセンター を使用して、アップグレードの計画と管理を行います。アップグレードプレビューモジュールを使用して、使用可能なさまざまなリリースバージョンを調べ、実際にインスタンスを更新しなくても更新のエクスペリエンスに関するインサイトを得ることができます。また、進行中の更新のステータスを監視し、新しい更新モニターモジュールを使用して最新の更新の概要を表示することもできます。アップグレードセンター には、更新後のスキップを管理するための Visual Task Board (VTB) の更新もあります。別の更新履歴モジュールを使用すると、過去のすべての更新を表示できます。

自動翻訳



アップグレードツール

アップグレード関連の製品に加えて、ServiceNow のアップグレードツールも使用できます。

Now Support アップグレード支援

ServiceNow のアップグレードを自動化して最新の状態を維持します。自動化サービスを使用して、アップグレードのスケジューリングタスクの負荷を軽減します。

既知のエラーポータル

選択したパッチリリースバージョンに関する既知の問題リストを確認します。

サンプルアップグレードプロジェクト計画

計画立案チェックリストのアップグレード はアップグレード手順の概要を示します。Excel、PDF、または Microsoft Project でアップグレードの進捗状況を追跡する場合は、これらのサンプルプロジェクト計画をダウンロードして開始できます。

- PDF
- Excel
- MPP

ベストプラクティス

アップグレードの価値とベストプラクティスについては、ServiceNow Customer Success Center Web サイトを参照してください。

アップグレード価値計算機

ServiceNow のアップグレードで最新の状態を維持することの潜在的なビジネス価値を判断します。

プレイブック：迅速なアップグレードによるプラットフォームヘルスの維持

アップグレードプロセスとツールを使用してアップグレードを行い、必要に応じてベースラインシステムを変更する方法について説明します。

プラットフォームのカスタマイズによる価値とリスクの均衡

アップグレードの価値を最大化し、影響を最小限に抑えるために、インスタンスをカスタマイズするタイミングと方法について説明します。

プラットフォームのカスタマイズによる価値とリスクの均衡

Resources

ServiceNow Customer Success Center

プレイブック、チェックリスト、クイックアンサーなどの処方的なコンテンツとツールを参照して、ServiceNow の実装から得られる価値を拡大できます。

エキスパートサービス

ServiceNow エキスパートとつながって、ベストプラクティスとツールを活用し最新の ServiceNow イノベーションにアップグレードする支援を受けられます。

アップグレードと ServiceNow Store

ServiceNow Store には、ServiceNow が開発およびリリースをした公式アプリケーションが揃っています。ユーザーは、インスタンスで Xanadu アプリをダウンロードしたり、アプリへのアクセスや設定を行ったりできます。Store アプリケーションのバージョンは、インスタンスを新しいリリースバージョンにアップグレードするときにアップグレードできます。

ServiceNow Store アプリの新しいバージョンは、パッチおよびファミリーリリースで定義できます。これには、インストール済みバージョンの最小バージョンやホットフィックスを定義する機能が含まれます。インスタンスにインストールしているアプリのバージョンが定義済みの最小バージョンよりも低い場合、そのアプリは必要な最小バージョンにアップグレードされます。同様に、インスタンスにインストールしているアプリのバージョンが定義済みのホットフィックスバージョンよりも低い場合、そのアプリはホットフィックスバージョンにアップグレードされます。

たとえば、リリースで 1.7.0、2.4.1、3.0.1 を定義するアプリケーションを考えてみましょう。この例ではバージョン 1.7.0 が最小バージョンです。バージョン 2.4.1 および 3.0.1 はホットフィックスバージョンになります。

インスタンスをリリースバージョンにアップグレードすると、次の動作が発生します。

最小バージョンへのアップグレード

アップグレード前にインストールしていたバージョン	アップグレード後の予想バージョン
1.0.0	1.7.0 - 最小バージョンへのアップグレード
1.3.2	1.7.0 - 最小バージョンへのアップグレード
1.7.0	1.7.0 - インスタンスが既に最小バージョンであるため、バージョンは同じままです。
1.7.2	1.7.2 - インスタンスが既に最小バージョンより先のものであったため、バージョンは同じままです。

ホットフィックスバージョンのアップグレード

アップグレード前にインストールしていたバージョン	アップグレード後の予想バージョン
1.8.0	1.8.0 - インスタンスが既に定義済みのホットフィックスバージョンより先のものであったため、バージョンは同じままです。
2.0.0	2.4.1 - 定義済みのホットフィックスバージョンへのアップグレード
2.6.0	2.6.0 - インスタンスが既に定義済みのホットフィックスバージョンより先のものであったため、バージョンは同じままです。
3.0.0	3.0.1 - 定義済みのホットフィックスバージョンへのアップグレード
3.0.5	3.0.5 - インスタンスが既に定義済みのホットフィックスバージョンより先のものであったため、バージョンは同じままです。
4.0.0	4.0.0 - 4.0.0 以降にはホットフィックスバージョンが定義されていないため、バージョンは同じままです。

Xanadu リリースへのアップグレード

インスタンスのアップグレードとパッチ適用には、計画、テスト、および検証が必要です。安全で効果的なアップグレードを行うために、本番インスタンスをアップグレードする前に、リリースノートを読み、アップグレード計画を作成し、非本番インスタンスでアップグレードをテストしてください。

i 重要:

これらのトピックには、アップグレードに関する詳細な説明が含まれています。アップグレード手順の詳細なリファレンスについては、「[計画立案チェックリストのアップグレード](#)」を参照してください。



フェーズ 1 - リリースノートを読みアップグレードを計画する

アップグレードプロセスを開始する前に、ターゲットバージョンのリリースノートを読み、必要なアップグレードおよび移行タスクを理解することが重要です。この情報は、安全で効果的なアップグレードを計画するのに役立ちます。



フェーズ 2 - 開発インスタンスのアップグレードの準備をする

本番アップグレードの所要時間を詳しく理解するために、非本番インスタンスで本番インスタンス (大きなテーブルと添付ファイルを含む) の完全クローンを要求します。現在のリリースバージョンとターゲットのリリースバージョンを確認してください。後で Now Support でアップグレードをスケジュールするときにその情報を使用します。



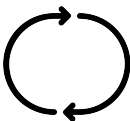
フェーズ 3 - アップグレード構成を確認し、開発インスタンスのアップグレードをスケジュールする - Now Support

[可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)] スケジュール済みジョブの構成を確認して、実行頻度とタイミングを表示します。[可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)] スケジュール済みジョブと連携したアップグレードのタイミングに関する情報を確認します。次に、Now Support でアップグレードをスケジュールします。



フェーズ 4 - 開発インスタンスのアップグレードを実行し検証を行う

アップグレードモニターでアップグレードの進捗状況を追跡します。最初の非本番インスタンスのアップグレード (開発インスタンス) の場合は、アップグレードでスキップされて処理されなかったレコードのリストをアップグレードモニターを使用して処理します。次に、更新セットを特定し、機能テストを実行します。



フェーズ 5 - 該当する場合、テストインスタンスなど他の非本番インスタンスをアップグレードして検証する

開発インスタンスを構成して調整した後、テストインスタンスなどの他の非本番インスタンスのアップグレードを要求します。アップグレードが完了したらすぐに、オプションのプラグインのアクティブ化、アプリケーションのインストールとアップグレード、更新セットの適用など、開発インスタンスに行われたアップグレード後の変更を適用します。



フェーズ 6 - 本番インスタンスのアップグレードを準備する

本番環境を適切に表すようにテスト環境を構成して調整したら、本番インスタンスをアップグレードする準備をします。

フェーズ 7 - 本番環境をアップグレードする



開発インスタンス、非本番インスタンス、およびテストインスタンスをアップグレードした後、最後に本番インスタンスをアップグレードします。次に、アップグレードが完了したことを検証し、更新セットと修正スクリプトを適用し、アップグレード後のユーザー受け入れテスト (UAT) を実行します。

フェーズ 1 - リリースノートを読みアップグレードを計画する

アップグレードプロセスを開始する前に、ターゲットバージョンのリリースノートを読み、必要なアップグレードおよび移行タスクを理解することが重要です。この情報は、安全で効果的なアップグレードを計画するのに役立ちます。

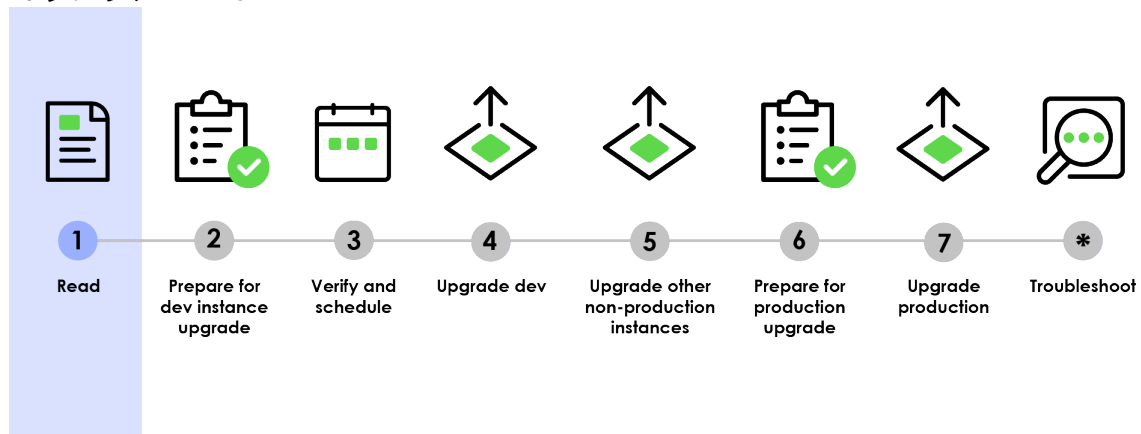
始める前に

i 重要:

アップグレードに複数のソフトウェアバージョンが含まれている場合は、現在のバージョンとターゲットバージョンの間のそれぞれのバージョンのリリースノートを必ず確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて



手順

1. ターゲットバージョンのリリースノートを読みます。
アップグレードの前後に完了する必要があるアップグレードおよび移行タスクを確認します。
 - ServiceNow はすべてのリリースのリリースノートを提供します。これらのリリースノートには、特定のバージョンで利用可能な新しい機能、注目すべき変更、修正に関する役立つ情報が記載されています。[Xanadu リリースノート](#)を確認することで、アップグレードに必要な機能が含まれているか、インスタンスに影響を与える問題を解決する修正が含まれているかを判断できます。また、リリースノートから、以前カスタマイズしたアイテムがアップグレードされているかどうかを確認できます。
 - Xanadu 固有のアップグレードの考慮事項については、「[様々な製品に関するアップグレード前後のタスク](#)」を参照してください。
 - Xanadu ファミリーへのアップグレードを検討している場合は、問題 (PRB) 修正がアップグレード計画の重要な要素になる可能性があります。 のリストを生成できます。アップグレードするリリースバージョンを決定するために、さまざまな Xanadu アップグレードシナリオで修正された問題のリストを比較してください。

2. 計画立案チェックリストのアップグレードのフェーズ 2 の準備および計画タスクを完了します。

チェックリストには、アップグレード準備のさまざまな側面をガイドする計画タスクのリストが含まれています。スコーピング、ステークホルダーの収集、無効化および有効化する機能の特定、アップグレード全体で使用するテスト計画の作成などのタスクについてガイドが示されています。次の手順に従って、組織のすべての側面でアップグレードの準備ができていることを確認します。

3. アップグレードの準備を万端にするために、インスタンスのカスタマイズレベルを評価します。

カスタマイズのベストプラクティスガイドラインの詳細については、[Customer Success Center の Web サイト](#) を参照してください。

複雑度スコア	カスタマイズの例
低	- フォームのレイアウト/デザインの変更 - フォームへのフィールドや UI ポリシーの追加 - 簡易カスタム統合のビルド - スコープ内既存テーブル (インシデントなど) の新しいフィールドのみでの拡張
低～中	- スコープ内既存テーブル (インシデントなど) のスクリプトでの拡張 - 既存テーブル (インシデントなど) の HR など他アプリケーションの基礎としての拡張
中	新しいスコープ対象のアプリケーションをビルド
中～高	新しいグローバルアプリケーションのビルド
高	- ベースラインビジネスルールの変更 (SLA プロセスの変更など) - 複雑なカスタム統合のビルド

4. すべてのコアインスタンス機能と統合 (カスタマイズを含む) のテストケースを含む、包括的なテスト計画を作成します。

システムの機能を効率的にテストおよび評価するために、テストチームが使用する一連の詳細なテストスクリプトを作成します。各インスタンスのアップグレード全体で、このテスト計画を使用します。

インスタンス	必要なテストのタイプ
開発	スモークテストを実施します。
テスト	- ServiceNow 自動テストフレームワーク (ATF) が、非本番インスタンスのテストを支援します。 - 自動テストフレームワーク (ATF) クイックスタートテストと製品テストスイートを使用すると、アップグレード前後のテストをすぐに開始できます。利用可能なテストとアクティブ化情報のリストについては、「クイックスタートテスト」を参照してください。 - 追加のテスト範囲として、非本番インスタンスでユーザー受け入れテスト (UAT) を実行することもできます。

インスタンス	必要なテストのタイプ
本番	UAT を実施します。 i 注: 自動テストフレームワーク (ATF) は非本番インスタンスでの使用を目的としています。本番インスタンスでは、UAT のみを実施します。

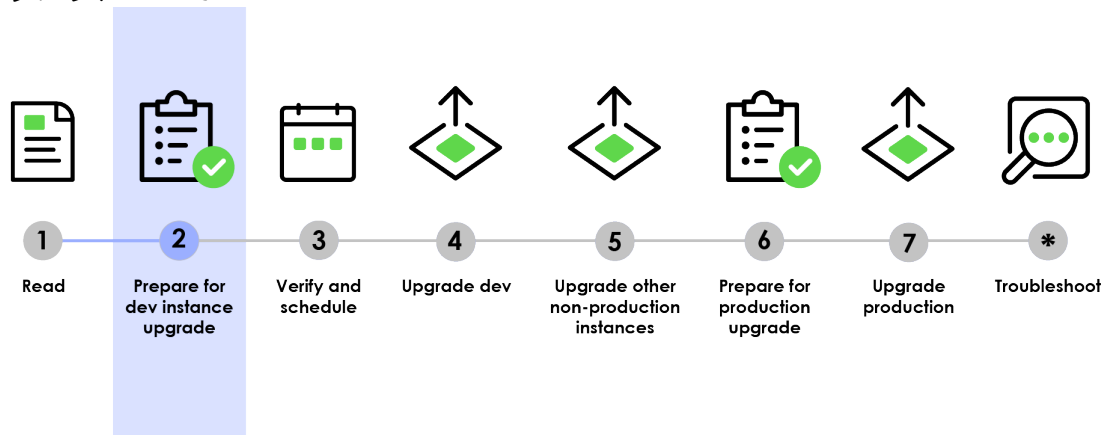
フェーズ 2 - 開発インスタンスのアップグレードの準備をする

本番アップグレードの所要時間を詳しく理解するために、非本番インスタンスで本番インスタンス (大きなテーブルと添付ファイルを含む) の完全クローンを要求します。現在のリリースバージョンとターゲットのリリースバージョンを確認してください。後で Now Support でアップグレードをスケジュールするときその情報を使用します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて



手順

1. 本番インスタンスでシステムクローンを作成し、開発インスタンスを [ターゲットインスタンス] として選択します。

クローンは本番環境の正確なコピーを提供するものです。クローンでアップグレードを実行すると、非本番環境で本番構成のアップグレードをシミュレートできます。詳細については、「[システムクローン](#)」を参照してください。

i 重要:

効果的にアップグレードをテストするには、本番インスタンスをできるだけ忠実に反映するシステムでテストするために、このクローンを使用します。非本番インスタンスと本番インスタンスのサイズが同じ場合は、本番クローンに本番監査ログと添付データを含めます。すべての本番データがクローンに含まれるようにするには、[クローンを要求] フォームのすべての [除外] チェックボックスをオフにしてください。非本番インスタンスで、本番インスタンスで発生する一般的なユーザーの動作を複製して、アップグレード期間の見積もりを強化します。

2. アップグレード中のパフォーマンスの期待値を設定します。

アップグレード中、ノードがディストリビューションアップグレードを開始するため、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。アップグレード中にすべてのノードが再起動されます。

が、ServiceNow インスタンスはマルチノードシステムで動作するため、マルチノードインスタンスは使用できます。このマルチノードシステムは、アップグレード中にマルチノードインスタンスで少なくとも 1 つのアクティブなノードペアが存在するように、ノードのディストリビューションアップグレードを調整します。

アップグレード中のパフォーマンスを正確に予想できるように、非本番インスタンスと本番インスタンスのノードの違いに注意してください。1 つのノードを持つインスタンスでは、アップグレード中に短時間の停止時間が発生しますが、マルチノードインスタンスには UI 停止時間はありません。ノードとそのステータスの詳細については、[\[アップグレードの進捗状況\] 画面](#) を参照してください。

フェーズ 3 - アップグレード構成を確認し、開発インスタンスのアップグレードをスケジュールする - Now Support

[可能なアップグレードの配布を確認 (*Check distribution for possible upgrade*)] スケジュール済みジョブの構成を確認して、実行頻度とタイミングを表示します。[可能なアップグレードの配布を確認 (*Check distribution for possible upgrade*)] スケジュール済みジョブと連携したアップグレードのタイミングに関する情報を確認します。次に、Now Support でアップグレードをスケジュールします。

始める前に

必要なロール：admin

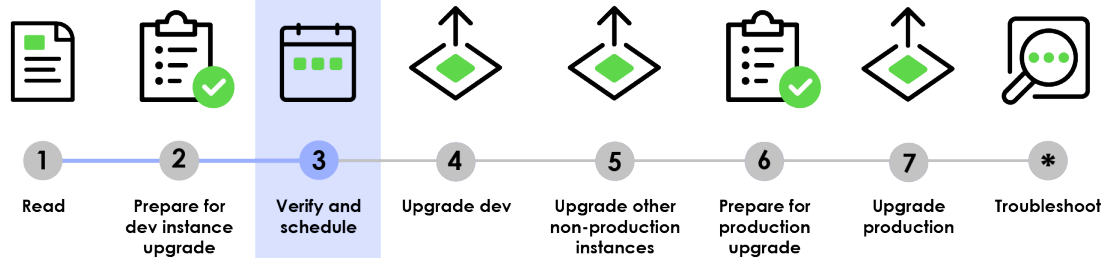
[可能なアップグレードの配布を確認 (**Check distribution for possible upgrade**)] および [可能なアップグレードについてデータベースを確認 (**Check database for possible upgrade**)] sys_trigger の設定を確認する必要があります。これらは、インスタンスを正しいターゲットバージョンにアップグレードするために不可欠です。

注:

Paris リリース以降、[アップグレード] ジョブは [可能なアップグレードの配布を確認 (*Check distribution for possible upgrade*)] に名前が変更されました。また、[アップグレードスクリプトを確認 (*Check Upgrade Script*)] ジョブの名前は [可能なアップグレードについてデータベースを確認 (*Check database for possible upgrade*)] に変更されました。

sys_trigger	関数
可能なアップグレードの配布を確認 (<i>Check distribution for possible upgrade</i>)	- Now Support をクエリして、<i>Check distribution for possible upgrade</i> スケジュール済みジョブの構成によって決定される、指定された時間間隔でアップグレードが行われるかどうかを尋ねます。 - インスタンスで別のバージョンを実行する必要があるかどうかを尋ねます。実行する必要がある場合、そのバージョンのディストリビューションがダウンロードされ、インスタンスがターゲットバージョンにアップグレードされます。
可能なアップグレードについてデータベースを確認 (<i>Check database for possible upgrade</i>)	- ディストリビューションがアップグレードされた後に実行されます。 - データベースのアップグレードを実行します。

このタスクについて



重要:

アップグレードは Now Support ではなくインスタンスからオーケストレーションされます。

Now Support は実行する必要があるバージョンのレコードを保持し、インスタンスは定期的に Now Support をクエリして割り当てられたバージョンを確認します。アップグレードの時刻を指定すると、インスタンスはその時刻にアップグレードを開始します。例：

アクション	結果
Xanadu パッチ 8 へのアップグレードを 6 月 10 日 3:00 p.m. に実行するようにスケジュールします。	Now Support が 6 月 10 日 3:00 p.m. に Xanadu パッチ 8 を実行する必要があることを反映するようにレコードを変更します。
Now Support が、6 月 10 日のスケジュール時刻の後にインスタンスからの ping を受け取るよう待機します。	インスタンスは引き続き現在のリリースバージョンで動作し、定期的に Now Support に対して ping を実行します。
6 月 10 日のスケジュール時刻の後、Now Support がインスタンスから ping を受信します。	Now Support はインスタンスに対し、Xanadu パッチ 8 を使用する必要があることを通知します。
インスタンスは、別のバージョンを実行する必要があるという Now Support 通知を受信します。	インスタンスでアップグレードが開始されます。

Now Support でインスタンスのアップグレードをスケジュールおよび管理する方法

Now Support サービスカタログを参照して、アップグレードのスケジュール設定などのセルフサービスタスクを要求できます。

Now Support のサービスカタログを使ったプラグインやセルフサービスタスクの要求

手順

1. [可能なアップグレードの配布を確認 (*Check distribution for possible upgrade*)] スケジュール済みジョブの構成を確認して、実行頻度とタイミングを表示します。
 - a. 移動先 システムスケジューラ > スケジュール済みジョブ > スケジュール済みジョブ.
 - b. リストで、*Check distribution for possible upgrade* スケジュール済みジョブを見つけます。
 - c. [次のアクション] 列を表示して、次にジョブを実行するタイミングを判断します。

2. [可能なアップグレードの配布を確認 (**Check distribution for possible upgrade**)] sys_trigger がアップグレードに向けて適切に設定されていることを確認します。
 - a. 移動先 システムスケジューラ > スケジュール済みジョブ > スケジュール済みジョブ.
 - b. *Check distribution for possible upgrade* スケジュール済みジョブを見つけてクリックします。
 - c. [トリガータイプ] が [間隔] に設定されていることを確認します。
 - d. [Sys ID] が [なし] に設定されていることを確認します。
3. [可能なアップグレードについてデータベースを確認 (**Check database for possible upgrade**)] sys_trigger がアップグレードに向けて適切に設定されていることを確認します。
 - a. 移動先 システムスケジューラ > スケジュール済みジョブ > スケジュール済みジョブ.
 - b. *Check database for possible upgrade* スケジュール済みジョブを見つけてクリックします。
 - c. [トリガータイプ] が [システム起動時に実行] に設定されていることを確認します。
4. でアップグレードをスケジュールします。
 - a. Now Support にログインします。
 - b. 左側のナビゲーションメニューで [インスタンス] をクリックします。
 - c. [インスタンスを管理] を選択します。
 - d. パートナーのみ：ユーザーメニューから、[会社の切り替え (**Switch Company**)] 機能を使用して会社を選択します。
 - e. アップグレードを実行またはパッチを適用するインスタンスを選択します。
 - f. [アクション] メニューで、[インスタンスをアップグレード (**Upgrade Instance**)] をクリックします。

[インスタンスのアップグレード] サービスカタログアイテムが開きます。アップグレードまたはパッチの適用ができるインスタンス名と、利用可能なバージョンが事前に設定されています。

Upgrade an Instance ☆

This catalog item enables you to schedule a patch/upgrade to a new ServiceNow release version. Upgrading and patching your instance requires planning, testing, and validation. Please plan to test your upgrade/patch on non-production instances before applying to your production instance.

Before initiating an upgrade process, review the upgrade and migration tasks for your applications and features. To help ensure that you complete all the tasks for a successful upgrade/patch, follow the step by step instructions in the upgrade planning checklist to track and plan the upgrade.

Upgrade assistance

The following resources are available to help you plan your upgrade/patch:

- [Upgrade Product Documentation](#)
- [Release Notes](#)
- [Known Error Information](#)
- [Upgrade and migration tasks for your applications and features](#)
- [Upgrade Planning Checklist](#)

* Instance

instance-name
Jakarta Patch 7

Non-Production

Change Instance

* Available Versions

Kingston Patch 4
Kingston Patch 3
Kingston Patch 2
Kingston Patch 1
Kingston
Jakarta Patch 8

す。

自動翻訳

- g. アップグレードまたはパッチ適用の日時を指定するには、[開始日時] フィールドの横にあるカレンダーアイコンをクリックします。

- h. 時計アイコンをクリックして、アップグレードまたはパッチ適用の時間を選択します。

i 注:

アップグレードまたはパッチの時間設定は重要です。Check distribution for possible upgrade スケジュール済みジョブが実行される 10 ~ 15 分前にアップグレードまたはパッチを開始するように設定します。この設定により、Check distribution for possible upgrade スケジュール済みジョブが実行される前に、インスタンスがどのリリースバージョンであるべきかという Now Support のレコードを、アップグレードまたはパッチ要求が更新するのに十分な時間が確保されます。

- i. [送信] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。エンタイトルメントが必要ない場合は、変更要求が作成されます。

5. 該当する場合は、バージョンエンタイトルメントを要求します。

- a. [アクション] 列で、[スケジュール] をクリックします。

バージョンにエンタイトルメントが必要な場合は、次の画面が表示されます。

* Available Versions

Kingston Patch 3
Kingston Patch 2
Kingston Patch 1
Jakarta Patch 8

Entitlement: This version requires entitlement approval. A request will be submitted for review & approval before the upgrade can begin.

* Start Date and Time

2018-04-19 17:26:28	

*Due to the additional review that is required, you must select a date at least 3 days from today

- b.** カレンダーアイコンをクリックし、3 日以上先の日時を指定します。

ServiceNow のエンタイトルメントアドミニストレーターが 3 日以内にエンタイトルメント要求に応答します。

i 注:

アップグレードまたはパッチの時間設定は重要です。Check distribution for possible upgrade スケジュール済みジョブが実行される 10 ～ 15 分前にアップグレードまたはパッチを開始するように設定します。この設定により、Check distribution for possible upgrade スケジュール済みジョブが実行される前に、インスタンスがどのリリースバージョンであるべきかという Now Support のレコードを、アップグレードまたはパッチ要求が更新するのに十分な時間が確保されます。

- c.** [スケジュール] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。エンタイトルメントが必要な場合は、エンタイトルメント要求番号が含まれています。エンタイトルメント要求番号をクリックして、要求を表示します。

- d.** エンタイトルメントについて質問がある場合は、エンタイトルメント要求について、送信後にコメントしてください。

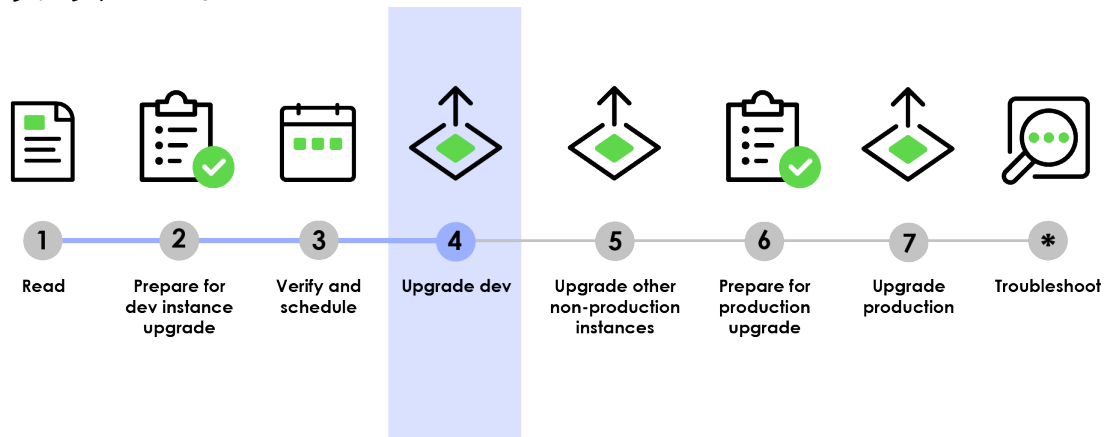
フェーズ 4 - 開発インスタンスのアップグレードを実行し検証を行う

アップグレードモニターでアップグレードの進捗状況を追跡します。最初の非本番インスタンスのアップグレード (開発インスタンス) の場合は、アップグレードでスキップされて処理されなかったレコードのリストをアップグレードモニターを使用して処理します。次に、更新セットを特定し、機能テストを実行します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて



アップグレードモニター は、個々のインスタンスのアップグレードを支援します。アップグレードの進行状況を監視し、アップグレードとカスタマイズの競合を解決することができます。

手順

1. アップグレードモニターを使用して、インスタンスのアップグレードを監視し、開発インスタンスのアップグレードが完了したことを確認します。
2. 開発インスタンスのアップグレードが完了したら、アップグレードモニターで**スキップされたレコードリスト**を**処理**します。

スキップされたレコードリストを処理するときに、レコードのマージや復元を行ったり、**個々のレコードの競合を解決**したり、さらにカスタマイズしたりできます。これらの変更は、最新バージョンに反映され、現在の更新セットに反映されます。

3. 更新セットを特定します。

後続の非本番インスタンスには、これらの更新セットが必要です。アップグレード後に対処が必要な問題がある場合は、適切な変更を行うと、現在の更新セットに反映されます。次のような更新セットを収集します。

- スキップされた更新リストを確認中に作成された
- 最新リリースで動作するようにカスタマイズを変更中に作成された
- 次のアップグレードの直後に本番稼働する必要がある

アップグレードの前にこれらの更新セットを収集すると、他のインスタンスに対するエクスポート、インポート、およびコミットのプロセスが迅速化されます。適切な更新セットが特定されたら、それらの更新セットを移動して適用するための標準的なプロセスに従います。詳細については、「**システムアップデートセット**」を参照してください。

4. アップグレードの前後に、開発インスタンスでスモークテストを実施します。包括的なテスト計画を使用して機能テストを実行します。

アップグレード後、欠陥や、アップグレード前テスト結果からの逸脱がないかを追跡します。欠陥追跡は、根本原因の特定と修正の作成に役立ちます。修正が特定されたら、その修正を単一の更新セットにキャプチャします。結果として得られる更新セットには、本番インスタンスに適用する必要がある累積的な修正が保持されます。

非本番インスタンスでのテストと検証を自動化するには、**自動テストフレームワーク (ATF)** を使用します。自動テストフレームワーク (ATF) クイックスタートテストと製品テストスイートを使用すると、アップグレード前後のテストをすぐに開始できます。利用可能なテストとアクティブ化情報のリストについては、「**クイックスタートテスト**」を参照してください。

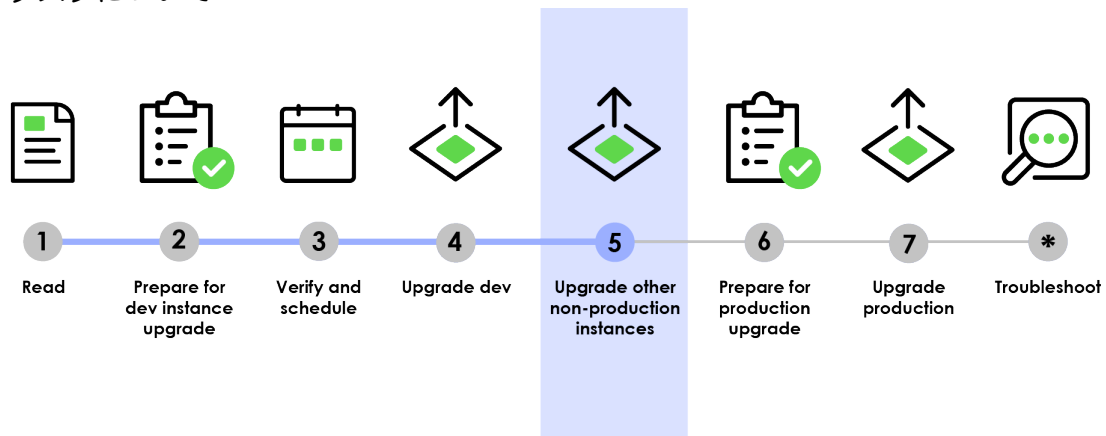
フェーズ 5 - 該当する場合、テストインスタンスなど他の非本番インスタンスをアップグレードして検証する

開発インスタンスを構成して調整した後、テストインスタンスなどの他の非本番インスタンスのアップグレードを要求します。アップグレードが完了したらすぐに、オプションのプラグインのアクティビ化、アプリケーションのインストールとアップグレード、更新セットの適用など、開発インスタンスに行われたアップグレード後の変更を適用します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて



このインスタンスの命名規則は、ServiceNow インスタンスが 3 つあることを前提としています。インスタンスが 3 つある場合は、次の順序でインスタンスをアップグレードします。

1. 開発
2. テスト
3. 本番

インスタンス数が 3 つではない場合、または [チーム開発](#) を使用している場合、これらのインスタンスラベルは異なったものになります。一般に、本番インスタンスから最も離れたインスタンスを本番インスタンスにアップグレードします。

開発用の更新セットをテストインスタンスに適用した後、テストインスタンス (および該当する場合は他の非本番インスタンス) で次のタスクを実行します。

手順

1. 本番インスタンスからシステムクローンを作成します。
2. Now Support で非本番アップグレードをスケジュールし、アップグレード構成を確認します。
3. 非本番インスタンスへのアップグレードが完了したことを確認します。
4. 開発インスタンスにインストールされていたオプションのプラグインをすべてインストールします。
5. 必要なカスタムアプリケーションとアップグレード後の修正スクリプトをすべてインストールします。
6. 更新セットをインストールします。
これらの更新セットを使用して、最初の変更を後続の非本番インスタンスに移動します。
7. 機能テストを実行し、インスタンスのパフォーマンスを監視します。

本番インスタンスで発生する一般的なユーザーアクティビティを再現します。[自動テストフレームワーク \(ATF\)](#) は、非本番インスタンスのテストに非常に役立ちます。自動テストフレームワーク (ATF) クイックスタートテストと製品テストスイートを使用すると、アップグレード前後のテストをすぐに開始できます。利用可能なテストとアクティブ化情報のリストについては、「[クイックスタートテスト](#)」を参照してください。追加のテスト範囲として、ユーザー受け入れテスト (UAT) を実行することもできます。

フェーズ 6 - 本番インスタンスのアップグレードを準備する

本番環境を適切に表すようにテスト環境を構成して調整したら、本番インスタンスをアップグレードする準備をします。

始める前に

必要なロール：admin

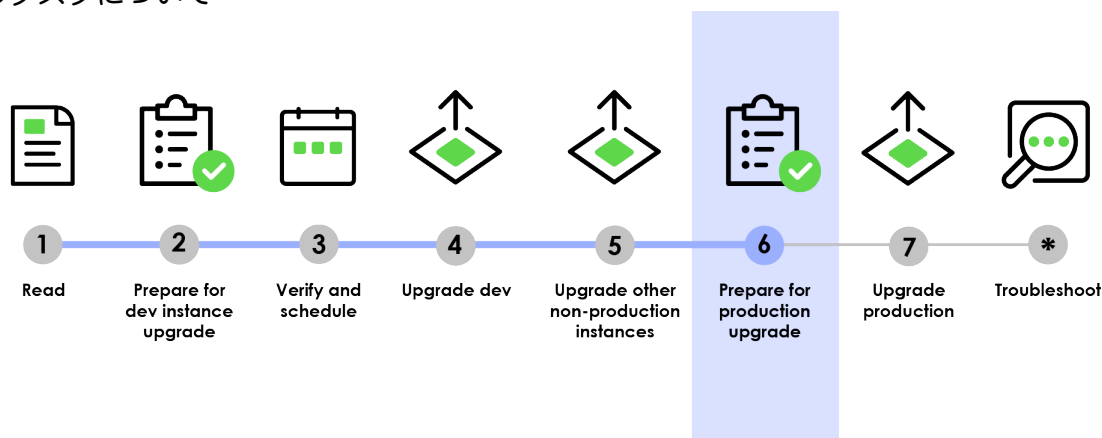
社内のすべてのステークホルダーが最終的な本番アップグレードの準備ができるようにするには、「[計画立案チェックリストのアップグレード](#)」のフェーズ 6 で管理計画タスクを完了します。本番インスタンスをアップグレードする場合は、以下を実行します。

- すべての非本番インスタンスの欠陥が修正および検証され、更新セットに含まれていることを IT およびアドミンから確認します。
- 組織で確立された変更管理プロセスを使用して、アップグレードを追跡します。
- アップグレードによる変更、新機能、およびプロセスの更新について、ユーザーコミュニティと効果的にやり取りします。
- ServiceNow システムのすべてのユーザーに適したアップグレード時刻を交渉します。

たとえば、ユーザーへの影響を最小限に抑えるために、数時間後にアップグレードをスケジュールします。[Upgrade スケジュール済みジョブ](#) 間隔の 15 ～ 20 分前にアップグレードをスケジュールすることを忘れないでください。

- 変更時間帯にすべてのテストケースを実行し、すべての統合、主要なビジネス機能、およびシステムパフォーマンスが許容範囲内であることを確認します。変更時間帯に違反することなくエラーに対応するための時間バッファを追加します。

このタスクについて



手順

1. アップグレードする前に、インスタンスのパフォーマンスをプロファイルします。

アップグレード前のインスタンス検証では、現在の運用環境の信頼できるベンチマークが得られ、アップグレード後に発生する可能性のある問題について警告されます。たとえば、アップグレード

によって特定の機能が壊れているように見えることがあります。分析により、アップグレード前でも本番インスタンスで機能が正常に動作していないことが示される場合があります。

アップグレードを実行する前に、現在の運用環境を分析してください。具体的には、以下を確認します。

- 主要な機能
- 統合
- インスタンスのパフォーマンス

2. ServiceNow パフォーマンスホームページを使用して、アップグレード前にインスタンスのパフォーマンスを文書化します。

後で、アップグレード後の検証とテストでこの情報を比較します。ベンチマークはインスタンスごとに異なります。

ServiceNow パフォーマンスホームページにアクセスするには、以下の手順を実行します。

- a. インスタンスにログインします。
- b. インスタンスのホームページの左上にあるリストから、**[ServiceNow パフォーマンス]**を選択します。



3. クローンで機能テストを実行し、インスタンスのパフォーマンスを監視します。
 本番インスタンスで発生する一般的なユーザー動作を複製します。パワーユーザーと主要なステークホルダーからなる一貫したコアチームをアサインして、アップグレード前後に ServiceNow インスタンスの重要な機能を検証します。

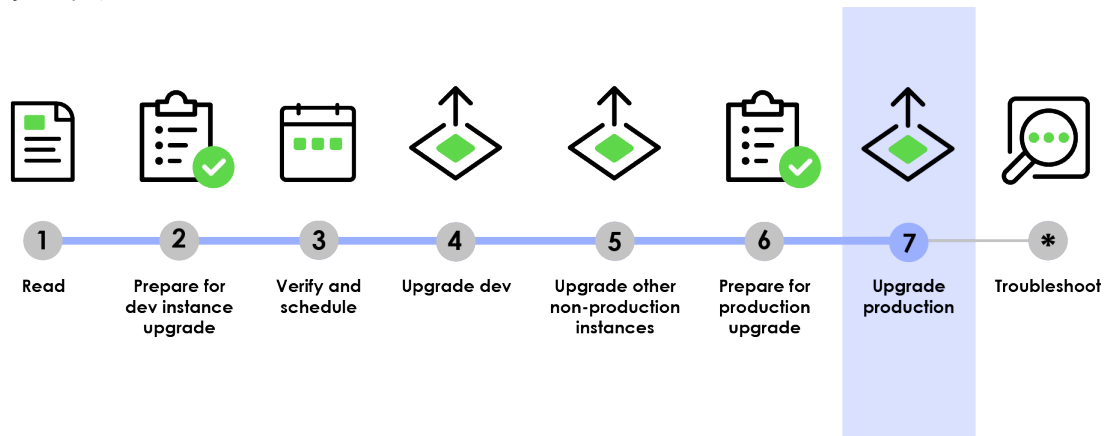
フェーズ7-本番環境をアップグレードする

開発インスタンス、非本番インスタンス、およびテストインスタンスをアップグレードした後、最後に本番インスタンスをアップグレードします。次に、アップグレードが完了したことを検証し、更新セットと修正スクリプトを適用し、アップグレード後のユーザー受け入れテスト (UAT) を実行します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて



手順

1. でアップグレードをスケジュールします。

- a. Now Support にログインします。
- b. 左側のナビゲーションメニューで [インスタンス] をクリックします。
- c. [インスタンスを管理] を選択します。
- d. パートナーのみ：ユーザーメニューから、[会社の切り替え (**Switch Company**)] 機能を使用して会社を選択します。
- e. アップグレードを実行またはパッチを適用するインスタンスを選択します。
- f. [アクション] メニューで、[インスタンスをアップグレード (**Upgrade Instance**)] をクリックします。

自動翻訳

[インスタンスのアップグレード] サービスカタログアイテムが開きます。アップグレードまたはパッチの適用ができるインスタンス名と、利用可能なバージョンが事前に設定されています。

Upgrade an Instance ☆

This catalog item enables you to schedule a patch/upgrade to a new ServiceNow release version. Upgrading and patching your instance requires planning, testing, and validation. Please plan to test your upgrade/patch on non-production instances before applying to your production instance.

Before initiating an upgrade process, review the upgrade and migration tasks for your applications and features. To help ensure that you complete all the tasks for a successful upgrade/patch, follow the step by step instructions in the upgrade planning checklist to track and plan the upgrade.

Upgrade assistance

The following resources are available to help you plan your upgrade/patch:

- Upgrade Product Documentation
- Release Notes
- Known Error Information
- Upgrade and migration tasks for your applications and features
- Upgrade Planning Checklist

* Instance

instance-name
Jakarta Patch 7

Non-Production

Change Instance

* Available Versions

Kingston Patch 4
Kingston Patch 3
Kingston Patch 2
Kingston Patch 1
Kingston
Jakarta Patch 8

す。

自動翻訳

g. アップグレードまたはパッチ適用の日時を指定するには、[開始日時] フィールドの横にあるカレンダーアイコンをクリックします。

h. 時計アイコンをクリックして、アップグレードまたはパッチ適用の時間を選択します。

i 注:

アップグレードまたはパッチの時間設定は重要です。Check distribution for possible upgrade スケジュール済みジョブが実行される 10 ~ 15 分前にアップグレードまたはパッチを開始するように設定します。この設定により、Check distribution for possible upgrade スケジュール済みジョブが実行される前に、インスタンスがどのリリースバージョンであるべきかという Now Support のレコードを、アップグレードまたはパッチ要求が更新するのに十分な時間が確保されます。

i. [送信] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。エンタイトルメントが必要な場合は、変更要求が作成されます。

2. 該当する場合は、バージョンエンタイトルメントを要求します。

a. [アクション] 列で、[スケジュール] をクリックします。

バージョンにエンタイトルメントが必要な場合は、次の画面が表示されます。

* Available Versions

Kingston Patch 3
Kingston Patch 2
Kingston Patch 1
Jakarta Patch 8

i Entitlement: This version requires entitlement approval. A request will be submitted for review & approval before the upgrade can begin.

* Start Date and Time

2018-04-19 17:26:28	

*Due to the additional review that is required, you must select a date at least 3 days from today

- b.** カレンダーアイコンをクリックし、3 日以上先の日時を指定します。

ServiceNow のエンタイトルメントアドミニストレーターが 3 日以内にエンタイトルメント要求に応答します。

i 注:

アップグレードまたはパッチの時間設定は重要です。Check distribution for possible upgrade スケジュール済みジョブが実行される 10 ～ 15 分前にアップグレードまたはパッチを開始するように設定します。この設定により、Check distribution for possible upgrade スケジュール済みジョブが実行される前に、インスタンスがどのリリースバージョンであるべきかという Now Support のレコードを、アップグレードまたはパッチ要求が更新するのに十分な時間が確保されます。

- c.** [スケジュール] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。エンタイトルメントが必要な場合は、エンタイトルメント要求番号が含まれています。エンタイトルメント要求番号をクリックして、要求を表示します。

- d.** エンタイトルメントについて質問がある場合は、エンタイトルメント要求について、送信後にコメントしてください。

- 3. インスタンスのアップグレードを監視し** 、本番インスタンスのアップグレードが完了したことを確認します。

アップグレードが完了したことを確認するには、次のように複数の方法があります。

- に移動します。システム診断 > アップグレードモニター。
- 移動先 システム診断 > アップグレードログ をクリックし、「Notifying HI that upgrade has been completed」というメッセージを見つけます。
- 移動先 システム定義 > システムアップグレード。すべてのシステムアップグレードに関する情報がリストされます。
- 移動先 システム診断 > アップグレード履歴 をクリックし、最新のアップグレードを検索します。

- 4.** 更新セットおよび、アップグレード後の修正スクリプトがあれば適用します。

- 5.** ユーザー受け入れテスト (UAT) を実施して、インスタンスの検証およびテストを行います。

パフォーマンスと運用情報はシステムログで確認できます。これは、ServiceNow インスタンスの内部動作を評価するための優れた情報源です。この情報を使用すると、できるだけ多くのエラーを解決できます。ログデータにアクセスするには、システムログ > システムログ > エラー。

i 注:

エラーログのすべてのエラーがアップグレードの結果であるとは限りません。エラーメッセージはアップグレード前のインスタンスに存在していることが多く、これらのメッセージの多くはユーザーやパフォーマンスには影響しません。